千歳市

キ　ウ　ス　４　遺　跡（9）

― 北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書 ―

第一分冊

Ⅰ．調査の概要
Ⅱ．遺跡の立地と周辺の遺跡
Ⅲ．調査の方法
Ⅳ．盛土遺構の調査
Ⅴ．盛土遺構の遺物

平成14年度

財団法人　北海道埋蔵文化財センター

盛土遺構上面

口絵－２

１．盛土遺構の土層断面

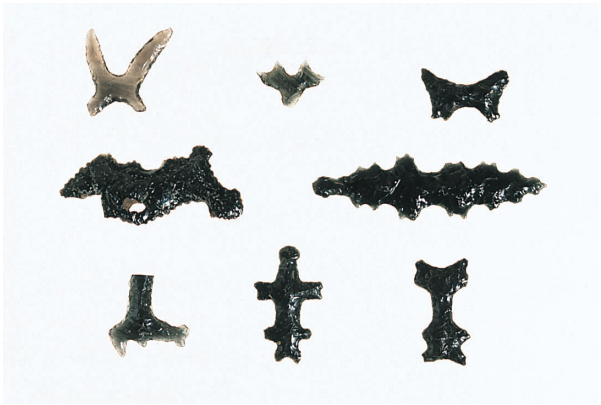
２．低湿地　木製品等出土状況

1．注口土器

2．スタンプ形土製品

3．土製品

4．石棒



5．異形石器

口絵－4

石製玉類

1．赤色顔料関連遺物

2．朱塗りの弓（保存処理後）

例　言

1．本書は、北海道横断自動車道建設に伴い、財団法人北海道埋蔵文化財センターが平成10（1998）年度に発掘調査を実施した千歳市キウス４遺跡Ｒ地区の埋蔵文化財発掘調査報告書である。なお本報告書では、盛土遺構と木製品を伴う流水跡を中心として、平成12（2000）年に発行した北埋調報148集『キウス４遺跡⑹』に掲載した遺構以外を掲載している。

2．平成10年度の発掘調査は、第２調査部第３調査課、平成11年度の整理作業は第２調査部第１調査課と第２調査部第４調査課、平成12年度の整理作業は第２調査部第４調査課、平成13年度の整理作業は第２調査部第３調査課、平成14年度の整理作業は第２調査部第２調査課が担当した。

3．本書の執筆は、佐川俊一、和泉田毅、阿部明義、冨永勝也、山中文雄が行い、編集は阿部明義が行った。なお、第Ⅵ章は当初、玉邑肇章が執筆する予定であったが、平成12年２月５日急逝のため佐川・冨永が担当した。各章・節などの執筆担当者は以下のとおりである。

第Ⅰ章～第Ⅲ章　阿部

第Ⅳ章１・２⑵⑹⑺・３⑶⑷⑸　阿部　　２⑴⑺⑼・３⑴⑵⑷⑸　和泉田

２⑶⑷・４　佐川　　２⑻・３⑷　山中

第Ⅴ章１・２　阿部　　３　山中　　４　佐川

第Ⅵ章（出土状況）佐川・（遺物）冨永　　第Ⅶ章１・２　阿部　　３　山中

第Ⅸ章１・２・４・５　阿部　　３　山中

4．整理作業の担当は、遺構が調査担当の調査員、土器・土製品が阿部明義、石器・石製品が山中文雄・和泉田毅、藤井浩、玉邑肇章、フローテーション資料が佐川俊一・藤井浩である。

5．現場の写真撮影は、玉邑肇章と遺構担当調査員が行った。遺物の写真撮影は、一部を中山昭大、土器立面写真の約半数を影浦覚が行ったほかは、第１調査部第１調査課長立川トマスが行った。

6．土器の展開写真は、小川忠博氏に依頼した。

7．現場の空中写真撮影、トータルステーションによる遺構の実測・遺物の取り上げは、㈱シン技術コンサルに委託した。

8．木製品の取り上げは、第２調査部第２調査課（平成10年度）三浦正人の指導、菊地慈人の協力を得、玉邑肇章が行った。保存処理・実測等は第１調査部第１調査課田口尚・倉橋直孝・冨永勝也が行った。木製品樹種同定は、農林水産省森林総合研究所平川泰彦氏の指導のもとに当センター菊池育子が行った。また、保存処理の一部（木製容器・斧の柄）を元興寺文化財研究所に委託した。

9．自然科学的手法による分析・鑑定について、以下の各機関・各氏に依頼・委託した。

放射性炭素^{14}Ｃ年代測定：㈱地球科学研究所、㈱パリノ・サーヴェイ

花粉分析・珪藻分析・炭化材樹種同定：㈱パリノ・サーヴェイ

動物遺存体同定：千歳サケのふるさと館　高橋理氏

炭化種子同定：札幌国際大学　吉崎昌一氏、北海道大学埋蔵文化財調査室　椿坂恭代氏

キノコ：北海道大学名誉教授農学博士　五十嵐恒夫氏

赤色顔料分析：北海道開拓記念館　小林幸雄氏

アスファルト分析：北海道大学高等教育機能開発総合センター　小笠原正明氏

黒曜石原産地分析：京都大学原子炉実験所　藁科哲男氏

残存脂肪酸分析：㈱ズコーシャ

10．石器などの石材鑑定は、第１調査部第１調査課　花岡正光の指導のもと、和泉田毅・山中文雄が行った。

11．調査にあたっては、下記の諸機関および人々の指導、ご協力をいただいた（順不同・敬称略）。

文化庁　岸元直文、国立歴史民俗博物館　辻誠一郎、北海道開拓記念館　平川善祥、野村崇、千歳市教育委員会　大谷敏三・田村俊之・手塚新太、千歳サケのふるさと館　高橋理、恵庭市教育委員会　上屋真一・

松谷純一・佐藤幾子・長町章弘、北広島市教育委員会　遠藤龍畝、札幌市埋蔵文化財センター　羽賀憲二、苫小牧市中央図書館　工藤肇、苫小牧市博物館　赤石慎三、伊達市教育委員会　大島直行・青野友哉・小島朋夏、えりも町郷土資料館ほろいずみ　中岡利泰、帯広百年記念館　山原敏朗、平取町教育委員会　森岡健治、南茅部町教育委員会　阿部千春・福田裕二、函館市教育委員会　佐藤智雄、北海道大学　林謙作・小杉康、札幌大学　木村英明、札幌国際大学　長崎潤一、北海学園大学　宮宏明、東京大学　宇田川洋、東京都立大学　山田昌久、東北学院大学　佐川正敏、早稲田大学　金子浩昌、いわき短期大学　山崎京美、北海道大学大学院　太子夕佳、青森県郷土館　鈴木克彦、青森県八戸市教育委員会　村木淳、八戸市立博物館　小笠原善範、青森県階上町教育委員会　森淳、青森県東北町教育委員会　古屋敷則雄、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　佐々木嘉直・中川重紀・星雅之、岩手県宮古市教育委員会　竹下将男・鎌田祐二、秋田県立博物館　庄内昭男、秋田県埋蔵文化財センター　栗沢光男・牧野賢美・五十嵐一治、秋田県鷹巣町教育委員会　佐野一絵、山形県埋蔵文化財センター　山口博之・小林圭一・植松暁彦、山形県天童市教育委員会　押野一貴、東北歴史博物館　菊地逸夫、宮城県奥松島縄文村歴史資料館　菅原弘樹、福島県文化センター　鈴鹿良一・山岸英夫、新潟県朝日村教育委員会　高橋保雄・滝沢規朗・長田友也、千葉県市川考古博物館　堀越正之・領塚正浩、東京都東村山市下宅部遺跡調査団　千葉敏朗・石川正行、埼玉県立博物館　関義則、鹿児島県歴史資料センター黎明館　牛ノ濱修
㈱渡辺重建工業、清水・太平共同企業体

記号等の説明

1．遺構は以下の記号の組み合わせによって表記し、原則として発掘調査順に番号および記号を付した。

地区名等　Ｒ：「Ｒ地区」

層界　　Ｌ：樽前ｃ火山灰より下層の遺構

遺構　　Ｍ：盛土遺構　　Ｆ：焼土　　Ｓ：集石　　ＦＣ：フレイクチップ集中

Ｒ（ＲＬＲ）：流水跡　　ＫＰ：杭跡

2．遺構図にはグリッド線に従って、方位記号を付したものがある。真北は南北方向の基線に対して西偏19度３分20秒である。レベルは標高（単位ｍ）を示す。

3．遺構の規模は、「確認面での長軸×短軸／厚さ（深さ）」の順で記した。一部破壊されているものや不明確なものについては、現存長を「(　)」で、不明のものは「－」で示した。

4．掲載した遺構図等の縮尺は原則的に以下のとおりとし、スケールを付した。また変則的なものについても随時スケールを入れている。

遺構実測図　１：40および１：100

土器実測図　１：３（口径または器高が30㎝を超える大型土器は１：４）

土器拓影図　１：３（口径または器高が30㎝を超える大型土器は１：４）

剥片石器実測図　１：２　　礫石器実測図　１：３　　土製品・石製品　１：２

木製品　１：３　　１：４　　１：６

5．出土遺物分布図等での表示は、遺物の種類別に以下のシンボルマークで示した。

●：土器　○：土製品　△：剥片石器　▲：剥片　□：礫石器　■：礫　△：石製品

☆：骨片　★：炭化物

また焼土は赤色、炭化物集中等はスクリーン・トーンで示してある。

6．土層の混合状態を表現するために、以下のように表記してある。

Ａ＋Ｂ：ＡとＢが同量混じる。　　Ａ＞Ｂ：ＡにＢが少量混じる。

Ａ≫Ｂ：ＡにＢが微量混じる。　　Ａ≒Ｂ：ＡとＢはほぼ等しい。

7．土層の色調には『新版標準土色帖』（小山・竹原1967）を使用し、カラーチャートの番号を付したものがある。

8．土層の記述には下記の記号･略称を用いた場合がある。

Ｔａ－ａ：樽前ａ降下軽石堆積物　　Ｔａ－ｃ：樽前ｃ降下軽石堆積物

Ｂ－Ｔｍ：白頭山－苫小牧火山灰　　Ｅｎ－ａ：恵庭ａ降下軽石堆積物

Ｅｎ－Ｌ：恵庭ａ降下軽石堆積物起源のローム層

Ｅｎ－Ｐ：恵庭ａ降下軽石堆積物のうち未風化の軽石礫

軽石・パミス：特に示していない限り恵庭ａ降下軽石堆積物

分　冊　項　目

＜第一分冊＞

Ⅰ．調査の概要
Ⅱ．遺跡の立地と周辺の遺跡
Ⅲ．調査の方法
Ⅳ．盛土遺構の調査
Ⅴ．盛土遺構の遺物

＜第二分冊＞

Ⅵ．低地部の調査とその遺物
Ⅶ．包含層の遺物
Ⅷ．自然科学的手法による分析・鑑定
Ⅸ．まとめ
Ⅹ．写真図版

第一分冊　目次

口　絵
例　言
記号等の説明
分冊項目
第一分冊目次
第一分冊挿図目次
第一分冊表目次

Ⅰ．調査の概要 …… 1
1．調査要項 …… 1
2．調査体制 …… 1
3．調査に至る経緯 …… 3
4．調査結果の概要 …… 4

Ⅱ．遺跡の立地と周辺の遺跡 …… 7
1．遺跡の立地と環境 …… 7
2．周辺の遺跡 …… 7

Ⅲ．調査の方法 …… 13
1．調査の方法と経過 …… 13
(1) 発掘区の設定
(2) 発掘調査の方法と経過
(3) 整理作業の方法と経過
2．土層 …… 16
3．遺構・遺物の分類 …… 24
(1) 遺構
(2) 遺物

Ⅳ．盛土遺構の調査 …… 31
1．概要 …… 31
2．盛土遺構－上位の調査 …… 40
(1) 盛土A（上位）
(2) 盛土D
(3) 盛土E
(4) 盛土G
(5) 盛土J
(6) 盛土K

(7) 盛土X
(8) 盛土Y
(9) 盛土Z
3．盛土遺構－下位の調査 ……176
(1) 盛土A
(2) 盛土B
(3) 盛土D(下位)
(4) 盛土W
(5) 盛土V
4．フローテーション法等による微細遺物の調査 ……252
(1) 概要
(2) フローテーション法により回収した遺物
(3) 土壌水洗により回収した遺物

V．盛土遺構の遺物 ……285
1．概要 ……285
2．土器・土製品 ……285
(1) 盛土遺構上位出土の土器・土製品
(2) 盛土遺構下位出土の土器・土製品
3．石器・石製品 ……492
(1) 盛土遺構上位出土の石器・石製品
(2) 盛土遺構下位出土の石器・石製品
4．骨角器等 ……535

掲載遺物一覧表 ……538
土器・土製品
石器・石製品
骨角器ほか

第一分冊　挿図目次

図Ⅰ－1　遺跡の位置
図Ⅰ－2　キウス4遺跡全体略図（縄文時代後期）
図Ⅰ－3　キウス4遺跡Ｒ地区遺構分布図

図Ⅱ－1　遺跡周辺の地形
図Ⅱ－2　発掘区周辺の地形
図Ⅱ－3　周辺の遺跡

図Ⅲ－1　各年度の調査区・Ｒ地区発掘区設定図
図Ⅲ－2　調査区北端土層断面図
図Ⅲ－3　調査区東端土層断面図
図Ⅲ－4　85ライン土層断面図
図Ⅲ－5　土層模式柱状図
図Ⅲ－6　土器分類例
図Ⅲ－7　石器分類模式図（1）
図Ⅲ－8　石器分類模式図（2）
図Ⅲ－9　石器分類模式図（3）

図Ⅳ－1　盛土遺構上面平面図
図Ⅳ－2　盛土遺構形成面（Vb層上面）コンタ
図Ⅳ－3　盛土遺構－上位　遺構位置図
図Ⅳ－4　盛土遺構－下位　遺構位置図
図Ⅳ－5　盛土遺構の詳細調査設定図
図Ⅳ－6　83ライン土層断面図
図Ⅳ－7　盛土遺構層位関係図
図Ⅳ－8　盛土Ａ（上位）位置図
図Ⅳ－9　盛土Ａ（上位）層厚図および土層断面図
図Ⅳ－10　盛土Ａ（上位）各層位分布図
図Ⅳ－11　盛土Ａ（上位）の焼土
図Ⅳ－12　盛土Ａ（上位）復元土器接合図
図Ⅳ－13　盛土Ａ（上位）遺物出土状況図
図Ⅳ－14　盛土Ａ（上位）土器等重量分布図
図Ⅳ－15　盛土Ａ（上位）フレイクチップ重量分布図
図Ⅳ－16　盛土Ｄ位置図
図Ⅳ－17　盛土Ｄ層厚図
図Ⅳ－18　盛土Ｄ土層断面図（1）
図Ⅳ－19　盛土Ｄ土層断面図（2）
図Ⅳ－20　盛土Ｄ土層断面図（3）
図Ⅳ－21　盛土Ｄ各層位分布図（1）
図Ⅳ－22　盛土Ｄ各層位分布図（2）
図Ⅳ－23　盛土Ｄ各層位分布図（3）
図Ⅳ－24　盛土Ｄ各層位分布図（4）
図Ⅳ－25　盛土Ｄ各層位分布図（5）
図Ⅳ－26　盛土Ｄの焼土（1）
図Ⅳ－27　盛土Ｄの焼土（2）
図Ⅳ－28　盛土Ｄの焼土（3）
図Ⅳ－29　盛土Ｄの焼土（4）
図Ⅳ－30　盛土Ｄの焼土（5）
図Ⅳ－31　盛土Ｄの焼土（6）
図Ⅳ－32　盛土Ｄの焼土（7）
図Ⅳ－33　盛土Ｄの焼土（8）
図Ⅳ－34　盛土Ｄの焼土（9）
図Ⅳ－35　盛土Ｄの焼土（10）
図Ⅳ－36　盛土Ｄ灰集中
図Ⅳ－37　盛土Ｄ炭化材
図Ⅳ－38　盛土Ｄ集石およびフレイクチップ集中
図Ⅳ－39　盛土Ｄ復元土器接合図（1）
図Ⅳ－40　盛土Ｄ復元土器接合図（2）
図Ⅳ－41　盛土Ｄ復元土器接合図（3）
図Ⅳ－42　盛土Ｄ復元土器接合図（4）
図Ⅳ－43　盛土Ｄ復元土器接合図（5）
図Ⅳ－44　盛土Ｄ復元土器接合図（6）
図Ⅳ－45　盛土Ｄ遺物出土状況（1）
図Ⅳ－46　盛土Ｄ遺物出土状況（2）
図Ⅳ－47　盛土Ｄ遺物出土状況（3）
図Ⅳ－48　盛土Ｄ遺物出土状況（4）
図Ⅳ－49　盛土Ｄ土器等重量分布図（1）
図Ⅳ－50　盛土Ｄ土器等重量分布図（2）
図Ⅳ－51　盛土Ｄフレイクチップ重量分布図（1）
図Ⅳ－52　盛土Ｄフレイクチップ重量分布図（2）
図Ⅳ－53　盛土Ｄフレイクチップ重量分布図（3）
図Ⅳ－54　盛土Ｄフレイクチップ重量分布図（4）
図Ⅳ－55　盛土Ｅ位置図
図Ⅳ－56　盛土Ｅ層厚図および土層断面図
図Ⅳ－57　盛土Ｅ各層位分布図
図Ⅳ－58　盛土Ｅの焼土（1）
図Ⅳ－59　盛土Ｅの焼土（2）
図Ⅳ－60　盛土Ｅの焼土（3）
図Ⅳ－61　盛土Ｅの焼土（4）
図Ⅳ－62　盛土Ｅの焼土（5）
図Ⅳ－63　盛土Ｅ軽石集中および炭化物集中
図Ⅳ－64　盛土Ｅ復元土器接合図（1）
図Ⅳ－65　盛土Ｅ復元土器接合図（2）
図Ⅳ－66　盛土Ｅ遺物出土状況（1）
図Ⅳ－67　盛土Ｅ遺物出土状況（2）
図Ⅳ－68　盛土Ｅ土器等重量分布図
図Ⅳ－69　盛土Ｅフレイクチップ重量分布図（1）
図Ⅳ－70　盛土Ｅフレイクチップ重量分布図（2）
図Ⅳ－71　盛土Ｇ位置図
図Ⅳ－72　盛土Ｇ層厚図および土層断面図
図Ⅳ－73　盛土Ｇ各層位分布図
図Ⅳ－74　盛土Ｇの焼土（1）
図Ⅳ－75　盛土Ｇの焼土（2）
図Ⅳ－76　盛土Ｇ復元土器接合図
図Ⅳ－77　盛土Ｇ土器等重量分布図
図Ⅳ－78　盛土Ｇフレイクチップ重量分布図
図Ⅳ－79　盛土Ｊ位置図
図Ⅳ－80　盛土Ｊ層厚図および土層断面図
図Ⅳ－81　盛土Ｊの焼土
図Ⅳ－82　盛土Ｊ復元土器接合図

図Ⅳ－83　盛土Ｊ土器等フレイクチップ重量分布図
図Ⅳ－84　盛土Ｋ位置図
図Ⅳ－85　盛土Ｋ層厚図および土層断面図
図Ⅳ－86　盛土Ｋの焼土
図Ⅳ－87　盛土Ｋ復元土器接合図
図Ⅳ－88　盛土Ｋ土器等フレイクチップ重量分布図
図Ⅳ－89　盛土Ｘ位置図
図Ⅳ－90　盛土Ｘ層厚図および土層断面図
図Ⅳ－91　盛土Ｘの焼土
図Ⅳ－92　盛土Ｘ土器等フレイクチップ重量分布図
図Ⅳ－93　盛土Ｙ位置図
図Ⅳ－94　盛土Ｙ層厚図
図Ⅳ－95　盛土Ｙ土層断面図（１）
図Ⅳ－96　盛土Ｙ土層断面図（２）
図Ⅳ－97　盛土Ｙ各層位分布図（１）
図Ⅳ－98　盛土Ｙ各層位分布図（２）
図Ⅳ－99　盛土Ｙの焼土（１）
図Ⅳ－100 盛土Ｙの焼土（２）
図Ⅳ－101 盛土Ｙの焼土（３）
図Ⅳ－102 盛土Ｙの焼土（４）
図Ⅳ－103 盛土Ｙフレイクチップ集中
図Ⅳ－104 盛土Ｙベンガラ集中
図Ⅳ－105 盛土Ｙ土玉集中
図Ⅳ－106 盛土Ｙ遺物出土状況
図Ⅳ－107 盛土Ｙ復元土器接合図（１）
図Ⅳ－108 盛土Ｙ復元土器接合図（２）
図Ⅳ－109 盛土Ｙ復元土器接合図（３）
図Ⅳ－110 盛土Ｙ土器等重量分布図
図Ⅳ－111 盛土Ｙフレイクチップ重量分布図（１）
図Ⅳ－112 盛土Ｙフレイクチップ重量分布図（２）
図Ⅳ－113 盛土Ｚ位置図
図Ⅳ－114 盛土Ｚ層厚図および土層断面図
図Ⅳ－115 盛土Ｚ各層位分布図
図Ⅳ－116 盛土Ｚ復元土器接合図
図Ⅳ－117 盛土Ｚ遺物出土状況
図Ⅳ－118 盛土Ｚ土器等重量分布図
図Ⅳ－119 盛土Ｚフレイクチップ重量分布図（１）
図Ⅳ－120 盛土Ｚフレイクチップ重量分布図（２）
図Ⅳ－121 盛土遺構－下位　土層模式図
図Ⅳ－122 盛土遺構－下位　地形図
図Ⅳ－123 盛土Ａ位置図
図Ⅳ－124 盛土Ａ各層位分布図
図Ⅳ－125 盛土Ａ・Ｂ地形図
図Ⅳ－126 盛土Ａ復元土器接合図
図Ⅳ－127 盛土Ａ土器等フレイクチップ重量分布図
図Ⅳ－128 盛土Ｂ位置図
図Ⅳ－129 盛土Ｂ層厚図
図Ⅳ－130 盛土Ｂ土層柱状図
図Ⅳ－131 盛土Ｂの焼土
図Ⅳ－132 盛土Ｂ復元土器接合図
図Ⅳ－133 盛土Ｂ土器等フレイクチップ重量分布図
図Ⅳ－134 盛土Ｄ（下位）位置図
図Ⅳ－135 盛土Ｄ（下位）層厚図
図Ⅳ－136 盛土Ｄ（下位）の焼土
図Ⅳ－137 盛土Ｄ（下位）復元土器接合図
図Ⅳ－138 盛土Ｄ（下位）土器等フレイクチップ重量分布図
図Ⅳ－139 盛土Ｗ位置図
図Ⅳ－140 盛土Ｗ層厚図および土層断面図
図Ⅳ－141 盛土Ｗ各層位分布図
図Ⅳ－142 盛土Ｗの焼土（１）
図Ⅳ－143 盛土Ｗの焼土（２）
図Ⅳ－144 盛土Ｗの焼土（３）
図Ⅳ－145 盛土Ｗの焼土（４）
図Ⅳ－146 盛土Ｗの焼土（５）
図Ⅳ－147 盛土Ｗ灰集中
図Ⅳ－148 盛土Ｗ復元土器接合図（１）
図Ⅳ－149 盛土Ｗ復元土器接合図（２）
図Ⅳ－150 盛土Ｗ復元土器接合図（３）
図Ⅳ－151 盛土Ｗ復元土器接合図（４）
図Ⅳ－152 盛土Ｗ復元土器接合図（５）
図Ⅳ－153 盛土Ｗ遺物出土状況（１）
図Ⅳ－154 盛土Ｗ遺物出土状況（２）
図Ⅳ－155 盛土Ｗ遺物出土状況（３）
図Ⅳ－156 盛土Ｗ土器等重量分布図
図Ⅳ－157 盛土Ｗフレイクチップ重量分布図（１）
図Ⅳ－158 盛土Ｗフレイクチップ重量分布図（２）
図Ⅳ－159 盛土Ⅴ位置図
図Ⅳ－160 盛土Ⅴ層厚図および土層断面図
図Ⅳ－161 盛土Ⅴ各層位分布図
図Ⅳ－162 盛土Ⅴの焼土（１）
図Ⅳ－163 盛土Ⅴの焼土（２）
図Ⅳ－164 盛土Ⅴの焼土（３）
図Ⅳ－165 盛土Ⅴの焼土（４）
図Ⅳ－166 盛土Ⅴの焼土（５）
図Ⅳ－167 盛土Ⅴの焼土（６）
図Ⅳ－168 盛土Ⅴ軽石集中および灰集中
図Ⅳ－169 盛土Ⅴ朱塗り弓出土状況
図Ⅳ－170 盛土Ⅴフレイクチップ集中
図Ⅳ－171 盛土Ⅴ復元土器接合図（１）
図Ⅳ－172 盛土Ⅴ復元土器接合図（２）
図Ⅳ－173 盛土Ⅴ復元土器接合図（３）
図Ⅳ－174 盛土Ⅴ復元土器接合図（４）
図Ⅳ－175 盛土Ⅴ復元土器接合図（５）
図Ⅳ－176 盛土Ⅴ復元土器接合図（６）
図Ⅳ－177 盛土Ⅴ遺物出土状況（１）
図Ⅳ－178 盛土Ⅴ遺物出土状況（２）
図Ⅳ－179 盛土Ⅴ遺物出土状況（３）
図Ⅳ－180 盛土Ⅴ遺物出土状況（４）
図Ⅳ－181 盛土Ⅴ遺物出土状況（５）
図Ⅳ－182 盛土Ⅴ遺物出土状況（６）
図Ⅳ－183 盛土Ⅴ土器等重量分布図
図Ⅳ－184 盛土Ⅴフレイクチップ重量分布図（１）

図Ⅳ－185 盛土Ｖフレイクチップ重量分布図（２）
図Ⅳ－186 フローテーション盛土コラムサンプル採取位置
図Ⅳ－187 骨片重量分布図（１）ＲＭＡ（上位）
図Ⅳ－188 骨片重量分布図（２）ＲＭＤ①
図Ⅳ－189 骨片重量分布図（３）ＲＭＤ②
図Ⅳ－190 骨片重量分布図（４）ＲＭＥ・Ｊ
図Ⅳ－191 骨片重量分布図（５）ＲＭＧ・Ｋ・Ｘ
図Ⅳ－192 骨片重量分布図（６）ＲＭＹ
図Ⅳ－193 骨片重量分布図（７）ＲＭＺ
図Ⅳ－194 骨片重量分布図（８）ＲＭＷ
図Ⅳ－195 骨片重量分布図（９）ＲＭＶ
図Ⅳ－196 骨片重量分布図（10）ＲＭＡ・Ｂ・Ｄ
図Ⅳ－197 炭化物重量分布図（１）ＲＭＡ（上位）
図Ⅳ－198 炭化物重量分布図（２）ＲＭＤ①
図Ⅳ－199 炭化物重量分布図（３）ＲＭＤ②
図Ⅳ－200 炭化物重量分布図（４）ＲＭＥ・Ｊ
図Ⅳ－201 炭化物重量分布図（５）ＲＭＧ・Ｋ・Ｘ
図Ⅳ－202 炭化物重量分布図（６）ＲＭＹ
図Ⅳ－203 炭化物重量分布図（７）ＲＭＺ
図Ⅳ－204 炭化物重量分布図（８）ＲＭＷ
図Ⅳ－205 炭化物重量分布図（９）ＲＭＶ
図Ⅳ－206 炭化物重量分布図（10）ＲＭＡ・Ｂ・Ｄ

図Ⅴ－１　盛土遺構上位出土の土器（１）
図Ⅴ－２　盛土遺構上位出土の土器（２）
図Ⅴ－３　盛土遺構上位出土の土器（３）
図Ⅴ－４　盛土遺構上位出土の土器（４）
図Ⅴ－５　盛土遺構上位出土の土器（５）
図Ⅴ－６　盛土遺構上位出土の土器（６）
図Ⅴ－７　盛土遺構上位出土の土器（７）
図Ⅴ－８　盛土遺構上位出土の土器（８）
図Ⅴ－９　盛土遺構上位出土の土器（９）
図Ⅴ－10　盛土遺構上位出土の土器（10）
図Ⅴ－11　盛土遺構上位出土の土器（11）
図Ⅴ－12　盛土遺構上位出土の土器（12）
図Ⅴ－13　盛土遺構上位出土の土器（13）
図Ⅴ－14　盛土遺構上位出土の土器（14）
図Ⅴ－15　盛土遺構上位出土の土器（15）
図Ⅴ－16　盛土遺構上位出土の土器（16）
図Ⅴ－17　盛土遺構上位出土の土器（17）
図Ⅴ－18　盛土遺構上位出土の土器（18）
図Ⅴ－19　盛土遺構上位出土の土器（19）
図Ⅴ－20　盛土遺構上位出土の土器（20）
図Ⅴ－21　盛土遺構上位出土の土器（21）
図Ⅴ－22　盛土遺構上位出土の土器（22）
図Ⅴ－23　盛土遺構上位出土の土器（23）
図Ⅴ－24　盛土遺構上位出土の土器（24）
図Ⅴ－25　盛土遺構上位出土の土器（25）
図Ⅴ－26　盛土遺構上位出土の土器（26）
図Ⅴ－27　盛土遺構上位出土の土器（27）
図Ⅴ－28　盛土遺構上位出土の土器（28）
図Ⅴ－29　盛土遺構上位出土の土器（29）
図Ⅴ－30　盛土遺構上位出土の土器（30）
図Ⅴ－31　盛土遺構上位出土の土器（31）
図Ⅴ－32　盛土遺構上位出土の土器（32）
図Ⅴ－33　盛土遺構上位出土の土器（33）
図Ⅴ－34　盛土遺構上位出土の土器（34）
図Ⅴ－35　盛土遺構上位出土の土器（35）
図Ⅴ－36　盛土遺構上位出土の土器（36）
図Ⅴ－37　盛土遺構上位出土の土器（37）
図Ⅴ－38　盛土遺構上位出土の土器（38）
図Ⅴ－39　盛土遺構上位出土の土器（39）
図Ⅴ－40　盛土遺構上位出土の土器（40）
図Ⅴ－41　盛土遺構上位出土の土器（41）
図Ⅴ－42　盛土遺構上位出土の土器（42）
図Ⅴ－43　盛土遺構上位出土の土器（43）
図Ⅴ－44　盛土遺構上位出土の土器（44）
図Ⅴ－45　盛土遺構上位出土の土器（45）
図Ⅴ－46　盛土遺構上位出土の土器（46）
図Ⅴ－47　盛土遺構上位出土の土器（47）
図Ⅴ－48　盛土遺構上位出土の土器（48）
図Ⅴ－49　盛土遺構上位出土の土器（49）
図Ⅴ－50　盛土遺構上位出土の土器（50）
図Ⅴ－51　盛土遺構上位出土の土器（51）
図Ⅴ－52　盛土遺構上位出土の土器（52）
図Ⅴ－53　盛土遺構上位出土の土器（53）
図Ⅴ－54　盛土遺構上位出土の土器（54）
図Ⅴ－55　盛土遺構上位出土の土器（55）
図Ⅴ－56　盛土遺構上位出土の土器（56）
図Ⅴ－57　盛土遺構上位出土の土器（57）
図Ⅴ－58　盛土遺構上位出土の土器（58）
図Ⅴ－59　盛土遺構上位出土の土器（59）
図Ⅴ－60　盛土遺構上位出土の土器（60）
図Ⅴ－61　盛土遺構上位出土の土器（61）
図Ⅴ－62　盛土遺構上位出土の土器（62）
図Ⅴ－63　盛土遺構上位出土の土器（63）
図Ⅴ－64　盛土遺構上位出土の土器（64）
図Ⅴ－65　盛土遺構上位出土の土器（65）
図Ⅴ－66　盛土遺構上位出土の土器（66）
図Ⅴ－67　盛土遺構上位出土の土器（67）
図Ⅴ－68　盛土遺構上位出土の土器（68）
図Ⅴ－69　盛土遺構上位出土の土器（69）
図Ⅴ－70　盛土遺構上位出土の土器（70）
図Ⅴ－71　盛土遺構上位出土の土器（71）
図Ⅴ－72　盛土遺構上位出土の土器（72）
図Ⅴ－73　盛土遺構上位出土の土器（73）
図Ⅴ－74　盛土遺構上位出土の土器（74）
図Ⅴ－75　盛土遺構上位出土の土器（75）
図Ⅴ－76　盛土遺構上位出土の土器（76）
図Ⅴ－77　盛土遺構上位出土の土器（77）
図Ⅴ－78　盛土遺構上位出土の土器（78）
図Ⅴ－79　盛土遺構上位出土の土器（79）

図Ⅴ－80　盛土遺構上位出土の土器（80）
図Ⅴ－81　盛土遺構上位出土の土器（81）
図Ⅴ－82　盛土遺構上位出土の土器（82）
図Ⅴ－83　盛土遺構上位出土の土器（83）
図Ⅴ－84　盛土遺構上位出土の土器（84）
図Ⅴ－85　盛土遺構上位出土の土器（85）
図Ⅴ－86　盛土遺構上位出土の土器（86）
図Ⅴ－87　盛土遺構上位出土の土器・土製品（87）
図Ⅴ－88　盛土遺構上位出土の土器（88）
図Ⅴ－89　盛土遺構上位出土の土製品（１）
図Ⅴ－90　盛土遺構上位出土の土製品（２）
図Ⅴ－91　盛土遺構上位出土の土製品（３）
図Ⅴ－92　盛土遺構上位出土の土製品（４）
図Ⅴ－93　盛土遺構上位出土の土製品（５）
図Ⅴ－94　盛土遺構上位出土の土製品（６）
図Ⅴ－95　盛土遺構上位出土の土製品（７）
図Ⅴ－96　盛土遺構上位出土の土製品（８）
図Ⅴ－97　盛土遺構上位出土の土製品（９）
図Ⅴ－98　盛土遺構下位出土の土器（１）
図Ⅴ－99　盛土遺構下位出土の土器（２）
図Ⅴ－100 盛土遺構下位出土の土器（３）
図Ⅴ－101 盛土遺構下位出土の土器（４）
図Ⅴ－102 盛土遺構下位出土の土器（５）
図Ⅴ－103 盛土遺構下位出土の土器（６）
図Ⅴ－104 盛土遺構下位出土の土器（７）
図Ⅴ－105 盛土遺構下位出土の土器（８）
図Ⅴ－106 盛土遺構下位出土の土器（９）
図Ⅴ－107 盛土遺構下位出土の土器（10）
図Ⅴ－108 盛土遺構下位出土の土器（11）
図Ⅴ－109 盛土遺構下位出土の土器（12）
図Ⅴ－110 盛土遺構下位出土の土器（13）
図Ⅴ－111 盛土遺構下位出土の土器（14）
図Ⅴ－112 盛土遺構下位出土の土器（15）
図Ⅴ－113 盛土遺構下位出土の土器（16）
図Ⅴ－114 盛土遺構下位出土の土器（17）
図Ⅴ－115 盛土遺構下位出土の土器（18）
図Ⅴ－116 盛土遺構下位出土の土器（19）
図Ⅴ－117 盛土遺構下位出土の土器（20）
図Ⅴ－118 盛土遺構下位出土の土器（21）
図Ⅴ－119 盛土遺構下位出土の土器（22）
図Ⅴ－120 盛土遺構下位出土の土器（23）
図Ⅴ－121 盛土遺構下位出土の土器（24）
図Ⅴ－122 盛土遺構下位出土の土器（25）
図Ⅴ－123 盛土遺構下位出土の土器（26）
図Ⅴ－124 盛土遺構下位出土の土器（27）
図Ⅴ－125 盛土遺構下位出土の土器（28）
図Ⅴ－126 盛土遺構下位出土の土器（29）
図Ⅴ－127 盛土遺構下位出土の土器（30）
図Ⅴ－128 盛土遺構下位出土の土器（31）
図Ⅴ－129 盛土遺構下位出土の土器（32）
図Ⅴ－130 盛土遺構下位出土の土器（33）
図Ⅴ－131 盛土遺構下位出土の土器（34）
図Ⅴ－132 盛土遺構下位出土の土器（35）
図Ⅴ－133 盛土遺構下位出土の土器（36）
図Ⅴ－134 盛土遺構下位出土の土器（37）
図Ⅴ－135 盛土遺構下位出土の土器（38）
図Ⅴ－136 盛土遺構下位出土の土器（39）
図Ⅴ－137 盛土遺構下位出土の土器（40）
図Ⅴ－138 盛土遺構下位出土の土器（41）
図Ⅴ－139 盛土遺構下位出土の土器（42）
図Ⅴ－140 盛土遺構下位出土の土器（43）
図Ⅴ－141 盛土遺構下位出土の土器（44）
図Ⅴ－142 盛土遺構下位出土の土器（45）
図Ⅴ－143 盛土遺構下位出土の土器（46）
図Ⅴ－144 盛土遺構下位出土の土器（47）
図Ⅴ－145 盛土遺構下位出土の土器（48）
図Ⅴ－146 盛土遺構下位出土の土器（49）
図Ⅴ－147 盛土遺構下位出土の土器（50）
図Ⅴ－148 盛土遺構下位出土の土器（51）
図Ⅴ－149 盛土遺構下位出土の土器（52）
図Ⅴ－150 盛土遺構下位出土の土器（53）
図Ⅴ－151 盛土遺構下位出土の土器（54）
図Ⅴ－152 盛土遺構下位出土の土器（55）
図Ⅴ－153 盛土遺構下位出土の土器（56）
図Ⅴ－154 盛土遺構下位出土の土器（57）
図Ⅴ－155 盛土遺構下位出土の土器（58）
図Ⅴ－156 盛土遺構下位出土の土器（59）
図Ⅴ－157 盛土遺構下位出土の土器（60）
図Ⅴ－158 盛土遺構下位出土の土器（61）
図Ⅴ－159 盛土遺構下位出土の土器（62）
図Ⅴ－160 盛土遺構下位出土の土器（63）
図Ⅴ－161 盛土遺構下位出土の土器（64）
図Ⅴ－162 盛土遺構下位出土の土器（65）
図Ⅴ－163 盛土遺構下位出土の土器（66）
図Ⅴ－164 盛土遺構下位出土の土器（67）
図Ⅴ－165 盛土遺構下位出土の土器（68）
図Ⅴ－166 盛土遺構下位出土の土器（69）
図Ⅴ－167 盛土遺構下位出土の土器（70）
図Ⅴ－168 盛土遺構下位出土の土器（71）
図Ⅴ－169 盛土遺構下位出土の土器（72）
図Ⅴ－170 盛土遺構下位出土の土器（73）
図Ⅴ－171 盛土遺構下位出土の土器（74）
図Ⅴ－172 盛土遺構下位出土の土器（75）
図Ⅴ－173 盛土遺構下位出土の土器（76）
図Ⅴ－174 盛土遺構下位出土の土器（77）
図Ⅴ－175 盛土遺構下位出土の土器（78）
図Ⅴ－176 盛土遺構下位出土の土器（79）
図Ⅴ－177 盛土遺構下位出土の土器（80）
図Ⅴ－178 盛土遺構下位出土の土器（81）
図Ⅴ－179 盛土遺構下位出土の土器（82）
図Ⅴ－180 盛土遺構下位出土の土器（83）
図Ⅴ－181 盛土遺構下位出土の土器（84）

図Ⅴ－182 盛土遺構下位出土の土器（85）
図Ⅴ－183 盛土遺構下位出土の土器（86）
図Ⅴ－184 盛土遺構下位出土の土器（87）
図Ⅴ－185 盛土遺構下位出土の土製品（１）
図Ⅴ－186 盛土遺構下位出土の土製品（２）
図Ⅴ－187 盛土遺構下位出土の土製品（３）
図Ⅴ－188 盛土遺構下位出土の土製品（４）
図Ⅴ－189 盛土遺構下位出土の土製品（５）
図Ⅴ－190 盛土遺構上位の発掘区別石器点数（１）
図Ⅴ－191 盛土遺構上位の発掘区別石器点数（２）
図Ⅴ－192 盛土遺構上位の発掘区別石器点数（３）
図Ⅴ－193 盛土遺構上位の発掘区別石器点数（４）
図Ⅴ－194 盛土遺構上位出土の石器（１）
図Ⅴ－195 盛土遺構上位出土の石器（２）
図Ⅴ－196 盛土遺構上位出土の石器（３）
図Ⅴ－197 盛土遺構上位出土の石器（４）
図Ⅴ－198 盛土遺構上位出土の石器（５）
図Ⅴ－199 盛土遺構上位出土の石器（６）
図Ⅴ－200 盛土遺構上位出土の石器（７）
図Ⅴ－201 盛土遺構上位出土の石器（８）
図Ⅴ－202 盛土遺構上位出土の石器（９）
図Ⅴ－203 盛土遺構上位出土の石器（10）
図Ⅴ－204 盛土遺構上位出土の石器（11）
図Ⅴ－205 盛土遺構上位出土の石器（12）
図Ⅴ－206 盛土遺構上位の石器接合図（１）
図Ⅴ－207 盛土遺構上位の石器接合図（２）
図Ⅴ－208 盛土遺構下位の発掘区別石器点数（１）
図Ⅴ－209 盛土遺構下位の発掘区別石器点数（２）
図Ⅴ－210 盛土遺構下位の発掘区別石器点数（３）
図Ⅴ－211 盛土遺構下位の発掘区別石器点数（４）
図Ⅴ－212 盛土遺構下位出土の石器（１）
図Ⅴ－213 盛土遺構下位出土の石器（２）
図Ⅴ－214 盛土遺構下位出土の石器（３）
図Ⅴ－215 盛土遺構下位出土の石器（４）
図Ⅴ－216 盛土遺構下位出土の石器（５）
図Ⅴ－217 盛土遺構下位出土の石器（６）
図Ⅴ－218 盛土遺構下位出土の石器（７）
図Ⅴ－219 盛土遺構下位出土の石器（８）
図Ⅴ－220 盛土遺構下位出土の石器（９）
図Ⅴ－221 盛土遺構下位出土の石器（10）
図Ⅴ－222 盛土遺構下位出土の石器（11）
図Ⅴ－223 盛土遺構下位の石器接合図（１）
図Ⅴ－224 盛土遺構下位の石器接合図（２）
図Ⅴ－225 盛土遺構下位の石器接合図（３）
図Ⅴ－226 盛土遺構出土の骨角器（１）
図Ⅴ－227 盛土遺構出土の骨角器（２）

第一分冊　表目次

表Ⅰ－１　出土土器等一覧
表Ⅰ－２　出土石器等一覧

表Ⅱ－１　周辺の遺跡一覧（千歳市）
表Ⅱ－２　周辺の遺跡一覧（長沼町）

表Ⅳ－１　盛土Ａの焼土一覧
表Ⅳ－２　盛土Ａの焼土出土石器等
表Ⅳ－３　盛土Ｄの焼土一覧（１）
表Ⅳ－４　盛土Ｄの焼土一覧（２）
表Ⅳ－５　盛土Ｄの焼土出土土器等
表Ⅳ－６　盛土Ｄの焼土出土石器等
表Ⅳ－７　盛土Ｅの焼土一覧
表Ⅳ－８　盛土Ｅの焼土出土土器等
表Ⅳ－９　盛土Ｅの焼土出土石器等
表Ⅳ－10　盛土Ｇの焼土一覧
表Ⅳ－11　盛土Ｇの焼土出土土器等
表Ⅳ－12　盛土Ｇの焼土出土石器等
表Ⅳ－13　盛土Ｊの焼土一覧
表Ⅳ－14　盛土Ｊの焼土出土石器等
表Ⅳ－15　盛土Ｋの焼土一覧
表Ⅳ－16　盛土Ｋの焼土出土土器等
表Ⅳ－17　盛土Ｋの焼土出土石器等
表Ⅳ－18　盛土Ｘの焼土一覧
表Ⅳ－19　盛土Ｘの焼土出土石器等
表Ⅳ－20　盛土Ｙの焼土一覧
表Ⅳ－21　盛土Ｙの焼土出土土器等
表Ⅳ－22　盛土Ｙの焼土出土石器等
表Ⅳ－23　盛土Ｂの焼土一覧
表Ⅳ－24　盛土Ｄ（下位）の焼土一覧
表Ⅳ－25　盛土Ｗの焼土一覧
表Ⅳ－26　盛土Ｗの焼土出土土器等
表Ⅳ－27　盛土Ｗの焼土出土石器等
表Ⅳ－28　盛土Ⅴの焼土一覧
表Ⅳ－29　盛土Ⅴの焼土出土土器等
表Ⅳ－30　盛土Ⅴの焼土出土石器等
表Ⅳ－31　フローテーション結果一覧（総括）
表Ⅳ－32　フローテーション結果（盛土焼土－１）
表Ⅳ－33　フローテーション結果（盛土焼土－２）
表Ⅳ－34　フローテーション結果（盛土焼土－３）
表Ⅳ－35　フローテーション結果（盛土焼土－４）
表Ⅳ－36　フローテーション結果（盛土コラムサンプル）
表Ⅳ－37　フローテーション残渣出土の石器（１）
表Ⅳ－38　フローテーション残渣出土の石器（２）
表Ⅳ－39　土壌水洗により回収された骨片・炭化物
表Ⅳ－40　土壌水洗量に対する骨片・炭化物の回収割合

表Ⅴ－1　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（1）
表Ⅴ－2　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（2）
表Ⅴ－3　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（3）
表Ⅴ－4　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（4）
表Ⅴ－5　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（5）
表Ⅴ－6　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（6）
表Ⅴ－7　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（7）
表Ⅴ－8　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（8）
表Ⅴ－9　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（9）
表Ⅴ－10　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（10）
表Ⅴ－11　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（11）
表Ⅴ－12　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（12）
表Ⅴ－13　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（13）
表Ⅴ－14　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（14）
表Ⅴ－15　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（15）
表Ⅴ－16　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（16）
表Ⅴ－17　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（17）
表Ⅴ－18　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（18）
表Ⅴ－19　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（19）
表Ⅴ－20　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（20）
表Ⅴ－21　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（21）
表Ⅴ－22　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（22）
表Ⅴ－23　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（23）
表Ⅴ－24　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（24）
表Ⅴ－25　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（25）
表Ⅴ－26　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（26）
表Ⅴ－27　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（27）
表Ⅴ－28　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（28）
表Ⅴ－29　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（29）
表Ⅴ－30　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（30）
表Ⅴ－31　盛土遺構－上位出土掲載土製品一覧（1）
表Ⅴ－32　盛土遺構－上位出土掲載土製品一覧（2）
表Ⅴ－33　盛土遺構－上位出土掲載土製品一覧（3）
表Ⅴ－34　盛土遺構－上位出土掲載土製品一覧（4）
表Ⅴ－35　盛土遺構－上位出土掲載土製品一覧（5）
表Ⅴ－36　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（1）
表Ⅴ－37　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（2）
表Ⅴ－38　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（3）
表Ⅴ－39　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（4）
表Ⅴ－40　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（5）
表Ⅴ－41　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（6）
表Ⅴ－42　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（7）
表Ⅴ－43　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（8）
表Ⅴ－44　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（9）
表Ⅴ－45　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（10）
表Ⅴ－46　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（11）
表Ⅴ－47　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（12）
表Ⅴ－48　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（13）
表Ⅴ－49　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（14）
表Ⅴ－50　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（15）
表Ⅴ－51　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（16）
表Ⅴ－52　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（17）
表Ⅴ－53　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（18）
表Ⅴ－54　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（19）
表Ⅴ－55　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（20）
表Ⅴ－56　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（21）
表Ⅴ－57　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（22）
表Ⅴ－58　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（23）
表Ⅴ－59　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（24）
表Ⅴ－60　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（25）
表Ⅴ－61　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（26）
表Ⅴ－62　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（27）
表Ⅴ－63　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（28）
表Ⅴ－64　盛土遺構下位出土掲載土製品一覧（1）
表Ⅴ－65　盛土遺構下位出土掲載土製品一覧（2）
表Ⅴ－66　盛土遺構上位の掲載石器・石製品一覧（1）
表Ⅴ－67　盛土遺構上位の掲載石器・石製品一覧（2）
表Ⅴ－68　盛土遺構上位の掲載石器・石製品一覧（3）
表Ⅴ－69　盛土遺構上位の掲載石器・石製品一覧（4）
表Ⅴ－70　盛土遺構上位の掲載石器・石製品一覧（5）
表Ⅴ－71　盛土遺構上位の掲載石器・石製品一覧（6）
表Ⅴ－72　盛土遺構下位の掲載石器・石製品一覧（1）
表Ⅴ－73　盛土遺構下位の掲載石器・石製品一覧（2）
表Ⅴ－74　盛土遺構下位の掲載石器・石製品一覧（3）
表Ⅴ－75　盛土遺構下位の掲載石器・石製品一覧（4）
表Ⅴ－76　盛土遺構出土の掲載骨角器等一覧

Ⅰ．調査の概要
Ⅱ．遺跡の立地と周辺の遺跡
Ⅲ．調査の方法

Ⅰ　調 査 の 概 要

1．調査要項

事 業 名：北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査
委 託 者：日本道路公団北海道支社
受 託 者：財団法人　北海道埋蔵文化財センター
遺 跡 名：キウス４遺跡（北海道教育委員会登載番号Ａ－03－92）
所 在 地：千歳市中央208－16ほか
調査面積：4,240㎡
調査期間：平成10年５月６日～平成11年３月31日（現地調査５月６日～11月11日）
整理期間：平成11年４月１日～平成15年３月31日

2．調査体制

平成10年度～平成14年度

理 事 長　伊藤一夫（平成10年５月まで）　大澤　満（平成10年６月～平成14年６月）
　　森重楯一（平成14年７月から）
専務理事　佐藤哲人（平成11年５月まで）　宮崎　勝（平成11年６月から）
常務理事　柴田忠昭（平成10年度）　木村尚俊（平成11年８月16日～平成13年７月17日）
　　畑　宏明（平成14年度）
業務部長　中田　仁（平成10・11年度）
総務部長　柳瀬茂樹（平成12・13年度）　下村一久（平成14年度）
第２調査部長　鬼柳　彰（平成10～12年度）　大沼忠春（平成13年度）
　　西田　茂（平成14年度）

平成10年度

第３調査課長　佐川俊一（発掘担当者）
主　　査　和泉田毅（発掘担当者）
主　　任　玉邑肇章
主　　任　藤井　浩
文化財保護主事　阿部明義
文化財保護主事　山中文雄

平成11年度

第４調査課長　佐川俊一
主　　査　和泉田毅
主　　任　玉邑肇章
文化財保護主事　阿部明義

第１調査課長　種市幸生
主　　任　藤井　浩
文化財保護主事　中山昭大
文化財保護主事　山中文雄

平成12年度

第４調査課長　佐川俊一
文化財保護主事　影浦　覚
文化財保護主事　阿部明義
文化財保護主事　山中文雄

平成13年度

第３調査課長　佐川俊一
文化財保護主事　阿部明義
文化財保護主事　冨永勝也
文化財保護主事　山中文雄

平成14年度

第２調査課長　佐川俊一
主　　任　阿部明義
主　　任　冨永勝也
第１調査部第４調査課
文化財保護主事　山中文雄

図Ⅰ－１　遺跡の位置　（国土地理院発行　5万分の１地形図「恵庭」「千歳」を用いて作成したものである）

3．調査に至る経緯

北海道横断自動車道は、黒松内町を基点として小樽－札幌－千歳－夕張－帯広を経て網走・根室に至る約666㎞が予定され、昭和47（1972）年、国土開発幹線自動車道建設協議会により基本計画が決定した。昭和61（1986）年、整備計画が決定し、日本道路公団に対し施工に必要な書類の指示があった。昭和62（1987）年に、日本道路公団（以下、道路公団という）札幌建設局から北海道教育委員会に北海道横断自動車道（千歳～夕張間）建設について埋蔵文化財保護のための事前協議書が提出された。北海道教育委員会（以下、道教委という）は、昭和63（1988）年に千歳－夕張間の全線を対象とした所在確認調査を実施し、19ヵ所の埋蔵文化財包蔵地の所在が確認されたため範囲確認調査が必要との回答を出した。平成３（1991）年、道路公団が用地を決定したのに伴い、道教委は範囲確認調査を実施した。この結果工事計画の変更が不可能であることから、記録保存のための発掘調査を必要とする埋蔵文化財包蔵地20ヵ所（千歳市11ヵ所、恵庭市３ヵ所、由仁町３ヵ所、夕張市３ヵ所）が明らかとなり、当センターで実施することとなった。

北海道横断自動車道はキウス４遺跡の発掘調査当時、小樽－札幌ジャンクション（30.3㎞）および道東の清水－池田間（50.7㎞）が供用され、千歳－夕張間は工事区間となっていた。この千歳－夕張間のルートは、道央自動車道の恵庭千歳ジャンクションから分岐して、恵庭市の国道36号線、JR千歳線を横断し、千歳市内に入り千歳川を渡り、馬追丘陵を越え、胆振管内追分町、空知管内由仁町・栗山町を経て夕張市紅葉山に至る42.3㎞である。そして、同区間の建設工事に伴う、財団法人北海道埋蔵文化財センターによる発掘調査は、平成５（1993）年度の千歳市オサツトー１遺跡・キウス７遺跡で始まった。翌平成６（1994）年度はキウス５遺跡・キウス７遺跡・ケネフチ８遺跡、平成７（1995）年度はキウス５遺跡・キウス７遺跡・キウス４遺跡、平成８（1996）年度はキウス４遺跡・キウス５遺跡・キウス７遺跡・ユカンボシＣ15遺跡・恵庭市ユカンボシＥ７遺跡の調査を行ってきた。平成９（1997）年度は前年度と同じ遺跡のほかに、恵庭市ユカンボシＥ10遺跡の調査を行い、平成10（1998）年度にはキウス４遺跡・キウス５遺跡・キウス７遺跡とユカンボシＣ15遺跡の調査を行って、千歳－夕張間の現地での発掘調査を終了した。

キウス４遺跡は、平成３年度から同８年度にかけての道教委による範囲確認調査、平成５年７月および10月に全域の詳細試掘調査（トレンチによる分布調査）が行われた。その結果、周堤墓９基、盛土遺構２ヵ所、住居跡、土壙などが確認され、縄文時代後期の大規模な遺跡であることが判明した。本格的な調査は、平成７年度に自動車道の橋台・橋脚部分６ヵ所（Ａ～Ｆ地区）の2,429㎡について発掘調査を行ったのが最初である（図Ⅲ－１）。この調査では、周堤墓１基、道跡などが新たに見つかった。平成８年度は、自動車道本線西側インターボックス部分（Ｌ地区）の調査3,930㎡を行い（図Ⅲ－１）、北側盛土遺構の一部から約40万点の遺物が出土した。平成９年度は２課体制で大規模に展開し、本線およびインターチェンジ部分（Ａ・Ｄ・Ｅ1・Ｅ2・Ｆ・Ｈ・Ｉ・Ｋ地区）20,970㎡の調査を行った（図Ⅲ－１）。平成10年度は３課体制でＡ2・Ｇ・Ｊ・Ｑ・Ｒ地区18,940㎡の調査を実施した（図Ⅲ－１）。この間の発掘調査成果については、キウス４遺跡のまとめ（『キウス４遺跡（10）』・平成14年度刊行予定）を参照されたい。

なお、北海道横断自動車道恵庭千歳ジャンクション－夕張インターチェンジ間は平成11（1999）年10月７日に供用が開始され、キウス４遺跡の地には「千歳東インターチェンジ」が設置された。また、キウス７遺跡の地には「キウスパーキングエリア」が設置され、上り線側ではキウス４遺跡の紹介がなされている。

４．調査結果の概要

キウス４遺跡R地区では膨大な量の遺物が出土したため、二回に分けて報告書を刊行することになった。一回目の報告は『キウス４遺跡（6)』として平成12（2000）年３月に刊行しており、土壙・柱穴群を中心とする遺構とその遺物を掲載した。本書はキウス４遺跡Ｒ地区の報告の二回目として、一回目に掲載しなかった盛土遺構・木製品を伴う流水跡・遺物包含層を取り扱っている。なお、キウス４遺跡の一連の報告の最終ということで、キウス４遺跡のまとめを含めた報告書を『キウス４遺跡（10)』として刊行する予定である。

Ｒ地区は調査面積4,240㎡、キウス４遺跡の南西部に位置している（図Ⅰ－２)。西～北西にはＱ地区、東にⅠ地区が隣接する。標高９～10ｍの段丘面と標高７～８ｍの低地があり、西側では段丘崖（やや急斜面)、中央部から東側では緩斜面になっている。西側段丘面の東半部は耕作によりⅧ層中まで撹乱・削平されている。

遺構は、住居跡２軒・土壙14基・柱穴状ピット1,930基・焼土（盛土中を除く）248ヵ所（以上報告済み)、流水跡11ヵ所（うち９ヵ所は報告済み)、そして盛土遺構１条（12ブロック・本報告書）が検出された。また、柱穴状ピットの配列から推定された建物跡は127軒である。一部の遺構を除き、大部分は縄文時代後期後半に属するものとみられ、周堤墓群・建物跡群・盛土遺構・水場遺構などから成り立つ該期の集落構成の一部をなしている。

今回報告する盛土遺構は、周堤墓群からのびる南側盛土遺構の大部分に相当し、調査区の緩斜面側、北東から南西に帯状に分布している。盛土上面の標高に大きな変化は乏しく、盛り上げたというよりは緩斜面に排土したという状況である。盛土の堆積層は多層に渡るが、上層から下層まで出土土器の型式に大きな変化はなく、縄文時代後期後半の比較的短い期間に形成されたと考えられる。盛土遺構中からは焼土322ヵ所、フレイクチップ集中10ヵ所のほか、灰・粘土・炭化物・軽石・赤色顔料の集中部も検出された。

また、調査区南西部の低地部にも盛土遺構に類する部分（Ｖｄ層）があるが、傾斜がやや急で堆積が乱れており礫が多く出土するなど、前述の盛土遺構と若干性格が異なる部分がある。

木製品が出土した流水跡は、一つは調査区中央部の盛土遺構直下から検出されたもので、もう一つは調査区南西部の低地部から検出されたものである。特に後者は、杭列がみられるなど、河川の利用がうかがえる。その上位層（Ｖｄ層）にも木製品が出土している。いずれも縄文時代後期後半に属するものとみられる。

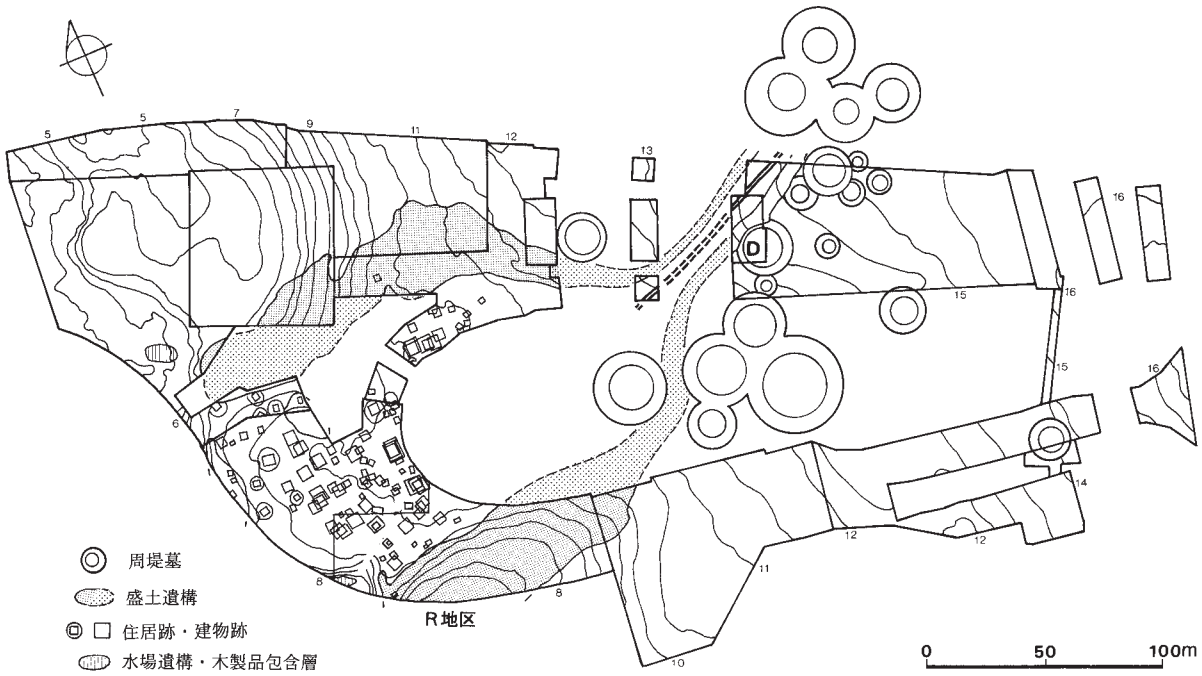
遺物は、総数3,812,925点（うち6,066点分は報告済み）で、土器等3,210,734点、石器等601,945点、木製品246点、その他数点が出土している（表Ⅰ－１・２、フローテーションで得られた遺物数を除いた点数)。遺物総重量は約16ｔに達し、特に土器が約13ｔに上っている。遺物の約90％は盛土遺構から出土しているが、遺物包含層としている大部分も盛土遺構に由来するものと思われる。土器は縄文時代早期～後期、擦文時代のものが出土しているが、そのうち約99.7％は縄文時代後期後半の鉈澗式の新段階から堂林式である。土製品はスタンプ形土製品が多く出土している。焼成粘土塊が多いことも特徴である。定形的な石器は、石鏃・スクレイパー・石斧・たたき石・すり石・砥石・石皿・台石などが出土している。特に石鏃が多い。石製品では、異形石器・玉類が多く見られる。また、製品以外では黒曜石の原石塊なども出土している。木製品・繊維製品は、脚付きの容器や斧の柄、筌状製品や簾状製品など出土例の少ない貴重な遺物が出土している。このほか、朱漆塗りの弓（塗膜のみ）なども出土している。自然遺物は、盛土遺構中から獣骨・魚骨等が多量に出土したほか、炭化種子、キノコ、ベンカラ塊やアスファルト塊など多種多様である。

表Ⅰ－1　出土土器等一覧

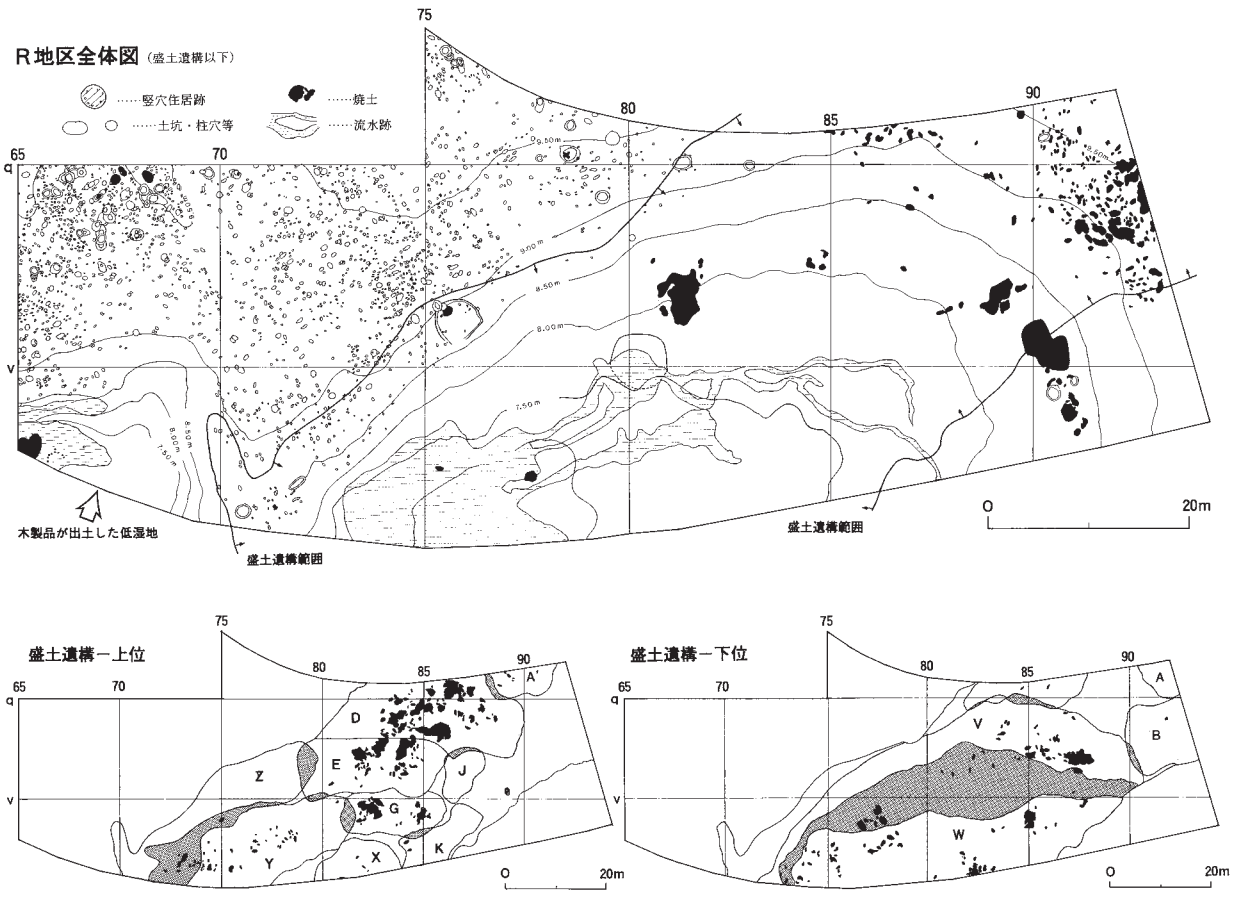
	遺物点数（点）				遺物重量（kg）			
	盛土遺構	流水跡	包含層	合計	盛土遺構	流水跡	包含層	合計
縄文早期	801	3	432	1,236	5.6	0.0	4.2	9.8
縄文前期	101	9	46	156	1.2	0.1	0.7	2.0
縄文中期	246	40	139	425	3.0	0.7	2.3	6.0
縄文後期	1,226,470	636	319,818	1,546,924	10,795.8	11.5	2,095.9	12,903.2
（同　砕片）	1,647,648		1,537	1,649,185				
擦文文化	1		4	5	0.0		0.1	0.1
土製品	759		53	812	4.0		0.5	4.5
焼成粘土塊	6,351		122	6,483	14.4		0.5	14.9
不明	469	7	43	519	4.1	0.1	0.4	4.6
合計	2,882,846	695	322,194	3,205,745	10,828.1	12.4	2,104.6	12,945.1

表Ⅰ－2　出土石器等一覧

	遺物点数（点）				遺物重量（kg）			
	盛土遺構	流水跡	包含層	合計	盛土遺構	流水跡	包含層	合計
石鏃	9,538	3	1,253	10,794	8.4	0.0	852.9	2,898.8
石槍またはナイフ	73	2	12	87	0.4	0.0		
石錐	1,462		128	1,590	2.4			
つまみ付きナイフ	339		99	438	2.4			
スクレイパー	1,733		278	2,011	17.4			
石斧	1,119		294	1,413	96.7			
石のみ	42		5	47	0.7			
たたき石	702	2	237	941	118.2	0.9		
すり石	97	2	52	151	25.3	0.8		
石錯	27		4	31	2.4			
砥石	1,039	2	246	1,287	86.2	0.2		
台石もしくは石皿	213	5	92	310	144.2	2.2		
Ｒフレイク	3,673		829	4,502	13.3			
Ｕフレイク	2,584		463	3,047	11.9			
加工痕のみられる礫	721		258	979	109.4			
石核	246		39	285	5.7			
原石・石器素材	1,219		330	1,549	32.6			
剥片	501,640	37	41,751	543,428	387.6	0.1		
礫	19,342	147	7,530	27,019	950.2	16.4		
石製品	608	1	62	671	9.9	0.0		
合計	546,417	201	53,962	600,580	2,025.3	20.6	852.9	2,898.8



図Ⅰ－２　キウス４遺跡全体略図（縄文時代後期）



図Ⅰ－３　キウス４遺跡Ｒ地区遺構分布図

II　遺跡の立地と周辺の遺跡

1．遺跡の立地と環境

キウス４遺跡は、千歳市街地の北東約８㎞、「中央」地区に所在する。この付近は、長沼町に隣接する市境に近い。

日本海と太平洋を結ぶ標高25m以下の石狩低地帯の東側には、北海道中央部を南北に走る夕張山地があり、その西側には馬追丘陵がある。この丘陵は千歳市、空知地方の長沼町・由仁町、胆振地方の追分町・早来町にまたがって、南北に緩やかに広がっている。標高273mの馬追山を最高地点とし、標高150m前後、延長約30㎞におよぶ丘陵である。馬追丘陵の西側は、現在は水田や畑地として利用されているが、戦前までは長都沼（オサツトー）、馬追沼（マオイトー）など大小の沼があり、支笏湖を水源とする千歳川や夕張山地から流れ出る夕張川、剣渕川などが流入するため氾濫が繰り返される低地であった。しかし昭和26（1951）年～昭和44（1969）年の国営灌漑排水事業により、長都沼・馬追沼一帯を埋め立て、川の切り替えなどが行われて耕地が造成され、現在は旧河道・小河谷・自然堤防・氾濫原などの微地形が広がる景観を呈している。

キウス４遺跡は、馬追丘陵の裾部を南北に走る、千歳と長沼を結ぶ国道337号線の西側に、南北約300m、東西約400mの範囲に広がっている。遺跡の南側にはキウス川が西流する。キウス川は馬追丘陵から東・西へと開析して流れ、旧オルイカ川（現：十五号排水川）へと流れ込む河川のひとつである。キウス４遺跡はキウス川流域の右岸、旧オルイカ川（現：十五号排水川）中流域右岸に位置している。現地表面の標高は８ｍ～18mで、西へ低くなる緩斜面となっている。

キウス４遺跡の周辺は、横断道の用地となる以前には、畑地あるいは水田として利用されていた。キウス川の周辺や畑地の間には、広葉樹がところどころに残っている。また遺跡の北東約300mの緩斜面上には、国指定史跡「キウス周堤墓群」が所在する。遺跡の西方には、樽前山・恵庭岳・札幌岳・無意根山・手稲山など標高1000m～1500mの山々が見られ、眼前には平坦な地形が広がっている。

2. 周辺の遺跡

キウス４遺跡周辺の遺跡を地形図（図Ⅱ－１～３）と一覧表（表Ⅱ－１・２）を用いて記す。

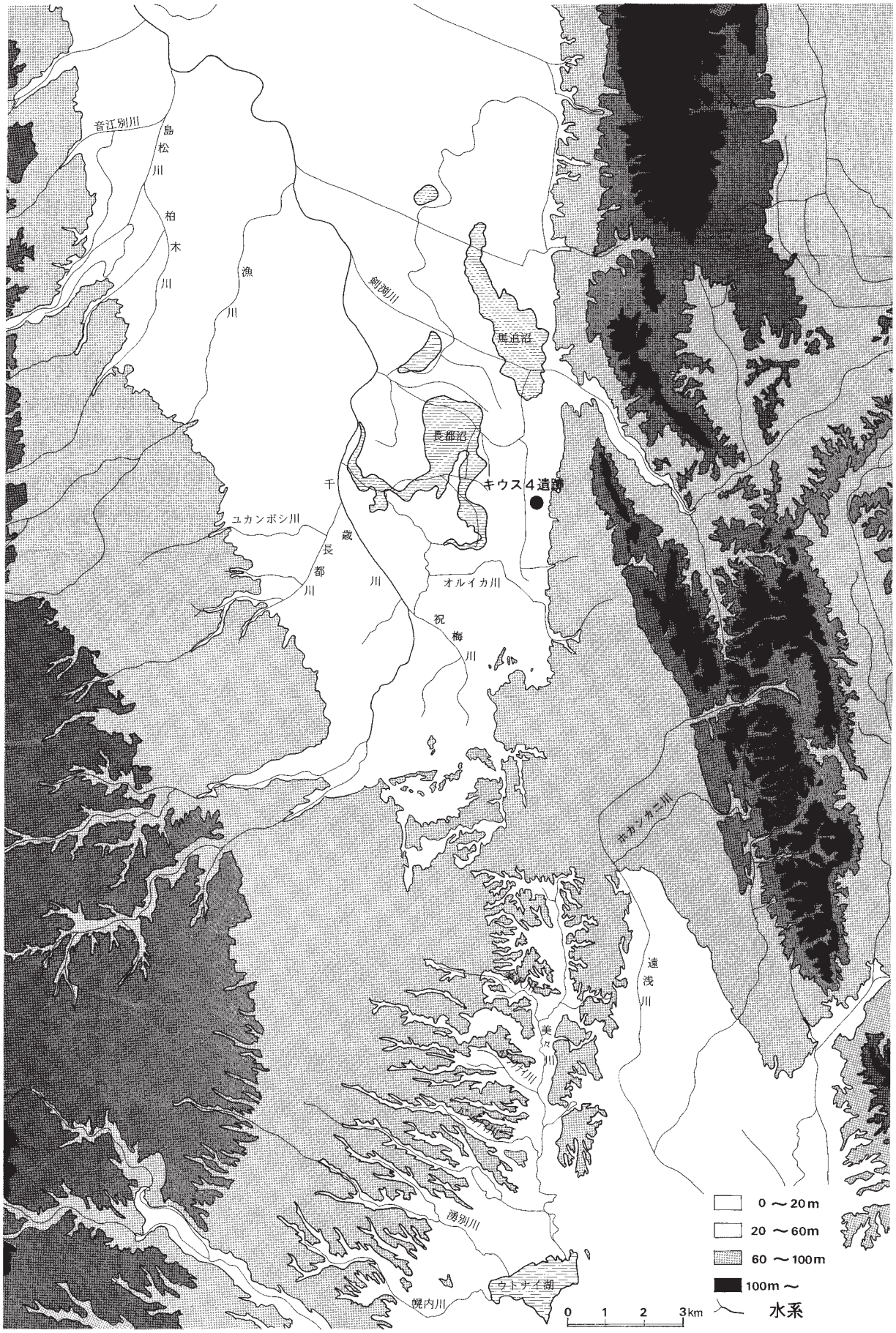
図Ⅱ－３は、大正５・６（1916・1917）年に陸地測量部が測図した５万分の１地形図『漁』と平成６（1994）年の国土地理院発行の２万５千分の１地形図『長都』・『南長沼』、および北海道教育委員会の埋蔵文化財包蔵地分布図を利用して作成したキウス４遺跡周辺の遺跡分布図である。湖沼や河川の位置と形状は陸地測量部の図から写し、これに周辺の遺跡の位置を重ねたものである。図の右半部を占める馬追丘陵の西斜面から幾本もの小河川が谷を刻んで、現在では干拓されてその姿を見ることができなくなったマオイトー・オサツトーに流れ込んでいる。支笏湖を水源とする千歳川も南側からオサツトーに入り、南西側から再び流出し、北流していたことがわかる。

遺跡は馬追丘陵を刻む各小河川の流域、およびオサツトーに流れ込む千歳川とオサツ川の低位段丘面上にそれぞれ連続して分布している。標高10m～50mのところに分布する遺跡が最も多いが、中には標高50m以上の段丘面上に立地するものも見られる。馬追丘陵を刻む小河川を北から列記すると、

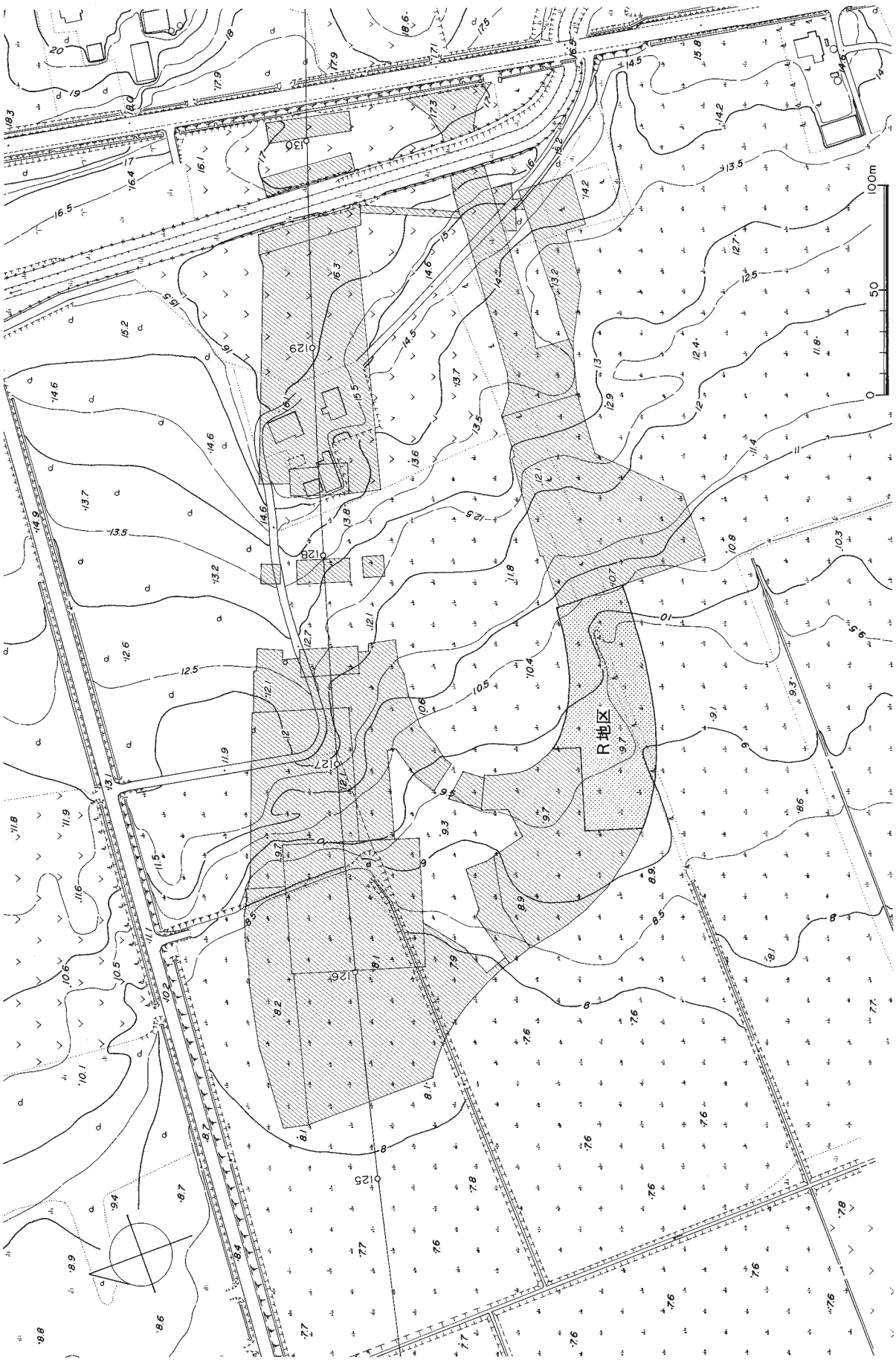
①ウレロッチ川、②ポロナイ川、③ケヌフチ川、④モウシ川、⑤キウス川、⑥オルイカ川、

となる。また、オサツトーの南側に流れ込む河川は以下の三本である。

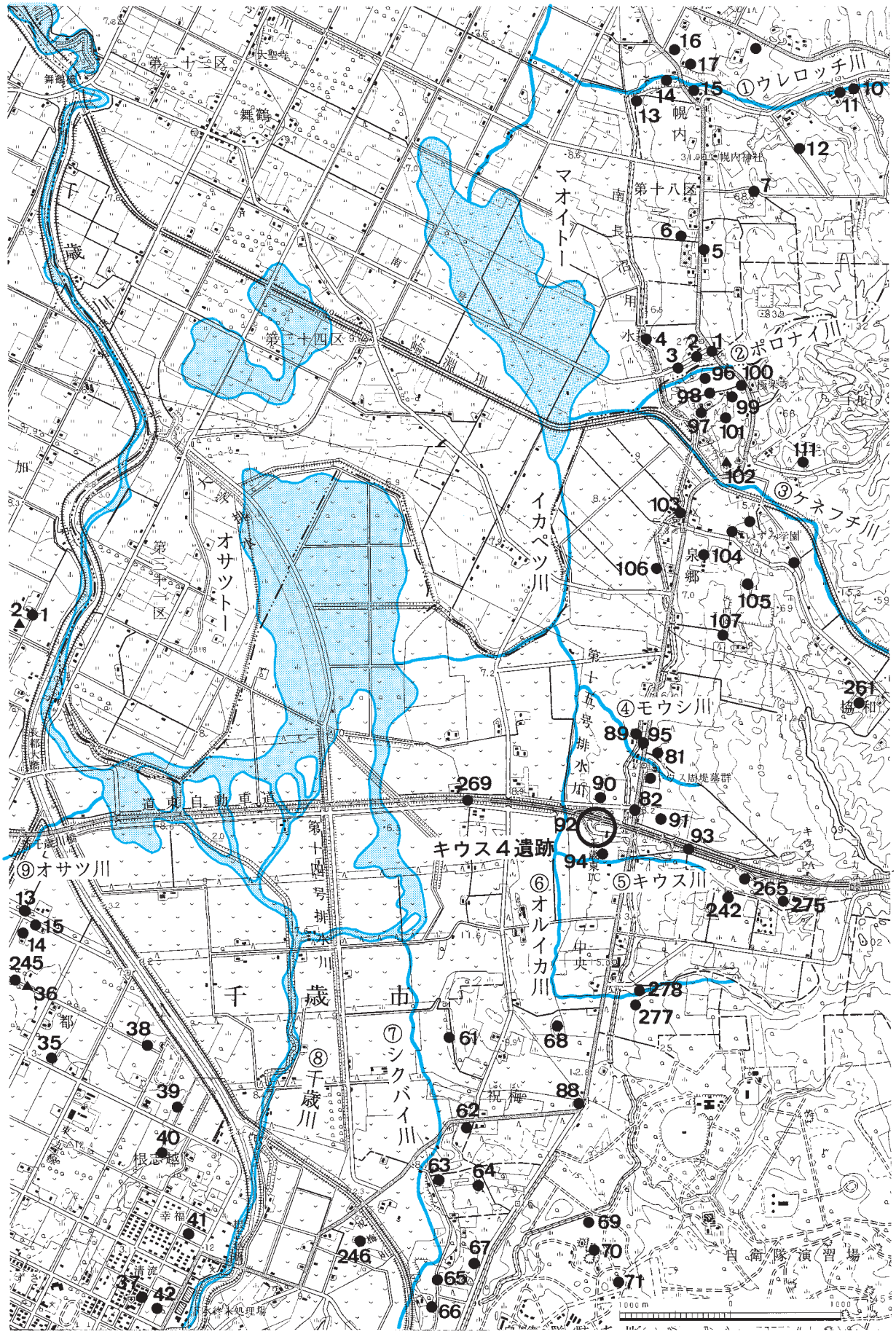
⑦シクバイ川、⑧千歳川、⑨オサツ川。


音江別川
島松川
柏木川
漁川
剣淵川
馬追沼
長都沼
キウス４遺跡
千歳長都川
ユカンボシ川
オルイカ川
祝梅川
ポロンケニ川
遠浅川
美々川
勇別川
ウトナイ湖
幌内川
0 ～20m
20 ～60m
60 ～100m
100m ～
水系
0 1 2 3km

図Ⅱ－１　遺跡周辺の地形



図Ⅱ－２　発掘区周辺の地形


キウス４遺跡
①ウレロッチ川
②ポロナイ川
③クネフチ川
④モウシ川
⑤キウス川
⑥オルイカ川
⑦シクバイ川
⑧千歳川
⑨オサツ川
マオイトー
イカペツ川
オサツトー
道東自動車道
第十四号排水川
第十五号排水川
キウス周堤墓群
自衛隊演習場
1000m

図Ⅱ－３　周辺の遺跡

表Ⅱ－１　周辺の遺跡一覧（千歳市）

No.	遺跡名	種別	時期	発掘調査歴等
1	カリンバー	集落跡	擦文	釜加のチャシ跡に接する南側緩斜面に数個の竪穴があったという。『千歳遺跡』p116～124
2	釜加のチャシ跡	チャシ跡	アイヌ	1965年調査、大場利夫・石川徹『千歳遺跡』p116～124（旧称：釜加）
13	オサツ1	集落跡	擦文、アイヌ	保安林内に16軒の竪穴。（旧称、都5遺跡）
14	オサツ2	集落跡	旧石器、縄文、擦文、アイヌ	1992～1994年（財）道埋文調査。縄文中期・擦文の竪穴。続縄文・アイヌの土壙墓。（旧称：都6遺跡）
15	オサツ3	集落跡	擦文	保安林内に竪穴。（旧称：都4遺跡）
35	都	遺物包含地	縄文晩期、アイヌ	タンネトウL式土器。
36	都のチャシ跡	チャシ跡	アイヌ	円形壕。1966年調査、『千歳遺跡』p124～128。『北海道のチャシ』7。（旧称：都1）
37	末広	集落跡	縄文中・後期、続縄文、擦文、アイヌ	1968石川徹、1979～1981・1984・1992千歳市教委発掘調査。縄文中期・後期・擦文竪穴住居、アイヌ期住居跡、縄文後期焼土遺構、周堤墓、アイヌ期墓壙、擦文鍛冶工房跡。No.42、根志越2遺跡と合体。（旧称：根志越C）
38	トメトル川1	集落跡	擦文	竪穴2軒確認。
39	トメトル川2	集落跡	続縄文、擦文	段丘縁に沿って竪穴13軒が並ぶ。（旧称、根志越F）
40	トメトル川3	集落跡	擦文	段丘縁に沿って竪穴15軒、他に方形の落ち込み4ヶ所あり。（旧称、根志越E）
41	根志越1	集落跡	擦文	かつて19軒の竪穴が見られたが、現在は、草地化されている。消滅。
61	アンカリトー1	遺物包含地	縄文晩期	
62	アンカリトー2	集落跡	縄文前・後・晩期、続縄文、擦ゞ	竪穴住居跡が1軒みられた。
63	アンカリトー3	壙墓	縄文晩期、続縄文、擦文	
64	アンカリトー4	遺物包含地	縄文後期	
65	アンカリトー5	集落跡	縄文中・晩期、続縄文、擦文	航空写真判読で9個の竪穴状マーク観察
66	アンカリトー6	集落跡	縄文中、続縄文、擦文	無名沢を挟んで北に2軒、南に4軒の竪穴がみられる。
67	アンカリトー7	遺物包含地	擦文	
68	丸子山	集落跡	旧石器、縄文、擦文	1990～1993千歳市教委発掘調査。環壕集落、周堤墓、擦文期の竪穴。消滅（旧称：丸子山）
69	K基地1	集落跡	擦文	南長沼用水南側に竪穴住居があったという。
70	K基地2	遺物包含地	縄文後・晩期、擦文	
71	ピクニックエリア	集落跡	擦文	オルイカ川湧水地周辺。数軒の竪穴がみられたという。
76	キウス1号環状土籬	周堤墓	縄文後期	1964大場利夫・石川徹、1979国指定史跡
77	キウス2号環状土籬	周堤墓	縄文後期	1965大場利夫・石川徹、1979国指定史跡
78	キウス3号環状土籬	周堤墓	縄文後期	1979国指定史跡
79	キウス4号環状土籬	周堤墓	縄文後期	1965大場利夫　外周部、1979国指定史跡
80	キウス5号環状土籬	周堤墓	縄文後期	1979国指定史跡
81	キウス6号環状土籬	周堤墓	縄文後期	1979国指定史跡
82	キウス7号環状土籬	周堤墓	縄文後期	1950頃　河野広道・近藤義男
83	キウス8号環状土籬	周堤墓	縄文後期	全壊?1987道教委試掘確認により1988登載抹消
84	キウス9号環状土籬	周堤墓	縄文後期	全壊?1987道教委試掘確認により1988登載抹消
85	キウス10号環状土籬	周堤墓	縄文後期	全壊?1987道教委試掘確認により1988登載抹消
86	キウス11号環状土籬	周堤墓	縄文後期	1979国指定史跡
87	キウス12号環状土籬	周堤墓	縄文後期	1979国指定史跡
88	オルイカ1	集落跡	縄文中・後・晩期、アイヌ	2002（財）道埋文センター調査。（旧称：キウス13号環状土籬）
89	キウス1	集落跡	縄文後・晩期、続縄文	1964大場利夫・石川徹
90	キウス2	周堤墓	縄文後期	航空写真によるソイルマーク
91	キウス3	遺物包含地	縄文後期	
92	キウス4	周堤墓集落跡ほか	縄文早・前・後期、擦文	1993、1995～1998（財）道埋文センター調査。最終調査年　当報告書。1995千歳市教委調査。縄文早～前・中・後期住居跡、周堤墓、盛土遺構、水場遺構。
93	キウス5	集落跡・墓低湿部ほか	縄文早～晩期、続縄文擦文、アイヌ	1994～1998（財）道埋文センター、1997千歳市教委調査。各期住居跡・土壙、Tピットほか。縄文中期以降の柵列。
94	キウス川	遺物包含地	縄文後期	
95	中央目黒	遺物包含地	縄文後・晩期	モウシ川右岸段丘
96	ポロナイ	遺物包含地	縄文中～晩期	1967石川徹、大場利夫『千歳遺跡』3頁。ポロナイ川左岸段丘。（旧称：泉郷）
97	マオイトー1	遺物包含地	縄文中期	円筒上層式
98	マオイトー2	遺物包含地	縄文、続縄文、擦文	丘陵裾
99	マオイトー3	遺物包含地	縄文晩期	台地舌状部先端付近
100	マオイトー4	遺物包含地	縄文	
101	マオイトー5	遺物包含地	縄文中・晩期	
102	ケネフチのチャン	チャシ跡	アイヌ	1935原田二郎・近藤義男
103	トプシナイ1	遺物包含地	アイヌ	舟釘状鉄製品
104	トプシナイ2	遺物包含地	縄文中・後期	
105	トプシナイ3	遺物包含地	縄文中・晩期	1922頃　河野常吉・福元寅太郎　遺物採集か？
106	イカベツ1	遺物包含地	続縄文	後北C2式
107	イカベツ2	遺物包含地	縄文前・後・晩期、擦文	綱文、堂林、タンネトウL式
108	ケネフチ1	遺物包含地	縄文早期	中茶路式
109	ケネフチ2	遺物包含地	縄文後期	
110	ケネフチ3	遺物包含地	縄文早・晩期、擦文	
111	ケネフチ4	遺物包含地	縄文中期	
241	根志越3	遺物包含地	アイヌ	丸木舟　（長さ約7m、幅約0.6m）
242	キウス6	遺物包含地	縄文晩期	
245	オサツ14	集落跡	縄文前期～晩期、擦文	1994（財）道埋文センター調査。縄文前期、中期の竪穴。縄文中期・後期の土壙。
246	アンカリトー8	遺物包含地	縄文晩期	タンネトウL式
261	ケネフチ6	集落跡	縄文早期、擦文	コッタロ、中茶路、東釧路式
265	キウス7	集落跡・墓ほか	旧石器、縄文早・中・後・晩期、続縄文、擦文、アイヌ	1993～1998年（財）道埋文センター調査。細石刃核を含む旧石器ブロック、縄文早・中・後期住居跡、縄文早・後期～続縄文土壙、Tピット、アイヌ期道跡ほか
269	オサットー1	遺物包含地・墓	縄文早・中・後・晩期、アイヌ	1993（財）道埋文センター調査。
275	キウス8	遺物包含地	縄文中・晩期	一部開削。
277	チプニー1	遺物包含地	縄文後・晩期、擦文、アイヌ	2001（財）道埋文センター調査。土壙、Tピット。アイヌ期焼土・集石。
278	チプニー2	遺物包含地	縄文早・晩期	2001（財）道埋文センター調査。

表Ⅱ－２　周辺の遺跡一覧（長沼町）

No.	遺跡名	種別	時期	発掘調査歴等
1	幌内A	住居跡	縄文中・後期、擦文	道路に接した林内に竪穴住居跡が保存されている。
2	幌内B	遺物包含地	縄文後期末～晩期	
3	幌内C	遺物包含地	縄文中期・後期	
4	幌内D	遺物包含地	擦文・土師	
5	幌内E	遺物包含地	縄文	
6	幌内F	遺物包含地	縄文中期・後期	
7	タンネトウ	遺物包含地	縄文早期・晩期	1957・1958・1961年、札幌西高校発掘調査（名取武光、吉崎昌一）、「タンネトウ遺跡の調査」『郷土の科学』 NO.26　野村崇（1977）
10	幌内H	遺物包含地	縄文中期	
11	幌内I	遺物包含地	縄文後期	草地造成のため一部破壊
12	幌内J	遺物包含地	縄文中期	草地造成のため一部破壊
13	幌内K	遺物包含地		
14	幌内L	遺物包含地	縄文前期・中期・後期、擦文	1962年3月、長沼町教育委員会発掘調査（野村崇）、縄文後期の手稲式土器多い。（旧称：ウレロッチ川左岸遺跡）　野村崇、斉藤徳太郎（1959）
15	幌内M	遺物包含地		
16	幌内N	遺物包含地	縄文後期	
17	幌内南	遺物包含地	縄文後期、擦文、土師	石附喜三男（1961）
18	幌内堂林	遺物包含地	縄文後期	1960年4・9月、吉崎昌一、発掘調査。縄文後期、堂林式土器の標式遺跡　野村崇（1960）・（1962）、野村崇、宇田川洋（1967）

＊遺跡No.は、北海道教育委員会の埋蔵文化財包蔵地カード登載番号による。

以下にこれらの河川流域にある代表的な遺跡を記すこととする。（　）内は図番号である。

①の右岸には堂林遺跡（18）、左岸にタンネトウ遺跡（17）が位置している。両者ともにウレロッチ川から直線距離で500m～1,000mほど離れた、標高50m以上のところにある。前者は縄文時代後期後葉の堂林式土器の標式遺跡である。後者は縄文時代早期中葉と晩期末葉の遺跡で、晩期のタンネトウＬ式土器の標式遺跡である。

②のポロナイ川は長沼町と千歳市の境となっており、両岸に縄文時代中期と後期の遺跡が分布する。

③の右岸には縄文時代中期、左岸には縄文時代早期の遺跡がある。

④の左岸には国指定史跡のキウス周堤墓群が立地しており、右岸にも周堤墓１基（81）が所在する。

⑤のキウス川流域では、平成５（1993）年から当センターがキウス４遺跡をはじめ、横断道用地内の各遺跡の調査を継続して行って、豊富な出土資料が蓄積された。上流のキウス７遺跡（265）では、縄文時代早期後半のコッタロ式期の竪穴住居跡や後期前葉～中葉の竪穴住居跡・貯蔵穴、晩期前葉の土壙・焼土などが見つかっている。キウス５遺跡（93）では、縄文時代早期暁式期の竪穴住居跡、前期綱文式期の集落跡、中期後半の竪穴住居跡・杭穴、後期中葉・晩期と、晩期末葉から続縄文時代前葉にかけての遺構・遺物が出土している。キウス５遺跡に隣接して、キウス４遺跡（92）がある。

⑥の流域には、上流側に擦文時代の遺跡（69・70・71）がある。中流域に所在する丸子山遺跡（85）では縄文時代中期中葉の環壕、後期の周堤墓、擦文時代の竪穴住居跡などが発見されている。

⑦の右岸には、縄文時代晩期から続縄文・擦文時代の遺跡がある。

⑧と⑨の間の標高10m前後の段丘上には多くの遺跡が分布しており、末広遺跡（37・42）では、昭和54（1979）年～昭和56（1981）年・昭和59（1984）年の調査で、縄文時代後期中葉の竪穴住居跡・焼土遺構・周堤墓などが発見された。また、アイヌ文化期の土壙墓や住居跡も多数検出された。オサツ２遺跡（14）は、当センターが平成５（1993）～平成７（1995）年にかけて調査を行い、縄文時代中期後葉から後期初頭と擦文時代の竪穴住居跡、続縄文時代の土壙墓などが発見された。オサツ14遺跡（245）でも、縄文時代前期・中期の竪穴住居跡、縄文時代中期・後期の土壙などが発見されている。また⑧・⑨周辺には擦文時代の遺跡が多いようである。

Ⅲ　調査の方法

1．調査の方法と経過

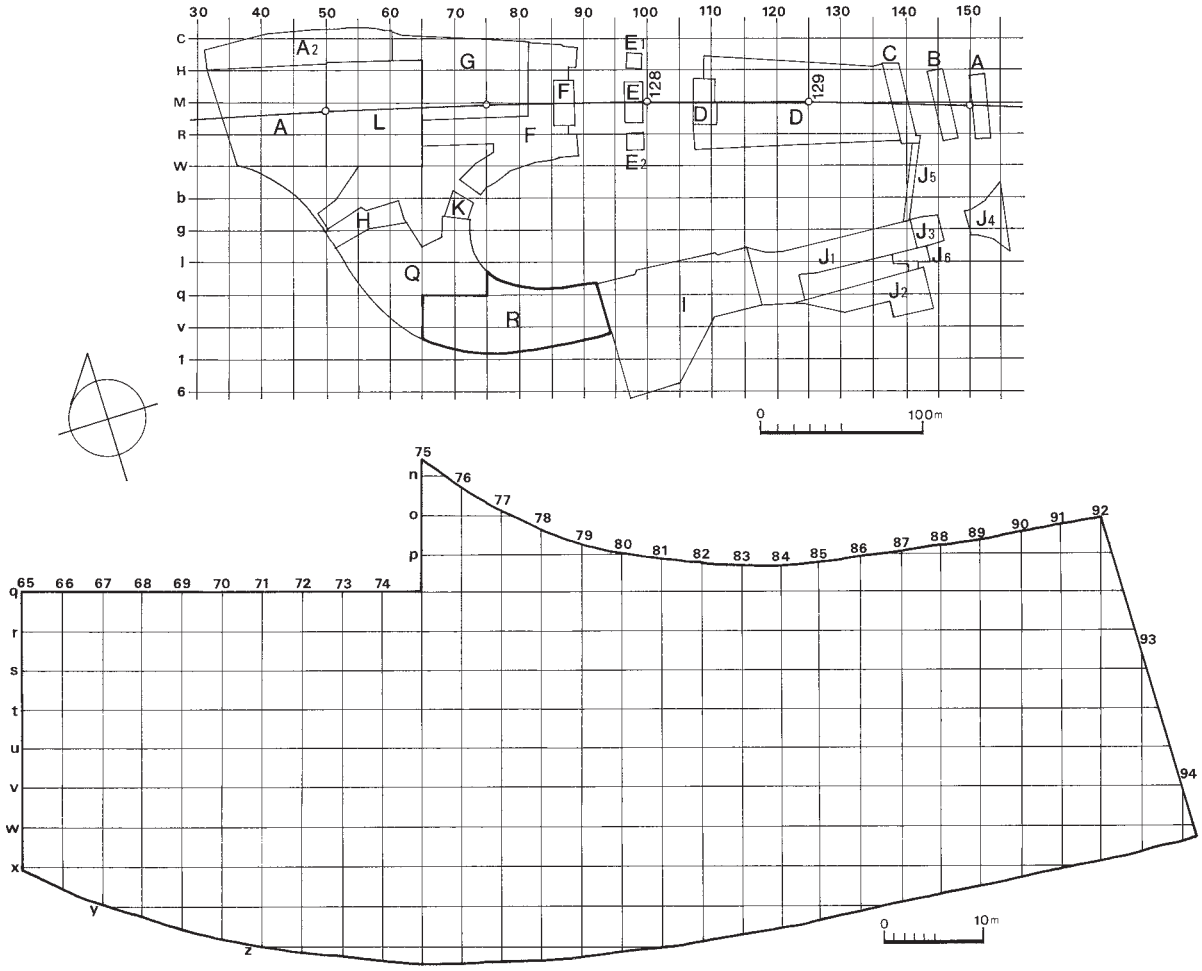
(1) 発掘区の設定

現地調査の基本図は、日本道路公団北海道横断自動車道工事予定図1,000分の１を使用し、発掘区はセンター杭STA128とSTA129を基準とした。基準点を通る線をMラインとし、東西の基準線とする。Mラインから４ｍ毎に北側に平行する線をＬ・Ｋ・Ｊ……とし、南側も同様にＮ・Ｏ・Ｐ…ａ・ｂ・ｃ…１・２・３…と記号を付した。南北線の基準はSTA128を用い、これに直交する線を100ラインとした。これを基準に４ｍ毎に西側に平行する線を99・98・97…とし、東側に平行する線を101・102・103……と記号を付した。それぞれの交点上に杭を打ち、グリッドに区画された北西側の杭を４ｍ四方の発掘区の呼称とした。各グリッドの表示はｑ－83、ｒ－92、ｙ－75などと呼称した。なお、Ｒ地区は南北方向にｎ～ｚ、東西方向に65～94の区画線が引かれた。また、盛土遺構（上位）の調査では、各グリッドをさらに１ｍ四方の小グリッドに区画した（第Ⅳ章）。

基準杭の座標値の成果は、以下のとおりである。座標系は平面直角座標系第Ⅻ系である。

STA-128（M-100）　X＝－124,317.2305　Y＝－43,659.0574

STA-129（M-125）　X＝－124,346.6038　Y＝－43,563.4703



図Ⅲ－１　各年度の調査区・Ｒ地区発掘区設定図

（2）発掘調査の方法と経過

調査は時間的制約のもとで行われたため、トレンチ調査、25％調査を随時行い、土層の堆積状況や遺構・遺物の出現、出土状況などを把握・検討し、重機を併用しながら掘り下げ、調査を行った。

まず、Ⅰ・Ⅱ層を調査区全域にわたって重機で除去した。次に、75ライン・85ライン・調査区東端ライン（92ライン）に沿って幅１ｍ～２ｍのトレンチを設定して調査を行った。盛土遺構は当初、調査区西～北東の一部にあると推定されていた。しかしトレンチ調査の結果、調査区南部から北東にかけて広範囲に盛土遺構が分布し、遺存状態も良好であることがわかった。このため、盛土遺構の調査に時間をかけ、包含層調査においては重機を併用することとした。

Ⅲ層～Ｖａ層では、25％調査を行い、その結果から遺物をほとんど包含しないⅢ層上位～中位の残りを重機で除去した。Ⅲ層下位・Ｖａ層を掘り下げ盛土遺構上面を検出し、この時点で空中写真撮影を行った。盛土遺構は小グリッドを設定し、土壌をすべて採取し水洗選別をするなど、詳細に調査を行った（第Ⅳ章）。盛土遺構調査後、Ｖｂ層上面で遺構確認を行い、Ｖｂ層の25％調査を行って残りを重機で除去した。以下、白粘土層（Ｖｂ－ｃ層）・Ｖｃ層も同様の調査方法で、ほぼⅧ層上面まで掘り下げた。

調査区西側は、耕作による撹乱層を重機で除去した後、盛土遺構の調査が後半を向かえた段階でSE層などで遺構検出作業を行った。多数の土壙・柱穴の調査を行ったが、密集しており現地で建物跡の柱穴配置が明瞭に確認できたものは少なく、整理作業において建物跡の図上復元を行ったものも多い。また低地部では、一部重機を併用しながらⅧ層上面（またはⅦ層）まで掘り下げた。

遺物の取り上げ

遺物は以下の三通りの方法で取り上げた。

①「点上げ」……トータルステーションによって空間的位置を測定して遺物を取り上げる。

②「グリッド上げ」……発掘区・層位を記録してまとめて遺物を取り上げる

③「土嚢上げ」……①②の後、発掘区（小発掘区）の土壌を採取し、水洗選別により遺物を得る。

遺物量が膨大なため、「点上げ」は遺物の内容や発掘区を絞り込んだ。84ラインは全点取り上げに努めたが、それ以外は盛土遺構において土器の口縁部を取り上げるにとどめた。ただし、木製品や特殊な土製品・石製品なども一部点上げを行っている。取り上げ総件数は131,976件である。また、まとまって出土した遺物（一括出土遺物）は、出土状況を実測して取り上げた。

「グリッド上げ」は遺物包含層・盛土遺構において調査区全域にわたって行っている。

「土嚢上げ」は盛土遺構のほぼすべてで行っている。

トータルステーションの使用について

現場では上記遺物取り上げのほか、地形測量、遺構実測などについて常駐の測量業者によりトータルステーションを使用し、作業を行った。測量した当日のうちに遺構図および点上げ遺物データを打ち出し、確認を行った。

フローテーション

盛土中の焼土のほぼすべて・盛土遺構の各ブロックの一角（コラムサンプル）・土壙の一部の土壌を採取し、フローテーション法により微細遺物を分離し採集した。現場ではコンテナに広げて十分乾燥させ、その後乾燥重量・体積を記録し、フローテーションマシーンを用いて残渣・浮遊物を回収した。なお浮遊物の回収には２種類のフルイ（フルイ目2.00㎜、0.425㎜）を用いて分別採取し、残渣とともに回収した（第Ⅳ章－４）。

(3) 整理作業の方法と経過

出土遺物は、まず現地で水洗・分類・遺物台帳作成などを行った。土壌水洗も一部行った。しかしながら遺物量が多く（コンテナ約3,000箱分)、一次整理自体が多く残り、土壌水洗・フローテーション資料（合計土嚢約10万袋）のほとんどと、グリッド上げ遺物の一部（コンテナ約400箱分）を現地に残して越冬することになった。これらは平成11年度に第２調査部第１調査課が現地を担当し、土壌水洗・フローテーション・分類などの作業を行った。

その後の整理作業は、札幌の整理作業事務所（平成11年９月まで）および江別市に移転した北海道埋蔵文化財センター整理作業所（平成11年10月から）で行った。盛土遺構部分の一次整理作業と並行して、盛土遺構以外の遺構図面の作成、出土遺物の整理を先行して行い、北埋調報148集『キウス４遺跡（6)』を刊行した。その後、盛土遺構・低地部•遺物包含層の遺構図面の作成、遺物整理を行った。

※遺物注記内容

「遺跡名」.「発掘区(小グリッド含む)」.「遺構名」.「層位」.「遺物番号(点上げ)」

例；　（盛土遺構）　　キ４．ｒ87－12．RMD．14.19682

　　（包含層）　　キ４．ｐ88．Ｖａ

土器の整理

注記・分類などの一次整理作業が約１年間続いた。分類は特に主体時期（縄文時代後期）の口縁部において文様や形状から細分類を行った。遺物台帳は、㈱シン技術コンサルに入力を委託し、『遺跡管理システム』により三次元的位置と属性一覧を表示できるようにした。また、接合・復元に約２年間を要し、650個体以上の復元土器と5,000件を超える接合データを得た。680点（未掲載含む）について拓本作業を行った。復元土器については、接合図を作成した。

石器の整理

石器は、石鏃・石斧などの大分類からさらに形態などの詳細な分類作業や残存状態などの観察作業がしばらく続いた。遺物台帳は、土器と同様に㈱シン技術コンサルに入力を委託し、『遺跡管理システム』により属性一覧を表示できるようにした。また石器集中や礫石器の一部・石製品の一部について接合作業を行い、接合図を作成した。

微細遺物の整理

フローテーションで得られた微細遺物の選別•同定作業は、まず現場段階で残渣の選別を行った。二次整理では特に浮遊物の選別について約３年をかけ、膨大な資料を得た。動物遺存体の同定作業は千歳サケのふるさと館　高橋理氏の指導を受けある程度まで分類作業を行った。その後、いわき短期大学山崎京美氏と北海道大学大学院太子夕佳氏により同定前の分類作業が行われた。最終的な同定と原稿執筆は高橋理氏に依頼した。(Ⅷ章－３)。植物種子は多量のため２回に分けて札幌国際大学吉崎昌一氏・北海道大学椿坂恭代氏に同定を依頼した（Ⅷ章－４)。

木製品ほかの整理

木製品・繊維製品や漆膜などは、第１調査部第１調査課が観察・接合作業を行った後に保存処理を施し、処理後の観察・実測・写真撮影などを行った。木製品の樹種同定は農林水産省森林総合研究所平川泰彦氏の指導のもとに当センター菊池育子が行った（Ⅵ章)。

このほか、記録類の整理、図版作成、遺物集計、土器・石器等の写真撮影など報告書作成作業と遺物の収納作業を行った。

２．土層

キウス４遺跡の基本土層とＲ地区での状況は以下の通りである。

Ⅰ層：現表土。耕作土。

Ⅱ層：樽前ａ降下軽石層（Ｔａ－ａ）。1739年降下。砂質のテフラを主体とする。数枚のフォールユニットからなる。

Ⅲ層：黒色腐植土。新千歳空港関連調査の「第一黒色土層（ＩＢ層）」に相当する。

Ⅲ層はＢ－Ｔｍ火山灰（10世紀中頃降下）と樽前ｃ降下軽石（Ｔａ－ｃ）の混在度によって三層に分けている。

Ⅲ層上位はＢ－Ｔｍ火山灰層の上にあり、淡い黒色土である。Ⅲ層中位は黒色腐植土である。Ⅲ層上位・中位に遺物はあまり含まれていない。Ⅲ層下位はＴａ－ｃが多量に混在する黒色土で、本来含まれる縄文時代晩期以降の遺物はほとんどなく、縄文時代後期の遺物が多く含まれている。

Ⅳ層：樽前ｃ降下軽石・スコリア層（Ｔａ－ｃ・2,300～2,500年前降下）。調査区中央部南側の低地部の小範囲に密に堆積する。

Ⅴ層：黒色腐食土。新千歳空港関連調査の「第二黒色土層（ⅡＢ層）」に相当する。粘性に富む。

Ⅴ層は盛土遺構を境にＶａ層とＶｂ層に分層した。

Ｖａ層は黒色腐植土に恵庭ａ降下軽石（Ｅｎ－ａ）を含む土で、盛土上部の二次堆積やその後の腐植土の堆積から由来するものと考えられる。本来は縄文後期末～晩期の遺物を含む層であるが、前述の理由により縄文時代後期の遺物を大量に含む。

Ｖｂ層は盛土遺構より下位を形成する黒色土で、低地部では泥炭、シルト、粘土などが挟在し、大きく三層に分けている。上層（Ｖｂ層）は水分を含むと粘性に富む黒色腐植土である。縄文時代後期の遺物を含む。中層は河川氾濫による堆積物とみられる白粘土層、下層はＶｃ層としている黒色土で、縄文時代早期～前期の遺物が出土している。

なお白粘土層とＶｃ層は低地部に広く堆積し、また75ラインの南部ではＶｂ層と白粘土層の間に泥炭層がみられる。

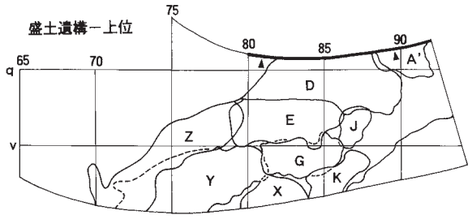
Ⅵ層：暗褐色土～褐色土。Ⅴ層とⅦ層の漸移層。

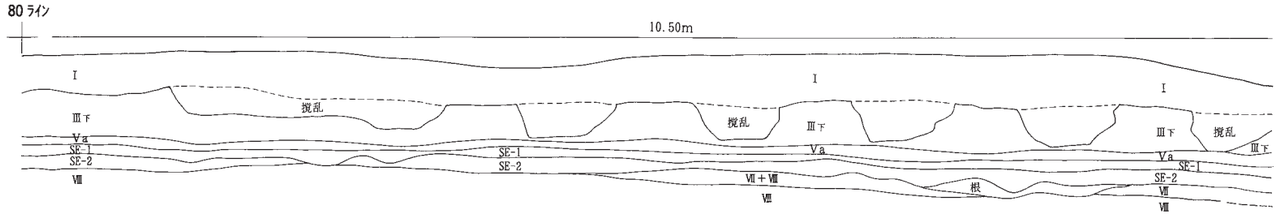
Ⅶ層：ローム層。恵庭ａ降下軽石（Ｅｎ－ａ）が風化作用によってローム化した層。

Ⅷ層：恵庭ａ降下軽石層（Ｅｎ－ａ・15,000～17,000年前降下）。

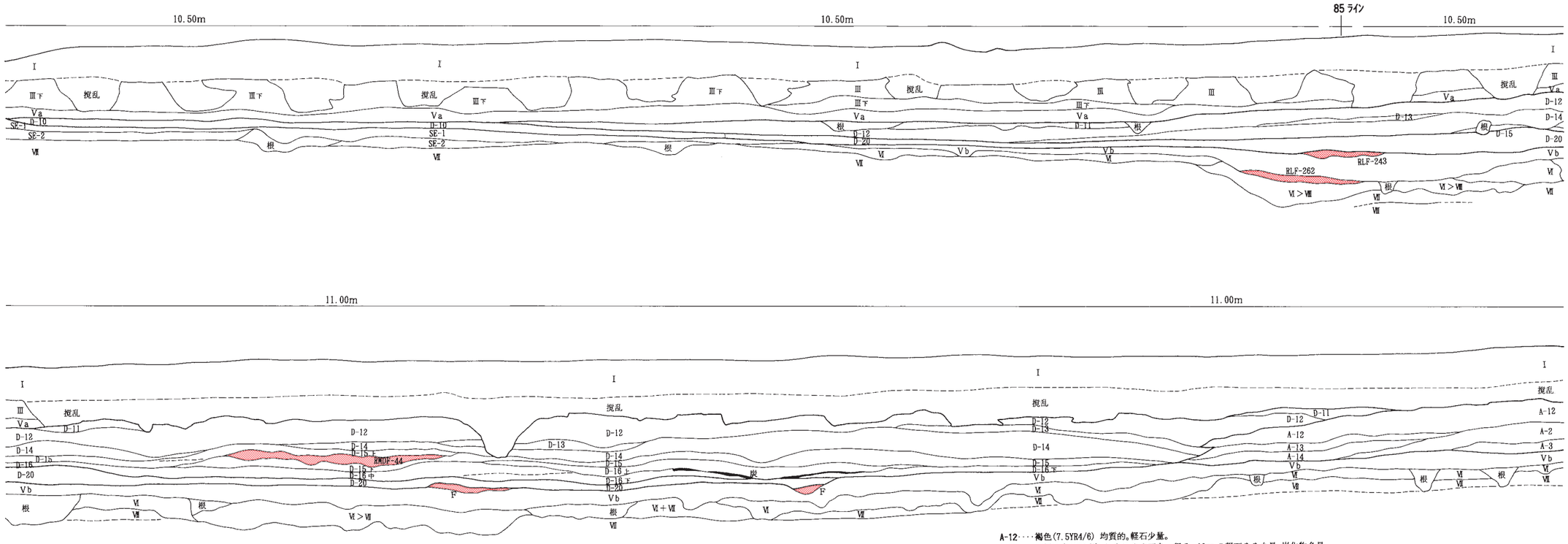
調査区西側、標高９～10ｍ付近の平坦地には、Ⅲ層とⅧ層の間に「ＳＥ層」と呼称した層が二層みられる。上層は「ＳＥ－１層」で、黒色腐植土にＥｎ－ａがやや多く混入するものである。下層は「ＳＥ－２層」で、黄褐色土にＥｎ－ａが多く混入する土である。ＳＥ－１・２層からは縄文時代後期の遺物が出土している。ＳＥ層は、Ⅴ層～Ⅷ層の一部が削平された後の再堆積層と考えられるが、再堆積が人為的な整地行為によるものであるか、自然堆積によるものであるのか、判別がつきにくい部分が多い。

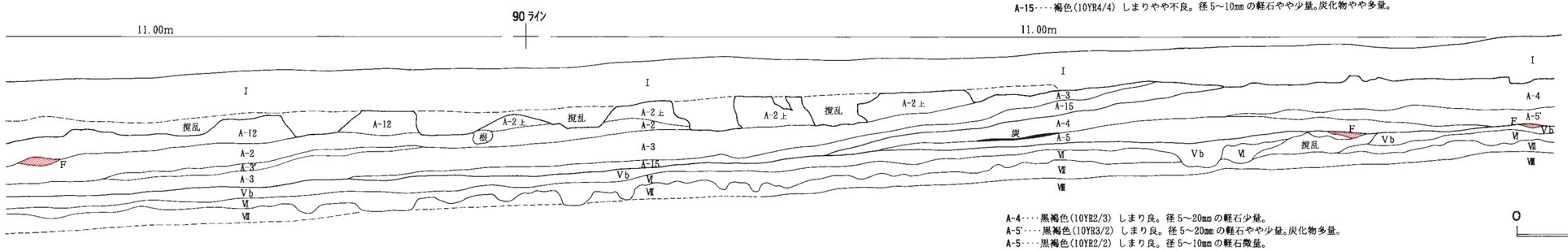
また、調査区南西部の段丘崖に見られた「Ｖｄ層」は、黒褐色土にＥｎ－ａや炭化物などが混在する乱れた層である。盛土遺構の状況に近いが、傾斜が急で盛り上げた状態でなく、礫を多く含ませているなど、調査区中央部の盛土遺構とは異なる堆積状況である。また、縄文時代後期の遺物を多量に含むが、調査区中央部の盛土遺構よりも全体的に古段階のものが多い。





SE-1····黒褐色(10YR2/2)［Vb＋Ⅶ］　しまりやや不良。粘性やや強。径5～10㎜の軽石やや多量。
SE-2····暗褐色(10YR2/2)［Ⅵ＋Ⅷ］　しまりやや不良。粘性やや強。径5～20㎜の軽石多量。

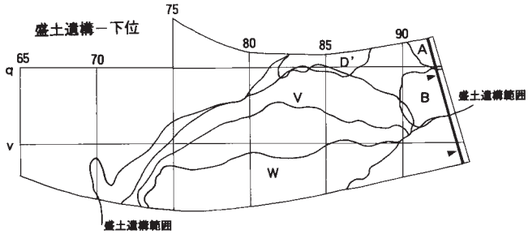


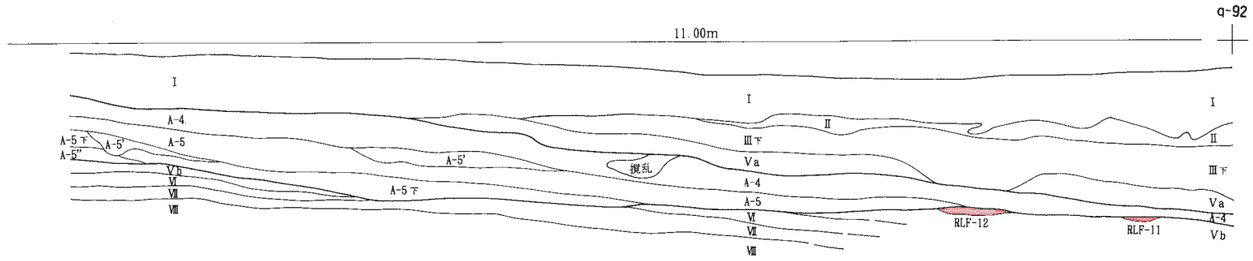


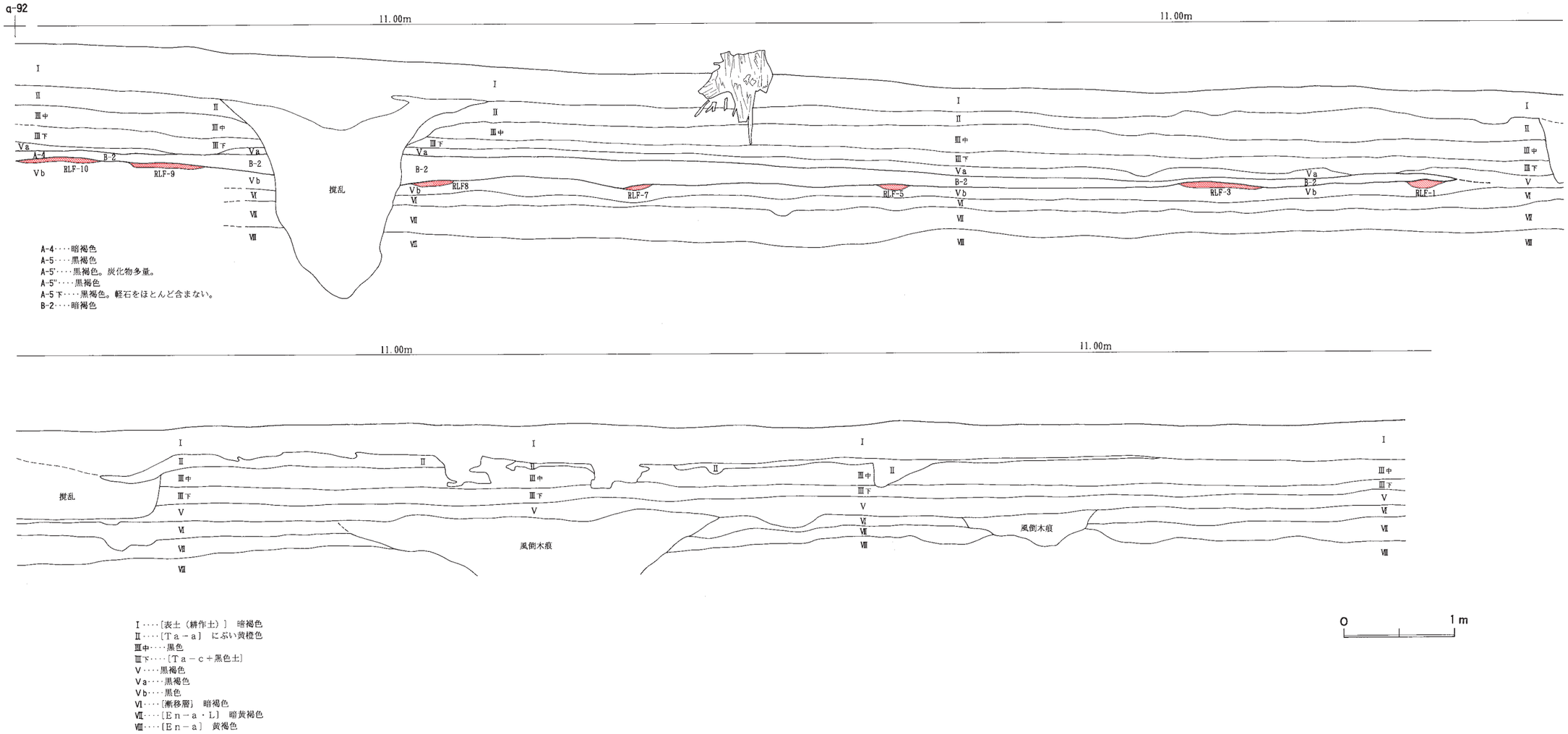
A-12····褐色(7.5YR4/6)　均質的。軽石少量。
A-13····黒褐色(10YR3/2)　しまりやや不良。径5～10㎜の軽石やや少量。炭化物多量。
A-14····褐色(7.5YR4/6)　均質的。軽石少量。
A-2上····褐色(10YR4/4)　軽石やや少量。
A-2····褐色(10YR4/4)　しまり良。径5～20㎜の軽石やや多量。
A-3'····暗褐色(10YR3/3)　しまりやや良。径5～10㎜の軽石やや多量。
A-3····褐色(10YR4/6)　しまり良。径5～10㎜の軽石やや少量。炭化物少量
A-15····褐色(10YR4/4)　しまりやや不良。径5～10㎜の軽石やや少量。炭化物やや多量。

A-4····黒褐色(10YR2/3)　しまり良。径5～20㎜の軽石少量。
A-5'····黒褐色(10YR3/2)　しまり良。径5～20㎜の軽石やや少量。炭化物多量。
A-5····黒褐色(10YR2/2)　しまり良。径5～10㎜の軽石微量。

図Ⅲ－２　調査区北端土層断面図



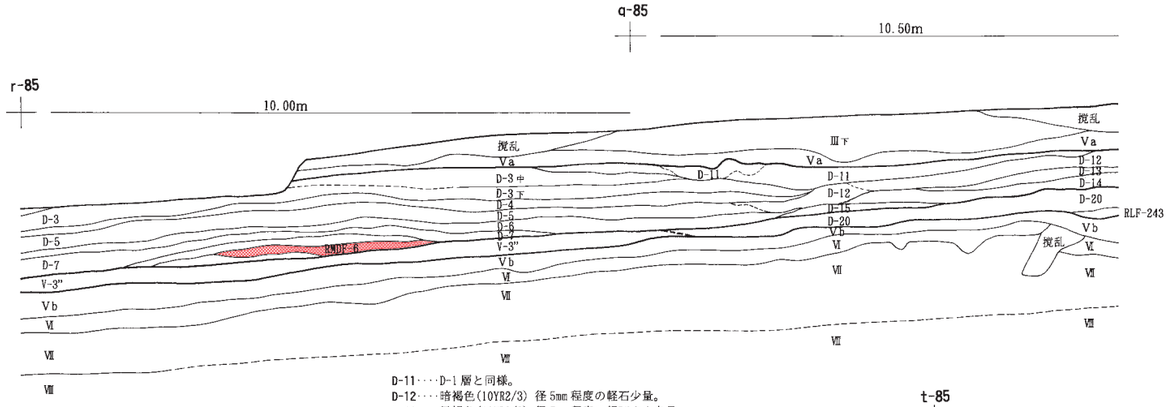


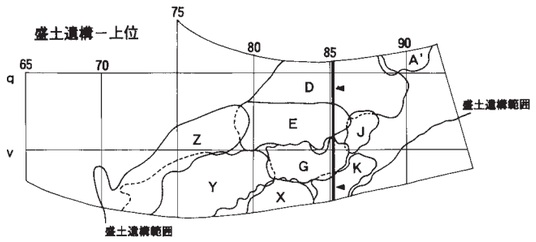


A-4····暗褐色
A-5····黒褐色
A-5'····黒褐色。炭化物多量。
A-5"····黒褐色
A-5下····黒褐色。軽石をほとんど含まない。
B-2····暗褐色

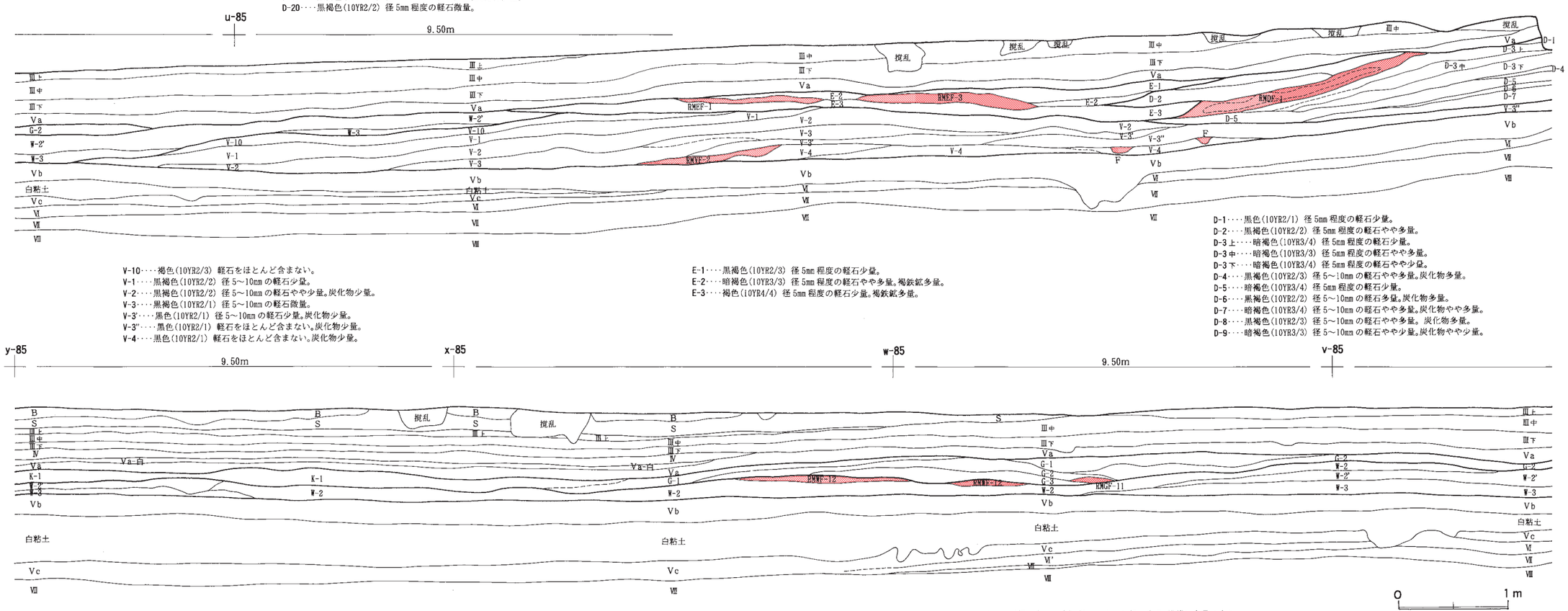
Ⅰ····[表土（耕作土）]　暗褐色
Ⅱ····[Ｔａ－ａ]　にぶい黄橙色
Ⅲ中····黒色
Ⅲ下····[Ｔａ－ｃ＋黒色土]
Ⅴ····黒褐色
Ⅴａ····黒褐色
Ⅴｂ····黒色
Ⅵ····[漸移層]　暗褐色
Ⅶ····[Ｅｎ－ａ・Ｌ]　暗黄褐色
Ⅷ····[Ｅｎ－ａ]　黄褐色

図Ⅲ－３　調査区東端土層断面図





D-11……D-1 層と同様。
D-12……暗褐色(10YR2/3) 径 5mm 程度の軽石少量。
D-13……黒褐色(10YR2/2) 径 5mm 程度の軽石やや多量。
D-14……暗褐色(10YR4/3) 径 5～10mm の軽石少量。
D-15……黒褐色(10YR2/2) 径 5～10mm の軽石多量。炭化物多量。
D-20……黒褐色(10YR2/2) 径 5mm 程度の軽石微量。



V-10……褐色(10YR2/3) 軽石をほとんど含まない。
V-1……黒褐色(10YR2/2) 径 5～10mm の軽石少量。
V-2……黒褐色(10YR2/2) 径 5～10mm の軽石やや少量。炭化物少量。
V-3……黒褐色(10YR2/1) 径 5～10mm の軽石微量。
V-3'……黒色(10YR2/1) 径 5～10mm の軽石少量。炭化物少量。
V-3"……黒色(10YR2/1) 軽石をほとんど含まない。炭化物少量。
V-4……黒色(10YR2/1) 軽石をほとんど含まない。炭化物少量。

E-1……黒褐色(10YR2/3) 径 5mm 程度の軽石少量。
E-2……暗褐色(10YR3/3) 径 5mm 程度の軽石やや多量。褐鉄鉱多量。
E-3……褐色(10YR4/4) 径 5mm 程度の軽石少量。褐鉄鉱多量。

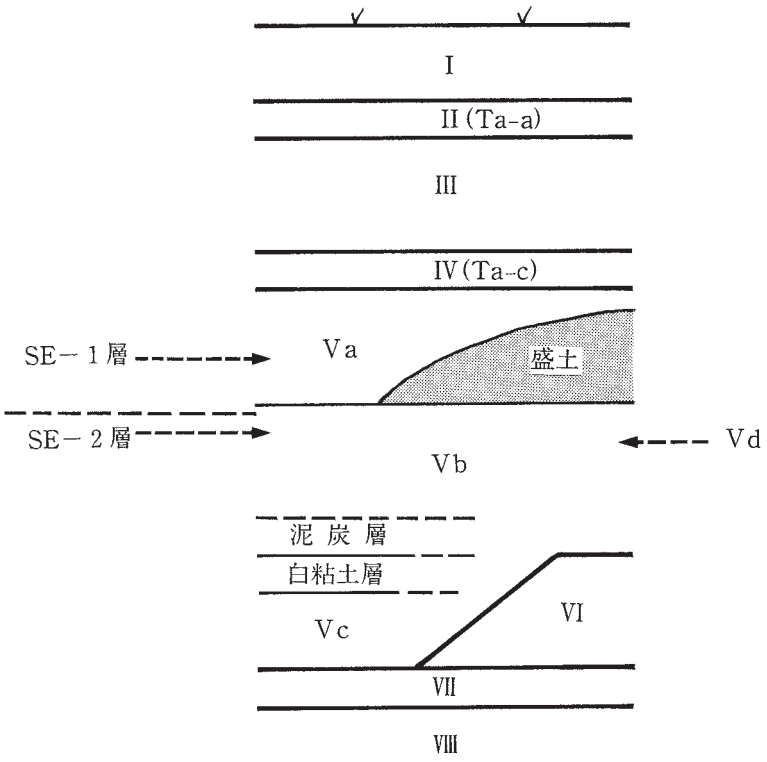
D-1……黒色(10YR2/1) 径 5mm 程度の軽石少量。
D-2……黒褐色(10YR2/2) 径 5mm 程度の軽石やや多量。
D-3 上……暗褐色(10YR3/4) 径 5mm 程度の軽石少量。
D-3 中……暗褐色(10YR3/3) 径 5mm 程度の軽石やや多量。
D-3 下……暗褐色(10YR3/4) 径 5mm 程度の軽石やや少量。
D-4……黒褐色(10YR2/3) 径 5～10mm の軽石やや多量。炭化物多量。
D-5……暗褐色(10YR3/4) 径 5mm 程度の軽石少量。
D-6……黒色(10YR2/2) 径 5～10mm の軽石多量。炭化物多量。
D-7……暗褐色(10YR3/4) 径 5～10mm の軽石やや多量。炭化物やや多量。
D-8……黒褐色(10YR2/3) 径 5～10mm の軽石やや多量。炭化物多量。
D-9……暗褐色(10YR3/3) 径 5～10mm の軽石やや少量。炭化物やや少量。

B……黒色粘質土(N 2/0) 粘性強。しまり良。
S……暗褐色混土砂礫(10YR3/3) 径 2～5mm の砂礫（丸礫）。不均質。
Ⅲ上……黒色粘質土(10YR2/1) 粘性やや強。しまり良。
Ⅲ中……黒色粘質土(10YR1.7/1) 粘性やや強。しまりやや良。砂多量。上面にシルト質火山灰[B-Tm]が散在する。
Ⅲ下……黒色砂礫混土(10YR1.7/1) 粘性やや弱。しまり不良。砂礫[Ta-c]多量。繊維多量。
Ⅳ……黒褐色シルト混砂礫(10YR2/3) しまりやや良。径 2～5mm 程度の砂礫[Ta-c]。繊維多量。
Va-a……褐灰色粘土(10YR5/1) 粘性強。しまり良。
Va……黒色シルト軽石混粘質土(10YR2/1) 粘性やや強。しまりやや不良。径 5mm 程度の軽石[En-a]少量。

Vb……黒色粘質土(N 2/0) 粘性強。しまり良。
白粘土……砂礫混シルト(10YR4/6) 中位～下位に径 10mm 以上の軽石多量。
Vc……黒色粘質土(10YR1.7/1) 下位に軽石を少量巻き込む。
Ⅵ……暗褐色粘質土(10YR3/2)[漸移層] 不均質。
Ⅵ'……黒褐色粘質土(10YR2/2)
Ⅶ……灰黄褐色粘質土(10YR4/2)[En-a・L]
Ⅷ……明黄褐色礫(10YR6/6)[En-a・P] しまりやや良。径 20mm 程度の軽石。

K-1……黒褐色(2.5Y3/2) 径 5～10mm の軽石少量。繊維を多量に含む。
G-1……黒褐色(10YR2/2) 径 5mm 以下の軽石少量。炭化物少量。
G-2……灰黄褐色(10YR4/2) 径 5～10mm の軽石やや多量。炭化物少量。
G-3……暗褐色(10YR3/3) 径 5mm 以下の軽石少量。炭化物やや多量。
W-2……黒褐色(10YR2/3) 径 5mm 程度の軽石やや多量。炭化物やや多量。
W-2'……黒褐色(10YR2/3) 径 5mm 程度の軽石やや少量。炭化物やや多量。
W-3……黒褐色(10YR2/2) 径 5mm 程度の軽石やや少量。炭化物やや多量。繊維を多量に含む。

図Ⅲ－4　85ライン土層断面図



図Ⅲ－5　土層模式柱状図

３．遺構・遺物の分類

(1) 遺構

遺構は、**盛土遺構**のみ掲載した。自然地形である**流水跡**は、本書では遺構の項で取り扱っている。

盛土遺構は、排土などを一定区画内に人為的に堆積させて小高くしたもので、土器・石器等の人工遺物や骨片・炭化物等の自然遺物を多量に含ませているものである。

盛土中の焼土は、周囲よりも明瞭に赤色化した範囲を捕らえており、大小さまざまな形態になっている。盛土中に、一部ブロック状に焼土塊が散在する部分があるが、焼土の範囲からは除外している。

盛土中の灰集中・軽石集中・炭化物集中は、それぞれ際立って密なものについて範囲を示している。

盛土中の遺物集中には、土器以外のものについて範囲を示している。集石・フレイクチップ集中・ベンガラ集中などがある。

(2) 遺物

ａ）土器

器種　大きく鉢形系統・壺形系統に分かれる。

鉢形には、原則として「口径：器高」により深鉢形土器（１：2/3以上）・鉢形土器（１：2/3から１：1/2）・浅鉢形土器（１：1/2～１：1/3）・皿形土器（１：1/3以下）に分類したが、主観的要素も加味した。その他台付きのものや片口が付くもの、舟形に近いものなどがある。

壺形は「口頸部径：胴部最大径」が2/3以下：１のものとし、注口部の有無により壺形土器と注口土器を分離した。壺形土器には、下部単孔土器など特殊なものもある。

そのほか、香炉形や環状形などの異形土器がある。

型式分類　分類規準は、過年度に当センターが行った千歳市周辺の発掘調査によるものとした。

Ⅰ群　縄文時代早期に属する土器群。

ａ類：貝殻腹縁文・条痕文のある土器群。今回の調査では出土していない。

ｂ類：撚糸文・絡条体圧痕文・短縄文などが施される土器群。

ｂ－１類：東釧路Ⅱ式・Ⅲ式に相当するもの。

ｂ－２類：コッタロ式に相当するもの。

ｂ－３類：中茶路式に相当するもの。

ｂ－４類：東釧路Ⅳ式に相当するもの。

Ⅱ群　縄文時代前期に属する土器群

ａ類：いわゆる縄文尖底土器。

ａ－１類：綱文土器・花積下層式併行に相当するもの。

ａ－２類：静内中野式に相当するもの。

ｂ類：円筒下層式・植苗式・大麻Ｖ式に相当するもの。

Ⅲ群　縄文時代中期に属する土器群。

ａ類：円筒上層式・萩ヶ岡１・２式に相当するもの。

ｂ類：円筒土器に後続する土器群。

ｂ－１類：天神山式に相当するもの。

ｂ－２類：柏木川式に相当するもの。

ｂ－３類：北筒Ⅱ式（トコロ６類）に相当するもの。

Ⅳ群　縄文時代後期に属する土器群。

ａ類：初頭～前葉の土器。

ａ－１類：余市式・タプコプ式に属するもの。

ａ－２類：入江式に属するもの。

ｂ類：中葉の土器。

ｂ－１類：ウサクマイＣ式に属するもの。

ｂ－２類：手稲式に属するもの。

ｂ－３類：鍔澗式に属するもの。

ｂ－４類：鍔澗式の新しい段階または「エリモＢ式」に属するもの。

ｃ類：後葉の土器。

ｃ－０類：十腰内Ⅳ～Ⅴ式・新地式など、東北地方の土器及びその影響が顕著なもの。

ｃ－１類：堂林式に属するもの。当遺跡出土遺物の大部分が相当する。

ｃ－２類：「三ツ谷式」に併行するもの（堂林式の新段階）。

ｃ－３類：御殿山式に属するもの。

Ⅴ群　縄文時代晩期に属する土器群。

ａ類：大洞Ｂ・ＢＣ式に属するもの。今回の調査では出土していない。

ｂ類：大洞Ｃ１・Ｃ２式に属するもの。今回の調査では出土していない。

ｃ類：大洞Ａ・Ａ’式・タンネトウＬ式に属するもの。今回の調査では出土していない。

Ⅵ群　続縄文時代に属する土器群。今回の調査では出土していない。

Ⅶ群　擦文時代に属する土器群。

キウス４遺跡出土土器の主体はⅣ群ｂ－４類からｃ－１類にかけてであり、その境界の微妙な段階を含んでいる。本報告書では、口縁部において明確な刻み列をもつものをｂ－４類とし、刻み列をもたないものをｃ－１類とした。また、胴部破片などは「Ⅳ群ｃ類」にまとめているが、大部分はｃ－１類に属するものとみられる。

ｂ）土製品

ミニチュア土製品　　鉢形土器や注口土器を小型化したもの。高さ・長さとも６㎝以下のものとした。「ミニチュア土器」とすべきかもしれないが、特殊な形態をとるものがあることや、他の小型土製品と同様に実用的でないと考えられることから、土製品扱いとした。

スタンプ形土製品　　「スタンプ」に形状が類似する土製品。版部と柄部によって構成されており、版面は円形、楕円形、菱形、星形などさまざまな形態がある。スタンプとして使用された痕跡は確認できず、用途は不明である。

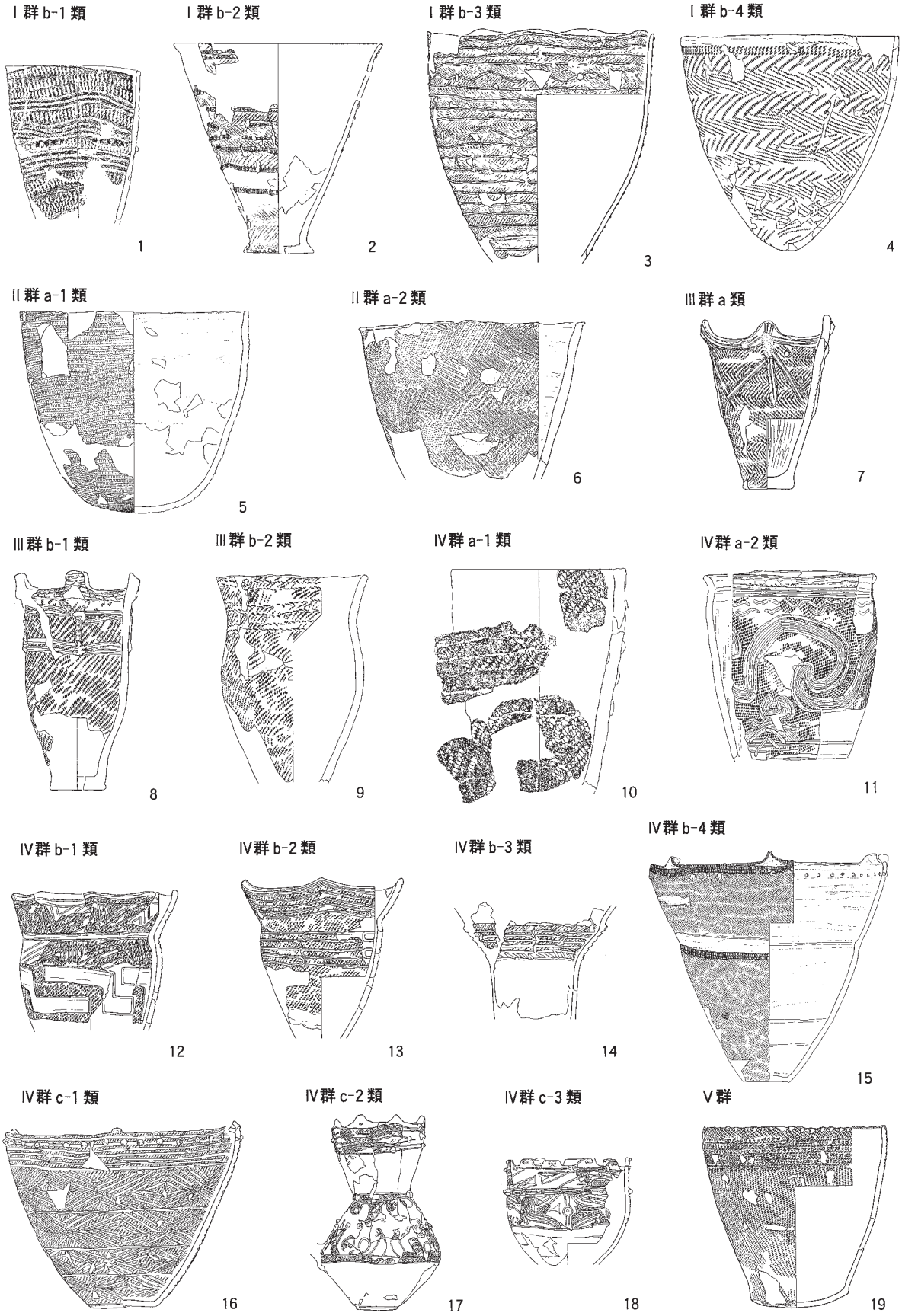
分銅形土製品　　スタンプ形土製品に類似するが、全体が膨らみ、柄部と版部の区別はない。キノコ形土製品とともに東北地方北部に多くみられる。

耳栓　　ドーナツ形、車輪形、スタンプ形土製品を小型化したような形態をもつものがある。

土玉　　球状、楕円体のものがあり、大きさは１～２㎝程度のものが多い。

（不定形）**土製品**　　全体の形が不明な土製品、用途不明な土製品が数多く出土している。

焼成粘土塊　　土器や土製品製作時の不要粘土やその他不定形な粘土塊が焼成されたもの。粘土紐状のものや団子状のものがあるが、多くは不定形である。



1・10『キウス４遺跡（6）』　2・3・5・6・14・16『キウス４遺跡（3）』　4『キウス４遺跡（5）』　7『キウス５遺跡（4）』　8『キウス５遺跡（2）』
9『千歳市ＸＸⅢ　キウス４遺跡』　11『キウス４遺跡（7）』　12・13・19『キウス５遺跡（5）』　15『キウス４遺跡（2）』　17・18『キウス４遺跡（8）』

図Ⅲ－６　土器分類例

c）石器

石器等の分類については、定形的な石器をⅠ～Ⅸ群に分け、定形的な石器と認定しがたい加工痕や使用痕のある剥片・礫をⅩ群、石核・剥片類をⅪ群として、記号を用いて分類した。礫については記号を用いなかった。なお、分類規準・遺物の名称については、おおむね当センターの分類規準にならった。

【Ⅰ　群】石鏃・石槍類

A　類　石鏃
- 1：石刃鏃
- 2：長身のもの
- 3：薄身のもの
  - a：柳葉形のもの
  - b：五角形のもの
- 4：三角形のもの
  - a：凹基のもの
  - b：平基のもの
- 5：木葉形のもの
- 6：菱形のもの
- 7：有茎のもの
  - a：凹基のもの
  - b：平基のもの
  - c：凸基のもの
- 8：分類の困難な破片・未成品など

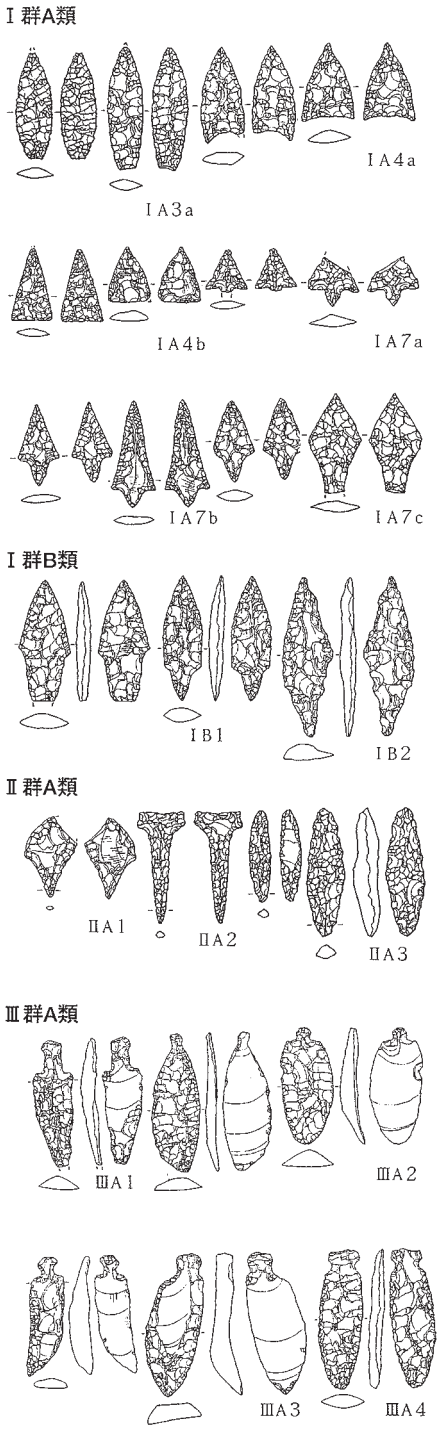
B　類　石槍またはナイフ
- 1：有茎のもの
- 2：茎が明瞭にみられないもの
  （木葉形・菱形のものを含む）
- 8：分類の困難な破片・未成品など

【Ⅱ　群】石錐

A　類　石錐
- 1：素材の一部に刺突を作り出したもの
- 2：つまみ部をもつ棒状のもの
- 3：棒状のもの
- 8：分類の困難な破片・未成品など

【Ⅲ　群】つまみ付きナイフ・スクレイパー

A　類　つまみ付きナイフ
- 1：片面全面加工のもの
  （裏面の一側縁に刃部をもつもの）



図Ⅲ－7　石器分類模式図（1）

2：片面全面加工のもの
3：片面周縁加工のもの
4：両面加工のもの
8：分類の困難な破片・未成品など

B　類　スクレイパー
1：石べらと称されるもの
2：円形のもの
3：主に縦長で下端部に刃部をもつもの
4：側縁に抉入がありそれを刃部とするもの
5：縦長で側縁に刃部をもつもの
6：素材の形状を大きく変えていないもの
8：分類の困難な破片・未成品など

【Ⅳ　群】石斧類

A　類　石斧
1：擦り切り手法によって製作されたもの
2：敲打痕の見られるもの
3：打ち欠きにより整形されているもの
4：部分的に磨かれているもの
5：全面磨製のもの
8：分類の困難な破片・未成品など

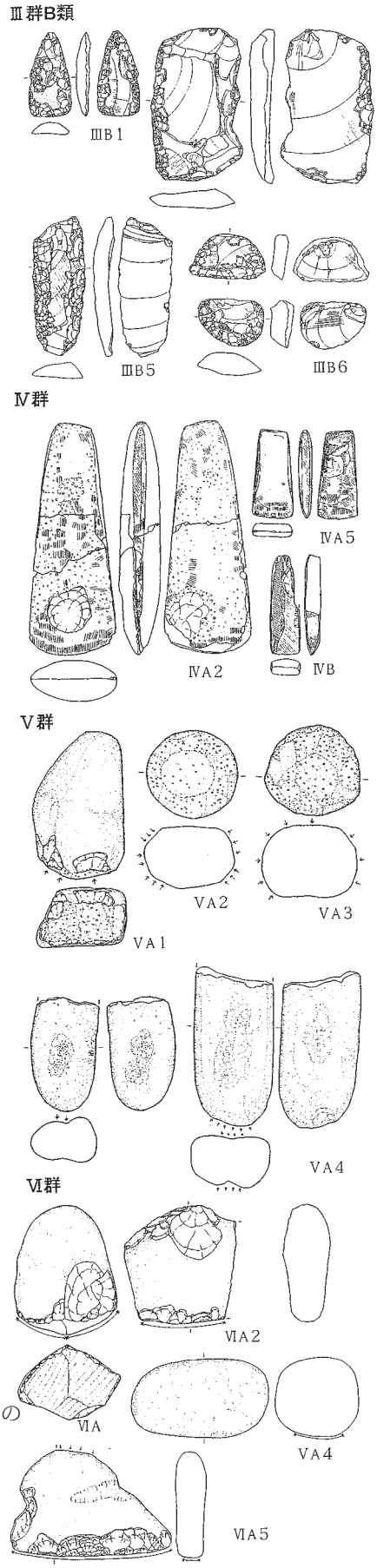
B　類　石のみ

【Ⅴ　群】たたき石

A　類　たたき石
1：棒状礫を素材としたもの
2：扁平礫を素材としたもの
3：円礫を素材としたもの
4：くぼみ石と称されるもの
8：分類の困難な破片・未成品など

【Ⅵ　群】すり石

A　類　すり石
1：断面が三角形の礫の稜をすったもの
2：扁平礫を素材としたもの
3：扁平礫を半円状に打ち欠き弦ををすったもの
4：円礫を素材としたもの
5：北海道式石冠と称されるもの
8：分類の困難な破片・未成品など



図Ⅲ－８　石器分類模式図（2）

【Ⅶ　群】石鋸・砥石類

A　類　石鋸

1：石鋸

8：分類の困難な破片・未成品など

B　類　砥石

1：研磨面に溝があるもの

2：板状のもの

3：角柱状のもの

8：分類の困難な破片・未成品など

【Ⅷ　群】台石または石皿

A　類　台石または石皿

1：台石・石皿

8：分類の困難な破片・未成品など

【Ⅸ　群】石錘

A　類　石錘

【Ⅹ　群】加工痕・使用痕のみられる剥片や礫など

A　類　加工痕・使用痕のみられる剥片

1：剥片に加工痕がみられるもの（Rフレイク）

a：ピエス・エスキーユと称されるもの

b：加工痕から器種を特定できないもの

2：剥片に使用痕がみられるもの（Uフレイク）

B　類　加工痕のみられる礫

1：擦り切り痕のある礫および礫片

2：意図の不明瞭な加工痕のあるもの

【Ⅺ　群】　石核・剥片類

A　類　石核・原石

1：石核

2：石器原石・石器素材と考えられるもの

B　類　剥片・破片・砕片

図Ⅲ－9　石器分類模式図（3）

d）石製品

異形石器　　三日月形や蝶の形をしたもの、突起等の装飾をもつものなどがある。

玉類　　勾玉・管玉・平玉がある。

石棒　　粘板岩製で端部（頭部）に彫刻があるものが特徴的だが、多くは破片である。

オロシガネ状石製品　　小型の石皿で、脚のつくものがある。

（不定形）**石製品**　　全体の形が不明な石製品、用途不明な石製品が数多く出土している。

ｅ）木製品

木製品の分類は用途の明らかなものがあまり多くはないが、推定できるものについてはその名称を与えた。主なものには石斧柄、槌状製品等の工具類、脚付容器などの容器類、杭・杭状製品等の杭類、板材・角材・丸木材加工品などの諸道具類、割材、丸木材、太枝材、細枝材などの材料品がある。このほか簾状製品、筌状製品などの繊維製品があるが、これについても木製品のところで扱った。

ｆ）骨角器等

骨角器等についてもその種類は少ない。主なものにはソケット型骨角製品、尖頭器状骨角器、ヘラ状骨角器、骨針などがある。ホホジロサメ、アオザメなどサメの歯についても遺構の遺物としての性格が強いので骨角器等のところで扱った。

Ⅳ．盛土遺構の調査

Ⅳ　盛土遺構の調査

１．概要

キウス４遺跡では、平成５年度の詳細分布調査において周堤墓とともに南北の盛土遺構が確認された。今回のＲ地区の調査では、そのうち南側盛土の一部が分布することが想定されていたが、調査によって、盛土遺構の分布域が南東側に大きく広がることが把握できたばかりでなく、特に良好な状態で遺存していることが確認された（第Ⅰ章）。

盛土遺構の認定

キウス４遺跡の基本層序のＶ層は本来黒色粘質土であるが、そのＶ層中に黄褐色～暗褐色で本来Ⅷ層中にあるＥｎ-ａ軽石を多量に含む層がある。これは、隣接する他の場所のＶ層～Ⅷ層が掘り返された土壌と考えられ、層序の逆転がみられる。さらに土器・石器等の人工遺物や骨片・炭化物などの自然遺物を多量に含み、何層にもわたって一定区画内に積み上げられている。このような人為的行為が認められるものを盛土遺構と認定した。

Ｒ地区では盛土遺構に類似する部分として「Ｖｄ層」・「ＳＥ層」がある。Ｖｄ層は礫を多く含み、土や遺物を「盛り上げた」のではなく傾斜面に「流し込んだ」ような堆積状態がほとんどであり、「ＳＥ層」は土地の削平後に軽石やロームを中心に再堆積させた（した）状態になっている。これらは上記の堆積状態とやや異なるため、盛土遺構とは別に掲載した。

盛土遺構の位置・規模

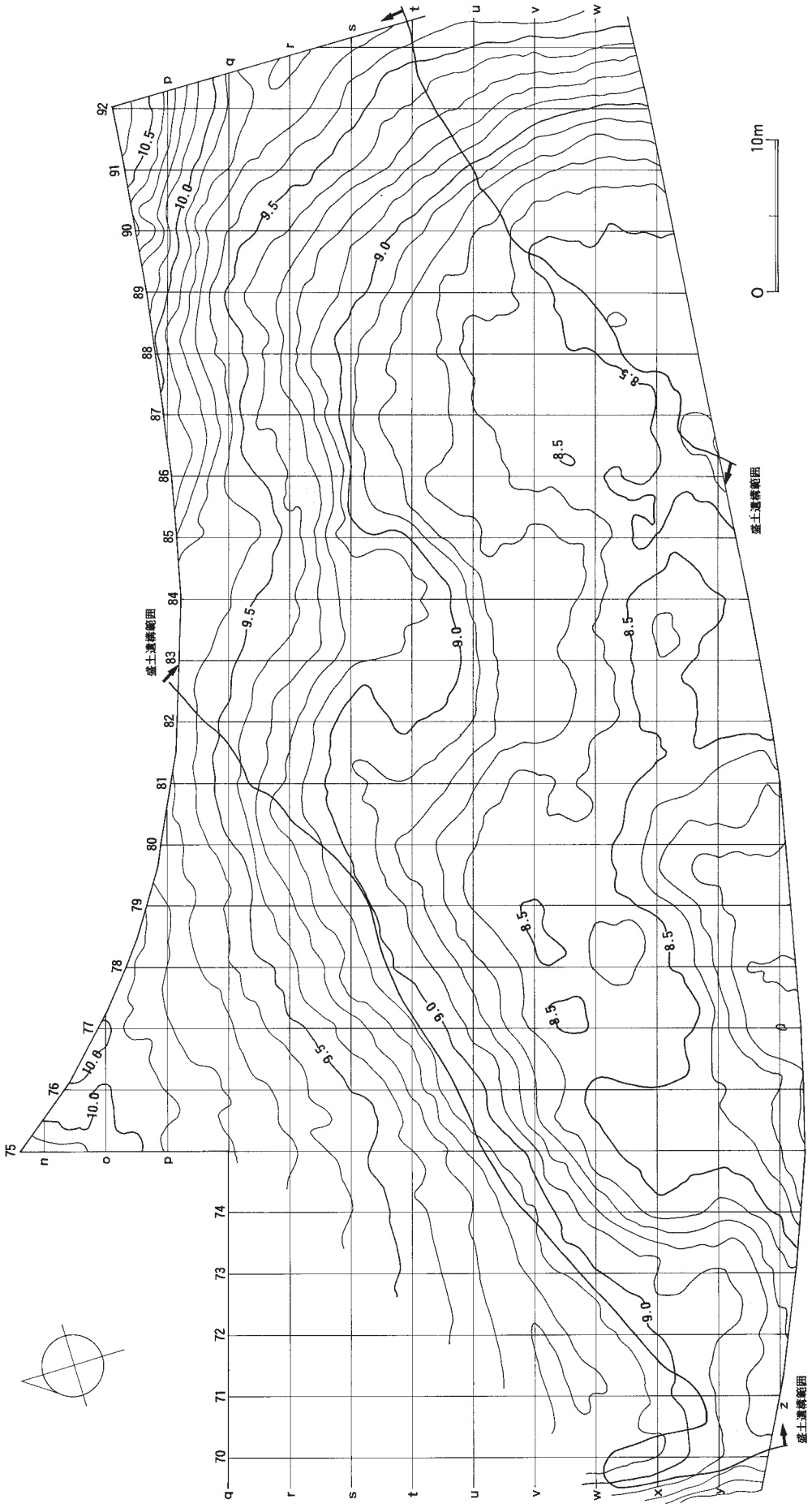
キウス４遺跡の西半部では、台地上の平坦部の土壙•柱穴群を取り囲むように盛土遺構が形成されている。Ｒ地区の盛土遺構は、キウス４遺跡東半部の周堤墓群からのびる「南側盛土遺構」の大部分に相当する。Ｉ地区（北埋調報134集『キウス４遺跡（３）』）で確認された盛土遺構に連続するものである。「南側盛土遺構」は確認できる範囲で長さ約160ｍ、幅約50ｍの規模で、東部の周堤墓群側は幅が狭いものの安定した幅をもって帯状に分布している。このうちＲ地区内で検出された範囲は長さ95ｍ・幅48ｍ、最大層厚は0.8ｍに達している。

確認・調査

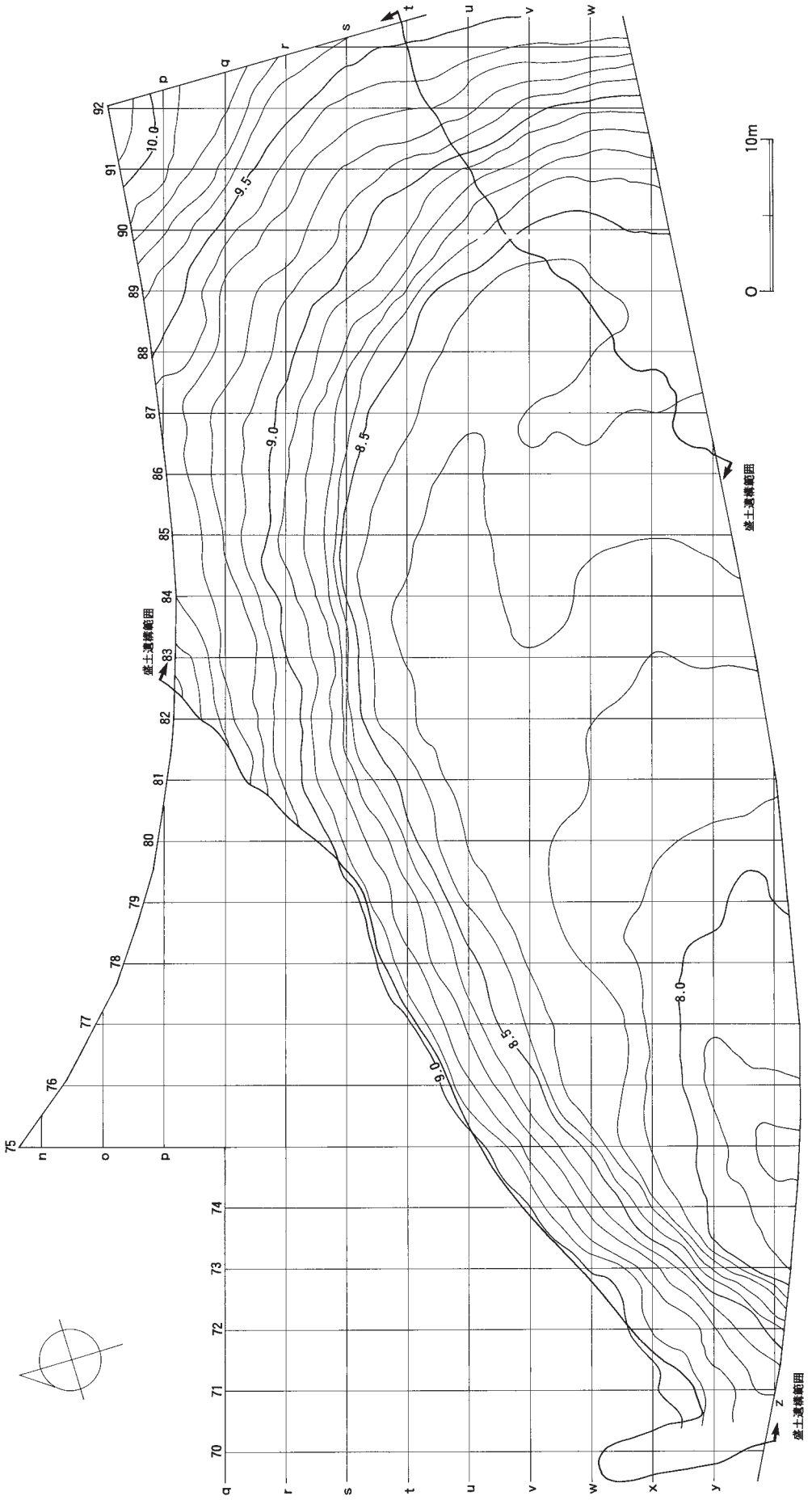
調査ではまず、遺物包含層および盛土の堆積状態を確認し分布範囲を推定するために、75ライン・85ライン・東壁ラインの３本のトレンチ調査を行った。その結果、試掘調査や詳細分布調査で当初想定していた（北理調報119集『キウス４遺跡』より）75ライン北半および85ライン北部・東壁ライン北半という位置とは異なり、75ライン南半および85ライン全部・東壁ライン北半というように、低地側に大きく広がることが確認された。また層厚も当初30㎝前後と想定していたが、50～80㎝程度の厚さで広がることが確認された。

盛土遺構は色調や遺物等の出土状態から大きく２層に分けることができ、トレンチ内ではその上位を「ＭＴ－１層（盛土トレンチ１層）」、下位を「ＭＴ－２層（盛土トレンチ２層）」として調査を行った。上位は黄褐色土を主体として明るく、下位は暗褐色土を主体として暗い。また土器の出土状態では、上位では砕片が多いが、下位では大きな破片が多くその場でつぶれたような土器もいくつか観察された。

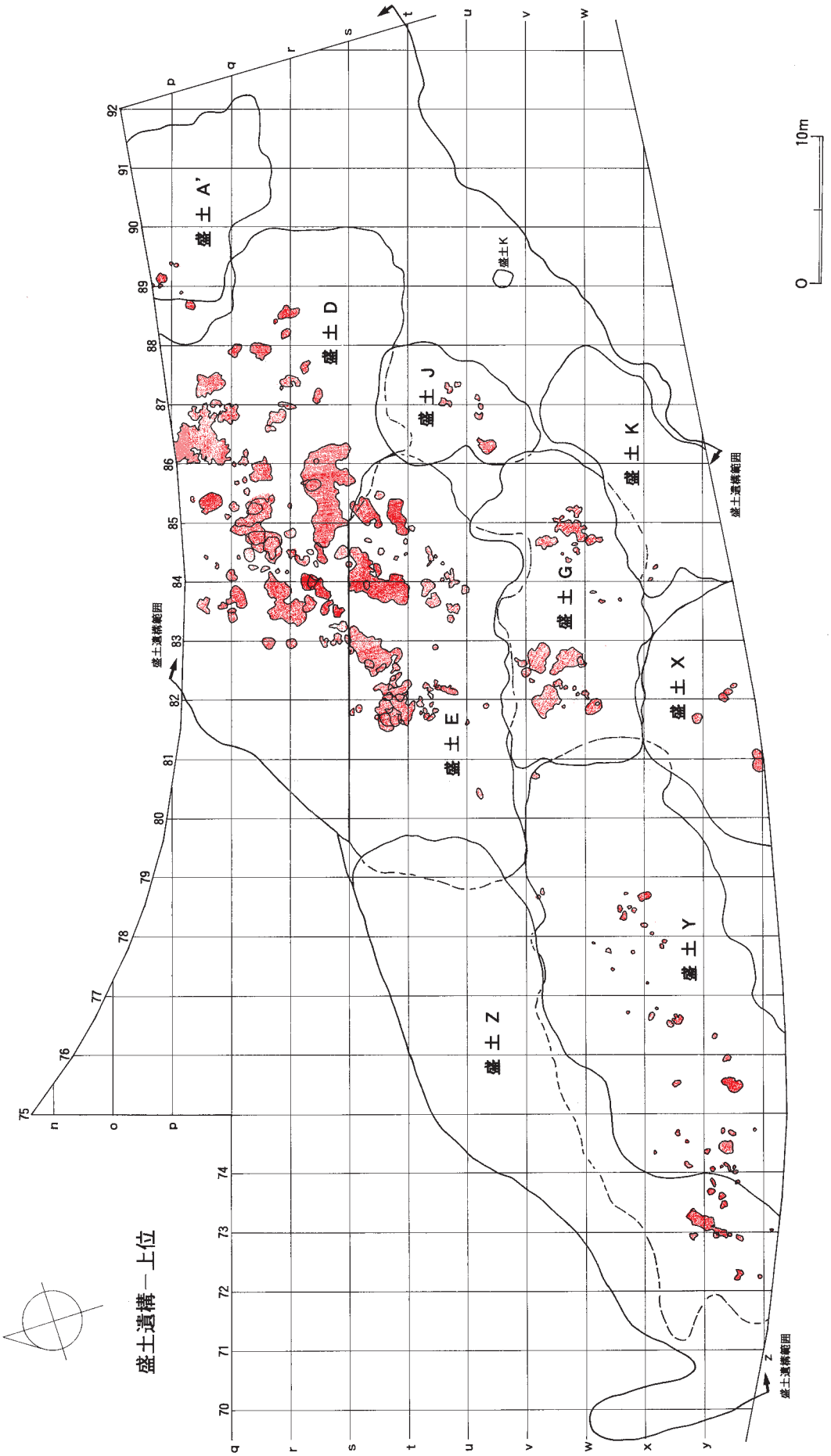
トレンチ調査の後、盛土遺構の上位のＶａ層を掘り下げ、盛土遺構上面の検出作業を行った。盛土遺構の上面地形（図Ⅳ－１）は、北東側は盛土遺構形成前の地形に応じて高くなるが、それ以外は北西側の台地上より標高が低くなっており、視覚的には明瞭に「盛り上げた」という状況には見えない。盛土遺構上面はおおむね平坦であるが、色調がやや明るく幾分高く盛り上がっている部分が10ヵ所ほ



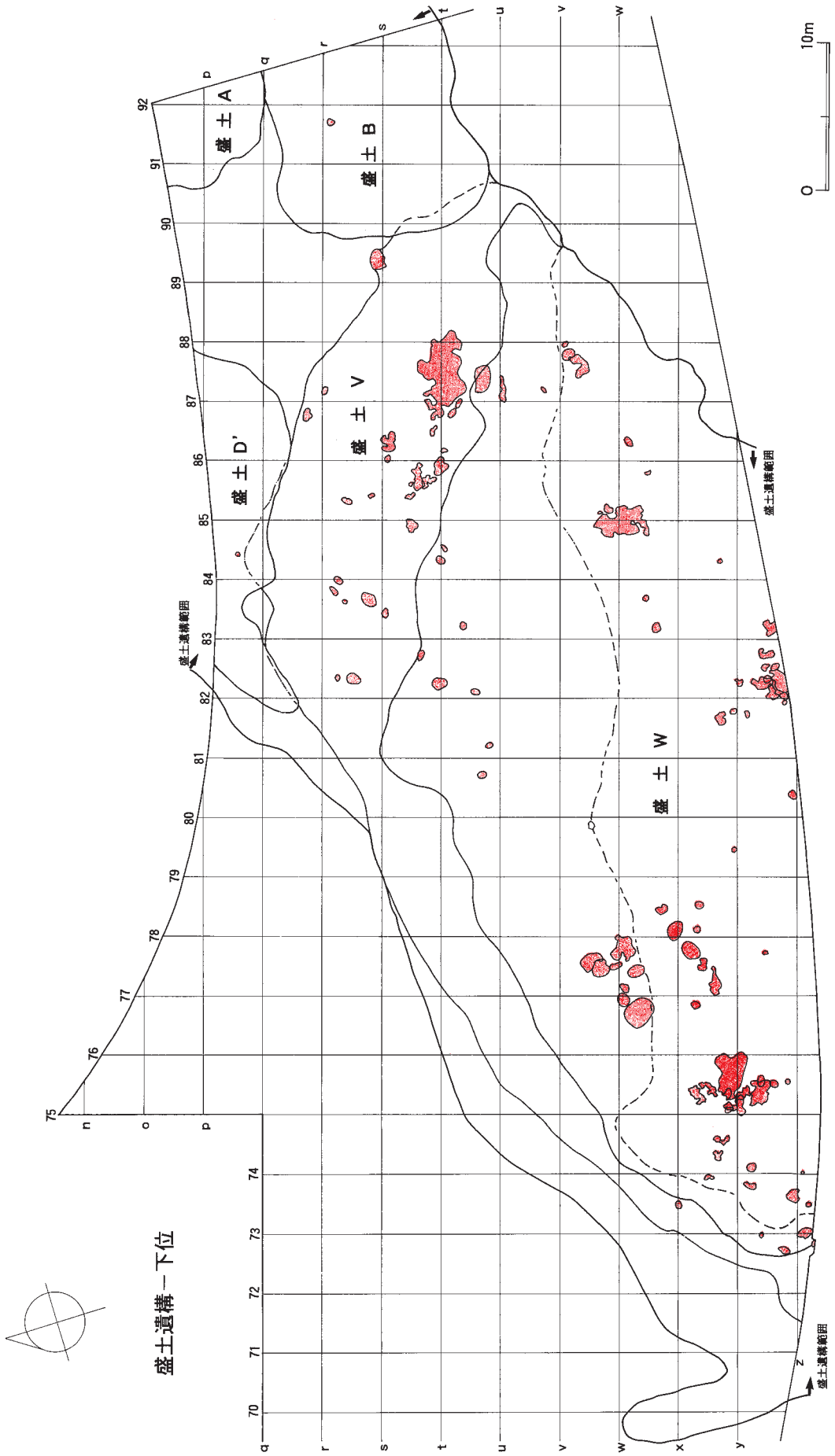
図Ⅳ－１　盛土遺構上面平面図



図Ⅳ－２　盛土遺構形成面（Ｖｂ層上面）コンタ



図Ⅳ－３　盛土遺構－上位　遺構位置図



図Ⅳ－４　盛土遺構－下位　遺構位置図

どみられた。調査にあたっては、それぞれを大きな盛土ブロックとして捉え、盛土遺構－上位の各ブロックに「盛土Ａ」・「盛土Ｂ」(後に盛土遺構－下位に変更)・「盛土Ｄ」・「盛土Ｅ」・「盛土Ｇ」・「盛土Ｊ」・「盛土Ｋ」・「盛土Ｘ」・「盛土Ｙ」・「盛土Ｚ」の名称を付した(図Ⅳ－３)。また、盛土遺構－下位の各ブロックには「盛土Ｗ」・「盛土Ｖ」の名称を付した(図Ⅳ－４)。各盛土ブロックの調査では、盛土本体や複数の盛土にまたがるサブトレンチを設定して、各盛土ブロックをそれぞれ分層した。層位の数は最小で２層（盛土Ｂ・Ｊ・Ｋ・Ｘ)、最大で17層（盛土Ｄ）である。ただし、盛土の高まりを重視して盛土ブロックを認識したため、盛土をまたがって覆っている層について分割しているものがある（盛土Ｄ－１層＝盛土Ｅ－１層など)。各盛土間の層位の関係については図Ⅳ－７に示した。盛土ブロック内の層準は比較的明瞭に分かれるが、特に盛土遺構－上位において各ブロック間が漸移的変化を成しているため、重複関係の不明瞭な部分が多い。

また調査に際しては、盛土遺構の遺物分布状況を詳細に把握するために、以下の方法を用いた。

① 光波測量により遺物の三次元的位置を測定する。
- 84ライン（ｐ－84区～ｙ－84区）のうち幅３ｍは全点位置を測定することに努める
- 上記以外は土器の特徴がよく現れる土器の口縁部に限りすべて位置を測定するよう努める

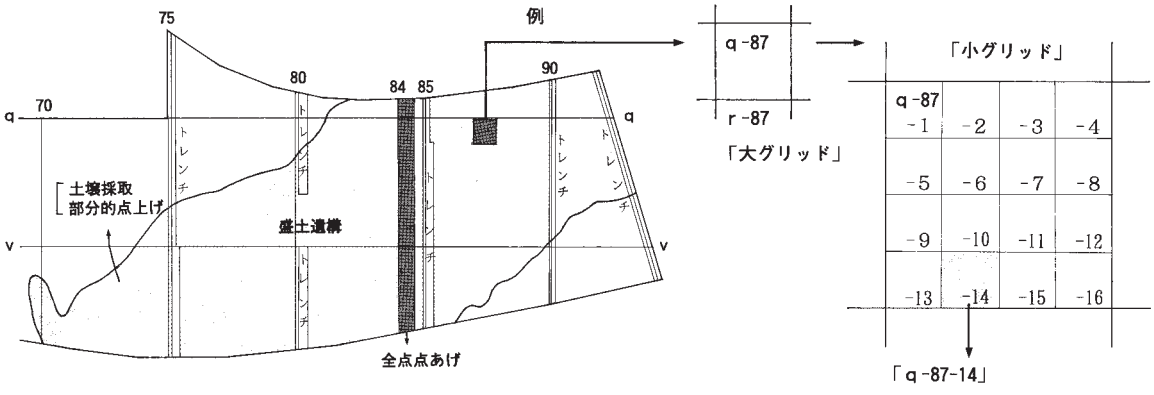
② ４ｍ×４ｍの大グリッドを16分割し、１ｍ×１ｍの小グリッドを設定する
- ただし平面的に層の区分が困難な盛土遺構－下位の「盛土Ｗ」・「盛土Ｖ」は小グリッドを設けない

③ 盛土の土壌を全て採取し水洗作業を行い、小型・微細遺物を回収する
- 盛土各層のサンプルおよび焼土はフローテーションにより炭化種子等の微細浮遊遺物まで採取する

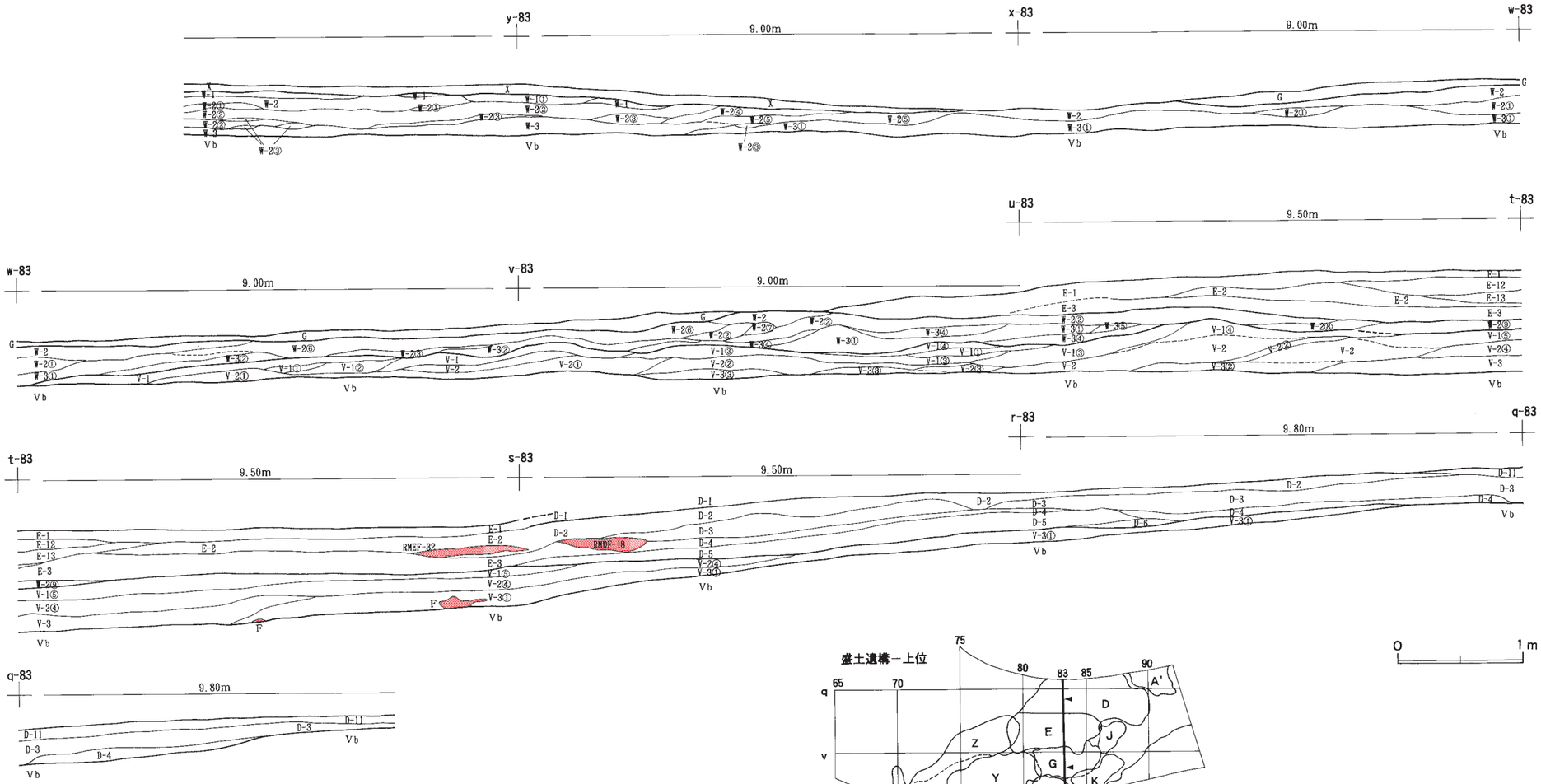
各盛土ブロックの調査結果の詳細については、次項以降に掲載する。

調査の結果、盛土遺構は全体的には北西～北の台地側から南東～南の低地側に向かって少しずつ土壌を堆積させていった様子がうかがえる。

時期　出土土器の型式から、縄文時代後期中葉末から後期後葉の間の比較的短期間に連続して形成されたとみられる。詳細については次項以降に掲載する。



図Ⅳ－５　盛土遺構の詳細調査設定図



●盛土遺構－上位の土層

D-11……黒色(10YR2/1)　粘性弱。しまり不良。径 5mm 程度の軽石やや少量。
D-2……黒褐色(10YR2/3)　粘性弱。しまりやや不良。炭化物少量。
D-3……暗褐色(10YR3/4)　粘性やや強。しまり良。径 5mm 以下の軽石やや少量。
D-4……黒褐色(10YR2/3)　粘性やや強。しまりやや良。径 5～10mm の軽石やや多量。炭化物やや多量。
D-5……褐色(10YR4/4)　粘性やや強。しまり良。径 5mm 程度の軽石少量。炭化物少量。
D-6……黒褐色(10YR2/2)　粘性やや今日。しまりやや良。径 5～10mm の軽石やや多量。炭化物多量

E-1……黒褐色(10YR2/3)　(BMD-11 層と同じ)
E-12……褐色(10YR4/4)　径 10mm 程度の軽石やや多量。褐鉄鉱多量。
E-13……暗褐色(10YR4/4)　径 10mm 程度の軽石多量。褐鉄鉱多量。
E-2……暗褐色(10YR2/3)　径 5mm 程度の軽石やや多量。褐鉄鉱多量。
E-3……褐色(10YR4/4)　径 5mm 程度の軽石少量。炭化物少量。褐鉄鉱多量。

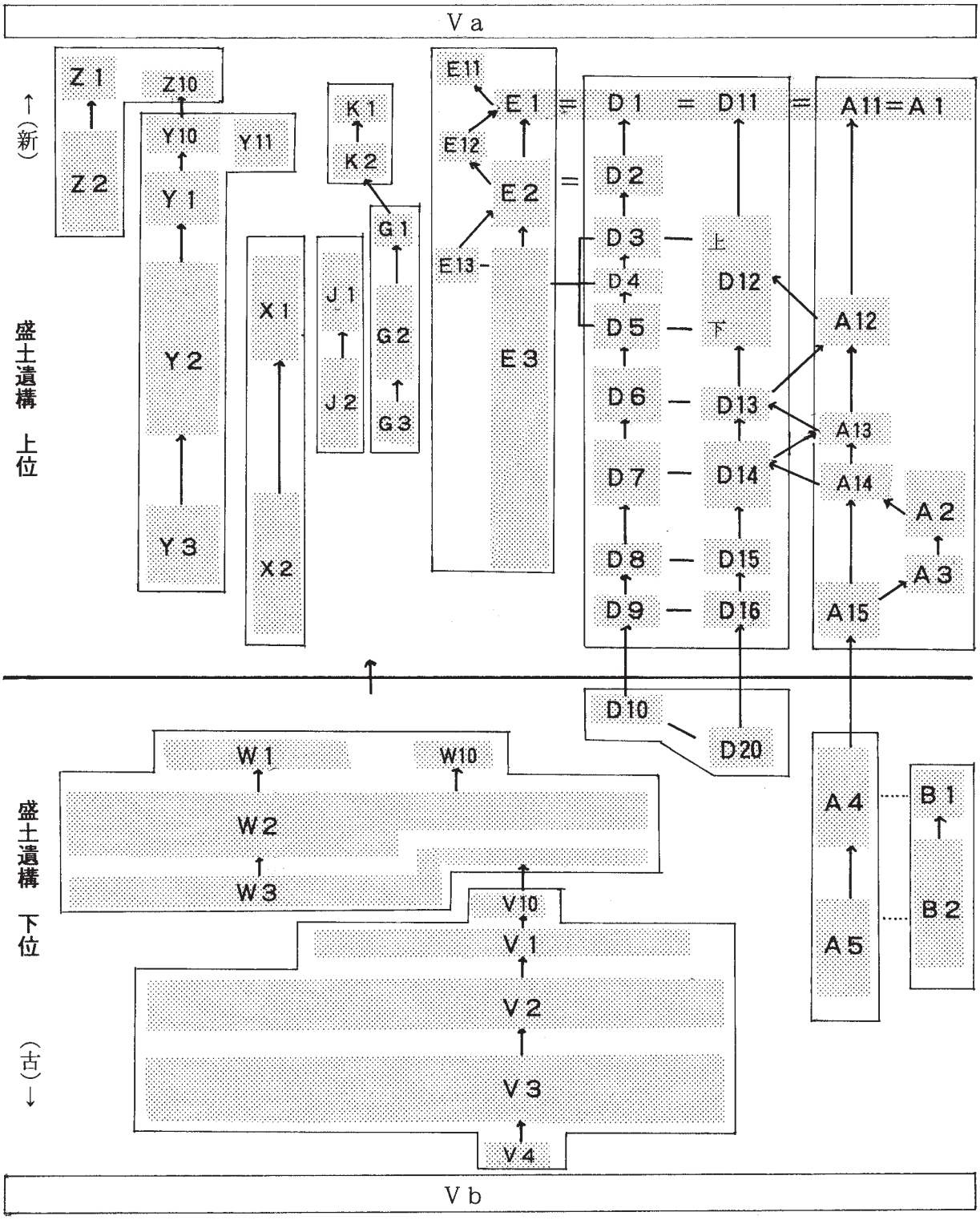
G……暗黄褐色～黒褐色　　径 5mm 程度の軽石多量。
X……暗茶灰色　　不均質。径 5mm 程度の軽石多量。

●盛土遺構－下位の土層

W-1……茶褐色
W-1①……暗茶灰色
W-2……暗茶褐色　　軽石少量。炭化物少量。
W-2①……暗茶褐色　　軽石少量。炭化物少量。下をやや多量含む。
W-2②……淡黒茶色　　軽石微量。炭化物微量。
W-2③……淡黒茶色　　焼土・黄色土が混じる。
W-2④……茶褐色　　軽石少量。
W-2⑤……黒茶色　　軽石多量。炭化物多量。
W-2⑥……淡黒茶色　　軽石微量。炭化物微量。しまり良。
W-2⑦……暗灰黄色　　軽石少量。
W-2⑧……淡黒色
W-2⑨……淡黒灰色
W-3……黒茶色　　粘質。軽石多量。炭化物多量。
W-3①……淡黒茶色　　軽石微量。炭化物微量。しまり良。
W-3②……淡黒茶色　　軽石微量。炭化物微量。
W-3③……淡黒茶色　　軽石やや多量。炭化物やや多量。
W-3④……黒褐色　　軽石多量。炭化物多量。
W-3⑤……淡黒灰色　　軽石少量。

V-1……淡黒灰色
V-1①……暗灰色
V-1②……黒褐色
V-1③……淡黒色
V-1④……淡黒色　　軽石少量。
V-1⑤……黒褐色　　粘性強。しまり良。軽石やや少量。
V-2……暗灰色
V-2①……淡黒褐色
V-2②……淡黒灰色　　軽石少量。
V-2③……灰褐色
V-2④……黒色　　軽石やや少量。炭化物少量。
V-3……黒褐色　　軽石をほとんど含まない。炭化物少量。
V-3①……黒色　　軽石微量。
V-3②……暗灰色
V-3③……暗灰褐色　　やや粘質。軽石微量。

図Ⅳ－6　83ライン土層断面図



図Ⅳ－7　盛土遺構層位関係図

２．盛土遺構－上位の調査

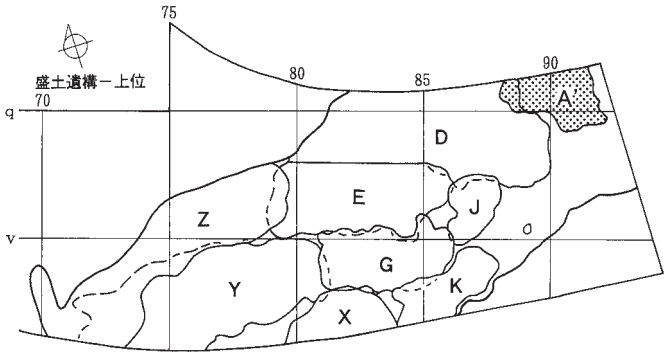
盛土遺構のうち、全体的に黄褐色土を主体とした明るい土壌でＥｎ－ａ軽石を多く含む層を主体とする部分を「盛土遺構－上位」とした。全部で９ブロックに分け、盛土Ａの上位部分・盛土Ｄ・盛土Ｅ・盛土Ｇ・盛土Ｊ・盛土Ｋ・盛土Ｘ・盛土Ｙ・盛土Ｚがある。色調や軽石・炭化物の混入などから各盛土ブロックで２～17の層位に細分している。盛土遺構―上位における遺構・遺物集中などは、焼土221ヵ所、集石１ヵ所、フレイクチップ集中８ヵ所、炭化物集中２ヵ所、灰集中３ヵ所、ベンガラ集中３ヵ所、土製品（土玉）集中１ヵ所などとなっており、このほかに土器の集中箇所も盛土遺構－下位よりは少ないものの多数みられた。

土器・石器等の遺物総数は2,284,332点（フローテーション分の微細遺物除く）で、土器等1,929,490点、石器・礫等354,842点である。土器は主体時期である縄文後期後半が99.2％を占める。それ以外では縄文早期後半～後期前半まで出土しているが、盛土遺構－下位と比較しても非常に少ない。また、主体時期の中で、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は、１：43であり、圧倒的にⅣ群ｃ－１類が多くなっている。石器・礫等は、フレイクチップ等が93.0％と圧倒的に多く、次いで礫が多い。定形的な石器の中では石鏃が62.4％を占めており、石錐・スクレイパー・砥石なども多く出土している。（Ⅴ章－３）。また、やや大型の黒曜石原石や赤彩された礫など、特徴的な遺物も出土した。

（１）盛土Ａ（上位）

ａ．概要

規模　17.0ｍ×（10.6ｍ）／
最大層厚　0.53ｍ
推定土量　約21.8㎥
（４・５層含む）



図Ⅳ－８　盛土Ａ（上位）位置図

盛土Ａ（上位）は、調査区の北東端に広がり、北側は調査区外へ続いている。ほぼ北東から南西へわずかに傾斜する標高10.1ｍ～9.6ｍの緩斜面上に形成されている。高低差は約1.05ｍで、北壁側の91ライン付近が最も高くなっている。西側に盛土Ｄが、南側に盛土Ｂが近接している。盛土Ｄとはわずかに重複しており、盛土Ａ－12～15層と盛土Ｄ－12～15層が互いに重なり合っている。また盛土Ｂとの重複関係は明確に把握できなかった。なお本遺構は1997年度に調査したⅠ地区の盛土Ａ（『キウス４遺跡（３）』）の上に形成されたものである。

確認・調査　Ⅰ～Ⅱ層を除去した段階でｐ－90周辺に高まりが認められ、また調査区東端部のトレンチ調査によってもⅠ地区の盛土Ａが伸びていることを確認した。

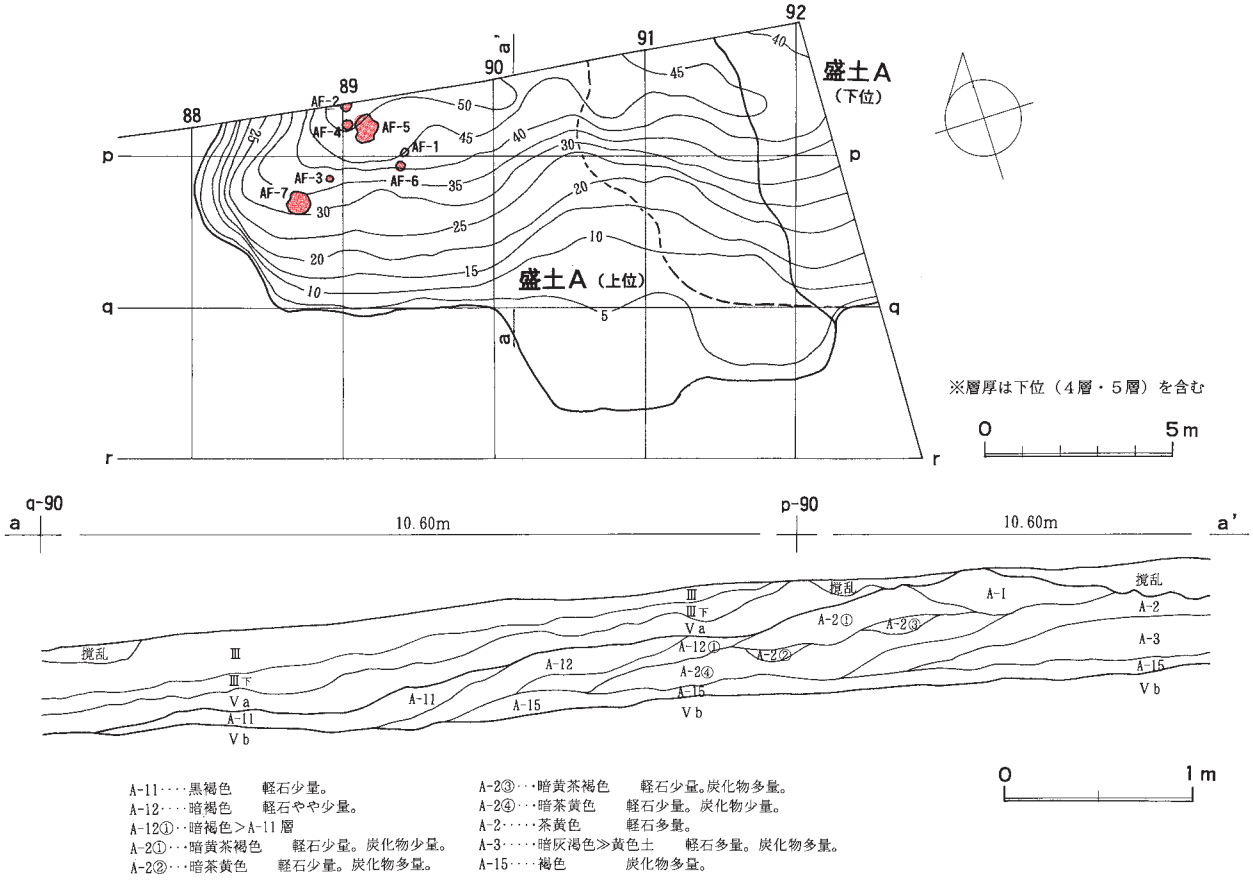
90ラインの南北に小トレンチを設定し、その広がりなどを確認するとともに、Ⅲ層～Ⅴａ層を掘り下げて高まりと広がりを検出する作業を行った。90ライン小トレンチの土層断面観察により、盛土本体上にのっている土（盛土Ｄ・Ｂ上にも見られる）が認められたためこれを掘り下げ、盛土Ａ本体の検出作業を行う。なお盛土全体を検出した段階で、北壁の87～88ライン（東西）に小トレンチを設定し、Ⅴｂ層まで掘り下げてその土層断面観察で本遺構上にわずかに盛土Ｄがのっていることを確認した。また東端部トレンチの土層断面に見られた盛土の２層と90ライン小トレンチの断面で見られた土層に、色調、堅さ、含有物などにはっきりとした違いがあり、その新旧・上下関係を把握するために北壁91ライン付近（東西）に小トレンチを設定し、土層断面観察を行った。この結果、東端部で見られた盛

土（1997年度調査Ⅰ地区の盛土Ａ）の上に90ライン小トレンチ断面で見られた盛土がのっていることが判明した。前者を盛土Ａ、後者を盛土Ａ（上位）とした。なお、盛土Ａ（上位）と盛土Ａとの間には炭化物を多量に混入する土（盛土Ａ－15層）がうすく見られた。

盛土Ａは黄色ローム土を主体とし、これに褐色土、暗褐色土、軽石、炭化物などがまじり合った土で、ほぼ三層に分層することができた。また西～南側斜面周辺には盛土本体上にＶａ層などが混じった土（盛土Ａ－11・12層）、西側斜面周辺には混合土状の土（盛土Ａ－13・14層）が確認された。遺構範囲の検出とトレンチ調査の観察結果を踏まえて、11・12層と13・14層を除去し、盛土本体の１層から順次掘り下げ調査を行った。調査は他の盛土遺構同様に各グリットを１ｍメッシュで16分割し、ｐ－88～90付近から約５㎝ずつ掘り下げて行った。遺物は、土器が大型破片および口縁部、石器が定形的石器、そして土製品・石製品をトータルステーションを用いて取り上げ、他は１ｍメッシュ単位で土ごと取り上げた。

本遺構は、北東から南西へわずかに傾斜するほぼ平坦なＶｂ層および盛土Ａ（－４層）上に盛土Ａ－15層が広く薄く堆積し、その上に盛土Ａ－３層が堆積したものである。そして盛土Ａ－２層は北東から南西へ３層を覆うように広く堆積し盛土を形成したものと思われる。

なおＲＬＰ－１（北埋調報148集『キウス４遺跡（６）』図Ⅳ－163）は盛土Ａ－２層上面付近で検出されたもので、盛土Ａ（上位）より新しいものである。



図Ⅳ－９　盛土Ａ（上位）層厚図および土層断面図

ｂ．土層

基本的に「明るく軽石・遺物の少ない層」が主体であるが、間層に若干軽石・炭化物の多く混入する薄い層がある。また、前述の通り「暗く軽石・遺物の少ない層」である盛土Ａ－４・５層は、盛土遺構－下位として分離した。

盛土Ａ－１層　耕作による削平、撹乱で消失している部分が多く、ｏ－88～90周辺でわずかに残存していたに過ぎない。残存部の層厚は約25㎝ほどである。黄色ローム土を主体とする褐灰色土である。軽石を少量混入する。色調は均一で、堅くしまっている。

盛土Ａ－２層　ｏ－88～91、ｐ－88～90にあり東西約12.6ｍ、南北約4.0ｍの広がりをもち、最大層厚は約45㎝ほどである。黄色ローム土を主体とする土であるが、明度、軽石の混入等により二層に分けられる。上層は炭化物・軽石をほとんど含まない暗黄色土である。下層は炭化物・軽石を多く混入する暗黄色土である。全体に堅くしまっている。焼土が３ヵ所検出された。

盛土Ａ－３層　ｏ－88～91、ｐ－88～91にあり、東西約13.0ｍ、南北約3.3～3.8ｍの広がりをもち、最大層厚約26㎝ほどである。黄色ローム土主体の灰褐色土である。軽石・炭化物を含むが均一で、堅くしまっている。焼土４ヵ所を検出し、一括土器が３ヵ所で出土した。

盛土Ａ－11層　ｐ－88～92、ｑ－89～92にあり、東西約14ｍ、南北約4.5ｍの広がりをもち最大層厚約30㎝ほどである。盛土の西～南側斜面上に堆積している。黒褐色で、Ｖａ層に盛土Ａ－１層が混じった土であろう。

盛土Ａ－12層　暗褐色土で軟質土である。Ｖａ層に盛土Ａ－１層が混じった土であろう。やや広範囲に広がるが、薄い層である。西側の盛土Ｄとの重複部分で、盛土Ｄ－13層と盛土Ｄ－12層の間に入り込んでいることが確認できた。

盛土Ａ－13層　盛土Ａの西側斜面ｏ－88に限定され、東西約3.5ｍ、南北約2.3ｍの小範囲に広がり、最大層厚約10㎝である。盛土Ａ－12層と２層の間、14層上に薄く堆積する。混合土状の軟質の暗茶褐色土である。土器片・炭化物を多量に混入している。西側の盛土Ｄとの重複部分で、盛土Ｄ－14層と盛土Ｄ－13層の間に入り込んでいることが確認できた。

盛土Ａ－14層　ｏ－88～89にあり、東西約4.0ｍ、南北約2.5ｍの小範囲に広がり、最大層厚約10㎝ほどである。盛土西側の斜面低位置付近にレンズ状に堆積している。黄色土が多い混合土で、炭化物を含む暗茶黄色土である。軟質でボソボソしている。

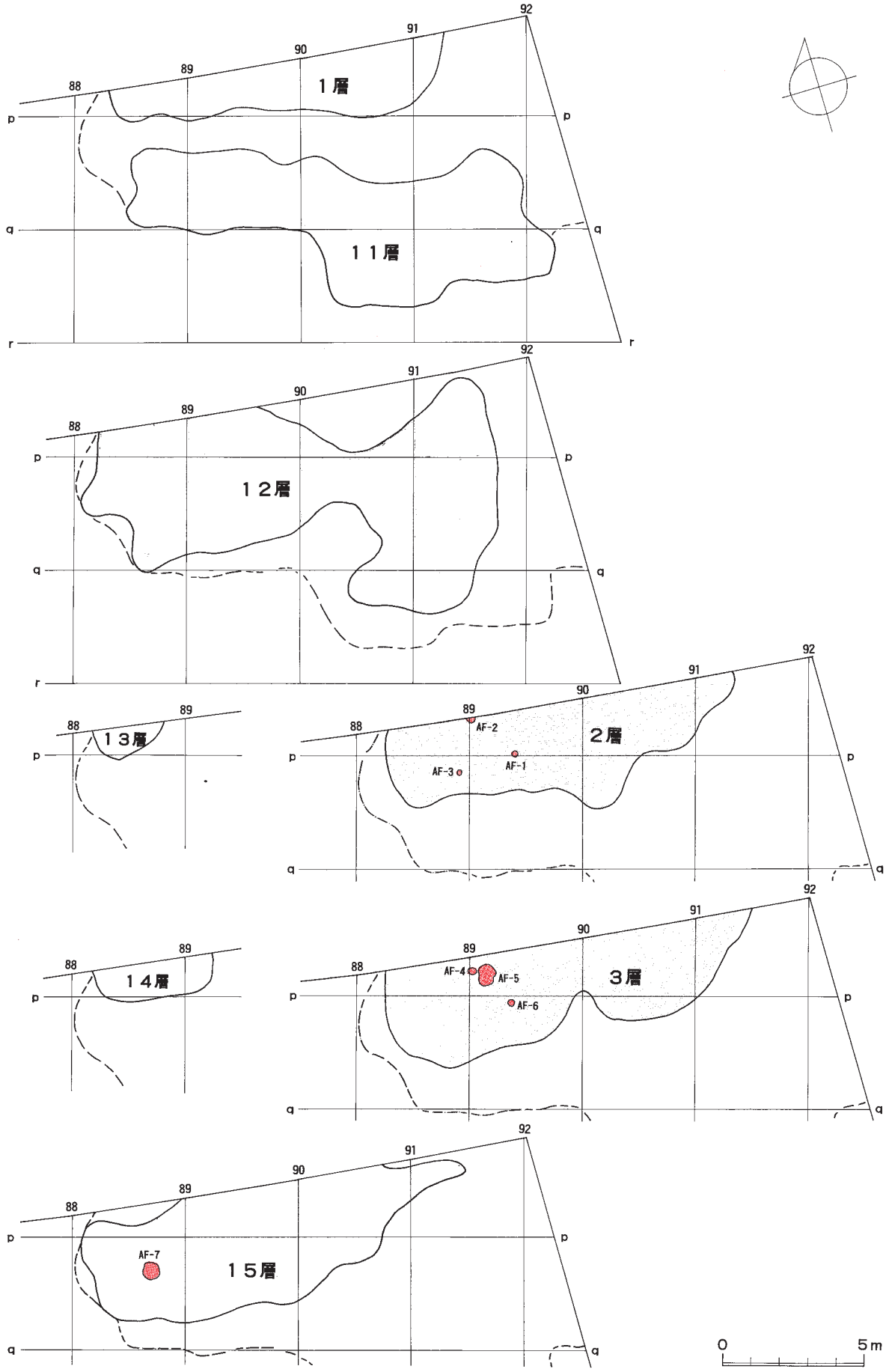
盛土Ａ－15層　ｏ－88～91、ｐ－88～90にあり、東西約14.1ｍ、南北約4.3ｍの広がりをもち、最大層厚約10㎝ほどである。褐色土で軟質である。Ｖｂ層と盛土Ａとの境目に炭化物・遺物を多く含んでいる。

ｃ．焼土

盛土Ａ（上位）では焼土を７ヵ所検出した。盛土Ａ－２層中で３ヵ所、盛土Ａ－３層中で３ヵ所、盛土Ａ－15層中で１ヵ所である。規模・色調等は表Ⅳ－１に示している。焼土はすべて取り上げ、フローテーション処理をした。

ＲＭＡＦ－１～６　焼土に盛土Ａ－２・３層が混じり合っていて動いている。炭化物・骨片なども混入している。比較的明度の高い焼土が多いが、ＲＭＡＦ－５など部分的に明るい部分があるものなど不均質な焼土もある。

ＲＭＡＦ－７　盛土Ａ－15層直上付近で検出されたもので、15層が被熱しているものと思われる。焼土縁辺部で遺物が集中して出土した。



図Ⅳ－10　盛土Ａ（上位）各層位分布図

表Ⅳ－１　盛土Ａの焼土一覧

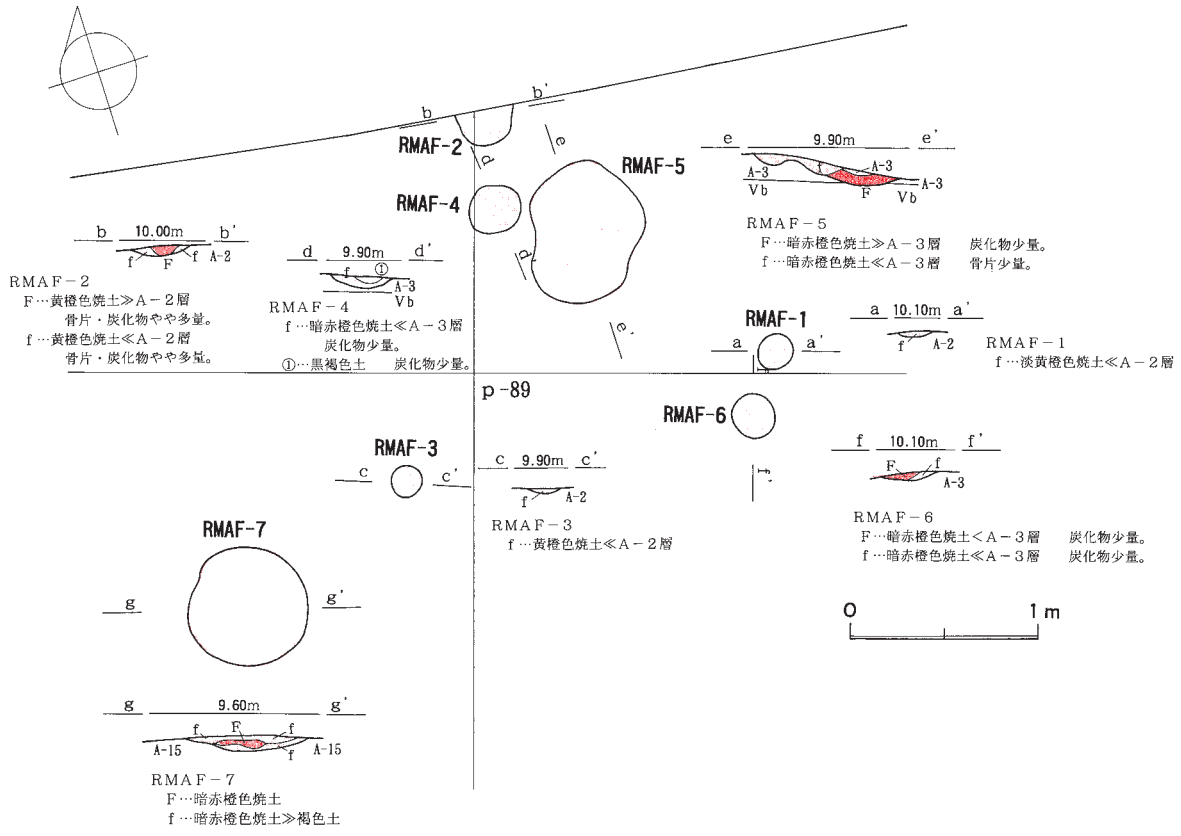
焼土番号	被熱層	中心位置（発掘区）	平面形	規模（cm）			色調	図版番号	遺物				備考
				長軸	短軸	層厚			土器	石器	礫	骨片	
RMAF－1	A2	p-87	円形	18	18	3	淡黄橙色	図Ⅳ－11	＊			＊	
RMAF－2	A2	o-89	楕円形	35	32	6	黄橙色	図Ⅳ－11	△		△		
RMAF－3	A2	p-88	円形	17	17	2	黄橙色	図Ⅳ－11		＊			
RMAF－4	A3	o-89	ほぼ円形	28	26	6	暗赤橙色	図Ⅳ－11	△	＊	＊	＊	
RMAF－5	A3	o-89	ほぼ楕円形	75	62	7	暗赤橙色	図Ⅳ－11	○	＊	△	△	
RMAF－6	A3	p-89	円形	23	23	5	暗赤橙色	図Ⅳ－11	＊				
RMAF－7	A15	p-88	ほぼ円形	64	64	8	暗赤橙色	図Ⅳ－11	△	＊	＊	＊	

※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量

表Ⅳ－２　盛土Ａの焼土出土石器等

（フローテーションで得られたフレイクは含まない）

焼土番号	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石斧	たたき石	砥石	台石もしくは石皿	ピエス・エスキーユ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のみられる礫	石核	原石	フレイク	礫	石棒	石製品	合計
RMAF-5	2									1	2								5
合　計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	5



図Ⅳ－11　盛土Ａ（上位）の焼土

ｄ．遺物の出土状況

盛土Ａ（上位）の出土遺物総数は46,877点で、土器等39,875点（土製品48点含む）、石器等7,002点（礫195点、石製品６点含む）である。土器は縄文時代早期・中期・後期のものが出土しているが、主体時期である縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたる土器が圧倒的に多く、99.6％を占める。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は１：30で、他の上位の盛土ブロックに比べてⅣ群ｃ－１類の占める割合がやや低いが、これは最下位のＡ－15層にⅣ群ｂ－４類がやや多く含まれるためである。土製品は焼成粘土塊が41点ほど出土しているほか、ミニチュア土器なども出土している。また、赤彩注口の突起の一部など特殊なものも出土している。石器・礫等では、フレイクチップが92.9％を占め圧倒的に多いが、他の盛土同様、石鏃が定形的石器のうち60％を超えており最も多い。以下石錐・砥石が続いている。スクレイパーが比較的少ない（Ⅸ章）。石製品は玉・異形石器・オロシガネ状石製品などがあるが、他の盛土に比較すると極めて少ない。

層位別の遺物点数は、盛土Ａ－１層で1,323点、２層で8,393点、３層で9,947点、11層で7,959点、12層で5,623点、13層で731点、14層で1,412点、15層で11,489点出土していて、盛土Ａ－３層・11層・15層で出土遺物量が多い。またトータルステーションによる取り上げでは15層166件、３層123件、12層94件の順で多く取り上げたが、他の盛土ブロックに比べ少ない。

土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－14・15に層位別に示した。これらは各層位の層厚と比較しなければならないが、層厚に比べて密度の高低が目立つ部分がある。たとえば盛土Ａ－11層の西端にあたるｐ－88から89区にかけて、層厚が薄い部分に土器・フレイク等の重量分布が密になっている。またＡ－13層・14層は範囲が狭く層厚も薄いにもかかわらず、やはり土器・フレイク等の重量分布が密になっており、Ａ－12層と対照的になっている。また、盛土Ａ－３層や15層では土器とフレイクの重量分布の濃淡が異なったり、フレイクでも黒曜石と泥岩で濃淡の分布が異なったりする様子が見てとれる。

遺物集中

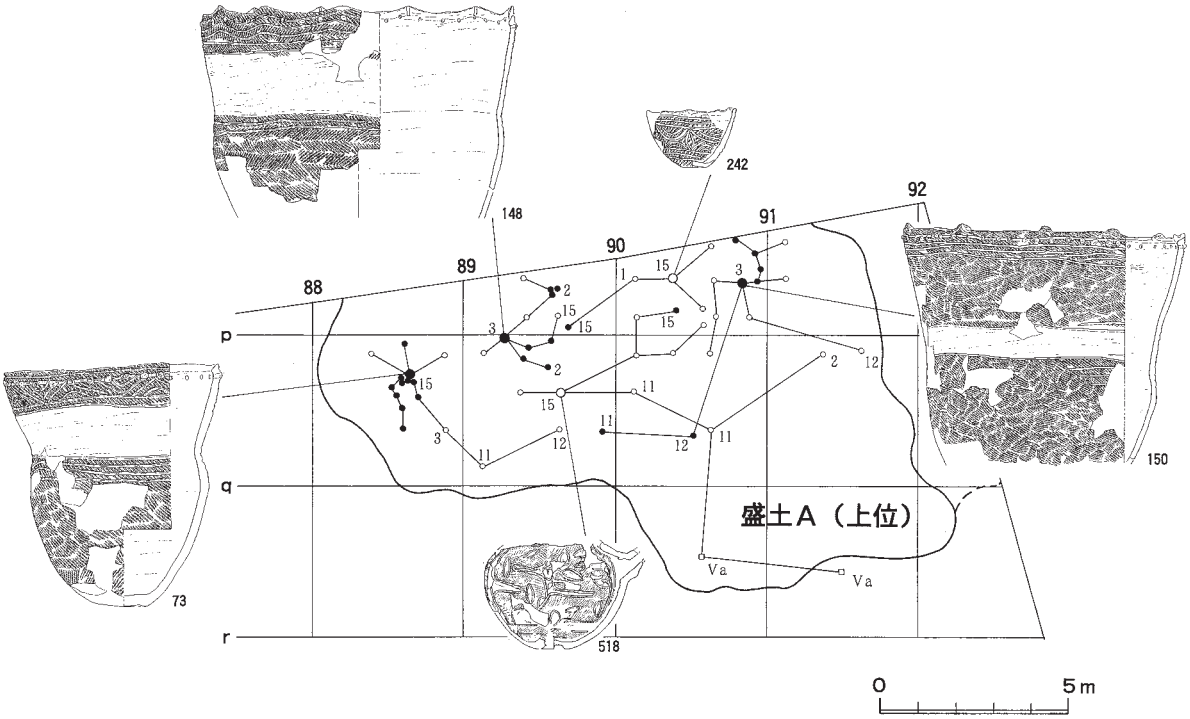
盛土Ａでは遺物がまとまって出土する例は少なく、土器個体が丸ごとつぶれた状態で出土したものはない。土器の一部分・破片（フレイクチップ・礫含む）が混在したものがほとんどである。

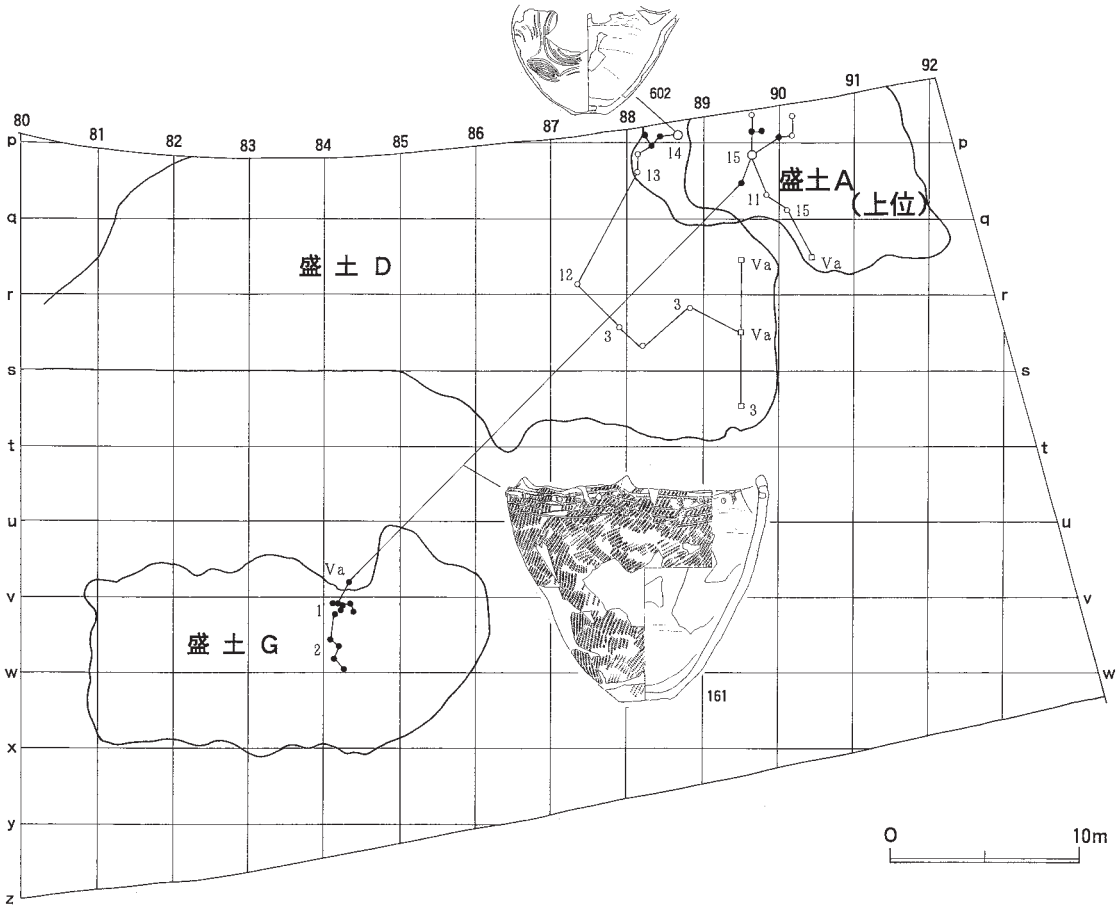
Ａ－３層中で３ヵ所から一括土器が出土している。図Ⅳ－13上段・下段の土器はほぼ水平の状態であるが、中段の土器では一部に反っているものも見られる。投棄の際に並べるようにしたものなのか、他の遺物や土壌と共にただ投棄した結果なのか、といった判断はできなかった。また、図Ⅳ－13下段の土器73は、遺物が混在する中でやや破片数の多かった土器を掲載したものであり、広域に接合している（図Ⅳ－12）。

遺物の接合状況

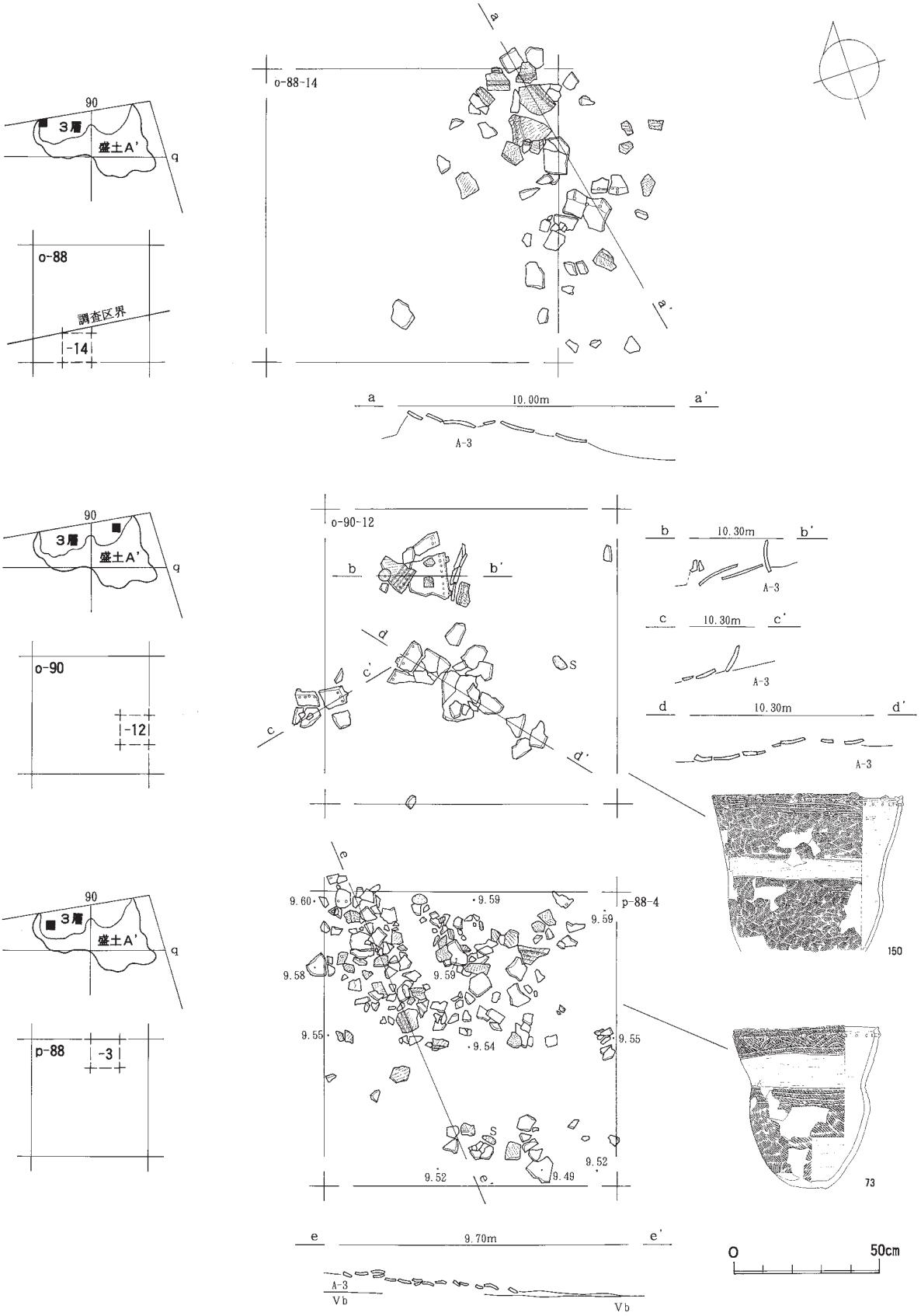
復元個体７点について、図Ⅳ－12に図示した。盛土Ａ内では、比較的広範囲にしかも層をまたがって接合している土器が多い。盛土Ａ北部のＡ－３層・15層を中心として、南部のＡ－11層・12層やＶａ層と接合している例などである。

また、盛土ブロックをまたぐ接合もある。602の土器は内面全体に赤色顔料が付着している特異な土器だが、盛土Ａ－14層を主体として隣接する盛土Ｄの12層・３層やＶａ層といった上位の層準と接合している。盛土Ｄと接合する土器はこれ以外にも多数ある（盛土Ｄの図Ⅳ－39）。さらに161の土器は遠く盛土Ｇと接合している。個体の接合状況としては、口縁と底部などというように部位で接合す

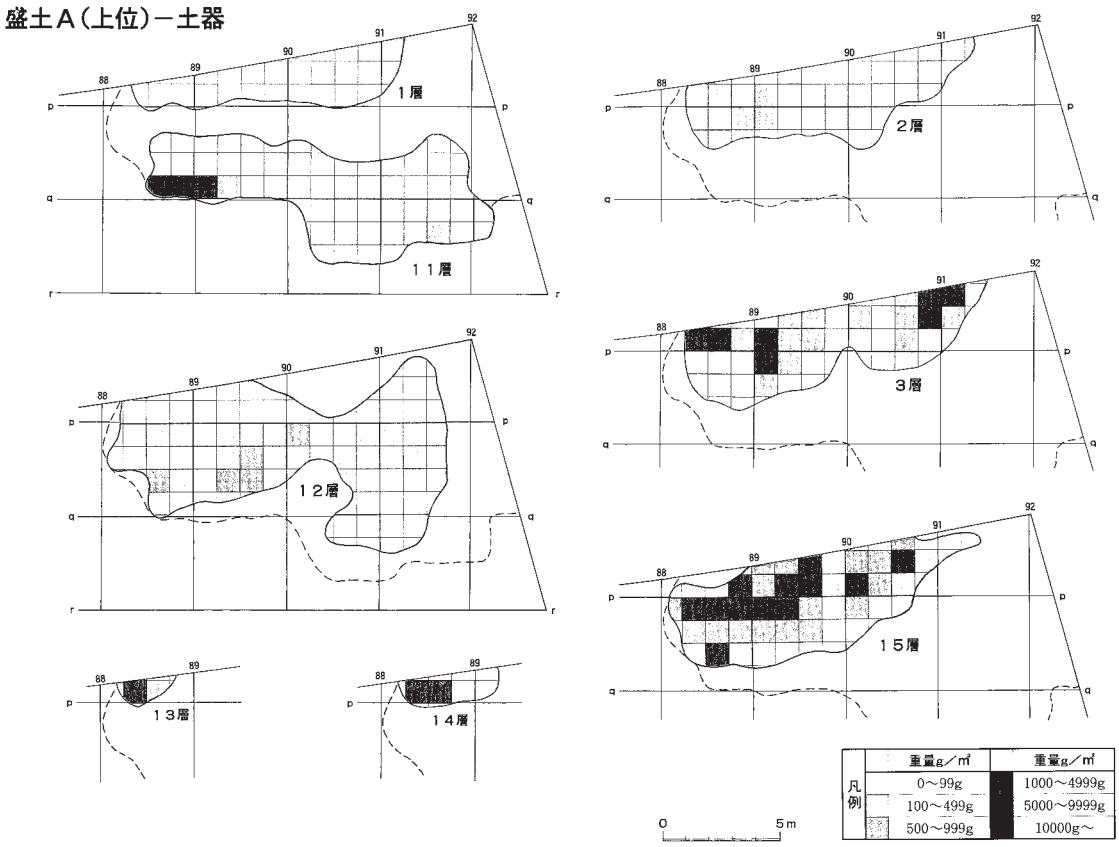




図Ⅳ－12　盛土Ａ（上位）復元土器接合図



図Ⅳ－13　盛土Ａ（上位）遺物出土状況図

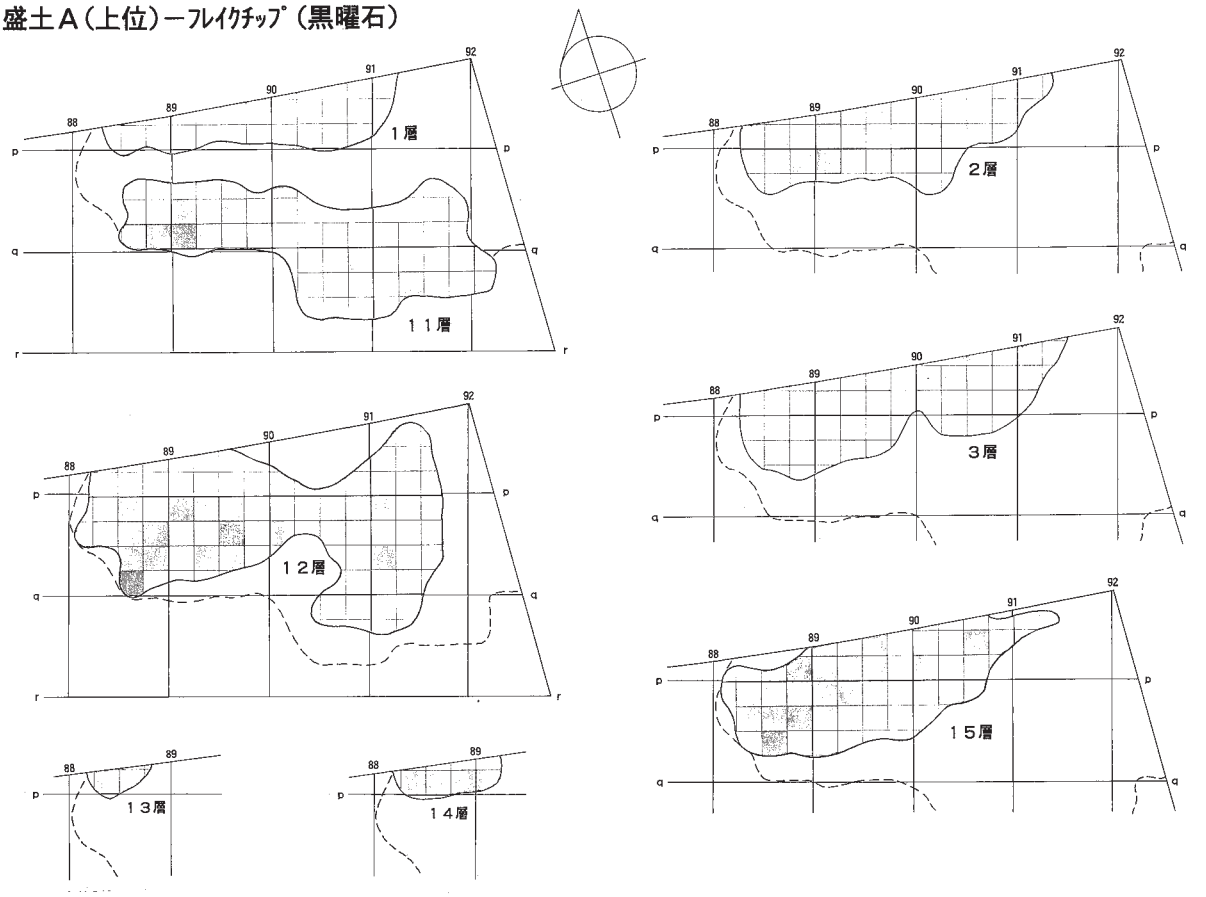


図Ⅳ－14　盛土Ａ（上位）土器等重量分布図

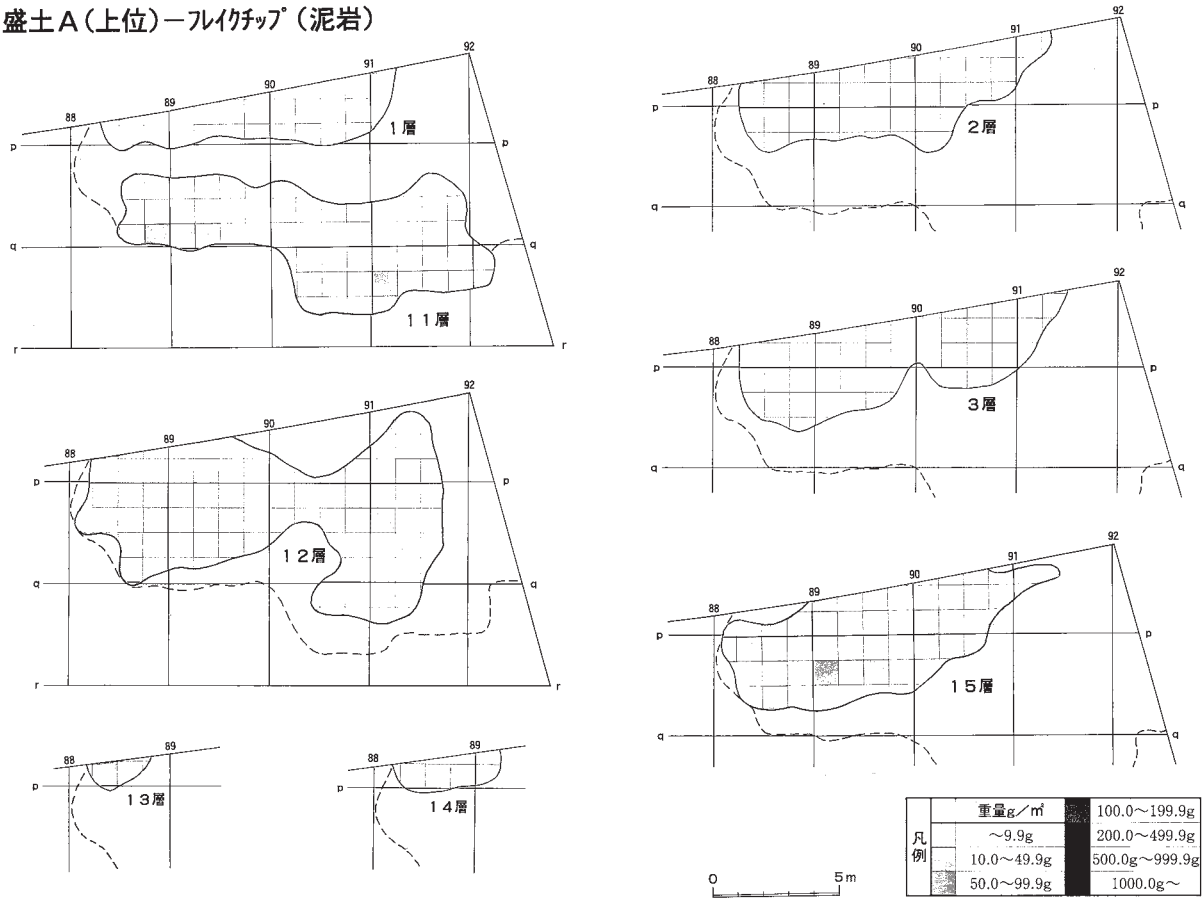
るのではなく、口縁～底部付近が盛土Ａ側のまとまりと盛土Ｇ側のまとまりに分かれていた状態のものが接合している。

石器では、盛土Ａ内で接合するものが若干あるものの、少なくとも礫石器・礫や石製品では他の盛土と接合する石器はなかった。

盛土Ａ（上位）－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（黒曜石）



盛土Ａ（上位）－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（泥岩）



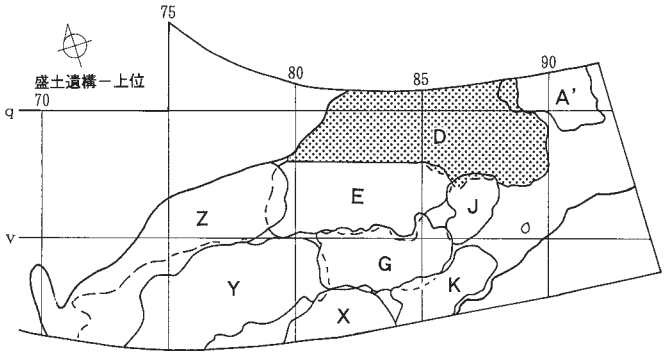
図Ⅳ－15　盛土Ａ（上位）フレイクチップ重量分布図

（２）盛土Ｄ

ａ．概要

規模　41.6m×16.9m／
最大層厚　0.62m
推定土量　約114.7㎥

確認・調査　調査区北部、盛土Ｅの北側と盛土Ａの西側に広がる。盛土遺構－上位の中では最も層厚があり、遺物出土量が最も多い。



図Ⅳ－16　盛土Ｄ位置図

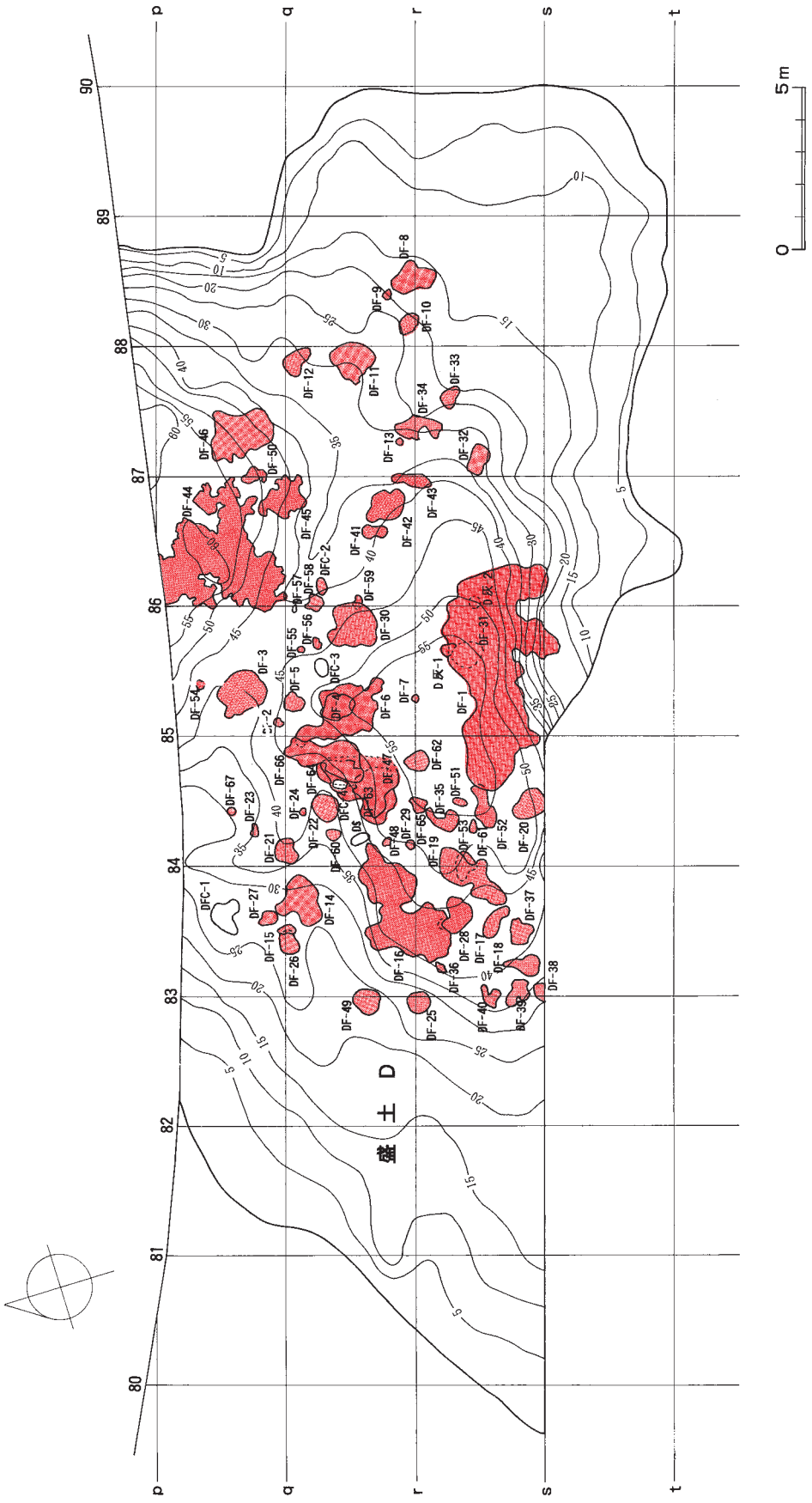
調査ではまず85ラインのトレンチ調査によって、盛土Ｄとしたブロックは明るい層とやや暗い層が交互に多層にわたって堆積している状況であることが確認できた。そして盛土上面を精査し、盛土Ｄの分布域を捉えた。盛土上面は全体的に北側が盛り上がっており、南に隣接する盛土Ｅに向かってやや急に傾斜している。そして北西側は比較的平坦になっている（図Ⅳ－１）。また東側は東西方向にまたがる尾根状の盛り上がりと南東方面に向かう２つの尾根状の盛り上がりがある。南側盛土全体の長軸方向とは異なる方向に伸びており、柱穴群のある北西方向から低地側の南東方向に向かって排土している様子が顕著にうかがえる。調査では、それらの軸にトレンチを設定し、直交する南北方向にもトレンチを数本設定して堆積層の様子を観察した。その結果、盛土Ｄ全体の層厚は大きく変化があり、北東側ｐ－87区を中心としたエリアと中央南側ｒ-85区を中心としたエリアにそれぞれ層厚を大きく増すところが確認できた（図Ⅳ－17）。なお盛土Ｄは調査区北側にさらに広がっているが、試掘調査の結果などから推定して、層厚は徐々に減少するものとみられる。

また調査の過程で、盛土Ｄの最下層（Ｄ－10層・20層）は黒色の度合いが強く軽石の混入も少ないことから、盛土遺構－下位に相当することがわかった。よってこれらの層は盛土遺構－下位で扱うこととする（第Ⅳ章－３）。

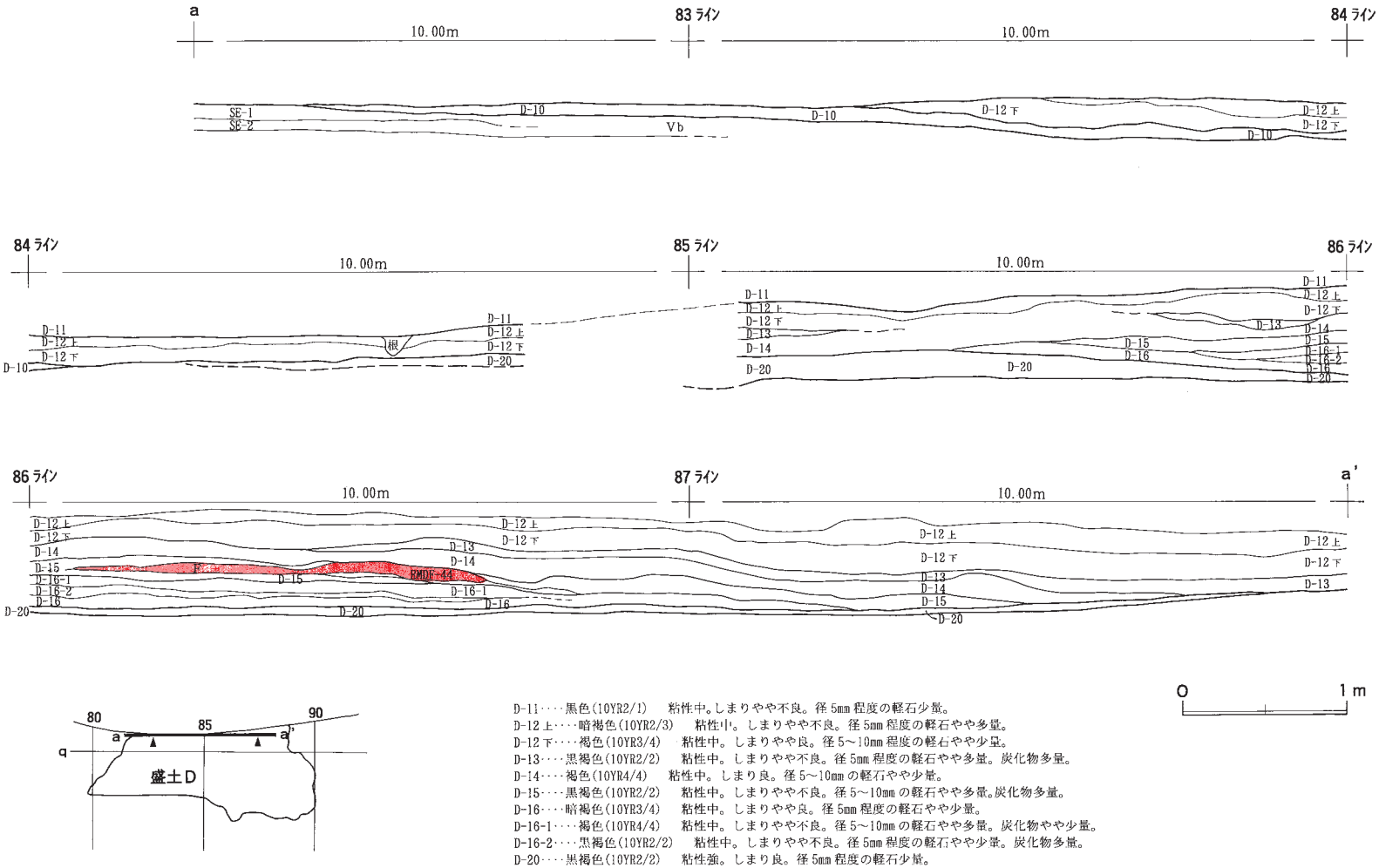
次に、周囲の盛土ブロックとの関係をみる。盛土Ｅとの間では、マウンドとしてはほぼｓラインに沿う谷状の落ち込みをはさんで区別できるが、盛土が接するエリアでは土層としては盛土Ｄ－１層が盛土Ｅ－１層、盛土Ｄ－２層が盛土Ｅ－２層、盛土Ｄ－３～５層が盛土Ｅ－３層の一部などというように同じ層位として対応している。盛土Ｄ－１～３層の一部は盛土Ｅ－１～３層に含めるべきところかもしれないが、ここではマウンドの高まりを重視して、便宜的にｓラインで盛土ＤとＥを区分することとした。そのため、層厚図は盛土Ｅとの境界部が０ｍになっていない。

盛土Ａとの間では、盛土Ａ－14・13層の上にＤ－14・13層、その上にＡ－12層、さらにＤ－12層が重なっており、盛土Ｄと盛土Ａ（上位）が複雑に堆積し合い、ほぼ同時に形成されていく過程かうがえる（図Ⅲ－２）。盛土Ｊとの間では、Ｊ－１層の上に盛土Ｄ－３層が一部かかっている状況を確認でき、盛土Ｊの形成後も盛土Ｄが形成されていたことがうかがえる。

焼土は、各層から大小さまざまな規模のもの66ヵ所を確認したが、他の盛土ブロックに比べて大型のものが多い。また、灰集中２ヵ所、集石１ヵ所、フレイクチップ集中４ヵ所、炭化材集中があり、土器の集中箇所も多数見られた。

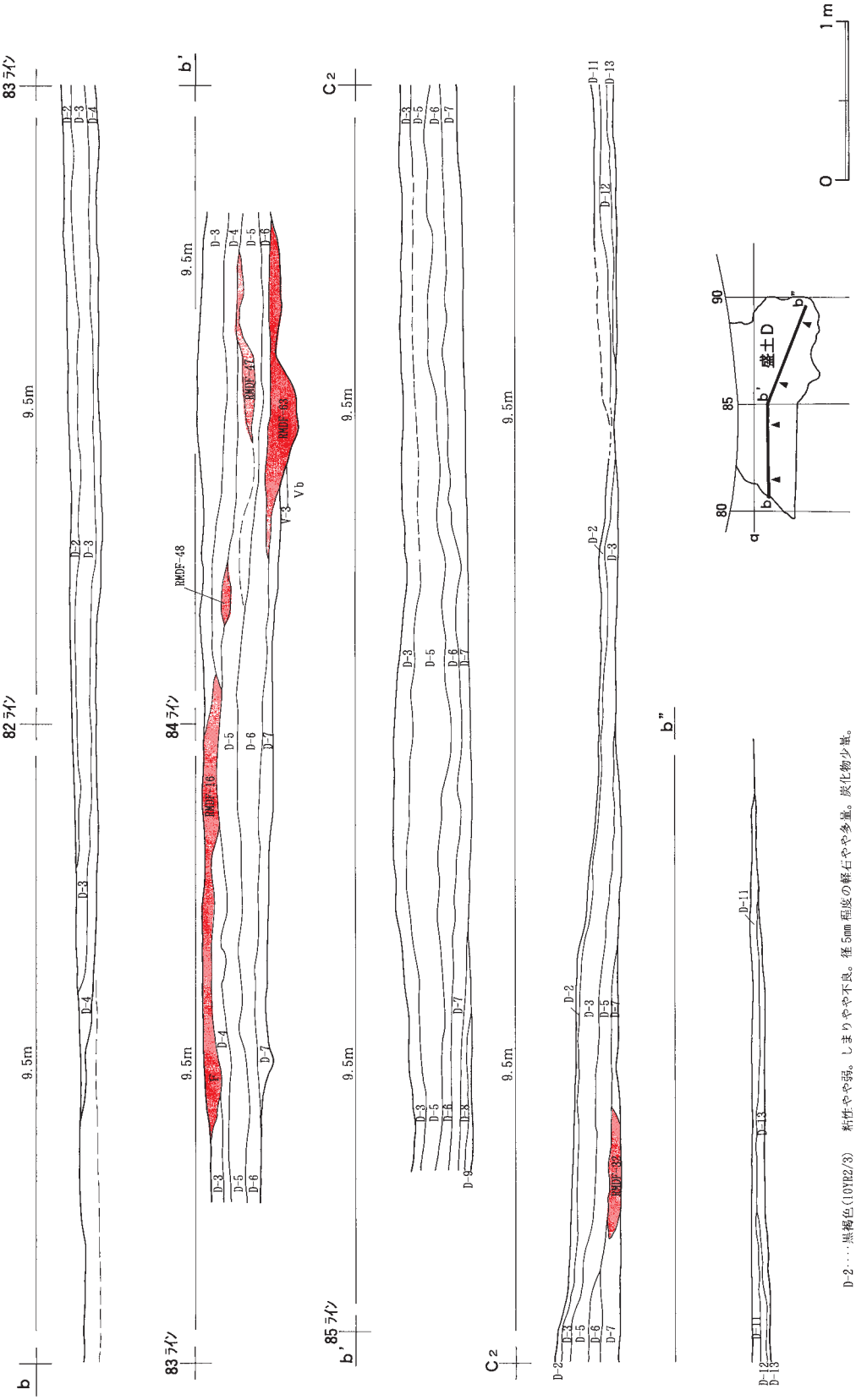


図Ⅳ－17　盛土D層厚図



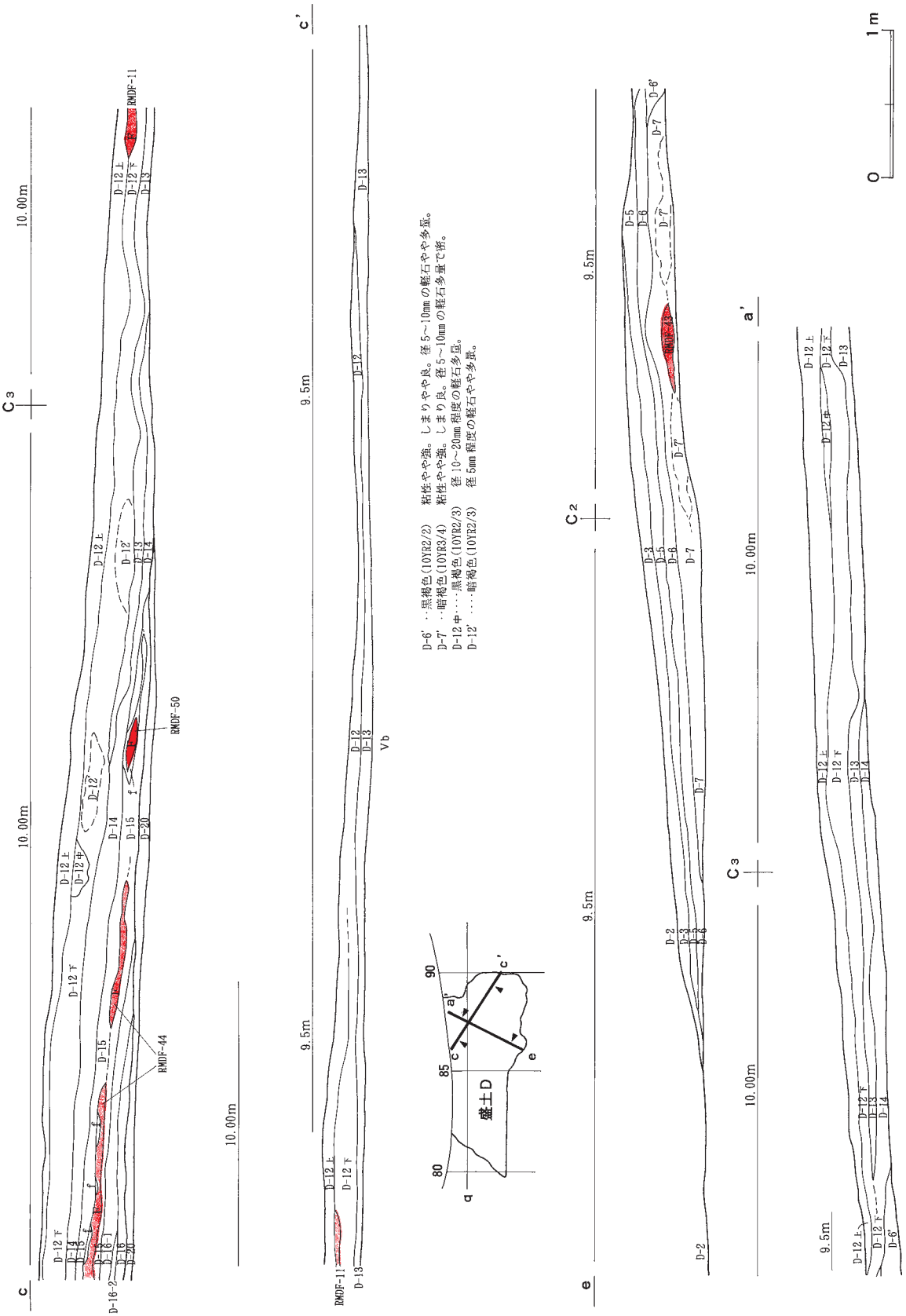
D-11····黒色(10YR2/1)　粘性中。しまりやや不良。径 5mm 程度の軽石少量。
D-12 上····暗褐色(10YR2/3)　粘性中。しまりやや不良。径 5mm 程度の軽石やや多量。
D-12 下····褐色(10YR3/4)　粘性中。しまりやや良。径 5～10mm 程度の軽石やや少量。
D-13····黒褐色(10YR2/2)　粘性中。しまりやや不良。径 5mm 程度の軽石やや多量。炭化物多量。
D-14····褐色(10YR4/4)　粘性中。しまり良。径 5～10mm の軽石やや少量。
D-15····黒褐色(10YR2/2)　粘性中。しまりやや不良。径 5～10mm の軽石やや多量。炭化物多量。
D-16····暗褐色(10YR3/4)　粘性中。しまりやや良。径 5mm 程度の軽石やや少量。
D-16-1····褐色(10YR4/4)　粘性中。しまりやや不良。径 5～10mm の軽石やや多量。炭化物やや少量。
D-16-2····黒褐色(10YR2/2)　粘性中。しまりやや不良。径 5mm 程度の軽石やや少量。炭化物多量。
D-20····黒褐色(10YR2/2)　粘性強。しまり良。径 5mm 程度の軽石少量。

図Ⅳ－18　盛土Ｄ土層断面図（１）



D-2…黒褐色(10YR2/3)　粘性やや弱。しまりやや不良。径5mm程度の軽石やや多量。炭化物少量。
D-3…暗褐色(10YR3/4)　粘性やや強。しまり良。径5mm程度の軽石やや少量。
D-4…黒褐色(10YR2/3)　粘性やや強。しまりやや良。径5～10mmの軽石やや多量。炭化物多量。
D-5…褐色(10YR4/4)　粘性やや強。しまり良。径5mm程度の軽石少量。炭化物少量。
D-6…黒褐色(10YR2/2)　粘性やや強。しまり良。径5～10mmの軽石多量。炭化物多量。
D-7…暗褐色(10YR3/4)　粘性やや強。しまり良。径5～10mmの軽石やや多量。炭化物やや多量。
D-8…黒褐色(10YR2/3)　粘性中。しまり不良。径5～10mmの軽石やや少量。炭化物多量。
D-9…暗褐色(10YR3/3)　粘性中。しまりやや良。径5～10mmの軽石やや少量。炭化物やや少量。

図Ⅳ－19　盛土D土層断面図（2）



図Ⅳ－20　盛土Ｄ土層断面図（３）

ｂ．土層

他の盛土ブロックに比べ比較的分層しやすく、基本的に「明るく軽石・遺物のやや少ない層」と「暗く軽石・遺物の多い層」の互層となっている。南側の尾根状のマウンドを１～９層、北側の尾根状のマウンドを11～16層に分層し、一部の層についてはさらに細分して調査した。

盛土Ｄ－１層

黒色～黒褐色（10YR 2/1～2/2）で暗く、径５㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや少量含む。粘性はやや弱く、しまりは不良である。分布範囲は盛土Ｄの南側半分のほぼ全域にまたがっている。層厚は薄く、全体的に５㎝程度である。南側は盛土Ｅ－１層と連続している。焼土や遺物集中等は確認できなかった。遺物は層厚の割に多いが、土器・石器ともに小破片が圧倒的に多い。

盛土Ｄ－１層は盛土Ｄ－11層、盛土Ｅ－１層、盛土Ａ－１層とほぼ同一の内容で、かなり乱れたような土層である。盛土ブロックの「本体」が形成された後、最上層の土が人間活動や自然の営みによって移動し再堆積したものと考えられる。

盛土Ｄ－２層

黒褐色～暗褐色（10YR 2/2～2/3）でやや暗く、径５㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや多量に含み、やや不均質である。粘性やや弱、しまりはやや不良である。分布範囲は、盛土Ｄの南側半分のほぼ全域にまたがっているが、ｑ－83～85付近は撹乱等の影響により分布していない部分が多い。層厚は西側が５～10㎝、東側が５㎝程度で、盛土Ｅ－２層に続くｓライン側でやや厚みを増している。ｒ-85付近は盛土Ｄ－３層の焼土ＲＭＤＦ－１の上で、部分的に厚く堆積している。

盛土Ｄ－２層においては、焼土などは確認できなかった。一方、遺物の包含密度はやや高めである。土器等は小破片がほとんどで集中域はほとんどないが、盛土の傾斜方向に小破片をまとめて廃棄した様子がうかがえる例がある。炭化物を少量含む。

盛土Ｅ－２層とほぼ同様である。また、盛土Ｄ－12層（上位）の一部に対応している。

盛土Ｄ－３層

暗褐色（10YR 3/3～3/4）で明るく、径５㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや少量含み、やや不均質である。ロームが主体で軽石はそれほど目立たない。全体的には粘性やや強く、しまりは良い。盛土Ｄの北東から南側半分のほぼ全域、やや東寄りに分布している。層厚は10㎝程度の部分が多く、最大層厚は焼土（ＲＭＤＦ－１）を含めて25㎝を超える。ｑ－84区・ｑ-85区・ｒ－83区・ｒ－84区・ｒ-85区にそれぞれ層厚を増すエリアがあり、それぞれ集中して排土した様子がうかがえる。またｒ－85区のメインセクションでは、若干暗い間層をはさんで上・中・下の三層に分層したところがある。

焼土は長軸７ｍを超えるＲＭＤＦ－１を初めとして大型のものを中心に13ヵ所を確認した。３層上面を活動の場として積極的に利用したと考えられる。また盛土Ｄ－３層全体の遺物は、一括廃棄されたものが数ヵ所見られるものの、層厚の割に比較的少ない。

盛土Ｄ－３層は、盛土Ｄ－12層（上位）の大部分に対応している。

盛土Ｄ－４層

黒褐色（10YR 2/3）で暗く、径５～10㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや多量に含む。粘性やや強、しまりはやや良い。盛土Ｄの中央部よりやや西側に比較的まとまって分布している。層厚は５～10㎝程度で、最大層厚は14㎝ほどである。北寄りのｐ－83区、南寄りのｒ－83区にやや層厚を増す部分があり、この部分を中心にやや小規模な焼土13ヵ所を確認した。

遺物はかなり密に出土している。一括廃棄した土器も多数観察できる。また、層全体に炭化物を多量に含んでいる。

盛土Ｄ－５層

褐色～暗褐色（10YR 3/4～4/4）で明るく、径５㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや少量含み、均質的である。ロームが主体で軽石はあまり目立たない。特にｒ－85区～86区にかけて、その様子が顕著に見られる。粘性やや強、しまりは良い。分布範囲は、盛土Ｄの南東部の大部分を占める。層厚は、全体的には10㎝程度の厚さであるが変化がやや大きい。ｒ－85区、ｑ－84区付近が最も層厚があり、最大19㎝に上る。

焼土は６ヵ所確認したが、１ヵ所を除いて小規模である。遺物の包含状況は、密度に濃淡がみられ、一括廃棄状態の遺物が少ないなど、層厚の割にやや少ない。また、炭化物は層全体にわたって少量混入している。

盛土Ｄ－５層は、北側では盛土Ｄ－12層（下位）に対応しているとみられるが、断片的に複雑に重なり合っている。また南西側では、盛土Ｅ－３層の一部に対応している。

盛土Ｄ－６層

黒褐色（10YR 2/2～2/3）で暗く、径５～10㎜程度のＥｎ－ａ軽石を多量に含み、やや不均質である。粘性やや強、しまりはやや不良である。ｑ－85区を中心として、盛土Ｄの中央部に楕円形に分布している。層厚は５～10㎝程度で、東部のｒ－86区付近と西部のｑ－85区に層厚を増すところがある。最大層厚は18㎝である。

焼土は６ヵ所だが、やや大型のものが多い。遺物の密度は非常に高く、完形に近い一括遺物も出土した。また、層全体にわたって炭化物を多量に含んでいる。

盛土Ｄ－６層は盛土Ｄ－13層に対応しているものとみられるが、直接の重複関係はない。

盛土Ｄ－７層

暗褐色～褐色（10YR 3/4～4/4）でやや明るく、径５～10㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや多量に含む。ロームが主体だが、軽石もやや目立つ。粘性強、しまりはやや良い。６層同様、盛土Ｄの中央部に楕円形に分布している。層厚は10㎝程度で、やはり東部（ｒ－86区付近）と西部（ｒ－84区付近）に層厚を増すところがある。最大層厚は19㎝である。

焼土は14ヵ所だが、大小さまざまである。また、焼土周辺で灰集中２ヵ所が検出され、大型の炭化材が出土した。さらに緑色泥岩の集石１ヵ所、フレイクチップ集中４ヵ所を検出した。７層上面を活動の場として積極的に利用したと考えられる。遺物の包含状況は、一括遺物はそれほど多くないがロームを主体とした土層としては密度が高い。

盛土Ｄ－７層は盛土Ｄ－14層に対応しているものとみられ、複雑に重なり合っている。

盛土Ｄ－８層

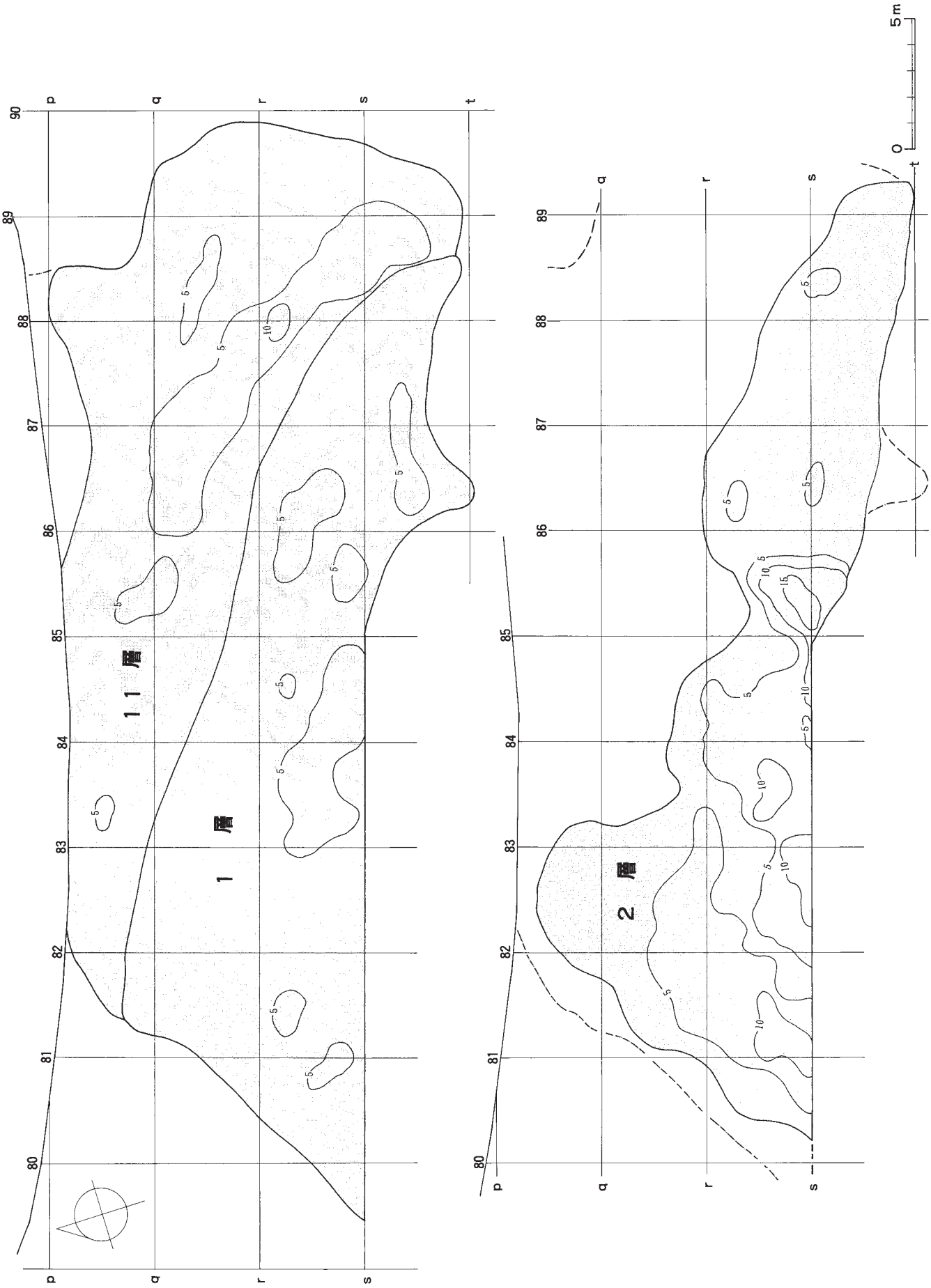
黒褐色（10YR 2/3）で暗く、径５～10㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや多量に含む。粘性中、しまりは不良である。ｑ－85区付近のごく狭い範囲に楕円形に分布する。層厚は５㎝程度と薄く、最大でも７㎝である。小型の焼土１ヵ所を検出した。遺物は層厚の割には密である。炭化物を多量に含む。

盛土Ｄ－８層は盛土Ｄ－15層に対応しているものとみられるが、重複関係はない。

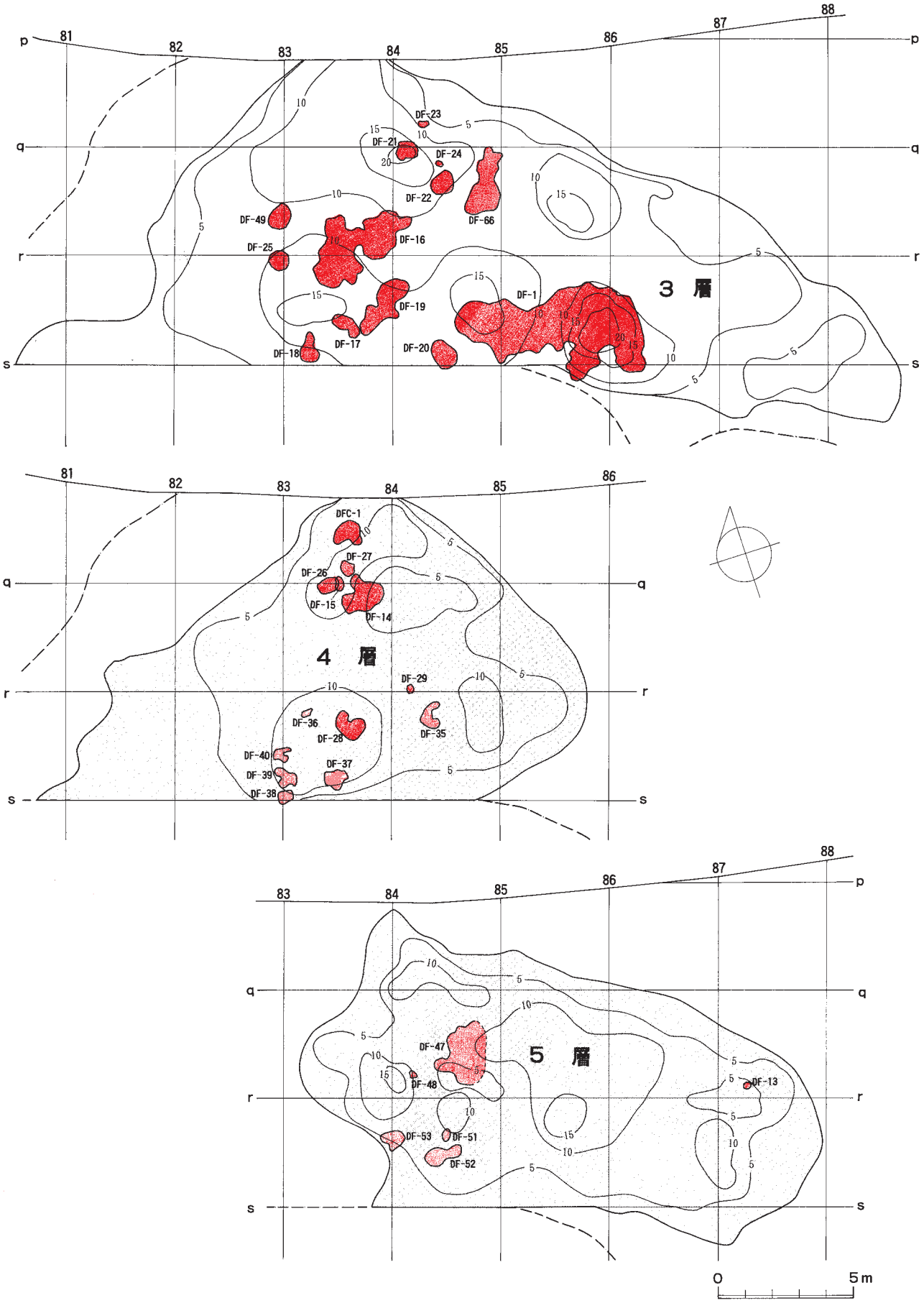
盛土Ｄ－９層

暗褐色（10YR 3/3）でやや明るく、径５～10㎜程度の軽石をやや少量含む。粘性中、しまりはやや良い。ｑ－85区付近のごく狭い範囲に楕円形に分布する。盛土Ｄ（上位）の最下層である。層厚は５㎝程度で薄薄く、最大でも８㎝である。やや大型の焼土１ヵ所を検出した。遺物は焼土の遺物を除いてそれほど出土していない。

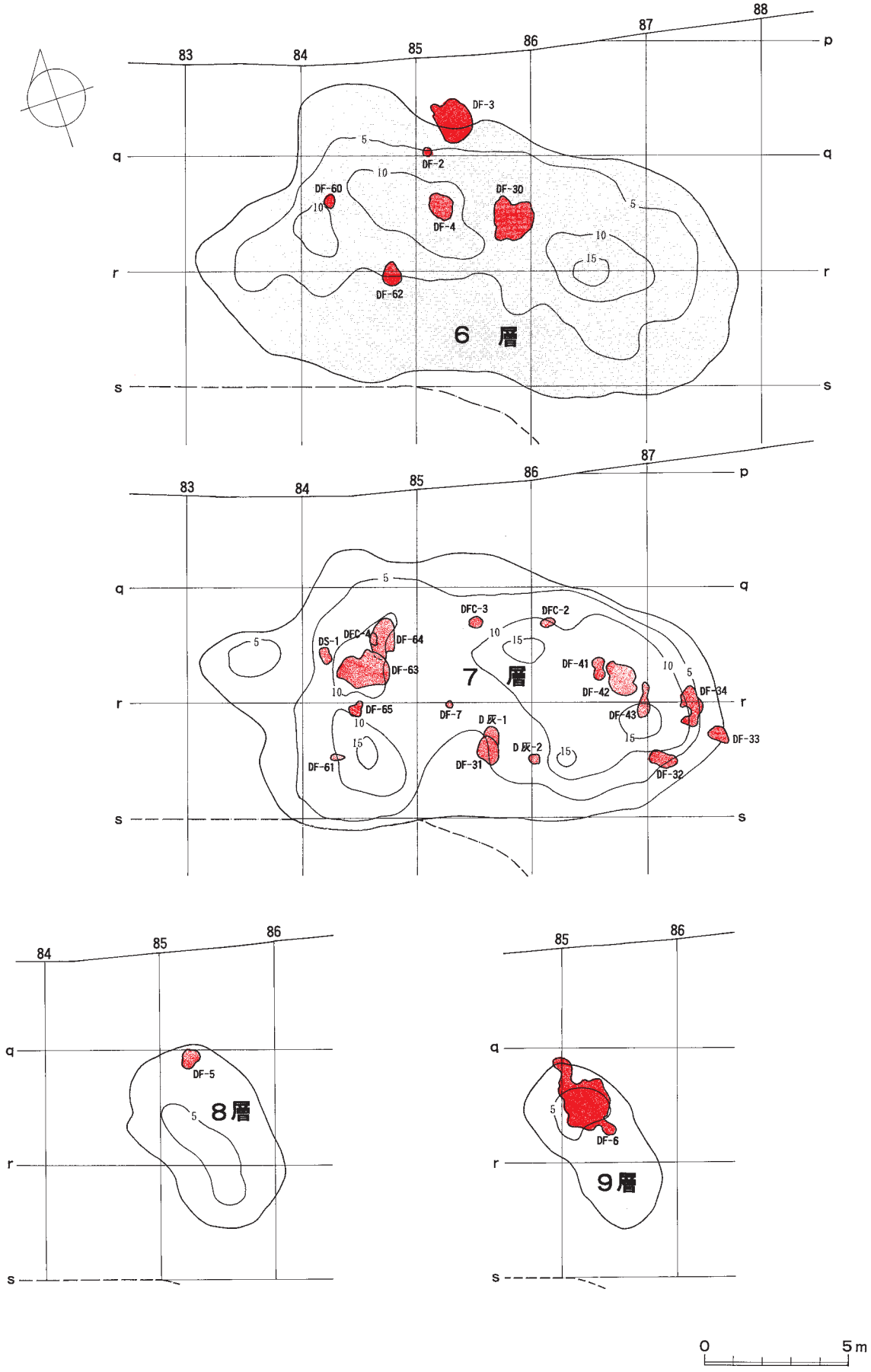
盛土Ｄ－９層は盛土Ｄ－16層に対応しているものとみられるが、重複関係はない。



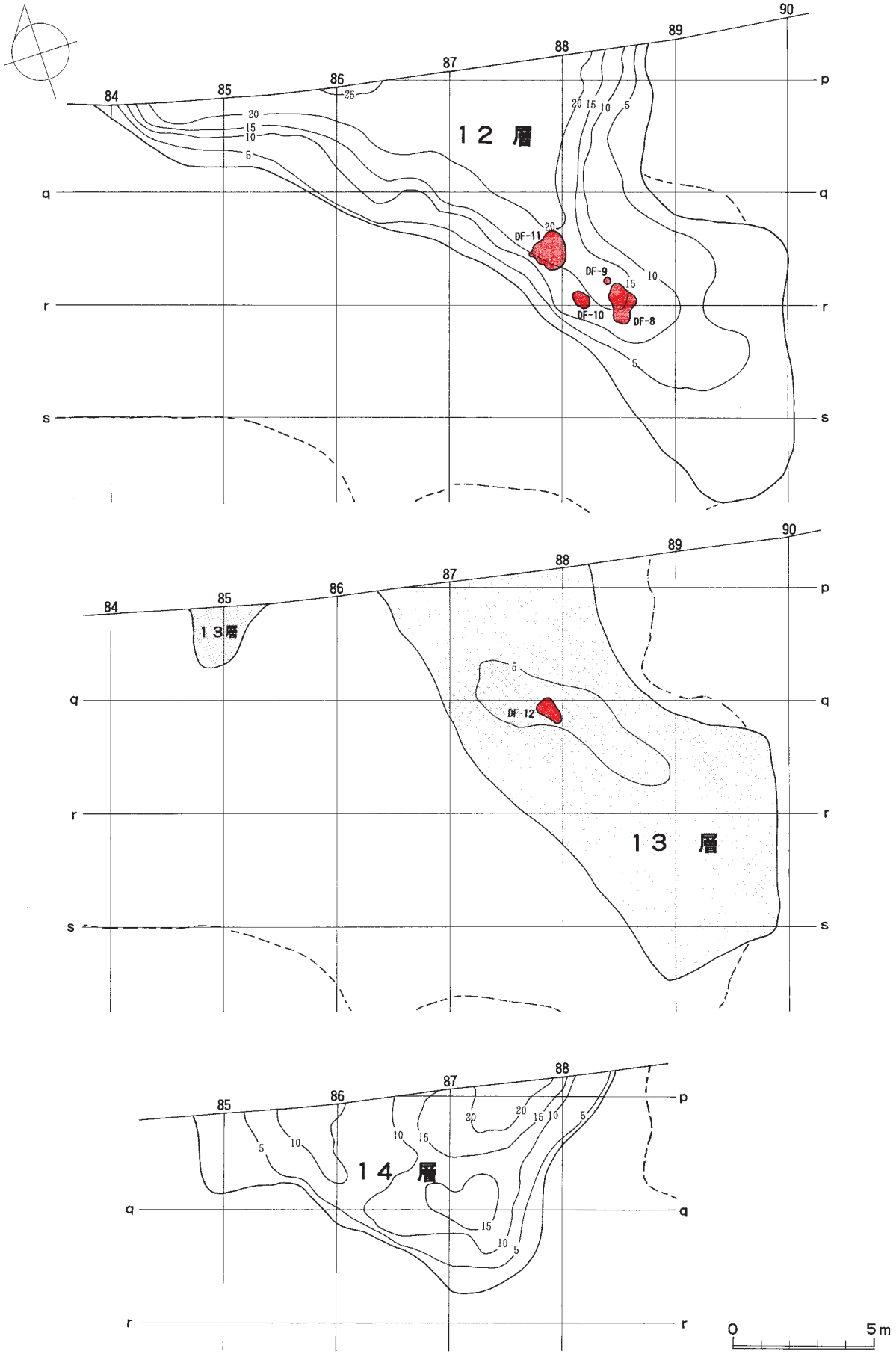
図Ⅳ－21　盛土D各層位分布図（1）



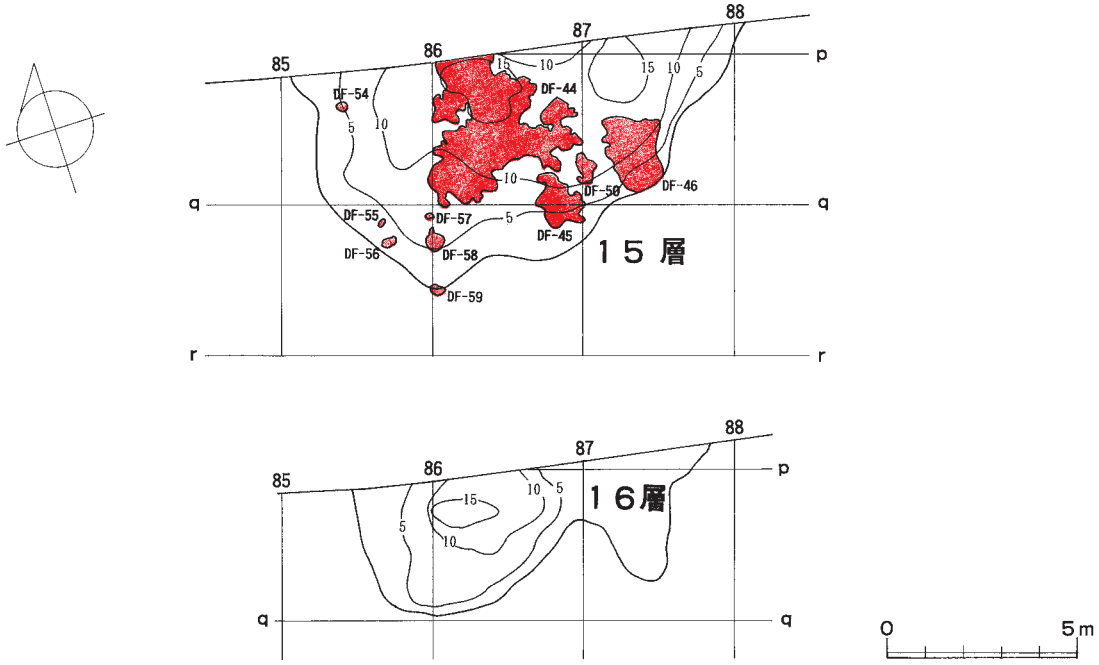
図Ⅳ－22　盛土Ｄ各層位分布図（２）



図Ⅳ－23　盛土Ｄ各層位分布図（３）



図Ⅳ－24　盛土Ｄ各層位分布図（４）



図Ⅳ－25　盛土Ｄ各層位分布図（５）

盛土Ｄ－11層

黒色（10YR 2/1）で暗く、径５㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや少量含む。粘性中、しまりはやや不良である。分布範囲は盛土Ｄの北側半分のほぼ全域にまたがっている。層厚は全体的に５㎝程度で薄く、東部がやや厚みを増しており最大10㎝になっている。東側は盛土Ａ－１層と連続している。
焼土や遺物集中等は確認できなかった。遺物の包含密度はやや小さく、土器・石器ともに小破片が圧倒的に多い。

盛土Ｄ－11層は盛土Ｄ－１層とほぼ同一の内容である。

盛土Ｄ－12層

12層は全体としては褐色～暗褐色で明るく軽石をやや少量含む層である。盛土Ｄの北東側の大部分に分布し、調査区外に続いている。層厚は最大25㎝である。北部は20～25㎝で安定している部分が多く、南東部はなだらかに厚みを小さくしている。焼土はローム主体の北部側には検出されず、やや軽石が多く含まれる南東部に４ヵ所検出された。遺物の包含密度は層厚の割に小さい。

なお12層は、部分的に様相が異なることや層が厚いことから、上下二層に分層した。

盛土Ｄ－12層上位は、暗褐色（10YR 2/3～3/3）で若干明るさが弱く、径５㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや多量に含む。粘性中、しまりはやや不良～やや良である。12層の範囲全域に分布しているが、層厚はあまりない。遺物はやや多く含まれる。盛土Ｄ－３層の大部分に対応している。

盛土Ｄ－12層下位は、褐色（10YR 3/4～4/4）で明るく、特にロームを主体とする。径５～10㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや少量含んでいる。粘性中、しまりはやや良い。12層の範囲の西部に分布する。層厚は厚く、20㎝近い部分もある。遺物はやや少ない。盛土Ｄ－５層に対応している。

盛土Ｄ－13層

黒褐色（10YR 2/2～2/3）で暗く、径５㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや多量に含む。粘性中、しまりはやや不良～不良である。ｑ－88区を中心に盛土Ｄの東部に分布しており、ｐ－85区付近にも部分的にみられる。層厚はおおむね５㎝以下で薄く、最大でも７㎝である。

焼土は１ヵ所のみで、小型である。遺物は層厚の割に密度がやや高い。また層全体、特に北部で炭化物が多量に含まれている。

盛土Ｄ－13層はＤ－６層に対応しているものとみられるが、直接の重複関係はない。

盛土Ｄ－14層

褐色（10YR 3/3～4/4）で非常に明るく、径５～10㎜程度の軽石をやや少量含む。ロームが主体だが、一部軽石が目立つところもある。粘性中、しまりは良い。ｐ－87区付近を中心に、盛土Ｄの北東部に分布しており、調査区外へ続いている。層厚は緩やかに変化し一定していない。東側に層厚が増す部分があり、最大で23㎝になる。

焼土は検出されなかった。また、遺物は層厚の割に少ない。

盛土Ｄ－14層は盛土Ｄ－７層に対応しているものとみられ、複雑に重なり合っている。14層そのものは、遺物をあまり含ませずにロームを中心に一気に土を盛っていったものと考えられる。

盛土Ｄ－15層

黒褐色（10YR 2/2～2/3）で暗く、径５～10㎜程度のＥｎ－ａ軽石を多量に含む。粘性中、しまりはやや不良である。ｐ－86区を中心に盛土Ｄの北東部に分布しており、調査区外へ続いている。層厚は焼土を含め10～15㎝程度でやや安定しており、最大19㎝である。

焼土は層上面～中位から10ヵ所検出された。中央部から東部に大型の焼土が広範囲に広がり、西部に小型の焼土が点在している。遺物はやや多く出土しており、焼土にも多数の遺物が含まれている。また、層全体にわたって炭化物が特に多量に含まれている。

なお大型の焼土を境に、15層上位と15層下位に分層したところがある。上位に比べ下位はやや明るく軽石の混入が少ない。

盛土Ｄ－15層は盛土Ｄ－８層に対応しているものとみられるが、重複関係はない。

盛土Ｄ－16層

黒褐色～暗褐色（10YR 2/3～3/4）でやや暗く、径５㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや少量含む。粘性中、しまりはやや良い。ｐ－86区を中心に盛土Ｄの北東部に小範囲に分布しており、調査区外へ小範囲ながら続いている。盛土Ｄ（上位）の北側の尾根状マウンドの最下層である。層厚は緩やかに変化し一定していないが、東部は５㎝以下で薄く広がっている。最大厚は16㎝でｐ－86区にある。焼土は検出されなかった。また遺物はやや少ない。

盛土Ｄ－16層は盛土Ｄ－９層に対応しているものとみられるが、重複関係はない。

c．焼土

盛土D（上位）では、66ヵ所の焼土を検出した。他の盛土ブロックに比べ中型～大型のものが多い。また、強く被熱した焼土が多い。最上部や最下部には焼土はほとんど形成されておらず、D－7層やD－15層など盛土Dが少し形成されたころの層位で検出件数が目立っている。層ごとに焼土の規模や検出件数が大きく異なっている。

各焼土の規模などは一覧表に掲げた。以下に各焼土の特徴と所見を層ごとに記す。

表Ⅳ－3　盛土Dの焼土一覧（1）

焼土番号	被熱層	中心位置（発掘区）	平面形	規模(cm)			色調	図版番号	遺物				備考
				長軸	短軸	層厚			土器	石器	礫	骨片	
RMDF－1	D3	r-85	不整形	712	364	21	赤褐色	図Ⅳ－26	◎	○	○	△	
RMDF－2	D6	p-85	ほぼ円形	28	28	4	暗赤褐色	図Ⅳ－31	＊	＊			
RMDF－3	D6	p-85	楕円形	163	122	8	暗赤褐色	図Ⅳ－31	○	△	＊	○	
RMDF－4	D6	q-85	楕円形	100	84	6	赤褐色	図Ⅳ－31	○	△	＊	△	
RMDF－5	D8	q-85	ほぼ楕円形	66	56	－	暗赤褐色	図Ⅳ－33	△	＊		＊	
RMDF－6	D9	q-85	不整形	332	193	7	赤褐色	図Ⅳ－33	○	△	△	△	
RMDF－7	D7	r-85	楕円形	22	18	3	暗赤褐色	図Ⅳ－32	△	＊	＊	＊	
RMDF－8	D12	q-88	不整形	143	92	10	暗赤褐色	図Ⅳ－33	△	＊	＊	＊	
RMDF－9	D12	q-88	楕円形	27	22	5	暗赤褐色	図Ⅳ－33					
RMDF－10	D12	q-88	楕円形	70	47	6	極暗赤褐色	図Ⅳ－33	＊	＊	＊	＊	
RMDF－11	D12下	q-87	ほぼ楕円形	139	129	7	極暗赤褐色	図Ⅳ－33	○	＊	＊	＊	
RMDF－12	D13	q-87	卵形	98	64	16	赤褐色	図Ⅳ－33	○	△	＊	△	
RMDF－13	D5	q-87	楕円形	25	20	13	暗赤褐色	図Ⅳ－30	△	＊	＊	＊	
RMDF－14	D4	q-83	不整形	162	140	13	赤褐色	図Ⅳ－29	○	△	＊	△	
RMDF－15	D4	q-83	ほぼ楕円形	57	30	4	暗赤褐色	図Ⅳ－29	△	＊		＊	
RMDF－16	D3	q-83	不整形	418	224	17	にぶい赤褐色	図Ⅳ－27	◎	○	△	△	
RMDF－17	D3	r-83	不整形	118	50	12	赤褐色	図Ⅳ－27	△	△	△	＊	
RMDF－18	D3	r-83	不整形	114	67	7	にぶい赤褐色	図Ⅳ－27	○	＊	＊	＊	
RMDF－19	D3	r-83	不整形	254	90	8	赤褐色	図Ⅳ－27	○	△	＊	△	
RMDF－20	D3	r-84	楕円形	109	84	12	赤褐色	図Ⅳ－27	○	△	＊	＊	
RMDF－21	D3	q-84	楕円形	80	70	6	暗赤褐色	図Ⅳ－28	△	＊	＊	＊	
RMDF－22	D3	p-84	楕円形	92	76	15	暗赤褐色	図Ⅳ－28	○	△	＊	＊	
RMDF－23	D3	p-84	ほぼ楕円形	39	24	6	暗赤褐色	図Ⅳ－28	△	＊	＊	＊	
RMDF－24	D3	p-84	楕円形	25	20	4	暗赤褐色	図Ⅳ－28	△	＊	＊	＊	
RMDF－25	D3	r-82	円形	74	74	5	暗赤褐色	図Ⅳ－28	△	＊	＊	＊	
RMDF－26	D4	q-83	楕円形	61	56	10	赤褐色	図Ⅳ－29	○	＊	＊	＊	
RMDF－27	D4	p-83	ほぼ円形	62	49	5	暗赤褐色	図Ⅳ－29	△	＊		＊	
RMDF－28	D4	r-83	不整形	109	91	6	暗赤褐色	図Ⅳ－29	○	△	＊	＊	
RMDF－29	D4	q-84	楕円形	30	22	－	極暗赤褐色	図Ⅳ－29	＊	＊		＊	
RMDF－30	D6	q-85	ほぼ楕円形	166	154	6	暗赤褐色	図Ⅳ－31	○	△	＊	△	
RMDF－31	D7	r-85	楕円形	100	74	11	赤褐色	図Ⅳ－32	○	△	＊	△	
RMDF－32	D7	r-87	ほぼ楕円形	93	56	9	赤褐色	図Ⅳ－32	△	＊	＊	＊	
RMDF－33	D7	r-87	楕円形	73	50	10	明赤褐色	図Ⅳ－32	＊	＊	＊	＊	
RMDF－34	D7	q-87	不整形	144	76	9	暗赤褐色	図Ⅳ－32	△	＊	＊	＊	
RMDF－35	D4	r-84	不整形	105	66	－	極暗赤褐色	図Ⅳ－29	△	＊	＊	＊	
RMDF－36	D4	r-83	ほぼ楕円形	45	24	－	極暗赤褐色	図Ⅳ－29	△	＊	＊	＊	
RMDF－37	D4	r-83	不整形	84	70	6	赤褐色	図Ⅳ－29	○	△	＊	△	
RMDF－38	D4	r-83	楕円形	54	44	11	暗赤褐色	図Ⅳ－29	○	△	＊	△	
RMDF－39	D4	r-83	不整形	98	67	4	極暗赤褐色	図Ⅳ－29	○	△	＊	＊	
RMDF－40	D4	r-83	不整形	78	58	3	極暗赤褐色	図Ⅳ－29	△	△	＊	＊	
RMDF－41	D7	q-86	双円形	78	41	6	赤褐色	図Ⅳ－32	△	＊	＊	＊	
RMDF－42	D7	q-86	不整形	132	100	12	赤褐色	図Ⅳ－32	△	＊	＊	＊	
RMDF－43	D7	q-86	双円形	122	44	6	暗赤褐色	図Ⅳ－32	△	＊	＊	＊	
RMDF－44	D15	p-86	不整形	440	440	16	明赤褐色	図Ⅳ－34	◎	○	△	△	
RMDF－45	D15	p-86	不整形	167	114	6	赤褐色	図Ⅳ－34	○	△	＊	＊	
RMDF－46	D15	p-87	不整形	215	164	7	赤褐色	図Ⅳ－34	○	△	＊	＊	

※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量

表Ⅳ－４　盛土Ｄの焼土一覧（２）

焼土番号	被熱層	中心位置（発掘区）	平面形	規模(cm) 長軸	短軸	層厚	色調	図版番号	遺物 土器	石器	礫	骨片	備考
RMDF－47	D5	q-84	楕円形	250	190	8	明赤褐色	図Ⅳ－30	○	△	△	△	
RMDF－48	D5	q-84	楕円形	28	22	5	暗赤褐色	図Ⅳ－30	△	＊	＊	＊	
RMDF－49	D3	q-83	楕円形	88	80	14	にぶい赤褐色	図Ⅳ－28	○	△	＊	△	
RMDF－50	D15	p-87	不整形	76	63	8	にぶい赤褐色	図Ⅳ－34	△	＊	＊	＊	
RMDF－51	D5	r-84	楕円形	46	29	4	にぶい赤褐色	図Ⅳ－30	△	＊	＊	＊	
RMDF－52	D5	r-84	双円形	139	59	－	暗赤褐色	図Ⅳ－30	△	＊	＊	＊	
RMDF－53	D5	r-83	不整形	93	69	6	赤褐色	図Ⅳ－30	○	△	＊	△	
RMDF－54	D15	p-85	楕円形	30	26	1	極暗赤褐色	図Ⅳ－35	＊	＊	＊	＊	
RMDF－55	D15	q-85	楕円形	20	16	1	極暗赤褐色	図Ⅳ－35	△	＊	＊	＊	
RMDF－56	D15	q-85	楕円形	38	25	2	極暗赤褐色	図Ⅳ－35	△	＊		＊	
RMDF－57	D15	q-85	楕円形	19	15	1	極暗赤褐色	図Ⅳ－35	△	＊			
RMDF－58	D15	q-86	不整形	61	50	3	極暗赤褐色	図Ⅳ－35	△	＊	＊	＊	
RMDF－59	D15	q-86	楕円形	38	36	3	極暗赤褐色	図Ⅳ－35	＊	＊	＊	＊	
RMDF－60	D6	q-84	楕円形	48	36	－	暗赤褐色	図Ⅳ－31	△	＊	＊	＊	
RMDF－61	D7	r-84	楕円形	46	25	－	暗赤褐色	図Ⅳ－32	△	＊	＊	＊	
RMDF－62	D6	r-84	楕円形	80	66	5	赤褐色	図Ⅳ－31	△	△	＊	△	
RMDF－63	D7	q-84	不整形	182	125	17	明赤褐色	図Ⅳ－32	◎	○	△	△	
RMDF－64	D7	q-84	楕円形	143	82	－	暗赤褐色	図Ⅳ－32	○	△	＊	＊	
RMDF－65	D7	r-84	不整形	55	46	5	暗赤褐色	図Ⅳ－32	△	＊	＊	＊	
RMDF－66	D3	q-84	不整形	250	114	8	暗赤褐色	図Ⅳ－28	○	△	＊	＊	

※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量

【盛土Ｄ－３層の焼土】（図Ⅳ－26～28）

ＲＭＤＦ－１　調査区内最大の焼土で、長軸は７ｍ以上に達する。東西方向は長くほぼ平坦であるのに対し、南北方向はやや短く北から南に向かって傾斜が大きい。東部で南側に張り出す部分は、傾斜によって焼土が移動したものと考えられる。焼土上面はやや暗いが、境界は明瞭である。

層厚は15～20㎝で安定している部分が多い。層の中央部（焼土２層）は特に明度の高い赤褐色で、その上下層（焼土１層・焼土３層）は漸移的に暗くなっている。中央部の明るい層は、30～60㎝ほどの単位でレンズ状に被熱した部分がつながっていることが観察できる。10ヵ所以上の焼成スポットでかなりの頻度・時間で焼成されたものと考えられる。

遺物は600点以上出土している。土器はいずれも小破片である。定形的な石器は、石鏃６点をはじめ、スクレイパー、石斧、たたき石が出土している。焼土１層～焼土３層からまんべんなく出土しているが、被熱層である盛土Ｄ－３層に含まれていた遺物と考えられ、焼土に直接関係あるものは確認できなかった。

ＲＭＤＦ－16　４ｍ以上にわたる大型の焼土であるが、不整形に広がる。南側は盛土Ｄ－３層の傾斜に従って低くなっている。層厚は５～15㎝で一定していない。西側にやや厚い部分がある。北側は層が薄く色調がやや乱れており、焼成後に土が移動したものと思われる。出土遺物は規模の割には少ないが、焼成粘土塊が出土するなどの特徴がある。

ＲＭＤＦ－17　北東側と南西側に焼成の強い部分をもち、特に北東側はかなり強い。被熱層はやや厚く、盛土Ｄ－４層に達している。出土遺物は少ない。

ＲＭＤＦ－18　被熱層は薄く、断面が乱れている。境界は不明瞭である。石鏃が１点出土している。

ＲＭＤＦ－19　長軸2.5ｍを測るやや大型の焼土であるが、被熱層は薄い。小規模の焼成箇所がつながった状態である。炭化物が目立つ。

ＲＭＤＦ－20　比較的まとまった中規模の焼土で、強く被熱している。中心部から漸移的に暗くなっている。南側は盛土Ｄ－３層の傾斜に従って低くなっている。石鏃が２点出土している。

ＲＭＤＦ－21　中心部はある程度明度が高い。周辺部、特に北側は漸移的変化をせずに乱れており、焼成後に土壌が移動したと見られる。

表Ⅳ－５　盛土Ｄの焼土出土土器等

焼土番号	Ⅰb-4	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳa	Ⅳb-3	Ⅳb-4	Ⅳc	Ⅳc-1	Ⅳc-0	ミニチュア	土製品	焼成粘土塊	合計
RMDF-1						1	448	81				1	531
RMDF-3							62	34					96
RMDF-4							41	9					50
RMDF-5							4						4
RMDF-6							307	72		2		2	383
RMDF-7							2						2
RMDF-8							16	3					19
RMDF-10							1						1
RMDF-11							31	5					36
RMDF-12							83	8					91
RMDF-13							1						1
RMDF-14							83	25					108
RMDF-15							9	3					12
RMDF-16						1	95	23				2	121
RMDF-17							6	2					8
RMDF-18							2						2
RMDF-19							27	9					36
RMDF-20							19	4					23
RMDF-21							5	3					8
RMDF-22							48	7					55
RMDF-23							1						1
RMDF-24							4	1					5
RMDF-25							4	1					5
RMDF-26							13	1					14
RMDF-27							5	1					6
RMDF-28							7	2					9
RMDF-30							115	19					134
RMDF-31							49	13					62
RMDF-32							5	2					7
RMDF-33							1						1
RMDF-34							40	2			1		43
RMDF-35							1						1
RMDF-36							1						1
RMDF-37							29	5					34
RMDF-38							11	1					12
RMDF-39								7					7
RMDF-40							4	1					5
RMDF-41							3	4					7
RMDF-42							11	2					13
RMDF-43							11	1					12
RMDF-44							265	44				4	313
RMDF-45							4						4
RMDF-46							15	3					18
RMDF-47							51	7					58
RMDF-48							4						4
RMDF-49							146	18					164
RMDF-50							5	1					6
RMDF-53							15	4					19
RMDF-58							7	3					10
RMDF-59							1						1
RMDF-61							6						6
RMDF-62							8	3					11
RMDF-63							304	69			1		374
RMDF-64							23	9				1	33
RMDF-65							12	3					15
RMDF-66				1			36	5					42
RMDF合計				1		2	2507	520		2	2	10	3044

表Ⅳ－６　盛土Ｄの焼土出土石器等

焼土番号	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石斧	たたき石	砥石	台石もしくは石皿	ピエス・エスキーユ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のみられる礫	石核	原石	フレイク	礫	石棒	石製品	合計
RMDF-1	20	2		1	1	1				3	4		1	2	68	5			108
RMDF-3	3		1								2				12				18
RMDF-4										1					20	3			24
RMDF-5											1				1				2
RMDF-6	3	3			1			2		2	2	1			47	3			64
RMDF-7					1														1
RMDF-8														1	2				3
RMDF-11	2	1													3	2			8
RMDF-12	2									1					4				7
RMDF-14	1	1								1	1				35				39
RMDF-15															1				1
RMDF-16	6			1						6	2				46	3			64
RMDF-17	1													1	5				7
RMDF-18	1														2				3
RMDF-19										1					7	1			9
RMDF-20	2								1		2				10				15
RMDF-21										1					2				3
RMDF-22															7				7
RMDF-23															1				1
RMDF-24	1																		1
RMDF-25															2				2
RMDF-26						1				1	1								3
RMDF-28										1					3				4
RMDF-30	2										2				14				18
RMDF-31	3										1				14				18
RMDF-32	1														3				4
RMDF-33															1				1
RMDF-34															2				2
RMDF-35											1				1				2
RMDF-37	2														2				4
RMDF-38	1																		1
RMDF-39		1													2			1	4
RMDF-40															17				17
RMDF-42												1			1				2
RMDF-43															1				1
RMDF-44	5	2					1			2	1	1	1	1	18	2			34
RMDF-45	2														1				3
RMDF-46	4			1			1												6
RMDF-47					1										8				9
RMDF-48															2				2
RMDF-49											1				17				18
RMDF-50		1																	1
RMDF-53	2										1				8				11
RMDF-54														1					1
RMDF-58	1																		1
RMDF-59	1														1				2
RMDF-61															1				1
RMDF-62	1		1			1									2				5
RMDF-63	3				2	1									80	5			91
RMDF-64															11				11
RMDF-65										1									1
RMDF-66	1									1					2				4
合　計	71	11	2	3	6	4	2	2	1	22	22	3	2	6	487	24	0	1	669

ＲＭＤＦ－22　全体的に強く被熱しているが、特に中央部は盛土Ｄ－４層の中ほどまで達している。遺物の出土密度はやや高い。

ＲＭＤＦ－23　小規模で薄い。

ＲＭＤＦ－24　小規模ながらやや明度が高い。

ＲＭＤＦ－25　境界は明瞭であるが、被熱層は薄い。出土遺物は少ない。

ＲＭＤＦ－49　明度が高く、かなり強く被熱している。周辺部との境界は明瞭である。遺物の密度が高い。

ＲＭＤＦ－66　長軸2.5ｍを測るやや大型の焼土であるが、南西側は傾斜に従って土壌が移動した部分とみられる。被熱層は５㎝程度でやや安定している。出土遺物は規模の割にあまり多くない。Ⅳ群ｃ類土器とともにⅣ群ａ類土器が混入している。

【盛土Ｄ－４層の焼土】（図Ⅳ－29）

ＲＭＤＦ－14　盛土Ｄ－４層の上面で検出した中規模の焼土。西側に強く被熱した部分がある。その周辺の漸移的に変化する暗赤褐色の層がやや厚い。出土遺物はやや多く、骨片も目立つ。頁岩製の石鏃が１点出土している。

ＲＭＤＦ－15　ＲＭＤＦ－14と同一面で検出した小型の焼土。

ＲＭＤＦ－26　盛土Ｄ－４層の中位で検出したやや小型の焼土。断面はやや複雑で、熱の受け方にかなり強弱があるものとみられる。強く被熱した土器が出土した。

ＲＭＤＦ－27　ＲＭＤＦ－26と同一面で検出したやや小型の焼土。中央部の一部が明るい。

ＲＭＤＦ－28　断面が波状になっており、層厚は薄いが被熱の強弱が顕著である。

ＲＭＤＦ－29　小型で特に薄い焼土。

ＲＭＤＦ－35　不整形に広がる薄い焼土。

ＲＭＤＦ－36　小型で特に薄い焼土。

ＲＭＤＦ－37　被熱層は明度が高く、５㎝程度で安定している。境界は明瞭である。

ＲＭＤＦ－38　断面は南側の盛土Ｅにまたがる側がやや厚い。色調はやや暗めながら、漸移的変化が見られる。出土遺物は少ない。

ＲＭＤＦ－39　不整形で断面形も乱れており、小規模の焼成箇所が不規則に集合したものとみられる。出土遺物は少ない。

ＲＭＤＦ－40　ＲＭＤＦ－39と同様の焼土。

【盛土Ｄ－５層の焼土】（図Ⅳ－30）

ＲＭＤＦ－13　盛土Ｄ－５層の東部で唯一検出された焼土であるが、北側の12層の焼土（ＲＭＤＦ－８～12）とほぼ同時期に形成されたものとみられる。小規模ながら中央部が厚く、強く被熱している。遺物はほとんど含まれていない。

ＲＭＤＦ－47　長軸2.5ｍを測るやや大型の焼土であるが、被熱層が全体的に薄く、東側は境界が非常に不明瞭になっている。 北側１ヵ所、南側２ヵ所にやや厚みを増す部分がある。中央部や東部の一部には、傾斜に従って土壌が移動した部分があるものとみられる。出土遺物は規模の割に少ない。石斧が１点出土している。

ＲＭＤＦ－48　小規模ではあるが、中央部がやや厚くなっている。

ＲＭＤＦ－51　やや明度の高い被熱層が４㎝程度で安定している。出土遺物はほとんどない。

ＲＭＤＦ－52　中規模であるが、被熱層が薄く、境界もやや不明瞭である。

ＲＭＤＦ－53　被熱層が５㎝程度で薄いが、明度が高い。遺物はやや多く、石鏃が２点出土している。

【盛土Ｄ－６層の焼土】（図Ⅳ－31）

ＲＭＤＦ－２ トレンチ調査で検出した、小規模で薄い焼土。

ＲＭＤＦ－３ トレンチ調査で検出した、まとまったやや大型の焼土。南側は盛土Ｄ－６層の傾斜に従ってやや下がっている。被熱層は５～８㎝程度で安定しているものの、中心部からの漸移的変化は確認できない。また、被熱した軽石と被熱していない軽石が混在するなど、焼土の内容が一様でない。焼成後の土壌の移動または他の場所からの投棄が行われている可能性がある。遺物は規模の割に少ない。ただし、北西部にのびる焼土の直上に深鉢形土器の一部が扇形に置かれたような状態で出土しており、焼土に直接関係する遺物と考えられる。定形的な石器は、つまみ付きナイフが１点出土している。

ＲＭＤＦ－４ トレンチ調査で検出した、１ｍ規模のまとまった焼土。明度が高く、層厚は５㎝程度で安定している。軽石が多く混入している。出土遺物は被熱層である盛土Ｄ－６層同様、密度が高い。また骨片、炭化物が目立つ。

ＲＭＤＦ－30 まとまったやや大型の焼土。被熱層は５㎝以下でやや安定しているものの、中心部からの漸移的変化は確認できない。また、被熱した軽石と被熱していない軽石が混在するなど、焼土の内容が一様でない。遺物は点数が多いものの、堂林式土器の小片や黒曜石のフレイクチップばかりである。

ＲＭＤＦ－60 小規模で薄い焼土。遺物はほとんど出土していない。

ＲＭＤＦ－62 盛土Ｄ－６層の下部で検出されたやや小型の焼土。明度が高い。出土遺物は少ない。やや骨片が目立つ。

【盛土Ｄ－７層の焼土】（図Ⅳ－32）

ＲＭＤＦ－７ トレンチ調査で検出した、小型で薄い焼土。石斧が焼土に突き刺さったような状態で出土したが、焼土と直接の関係はないものと思われる。

ＲＭＤＦ－31 長軸１ｍ規模のまとまった焼土。南側は盛土７層の傾斜に従ってやや下がっている。被熱層は10㎝弱で安定している。中心部の明度が高く、漸移的変化を見せている。北側に炭化物を多量に含む灰層が広がっており、焼土の形成と一連のものになっている。遺物の密度はそれほど高くない。定形的な石器は、石鏃が３点出土している。

ＲＭＤＦ－32 北西部と南東部に焼成箇所をもつ。明度が高く、漸移的変化が見られる。出土遺物は少ない。

ＲＭＤＦ－33 北東部に明度の高い部分があり、漸移的変化が見られる。南東部は焼成後の土壌が一部移動した可能性がある。出土遺物は少ない。

ＲＭＤＦ－34 不整形に薄く広がる焼土。出土遺物は少ない。

ＲＭＤＦ－41 北側に強く南側に弱い被熱層をもつ焼成箇所が連結したもの。出土遺物は少ない。

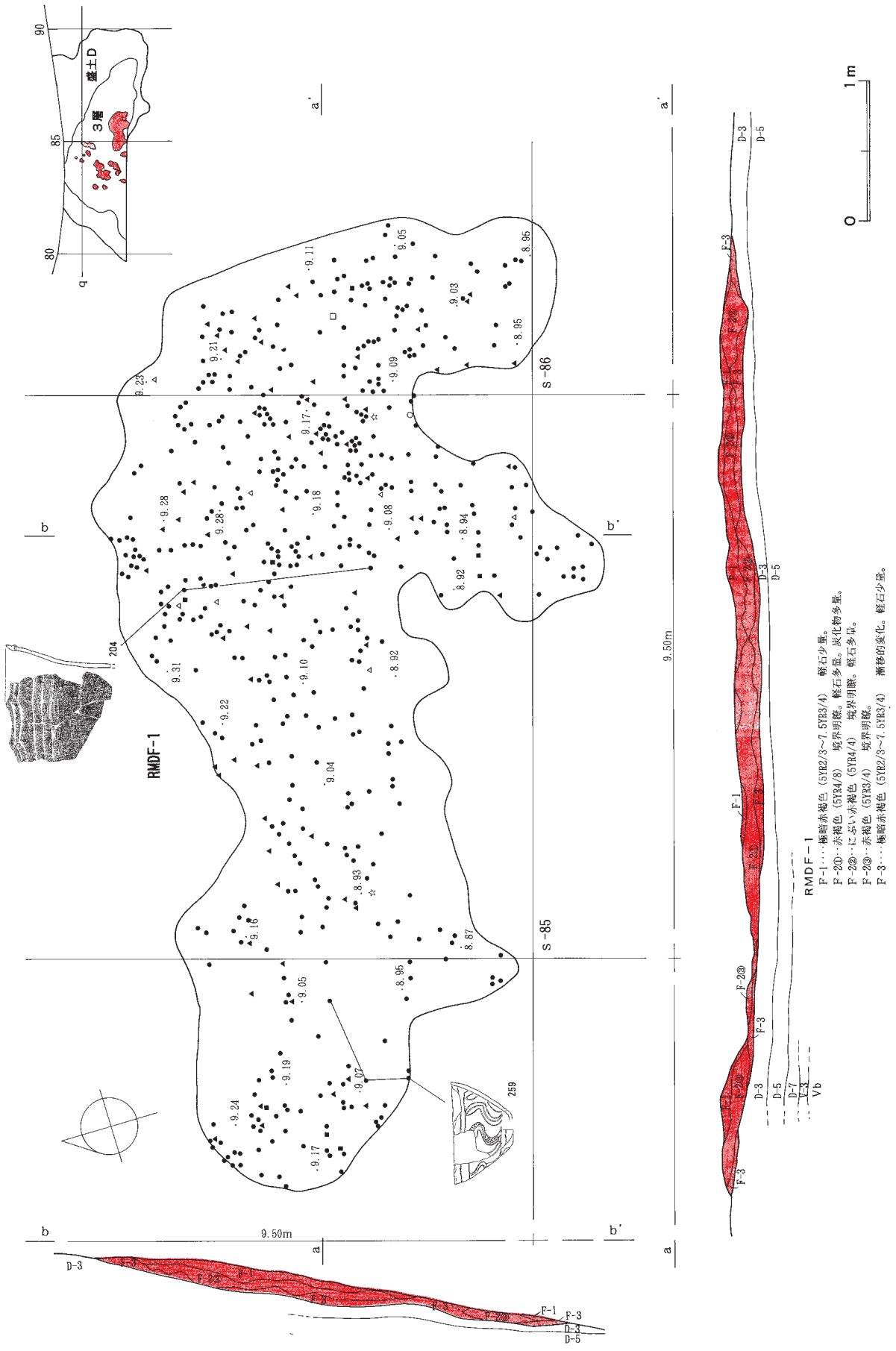
ＲＭＤＦ－42 やや大型の焼土。中央部の明度が高く、漸移的変化が見られる。周縁部のやや暗い部分が広い。出土遺物は少ない。

ＲＭＤＦ－43 ３ヵ所以上の焼成箇所が細長く連結した状態の焼土。出土遺物は少ない。

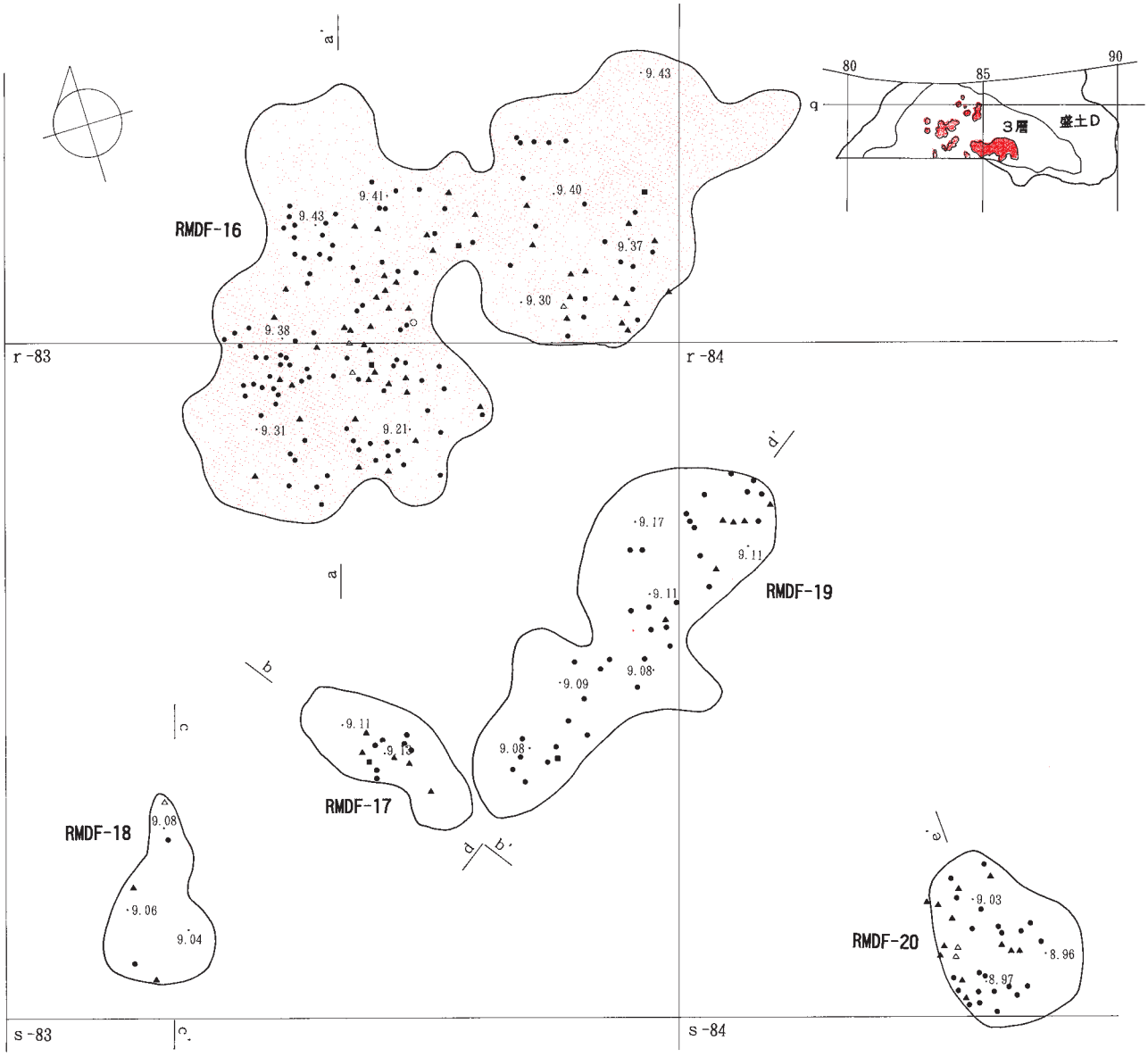
ＲＭＤＦ－61 小型で薄い焼土。出土遺物は少ない。

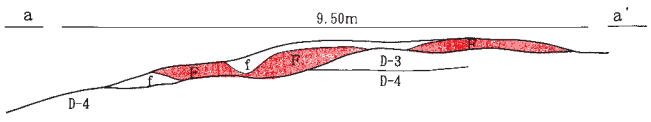
ＲＭＤＦ－63 長軸２ｍ近くにおよぶやや大型の焼土。被熱層は非常に厚くて強く被熱しており、中央部はＶｂ層まで達している。くぼみを設けて焚きつけた可能性がある。遺物の出土密度は高く、石鏃、石斧、たたき石のほか、赤彩された土製品など特徴ある遺物が出土している。

ＲＭＤＦ－64 盛土Ｄ－７層の下部に薄く広がる焼土。遺物は比較的少ないが、焼成粘土塊が出土するなどの特徴がある。

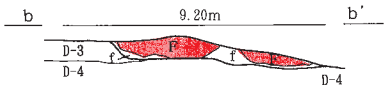


図Ⅳ－26　盛土Dの焼土（1）



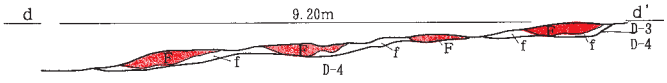


RMDF－16
F····にぶい赤褐色（5YR4/4）　境界明瞭。軽石やや多量。炭化物少量。
f····暗赤褐色（5YR3/3）　境界不明瞭。

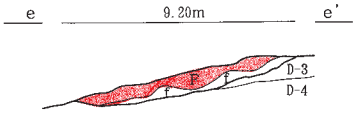


RMDF－17
F····赤褐色（5YR4/6）　境界明瞭。軽石少量。
f····暗赤褐色（5YR3/3）　軽石少量。

RMDF－18
F····にぶい赤褐色（5YR4/4）　境界やや不明瞭。軽石少量。
f····暗赤褐色（5YR3/3）　境界やや不明瞭。軽石少量。

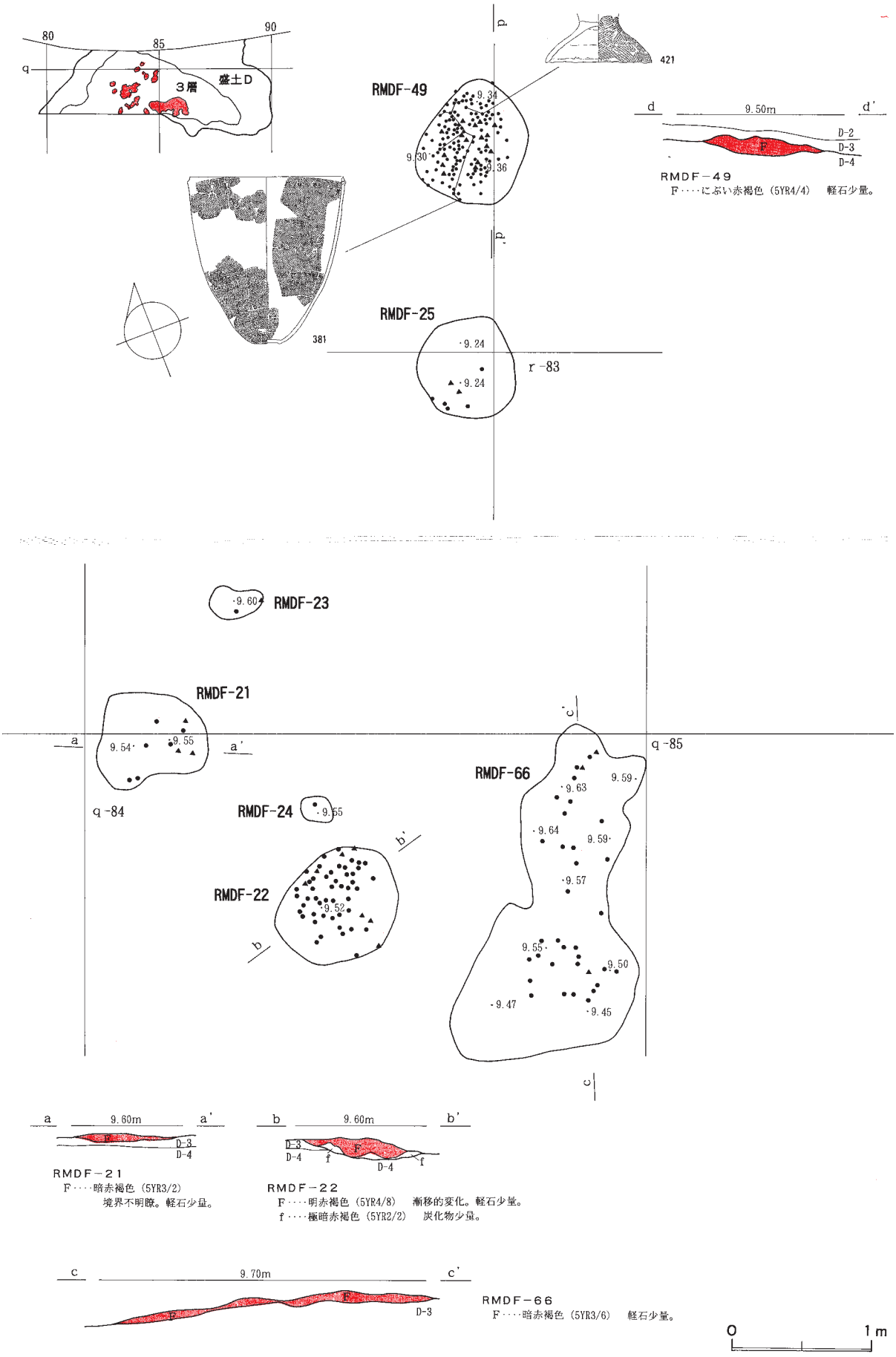


RMDF－19
F····赤褐色（5YR4/6）　不均質。軽石やや多量。炭化物多量。
f····暗赤褐色（5YR3/2）　炭化物多量。

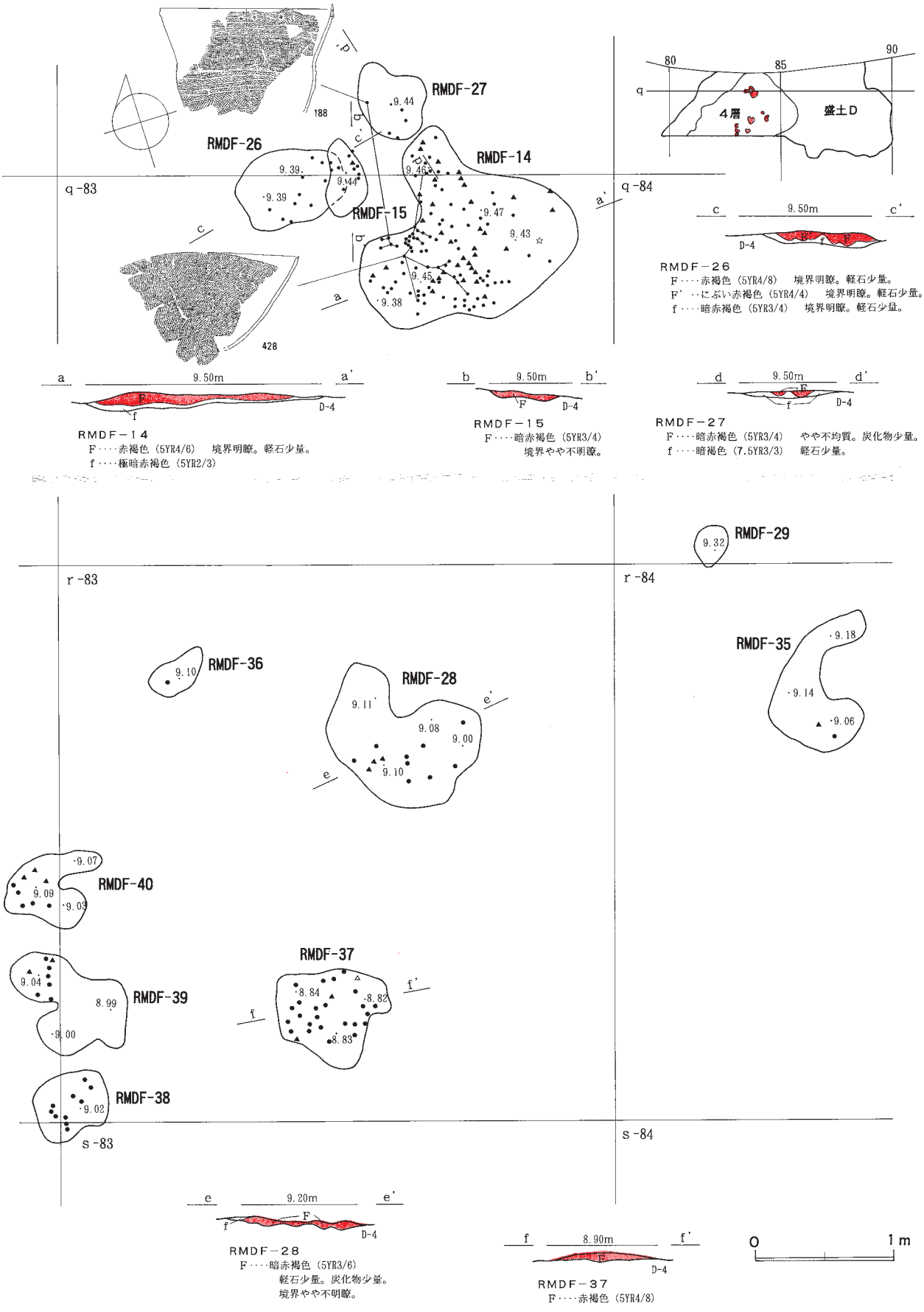


RMDF－20
F····赤褐色（5YR4/8）　境界明瞭。軽石多量。炭化物少量。
f····暗赤褐色（5YR3/2）　炭化物多量。

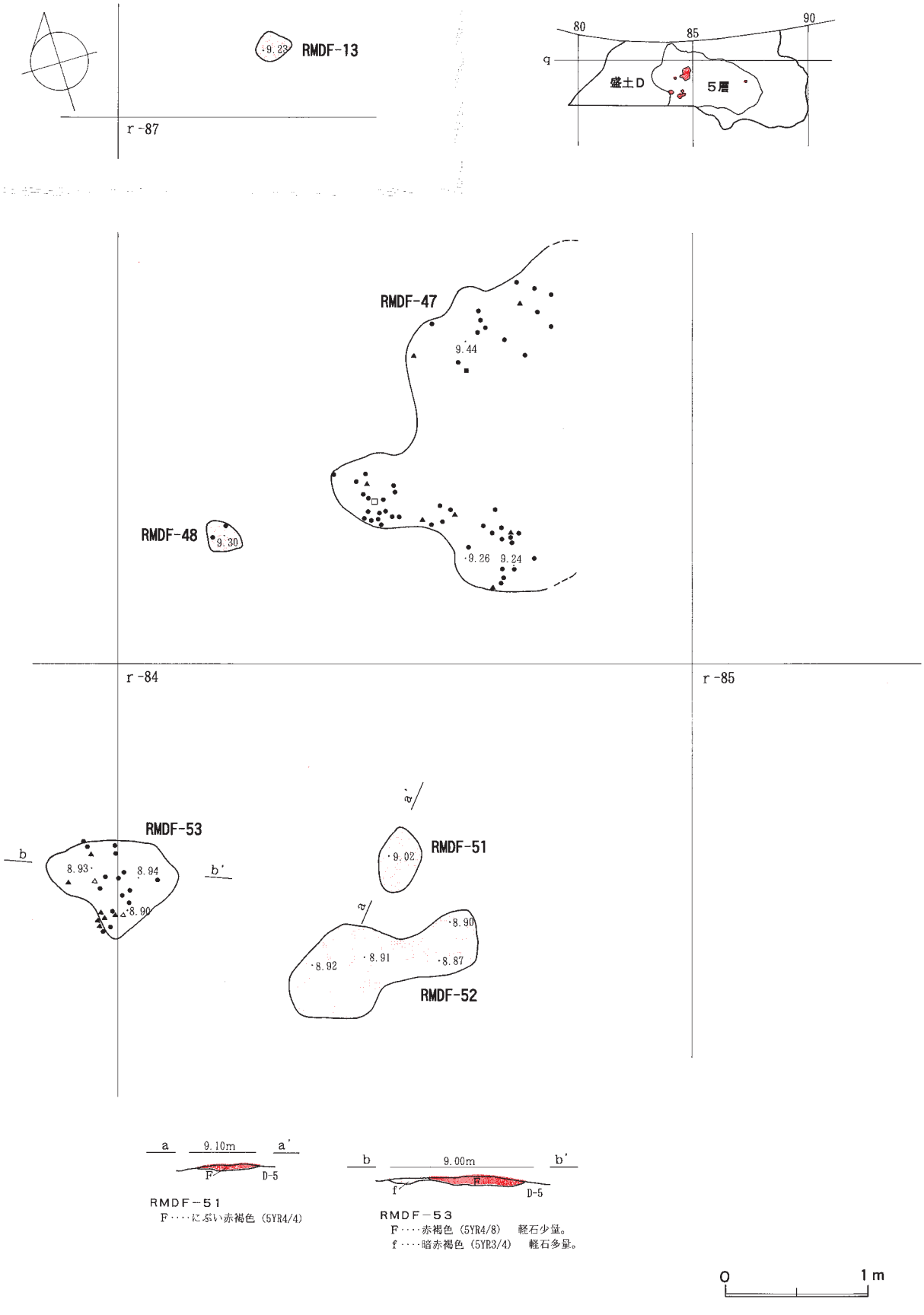
図Ⅳ－27　盛土Ｄの焼土（２）



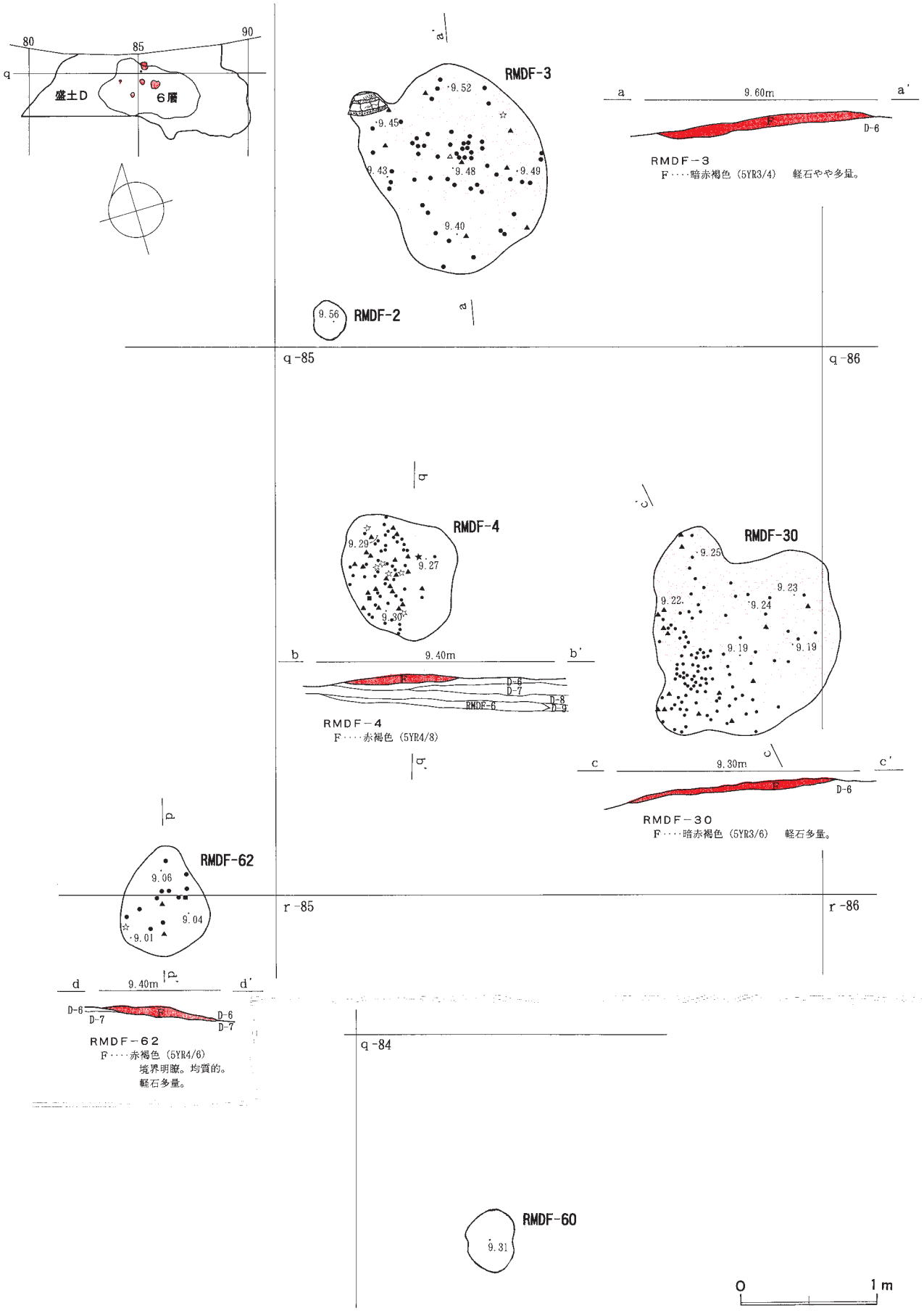
図Ⅳ－28　盛土Dの焼土（3）



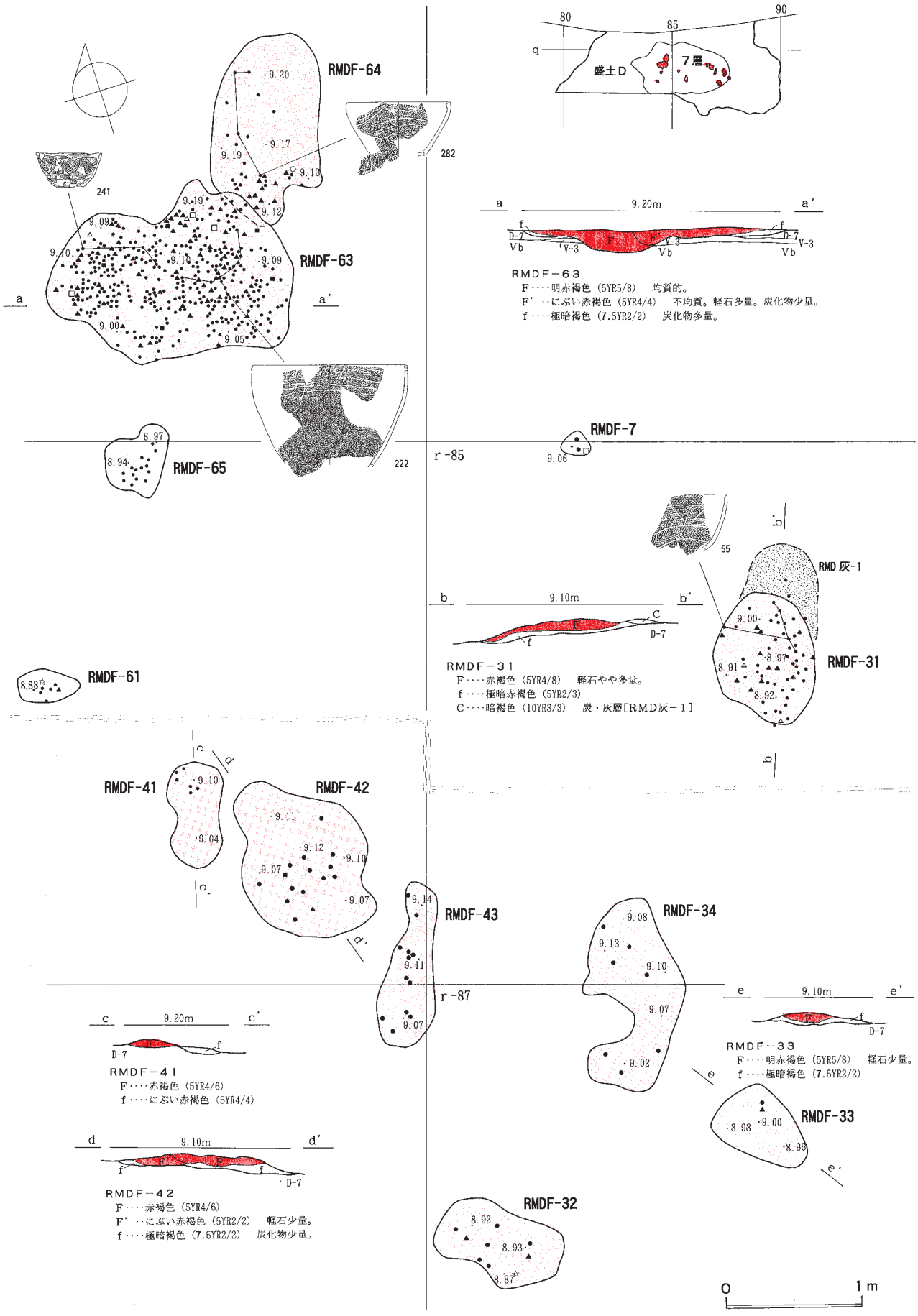
図Ⅳ－29　盛土Ｄの焼土（４）



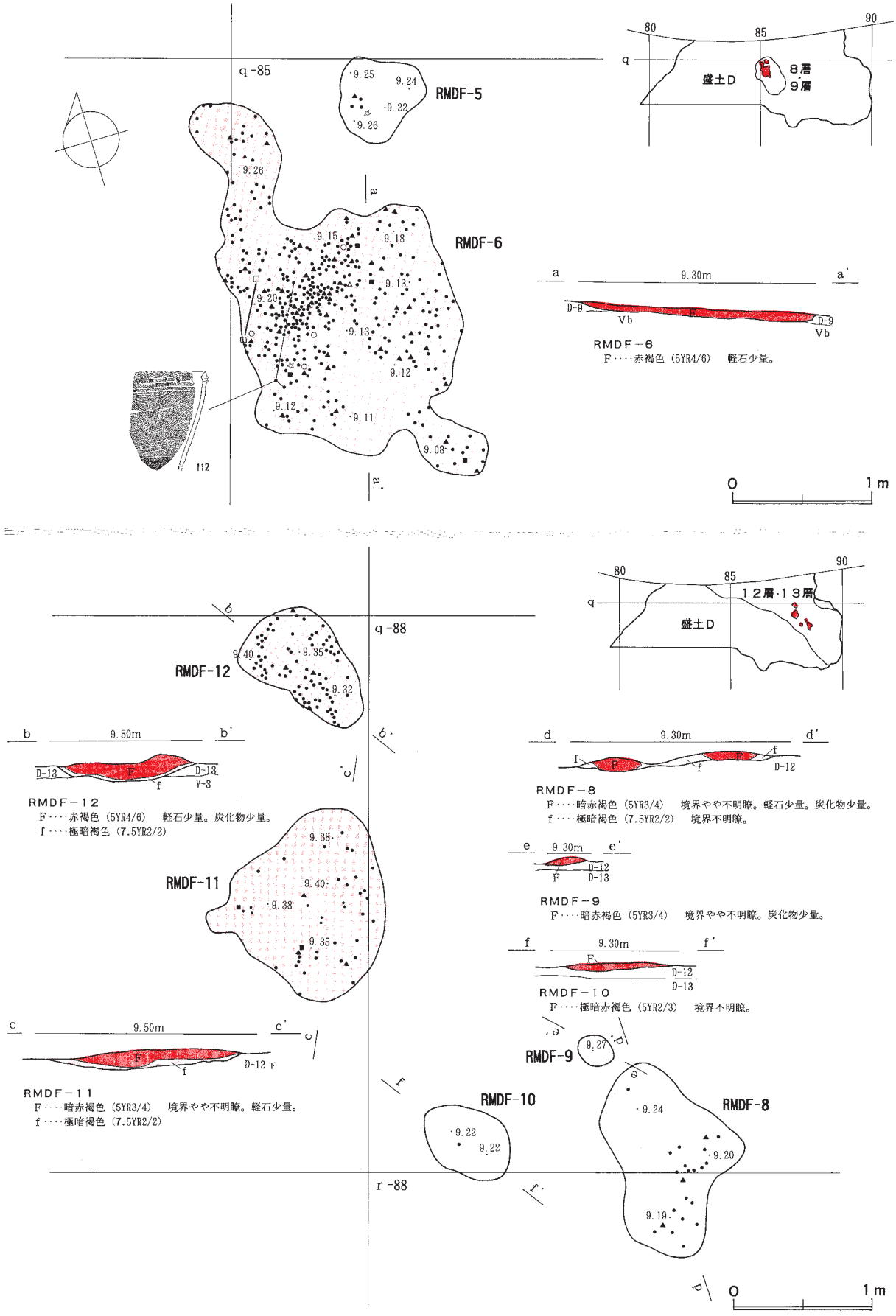
図Ⅳ－30　盛土Dの焼土（5）



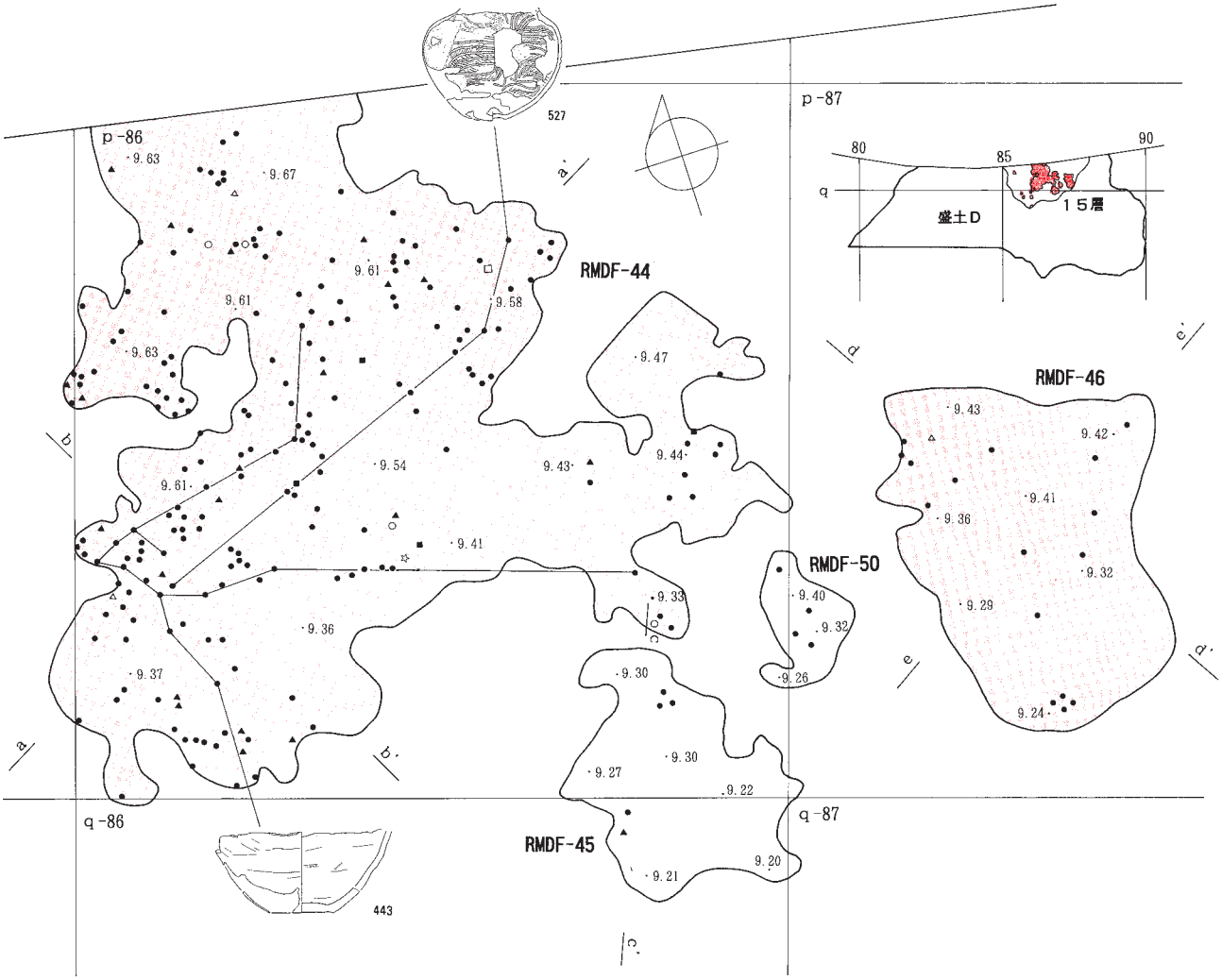
図Ⅳ－31　盛土Ｄの焼土（６）

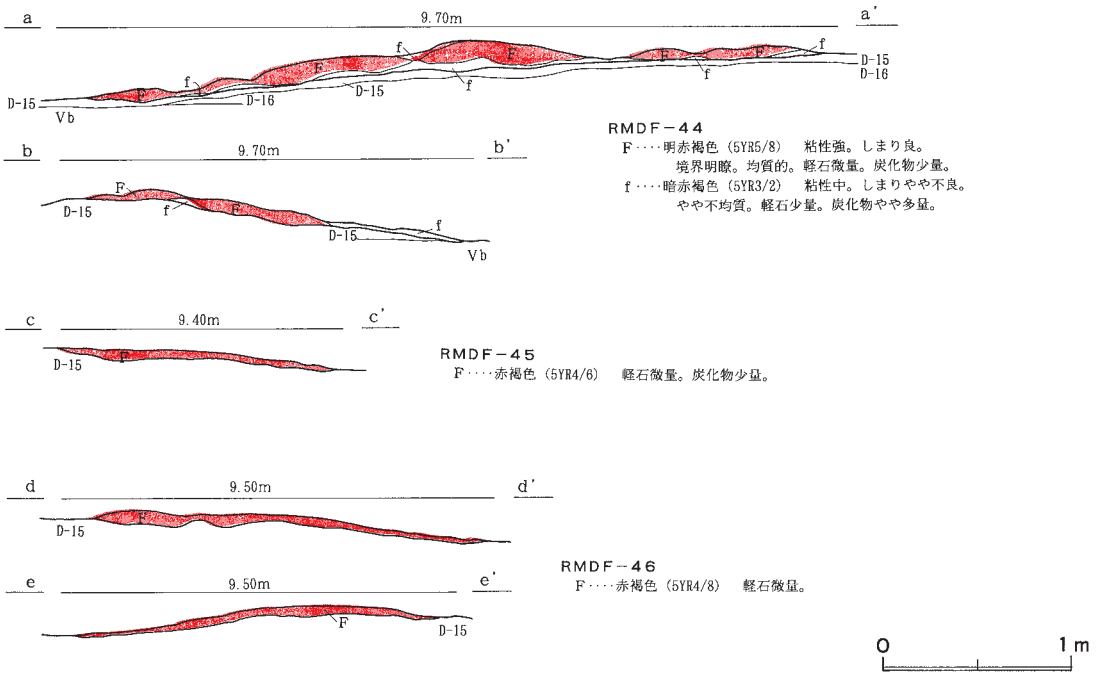


図Ⅳ－32　盛土Ｄの焼土（７）



図Ⅳ－33　盛土Ｄの焼土（８）





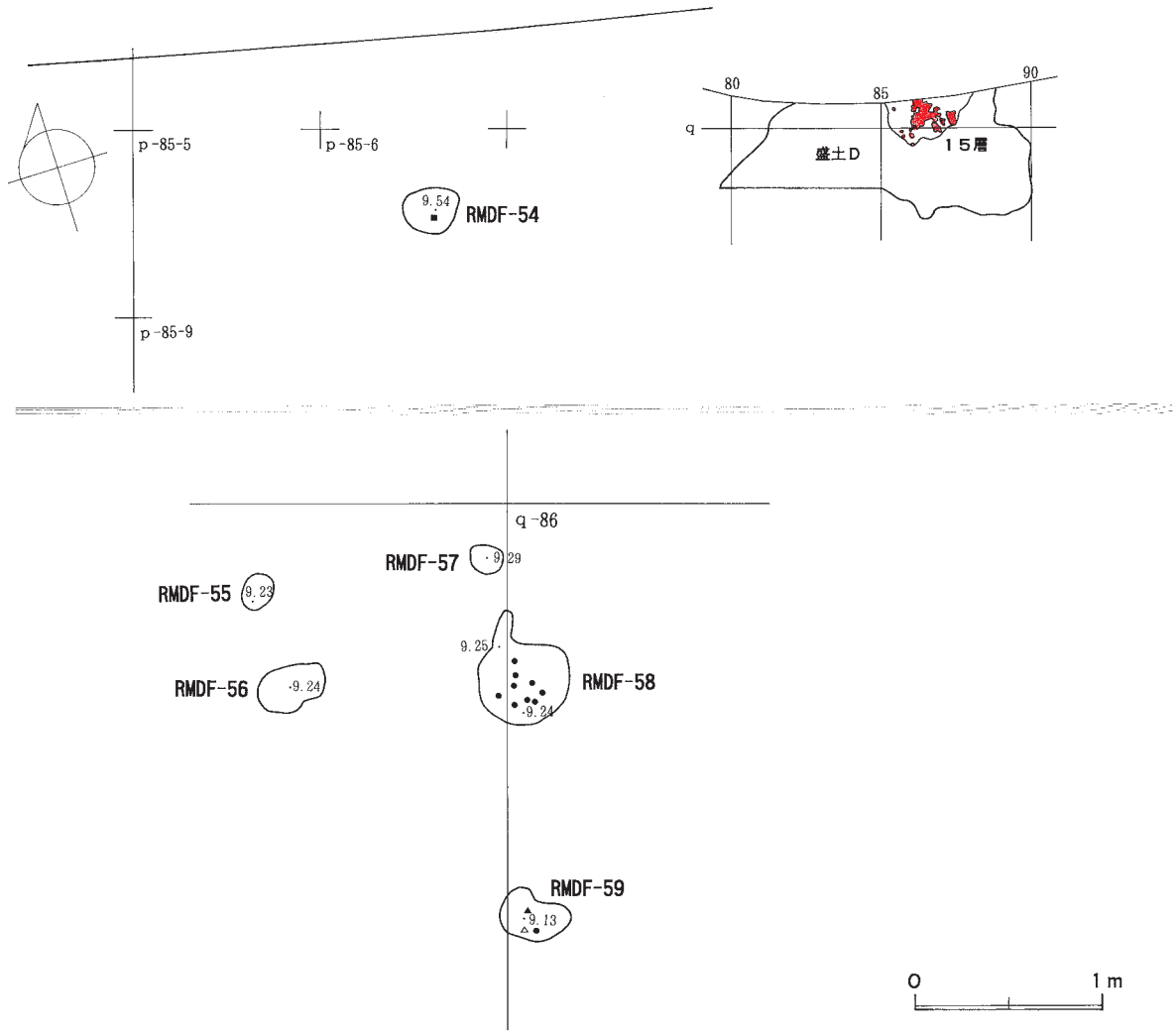
RMDF－44
F····明赤褐色（5YR5/8）　粘性強。しまり良。
　　境界明瞭。均質的。軽石微量。炭化物少量。
f····暗赤褐色（5YR3/2）　粘性中。しまりやや不良。
　　やや不均質。軽石少量。炭化物やや多量。

RMDF－45
F····赤褐色（5YR4/6）　軽石微量。炭化物少量。

RMDF－46
F····赤褐色（5YR4/8）　軽石微量。

0　1m

図Ⅳ－34　盛土Dの焼土（9）



図Ⅳ－35　盛土Ｄの焼土（10）

【盛土Ｄ－８層の焼土】（図Ⅳ－33）

ＲＭＤＦ－５　トレンチ調査で検出した、やや小型で薄い焼土。漸移的でないことから、二次的な堆積である可能性が高い。遺物は骨片などが出土した。

【盛土Ｄ－９層の焼土】（図Ⅳ－33）

ＲＭＤＦ－６　盛土Ｄ－９層の西部に不整形に広がる大型の焼土。盛土Ｄの形成開始とともに、早速焼土も形成されている。大きな焼成箇所が集合している。被熱層はＶｂ層の上面付近まで達しており、５～７㎝程度で安定している部分が多いが、北西部で極端に薄くなる部分もある。軽石や遺物の混入密度に大きな差があり、焼土の内容は一様でない。遺物は手取りで400点を越えており、主体はやはりⅣ群ｃ類土器とフレイクチップである。そのほかにはミニチュア土製品、焼成粘土塊、石鏃などがみられる。また石皿片は焼土内で接合している。

【盛土Ｄ－12層の焼土】（図Ⅳ－33）

ＲＭＤＦ－８　やや大型の焼土だが、北側・南側・東側にそれぞれ焼成された場所をもつ。特に南側は明度が高く、中心部から漸移的変化がみられるが境界は不明瞭である。出土遺物は、規模の割に少ない。

ＲＭＤＦ－９　小型ながらやや強く焼成されている焼土。遺物はほとんどない。

ＲＭＤＦ－10　薄く広がるやや暗い焼土。遺物はほとんどない。

ＲＭＤＦ－11　盛土Ｄ－12層下位で検出したやや大型の焼土。被熱層は南側に厚い部分があり、やや強く被熱している。中心部から漸移的変化を見せており、境界部は不明瞭である。遺物はそれほど多くなく、やはりⅣ群ｃ類土器とフレイクチップが出土している。

【盛土Ｄ－13層の焼土】（図Ⅳ－33）

ＲＭＤＦ－12　被熱層が10～15㎝程で厚く、明度が非常に高い。中央部は下位の盛土Ⅴに達している。また周辺部は漸移的変化が見られるなど、この場でかなり強く焼成されているものとみられる。遺物はやや多いが、やはりⅣ群ｃ類土器とフレイクチップなどである。石鏃も２点出土している。被熱した土器片が数点観察される。

【盛土Ｄ－15層の焼土】（図Ⅳ－34）

15層の中位に広がる大型の焼土群（ＲＭＤＦ－44～46・50）と、その西側に点在する小規模な焼成スポット（ＲＭＤＦ－54～59）で構成される。盛土Ｄ－15層の面を積極的に利用した跡がうかがえる。

ＲＭＤＦ－44　４ｍを超える大型の焼土で、調査区外へ続いている。上部の不明瞭な被熱層の一部を取り除いたため、複雑な形態になっている。個々の焚きつけ材によって被熱した部分など、焼成箇所の単位がうかがえる部分がある。非常に明度が高く、周辺部は漸移的変化が見られる。遺物は、焼土に直接関係あると思われる一括出土土器がある。焼成粘土塊、石鏃、砥石、黒曜石原石なども出土している。

ＲＭＤＦ－45　ＲＭＤＦ－44同様小さな焼成箇所が集合した状態がうかがえる複雑な形態をもっている。ただし被熱層は明度が高いものの、５㎝以下で薄い。出土遺物は規模の割に非常に少ないが、石鏃２点などがある。

ＲＭＤＦ－46　大型でまとまった焼土ながら、被熱層は５㎝程度であまり厚くない。ただし明度は高い。北側は部分的に厚みを増している。遺物は規模の割に非常に少ない。石鏃が４点出土している。

ＲＭＤＦ－50　焼土群の中では小規模なもの。しかし明度は高く、中央部から漸移的変化が見られる。Ⅳ群ｃ類土器片が６点出土している。

ＲＭＤＦ－54　小型で薄い焼土。黒曜石の原石が１点出土している。

ＲＭＤＦ－55　小型で薄い焼土。出土遺物は少ない。

ＲＭＤＦ－56　小型で薄い焼土。出土遺物は少ない。

ＲＭＤＦ－57　小型で薄い焼土。出土遺物は少ない。

ＲＭＤＦ－58　やや小型で、３㎝程度の厚みをもつ焼土。手取りでⅣ群ｃ類土器片が10点、石鏃が１点出土している。

ＲＭＤＦ－59　小型で薄い焼土。出土遺物は少ない。石鏃が１点出土している。

ｄ．盛土Ｄ灰集中・炭化材

灰や炭化材は多数の焼土において被熱層に含まれて検出している。ここでは焼土以外に盛土中で検出した、灰が密集するエリア２ヵ所とやや大型の炭化材１件を掲載する。

①盛土Ｄ灰集中１

位置：ｒ－85　　**層位**：盛土Ｄ－７層　　**規模**：54㎝×40㎝／２㎝

調査：焼土ＲＭＤＦ－31の北側に隣接して検出した。灰の粒子は非常に細かく、薄く広がっている。焼土に近い側でやや厚みのある部分がある。中央部は灰白色で灰が密であるが、周辺部は灰白色と暗灰色・暗褐色で軽石を含み、盛土の土壌と混在している。遺物は出土していない。

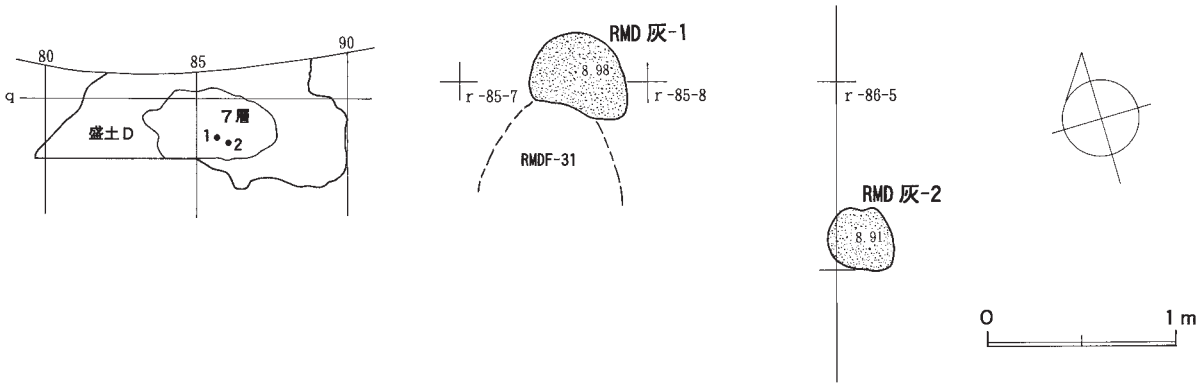
焼土ＲＭＤＦ－31で生じた灰が北側へ寄せられたものと考えられる。

②盛土Ｄ灰集中２

位置：ｒ－86　　**層位**：盛土Ｄ－７層　　**規模**：38㎝×33㎝／１㎝

調査：ＲＭＤＦ－31の1.5ｍほど東で検出した。灰の粒子は非常に細かく、薄く広がっている。灰白色・暗灰色・暗褐色の色調で、盛土の土壌と混在している。遺物は出土していない。

焼土ＲＭＤＦ－31で生じた灰が東側へ運ばれたものと考えられるが、他の場所から投棄されたことも考えられる。



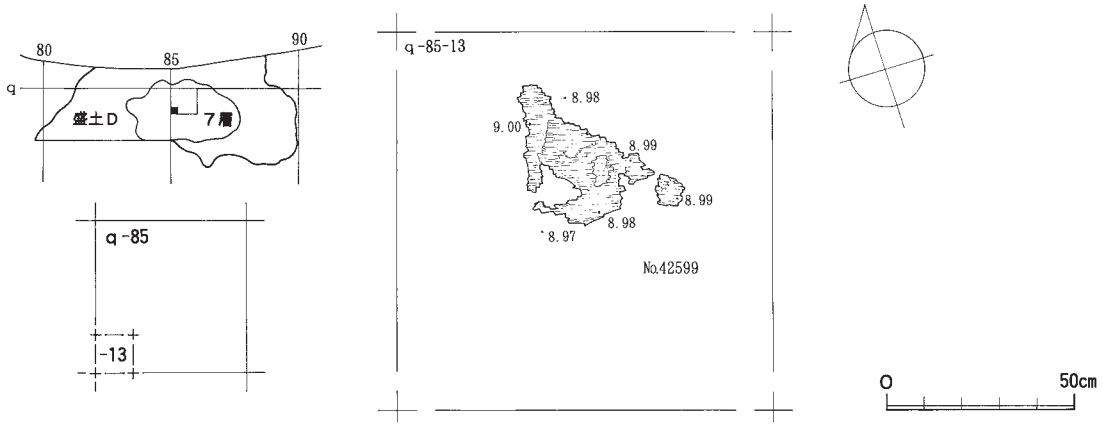
図Ⅳ－36　盛土Ｄ灰集中

③炭化材

位置：ｑ－85　　**層位**：盛土Ｄ－７層　　**大きさ**：102㎝×67㎝／－

調査：トレンチ調査で出土した、布状に非常に薄く残存する炭化材。組織の方向が明瞭に観察できる。表面・断面に光沢がみられ、自然炭化ではなく焼成を受けたものと見られる。

盛土Ｄでは、これ以外に４件のまとまった炭化材が出土している。



図Ⅳ－37　盛土Ｄ炭化材

ｅ．遺物出土状況

盛土Ｄの遺物総数は884,227点で各盛土ブロックの中で最も多く出土している。土器等753,277点（うち土製品2,061点）、石器･礫等130,950点（うち石製品70点）、そのほか炭化材や骨片、赤色顔料塊などの自然遺物も、土壌水洗のほか手取りでも多量に回集できた。土器は主体時期である縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたる土器が圧倒的に多く、99.3％を占める。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は１：75で、他の盛土に比べてⅣ群ｃ－１類の占める割合が非常に高い。土製品は焼成粘土塊が1882点と非常に多く出土している。また動物形土製品や微隆線による装飾のある赤彩土偶の一部など、特殊なものも数多く出土している。石器・礫等では、フレイクチップが93.5％を占め圧倒的に多いが、他の盛土同様石鏃が定形的石器のうち60％を超えている。以下スクレイパー・石錐・砥石が続いている（Ⅸ章）。石製品は集中箇所も含め異形石器が顕著にみられ、玉類や石棒片も数多く出土している。

層位別では、盛土Ｄ－１層が53,116点、Ｄ－２層が66,885点、Ｄ－３層が132,498点、Ｄ－４層が77,813点、Ｄ－５層が94,738点、Ｄ－６層が115,135点、Ｄ－７層が75,403点、Ｄ－８層が4,249点、Ｄ－９層が3,393点、Ｄ－11層が41,125点、Ｄ－12層が91,255点、Ｄ－13層が32,561点、Ｄ－14層が35,336点、Ｄ－15層が31,752点、Ｄ－16層が10,862点、残りがトレンチ分で、Ｄ－３・５・６・12層が特に多く出土している。土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－49～54に層位別に示した。これらは各層位の層厚（図Ⅳ－21～25）と比較しなければならないが、層厚に比べて密度の高低が目立つ部分がある。たとえば盛土Ｄ－12層の最も厚い部分の遺物量が少なかったり、盛土Ｄ－４層の層厚分布と土器･石器の重量分布の濃淡が異なったりする様子が見てとれる。さらに層全体として５層・12層などは厚みがあるが、遺物重量分布の濃さが、他の層位より必ずしも濃い状況にないことがわかる。これらのデータは視覚的に観察された事項を裏付けるものであり、土壌や遺物の廃棄行為が全く同様に行われたのではないことを示している。

遺物集中

盛土Ｄでは、各層にわたって遺物、特に土器の集中箇所が数多くみられた。なかでも３・６・７層で多く確認できた。土器個体が丸ごとつぶれた状態で出土したものはほとんどなく、半個体分や一部分、破片の集合などがほとんどである。土器以外では、礫集中（集石）、フレイクチップ集中、異形石器集中などがある。

①集石　ＲＭＤＳ－１

位置：ｑ－84　　**層位**：盛土Ｄ－７層　　**規模**：36㎝×23㎝／９㎝

調査：焼土ＲＭＤＦ－63の西側で、緑色泥岩の礫10個が集中して出土した。長さ30㎝級の大型の棒状礫に隣接して、長さ10㎝程度のやや扁平な棒状の礫が出土している。表面は平滑で角は丸みを帯びているものが多い。一部の礫の側縁部に粗い剥離がみられる。石斧等を製作するための原材を集積したものとみられる。

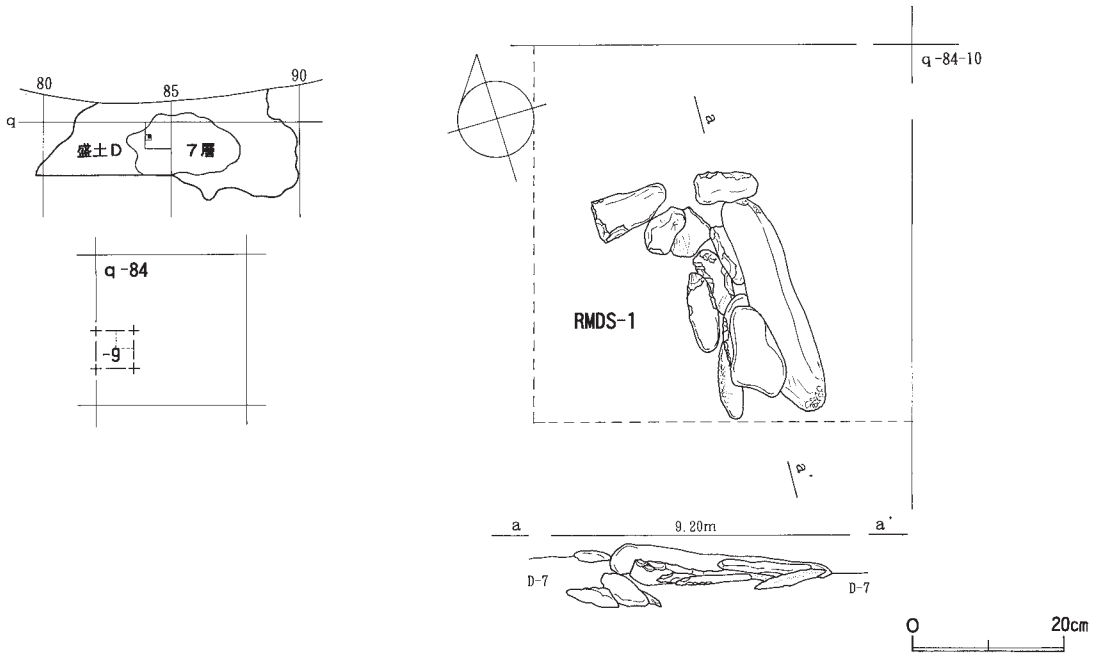
②フレイクチップ集中

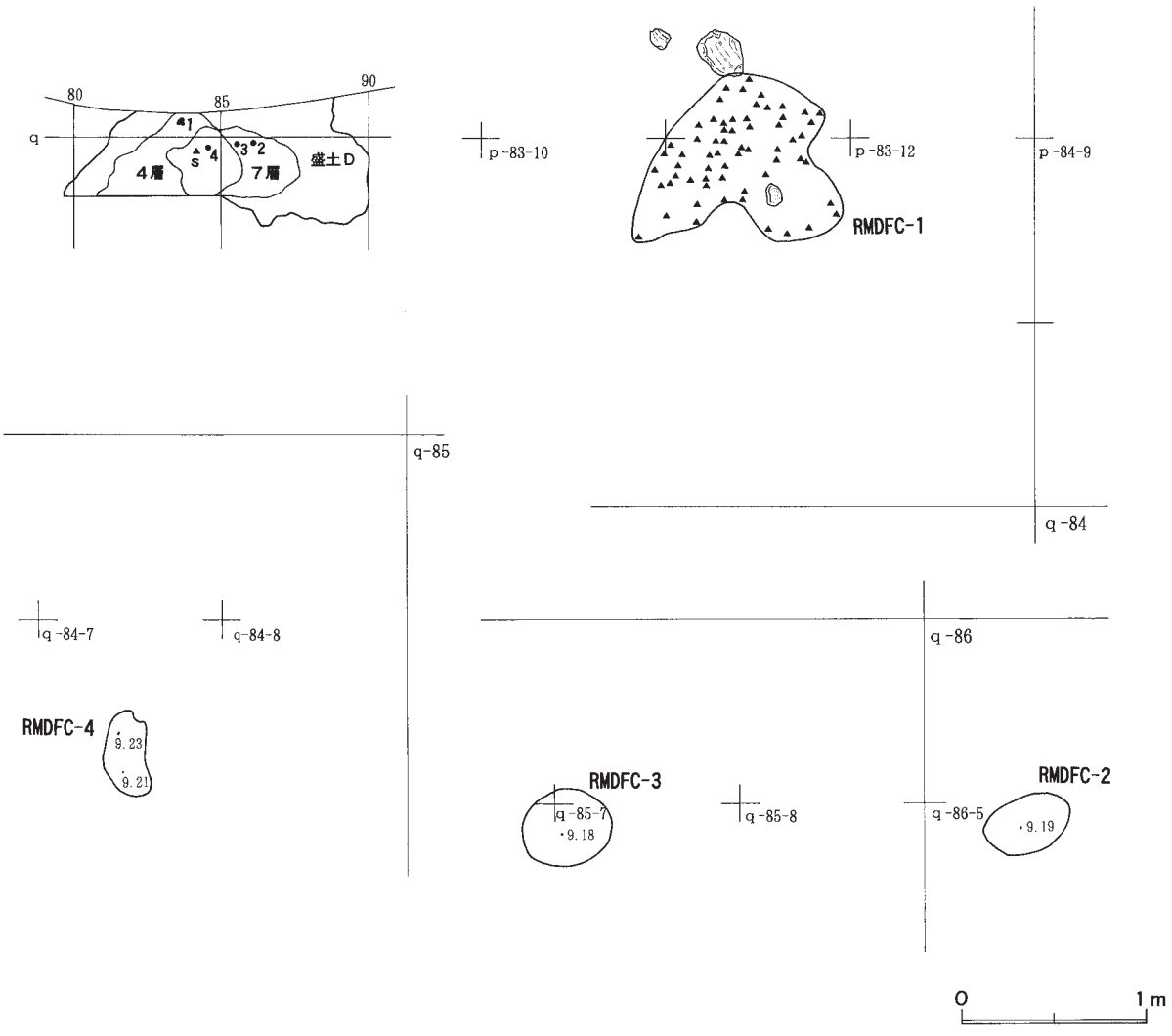
４ヵ所の集中域から2,891点出土している。

ＲＭＤＦＣ－１

位置：ｐ－83　　**層位**：盛土Ｄ－４層　　**規模**：125㎝×100㎝／－

調査：盛土Ｄ－４層の中でもやや遺物の包含密度が低いエリアで、フレイクチップが目立って出土する部分を検出した。ただし、他のフレイクチップ集中よりは密集していない。点上げ点数で65点ほど





図Ⅳ－38　盛土Ｄ集石およびフレイクチップ集中

であるが、周辺からも多数のフレイクチップが出土している。ただし大型の剥片はなく、砕片のみである。また北側に30㎝角の大型の台石があり、その北西側と南側から長さ10～15㎝ほどのたたき石が出土している。これらとフレイクチップ集中と関連があるものとして調査したが、決定付けられるものは得られなかった。

ＲＭＤＦＣ－２

位置：ｑ－86　　**層位**：盛土Ｄ－７層　　**規模**：48㎝×30㎝／－

調査：盛土Ｄ－７層中ででもやや遺物の包含密度が低いエリアで、フレイクチップが目立って出土する部分を検出した。点数は200点ほどである。

ＲＭＤＦＣ－３

位置：ｑ－85　　**層位**：盛土Ｄ－７層　　**規模**：49㎝×42㎝／－

調査：盛土Ｄ－７層上面を精査中、フレイクチップが密集して出土するエリアを確認した。フレイクチップの点数は179点である。

ＲＭＤＦＣ－４

位置：ｑ－84　　**層位**：盛土Ｄ－７層　　**規模**：47㎝×23㎝／－

調査：焼土ＲＭＤＦ－63の北側、ＲＭＤＦ－64の上で確認した。ただしこれらの焼土と直接関係付けられる状況では出土していない。

③異形石器の集中箇所

位置：ｒ－86　　**層位**：盛土Ｄ－５層　　**規模**：(30㎝)×(30㎝)／－

調査：Ｄ－５層調査中、異形石器が７点集中して出土した範囲を検出した。出土状況は図示していないが、遺物はⅤ章に掲載した（図Ⅴ－202　石器231～233)。

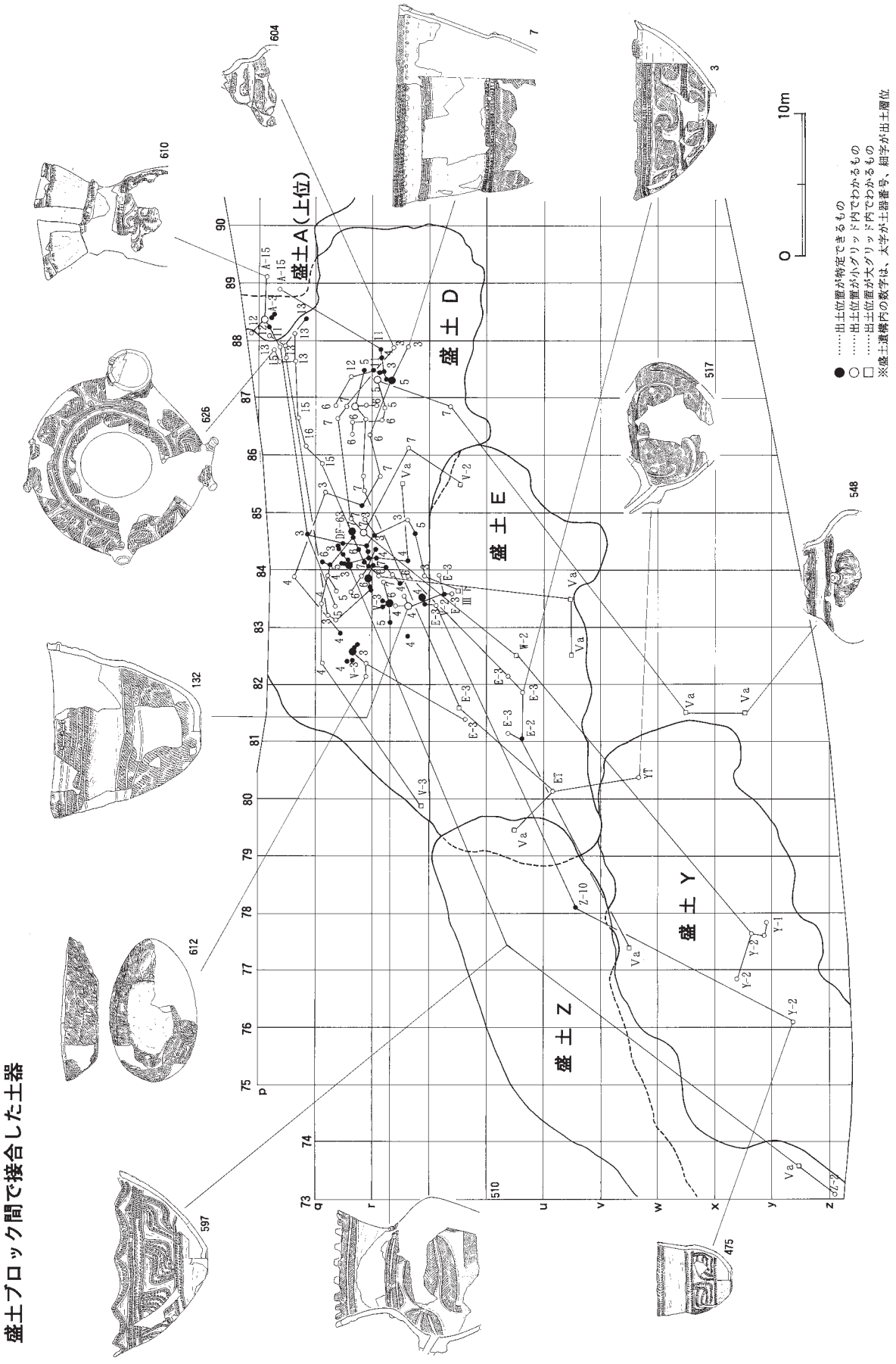
④土器の集中箇所

盛土Ｄの出土土器の密度は他の盛土ブロックに比べやや高いが、その中でもまとまって出土した土器についていくつか図示した（図Ⅳ－45～48)。大きく３種類に分けられ、①多種類の土器片（・フレイクチップ・礫）が砕片の状態で出土するもの（図Ⅳ－45上段、図Ⅳ－47）と、②１個体ないし数個体の一部大型破片が面で広げたようにつぶれて出土するもの（図Ⅳ－45土器138、図Ⅳ－46、図Ⅳ－48土器330・324・325)、③１個体の大部分がそのまま置かれたような状況で出土するもの（図Ⅳ－45土器360、図Ⅳ－48　土器139）がある。盛土Ｄでは①の出土状況が多く、③の例は極めて稀である。また、②の状況も少ない。

遺物の接合状況

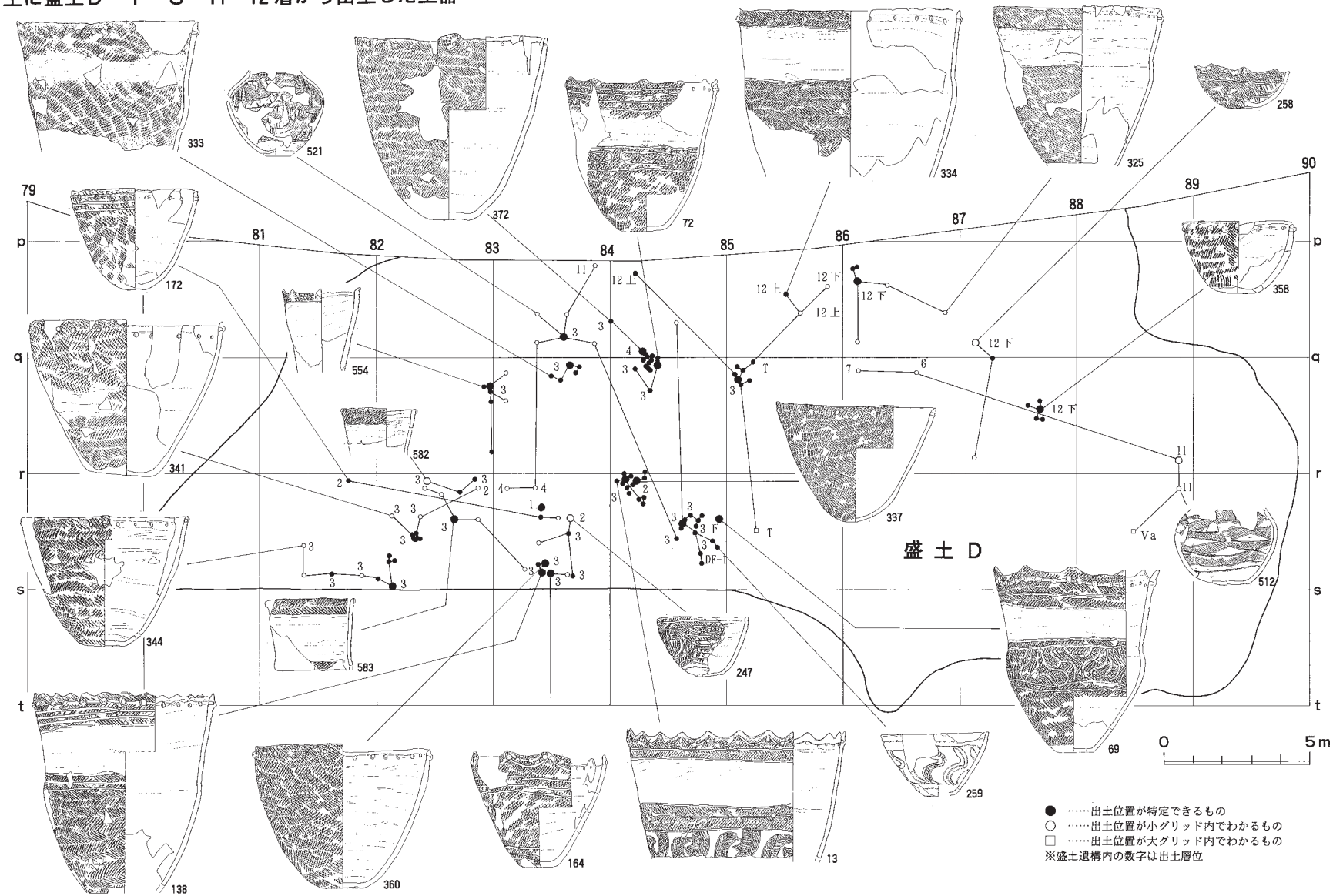
遺物の接合状況について、特に復元土器のデータについて図示した（図Ⅳ－39～44)。盛土Ｄのうち上位のＤ－３層・12層などは比較的同じ層位内で、やや広範囲に接合する傾向にある。一方、Ｄ－６・７層などの低位の層では比較的まとまった範囲での接合が多い。また盛土間をまたぐ接合では、近接する盛土Ａや盛土Ｅとの間で件数が多いほか、遠く盛土Ｙ・盛土Ｚとも接合している。さらに、図示していないが赤彩土偶（図Ⅴ－87土器628）や巻貝形土器（図Ⅴ－87土器627）は、Ｒ地区内だけでなく北側盛土遺構の出土土器と接合している。

石器では、比較的距離の長い間での接合例も複数見られ、盛土Ｄ内での接合のほか、盛土Ｇと接合する石斧、盛土Ｅと接合するたたき石、盛土Ｙと接合するすり石、盛土Ｅと接合する石棒をⅤ章に例示した（図Ⅴ－206・207)。

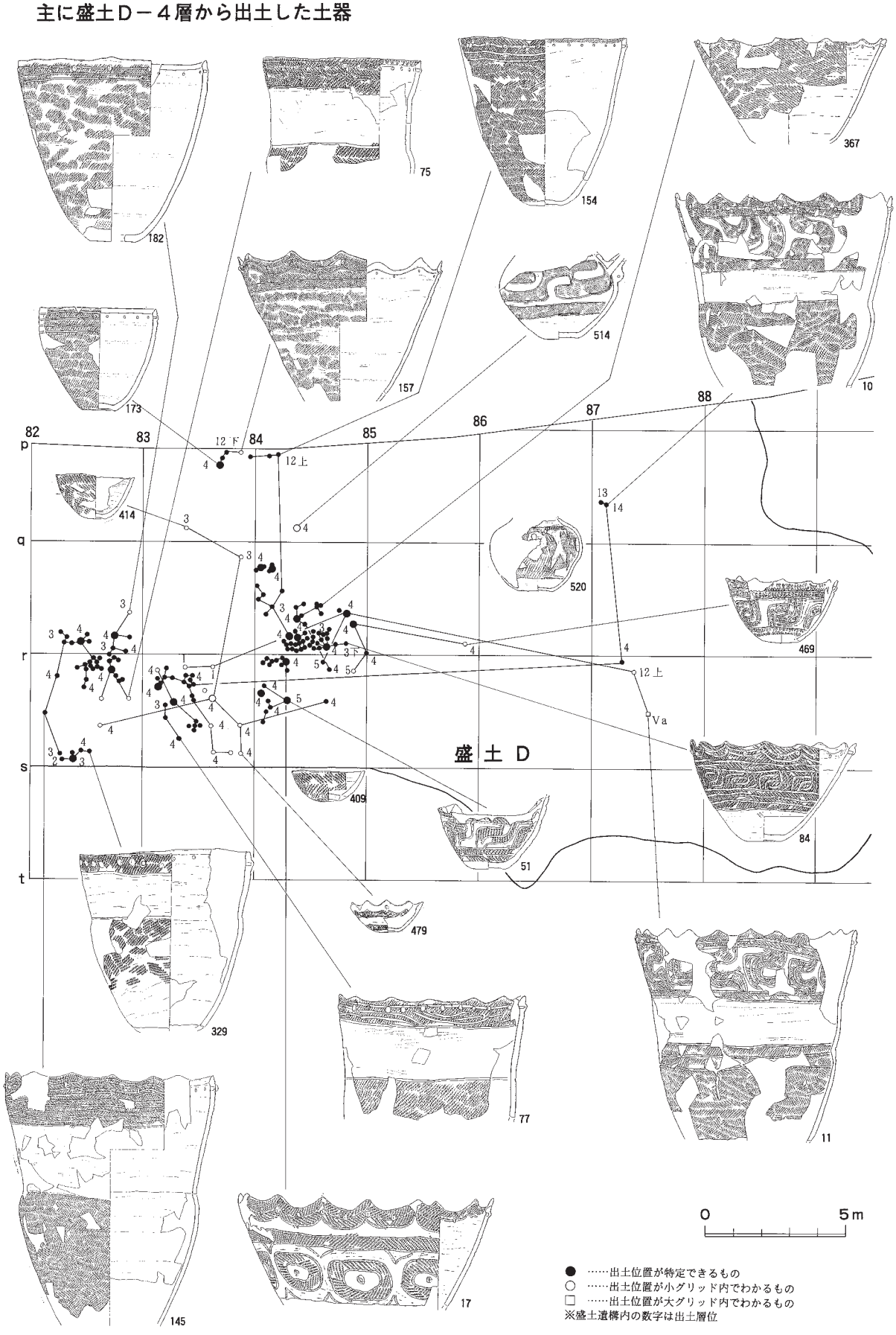


図Ⅳ－39　盛土D復元土器接合図（1）

主に盛土Ｄ－１～３・11・12層から出土した土器

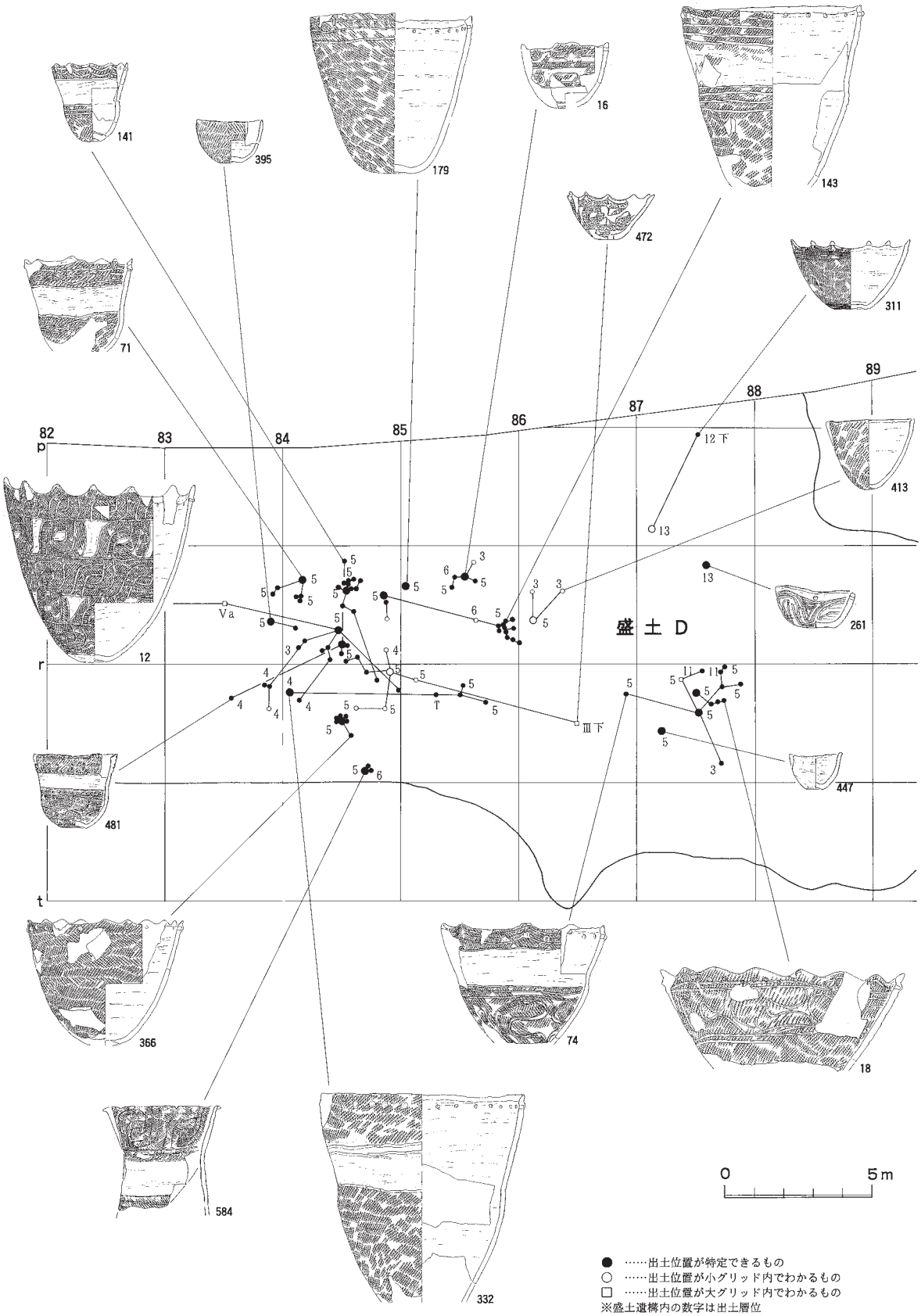


図Ⅳ－40　盛土Ｄ復元土器接合図（２）



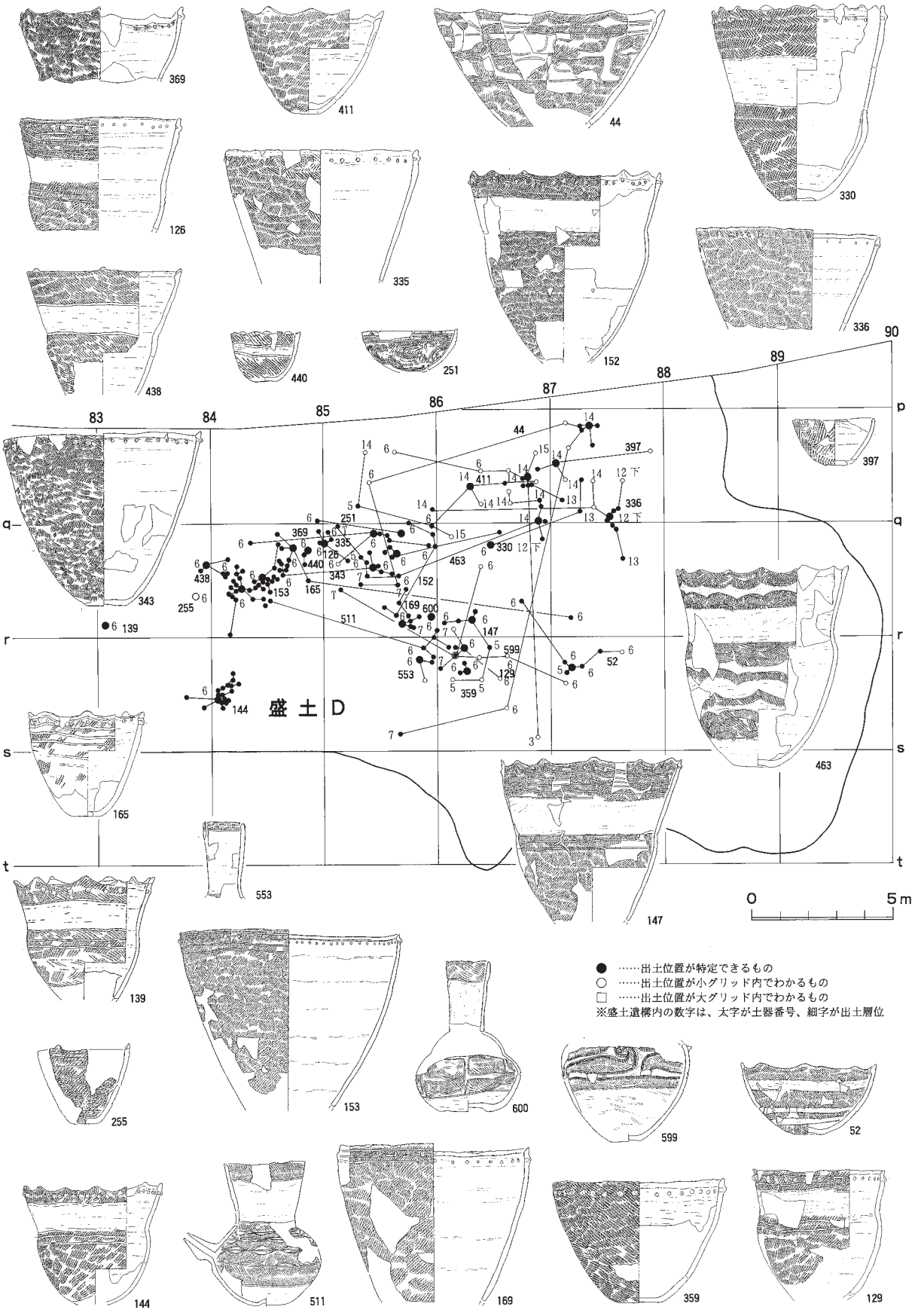
図Ⅳ－41　盛土Ｄ復元土器接合図（３）

主に盛土Ｄ－５・13層から出土した土器



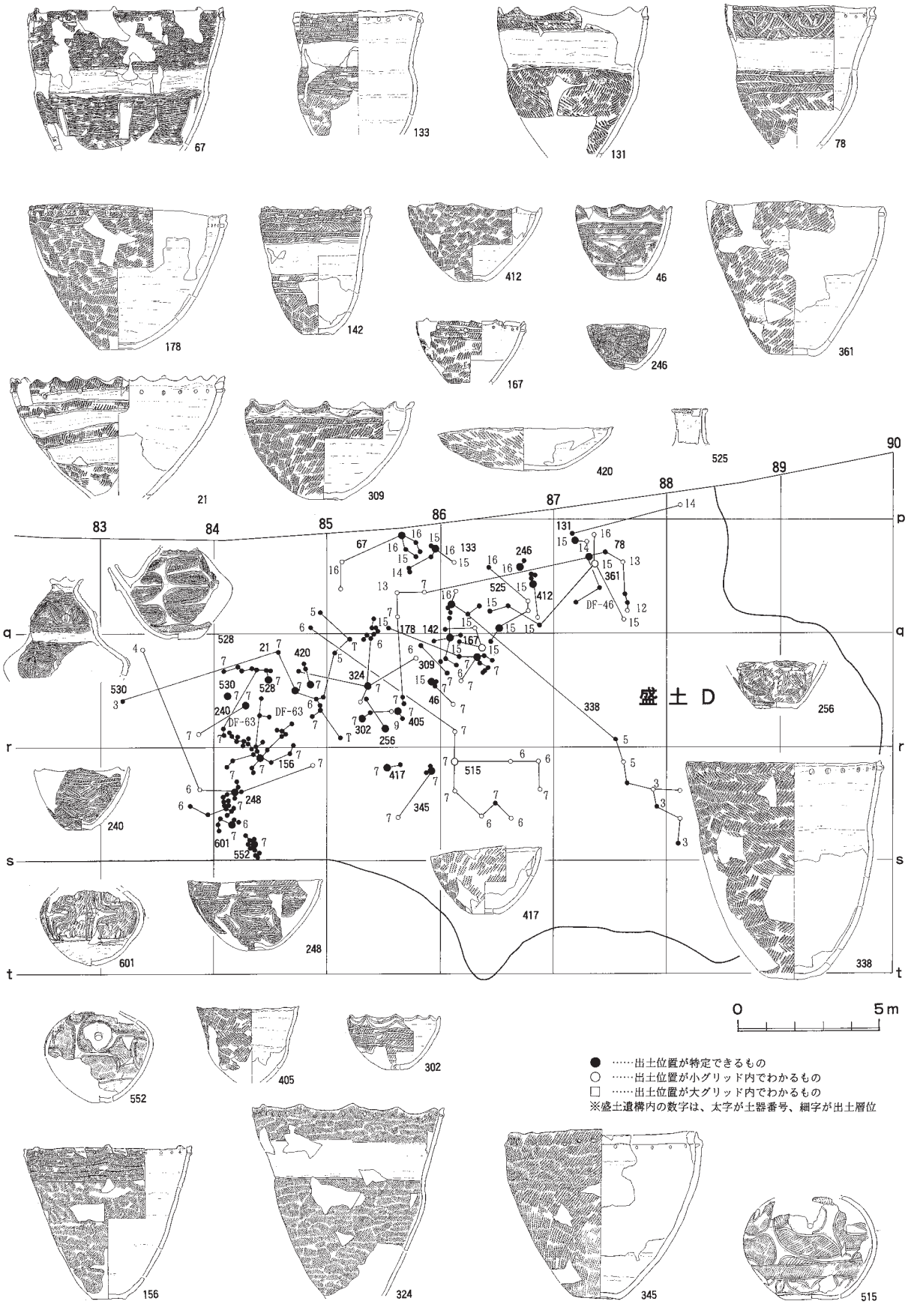
図Ⅳ－42　盛土Ｄ復元土器接合図（４）

主に盛土Ｄ－６・14層から出土した土器

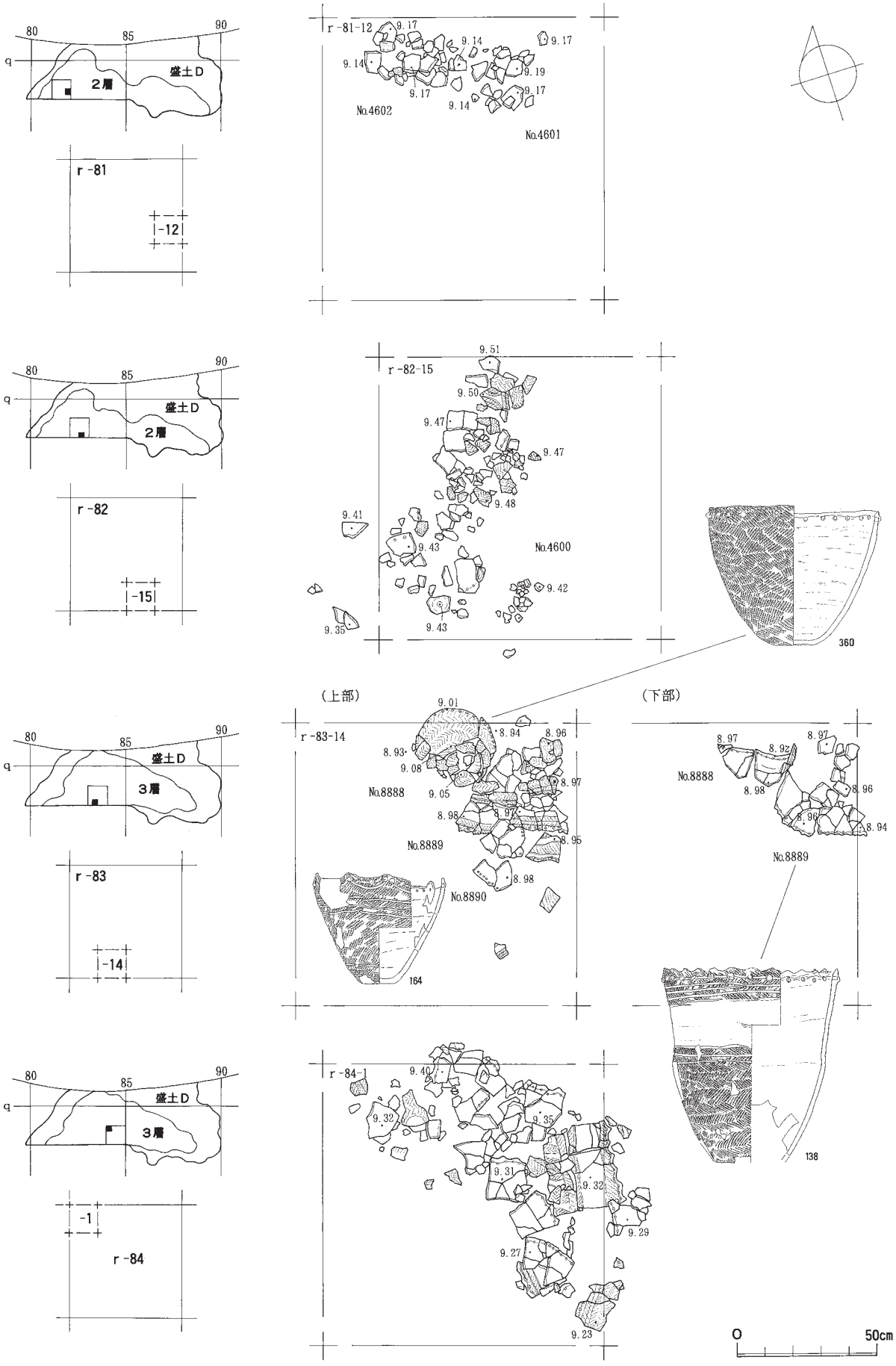


図Ⅳ－43　盛土Ｄ復元土器接合図（５）

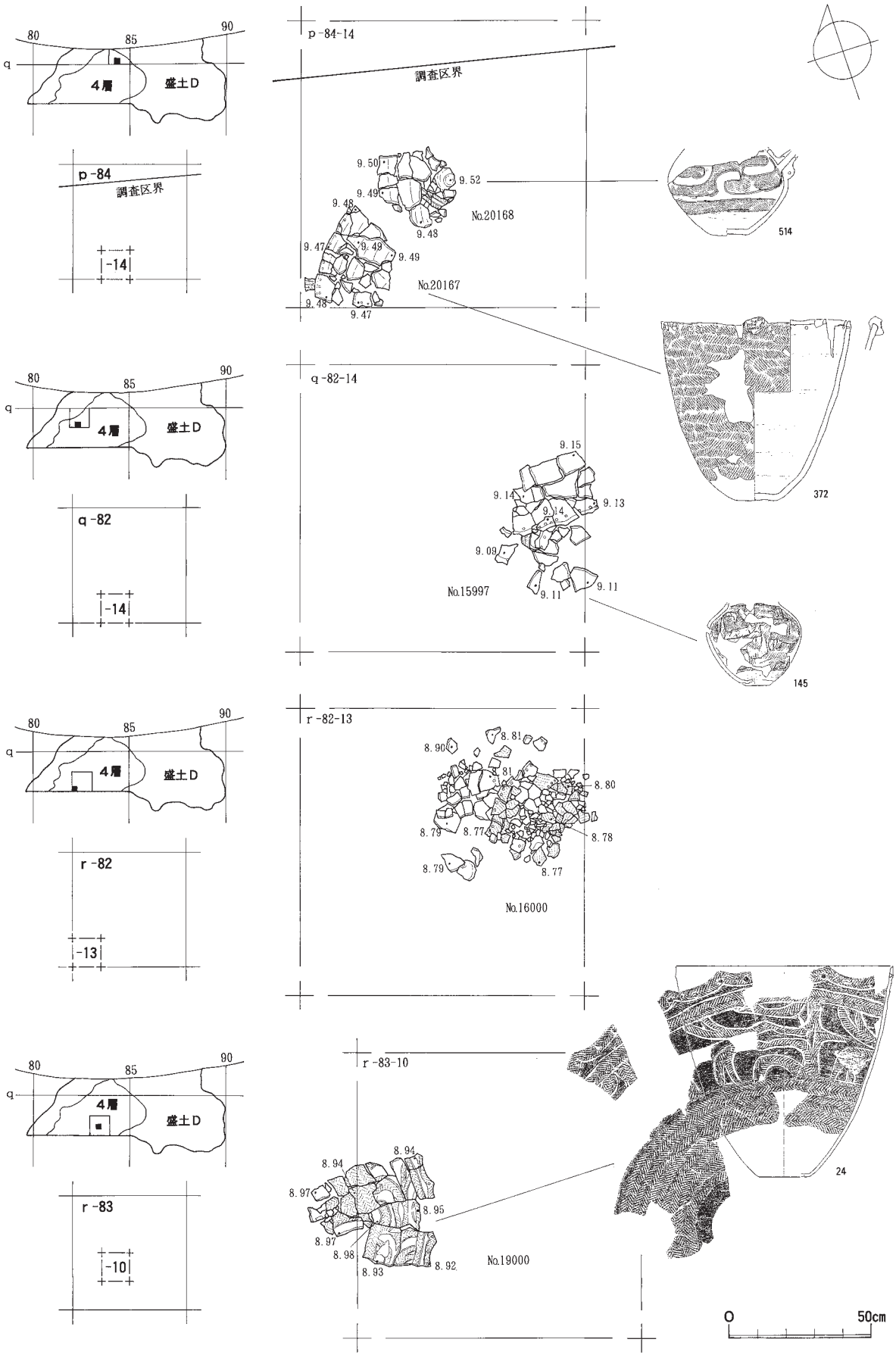
主に盛土Ｄ－７～９・15・16層から出土した土器



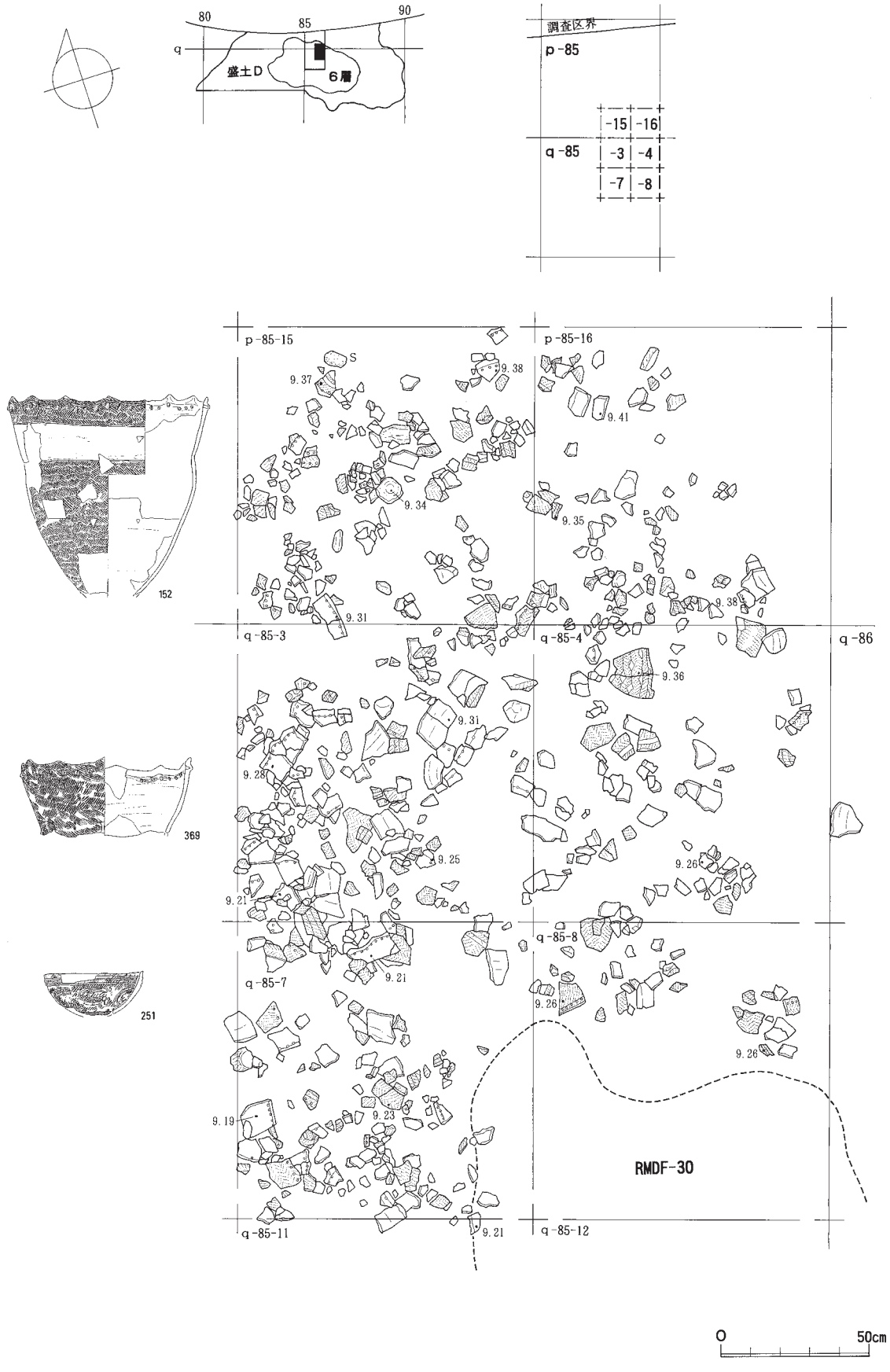
図Ⅳ－44　盛土Ｄ復元土器接合図（６）



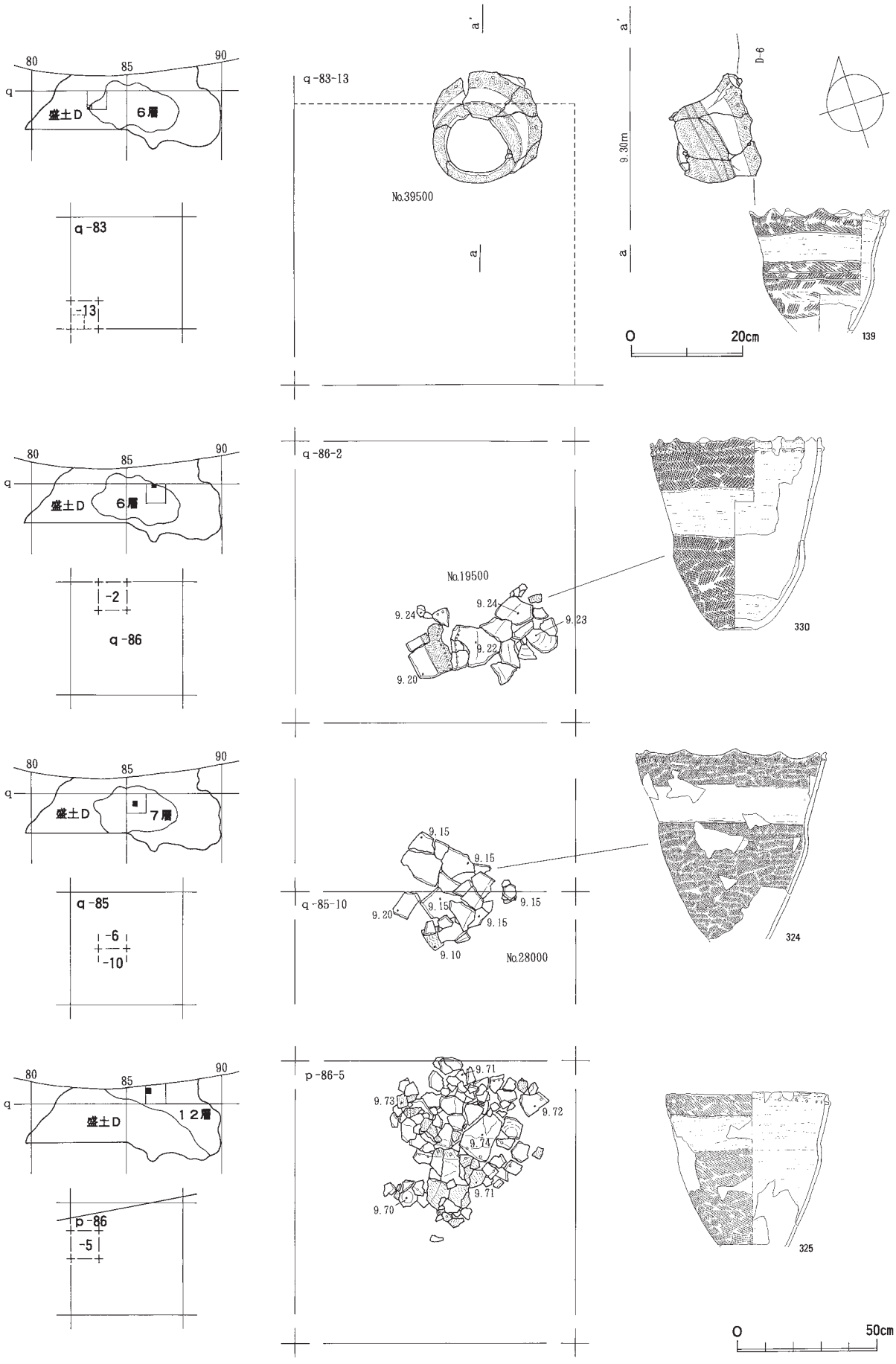
図Ⅳ－45　盛土Ｄ遺物出土状況（１）



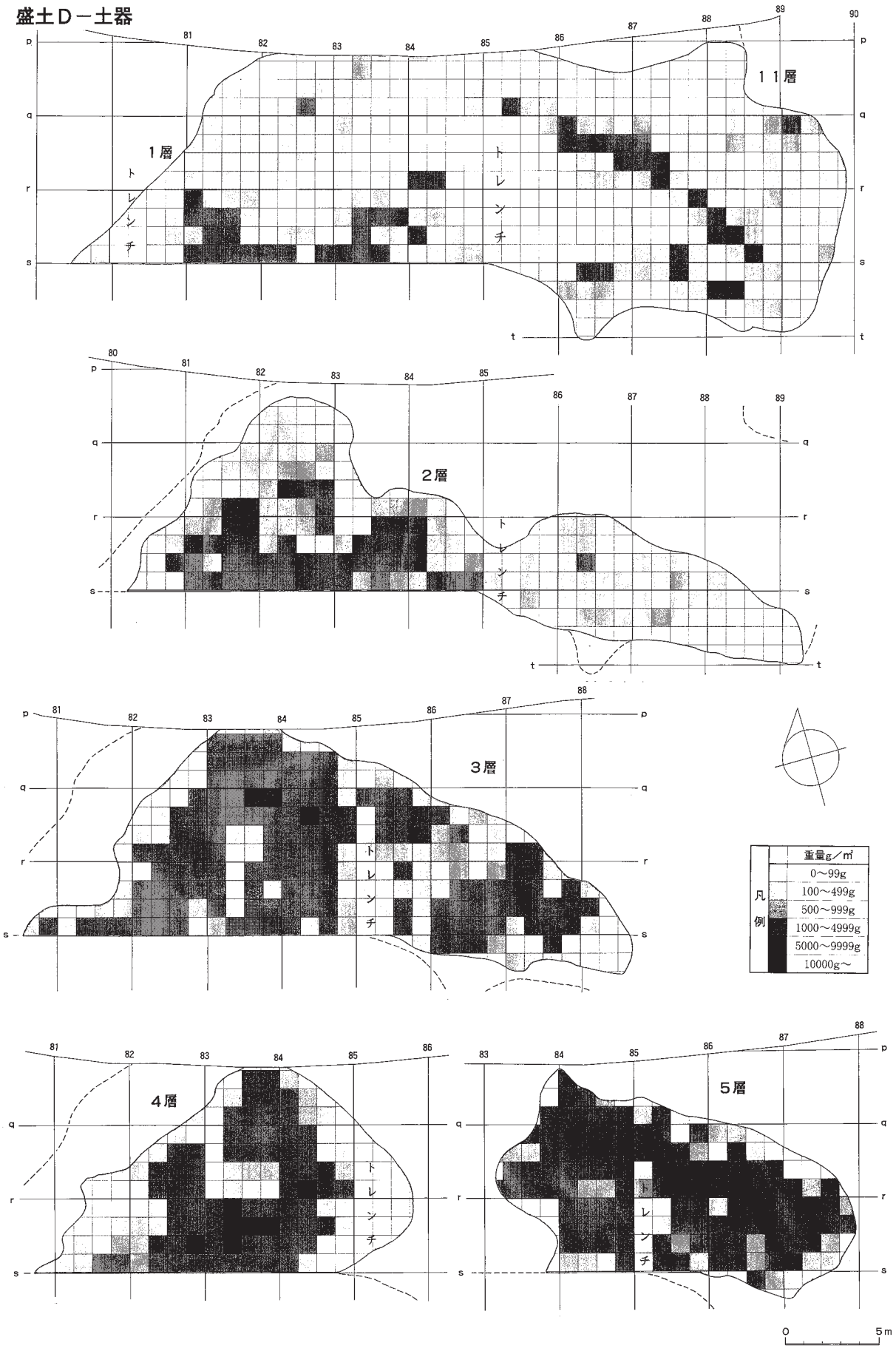
図Ⅳ－46　盛土D遺物出土状況（２）



図Ⅳ－47　盛土Ｄ遺物出土状況（３）

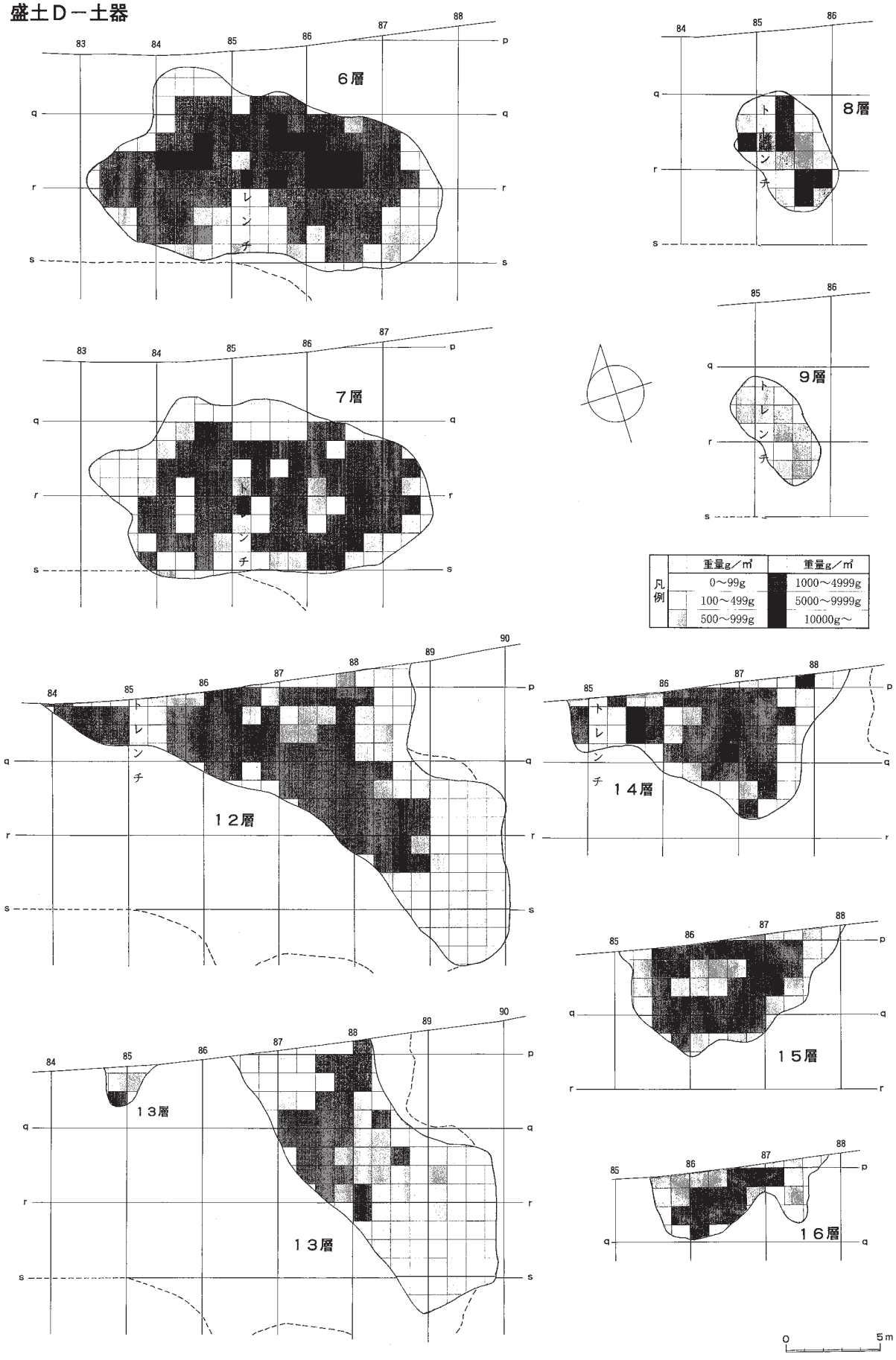


図Ⅳ－48　盛土Ｄ遺物出土状況（４）

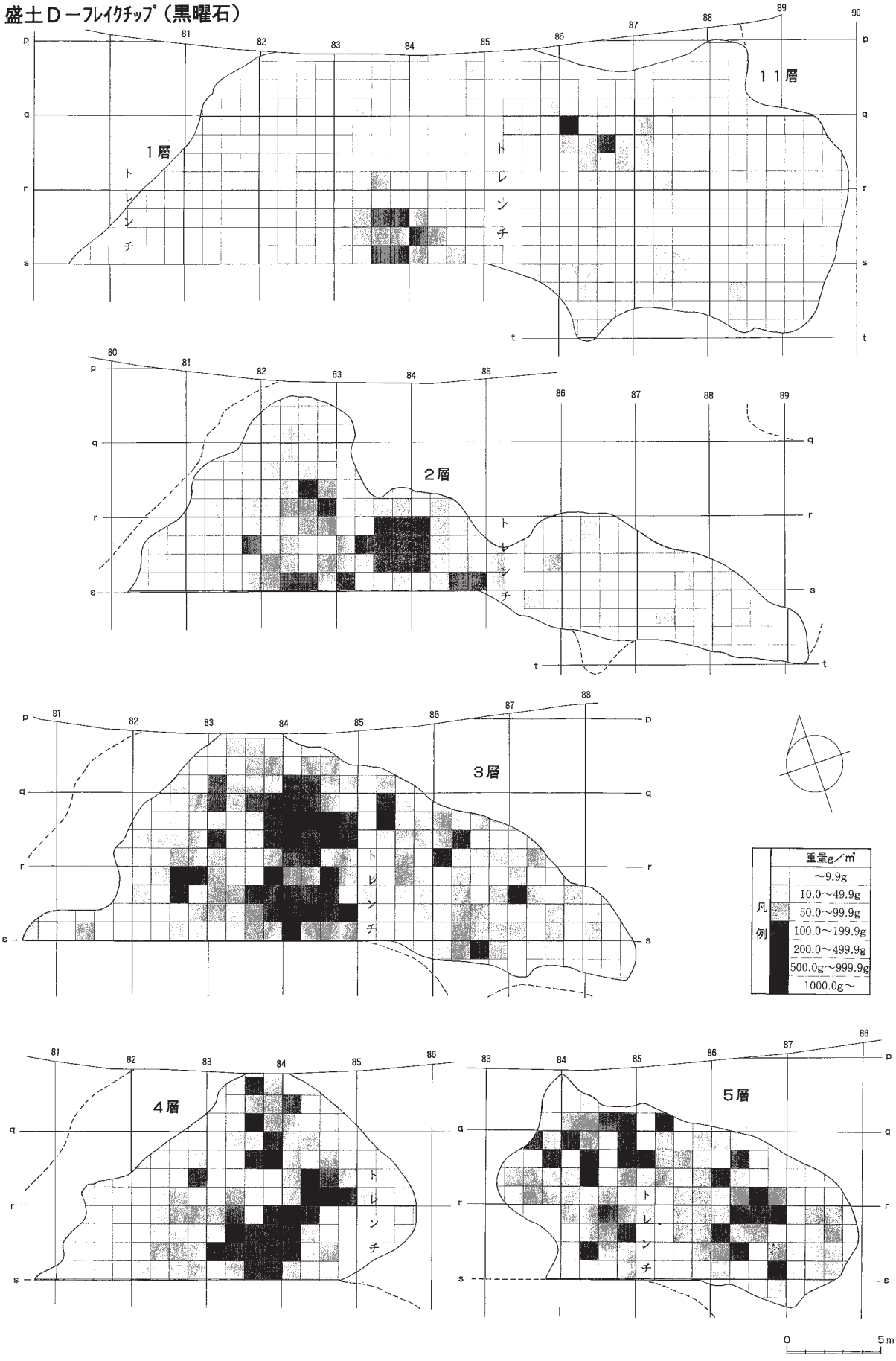


図Ⅳ－49　盛土Ｄ土器等重量分布図（１）

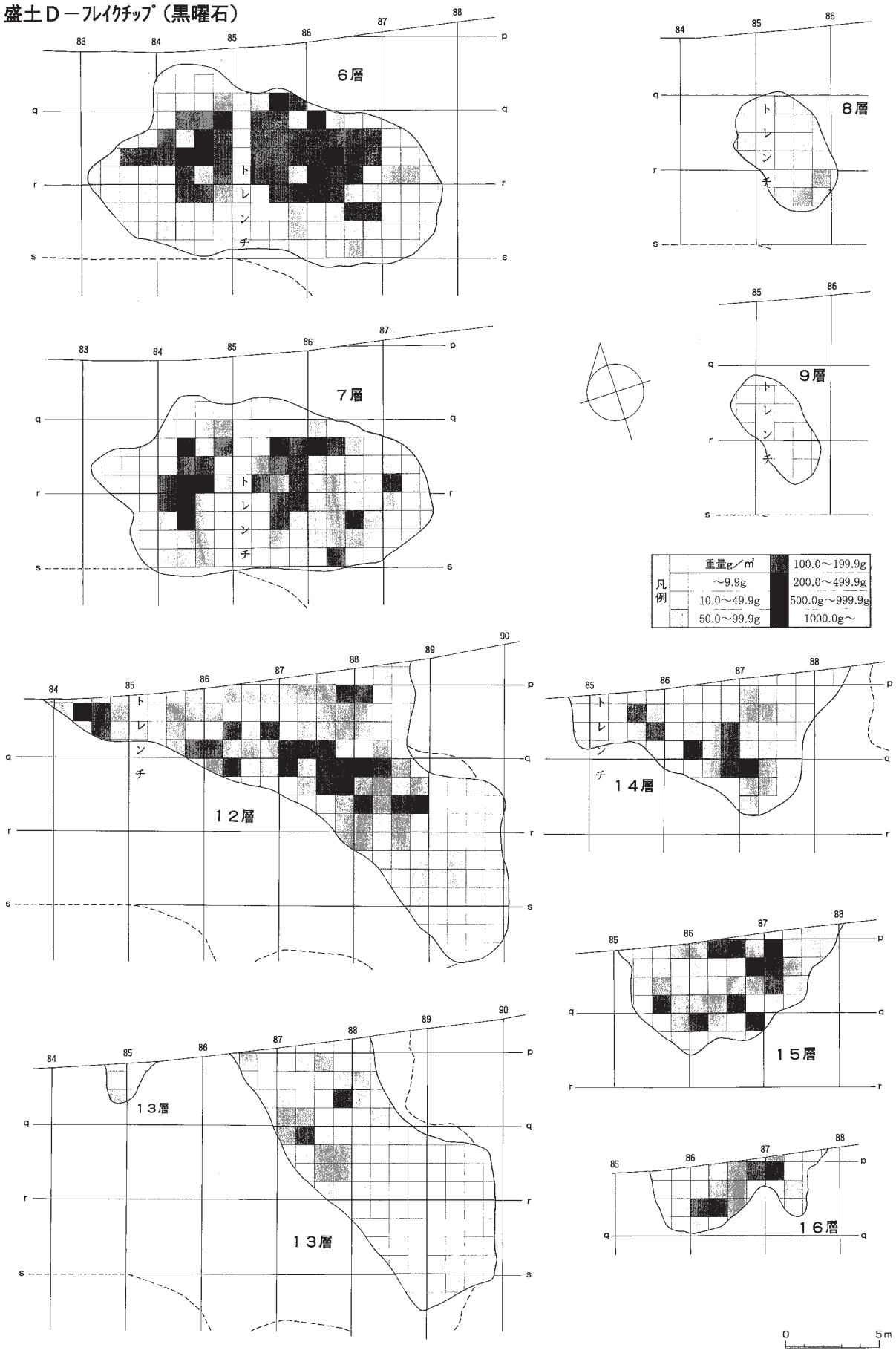
盛土Ｄ－土器



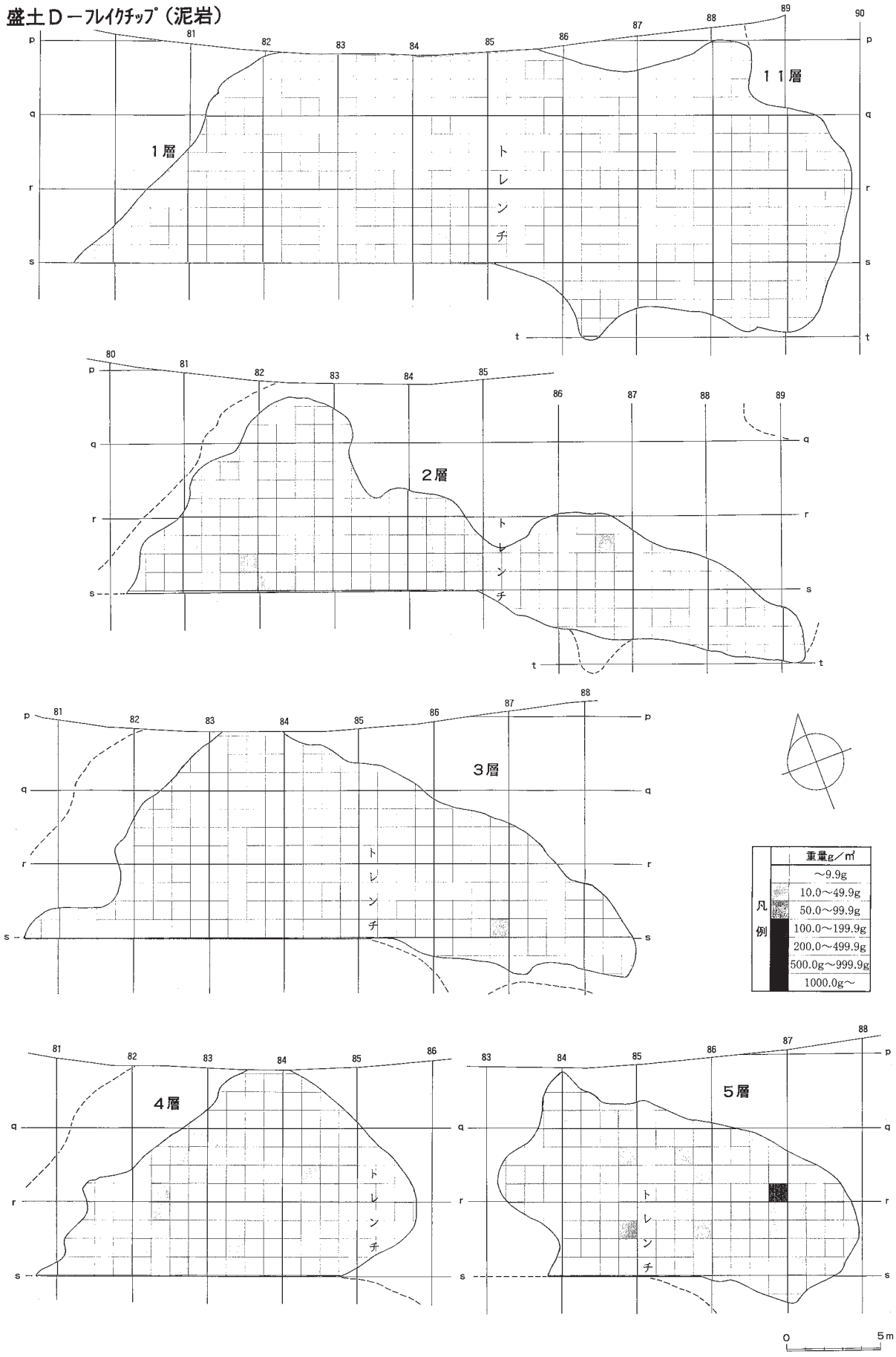
図Ⅳ－50　盛土Ｄ土器等重量分布図（２）



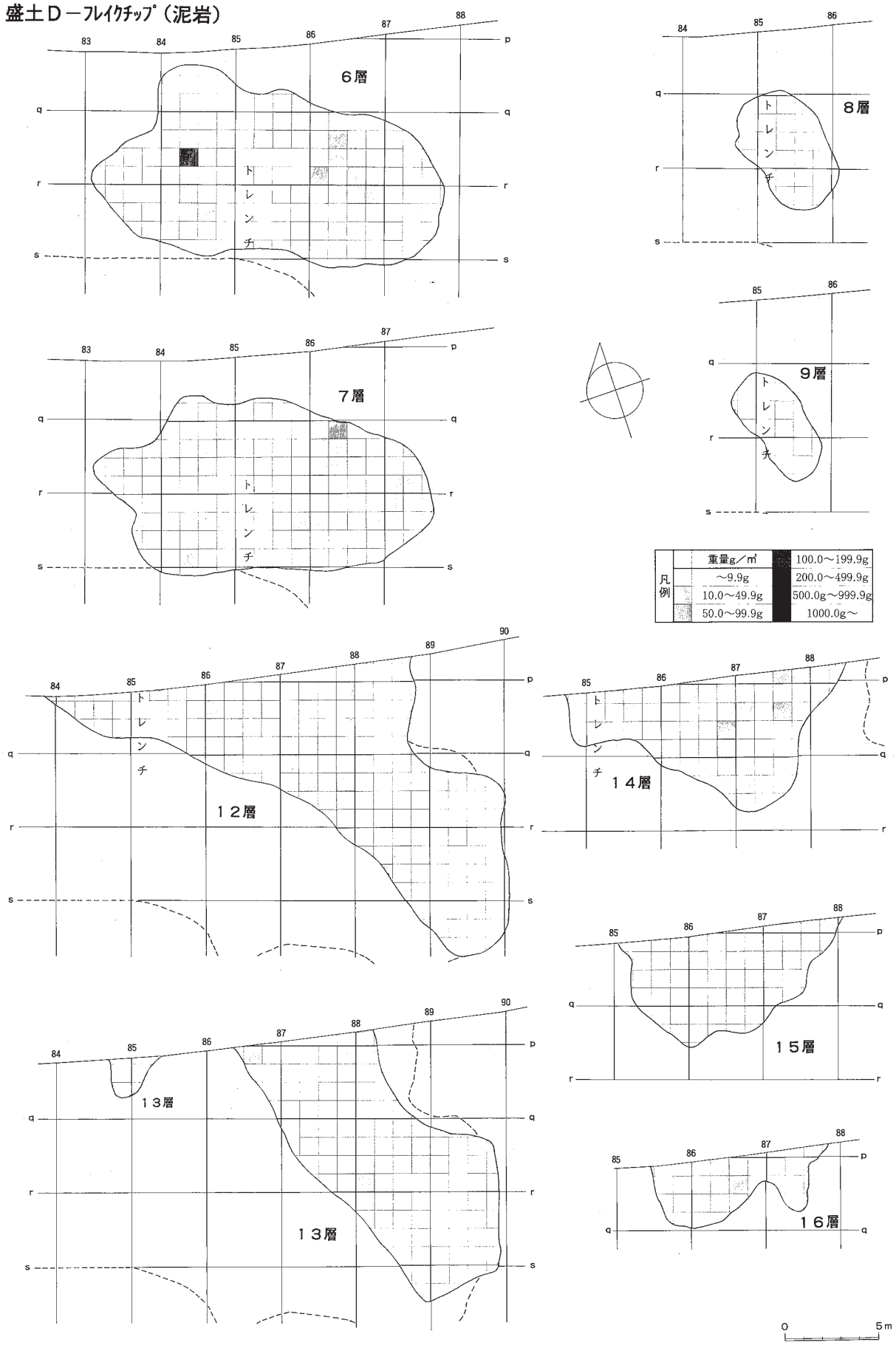
図Ⅳ－51　盛土Ｄフレイクチップ重量分布図（１）



図Ⅳ－52　盛土Ｄフレイクチップ重量分布図（２）



図Ⅳ－53　盛土Ｄフレイクチップ重量分布図（３）



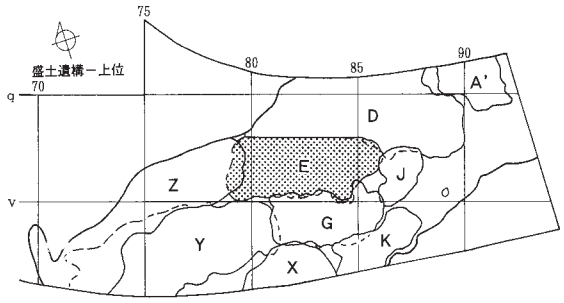
図Ⅳ－54　盛土Ｄフレイクチップ重量分布図（４）

（３）盛土Ｅ

ａ．概要

規模　29.8m×12.5m／
最大層厚　0.42m
推定土量　約53.9㎥

確認・調査　南側盛土遺構のほぼ中央に位置し、北側に盛土Ｄ、南側に盛土Ｇがある。盛土遺構－上位のブロックの中では、規模として盛土Ｄ・盛土Ｚ・盛土Ｙに次いで４番目に大きな盛土である。



図Ⅳ－55　盛土Ｅ位置図

盛土Ｅの層厚は、図Ⅳ－56上部の層厚図に示したとおり、ｓ－81～84区、ｔ－82・83区で層厚30㎝以上、ｓ－84区の盛土Ｄと隣接しているところでは層厚40㎝と最も厚くなっている。

周囲の盛土との新旧関係は次のとおりである。北側の盛土Ｄとは、85ラインの土層断面によれば盛土Ｄ－１・２層の上位に盛土Ｅ－１・２層がある。この点から盛土Ｅは盛土Ｄより新しいといえる。83ラインでは、盛土Ｄ－１・２層と盛土Ｅ－１・２層はそれぞれ連続している。しかし、盛土Ｅの３層は盛土Ｄ－２層の下位にあることから、盛土Ｅ－３層のみは、盛土Ｄ－２層より古いことになる。南側の盛土Ｇとは、83・85ラインの土層断面では新旧関係は不明である。しかし、平面的調査によれば盛土Ｅは盛土Ｇの下位にあることから盛土Ｇより古い。西側の盛土Ｚとの関係は、平面的調査によれば盛土Ｅは盛土Ｚより古い。東側の盛土Ｊとの関係は、盛土Ｚと同様の理由により、盛土Ｊより古い。

調査にあたっては、東西方向と南北方向にトレンチを１本ずつ設定した。東西方向のトレンチは盛土の中央よりやや北側のｔライン（ｔ－81区～ｔ－84区の北壁）に設定し、長さは約16mである。南北方向は、盛土Ｅの中央よりやや東側になるが83ライン（ｓ－83区～ｕ－83区の西壁）に設定した。これはＲ地区全体のトレンチがすでに80ラインと85ラインに設定しているためである。

ｂ．土層

東西方向に設定したｔライントレンチの北壁セクションを図Ⅳ―56に示した。土層は大まかに３層に分けられる。また、盛土中央よりやや東寄りのｓ－83・84区・ｔ－82・83区・ｕ－82区の範囲には、盛土Ｅ－１層と３層の間に盛土Ｅ－12・13層が局地的に分布する。

盛土Ｅ－１層　黒褐色土で軽石を少量含む。盛土Ｅ全域に及ぶが、82ライン付近は非常に薄い。盛土Ｄ－１層に対応する層である。

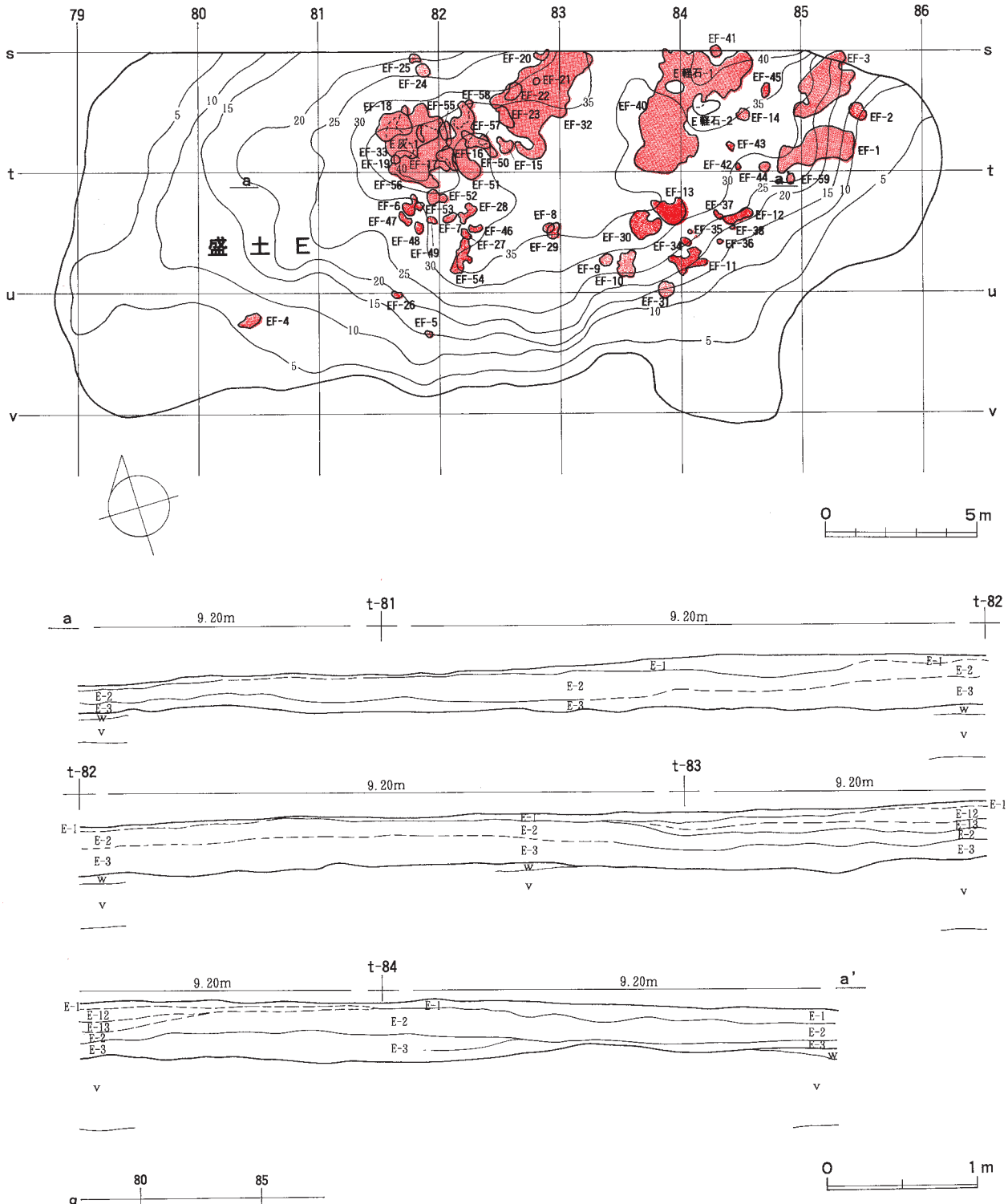
盛土Ｅ－２層　暗褐色土で、軽石をやや多量に含む。盛土Ｅの北部を中心に大部分に分布する。層厚は10㎝～15㎝程度。焼土は５ｍにおよぶ大型のものを含め、28ヵ所確認できた。また、軽石の集中箇所が複数見られた。盛土Ｄ－２層に対応する層である。

盛土Ｅ－３層　褐色土で軽石を少量含む。盛土Ｅの中央部を中心に分布する。層厚はやや厚く、20㎝程度で安定している部分が多い。焼土は30ヵ所確認できたが、小型のものがほとんどである。

盛土Ｅ－11層　黒褐色。ｓ－82区付近のごく限られた範囲にブロック状に分布している。

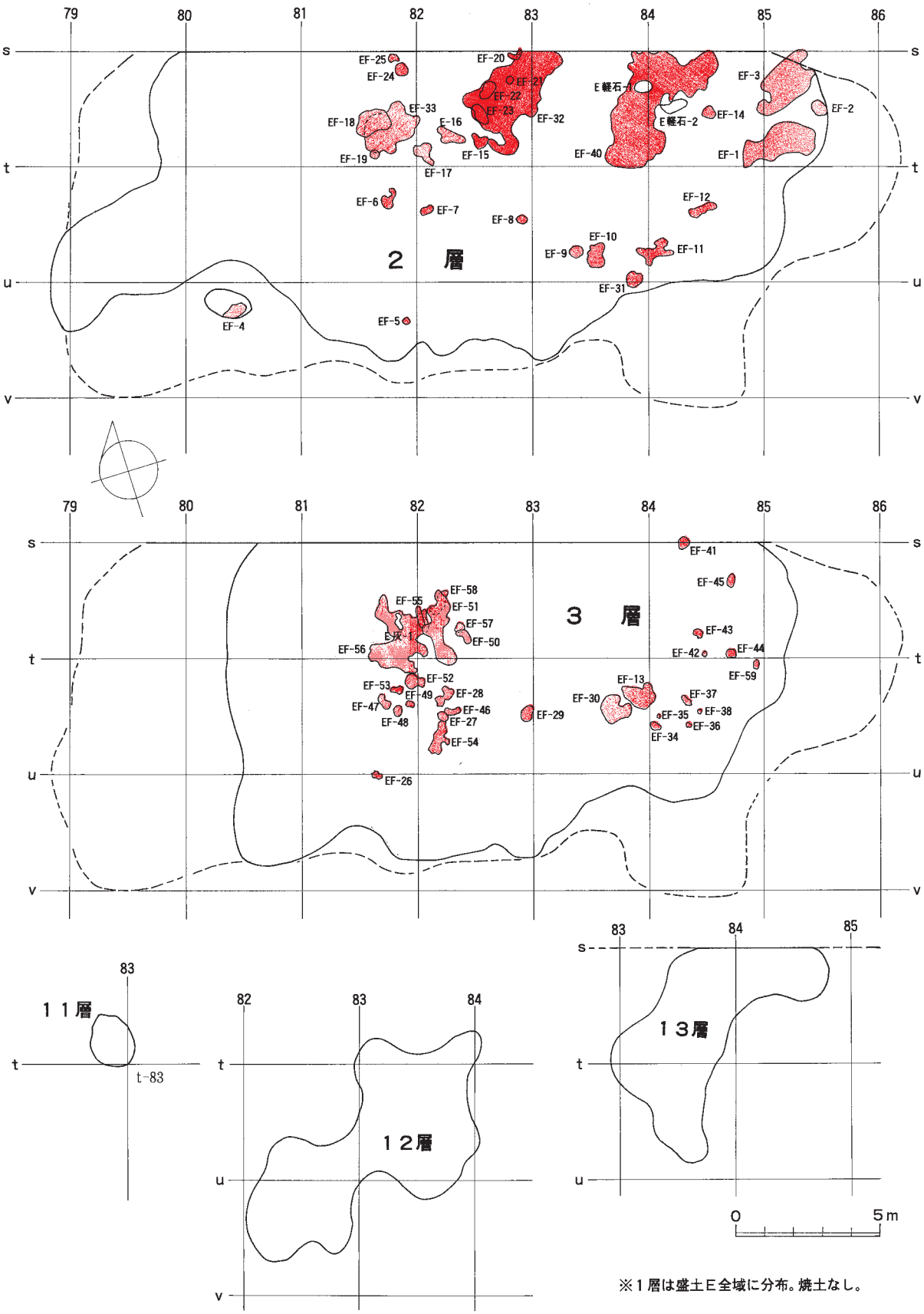
盛土Ｅ－12層　褐色土で軽石をやや多量に含む。

盛土Ｅ－13層　黒褐色土で軽石を多量に含む。



E-1‥‥黒褐色(10YR2/3)　径 5mm 程度の軽石少量。
E-12‥‥褐色(10YR4/4)　径 10mm 程度の軽石やや多量。
E-13‥‥黒褐色(10YR2/3)　径 10mm の軽石多量。
E-2‥‥暗褐色(10YR3/3)　径 5mm 程度の軽石やや多量。褐鉄鉱多量。
E-3‥‥褐色(10YR4/4)　径 5mm 程度の軽石少量。褐鉄鉱多量。

図Ⅳ－56　盛土Ｅ層厚図および土層断面図



図Ⅳ－57　盛土Ｅ各層位分布図

ｃ．盛土Ｅの焼土

盛土Ｅで検出した焼土は58ヵ所である（表Ⅳ－７）。検出層位別には、盛土Ｅ－２層で28ヵ所、Ｅ－３層で30ヵ所で、Ｅ－１・11・12・13層では検出されなかった。焼土は、盛土Ｅ－12・13層の範囲の外側に分布している。盛土Ｅ－２層では、ｓ－81～85の範囲に約４ｍおきに北東－南西方向に長軸をもつ大型の焼土が検出された。盛土Ｅ－３層では比較的小型の焼土群が東側と西側にまとまりをもって検出された。また81ラインより西側で検出された焼土は、Ｅ－２層で検出されたＲＭＥＦ－４の１ヵ所のみである。

焼土は、長軸の長さにより次の３種類に分けられる。①２ｍ以上の大型のもの、②１ｍ程度の中型のもの、③10数㎝の小型のものである。平面形は不整形のものが多く、特に大型のものに多いようである。大型焼土の長軸方向は上記の通り、南側盛土遺構のそれと同じく北東―南西方向のものが多い。地形的な制約を受けているのだろうか。大型焼土は調査の過程で、焼土範囲の広がる傾向があった。このため、焼土範囲をたびたび変更したり、別々の焼土番号を付けていたものが同一焼土になったりすることもあった（ＲＭＥＦ－39とＲＭＥＦ－40を同一面で重複することからＲＭＥＦ－40に統合した例（図Ⅳ－60））。

焼土全体について特徴的な事柄をいくつか取り上げ、個々の焼土の記載は行わず、該当する主な焼土番号を挙げた。

① 明らかに廃棄されたと思われるもの。（ＲＭＥＦ－37・56）
② 確認面で骨片が目立つもの。（ＲＭＥＦ－27・28・31・55・56・58）
③ 焼土の色調が明瞭で、レンズ状の堆積をしているもの。（ＲＭＥＦ－９・37・49）
④ 焼土の色調が不明瞭なもの。（ＲＭＥＦ－７・16・17・18・19・28）

①については、明度は高いものの被熱層が漸移的変化をなしておらず、軽石を混じえて不均質な状態の断面が観察されるものである。ＲＭＥＦ－37は長軸39㎝ほどの小型の焼土（図Ⅳ－61）で、遺物はそれほど多く含まれていない。ＲＭＥＦ－56は長軸2.5ｍを超える不整形の大型焼土（図Ⅳ－62）で、規模の大小にかかわらない。

②については、検出時の観察によるもの。焼土が形成された際に何らかの人為的行為があった可能性があるものをも想定している。しかし、もともと盛土中に含まれていたものがあることも考慮に入れなければならない。

③については、現地で焼成が行われたとみられる焼土である。例示は少ないが、全体の件数としては多いものと思われる。ＲＭＥＦ－９（図Ⅳ－59）は長軸40㎝程度の小型焼土である。被熱層の明度は非常に高く、境界は明瞭である。ＲＭＥＦ－37（図Ⅳ－61）・ＲＭＥＦ－49（図Ⅳ－62）も同様である。

④については、被熱の程度が弱かったもの、後世に流水など何らかの要因で移動したことなどが想定される焼土である。現地で焼成が行われたかどうか判定困難なものである。ＲＭＥＦ－７（図Ⅳ－58）は明度が低く少々褐色の色調が強い、といった程度の焼土である。ＲＭＥＦ－16・17・18（図Ⅳ－58）はやや大型の焼土であるが、色調は橙褐色である。

表Ⅳ－７　盛土Ｅの焼土一覧

焼土番号	被熱層	中心位置（発掘区）	平面形	規模(cm) 長軸	短軸	層厚	色調	図版番号	遺物 土器	石器	礫	骨片	備考
RMEF－1	E2	s-84	不整形	276	105	7	赤褐色	図Ⅳ－59	○	△	＊	＊	
RMEF－2	E2	s-85	楕円形	60	46	10	赤褐色	図Ⅳ－59	＊	＊		＊	
RMEF－3	E2	s-85	不整形	268	128	10	明赤褐色	図Ⅳ－59	○	△	△	△	
RMEF－4	E2	u-80	ほぼ楕円形	80	42	7	赤褐色	図Ⅳ－59	△	＊	＊	＊	
RMEF－5	E2	u-81	ほぼ円形	23	20	3	橙褐色	図Ⅳ－58	△	＊	＊	＊	
RMEF－6	E2	t-81	不整形	66	44	4	明褐色	図Ⅳ－58	＊	＊	＊	＊	
RMEF－7	E2	t-82	楕円形	48	25	3	明褐色	図Ⅳ－58	＊	＊	＊	＊	
RMEF－8	E2	t-82	ほぼ円形	33	32	6	明褐色	図Ⅳ－58	＊			＊	
RMEF－9	E2	t-83	楕円形	44	38	4	明褐色	図Ⅳ－59	＊	＊	＊	＊	
RMEF－10	E2	t-83	不整形	85	60	3	明褐色	図Ⅳ－59	△	＊	＊	＊	
RMEF－11	E2	t-84	不整形	134	105	4	赤褐色	図Ⅳ－59	△	＊	＊	＊	
RMEF－12	E2	t-84	不整形	96	34	6	橙褐色	図Ⅳ－59	△	＊	＊	＊	
RMEF－13	E3	t-83	不整形	130	92	6	赤褐色	図Ⅳ－61	○	＊	＊	＊	
RMEF－14	E2	s-84	不整形	44	42	3	橙褐色	図Ⅳ－59	＊	＊	＊	＊	
RMEF－15	E2	s-82	不整形	62	50	3	橙褐色	図Ⅳ－58	△	＊	＊	＊	
RMEF－16	E2	s-82	不整形	108	49	2	橙褐色	図Ⅳ－58	＊	＊	＊	＊	
RMEF－17	E2	s-82	不整形	93	59	6	橙褐色	図Ⅳ－58	△	＊	＊	＊	
RMEF－18	E2	s-81	不整形	120	80	7	明褐色	図Ⅳ－58	○	△	＊	＊	
RMEF－19	E2	s-81	ほぼ円形	29	28	3	褐色	図Ⅳ－58	＊	＊	＊	＊	
RMEF－20	E2	s-82	不整形	52	17	3	明褐色	図Ⅳ－58	＊	＊	＊	＊	
RMEF－21	E2	s-82	楕円形	24	19	4	暗橙褐色	図Ⅳ－58	＊	＊	＊	＊	
RMEF－22	E2	s-82	双円形	66	41	4	橙褐色	図Ⅳ－58	△	＊	＊	＊	
RMEF－23	E2	s-82	不整形	80	37	4	橙褐色	図Ⅳ－58	△	＊	＊	＊	
RMEF－24	E2	s-81	ほぼ円形	46	44	4	橙褐色	図Ⅳ－58	○	＊	＊	△	
RMEF－25	E2	s-81	不整形	40	32	3	橙褐色	図Ⅳ－58	△	＊	＊	＊	
RMEF－26	E3	u-81	ほぼ楕円形	34	21	4	橙褐色	図Ⅳ－62	△	＊	＊	＊	
RMEF－27	E3	t-82	楕円形	38	26	7	暗橙褐色	図Ⅳ－62	△	＊	＊	＊	
RMEF－28	E3	t-82	不整形	73	39	3	褐色	図Ⅳ－62	△	＊	＊	＊	
RMEF－29	E3	t-82	楕円形	56	44	4	暗橙褐色	図Ⅳ－62	△	＊	＊	＊	
RMEF－30	E3	t-83	不整形	106	90	6	赤褐色	図Ⅳ－61	○	△	＊	△	
RMEF－31	E2	t-83	ほぼ円形	55	53	7	明褐色	図Ⅳ－59	△	△	＊	＊	
RMEF－32	E2	s-82	不整形	400	260	8	橙褐色	図Ⅳ－60	○	△	△	△	
RMEF－33	E2	s-81	不整形	210	130	－		図Ⅳ－60	△	＊	＊	＊	
RMEF－34	E3	t-84	ほぼ楕円形	38	26	－		図Ⅳ－61	＊	＊	＊	＊	
RMEF－35	E3	t-84	円形	13	13	－		図Ⅳ－61	＊	＊	＊	＊	
RMEF－36	E3	t-84	円形	15	15	－		図Ⅳ－61	＊	＊		＊	
RMEF－37	E3	t-84	不整形	39	21	5	赤褐色	図Ⅳ－61	△	＊	＊	＊	
RMEF－38	E3	t-84	楕円形	20	14	－		図Ⅳ－61	＊		＊	＊	
RMEF－39	欠番												
RMEF－40	E2	s-83	不整形	524	220	9	赤褐色	図Ⅳ－60	◎	○	△	△	
RMEF－41	E3	s-84	楕円形	42	37	6	赤褐色	図Ⅳ－61	△	＊	＊	＊	
RMEF－42	E3	s-84	楕円形	19	15	4	橙褐色	図Ⅳ－61	＊	＊	＊	＊	
RMEF－43	E3	s-84	不整形	31	24	－		図Ⅳ－61	＊	＊	＊	＊	
RMEF－44	E3	s-84	ほぼ楕円形	36	26	－		図Ⅳ－61	＊	＊	＊	＊	
RMEF－45	E3	s-84	長楕円形	48	22	3	赤褐色	図Ⅳ－61	＊	＊	＊	＊	
RMEF－46	E3	t-82	不整形	51	18	－		図Ⅳ－62	△	＊	＊	＊	
RMEF－47	E3	t-81	双円形	56	28	4	赤褐色	図Ⅳ－62	△	＊		＊	
RMEF－48	E3	t-81	ほぼ楕円形	35	29	4	赤褐色	図Ⅳ－62	△	＊		＊	
RMEF－49	E3	t-81	ほぼ楕円形	33	21	4	橙褐色	図Ⅳ－62	＊	＊		＊	
RMEF－50	E3	s-82	不整形	60	29	－		図Ⅳ－62	○	＊	＊	△	
RMEF－51	E3	s-82	不整形	260	90	6	橙褐色	図Ⅳ－62	△	＊	＊	△	
RMEF－52	E3	t-81	双円形	70	52	4	橙褐色	図Ⅳ－62	○	＊	＊	＊	
RMEF－53	E3	t-81	双円形	45	26	6	橙褐色	図Ⅳ－62	△	＊	＊	＊	
RMEF－54	E3	t-82	不整形	144	58	5	橙褐色	図Ⅳ－62	○	＊	＊	＊	
RMEF－55	E3	s-82	長楕円形	77	19	3	暗橙色	図Ⅳ－62	△	＊	＊	△	
RMEF－56	E3	t-81	不整形	256	244	4	橙褐色	図Ⅳ－62	○	△	△	○	
RMEF－57	E3	s-82	ほぼ楕円形	35	30	5	明橙色	図Ⅳ－62	○	＊	＊	＊	
RMEF－58	E3	s-82	不整形	95	40	4	橙色	図Ⅳ－62	○	＊	△	＊	
RMEF－59	E3	t-84	楕円形	33	23	4	赤褐色	図Ⅳ－61	○	＊	＊	＊	

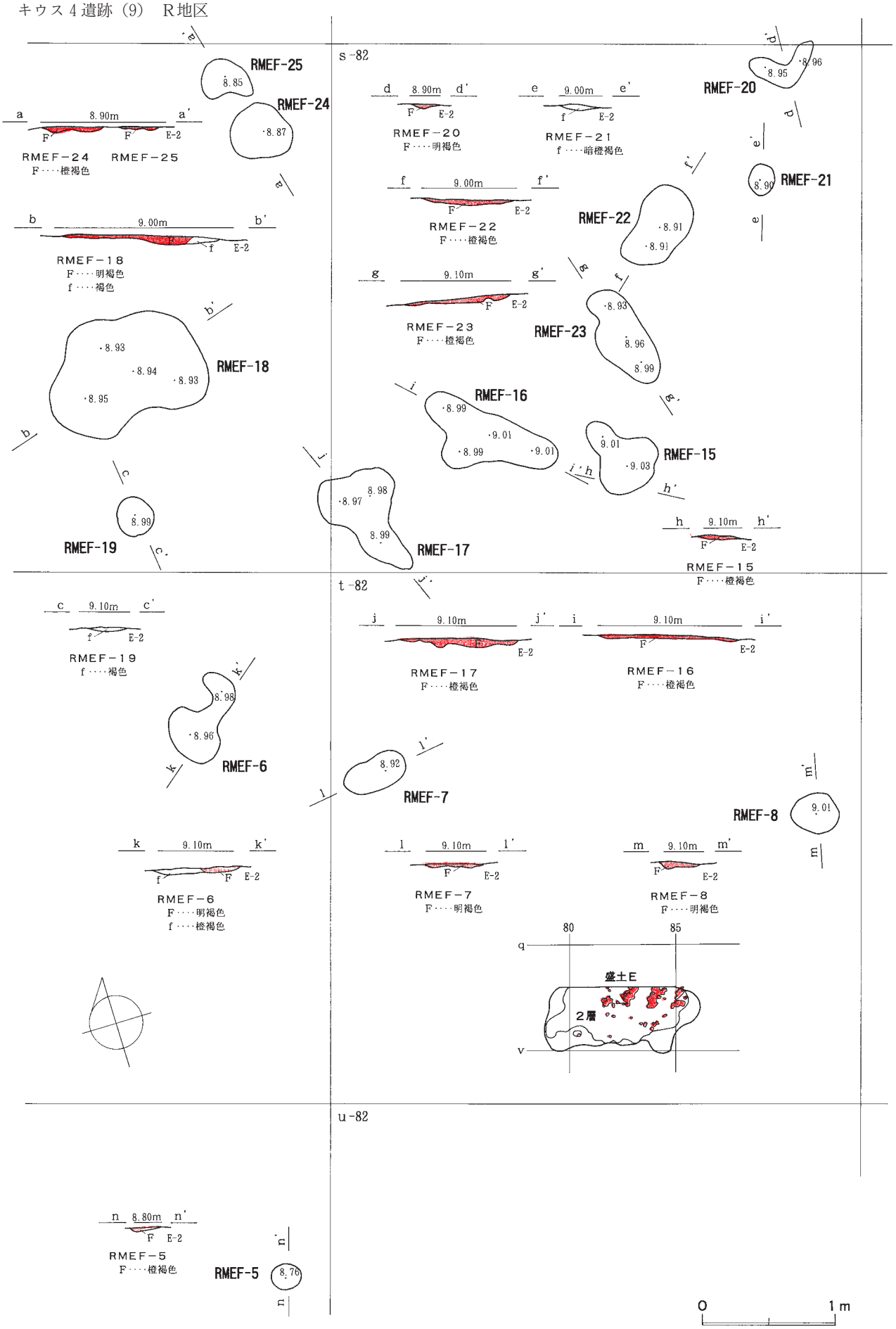
※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量

表Ⅳ－８　盛土Ｅの焼土出土土器等

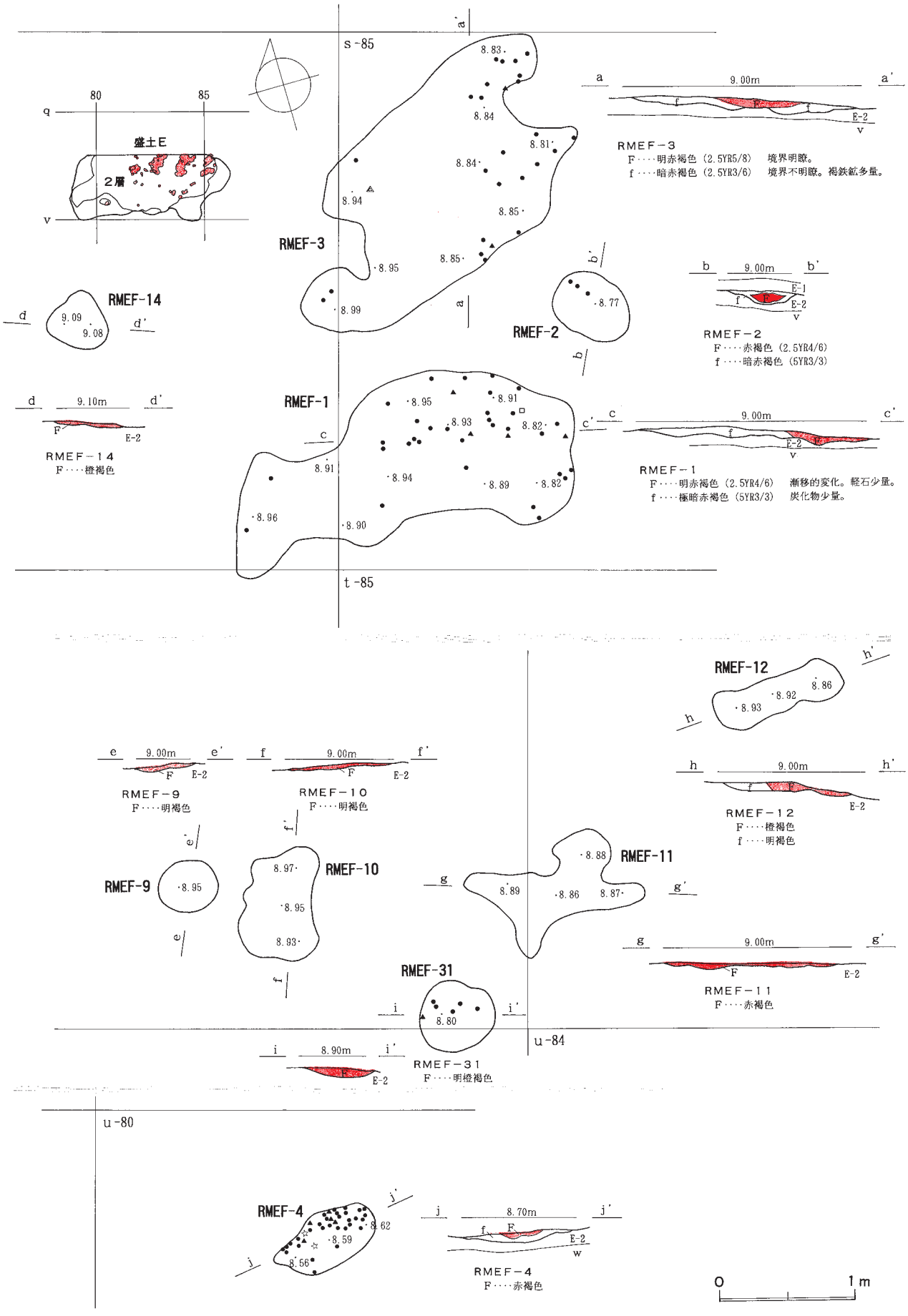
焼土番号	Ⅰb-4	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳa	Ⅳb-3	Ⅳb-4	Ⅳc	Ⅳc-1	Ⅳc-0	ミニチュア	土製品	焼成粘土塊	合計
RMEF-1							28	10					38
RMEF-2							4						4
RMEF-3						1	22	1					24
RMEF-4							31	4					35
RMEF-12							1						1
RMEF-13							7	2					9
RMEF-18							42	6					48
RMEF-19							10						10
RMEF-23							6						6
RMEF-24							44						44
RMEF-25							7						7
RMEF-30							9	3					12
RMEF-31							5						5
RMEF-32							108	10					118
RMEF-33							3						3
RMEF-40						1	139	28				1	169
RMEF-42							1						1
RMEF-43							1						1
RMEF-45							6	1					7
RMEF-46							4						4
RMEF-47							8						8
RMEF-48								1					1
RMEF-49							1						1
RMEF-50							34	4					38
RMEF-51							5						5
RMEF-52							3	1					4
RMEF-53							2						2
RMEF-54							11	2					13
RMEF-55							2	3					5
RMEF-56							102	36				7	145
RMEF-57							3	1					4
RMEF-58						1	1						2
RMEF合計						3	650	113				8	774

表Ⅳ－９　盛土Ｅの焼土出土石器等

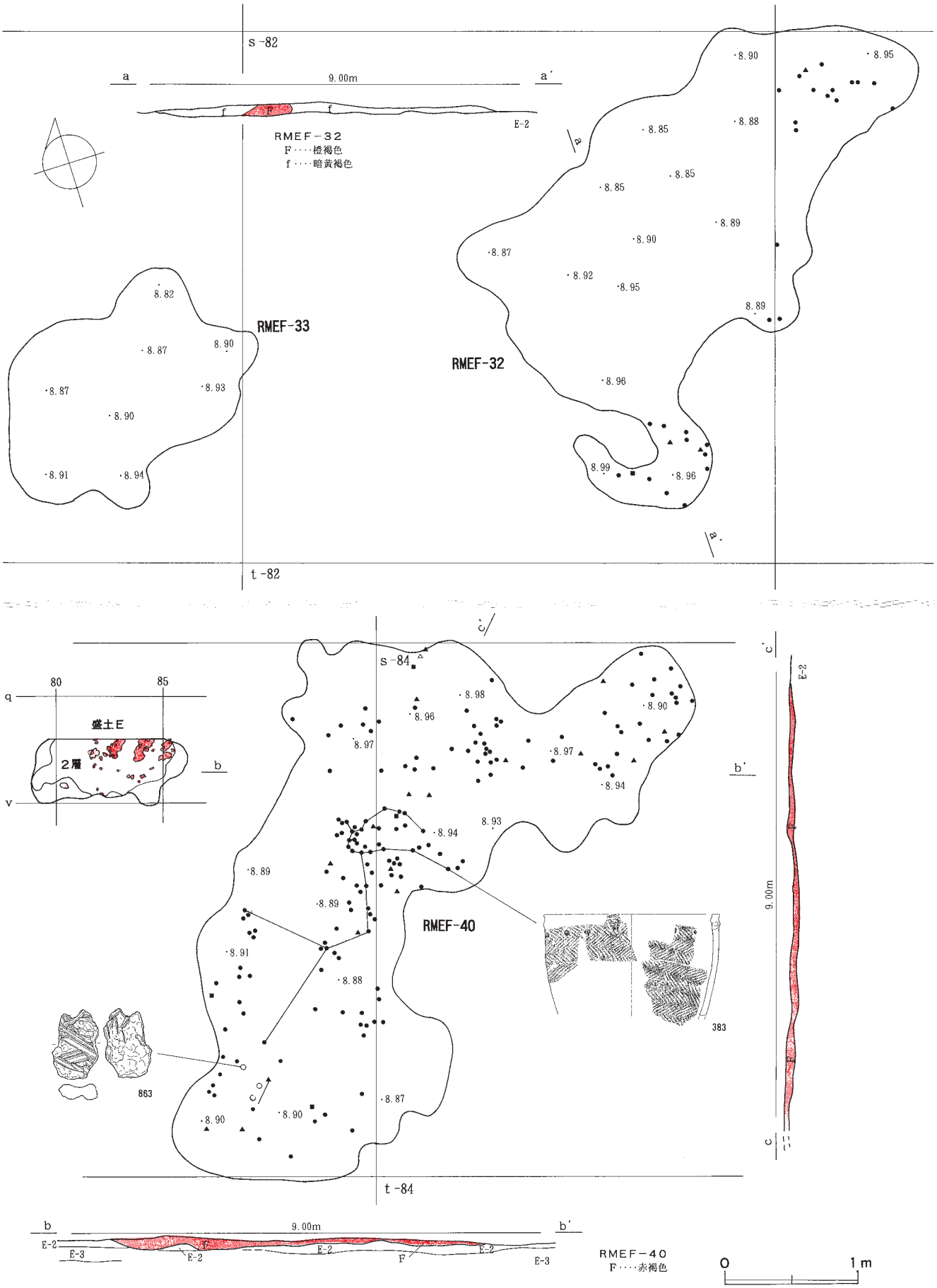
焼土番号	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石斧	たたき石	砥石	台石もしくは石皿	ピエス・エスキュ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のみられる礫	石核	原石	フレイク	礫	石棒	石製品	合計
RMEF-1						1									4				5
RMEF-3															2		1		3
RMEF-4	1														5				6
RMEF-10															1				1
RMEF-13										1					6				7
RMEF-18	1									1					7				9
RMEF-19															2				2
RMEF-23															1				1
RMEF-24															1				1
RMEF-25															2				2
RMEF-30	3														3		1		7
RMEF-31															1				1
RMEF-32	5	2													32	1			40
RMEF-33															2				2
RMEF-40	5			2	1					3	3				15	5			34
RMEF-45															1				1
RMEF-50	1	1													4				6
RMEF-51															4				4
RMEF-52	3																		3
RMEF-54															1				1
RMEF-55	1				1														2
RMEF-56	4				1					2	2			1	10				20
RMEF-57							1												1
RMEF-58												1			1				2
合　計	24	3	0	2	3	1	1	0	0	7	5	1	0	1	105	6	2	0	161



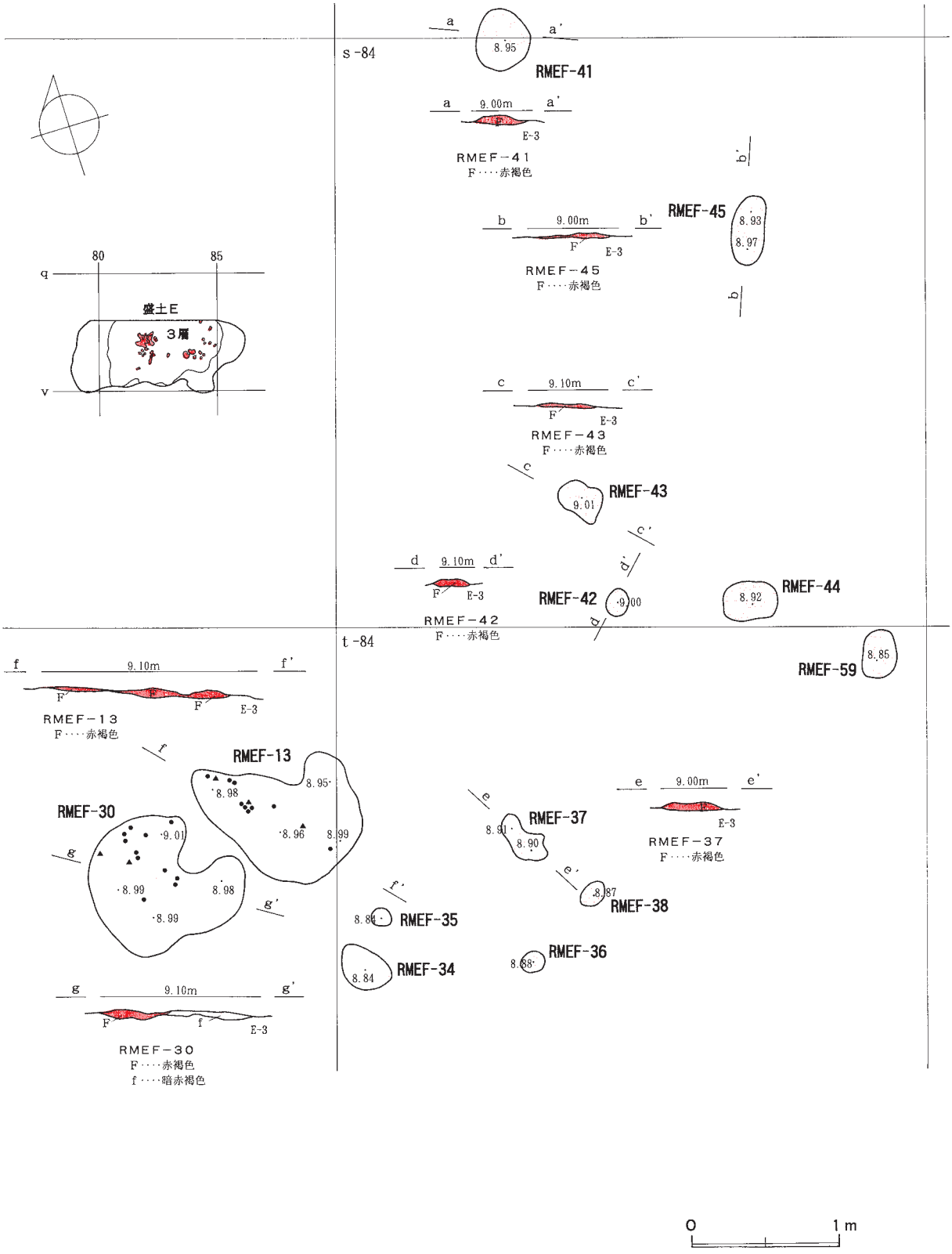
図Ⅳ－58　盛土Ｅの焼土（１）



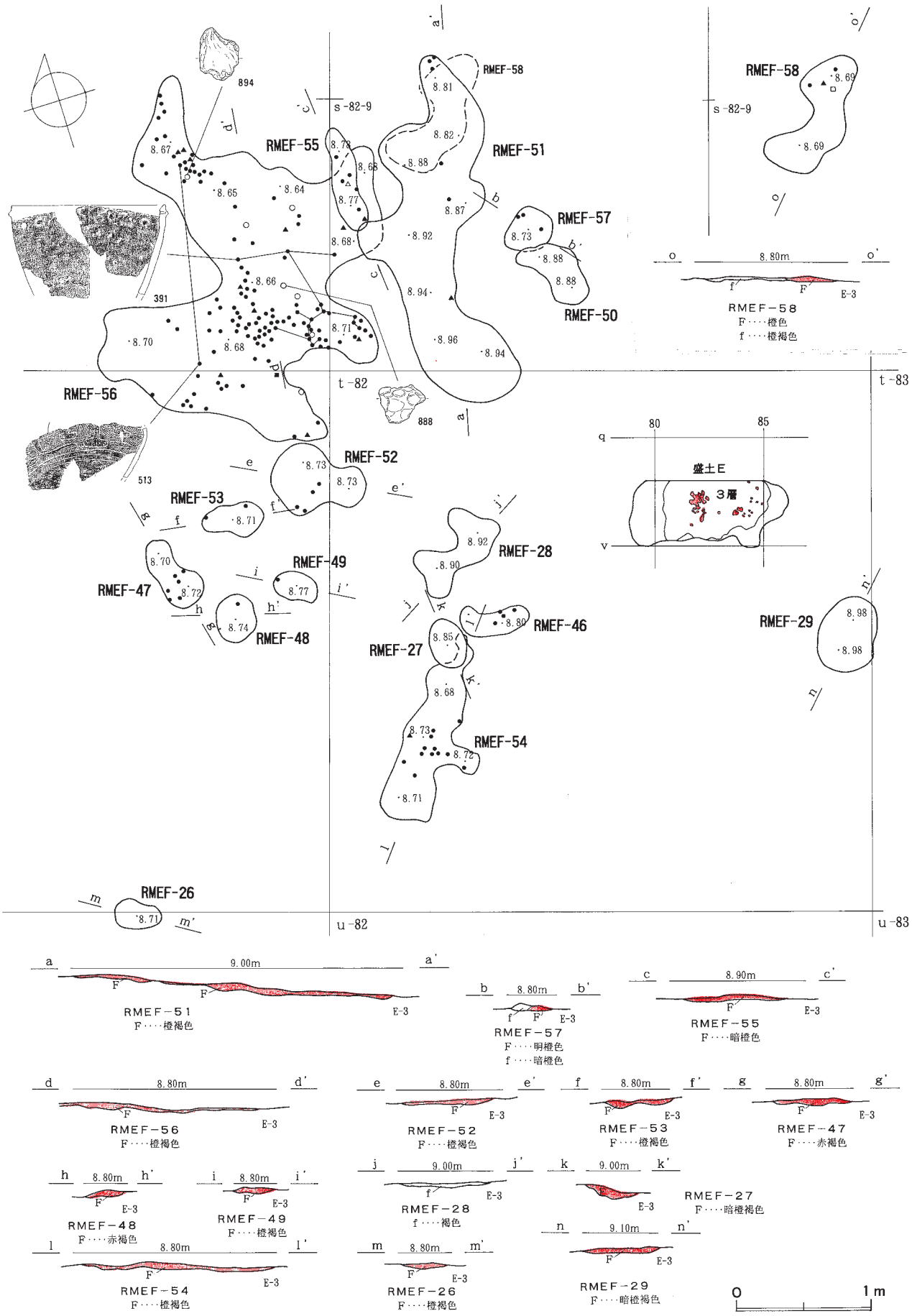
図Ⅳ－59　盛土Ｅの焼土（２）



図Ⅳ－60　盛土Ｅの焼土（３）



図Ⅳ－61　盛土Ｅの焼土（４）



図Ⅳ－62　盛土Ｅの焼土（５）

ｄ．軽石集中等

①軽石集中

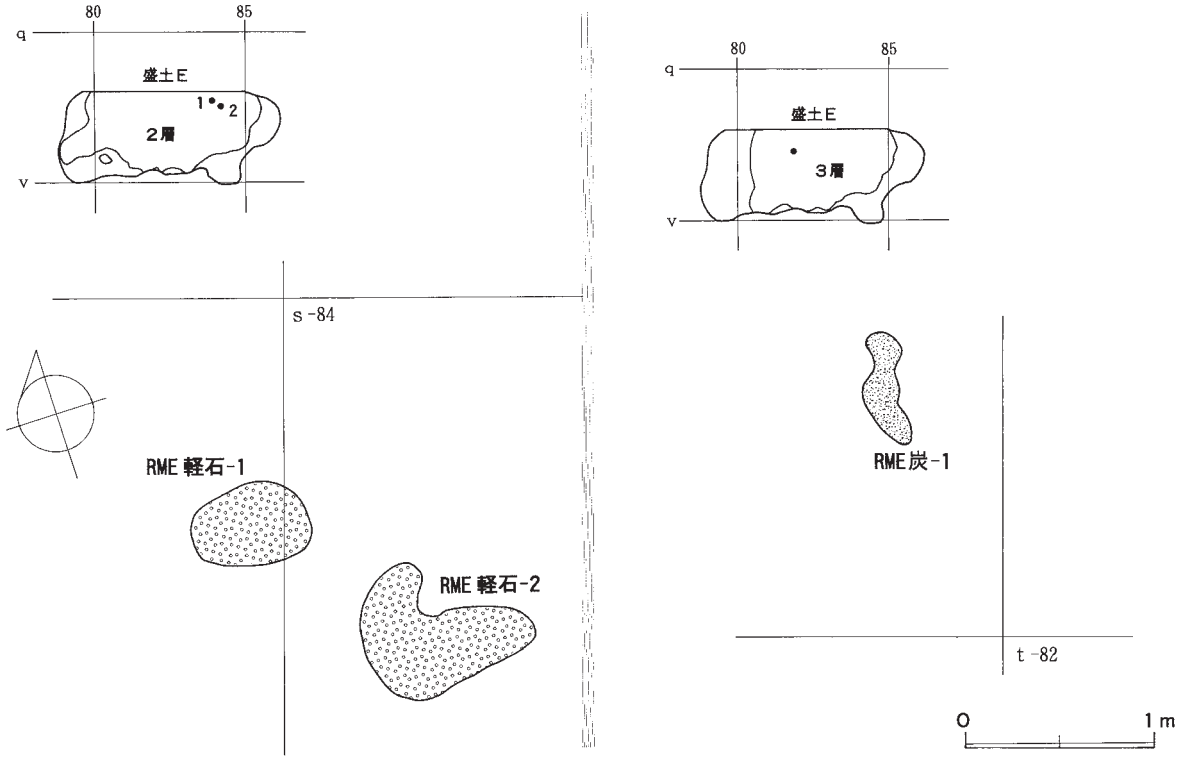
ｓ－83・84区の盛土Ｅ－２層を調査中、ＲＭＥＦ－40と同じレベルでＥｎ－ａと思われる軽石のまとまりを２ヵ所確認した。

軽石集中１は、平面形がほぼ楕円形で、大きさは長軸60㎝・短軸42㎝、層厚は約２㎝である。軽石は最大粒径2.5㎝で、軽石集中２と比較すると軽石の少ない褐色土である。掘り込みはなかった。

軽石集中２は、平面形が不整形で、大きさは長軸92㎝・短軸74㎝、層厚は約６㎝である。軽石集中１に比較し軽石を多く含んでおり、最大粒径は３㎝である。土層は２層に分けられ、上部は褐色土、下部は黄褐色土である。掘り込みはない。

②炭化物集中

ｓ－81区の盛土Ｅ－３層を調査中、ＲＭＥＦ―56の北側で焼土と同レベルで炭化物のまとまりを検出した。炭化物の範囲は長軸58㎝・短軸18㎝で、南北に細長く分布していた。層厚は厚い部分で５㎝ある。色調は黒褐色で、炭化物が主だが粒径５㎜の軽石を少量含んでいる。炭化物には小さな炭化木片も含まれていた。



図Ⅳ－63　盛土Ｅ軽石集中および炭化物集中

ｅ．遺物出土状況

盛土Ｅの遺物総数は406,266点で、土器等337,838点（うち土製品938点）、石器･礫等68,428点（うち石製品66点）、そのほか炭化材や骨片、赤色顔料塊などの自然遺物も、土壌水洗のほか手取りでも多量に回収できた。土器は主体時期である縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたる土器が圧倒的に多く、盛土Ｄと同じく99.3％を占める。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は１：45で、やはりⅣ群ｃ－１類の占める割合が非常に高い。土製品は焼成粘土塊が837点と非常に多く出土している。また土玉・円盤状土製品・スタンプ形土製品なども多く出土し、土偶や動物形土製品の一部と考えられる特殊なものも出土している。石器・礫等では、フレイクチップが93.7％を占め圧倒的に多いが、他の盛土と同様に石鏃が定形的石器のうち60％を超えている。以下スクレイパー・石錐・砥石が続いている（Ⅸ章）。石製品は玉類がやや多く出土している。ほかに径4.4㎝のメノウ原石に赤い色が塗られたものや、長さ12㎝の軽石上部に孔が１ヵ所開けられた短冊形の石製品など特異なものも出土している。

層位別では、盛土Ｅ－１層が68,874点、Ｅ－２層が108,887点、Ｅ－３層が201,705点、Ｅ－11層が569点、Ｅ－12層が6,092点、Ｅ－13層が4,695点、残りが焼土やトレンチ分で、Ｅ－２・３層が特に多く出土している。土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－68～70に層位別に示した。これらは各層位の層厚と比較しなければならない。盛土Ｅ－１層の遺物分布は全体的にｔラインが少ないが、これは層厚をそのまま表している。また部分的な広がりをもつ盛土Ｅ－11層・12層・13層も同様である。しかし、他の層位では層厚に比べて密度の高低が目立つ部分がある。たとえば盛土Ｅ－２層のｔ－81・83区は、層は厚いが土器の出土量が少ない。ただしフレイクチップは比較的多く出土しており、層厚分布と土器･石器の重量分布の濃淡が異なったりする様子が見てとれる。これらのデータは、調査の過程で感覚的に感じられた事象を裏付けるものであり、土壌や遺物の廃棄行為が全く同様に行われたのではないことを示している。

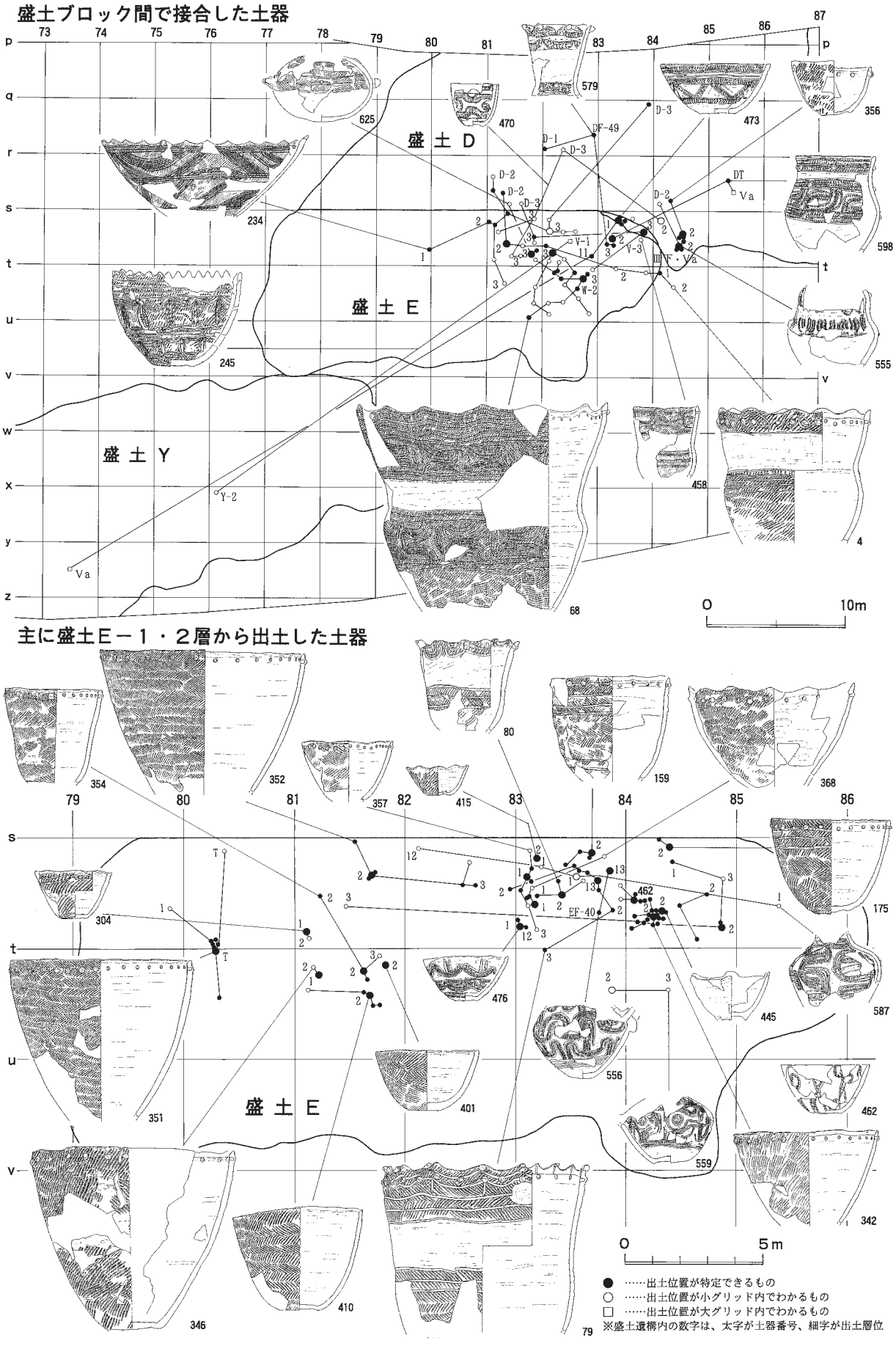
遺物集中

盛土Ｅからは、盛土遺構－上位の中ではまとまりをもって出土する土器が多い。ただし、範囲としては盛土Ｅのうちもっとも高いｓ－81区、ｔ－81・82区付近にまとまっている傾向にある。その中で同一個体の土器がまとまりをもって出土したのは９か所である（図Ⅳ－66・67盛土Ｅ遺物出土状況図（１）（２）参照）。層位別には盛土Ｅ－２層で１か所、残りは３層からである。出土状況は、口縁部が並んで出土していることから土器１個体を横にした状態で廃棄したと思われるものが多い。ただし、１個体が全部出土することは稀で、胴部から口縁部にかけて出土することが多いようである。特に土器のまとまりの近くから底部が出土することは少ないようである。

遺物の接合状況

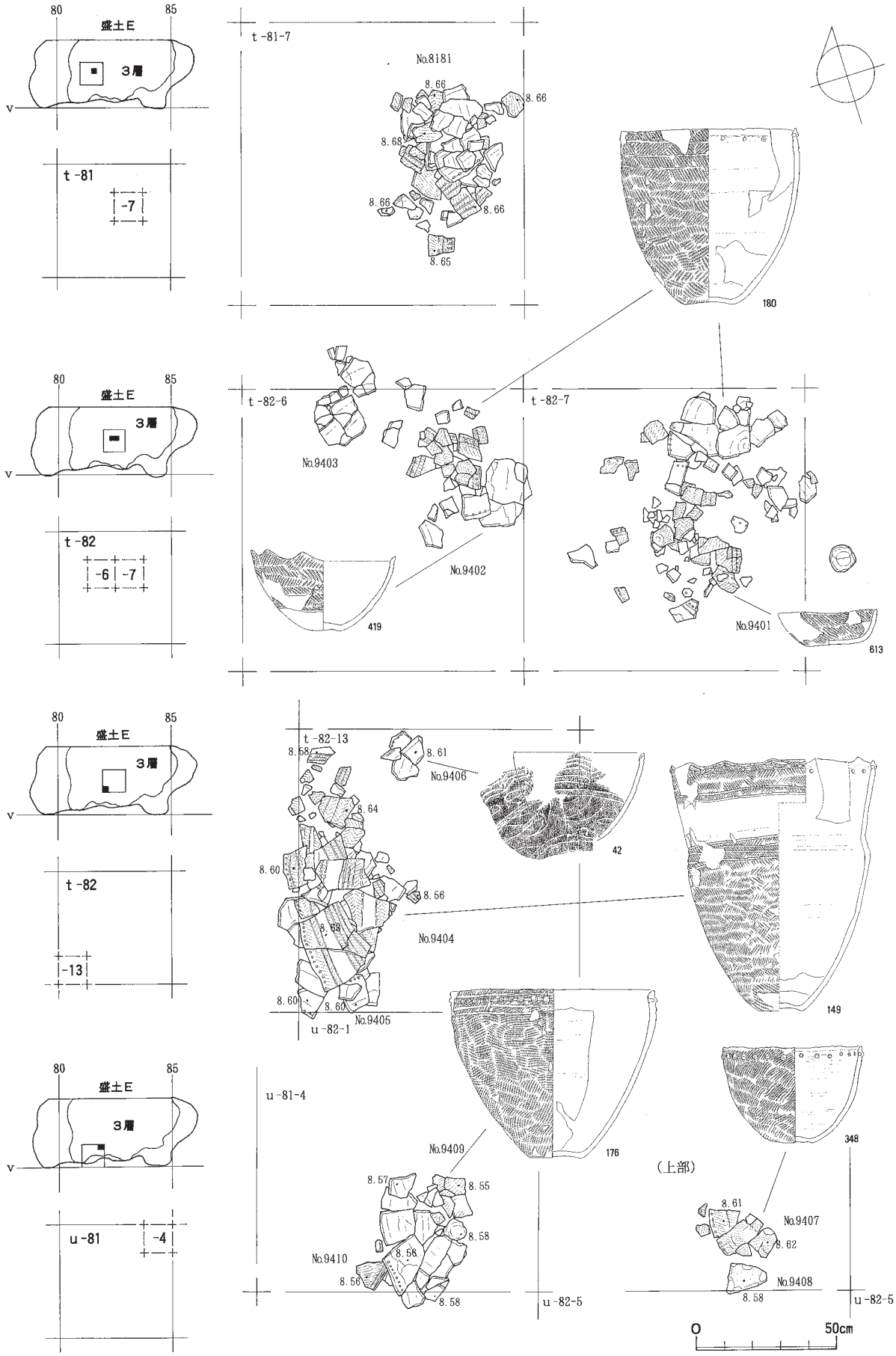
遺物の接合状況について、特に復元土器のデータについて図示した（図Ⅳ－64・65）。盛土Ｅ－２層や３層を主体として、いくらか上下の層にまたがって比較的狭い範囲内でまとまって接合する傾向にある。一方、盛土間をまたぐ接合では、近接する盛土Ｄとの間で件数が多いほか、遠く盛土Ｙとも接合している。南側盛土全体の長軸と同じ北東－南西の間で接合する傾向にある。

石器でも土器と同様の傾向がうかがえる。盛土Ｅ内での接合のほか、比較的距離の長い間での接合例も複数見られ、南側盛土全体の長軸と同じ北東－南西の間で接合する傾向にある。たたき石・石棒の例を示した（図Ⅴ－206・207）。

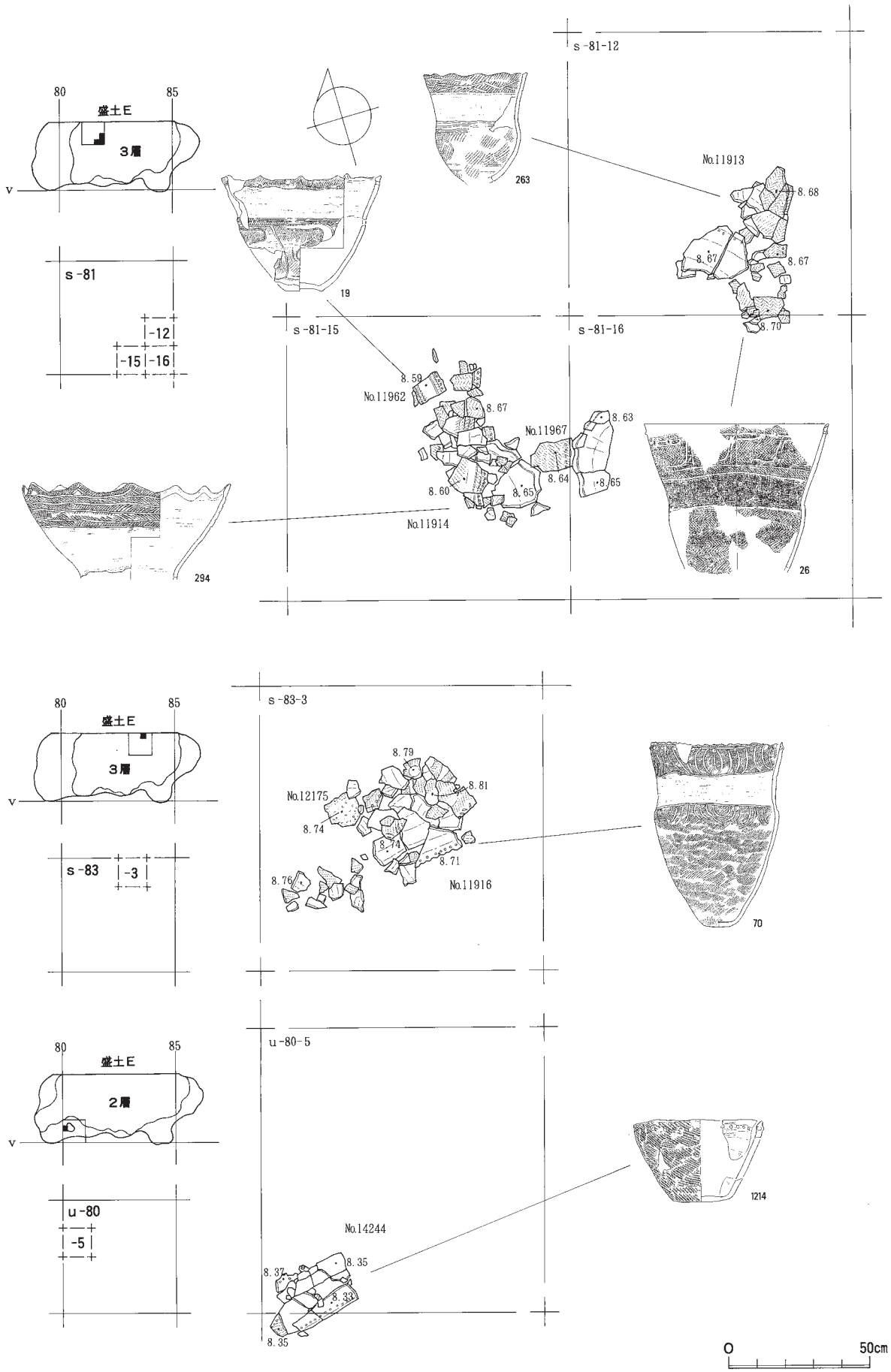


図Ⅳ－64　盛土Ｅ復元土器接合図（１）

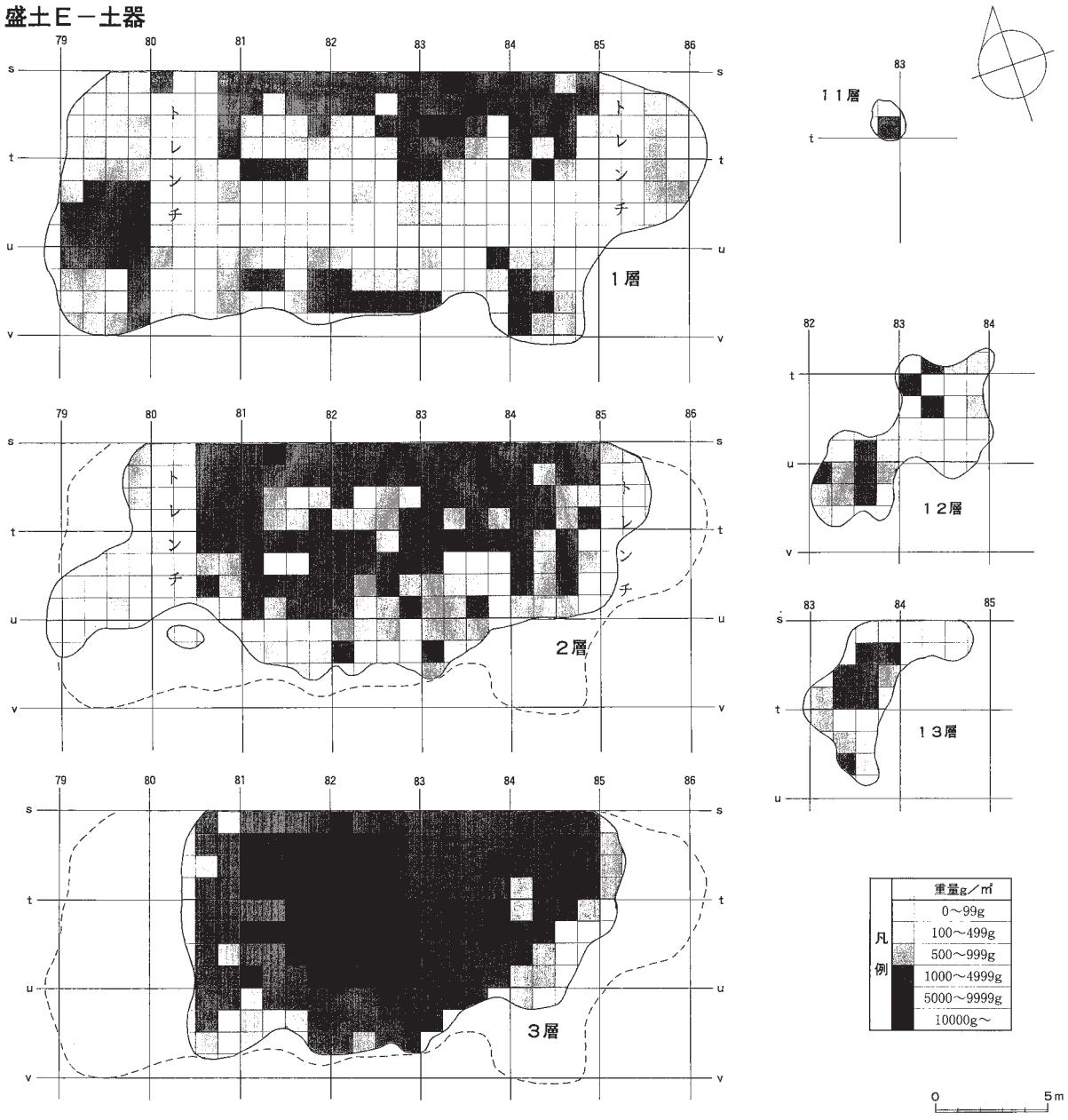
図Ⅳ－65　盛土Ｅ復元土器接合図（２）



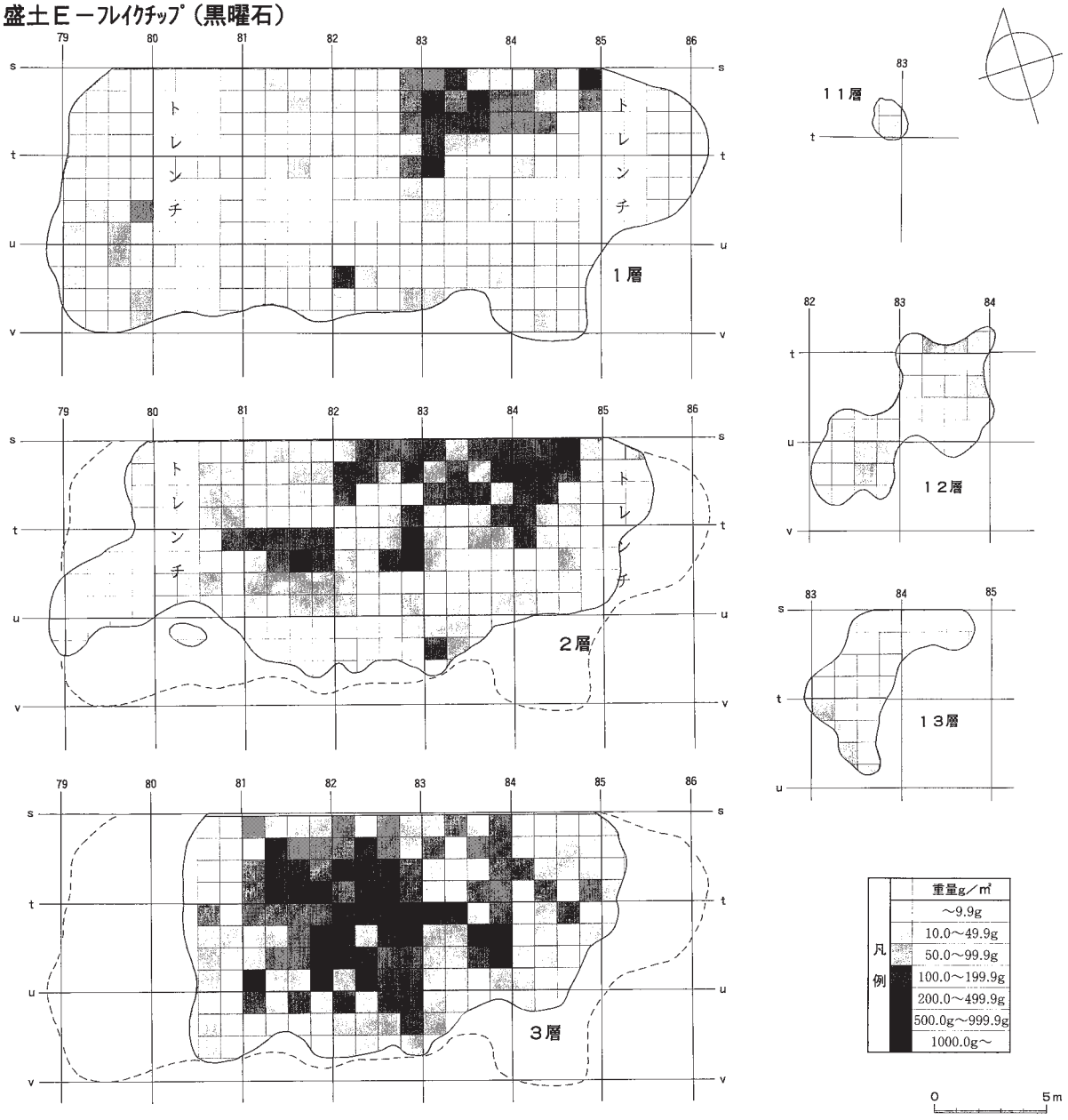
図Ⅳ－66　盛土Ｅ遺物出土状況（１）



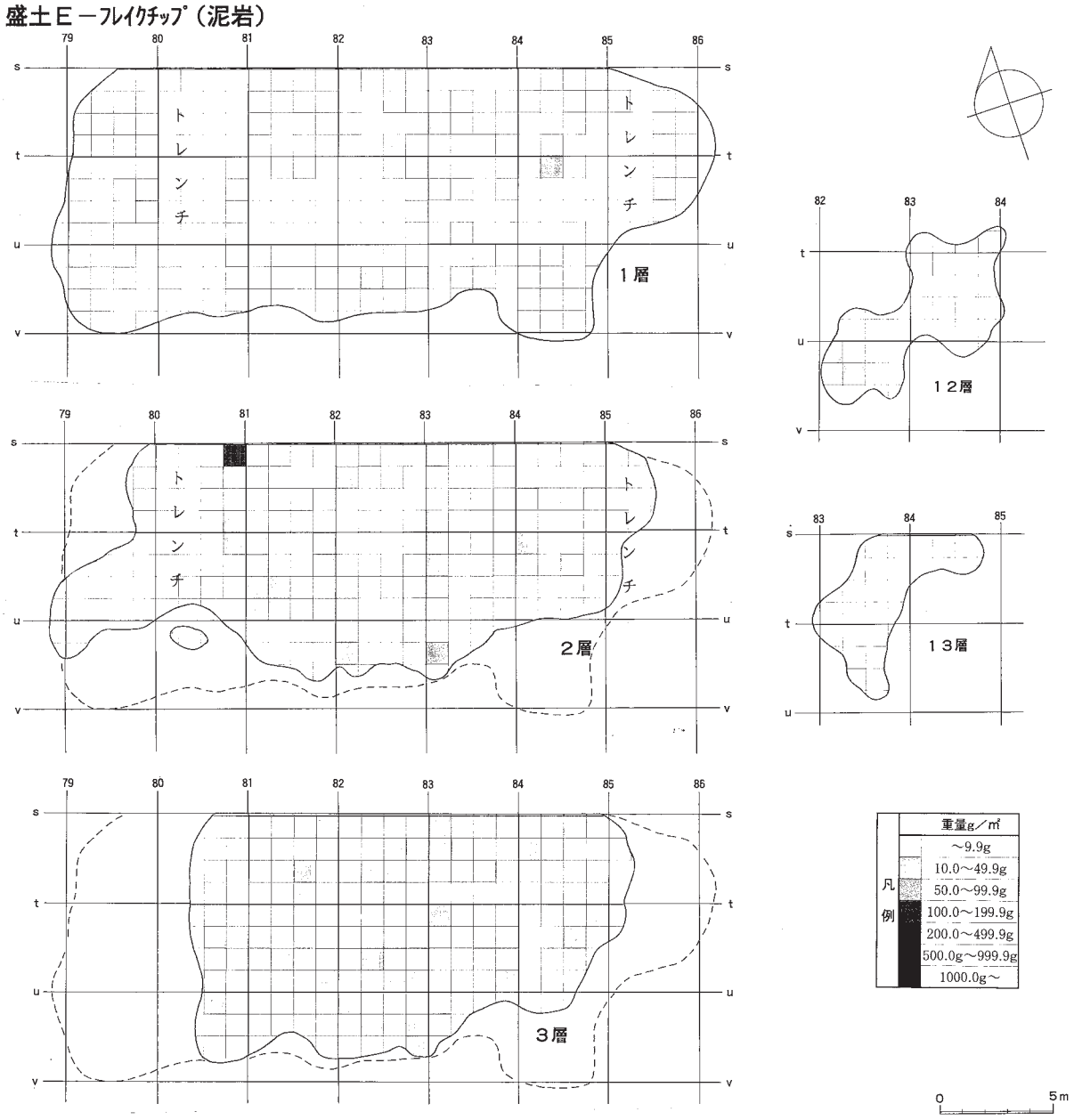
図Ⅳ－67　盛土Ｅ遺物出土状況（２）



図Ⅳ－68　盛土Ｅ土器等重量分布図

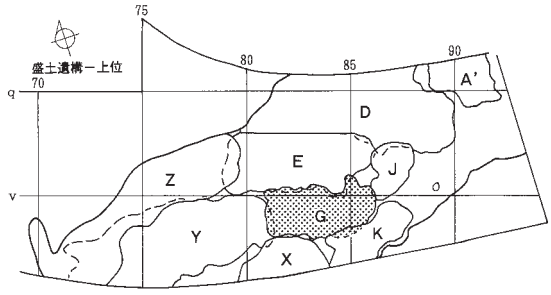


図Ⅳ－69　盛土Ｅフレイクチップ重量分布図（１）



図Ⅳ－70　盛土Ｅフレイクチップ重量分布図（２）

（４）盛土Ｇ



図Ⅳ－71　盛土Ｇ位置図

ａ．概要

規模　21.5ｍ×12.5ｍ／
最大層厚　0.13ｍ
推定土量　約15.0㎥

確認・調査　南側盛土遺構の中央部、盛土Ｅの南側に位置する。トレンチの設定は東西方向がｖ－81区からｖ－84区にかけて長さ約12ｍである。南北方向は盛土Ｄ・Ｅと同様に83ラインに設定した。盛土の層厚が厚いところは２ヵ所ある。１ヵ所はｖ－82区の厚さ15㎝、もう１ヵ所はここから東側へ約８ｍ、ｖ－84区のほぼ中央で層厚約25㎝である。

ほかの盛土ブロックとの関係は、北側に盛土Ｅ、西側に盛土Ｙ、南側に盛土Ｘと盛土Ｋが位置している。新旧関係は盛土Ｇより古い盛土ブロックは盛土Ｅ・Ｙ、盛土Ｇより新しいものは盛土Ｋ。盛土Ｘとの新旧関係は不明である。

ｂ．土層

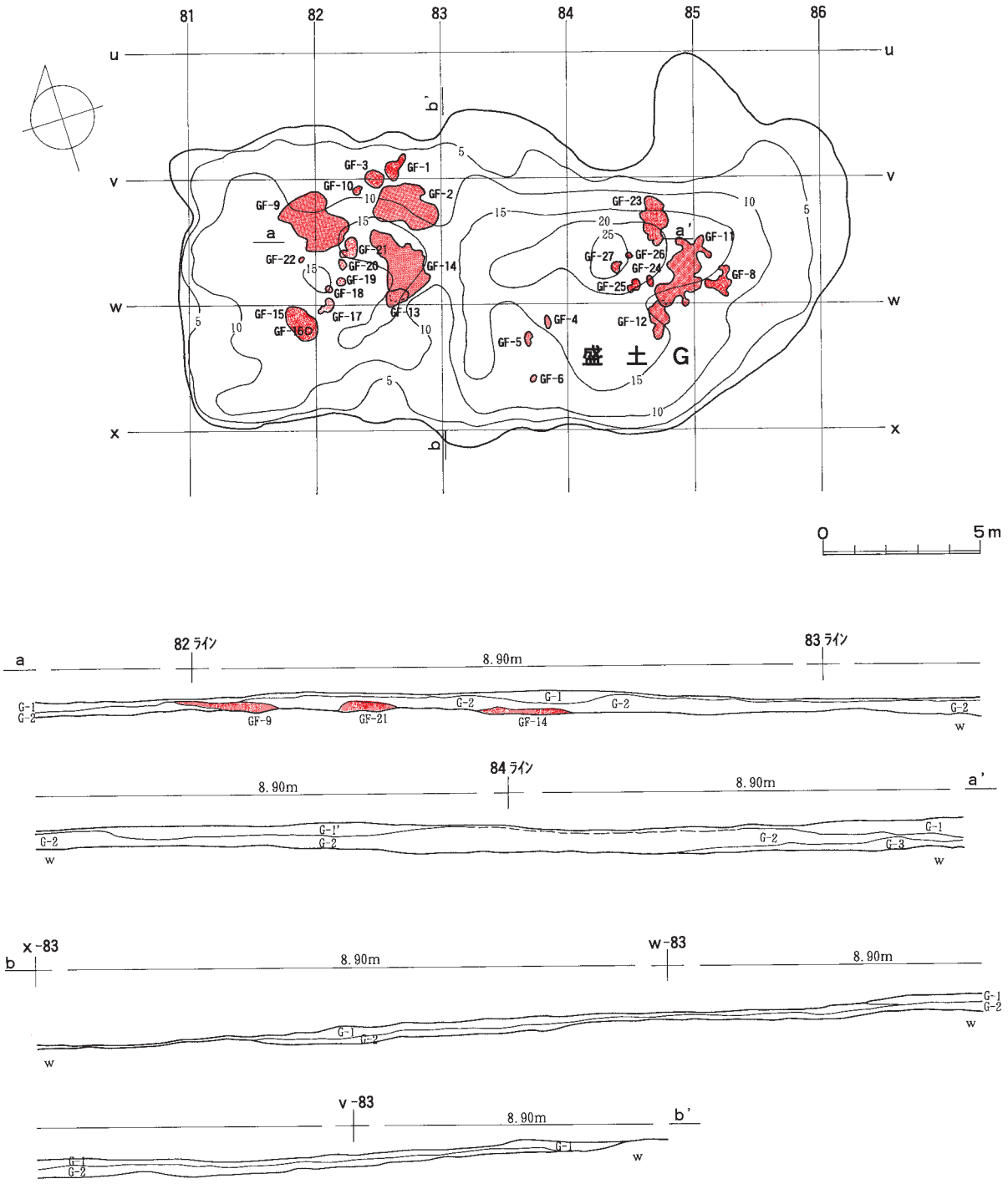
土層は３層に分けられる。

盛土Ｇ－１層　黒褐色土。軽石を多量に含んでいる。また１'層とした部分的なブロック状の層は、黄褐色土で軽石をやや多量に含んでいる。おおむね盛土Ｇの全域に広がるが、層厚は最も厚い部分でも10㎝程度である。

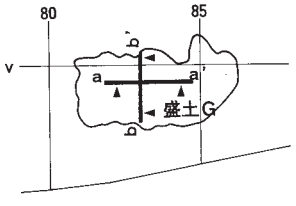
盛土Ｇ－２層　暗黄褐色～暗褐色土。盛土Ｇの周縁部を除いた大部分の範囲に広がっており、層厚も最大20㎝近くに達しており、盛土Ｇの主体的層位になっている。焼土の多くがこの２層から検出されている。

盛土Ｇ－３層　暗褐色土。軽石少量と炭化物をやや多量に含んでいる。盛土Ｇの東部に不整形に広がる。層厚は部分的に10㎝を超えるが、全体としてはあまり厚みをもっていない。焼土がまとまりをもって検出されている。

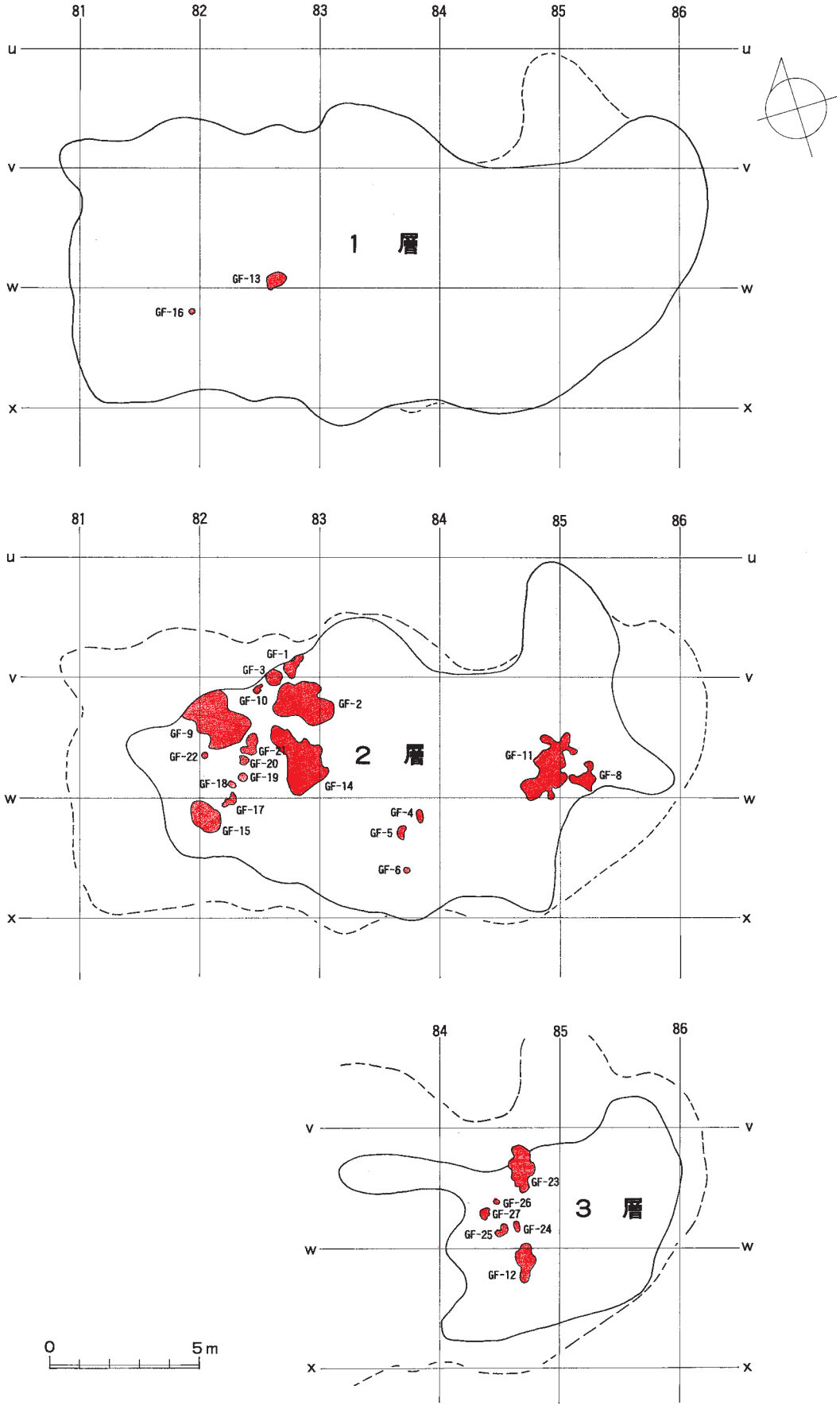
このほか、部分的に広がるブロック状の層があるが、漸移的で範囲が明瞭に捉えることが困難なため、盛土Ｇの１・２・３層に統合した（集計表などのデータ上では盛土Ｇ－11層・12層として扱った部分がある）。



G-1‥‥黒褐色　　径 10mm 程度の軽石多量。
G-1'‥‥黄褐色　　径 10mm 程度の軽石やや多量。
G-2‥‥暗黄褐色～暗褐色



図Ⅳ－72　盛土Ｇ層厚図および土層断面図



図Ⅳ－73　盛土Ｇ各層位分布図

c．盛土Gの焼土

焼土は全部で26か所検出した（表Ⅳ－10）。検出層位別には、盛土G－1層で2ヵ所、2層で18ヵ所、3層で6ヵ所である。焼土の分布範囲は大きく2ヵ所にまとまりをもっている。1ヵ所は西側のv－81・82区、もう1ヵ所は東側のv・w－84区である。

主な焼土の内容と所見について層位別に記載する。

【盛土G－1層の焼土】（図Ⅳ－74）

RMGF－13　規模は長軸70㎝で、ある程度の大きさをもつが、被熱層が不明瞭で境界もはっきりしない。遺物はフローテーションで土器の砕片がある程度得られている。

【盛土G－2層の焼土】（図Ⅳ－74・75）

v－82区付近のやや高まりのあるエリアに4つの大型焼土（RMGF－2・9・14・15）とその周辺に小型の焼土が連なっている。

RMGF－2　長軸2mを超える大型の焼土。赤褐色だが淡い色調になっている。均質的で境界がはっきりしている。ただし周縁部では色調が乱れていれる。遺物は規模に相当する割合で土器・石器・自然遺物が出土している。石器では石鏃・石斧片も出土している。しかし焼土に意図的に置かれた状況ではなく、もともと盛土遺構に含まれていたものと考えられる。

RMGF－9　RMGF－2同様、長軸2mを超える大型の焼土。明度が高いが淡い色調となっている。均質的で境界がはっきりしている。いくつかの焼成箇所が集合したものとみられる。

表Ⅳ－10　盛土Gの焼土一覧

焼土番号	被熱層	中心位置(発掘区)	平面形	規模(cm) 長軸	短軸	層厚	色調	図版番号	遺物 土器	石器	礫	骨片	備考
RMGF－1	G2	u-82	不整形	82	58	－	暗黄褐色	図Ⅳ－74	△	＊	＊	＊	
RMGF－2	G2	v-82	不整形	212	142	6	淡赤褐色	図Ⅳ－74	○	△	△	△	
RMGF－3	G2	v-82	楕円形	58	52	2	暗黄褐色	図Ⅳ－74	△	＊	＊	＊	
RMGF－4	G2	w-83	楕円形	42	24	3		図Ⅳ－75	△	＊	＊	＊	
RMGF－5	G2	w-83	不整形	44	24	1		図Ⅳ－75	△			＊	
RMGF－6	G2	w-83	ほぼ円形	18	16	1		図Ⅳ－75	＊	＊	＊	＊	
RMGF－7	欠番												
RMGF－8	G2	v-85	不整形	99	86	7	赤褐色	図Ⅳ－75	△	＊	＊	＊	
RMGF－9	G2	v-81	不整形	230	140	6	明橙褐色	図Ⅳ－74	○	△	△	△	
RMGF－10	G2	v-82	不整形	30	20	－	灰黄色	図Ⅳ－74		＊			
RMGF－11	G2	v-84	不整形	160	130	9		図Ⅳ－75	○	△	△	＊	
RMGF－12	G3	w-84	不整形	127	73	7	暗赤褐色	図Ⅳ－75	△	＊	＊	＊	
RMGF－13	G1	v-82	楕円形	70	45	－		図Ⅳ－74	△	＊	＊	＊	
RMGF－14	G2	v-82	不整形	238	148	7	淡橙色	図Ⅳ－74	○	△	△	△	
RMGF－15	G2	w-81	ほぼ楕円形	128	79	5	淡赤褐色	図Ⅳ－74	○	＊	＊	＊	
RMGF－16	G1	w-81	ほぼ円形	22	20	－		図Ⅳ－74	＊	＊	＊	＊	
RMGF－17	G2	w-82	不整形	58	28	4	明褐色	図Ⅳ－74	△	＊	＊	＊	
RMGF－18	G2	v-82	楕円形	24	20	1		図Ⅳ－74	＊	＊	＊	＊	
RMGF－19	G2	v-82	円形	28	28	2		図Ⅳ－74	△	＊	＊	＊	
RMGF－20	G2	v-82	不整形	33	28	3	淡橙褐色	図Ⅳ－74	△	＊	＊	＊	
RMGF－21	G2	v-82	不整形	75	42	6	橙褐色	図Ⅳ－74	△	＊	＊	＊	
RMGF－22	G2	v-81	円形	18	18	4	暗橙褐色	図Ⅳ－74	＊	＊	＊	＊	
RMGF－23	G3	v-84	不整形	158	94	6	暗赤褐色	図Ⅳ－75	○	＊	＊	＊	
RMGF－24	G3	v-84	楕円形	36	18	2	明橙褐色	図Ⅳ－75	△	＊	＊	＊	
RMGF－25	G3	v-84	不整形	47	32	1	明黄褐色	図Ⅳ－75	＊	＊		＊	
RMGF－26	G3	v-84	楕円形	20	16	4	淡橙褐色	図Ⅳ－75	＊	＊		＊	
RMGF－27	G3	v-84	ほぼ楕円形	42	33	4	淡橙褐色	図Ⅳ－75	＊	＊	＊	＊	

※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量

表Ⅳ－11　盛土Ｇの焼土出土土器等

焼土番号	Ⅰb-4	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳa	Ⅳb-3	Ⅳb-4	Ⅳc	Ⅳc-1	Ⅳc-0	ミニチュア土製品	焼成粘土塊	合計
RMGF-1							3	4				7
RMGF-2						1	68	6				75
RMGF-8							29	9				38
RMGF-9						1	92	14				107
RMGF-11							84	84				168
RMGF-12							15	12				27
RMGF-14							36	13				49
RMGF-15							50					50
RMGF合計						2	377	142				521

表Ⅳ－12　盛土Ｇの焼土出土石器等

焼土番号	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石斧	たたき石	砥石	台石もしくは石皿	ピエス・エスキーユ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のみられる礫	石核	原石	フレイク	礫	石棒	石製品	合計
RMGF-2	4				1										13	4			22
RMGF-4	1																		1
RMGF-5										1									1
RMGF-9	1										1				13	2			17
RMGF-11	1										2		1	1	5	3			13
RMGF-12					2										2				4
RMGF-14	3				2		1							1	3		1		11
RMGF-15										1									1
RMGF-23	1																		1
合　計	11	0	0	0	5	0	1	0	0	2	3	0	1	2	36	9	1	0	71

ＲＭＧＦ－11　長軸1.6ｍの不整形な大型焼土。南側盛土遺構全体と同じ北東－南西方向に長軸をもっている。明度が非常に高い。遺物は多量に含まれており、石鏃・石核・原石なども出土している。自然遺物は比較的少ない。

ＲＭＧＦ－14　長軸２ｍを超える大型の焼土。淡橙色の淡い色調となっている。均質的で境界がはっきりしている。ただし北側では色調が乱れており、土壌が流れたような状態である。遺物は規模に相当する割合で土器・石器・自然遺物がやや多く出土している。土器は焼土内でまとまって接合する土器がある。石器では石鏃・石斧・砥石片が出土している。いずれも焼土に直接かかわるかは不明である。

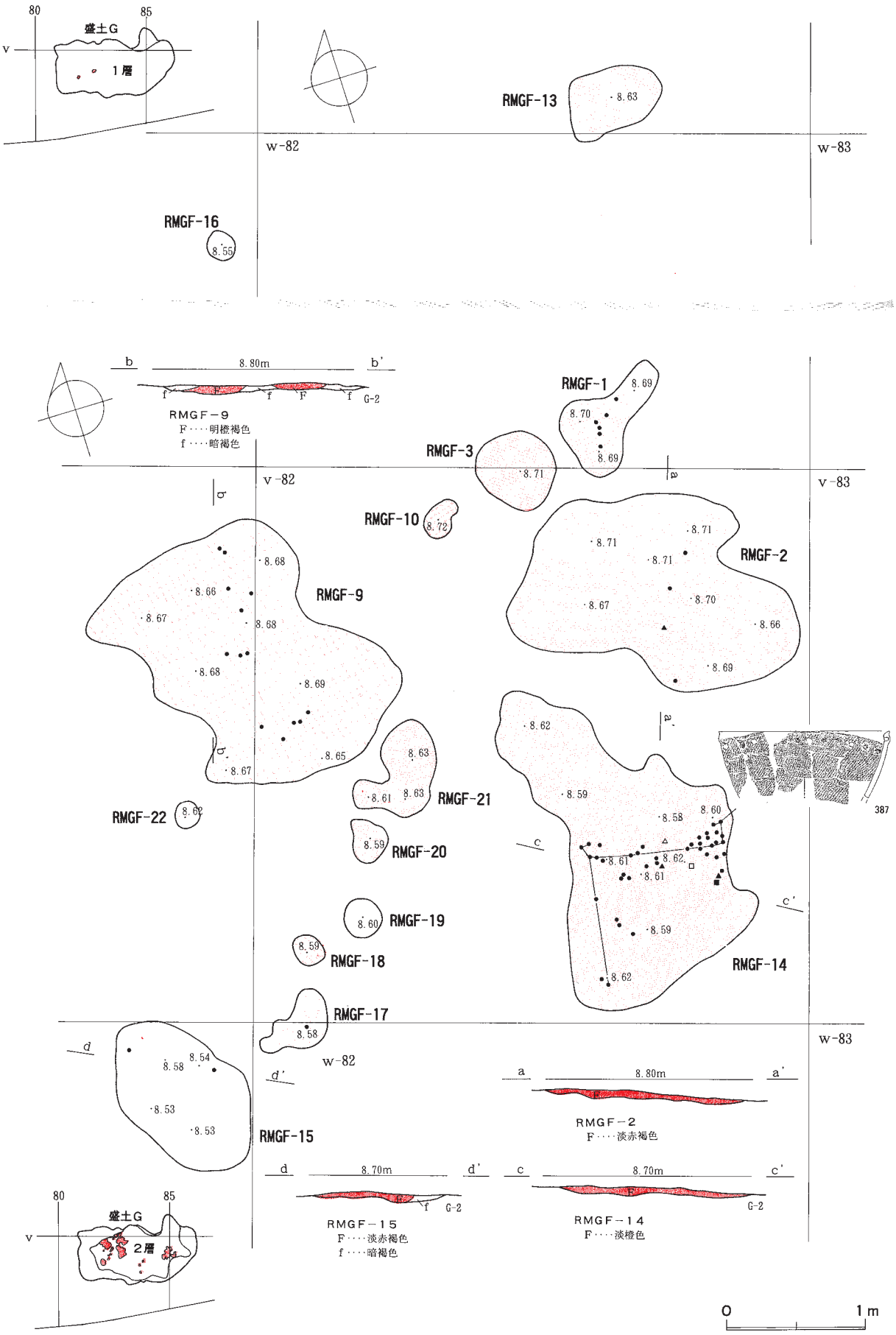
ＲＭＧＦ－15　長軸1.2ｍほどのやや大型の焼土。赤褐色だが淡い色調となっている。北側に明度の高い部分が偏って分布している。規模の割に遺物は少ない。

【盛土Ｇ－３層の焼土】（図Ⅳ－75）

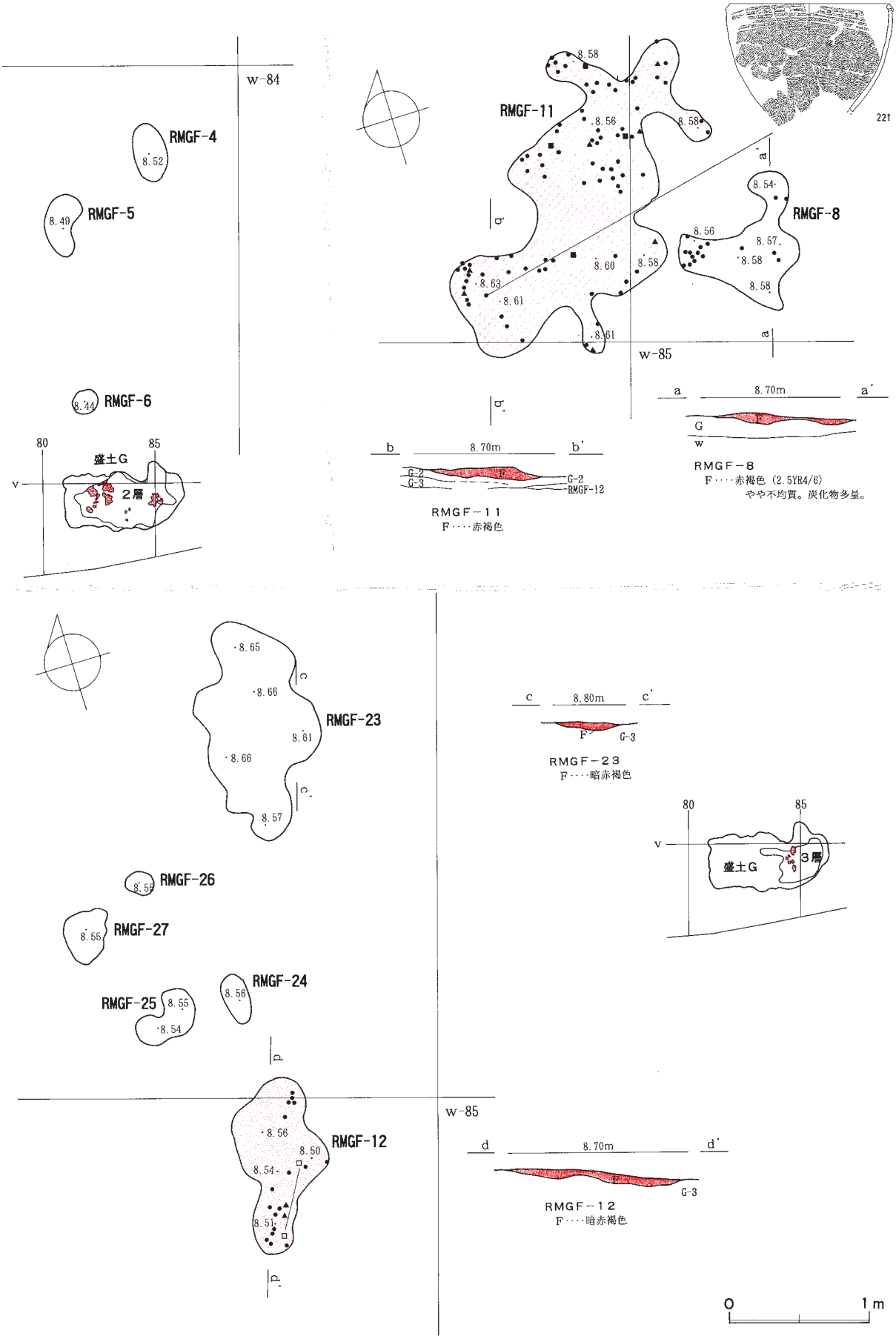
ｖ－84区付近に南北に列をなして分布している。

ＲＭＧＦ－12　長軸1.2ｍほどのやや大型の焼土。やや明度が落ちるが、均質的で境界がはっきりしている。石斧が出土しており、焼土内で接合する。

ＲＭＧＦ－23　長軸1.6ｍほどの大型の焼土。赤褐色だが不均質で、多数の焼成箇所が集合したものとみられる。



図Ⅳ－74　盛土Ｇの焼土（１）

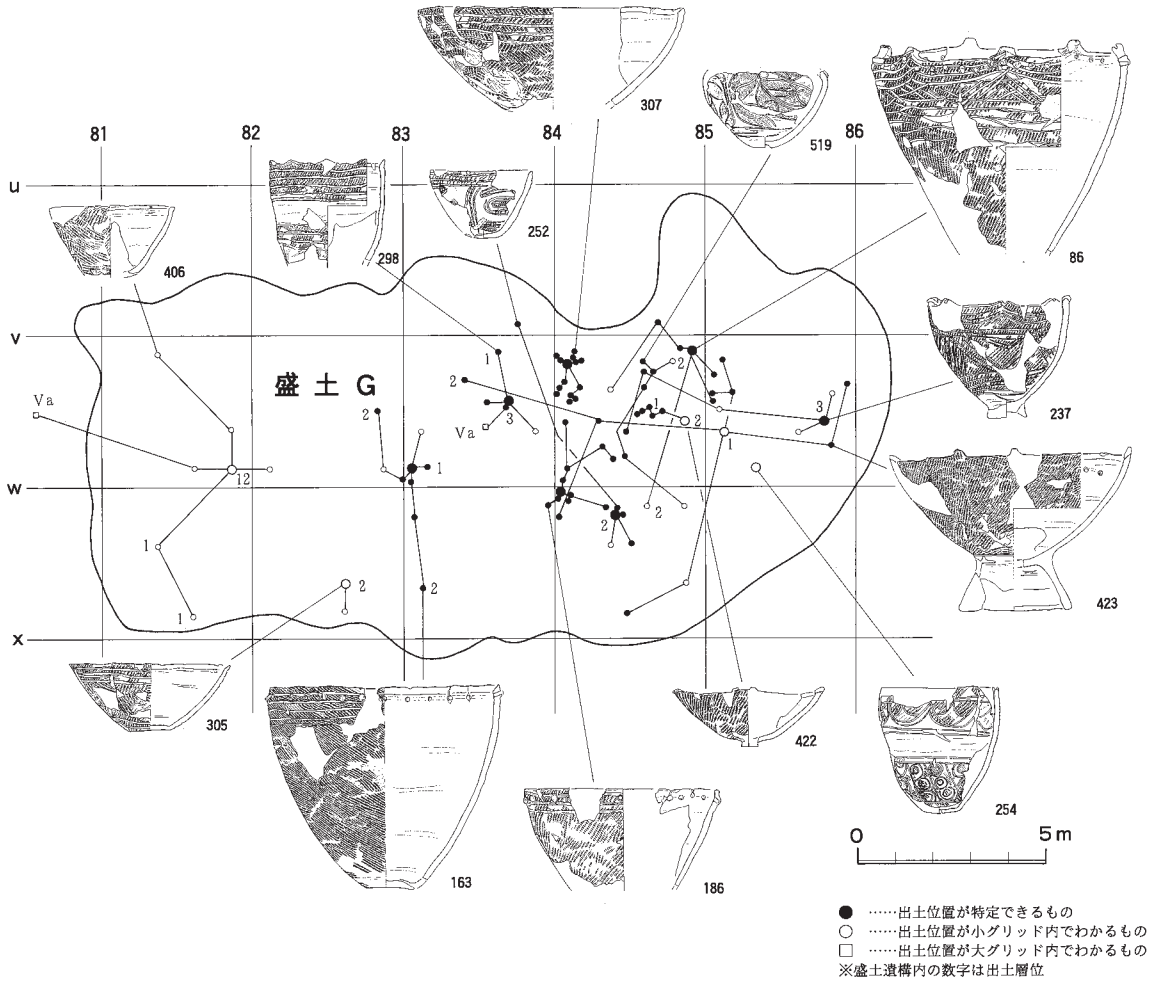


図Ⅳ－75　盛土Ｇの焼土（２）

ｄ．遺物出土状況

盛土Ｇの遺物総数は105,777点で、土器等88,620点（うち土製品271点）、石器・礫等17,157点（うち石製品66点）、そのほか炭化材や骨片、赤色顔料塊などの自然遺物も、土壌水洗のほか手取りでも多量に回収できた。土器は主体時期である縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたる土器が圧倒的に多く、99.2％を占め、盛土Ｄ・Ｅと近い数値になっている。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は１：52で、Ⅳ群ｃ－１類の占める割合が非常に高い。土製品は焼成粘土塊が252点と多く出土している。また扁平楕円形の小型の垂飾・スタンプ形土製品などが出土している。石器・礫等では、フレイクチップが90.9％を占め圧倒的に多い。定形的石器では石鏃が50％を超えているが、盛土Ｄ・Ｅなどと比べると少ない割合になっている。以下スクレイパー・石斧・砥石が続いている（Ⅸ章）。石製品は異形石器がやや多く出土している。

層位別では、盛土Ｇ－１層が43,430点、Ｇ－２層が47,373点、Ｇ－３層が4,029点、Ｇ－11層とした部分的な層が1,223点、同じくＧ－12層が5,037点、残りが焼土やトレンチ分で、Ｇ－１・２層が特に多く出土している。土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－77・78に層位別に示した。これらは各層位の層厚と比較しなければならない。盛土Ｇ－１層の土器分布は全体的に西側と北側に偏っているが、濃淡はあるにせよ層厚をおおむねそのまま表している。しかし、フレイクチップの分布の濃淡は土器のそれとやや異なっている様子がうかがえる。他の層位でも層厚に比べて密度の高低が目立つ部分がある。たとえば盛土Ｇ－２層の84ラインの一部に黒曜石フレイクおよび泥岩フレイクが多量に出土



図Ⅳ－76　盛土Ｇ復元土器接合図

する小グリッドがあったりする（ｕ－84-16・ｖ－84-５ほか)。これらのデータは現地調査の過程では捉えられなかった事象であり、土壌や遺物の廃棄行為の多様さの一部を示すものである。

遺物集中

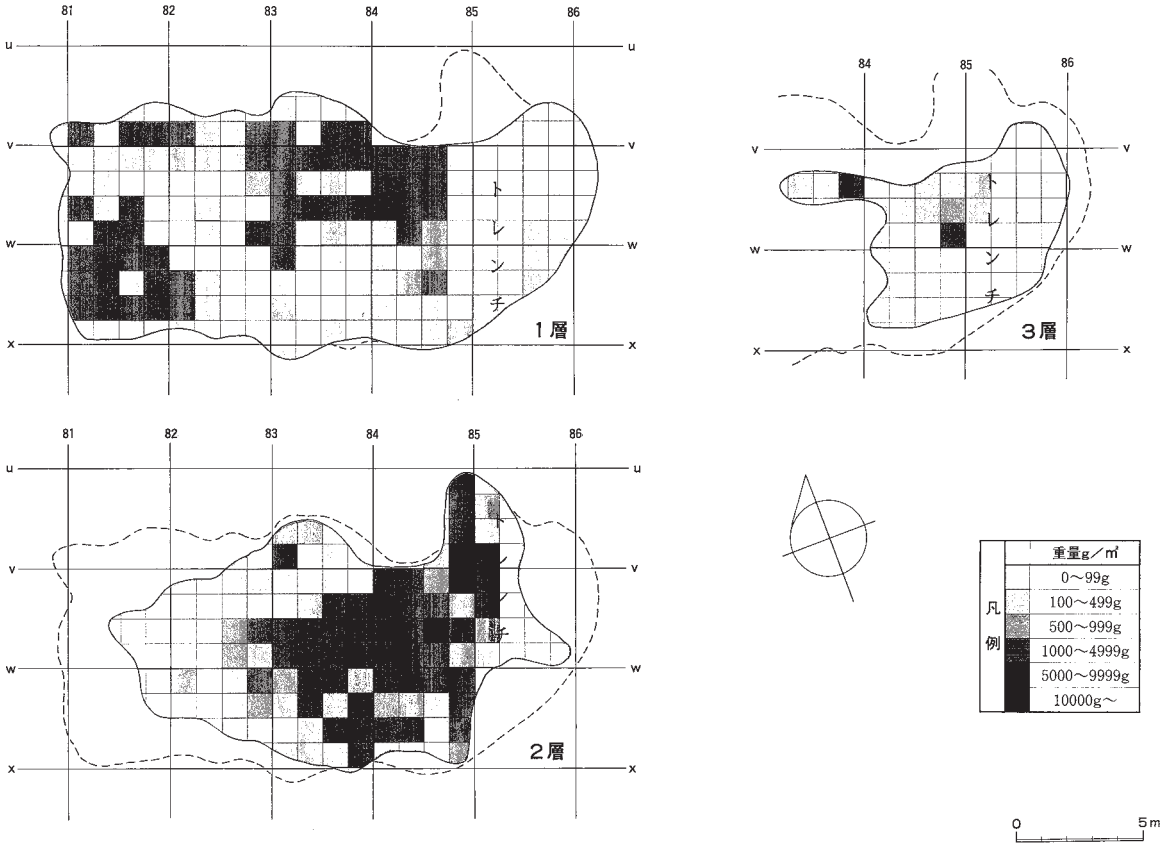
盛土Ｇからは、規模相当量の土量があるにもかかわらず、まとまりをもって出土する遺物がほとんどなかった。

遺物の接合状況

遺物の接合状況について、特に復元土器のデータについて図示した（図Ⅳ－76)。盛土Ｇ－１層や２層を主体として、いくらか上下の層にまたがってある程度の広がりをもって接合する傾向にある。まとまって出土するものは乏しい。盛土間をまたぐ接合は、35ｍほど離れた盛土Ａとの間で１個体ある（盛土Ａ・図Ⅳ－12)。

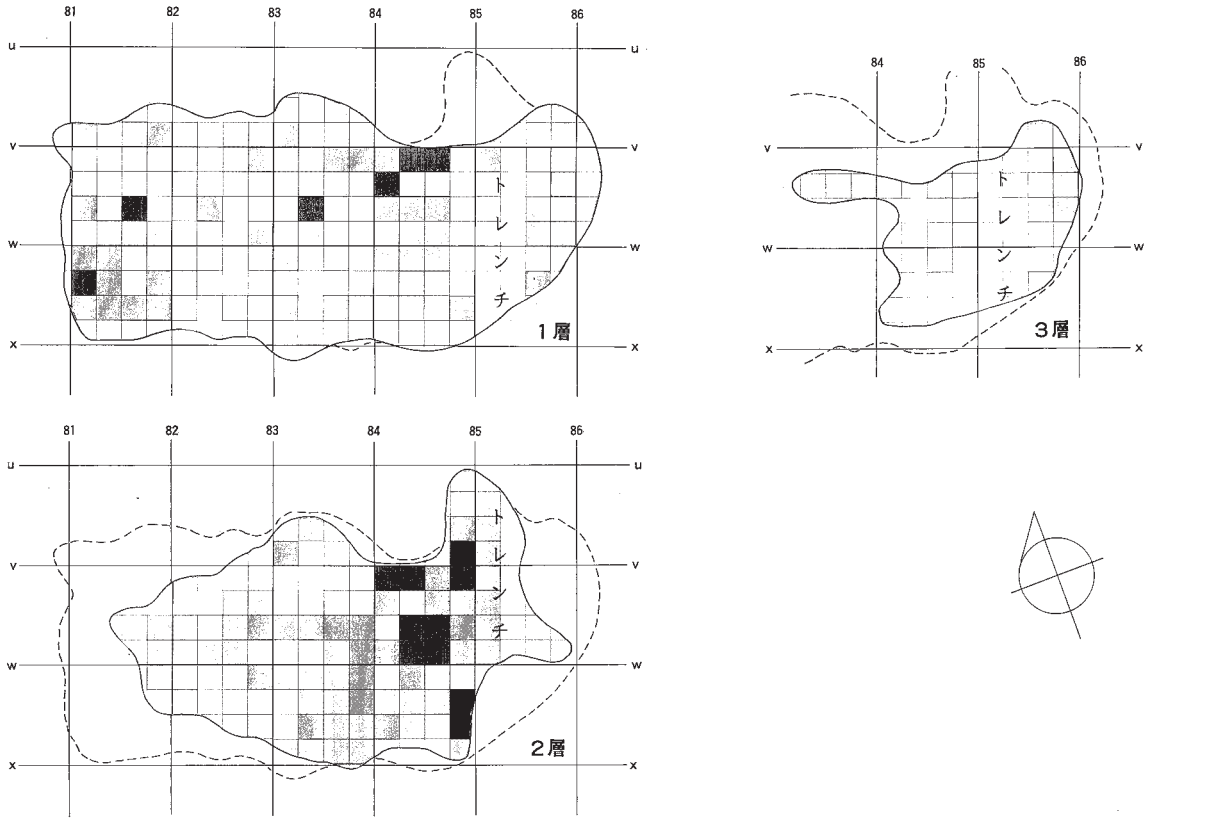
石器は盛土Ｇ内での接合のほか、比較的距離の長い間での接合例も複数見られ、南側盛土全体の長軸と同じ北東－南西の間で接合する傾向にある。盛土Ｄと接合する石斧・盛土Ｙと接合するたたき石の例を示した（Ⅴ章・図Ⅴ－206)。

盛土Ｇ－土器

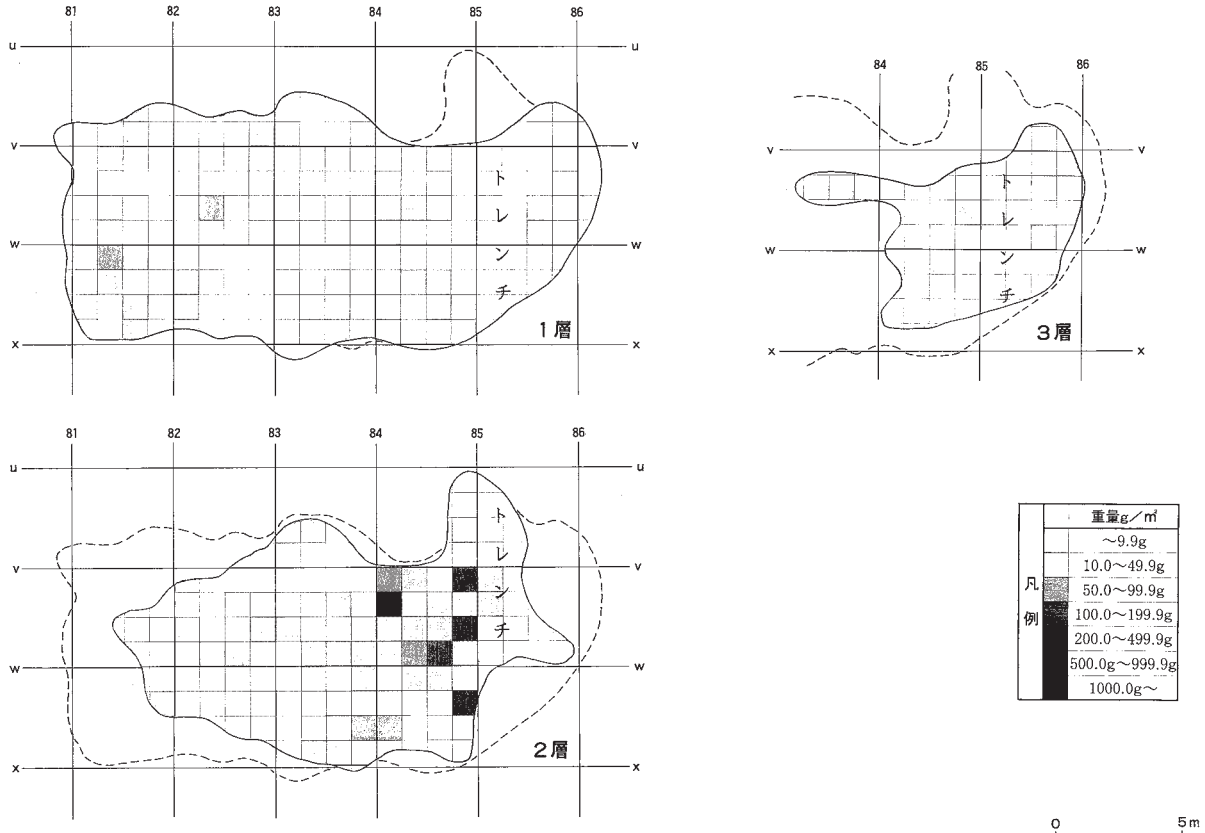


図Ⅳ－77　盛土Ｇ土器等重量分布図

盛土Ｇ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（黒曜石）

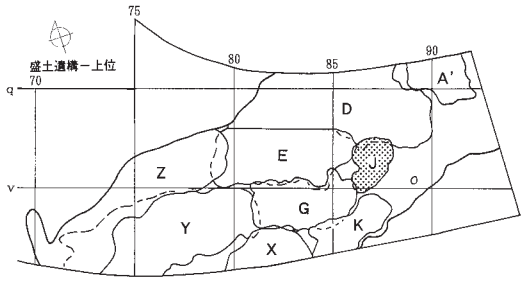


盛土Ｇ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（泥岩）



図Ⅳ－78　盛土Ｇフレイクチップ重量分布図

（５）盛土Ｊ



図Ⅳ－79　盛土Ｊ位置図

ａ．概要

規模　11.8m×8.2m／
最大層厚　0.10m
推定土量　約2.5㎥

確認・調査　調査区東部、盛土Ｄと盛土Ｋの間に双楕円形に広がる。盛土上面はほぼ平坦で、盛土遺構－上位の中では色調がやや暗い。長軸方向及び北側の南北方向にトレンチを設定して調査した。南側は試掘調査坑（Ｂ調査坑）の断面を参考にした。全体的に薄い堆積層で厚さに大きな変化はないが、北側と南側にそれぞれ層厚を増すところがある。ただし、南側は全体的に窪んでいる。盛土Ｅや盛土Ｋとは重複関係はないが、盛土Ｊ－１層の上に盛土Ｄ－３層が一部かかっている状況が確認できた。

焼土は、小規模なものを７ヵ所確認した。また、遺物集中は確認できなかった。

この盛土ブロックは、土を盛ったというよりは、盛土遺構－下位が形成された後の浅い窪地に土を入れた、あるいはたまった状態（盛土Ｊ－２層）で、その後盛土Ｄ側からさらに土が堆積した（盛土Ｊ－１層）ものと考えられる。

ｂ．土層

盛土Ｊ－１層　黒褐色土。やや粘性が強く、軽石等の混入はやや少ない。盛土Ｊの北部に楕円形に堆積する。焼土等は確認できなかった。

盛土Ｊ－２層　暗褐色粘質土。粘性が強く、泥炭質で植物の繊維質がやや多く見られる。盛土Ｊの南部に楕円形に堆積する。２層中央部、Ｂ調査坑を中心として若干落ち込んでいる。盛土Ｊの７ヵ所の焼土はすべて２層で確認できた。また、これ以外にも土とともに廃棄されたとみられるブロック状の焼土粒が散在している。

ｃ．盛土Ｊの焼土

全体的に小規模で、明度はやや高いが水分により還元され若干脱色しているものが多い。
遺物はほとんど含まれていない。以下に各焼土の特徴と所見を記す。

ＲＭＪＦ－１　不整形で、断面でも明度に偏りが見られる。数ヵ所の小規模な焼成箇所がつながったものと考えられる。

ＲＭＪＦ－２　ＲＭＪＦ－１と同様の焼土。

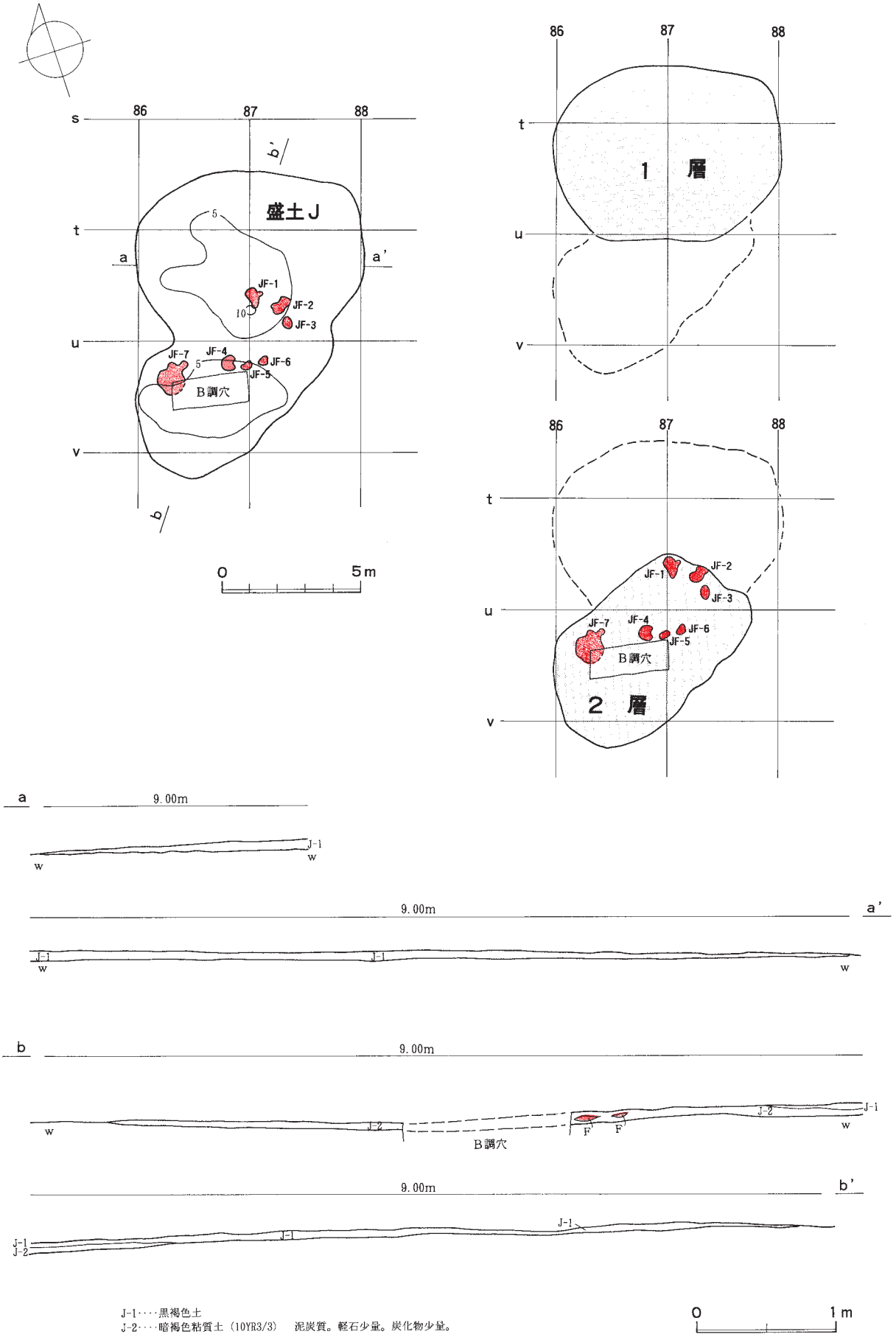
ＲＭＪＦ－３　やや北側に偏りが見られるものの、比較的均質な小型の焼土。その場で焼成されたものとみられる。

ＲＭＪＦ－４　南北に２ヵ所の焼成箇所をもつが、境界はあまり明瞭でない。

ＲＭＪＦ－５　不均質で、軽石や暗褐色土がめだっている。焼成後に土壌の移動があるものとみられる。

ＲＭＪＦ－６　小規模で薄い。

ＲＭＪＦ－７　やや大型の焼土だが、薄い。中央部から周辺部にかけて色調等の変化が見られない。焼成後に土壌が広がったものと考えられる。



J-1‥‥黒褐色土
J-2‥‥暗褐色粘質土（10YR3/3）　泥炭質。軽石少量。炭化物少量。

図Ⅳ－80　盛土Ｊ層厚図および土層断面図

表Ⅳ－13　盛土Ｊの焼土一覧

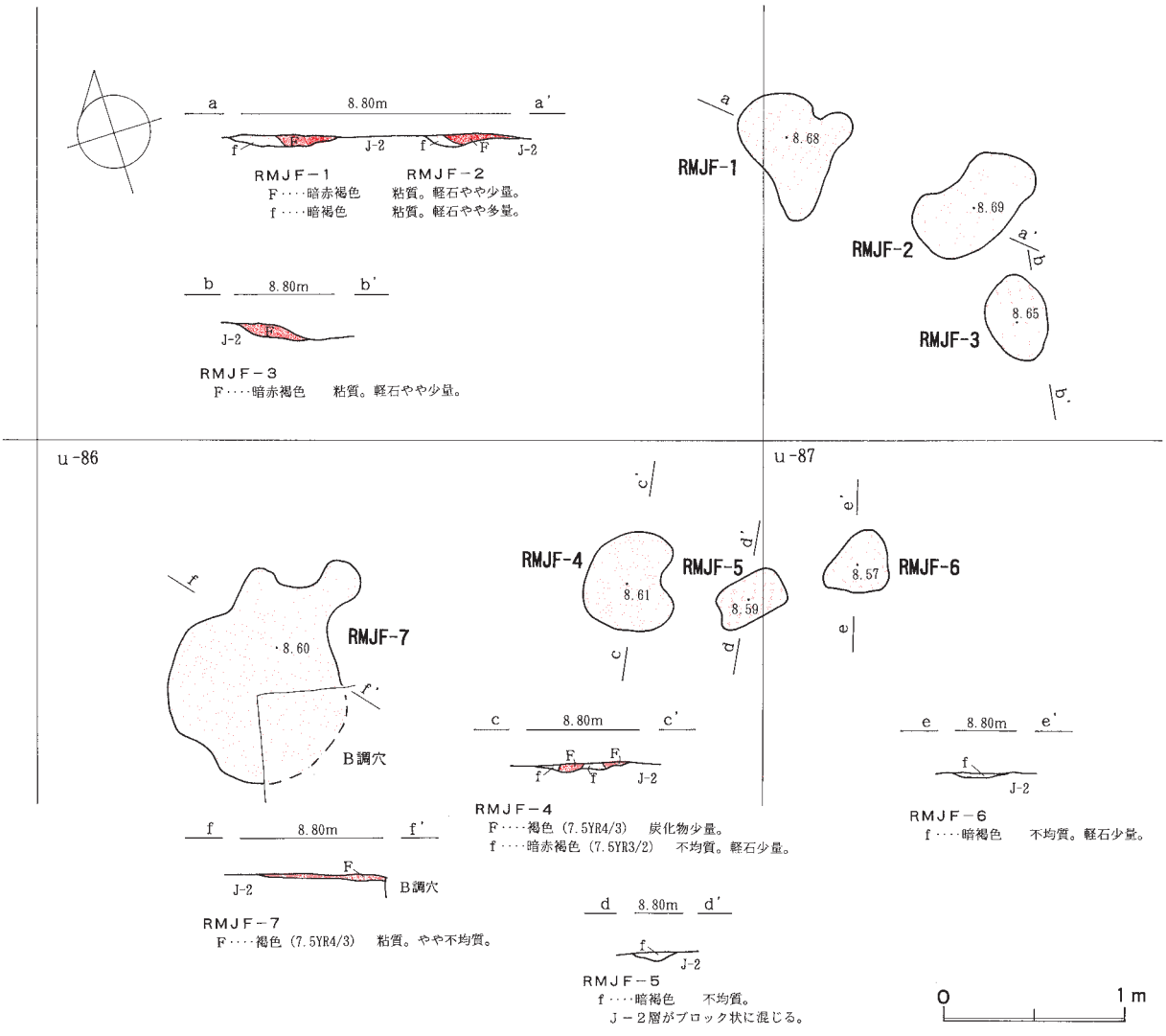
焼土番号	被熱層	中心位置（発掘区）	平面形	規模(cm) 長軸	短軸	層厚	色調	図版番号	遺物 土器	石器	礫	骨片	備考
RMJF－1	J2	t-87	不整形	76	60	6	暗赤褐色	図Ⅳ－81	△	＊	＊	＊	
RMJF－2	J2	t-87	ほぼ楕円形	72	38	7	暗赤褐色	図Ⅳ－81	△	＊	＊	＊	
RMJF－3	J2	t-87	楕円形	48	33	7	暗赤褐色	図Ⅳ－81	△	＊	＊	＊	
RMJF－4	J2	u-86	不整形	56	50	4	褐色	図Ⅳ－81	△	＊	＊	＊	
RMJF－5	J2	u-86	ほぼ楕円形	40	24	5	暗褐色	図Ⅳ－81	△	＊	＊	＊	
RMJF－6	J2	u-87	ほぼ楕円形	38	32	2	暗褐色	図Ⅳ－81	△	＊	△	＊	
RMJF－7	J2	u-86	不整形	132	102	3	褐色	図Ⅳ－81	△	＊	＊	＊	

※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量

表Ⅳ－14　盛土Ｊの焼土出土石器等

（フローテーションで得られたフレイクは含まない）

焼土番号	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石斧	たたき石	砥石	台石もしくは石皿	ピエス・エスキーユ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のみられる礫	石核	原石	フレイク	礫	石棒	石製品	合計
RMJF-4		1																	1
RMJF-7	1									1									2
合　計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3



図Ⅳ－81　盛土Ｊの焼土

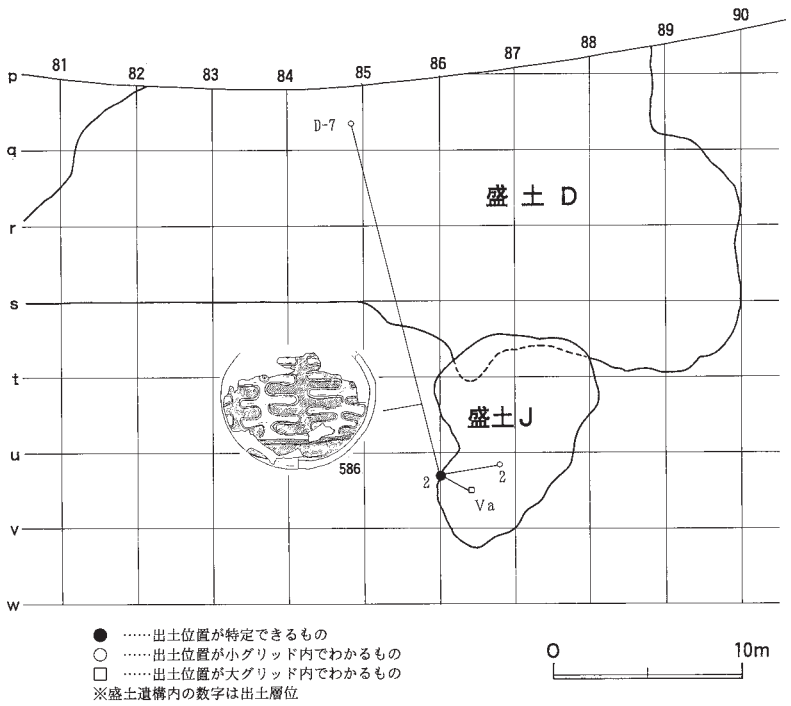
ｄ．盛土Ｊの遺物出土状況

盛土Ｊの遺物総数は11,459点で、土器等9,882点（うち土製品９点）、石器･礫等1,577点（うち石製品４点）、そのほか炭化材や骨片などの自然遺物が土壌水洗で回収できた。土器は主体時期である縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたる土器が圧倒的に多く、99.6％を占める。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は１：19で、Ⅳ群ｃ－１類の占める割合が高いものの、盛土遺構上位のブロックではⅣ群ｂ－４類が高い割合になっている。土製品は焼成粘土塊８点が出土している。石器・礫等では、フレイクチップが87.8％を占め多い。定形的石器では石鏃が50％を超えているが、盛土Ｄ・Ｅなどと比べると少ない割合になっている。以下石斧・スクレイパー・たたき石が続いており、他の盛土とは若干割合が異なっている（Ⅸ章）。もっとも、これらのデータは盛土Ｊの遺物総数が少ないことを考えると単純には比較できない。石製品は異形石器２点などが出土している。
層位別では、盛土Ｊ－１層が6796点、Ｊ－２層が4,650点となっている。土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－83に層位別に示した。盛土Ｊ－１層の遺物分布は全体的に均一的だが、盛土Ｊ－２層では遺物分布の偏りが目立つ部分がある。

遺物の接合状況

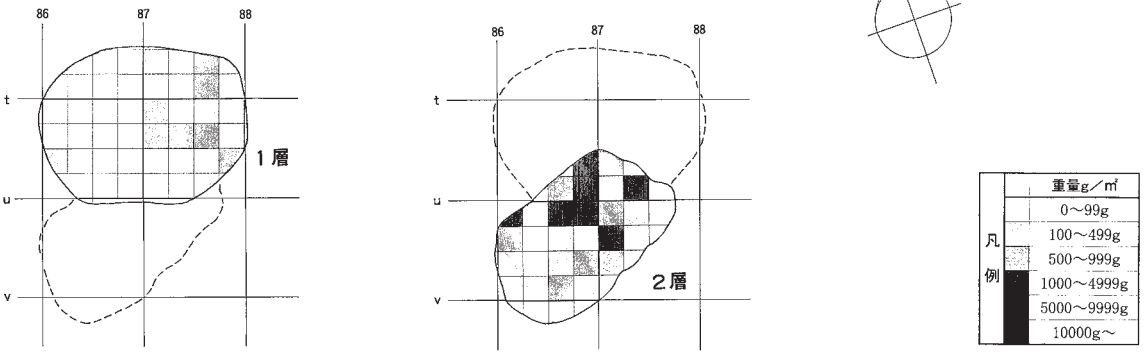
復元土器１個体のデータについて図示した（図Ⅳ－82）。Ⅳ群ｃ－１類でも新しい段階あるいはⅣ群ｃ－２類に属する注口土器で、盛土Ｊ－２層を主体として盛土間をまたいで接合している。盛土Ｊと盛土Ｄの双方とも下位の層準である。

石器では盛土Ｊ内での接合にとどまり、礫石器や石製品では盛土間をまたいで接合したものはなかった。

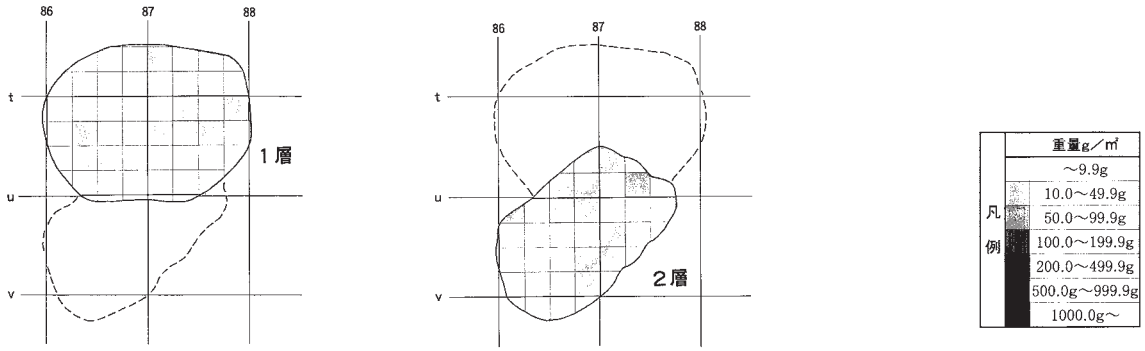


図Ⅳ－82　盛土Ｊ復元土器接合図

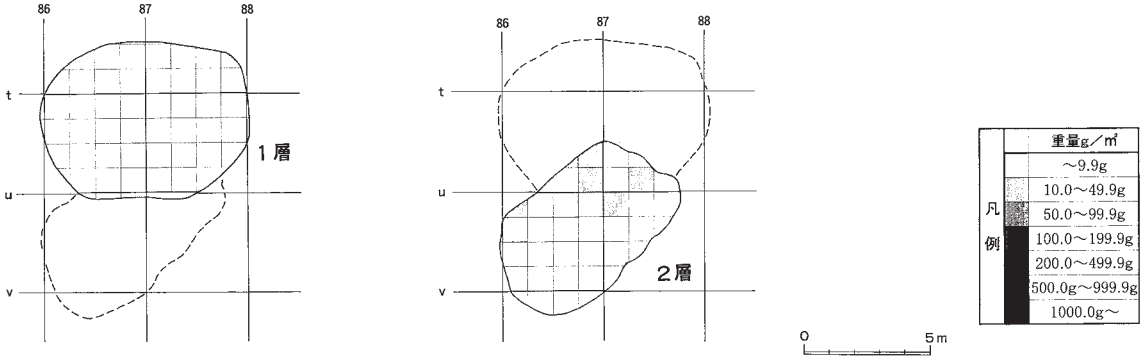
盛土Ｊ－土器



盛土Ｊ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（黒曜石）



盛土Ｊ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（泥岩）

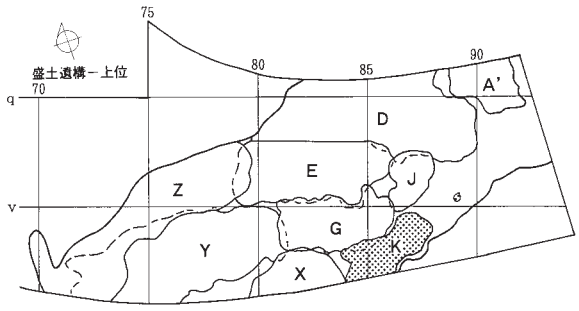


図Ⅳ－83　盛土Ｊ土器等フレイクチップ重量分布図

（6）盛土K

a．概要

規模　28.5m×9.3m／
最大層厚　0.16m
推定土量　約4.2㎥



図Ⅳ－84　盛土K位置図

確認・調査　調査区の中央東寄り、盛土遺構の南東縁に位置し、北東から南西に細長く広がっている。盛土上面はほぼ平坦で、全体的に色調がやや明るいが、周辺部および北東部は暗い。そのため、北東部はｕ－89区の一部を盛土Kの範囲としたほかは、盛土Wの上に盛土Kの土壌が散在する部分として範囲を点線で示した（図Ⅳ－85右上）。また、調査区外の南側にも広がっているとみられるが、範囲はそれほど広がらないと思われる。85ラインのメインセクションで土層を確認の上、長軸方向及び短軸方向にトレンチを設定して調査した。全体的に薄い堆積層であるが、中央部ｗ－87区および南西側ｘ－85区を中心に層厚を増しており、特に南西側は盛り上がっている。盛土Jや盛土Xとは隣接しているが、重複関係はない。盛土G－2・3層の上に盛土K－1層が一部かかっている状況が確認できた。ただし、その境界は非常に不明瞭である。
焼土は、小規模なものを2ヵ所確認した。また、遺物集中は確認できなかった。

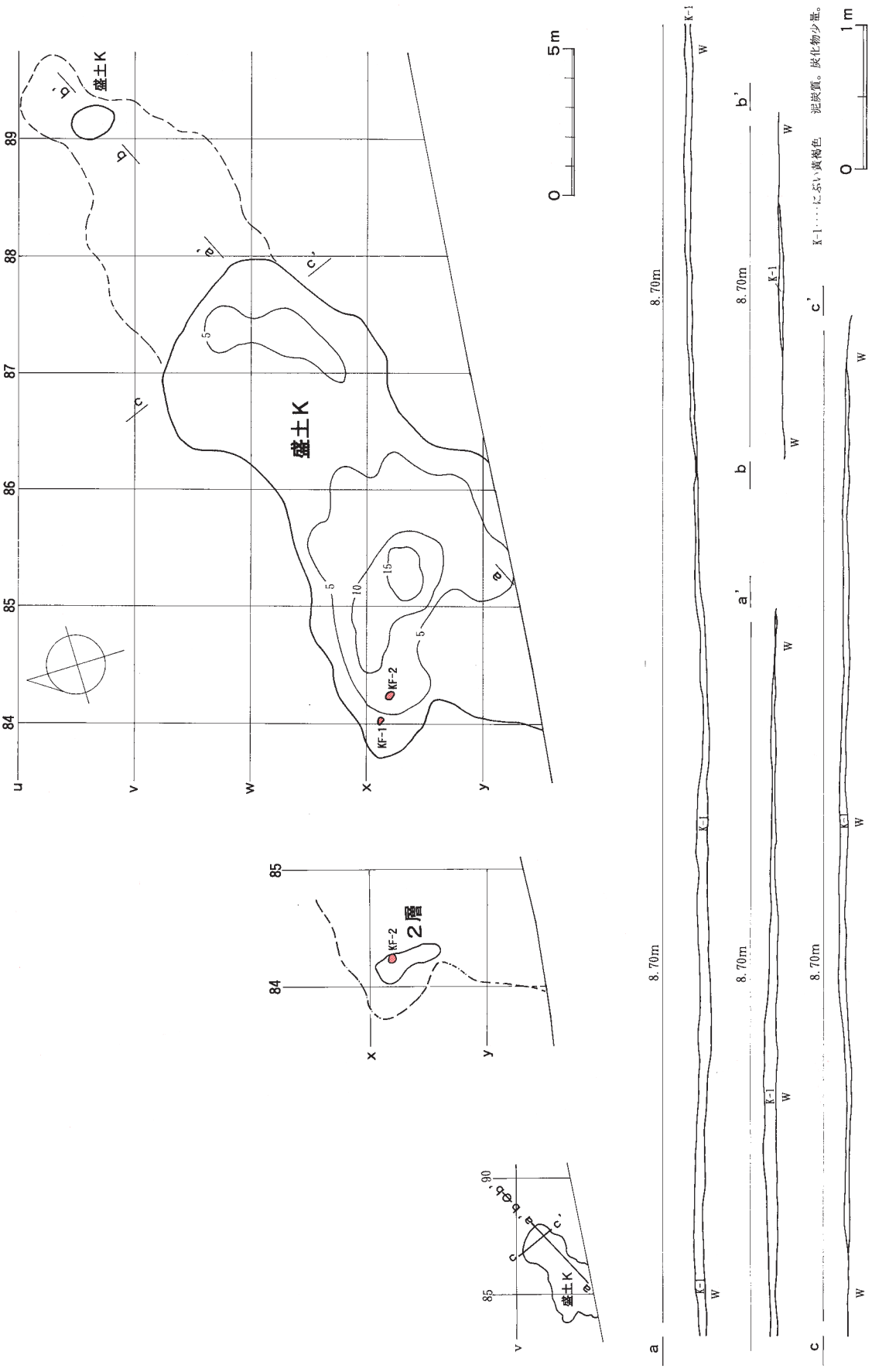
この盛土ブロックは、南側盛土の大部分が形成される中で、比較的新しい段階で縁辺部に排土されて形成されたものと考えられる。

b．土層

盛土K－1層　黒褐色土。やや粘性が強く、軽石等の混入はやや少ない。泥炭質で植物の繊維質がやや多く見られる。盛土Kの全域に堆積する。南西部ｘ－85区で最大層厚16㎝を測る。焼土は1ヵ所確認できた。また、これ以外にも土とともに廃棄されたとみられるブロック状の焼土粒が散在している。
盛土K－2層　暗褐色粘質土。粘性が強く、泥炭質で植物の繊維質がやや多く見られる。盛土Kの南西部のごく一部（ｘ－84区）に長楕円形に堆積する。層厚は5㎝にも満たない。焼土は1ヵ所確認できた。

c．盛土Kの焼土

小規模で、明度はやや高いが水分により還元され若干脱色している。遺物はほとんど含まれていない。以下に各焼土の特徴と所見を記す。
RMKF－1　不整形で、断面でも明度に偏りが見られる。小型ながら、数ヵ所の小規模な焼成箇所がつながったものと考えられる。遺物は手取りで土器が8点ほど出土している。いずれもⅣ群ｃ－1類堂林式に属する。
RMKF－2　RMKF－1と同様で、断面でも明度に偏りが見られる。やはり数ヵ所の小規模な焼成箇所がつながったものと考えられる。遺物は手取りで土器がわずかに1点、フレイク・礫が少量出土している。



図Ⅳ－85　盛土Ｋ層厚図および土層断面図

表Ⅳ－15　盛土Ｋの焼土一覧

焼土番号	被熱層	中心位置（発掘区）	平面形	規模（cm）			色調	図版番号	遺物				備考
				長軸	短軸	層厚			土器	石器	礫	骨片	
RMKF－1	K1	x-84	楕円形	23	18	3	暗赤褐色	図Ⅳ－86	＊	＊	＊	＊	
RMKF－2	K2	x-84	楕円形	40	26	4	暗赤褐色	図Ⅳ－86	＊	＊	＊	＊	

※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量

表Ⅳ－16　盛土Ｋの焼土出土土器等

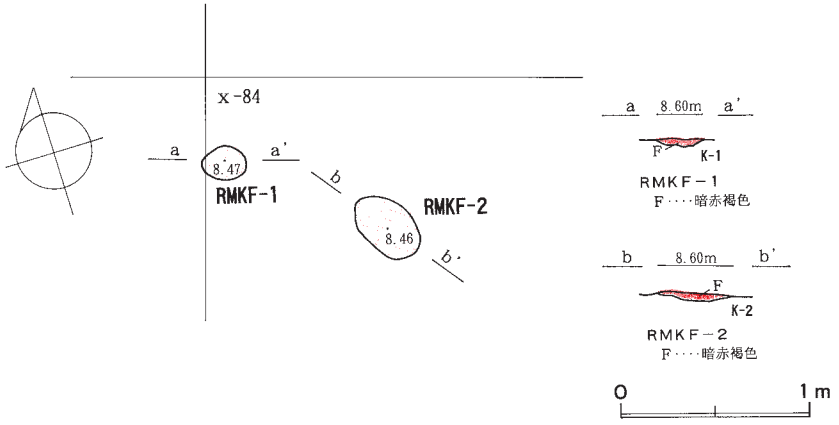
（フローテーションで得られた砕片は含まない）

焼土番号	Ⅰb-4	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳa	Ⅳb-3	Ⅳb-4	Ⅳc	Ⅳc-1	Ⅳc-0	ミニチュア	土製品	焼成粘土塊	合計
RMKF-1							4	4					8
RMKF-2							1						1
RMKF合計							5	4					9

表Ⅳ－17　盛土Ｋの焼土出土石器等

（フローテーションで得られたフレイクは含まない）

焼土番号	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石斧	たたき石	砥石	台石もしくは石皿	ピエス・エスキーユ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のみられる礫	石核	原石	フレイク	礫	石棒	石製品	合計
RMKF-2															1	2			3
合　計															1	2	0	0	3



図Ⅳ－86　盛土Ｋの焼土

d．盛土Ｋの遺物出土状況

盛土Ｋの遺物総数は10,390点で、土器等8,604点（うち土製品10点）、石器・礫等1,786点（うち石製品４点）、そのほか炭化材や骨片などの自然遺物が土壌水洗で回収できた。土器は主体時期である縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたる土器が圧倒的に多く、99.7%を占める。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は１：49で、Ⅳ群ｃ－１類の占める割合が高い。土製品は焼成粘土塊９点が出土している。石器・礫等では、フレイクチップが87.7%を占め盛土Ｊと同様の割合になっている。定形的石器では石鏃が50%近くに達しているが、盛土ブロックの中では最も少ない割合になっている。またスクレイパーが２割を超え目立っている。以下石錐・砥石が続いている（Ⅸ章）。もっとも、これらのデータは盛土Ｋの遺物総数が少ないことを考えると単純には比較できない。石製品は異形石器３点などが出土している。

層位別では、盛土Ｋ－１層が8,944点、Ｋ－２層が86点となっており、残りが焼土・トレンチ分である。Ｋ－２層がわずかな範囲のため少ない。土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－88に層位別に示した。盛土Ｋ－１層の遺物分布は、おおむね層厚をそのまま反映する結果となった。

ただし土器・泥岩フレイクの一部に層厚の割に非常に遺物量の多い小グリッドが見られる（ｘ－83-４・ｘ－84-10など）。離れて分布する東側の遺物分布は図示していない。また、盛土Ｋ－２層は範囲が狭く、図示が困難であった。

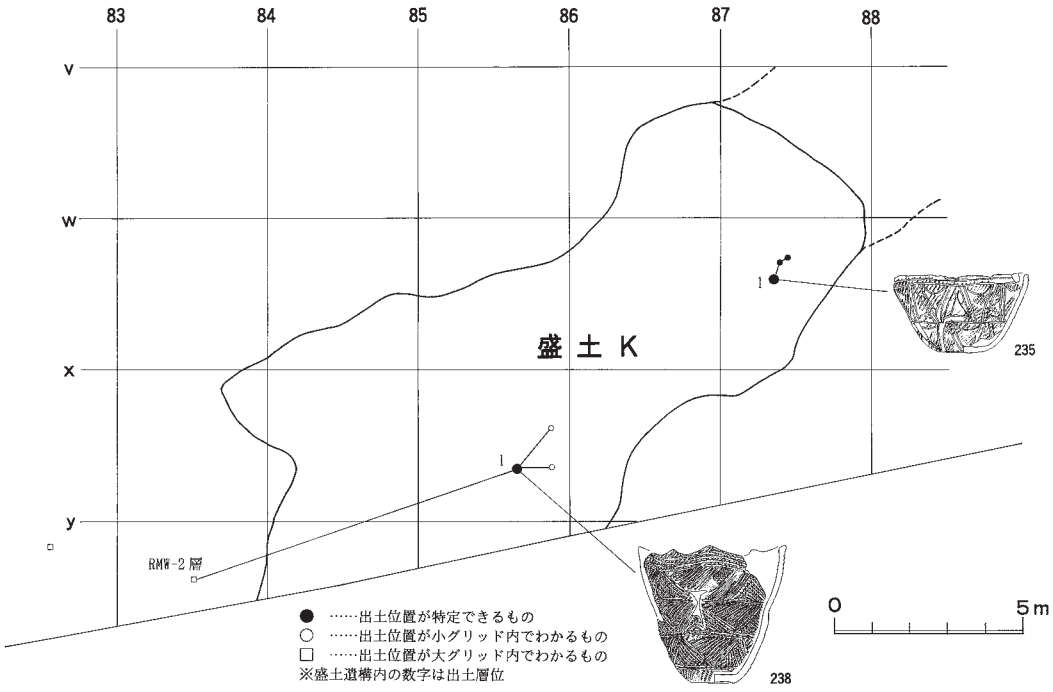
遺物集中

盛土Ｋではトレンチ調査の際に一部集中して出土した土器が見られたが、それ以外にまとまって出土する遺物は確認できなかった。

遺物の接合状況

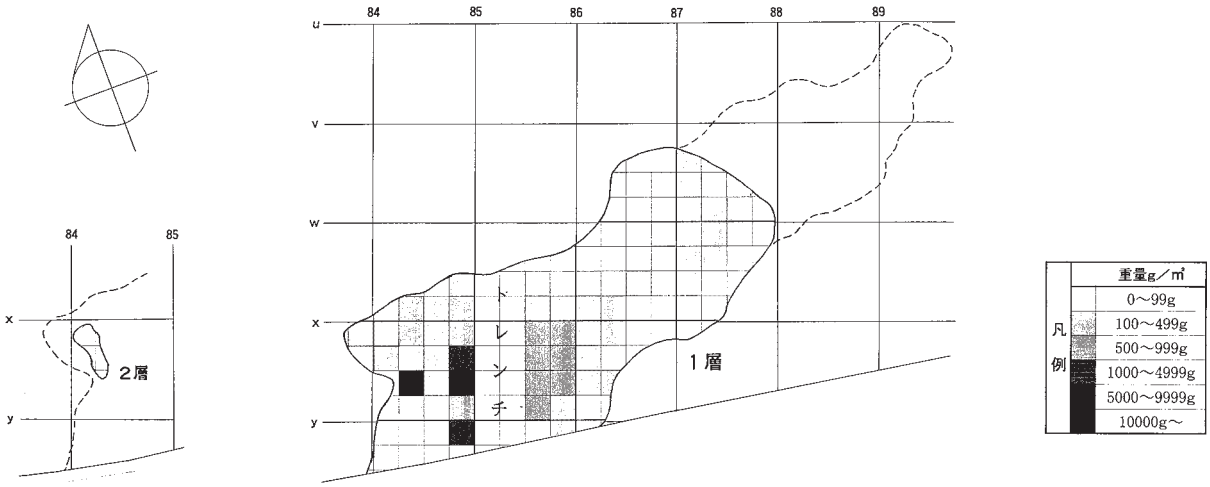
復元土器２個体のデータについて図示した（図Ⅳ－82）。沈線で鋸歯状や弧線文を密に描いた土器でⅣ群ｃ－１類真っ只中の土器である。235の土器は狭い範囲で収束している。238の土器は半分も復元できなかったが、盛土Ｋ－１層を主体として、９ｍほど離れて盛土Ｘの下位の盛土Ｗ－２層のものと接合している。

石器では盛土Ｋ内での接合にとどまり、礫石器や石製品では盛土間をまたいで接合したものはなかった。

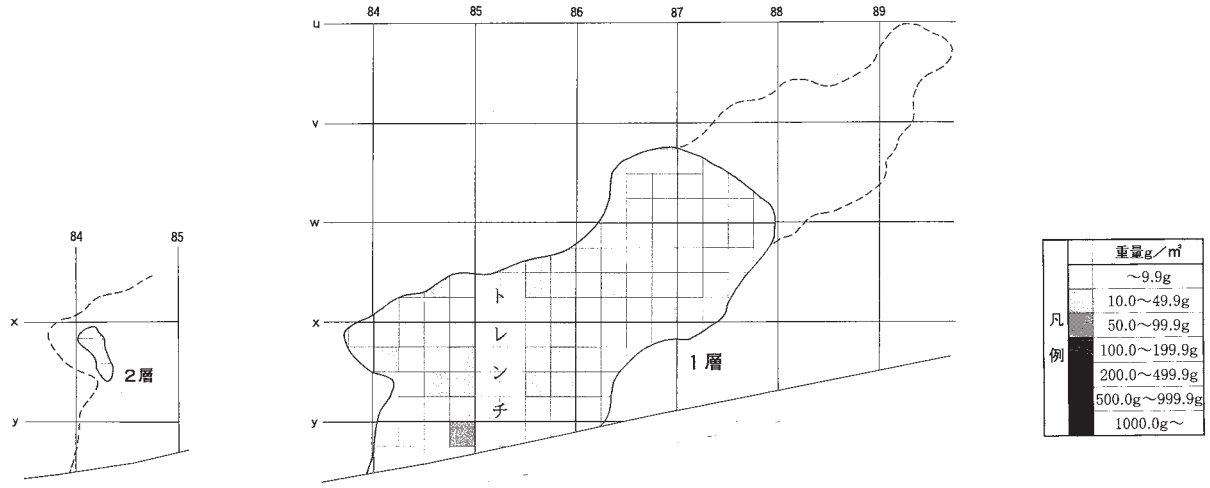


図Ⅳ－87　盛土Ｋ復元土器接合図

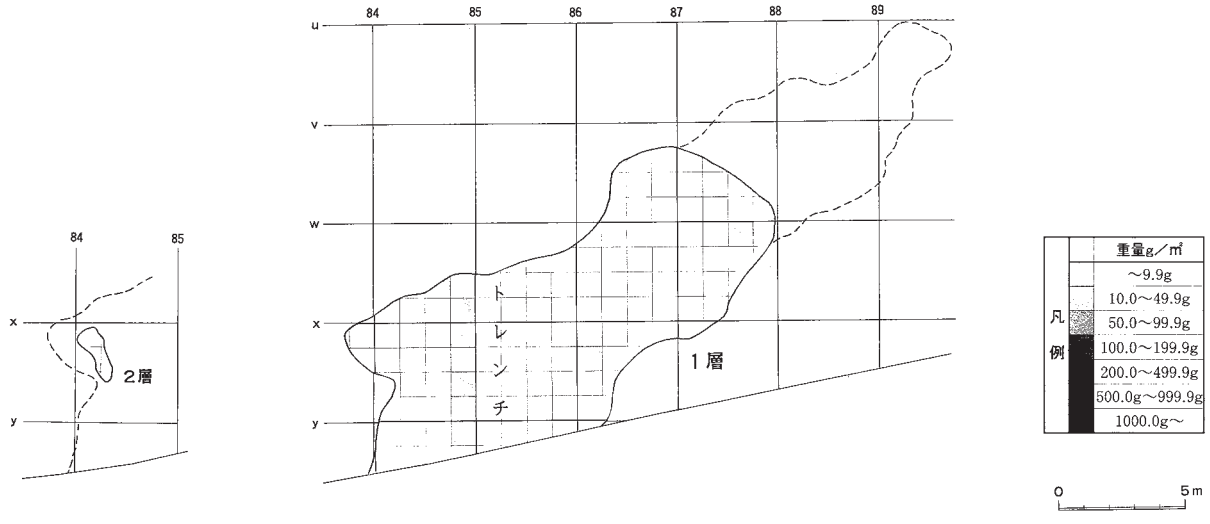
盛土Ｋ－土器



盛土Ｋ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（黒曜石）



盛土Ｋ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（泥岩）

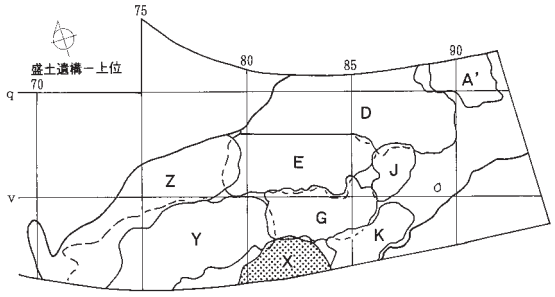


図Ⅳ－88　盛土Ｋ土器等フレイクチップ重量分布図

（７）盛土Ｘ

ａ．概要

規模　18.0ｍ×7.9ｍ／
最大層厚　0.08ｍ
推定土量　約3.3㎥



図Ⅳ－89　盛土Ｘ位置図

盛土Ｘは、調査区の中央部南端付近に広がる。南側は調査区外に広がっている。標高8.3ｍ～8.0ｍのほぼ平坦地の上に形成されている。周辺には、北西から東側に盛土Ｙ、盛土Ｇ、盛土Ｋが近接して広がっている。これらの盛土とは一部重複する部分も見られるが明瞭な新旧関係は把握できなかった。

確認・調査　Ｖａ層の下でわずかな高まりと暗茶灰色土の広がりが検出された。調査は各グリットを１メッシュで16分割し、１層から５㎝ほどづつ掘り下げた。遺物の取り上げは、大型土器破片・土器の口縁部、定形的な石器、土製品・石製品はトータルステーションを用いて、他は１ｍメッシュ単位で取り上げ、微細遺物が含まれる盛土の土壌はすべて土嚢袋で回収した。

ｘ－81・82、ｙ－81・82付近には黄色土を多く含む茶灰色土が見られた。この周辺には暗茶灰色土が広がり、いくつかの小トレンチによって、茶灰色土が暗茶灰色土の上に堆積していることを確認したことから、茶灰色土を盛土Ｘ－１層、暗茶灰色土を盛土Ｘ－２層として調査を行った。

ｂ．土層

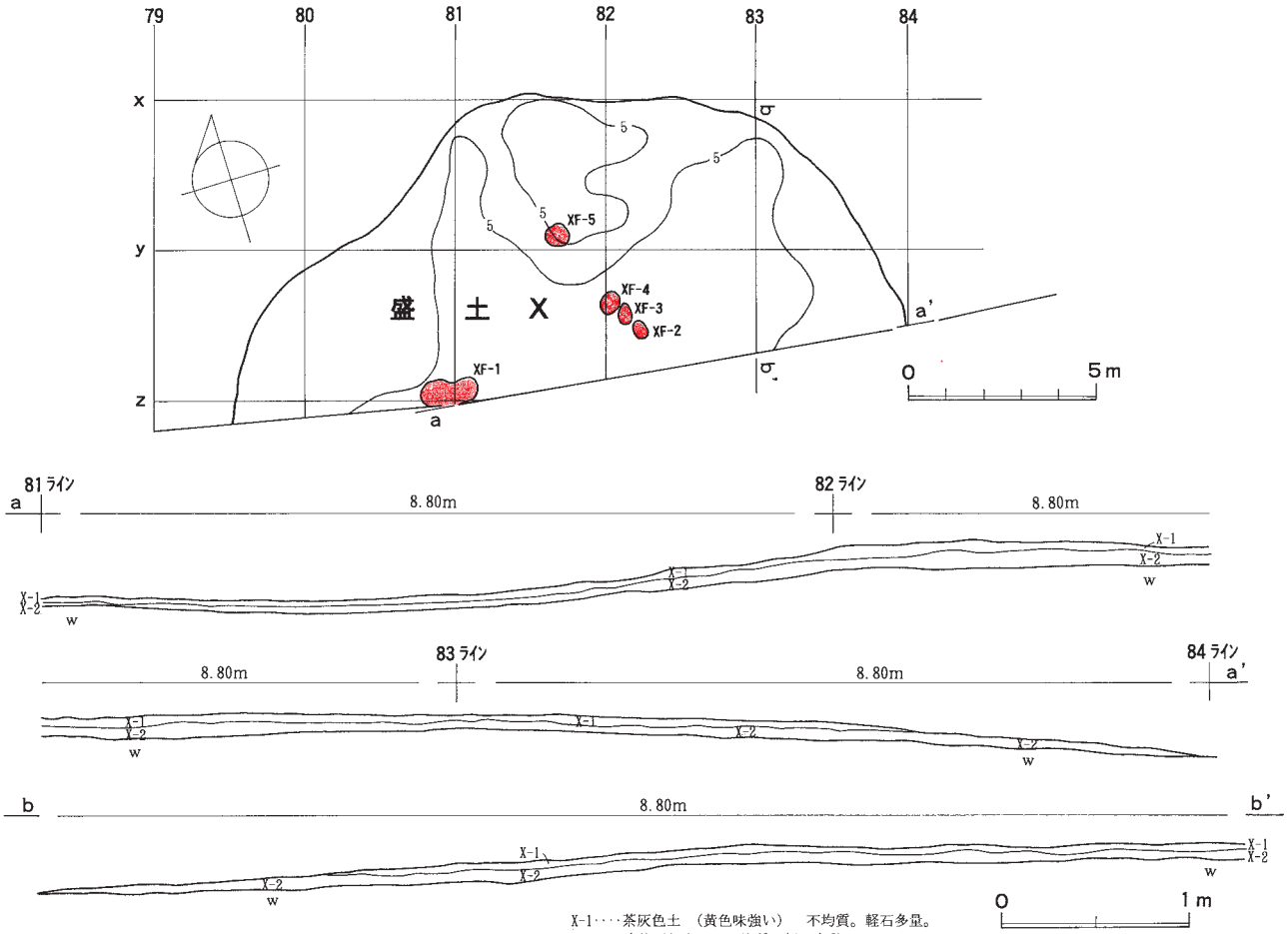
盛土Ｘ－１層・２層ともに暗褐色土に黄色ローム土・軽石が混じりあった汚れた土で、全体的に泥炭質で植物繊維が混入した土である。ただ１層は黄色ローム土がなく、検出面で１・２層の広がりの違いを識別することができた。１・２層ともに特に層厚のばらつきはなく、下位盛土（盛土Ｗ）の地形に沿って均一的に堆積している。

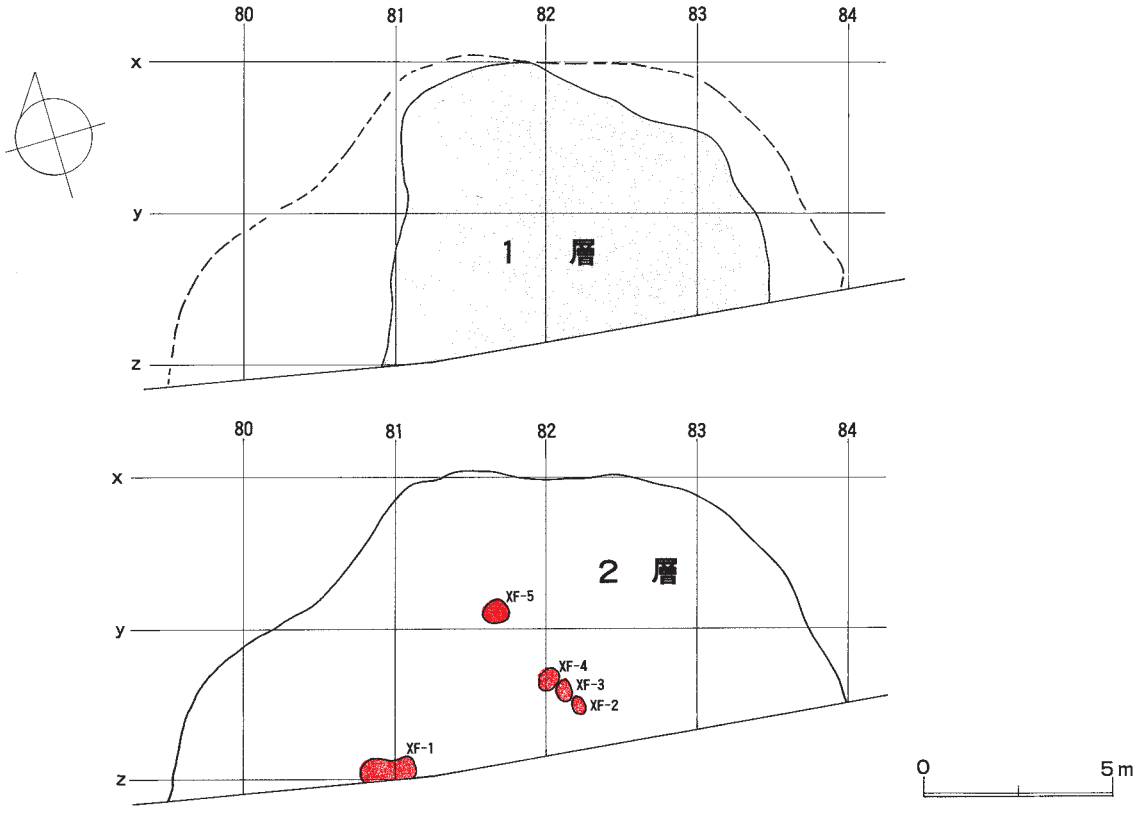
盛土Ｘ－１層　ｘ－81・82・83、ｙ－80・81・82・83に位置し、最大層厚は約７㎝である。全体的には約５㎝前後の厚さである。１層中ではｘ－81・82で大型破片がややまとまって出土しているが、多くが小破片で出土している。

盛土Ｘ－２層　ｗ－81・82、ｘ－80・81・82・83、ｙ－79・80・81・82・83、ｚ－79・80・81に位置し、東西18.1ｍ、南北8.0ｍの広がりをもち、最大層厚は約10㎝ほどである。全体的には３～７㎝の厚さである。あまり大型の土器破片は出土せず、大半が小破片である。また２層上面付近で焼土が５ヵ所、ｙ－81・82・83では軽石集中が３ヵ所検出された。

ｃ．焼土

焼土は５ヵ所検出された。これらは盛土Ｘ－２層上面付近で検出されたものであるが、ＲＭＸＦ－１・２は２層上面で、ＲＭＸＦ－３～５は盛土Ｘ－２層を若干掘り下げて検出した。焼土はすべて盛土Ｘ－１・２層と淡赤橙色焼土が混じり合っていて、動いたものと判断される。投棄されたものであろう。焼土の上面および被熱層中には、炭化物のほか骨片が多量に混入している。焼土はすべて取り上げ、フローテーション処理をした。





図Ⅳ－90　盛土Ｘ層厚図および土層断面図

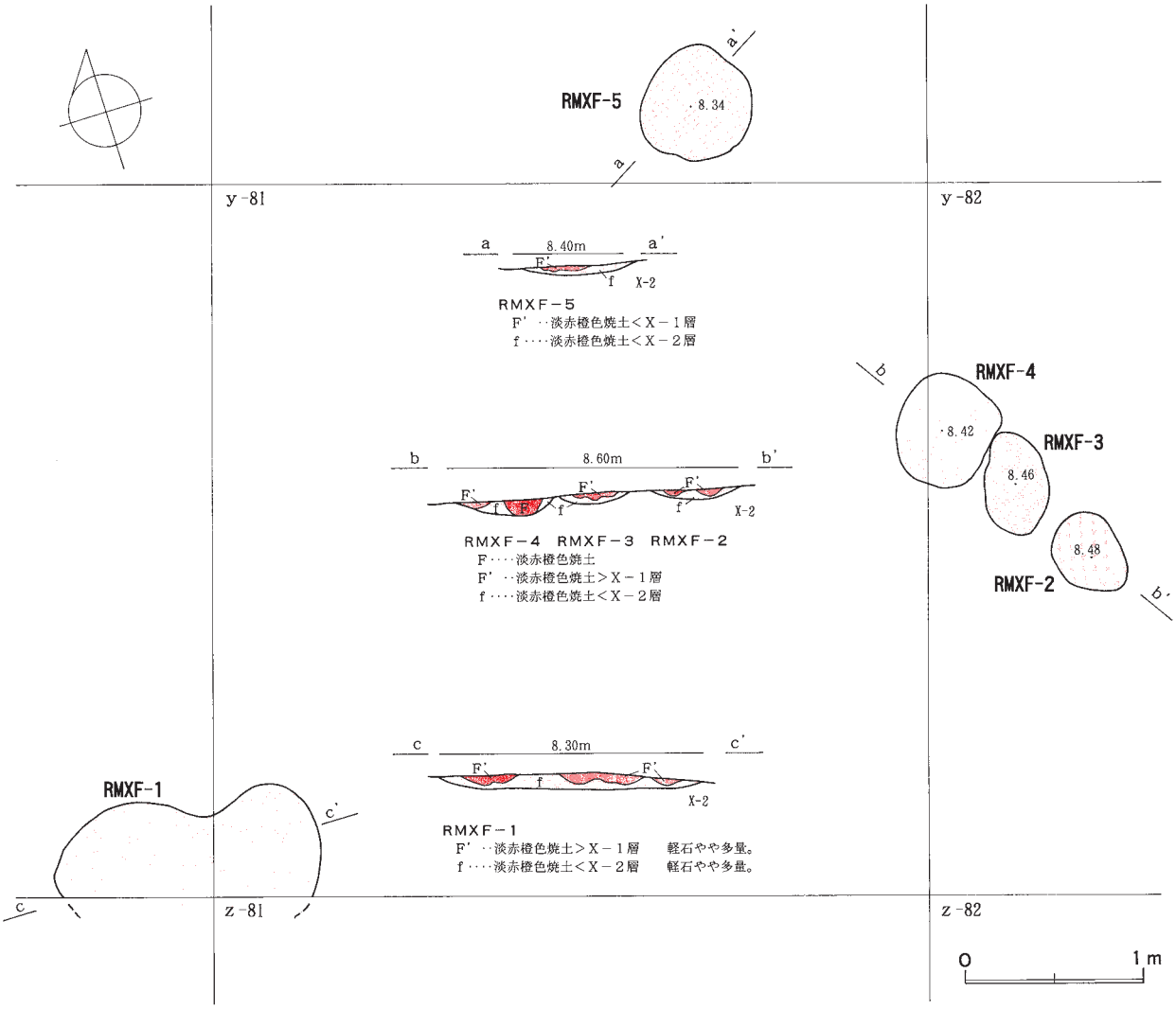
表Ⅳ－18　盛土Ｘの焼土一覧

焼土番号	被熱層	中心位置（発掘区）	平面形	規模（cm）			色調	図版番号	遺物				備考
				長軸	短軸	層厚			土器	石器	礫	骨片	
RMXF－1	X2	y-81	双円形	150	77	10	淡赤橙色	図Ⅳ－91	◎	△	△	△	
RMXF－2	X2	y-82	楕円形	49	36	6	淡赤橙色	図Ⅳ－91	△	＊	＊	＊	
RMXF－3	X2	y-82	楕円形	59	36	6	淡赤橙色	図Ⅳ－91	△	＊	＊	＊	
RMXF－4	X2	y-82	楕円形	62	54	9	淡赤橙色	図Ⅳ－91	△	＊	＊	＊	
RMXF－5	X2	x-81	楕円形	64	60	5	淡赤橙色	図Ⅳ－91	○	＊	＊	＊	

※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量

表Ⅳ－19　盛土Ｘの焼土出土石器等

焼土番号	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石斧	たたき石	砥石	台石もしくは石皿	ピエス・エスキーユ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のみられる礫	石核	原石	フレイク	礫	石棒	石製品	合計
RMXF-1	2										1	3							6
RMXF-5	1																		1
合　計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	7



図Ⅳ－91　盛土Ｘの焼土

d．軽石集中

２層上面付近で３ヵ所（ｙ－81・82・83）で検出された。径50㎝前後の長円形状で、厚さは３～５㎝ほどである。まとめて投棄されたものであろう。

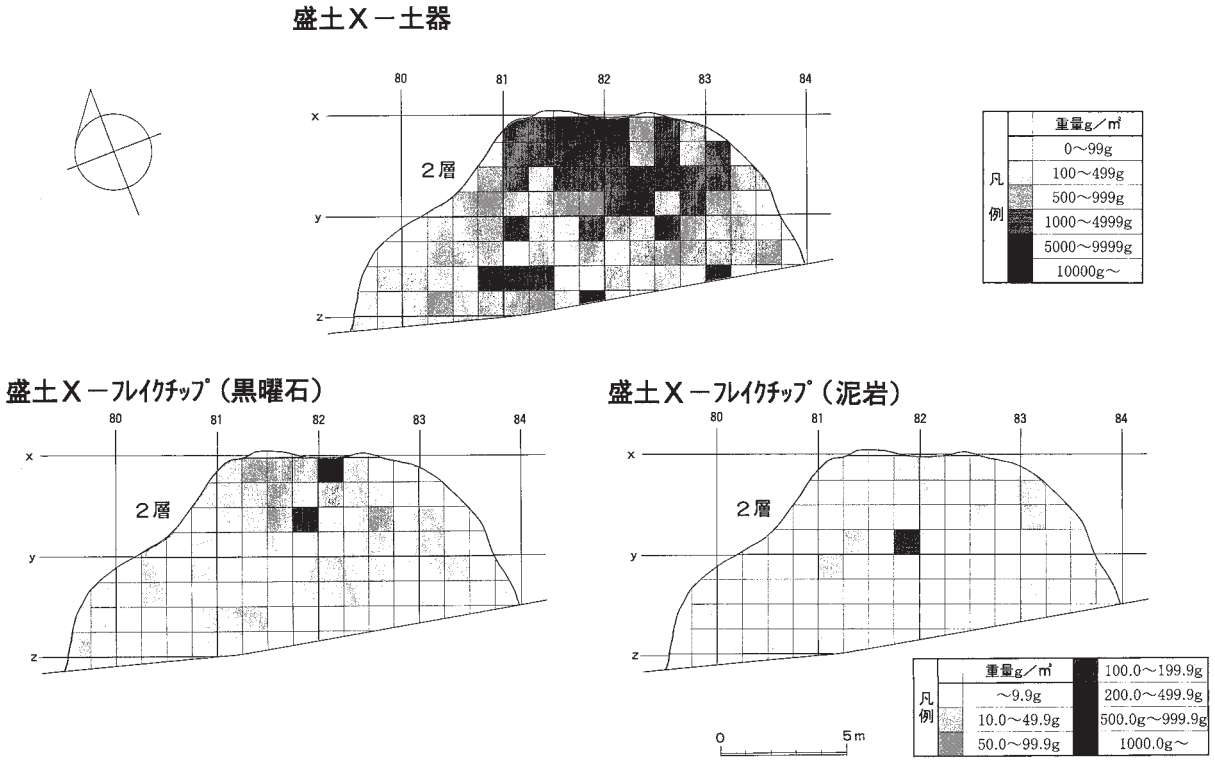
e．遺物出土状況

盛土Ｘの遺物総数は37,418点で、土器等31,590点（うち土製品66点）、石器・礫等5,828点（うち石製品10点）、そのほか炭化材や骨片などの自然遺物が土壌水洗で回収できた。土器は縄文時代早期・前期・中期・後期のものが出土しているが、主体時期である縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたる土器が圧倒的に多く、99.3％を占める。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は１：66で、Ⅳ群ｃ－１類の占める割合が圧倒的に高い。土製品は焼成粘土塊59点、ミニチュア土器３点などが出土しているが、特異な土製品は出土していない。石器・礫等では、フレイクチップが93.4％を占め圧倒的に多い。定形的石器では石鏃が60％を占めている。以下石錐・砥石・スクレイパーが続いている。盛土遺構全般の平均的な割合を示している（Ⅸ章）。石製品は石棒片７点が出土していることが特徴的である。

土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－92に示した。盛土Ｘ－１層と２層の範囲と遺物の取り上げに矛盾が生じたため、ここでは統合して盛土Ｘ－２層として図示した。土器はおおむね層厚に相当する出土量を示している。黒曜石・泥岩のフレイクチップは遺物分布の偏りが目立つ小グリッドがある（ｘ－81-12・16、ｘ－82-１など）。

遺物集中

盛土Ｘでは一部遺物が多く含まれる部分があるものの、まとまって出土した遺物は確認できなかった。また整理作業の過程で、口縁～底部まで復元できた土器はなかった。

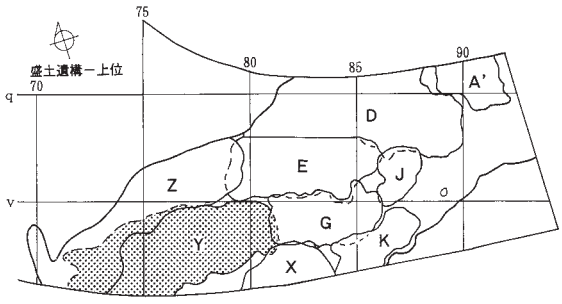


図Ⅳ－92　盛土Ｘ土器等フレイクチップ重量分布図

（８）盛土Ｙ

ａ．概要

規模　40.8m×16.0m／
最大層厚　0.68m
推定土量　約83.3㎥



図Ⅳ－93　盛土Ｙ位置図

盛土Ｙ（ＲＭＹ）は、ｘ－77区の土の高まりを中心に設定した上位の盛土遺構の１ブロックである。盛土の西側は調査区外に広がると推定される。盛土Ｙは北側で盛土Ｚ、東側で盛土Ｅ・Ｇ・Ｘと接する。盛土Ｙの下には、下位の盛土Ｖおよび盛土Ｗが堆積している。

確認・調査　調査は、盛土Ｙとして設定した高まりでみられる土の範囲の把握から始めた。まずｘ－77区の高まりを通るように、盛土Ｙの長軸方向にトレンチ（ｂ－ｂ’）を設定した。続いて盛土Ｚ・Ｘとの前後関係を観察するため、両盛土ブロックに延びるトレンチ（ｃ－ｃ’）も設定した。トレンチ内の土層断面観察によって盛土Ｙを大まかに２層に分け、下位の盛土上面まで掘り下げた。75ライン以西では土層観察用のためのベルト（ａ－ａ’）を残して掘り下げた。ｙ－73区周辺では盛土の堆積がより厚くみられ、新たに層を設けて下位の盛土上面まで掘り下げた。
隣接する盛土との前後関係は、盛土Ｚが盛土Ｙより新しいとみられるが、盛土Ｅ・Ｇ・Ｘとの関係は判然としない。

ｂ．土層

盛土Ｙの土層は１～３層・10層・11層の５つに大まかに分けた。

盛土Ｙ－１層　盛土Ｙの南西寄りの大部分に堆積する明褐色土。

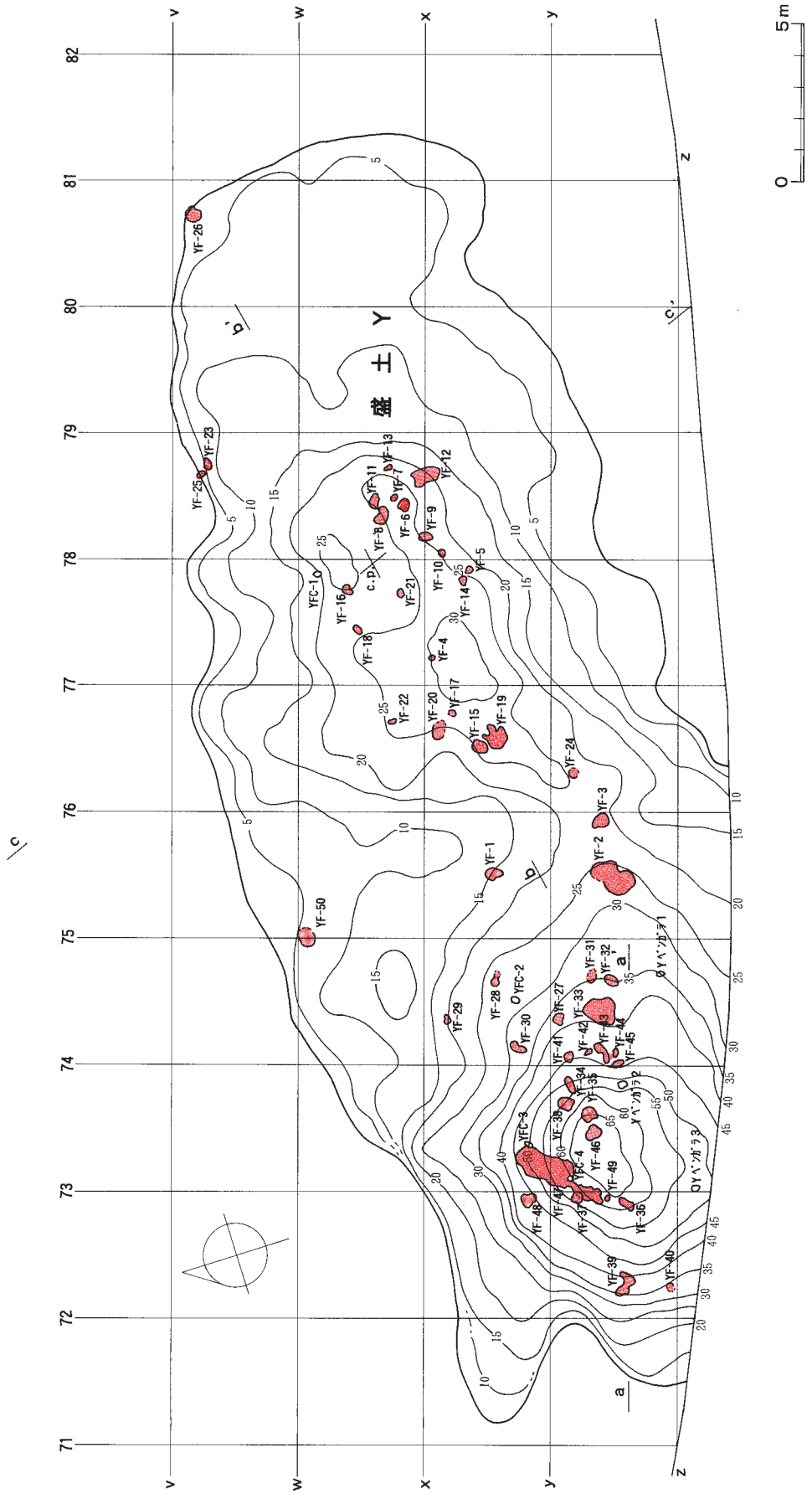
盛土Ｙ－２層　盛土Ｙの東部の縁辺部を除くほぼ全域に堆積する明褐色土。炭化材が多く混じる。多数のやや小型の焼土が検出されている。

盛土Ｙ－３層　75ライン以西でみられた明褐色土で、盛土Ｙ－２層の下に堆積する。

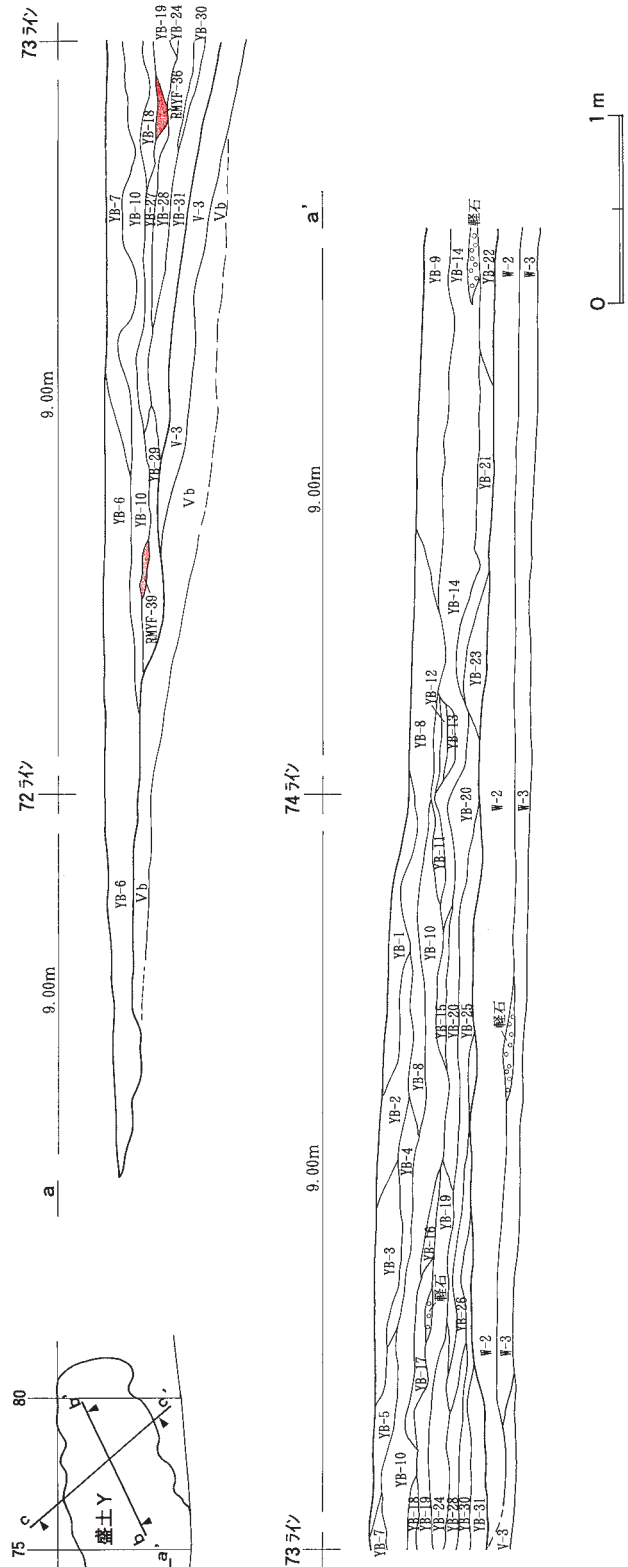
盛土Ｙ－10層　盛土Ｅとの境などでみられた、盛土Ｙ－１層・２層にあてはまらない土をまとめた呼称。そのため、盛土Ｙ東部の縁辺部に不整形に分布する。なお、盛土Ｙ－１層・２層よりは上層にあるものとみられる。

盛土Ｙ－11層　75ライン以西で１層の上に堆積していた灰褐色土。75ライン以西のｙラインン土層断面では、認識できた限りの細かな土のまとまりを示した。

また、ｙ－72区～ｙ－74区では、土層観察用のベルトにおいて色調や炭化材・骨片などの混入具合などによって層位の更なる細分を試みた。低地から斜面への立ち上がりという地形的要因もあり、複雑な層位を示している。結果として31層に区分した。これらは、ある程度広域に薄く広がる層とブロック状に狭い範囲で堆積している層が重なり合っている。盛土１～３層・11層との対応関係は明瞭には把握できないものの、上位はおおむね盛土Ｙ－２層に対応し、下位はおおむね盛土Ｙ－３層に対応している。


盛土Y
5m
0
v
w
x
y
z
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
a
a'
b
b'
c
c'
c.p.
YF-1
YF-2
YF-3
YF-4
YF-5
YF-6
YF-7
YF-8
YF-9
YF-10
YF-11
YF-12
YF-13
YF-14
YF-15
YF-16
YF-17
YF-18
YF-19
YF-20
YF-21
YF-22
YF-23
YF-24
YF-25
YF-26
YF-27
YF-28
YF-29
YF-30
YF-31
YF-32
YF-33
YF-34
YF-35
YF-36
YF-37
YF-38
YF-39
YF-40
YF-41
YF-42
YF-43
YF-44
YF-45
YF-46
YF-47
YF-48
YF-49
YF-50
YFC-1
YFC-2
YFC-3
YFC-4

図Ⅳ－94　盛土Y層厚図

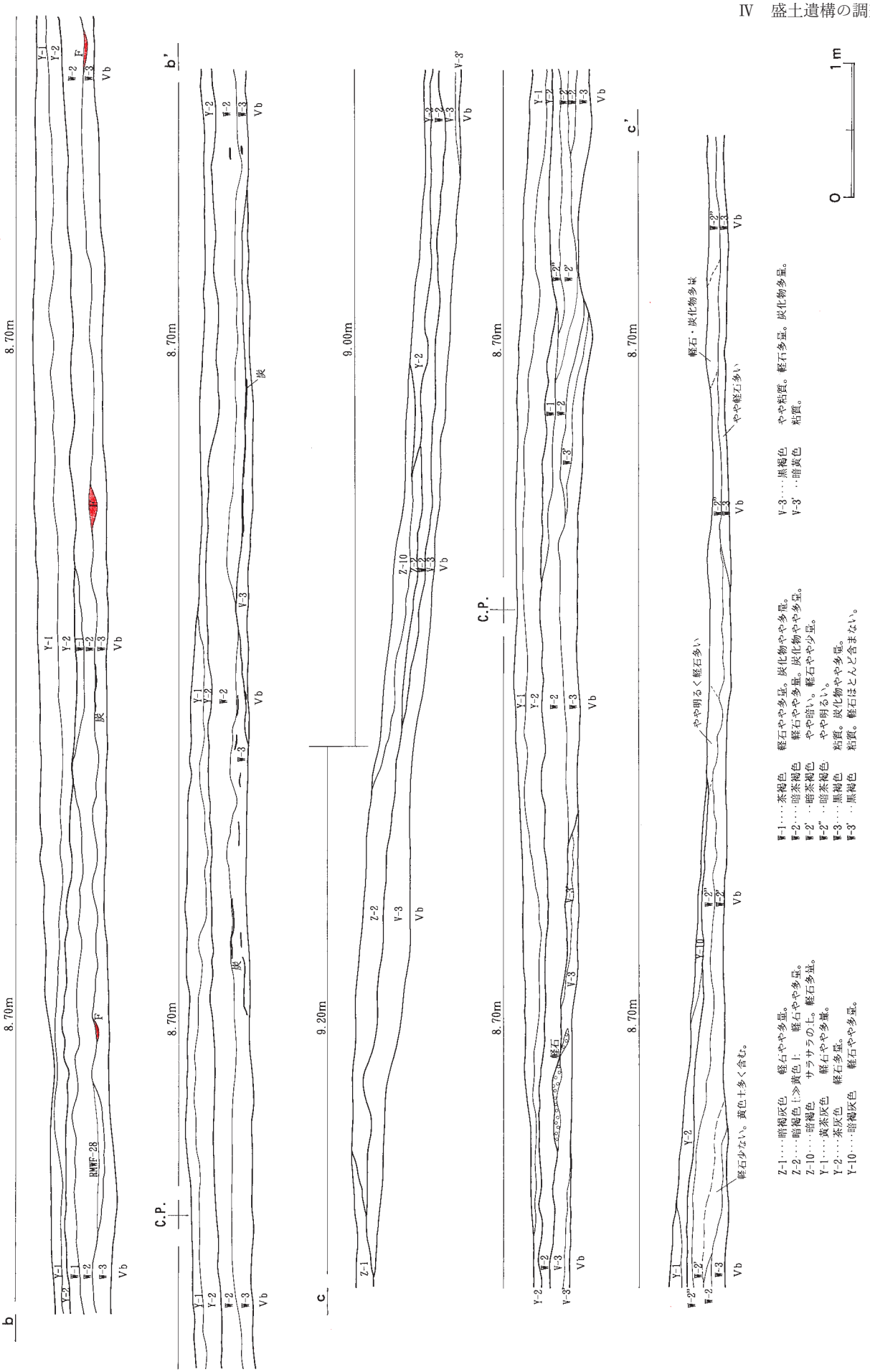


YB-1…黒褐色(7.5YR3/1)　しまり中。軽石やや多量。炭化材微量。骨片微量。
YB-2…褐灰色(7.5YR4/1)　しまり中。軽石少量。炭化材微量。骨片微量。
YB-3…黒褐色(7.5YR3/1)　しまり中。軽石やや多量。炭化材微量。骨片微量。
YB-4…褐灰色(7.5YR4/1)　しまり中。軽石やや多量。
YB-5…暗褐色(10YR3/3)　しまり中。軽石少量。炭化材微量。骨片微量。
YB-6…暗赤褐色(5YR3/4)　しまり強。軽石多量。炭化材少量。骨片少量。褐鉄鉱多量。
YB-7…灰褐色(7.5YR2/2)　しまり中。軽石多量。炭化材少量。骨片少量。
YB-8…褐灰色(10YR4/1)　しまり中。軽石少量。炭化材少量。骨片少量。
YB-9…にぶい黄褐色(10YR5/4)　しまり中。軽石少量。炭化材微量。骨片微量。
YB-10…黒褐色(7.5YR3/1)　しまり中。軽石多量。炭化材多量。骨片多量。
YB-11…にぶい黄褐色(10YR5/4)　しまり中。軽石少量。炭化材微量。骨片微量。
YB-12…褐灰色(10YR4/1)　しまり中。軽石少量。炭化材微量。骨片微量。
YB-13…にぶい黄褐色(10YR5/4)　しまり中。軽石やや多量。炭化材微量。骨片微量。
YB-14…黒褐色(10YR3/1)　しまり中。軽石少量。炭化材少量。骨片少量。
YB-15…褐灰色(10YR4/1)　しまり中。軽石少量。炭化材微量。骨片微量。
YB-16…褐灰色(7.5YR4/1)　しまり中。軽石こく微量。炭化材微量。骨片微量。
YB-17…黒褐色(10YR3/1)　しまり中。軽石微量。炭化材微量。骨片微量。
YB-18…黒褐色(10YR3/2)　しまり中。軽石やや多量。炭化材微量。骨片微量。

YB-19…黒褐色(7.5YR3/1)　しまり中。軽石やや多量。炭化材微量。骨片微量。
YB-20…にぶい黄褐色(10YR5/4)　しまり中。軽石少量。炭化材微量。骨片微量。
YB-21…にぶい黄褐色(10YR5/4)　しまり中。軽石少量。炭化材微量。骨片微量。
YB-22…黒褐色(10YR3/1)　しまり中。軽石やや多量。炭化材少量。骨片こく微量。
YB-23…黒褐色(10YR3/1)　しまり中。軽石少量。炭化材微量。骨片微量。
YB-24…褐灰色(10YR4/1)　しまり中。軽石微量。炭化材微量。骨片微量。
YB-25…黒褐色(10YR3/1)　しまり中。軽石微量。炭化材多量。骨片多量。
YB-26…褐灰色(10YR4/1)　しまり中。軽石こく微量。炭化材微量。骨片微量。
YB-27…褐色(7.5YR4/3)　しまり中。軽石微量。炭化材こく微量。骨片こく微量。
YB-28…黒褐色(10YR3/1)　しまり中。軽石やや多量。炭化材やや多量。骨片やや多量。
YB-29…黒褐色(7.5YR3/1)　しまり中。軽石微量。炭化材微量。骨片微量。
YB-30…褐灰色(7.5YR4/1)　しまり中。軽石少量。炭化材微量。骨片微量。
YB-31…黒褐色(7.5YR3/1)　しまり中。軽石少量。炭化材少量。骨片少量。

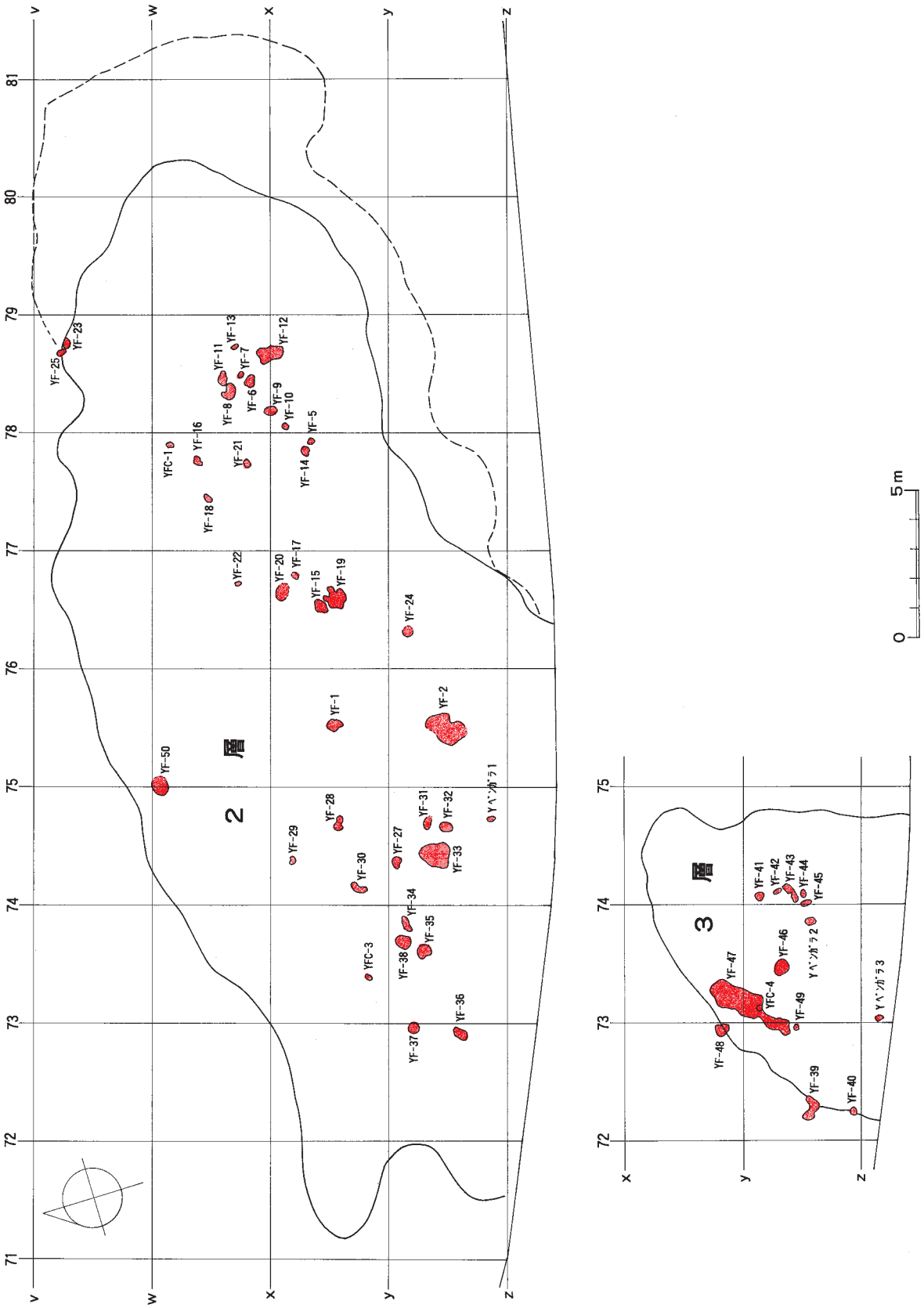
V-2…黒褐色(7.5YR3/1)　しまり中。軽石少量。炭化材少量。骨片少量。
V-3…黒褐色(7.5YR3/1)　しまり中。軽石少量。炭化材少量。骨片少量。
V-3…黒褐色(10YR3/1)　しまり中。軽石少量。炭化材少量。骨片少量。
Vb…黒色(10YR2/1)　しまり中。軽石少量。炭化材少量。骨片少量。

図Ⅳ－95　盛土Ｙ土層断面図（１）



図Ⅳ－96　盛土Ｙ土層断面図（２）

図Ⅳ－97　盛土Ｙ各層位分布図（１）



図Ⅳ－98　盛土Ｙ各層位分布図（２）

ｃ．焼土

焼土は50ヵ所検出した。層ごとの内訳は、盛土Ｙ－１層が２ヵ所、２層が36ヵ所、３層11ヵ所、10層１ヵ所である。２層ではｗ－78区付近、ｘ－76区付近、ｙ－74区付近に、３層ではｙ－74区付近にまとまりがみられる。規模は１ｍ以上の大きなものが３ヵ所（２層２ヵ所、３層１ヵ所)、50㎝以上１ｍ未満のものが16ヵ所（１層１ヵ所、２層11ヵ所、３層３ヵ所、10層１ヵ所)、50㎝未満のものが31ヵ所（１層１ヵ所、２層23ヵ所、３層７ヵ所）である。色調は大まかに橙色と赤褐色の２つがみられ、赤褐色のものはさらに明暗などの差がある。焼土中には微細な骨片などが多く認められるものもあった。

【盛土Ｙ－１層の焼土】（図Ⅳ－99）

ＲＭＹＦ－３ 焼けてしまりがあり、軽石が多く混じる。遺物の出土は少ない。

ＲＭＹＦ－４ 小型だが焼けてしまりがある。遺物の出土はない。

【盛土Ｙ－２層の焼土】（図Ⅳ－99～101）

ＲＭＹＦ－１ 骨片がやや多く混じる。遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－２ やや大型で、骨片や遺物の出土が多い。

ＲＭＹＦ－５ 小型だが焼けてしまりがある。遺物の出土はない。

ＲＭＹＦ－６ 焼けてしまりがある。遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－７ 焼けてしまりがある。遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－８ 焼けてしまりがあり、軽石が多く混じる。遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－９ 焼けてしまりがある。遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－10 小型で遺物の出土はない。

ＲＭＹＦ－11 焼けてしまりがある。軽石と炭化物が多く混じる。遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－12 やや大型で焼けてしまりがある。遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－13 小型だが焼けてしまりがある。遺物の出土はない。

ＲＭＹＦ－14 小型で軽石が多く混じる。遺物の出土はない。

ＲＭＹＦ－15 焼けてしまりがあり、軽石が多く混じる。遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－16 しまりが弱い。軽石と骨片が多く混じる。遺物の出土は少ない。

ＲＭＹＦ－17 小型で薄い。遺物の出土は少ない。

ＲＭＹＦ－18 焼けてしまりがある。骨片と炭化物が多く混じる。遺物の出土は少ない。

ＲＭＹＦ－19 しまりがやや弱い。軽石、焼土粒、骨片、炭化物が多く混じる。遺物はやや少なく出土している。

ＲＭＹＦ－20 遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－21 小型で軽石が多く混じる。遺物の出土はない。

ＲＭＹＦ－22 小型でしまりが弱く被熱層との境界が明瞭。軽石と灰が多く混じる。遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－23 小型で薄い。遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－24 小型でしまりがあるが、被熱層との境界が明瞭。骨片が多く混じる。遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－25 小型で薄い。遺物は少量出土している。

ＲＭＹＦ－27 小型だが焼けてしまりがある。軽石と骨片が多く混じる。

ＲＭＹＦ－28 小型だが焼けてしまりがある。遺物の出土は少ない。

表Ⅳ－20　盛土Ｙの焼土一覧

焼土番号	被熱層	中心位置（発掘区）	平面形	規模（cm）			色調	図版番号	遺物				備考
				長軸	短軸	層厚			土器	石器	礫	骨片	
RMYF－1	Y2	x-75	不整形	58	40	7	橙色	図Ⅳ－100	△	＊	＊	△	
RMYF－2	Y2	y-75	双円形	140	84	4	にぶい赤褐色	図Ⅳ－100	○	△	△	○	
RMYF－3	Y1	y-75	ほぼ楕円形	58	43	5	にぶい赤褐色	図Ⅳ－99	△	＊	＊	＊	
RMYF－4	Y1	x-77	ほぼ円形	15	12	3	赤褐色	図Ⅳ－99					
RMYF－5	Y2	x-77	ほぼ円形	25	20	4	にぶい赤褐色	図Ⅳ－99	△	＊	＊	＊	
RMYF－6	Y2	w-78	不整形	37	34	5	にぶい赤褐色	図Ⅳ－99	△	＊	＊	＊	
RMYF－7	Y2	w-78	楕円形	26	18	3	にぶい赤褐色	図Ⅳ－99	＊	＊	＊	＊	
RMYF－8	Y2	w-78	不整形	58	40	4	にぶい赤褐色	図Ⅳ－99	△	＊	＊	＊	
RMYF－9	Y2	x-78	楕円形	46	29	5	にぶい赤褐色	図Ⅳ－99	＊	＊	＊	＊	
RMYF－10	Y2	x-78	円形	22	21	2	暗赤褐色	図Ⅳ－99					
RMYF－11	Y2	w-78	ほぼ楕円形	43	25	4	明赤褐色	図Ⅳ－99	△	＊	＊	＊	
RMYF－12	Y2	w-78	不整形	92	54	6	にぶい赤褐色	図Ⅳ－99	△	＊	△	＊	
RMYF－13	Y2	w-78	楕円形	28	15	2	にぶい赤褐色	図Ⅳ－99					
RMYF－14	Y2	x-77	ほぼ円形	32	26	4	暗赤褐色	図Ⅳ－99	＊	＊	＊	＊	
RMYF－15	Y2	w-77	ほぼ楕円形	52	38	3	にぶい赤褐色	図Ⅳ－100	△	＊	＊	△	
RMYF－16	Y2	w-77	ほぼ楕円形	34	28	2	暗赤褐色	図Ⅳ－99	＊	＊	＊	＊	
RMYF－17	Y2	x-76	楕円形	24	15	－		図Ⅳ－100	＊	＊	＊	＊	
RMYF－18	Y2	w-77	ほぼ楕円形	62	20	4	明赤褐色	図Ⅳ－99	△	＊	＊	＊	
RMYF－19	Y2	x-76	不整形	86	63	4	暗赤褐色	図Ⅳ－100	○	△	△	△	
RMYF－20	Y2	x-76	楕円形	39	31	－		図Ⅳ－100	△	＊	△	＊	
RMYF－21	Y2	w-77	楕円形	29	22	2	にぶい赤褐色	図Ⅳ－99					
RMYF－22	Y2	w-76	楕円形	22	14	2	明赤褐色	図Ⅳ－100	＊	＊	＊	＊	
RMYF－23	Y2	v-78	ほぼ楕円形	40	23	2	にぶい赤褐色	図Ⅳ－99	△	＊	＊	△	
RMYF－24	Y2	y-76	楕円形	30	12	2	橙色	図Ⅳ－100	＊	＊		＊	
RMYF－25	Y2	v-78	ゾウリ形	35	16	2	暗赤褐色	図Ⅳ－99					
RMYF－26	Y10	v-80	ほぼ楕円形	50	46	4	明～暗赤褐色	図Ⅳ－102	△	＊	＊	＊	
RMYF－27	Y2	y-74	ほぼ楕円形	35	34	3	赤褐色	図Ⅳ－101	△	＊	＊	△	
RMYF－28	Y2	x-74	双円形	38	28	4	にぶい赤褐色	図Ⅳ－101	△	＊	＊	＊	
RMYF－29	Y2	x-74	不整形	28	18	3	橙色	図Ⅳ－101					
RMYF－30	Y2	x-74	不整形	57	37	7	赤褐色	図Ⅳ－101	△	＊	△	△	
RMYF－31	Y2	y-74	楕円形	36	25	－		図Ⅳ－101	△	＊	＊	＊	
RMYF－32	Y2	y-74	楕円形	46	34	4	明赤褐色	図Ⅳ－101	△	＊	△	＊	
RMYF－33	Y2	y-74	ほぼ楕円形	106	86	8	明赤褐色	図Ⅳ－101	○	△	△	○	
RMYF－34	Y2	y-73	長楕円形	57	24	2	明～暗赤褐色	図Ⅳ－101	△	＊	＊	△	
RMYF－35	Y2	y-73	ほぼ楕円形	46	42	3	（明赤褐色）	図Ⅳ－101	△	△	＊	△	
RMYF－36	Y2	y-73	ほぼ楕円形	52	30	6		図Ⅳ－101	△	＊	＊	△	
RMYF－37	Y2	y-72	ほぼ円形	38	35	6	にぶい赤褐色	図Ⅳ－101	○	△	△	△	
RMYF－38	Y2	y-73	ほぼ楕円	54	42	2	明赤褐色	図Ⅳ－101	△	＊	＊	＊	
RMYF－39	Y3	y-72	不整形	73	56	3	にぶい赤褐色	図Ⅳ－102	△	＊		＊	
RMYF－40	Y3	y-72	ほぼ楕円形	21	12	－		図Ⅳ－102	＊	＊	＊	＊	
RMYF－41	Y3	y-74	ほぼ楕円形	32	29	3	明赤褐色	図Ⅳ－102	△	＊	＊	＊	
RMYF－42	Y3	y-74	長楕円形	29	12	2	明赤褐色	図Ⅳ－102					
RMYF－43	Y3	y-74	不整形	73	27	3	明赤褐色	図Ⅳ－102	△	＊	＊	＊	
RMYF－44	Y3	y-74	楕円形	28	17	－		図Ⅳ－102					
RMYF－45	Y3	y-74	長楕円形	38	18	－		図Ⅳ－102					
RMYF－46	Y3	y-73	ほぼ楕円形	53	44	3	明赤褐色	図Ⅳ－102	△	＊	＊	＊	
RMYF－47	Y3	y-73	不整形	296	86	2	明赤褐色	図Ⅳ－102	○	＊	△	△	
RMYF－48	Y3	x-72	不整形	46	43	4	明赤褐色	図Ⅳ－102	△	＊	＊	＊	
RMYF－49	Y3	y-72	楕円形	20	14	4	にぶい赤褐色	図Ⅳ－102	＊	＊	＊	＊	
RMYF－50	Y2	w-74	楕円形	55	42	5	にぶい赤褐色	図Ⅳ－101	○	＊	＊	△	

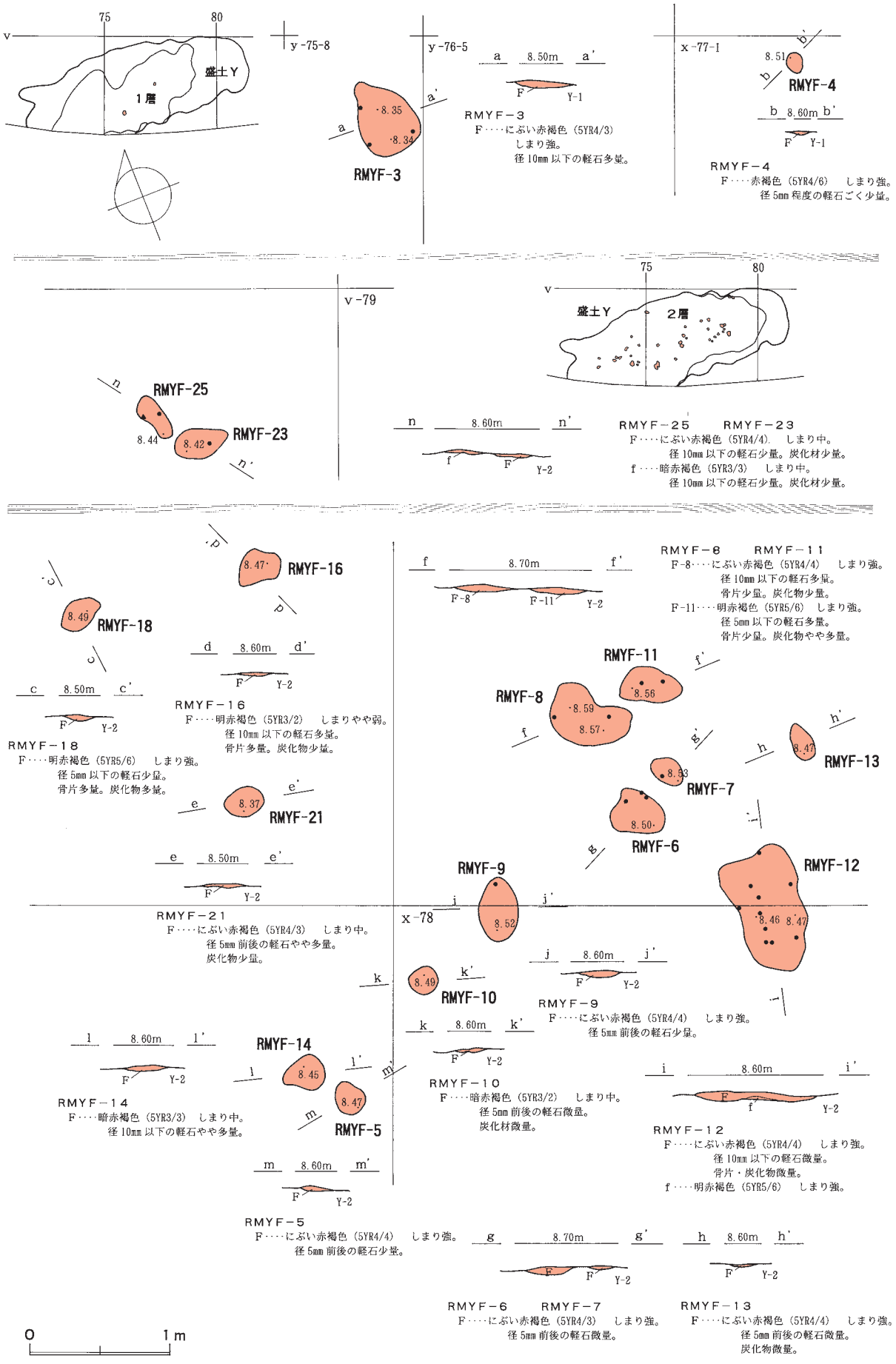
※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量

表Ⅳ－21　盛土Ｙの焼土出土土器等

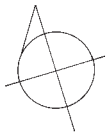
焼土番号	Ⅰb-4	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳa	Ⅳb-3	Ⅳb-4	Ⅳc	Ⅳc-1	Ⅳc-0	ミニチュア	土製品	焼成粘土塊	合計
RMYF-1						1	6	2					9
RMYF-2							22	11					33
RMYF-3							4						4
RMYF-6							2	1					3
RMYF-7							11						11
RMYF-8							2						2
RMYF-9							1						1
RMYF-11							2						2
RMYF-12							8	2					10
RMYF-18							2	1					3
RMYF-19							7	3					10
RMYF-20							4	2					6
RMYF-22							1	2					3
RMYF-23							2	2					4
RMYF-25								1					1
RMYF-26							1						1
RMYF-27							2						2
RMYF-30							3	2					5
RMYF-32								2					2
RMYF-33							19	2					21
RMYF-34							13	15					28
RMYF-35							1						1
RMYF-36							3	2					5
RMYF-37							9						9
RMYF-38							12	3					15
RMYF-39							2	1					3
RMYF-41							1						1
RMYF-43							3	3					6
RMYF-46							12	3					15
RMYF-47							22	8					30
RMYF-48							1						1
RMYF-49							3	1					4
RMYF合計						1	181	69					251

表Ⅳ－22　盛土Ｙの焼土出土石器等

焼土番号	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石斧	たたき石	砥石	台石もしくは石皿	ピエス・エスキーユ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のみられる礫	石核	原石	フレイク	礫	石棒	石製品	合計
RMYF-1	1														1				2
RMYF-2	4														3				7
RMYF-18															1				1
RMYF-23															1				1
RMYF-25				1															1
RMYF-33	5	1	1												2				9
RMYF-34	1									1					2				4
RMYF-37							1			1					3				5
RMYF-38	1										1				1				3
RMYF-41											1								1
RMYF-47	1											1			3				5
RMYF-49															1				1
合　計	13	1	1	1	0	0	1	0	0	2	2	1	0	0	18	0	0	0	40

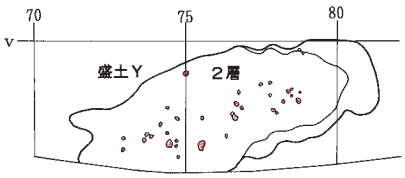


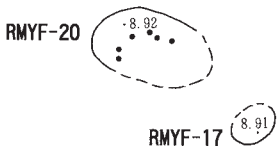
図Ⅳ－99　盛土Ｙの焼土（１）

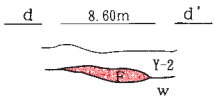


RMYF－22
F‥‥明赤褐色（5YR5/8）　しまりやや弱。
境界明瞭。
径 5mm 前後の軽石多量。
灰やや多量。

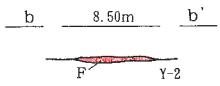
x-76



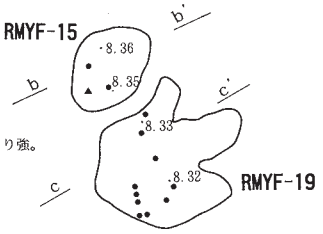


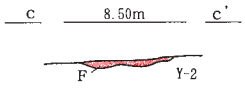


RMYF－1
F‥‥橙色（7.5YR6/6）　しまり中。
径 10mm 以下の軽石少量。
骨片やや多量。



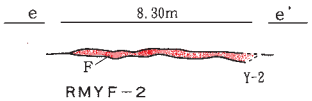
RMYF－15
F‥‥にぶい赤褐色（5YR4/4）　しまり強。
径 5mm 前後の軽石やや多量。



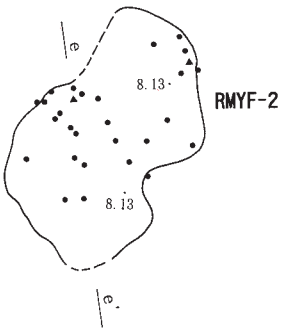


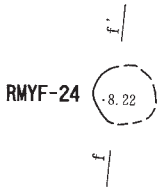
RMYF－19
F‥‥暗赤褐色（5YR3/3）　しまりやや弱。
径 10mm 前後の軽石やや多量。
明赤褐色（5YR5/8）の焼土粒やや多量。
骨片やや多量。炭化物やや多量。

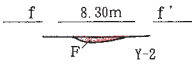
y-76



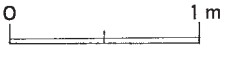
RMYF－2
F‥‥にぶい赤褐色（5YR4/3）　しまり中。
径 10mm 以下の軽石少量。
骨片やや多量。



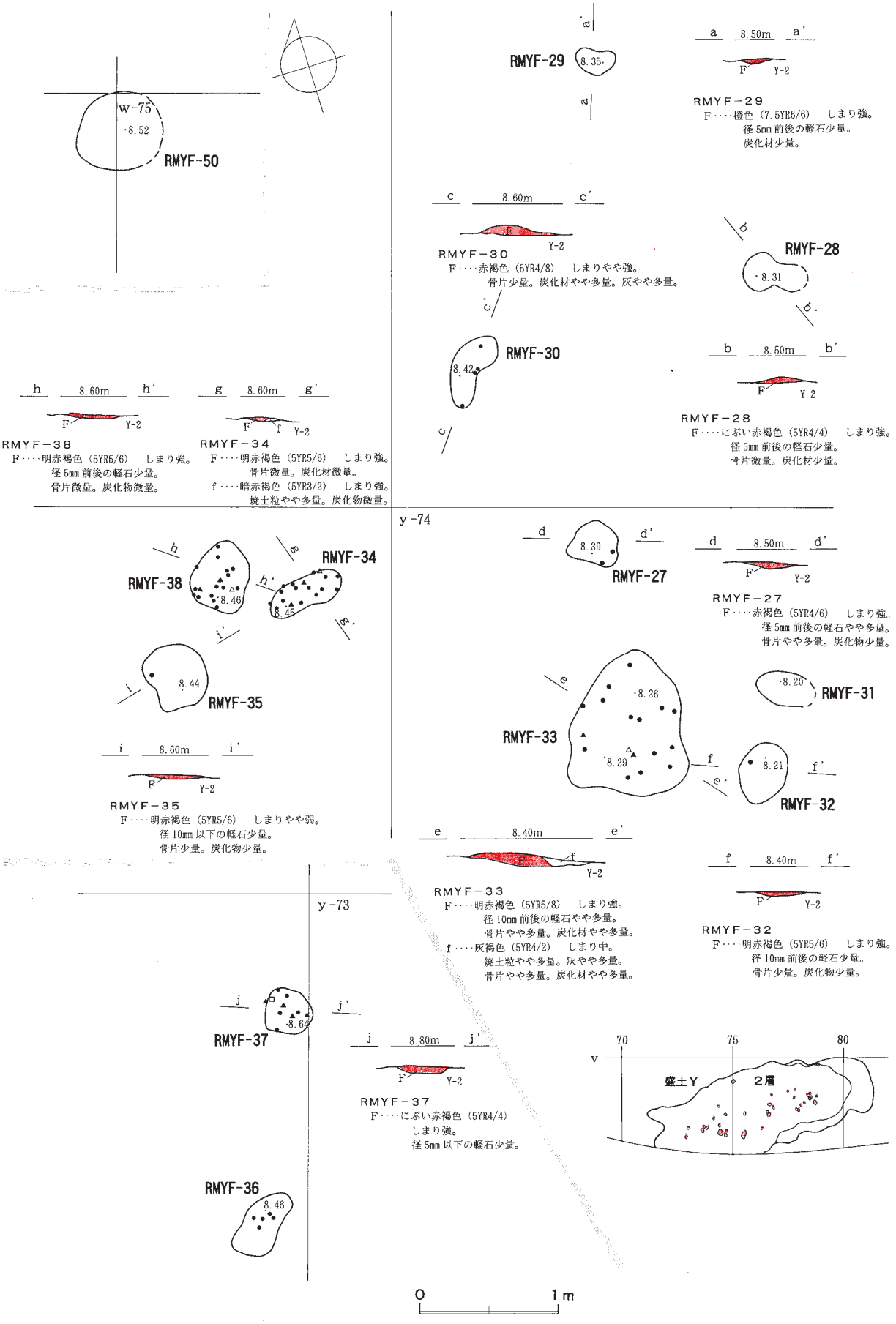




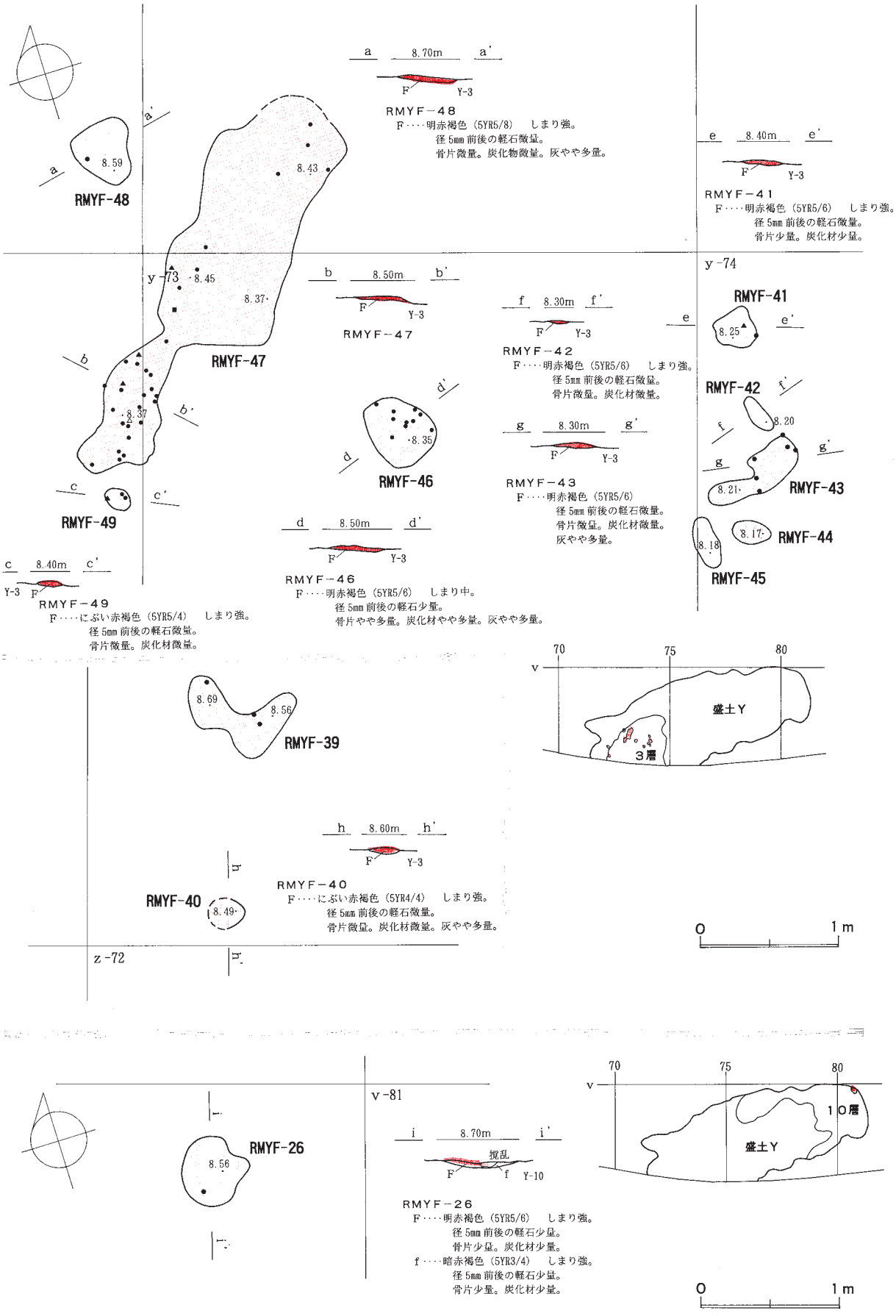
RMYF－24
F‥‥橙色（7.5YR6/8）　しまり強。
境界明瞭。
微小な骨片多量。



図Ⅳ－100　盛土Ｙの焼土（２）



図Ⅳ－101　盛土Ｙの焼土（３）



RMYF－48
F‥‥明赤褐色（5YR5/8）　しまり強。
径5mm前後の軽石微量。
骨片微量。炭化物微量。灰やや多量。

RMYF－41
F‥‥明赤褐色（5YR5/6）　しまり強。
径5mm前後の軽石微量。
骨片少量。炭化材少量。

RMYF－47
F‥‥明赤褐色（5YR5/6）　しまり強。
径5mm前後の軽石微量。
骨片微量。炭化材微量。

RMYF－42
F‥‥明赤褐色（5YR5/6）　しまり強。
径5mm前後の軽石微量。
骨片微量。炭化材微量。

RMYF－43
F‥‥明赤褐色（5YR5/6）
径5mm前後の軽石微量。
骨片微量。炭化材微量。
灰やや多量。

RMYF－46
F‥‥明赤褐色（5YR5/6）　しまり中。
径5mm前後の軽石少量。
骨片やや多量。炭化材やや多量。灰やや多量。

RMYF－49
F‥‥にぶい赤褐色（5YR5/4）　しまり強。
径5mm前後の軽石微量。
骨片微量。炭化材微量。

RMYF－40
F‥‥にぶい赤褐色（5YR4/4）　しまり強。
径5mm前後の軽石微量。
骨片微量。炭化材微量。灰やや多量。

RMYF－26
F‥‥明赤褐色（5YR5/6）　しまり強。
径5mm前後の軽石少量。
骨片少量。炭化材少量。
f‥‥暗赤褐色（5YR3/4）　しまり強。
径5mm前後の軽石少量。
骨片少量。炭化材少量。

図Ⅳ－102　盛土Ｙの焼土（４）

ＲＭＹＦ－29　小型だが焼けてしまりがある。遺物の出土はない。
ＲＭＹＦ－30　炭化材と灰が多く混じる。遺物は少量出土している。
ＲＭＹＦ－31　小型の焼土。遺物は少量出土している。
ＲＭＹＦ－32　焼けてしまりがある。遺物は少量出土している。
ＲＭＹＦ－33　やや大型で焼けてしまりがある。軽石、骨片、炭化材が多く混じり、部分的に焼土粒も混じる。遺物はやや多く出土している。石鏃５点、石錐１点、つまみ付きナイフ１点など定形的石器の出土が比較的多い。
ＲＭＹＦ－34　焼けてしまりがある。部分的に焼土粒が混じる。遺物はやや多く出土している。
ＲＭＹＦ－35　しまりがやや弱い。遺物は少量出土している。
ＲＭＹＦ－36　遺物は少量出土している。
ＲＭＹＦ－37　焼けてしまりがある。遺物は少量出土している。
ＲＭＹＦ－38　焼けてしまりがある。遺物は少量出土している。
ＲＭＹＦ－50　焼けてしまりがある。遺物は小量出土している。
【盛土Ｙ－３層の焼土】（図Ⅳ－102）
ＲＭＹＦ－39　遺物は少量出土している。
ＲＭＹＦ－40　小型だが焼けてしまりがある。灰が多く混じる。遺物の出土はない。
ＲＭＹＦ－41　小型だが焼けてしまりがある。遺物は少量出土している。
ＲＭＹＦ－42　小型だが焼けてしまりがある。遺物の出土はない。
ＲＭＹＦ－43　不整形で灰が多く混じる。遺物は少量出土している。
ＲＭＹＦ－44　小型で遺物の出土はない。
ＲＭＹＦ－45　小型で遺物の出土はない。
ＲＭＹＦ－46　骨片、炭化材、灰が多く混じる。遺物は少量出土している。
ＲＭＹＦ－47　大型だが薄い。遺物は土器がやや多く出土している。
ＲＭＹＦ－48　焼けてしまりがある。灰が多く混じる。
ＲＭＹＦ－49　小型だが焼けてしまりがある。遺物は少量出土している。
【盛土Ｙ－10層の焼土】（図Ⅳ－102）
ＲＭＹＦ－26　焼けてしまりがある。遺物は少量出土している。

ｄ．軽石集中等

軽石の集中は数ヵ所みられた。土層断面ａ－ａ’では、レンズ状の断面をした軽石集中部分が２ヵ所みられる。

ｅ．遺物出土状況

盛土Ｙの遺物総数は630,668点である。土器等532,714点（うち土製品2,016点）、石器・礫等97,954点（うち石製品116点）、そのほか炭化材や骨片、赤色顔料塊などの自然遺物も、土壌水洗のほか手取りでも多量に回収できた。

土器は主体時期である縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたる土器が圧倒的に多く、99.0％を占める。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は１：32で、Ⅳ群ｃ－１類の占める割合が高いものの、盛土Ｄ・Ｅなどと比較するとその割合は幾分小さくなっている。西部の斜面側の盛土Ｙ－２層・３層にⅣ群ｂ－４類が多いようである。土製品は焼成粘土塊が1,850点と非常に多く出土しているが、それ以外の土製品の出土数が盛土ブロックの中で最も多いことが大きな特徴である。特に土玉の点数が多く、集中箇所もある。また微隆線による装飾のある赤彩土偶の一部など、特殊なものも数多く出土している。そのほか円盤形土製品・三日月形土製品・垂飾・スプーン形の土製品・スタンプ形土製品など多様な土製品が出土している。

石器・礫等では、フレイクチップが90.9％を占め圧倒的に多いが、他の盛土同様石鏃が定形的石器のうち60％を超えている。以下スクレイパー・石錐・石斧が続いている。盛土遺構－上位の標準的な割合を示している。（Ⅸ章）。石製品は土製品同様、盛土ブロックの中で最も多数出土したことが大きな特徴である。特に玉類・垂飾が顕著にみられた。石材はヒスイ製５点を初め、カンラン岩製・滑石製など多様である。また、石棒片・異形石器も数多く出土し、オロシガネ状石製品（破片含む）なども出土している。

層位別では、盛土Ｙ－１層が163,353点、Ｙ－２層が306,119点、Ｙ－３層が64,606点、Ｙ－10層が30478点、Ｙ－11層が17,691点、ベルト各層合計が20,082点、残りが焼土およびトレンチ分で、層厚・分布域に応じてＹ－１・２層が特に多く出土している。土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－110～112に層位別に示した。これらは各層位の層厚（図Ⅳ－95・96などを参照）と比較しなければならないが、Ｙ－１層の土器はほぼ層厚に対応した分布を示している。Ｙ－２層でも層厚同様、東西２箇所に分布の中心がある様子がうかがえる。しかし、同じＹ－１層でもフレイクチップではその濃淡に差が出ており、出土数の多少が目立ってくる。また、土器・石器とも一部で非常に遺物量の多い小グリッドがある（土器：Ｙ－２層ｙ－74-16、黒曜石フレイクチップ：Ｙ－３層ｙ－73-５など）。

遺物集中

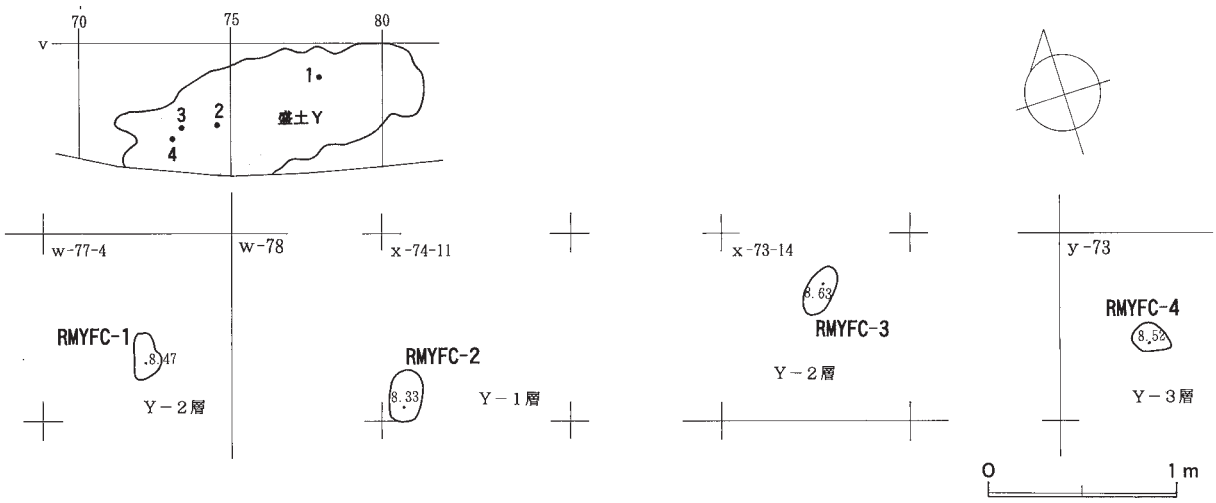
盛土Ｙでは、各層にわたって遺物が集中して出土する範囲があった。フレイクチップ集中（ＲＭＹＦＣ）４ヵ所、赤色顔料（？）の集中（ＲＭＹベンガラ）３ヵ所、土玉集中１ヵ所がある。しかし、特に土器は層厚の割に破片の状態で散在して出土するものがほとんどで、単独出土のものや同一個体がまとまって出土したものは少なかった。

①フレイクチップ集中

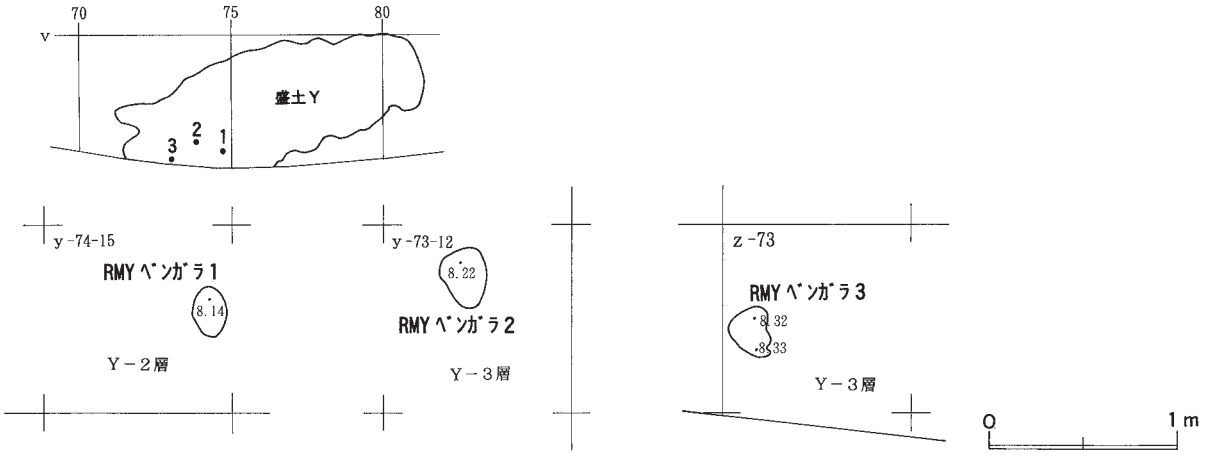
ＲＭＹＦＣ－１　ＲＭＹ－１層のｗ－77-４区で検出。集中範囲0.25ｍ×0.16ｍ。黒曜石のフレイクチップが112点出土。

ＲＭＹＦＣ－２　ＲＭＹ－１層のｘ－74-11区で検出。集中範囲0.28ｍ×0.18ｍ。整理作業中のミスにより紛失。

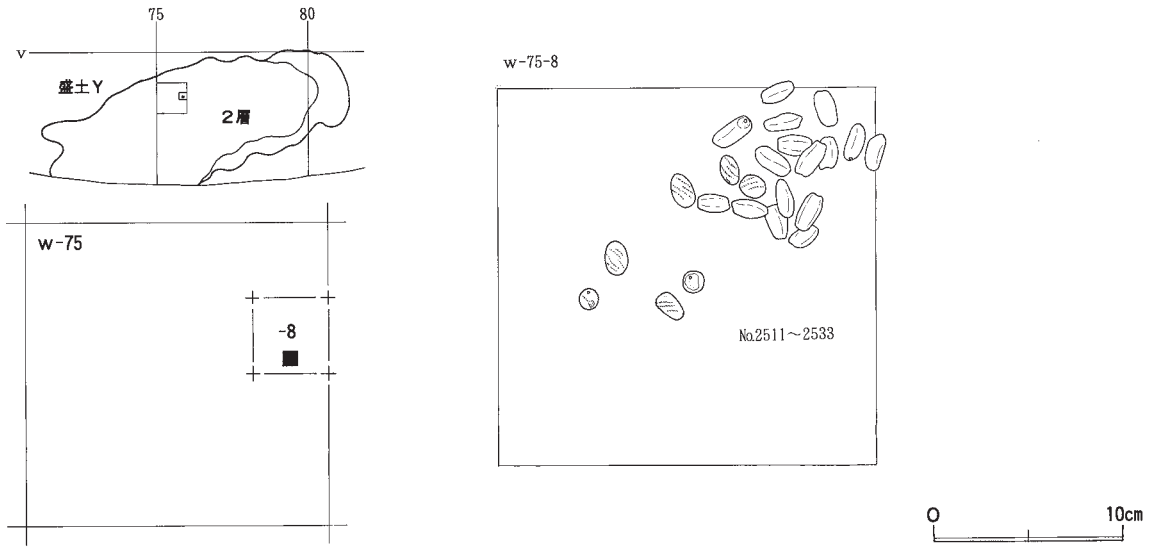
ＲＭＹＦＣ－３　ＲＭＹ－２層のｘ－73-14区で検出。集中範囲0.28ｍ×0.14ｍ。黒曜石のフレイクチップが145点出土。



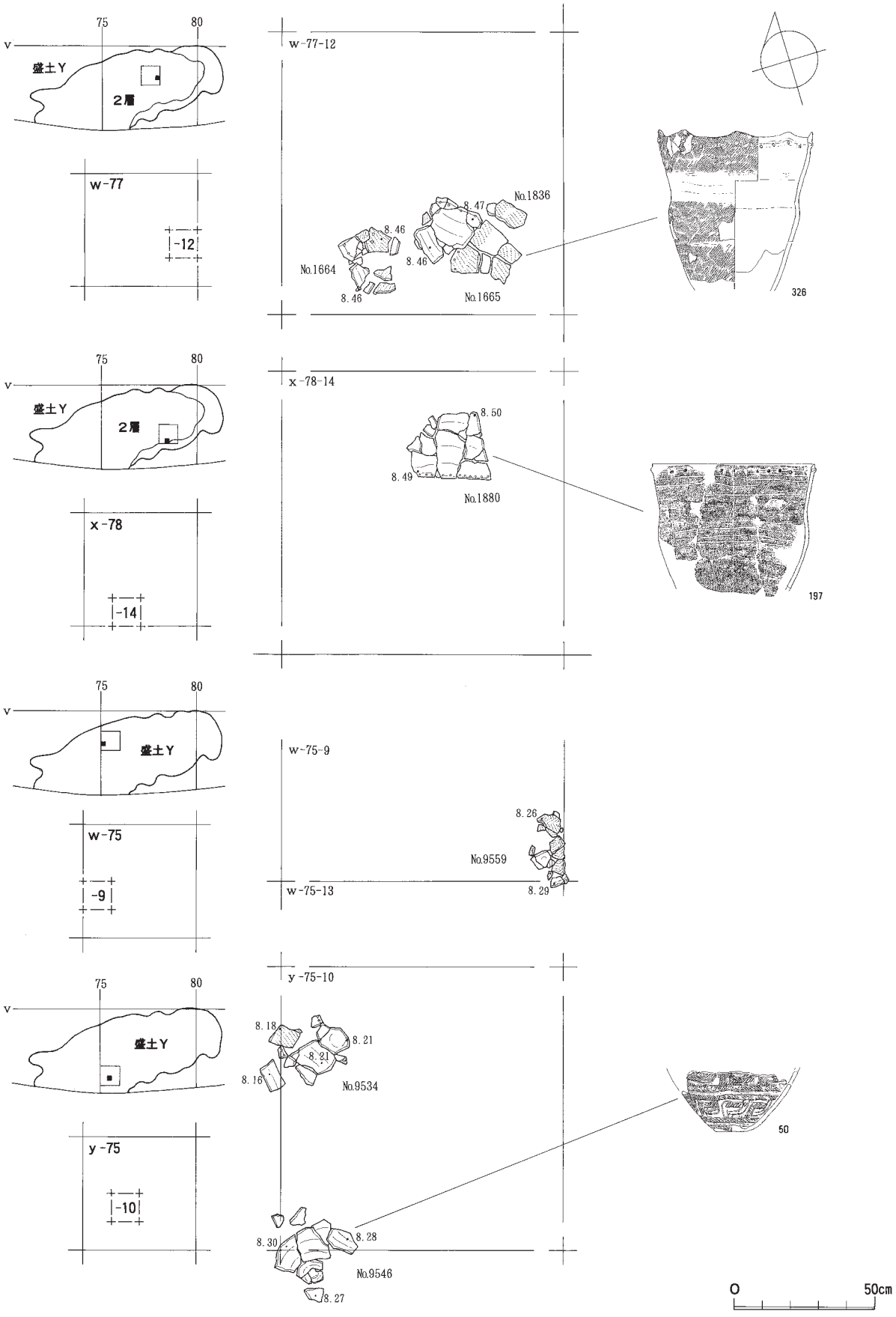
図Ⅳ－103　盛土Ｙフレイクチップ集中



図Ⅳ－104　盛土Ｙベンガラ集中



図Ⅳ－105　盛土Ｙ土玉集中



図Ⅳ－106　盛土Ｙ遺物出土状況

ＲＭＹＦＣ－４　ＲＭＹ－３層のｙ－73-１区で検出。集中範囲0.22m×0.15m。黒曜石のフレイクチップが578点出土。

②赤色顔料（？）の集中

盛土の上面で赤色顔料とみられる薄い部分を検出した。

ＲＭＹベンガラ１　ＲＭＹ２層のｙ－74-15区で検出。集中範囲0.26m×0.19m。

ＲＭＹベンガラ２　ＲＭＹ３層のｙ－73-12区で検出。集中範囲0.32m×0.25m。

ＲＭＹベンガラ３　ＲＭＹ３層のｚ－73-１区で検出。集中範囲0.27m×0.23m。

なお、ベンガラ３については保存処理を施している。

③土玉集中

盛土Ｙ－２層のｗ－75-８区で検出した。約20㎝×10㎝の範囲に23個の土玉が繋がれたような状態で出土した。個々の土玉は２㎝前後の楕円形・管玉状の形態で整っている。直下や周囲に、特に色調の変化する土壌や落ち込みなどは確認できなかった。

④土器の集中箇所

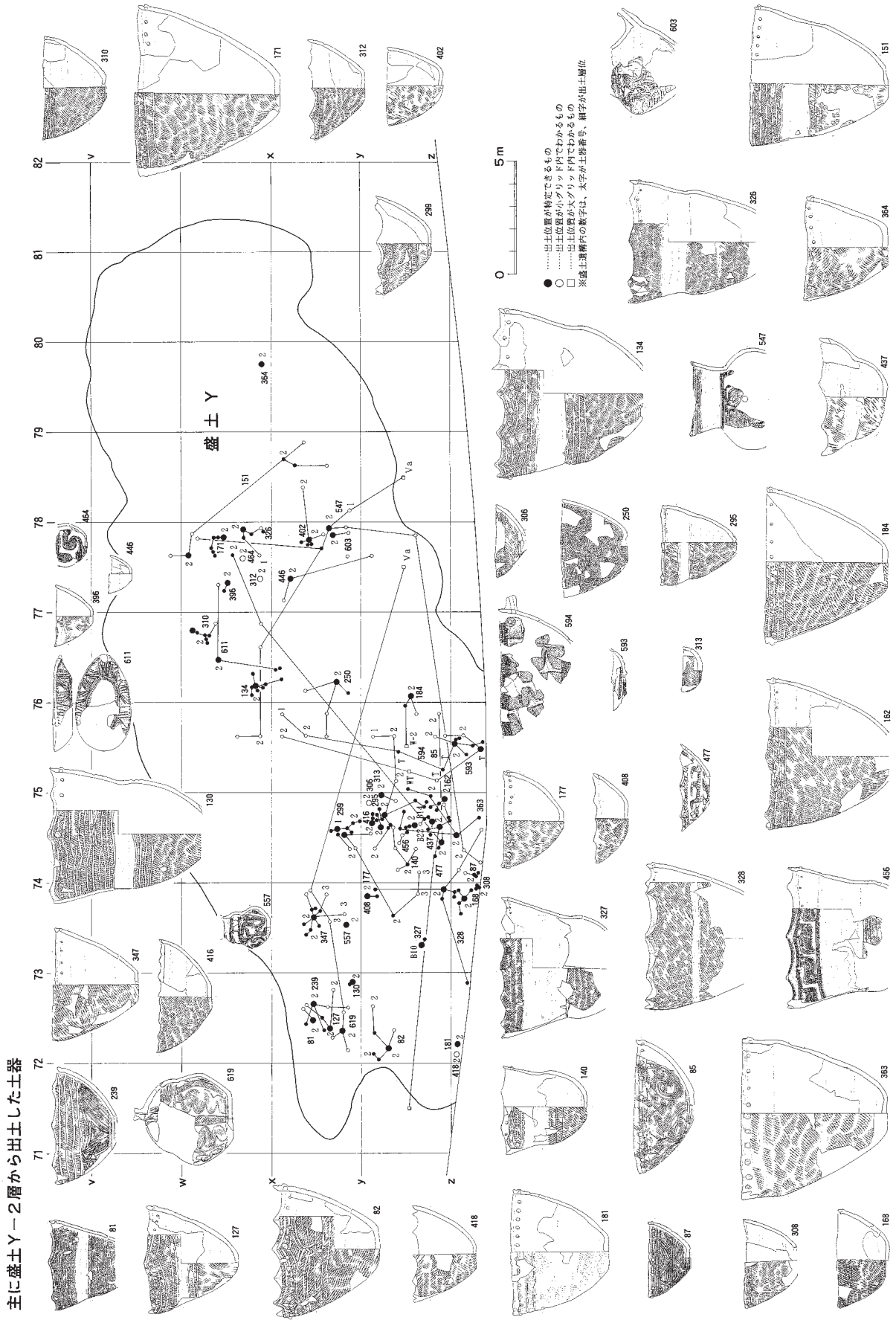
件数は少ないものの、ある程度のまとまりをもって出土する土器があり、一部を図Ⅳ－106に示した。326の土器は側面の大型破片が重なるように出土した。また197の土器は、側面の大型破片が広げられたような状態で出土した。50の土器も同様である。

遺物の接合状況

遺物の接合状況について、特に復元土器のデータについて図示した（図Ⅳ－107～109）。各層位とも比較的まとまった範囲での接合が多い。Ｙ－１層では、層厚に大きな差はないものの、復元できた土器は西部の73・74ライン付近に多かった。それ以外では他の層位と接合するものが散在する。Ｙ－２層では層厚のある東西２つの高まりから復元できた土器が多く出土しており、接合破片の範囲もある程度まとまっている傾向にある。Ｙ－３層でもある程度の範囲でまとまって接合する傾向にある。またベルト各層とも接合している。一方、盛土間をまたいで接合した復元土器もある。近接する盛土Ｚとの間のほか、遠く盛土Ｅ・盛土Ｄとも接合している。これらの接合は北東－南西方向で接合するものが多く、南側盛土遺構全体の長軸方向と一致している。さらに、図示していないが赤彩土偶（図Ⅴ－87土器628）などは、Ｒ地区内だけでなく北側盛土遺構出土土器と接合している。

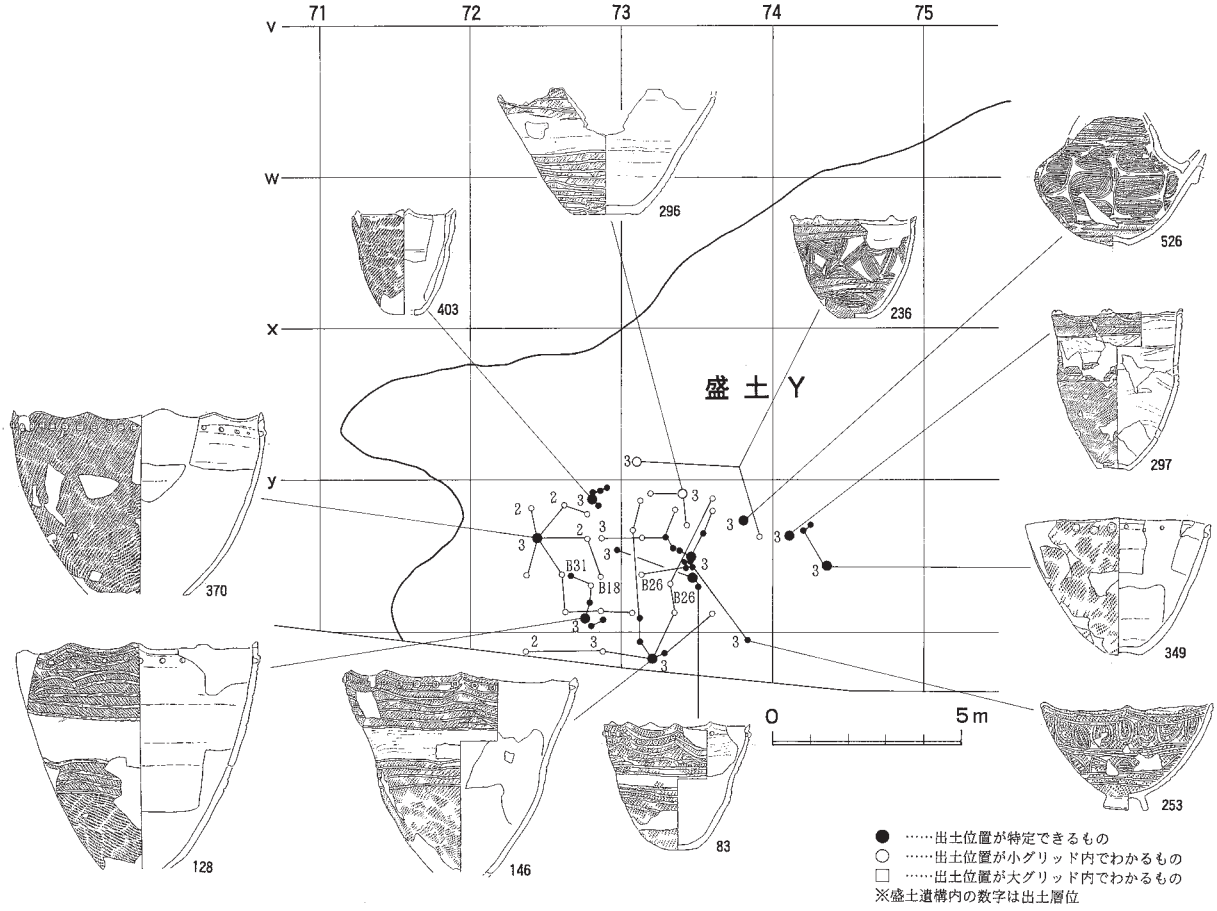
石器では、比較的距離の長い間での接合例も複数見られ、盛土Ｙ内での接合のほか、盛土Ｅと接合する石斧、盛土Ｇと接合するたたき石、盛土Ｄと接合するすり石、盛土Ｅと接合する石棒をⅤ章に例示した。また、一部下位の盛土と接合する石器や遠く離れた包含層（Ⅴａ層・Ⅲ層）と接合する石器も複数ある（図Ⅴ－206・207）。

図Ⅳ－107　盛土Y復元土器接合図（1）

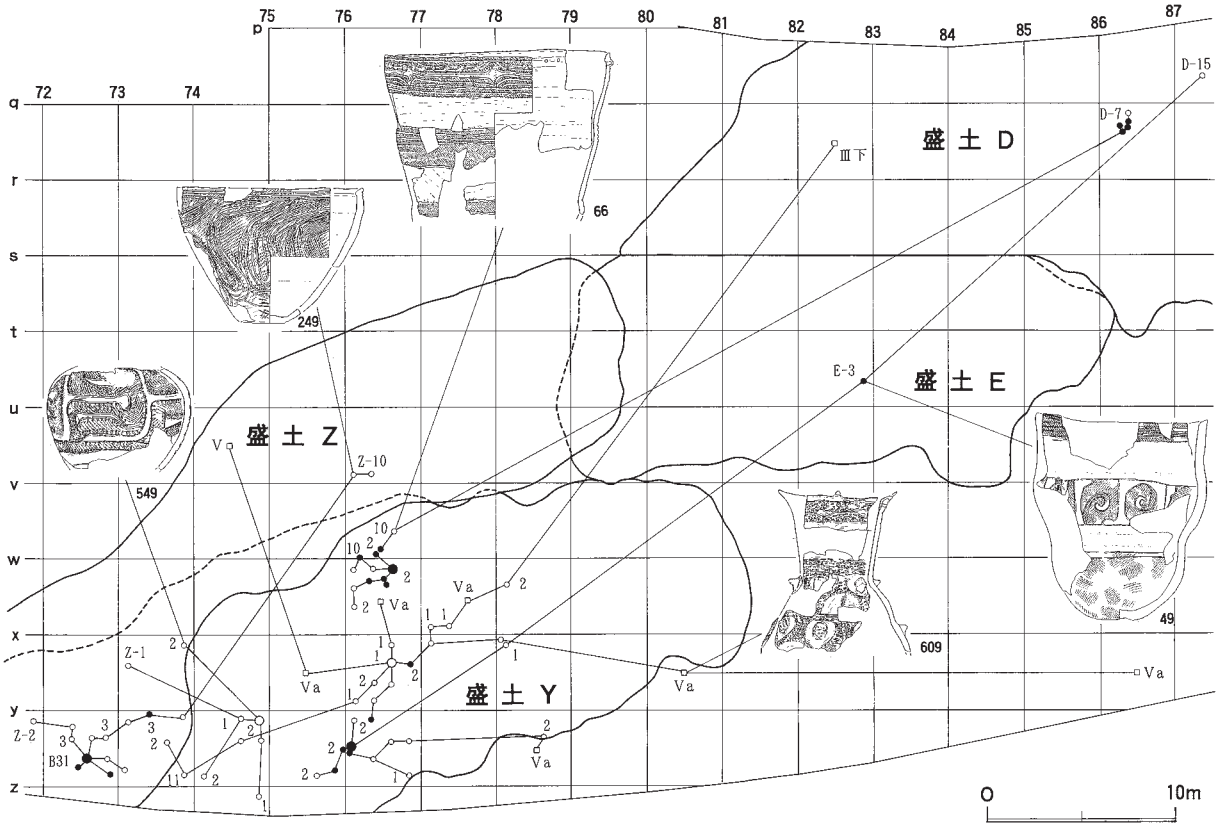


図Ⅳ－108　盛土Y復元土器接合図（2）

主に盛土Ｙ－３層から出土した土器

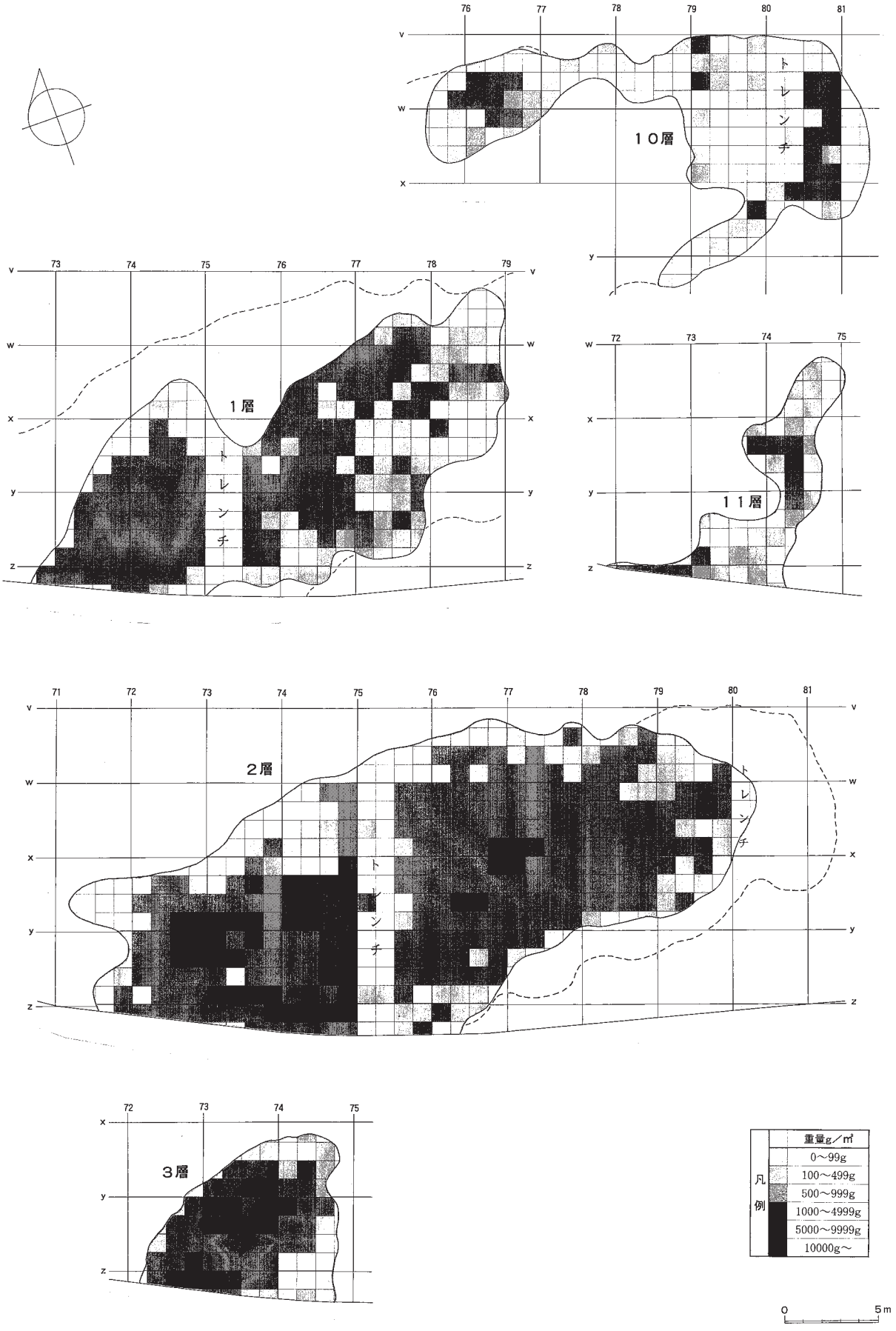


盛土ブロック間で接合した土器



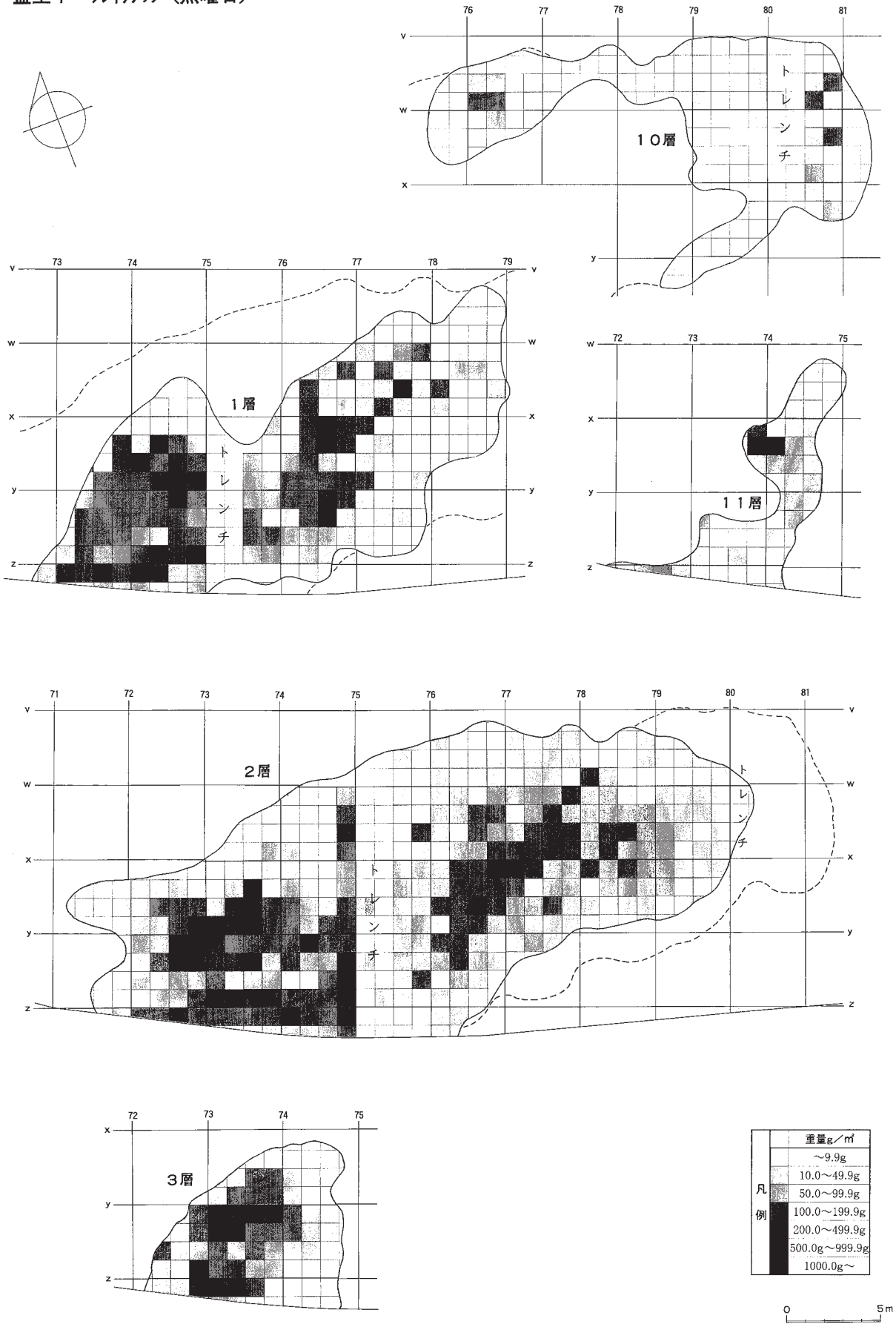
図Ⅳ－109　盛土Ｙ復元土器接合図（３）

盛土Ｙ－土器



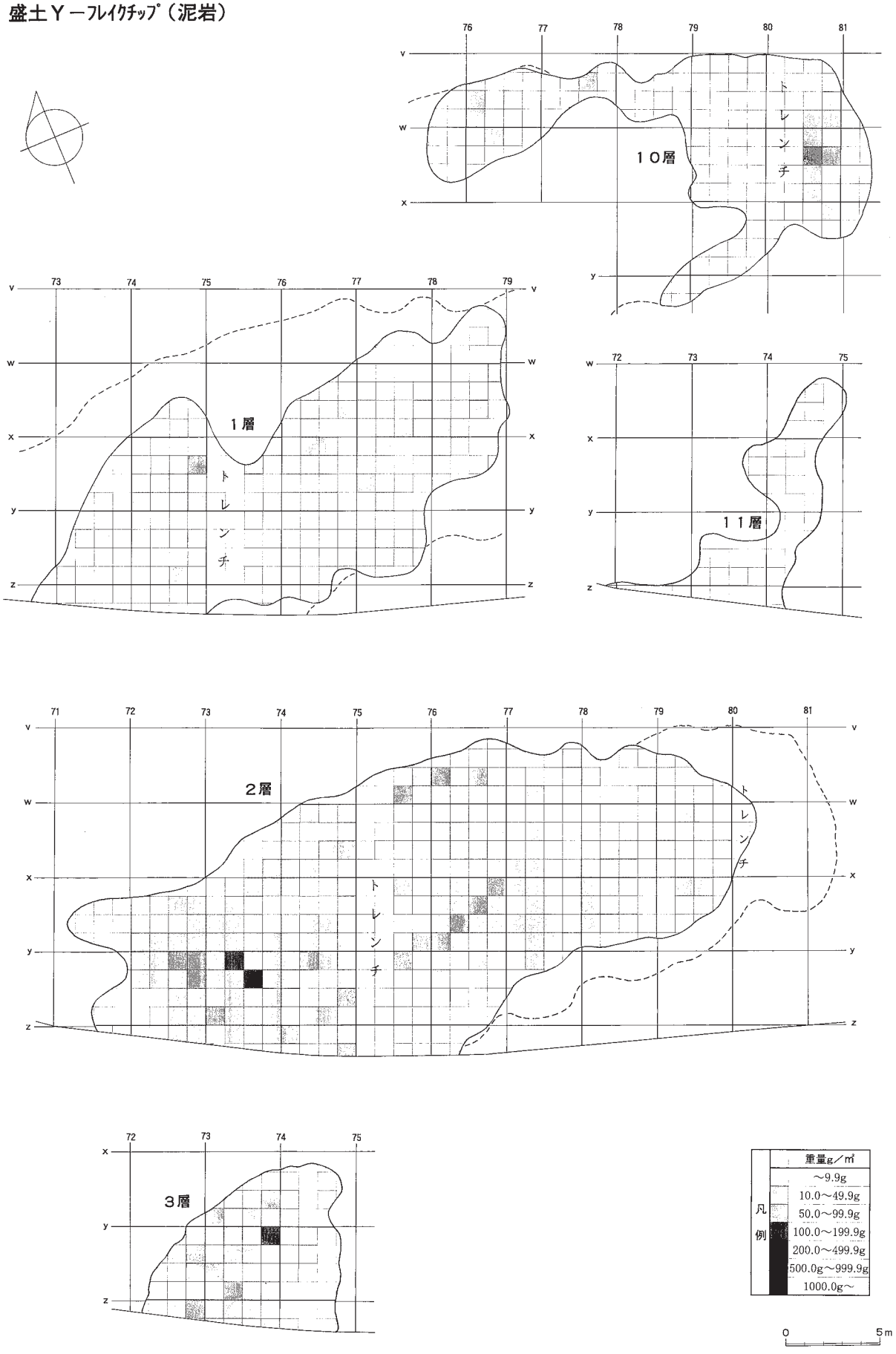
図Ⅳ－110　盛土Ｙ土器等重量分布図

盛土Ｙ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（黒曜石）



図Ⅳ－111　盛土Ｙフレイクチップ重量分布図（１）

盛土Ｙ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（泥岩）

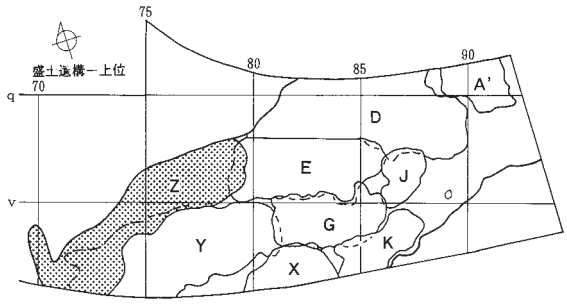


図Ⅳ－112　盛土Ｙフレイクチップ重量分布図（２）

（９）盛土Ｚ

ａ．概要

規模　45.0m×19.2m／
最大層厚　0.24m
推定土量　約26.1㎥



図Ⅳ－113　盛土Ｚ位置図

盛土Ｚは、調査区の中央部西寄り付近に広がり、南側は調査区外に延びている。ほぼ北から南へ傾斜する標高9.3m～8.0mの緩斜面上に形成されている。南側の低地部と西側の沢地形の間に舌状に張り出した頂点部に広がっている。明瞭な高まりは見られない。東側に盛土Ｄ・Ｅ、南側に盛土Ｙがあり、また下位の盛土遺構（盛土Ｖ・Ｗ）上にある。盛土Ｄ・Ｙとは重複していて、これらよりは新しい盛土である。ｙ－73周辺では約12mにわたって盛土Ｙ上に広がっている。

確認・調査　75ラインのトレンチ調査、試掘溝・撹乱（ｘ－71・73、ｕ－75、ｓ－78）などの壁面精査によってⅢ層とＶｂ層および下位盛土の間に、暗茶灰色土≫軽石と暗褐灰色土＞軽石の二層が堆積することを確認した。このためｒラインからｚライン、69ライン～80ラインとⅢ・Ｖａ層を除去後精査し、盛土の検出作業を行った。この結果ｘ・ｙ・ｚ－70付近からｓ・ｔ－79付近にかけて東西約43m、南北６ｍ～12m、細長い弧状の広がりを検出した。なお土層断面の観察で、暗茶灰色土≫軽石の層が暗褐灰色土＞軽石の層の上にあることが判明していたため、前者を盛土Ｚ－１層、後者を盛土Ｚ－２層とした。またｕ－76～79、ｖ－76・77周辺で茶灰色土＞軽石の土が見られたが、小トレンチで確認したところ盛土Ｚ－２層・盛土Ｙ上に乗っていることが判明した。これを盛土Ｚ－10層とした。

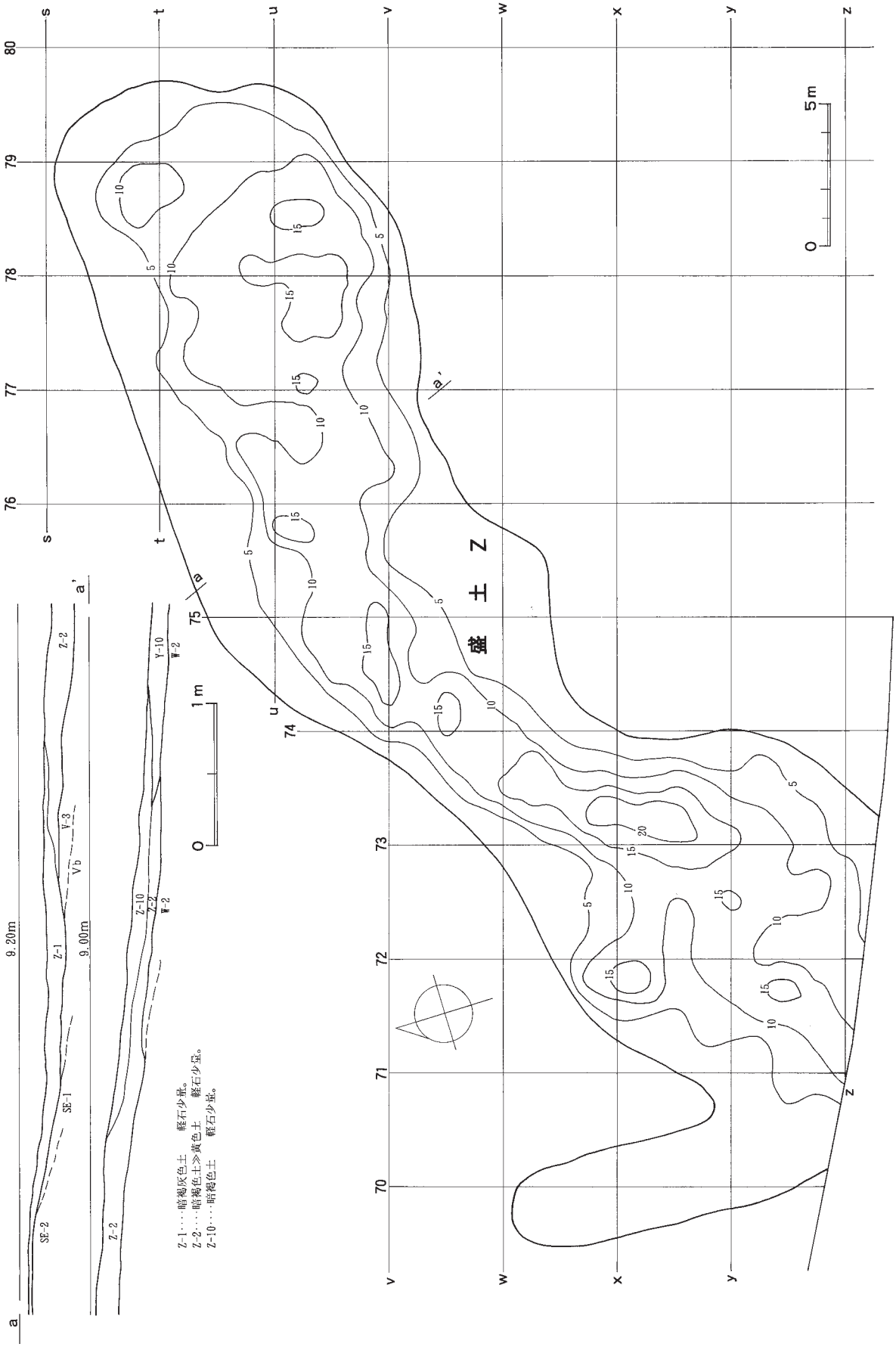
調査は他の盛土ブロックと同様、各グリットを１ｍメッシュで16分割し、盛土Ｚ－１層から約５㎝ずつ掘り下げ、盛土Ｚ－１層→10層→２層と調査を行った。遺物は、大型土器破片・土器の口縁部、定形的な石器、土製品・石製品をトータルステーションを用いて取り上げ、他は１ｍメッシュ単位で取り上げた。盛土の土壌はすべて採取した。

なお、盛土Ｚでは焼土や軽石集中などは確認できなかった。

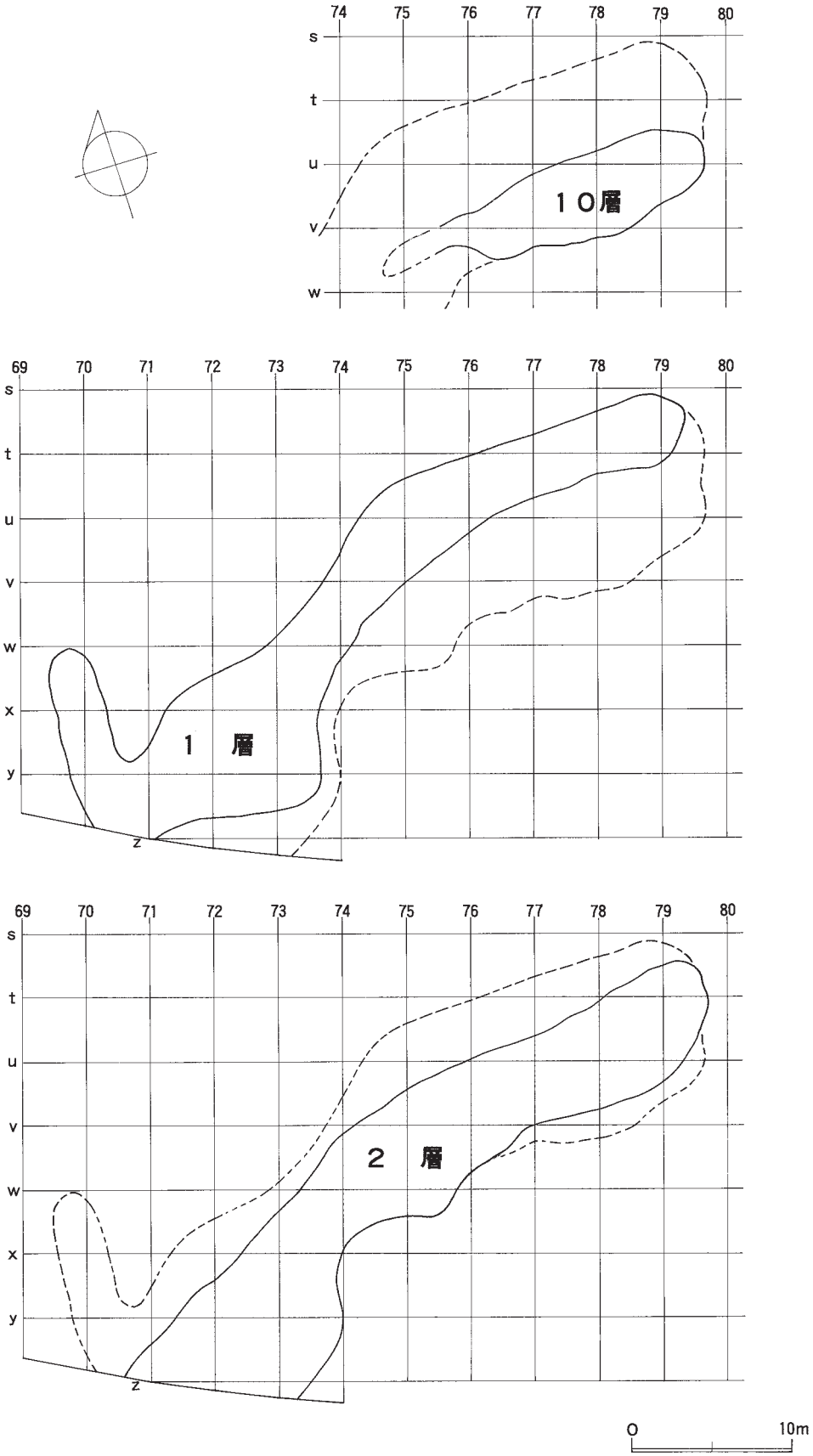
ｂ．土層

盛土Ｚ－１層　暗茶灰色≫軽石で、Ｖ層に黄色土が少量混入した土であろう。全体にボソボソした軟質土である。ｘ－76～79、ｔ－74～79、ｕ－73～76、ｖ－72～74、ｗ－69～73、ｙ－69～73に位置し、東西約43m、南北3.5m～10mに分布し、東西に細長い。最大層厚は約13㎝である。南北の断面で見ると浅い皿状を呈している。盛土Ｚ－２層の北側とＳＥ－１・２層、Ｖｂ層上に堆積したもので、盛土Ｚ－２層上にはあまり広がっていない。盛土Ｚ－２層の北側に１層を投棄していったものと考えられる。一部一括土器が出土しているが、全体的に小破片の遺物が多く、まとまった出土状況ではない。

盛土Ｚ－２層　暗褐灰色土＞軽石で、Ｖ層と黄色ローム土が混合した堅くしまった土で、大小の軽石が多量に混入している。全体に酸化鉄が付着し、高師小僧が多い。ｓ－78・79、ｔ－76～79、ｕ－74～79、ｖ－73～76、ｗ－72～75、ｘ－71～73、ｙ－70～73、ｚ－71～73に位置し、東西約43m、南北６ｍ～９ｍに分布し東西に細長い。75ラインより西側では盛土Ｙ上に、東側では盛土Ｖ・Ｗ上に堆積している。中央部（東西方向）が低い高まりを呈している。最大層厚は約20㎝である。一括出土で取り上げた土器などはなく、多量に遺物は出土しているが、まとまった状態ではない。



図Ⅳ－114　盛土Z層厚図および土層断面図



図Ⅳ－115　盛土Ｚ各層位分布図

盛土Ｚ－10層　茶灰色土＞軽石で、１・２層が動いて堆積したものである。ｔ－77～79、ｕ－75～79、ｖ－75～77に位置し、東西約18ｍ、南北1.5ｍ～４ｍ、東西に細長く広がっている。最大層厚は約15㎝である。２層と盛土Ｙが近接する付近のややくぼんだ処に堆積したものである。南北の断面で見ると浅い皿状を呈している。盛土Ｚ－１層・２層が動いた土であろう。

ｃ．遺物出土状況

盛土Ｚの遺物総数は149,046点で、土器等124,687点（うち土製品222点）、石器・礫等24,359点（うち石製品９点）、そのほか炭化材や骨片などの自然遺物も土壌水洗で回収できた。土器は縄文時代早期・前期・中期・後期のものが出土しているが、主体時期である縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたる土器が圧倒的に多く、99.5％を占める。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は１：19で、Ⅳ群ｃ－１類の占める割合が高いものの、他の盛土に比較してやや低い割合になっている。これは混在した土壌である盛土Ｚ－10層にⅣ群ｂ－４類がやや多く含まれていることが原因である。それ以外の層位では圧倒的にⅣ群ｃ－１類の占める割合が高い。土製品は焼成粘土塊が196点と多く出土している。またスタンプ形土製品が比較的多く出土していることが特徴である。ほかに三日月形の土製品やミニチュア土器が出土している。

石器・礫等では、フレイクチップが94.2％を占め圧倒的に多いが、他の盛土同様石鏃が定形的石器のうち60％を超えている。以下石錐・砥石・スクレイパーが続いている（Ⅸ章）。石製品は土量の割に非常に少ないことが特徴である。その中では玉類が７点出土している。礫・原石での特徴は、ｕ－75区で円礫状の黒曜石原石が２点並んで出土していることが挙げられる。

層位別では、盛土Ｚ－１層が27,104点、Ｚ－２層が77,850点、Ｚ－10層が40,509点、残りがトレンチ分で、Ｚ－２層が特に多く出土している。またトータルステーションで取り上げた件数は１層82件、２層667件、10層は4825件である。土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－118～120に層位別に示した。これらは各層位の層厚と比較しなければならないが、各層とも全体的に層厚を反映しているようである。ただし一部で出土量の少ない小グリッドがあり、礫や石器製品が多数出土しているか、土壌を中心として投棄されたかが想定される部分がある。

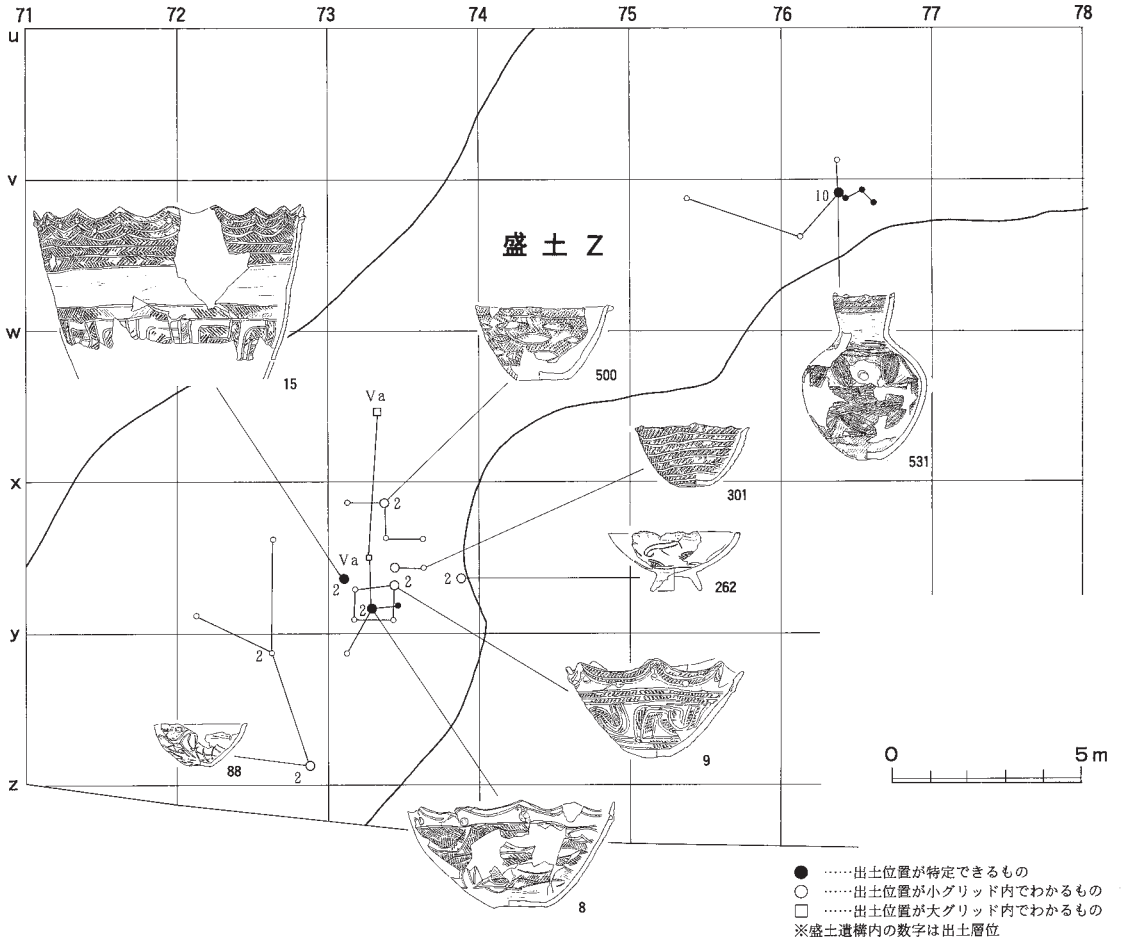
遺物集中

盛土Ｚからは、まとまりをもって出土する遺物が少なかった。土器は全体的には小破片であるものが多く、まとまった出土状況は少ない。そのような中で複数の個体を含んだまとまりがみられた例を示した（図Ⅳ－117）。

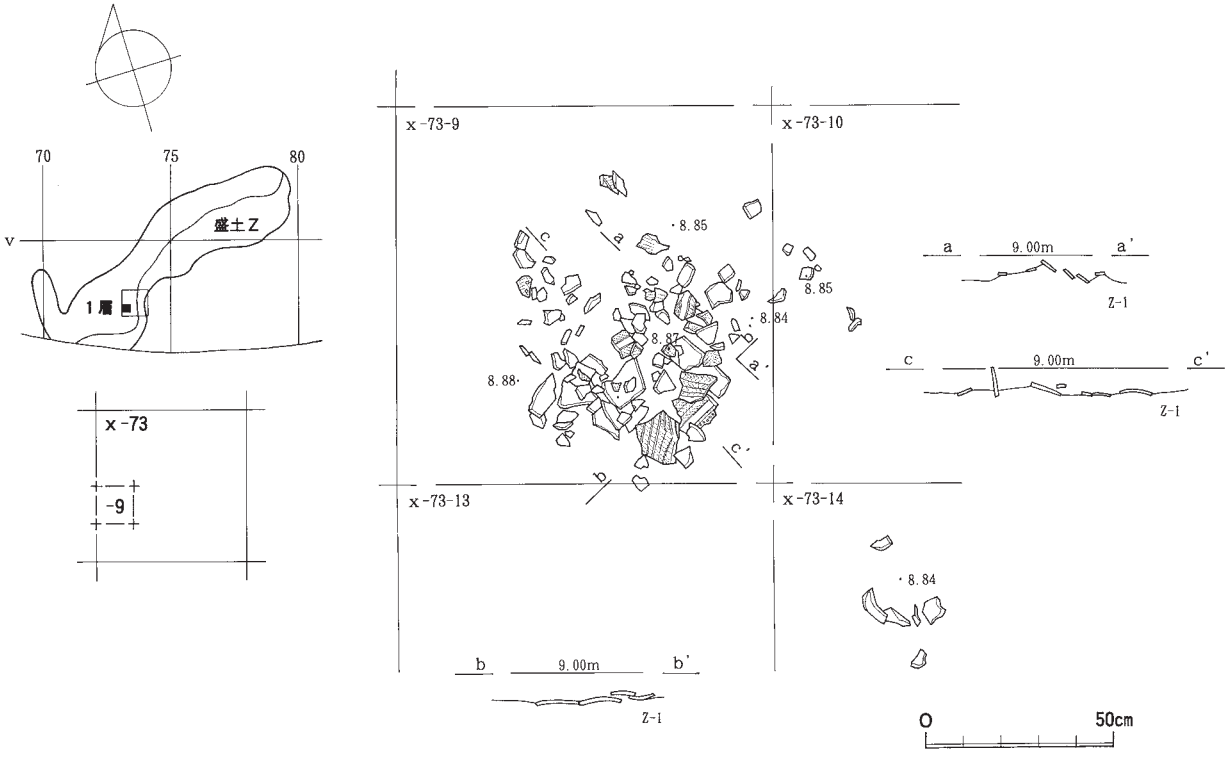
遺物の接合状況

遺物の接合状況について、特に復元土器のデータについて図示した（図Ⅳ－116）。全体的にⅣ群ｃ－１類でも新しい段階に含まれる土器が復元できた。盛土Ｚ－２層を主体として比較的狭い範囲内でまとまって接合する傾向にある。

石器では、比較的距離の長い間での接合例はみられなかった。

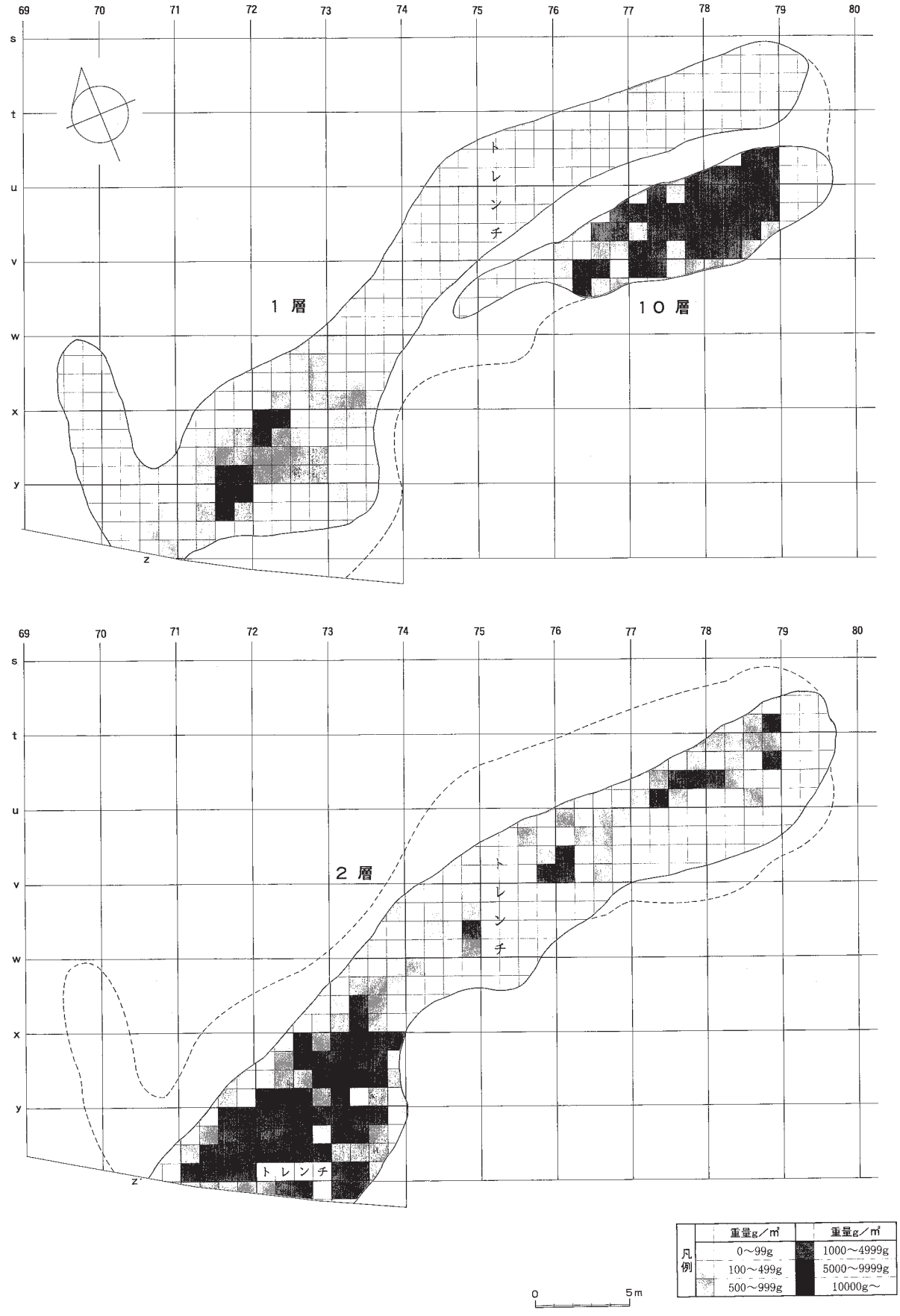


図Ⅳ－116　盛土Ｚ復元土器接合図



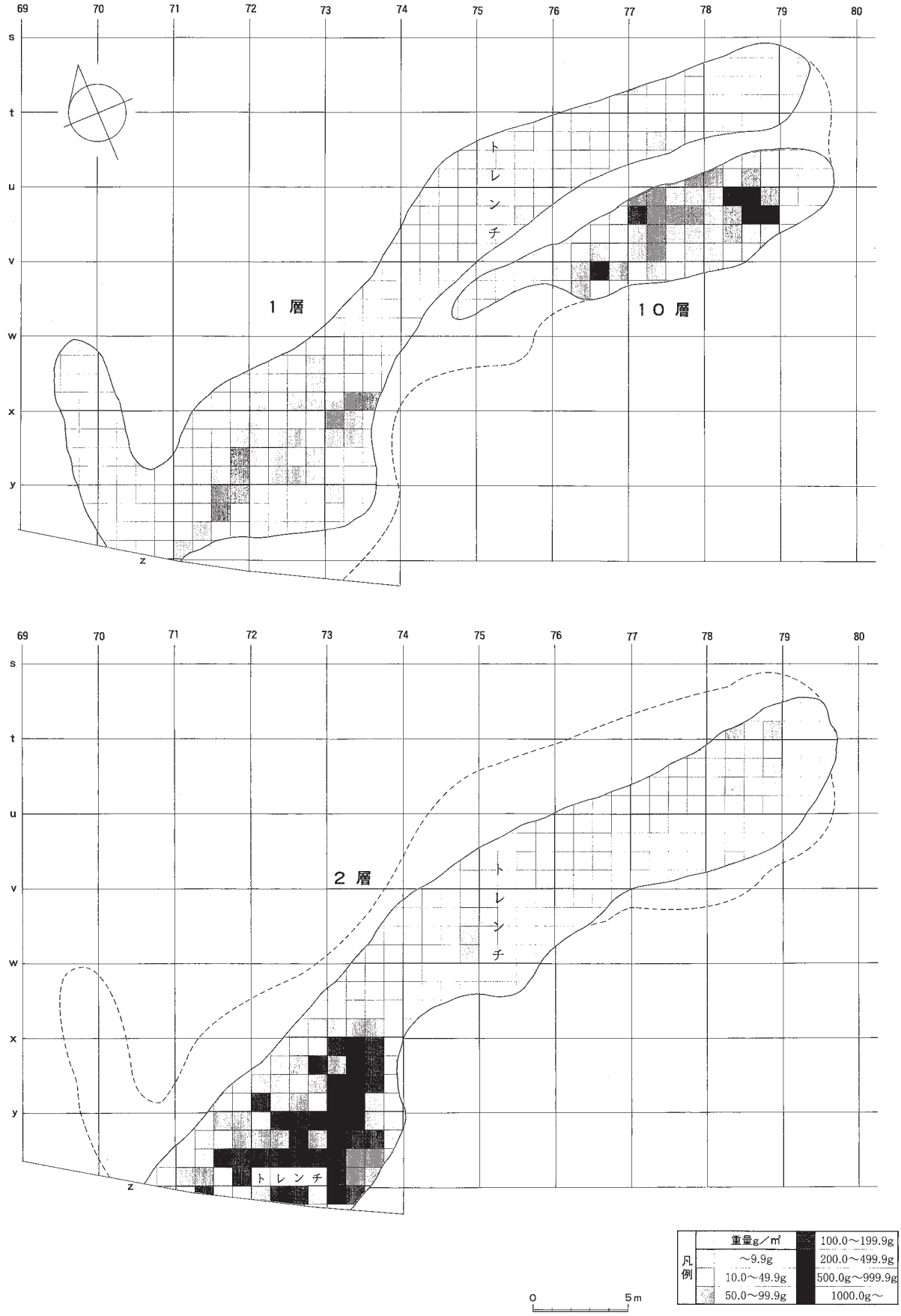
図Ⅳ－117　盛土Ｚ遺物出土状況

盛土Ｚ－土器



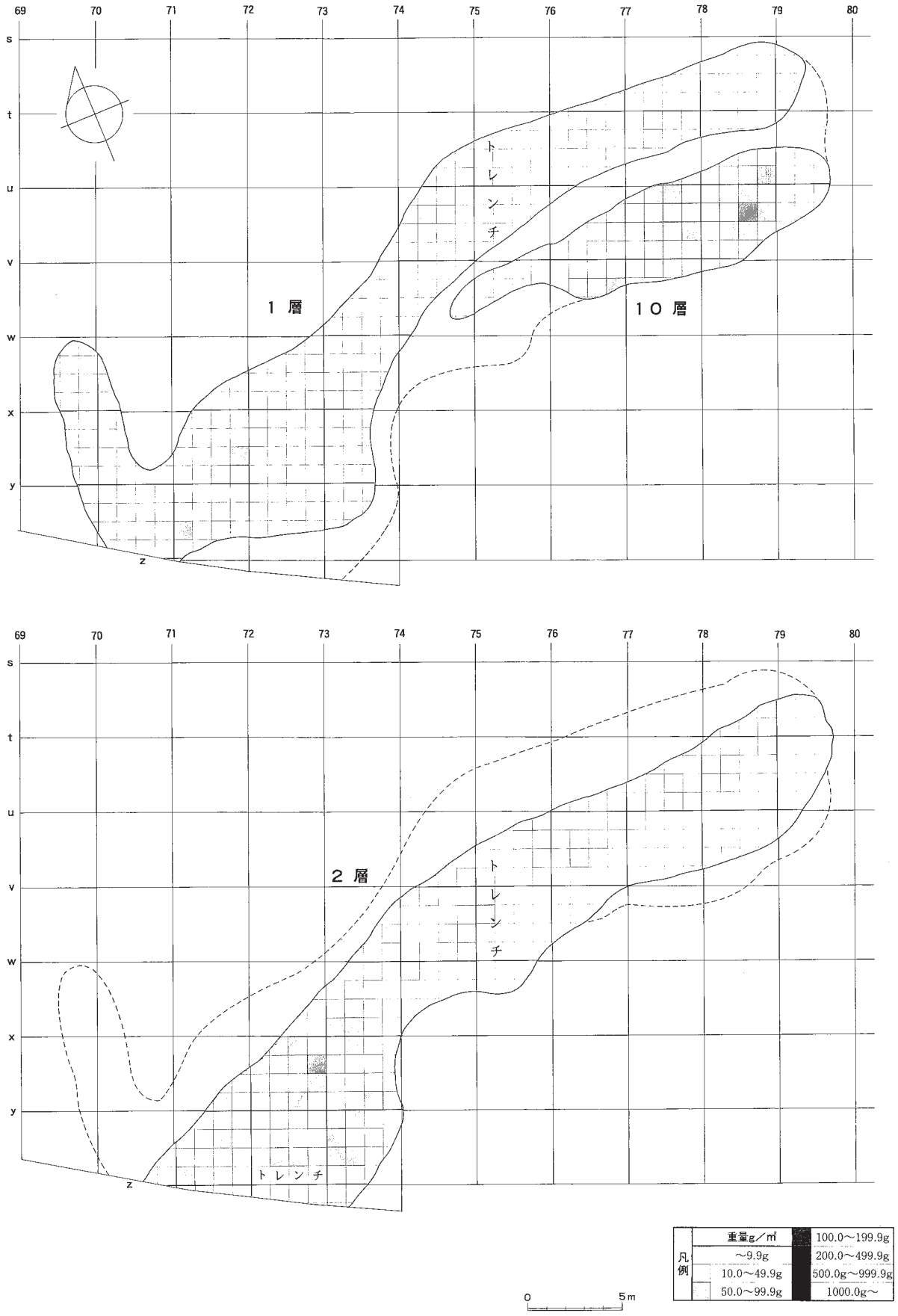
図Ⅳ－118　盛土Ｚ土器等重量分布図

盛土Ｚ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（黒曜石）



図Ⅳ－119　盛土Ｚフレイクチップ重量分布図（１）

盛土Ｚ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（泥岩）



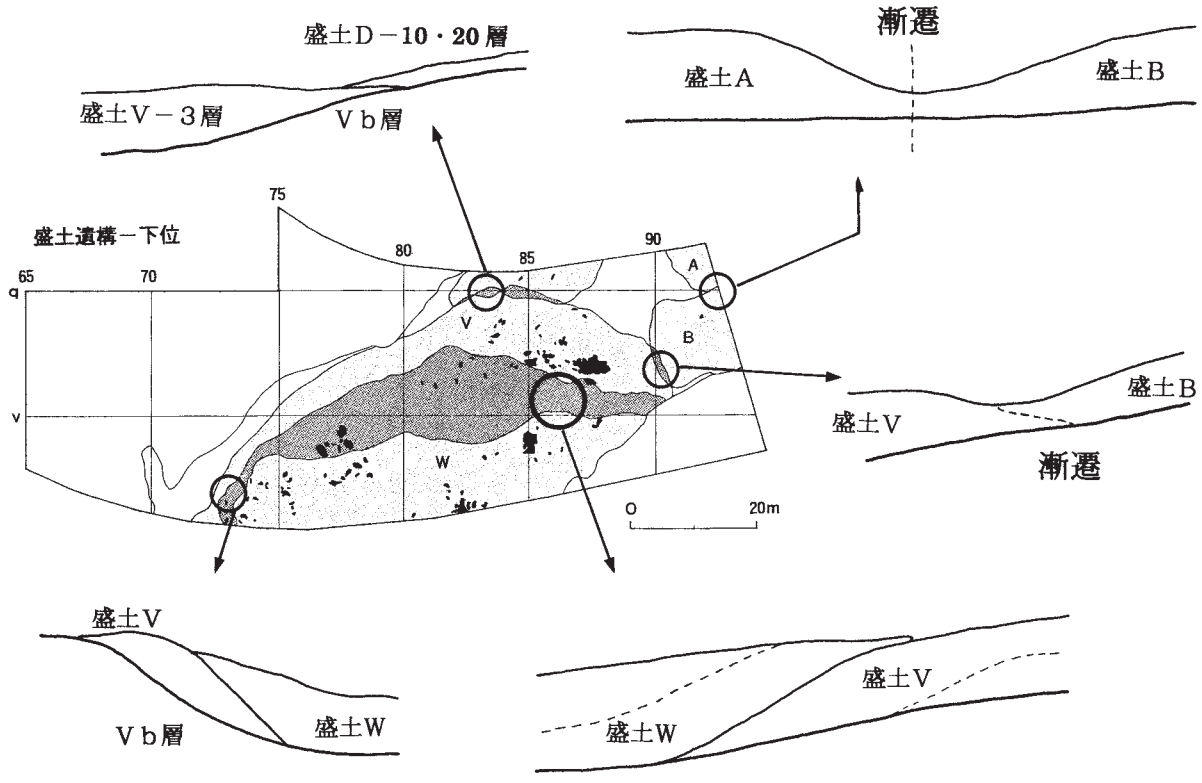
図Ⅳ－120　盛土Ｚフレイクチップ重量分布図（２）

３．盛土遺構－下位の調査

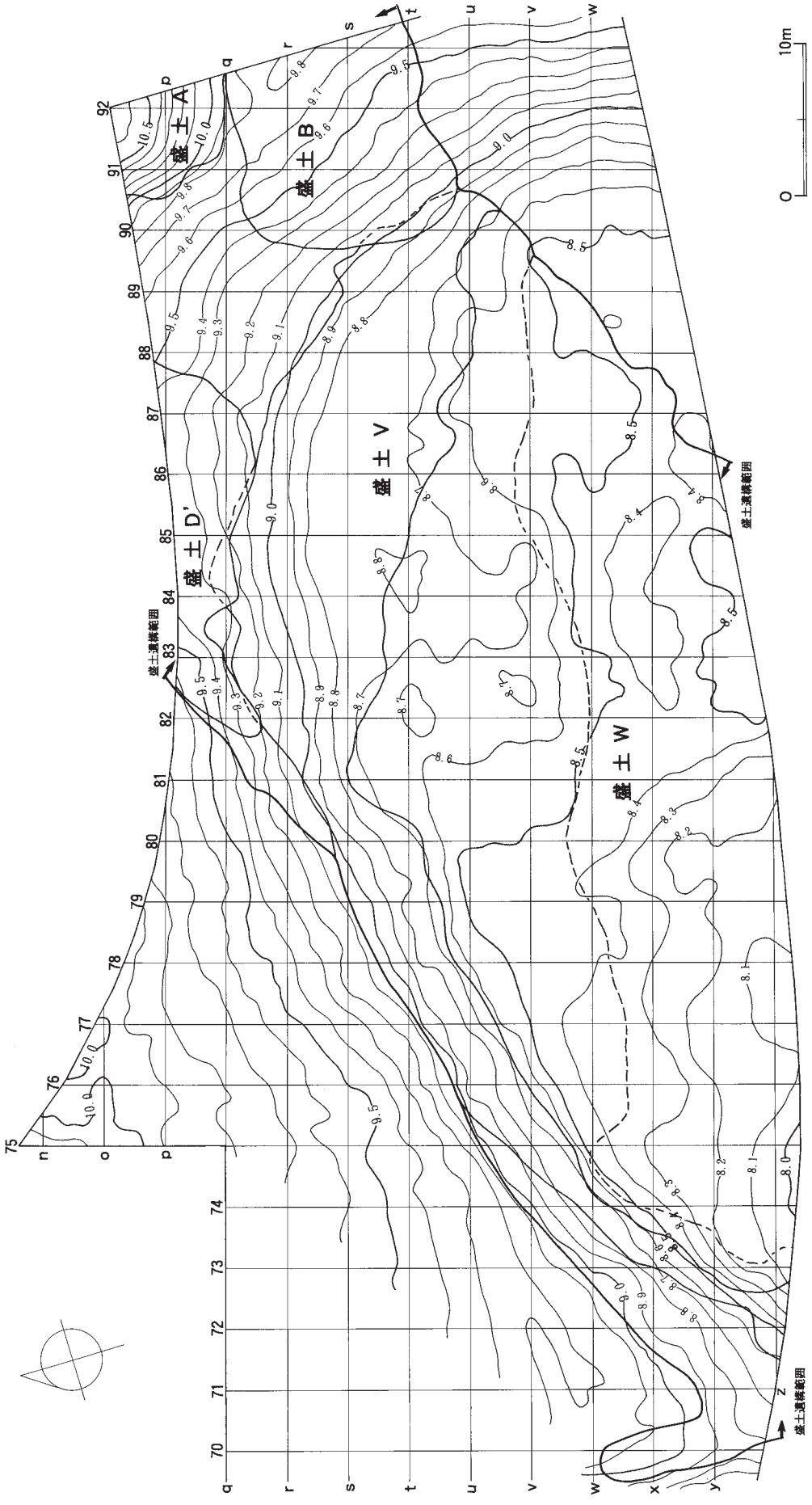
盛土遺構のうち、全体的に黒褐色土を主体とした暗い土壌でＥｎ－ａ軽石がやや少ない層を主体とする部分を「盛土遺構－下位」とした。全部で５ブロックに分け、盛土Ａ・盛土Ｂ・盛土Ｄの下位部分・盛土Ｗ・盛土Ｖがある。盛土間の重複関係は、下図に示す通り大きく重なり合うブロックと漸移的に変化する盛土ブロックがある。各盛土ブロックは、色調や軽石・炭化物の混入などから２～５の層位に細分している。盛土遺構―下位における遺構・遺物集中などは、焼土100ヵ所、フレイクチップ集中７ヵ所、灰集中３ヵ所などとなっており（図Ⅳ－４）、このほかに個体出土の土器や土器の集中箇所が多数確認された。中には、盛土形成の初期段階で埋設されたと考えられる状態で出土した土器もみられた。

盛土遺構－下位は最大層厚が50㎝以上あるものの、上面の高まりは比較的平坦である。盛土遺構形成面（図Ⅳ－２）と比較してみると、西側の傾斜面の端部はあまり変化がなく、その低地側で等高線の間隔が広がっており、急に厚みを増していることがわかる。低地側は微妙な高低差をもちながら層厚を増して、東部で徐々に薄くなっている。

土器・石器等の遺物総数は1,140,543点（フローテーション分の微細遺物除く）で、土器等949,514点、石器・礫等191,029点である。土器は主体時期である縄文後期後半が99.2％を占める。それ以外では縄文早期後半～後期前半まで出土している。また、主体時期の中で、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は、１：4であり、Ⅳ群ｃ－１類が多いものの、盛土遺構－上位と比較してⅣ群ｂ－４類が格段に高い割合になっている。石器・礫等は、フレイクチップ等が90.4％と圧倒的に多く、次いで礫が多い。定形的な石器の中では石鏃が52.1％を占めており、スクレイパー・石錐・砥石なども多く出土している。（Ⅴ章－３）。



図Ⅳ－121　盛土遺構－下位　土層模式図

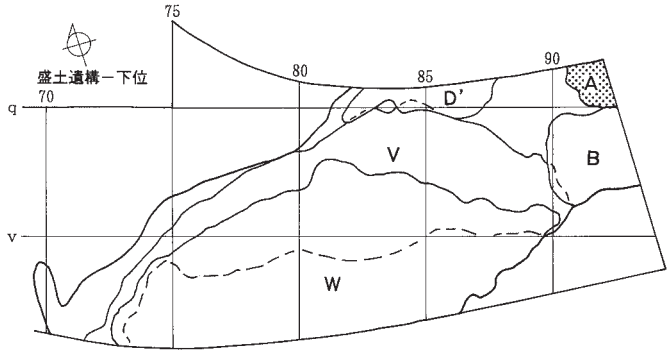


図Ⅳ－122　盛土遺構－下位　地形図

（１）盛土Ａ

ａ．概要

規模　7.8m×6.2m／
最大層厚　0.42m
推定土量　約21.8㎥
（盛土Ａ上位含む）



図Ⅳ－123　盛土Ａ位置図

調査区北東部に位置し、北側は調査区外へ広がっている。Ｉ地区（平成９年度調査『キウス４遺跡（３）』）で検出した「盛土Ａ」に続くものである。今回の調査で検出した盛土Ａは、北東から南西へわずかに傾斜する標高10.30～9.60mの緩斜面上に形成されている。高低差は約0.75mで、北東端が最も高くなっている。盛土Ａの南側には盛土Ｂが隣接し、盛土Ａ－上位が本遺構上に形成されている。盛土Ｂとの重複関係は明確に把握できなかった。

確認・調査　東壁トレンチの壁面観察によって確認した。調査当初は盛土Ａ－上位の下層に当たるものと考えていたが、90ライン北壁付近に東西に設定した小トレンチの土層観察の結果、色調・堅さ・含有物などに盛土Ａとはっきりとした違いが認められたことから、盛土Ａ（－上位）とは時期を異にする遺構と判断した。盛土Ａ－上位を調査し、その最下層に広がる１５層を除去し、盛土Ａの輪郭を検出した。

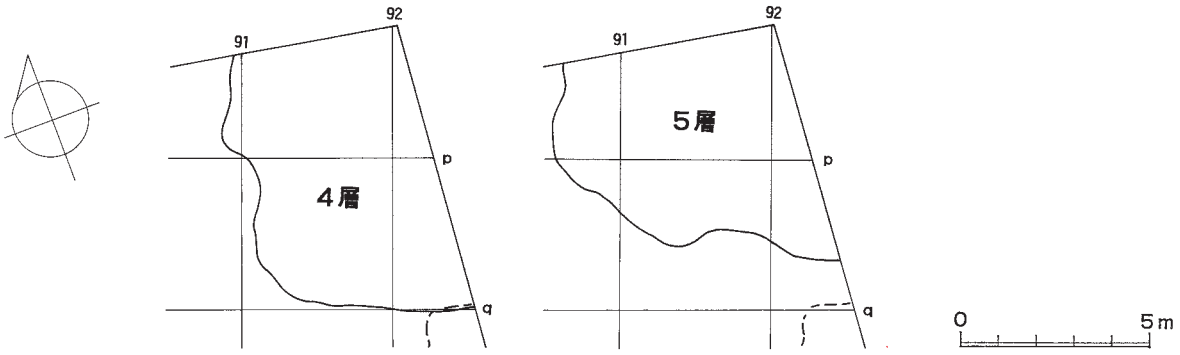
調査は他の盛土ブロック同様に各グリッドを１ｍメッシュで16分割し、西側から約5cmほどずつ掘り下げて行った。遺物は土器の口縁部・大型破片、定形的な石器、土製品・石製品をトータルステーションを用いて取り上げ、他は１ｍメッシュ単位で土ごと取り上げた。盛土Ａ－４層・５層とも大型破片は少ない。なお東壁トレンチの盛土Ａ－５層中で一括土器が出土している（図Ⅳ－126）。

ｂ．土層

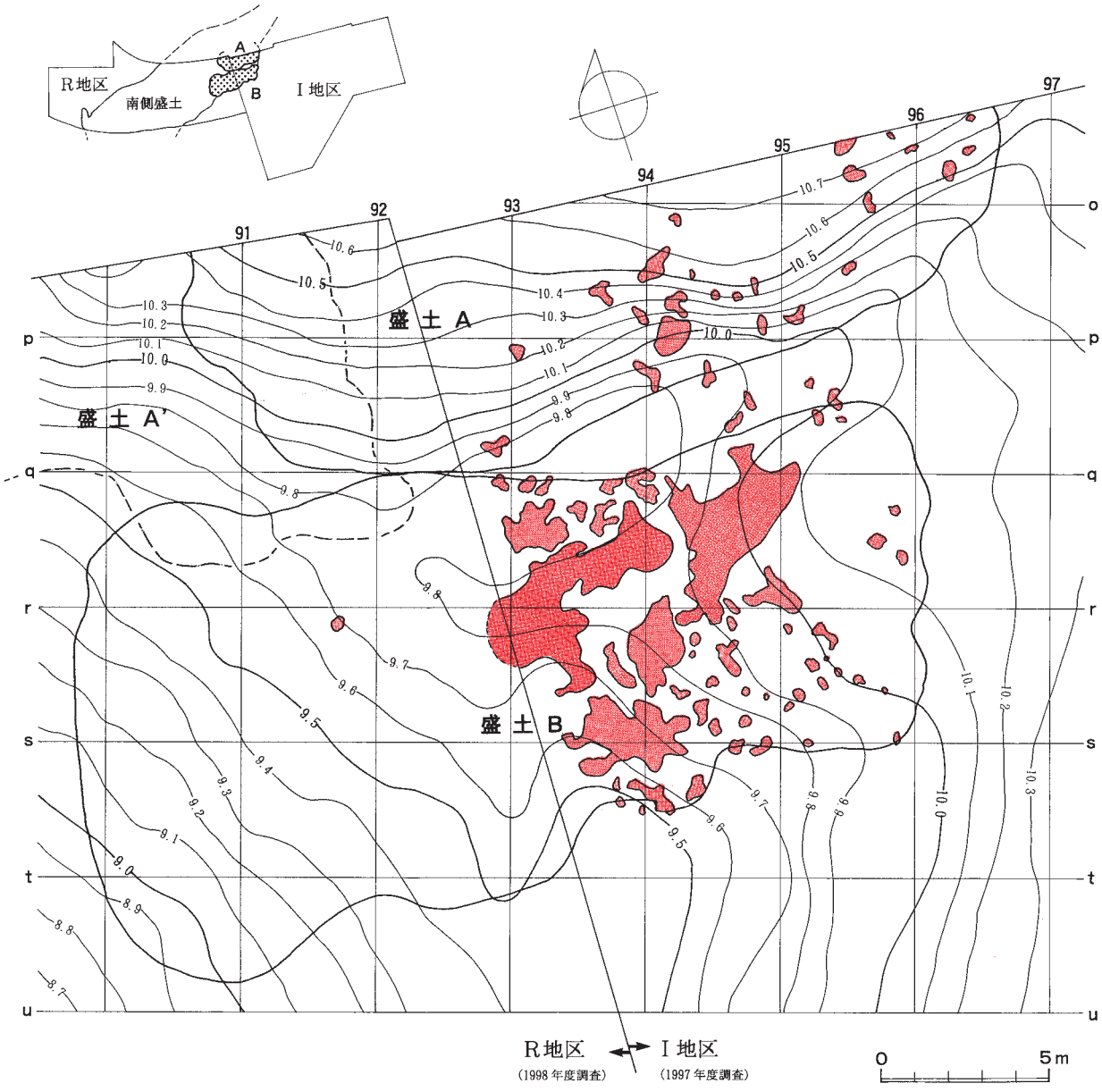
盛土Ａの土壌はＶ層・ロームと軽石が混じり合った土であるが、東壁での土層断面観察によりほぼ二層に分層されたことから、上層を４層（土層図で「Ａ－４」と表記）、下層を５層（「Ａ－５」、「Ａ－５’」）として４層から順次掘り下げた。なお、４層より上方は耕作によって削平されている部分が多い。

盛土Ａ－４層　Ｖ層と黄色土が混じり合った暗灰褐色土である。軽石を少量混入する。粒子が細かく均一で、堅くしまっている。ｏ－90～92、ｐ－91・92に分布し、東西約6.60m　南北約6.50mの範囲に広がっている。最大層厚は約21cmである。下層の５層の地形なりに堆積している。焼土等は確認できなかった。

盛土Ａ－５層　４層同様Ｖ層と黄色土が混じりあった土であるが、やや黒味の強い暗褐色土である。軽石を少量混入する。粒子はやや粗いが堅くしまっている。泥炭質で植物の繊維質がやや多く見られる。ｏ－90～92、ｐ－91・92に分布し、東西約6.60m、南北約6.50mの範囲に広がる。最大層は約22㎝である。平坦なＶｂ層上に堆積している。なおＡ－５とＡ－５’は同質の土であるが、炭化物を多く混入する土が薄く間層状に見られたことから分層した。ただしＡ－５’には軽石、炭化物が多いようである。



図Ⅳ－124　盛土Ａ各層位分布図



図Ⅳ－125　盛土Ａ・Ｂ地形図

ｃ．遺物出土の状況

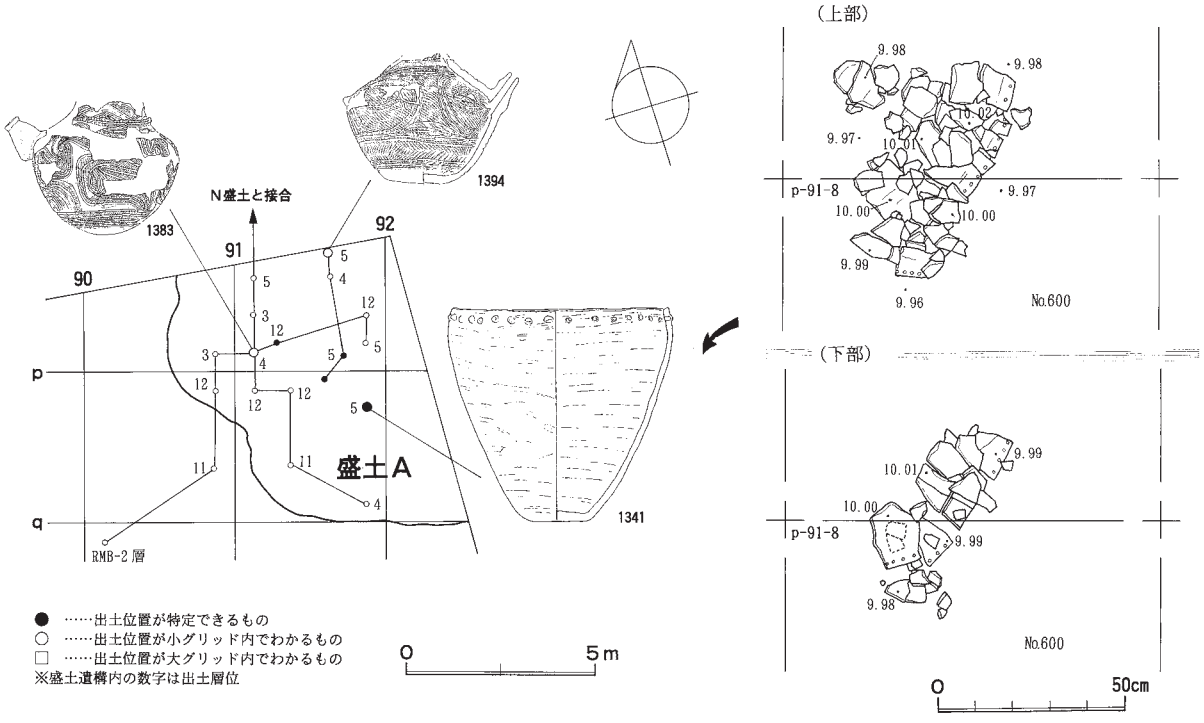
盛土Ａの遺物総数は10,690点で、土器等9,162点（うち土製品5点）、石器・礫等1,528点（うち石製品3点）、そのほか炭化材や骨片などの自然遺物が土壌水洗で回収できた。土器は縄文時代早期・前期・中期・後期のものが出土しているが、他の盛土に比較して縄文早期後半の土器の割合が高い。しかし主体時期はやはり縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたる土器で、98.3％を占める。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は1：5で、Ⅳ群ｃ－１類の占める割合の方が高いものの、Ⅳ群ｂ－４類の割合も大きくなっている。土製品は版面が菱形のスタンプ形土製品（図Ⅴ－87-1606）が出土しているほか、焼成粘土塊1点、ミニチュア土器1点などが出土している。石器・礫等では、フレイクチップが88.9％を占め圧倒的に多い。定形的石器では石鏃が60％を占めている。以下石錐・石斧が続いていおり、スクレイパーの占める割合が小さい（Ⅸ章）。石製品はオロシガネ状石製品などが出土している。

層位別では、盛土Ａ－４層が3,601点、盛土Ａ－５層が4,968点、残りがトレンチ分である。またトータルステーションで取り上げた件数は４層が45件、５層が99件である。Ａ－５層に大型破片や口縁部がやや多いようである。

土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－127に示した。一部に濃淡の差はあるものの、土器はおおむね層厚に相当する出土量を示している。黒曜石・泥岩のフレイクチップは遺物分布の偏りが目立つ小グリッドがある（黒曜石４層ｏ－91-9・13、泥岩４層ｐ－91-11など）。

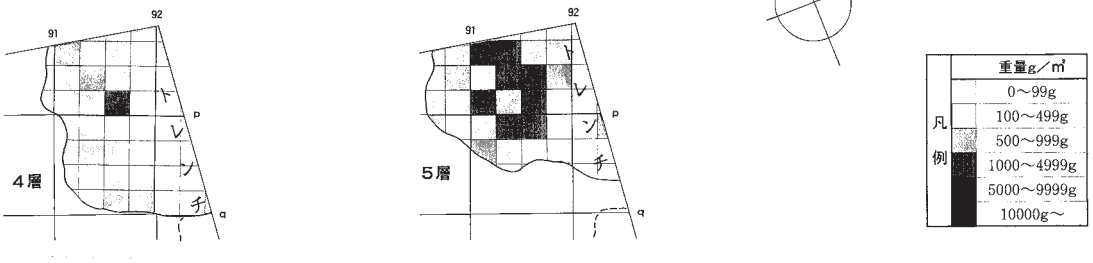
遺物集中

盛土Ａでは一部遺物が多く含まれる部分があるものの、まとまって出土した遺物は少なかった。そのような中で、トレンチ調査で出土した一括土器を掲載した（図Ⅳ－126）。大小の破片が折り重なるように１箇所からまとまって出土し、個体復元できた。

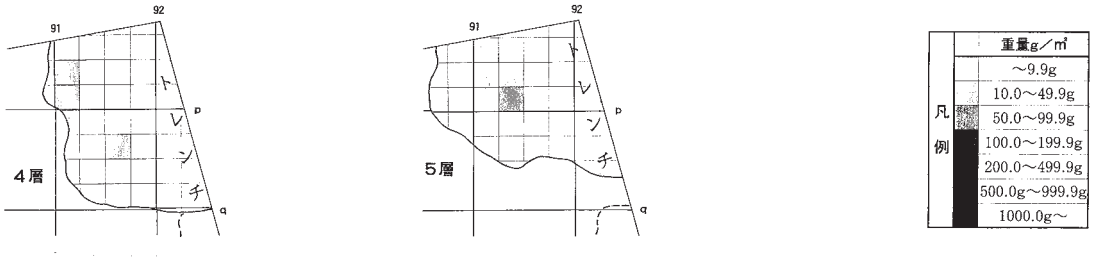


図Ⅳ－126　盛土Ａ復元土器接合図

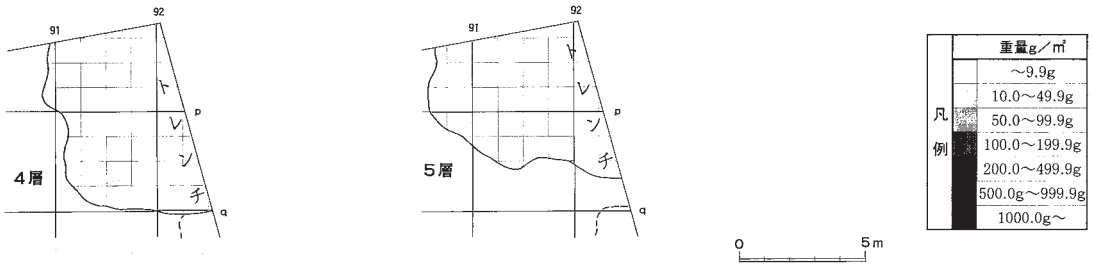
盛土Ａ－土器



盛土Ａ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（黒曜石）



盛土Ａ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（泥岩）



図Ⅳ－127　盛土Ａ土器等フレイクチップ重量分布図

遺物の接合状況

遺物の接合状況について、特に復元土器のデータについて図示した（図Ⅳ－126）。1341の土器は１箇所でまとまっていたものである。（前述）。1394の土器は盛土Ａ－４・５層内の狭い範囲でまとまっている。一方1383の注口土器は、盛土Ａ－４層を主体としながら、盛土Ａ－上位を含め各層と接合し、盛土Ｂ－２層のものと接合した。また、頸部は遠く北側盛土と接合している。

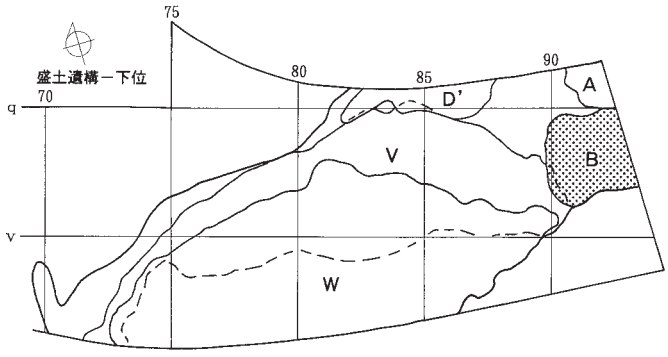
石器では、距離の長い間での接合例はみられなかった。

（２）盛土Ｂ

ａ．概要

規模　東西26.6ｍ×南北14.2ｍ／
最大層厚　0.32ｍ
推定土量　約15.7㎥

盛土Ｂは、調査区の東端部中ほどにほぼ東から西へ広がる盛土である。東から西へわずかに傾斜する標高9.50ｍ～8.80ｍのところに形成されたものである。



図Ⅳ－128　盛土Ｂ位置図

ほぼ西方向を長軸とする不整長方形状に広がっている。周辺には、北側に盛土Ａ、西側に盛土Ｄが近接して広がっている。これらの盛土とは一部重複する部分もあるが、明瞭な新旧関係は把握できなかった。なお、本遺構は1997年度調査Ⅰ地区の盛土Ｂ（北埋調報『キウス４遺跡（３）』）に続くものである。

確認・調査　Ｖa層下でゆるやかな高まりと灰褐色土、暗褐色土の広がりが検出された。また調査区東端に設定したトレンチ調査によって二層に分層されることが判明した。調査は各グリットを１ｍメッシュで16分割し、一方から約５㎝づつ掘り下げて行った。遺物は、土器が大型破片・口縁部を、定形的な石器、土製品・石製品などをトータルステーションで取り上げ、他は１ｍメッシュの単位で、土ごとすべてを取り上げた。ｒ－91周辺には灰褐色土の広がりが見られ、それを囲むように暗褐色土が広がっていた。トレンチ調査によって暗褐色土の上に灰褐色土がのっているのが確認されたため、盛土Ｂ－１層、２層と順次掘り下げ調査を行った。なお、盛土Ｄ・盛土Ａ（上位）に近接するｑ－90、ｒ－90付近には、盛土Ａ（上位）からの崩落土と思われる盛土Ａ-11層（黒褐色、軽石少量混入）が薄く堆積していた。

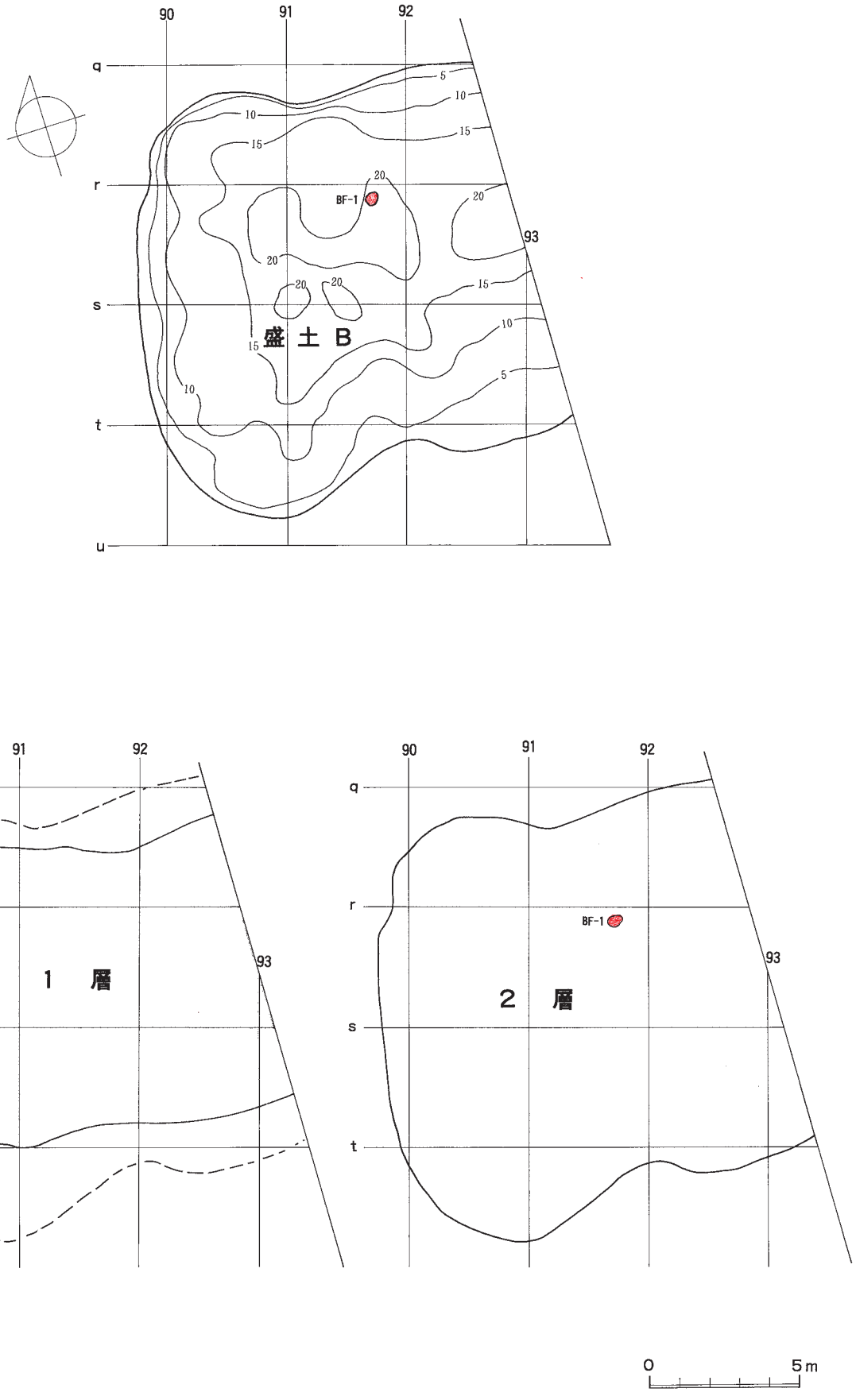
盛土Ｂ－１層・２層ともに、軽石の集中域までは検出されていない。また遺物出土状態は、一括土器的なものもあるが、概して大型破片は少なく、全体的に小破片のものが散在している状態である。また土器片は混在するというよりも、水平的に出土する状態である。

ｂ．土層

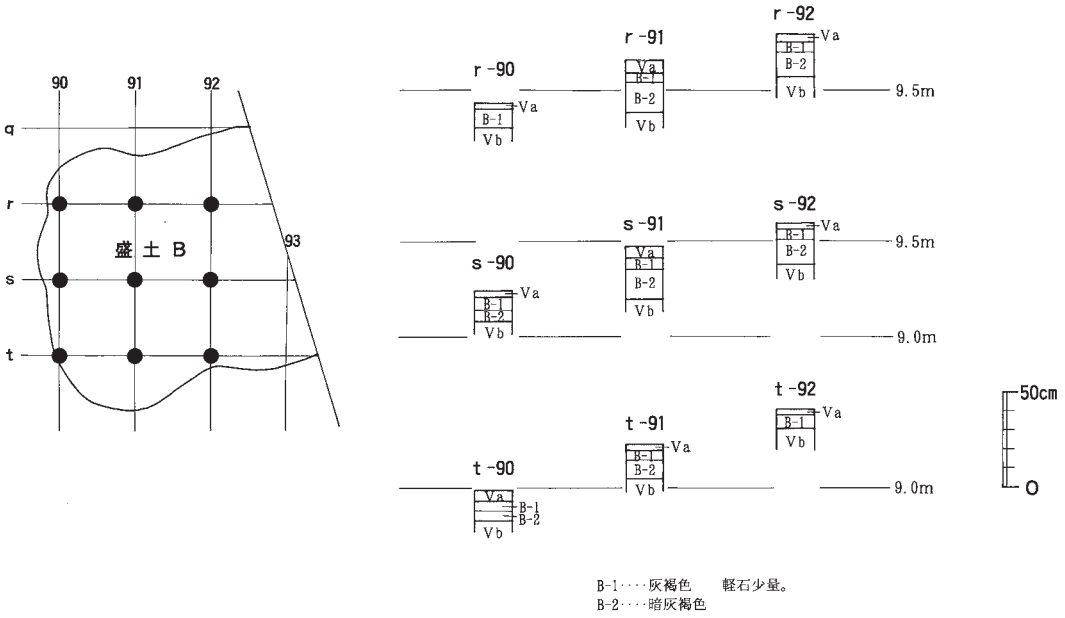
盛土Ｂ－１層　灰褐色土（Ｖ層にロームが混じり合った土）で、粘質の軟質土を含む。ｑ－90～92、ｒ－90～93、ｓ－90～93に見られ、東西約12.1ｍ、南北約10.3ｍの広がりをもち、最大層厚は約10㎝ほどである。層厚に変化はあまりなく、２層の地形に沿って均一的である。

盛土Ｂ－２層　暗灰色土（Ｖ層にローム土が少量混入する土）で、軽石はほとんど含んでいない。全体に色調は１層より暗い。ｑ－89～92、ｒ－89～93、ｓ－89～93、ｔ－89～93に位置し、東西約13.4ｍ、南北約14.2ｍの広がりをもち、最大層厚は約16㎝ほどである。全体的には10㎝前後で、ｓ－91・92付近がやや厚く、周辺に広がるにつれて薄くなっている。焼土（ＲＭＢＦ－１）が１ヵ所検出された。

２層下のＶｂ層はほぼ平坦でほとんど起伏はなく、盛土Ｂ－２層の層厚が、盛土Ｂの高まりの状況を作り出しているようである。



図Ⅳ－129　盛土Ｂ層厚図



図Ⅳ－130　盛土Ｂ土層柱状図

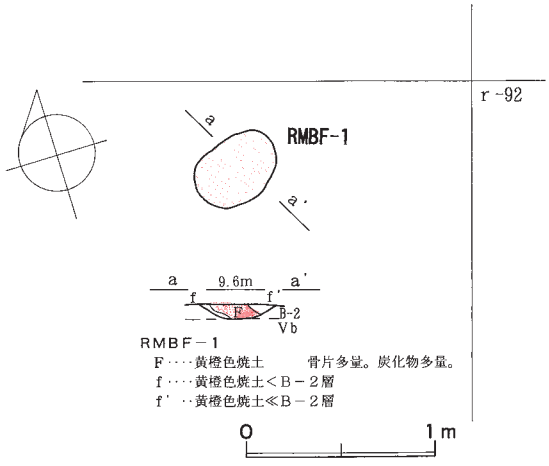
ｃ．焼土

２層中で１ヵ所検出されている。黄橙色焼土に盛土Ｂ－２層がまじり合っていて、炭化物や骨片が多く混入している。投棄されたものと思われる。焼土はすべて取り上げ、フローテーション処理した。土器片が少量出土している。

表Ⅳ－23　盛土Ｂの焼土一覧

焼土番号	被熱層	中心位置（発掘区）	平面形	規模(cm) 長軸	短軸	層厚	色調	図版番号	遺物 土器	石器	礫	骨片	備考
RMBF－1	B2	r-91	楕円形	47	34	8	黄橙色	図Ⅳ－131	△	＊	＊	＊	

※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量



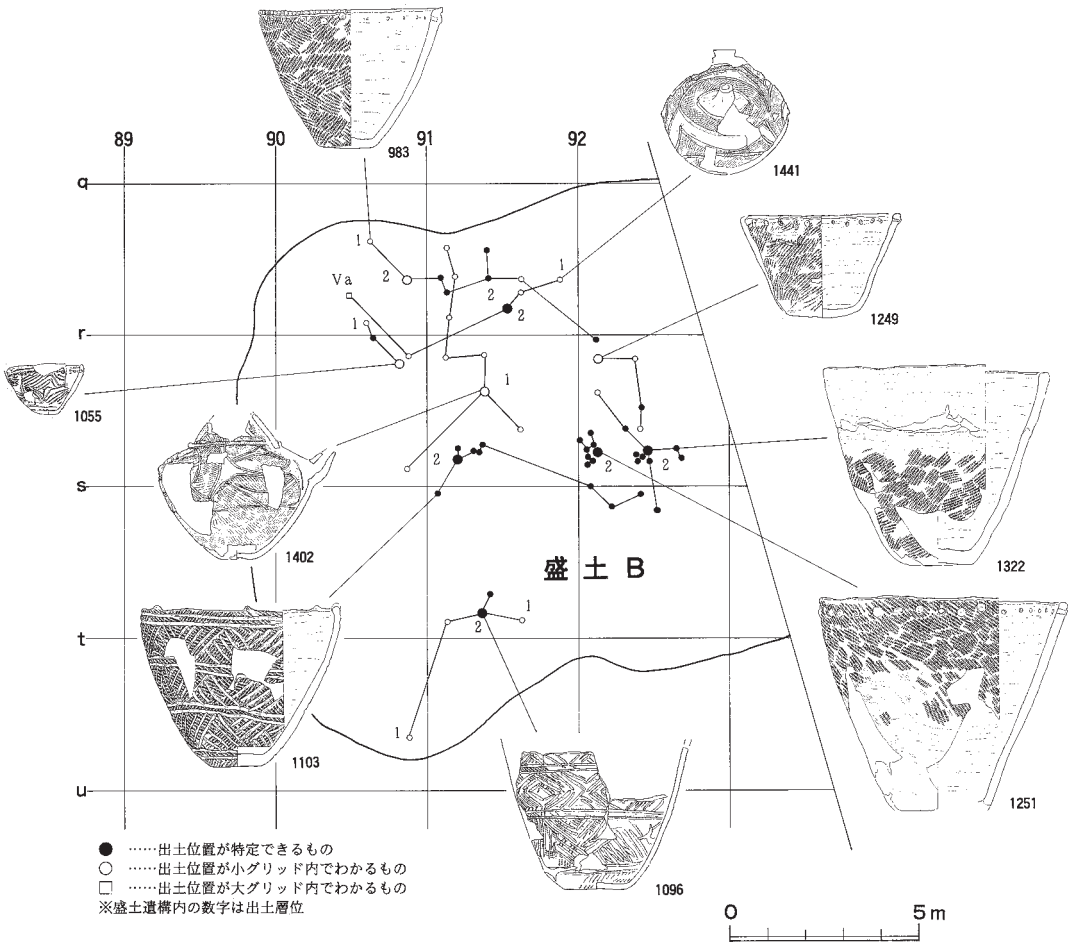
図Ⅳ－131　盛土Ｂの焼土

ｄ．遺物出土状況

盛土Ｂの遺物総数は38,433点である。土器等33,384点（うち土製品52点）、石器･礫等5,049点（うち石製品12点）が出土した。土器は縄文時代前期・中期・後期のものが出土しているが、主体時期である縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたる土器が圧倒的に多く、99.4%を占める。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は1：7で、Ⅳ群ｃ－１類の占める割合の方が高いものの、Ⅳ群ｂ－４類の割合も大きくなっている。土製品は腕飾りと見られる土製品（図Ⅴ－185-1581）や小型のスタンプ形土製品などが出土している。石器・礫等では、フレイクチップが86.2%を占めて多い。定形的石器のうち石鏃が50%を超えているが、盛土ブロックの中ではその割合は低いようである。次に砥石が20%近くにまで達して顕著である。以下スクレイパー・石錐が続いている。（Ⅸ章）。石製品は蛇紋岩製の刻線入りの垂飾（図Ⅴ－220-165）が出土したことが特徴である。

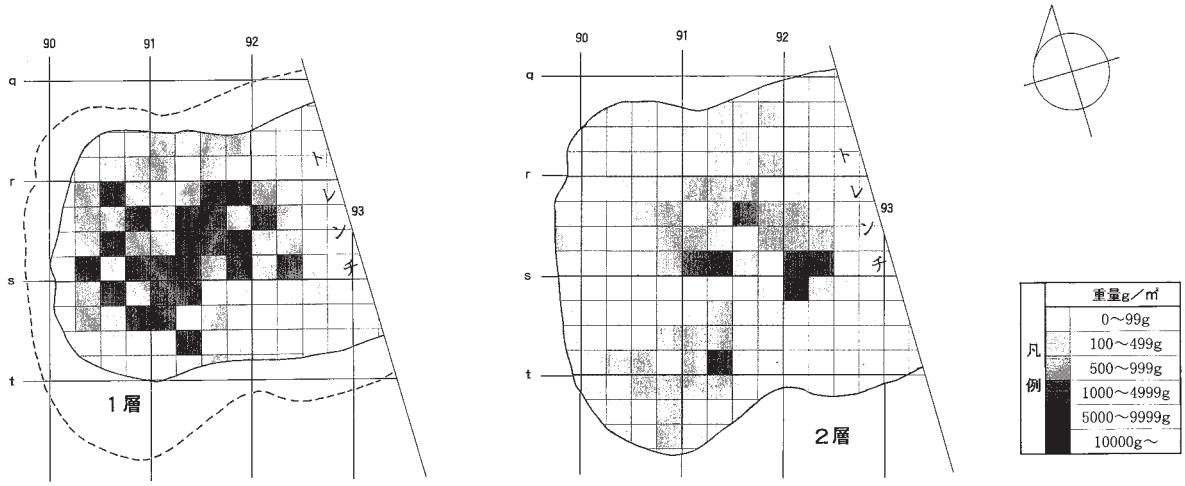
層位別では、盛土Ｂ－１層が19,174点、Ｂ－２層が17,165点、残りが焼土およびトレンチ分である。トータルステーションで取り上げた件数は１層390件、２層407件である。土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－133に層位別に示した。盛土Ｂ－１層の土器はほぼ層厚に対応した分布を示しているものの、一部遺物量の多い小グリッドがある。フレイクチップではさらにその濃淡に差が出る傾向にあり、均一ではない。

復元した土器は、ややまとまった範囲で接合する傾向にある（図Ⅳ－132）。なお、1997年度調査Ⅰ地区では、盛土Ｂ－２層の遺物の出土状況にまとまりがみられると報告されており、Ｒ地区についてもおおむねその傾向は見られるようである。

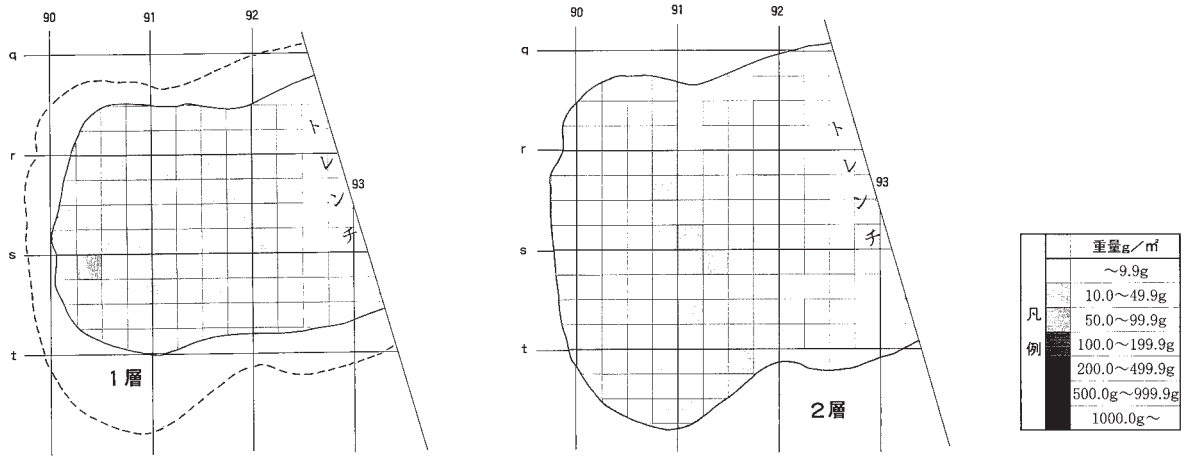


図Ⅳ－132　盛土Ｂ復元土器接合図

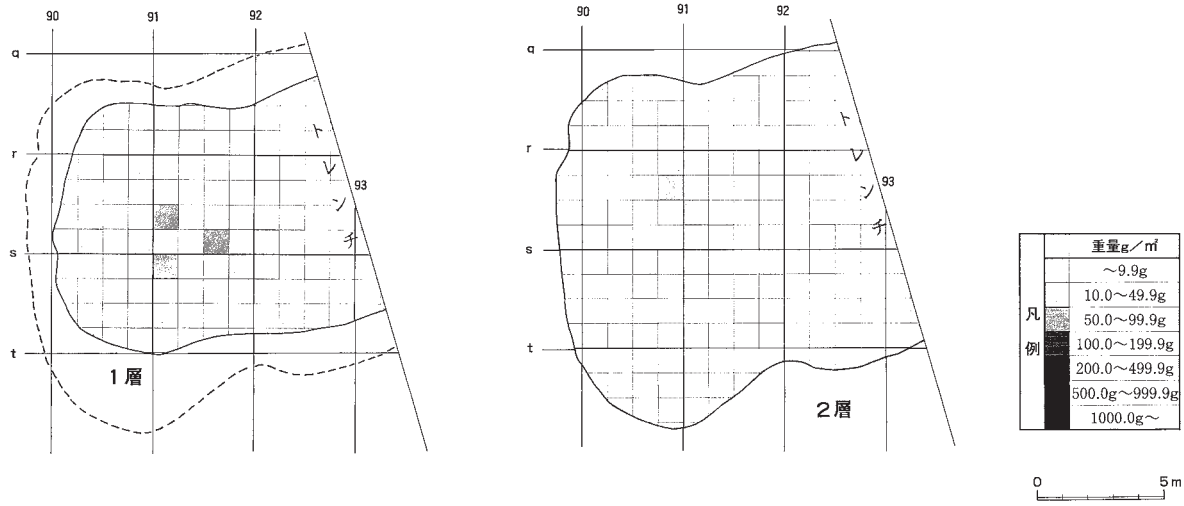
盛土Ｂ－土器



盛土Ｂ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（黒曜石）



盛土Ｂ－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（泥岩）



図Ⅳ－133　盛土Ｂ　土器等・フレイクチップ重量分布図

（３）盛土Ｄ（下位）

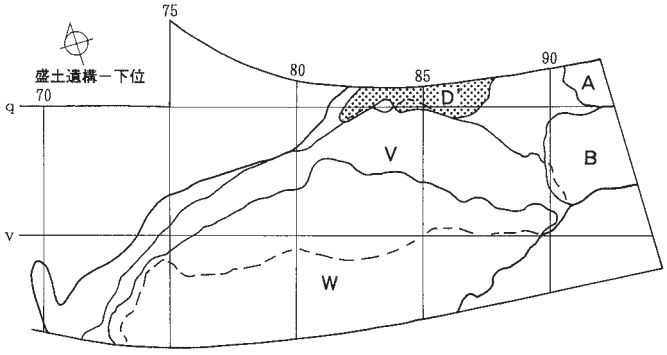
ａ．概要

規模　25.5m×5.7m／

最大層厚　0.13m

推定土量　約5㎥

確認・調査　調査区北部に広がる盛土Ｄの最下層である（第Ⅳ章－２参照）。調査の過程で盛土遺構－下位に相当することが分かったため、盛土Ｄ各層と分離した。



図Ⅳ－134　盛土Ｄ（下位）位置図

全体的に平坦で、層厚も薄い。西側のｐ－82区付近に5㎝程度、中央部のｐ－85区付近で10㎝の厚みをもつ部分がある。遺物出土量は少ない。盛土Ｄ－下位の下はほとんどがＶｂ層であるが、南側の一部は盛土Ｖ－３層と重複している。

焼土は、小規模なもの1ヵ所を確認した。また、遺物の集中箇所は見られなかった。

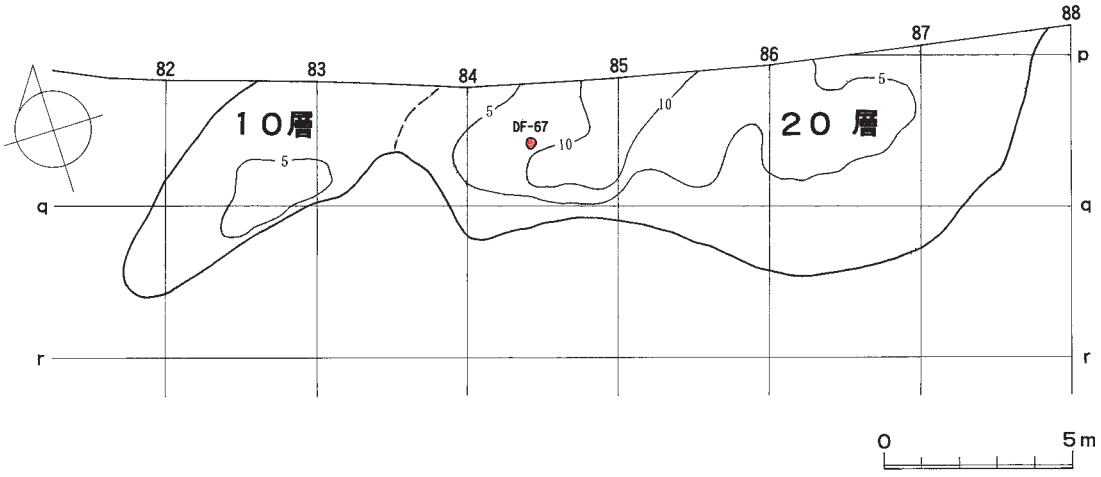
ｂ．土層

盛土Ｄ－10層

黒褐色（10YR 2/2）で暗く、径5㎜程度のＥｎ－ａ軽石を少量含む。黒色土が主体である。粘性強、しまりはやや良である。遺物出土密度は特に低い。

盛土Ｄ－20層

基本的にＲＭＤ－10層と同じで暗いが、ＲＭＤ－10層よりはやや明るい。径5㎜程度のＥｎ－ａ軽石を少量含む。遺物はＲＭＤ－10層よりは多く出土している。



図Ⅳ－135　盛土Ｄ（下位）層厚図

ｃ．焼土

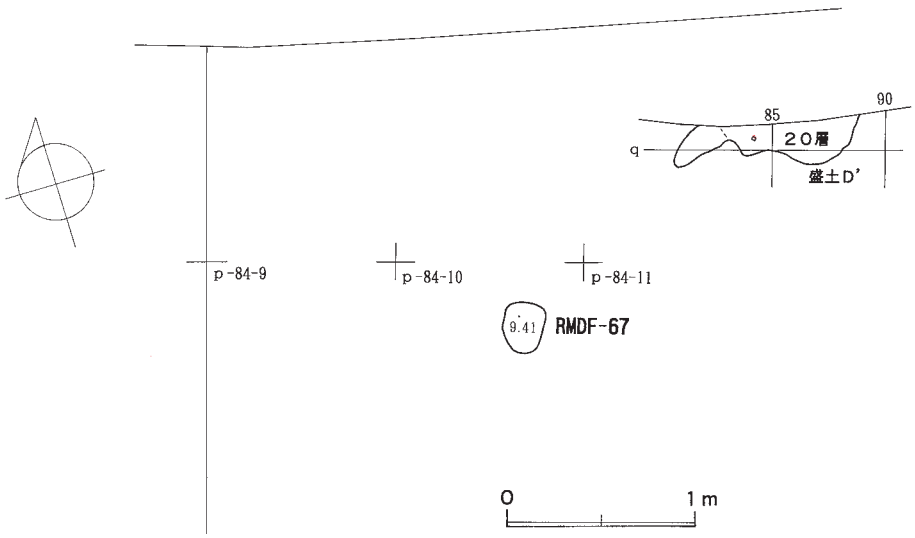
盛土Ｄ－下位では、盛土Ｄ－20層において1ヵ所の小型の焼土を検出した。

ＲＭＤＦ－67　被熱層は薄い。境界はやや不明瞭である。

表Ⅳ－24　盛土Ｄ（下位）の焼土一覧

焼土番号	被熱層	中心位置（発掘区）	平面形	規模（cm）			色調	図版番号	遺物				備考
				長軸	短軸	層厚			土器	石器	礫	骨片	
RMDF－67	D20	p-84	楕円形	27	22	4	赤褐色	図Ⅳ－136	＊	＊		△	

※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量



図Ⅳ－136　盛土Ｄ（下位）の焼土

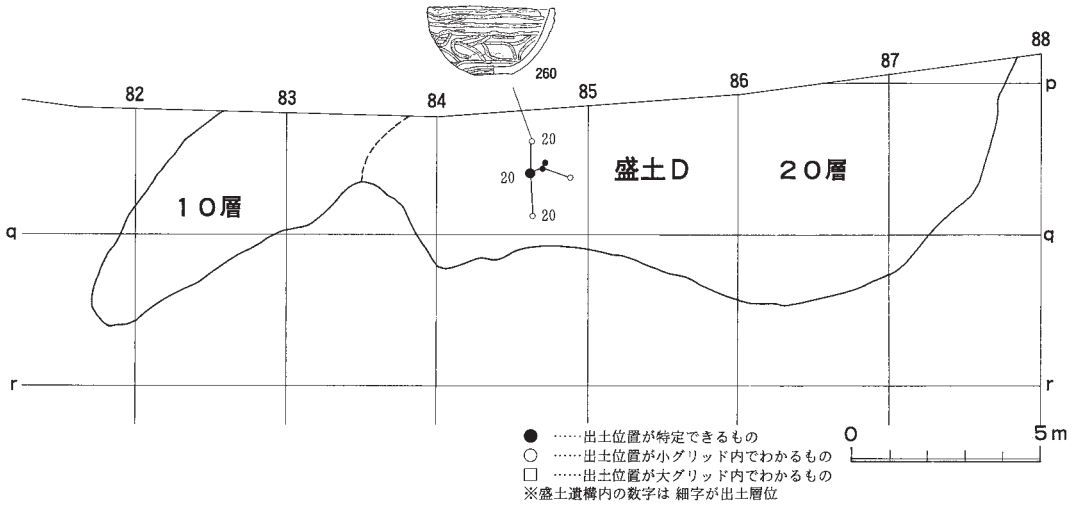
ｄ．遺物の出土状況

盛土Ｄ（下位）の遺物総数は10,039点で、土器等9,165点（うち土製品17点）、石器・礫等874点（うち石製品2点）である。土器は縄文時代早期・中期・後期のものが出土しているが、主体時期は縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたる土器で、98.3％を占める。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は1：16で、Ⅳ群ｃ－１類の占める割合の方が高いものの、Ⅳ群ｂ－４類の割合もやや大きくなっている。土製品は焼成粘土塊15点などが出土している。石器・礫等では、フレイクチップが86.5％を占め非常に多い。定形的石器では石鏃が50％以上を占めている。以下砥石・スクレイパーが続くが、台石・石皿の割合が高くなっている。ただし、出土総数の少ない中でのデータである（Ⅸ章）。石製品はカンラン岩製の玉（図Ⅴ－220-160）などが出土している。

層位別では、盛土Ｄ－10層が2,203点、盛土Ｄ－20層が7,334点、その他となっている。土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－138に示した。一部に濃淡の差はあるものの、盛土Ｄ（下位）については目立った偏りはない。ただし泥岩のフレイクチップに一部遺物分布の偏りが目立つ小グリッドがある（ｐ－86区など）。

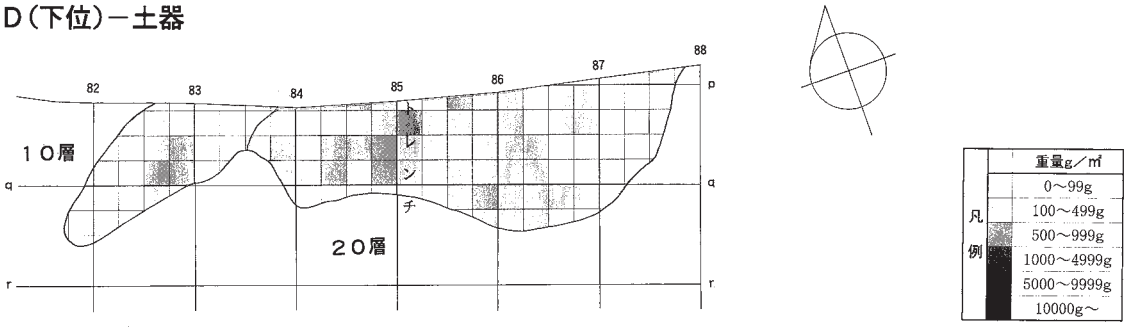
遺物の接合状況

遺物の接合状況について、復元土器１個体のデータについて図示した（図Ⅳ－137）。盛土Ｄ－20層の同じグリッドでまとまって接合した。また、礫石器や石製品では接合例はみられなかった。

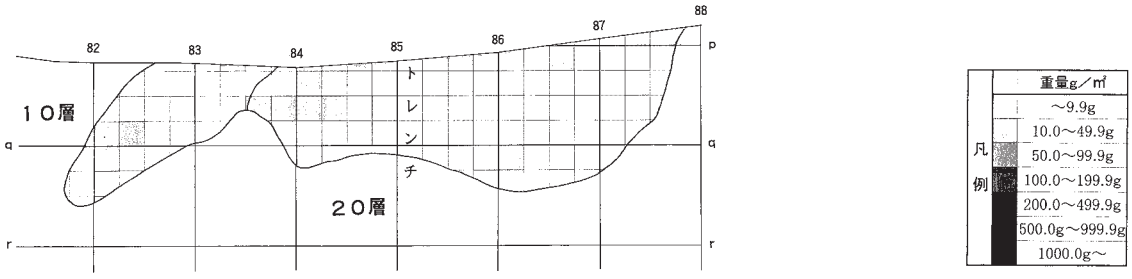


図Ⅳ－137　盛土Ｄ（下位）復元土器接合図

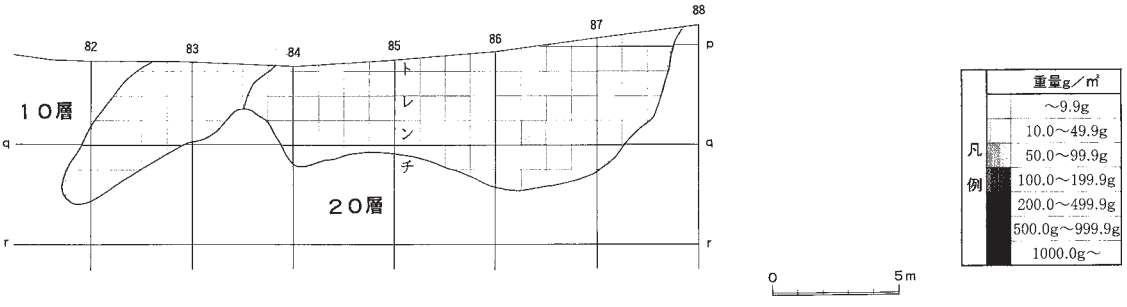
盛土Ｄ(下位)－土器



盛土Ｄ(下位)　－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（黒曜石）



盛土Ｄ(下位)　－ﾌﾚｲｸﾁｯﾌﾟ（泥岩）



図Ⅳ－138　盛土Ｄ（下位）土器等・フレイクチップ重量分布図

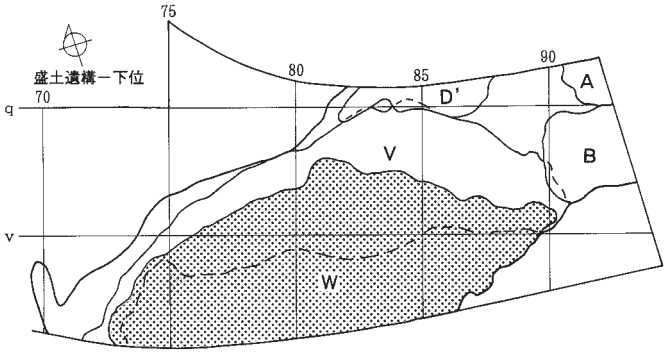
（４）盛土W

ａ．概要

規模　73.4m×27.8m／

最大層厚　0.39m

推定土量　約192.8㎥



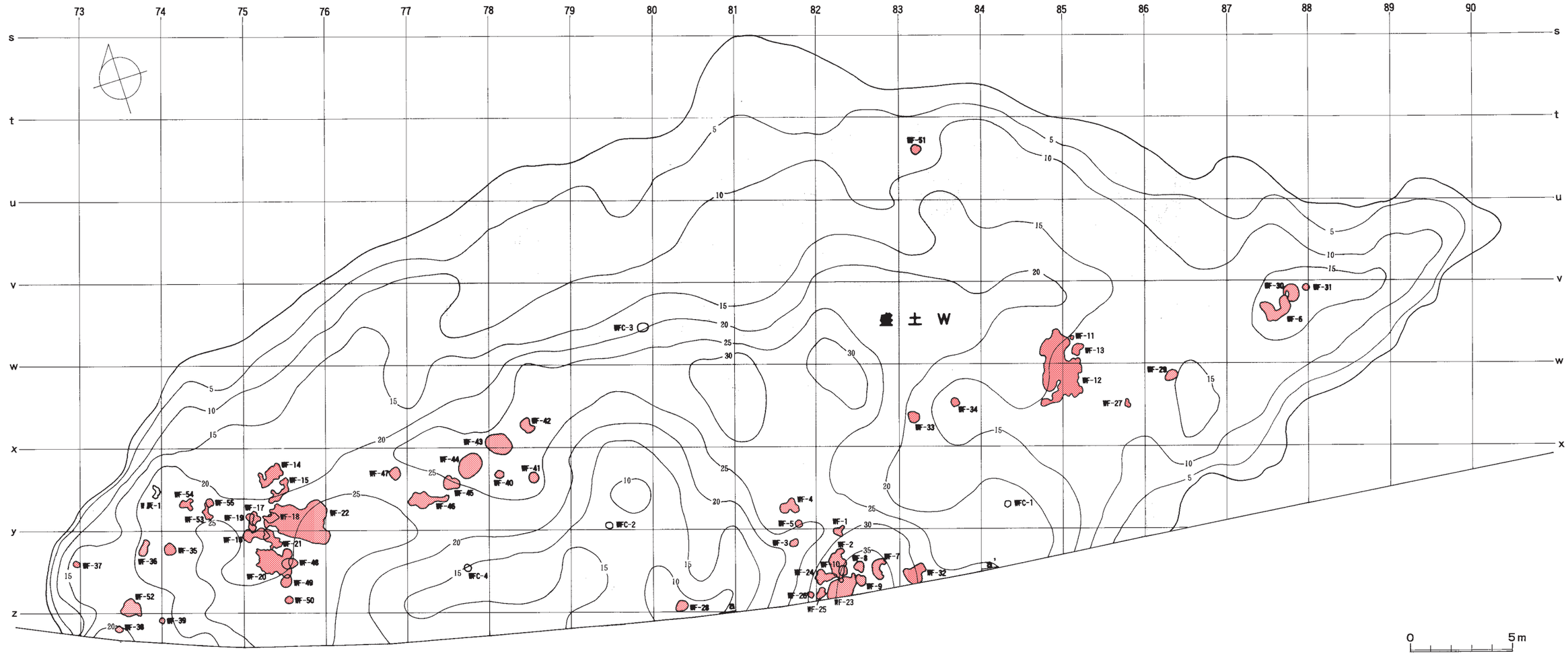
図Ⅳ－139　盛土W位置図

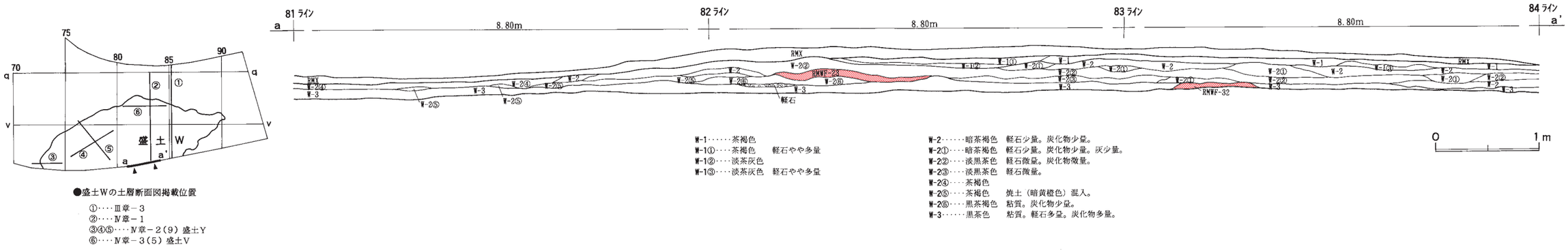
確認・調査　調査区内に広がる盛土遺構の南部の大半を占める。盛土各ブロックの中では最も広域に分布し、遺物出土量が最も多い。北から南へ緩やかに傾斜する標高8.5m～8.0mのＶｂ層上に形成されている。高低差0.5mほどで、標高ではｓ－81付近が最も高く、ｙ－77付近が最も低い。

調査ではまず75ライン・85ラインの各トレンチ調査によって、盛土Wとしたブロックが低地側に広い範囲に分布していることを把握した。その後、盛土遺構－上位においてトレンチ調査を行った際、下層の盛土Wの状況を確認していった。調査の進行上、盛土W上面をすべて検出してから調査することが困難であったため、盛土遺構－上位の調査が終わった部分（調査区南側の大部分）から順次調査を行った。盛土W上面は全体的に平坦であるが、南側のｙ－82付近を中心に高まりがある。また、西部は傾斜がやや急で、柱穴群のある北西方向から低地側の南西方向に向かって排土している様子が顕著にうかがえる。なお盛土Wは調査区南側にさらに広がっており、特に75ラインや82ラインの南側は20～30cmの層厚で続いているものとみられるが、層厚は徐々に減少するものとみられる。

次に、周囲の盛土ブロックとの関係をみる。盛土Ｖとの間では、調査区中央部付近一帯で広範囲に重複している。北～北西方向から南～南東方向に向かって盛土Ｖが徐々に層厚を減少する部分に重なって、盛土Wが徐々に層厚を増している。盛土Wの西部では各層とも傾斜がやや急なため重複範囲も狭いが、中央部付近一帯では各層とも傾斜が緩やかで広範囲に重複している。盛土Ｖとの境界は土層断面をたよりとして、盛土Wの最下層（２層または３層）の下面に帯状に集中する炭化物や、遺物をほとんど含まない黒色の薄層（盛土Ｖ－１層上面またはＶ－10層）をそれぞれ目安としている。ほかに重複する盛土遺構－下位のブロックはない。盛土Wの上に盛土遺構－上位（盛土Ｅ・Ｇ・Ｊ・Ｋ・Ｘ・Ｙ）が形成されている。

焼土は、各層から大小さまざまな規模のもの55ヵ所を確認した。焼土が集中するエリアとまったく検出できなかったエリアの差が大きい。また、灰集中1ヵ所、フレイクチップ集中4ヵ所があり、土器の集中箇所も多数見られた。特に盛土W中央付近では、埋設状態のものやその場でつぶれたような状態で出土した土器も多い。





●盛土Wの土層断面図掲載位置

①……Ⅲ章－３
②……Ⅳ章－１
③④⑤……Ⅳ章－２(９) 盛土Y
⑥……Ⅳ章－３(５) 盛土V

W-1……茶褐色
W-1①……茶褐色　軽石やや多量
W-1②……淡茶灰色
W-1③……淡茶灰色　軽石やや多量

W-2……暗茶褐色　軽石少量。炭化物少量。
W-2①……暗茶褐色　軽石少量。炭化物少量。灰少量。
W-2②……淡黒茶色　軽石微量。炭化物微量。
W-2③……淡黒茶色　軽石微量。
W-2④……茶褐色
W-2⑤……茶褐色　焼土（暗黄橙色）混入。
W-2⑥……黒茶褐色　粘質。炭化物少量。
W-3……黒茶色　粘質。軽石多量。炭化物多量。

図Ⅳ－140　盛土W層厚図および土層断面図

ｂ．土層

各層とも黒色土を基調とし変化に乏しいため、他の盛土ブロックに比べ非常に分層しにくくなっている。また広域に分布しているため、同じ層位と認識できる土壌も、局所的あるいは漸移的に若干異なる部分もある（特に低地側に見られる）。そこでおおむね上・中・下の３層に分層し、各グリッド相互の土層を比較して大きく１～３層にまとめた。

盛土Ｗ－１層

茶褐色～淡茶褐色で盛土Wの中では明るく、径５㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや多量に含む。炭化物もやや多量に含まれている。泥炭質で、茎•根などが多く含まれている。分布範囲は盛土Wの南部と北西部のごく一部に限られている。南側は盛土Ｘの直下にあたり、ｙ－82区を中心とする高まりの10ｍほどの範囲に分布している。層厚は6～7㎝程度でそれほど厚くない。北西側はさらに範囲が狭く、盛土Ｙ直下のｘ－78区付近にごく一部分布している。焼土や遺物集中等は確認できなかった。遺物は層厚の割に多いが、土器・石器ともに小片が圧倒的に多い。

盛土Ｗ－１層は軽石や遺物の密度などから盛土Ｘ・Ｙに一部類似する土層であり、それほど期間をおくことなく盛土Ｘ・盛土Ｙが形成されていったものと思われる。

盛土Ｗ－２層

茶褐色を基本とし、淡色～黒色まで明度が異なる部分がある。全体的に径５㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや少量含む。泥炭質で、茎•根などが多く含まれている。分布範囲は盛土Wのほぼ全域にまたがっており、盛土Wの主体となっている。層厚は西側が15～20㎝程度、東側が10㎝程度の部分が多い。

盛土Ｗ－２層は、土層断面図（図Ⅳ－140ほか）でも示したとおり多層にわたって積み上げられたものとみられるが、土層断面では焼土や炭化物の集中する薄い層を境に分層できるものの、平面的にその分布を捉えることは非常に困難であった。そのため、多くの廃棄単位を含めてＷ－２層として調査した。排土された方向は、全体としては北西から南東方向であるが、ｙ－82付近の高まりから放射状に排土されている部分もある（Ⅳ章－２(8)・盛土Ｙ土層断面参照）。

焼土は31ヵ所を確認した。特に西部のｘ－75付近・南部のｙ－82付近・中央部東寄りのｗ－85付近に集中しており、盛土Ｗ－２層（上面）において場を選んで利用している様子がうかがえる。

遺物の包含密度は全体的に高めである。土器の破片は大型のものが多く、集中域も多数見られる。

盛土Ｗ－３層

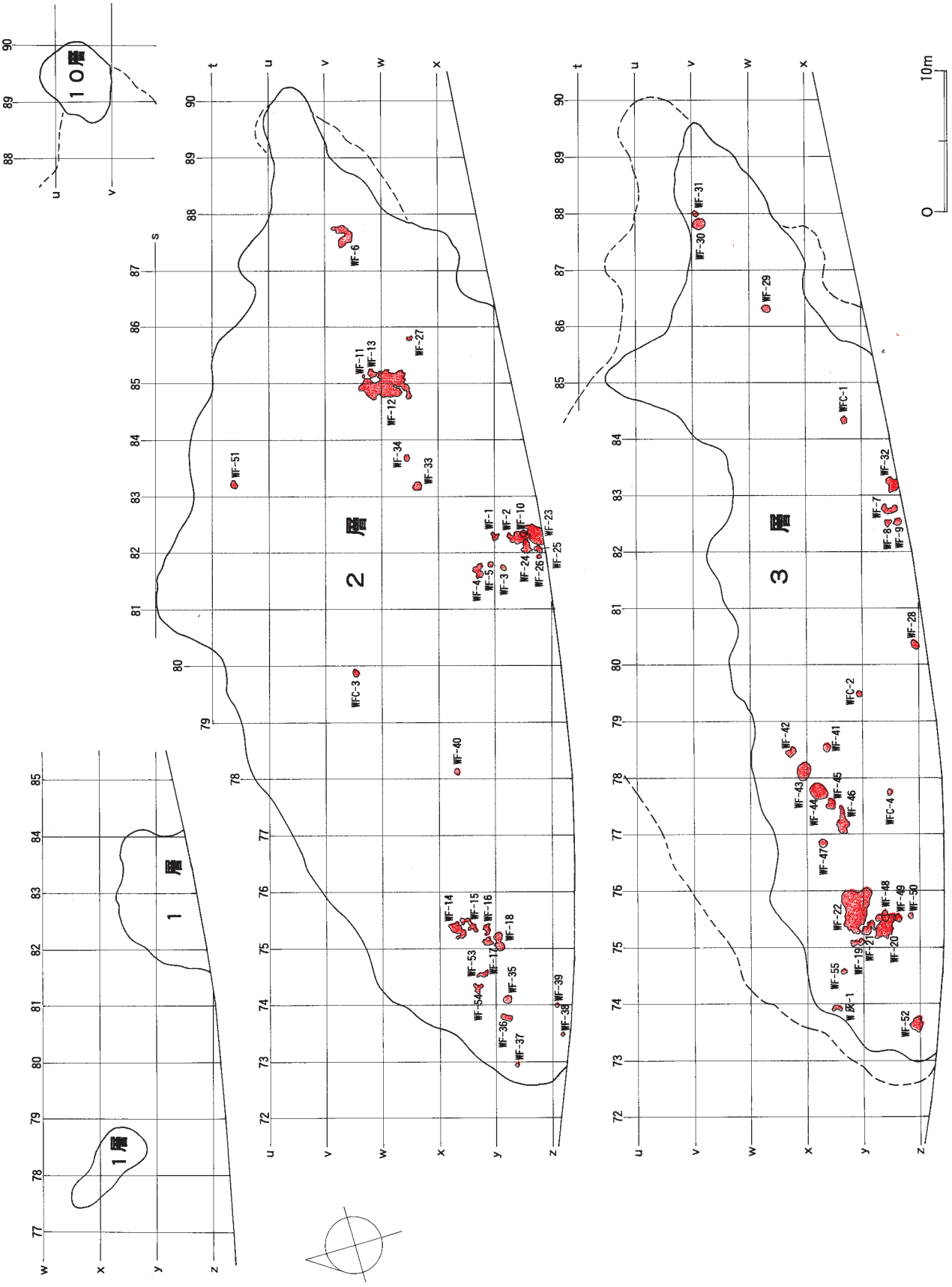
黒茶褐色で盛土Wの中では暗く、径５～10㎜程度のＥｎ－ａ軽石を多量に含み、炭化物も多量含まれている。盛土Wの南側半分に分布している。層厚は大きな変化がなく、10～15㎝程度の部分が多い。盛土Ｗ－３層は、Ｗ－２層と同様に多層にわたって積み上げられたものとみられるが、多くの廃棄単位を含めてＷ－３層として調査した。

焼土は24ヵ所確認した。特に西部のｙ－75付近およびｘ－77付近・南部のｙ－82付近に集中しており、盛土を形成する初期段階、そして盛土Ｗ－３層（上面）において場を選んで利用している様子がうかがえる。遺物の密度はやや低いものの、土器の破片は大型のものが多く、集中域や埋設状態のものも見られる。

盛土Ｗ－10層

黒褐色で暗く、軽石をあまり含まない。分布範囲は盛土Wの東端部のみで、層厚も薄い。焼土や遺物集中等は確認できなかった。遺物の包含密度は低く、土器・石器ともに小片が圧倒的に多い。

盛土遺構－下位と上位の間層的な部分である。



図Ⅳ－141　盛土Ｗ各層位分布図

ｃ．焼土

盛土Wでは、55ヵ所の焼土を検出した。他の盛土ブロックに比べ分布に大きな偏りがあることが特徴である。１ｍ以上のやや大型の焼土は16ヵ所を数える。強く被熱した焼土が多いが、泥炭質の土壌のためか、やや脱色しているものも多く見られた。色調は暗黄橙色・暗赤褐色を基調とし盛土W－２層・３層が混入しているものが多い。投棄された焼土が多く含まれているものとみられる。

各焼土の規模などは一覧表に掲げた。以下に各焼土の特徴と所見を層ごとに記す。

【盛土W－２層の焼土】（図Ⅳ－142～144）

ＲＭＷＦ－１　焼土上面はやや暗いが、境界は明瞭である。盛土W－２層の暗茶褐色土が不均質に混入している。

ＲＭＷＦ－２　盛土W－２層の上面で検出した、やや大型の焼土。強く被熱した部分が数ヵ所あり、その周辺が漸移的に暗くなっている様子がみられる。フローテーションで土器が多く回収されている。

ＲＭＷＦ－３　小規模で薄い。

ＲＭＷＦ－４　小規模ながらやや明度が高い。遺物はフローテーションで土器が多く回収されている。

ＲＭＷＦ－５　境界は明瞭であるが、被熱層は薄い。遺物は少ない。

ＲＭＷＦ－６　明度が高く、かなり強く被熱している。周辺部との境界は不明瞭である。南側は傾斜に従って土壌が移動した部分とみられる。わずかに遺物が出土している。

ＲＭＷＦ－10　ＲＭＷＦ－２の直下から検出した。ＲＭＷＦ－23～26と一連の焼土。被熱層は薄いものの、やや強く被熱している。

ＲＭＷＦ－11　トレンチ調査で検出した小型焼土。明度が非常に高い。ＲＭＷＦ－12と一連のものと思われる。

ＲＭＷＦ－12　長軸375㎝を測る大型の焼土。10ヵ所以上の焼成箇所が集合したものとみられる。被熱層は比較的均質で、層厚も５㎝程度で安定している。遺物は手取り分で土器66点が出土しており、ほとんどがⅣ群ｃ類である。

ＲＭＷＦ－13　トレンチ調査で検出したやや小型の焼土。ＲＭＷＦ－12と一連のものと思われる。骨片がやや多く出土している。

ＲＭＷＦ－14　トレンチ調査によりＲＭＷＦ－15～18と同一面で検出した。不整形で断面もやや複雑になっている。小規模な焼成スポットが集合したものとみられる。土器・石器が少量出土しているほか、骨片・炭化材が多量に含まれている。なお、粘土塊が出土しているが、乾燥状態であり強い焼成を受けていない。

ＲＭＷＦ－15　ＲＭＷＦ－14に隣接して検出した。北西側の一端を取り巻くように分布する小型の焼土。東側の境界はやや不明である。ＲＭＷＦ－14に準じて炭化材などが多く含まれている。

ＲＭＷＦ－16　同一面で検出したＲＭＷＦ－14～18の中では最も明度が高く、灰が多く含まれていることが特徴である。西側の境界はやや不明である。

ＲＭＷＦ－17　焼土自体は小型で薄く、特色はないが、隣接するＲＭＷＦ－18との間に30～40㎝ほどの長さをもつ大型の炭化材が６本横たわっていた。炭化材は泥炭質の土壌でもろくなっていたものの残りが非常によく、露出していた断面を肉眼で観察すると光沢をもっており、自然炭化ではなくかなり燃焼したものと見られる。よってこれらの炭化材は燃焼材として利用されたと考えられ、付近の焼土と直接関係するものと思われる。

ＲＭＷＦ－18　小型で不整形な焼土。混入物が多く、土壌がやや乱れている。上記の炭化材が一部かかっている。

表Ⅳ－25　盛土Ｗの焼土一覧

焼土番号	被熱層	中心位置（発掘区）	平面形	規模（cm）			色調	図版番号	遺物				備考
				長軸	短軸	層厚			土器	石器	礫	骨片	
RMWF－1	W2	x-82	不整形	57	51	5	暗黄橙色	図Ⅳ－143	△	＊	＊	＊	
RMWF－2	W2	y-82	不整形	163	86	6	黄橙色	図Ⅳ－143	○	△	＊	＊	
RMWF－3	W2	y-81	ほぼ楕円形	50	38	5	暗黄橙色	図Ⅳ－143					
RMWF－4	W2	x-81	不整形	97	55	5	暗黄橙色	図Ⅳ－143	○	△	＊	＊	
RMWF－5	W2	x-81	ほぼ円形	39	38	3	暗黄橙色	図Ⅳ－143	△	＊		＊	
RMWF－6	W2	v-87	不整形	170	126	6	暗黄橙色	図Ⅳ－144	○	＊	＊	＊	
RMWF－7	W3	y-82	不整形	103	60	8	黄橙色	図Ⅳ－146	○	＊	＊	＊	
RMWF－8	W3	y-82	ほぼ円形	56	51	5	黄橙色	図Ⅳ－146	＊	＊	＊	＊	
RMWF－9	W3	y-82	ほぼ楕円形	60	46	4	黄橙色	図Ⅳ－146	○	＊	＊	＊	
RMWF－10	W2	y-82	楕円形	51	42	3	暗黄橙色	図Ⅳ－143	＊	＊	＊	＊	
RMWF－11	W2	v-85	ほぼ円形	18	16	4	暗赤褐色	図Ⅳ－144	＊	＊			
RMWF－12	W2	w-84	不整形	375	196	6	にぶい赤褐色	図Ⅳ－144	○	△	△	＊	
RMWF－13	W2	v-85	不整形	65	46	4	赤褐色	図Ⅳ－144	＊	＊	＊	＊	
RMWF－14	W2	x-75	不整形	140	66	6	橙色	図Ⅳ－142	△	△	＊	△	
RMWF－15	W2	x-75	不整形	108	56	－		図Ⅳ－142	△	＊	＊	＊	
RMWF－16	W2	x-75	不整形	92	55	6	明赤褐色	図Ⅳ－142					
RMWF－17	W2	x-75	不整形	70	47	5	（明赤褐色）	図Ⅳ－142	△	＊	＊	＊	
RMWF－18	W2	x-75	不整形	69	45	4	にぶい赤褐色	図Ⅳ－142					
RMWF－19	W3	x-75	不整形	95	44	3	（明赤褐色）	図Ⅳ－145	＊	＊		＊	RMWF-20統合
RMWF－20	W3	y-75	不整形	210	112	4	橙色	図Ⅳ－145	△	＊	＊	＊	旧RLF-14
RMWF－21	W3	x-75	不整形	121	58	4	明赤褐色	図Ⅳ－145	△	＊	＊	△	
RMWF－22	W3	x-75	不整形	328	196	7	明赤褐色	図Ⅳ－145	○	△	△	△	
RMWF－23	W2	y-82	不整形	170	132	7	暗黄橙色	図Ⅳ－143	○	△	△	△	
RMWF－24	W2	y-82	不整形	104	78	6	暗黄橙色	図Ⅳ－143	○	＊	＊	＊	
RMWF－25	W2	y-82	ほぼ楕円形	61	37	4	暗黄橙色	図Ⅳ－143	△	＊	＊	＊	
RMWF－26	W2	y-81	楕円形	34	26	4	暗黄橙色	図Ⅳ－143	○	＊	△	＊	
RMWF－27	W2	w-85	不整形	40	22	－		図Ⅳ－144	△	＊	＊	＊	
RMWF－28	W3	y-80	楕円形	65	49	6	暗黄橙色	図Ⅳ－146					
RMWF－29	W3	w-86	楕円形	53	41	5	赤橙色	図Ⅳ－146	△	＊	＊	＊	
RMWF－30	W3	v-87	楕円形	86	70	6	暗赤橙色	図Ⅳ－146	○	＊	＊	△	
RMWF－31	W3	v-87	ほぼ円形	32	30	6	暗赤橙色	図Ⅳ－146	△	＊	＊	＊	
RMWF－32	W3	y-83	不整形	107	86	8	暗赤橙色	図Ⅳ－146	△	△	＊	△	
RMWF－33	W2	w-83	楕円形	64	52	－		図Ⅳ－143	○	＊	＊	＊	
RMWF－34	W2	w-83	ほぼ円形	40	39	－		図Ⅳ－143					
RMWF－35	W2	y-74	ほぼ円形	63	60	5	橙色	図Ⅳ－142	△	＊	＊	＊	
RMWF－36	W2	y-73	隅丸方形	77	39	6	橙色	図Ⅳ－142	△	＊	＊	＊	
RMWF－37	W2	y-72	楕円形	32	25	4	橙色	図Ⅳ－142	△	＊	＊	＊	
RMWF－38	W2	z-73	楕円形	36	27	2	橙色	図Ⅳ－142					
RMWF－39	W2	z-73	隅丸方形	26	25	2	橙色	図Ⅳ－142	＊			＊	
RMWF－40	W2	x-78	楕円形	42	39	4	淡黄橙色	図Ⅳ－143	○	＊	△	△	
RMWF－41	W3	x-78	ほぼ円形	51	48	2	暗黄橙色	図Ⅳ－146	△	＊	＊	＊	
RMWF－42	W3	w-78	双円形	74	54	4	暗黄橙色	図Ⅳ－146	△	＊	＊	＊	
RMWF－43	W3	w-78	楕円形	130	98	－	黄橙色	図Ⅳ－146	○	＊	＊	△	
RMWF－44	W3	x-77	楕円形	132	104	6	淡黄橙色	図Ⅳ－146	△	＊	＊	△	
RMWF－45	W3	x-77	不整形	79	64	3	赤橙色	図Ⅳ－146	△	＊	＊	△	
RMWF－46	W3	x-77	不整形	200	78	4	黄橙色	図Ⅳ－146	○	△	＊	△	
RMWF－47	W3	x-76	楕円形	57	53	2	暗黄橙色	図Ⅳ－146	○	＊	＊	＊	
RMWF－48	W3	y-75	楕円形	84	53	2	暗黄橙色	図Ⅳ－145	△	＊	＊	△	Vb層直上
RMWF－49	W3	y-75	楕円形	57	50	2	黄橙色	図Ⅳ－145	△	＊	＊	＊	Vb層直上
RMWF－50	W3	y-75	楕円形	40	34	2	暗黄橙色	図Ⅳ－145	＊	＊	＊	＊	Vb層直上
RMWF－51	W2	t-83	ほぼ円形	48	46	7	黄橙色	図Ⅳ－144	△	＊	△	＊	
RMWF－52	W3	y-73	不整形	104	88	6	橙色～にぶい赤褐色	図Ⅳ－145	△	＊	＊	△	
RMWF－53	W2	x-74	不整形	80	32	－		図Ⅳ－142	＊	＊	＊	＊	
RMWF－54	W2	x-74	不整形	66	58	3	橙色	図Ⅳ－142	＊	＊	＊	＊	
RMWF－55	W3	x-74	不整形	44	32	－		図Ⅳ－145	△	＊		＊	

※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量

表Ⅳ－26　盛土Wの焼土出土土器等

（フローテーションで得られた砕片は含まない）

焼土番号	Ⅰb-4	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳa	Ⅳb-3	Ⅳb-4	Ⅳc	Ⅳc-1	Ⅳc-0	ミニチュア土製品	焼成粘土塊	合計
RMWF-6							1	4				5
RMWF-12						1	40	25				66
RMWF-14						1	1	1				3
RMWF-15						1	1	4				6
RMWF-16							1					1
RMWF-17							4					4
RMWF-18							6					6
RMWF-22						2	5					7
RMWF-26							35					35
RMWF-27							4					4
RMWF-32	3					11	10	3				27
RMWF-35						4	24					28
RMWF-37							3					3
RMWF-52							1					1
RMWF-53						9	5	3	1			18
RMWF合計	3					29	141	40	1			214

表Ⅳ－27　盛土Wの焼土出土石器等

（フローテーションで得られたフレイクは含まない）

焼土番号	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石斧	たたき石	砥石	台石もしくは石皿	ピエス・エスキーユ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のみられる礫	石核	原石	フレイク	礫	石棒	石製品	合計
RMWF-1	3																		3
RMWF-2	1																		1
RMWF-6	2																		2
RMWF-12												1			10				11
RMWF-14	5			1											2	2			10
RMWF-17	2																		2
RMWF-22	2									1	1				1	1			6
RMWF-23					1						1								2
RMWF-26															1	1			2
RMWF-29											1								1
RMWF-32										1	2								3
RMWF-33	1																		1
RMWF-35					1										1				2
RMWF-36																2			2
RMWF-37															1				1
RMWF-40	1									1								1	3
RMWF-44										1									1
RMWF-46	1																		1
合　計	18	0	0	1	2	0	0	0	0	4	5	1	0	0	16	6	0	1	54

ＲＭＷＦ－23 盛土Ｗ－２層の下部で検出した。ＲＭＷＦ－10・24・25・26と同一面で検出したものであり、盛土Ｗ－３層上面で検出したＲＭＷＦ－７・８・９と一連のものである。ＲＭＷＦ－23はその中で大型のもので、南側は調査区外へ続いている。被熱層は明度がやや高く、6～7㎝程度で安定している。境界は明瞭である。遺物は規模の割にあまり含まれていない。

ＲＭＷＦ－24 不整形であるが、中心部から漸移的変化が見られる。盛土Ｗ－２層の土がかなり混入している。遺物はフローテーションで土器が多く回収されている。

ＲＭＷＦ－25 盛土Ｗ－２層の土が混じる小型の焼土。

ＲＭＷＦ－26 ＲＭＷＦ－25と同様の焼土。

ＲＭＷＦ－27 盛土Ｗの東部、ＲＭＷＦ－11～13の焼土群から少し離れた位置にある小規模な焼土。不均質で、投棄されたものと考えられる。

ＲＭＷＦ－33 ＲＭＷＦ－34とともに、やや独立した位置にある中規模の焼土。被熱層は均質的だが薄い。

ＲＭＷＦ－34 中規模の焼土。被熱層は均質的だが薄い。

ＲＭＷＦ－35 ＲＭＷＦ－35～39は、盛土Ｗの西部に位置する。ＲＭＷＦ－35は被熱層が５㎝程度で安定しているが、明度はそれほど高くない。遺物はⅣ群ｃ類土器がほとんどである。

ＲＭＷＦ－36 被熱層はやや安定している。

ＲＭＷＦ－37 被熱層がやや薄い小型の焼土。灰が多く含まれている。層の傾斜に沿って、焼土もやや傾斜している。

ＲＭＷＦ－38 小規模でやや薄い焼土。明度が低い。

ＲＭＷＦ－39 小規模で薄い焼土。

ＲＭＷＦ－40 単独で存在するやや小規模な焼土。中央部から漸移的変化が見られる一方、盛土Ｗ－２層の土壌も混在している。遺物はフローテーションで土器が多く回収されている。

ＲＭＷＦ－51 中規模ながら強く被熱している。中央部断面はレンズ状であるが漸移的変化は確認できず、周囲がやや乱れている。遺物はほとんどない。

ＲＭＷＦ－53 小規模で不整形な薄い焼土。層の傾斜に伴っており、移動した部分があるものと思われる。遺物は少ない。

ＲＭＷＦ－54 不整形なやや薄い焼土。遺物は少ない。

【盛土Ｗ－３層の焼土】（図Ⅳ－145・146）

ＲＭＷＦ－７ ＲＭＷＦ－８・９・32と同一面で検出した。盛土Ｗ－２層で検出したＲＭＷＦ－10・23～26と一連のものとみられる。中央部がやや強く被熱しているが、周辺も含めて盛土Ｗ－３層の土壌と混在している。遺物はフローテーションで土器が多く回収されている。

ＲＭＷＦ－８ 中央部よりやや南側に明度がやや高い焼成箇所があり、その周辺は漸移的変化を見せている。ただし盛土Ｗ－３層の土が多く混入しており、不均質である。

ＲＭＷＦ－９ 北西部と南東部にそれぞれ焼成箇所をもつ。明度が高く、漸移的変化が見られる。遺物はフローテーションで土器が多く回収されている。

ＲＭＷＦ－19 ＲＭＷＦ－19～22はトレンチ調査で検出した焼土群。かなり近接している。ＲＭＷＦ－19は不明瞭で不整形な焼土。

ＲＭＷＦ－20 不整形に広がる大型の焼土。被熱層は比較的安定している。混入している軽石の粒子がやや大きい。遺物はやや少ない。

ＲＭＷＦ－21　不整形に広がる中規模な焼土。被熱層は明度が高く、比較的安定している。混入している軽石の粒子がやや大きい。遺物はほとんどない。

ＲＭＷＦ－22　やや大型の焼土。中央部の明度が高く、漸移的変化が見られる。周縁部のやや暗い部分が広い。遺物は少ない。

ＲＭＷＦ－28　調査区南端の独立した位置にある中規模な焼土。明度は高いものの、盛土Ｗ－３層の土壌と混在している。遺物は少ない。

ＲＭＷＦ－29　盛土Ｗの東部にある小型の焼土。遺物はほとんどない。

ＲＭＷＦ－30　盛土Ｗの東部にある。北側は強く被熱しているが、南側は盛土Ｗ－３層の土壌と混在しており、層の傾斜に沿って移動したものとみられる。遺物はフローテーションで土器が多く回収されている。

ＲＭＷＦ－31　ＲＭＷＦ－30に隣接する小規模な焼土。強く被熱している。

ＲＭＷＦ－32　ＲＭＷＦ－７～９と一連の焼土。強く被熱している部分が3ヵ所以上あり、断面がやや複雑になっている。周縁部は盛土Ｗ－３層の土壌と混在している。遺物はやや少ない。

ＲＭＷＦ－41　中規模だが、あまり強く被熱していない。東側の境界は不明瞭である。

ＲＭＷＦ－42　ｘ－77～78付近には、東西６ｍ、南北約３ｍの範囲に１ｍ前後の規模をもつ焼土ＲＭＷＦ－41～47が連なっている。特にＲＭＷＦ－42～46は東北東から西南西にかけて一線に並んでおり、意図的に焼土を形成した様子がうかがえる。排土した方向と考えられる北北西－南南東に直交することから、盛土形成のマーキング的な意味合いも考えられるが、大きな層の境目には形成されていないため、不明である。

ＲＭＷＦ－42は北側・南側に焼成箇所をもつ。それぞれの中心部から漸移的変化がみられるが境界はやや不明瞭である。遺物は少ない。

ＲＭＷＦ－43　やや大型の焼土。東側の境界は不明瞭である。中心部は強く焼成されレンズ状になっているものの、いくつかの焼成箇所が集合しており、断面はやや複雑である。遺物はフローテーションで土器が多く回収されている。

ＲＭＷＦ－44　大型で比較的まとまった焼土。中心部南寄りに強く被熱した部分がある。やや南側に傾斜している。遺物は少ない。

ＲＭＷＦ－45　被熱層は北側にやや厚い部分があり、強く被熱している。南側は傾斜に沿って移動した部分があるものとみられる。遺物は少ない。

ＲＭＷＦ－46　被熱層は西側にやや厚い部分があり、強く被熱している。東側は被熱層が薄く、傾斜に沿って移動した部分があるものとみられる。遺物はフローテーションで土器が多く回収されている。

ＲＭＷＦ－47　東側がやや強く被熱しているものの、全体的に盛土Ｗ－３層の土壌と混在している。遺物はフローテーションで土器が多く回収されている。

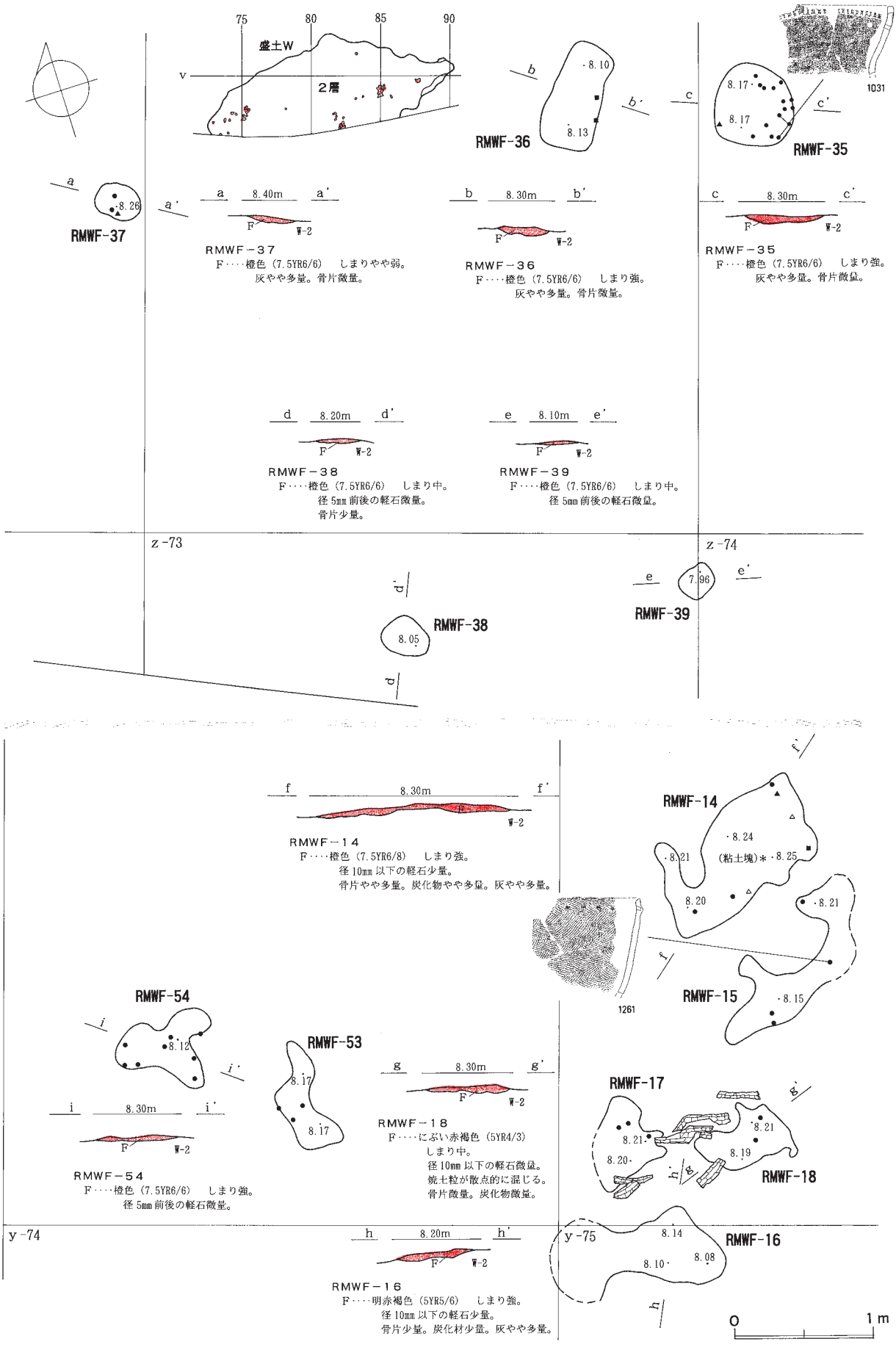
ＲＭＷＦ－48　ＲＭＷＦ－48～50は盛土Ｗの最下部で検出した一連の焼土。ＲＭＷＦ－48は不明瞭な焼土で、斑点状の焼土粒が分布し、乱れている。

ＲＭＷＦ－49　被熱層は厚くない。西側の境界は不明である。

ＲＭＷＦ－50　小型で薄い焼土。断面が波状になっている。

ＲＭＷＦ－52　北東側は強く被熱しており、被熱層が厚く断面がレンズ状になっている。大型の焼土粒が含まれ、灰が多量に含まれているという特徴がある。南東側は層の傾斜に伴って流れたような状態になっている。遺物は少ない。

ＲＭＷＦ－55　小型で薄い焼土。遺物は少ない。



RMWF－37
F‥‥橙色（7.5YR6/6）　しまりやや弱。
灰やや多量。骨片微量。

RMWF－36
F‥‥橙色（7.5YR6/6）　しまり強。
灰やや多量。骨片微量。

RMWF－35
F‥‥橙色（7.5YR6/6）　しまり強。
灰やや多量。骨片微量。

RMWF－38
F‥‥橙色（7.5YR6/6）　しまり中。
径 5㎜前後の軽石微量。
骨片少量。

RMWF－39
F‥‥橙色（7.5YR6/6）　しまり中。
径 5㎜前後の軽石微量。

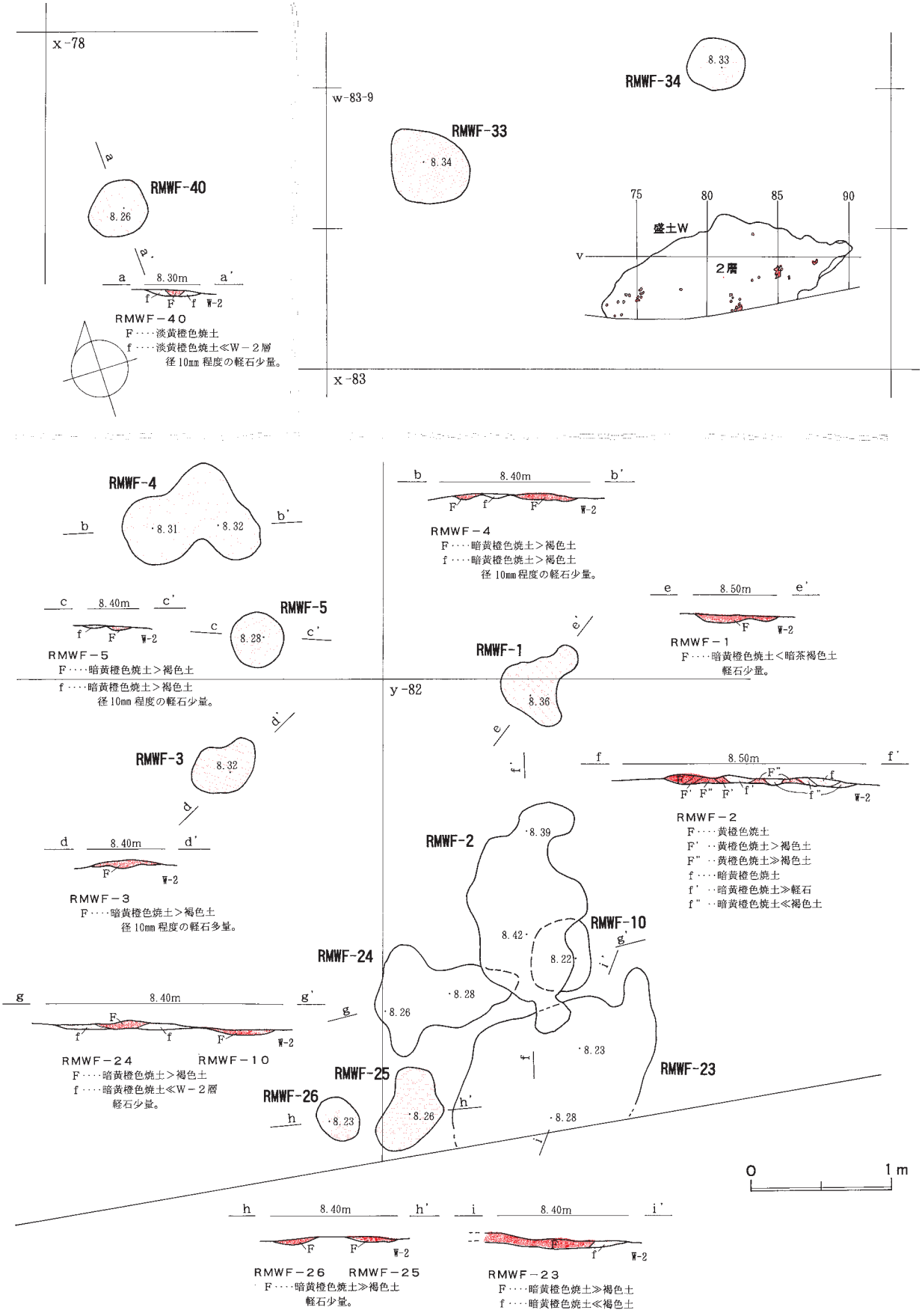
RMWF－14
F‥‥橙色（7.5YR6/8）　しまり強。
径 10㎜以下の軽石少量。
骨片やや多量。炭化物やや多量。灰やや多量。

RMWF－54
F‥‥橙色（7.5YR6/6）　しまり強。
径 5㎜前後の軽石微量。

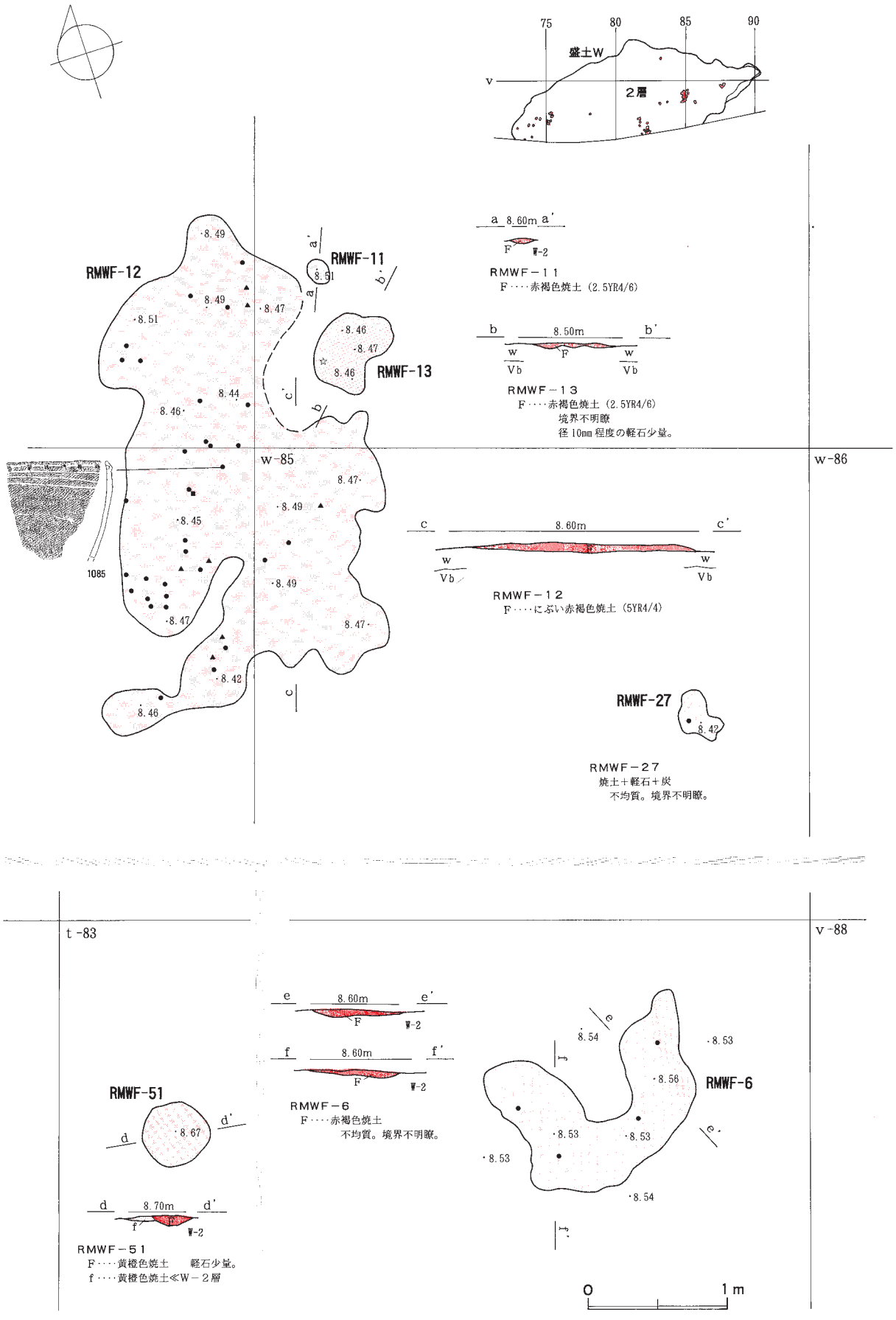
RMWF－18
F‥‥にぶい赤褐色（5YR4/3）
しまり中。
径 10㎜以下の軽石微量。
焼土粒が散点的に混じる。
骨片微量。炭化物微量。

RMWF－16
F‥‥明赤褐色（5YR5/6）　しまり強。
径 10㎜以下の軽石少量。
骨片少量。炭化材少量。灰やや多量。

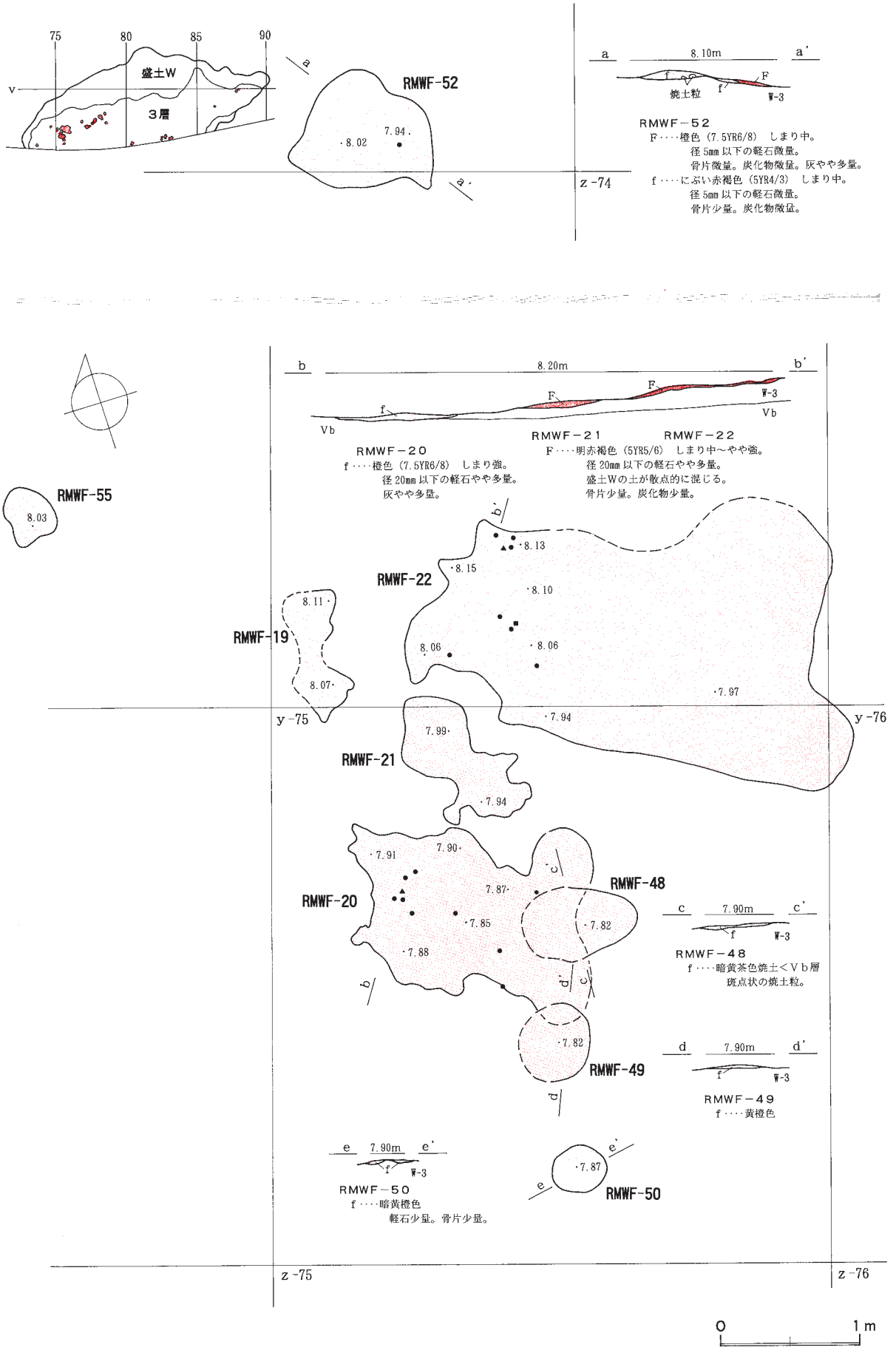
図Ⅳ－142　盛土Wの焼土（１）



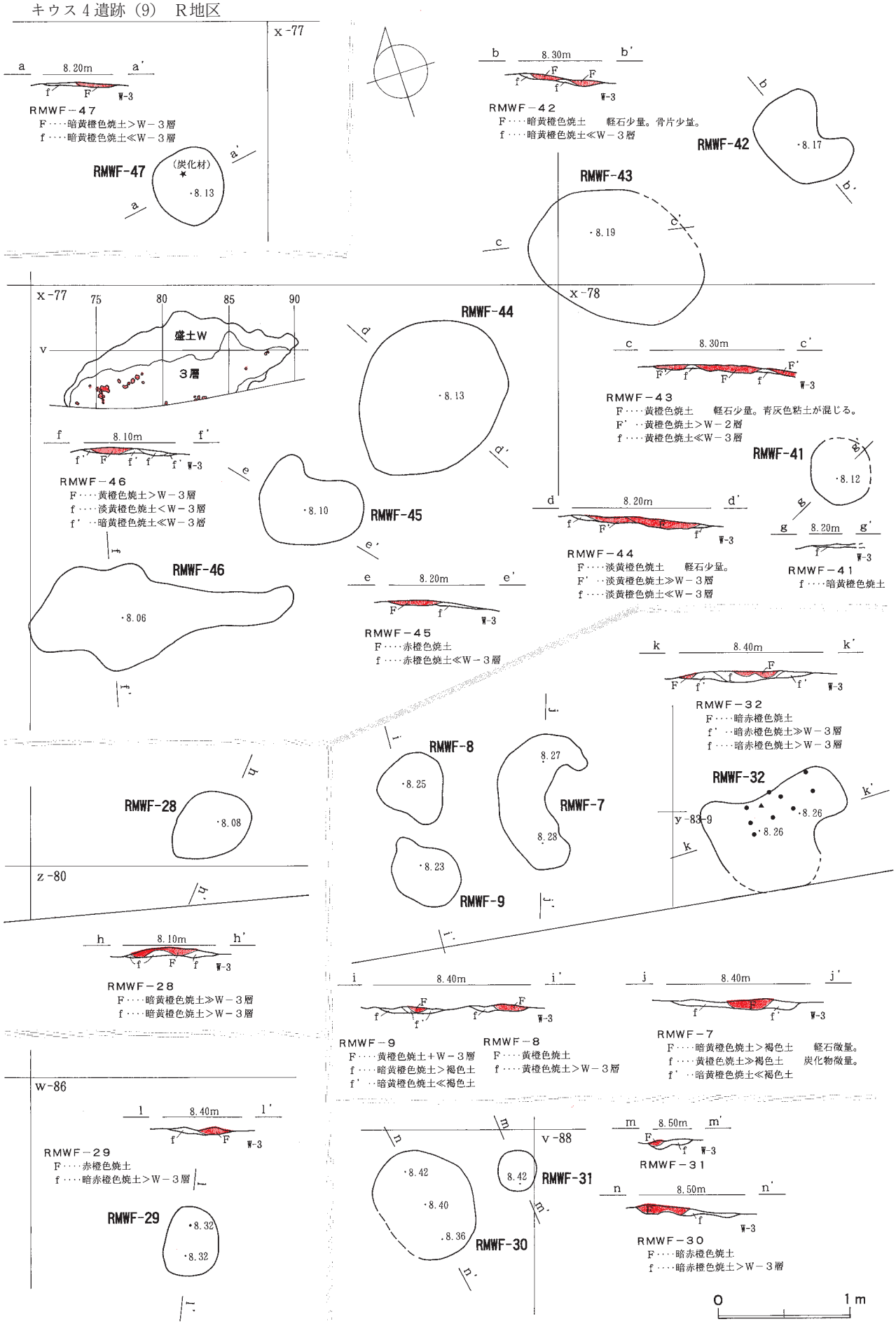
図Ⅳ－143　盛土Wの焼土（２）



図Ⅳ－144　盛土Wの焼土（３）



図Ⅳ－145　盛土Wの焼土（４）



図Ⅳ－146　盛土Wの焼土（５）

d．盛土W灰集中・軽石集中

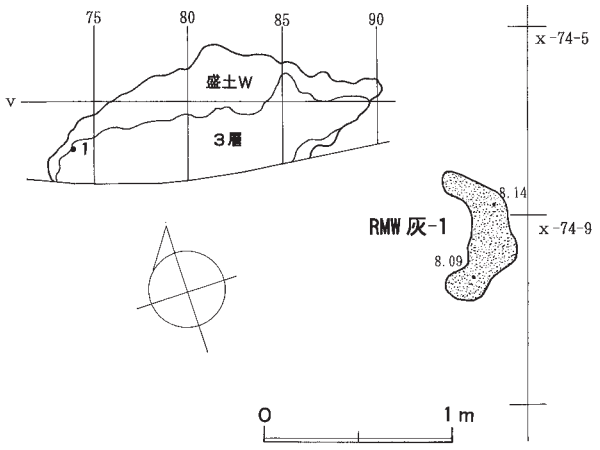
灰や炭化材は、多数の焼土において被熱層に含まれて検出されている。ここでは焼土以外に盛土中で検出した、灰が密集するエリア1ヵ所と軽石が集中するエリアを掲載する。

①盛土W灰集中1

位置：ｘ－73　　**層位**：盛土W－3層

規模：70㎝×41㎝／

調査：盛土Wの西側、各層の傾斜がやや急なエリアで検出した。灰の粒子は非常に細かく、薄く広がっている。中央部は灰白色で灰が密であるが、周辺部は灰白色と暗灰色・暗褐色で軽石を含み、盛土の土壌と混在している。遺物は出土していない。



図Ⅳ－147　盛土W灰集中

②軽石集中

位置：ｙ－80　　**層位**：盛土W－3層

規模：140㎝×100㎝、100㎝×70㎝、70㎝×40㎝、50㎝×40㎝

調査：盛土Wのｙ－80区を調査中、周囲よりも軽石が密集する部分を4ヵ所検出した。また、ｙ－82区のＶｂ層直上でも、厚さ7～8㎝にわたり黄色土に軽石が多量に混じる部分がある。いずれも投棄の状況を示していると考えられる。

e．遺物の出土状況

盛土Wの土器・石器合計数は821,335点で、盛土遺構－下位のブロックの中で最も多く出土している。土器等675,164点（うち土製品854点）、石器・礫等146,171点（うち石製品172点）、そのほか炭化材や骨片、赤色顔料塊などの自然遺物も、土壌水洗のほか手取りでも多量に回収できた。

土器は主体時期である縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－4類からⅣ群ｃ－1類にわたる土器が非常に多く、99.3％を占める。ただし早期後半の東釧路Ⅲ式～Ⅳ式が260点、前期綱文土器22点、中期後半の土器111点、後期初頭余市式303点など、各時期の土器が混在している。また、「Ⅳ群ｂ－4類：Ⅳ群ｃ－1類」は1：5で、Ⅳ群ｃ－1類の占める割合の方が高いものの、他の盛土に比較してⅣ群ｂ－4類の割合がかなり大きくなっている。土製品は焼成粘土塊が781点と多く出土しているものの、定形的な土製品も数多く出土している。中でも大小さまざまな土玉が出土しており、8点を図示した（図Ｖ－185-1554～1560・1562）。またスタンプ形土製品の出土数も多く、柄だけや版面だけのものも含めて25点を図示した（図Ｖ－258・259）。柄の部分が膨らんだ分銅形土製品や、球状の版面をもつものもある。そのほか垂飾・耳栓・三日月形土製品・円盤状土製品・ミニチュア土器など多種多様な土製品が出土している。さらに、微隆線による装飾のある赤彩土器の一部など、特殊なものも数多く出土している。

石器・礫等では、フレイクチップが91.4％を占め圧倒的に多いが、他の盛土同様石鏃が定型的石器のうち50％を超えている。以下スクレイパー・石錐・砥石が続いている（Ⅸ章）。石製品は異形石器・石棒片が顕著にみられ、形状不明な石製品も多数出土している。また、玉類の出土数が8点と少ないことが特徴として挙げられる。

層位別では、盛土Ｗ－１層が20,839点、Ｗ－２層が532,473点、Ｗ－３層が242,523点、Ｗ－10層が780点、残りが焼土やトレンチ分で、トレンチからも22,000点以上出土している。土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－156～158に層位別に示した。なお大グリッド区画のため、１㎡あたりの遺物量に換算して表示してある（土器のみ）。また、Ｗ－２層のｗ－81区が非常に多くｗ－82区が非常に少ないのは、遺物取り上げ時において後者の分を前者に含めてしまったためである。これらのデータは各層位の層厚（図Ⅳ－140などを参照）と比較しなければならないが、土器・フレイクチップとも遺物分布は一様でなく、地点によって差があることがわかる。特にフレイクチップは土器の分布や層厚に比べて密度の高低が目立つ部分がある（黒曜石・Ｗ－２層北部、Ｗ－３層ｘライン、泥岩・Ｗ－３層83ラインなど）。これらのデータは視覚的に観察された事項を裏付けるものであり、土壌や遺物の廃棄行為が全く同様に行われたのではないことを示している。

遺物集中

①フレイクチップ集中

盛土Ｗ－２・３層において、フレイクチップが集中して出土する狭い範囲が４ヵ所検出された。合計1,554点のフレイクチップと礫が1点出土している。

ＲＭＷＦＣ－１　**位置**：ｘ－84　**層位**：盛土Ｗ－３層　**規模**：25㎝×22㎝／－
ＲＭＷＦＣ－２　**位置**：ｘ－79　**層位**：盛土Ｗ－３層　**規模**：30㎝×25㎝／－
ＲＭＷＦＣ－３　**位置**：ｖ－79　**層位**：盛土Ｗ－２層　**規模**：45㎝×30㎝／－
ＲＭＷＦＣ－４　**位置**：ｙ－77　**層位**：盛土Ｗ－３層　**規模**：25㎝×25㎝／－

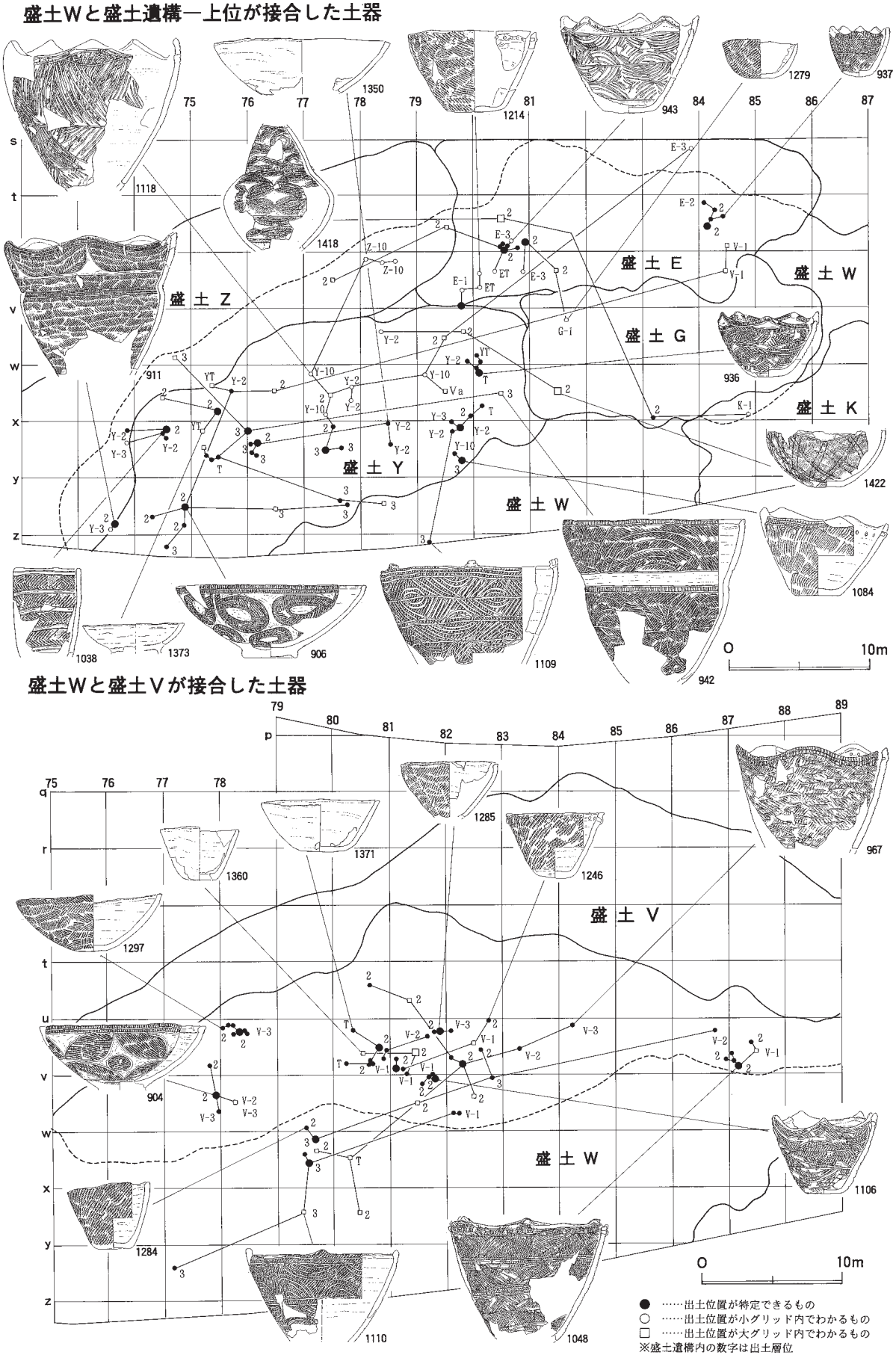
②土器の集中箇所

盛土Ｗでは、２層・３層を中心に土器の集中箇所が数多くみられた。その中でまとまって出土した土器の状況をいくつか図示した（図Ⅳ－153～155）。大きく４種類に分けられ、①多種類の土器片（・フレイクチップ・礫）が砕片の状態で出土するもの（図Ⅳ－153下段）と、②１個体ないし数個体の一部大型破片が面で広げたようにつぶれて出土するもの（図Ⅳ－153上段）、③１個体の大部分がそのまま置かれたような状況で出土するもの（図Ⅳ－154土器995）、④１個体が完形または完形に近い状態で出土するもの（図Ⅳ－155）がある。盛土Ｗでは①の出土状況がやや多く、②・③の例も多い。一方、④の例は極めて稀である。ところで、図Ⅳ－154土器995の土器は直立して埋設された状態で出土した。底部はＶｂ層中に達している。口縁～頸部付近は土器の内側に落ち込んでいた。

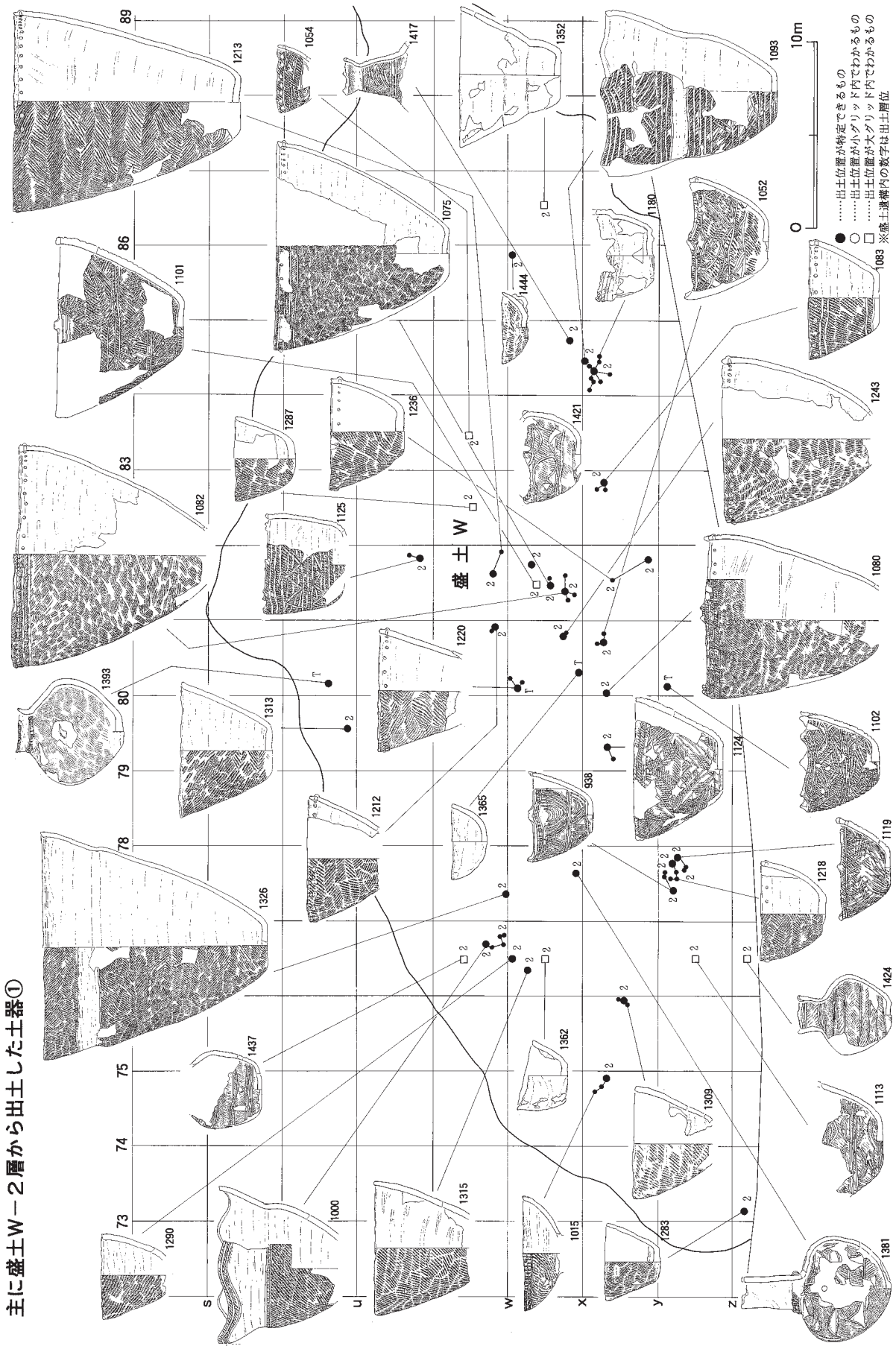
遺物の接合状況

遺物の接合状況について、特に復元土器のデータについて図示した（図Ⅳ－148～152）。盛土Ｗ－２層・３層を主体とする復元土器を、それぞれ同じ層位・発掘区にまとまるものとそれを超えるものとに分けて図示した。比較的広範囲に接合するものとある程度の範囲でまとまるものと比較的明瞭に分かれている。また盛土間をまたぐ接合（図Ⅳ－148）では、重複する盛土Ｖとの間で件数が多いが、盛土遺構－上位のブロックとも接合するものも多い。特に盛土Ｙの下層・盛土Ｅの下層との接合例が多い。さらに、図示していないがＲ地区内だけでなく北側盛土遺構出土土器と接合している土器がある。

石器では、比較的距離の長い間での接合例も複数見られ、盛土Ｗ内での接合のほか、各種礫石器および石製品で盛土Ｖと接合している。また、地区を越えてⅠ地区の盛土Ａと接合するたたき石・すり石や、Ⅰ地区の盛土Ｂと接合する礫、遠く北側盛土のものと接合するオロシガネ状石製品などをⅤ章に例示した（図Ⅴ－223～225）。

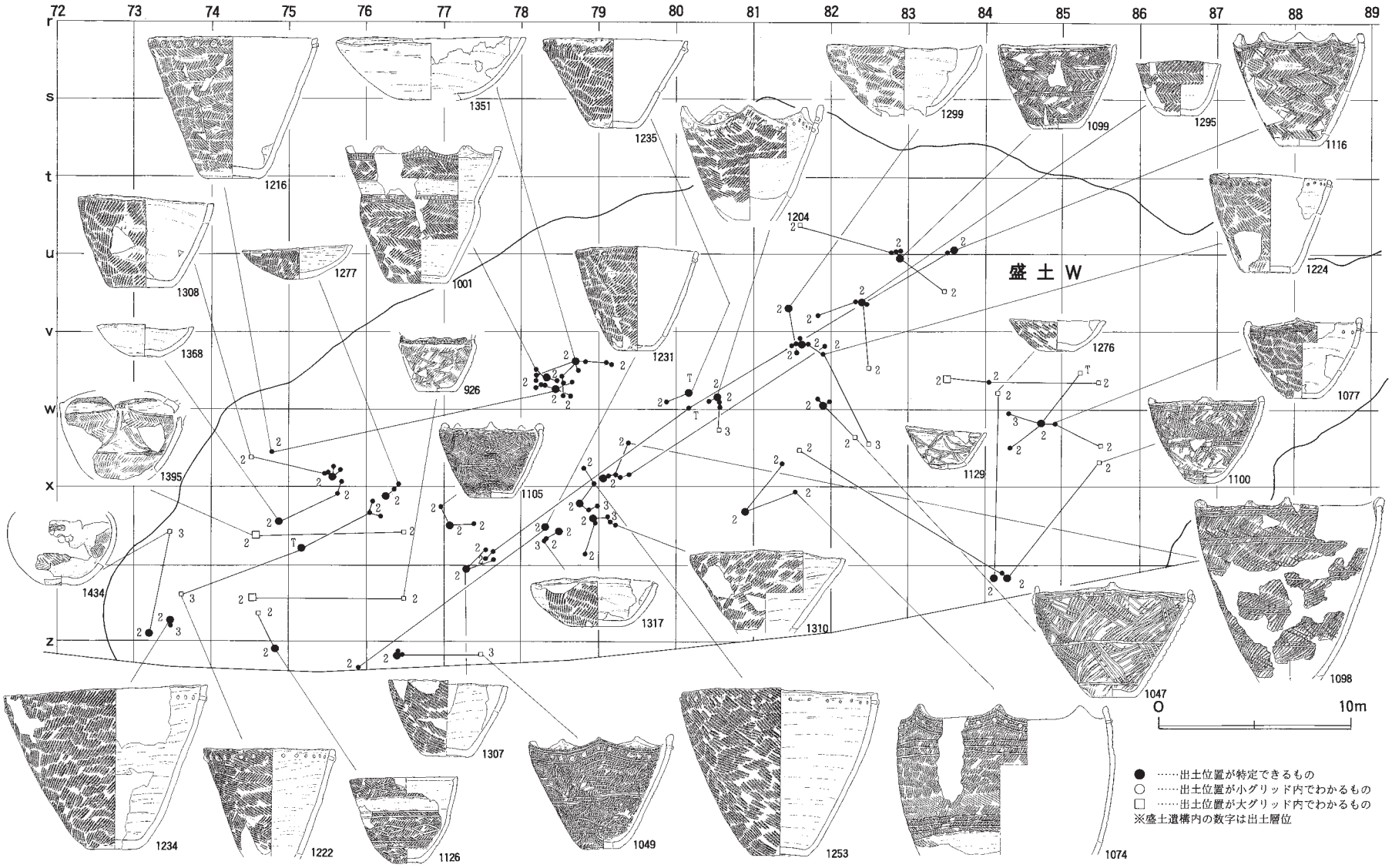


図Ⅳ－148　盛土W復元土器接合図（1）

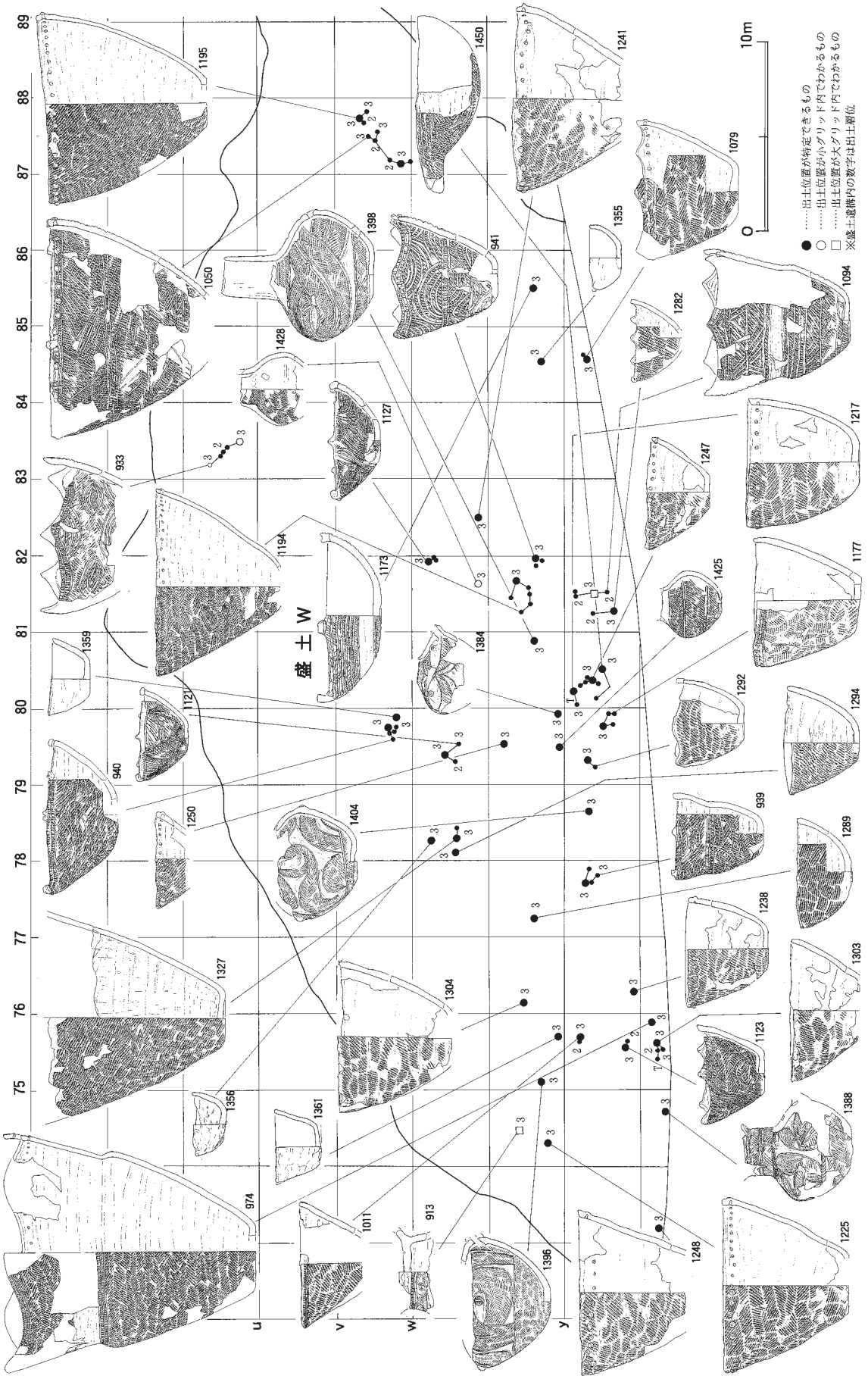


図Ⅳ－149　盛土W復元土器接合図（２）

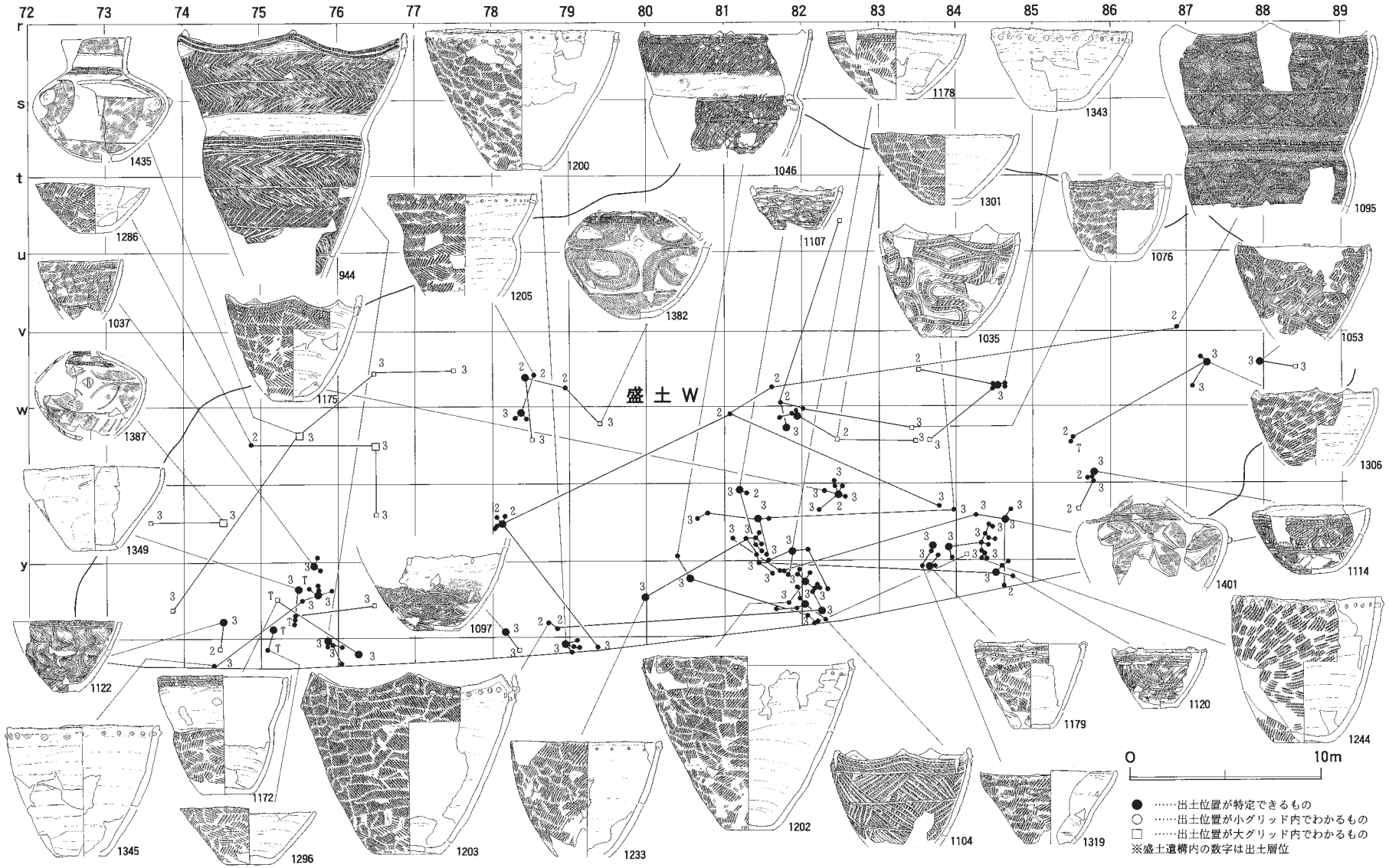
主に盛土W－２層から出土した土器②



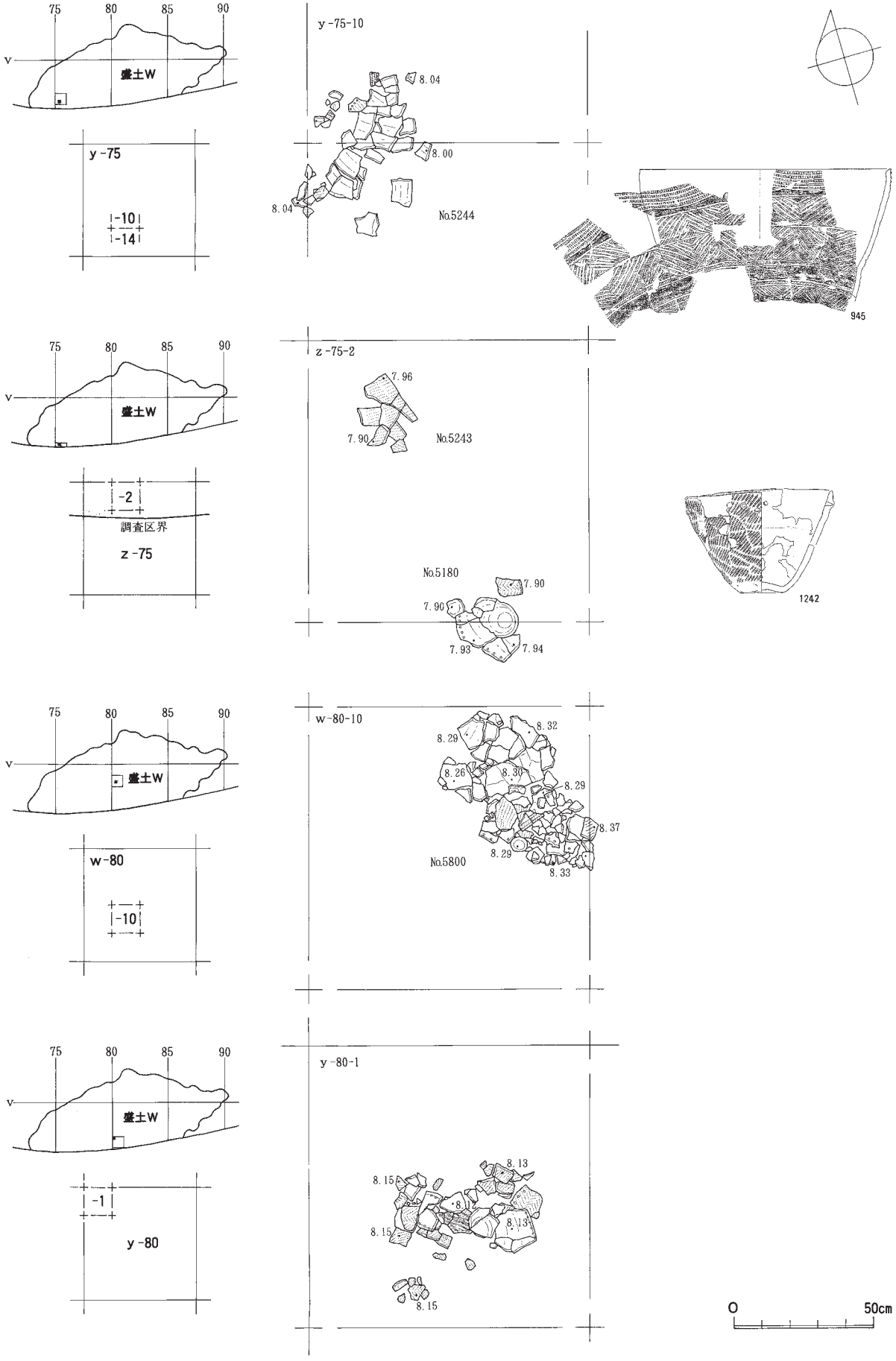
図Ⅳ－150　盛土W復元土器接合図（３）



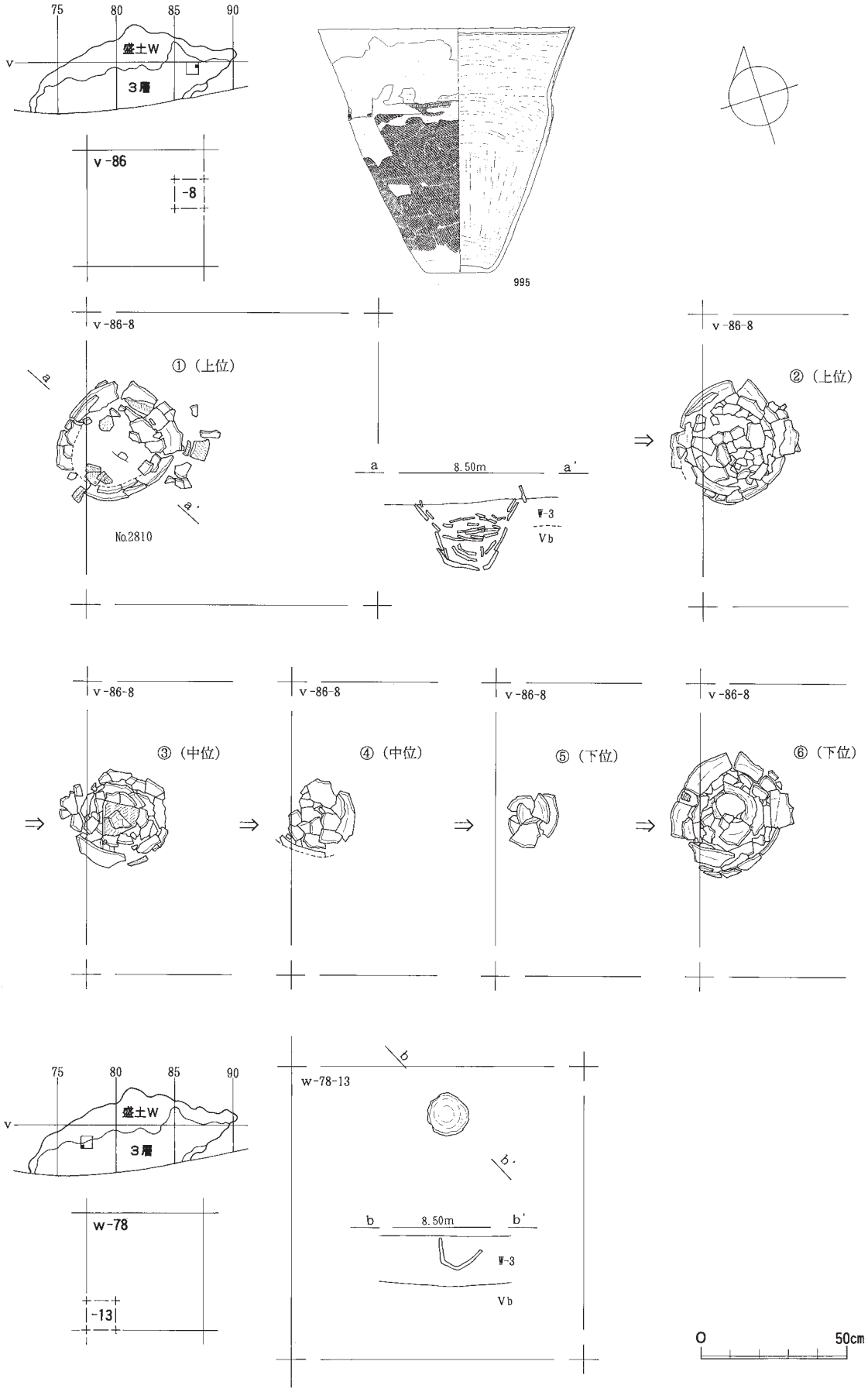
図Ⅳ－151　盛土W復元土器接合図（４）



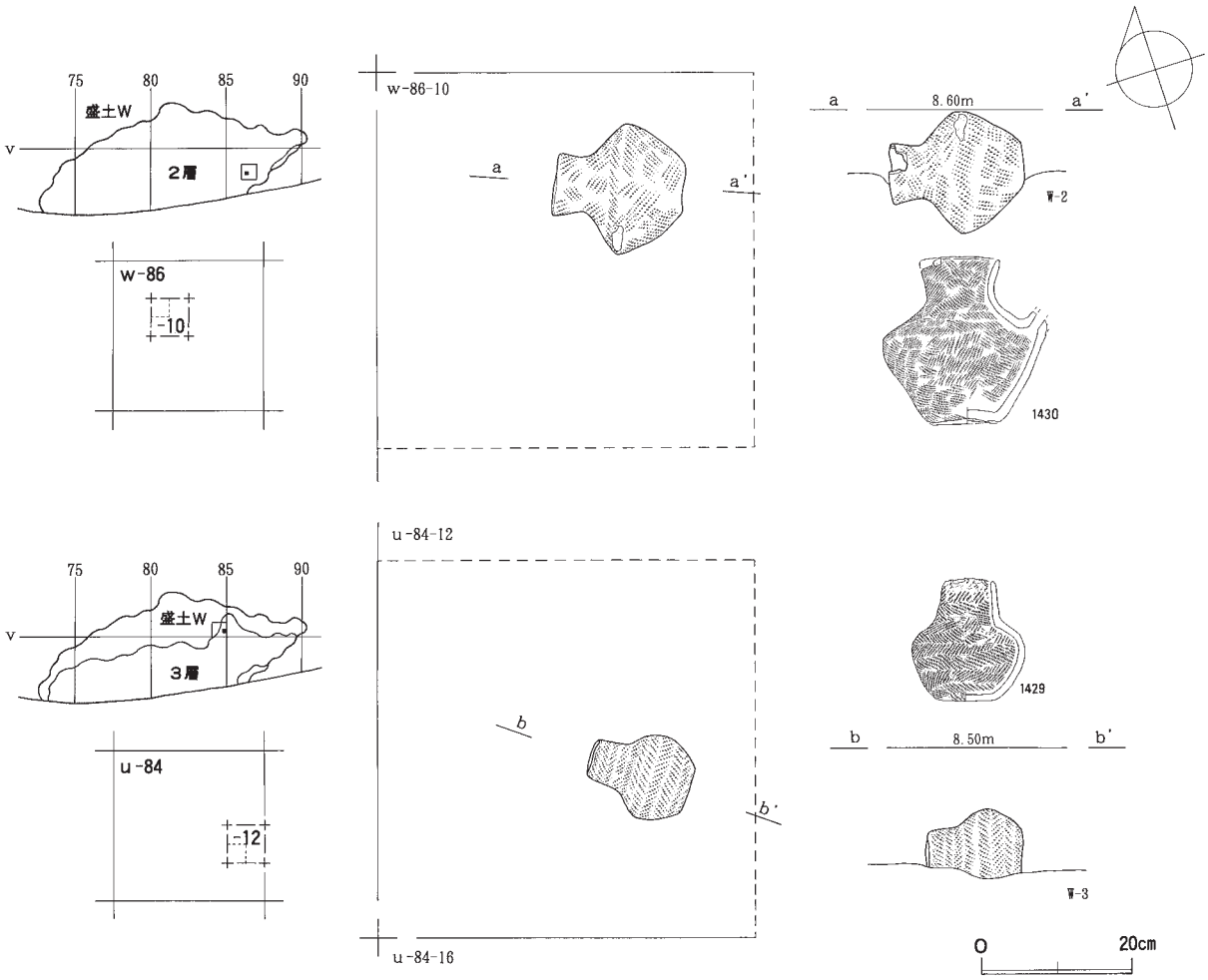
図Ⅳ－152　盛土W復元土器接合図（５）



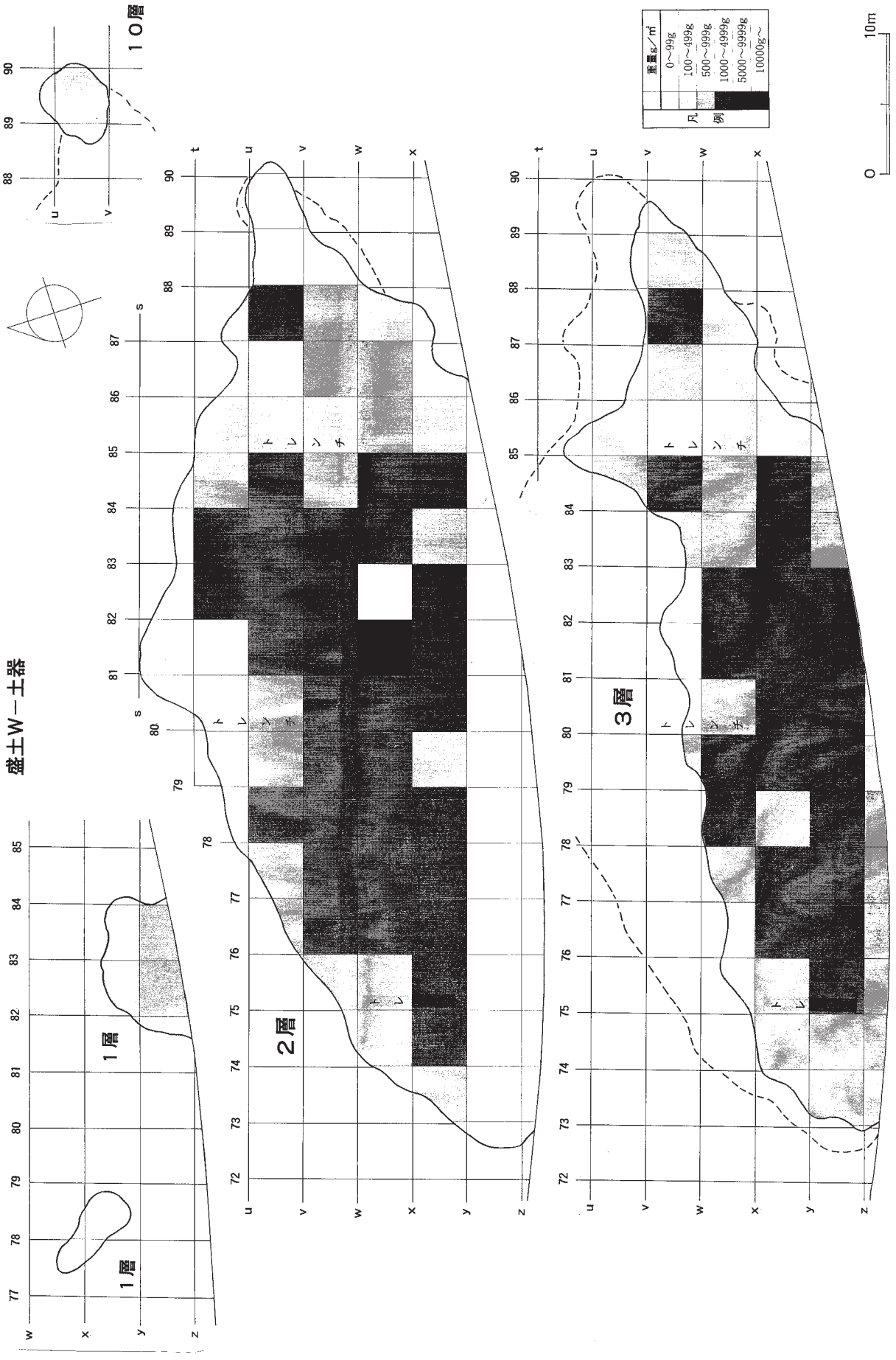
図Ⅳ－153　盛土W遺物出土状況（１）



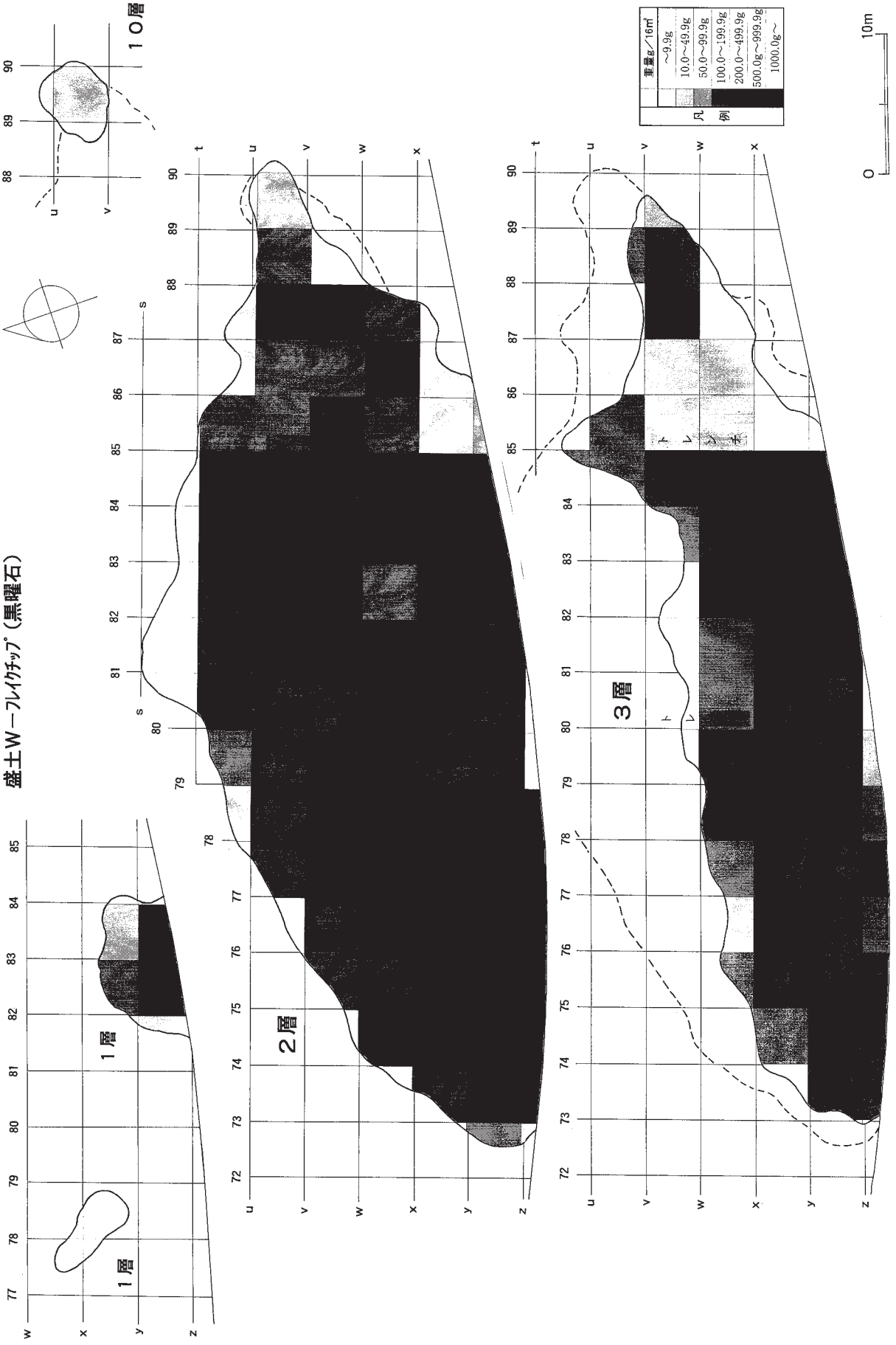
図Ⅳ－154　盛土W遺物出土状況（２）



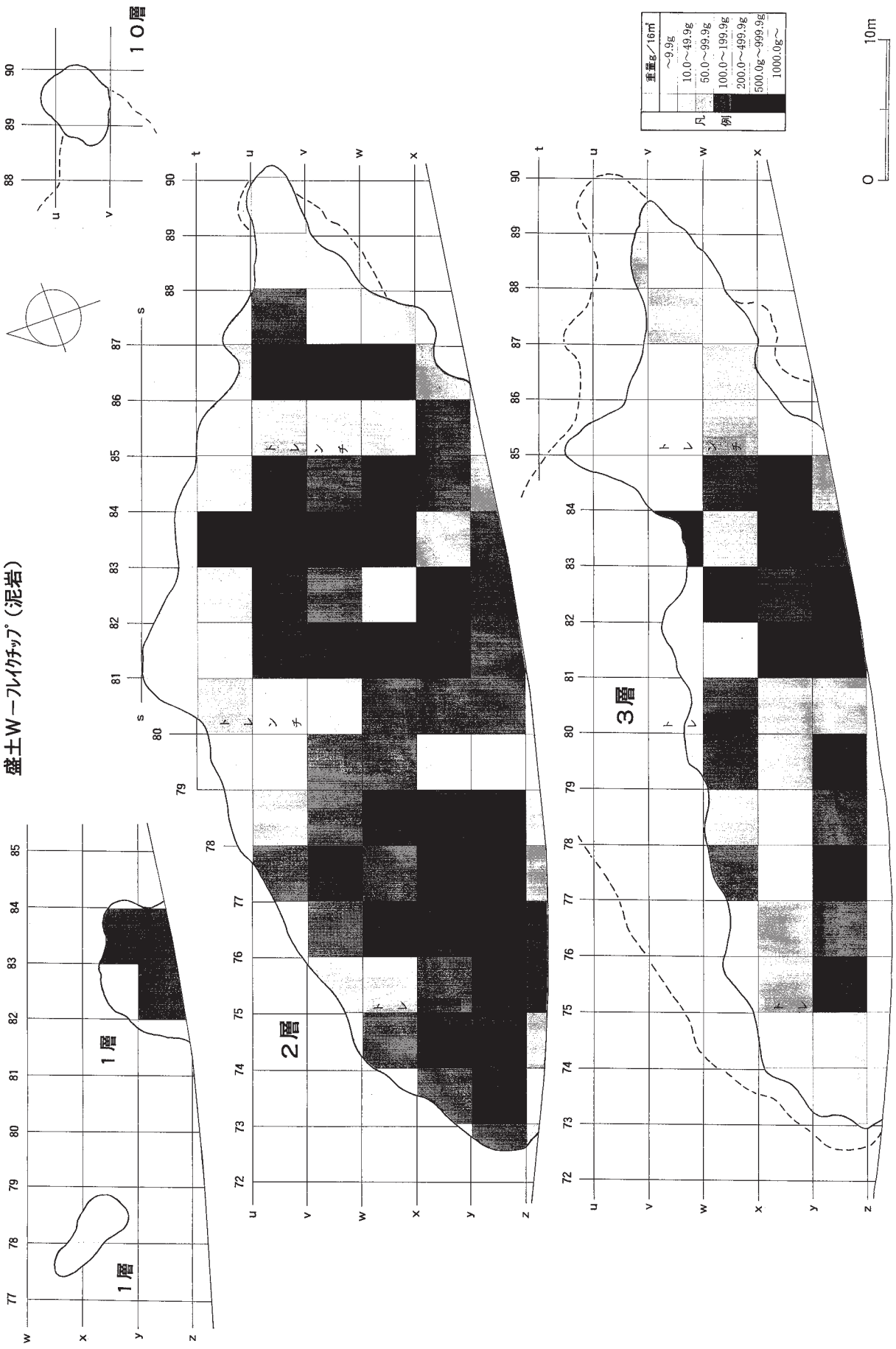
図Ⅳ－155　盛土W遺物出土状況（３）



図Ⅳ－156　盛土W　土器等重量分布図



図Ⅳ－157　盛土W　フレイクチップ重量分布図（1）



図Ⅳ－158　盛土W　フレイクチップ重量分布図（2）

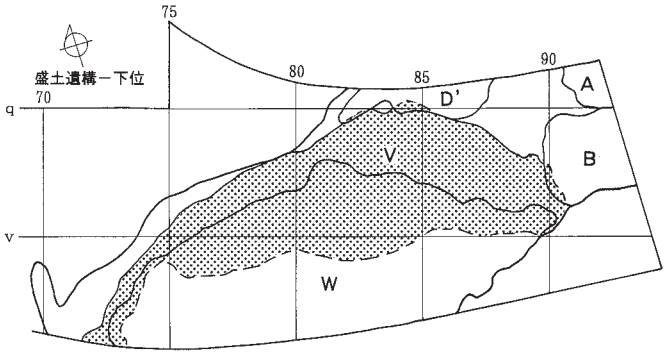
（５）盛土Ｖ

ａ．概要

規模　79ｍ×22ｍ／

最大層厚　0.53ｍ

推定土量　約158.1㎥



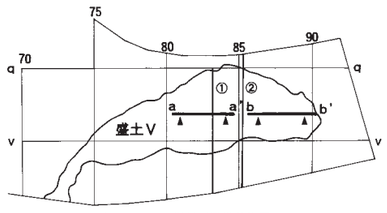
図Ⅳ－159　盛土Ｖ位置図

確認・調査　調査区内に広がる盛土遺構の北西部～中央部の大半を占める。北から南へ緩やかに傾斜する標高8.0ｍ～9.2ｍのＶｂ層上に形成されている。調査区内でも最初期に形成された盛土遺構である。標高では北端部のｐ－84付近が最も高いが、北西縁辺部から北東縁辺部に至るまで9.0ｍの等高線にほぼ沿っている。一方標高が低いのはｚ－73付近である。西部は全体的に傾斜がやや急で、盛土Ｖもその傾斜に沿っている。しかしそれ以外は、西部から東部に至るまで大きな標高差はない。なお盛土Ｖは調査区南側にさらに広がっているが、層厚は徐々に減少するものとみられる。

調査ではまず75ライン・85ラインの各トレンチ調査によって、盛土Ｖとしたブロックは低地側に広い範囲に分布していることを把握した。その後、盛土遺構－上位においてトレンチ調査を行った際、下層の盛土Ｖの状況を確認していった。土層の堆積状況から、柱穴群のある北西方向から低地側の南東方向に排土している様子が顕著にうかがえた。調査の進行上、盛土Ｖ上面をすべて検出してから調査することが困難であったため、盛土遺構－上位および盛土Ｗの調査が終わった部分（調査区西部および東部の大部分と中央部の一部）から順次調査を行った。4ｍ×4ｍの大グリッド単位で遺物を取り上げたほかは盛土遺構－上位と同様の調査を行った。一括出土の土器が多かったが、写真撮影・図面作成終了後順次取り上げた。ただし埋設状態のものなどは、位置関係を捉えるために一部残しながら調査した。

次に、周囲の盛土ブロックとの関係をみる。盛土Ｗとの間では、調査区中央部付近一帯で広範囲に重複している。北～北西方向から南～南東方向に向かって盛土Ｖが徐々に層厚を減少させる部分に重なって、盛土Ｗが徐々に層厚を増している。盛土Ｖの西部では各層とも傾斜がやや急なため重複範囲も狭いが、中央部付近一帯では各層とも傾斜が緩やかで広範囲に重複している。盛土Ｗとの境界は土層断面をたよりとして、盛土Ｗの最下層（２層または３層）の下面に帯状に集中する炭化物や、遺物をほとんど含まない黒色の薄層（盛土Ｖ－１層上面またはＶ－10層）をそれぞれ目安としている。ほかに重複する盛土遺構－下位のブロックには、盛土Ｂ・盛土Ｄ（下位）がある。盛土Ｂはｓ・ｔ・ｕ－89・90区でわずかに盛土Ｖの上に重なっている。盛土Ｄ（下位）はｐ－84付近で盛土Ｖに重なっている。また盛土Ｖの上には盛土Ｗがあるが、それ以外のエリアでは盛土遺構－上位（盛土Ｄ・Ｅ・Ｊ・Ｚ）が形成されている。

焼土は、各層から大小さまざまな規模のもの43ヵ所を確認した。盛土Ｗ同様、焼土が集中するエリアとまったく検出できなかったエリアの差が大きい。特にｗ－77区付近では、盛土が形成される最初期の大型の焼土群があることは注目すべき点である。また、灰集中2ヵ所、フレイクチップ集中3ヵ所があり、土器の集中箇所も多数見られた。特に盛土Ｖ中央付近および西部では、埋設状態のものやその場でつぶれたような状態で出土した土器も多い。



●盛土Ⅴの土層断面図掲載位置

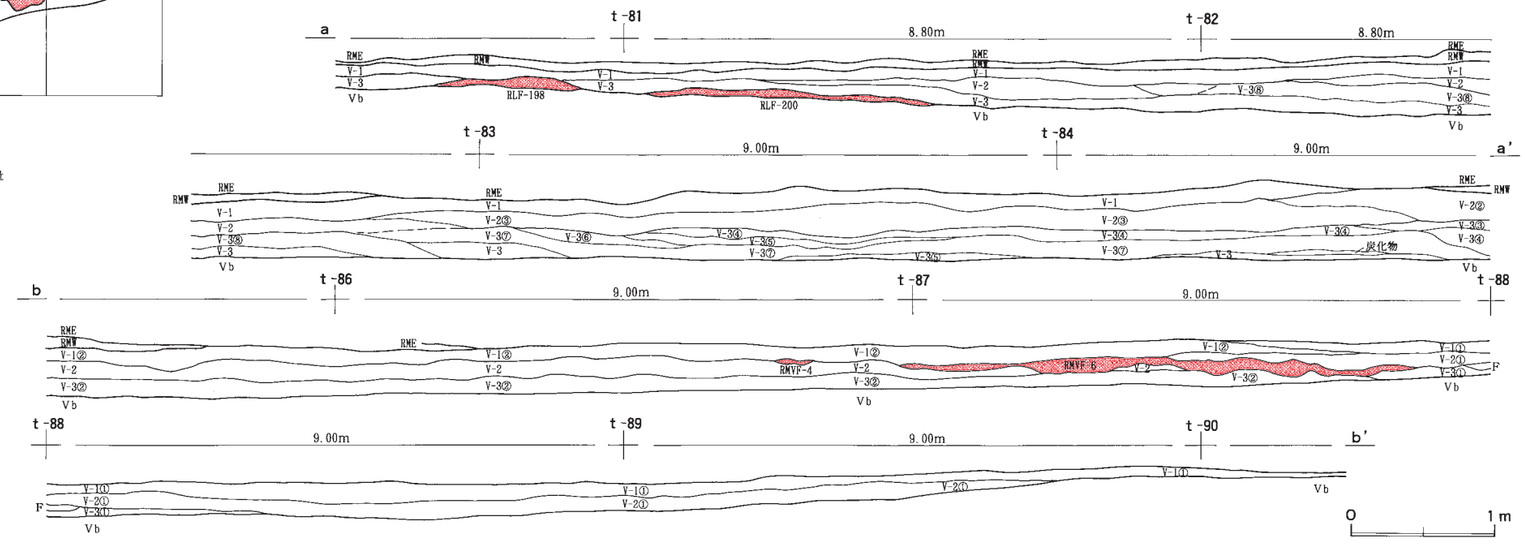
①……Ⅲ章－3
②……Ⅳ章－1

盛　土　Ⅴ

VF-1　VF-2　VF-3　VF-4　VF-5　VF-6　VF-7　VF-8　VF-9　VF-10　VF-11　VF-12
VF-13　VF-14　VF-15　VF-16　VF-17　VF-18　VF-19　VF-20　VF-21　VF-22　VF-23　VF-24　VF-25　VF-26　VF-27　VF-28　VF-29　VF-30　VF-31　VF-32　VF-33　VF-34　VF-35　VF-36　VF-37　VF-38　VF-39　VF-40　VF-41　VF-42　VF-43
VFC-1　VFC-2　VFC-3
V-軽石1　V-軽石2　V-軽石3

0　5m

V-1……淡黒灰色
V-1①……黒褐色（10YR2/2）　粘性強。しまり良。軽石少量
V-1②……黒色（10YR2/1）
V-2……黒褐色（10YR3/1）
V-2①……黒褐色（10YR2/3）　軽石少量。
V-2②……黒灰色
V-2③……暗灰色
V-3……淡黒褐色
V-3①……黒色　　軽石ほとんど含まない。
V-3②……黒褐色　　粘性強。しまり良。軽石少量。
V-3③……淡黒灰色　軽石少量。
V-3④……淡黒灰色　軽石微量。
V-3⑤……黒褐色土＞黄色土
V-3⑥……黒褐色土＞黄色土　　軽石やや多量。
V-3⑦……黒褐色
V-3⑧……暗灰色
Vb……黒色（N 2/0）　粘質。



図Ⅳ－160　盛土Ⅴ層厚図および土層断面図

ｂ．土層

盛土Wと同様に、各層とも黒色土を基調とし変化に乏しいため、他の盛土ブロックに比べ非常に分層しにくくなっている。また広域に分布しているため、同じ層位と認識できる土壌も局所的あるいは漸移的に若干異なる部分もある。そこで盛土Wと同様に、おおむね上・中・下の３層に分層し、各グリッド相互の土層を比較して大きく１～３層にまとめた。

盛土Ⅴ－１層

淡黒灰色～黒色で盛土Ⅴの中では暗く、Ｅｎ－ａ軽石はあまり多く含まない。炭化物も少ない。粘性が強く、しまりもよい。分布範囲は盛土Ⅴの南東部の大部分である。層厚は10～15㎝程度でやや厚い。焼土は４ヵ所検出され、Ⅴ－１層の北端部に偏っている。遺物は層厚の割に少なく、土器・石器ともやや小片が多い。

盛土Ⅴ－１層は、盛土Ⅴ－２層まで形成した後再び遺物を多く含ませた盛土Wを形成するまでの間層的な状態であったと思われる。

盛土Ⅴ－２層

淡黒褐色を基本とし、黒褐色～灰色まで明度が異なる部分がある。全体的に径5㎜程度のＥｎ－ａ軽石をやや少量含む。泥炭質で、茎•根などがやや多く含まれている。分布範囲は盛土Ⅴ東部のほぼ全域にまたがっている。層厚は10～25㎝で変化し、やや厚い部分が多い。

盛土Ⅴ－２層は、土層断面図（図Ⅳ－160）でも示したとおり多層にわたって積み上げられたものとみられるが、平面的にその分布を捉えることは非常に困難であった。そのため、多くの廃棄単位を含めてⅤ－２層として調査した。排土された方向は、全体としては西から南東方向であるが、ｔ－84付近に高まりがみられ、やや集中的に排土されている部分もある（Ⅴ章－２・盛土Ｅ土層断面参照)。焼土は8ヵ所を確認した。特にｓ・ｔ－87区に大型の焼土がある。

遺物の包含密度はやや低めである。土器の破片は大型のものが多く、集中域も多数見られる。フレイクチップの集中箇所も２ヵ所ある。

盛土Ⅴ－３層

盛土遺構の中で（Ⅴ－４層とともに）最初期に形成された層。黒色を基本とし、盛土遺構の中では最も暗く、Ｅｎ－ａ軽石は多く含まれていない。ただし一部に軽石を多量に含むブロック状の部分がある。炭化物は部分的に多量に含まれている。盛土Ⅴの南東の一部を除いてほぼ全域に分布している。層厚は10～25㎝でやや厚い部分が多い。盛土Ⅴ－３層は、Ⅴ－２層と同様に多層にわたって積み上げられたものとみられるが、多くの廃棄単位を含めてⅤ－３層として調査した。

焼土は29ヵ所を確認した。特に東部のｓ－86付近および西部のｗ－77付近に集中しており、盛土を形成する初期段階において場を選んで利用している様子がうかがえる。遺物の密度はやや低いものの、土器の破片は大型のものが多く、集中域や完形出土、埋設状態のものも見られる。

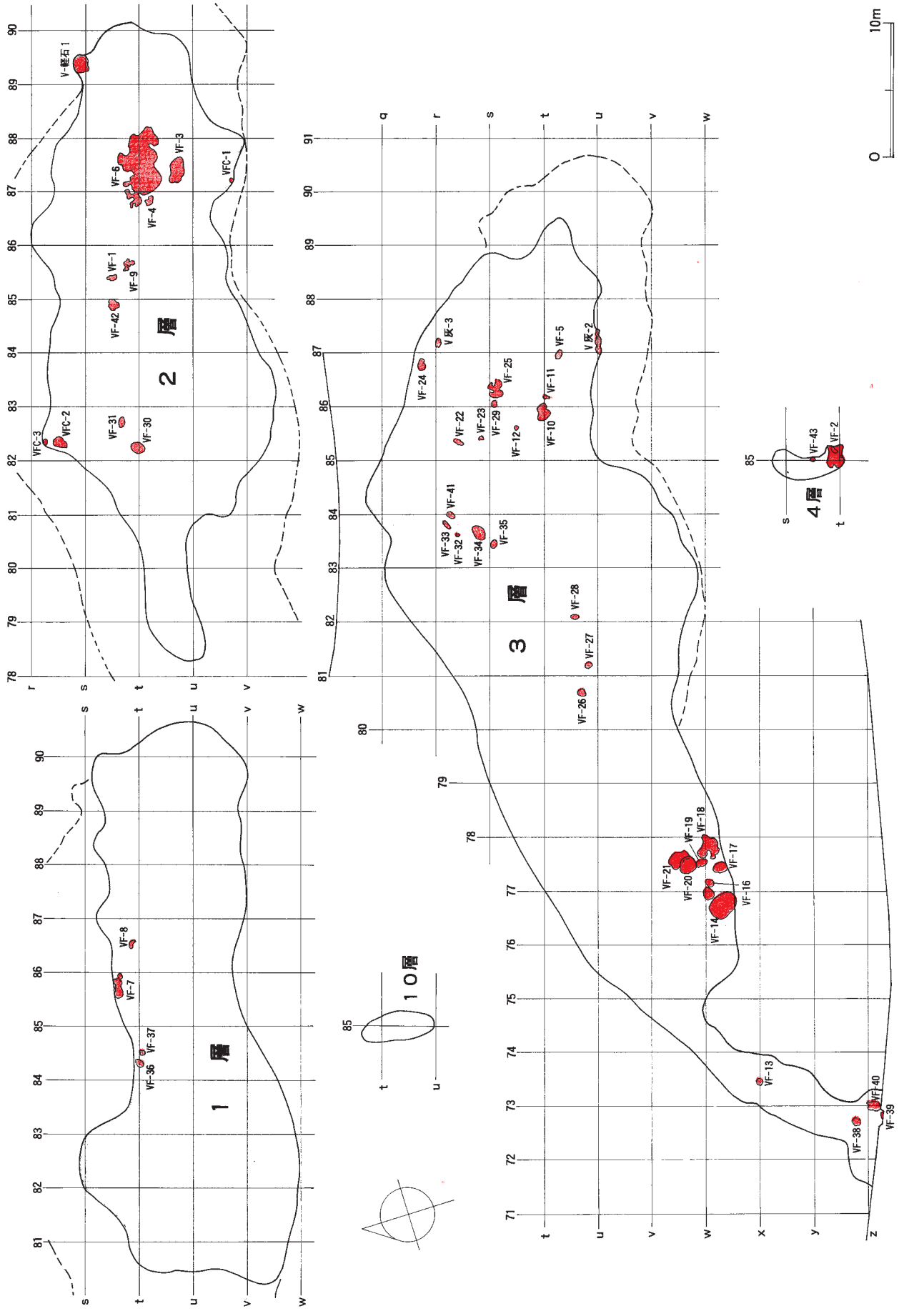
盛土Ⅴ－４層

黒色で暗く、軽石をほとんど含まない。分布範囲はｓ－84付近のごく限られた範囲である。盛土Ⅴ－３層の一部とみることができるが、最初期に形成された部分として分層した。大型の焼土がⅤｂ層にまたがって形成されている。

盛土Ⅴ－10層

黒褐色でやや暗く、軽石をあまり含まない。また遺物もほとんど含んでいない。分布範囲はｔ－85付近のごく限られた範囲である。層厚は5～10㎝程度ある。

盛土ⅤとWの間層的な部分と思われる。



図Ⅳ－161　盛土Ⅴ各層位分布図

c．焼土

盛土Ⅴでは、43ヵ所の焼土を検出した。盛土Wと同様に、分布に大きな偏りがあることが特徴である。１m以上のやや大型の焼土は15ヵ所を数える。強く被熱した焼土が多いが、泥炭質の土壌のためか、やや脱色しているものも多く見られた。色調は暗黄橙色・暗赤褐色を基調としている。混入物が少ないことや被熱層の乱れが小さいことなどから、その場で形成されたものが多いとみられる。ただし、焼土の一部が流出したような状況も多く観察される。

各焼土の規模などは一覧表に掲げた。以下に各焼土の特徴と所見を層ごとに記す。

表Ⅳ－28　盛土Ⅴの焼土一覧

焼土番号	被熱層	中心位置(発掘区)	平面形	規模(cm)			色調	図版番号	遺物				備考
				長軸	短軸	層厚			土器	石器	礫	骨片	
RMVF－1	V2	s-85	不整形	74	34	7	赤褐色	図Ⅳ－162	＊	＊			
RMVF－2	V4	s-84	不整形	185	115	6	赤褐色	図Ⅳ－167	△	＊	＊	＊	
RMVF－3	V2	t-87	ほぼ楕円形	202	100	10	赤褐色	図Ⅳ－163	○	＊	＊	＊	
RMVF－4	V2	t-86	ほぼ楕円形	70	39	4	暗赤褐色	図Ⅳ－163	＊	＊	＊	＊	
RMVF－5	V3	t-86	楕円形	72	34	6	明赤褐色	図Ⅳ－166	＊	＊	＊	＊	
RMVF－6	V2	t-87	不整形	612	360	12	明赤褐色	図Ⅳ－163	○	△	△	△	
RMVF－7	V1	s-85	不整形	186	65	10	にぶい赤褐色	図Ⅳ－162	△	＊	＊	＊	
RMVF－8	V1	s-86	不整形	70	30	－		図Ⅳ－162	△	＊	＊	＊	
RMVF－9	V2	s-85	不整形	110	52	－		図Ⅳ－162	＊	＊	＊	＊	
RMVF－10	V3	s-85	不整形	136	95	5	明赤褐色	図Ⅳ－166	△	＊	＊	＊	
RMVF－11	V3	t-86	不整形	40	26	－		図Ⅳ－166		＊		＊	
RMVF－12	V3	s-85	ほぼ円形	30	29	－		図Ⅳ－166	△	＊	＊	＊	
RMVF－13	V3	w-73	楕円形	48	44	4	橙色	図Ⅳ－164	＊	＊		＊	
RMVF－14	V3	w-76	楕円形	220	160	3	淡黄橙色	図Ⅳ－164	△	＊	＊	＊	
RMVF－15	V3	w-76	楕円形	90	75	3	暗黄橙色	図Ⅳ－164	＊	＊	＊	＊	
RMVF－16	V3	w-77	楕円形	70	55	1	暗黄橙色	図Ⅳ－164	＊	＊		＊	
RMVF－17	V3	w-77	長円形	110	70	1	暗黄橙色	図Ⅳ－164	○	＊	＊	＊	
RMVF－18	V3	w-77	不整形	173	170	10	明赤褐色	図Ⅳ－164	○	△	△	○	埋設土器あり
RMVF－19	V3	v-77	長楕円形	85	70	3	淡黄橙色	図Ⅳ－164	△	＊	＊	＊	
RMVF－20	V3	v-77	楕円形	125	125	5	暗黄橙色	図Ⅳ－164	○	＊	＊	△	軽石混入
RMVF－21	V3	v-77	不整形	160	75	2	暗黄橙色	図Ⅳ－164	△	＊		＊	RMVF-20下方
RMVF－22	V3	r-85	不整形	68	34	6	赤褐色	図Ⅳ－166	＊			＊	
RMVF－23	V3	r-85	双円形	38	19	－		図Ⅳ－166	△	＊	＊	＊	
RMVF－24	V3	q-86	ほぼ円形	86	56	5	赤褐色	図Ⅳ－166	△	＊	＊	＊	
RMVF－25	V3	s-86	不整形	140	119	－		図Ⅳ－166					
RMVF－26	V3	t-80	円形	55	55	2	灰橙色	図Ⅳ－165	＊	＊	＊	＊	
RMVF－27	V3	t-81	楕円形	55	40	2	淡黄橙色	図Ⅳ－165					RLF-200上方
RMVF－28	V3	t-82	楕円形	60	45	2	暗黄橙色	図Ⅳ－165	＊	＊	＊	＊	
RMVF－29	V3	s-86	楕円形	56	38	－		図Ⅳ－166	＊		＊	＊	
RMVF－30	V2	s-82	楕円形	100	82	－		図Ⅳ－162	＊	＊	＊	△	
RMVF－31	V2	s-82	長楕円形	73	38	－		図Ⅳ－162	△	＊	＊	＊	
RMVF－32	V3	r-83	円形	28	28	2	赤褐色	図Ⅳ－165	△	＊	＊	△	
RMVF－33	V3	r-83	長楕円形	74	29	2	暗赤褐色	図Ⅳ－165	△	＊		＊	
RMVF－34	V3	r-83	楕円形	118	82	2	明赤褐色	図Ⅳ－165	＊	＊	＊	＊	
RMVF－35	V3	s-83	長楕円形	64	40	2	赤褐色	図Ⅳ－165	＊			＊	
RMVF－36	V1	t-84	楕円形	66	47	7	明橙褐色	図Ⅳ－162	△	＊	＊	＊	
RMVF－37	V1	t-84	不整形	45	38	4	橙褐色	図Ⅳ－162	△			＊	
RMVF－38	V3	y-72	ほぼ楕円形	67	48	4	橙色	図Ⅳ－164					
RMVF－39	V3	z-72	楕円形	54	40	3	にぶい黄橙色	図Ⅳ－164					
RMVF－40	V3	z-73	不整形	108	70	6	橙色	図Ⅳ－164					
RMVF－41	V3	r-83	楕円形	66	43	9	にぶい赤褐色	図Ⅳ－165	△	＊	＊	＊	
RMVF－42	V2	s-84	不整形	90	80	8	にぶい赤褐色	図Ⅳ－162	＊	＊	＊	＊	
RMVF－43	V4	s-85	楕円形	32	25	2	赤褐色	図Ⅳ－167	＊		＊	＊	

※遺物『◎』…特に多量『○』…多量『△』…少量『＊』…微量

表Ⅳ－29　盛土Ⅴの焼土出土土器等

（フローテーションで得られた砕片は含まない）

焼土番号	Ⅰb-4	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳa	Ⅳb-3	Ⅳb-4	Ⅳc	Ⅳc-1	Ⅳc-0	ミニチュア土製品	焼成粘土塊	合計
RMVF-1							1					1
RMVF-2						19	7	1				27
RMVF-3						1	29	7				37
RMVF-4							2					2
RMVF-5								1				1
RMVF-6						11	36	8				55
RMVF-7							4					4
RMVF-10							6	1				7
RMVF-14							3					3
RMVF-18						2	20	10				32
RMVF-19							2					2
RMVF-20				1		3	16	3				23
RMVF-21						4						4
RMVF-30							2	1				3
RMVF-32							2					2
RMVF-34							1	1				2
RMVF-36							18	2				20
RMVF-37							38	2				40
RMVF-38						2	16	2				20
RMVF-39					11		2	2				15
RMVF-40				1			18	1				20
RMVF-41							4	2				6
RMVF-42						1		1				2
RMVF合計				2	11	43	227	45				328

表Ⅳ－30　盛土Ⅴの焼土出土石器等

（フローテーションで得られたフレイクは含まない）

焼土番号	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石斧	たたき石	砥石	台石もしくは石皿	ピエス・エスキーユ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のみられる礫	石核	原石	フレイク	礫	石棒	石製品	合計
RMVF-1																1			1
RMVF-6	2										2				1				5
RMVF-7							1									1			2
RMVF-13	1																		1
RMVF-14	2														1				3
RMVF-18	1						1	1		1				1	2				7
RMVF-20	2	2	1							1					5	3			14
RMVF-21																1			1
RMVF-23	1																		1
RMVF-30												1							1
RMVF-31	1																		1
RMVF-32										1									1
RMVF-33	1																		1
RMVF-34																1			1
RMVF-36	1														13				14
RMVF-38																3			3
RMVF-39										1									1
RMVF-40															2	1			3
RMVF-41										1							1		2
RMVF-42																1			1
合計	12	2	1	0	0	0	2	1	0	5	2	1	0	1	24	12	1	0	64

【盛土Ⅴ－１層の焼土】（図Ⅳ－162）

ＲＭＶＦ－７　盛土Ⅴ－１層の北端部に位置する。明度が高く、被熱層もやや厚く安定している。遺物は規模の割にあまり出土していない。

ＲＭＶＦ－８　小型で薄い焼土。

ＲＭＶＦ－36　南北２ヵ所に被熱の中心をもち、周囲に向かって漸移的変化がみられる。

ＲＭＶＦ－37　小規模ながらやや明度が高い。遺物は規模の割に多く含まれている。

【盛土Ⅴ－２層の焼土】（図Ⅳ－162・163）

ＲＭＶＦ－１　小規模であるが、明度が非常に高い。境界は明瞭である。

ＲＭＶＦ－３　盛土Ⅴの東部で検出したやや大型の焼土群の一つ。盛土Ⅴ－２層の傾斜に沿って、北側から南側に傾斜している。強く被熱した部分が数ヵ所あり、その周辺が漸移的に暗くなっている。また、被熱層は北側が厚く南側が薄く、一部流出したものであることが考えられる。遺物はフローテーションで土器が多く回収されている。

ＲＭＶＦ－４　盛土Ⅴの東部で検出した焼土群の一つ。小規模で被熱層がやや乱れている。

ＲＭＶＦ－６　盛土Ⅴの東部で検出した焼土群の一つ。６ｍを超える大規模なもので、強く被熱した部分が十数ヵ所もあり、何度も利用されたことがうかがえる。盛土Ⅴ－２層の傾斜に沿って、北側から南側にゆるやかに傾斜している。南側および東側は、盛土Ⅴ－３層上面にまたがっている。被熱層は5～10㎝程度の部分が多く、明度が高い状態で安定している。遺物は規模の割に少ない。土器はⅣ群ｂ-4類が多く出土している。

ＲＭＶＦ－９　非常に不整形で、層界は明瞭であるが被熱層は薄い。遺物は少ない。

ＲＭＶＦ－30　盛土Ⅴの中央部付近にやや独立した状態で検出された。やや明度が高く、強く被熱している。周辺部との境界は明瞭である。遺物はほとんど出土していない。

ＲＭＶＦ－31　ＲＭＶＦ－30に程近い。被熱層は薄いものの、やや強く被熱している。遺物はほとんど出土していない。

ＲＭＶＦ－42　明度が非常に高い。ＲＭＶＦ－１・９と一連のものと思われる。遺物はほとんど出土していない。

【盛土Ⅴ－３層の焼土】（図Ⅳ－164～166）

ＲＭＶＦ－５　平面は整った楕円形だが、断面はやや複雑で北西側に被熱の中心をもつ。被熱層は明度が高く、漸移的変化が見られる。盛土Ⅴ－３層の傾斜に沿って南西側が下がっている。遺物はほとんど出土していない。

ＲＭＶＦ－10　多数の焼成箇所が集合したやや大型の焼土。明度は高い。遺物はⅣ群ｃ類土器が少々出土している。

ＲＭＶＦ－11　ＲＭＶＦ－10と同一面で検出した、小型の焼土。

ＲＭＶＦ－12　小規模で薄い焼土。

ＲＭＶＦ－13　盛土Ⅴ西部で検出した、やや独立した位置にある焼土。

ＲＭＶＦ－14　ＲＭＶＦ－14～21は、盛土Ⅴの西部、３層の南端部に位置する大型の焼土群。長軸約6m、短軸約4mほどの範囲にある。全体的に被熱層はそれほど厚くないが、たがいに近接しており焼土の平面的密度が高い。盛土形成初期の段階で、このエリアを焼成の場として定め、積極的に利用した跡がうかがえる。

ＲＭＶＦ－14はこのエリアの中で最大のもので、長軸が2mを超える。しかし被熱層はそれほど厚くない。全体的に脱色した状態に見える。遺物はほとんど出土していない。

ＲＭＶＦ－15 被熱層は安定しておりやや厚いが、明度はそれほど高くない。遺物はほとんど出土していない。

ＲＭＶＦ－16 このエリアの焼土群の中では小型で薄い焼土。

ＲＭＶＦ－17 盛土Ｖ－３層とＶｂ層の境界付近にある。楕円形で被熱層が薄いながらも安定している。遺物はフローテーションで土器が多く回収されている。

ＲＭＶＦ－18 不整形に広がる大型の焼土。被熱層は5～10㎝で、この焼土群の中で最も厚い。被熱の中心は数ヵ所あり、それぞれ断面がレンズ状になっており、周囲に向かって漸移的変化が見られる。盛土Ｖ－３層の端部からＶｂ層にまたがって形成されている。

この焼土の最大の特徴として、焼土中央部に注口土器が埋設されていることがあげられる。土器は注口部が欠損しているほかは完全に残存している。Ⅳ群ｂ-4類に属し、刻み列・襷がけ帯状文・貼瘤などで構成されている。口径8.7㎝・胴最大径16.2㎝・器高16.3㎝で、口頸部は太く、胴部中央に最大径をもつ。口縁部がわずかに焼土上面から出た状態で出土した。ほぼ上下正位で埋設されているが、わずかに北西側に傾いている。底部は焼土下6㎝ほどにまで達し、Ｖｂ層を掘り込んでいる。また、土器の北西側に2～4㎝ほど黒色土が入り込んでいる。土器の表面は、二次焼成による被熱の跡は明瞭には観察できなかった。以上のことから、土器が埋設されたのは焼土が大部分形成された段階であるものと考えられる。

この土器を取り囲むように、炭化材が出土している。焼土中央部付近の80～90㎝の範囲で、焼土断面でもほぼ中央部に位置する。放射性炭素年代測定の結果、3330±40yB.P.の数値を得た（第Ⅷ章）。また、土器の南東側には20㎝ほどの大きさの石皿が出土している。砂岩製で非常にもろく、記録をとるにとどめた。これ以外に、Ⅳ群ｃ類土器やフレイクチップが散在している。

ＲＭＶＦ－19 盛土Ｖ－３層の下部で検出した。25㎝角ほどの礫にかぶっている。被熱層は薄い。遺物はほとんどない。

ＲＭＶＦ－20 盛土Ｖ－３層の下部で検出した。大型で被熱層が安定している。ＲＭＶＦ－21とはわずかな間層をはさんで重なっている。遺物はフローテーションで土器が多く回収されている。

ＲＭＶＦ－21 ＲＭＶＦ－20の下で検出した大型の焼土。被熱層は薄く不均質である。遺物はほとんど出土していない。

ＲＭＶＦ－22 盛土Ｖの東部で検出した中規模の焼土。南北２ヵ所に被熱の中心をもち、断面はそれぞれレンズ状になっている。明度は高い。

ＲＭＶＦ－23 ＲＭＶＦ－22に程近い位置にある小規模な焼土。

ＲＭＶＦ－24 盛土Ｖの北東端部でやや独立した位置で検出した。東西２ヵ所に被熱の中心をもち、断面はそれぞれレンズ状になっている。明度は高いがやや不均質である。

ＲＭＶＦ－25 被熱層が薄い不整形な焼土。いくつかの焼成スポットが集合したもの。

ＲＭＶＦ－26 ＲＭＶＦ－26～28は盛土Ｖの中央部付近で検出した。60㎝ほどの大きさで、たがいに2～4ｍほどはなれている。

ＲＭＶＦ－26はやや淡い色調をしており、やや不均質である。

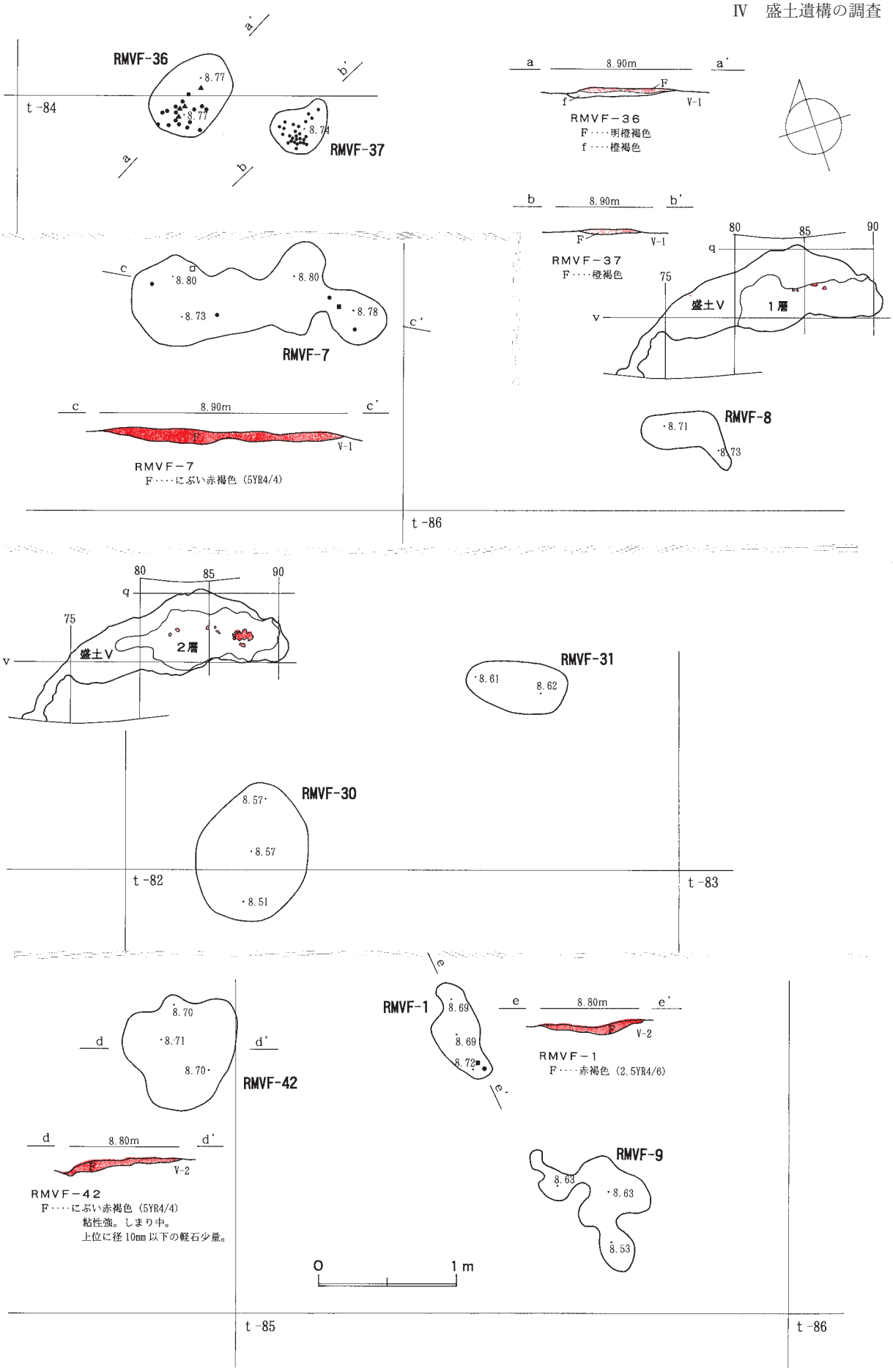
ＲＭＶＦ－27 薄い焼土。

ＲＭＶＦ－28 不均質で薄い焼土。

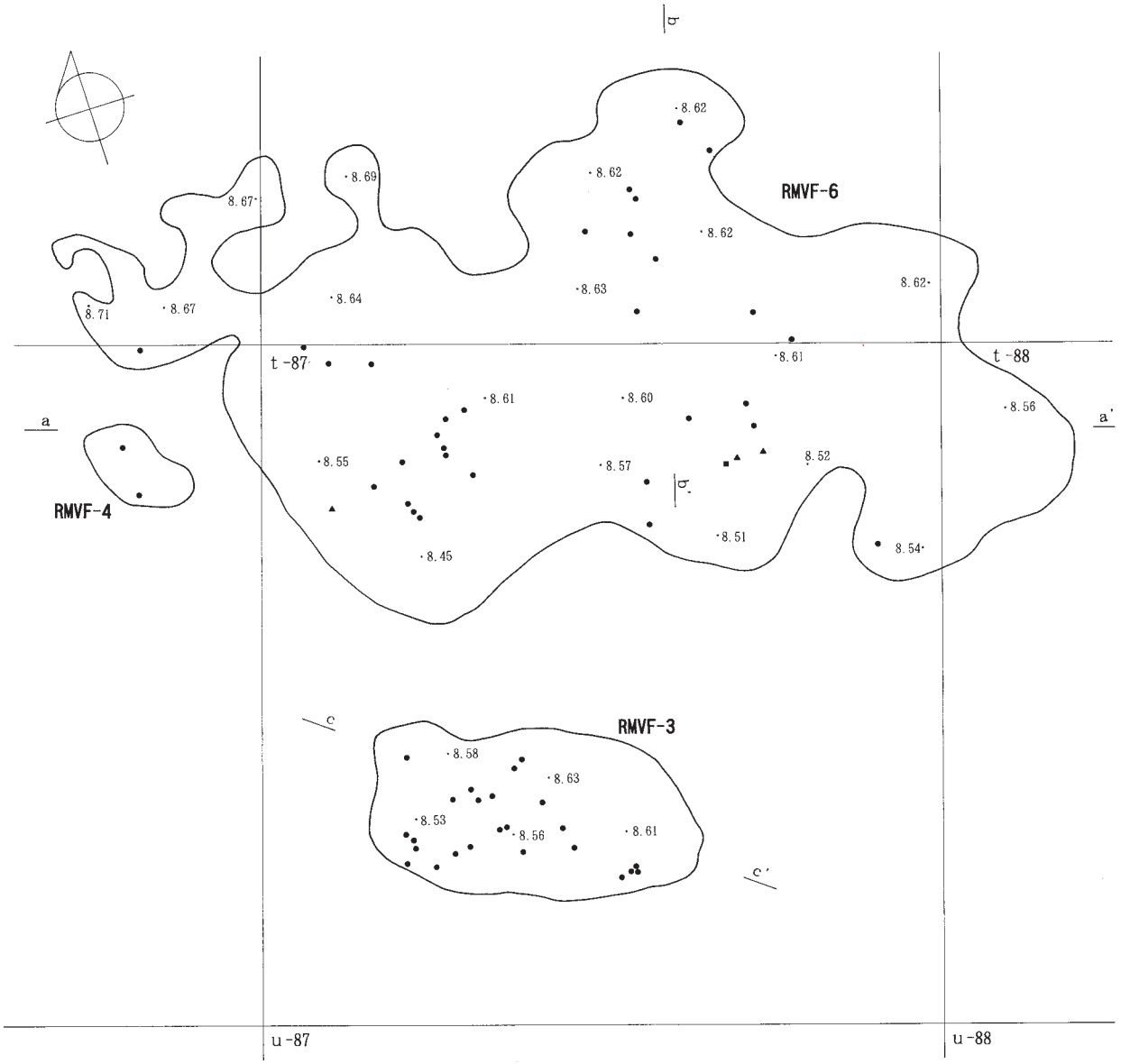
ＲＭＶＦ－29 小規模で薄い焼土。明度が低い。

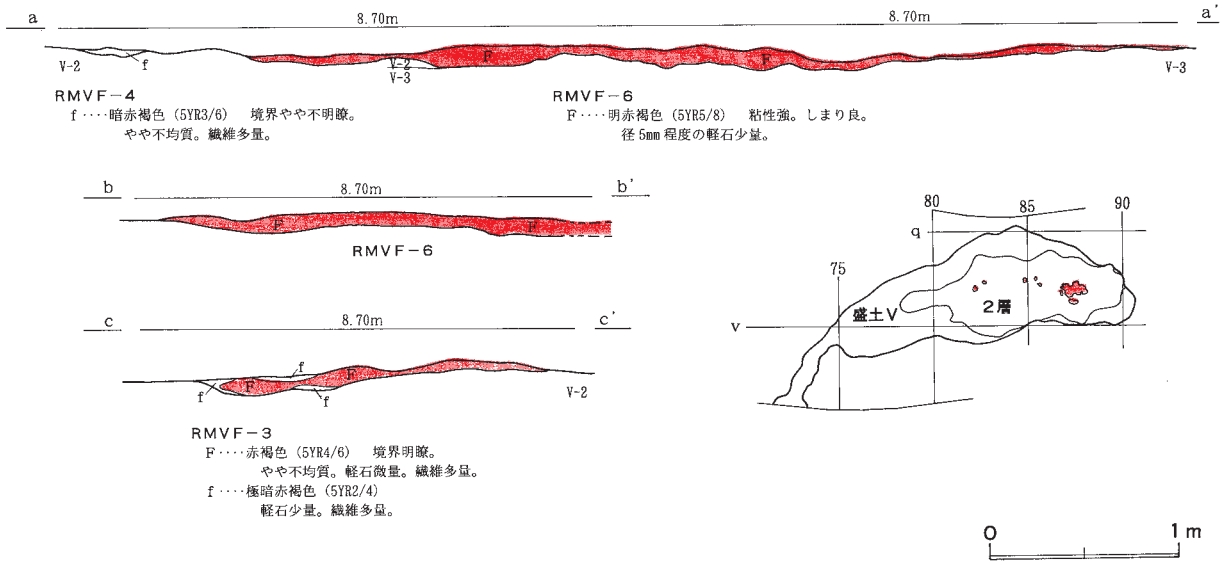
ＲＭＶＦ－32 ＲＭＶＦ－32～35・41は盛土Ｖの北部で検出した中規模な焼土群。

ＲＭＶＦ－32は小型で薄い焼土。

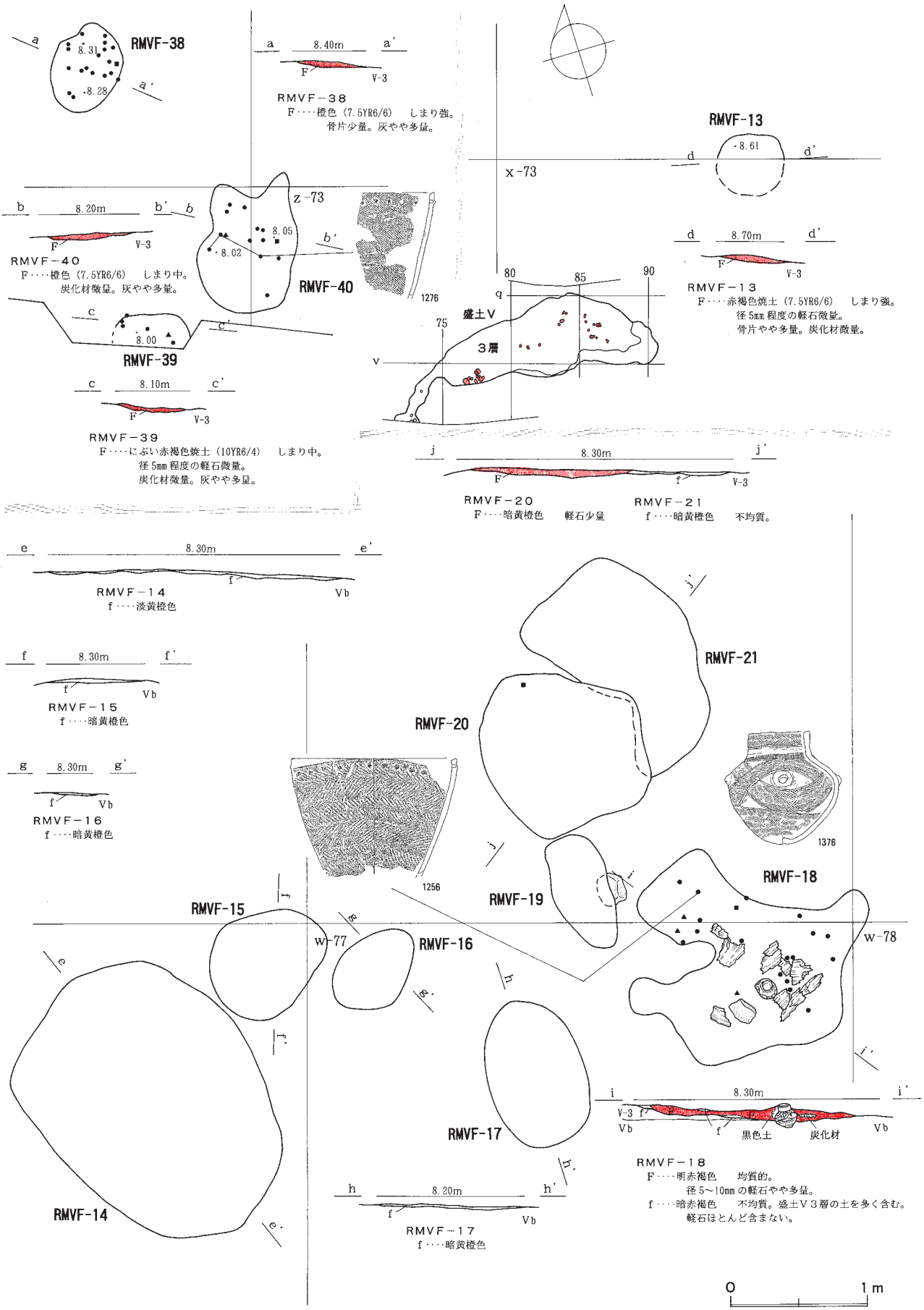


図Ⅳ－162　盛土Ⅴの焼土（1）

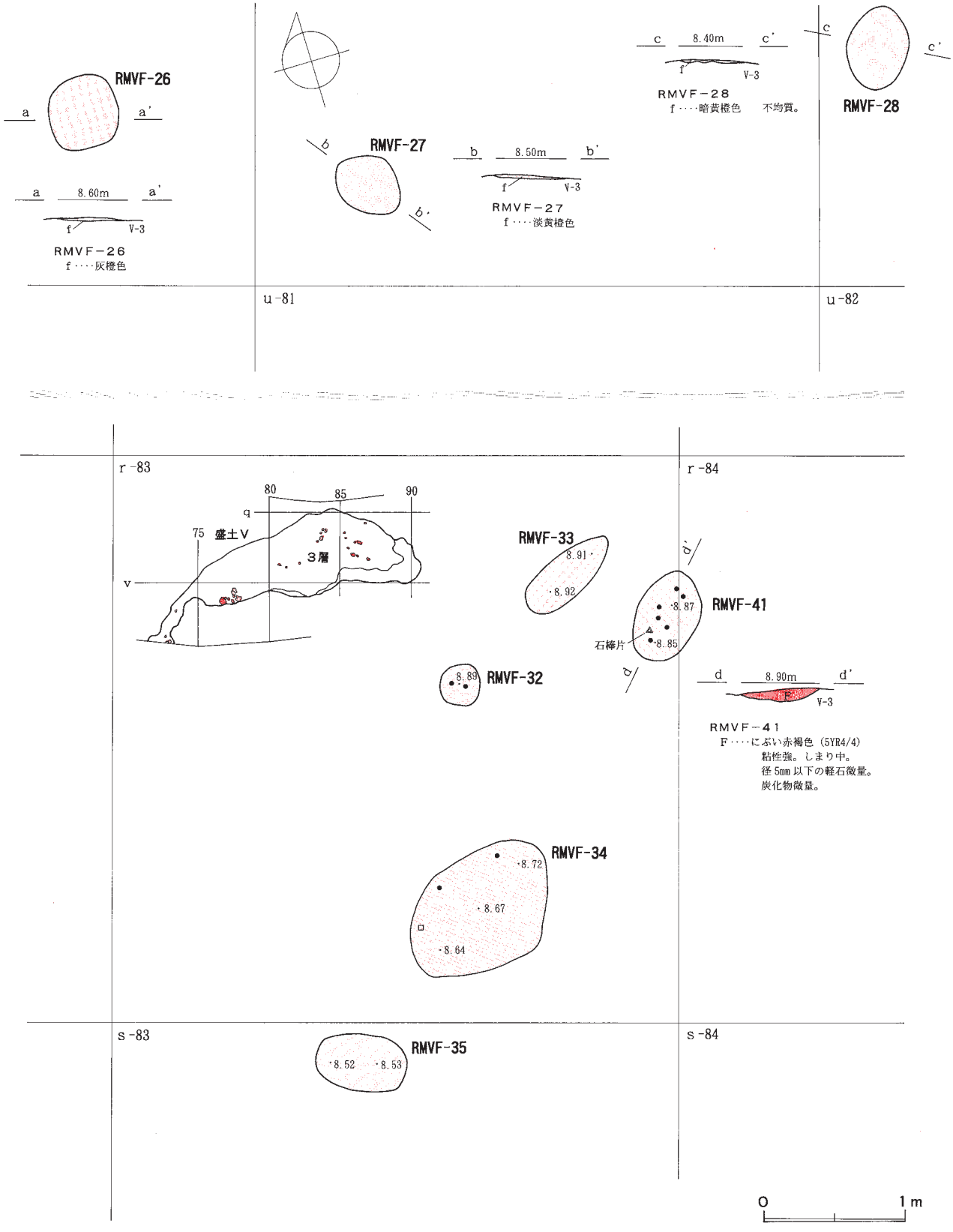




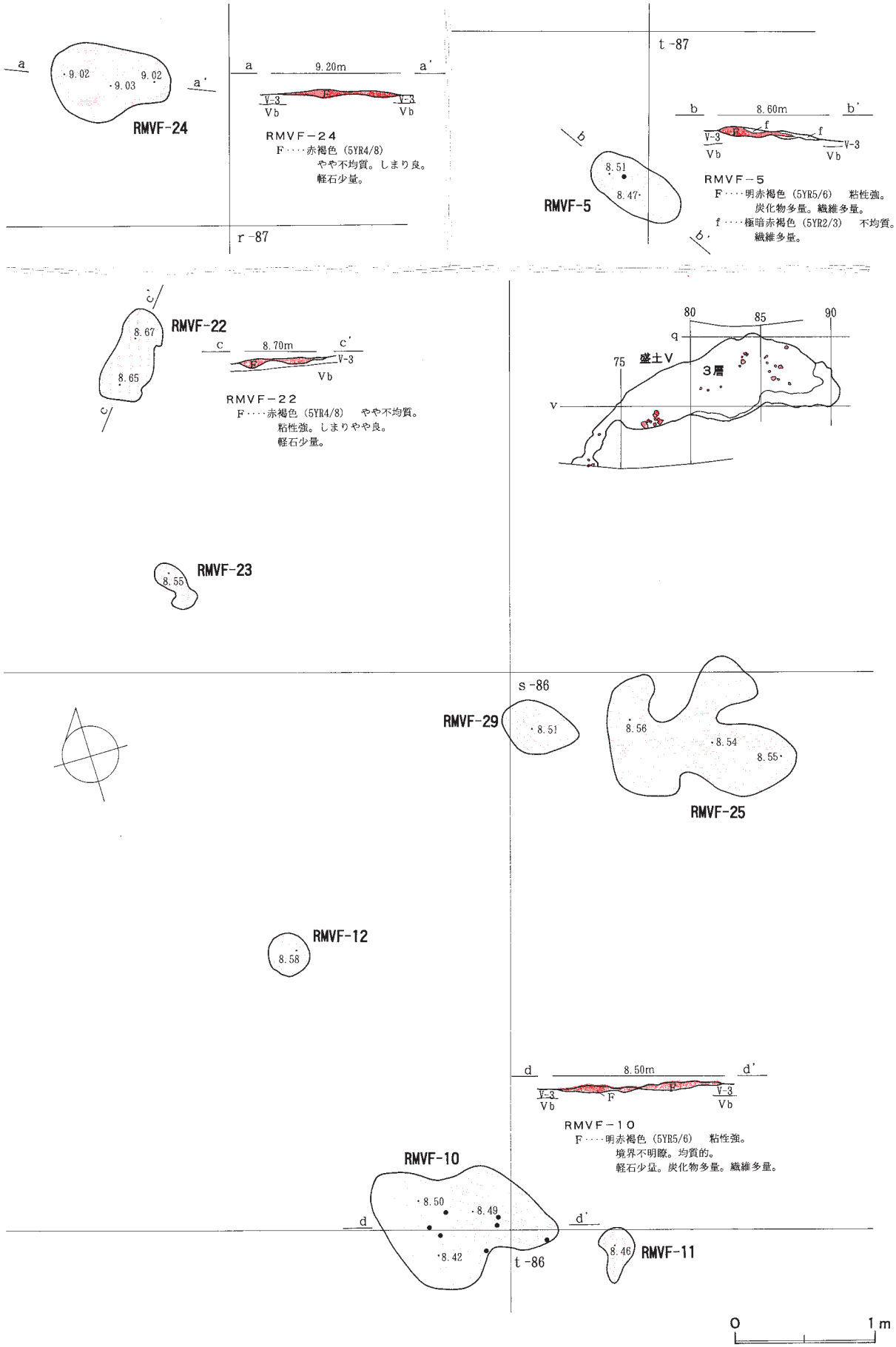
図Ⅳ－163　盛土Ⅴの焼土（２）



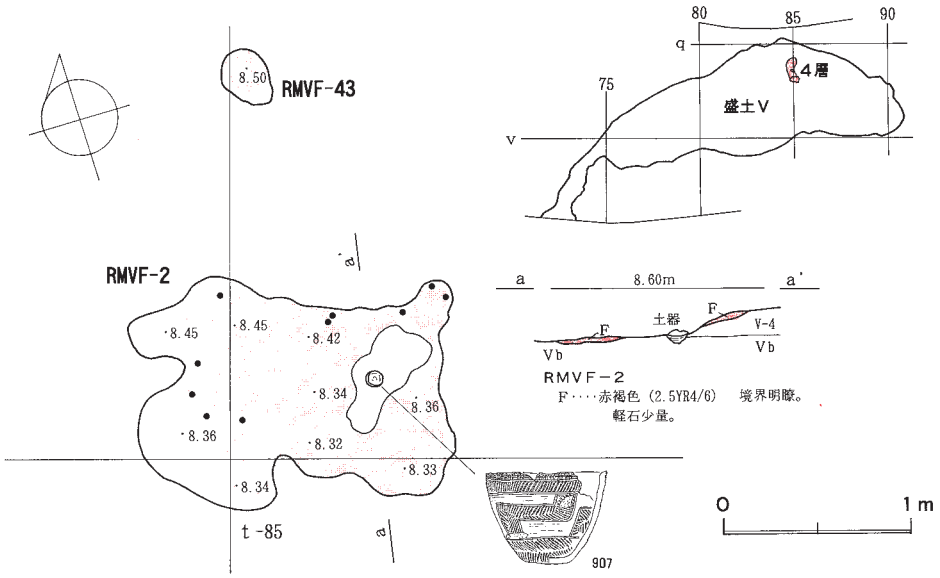
図Ⅳ－164　盛土Ⅴの焼土（3）



図Ⅳ－165　盛土Ⅴの焼土（４）



図Ⅳ－166　盛土Ⅴの焼土（5）



図Ⅳ－167　盛土Ⅴの焼土（６）

ＲＭＶＦ－33　やや薄い焼土。遺物はほとんどない。

ＲＭＶＦ－34　中央部がやや強く被熱しているが、周辺も含めて盛土Ⅴ－３層の土壌と混在している。盛土Ⅴ－３層の傾斜に沿って南西側が下がっている。遺物はほとんど出土していない。

ＲＭＶＦ－35　やや薄い焼土。遺物はほとんどない。

ＲＭＶＦ－38　ＲＭＶＦ－38～40は盛土Ⅴの南西端部で検出した焼土群。北西から南東に急傾斜する位置に形成されている。

ＲＭＶＦ－38は層の傾斜に沿って北西から南東に傾斜する。被熱層はレンズ状で明度が高い。遺物はⅣ群ｃ類土器などやや多く出土している。

ＲＭＶＦ－39　調査区境の鋼矢板の凹部で検出した。層の傾斜に沿って北西から南東にやや傾斜する。被熱層はやや不安定である。遺物は少ない。

ＲＭＶＦ－40　やや大型の焼土。被熱層は比較的安定している。遺物はⅣ群ｃ類土器などやや多く出土している。

ＲＭＶＦ－41　ＲＭＶＦ－32～35と一連の焼土。被熱層はレンズ状をなして厚く、明度が高い。遺物はⅣ群ｃ類土器のほか、石棒片が出土している。

【盛土Ⅴ－４層の焼土】（図Ⅳ－167）

ＲＭＶＦ－２　盛土Ⅴ－４層の南端部からⅤｂ層にまたがって形成されている大型の焼土。被熱層は明度が高いが薄く、中央部付近に空間がある。その中央部から土器の底部が出土しているが、埋設された可能性がある。

ＲＭＶＦ－43　ＲＭＶＦ－２に程近い盛土Ⅴ－４層中央部で検出した小規模な焼土。

ｄ．盛土Ⅴ軽石集中・灰集中

灰や炭化材は多数の焼土において被熱層に含まれて検出している。ここでは焼土以外に盛土中で検出した、灰が密集するエリア２ヵ所と軽石が集中するエリア１ヵ所を掲載する。このほかにも灰や軽石が小規模に集中する部分がある。

①盛土Ⅴ軽石集中１

位置：ｒ－89・ｓ－89　　**層位**：盛土Ⅴ－２層　　**規模**：135㎝×105㎝／7㎝

調査：盛土Ⅴの北東端部を調査中、周囲よりも軽石が特に密集する部分を検出した。軽石の径は大きいものが多い。おおむね楕円形という形態や規模から、土壙墓の可能性を視野に入れて調査した。しかし調査の結果、厚さが薄く、その直下はプライマリーなⅤｂ層であることから、土壙ではないことが確認された。盛土形成時の廃棄の一単位を示しているものと考えられる。

②盛土Ⅴ灰集中２

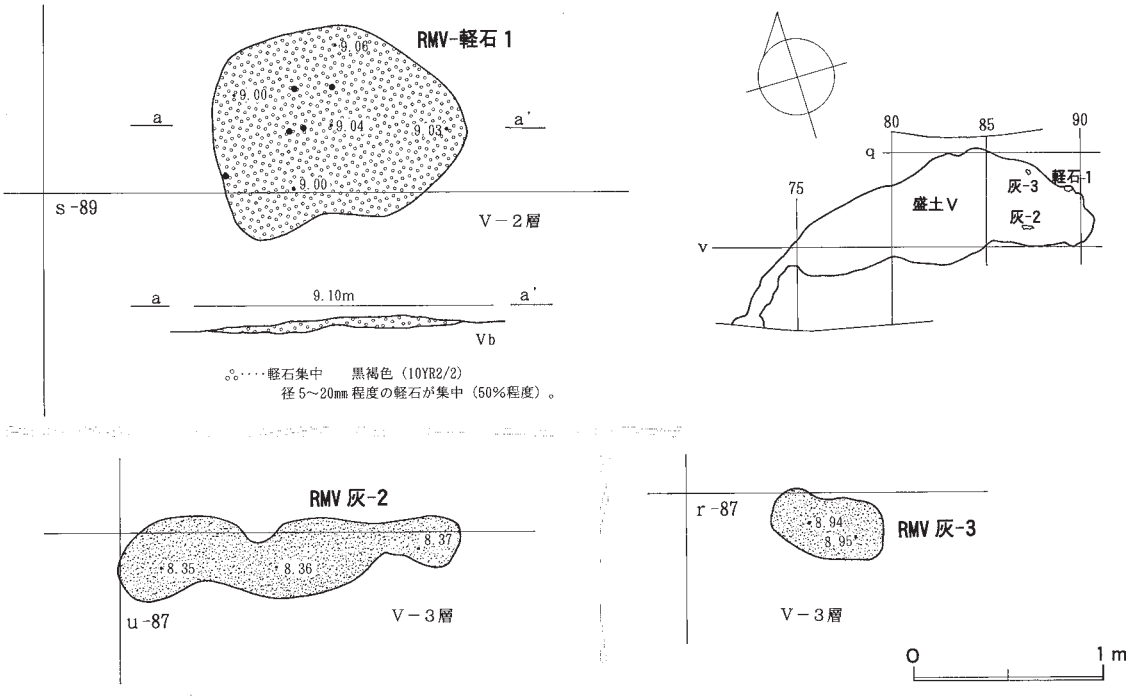
位置：ｔ－87・ｕ－87　　**層位**：盛土Ⅴ－３層　　**規模**：182㎝×41㎝／

調査：盛土Ⅴの東部、Ⅴ－３層の南端部で検出した。３ヵ所の中心域をもち、東西に細長く分布する。灰の粒子は非常に細かく、薄く広がっている。中央部および西部は灰白色で灰がかなり密であるが、周辺部は灰白色と暗灰色・暗褐色で軽石を少量含み、盛土の土壌と混在している。遺物は出土していない。

③盛土Ⅴ灰集中３

位置：ｒ－87　　**層位**：盛土Ⅴ－３層　　**規模**：60㎝×31㎝／

調査：盛土Ⅴの北東部で検出した。約2m北西に焼土ＲＭＶＦ－24があるが、直接の関係は確認できなかった。灰の粒子は非常に細かく、小規模に薄く広がっている。灰白色と暗灰色・暗褐色で軽石を含み、盛土の土壌と混在している。遺物は出土していない。



図Ⅳ－168　盛土Ⅴ軽石集中および灰集中

ｅ．遺物出土状況

遺物集中等

盛土Ⅴでは、３層を中心に遺物、特に土器の集中箇所が最も多くみられた。土器個体が丸ごとつぶれた状態で出土したり、完形や埋設状態で出土したりするものも数多い。

土器集中以外では、朱塗りの弓などの特殊な遺物やフレイクチップ集中がある。

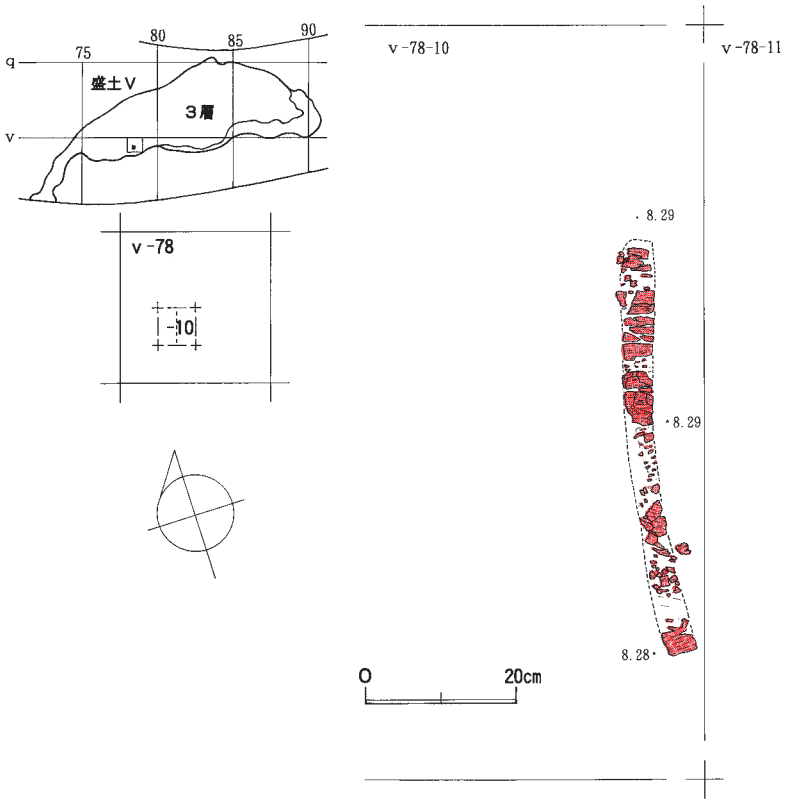
①朱塗りの弓

位置：ｖ－78-10　　**層位**：盛土Ⅴ－３層　　**大きさ**：（54㎝）×5㎝／－

調査：盛土Ⅴ層の南端部、Ⅴ－３層下部で出土した。木質部は残存しておらず、非常に薄い朱漆の塗膜と弓の表面の一部が帯状に断続的に出土した。残存部のほとんどにわたって糸巻痕が見られる。弓の端部は確認できなかった。長さは、残存部の部位やカーブから、１ｍ近くになるものと思われる。墓壙に伴うことも想定して調査したが、土壙は確認できなかった。

なお、塗膜は土ごと取り上げ、ＰＥＧ処理を施している。

キウス４遺跡では、平成８年度に調査したＬ地区において、長さ１ｍほどの朱塗りの弓が出土している。やはり木質部が残存しておらず、糸巻痕のある朱漆の塗膜のみであった。赤彩はベンガラで２層塗布し水銀朱で２層塗布するという多層構造をしている。北側盛土遺構の最下層（盛土Ｓ－４層）の端部で出土した。出土層位や位置関係・弓の大きさ・構造、残存状態など、今回出土した朱塗りの弓と共通点が多い。



図Ⅳ－169　盛土Ⅴ朱塗り弓出土状況

②フレイクチップ集中

3 ヵ所の集中域からフレイクチップ3,178点、礫 6 点が出土した。

ＲＭＶＦＣ－１

位置：ｕ－87　　**層位**：盛土Ｖ－２層　　**規模**：30㎝×17㎝／－

調査：盛土Ｖ－２層の南東端部で出土した。頁岩のフレイクチップ。

ＲＭＶＦＣ－２

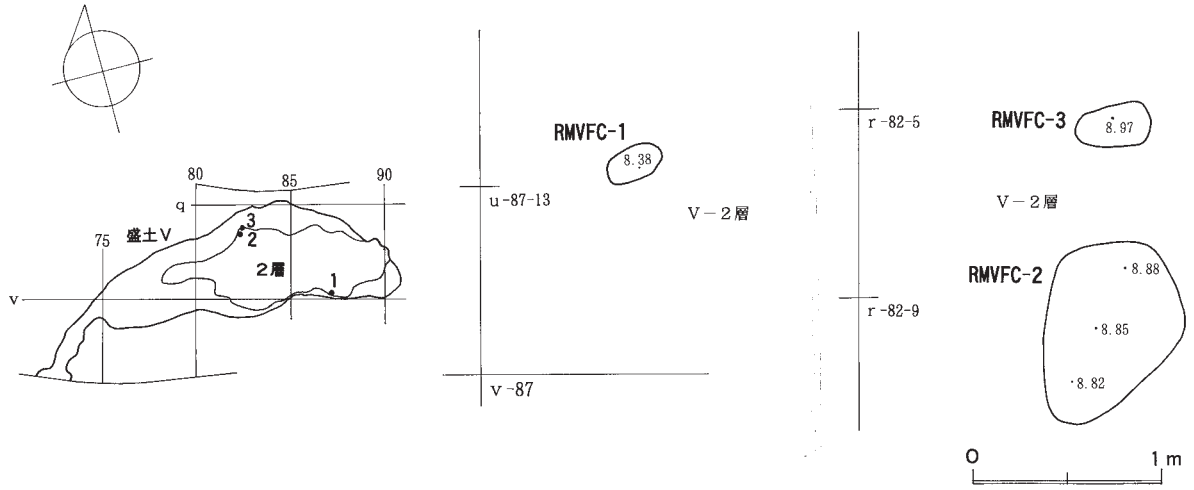
位置：ｒ－82　　**層位**：盛土Ｖ－２層　　**規模**：104㎝×76㎝／－

調査：盛土Ｖ－２層中でもやや遺物の包含密度が低いエリアで、広範囲にフレイクチップが目立って出土する部分を検出した。1,000点以上のフレイクチップが密集して出土した。

ＲＭＶＦＣ－３

位置：ｒ－82　　**層位**：盛土Ｖ－２層　　**規模**：40㎝×24㎝／－

調査：ＲＭＶＦＣ－２の北側で出土した。



図Ⅳ－170　盛土Ⅴフレイクチップ集中

③土器の集中箇所

盛土Ⅴでは、Ⅴ－３層を中心に土器の集中箇所が数多くみられた。その中でまとまって出土した土器の状況を18件にわたって図示した（図Ⅳ－177～182）。大きく 4 種類に分けられ、①多種類の土器片（・フレイクチップ・礫）が砕片の状態で出土するもの（図Ⅳ－177下段など）と、② 1 個体ないし数個体の一部大型破片が面で広げたようにつぶれて出土するもの（図Ⅳ－177上段・図Ⅳ－179など）、③ 1 個体の大部分がそのまま置かれたような状況で出土するもの（図Ⅳ－178土器980・図Ⅳ－181土器1192など）、④ 1 個体が完形または完形に近い状態で出土するもの（図Ⅳ－182）がある。盛土Ⅴでは①の出土状況は少なく、②・③の例が多い。また、④の例も注口土器を中心に数多くある。

図Ⅴ－177土器993は、胴下半部がそのままつぶれた状態で出土した。口縁部は比較的近い位置から出土して接合した。図Ⅴ－178土器980は、底部付近がきれいに欠落しており、口縁～胴部が斜方向に倒立したままの状態で出土した。一部の土器片が内側に入り込んでいた。図Ⅳ－182の土器 4 個体は、Ⅴ－３層最下部またはⅤｂ層直上に置かれたような状態で出土した。土器1436は100％完形の単孔土器である。

遺物の接合状況

遺物の接合状況について、特に復元土器のデータについて図示した（図Ⅳ－171～176）。盛土Ｖ－１層およびＶ－２層を主体とする復元土器はまとまった狭い範囲内で接合する傾向にある。盛土Ｖ－３層を主体とする復元土器は個体数が多いため、①同じ層位・発掘区にまとまるもの、②同じ層位内で接合するもの、③層位・発掘区をまたいで接合するものとに分けて図示した。同じＶ－３層の間でも比較的広範囲に接合するものの件数が多い。また盛土間をまたぐ接合（図Ⅳ－171・172）では、重複する盛土Ｗとの間で、しかも重複する部分での接合件数が多い。さらに盛土遺構－上位のブロックと複雑に接合するものも多く、特に盛土Ｅの下層・盛土Ｙの下層との接合例が多い。さらに、図示していないがＲ地区内だけでなく北側盛土遺構出土土器と接合している例がある。ところで、図Ⅳ－171-1390の注口土器は、盛土Ｖ－３層を主体として盛土Ｗ－２層・盛土Ｘ－１層・盛土Ｙ－10層・盛土Ｅ－１層・３層・遠距離のＶａ層などと広範囲に接合し、さらに盛土遺構範囲外のフラスコ状ピット（ＲＬＰ－34）のものと接合している。Ｒ地区内の土壙・柱穴群と盛土遺構との唯一の接合例で、この土壙の覆土と上記の盛土各層の関連を示している。

石器では、比較的距離の長い間での接合例も複数見られ、盛土Ｖ内での接合のほか、各種礫石器および石製品で盛土Ｗと接合している（図Ｖ－223～225）。

その他遺物の出土状況

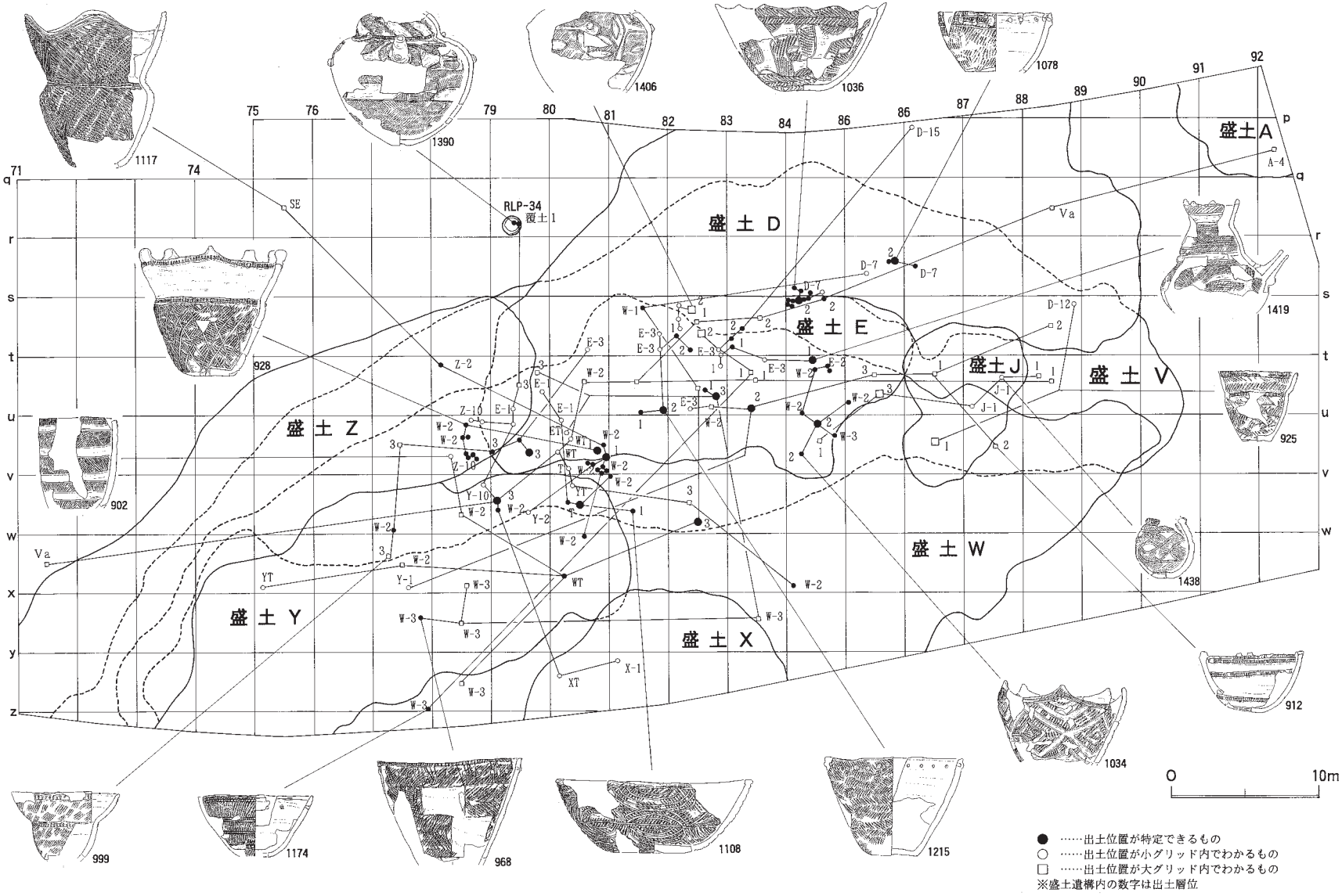
盛土Ｖの土器・石器合計数は258,943点と多数出土しているが、土量の割には比較的遺物が少なめである。土器等222,638点（うち土製品437点）、石器･礫等36,305点（うち石製品78点）、そのほか炭化材や骨片などの自然遺物も、土壌水洗のほか手取りでも多量に回収できた。

土器は主体時期である縄文時代後期後半のⅣ群ｂ－４類からⅣ群ｃ－１類にわたるものが非常に多く、99.3％を占める。ただし早期後半の東釧路Ⅲ式～Ⅳ式が253点、前期綱文土器13点、中期後半の土器56点、後期初頭余市式270点など、各時期の土器が混在している。また、「Ⅳ群ｂ－４類：Ⅳ群ｃ－１類」は1：2で、他の盛土に比較してⅣ群ｂ－４類の割合が最も大きくなっている。土製品は焼成粘土塊が371点と多く出土しているものの、定形的な土製品も数多く出土している。中でもスタンプ形土製品の出土数が多く、柄だけや版面だけのものも含めて13点を図示した（図Ｖ－258・259）。そのほか土玉・垂飾・耳栓・ミニチュア土器・土偶類似の土製品など多種多様な土製品が出土している。さらに、微隆線による装飾のある赤彩土器の一部など、特殊なものも数多く出土している。

石器・礫等では、フレイクチップが85.3％を占め非常に多い。定形的石器のうち石鏃が50％近くに達しているが、これは盛土ブロックの中では最も割合が低いほうである。以下スクレイパー・砥石・石斧が続いている（Ⅸ章）。石製品はアスファルトが付着した小礫が目立つ。また玉類や石棒片も顕著にみられる。

層位別では、盛土Ｖ－１層が58,234点、Ｖ－２層が72,655点、Ｖ－３層が116,416点、Ｖ－４層が302点、Ｖ－10層が1,081点、残りが焼土やトレンチ分で、トレンチからも6,000点以上出土している。土器およびフレイクチップの平面的分布状況を図Ⅳ－183～185に層位別に示した。なお大グリッド区画のため、１㎡あたりの遺物量に換算して表示してある（土器のみ）。これらのデータは各層位の層厚（図Ⅳ－160などを参照）と比較しなければならないが、土器・フレイクチップとも遺物分布は一様でなく、地点によって差があることがわかる。特にフレイクチップは、土器の分布や層厚に比べて密度の高低が目立つ部分がある（黒曜石・Ｖ－１層全体、Ｖ－３層北部、泥岩・Ｖ－２層全体など）。

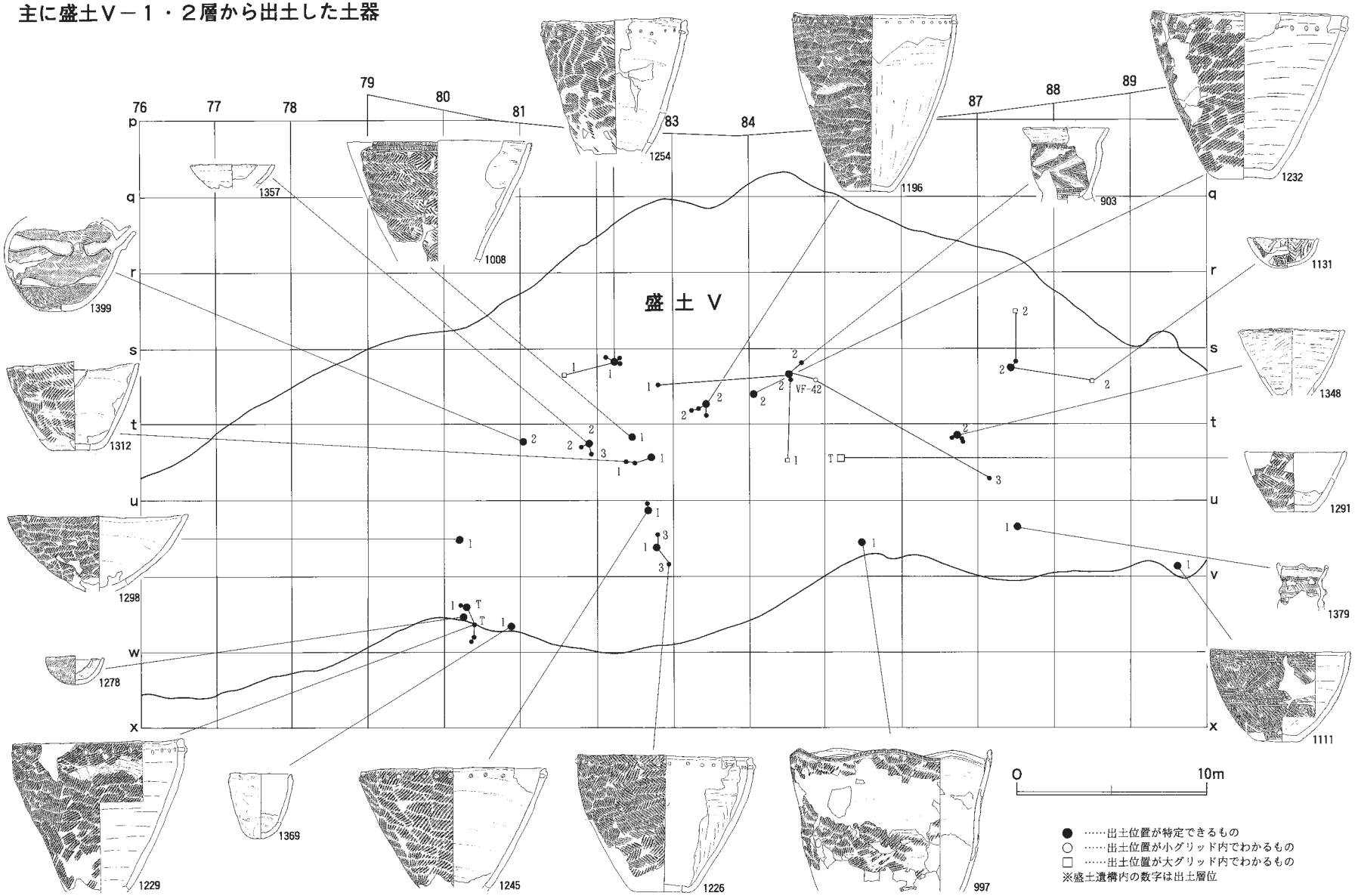
盛土Ⅴと盛土遺構－上位で接合した土器



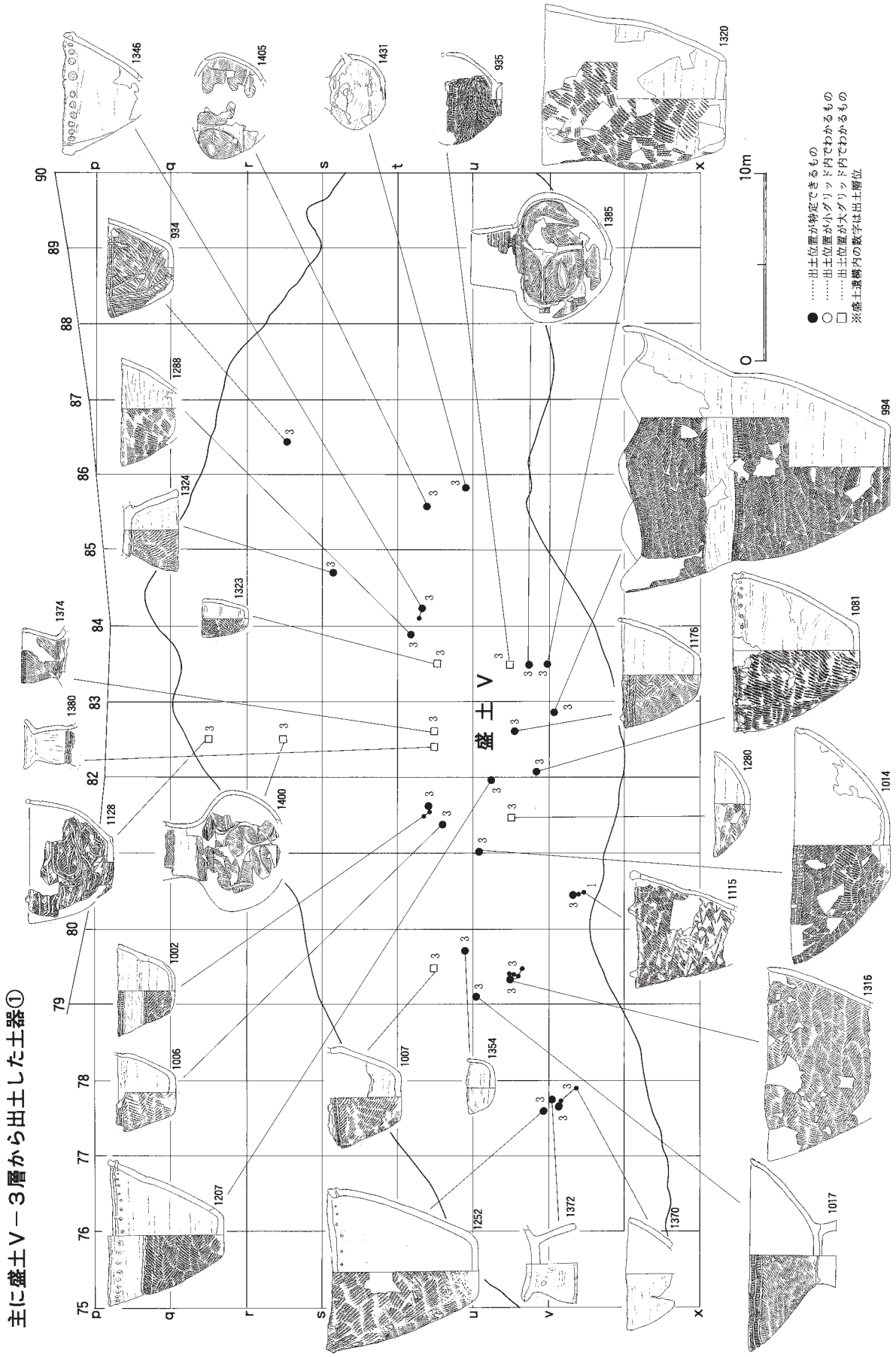
図Ⅳ－171　盛土Ⅴ　復元土器接合図（1）

図Ⅳ－172　盛土Ⅴ　復元土器接合図（２）

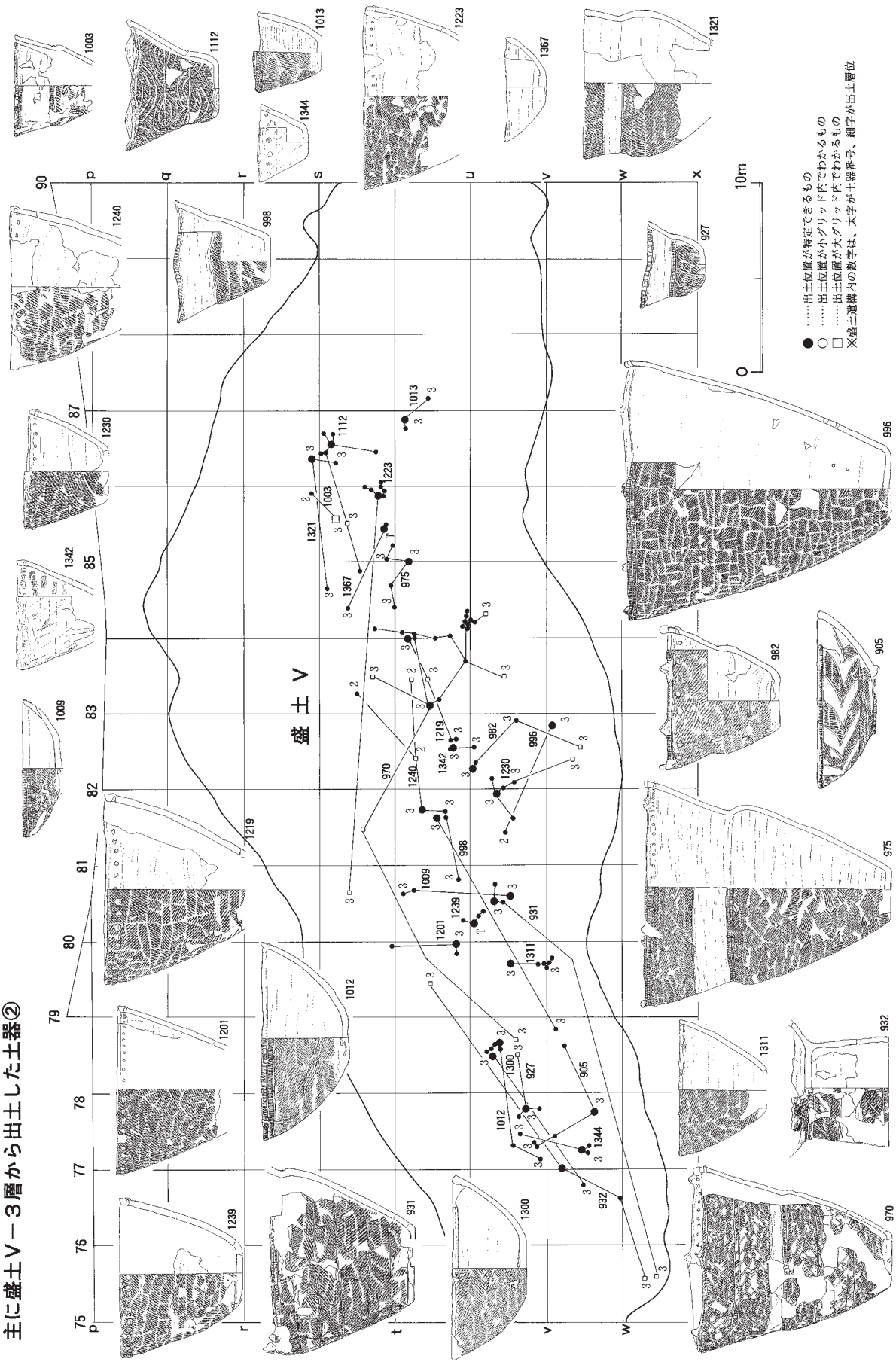
主に盛土Ⅴ－１・２層から出土した土器



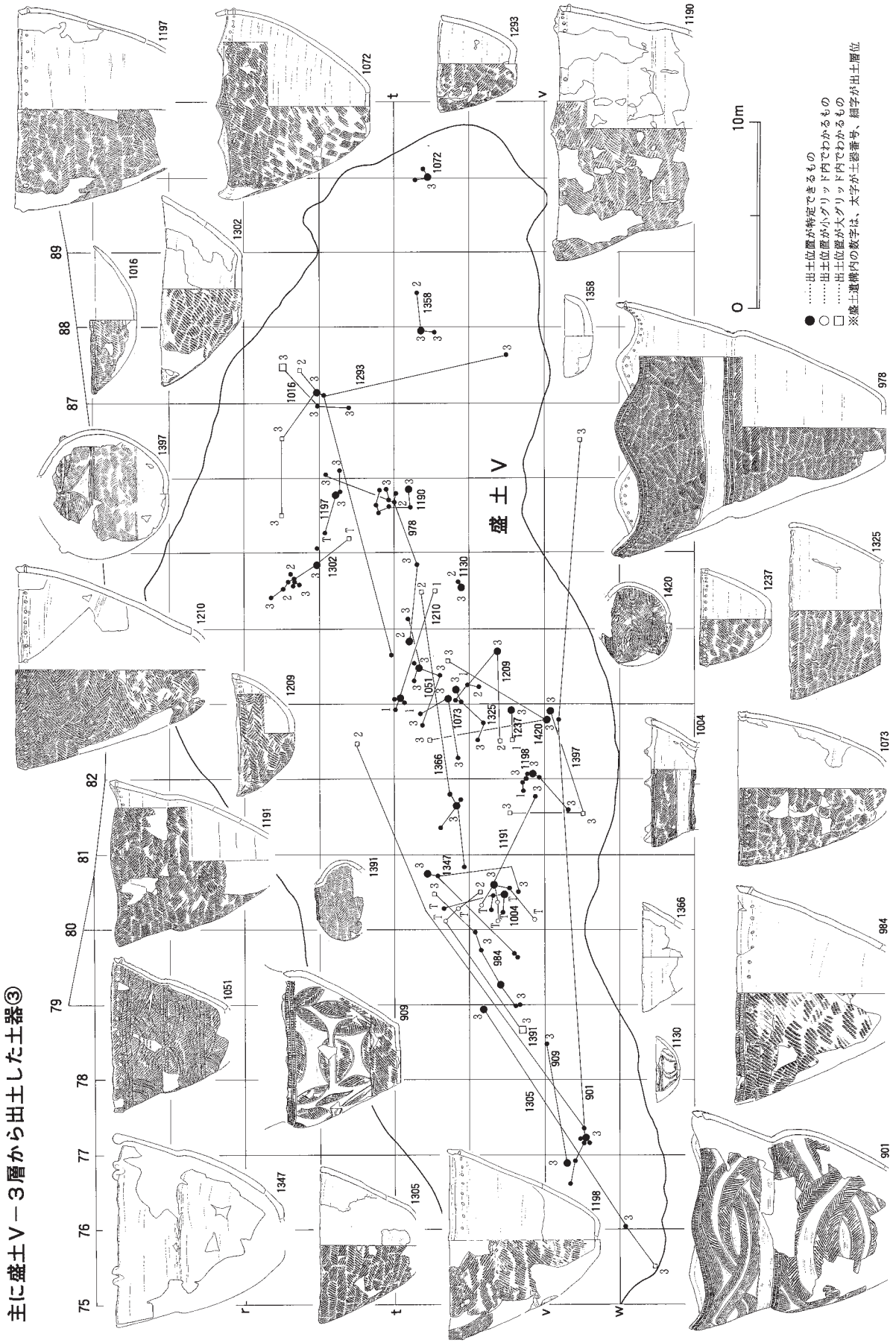
図Ⅳ－173　盛土Ⅴ　復元土器接合図（３）



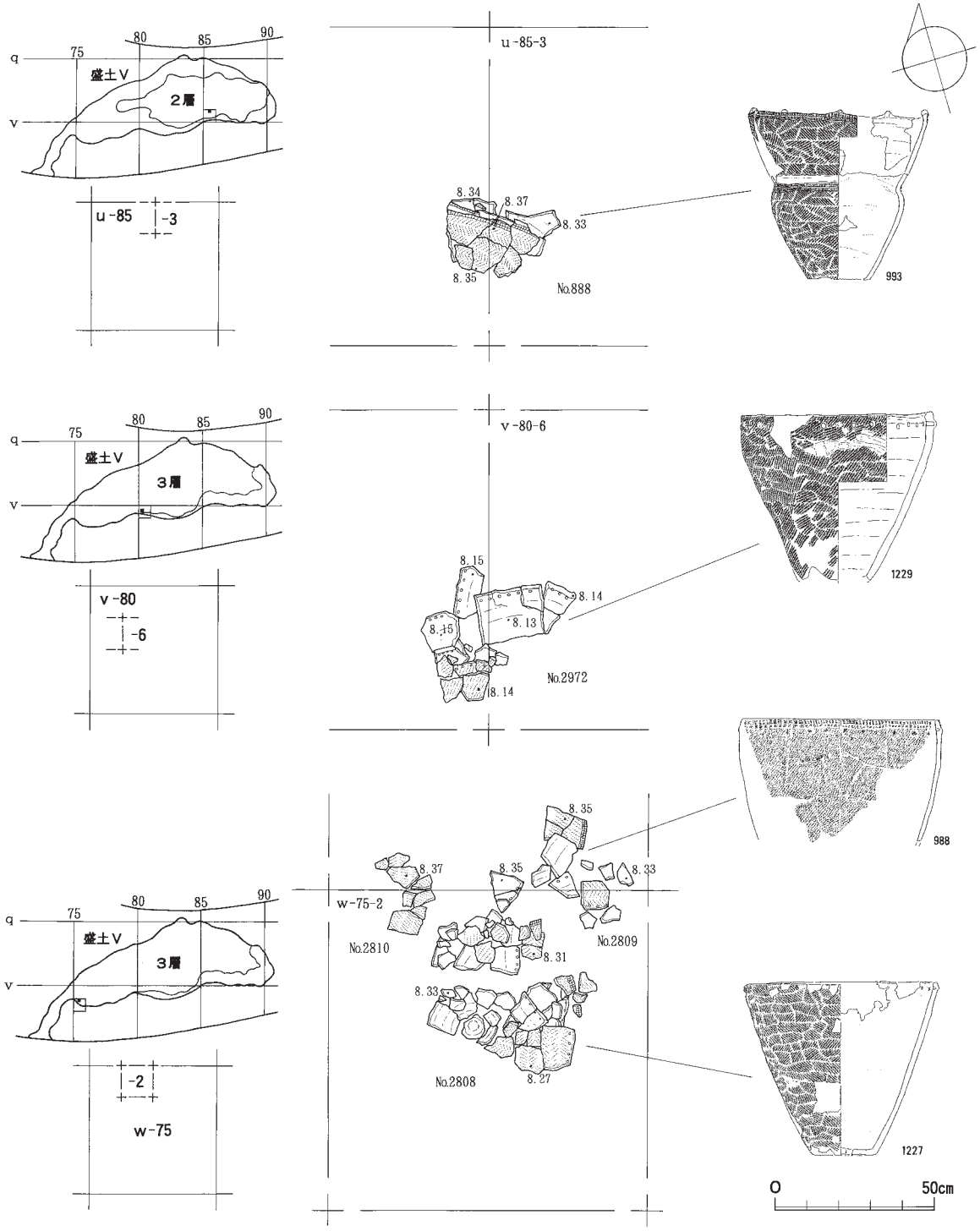
図Ⅳ－174　盛土Ⅴ　復元土器接合図（４）



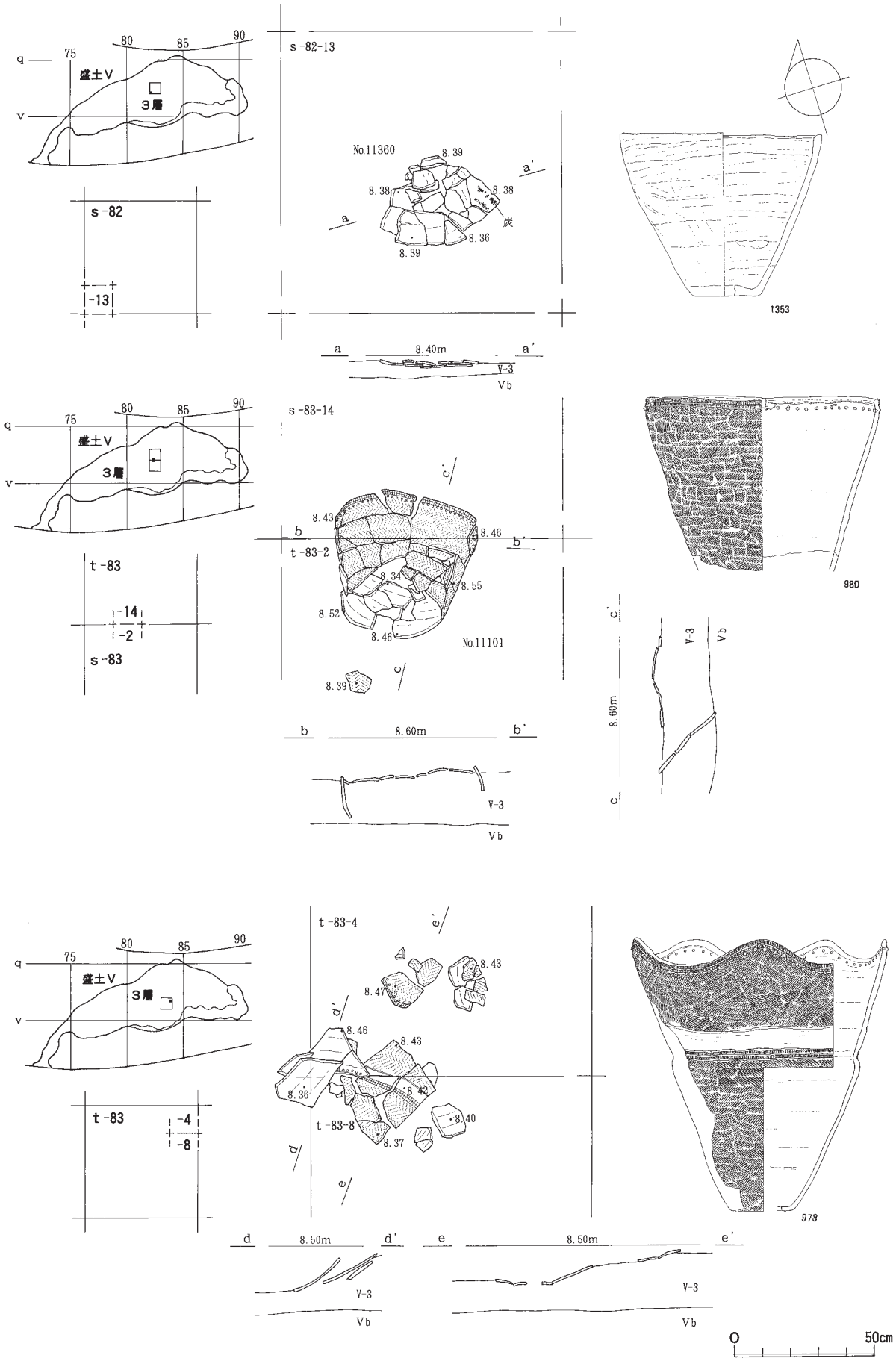
図Ⅳ－175　盛土Ⅴ　復元土器接合図（５）



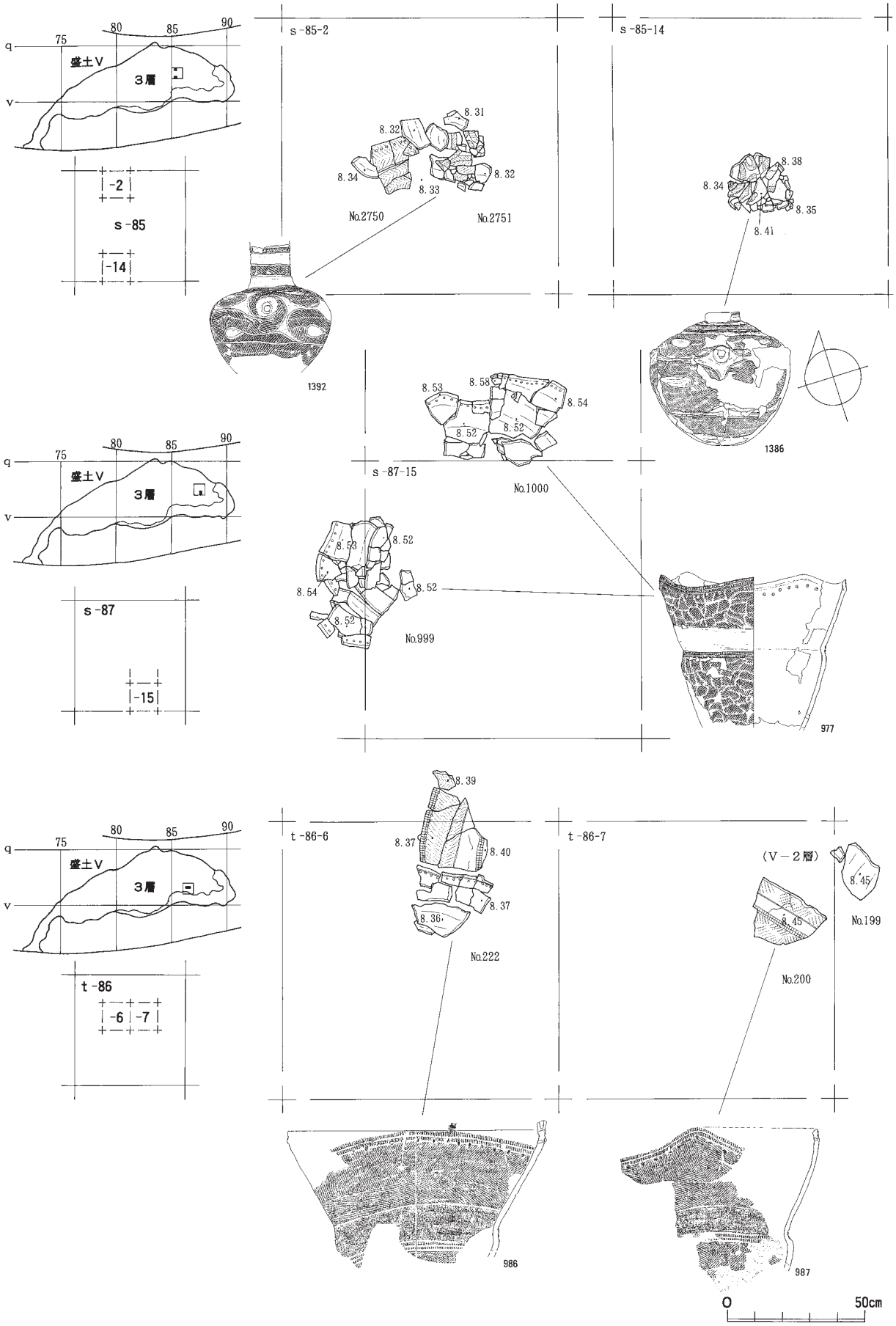
図Ⅳ－176　盛土Ⅴ　復元土器接合図（６）



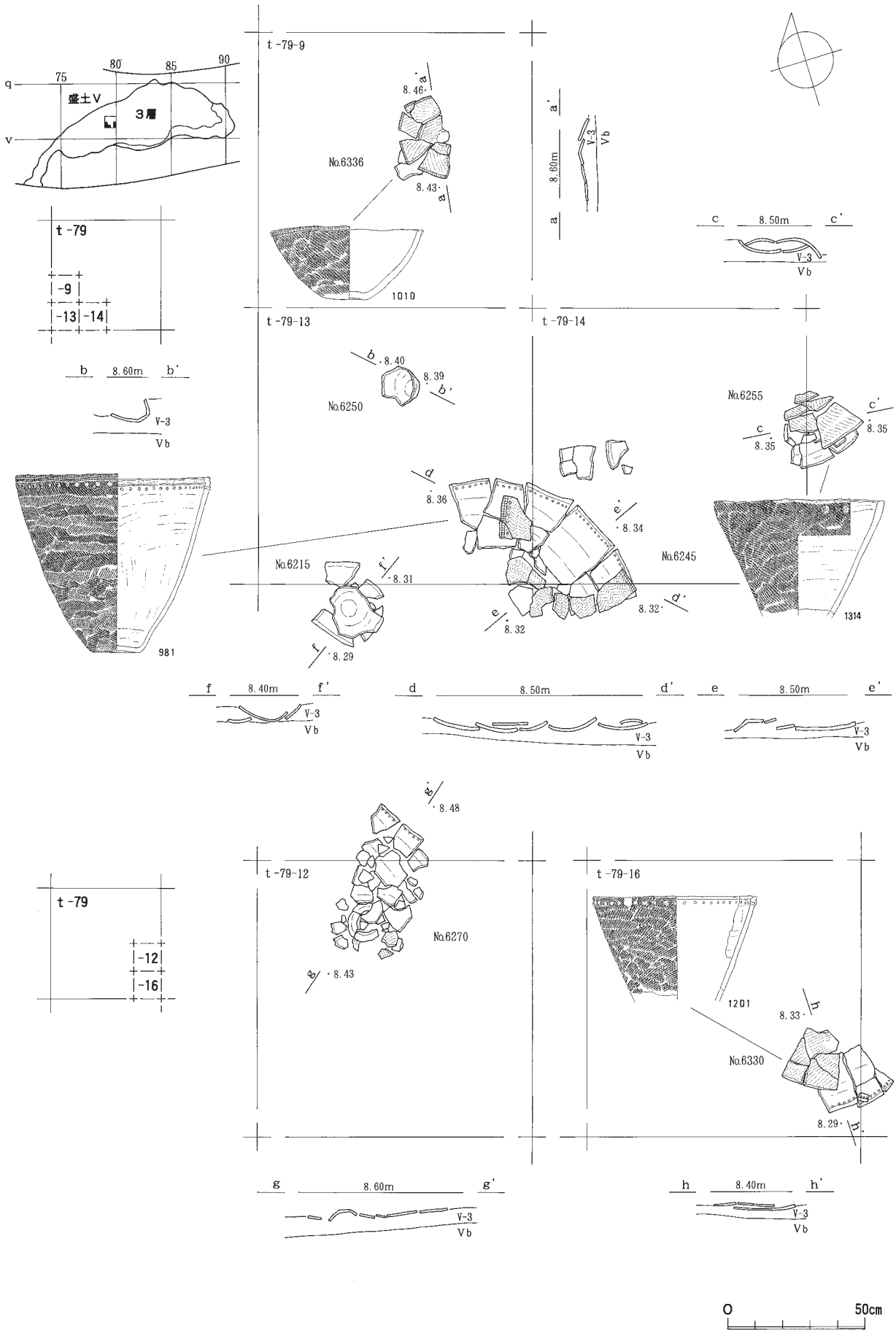
図Ⅳ－177　盛土Ⅴ　遺物出土状況（1）



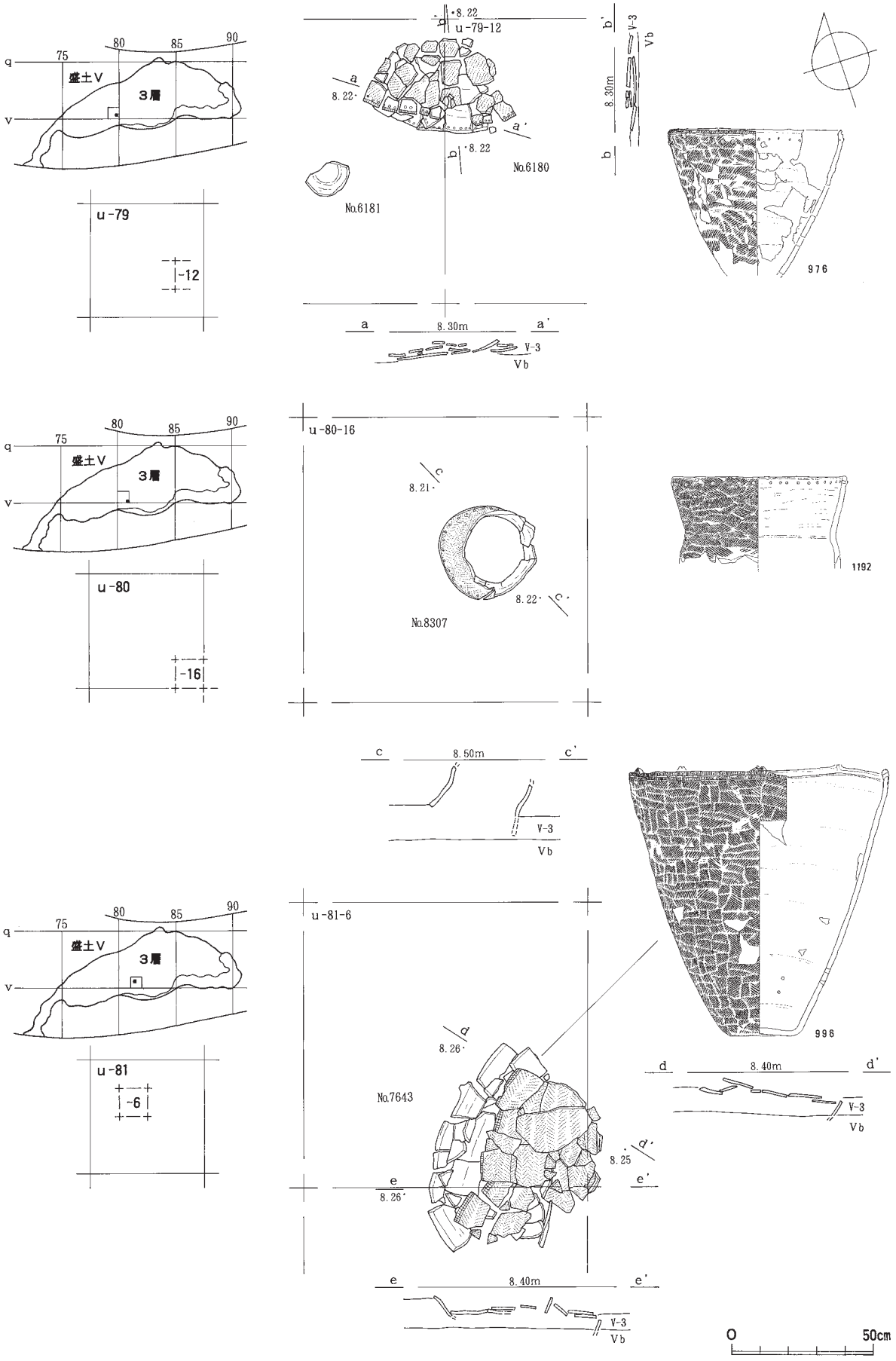
図Ⅳ－178　盛土Ⅴ　遺物出土状況（２）



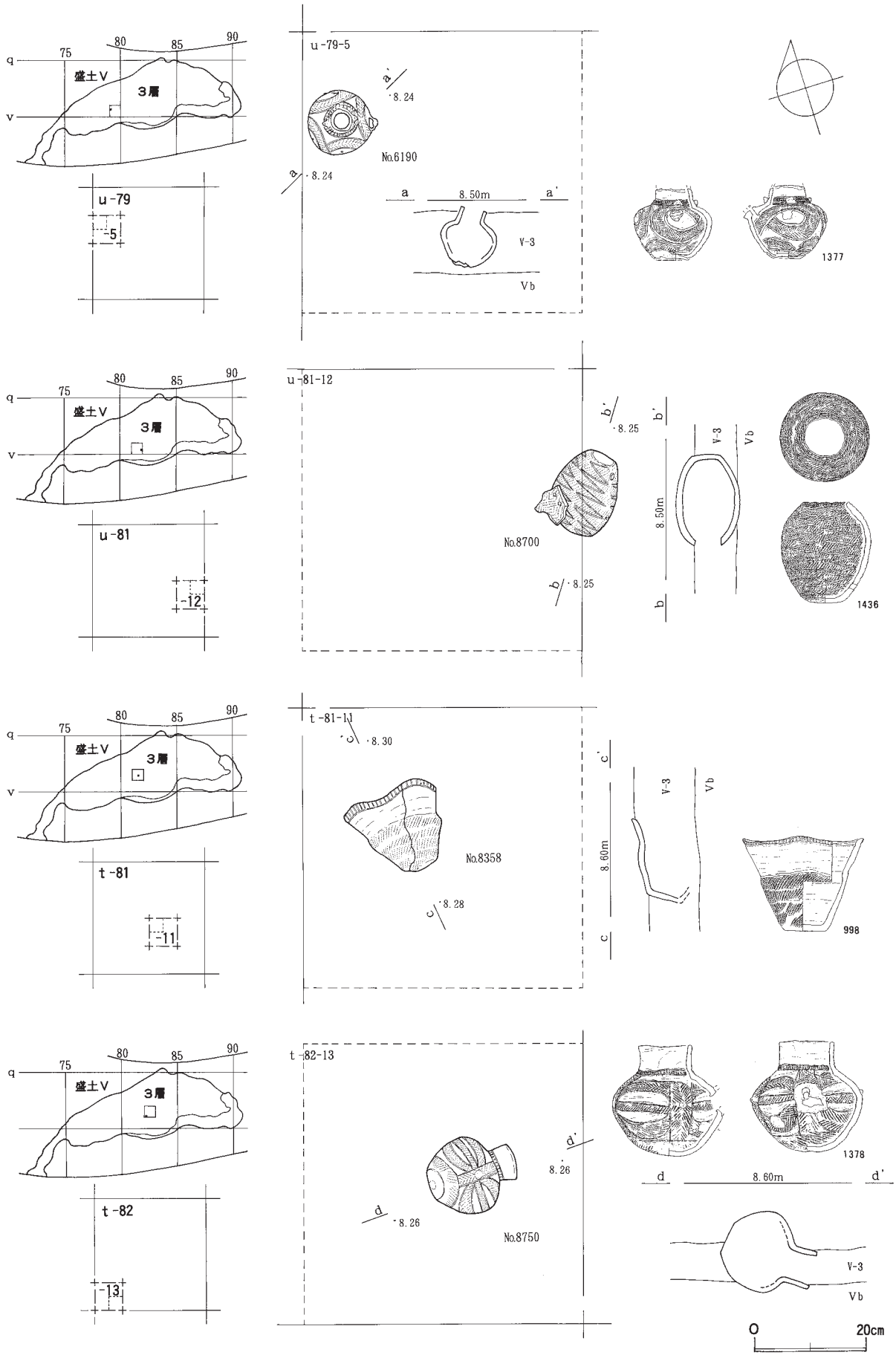
図Ⅳ－179　盛土Ⅴ　遺物出土状況（3）



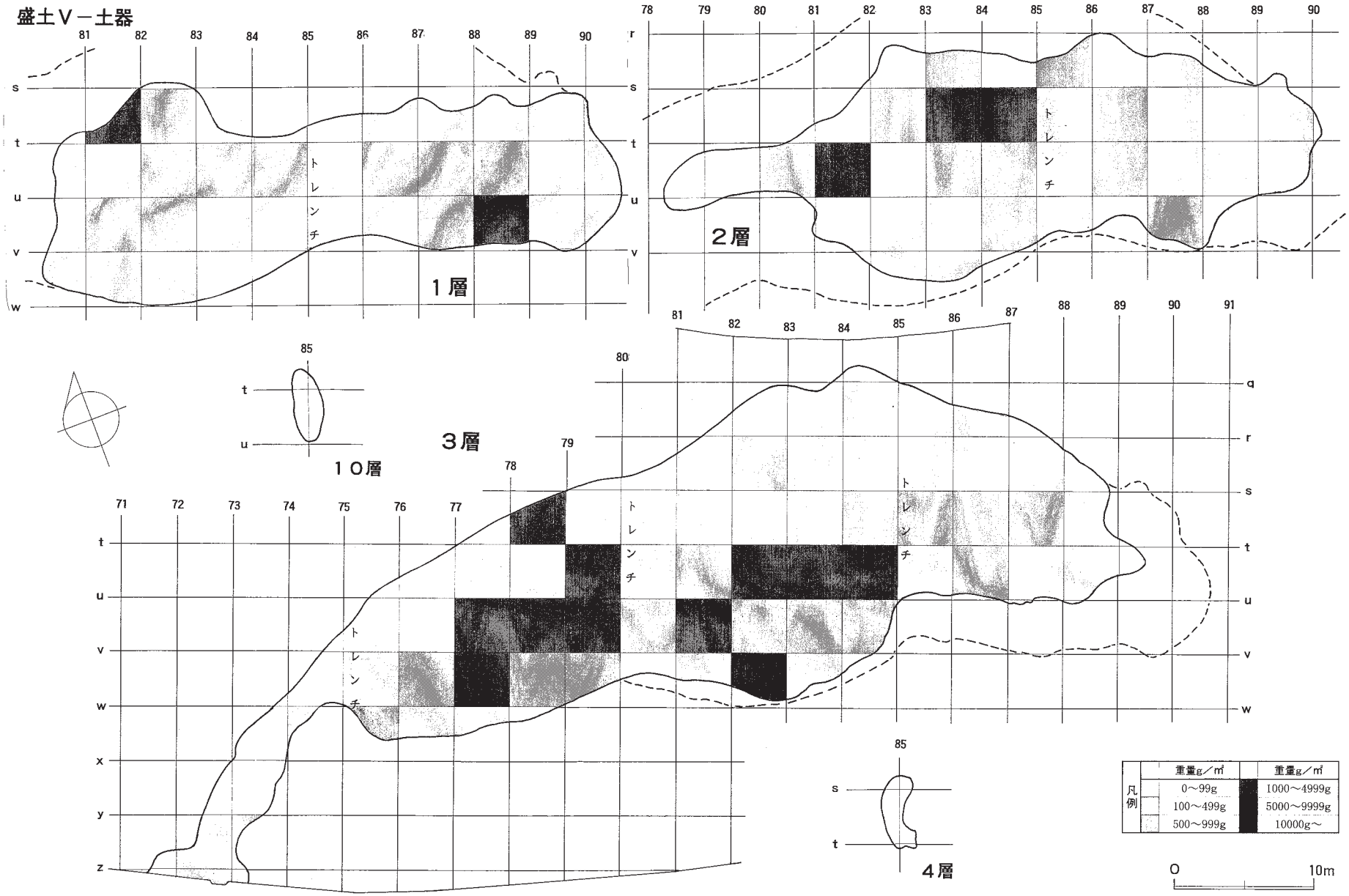
図Ⅳ－180　盛土Ⅴ　遺物出土状況（４）



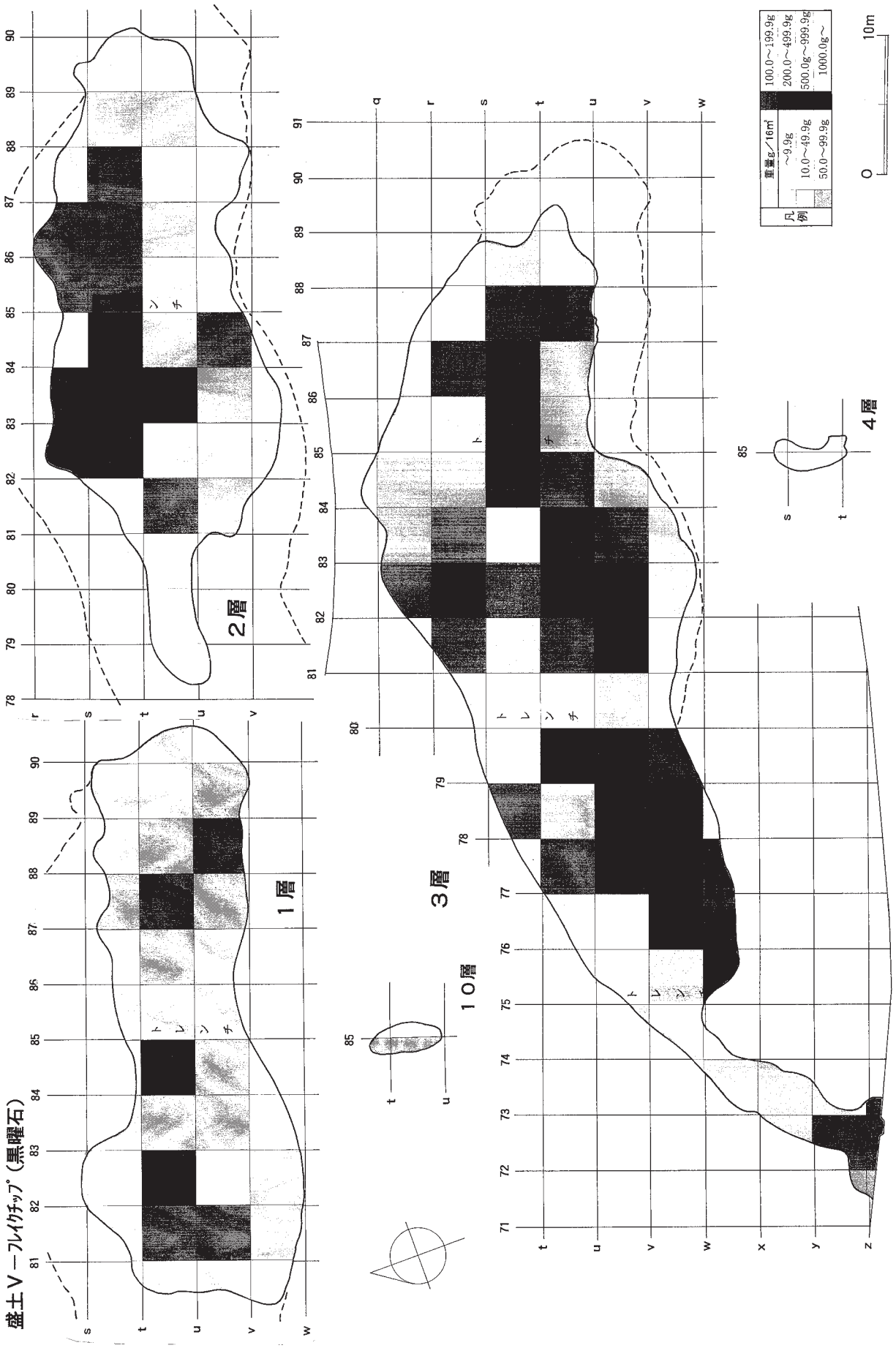
図Ⅳ－181　盛土Ⅴ　遺物出土状況（5）



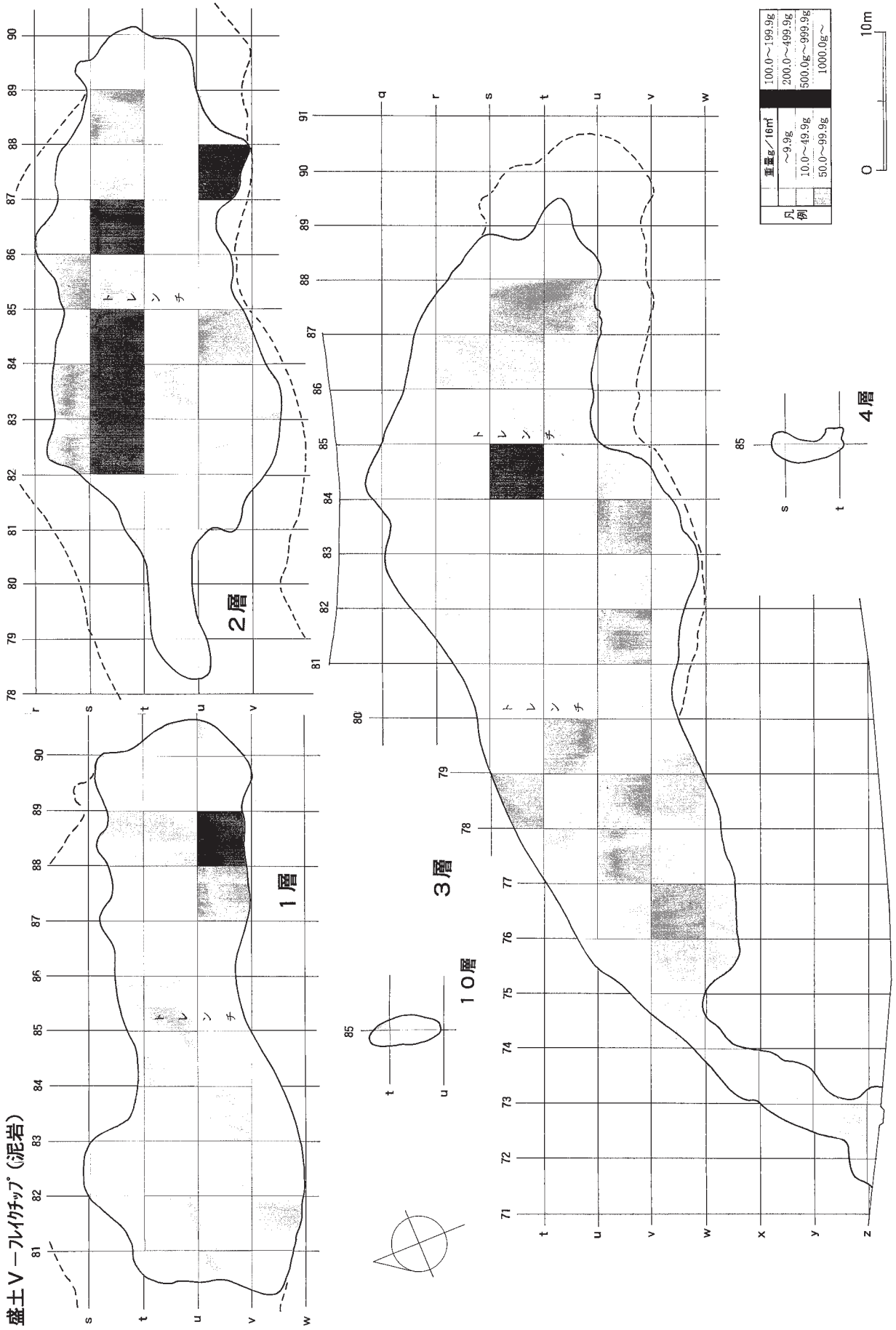
図Ⅳ－182　盛土Ⅴ　遺物出土状況（6）



図Ⅳ－183　盛土Ⅴ　土器等重量分布図



図Ⅳ－184　盛土Ⅴ　フレイクチップ重量分布図（1）



図Ⅳ－185　盛土Ⅴ　フレイクチップ重量分布図（2）

４．フローテーション法等による微細遺物の調査

(1) 概要

縄文時代後期後葉の時期に形成された盛土遺構の堆積土中には、土器・石器などの遺物とともに骨片・炭化物などの資料も多く包含されていた。これらの遺物を効率よく回収するために、ほとんどすべての盛土遺構の土壌を対象に水洗選別による遺物の回収作業を行った。また、盛土中では多くの焼土遺構が検出されたので、これらの土壌資料について炭化種子や微細遺物を回収する目的でフローテーション法による遺物選別作業を実施した。

以下、フローテーション法と土壌水洗作業に分けて対象とした資料、遺物の回収方法と回収遺物について報告する。なお、これらのフローテーションと土壌水洗作業は平成10年度にＲ地区の発掘調査と並行しても行われたが、そのほとんどは翌平成11（1999）年５～10月までの約100日間千歳市において作業員約40名で実施した。

(2) フローテーション法による遺物の回収（図Ⅳ－186、表Ⅳ―31～38）

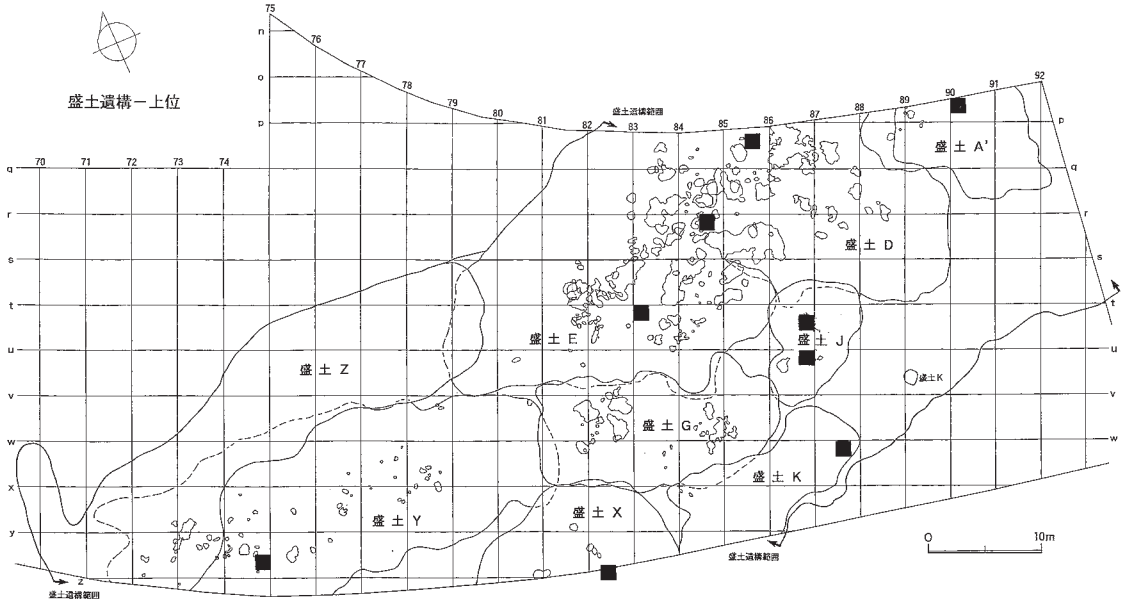
この方法により対象とした資料は、盛土中の焼土サンプルと盛土コラムサンプルである。資料のサンプル数は、盛土焼土2552件、盛土コラム893件、合計3445件である。盛土焼土は盛土中から検出された焼土322か所のうち300か所からフローテーション資料を採取した。盛土コラムサンプルは各盛土（盛土Ｇ・盛土Ｚを除く）について少なくとも１か所、１ｍ×１ｍの範囲を柱状で採取したサンプルである。コラムサンプルの採取位置を図Ⅳ―186に示した。上位の盛土は盛土Ｇ・盛土Ｚを除く９か所で、下位の盛土は４か所いずれも上位でサンプリングした盛土から連続して採取した。

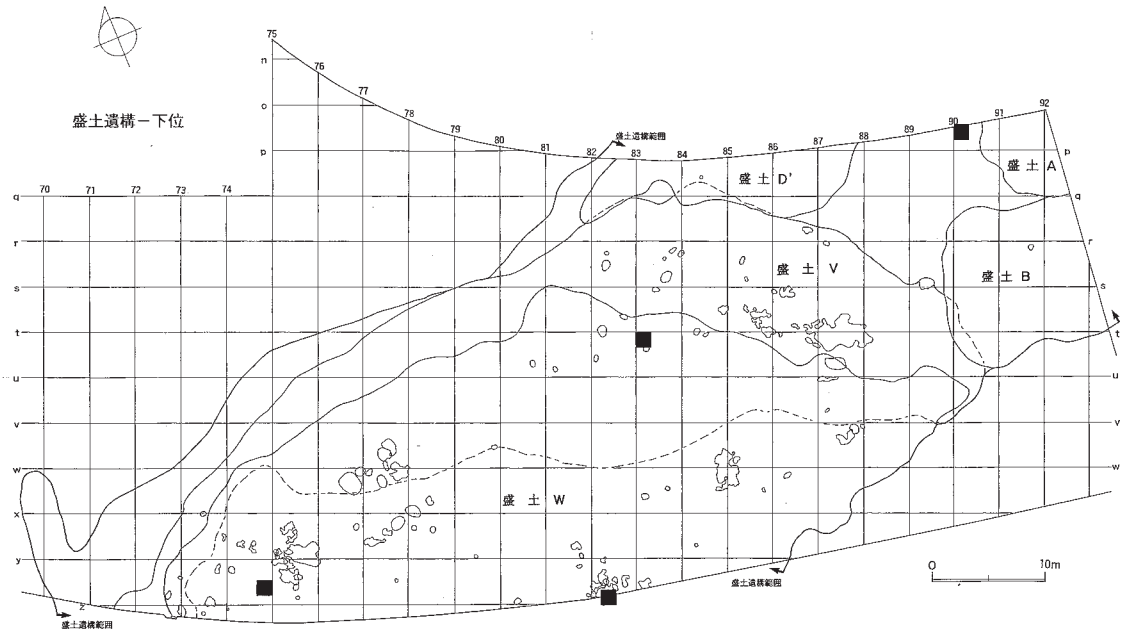
フローテーション法によるサンプル一覧については、盛土ごとに焼土とコラムサンプルのサンプル数、水洗前の乾燥重量、乾燥体積、残渣重量、残渣から回収された土器、石器、フレイク・チップ、礫片骨片の各重量を総括表として表Ⅳ―31に掲載した。また、各焼土別および盛土コラムサンプルの層位別資料については表Ⅳ―32～36に示した。この表の中で網がけした部分は、一部の資料について重量あるいは体積が不明なため正確な全体量ではないことを示している。また残渣重量についても一部、選別作業前に計量しなかったため不明となっている部分が多い。

浮遊資料の選別は、おもに炭化種子同定を依頼したものについて行った。サンプリングにあたっては各焼土１件とし、この他大きな焼土や層位ごと上げているものについては複数選んだものがある。炭化種子同定のサンプリング数は盛土焼土288件（盛土焼土全体の11％）、コラムサンプル36件（コラムサンプル全体の４％）、合計324件である。炭化種子の同定結果については、吉崎、椿坂氏による報告がある（Ⅷ－４）。

残渣資料はその全てについて選別作業を実施した。残渣資料（選別前）の全重量は約190kgである。回収された遺物は土器片約52kg、石器338点、フレイク・チップ（黒曜石）約2.5kg、礫片約1.6kg、骨片970ｇである。なお、黒曜石以外のフレイク・チップは礫片に含めてある。

盛土の焼土とコラムサンプルの残渣中から回収された石器の器種別一覧を表Ⅳ―37・38に示した。これによると石鏃が最も多く191点（盛土焼土125点、盛土コラム66点）、ついでＲフレイク55点、Ｕフレイク39点、石錐21点の順である。礫石器は全般的に少ない量である。石鏃は先端部の細かな破片が多く出土した。盛土コラムサンプルの資料中から石鏃の破片がこれほど多く回収されたということは、盛土中にはかなり大量の石鏃、石錐などの破片を含んでいたようである。盛土の土壌についてはほとんどすべて水洗選別したが篩目が５㎜メッシュのためこれら小破片の石器類はすべてこぼれ落ちたものと思われる。





図Ⅳ－186　フローテーション盛土コラムサンプル採取位置（■印）

表Ⅳ－31　フローテーション結果一覧（総括）

盛土上・下位の別	遺構名	サンプル数	水洗前乾燥重量(g)	水洗前乾燥体積(l)	残渣重量(g)	残渣土器(g)	残渣石器(点)	残渣フレイク･チップ(g)	残渣礫片(g)	残渣骨片(g)	備考
上位	RMAF	16	35,725	51.3	330	696.0	5	17.3	92.3	48.39	
	RMDF	1182	3,390,595	4,307.3	5,128	15,398.3	80	1,294.2	476.9	928.30	RMDF67を除く。
	RMEF	374	1,051,840	1,362.8	9,152	5,023.5	36	424.5	201.1	462.70	
	RMGF	197	508,780	642.2	20,647	3,004.0	17	132.3	156.2	99.80	
	RMJF	20	41,920	63.8	967	334.4	3	6.0	25.9	0.40	
	RMKF	2	3,890	5.4	90	8.9		0.2	8.3	0.22	
	RMXF	32	68,220	113.5	6,269	1,412.7	7	33.3	36.8	40.52	
	RMYF	119	298,081	395.2	16,713	2,430.1	18	250.8	260.0	618.59	
下位	RMBF	2	5,430	7.7	不明	13.4		0.7	1.2	0.08	
	RMDF67	1	1,320	1.8	50	9.3		0.4	0.0	10.67	
	RMWF	232	651,555	874.5	17,673	4,816.9	29	197.6	203.9	473.98	
	RMVF	361	922,376	1,241.8	16,105	2,271.1	19	102.0	114.7	340.68	
不明	不明	14	35,400	47.5	432	169.5	1	9.6	7.4	3.92	
盛土焼土合計		2552	7,015,132	9,114.8	93,556	35,588.1	215	2,468.9	1,584.7	3,028.25	
上位	RMA	115	454,190	556.5	10,352	1,038.1	10	47.8	58.6	1.03	RMA5層を除く。
	RMD	257	871,367	1,104.4	30,887	4,481.9	30	438.1	274.7	205.30	
	RME	60	202,360	237.6	13,941	1,932.5	14	144.4	99.1	60.10	
	RMJ	29	88,310	120.2	2,372	468.1	2	19.4	71.1	5.50	
	RMK	8	17,750	30.4	258	18.8	1	1.6	15.9	0.10	
	RMX	6	20,050	24.5	688	81.6		3.2	10.8	1.70	
	RMY	165	433,390	578.1	16,156	4,513.8	41	473.2	265.9	500.50	
下位	RMA(5層)	3	10,110	12.0	206	55.7		1.0	0.5		
	RMW	172	512,470	690.7	15,927	2,858.1	17	1,401.5	702.0	165.00	
	RMV	78	256,805	317.9	5,459	805.3	8	38.7	132.9	35.70	
盛土コラムサンプル合計		893	2,866,802	3,672.3	96,246	16,253.9	123	2,568.9	1,631.5	974.93	
	数値不明分を含む。										

表Ⅳ－32　フローテーション結果（盛土焼土－１）

盛土上・下位別	遺構名	サンプル番号		サンプル数	炭化種子同定	発掘区	層位	水洗前乾燥重量(g)	水洗前乾燥体積(l)	残渣重量(g)	残渣土器(g)	残渣石器(点)	残渣フレイク・チップ(g)	残渣礫片(g)	残渣骨片(g)	備考
上位	RMAF-1	MF	1	1	1	p-87		480	0.8	50	3.2		0.0	0.0	0.06	
	RMAF-2	MF	2	1	1	o-89		2,490	3.7	160	13.6		2.5	70.3	0.86	
	RMAF-3	MF	3	1		p-88		260	0.3	10			0.1			
	RMAF-4	MF	4	1	1	o-89		1,470	2.2	90	28.6		4.5	1.4	3.50	
	RMAF-5	MF	5-11	7	1	o-89		19,545	28.7	不明	579.7	5	7.2	20.4	43.68	
	RMAF-6	MF	12	1	1	p-89		870	1.2	20	3.1		0.0	0.0	0.00	
	RMAF-7	MF	13-16	4	1	p-88		10,610	14.4	不明	67.8		3.0	0.2	0.29	
	RMDF-1	MF	20-427,2322-2331,3017,3018,3024-3026	420	3	r-85		1,242,375	1,603.1	不明	3,044.8	18	274.2	201.0	46.71	欠124,162,358
	RMDF-2	MF	3019	1	1	p-85		600	0.8	20	1.5		0.3	0.0	0.00	
	RMDF-3	MF	428-447,449-454,2332,3020	28	1	p-85		71,875	93.6	不明	375.4	4	41.6	9.6	194.20	
	RMDF-4	MF	2333,2334,3021,3022	4	1	q-85		21,100	26.9	不明	170.9		37.0	3.3	75.50	
	RMDF-5	MF	455,456,3023	3	1	q-85		5,440	6.1	不明	38.5	1	5.0	0.0	3.50	
	RMDF-6	MF	457-464,2335-2343,3033-3035	20	1	q-85		118,715	121.5	4,228	970.5	6	65.2	21.5	48.18	
	RMDF-7	MF	465,466,2344-2350	9	1	r-85		24,885	31.4	不明	40.9		3.5	0.9	2.05	
	RMDF-8	MF	467-468,2351-2353	5	1	q-88		15,660	20.4	不明	56.7		3.7	2.2	3.52	
	RMDF-10	MF	469,2354	2	1	q-88		4,025	5.1	不明	6.6		0.7	0.4	0.01	
	RMDF-11	MF	470-494,2355-2362	33	1	q-87		88,740	111.1	不明	294.1	3	25.0	2.3	6.11	
	RMDF-12	MF	495-507	13	1	q-87		37,150	49.9	不明	291.9	2	12.0	1.3	22.16	
	RMDF-13	MF	2363-2364	2		q-87		970	1.1	不明	13.6		2.1	0.1	1.10	
	RMDF-14	MF	508-519,2365-2379	27	1	q-83		69,815	89.2	不明	359.5	1	27.4	4.5	13.65	
	RMDF-15	MF	2380-2382	3		q-83		6,030	7.7	不明	26.2		0.9	0.0	0.80	
	RMDF-16	MF	520-615	96	1	q-83		284,707	360.4	不明	1,090.7	9	102.2	20.8	26.48	
	RMDF-17	MF	616-622	7	1	r-83		25,000	30.5	不明	67.9	1	13.8	11.9	7.41	
	RMDF-18	MF	623-630	8	1	r-83		19,250	25.2	不明	109.7		6.7	0.9	4.04	
	RMDF-19	MF	631-635,2383-2404	27	1	r-83		67,715	91.3	不明	411.0		39.9	4.3	22.10	
	RMDF-20	MF	636-655	20	1	r-84		59,775	73.6	不明	124.0		12.3	6.5	9.93	
	RMDF-21	MF	656-659	4	1	q-84		11,530	13.6	不明	52.0		5.7	0.2	6.55	
	RMDF-22	MF	660-670	11	1	p-84		27,920	35.2	不明	263.9		17.9	2.1	6.66	
	RMDF-23	MF	671-672	2	1	p-84		4,990	6.7	不明	12.7		2.3	0.2	2.53	
	RMDF-24	MF	673-674	2	1	p-84		3,895	5.1	不明	35.9	1	2.9	0.1	0.62	
	RMDF-25	MF	675-682	8	1	r-82		23,740	30.2	不明	56.0		3.4	0.1	1.68	
	RMDF-26	MF	683-689	7	1	q-83		19,870	25.7	不明	161.1	3	8.1	0.3	6.86	
	RMDF-27	MF	690-693	4	1	p-83		9,510	11.7	不明	53.1		3.7	0.0	2.17	
	RMDF-28	MF	694-703	10	1	r-83		25,530	32.9	不明	138.2		25.9	0.6	6.24	
	RMDF-29	MF	704	1	1	q-84		810	1.0	40	1.1		0.4	0.0	0.30	
	RMDF-30	MF	705-722	18	1	q-85		40,195	56.8	不明	416.0	1	39.8	9.0	72.36	
	RMDF-31	MF	723-734	12	1	r-85		30,000	40.9	不明	121.8	1	17.8	1.0	18.70	
	RMDF-32	MF	735-742	8	1	r-87		23,125	28.9	不明	65.7	1	3.3	1.6	0.41	
	RMDF-33	MF	743-744	2	1	r-87		4,190	4.8	不明	2.7		0.1	5.8	0.02	
	RMDF-34	MF	745-750	6	1	q-87		16,215	20.7	不明	90.4		1.8	1.8	3.86	
	RMDF-35	MF	751-753	3	1	r-84		7,770	10.3	不明	28.7	1	4.7	0.7	3.23	
	RMDF-36	MF	754-755	2	1	r-83		2,820	3.8	不明	10.8		1.9	0.4	1.29	
	RMDF-37	MF	756-762	7	1	r-83		22,350	27.9	不明	186.8	1	13.0	3.9	28.37	
	RMDF-38	MF	763-775	15	1	r-83		36,845	46.3	不明	184.2	1	21.0	3.9	11.62	
	RMDF-39	MF	778-784	7	1	r-83		21,415	26.3	不明	145.5	2	11.8	4.9	4.14	
	RMDF-40	MF	785-789	5	1	r-83		14,410	19.5	不明	73.5		10.5	1.1	1.41	
	RMDF-41	MF	790	1	1	q-86		3,870	5.0	80	12.1		1.0	0.1	0.34	
	RMDF-42	MF	791-795	5	1	q-86		15,465	19.9	不明	18.5		2.7	5.1	1.11	
	RMDF-43	MF	796-799	4	1	q-86		14,160	17.6	不明	53.9		1.9	0.4	2.05	
	RMDF-44	MF	800-908,2405-2449	151	1	p-86		436,830	537.4	不明	2,196.4	7	105.6	85.8	30.51	欠804,887,902
	RMDF-45	MF	909-917	9	1	p-86		24,800	31.4	不明	162.2	2	13.0	0.8	2.16	
	RMDF-46	MF	918-933	16	1	p-87		41,695	58.4	不明	300.2	5	17.7	1.8	1.19	
	RMDF-47	MF	934-953	20	1	q-84		52,465	66.4	不明	274.3		39.6	12.4	22.84	
	RMDF-48	MF	954-956	3	1	q-84		5,970	6.9	不明	32.9		3.9	0.4	2.42	
	RMDF-49	MF	957-970	14	1	q-83		39,380	49.8	不明	356.1		23.2	3.1	28.12	
	RMDF-50	MF	971-974	4	1	p-87		9,070	10.4	不明	60.6	1	3.2	1.7	1.07	
	RMDF-51	MF	975-976	2	1	r-84		2,515	3.1	不明	18.7		0.8	2.2	1.04	
	RMDF-52	MF	977-979	3	1	r-84		8,500	10.7	不明	87.5		3.3	2.2	3.39	
	RMDF-53	MF	980-984	5	1	r-83		16,720	20.6	不明	178.1	1	22.7	2.2	48.69	
	RMDF-54	MF	985	1	1	p-85		2,770	4.0	60	6.7		1.1	6.1	0.07	
	RMDF-55	MF	986-987	2	1	q-85		4,310	5.5	不明	18.5		2.3	0.3	1.81	
	RMDF-56	MF	988	1	1	q-85		2,310	3.0	80	23.0		0.6		0.97	
	RMDF-57	MF	2450	1		q-85		420	0.5	不明	22.7		0.2	0.0	0.00	
	RMDF-58	MF	989	1	1	q-86		4,530	5.4	220	83.0	1	5.9	0.4	1.29	
	RMDF-59	MF	990	1	1	q-86		1,730	2.2	70	5.3		0.2	0.1	0.38	
	RMDF-60	MF	991	1	1	q-84		3,580	4.6	220	55.4		5.5	2.0	6.77	
	RMDF-61	MF	992	1	1	r-84		1,260	1.3	110	37.2		1.9	1.1	5.42	
	RMDF-62	MF	993-998	6	1	r-84		14,685	18.8	不明	68.4	2	11.3	0.7	31.95	
	RMDF-63	MF	999-1013,2451-2471	36	1	q-84		90,490	119.4	不明	1,248.9	2	100.8	15.9	59.97	
	RMDF-64	MF	1014-1018	5	1	q-84		12,698	17.4	不明	245.7		36.9	1.6	6.60	
	RMDF-65	MF	1019-1020	2	1	r-84		4,755	5.8	不明	82.8	1	2.4	0.3	1.67	
	RMDF-66	MF	1021-1045	25	1	q-84		64,660	84.6	不明	154.7	1	17.0	1.0	6..54	
	RMEF-1	MF	1054-1061,3001-3011	12	1	s-84		97,605	121.4	不明	201.6		12.2	4.9	8.77	
	RMEF-2	MF	3012-3013	2	1	s-85		6,190	8.1	160	2.0		1.3	0.0	1.40	
	RMEF-3	MF	1062-1068,3014-3016	10	1	s-85		69,570	89.6	不明	180.3		12.5	14.2	15.75	
	RMEF-4	MF	3040-3042	3	1	u-80		8,400	16.5	450	87.2	1	5.6	1.6	5.60	

表Ⅳ－33 フローテーション結果（盛土焼土－２）

盛土上・下位別	遺構名	サンプル番号	サンプル数	炭化種子同定	発掘区	層位	水洗前乾燥重量(g)	水洗前乾燥体積(l)	残渣重量(g)	残渣土器(g)	残渣石器(点)	残渣フレイク・チップ(g)	残渣礫片(g)	残渣骨片(g)	備考
	RMEF-5	MF 1069-1070	2	1	u-81		2,445	3.4	不明	35.3		1.5	0.3	1.01	
	RMEF-6	MF 1071-1072	2	1	t-81		3,250	4.5	不明	7.3		0.7	0.1	1.22	
	RMEF-7	MF 1073	1	1	t-82		780	1.2	50	4.6		0.1	0.3	0.52	
	RMEF-8	MF 1074	1	1	t-82		1,680	2.5	50	0.2		0.0	0.0	0.50	
	RMEF-9	MF 1075-1076	2	1	t-83		5,420	7.7	不明	5.7		1.3	0.4	0.55	
	RMEF-10	MF 1077-1081	5	1	t-83		10,830	15.1	不明	37.3		1.3	0.6	1.04	
	RMEF-11	MF 1082-1086	5	1	t-84		12,490	15.5	不明	17.4		0.9	0.6	1.58	
	RMEF-12	MF 1087-1090	4	1	t-84		11,750	17.9	不明	25.9		2.4	2.2	1.52	
	RMEF-13	MF 1091-1102	12	1	t-83		34,680	40.7	不明	105.7	1	9.7	3.1	7.19	
	RMEF-14	MF 1103	1	1	s-84		1,940	3.0	130	6.6		0.8	0.3	3.04	
	RMEF-15	MF 1104-1106	3	1	s-82		5,710	8.3	不明	16.4		1.6	0.5	0.52	
	RMEF-16	MF 1107-1109	3	1	s-82		6,120	8.1	不明	8.0		1.4	1.6	1.30	
	RMEF-17	MF 1110-1114	5	1	s-82		12,440	19.4	不明	44.3		2.9	0.4	3.27	
	RMEF-18	MF 1115-1126	12	1	s-81		31,310	50.3	不明	203.3	1	12.3	2.4	7.85	
	RMEF-19	MF 1127	1	1	s-81		1,410	2.1	50	4.1		0.4	0.2	0.47	
	RMEF-20	MF 1128-1129	2	1	s-82		2,170	3.5	不明	7.6		1.5	0.4	0.62	
	RMEF-21	MF 1130-1131	2	1	s-82		1,610	2.0	70	8.3		1.2	1.2	1.64	
	RMEF-22	MF 1132-1134	3	1	s-82		5,540	8.8	不明	28.7		2.5	0.5	1.76	
	RMEF-23	MF 1135-1137	3	1	s-82		8,620	11.9	不明	16.7		4.7	0.7	1.92	
	RMEF-24	MF 1138-1140	3	1	s-81		13,065	16.9	不明	260.2		2.7	1.2	10.89	
	RMEF-25	MF 1141	1	1	s-81		2,050	2.9	110	25.8		0.6	0.3	9.46	
	RMEF-26	MF 1142,1144	2	1	u-81		1,560	2.1	180	26.7		0.4	0.2	0.58	
	RMEF-27	MF 1145-1146	2	1	t-82		4,140	5.7	不明	34.8		4.3	0.3	1.74	
	RMEF-28	MF 1147-1148	2	1	t-82		4,890	6.1	不明	18.3		2.3	0.5	3.51	
	RMEF-29	MF 1149-1150	2	1	t-82		4,230	5.6	不明	10.8		0.9	0.1	0.73	
	RMEF-30	MF 1151-1168	18	1	t-83		52,625	69.6	不明	138.6	4	15.2	4.8	11.72	
	RMEF-31	MF 1170-1172	3	1	t-83		8,930	11.6	不明	45.8		12.8	1.0	4.08	
	RMEF-32	MF 1169,1173-1236	65	1	s-82		181,120	234.6	不明	491.1	5	71.6	19.9	61.91	
	RMEF-33	MF 1237-1240	4	1	s-81		5,760	7.4	415	14.0		4.9	0.2	0.80	
	RMEF-34	MF 1241-1242	2	1	t-84		2,300	2.4	270	9.0		0.3	2.1	0.08	
	RMEF-35	MF 1243-1244	2	1	t-84		1,080	1.2	100	5.3		1.3	2.0	0.15	
	RMEF-36	MF 1245-1246	2	1	t-84		960	1.0	80	0.6		0.2	0.0	0.01	
	RMEF-37	MF 1247-1249	3	1	t-84		8,930	10.8	695	39.6		1.3	0.3	0.45	
	RMEF-38	MF 1250-1251	2	1	t-84		810	0.9	90	3.4		0.0	0.1	0.05	
	RMEF-39	MF 1252-1261	10		*EF に含める。		27,885	34.7	1,338	108.2		8.8	4.7	8.46	
	RMEF-40	MF 1262-1336,1589,1590,247	82	1	s-83		223,170	273.7	不明	1,131.6	11	100.0	64.7	78.75	
	RMEF-41	MF 2477-2488	2		s-84		4,820	6.3	不明	17.0		2.0	0.2	1.10	
	RMEF-42	MF 2479-2480	2		s-84		1,390	2.3	不明	0.5		0.1	0.1	0.20	
	RMEF-43	MF 2481-2482	2		s-84		4,100	5.3	不明	5.5		0.5	4.4	1.80	
	RMEF-44	MF 2483-2484	2		s-84		4,370	5.0	不明	4.4		0.4	0.2	0.70	
	RMEF-45	MF 2485-2486	2		s-84		4,990	6.0	不明	5.8		1.0	0.1	1.40	
	RMEF-46	MF 1337-1338	2	1	t-82		6,180	8.0	628	65.3		2.5	0.6	3.06	
	RMEF-47	MF 2487-2488	2		t-81		1,860	4.8	不明	13.5		2.5	0.0	0.70	
	RMEF-48	MF 2489-2490	2		t-81		3,920	4.6	不明	20.5		1.6	0.0	0.06	
	RMEF-49	MF 1591,2491	2	1	t-81		2,240	3.2	不明	1.3		0.3	0.0	0.21	
	RMEF-50	MF 1339-1340,1342,2492	4	1	s-82		13,900	16.7	不明	136.9	2	9.8	5.5	19.68	
	RMEF-51	MF 1341,1343,1345-1350	8	1	s-82		15,730	20.6	882	67.8		3.6	1.1	15.37	
	RMEF-52	MF 1344,1351-1355	6	1	t-81		17,395	22.0	776	117.8	3	7.5	6.5	5.20	
	RMEF-53	MF 1356-1357	2	1	t-81		3,630	4.3	220	20.3		5.9	0.8	1.26	
	RMEF-54	MF 1358-1364	7	1	t-82		10,440	13.3	1,428	143.5		7.4	0.6	8.02	
	RMEF-55	MF 1365-1366	2	1	s-82		5,680	6.8	270	36.9		2.8	4.3	11.33	
	RMEF-56	MF 1367-1386,2493	21	1	t-81		57,720	75.4	不明	811.3	7	56.5	23.4	113.76	
	RMEF-57	MF 1387-1388	2	1	s-82		3,000	3.4	264	47.4	1	3.7	0.3	7.16	
	RMEF-58	MF 1389-1390	2	1	s-82		3,750	4.4	336	84.2		9.6	12.8	8.94	
	RMEF-59	MF 1391	1	1	t-84		1,260	1.7	110	5.3		0.4	1.3	0.34	
	RMGF-1	MF 1392-1396	5	1	u-82		14,690	18.1	1,048	52.2		5.9	8.1	2.55	
	RMGF-2	MF 1397-1427	31	1	v-82		93,110	111.1	5,965	403.3	5	21.4	33.4	21.40	
	RMGF-3	MF 1428-1429	2	1	v-82		3,150	3.8	299	30.6		2.2	0.6	0.47	
	RMGF-4	MF 1431-1432	2	1	w-83		4,420	5.3	148	31.8	1	0.8	0.3	0.36	
	RMGF-5	MF 1433	1	1	w-83		920	1.3	60	29.5	1	0.0	0.0	0.05	
	RMGF-6	MF 1434-1435	2	1	w-83		360	0.5	20	0.5		0.1	0.1	0.01	
	RMGF-8	MF 3005	1	1	v-85		12,300	16.0	170	25.2		0.4	0.1	0.20	
	RMGF-9	MF 1436-1474	39	1	v-81		102,415	126.8	5,290	628.7	2	27.7	19.7	21.50	
	RMGF-10	MF 1475	1	1	v-82		210	0.3	20			0.2	0.0		
	RMGF-11	MF 1477-1498,3004	23	1	v-84		67,715	86.2	1,953	415.3	2	14.9	19.3	5.96	
	RMGF-12	MF 1499-1508	10	1	w-84		26,655	35.2	482	91.2		3.3	2.5	1.80	
	RMGF-13	MF 1509	1	1	v-82		3,790	4.8	150	35.2		2.0	7.0	0.49	
	RMGF-14	MF 1510-1534	25	1	v-82		64,300	83.7	2,349	766.4	4	37.4	34.8	31.88	
	RMGF-15	MF 1535-1546	12	1	w-81		34,285	47.9	598	132.1	1	2.6	8.1	5.03	
	RMGF-16	MF 1547	1	1	w-81		820	1.1	20	5.2		0.1	0.2	0.16	
	RMGF-17	MF 1548-1549	2	1	w-82		5,290	6.8	125	28.7		2.9	1.0	1.79	
	RMGF-18	MF 1550-1551	2	1	v-82		1,470	2.0	40	8.3		0.3	0.4	0.53	
	RMGF-19	MF 1552-1553	2	1	v-82		2,670	3.7	110	35.2		0.7	0.5	1.18	
	RMGF-20	MF 1554-1555	2	1	v-82		1,420	2.2	80	15.3		0.7	0.3	0.78	
	RMGF-21	MF 1556-1559	4	1	v-82		8,980	11.2	367	82.8		1.4	1.3	1.92	
	RMGF-22	MF 1560	1	1	v-81		600	0.7	30	2.4		0.1	8.8	0.15	
	RMGF-23	MF 1561-1580	20	1	v-84		55,040	68.7	1,193	155.5	1	5.7	9.1	1.33	
	RMGF-24	MF 1581-1582	2	1	v-84		1,570	1.9	60	20.6		0.3	0.2	0.09	
	RMGF-25	MF 1583-1584	2	1	v-84		840	0.3	30	2.1		0.9	0.0	0.02	
	RMGF-26	MF 1585-1586	2	1	v-84		440	0.4	20	1.0		0.2		0.06	
	RMGF-27	MF 1587-1588	2	1	v-84		1,320	2.2	20	4.9		0.1	0.4	0.09	
	RMJF-1	MF 1592-1597	6	1	t-87		13,410	22.7	261	54.6		1.4	2.1	0.10	
	RMJF-2	MF 1598-1599	2	1	t-87		3,580	6.1	97	43.8		0.5	1.3	0.02	

表Ⅳ－34　フローテーション結果（盛土焼土－３）

盛土上・下位別	遺構名	サンプル番号		サンプル数	炭化種子同定	発掘区	層位	水洗前乾燥重量(g)	水洗前乾燥体積(l)	残渣重量(g)	残渣土器(g)	残渣石器(点)	残渣フレイク・チップ(g)	残渣礫片(g)	残渣骨片(g)	備考
	RMJF-3	MF	1600-1601	2	1	t-87		3,750	6.1	97	20.3		0.8	8.7	0.01	
	RMJF-4	MF	1602-1603	2	1	u-86		5,680	7.9	186	97.8	1	0.5	0.5	0.09	
	RMJF-5	MF	1604-1605	2	1	u-86		2,260	4.0	58	13.4		0.3	0.2	0.01	
	RMJF-6	MF	1606-1607	2	1	u-87		3,500	5.1	61	11.2		2.2	12.2	0.07	
	RMJF-7	MF	1608-1611	4	1	u-86		9,740	11.9	207	93.3	2	0.3	0.9	0.10	
	RMKF-1	MF	1612	1	1	x-84		1,590	2.1	40	7.0		0.1	5.7	0.12	
	RMKF-2	MF	1613	1	1	x-84		2,300	3.3	50	1.9		0.1	2.6	0.10	
	RMXF-1	MF	2171-2187	17	1	y-81		40,310	68.9	4,459	1,007.3	6	11.8	27.1	35.41	
	RMXF-2	MF	2188-2189	2	1	y-82		3,700	5.6	194	40.0		6.7	0.5	0.06	
	RMXF-3	MF	2190-2191	2	1	y-82		5,090	8.0	388	85.1		0.6	8.4	0.14	
	RMXF-4	MF	2192-2196	5	1	y-82		10,190	16.3	634	31.7		9.8	0.2	1.23	
	RMXF-5	MF	2197-2202	6	1	x-81		8,930	14.7	594	248.6	1	4.4	0.6	3.68	
	RMYF-1	MF	2203-2204,3001	3	1	x-75		7,900	12.0	400	40.3	1	9.9	4.2	28.31	
	RMYF-2	MF	2205-2210,3002,3003	8	1	y-75		39,700	52.4	2,562	429.5	4	14.4	36.3	180.92	
	RMYF-3	MF	2211-2213	3	1	y-75		6,170	10.5	486	79.2		3.8	1.9	3.55	
	RMYF-5	MF	2214	1	1	x-77		1,470	2.1	70	10.7		0.3	0.6	0.31	
	RMYF-6	MF	2215-2220	3		w-78		5,710	8.5	312	22.5		1.5	1.2	1.37	
	RMYF-7	MF	2221	1	1	w-78		2,020	2.6	60	2.2		0.2	0.5	0.15	
	RMYF-8	MF	2222-2223	2	1	w-78		7,960	9.6	270	26.3		2.0	9.7	2.26	
	RMYF-9	MF	2224-2225	2	1	x-78		3,860	5.9	174	6.8		0.6	1.4	1.45	
	RMYF-11	MF	2226	1	1	w-78		2,670	3.0	90	11.7		0.3	1.2	0.44	
	RMYF-12	MF	2227-2233	7	1	w-78		20,440	29.1	794	92.1		5.7	18.2	3.98	
	RMYF-14	MF	2234	1	1	x-77		1,650	2.7	90	7.3		1.0	3.8	0.81	
	RMYF-15	MF	2235-2236	2	1	w-77		4,080	7.0	314	42.7		6.7	5.7	10.07	
	RMYF-16	MF	2237	1	1	w-77		1,280	2.0	80	5.5		4.3	0.1	6.88	
	RMYF-17	MF	2238	1	1	x-76		490	0.8	40	4.9		0.4	0.1	1.56	
	RMYF-18	MF	2239-2240	2	1	w-77		4,340	5.0	200	17.9		1.7	1.5	5.84	
	RMYF-19	MF	2241-2244	4	1	x-76		8,635	12.7	808	107.0	1	25.8	11.6	17.56	
	RMYF-20	MF	2245-2246	2	1	x-76		3,745	4.6	222	42.3		4.1	14.5	4.69	
	RMYF-22	MF	2247	1	1	w-76		890	1.2	60	8.4		0.5	3.0	0.50	
	RMYF-23	MF	2248-2251	4	1	v-78		9,390	13.8	324	24.1		4.7	8.6	11.58	
	RMYF-24	MF	2252	1	1	y-76		350	0.7	10	1.7		0.2		0.12	
	RMYF-26	MF	2253-2254	2	1	v-80		8,585	10.4	242	44.9		3.0	8.8	4.78	
	RMYF-27	MF	2255	1	1	y-74		3,030	3.7	250	19.6	1	3.4	0.5	16.98	
	RMYF-28	MF	2256	1	1	x-74		2,450	3.0	110	14.3		0.3	7.5	1.38	
	RMYF-30	MF	2257-2258	2	1	x-74		6,080	7.0	282	39.6		2.4	13.7	15.36	
	RMYF-31	MF	2259-2261	3	1	y-74		5,080	6.8	468	71.5		2.7	2.2	7.76	
	RMYF-32	MF	2262-2264	3	1	y-74		5,870	6.7	290	35.1		7.5	14.4	7.05	
	RMYF-33	MF	2265-2282	18	1	y-74		43,436	56.2	2,020	298.1	6	83.6	29.0	156.60	
	RMYF-34	MF	2283-2284	2	1	y-73		6,130	7.3	284	40.5	1	3.7	4.5	15.67	
	RMYF-35	MF	2285-2286	2	1	y-73		4,420	5.6	242	25.6		10.0	0.6	22.40	
	RMYF-36	MF	2287-2288	2	1	y-73		4,780	6.1	200	23.6	1	2.0	2.0	11.50	
	RMYF-37	MF	2289-2292	4	1	y-72		8,160	12.4	770	108.5		12.6	16.3	15.09	
	RMYF-38	MF	2293	1	1	y-73		3,525	4.4	200	79.9		2.9	1.5	8.54	
	RMYF-39	MF	2294-2295	2	1	y-72		4,570	5.2	374	26.2		2.6	1.7	3.06	
	RMYF-40	MF	2296	1	1	y-72		800	1.1	30	1.4		0.1	0.0	0.44	
	RMYF-41	MF	2297	1	1	y-74		1,740	2.1	90	12.6		2.2	0.1	6.29	
	RMYF-43	MF	2298	1	1	y-74		2,520	4.0	110	14.2		0.4	4.9	3.88	
	RMYF-46	MF	2299-2300	2	1	y-73		6,140	9.5	388	43.9	2	3.9	4.0	5.68	
	RMYF-47	MF	2301-2314	14	1	y-73		28,685	33.9	1,394	160.7		9.2	17.7	16.74	
	RMYF-48	MF	2315-2316	2	1	x-72		4,780	5.8	738	24.2		0.4	2.9	0.48	
	RMYF-49	MF	2317	1	1	y-72		390	0.5	30	4.3		0.1	2.1	0.19	
	RMYF-50	MF	2318-2321	4	1	w-74		14,160	17.3	835	358.3	1	9.7	1.5	16.37	
下位	RMBF-1	MF	17-18	2	1	r-91		5,430	7.7	不明	13.4		0.7	1.2	0.08	
	RMDF-67	MF	1046	1	1	p-84		1,320	1.8	50	9.3		0.4	0.0	10.67	
	RMWF-1	MF	1970-1972	3		x-82		4,890	8.0	344	31.3	3	0.4	0.6	3.66	
	RMWF-2	MF	1973-1977	5	1	y-82		12,720	20.6	658	100.9	1	27.5	1.5	2.97	
	RMWF-4	MF	1978-1980	3	1	x-81		10,140	14.8	625	137.8		10.6	3.0	6.42	
	RMWF-5	MF	1981	1	1	x-81		2,405	3.2	120	29.7		0.1		3.15	
	RMWF-6	MF	1982-1998	17	1	v-87		40,005	58.2	1,049	162.3	2	8.6	6.5	6.04	
	RMWF-7	MF	1999-2006	8	1	y-82		21,545	28.9	1,324	411.2		1.6	4.2	5.34	
	RMWF-8	MF	2007-2009	3	1	y-82		6,790	9.2	130	8.2		0.3	0.5	2.08	
	RMWF-9	MF	2010-2011	2	1	y-82		5,700	6.0	254	116.8		0.9	2.2	3.63	
	RMWF-10	MF	2012-2013	2	1	y-82		4,410	5.0	88	4.1		0.5	1.4	1.11	
	RMWF-11	MF	3006	1	1	v-85		500	0.9	16	2.8		0.2	0.0	0.00	
	RMWF-12	MF	2014-2050,3007	38	1	w-84		111,485	149.6	1,910	161.9		22.0	19.0	3.82	
	RMWF-13	MF	3027	1	1	v-85		5,500	7.0	60	4.5		0.4	0.3	0.50	
	RMWF-14	MF	3028	1	1	x-75		23,500	27.0	1,220	87.6	5	14.0	8.0	64.70	
	RMWF-15	MF	3029	1	1	x-75		7,800	11.0	150	16.5		2.8	0.4	7.90	
	RMWF-17	MF	3030	1	1	x-75		7,400	10.0	220	53.4	2	3.1	1.3	2.50	
	RMWF-19	MF	3036	1	1	x-75		800	1.2	20	3.2		0.1	0.0	1.60	
	RMWF-20	MF	3037,3043	2	1	y-75		9,500	11.1	170	24.7		1.5	0.2	4.80	
	RMWF-21	MF	3038	1	1	x-75		6,700	9.0	340	52.3		2.2	0.8	10.90	
	RMWF-22	MF	2051-2074,3039	25	1	x-75		87,010	112.3	2,786	573.5	4	20.1	26.8	95.34	
	RMWF-23	MF	2075-2091,2095,2096	19	1	y-82		52,450	72.6	2,238	400.6	2	11.9	15.6	36.98	
	RMWF-24	MF	2092,2494-2496	4	1	y-82		7,780	10.1	80	360.4		4.6	2.2	2.96	
	RMWF-25	MF	2093-2094	2	1	y-82		3,590	4.8	132	28.4		0.3	1.7	1.82	
	RMWF-26	MF	2097-2098,2497-2501	7		y-81		16,160	20.8	不明	154.2		3.7	10.0	7.80	
	RMWF-27	MF	2099	1	1	w-85		1,980	2.6	130	11.8		0.8	0.3	0.40	
	RMWF-29	MF	2103-2104	2	1	w-86		5,145	8.0	180	47.8	1	0.1	6.9	0.85	
	RMWF-30	MF	2105-2111,2502	8	1	v-87		17,290	24.6	不明	161.9		1.9	1.5	11.38	
	RMWF-31	MF	2112-2113	2	1	v-87		7,140	9.3	149	22.5		0.8	0.3	2.79	

表Ⅳ－35　フローテーション結果（盛土焼土－４）

盛土上・下位別	遺構名	サンプル番号		サンプル数	炭化種子同定	発掘区	層位	水洗前乾燥重量(g)	水洗前乾燥体積(l)	残渣重量(g)	残渣土器(g)	残渣石器(点)	残渣フレイク・チップ(g)	残渣礫片(g)	残渣骨片(g)	備考
	RMWF-32	MF	2114-2125,2503,2504	14	1	y-83		36,275	46.9	不明	242.8	2	11.1	2.7	44.88	
	RMWF-33	MF	2126-2127,2505,2506	4	1	w-83		8,340	9.6	不明	111.1	1	2.0	0.7	1.13	
	RMWF-35	MF	2128-2131	4	1	y-74		9,300	11.7	352	79.8	1	3.0	2.0	4.82	
	RMWF-36	MF	2132-2133	2	1	y-73		7,515	9.5	212	21.8		0.5	0.4	5.45	
	RMWF-37	MF	2134	1	1	y-72		950	1.5	70	18.6		0.2	4.1	4.40	
	RMWF-39	MF	2135	1	1	z-73		380	0.7	10	1.3				0.23	
	RMWF-40	MF	2136	1	1	x-78		4,705	7.5	500	196.7	3	2.1	41.9	4.24	
	RMWF-41	MF	2137	1	1	x-78		4,450	5.9	60	12.4		0.6	0.3	0.36	
	RMWF-42	MF	2138-2140	3	1	w-78		8,095	10.2	296	89.4		0.9	0.7	4.09	
	RMWF-43	MF	2141-2148	8	1	w-78		19,150	26.2	838	233.5		1.9	1.3	13.19	
	RMWF-44	MF	2149,2507-2510	5	1	x-77		9,105	13.4	不明	86.7	1	2.5	1.2	14.31	
	RMWF-45	MF	2150-2152,2511	4	1	x-77		8,690	12.7	不明	52.9		0.7	0.8	15.66	
	RMWF-46	MF	2153,2512-2513	3	1	x-77		9,515	12.9	不明	134.9	1	14.0	0.1	13.80	
	RMWF-47	MF	2154-2156	3	1	x-76		3,880	5.5	420	183.8		1.0	6.9	8.55	
	RMWF-48	MF	2157-2159,2514	4	1	y-75		11,025	15.5	不明	39.9		3.8	1.0	14.82	
	RMWF-49	MF	2515	1		y-75		2,110	3.0	不明	31.9		0.3	0.2	0.40	
	RMWF-50	MF	2160	1	1	y-75		1,375	2.2	30	0.4		1.4	0.4	2.22	
	RMWF-51	MF	2161-2162	2	1	t-83		6,170	7.8	292	36.7		4.9	20.5	5.66	
	RMWF-52	MF	2163-2167,2516	6	1	y-73		15,370	20.3	不明	46.4		3.5	2.6	19.82	
	RMWF-53	MF	2168	1	1	x-74		970	1.0	20	2.3		0.6	0.4	1.19	
	RMWF-54	MF	2169	1	1	x-74		3,400	4.3	130	9.1		1.5	0.5	3.15	
	RMWF-55	MF	2170	1	1	x-74		450	0.4	50	14.2		0.1		0.17	
	RMVF-1	MF	3031	1	1	s-85		6,400	7.0	50	8.1		0.6	0.0	0.00	
	RMVF-2	MF	1614-1628,3032	16	1	s-84		43,860	63.5	675	63.2		2.7	6.4	6.62	
	RMVF-3	MF	1629-1652,1937,1938	26	1	t-87		72,680	98.1	1,204	128.5		4.5	7.5	2.84	
	RMVF-4	MF	1653-1654	2	1	t-86		7,700	9.6	86	7.5		0.2	0.6	0.03	
	RMVF-5	MF	1655-1656	2	1	t-86		4,190	5.5	48	2.7		2.2	0.4	0.07	
	RMVF-6	MF	1657-1830,2215-2217	177	1	t-87		441,901	587.0	5,623	586.6	2	34.2	49.9	20.61	
	RMVF-7	MF	1831-1837	7	1	s-85		14,735	23.4	262	30.8		0.8	4.5	1.82	
	RMVF-8	MF	1838-1839	2	1	s-86		5,500	7.3	170	25.6		1.6	0.3	0.57	
	RMVF-9	MF	1840-1841	2	1	s-85		6,165	7.7	110	7.7		0.3	0.3	0.37	
	RMVF-10	MF	1842-1846	5	1	s-85		14,050	19.9	192	11.7		0.7	0.3	6.40	
	RMVF-11	MF	1847	1	1	t-86		1,110	1.6	10			0.1	0.0	0.11	
	RMVF-12	MF	1848-1854	7	1	s-85		15,560	21.2	214	15.6		2.6	0.6	0.33	
	RMVF-13	MF	1855-1856	2	1	w-73		3,900	5.0	152	3.7	1	0.2	0.0	1.48	
	RMVF-14	MF	1857-1864	8	1	w-76		24,180	34.2	246	57.6	2	1.3	1.9	2.21	
	RMVF-15	MF	1865	1	1	w-76		3,270	5.0	40	8.4		0.1	0.2	0.19	
	RMVF-16	MF	1866	1	1	w-77		2,200	3.5	20	1.3		0.1	0.0	0.07	
	RMVF-17	MF	1867	1	1	w-77		3,290	4.4	180	131.2		0.3	0.1	0.85	
	RMVF-18	MF	1868-1888	21	2	w-77		48,940	68.5	2,288	452.0	2	14.8	16.7	166.73	
	RMVF-19	MF	1889-1891	3	1	v-77		6,840	9.0	122	13.7		1.0	3.4	0.81	
	RMVF-20	MF	1892-1905	14	1	v-77		39,155	54.7	1,703	271.1	6	5.8	5.8	62.80	
	RMVF-21	MF	1906-1911	6	1	v-77		14,581	20.4	173	47.8		0.6	0.0	2.26	
	RMVF-22	MF	1912-1913	2	1	r-85		5,450	6.8	67	1.0		0.0		0.02	
	RMVF-23	MF	1914-1915	2	1	r-85		5,150	7.0	170	54.0	1	1.3	1.9	3.07	
	RMVF-24	MF	1916-1917	2	1	q-86		6,340	7.9	51	11.5		2.0	0.1	0.01	
	RMVF-26	MF	1918-1919	2	1	s-86		3,790	5.8	156	3.3		2.2	2.9	9.06	
	RMVF-28	MF	1920-1921	2	1	t-82		4,300	6.9	59	5.3		0.1	0.1	1.71	
	RMVF-29	MF	1922	1	1	s-86		700	1.0	10	0.5		0.0	0.6	0.01	
	RMVF-30	MF	1923-1936	14	1	s-82		9,565	51.6	145	3.5		3.5	2.9	18.79	
	RMVF-31	MF	1939-1943	5	1	s-82		13,550	18.1	335	37.5	1	1.7	0.8	8.58	
	RMVF-32	MF	1944-1947	4	1	r-83		10,960	13.5	418	91.6	1	5.7	2.3	12.80	
	RMVF-33	MF	1948	1	1	r-83		1,710	1.9	60	17.4	1	1.1	0.0	0.96	
	RMVF-34	MF	1949-1953	5	1	r-83		14,734	19.0	222	3.4		0.5	0.1	0.50	
	RMVF-35	MF	1954-1955	2	1	s-83		1,720	2.9	20	0.1		0.0	0.0	0.02	
	RMVF-36	MF	1956-1959	4	1	t-84		8,895	11.3	418	59.1	1	8.1	1.4	4.50	
	RMVF-37	MF	1960-1961	2	1	t-84		1,480	2.0	160	84.8		0.0	0.0	1.37	
	RMVF-41	MF	1962-1963	2	1	r-83		7,670	9.2	69	10.0	1	0.4	1.0	2.00	
	RMVF-42	MF	1964-1968	5	1	s-84		15,155	19.2	137	6.7		0.7	0.6	0.10	
	RMVF-43	MF	1969	1	1	s-85		1,000	1.2	40	6.6		0.0	1.1	0.01	
不明	不明	MF	19	1				1,920	2.5	120	6.1		0.5	0.0	0.26	
	不明	MF	448	1				2,420	3.0	不明	6.9	1	0.4	0.2	0.06	
	不明	MF	1047-1053	7				22,660	30.9	不明	91.2		7.0	3.0	0.90	
	不明	MF	1430	1				480	0.9	19	0.5		0.0		0.00	
	不明	MF	1476	1				2,440	3.0	79	17.9		0.4	2.3	0.80	
	不明	MF	2100-2102	3				5,480	7.2	214	46.9		1.3	1.9	1.90	
	盛土焼土合計			2552	288			7,015,132	9,114.8	93,556	35,588.1	215	2468.9	1,584.7	3028.25	

表Ⅳ－36　フローテーション結果（盛土コラムサンプル）

盛土上・下位別	遺構名	サンプル番号		サンプル数	炭化種子同定	発掘区	層位	水洗前乾燥重量(g)	水洗前乾燥体積(l)	残渣重量(g)	残渣土器(g)	残渣石器(点)	残渣フレイク・チップ(g)	残渣礫片(g)	残渣骨片(g)	備考
上位	RMA	M	1-8	8	1	o-90-9	1	31,240	39.0	1,424	67.9		1.4	5.9	0.23	
	RMA	M	9-49	41	1	o-90-9	2	162,740	197.0	3,719	133.0	4	10.6	10.8	0.10	
	RMA	M	50-94	45	1	o-90-9	3	182,970	223.5	3,857	573.2	5	25.0	14.2	0.50	
	RMA	M	98-116	19	1	o-90-9	15	68,950	87.0	1,166	238.1		10.2	27.7	0.20	
	RMA	M	117-118	2		o-90-9		8,290	10.0	186	25.9	1	0.6		0.00	
	RMD	M	119-127	9	1	r-84-3	2	22,100	34.6	924	40.9	1	6.1	10.1	1.00	
	RMD	M	128-174,351-373	70	2	r-84-3	3	228,317	296.7	8,349	593.6	10	73.2	91.1	17.50	
	RMD	M	175-188	14	1	r-84-3	4	54,850	65.8	2,212	302.4	1	50.9	31.1	21.80	
	RMD	M	189-209	21	1	r-84-3	5	74,340	92.0	2,767	575.5	2	77.8	29.6	41.20	
	RMD	M	210-224	15	1	r-84-3	6	52,890	67.4	2,975	695.7	3	73.3	10.1	78.50	
	RMD	M	227-250,252-253	26	1	r-84-3	7	82,650	105.7	3,030	876.9	5	63.1	23.2	26.60	
	RMD	M	254	1	1	p-85-7	11	4,710	6.0	190	21.9		0.8	3.6	0.60	
	RMD	M	255-260,326-350	31	3	p-85-7	12	116,810	144.6	3,895	474.2	3	25.7	41.8	6.90	
	RMD	M	261-294	34	1	p-85-7	14	122,050	152.1	4,043	545.1	3	40.9	17.9	5.80	
	RMD	M	295-325	31	1	p-85-7	15	97,950	120.4	1,891	256.1	1	14.4	13.9	1.90	
	RMD	M	225,226,251,374,375	5		q-85-12		14,700	19.1	611	99.6	1	11.9	2.3	3.50	
	RME	M	376-378	3	1	t-83-1	1	11,750	14.5	725	165.8	2	13.1	2.0	2.20	
	RME	M	379-402	24	1	t-83-1	3	85,720	99.9	6,712	843.7	8	64.5	15.5	35.60	
	RME	M	405-415,435	12	1	t-83-1	12	40,060	47.3	1,772	296.8	3	23.4	25.8	5.20	
	RME	M	416-434	19	1	t-83-1	13	58,130	68.2	4,356	617.2	1	42.3	55.8	16.30	
	RME	M	403-404	2		t-84	3	6,700	7.7	376	9.0		1.1		0.80	
	RMJ	M	436-452	17	1	t-86-8	1	44,970	64.9	870	157.1	1	8.2	36.6	1.70	
	RMJ	M	453-464	12	1	u-86-4	2	43,340	55.3	1,502	311.0	1	11.2	34.5	3.80	
	RMK	M	465-472	8	1	w-87-3	1	17,750	30.4	258	18.8	1	1.6	15.9	0.10	
	RMX	M	724-725	2	1	y-82-14	1	6,990	8.5	234	16.8		0.6	8.0	1.30	
	RMX	M	726-729	4	1	y-82-14	2	13,060	16.0	454	64.8		2.6	2.8	0.40	
	RMY	M	730-782,853-873	74	1	y-74-12	1	191,710	254.9	5,262	1,409.8	13	140.4	146.8	137.70	
	RMY	M	783-848,875-894	86	1	y-74-12	2	228,800	307.2	10,322	2,998.7	27	317.5	113.5	338.80	
	RMY	M	849-852,874	5		y-74-12		12,880	16.0	572	105.3	1	15.3	5.6	24.00	
下位	RMA	M	95-97	3	1	o-90-9	5	10,110	12.0	206	55.7		1.0	0.5		
	RMW	M	551-555	5		s-81	1	16,560	19.7	414	93.1		2.0	0.7	2.10	
	RMW	M	556-558	3		x-82	1	6,810	7.2	176	51.5		0.9	1.2	0.80	
	RMW	M	559-560	2		q-92?	2	7,060	8.9	166	41.0	1	1.7	0.5	0.30	
	RMW	M	561-562	2		u-88	2	4,975	7.0	74	1.9		0.6	0.4	0.00	
	RMW	M	563-572	10		v-79	2	32,310	43.4	1,411	252.3	2	247.7	308.7	12.70	
	RMW	M	573-574	2		v-85	2	5,940	9.0	78	13.1		0.4	4.1	0.00	
	RMW	M	575-576	2		v-87	2	4,540	6.2	128	25.3		0.7	0.8	0.70	
	RMW	M	577	1		w-81	2	2,750	3.0	44	17.4		0.2		0.30	
	RMW	M	578-582	5		w-83	2	13,520	16.3	317	27.3		1.5	2.5	0.70	
	RMW	M	583-586	4		x-82	2	13,440	17.4	1,664	364.8	5	1051.9	17.0	3.30	
	RMW	M	587-694	107	1	y-74-12	2	313,815	438.2	7,917	1,309.6	7	78.1	238.8	114.30	欠653
	RMW	M	695-708	14	1	y-82-14	2	45,900	56.5	1,719	362.5		7.6	32.5	8.80	
	RMW	M	709-716	8	1	y-82-14	3	27,670	35.4	1,407	230.7	2	4.9	69.8	16.20	
	RMW	M	717	1		不明	3	920	1.9	10	0.1		0.6	0.4	0.10	
	RMW	M	718	1	1	y-82-14	8?	2,070	3.0	90	28.0		0.2	0.2	0.70	
	RMW	M	719	1		w-81		2,610	3.0	54	6.3		0.3	6.5	0.40	
	RMW	M	720-721	2		x-80		4,620	5.5	86	8.0		0.6	9.7	0.60	
	RMW	M	722-723	2		y-74-12		6,960	9.1	172	25.2		1.6	8.2	3.00	
	RMV	M	473-495	23	1	t-83-1	1	84,270	98.7	3,396	526.3	5	18.8	75.4	19.40	
	RMV	M	496-519	24	1	t-83-1	2	78,930	97.4	1,084	196.7	2	7.3	42.5	12.40	
	RMV	M	520-546	27	1	t-83-1	3	85,820	111.8	743	73.1	1	12.3	14.9	3.90	
	RMV	M	547	1			灰集中2	1,195	2.0	14	0.7		0.1	0.1	0.00	
	RMV	M	548	1			灰集中3	760	1.0	10	0.1		0.0		0.0	
	RMV	M	549	1			軽石集中1	2,050	2.0	104	4.0		0.1			
	RMV	M	550	1				3,780	5.0	108	4.4		0.1		0.00	
	盛土コラム合計			893	36			2,866,802	3,672.3	96,246	16,253.9	123	2568.9	1,631.5	974.93	

数値不明分を含む。

表Ⅳ－37　フローテーション残渣出土の石器（１）

遺構名	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石斧	たたき石	砥石	台石・石皿	すり石	石製品	Rフレイク	Uフレイク	加工痕ある礫	合計	備考(石製品)
（盛土焼土）															
RMAF-5	2										1	2		5	
RMDF-1	14	2									1	1		18	
RMDF-3	3											1		4	
RMDF-5												1		1	
RMDF-6	2	2									1	1		6	
RMDF-11	2	1												3	
RMDF-12	2													2	
RMDF-14	1													1	
RMDF-16	2			1							4	2		9	
RMDF-17	1													1	
RMDF-24	1													1	
RMDF-26						1					1	1		3	
RMDF-30	1													1	
RMDF-31												1		1	
RMDF-32	1													1	
RMDF-35												1		1	
RMDF-37	1													1	
RMDF-38	1													1	
RMDF-39		1								1				2	ミニチュア石斧
RMDF-44	3	2									1	1		7	
RMDF-45	2													2	
RMDF-46	3			1			1							5	
RMDF-50		1												1	
RMDF-53												1		1	
RMDF-58	1													1	
RMDF-62	1		1											2	
RMDF-63	2													2	
RMDF-65											1			1	
RMDF-66	1													1	
RMEF-4	1													1	
RMEF-13											1			1	
RMEF-18											1			1	
RMEF-30	3									1				4	石棒片
RMEF-32	3	2												5	
RMEF-40	5			1	1						3	1		11	
RMEF-50	1	1												2	
RMEF-52	3													3	
RMEF-56	4										2	1		7	
RMEF-57							1							1	
RMGF-2	4				1									5	
RMGF-4	1													1	
RMGF-5											1			1	
RMGF-9	1											1		2	
RMGF-11	1											1		2	
RMGF-14	2				1					1				4	石棒片
RMGF-15											1			1	
RMGF-23	1													1	
RMJF-4		1												1	
RMJF-7	1										1			2	
RMXF-1	2											1	3	6	
RMXF-5	1													1	
RMYF-1	1													1	
RMYF-2	4													4	
RMYF-19											1			1	
RMYF-27		1												1	
RMYF-33	5	1												6	
RMYF-34											1			1	

表Ⅳ－38　フローテーション残渣出土の石器（２）

遺構名	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石斧	たたき石	砥石	台石・石皿	すり石	石製品	Rフレイク	Uフレイク	加工痕ある礫	合計	備考（石製品）
RMYF-36	1													1	
RMYF-46	1										1			2	
RMYF-50												1		1	
RMWF-1	3													3	
RMWF-2	1													1	
RMWF-6	2													2	
RMWF-14	5													5	
RMWF-17	2													2	
RMWF-22	2										1	1		4	
RMWF-23					1							1		2	
RMWF-29												1		1	
RMWF-32											1	1		2	
RMWF-33	1													1	
RMWF-35					1									1	
RMWF-40	1									1	1			3	軽石製品
RMWF-44											1			1	
RMWF-46	1													1	
RMVF-6	2													2	
RMVF-13	1													1	
RMVF-14	2													2	
RMVF-18	1							1						2	
RMVF-20	3	1	1								1			6	
RMVF-23	1													1	
RMVF-31	1													1	
RMVF-32											1			1	
RMVF-33	1													1	
RMVF-36	1													1	
RMVF-41											1			1	
不明	1													1	
小計①	125	16	2	3	5	1	2	1		4	30	23	3	215	
（盛土コラム）															
RMA	9								1					10	
RMD	11				1		1			3	5	8	1	30	
RME	6										5	3		14	
RMJ	1										1			2	
RMK	1													1	
RMY	25	3		1							8	3	1	41	
RMW	7	1		1	1						5	2		17	
RMV	6	1									1			8	
小計②	66	5		2	2		1		1	3	25	16	2	123	
合計（①＋②）	191	21	2	5	7	1	3	1	1	7	55	39	5	338	

(3) 土壌水洗選別による遺物の回収（表Ⅳ－39･40、図Ⅳ―187～206）

土壌水洗の対象とした資料は盛土の土すべてである。水洗土壌の取上げは、上位の盛土が小グリッド（１ｍ×１ｍ）ごと、下位の盛土は大グリッド（４ｍ×４ｍ）ごとに集められた。土嚢（一袋約20リットル）の数量は全部で約10万袋になった。水洗選別はこれらの土を５㎜メッシュの篩を使用して上から水をかけながら遺物を回収した。

土壌水洗により回収した遺物は土器・石器・土製品・石製品・骨片・炭化物である。以下、遺物ごとにその内容を述べる。なお、土器・石器・土製品・石製品については手取りのものと合せて集計したため、水洗選別により回収された点数・重量などは概数を記載する。

土器は注記可能なもののみで約50万点、細片を含めると約165万点にのぼった。石器は主に石鏃と石錐で合せて約2000点回収された。フレイク・チップは約30万点である。土製品、石製品は土玉約50点、スタンプ形土製品20点、石玉約100点、異形石器30点である。

骨片と炭化物はそれぞれ回収された重量を盛土上位と下位の層位ごと一覧表にするとともに（表Ⅳ―39）、グリッド別の重量分布図を作成した（図Ⅳ―187～206）。骨片・炭化物の回収された量は、骨片約60kg、炭化物約35kgである。回収した骨片･炭化物は平成11年度に台帳作成を行った。その後、骨片は平成12・13年度に作業員６名で分類作業を実施し、最終的な同定作業は高橋理氏が行った。出土した動物遺存体については、フローテーション作業により得られた資料とともに高橋氏ほかによる報告がある（Ⅷ―３）。

炭化物は回収されたものから植物遺存体を抜き出す選別作業まで行ったが、その後の同定作業は行っていない。おそらく堅果類のドングリ、クルミなどが多く含まれていると思われる。

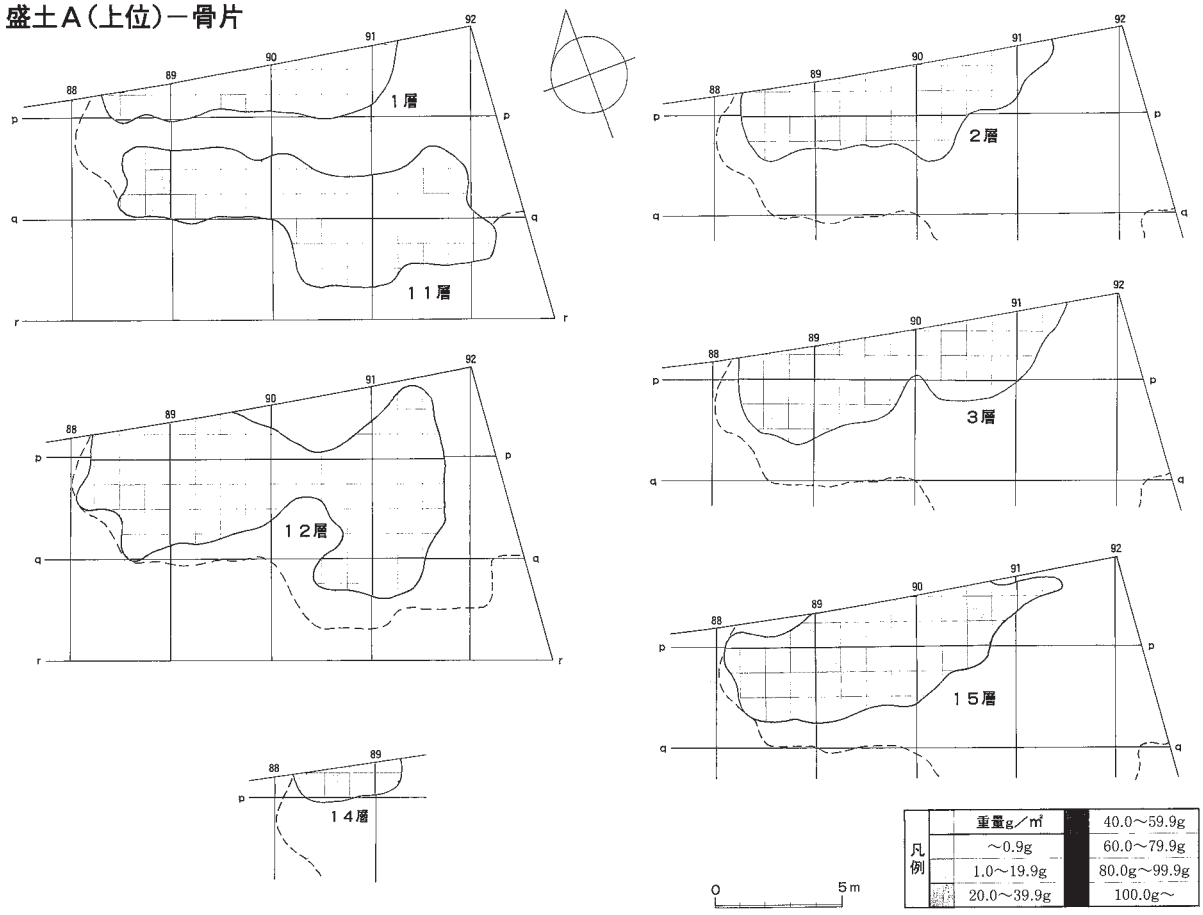
各盛土別に土嚢の割合と骨片・炭化物の割合を比較すると明らかな違いが見られる（表Ⅳ―40）。骨片の量は盛土の土量と比較すると盛土Ｙが多く、盛土Ⅴは少ないという傾向がある。同様に炭化物では盛土Ｄ・盛土Ｅで多く、骨片と同じように盛土Ⅴで少ない。その他についてはほぼ盛土の土量と骨片・炭化物の量は比例する。

表Ⅳ－39　土壌水洗により回収された骨片・炭化物

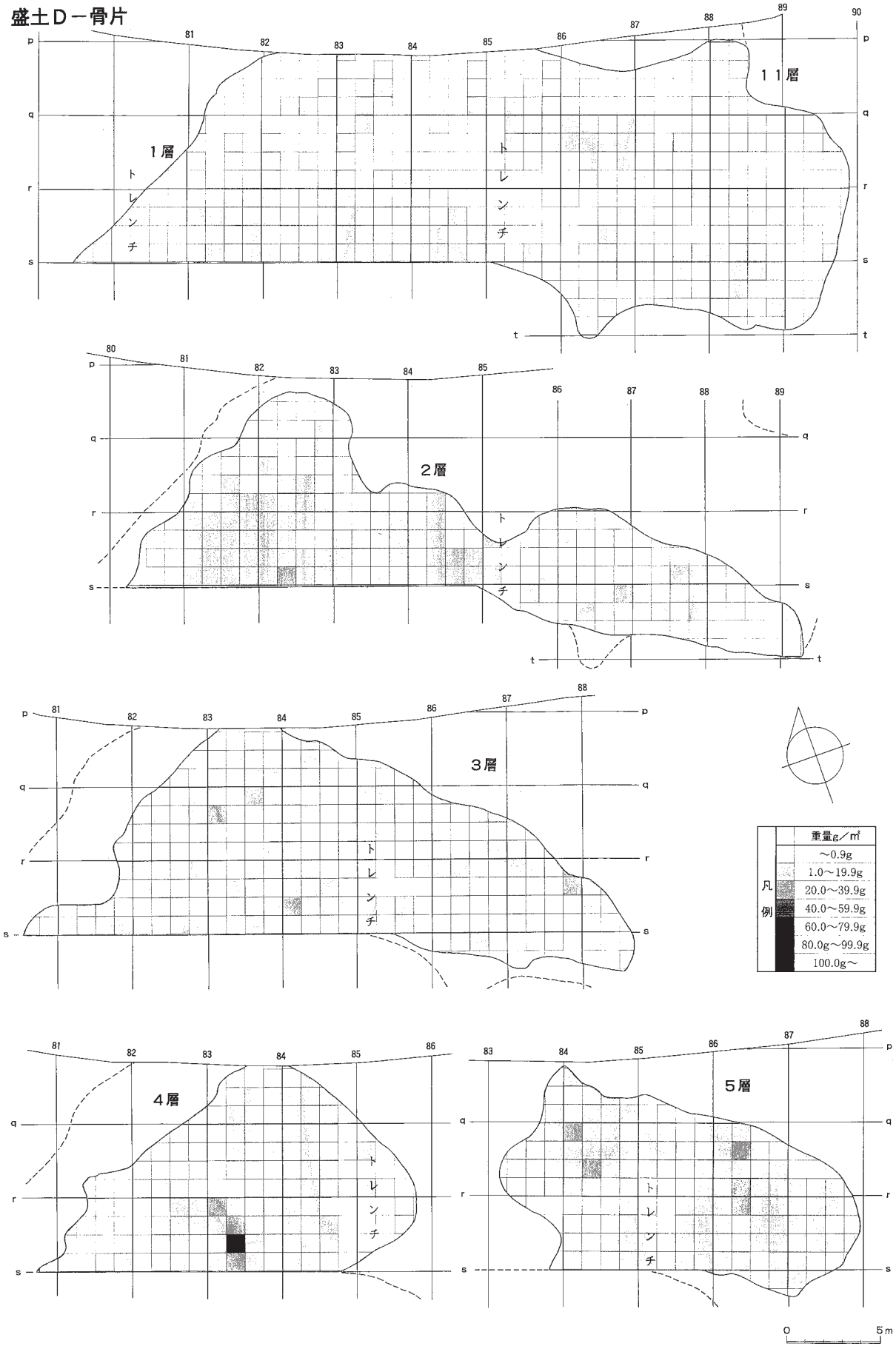
	遺構名	層位	骨片(g)	盛土別骨片重量(g)	炭化物(g)	盛土別炭化物重量(g)	備考
上位盛土	RMA	1	26.0		26.5		
	RMA	2	3.8		315.6		
	RMA	3	13.0		365.3		
	RMA	11	9.8		65.1		
	RMA	12	1.2		37.9		
	RMA	13			9.0		
	RMA	14	2.8		65.1		
	RMA	15	29.0		221.6		
	RMA	MT	3.2	88.8	49.4	1155.5	
	RMD	1	270.9		279.0		
	RMD	2	709.9		645.8		
	RMD	3	1282.9		1681.7		
	RMD	4	759.7		707.4		
	RMD	5	878.2		1006.9		
	RMD	6	1659.0		1913.8		
	RMD	7	653.6		1293.7		
	RMD	8	29.4		131.1		
	RMD	9	15.1		67.5		
	RMD	11	255.5		150.0		
	RMD	12	682.4		784.8		
	RMD	13	174.2		557.0		
	RMD	14	282.3		573.0		
	RMD	15	136.7		413.0		
	RMD	16	32.3		274.3		
	RMD	MT	123.1	7945.2	4.6	10483.6	
	RME	1	1286.4		712.7		
	RME	2	1447.2		1970.0		
	RME	3	2546.5		3943.7		
	RME	11	16.6		28.8		
	RME	12	87.7		185.4		
	RME	13	26.1		203.7		
	RME	MT	374.4	5784.9	58.6	7102.9	
	RMG	1	253.5		178.4		
	RMG	2	147.5		235.9		
	RMG	3	36.5		38.1		
	RMG	MT	8.3	445.8	10.3	462.7	
	RMJ	1	26.9		31.6		
	RMJ	2	12.2	39.1	5.8	37.4	
	RMK	1	83.8		24.9		
	RMK	MT	4.0	87.8		24.9	
	RMX	1	383.9		537.6		
	RMX	2	15.8		5.0		
	RMX	MT	72.4	472.1	16.2	558.8	
	RMY	1	4568.5		469.7		
	RMY	2	11207.8		1663.5		
	RMY	3	1966.2		253.1		
	RMY	10	726.2		39.8		
	RMY	11	390.7		23.4		
	RMY	MT	821.6		78.7		
	RMY	B	1075.8	20756.8	210.6	2738.8	
	RMZ	1	199.7		36.0		
	RMZ	2	1359.0		531.7		
	RMZ	10	948.4		64.7		
	RMZ	MT	192.0	2699.1		632.4	
下位盛土	RMA	4	4.7		112.1		
	RMA	5	5.6	10.3	285.0	397.1	
	RMB	1	36.3		277.8		
	RMB	2	12.6		237.3		
	RMB	MT	1.3	50.2	8.7	523.8	
	RMD	10	6.3		17.2		
	RMD	20	35.8	42.1	42.1	59.3	
	RMW	1	175.3		69.3		
	RMW	2	11658.7		5550.1		
	RMW	3	4246.7		3545.8		
	RMW	MT	663.6	16744.3	112.8	9278.0	
	RMV	1	708.0		309.7		
	RMV	2	1142.8		441.4		
	RMV	3	2356.4		652.1		
	RMV	4	2.2		3.1		
	RMV	10	17.1		8.9		
	RMV	MT	154.0	4380.5	5.1	1420.3	
	RMV/W	MT	337.6	337.6	96.7	96.7	
合計			59884.6	59884.6	34972.2	34972.2	

表Ⅳ－40　土壌水洗量に対する骨片・炭化物の回収割合

遺構名①	水洗土壌(袋)	土壌全体に対する割合	遺構名②	層位	骨片(g)	骨片全体に対する割合	炭化物(g)	炭化物全体に対する割合	備考
			RMA	MT	3.2		49.4		
			RMD	MT	123.1		4.6		
			RME	MT	374.4		58.6		
			RMG	MT	8.3		10.3		
			RMK	MT	4.0				
			RMX	MT	72.4		16.2		
			RMY	MT	821.6		78.7		
			RMZ	MT	192.0				
			RMB	MT	1.3		8.7		
			RMW	MT	663.6		112.8		
			RMV	MT	154.0		5.1		
			RMV/W	MT	337.6		96.7		
RM	1901	0.019			2755.5	0.046	441.1	0.013	
			RMA	1	26.0		26.5		
			RMA	2	3.8		315.6		
			RMA	3	13.0		365.3		
			RMA	11	9.8		65.1		
			RMA	12	1.2		37.9		
			RMA	13			9.0		
			RMA	14	2.8		65.1		
			RMA	15	29.0		221.6		
			RMA	4	4.7		112.1		
			RMA	5	5.6		285.0		
RMA	3167	0.032			95.9	0.002	1503.2	0.043	
			RMB	1	36.3		277.8		
			RMB	2	12.6		237.3		
RMB	2287	0.023			48.9	0.001	515.1	0.015	
			RMD	1	270.9		279.0		
			RMD	2	709.9		645.8		
			RMD	3	1282.9		1681.7		
			RMD	4	759.7		707.4		
			RMD	5	878.2		1006.9		
			RMD	6	1659.0		1913.8		
			RMD	7	653.6		1293.7		
			RMD	8	29.4		131.1		
			RMD	9	15.1		67.5		
			RMD	11	255.5		150.0		
			RMD	12	682.4		784.8		
			RMD	13	174.2		557.0		
			RMD	14	282.3		573.0		
			RMD	15	136.7		413.0		
			RMD	16	32.3		274.3		
			RMD	10	6.3		17.2		
			RMD	20	35.8		42.1		
RMD	16370	0.163			7864.2	0.131	10538.3	0.301	
			RME	1	1286.4		712.7		
			RME	2	1447.2		1970.0		
			RME	3	2546.5		3943.7		
			RME	11	16.6		28.8		
			RME	12	87.7		185.4		
			RME	13	26.1		203.7		
RME	7681	0.076			5410.5	0.090	7044.3	0.201	
			RMG	1	253.5		178.4		
			RMG	2	147.5		235.9		
			RMG	3	36.5		38.1		
RMG	2096	0.021			437.5	0.001	452.4	0.013	
			RMJ	1	26.9		31.6		
			RMJ	2	12.2		5.8		
RMJ	356	0.004			39.1	0.001	37.4	0.001	
			RMK	1	83.8		24.9		
RMK	554	0.006				0.001		0.001	
			RMV	1	708.0		309.7		
			RMV	2	1142.8		441.4		
			RMV	3	2356.4		652.1		
			RMV	4	2.2		3.1		
			RMV	10	17.1		8.9		
RMV	22540	0.224			4226.5	0.071	1415.2	0.040	
			RMW	1	175.3		69.3		
			RMW	2	11658.7		5550.1		
			RMW	3	4246.7		3545.8		
RMW	27430	0.273			16080.7	0.269	9165.2	0.262	
			RMX	1	383.9		537.6		
			RMX	2	15.8		5.0		
RMX	480	0.005			399.7	0.007	542.6	0.016	
			RMY	1	4568.5		469.7		
			RMY	2	11207.8		1663.5		
			RMY	3	1966.2		253.1		
			RMY	10	726.2		39.8		
			RMY	11	390.7		23.4		
			RMY	B	1075.8		210.6		
RMY	11810	0.118			19935.2	0.333	2660.1	0.076	
			RMZ	1	199.7		36.0		
			RMZ	2	1359.0		531.7		
			RMZ	10	948.4		64.7		
RMZ	3783	0.038			2507.1	0.042	632.4	0.018	
盛土含計	100455	1.002			59884.6	0.995	34972.2	1.000	

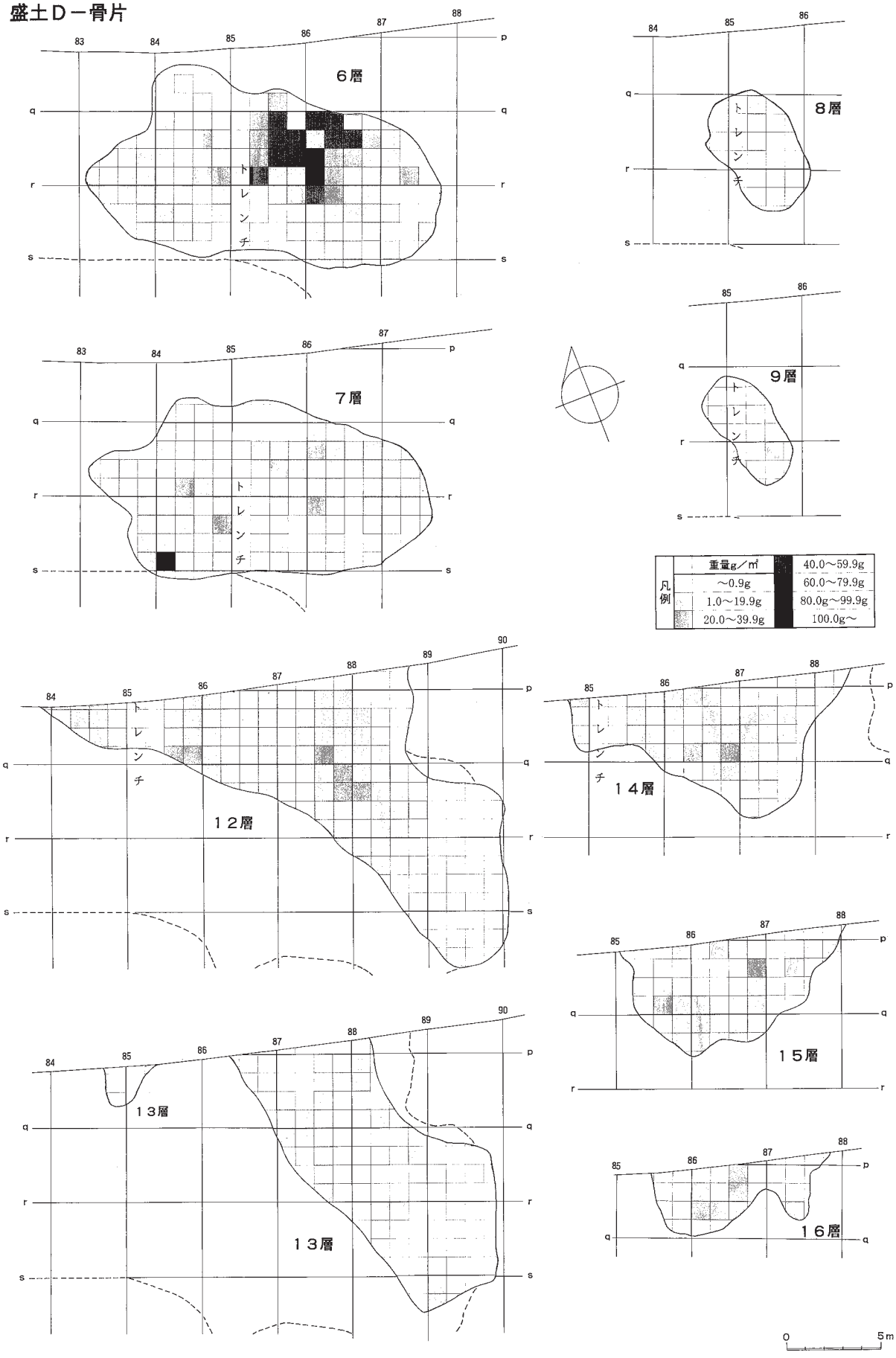


図Ⅳ－187　骨片重量分布図（１）



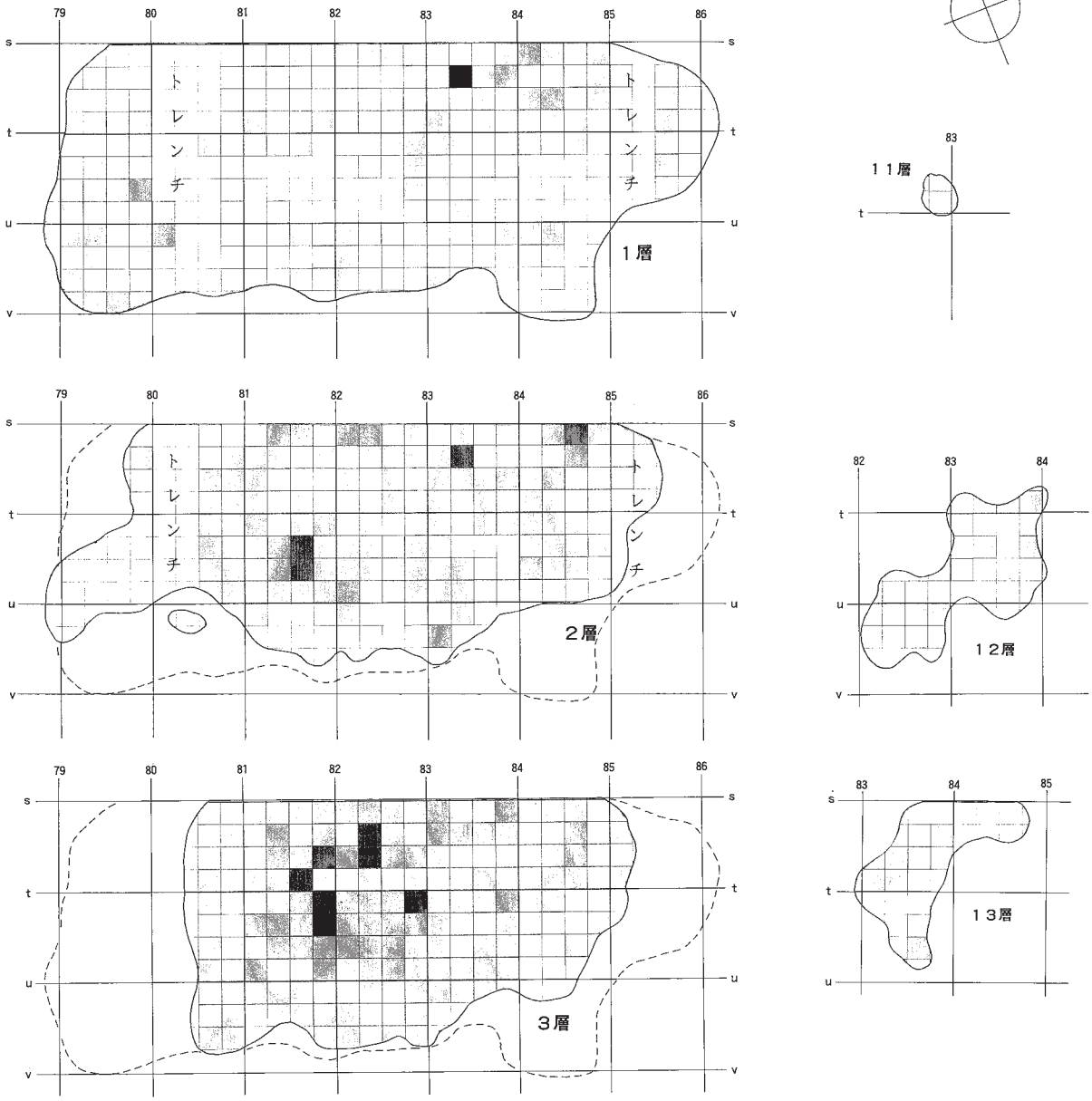
図Ⅳ－188　骨片重量分布図（２）

盛土Ｄ－骨片

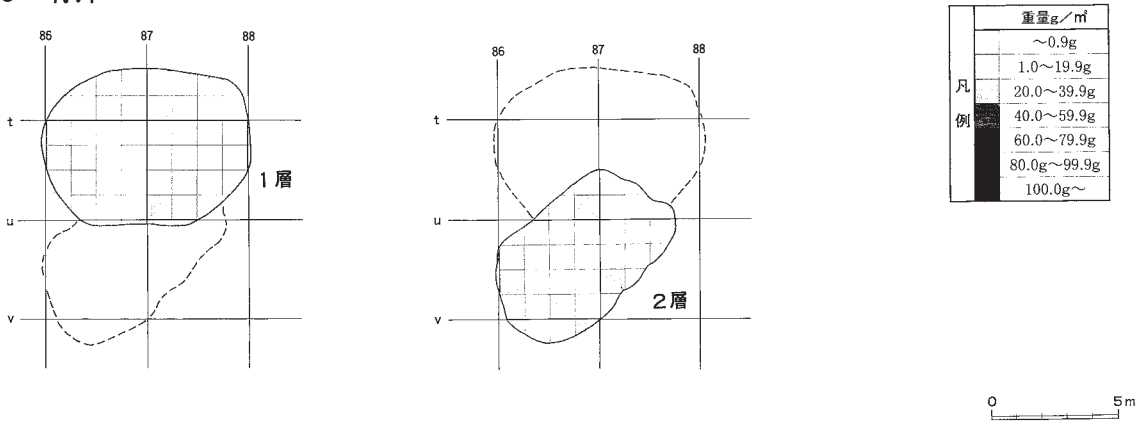


図Ⅳ－189　骨片重量分布図（３）

盛土Ｅ－骨片

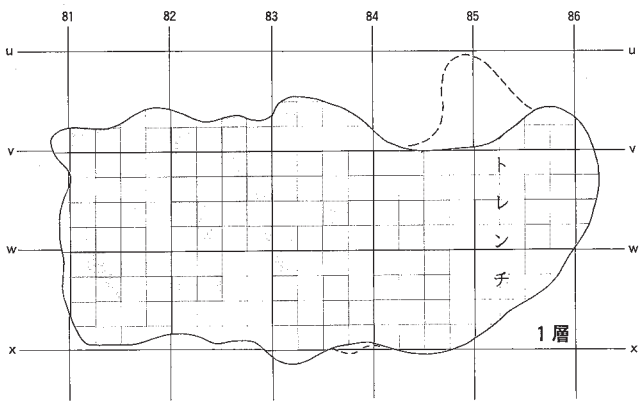


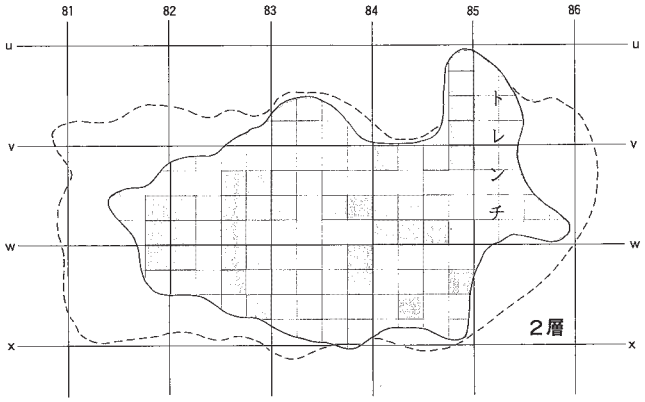
盛土Ｊ－骨片

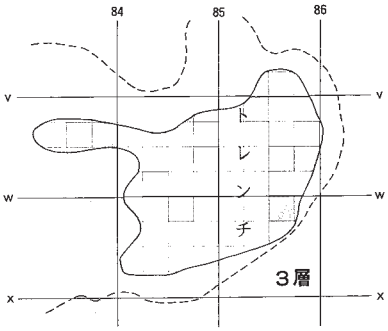


図Ⅳ－190　骨片重量分布図（４）

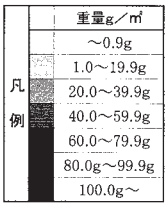
盛土Ｇ－骨片

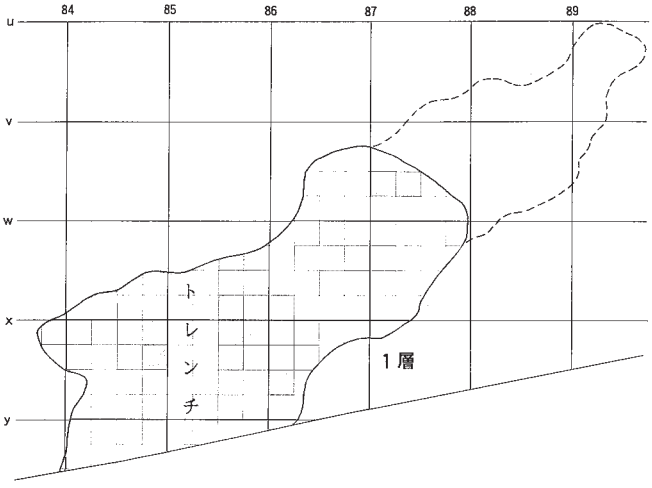




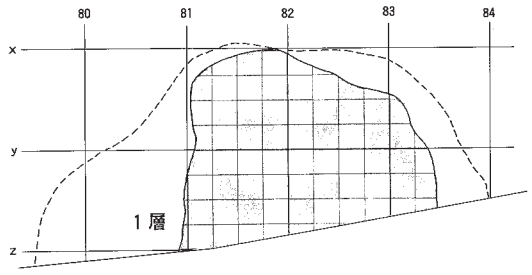


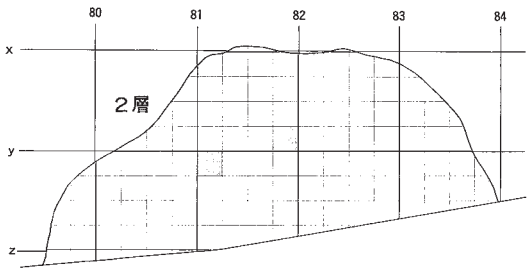
盛土Ｋ－骨片





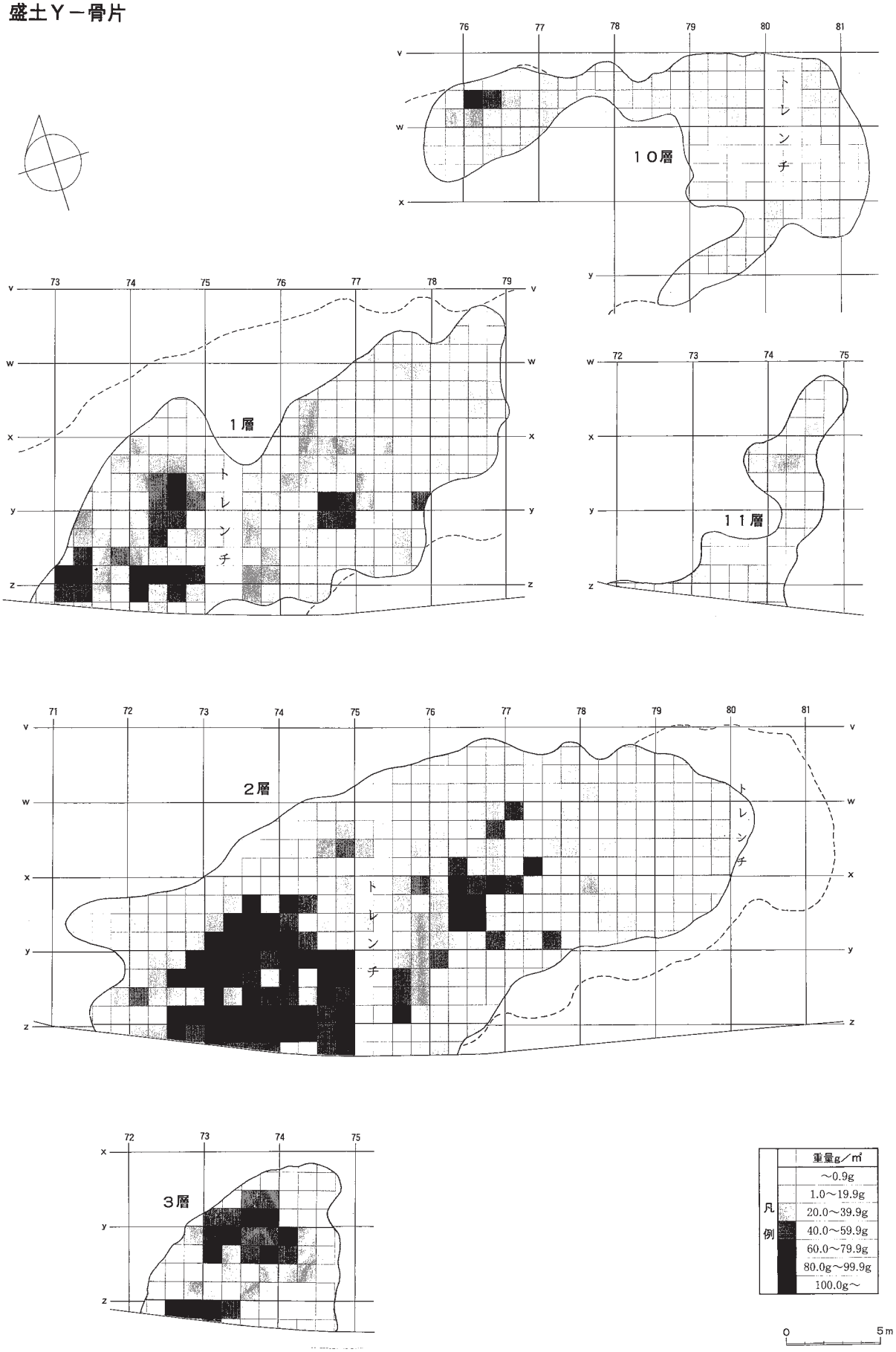
盛土Ｘ－骨片





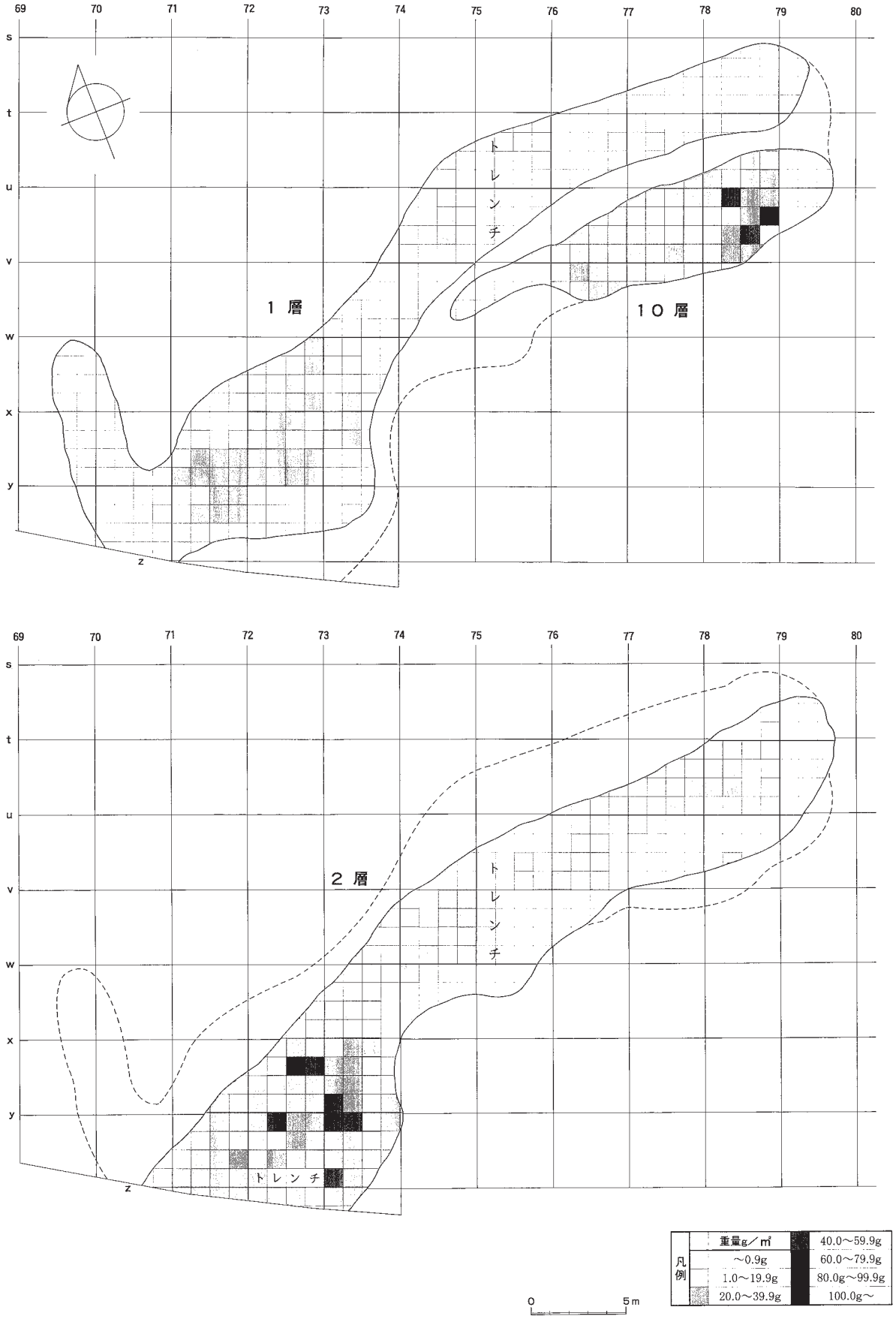
図Ⅳ－191　骨片重量分布図（５）

盛土Ｙ－骨片

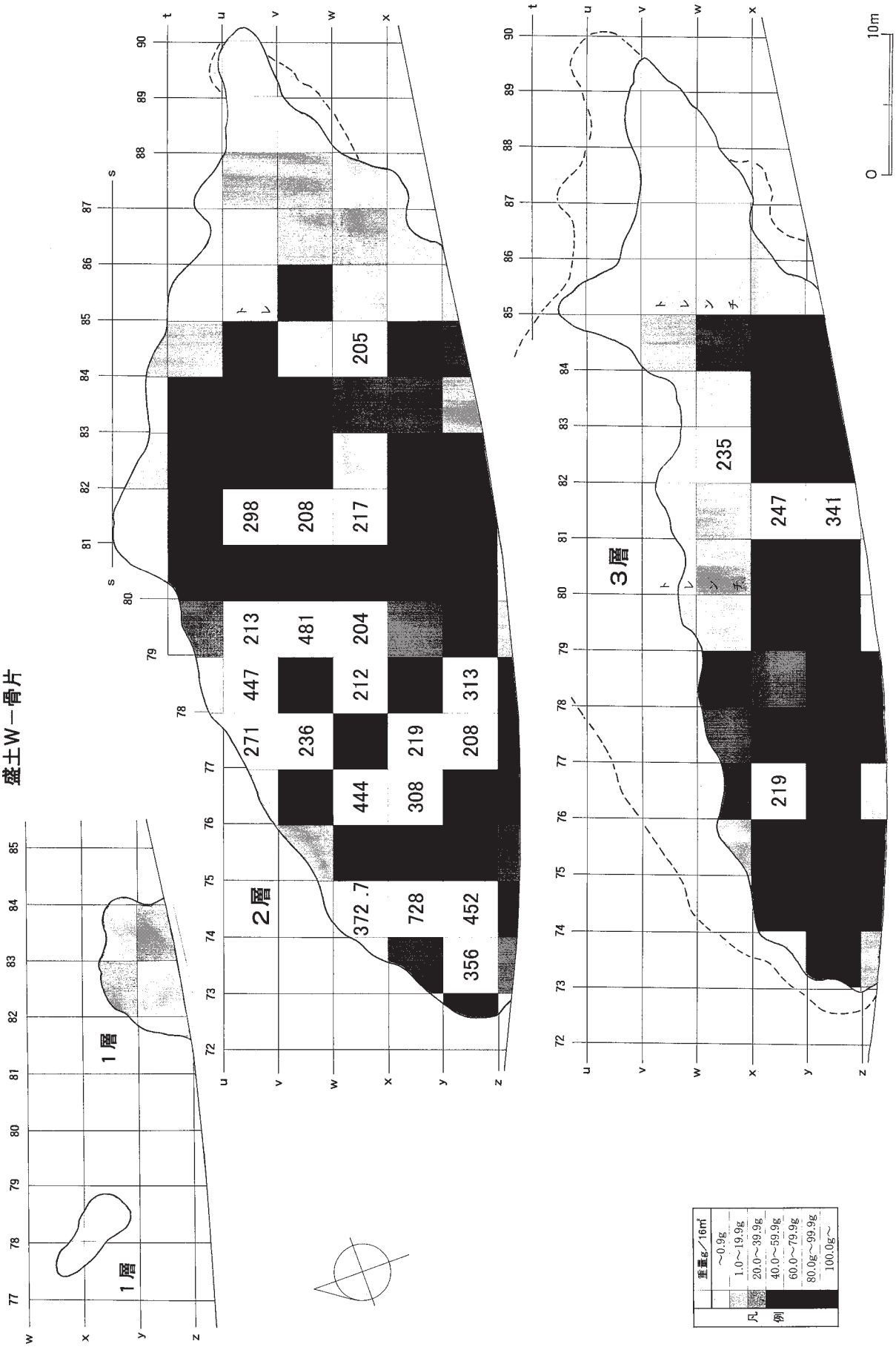


図Ⅳ－192　骨片重量分布図（６）

盛土Ｚ－骨片

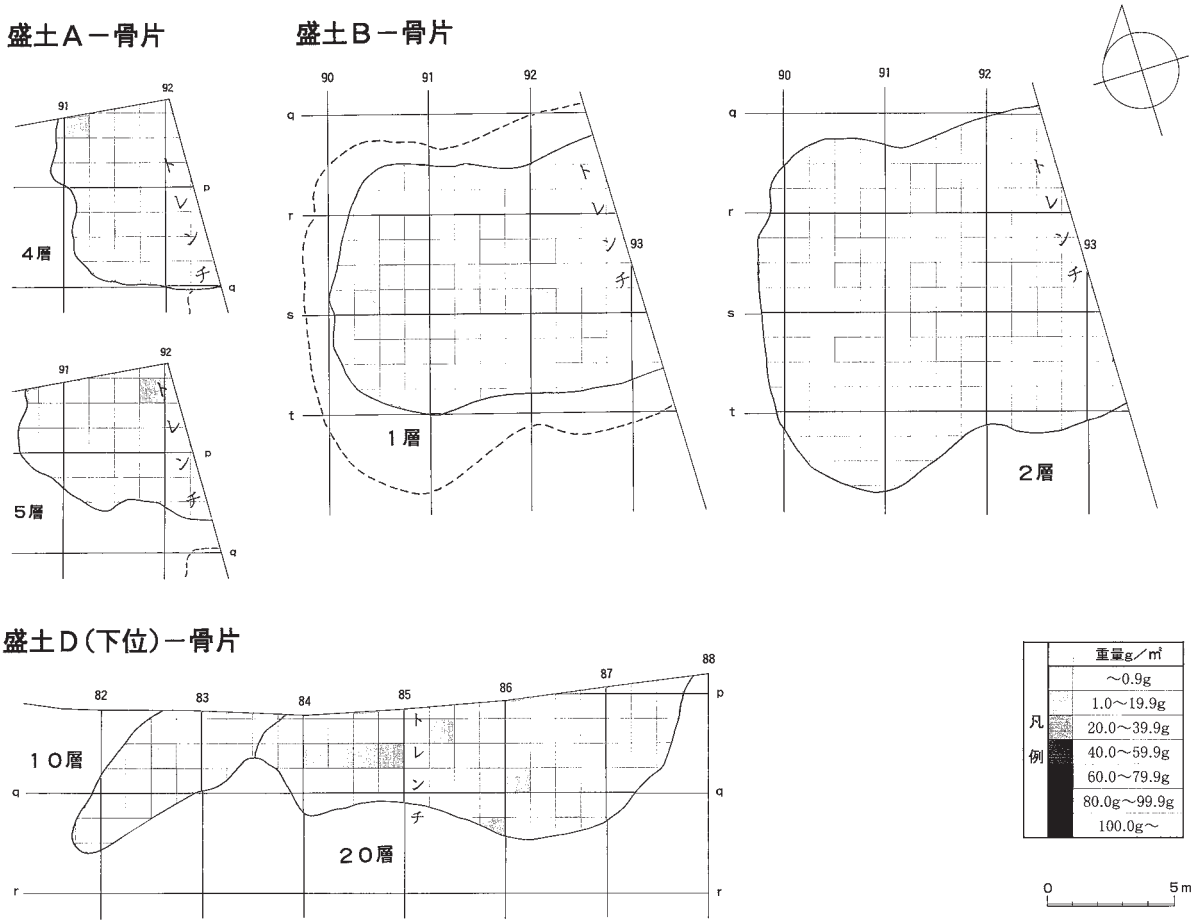


図Ⅳ－193　骨片重量分布図（７）

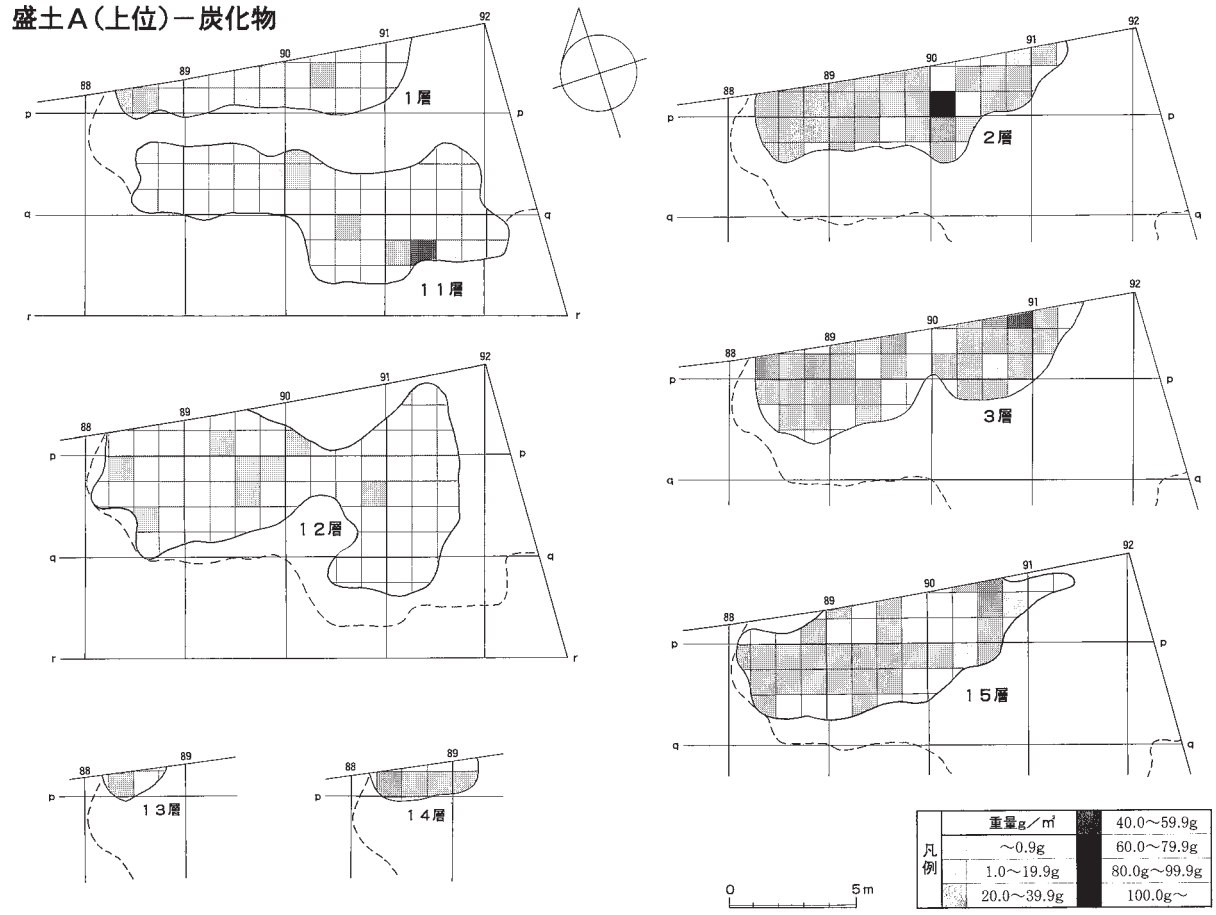


図Ⅳ－194 骨片重量分布図（8）

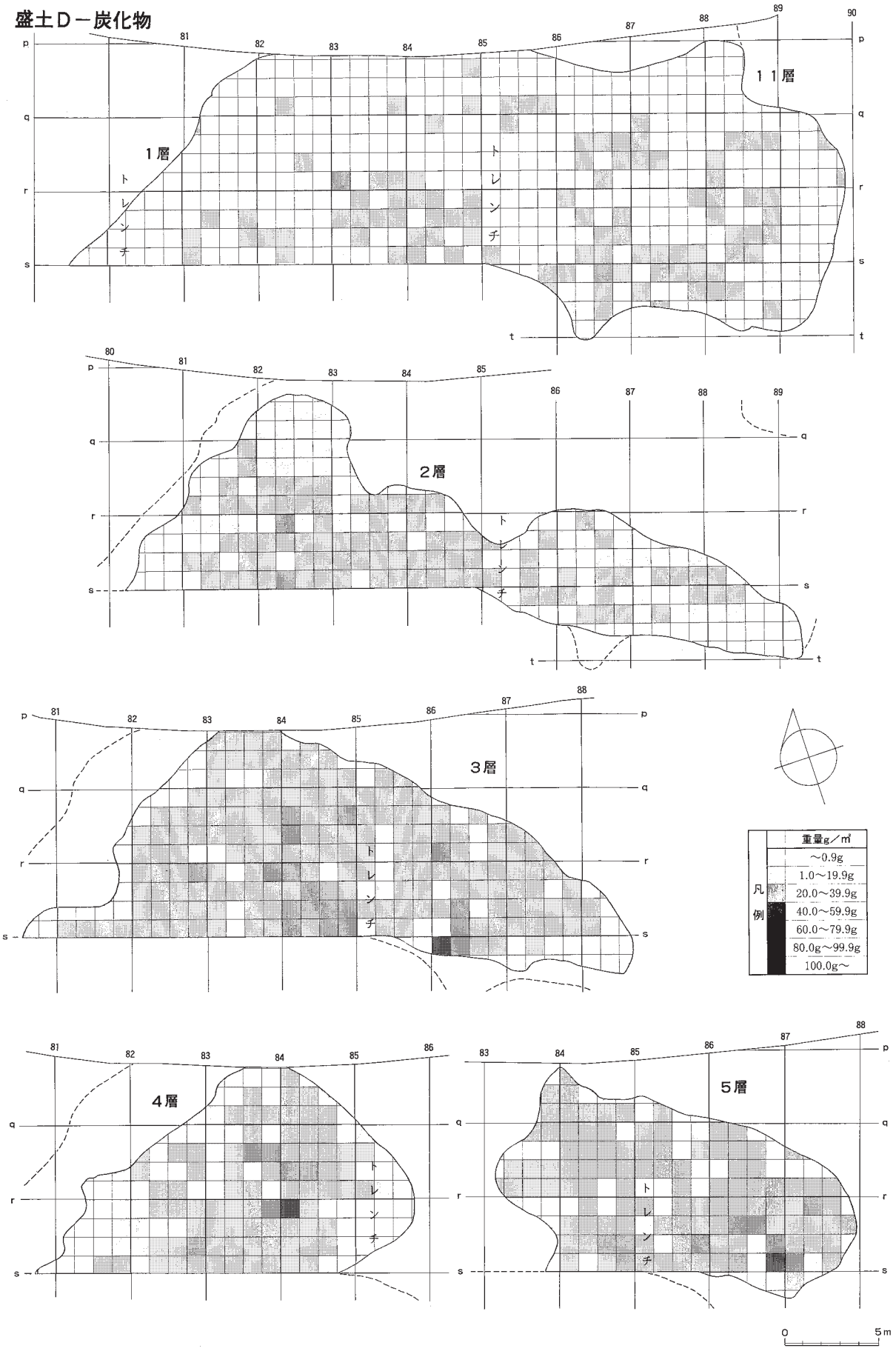
図Ⅳ－195　骨片重量分布図（9）



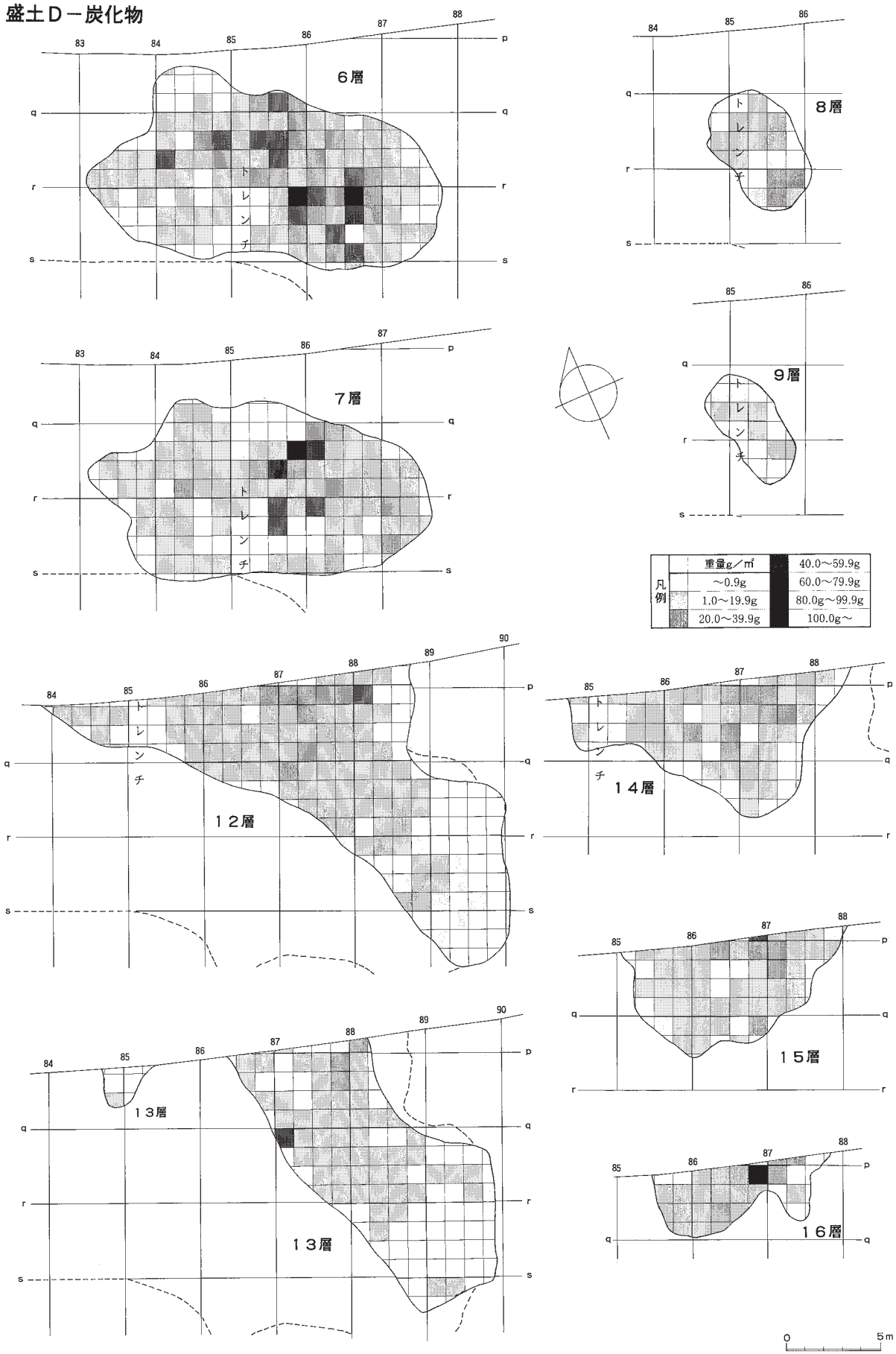
図Ⅳ－196　骨片重量分布図（10）



図Ⅳ－197　炭化物重量分布図（１）

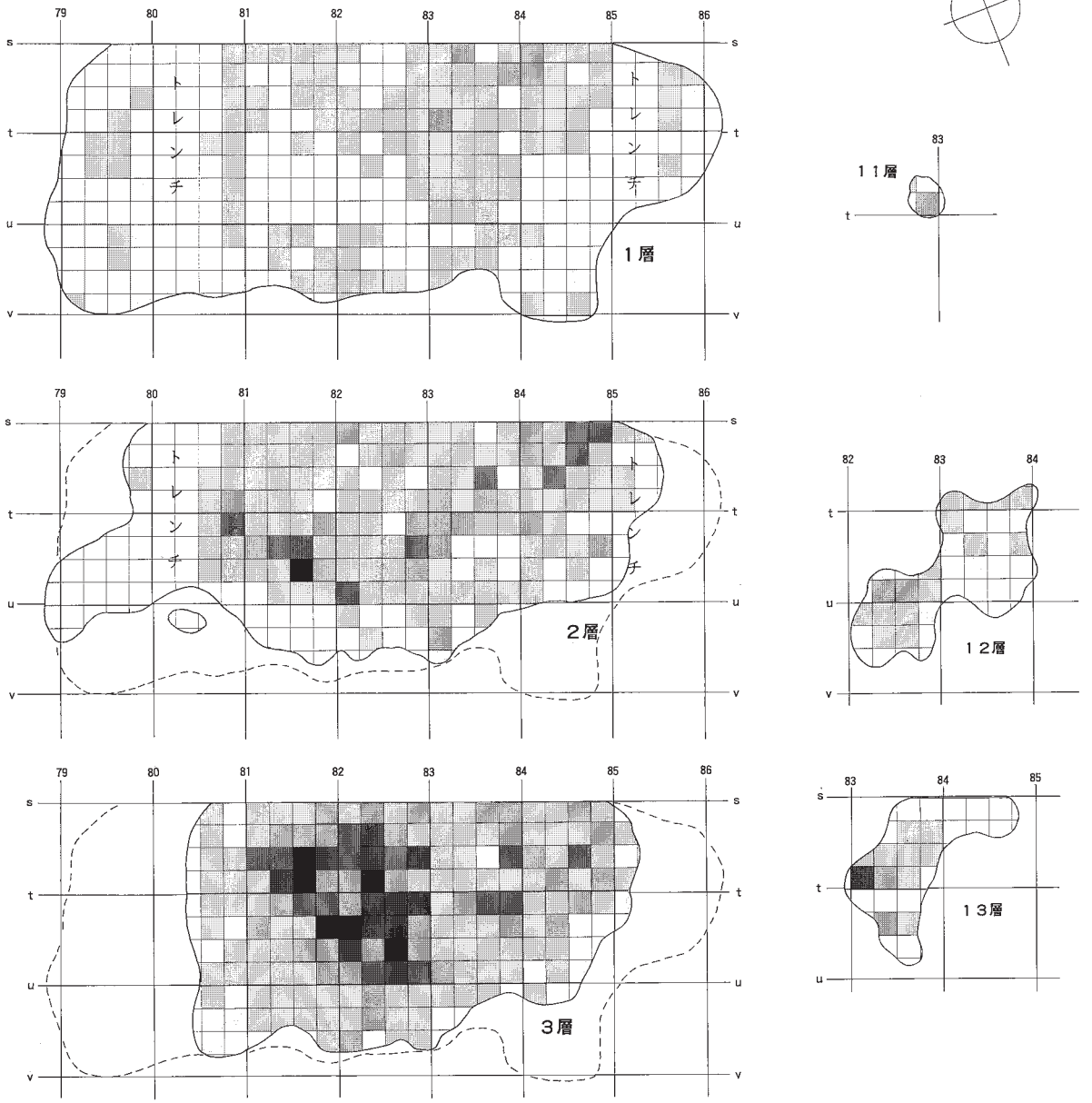


図Ⅳ－198　炭化物重量分布図（２）

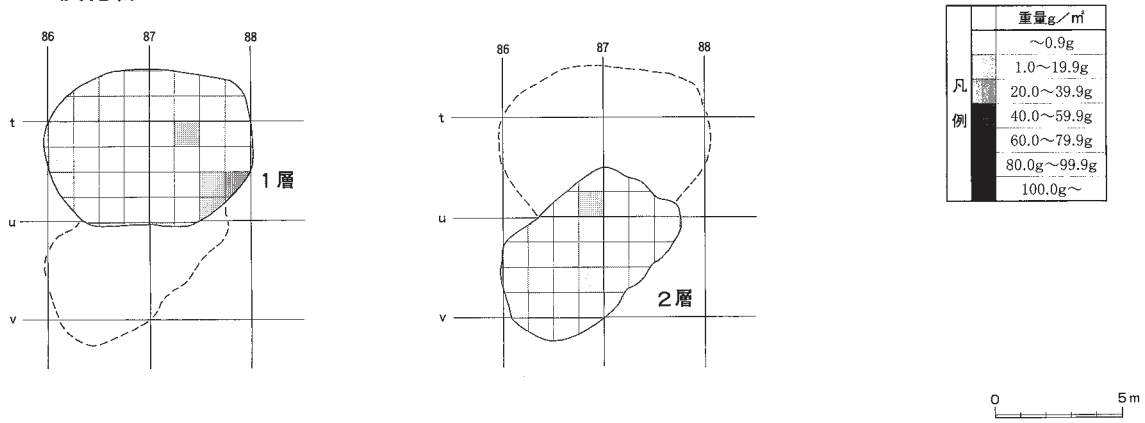


図Ⅳ－199　炭化物重量分布図（３）

盛土Ｅ－炭化物

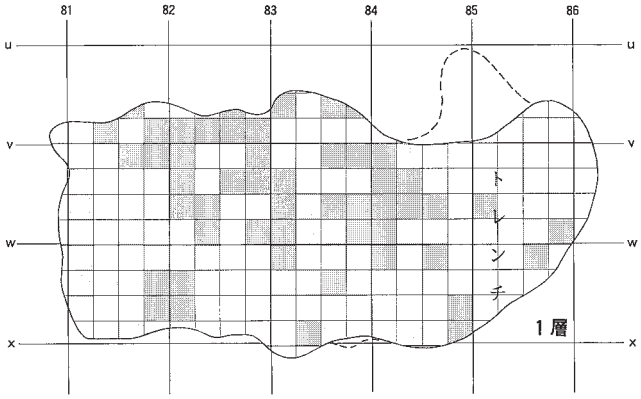


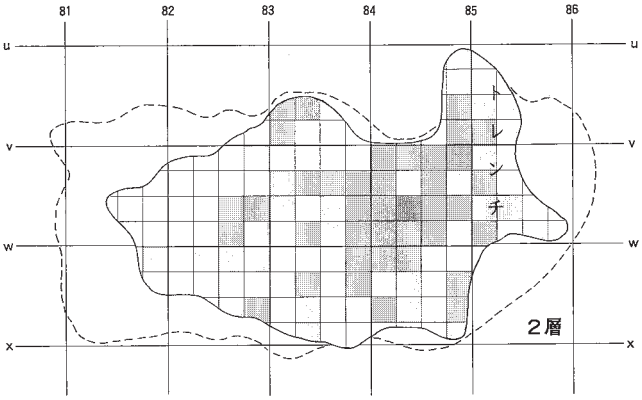
盛土Ｊ－炭化物

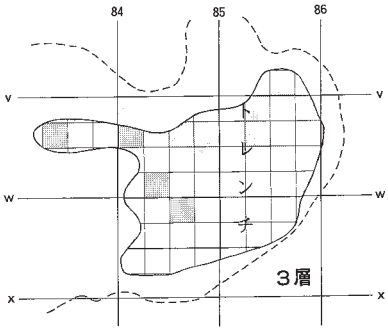


図Ⅳ－200　炭化物重量分布図（４）

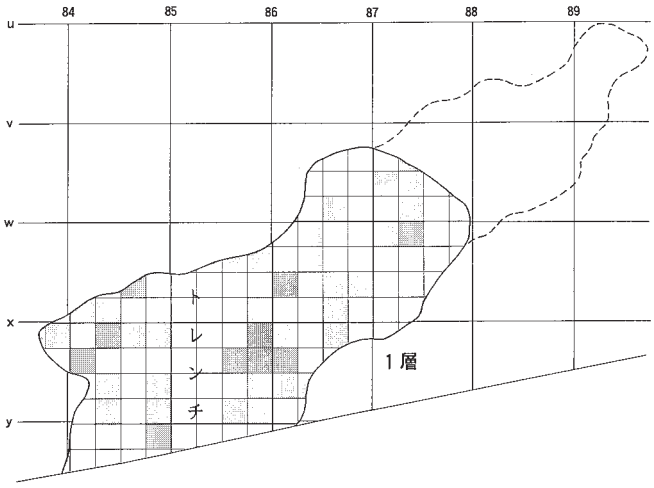
盛土Ｇ－炭化物



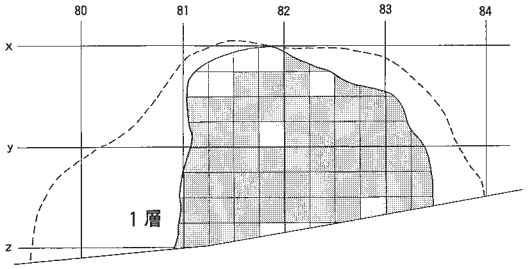


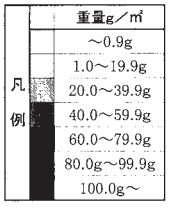


盛土Ｋ－炭化物



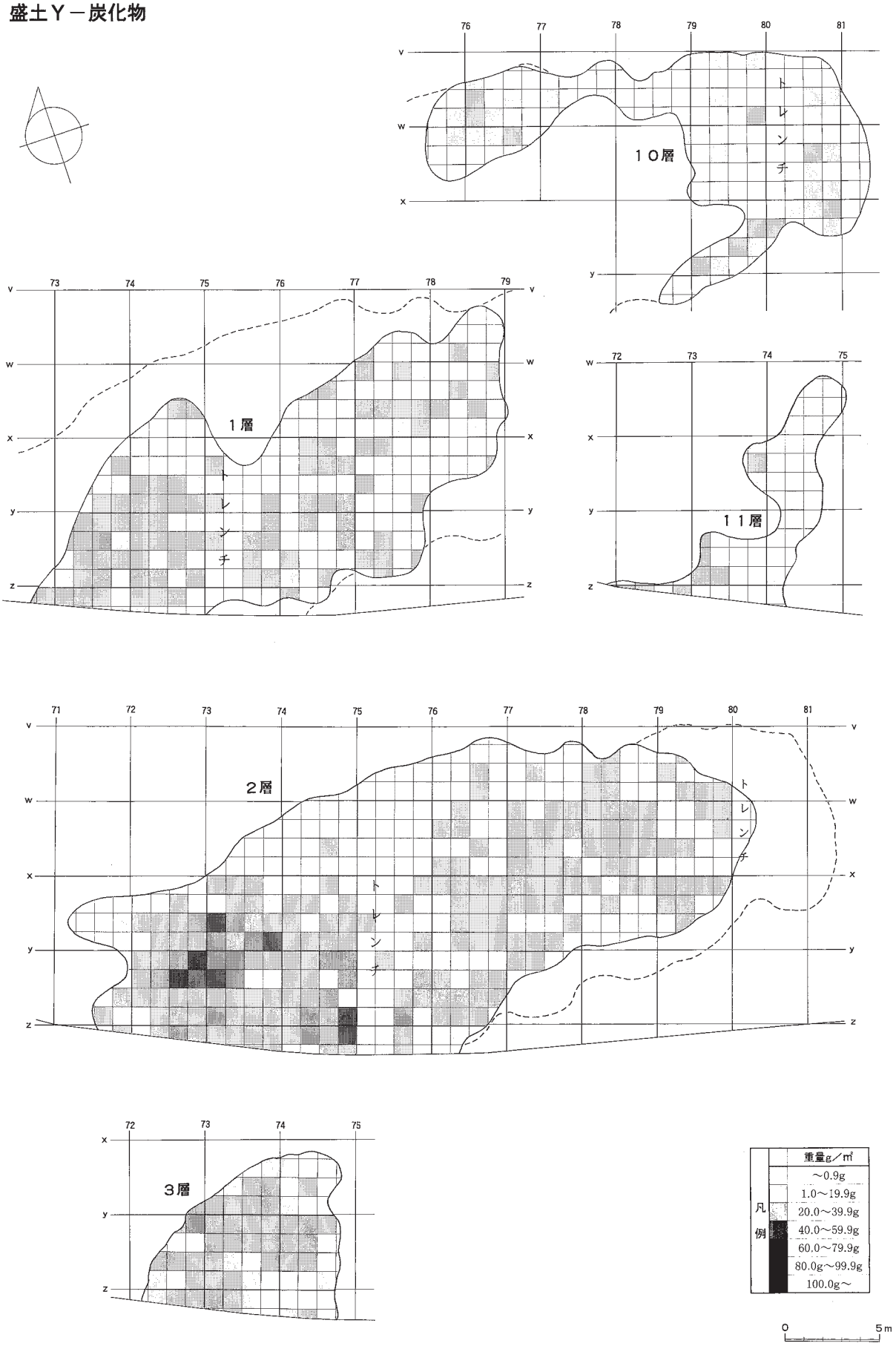
盛土Ｘ－炭化物





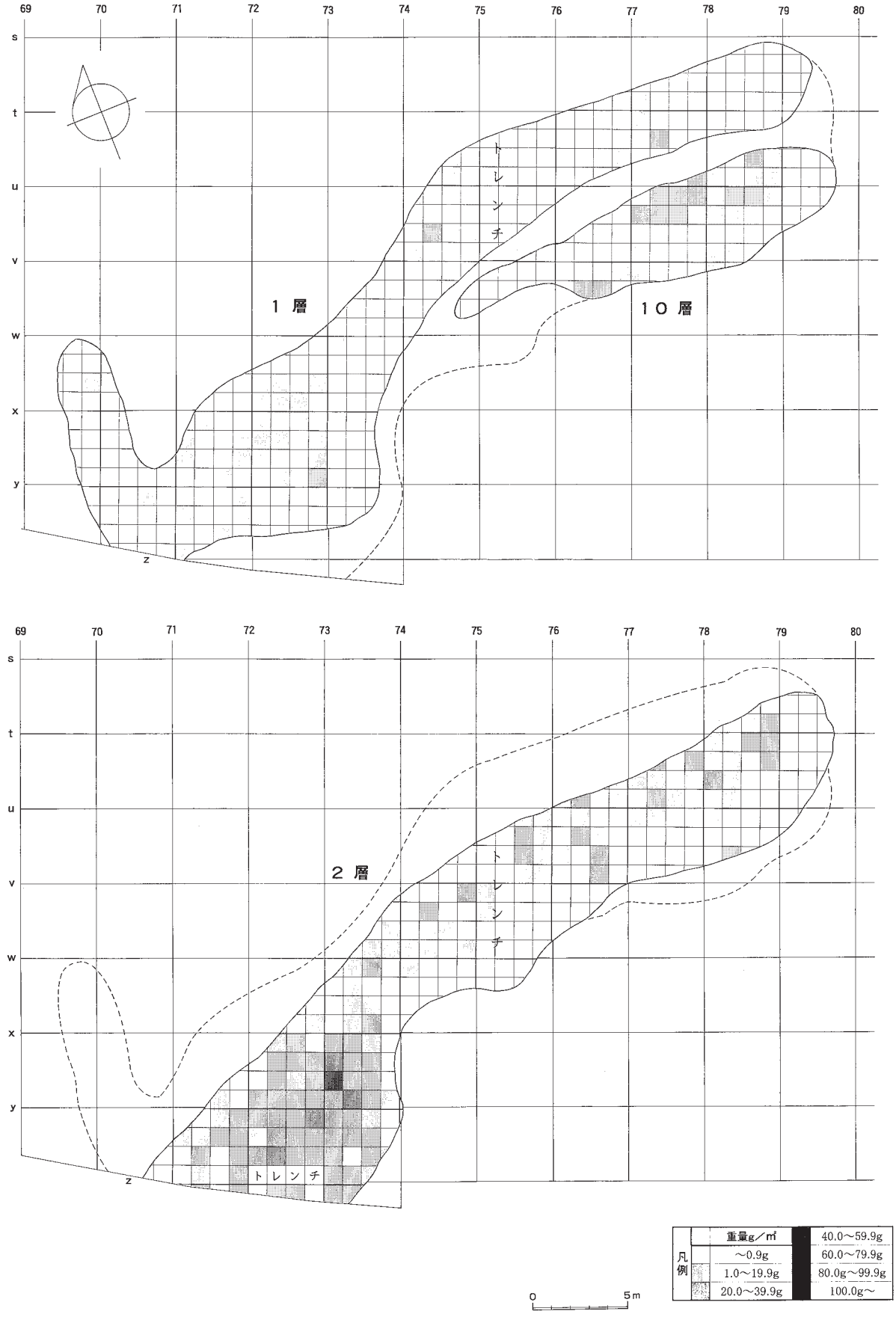
図Ⅳ－201　炭化物重量分布図（５）

盛土Ｙ－炭化物

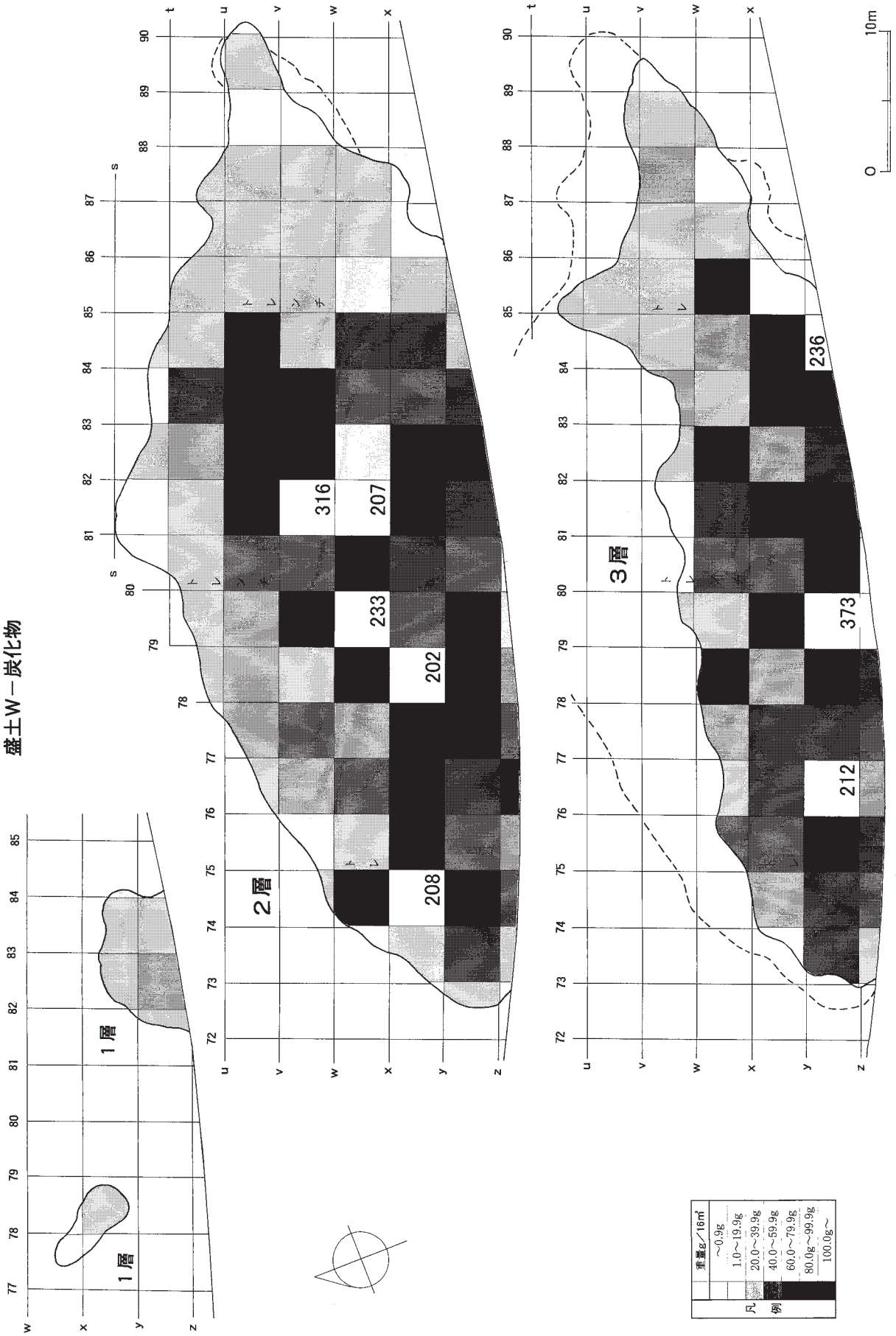


図Ⅳ－202　炭化物重量分布図（６）

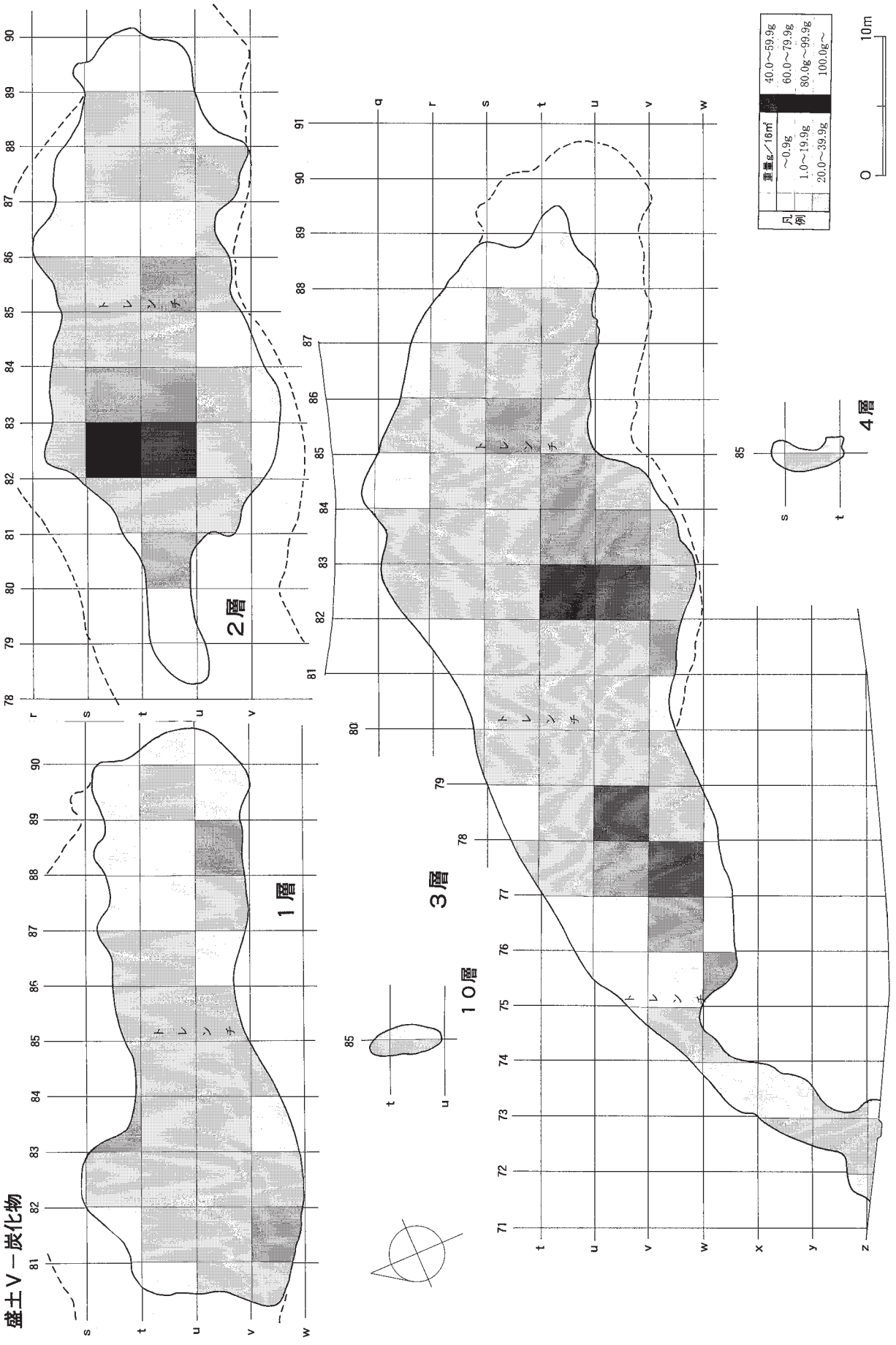
盛土Ｚ－炭化物



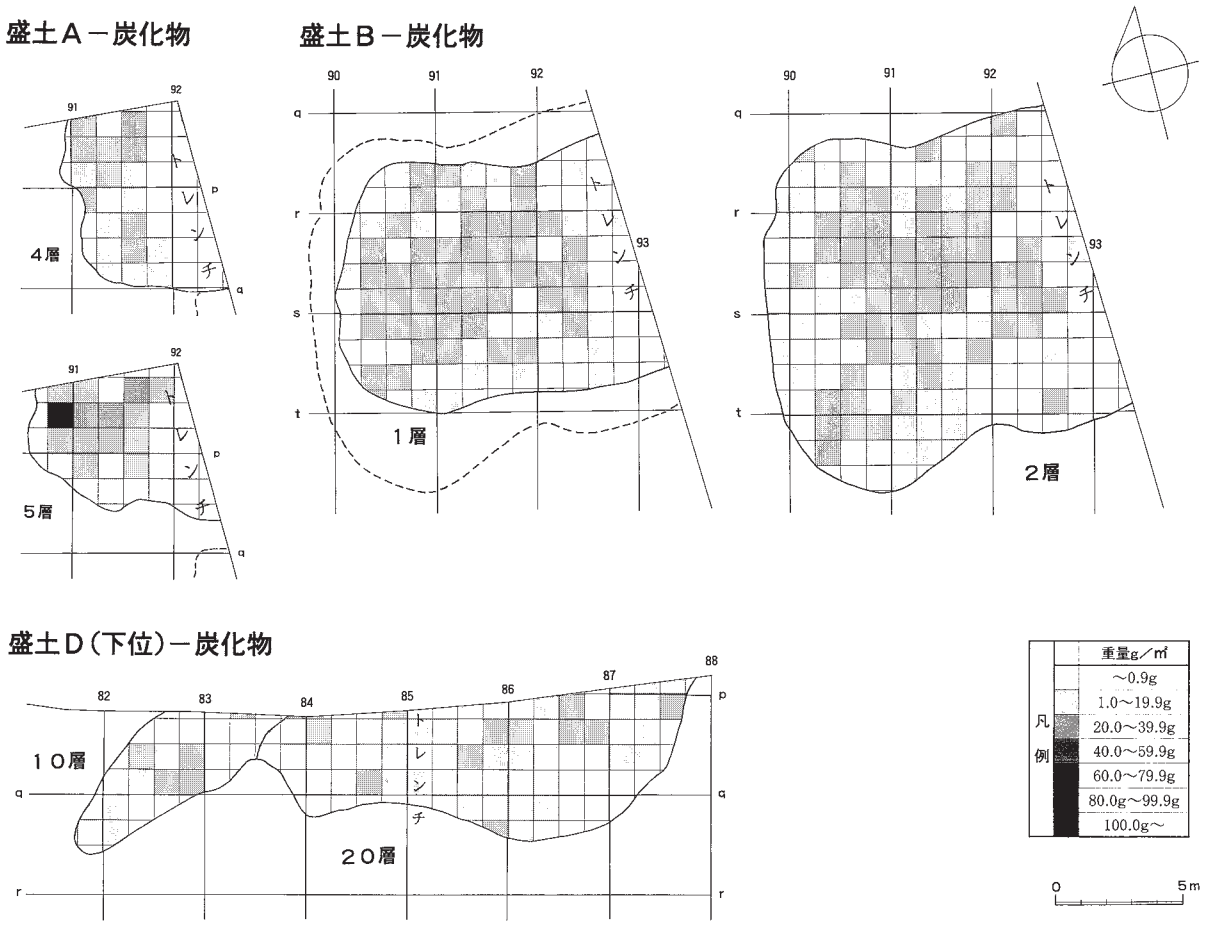
図Ⅳ－203　炭化物重量分布図（７）



図Ⅳ－204 炭化物重量分布図（8）



図Ⅳ－205　炭化物重量分布図（9）



図Ⅳ－206　炭化物重量分布図（10）

Ⅴ．盛土遺構の遺物

Ⅴ　盛土遺構の遺物

1．概要

キウス４遺跡Ｒ地区の盛土遺構出土の土器・石器等の遺物総数は3,429,556点（フローテーション分の微細遺物を除く）で、土器等2,882,892点、石器・礫等546,664点である。土器は縄文時代早期～後期、擦文時代のものが出土しているが、そのうち約99.2%は縄文時代後期後半の鮭澗式の新段階から堂林式である。その中でも堂林式が圧倒的に多い。主体時期以外では、縄文早期801点、縄文前期101点、縄文中期281点、縄文後期前半862点などとなっている。土製品は土玉・垂飾・土偶・動物意匠の土製品・ミニチュア土製品などが出土しているが、特にスタンプ形土製品が多く出土している。また大小さまざまな形態をもった焼成粘土塊が多数出土していることも大きな特徴である。

石器・礫等は、フレイクチップ等が93.0%と圧倒的に多く、次いで礫が多い。定形的な石器は、石鏃・スクレイパー・石斧・たたき石・すり石・砥石・石皿・台石などが出土している。特に石鏃が突出して多い。石製品では、異形石器・玉類が多く見られる。石棒は破片出土がほとんどである。オロシガネ状石製品、軽石製品なども出土している。また、やや大型の黒曜石原石や赤彩された礫など、特徴的な遺物も出土した。

このほか、朱漆塗りの弓（塗膜のみ）なども出土している。自然遺物は、獣骨・魚骨等が多量に出土したほか、炭化種子、キノコ、ベンカラ塊やアスファルト塊など多種多様である。

報告にあたっては、遺物種類別（土器・土製品、石器・石製品、その他）にした上で、盛土遺構の各ブロックごとには掲載せず、盛土遺構－上位出土の遺物と盛土遺構－下位出土の遺物に大きくまとめて掲載している。

2．土器・土製品

前述の通り出土土器の99%以上が縄文時代後期後半に属し、文様要素等である程度まとめられるため、原則として以下の優先順で掲載した。

① 出土遺構 …… A．盛土遺構－上位　　B．盛土遺構－下位
② 種　　類 …… A．土器　　B．土製品
③ 時　　期 …… A．主体時期（縄文時代後期後半）　B．それ以外
④ 器　　種 …… A．鉢形（深鉢・鉢・浅鉢・皿など）B．壺形（注口・壺など）C．特殊器形
⑤ 刻みの有無 … A．刻みあり　　B．刻みなし
⑥ 文　　様 …… 帯状文・沈線（斜・曲）・横走沈線・縄文のみ・無文・区画内列点・ハの字状短刻線
⑦ 突瘤の有無 … A．突瘤有り　　B．突瘤なし

突瘤の有無よりも刻みの有無を優先的にとらえているのは、Ⅳ群b-４類とⅣ群c-１類の境界を明瞭な刻み列の消長においているためである。

なお、赤彩土器や搬入土器などは、主体時期の最後に掲載している。また、盛土遺構－上位・下位、土器・土製品を通じて、土器番号は連番にしてある。

（１）盛土遺構－上位出土の土器・土製品（図Ⅴ－１～97　表Ⅴ－１～35　図版77～170ほか）

ａ．縄文時代後期後半の土器（図Ⅴ－１～87の１～632）

ａ－１．Ⅳ群ｂ－４類の鉢形土器（１・２）

刻み列（１・２）

１は口縁部と胴部くびれに明瞭に刻み列が施されている。胴部のくびれも強い。器壁が厚く、緩やかな波状口縁を呈している点など、鍛冶澗式の要素が強い土器である。２では刻み列の間隔があき、胴部くびれが弱くなるなど、鍛冶澗式の要素が弱くなっている。

ａ－２．Ⅳ群ｃ－１類の鉢形土器（３～498）

「刻み」（３～７）

明瞭な刻み列ではないが、沈線でえがかれ痕跡的に残っているものを掲載した。

３はやや特殊で、刻み列を３帯もつものの浅く、口唇の切出しがかなり鋭角になっている。口縁に付帯する突起や入組文を多用するなど東北地方北部の土器の文様構成に近い。４は刻み列が胴部くびれにあるが、口縁部にはなくなっている。幅広の無文帯や小波状口縁など、堂林式の要素が強い。５・６は「刻み列」というよりは沈線で引っかいたような状態である。７は器壁が薄い。弱い段を設けた口縁部に沈線で刻み列をえがいている。頸部の幅広の無文帯には、レリーフ状に浮き上がらせた帯状文がめぐり、小さな瘤が付く。東北地方北部の影響があるものと思われる。

突瘤・帯状文（８～43）

全体的に大型の深鉢で幅広の無文帯をもつものとやや広口の鉢形土器が多い。帯状文が蛇行するもの（10・11・18・23・25・29・39）、クランク状になるもの（26・27・28）、入り組むもの（12・13・15・33・34・36・37）、対向する弧状になるもの（14・20・36）、鋸歯状モチーフの組み合わせ（22・31・32）など定形的なモチーフがある。しかし、乱れた文様構成をとるものも多い。

８は帯状文が乱れており、波状口縁頂部にあたる部分に突瘤が施されている。Ⅳ群ｃ－１類の中でもやや新しい部類に属する。10・11は器形・文様とも類似している。12は入り組み文を５段構成にしており、ていねいな仕上げをしている。16は突起の下のみに突瘤が施されている。17は外面に円文、切出形口唇上に縄文を施文し、ていねいな仕上げをしている。19の突瘤は波頂部２単位ごとに穿たれている。20は底部付近の一片を除いてすべて接合できた。１ｍ大の範囲に部分ごとにまとまっていたものである。21は横走する帯状文の構成で、器壁が厚く白色味が強い。24は縄文施文がていねいだが文様構成を乱している。25・26・27の沈線が太いのに対し、29の沈線は非常に細くなっている。37の口縁は突瘤のほかに外面および口唇上に小さな貼瘤を付している。39～43は文様構成がやや不定形なものである。

帯状文（44～65）

比較的大型の深鉢のほか小型鉢にも帯状文のみが施されるものが多い。帯状文が蛇行するもの（44・59）、クランク状になるもの（48・51）、入り組むもの（48・50・54・56・60・63）、対向する弧状になるもの（57・64・65）、鋸歯状モチーフの組み合わせ（55）、横走のみ（52・53）などがある。

48は胴部くびれの下の２段の文様構成が異なっている。弧線文を組み合わせた段とクランク状の帯状文の段がある。49は胴部くびれが２ヵ所あり、真中の段に渦状の帯状文を配している。くびれ部はそれぞれ幅広の無文帯である。50は連続する入り組み文が２段見られるが、さらに同様の構成が上位に続くものとみられる。59は波状口縁の谷の部分に突起がつき、切出形口唇がかなり鋭角になっている。61は帯状文というよりは細い無文帯が貫入している状態である。

突瘤・沈線（66～125）

実測図はおおむね、直線的な沈線を主体とするもの（66・67・81・86）、曲線的な沈線を主体とするもの（68～74・85）、直線的な沈線と曲線的な沈線の組み合わせ（75～80）、不規則なもの（88）となるように掲載した。拓本図も同様に、直線的な沈線を主体とするもの（89～102）、曲線的な沈線を主体とするもの（103～115ほか）、直線的な沈線と曲線的な沈線の組み合わせ（116～118ほか）、不規則なもの（119）となるように掲載した。

直線的な沈線は鋸歯状文が多く（86・89～93・101など）、ほかに格子目文（95）・イナズマ状沈線（97）・「く」の字状の沈線（98）があり、67のような縦位の沈線で窓枠状の文様を設けるものもある。曲線的な沈線は弧線文（103～113ほか多数）が中心である。蛇行沈線（68・74）、波状沈線（71・72・111）、渦文（85・114）などもある。

66は大型の深鉢であるが胴部のくびれが2段あり、それぞれ幅広の無文帯を置いている。68は口径が50㎝近くに達し、最大級の大きさである。胎土に黒色粒子を多く含む。70はやや長胴の深鉢で、少ない器形である。小波状口縁で胴部くびれがやや強い。縦位の弧線文により文様を構成している。75は円筒状でわずかに口縁が外反し胴部がくびれる。口唇上にハの字状に刻みを入れている。79は波状口縁の波頂部に貼瘤の装飾がある。87は上下2段の文様が規則的に対向している。88は突瘤も沈線も乱れている。95は南北盛土で同一個体があったもの。口唇が斜方向に刻まれている。96は突瘤の上位に刺突列が施されている。106は胴部くびれにある幅広の無文帯をはさんで、鋸歯状沈線と弧線文の組み合わせによる同様の文様が構成されている。109～113は非常に密に沈線がえがかれている。109・111は無文帯をはさんで文様構成が異なっている。117・118の突瘤はつまみ出した細長いものになっている。123は非常に細い沈線で弧線文がえがかれている。125は胴部くびれ以下全面にていねいに羽状縄文が施されている。

突瘤・横走沈線（126～233）

深鉢形土器では最も量の多い文様の一つである。無文帯がある深鉢（126～152・187～218）と無文帯がない深鉢・鉢（153～186・219～233）とに分けて掲載した。

無文帯のある土器では、横走沈線が無文帯より上のみのもの（131・145・150・152・200・203）があるが、大半は無文帯より下にさらに数本の横走沈線を巡らせている。無文帯がない土器は、突瘤の列をはさんで3～4本の横走沈線を口縁部に集約させたものが多い。

126の横走沈線は一部が口縁方向に上昇している。130は無文帯より上位に11本の横走沈線を巡らせている。逆に131は無文帯との区画線を除いて1本しかない。136は波状口縁に沿う横走沈線とそれに沿わない平行沈線との間にさらに無文帯を設けている。139・144・214は口縁ではなく胴部のみに横走沈線がある。145・149は高さ50㎝近くもある大型深鉢で、やや長胴である。152は突瘤列の上に横走沈線が1本だけ巡っている。突瘤はやや縦長につぶしたような状態である。154は切出形口唇上にもていねいに縄文が施文されている。159・160・175・227は底部付近にも横走沈線が巡っている。181は無節縄文が全体に施されている。187は波状口縁の口唇上に波頂部の部分に刺突列が施されている。191～194は横走沈線が10本以上に達している。191・193～196は波状口縁に沿う横走沈線とそれに沿わない平行沈線が組み合わされている。198の無文帯は非常に幅が広く、横走沈線の本数が少ない。209は無文帯との区画沈線が欠如している。口縁部にも無文帯が設けられている。210・218の突瘤はつまみ出したように縦長になっている。219はやや肥厚する切出形口唇上に縄文・沈線が施文されている。また突瘤の間隔が狭い。225・226にも刻みや沈線により口唇上の装飾が施されている。230は突瘤が一部2段になっているところがある。

沈線（234～293）

実測図はおおむね、直線的な沈線や曲線的な沈線を主体として定形的な文様構成をとるものを前半に置き、後半は徐々に文様構成が乱れるものを掲載した。拓本図も同様である。

234は小波状口縁をもつ大型の鉢。弧線文と斜行沈線を重ねて整った文様をえがいている。235・236は鋸歯状沈線と弧線文を組み合わせている。237・238は鋸歯状沈線により文様を構成しているが、特に238は３段にわたって非常に密に沈線を充填している。239～245は弧線文の組み合わせにより文様が構成されている。240・245は２段構成になっている。245は小波状口縁の波長が短く、突起のようになっている。246～263は弧線文など曲線的な沈線を中心として定形的でないさまざまな文様をえがいている。蛇行沈線や懸垂文、渦文などが見られるが、不規則な沈線が多い。248・249は比較的整った文様構成になっている。253は渦文や弧線文・鋸歯状沈線などが並べられている。整った小さな台がついている。254は上半に弧線文、下半に円文が細い沈線でえがかれている。259は展開模式図を示した。２～３本のＳ字状の蛇行沈線を基本としながらも、その区画に短刻線を入れてみたり区画の合間に異なる文様を入れたりしている。262も同様に規則性に乏しい。261は器壁がやや厚い。貫通孔が１ヵ所だけあけられている。

264～270は鋸歯状沈線により文様が構成されているもの。265は無文帯より上位に、266・267は無文帯の上下に鋸歯状沈線が並べられている。269は３段構成になっている。272は細く浅い沈線で鋸歯状沈線・弧線文がえがかれている。273はさらに細い。274～292は弧線文・蛇行沈線など曲線的な沈線でえがかれているもの。275は楕円形の底部付近まで密に沈線が施されている。円文が目立つ。276はきれいな弧線の組み合わせになっている。279は多段の文様構成だがそれぞれ文様が異なる。285は口縁直下に横走沈線を配さずに連続する弧線文がえがかれている。289の胴部下位の弧線文は他の横走沈線や口唇上の沈線と比べて非常に細い。292はクランク状の沈線になっている。293は広い間隔で円文や曲沈線をえがいている。

横走沈線（294～323）

深鉢形土器は横走沈線のものには必ずといっていいほど突瘤がめぐるので、横走沈線のみのものは極めて少ない。逆に鉢形土器・浅鉢形土器は突瘤がつくものは少ないので、横走沈線のみの土器も比較的多い。

294・296は深鉢形土器の例。ただし、294は下半に鋸歯状沈線や弧線文などの沈線があるかもしれないし、296は口縁部に突瘤がめぐるかもしれない。295・297・298・314～316のような小型の深鉢形土器であれば、縄文地に横走沈線のみの土器がある。いずれも無文帯の下にまで横走沈線がめぐる。299・300・302・309・311・317・321は波状口縁に沿う横走沈線とそれに沿わない平行沈線とがある。301・302・318～320はほぼ胴部全面に横走沈線を施文している。また、口縁部直下のほか底部付近に２～３本の横走沈線で仕切るものも多い（299・304～306・310・311・313・314・321）。

323は口縁部に１ヵ所貫通孔がある。

突瘤・縄文のみ（324～394）

深鉢形土器では最も量の多い文様の一つである。拓本は数を大幅に減じて掲載した。無文帯がある深鉢（324～334・375・389・390）と無文帯がない深鉢・鉢（335～373・376～387）とに分けて掲載した。前者は少なく、突瘤・縄文のみはくびれのない深鉢形土器や、鉢形・浅鉢形土器に多い。

326・333は縄文部と無文帯との区画沈線がない。327は無文帯の幅が非常に広い。口縁部の一部に弧線がある。328は口縁部に弧状に無文帯があり、胴部の無文帯は細い。332は縄文部と無文帯との区画沈線が一部重複している。334は羽状縄文がきれいに施文されている。無文帯の幅が非常に広い。

338は胴部くびれのある深鉢だが無文帯を置かず全面羽状縄文を施文している。339・344・351・352にも羽状縄文がきれいに施文されている。354の小型深鉢は胴部がわずかにくびれている。また363の深鉢も口縁下が弱くくびれ、内面に段がある。367は一部の突起に平坦な部分をつくり出しているものがある。372は平縁だが１ヵ所に大型の突起がついている。下方に突き出す部分があり、上部は欠損している。動物意匠の突起とはならないが、何らかの装飾の意図が伺える。374は地文が胴部の一部しか施されていない。

375は無文帯が少しだけくぼんでいる。376・379・381～384・388～390には羽状縄文がていねいに施文されている。380は突瘤がつまみ出したように縦長になっている。388は底部付近を無文部にしている。391は地文が胴部下位に施文されている。392・393は頸部の無文帯の幅が非常に広い。394は口唇上に斜方向に刻みを入れている。

縄文のみ（395～440）

大型の深鉢は極めて稀で、小型の深鉢形土器、鉢形・浅鉢形土器がほとんどである。

395～409あたりまで小型の鉢が多く並んでいるが、底部からの立ち上がりが微妙に異なっている。403・405はわずかに胴部がくびれている。420は皿。復元できた唯一のものである。421は切出形口唇が気になるが台とした。大型の鉢が載るものと思われる。422は口唇上の装飾がある。底部は極小で詳しくは分からない。423は大型の台付鉢。台には縄文は施されていない。427は羽状縄文であるが途中から一方の縄が無節に転換されている。433は小型の台がつく鉢ということになろう。

434は縄文のみの土器片だが、内面に引っかき傷のような沈線が格子目状に引かれている。435・436は底部付近に木葉痕を残したままにしてある。437～440は胴部に無文帯が設けられているもの。437は口径の割に高さがない寸づまりの深鉢。439は無文帯との区画線がない。

無文（441～451）

小型の鉢形土器が多いが、中には443のように深鉢形土器も含まれている。

441は口唇上に弱く刻みを入れている。443は焼土（RMDF－44）の一角にあって被熱していた。445の台はⅣ群ｃ－１類でも新しい段階のものとみられる。448～451は台のみ。448には台部中央に貫通孔がある。450・451は特異な形態になっている。451は極小の上げ底だが、内面にその部分が突出している。

突瘤・区画内列点（452～460）

突瘤があり、沈線や帯状文の区画に沿って刻みや刺突列を施しているもの。

452は胴部のくびれが２ヵ所あり、３段構成の大型土器になっている。上段では一部の曲沈線の外側に短い沈線を並べている。２段目には無文帯との区画付近にも短い沈線を並べている。453～455は無文部をわずかにくぼませ帯状文が浮き立っている。その帯状文の区画に沿って細かい刻みが施されている。453は頸部の無文帯が非常に広い。455は胴部くびれに沿う隆帯と垂下する隆帯がある。456は横走する帯状文とクランク状の帯状文の内部に列点が充填されている。457には無文部の区画にも列点が施されている。458は口縁部と胴部ともに列点が施されている。460は小型の鉢で、突瘤や弧線文・列点など文様が密に施されている。

区画内列点（461～466）

上記と同様、沈線や帯状文の区画に沿って刻みや刺突列を施しているもの。

461は非常に細い沈線で曲沈線をえがき、一部に列点を施している。463は口縁部の弧線帯状文だけに列点が施されている。465は縦位の区画が並ぶ、数少ない文様構成をとっている。466は列点の粒が大きく目立っている。

ハの字状短刻線（467～491）

各盛土の上層を中心に多数出土している。明瞭にハの字を刻むもののほかに、それらがまばらに付されるもの（481など）、列点状のもの（470・480など）、不規則なもの（479・487）などもあわせて掲載した。またハの字状短刻線による帯状文の文様は、横走するもののみ（479・488～490）、鋸歯状になるもの（473）のほかは入組文（469・472・474・475・480・482・483・485・486）が目立つ。楕円文（484）、渦文（487）のほか不規則な文様構成のものも多い。

467～469は突瘤がある。467の突瘤はつまみ出されて縦長である。471は口唇上に細かい刻みが施されている。472は展開模式図を掲載した。入組文の段と蛇行する帯状文の段がある。477・479は口縁部に１ヵ所貫通孔がある。482～485はハの字状短刻線が深く刻まれている一方、487～490は非常に浅い。

特異な土器（492～498）

492・493は突瘤の方向が他の土器群と異なり、外側から内側に向かって突いている（O→Ｉの突瘤）。494は通常の深鉢土器の一片であるが、胎土に径１㎝ほどの礫を含み土器の面からはみ出している。はみだした部分は土器焼成時に被熱している。495・496はやや特殊な突起。497は把手の一部と考えられるが、詳細は不明である。498は帯状の粘土の一部を半円状にくぼませている。全形も部位も不明である。

ａ－３．Ⅳ群ｃ－２類？またはⅣ群ｃ－１類新段階の鉢形土器（499～509）

突瘤以外に口縁部または胴部に貼瘤が付されるものを掲載した。

499～501・503・507は口唇直下に突起のような貼瘤がついている。502・504～509は胴部に貼瘤があるが、豆粒状のもの（502・505・508）、刻みが入ったもの（506）、ボタン状のもの（507・509）などの形態がある。501・502の突瘤はつまみ出したような縦長になっており、爪形文に近くなっている。503の沈線は非常に細い。

ａ－４．Ⅳ群ｃ－１類の注口・壺形土器（510～572）

注口土器－帯状文（510～522）

帯状文によりえがかれた文様構成は多様である。510は無文部を少しくぼませて木葉文を浮き立たせている。広口の口縁に突起が連続してつけられている。511は３段の波状の帯状文を胴部に巡らせている。口頸部は広く長く、大型になっている。512～522は胴部以下が残っており、口頸部の状況は不明である。512は鋸歯状または波状の帯状文である。514の注口部下の瘤には貫通孔がある。

516・518・520・521は帯縄文が不規則に展開している。

注口土器－沈線（523～543）

523～525は口頸部のみで、比較的小さくすぼまっているものが掲載された。523は頸部ですぼまった後、口縁部で小さく外反する。525は口唇に平坦面を設け、刻みを入れている。

526～543は密な沈線で文様がえがかれているもの。ほとんどが弧線文などの曲線的な沈線である。弧線文を重ねた木葉文を文様の材料にしているもの（526・528・530～532）、蛇行するもの（538～541）、渦文になるもの（537・543）などがある。

注口土器－区画内列点（544～552）

帯状文区画の内側に列点が施されるもの。帯状文は縦走するもの（546）、横走するもの（544～548）、渦文（544）、蛇行するもの（550・551）入組文（552）などさまざまである。

注口土器－ハの字状短刻線（553～572）

ハの字状短刻線による帯状文により文様が構成されているもの。鋸歯状（563・565）あるいは斜行（564）になるものもあるが、大部分は曲線的な文様である。

553・554は注口土器の口頸部。いずれも長頸である。口唇直下と胴部とのつなぎ目に帯状にハの字状短刻線が巡る。555は縦位の弧線に沿う短刻線。頸部と胴部の境がなだらかで、胴部中央に段を設けている。557は繊細なつくりの小型壺。頸部にハの字状短刻線を横走させ、胴部は曲線的な文様を組み合わせている。560は大型の注口部で、注口下の瘤も大型でとがり気味である。胴部とのつなぎ目に隆帯が巡り、ハの字状短刻線と小さな貼瘤が施されている。562にはわずかに赤彩の跡が見られる。564は波状口縁で長頸の注口土器で、口頸部は直立し外反しない。ハの字状短刻線や貫通孔など口縁部の装飾が豊かである。565は注口土器の口縁部とみられ、頸部が少し膨らみ、無文帯をもっている。口縁部は鋸歯状に、頸部は弧状にハの字状短刻線を施文している。568・569は非常に小型である。569は文様構成がやや不規則で、胴部は区画に沿う列点が多い。

ａ－５．Ⅳ群ｃ－２類？またはⅣ群ｃ－１類新段階の注口・壺形土器（573～592）

胴部の注口部に平行する位置以外に貼瘤が付されるものをまとめた。これらはⅣ群ｃ－１類の新段階あるいはｃ－２類といっていい段階に属するものと思われる。

573～579はハの字状短刻線に小さな貼瘤が各所に付くものである。576は弱い隆帯上にハの字状短刻線があり、尖り気味の貼瘤を巡らす。赤彩されている。577は入組文の結束点に小さな貼瘤を付している。574・575・578～580・582～584には口唇直下に貼瘤が付いている。585はやや口の広い壺で、横走する帯状文の区画に沿って刺突列が施されている。貼瘤は頸部と胴部にある。585～587・590にはボタン状の貼瘤がつけられている。586は蛇行する沈線により舌状の文様を構成している。588～592は豆粒状の貼瘤が頸部・胴部にある。588は帯状文を浮き立たせている。

ａ－６．その他特殊土器（593～632）

赤彩土器（593～608）

593は全体の器形がわかりにくい。底部から同心円状に隆帯がめぐり、その上を刻んでいる。全面的に赤彩が施されていたとみられる。594は鉢形の土器に注口がある、Ⅳ群ｂ－４類としては珍しいもの。これも全面的に赤彩が施されていたとみられる。596は波状口縁の頂部付近で、濃厚な赤色を呈している。597・598はハの字状短刻線の部分を中心に赤彩が施されていた。598は小さな貼瘤が３段にわたっており、Ⅳ群ｃ－２類の要素がみられる。599は帯状文の区画内を中心に赤彩が残っていた。600は緻密な胎土の長頸の注口土器。ほぼ全面に赤彩されていたとみられる。602・603は注口土器の内面ほぼ全面に赤色顔料が付着していた。602は特に注口部付近に赤彩が濃く残っていた。また外面にも赤彩が見られる。604は帯状文の区画内に密に刺突を施している。内面に薄く赤色顔料が付着している。605～608は赤彩された注口部を掲載した。608は600の注口土器の胎土に近い。

特殊な土器（609～626）

609は大型の口頸部をもち胴部にゆるい段を設け、最大径を胴下部においた注口土器。刺突ととがった貼瘤が目立つ。610は双口土器ということになるが、下部は全く不明である。縄文後期の双口注口土器は十勝管内足寄町上利別20遺跡で出土しているが、双口の部分は610の土器と類似している。

611～614は舟形の土器。小型のものが多い。612は沈線のほかに隆帯による装飾がある。614は舳先の部分に把手がある。615は四脚付鉢の脚部。台を造り４ヵ所切ったようなつくりになっている。616

は蓋と考えられる。平坦な上面の円周部に外側に向かって斜方向に貫通孔が６ヵ所あけられている。ひもを通して束ねたことが考えられる。

617～624は香炉形の土器または吊手形の土器。617・620・622～624は頂部だけのものや、頂部と胴部をつなぐ腕の部分のみのものである。618・621は香炉形の注口土器になる。618は頂部を平坦に作り出し、沈線や刺突で装飾を施している。619は４ヵ所の透かしが設けられ、頂部に貫通孔がある。625は四方に貫通孔つきの把手があり、ひもを通して吊り下げたと考えられる。赤彩されている。

626は中空の環状土器になる。円周上の一端に大型の開口部があり、他方に小型の注口部がある。またその間にそれぞれ突起を配している。文様は木葉文などの帯状文で構成され、コーヒー豆状の貼瘤が区画に沿って貼り付けられている。部分的に赤彩が施されている。下部は不明である。

微隆線を伴う土器（627～632）

微隆線を用いた文様や、当該期の東北地方の土器の影響を受けたと考えられるものを掲載した。

627・628は南北盛土間で接合しており、北埋調報157集『キウス４遺跡（８）』に一度掲載したものである。627は巻貝形の土器。螺旋状に稜をつくり出し、刻み列と小さな貼瘤を配している。その間に微隆線で装飾を行っている。全面に濃厚な赤彩が施されている。頂部は盛土Ｄ－３層から出土している。628は中空の大型土偶の脚部。ひざを曲げた状態である。斜方向の細かい刻み列と貼瘤、微隆線と小さな貼瘤で構成されている。脚の内側にあたる面に文様はない。全面に赤彩されている。

629は突起と考えられる。環状土器のような特殊なものと考えられる。全面に濃厚に赤色顔料が残っていた。630～632は赤彩がない。630は胎土が緻密である。632は堂林式の土器と同様の胎土である。搬入された特殊な土器を模倣した可能性がある。

ｂ．縄文時代後期後半以外の土器（図Ⅴ－88の633～656）

盛土遺構形成時期の遺物ではないが、盛土遺構に土壌を投棄する際に排土と共に混入していた土器片と考えられる。

縄文時代早期後半の土器（633～647）

組紐圧痕・短縄文・絡状体圧痕などが施された東釧路Ⅲ式と、撚糸文・縄端圧痕が施された東釧路Ⅳ式が多い。

縄文時代前期の土器（648・649）

648は詳細が不明である。649は綱文を施し、節の磨り消しを行っている。

縄文時代中期の土器（650～652）

650・651は突起にあたり、650は刺突列のある口唇に突起の一部が残存していた。652は半截竹管状の工具で押し引いた沈線がえがかれている。

縄文時代後期前半の土器（653～656）

653～655は余市式で、器壁が厚い。656は底部のみだが、底部からの立ち上がりの特徴から手稲式のものと考えられる。

ｃ．土製品（図Ⅴ－89～97の657～900）

土玉（657～714）

図Ⅴ－89には、上段に土玉集中から出土したもの、下段に各盛土遺構から出土したものを掲載した。657～679の23個は、盛土Ｙの土玉集中（Ⅳ章－２・図Ⅳ－105）から出土したもの。大きさ、形態とも類似するものが多い。一部球状のもの（657・660）があるが、幅約１㎝、長さ約２㎝の丸みのある

管玉が大部分である。貫通孔は径２㎜弱で整っている。また縄文が施文されているもの（657～661・670・671）があるものの、多くは無文で、成形した時の圧痕がある。

680～714は盛土Ｄ・盛土Ｅ・盛土Ｙなど各盛土ブロックから単独出土したもの。長さ0.6～2.2㎝、幅0.7～2.6㎝と大小さまざまな土玉がある。球状のもの、円筒状のもの、横に扁平のもの（平玉）、縦に扁平のもの、不定形のものがある。孔が貫通していない玉も数点みられる。文様は施文されないものが多いが、横走する沈線（694・695）、不規則な沈線や刺突（680～682・697）のあるものなどがある。

円盤状土製品（715～728）

扁平で円形の小型土製品をまとめた（土玉除く）。「円盤状」としたものの中には、垂飾に近いものも含まれている。中央部に貫通孔のあるもの（716・717・722）、円周部に近い位置に貫通孔があるもの（723）、面に併行して貫通孔があるもの（718・719・724）がある。装飾が施されているものが多く、同心円の沈線（716・717）や密な刺突列（721～725）を基本としている。また側面（円周上）にも刻みや刺突列を施すものもある（715・717・718・721・724・725）。なお、図示していないが721は赤彩されている。

719は両面同様の文様が施され、ていねいに仕上げられている。728は片面の中央部が湾状にくぼんで円周部近くに稜を作り出している。片面は平坦である。

垂飾（729～754）

形態はさまざまで、貫通孔をもつものが多い。

729～731は円錐形の小型土製品。底面がすべてくぼんでいる。729はやや異なる形態になりうる。732～736は三日月形の土製品。ただし735は円周の半分以上があり、三日月とはいえないかもしれない。732・733には両面に刺突列が施されている。738はやや長大な管玉状の土製品。737・739～743・745は全体の形状が不明だが、貫通孔がある点や扁平で装飾が富むなどの点から垂飾とした。740は貫通孔と同心円を中心に四方に突出する部分がある。742は貫通孔に沿って欠損していた。744は両面に縄文が施文され、ていねいに仕上げられている。745は形態の予測がつかない。

746～751はＴの字状になるような土製品。特に747・748は突出部分が内側に曲がり、土偶の両手・両足が想定できるような形態になっている。あるいは三日月形土製品のような垂飾が背中合わせに接合した結果であるかもしれない。746～751すべて両面に文様が施されており、それぞれ２面とも同様の文様である。752・753は扁平で帯状の土製品。腕輪の一部と想定できる。湾曲の内側の面はあまりていねいに調整されていない。754は両面に文様があるが、内容が異なっている。全体の形状は不明である。

ミニチュア土製品（755～765）

口径・器高とも６㎝未満の小型土器である。鉢形（755～761）、壺形（762）、やや特殊なもの（763～765）がある。756は突瘤のある浅鉢形土器をそのままミニチュアにしたような土製品である。763は上下反対にして蓋として利用した可能性もある。764は胴部下位に２ヵ所の突起をもつ。765は底部付近だけが残っていた。貫通孔があり、他の土製品の可能性がある。

土製品（766～768）

分類の困難な土製品を３点掲載した。766は垂飾ともミニチュア土製品ともとれるような形状である。貫通孔があり、刺突列を内面や「口唇部」に施している。767は十字状の形態をもつ土製品で、長軸側の突出部が太く短軸側の突出部が細い。768は先端が細くすぼまった片口の小型土製品。全体的に丸みを帯びている。東北地方北部に多く分布する「スプーン形土製品」（「さじ形土製品」）と関

係があるものと考えられるが、一方鹿児島県市来貝塚を初めとする九州地方南部の各地から出土している貝匙に形状が類似している、との教示もあった。

土偶？（769・770）

人体の特徴がよく表現されている土偶は１点もないが、よく観察すると人体を表現した土製品であろうと思われるものを示した。769は高さ６㎝ほどしかなく調整が粗いが、土偶である。刺突や粘土のつまみ出しを用いて顔や胸部を表現し、腕・脚部の一部にわずかに沈線が見られる。770は厚さ約２㎝の板状になっており、無文でていねいに調整が行われている。全体の形状は不明であるが、土偶の肩・胸部の一部と考えられる。

動物意匠の土製品（771～776）

771・772は動物意匠の土製品の四肢の一部にあたるものと思われる。中空で貫通孔がうがたれている。ハの字状短刻線が要所にめぐらされている。771には先端付近にも貫通孔があり、772には先端に指のような表現が見られる。中空の大型土偶の一部である可能性もある。773・774は動物意匠の土製品の四肢の先端と思われる。指の表現が見られる。776は動物意匠の突起と考えられ、口を上にする状態で楕円形の鉢形土器になるものと思われる。切出形口唇で縄文が施されている。目を表現したボタン状の貼瘤がある。また、全体的に薄く赤彩が残っている。

分銅形土製品（777）

777はスタンプ形土製品に類するが、主に東北地方～北海道南部に分布する「分銅形土製品」に当たるものと思われる。貫通孔から上部が欠損している。

スタンプ形土製品（778～829）

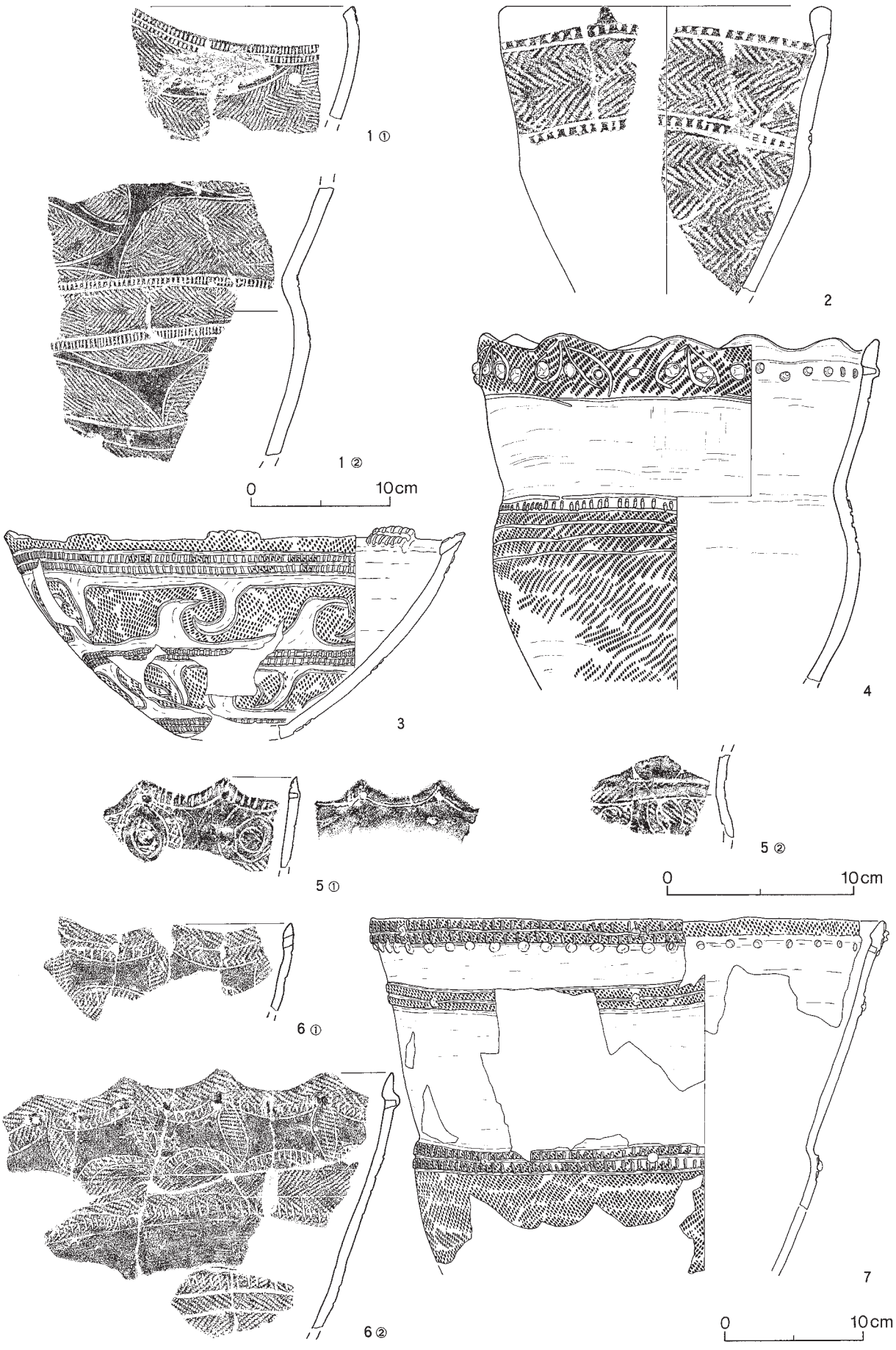
全体的に柄が棒状で、版面が平坦で小型の円形になっているものが多い。また版面の文様は、密な刺突または同心円の沈線を基本としたものが多い。基本以外では、778・779は回転放射状に、787は放射状に、784は不規則に沈線が施されている。また柄部にも文様が施されているものがあり、沈線（778・779・813・816）や刻み（818）、刺突（780・793・817）、縄文（797・798・813～815）などが施文されている。

778・779は大きさ・形態・文様とも同様で、２個セットで耳栓になるという見方がある。789・790もよく似ている。

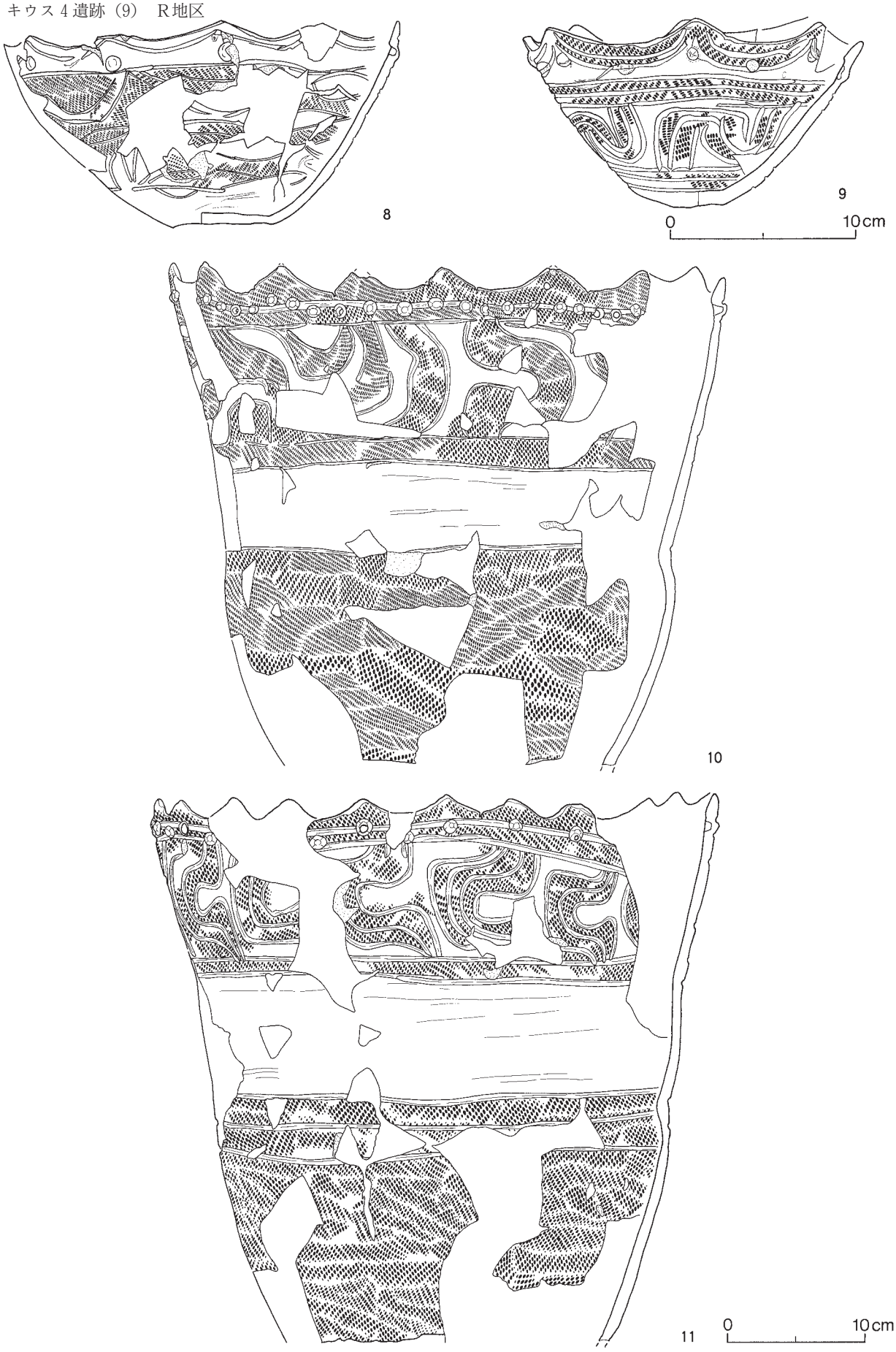
焼成粘土塊（830～900）

大小さまざまな形態の焼成粘土塊が多数出土している。粘土紐状のもの（830～839）、球に近い形態のもの（840～848）、板状のもの（849～857）、不定形で刻み付けたような沈線が目立つもの（858～870）、不定形で指頭押捺の目立つもの（871～896）、その他不定形のもの（897～900）などがある。

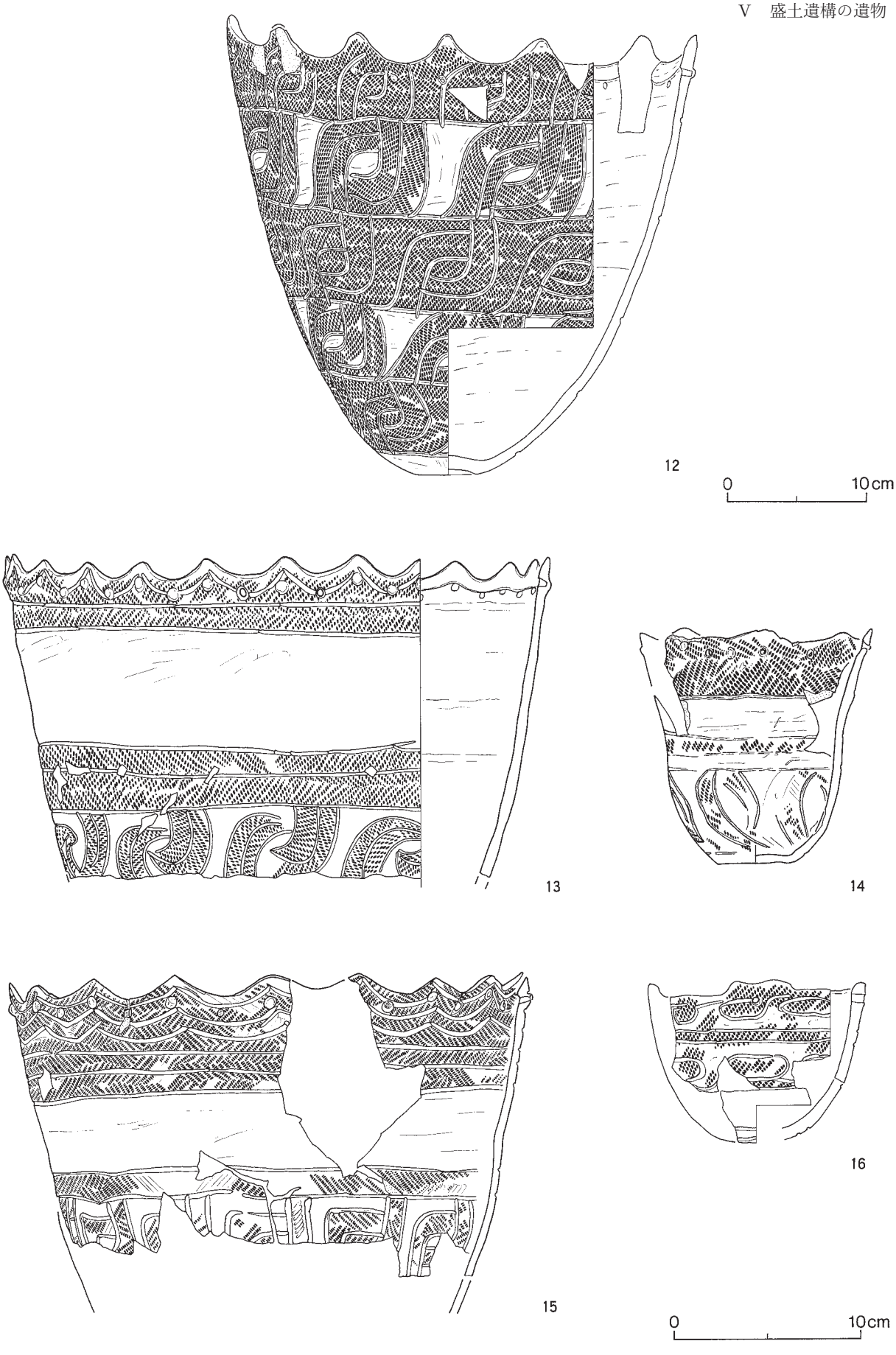
粘土紐状のものには、両端が収束しているもの（831～833など）や、片方の端部が丸く一方がちぎったような剥離面をもつもの（835・837など）がある。球に近いものには指頭押捺の目立つものも多数含まれている（842・843・846～848）。板状のものには、木葉痕が明瞭にみられるものもある（857）。その他指紋や爪跡が残っている粘土塊が多数見られる。



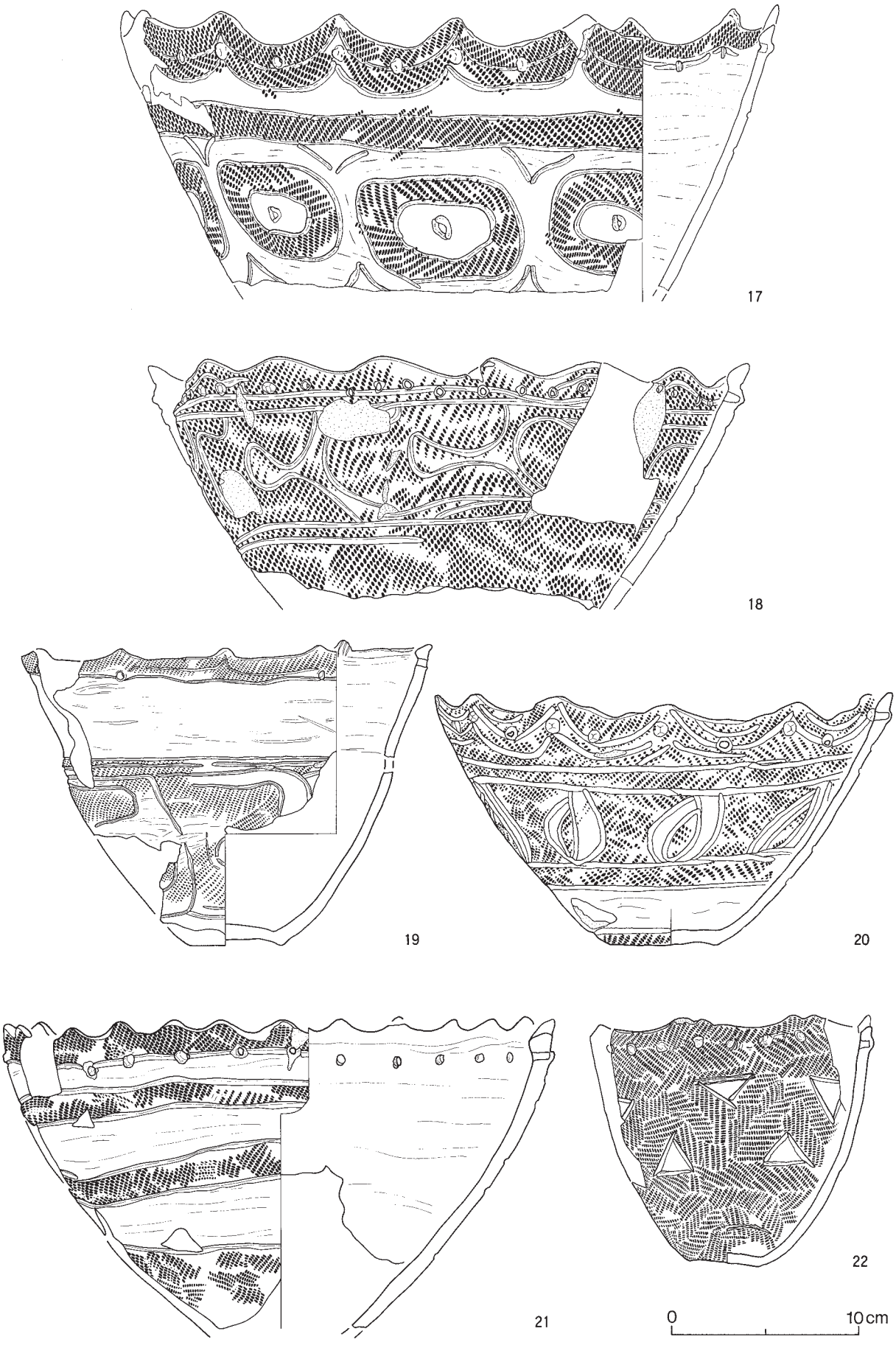
図Ⅴ－1　盛土遺構上位出土の土器（1）
刻み①



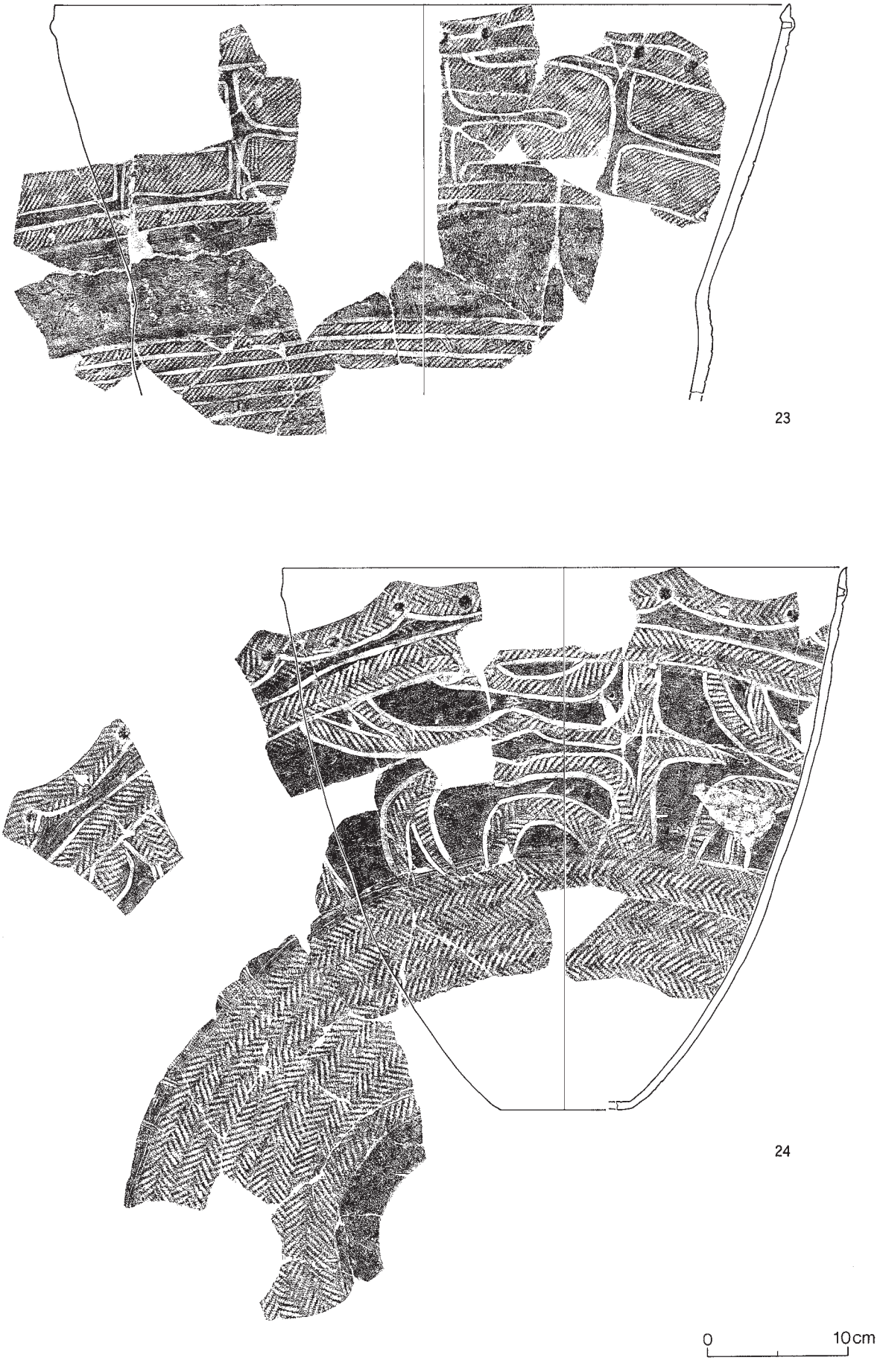
図Ⅴ－２　盛土遺構上位出土の土器（２）
突瘤・帯状文①



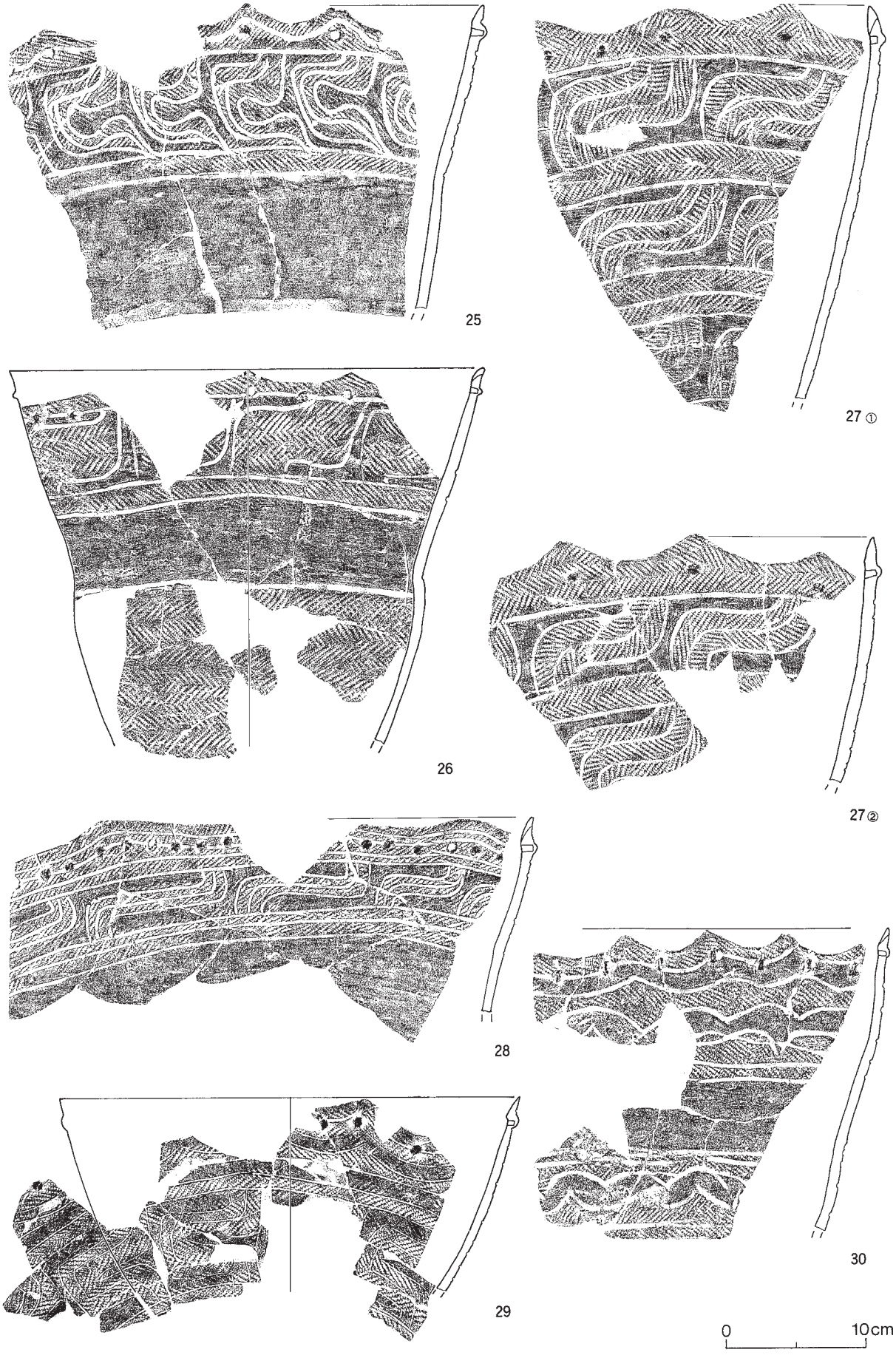
図Ⅴ－３　盛土遺構上位出土の土器（３）
突瘤・帯状文②



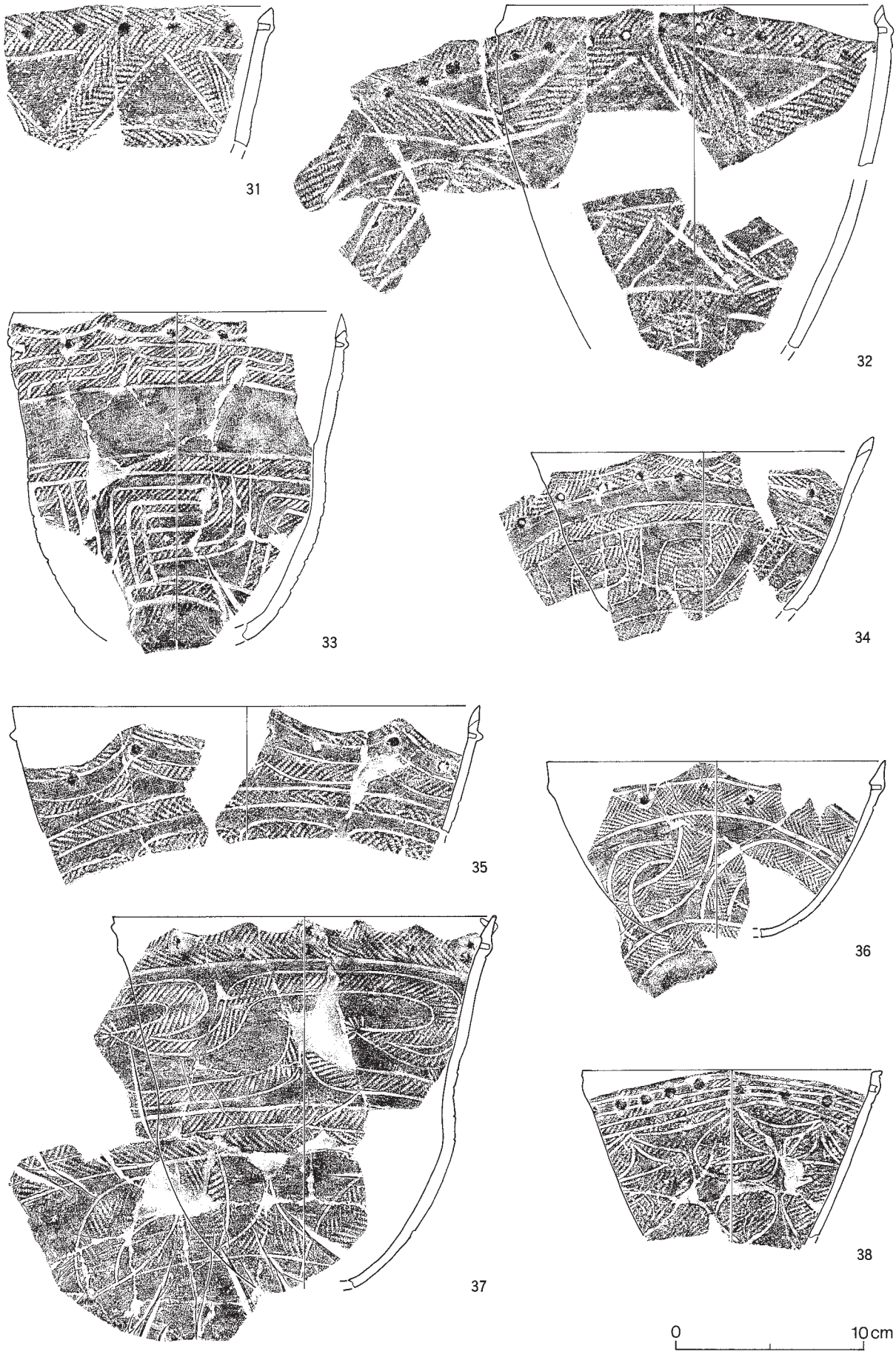
図Ⅴ－４　盛土遺構上位出土の土器（４）
突瘤・帯状文③



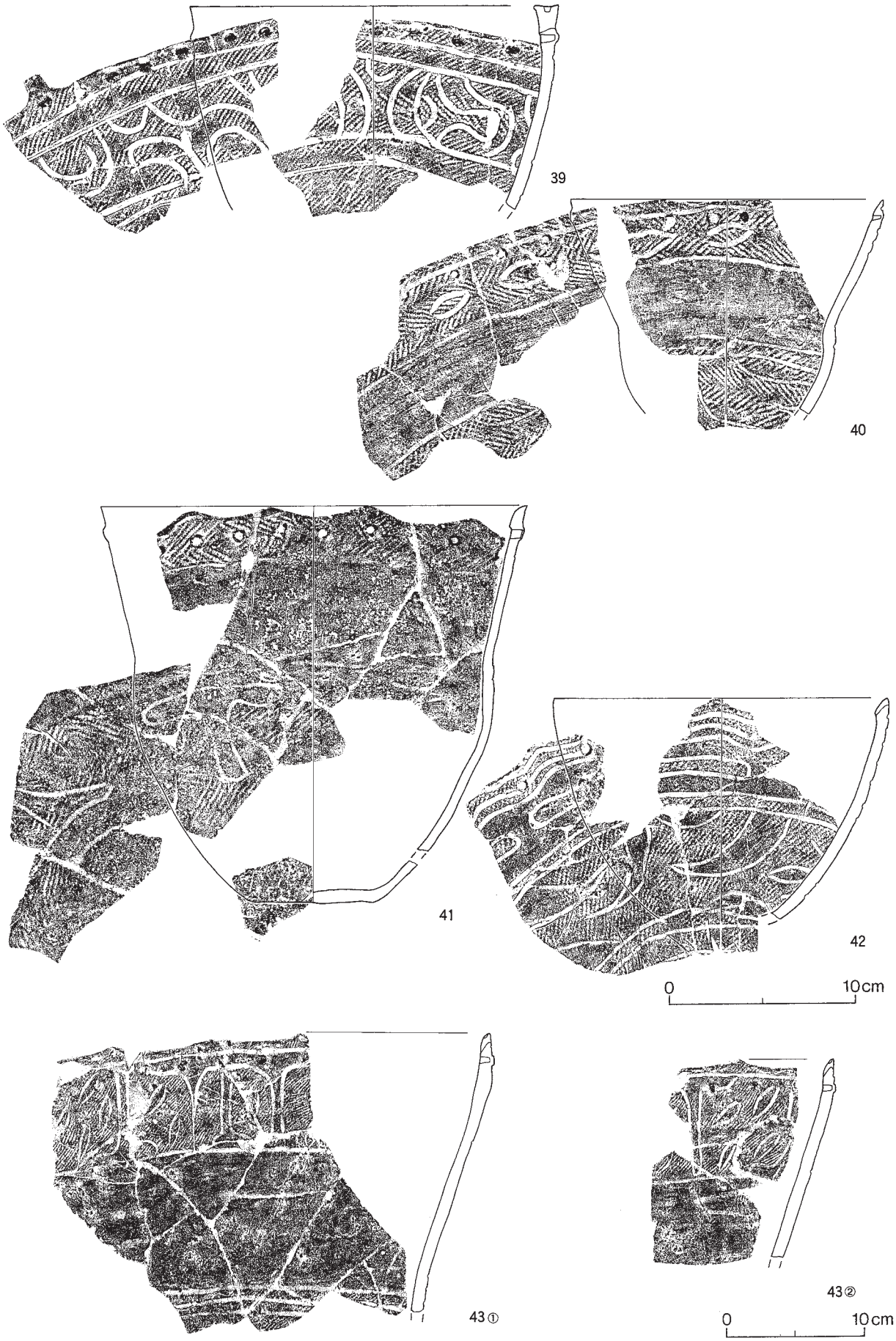
図Ⅴ－５　盛土遺構上位出土の土器（５）
突瘤・帯状文④



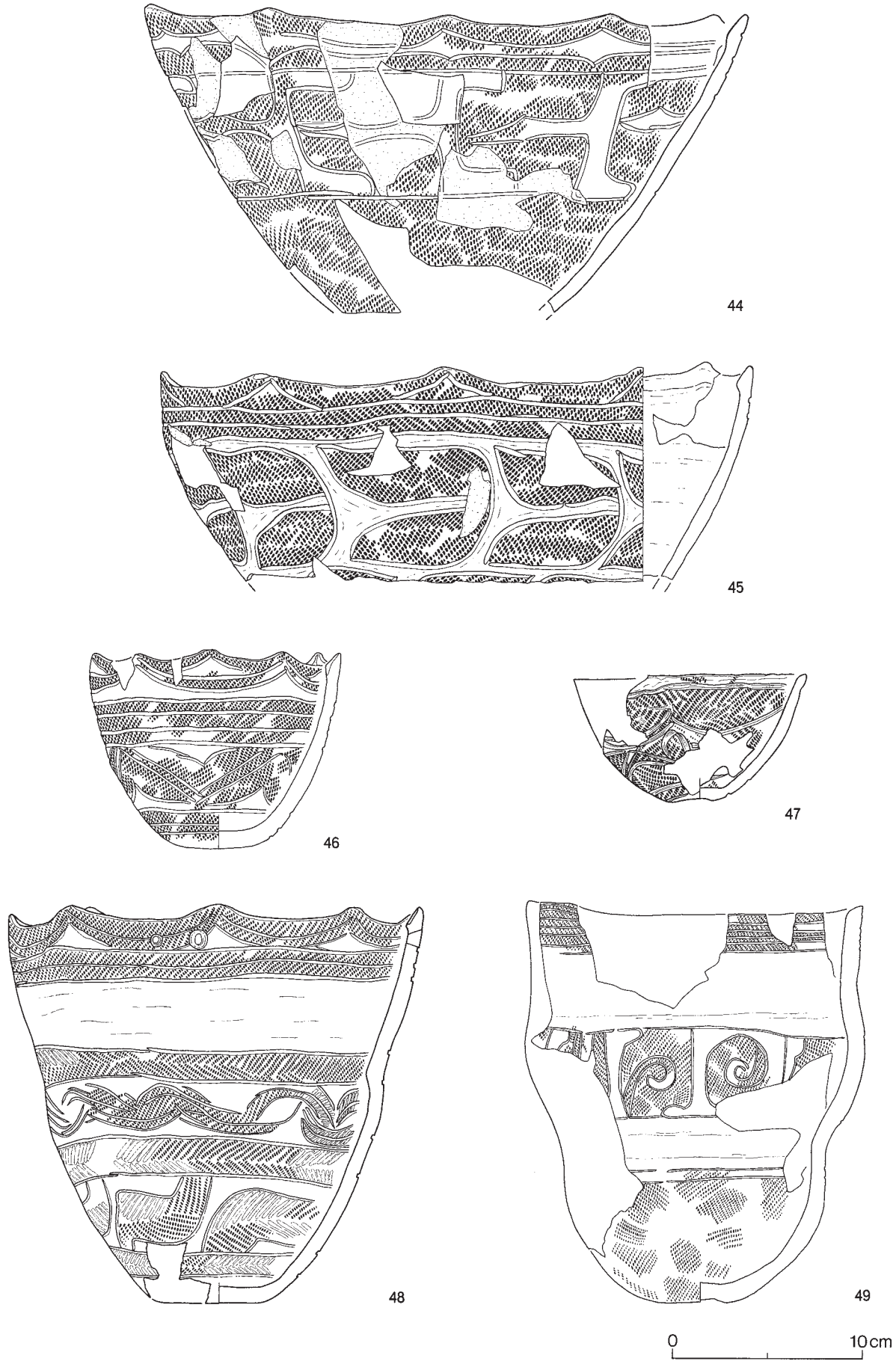
図Ⅴ－６　盛土遺構上位出土の土器（６）
突瘤・帯状文⑤



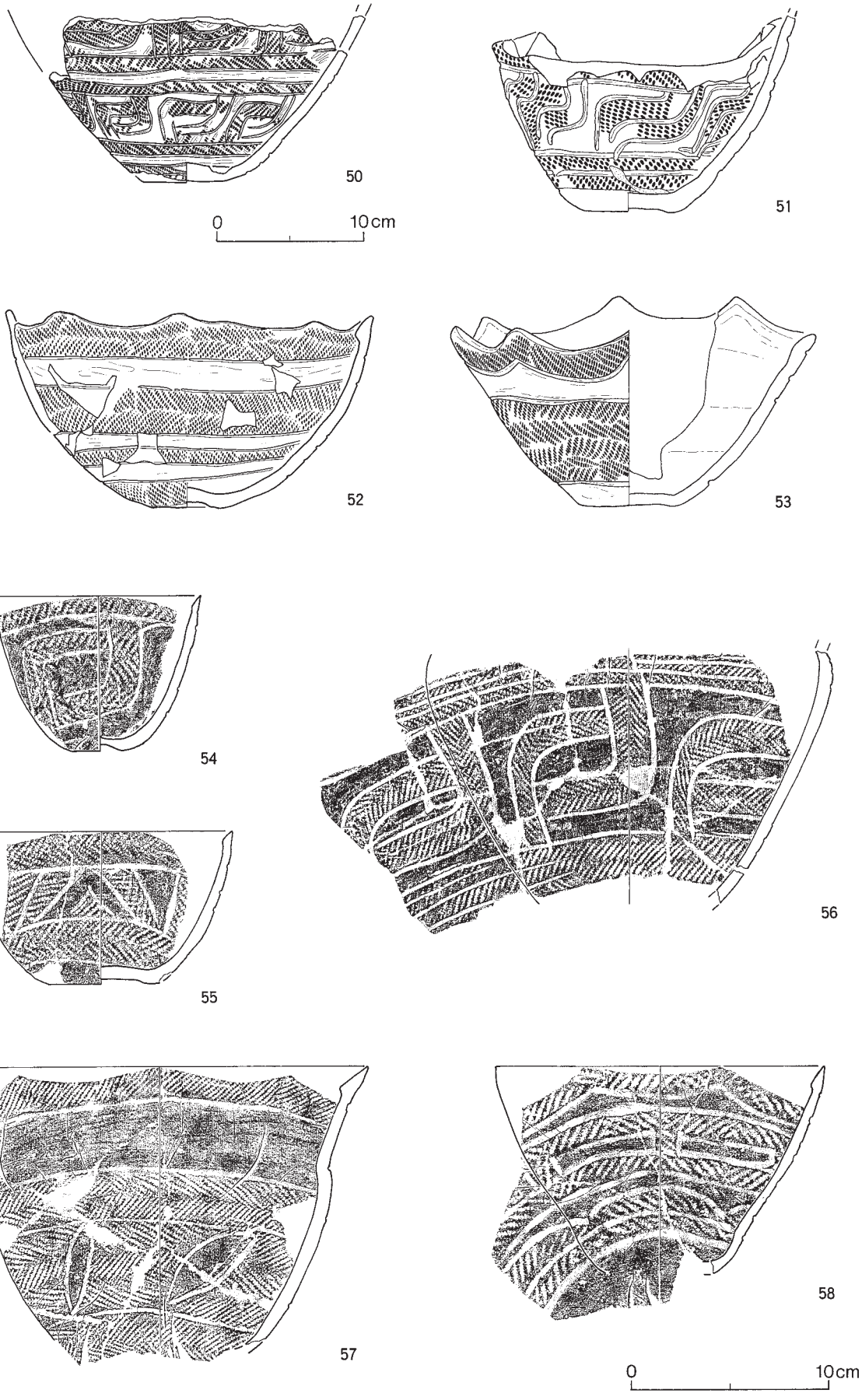
図Ⅴ－７　盛土遺構上位出土の土器（７）
突瘤・帯状文⑥



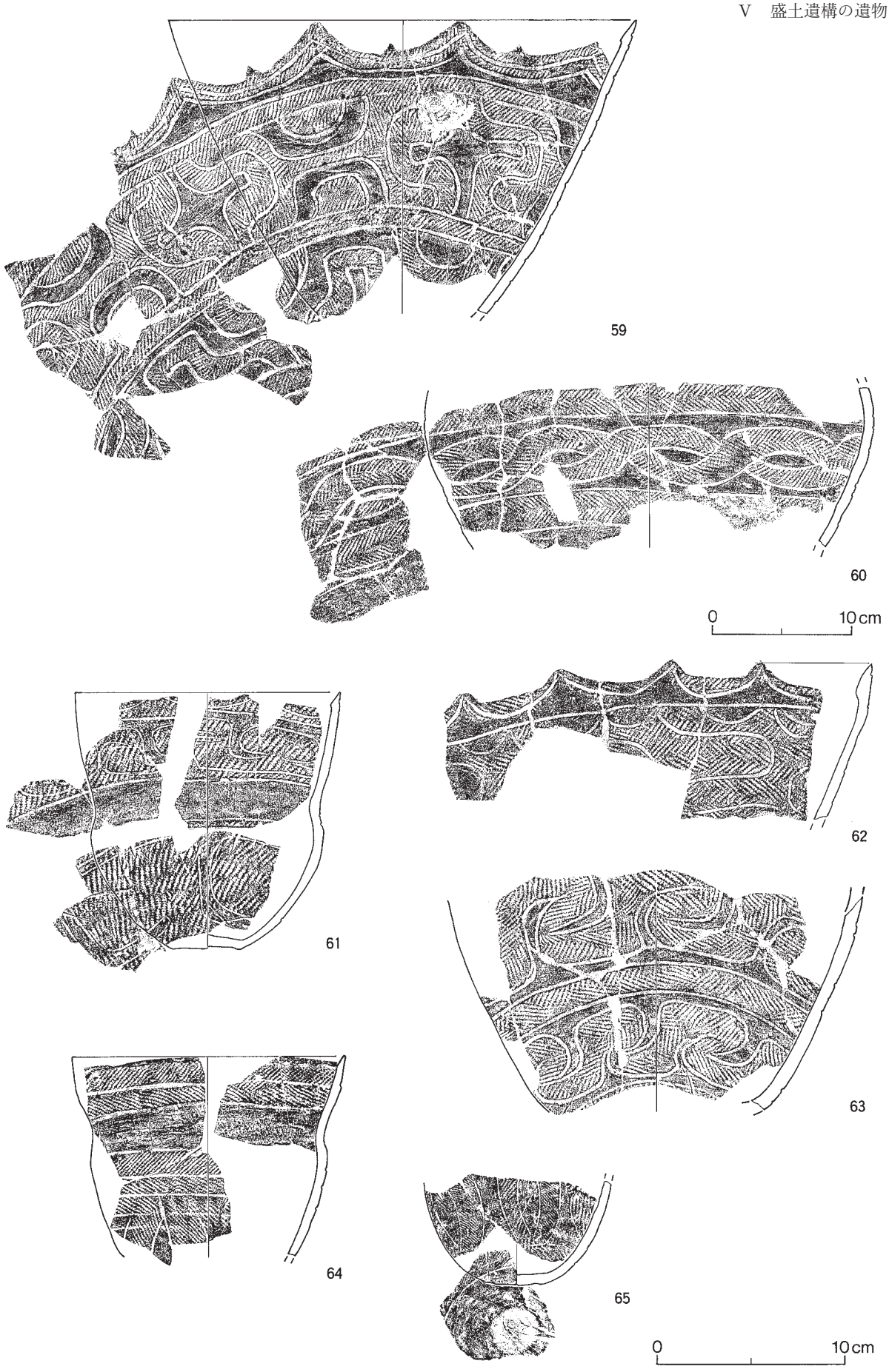
図Ⅴ－８　盛土遺構上位出土の土器（８）
突瘤・帯状文⑦



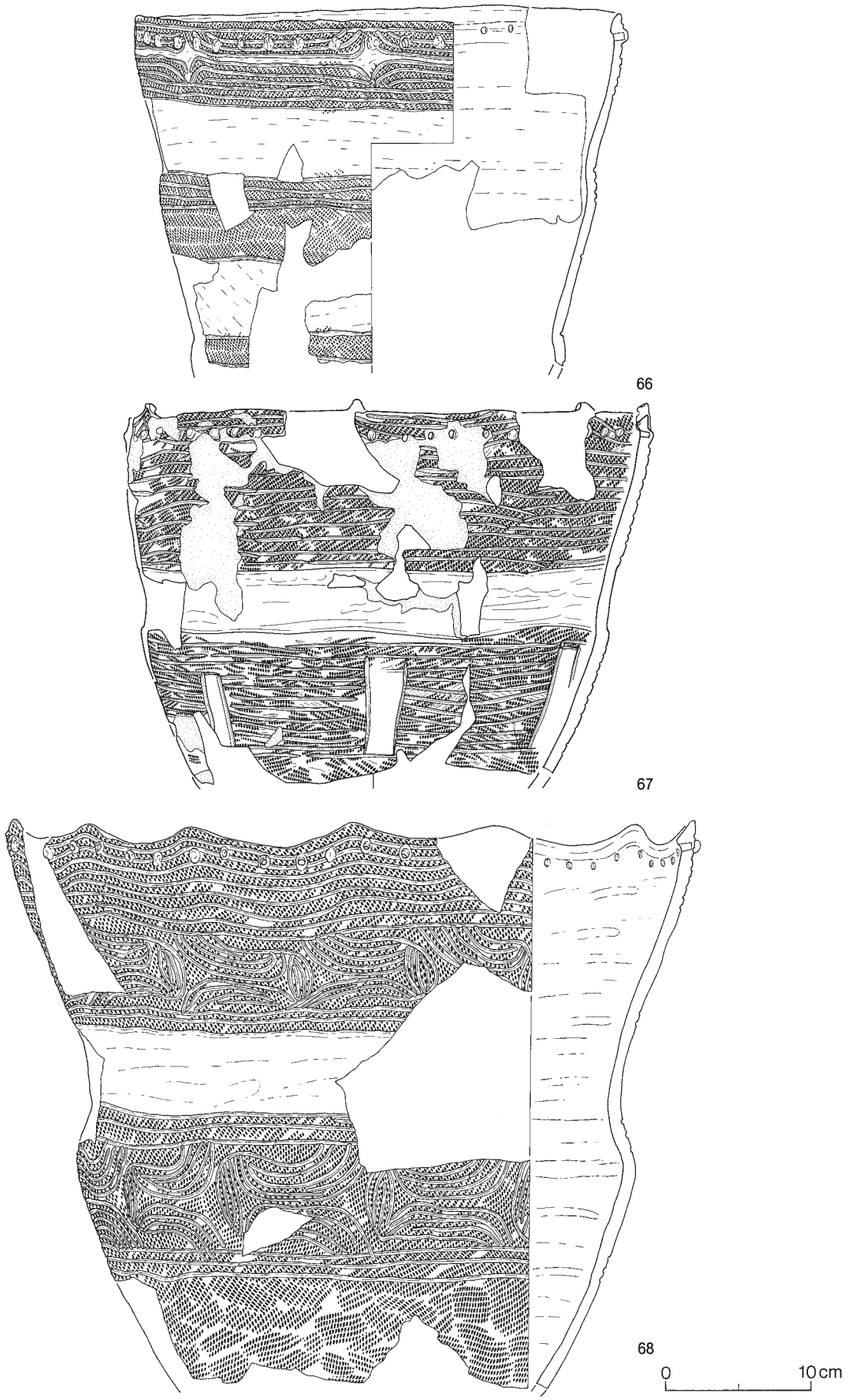
図Ⅴ－９　盛土遺構上位出土の土器（９）
帯状文①



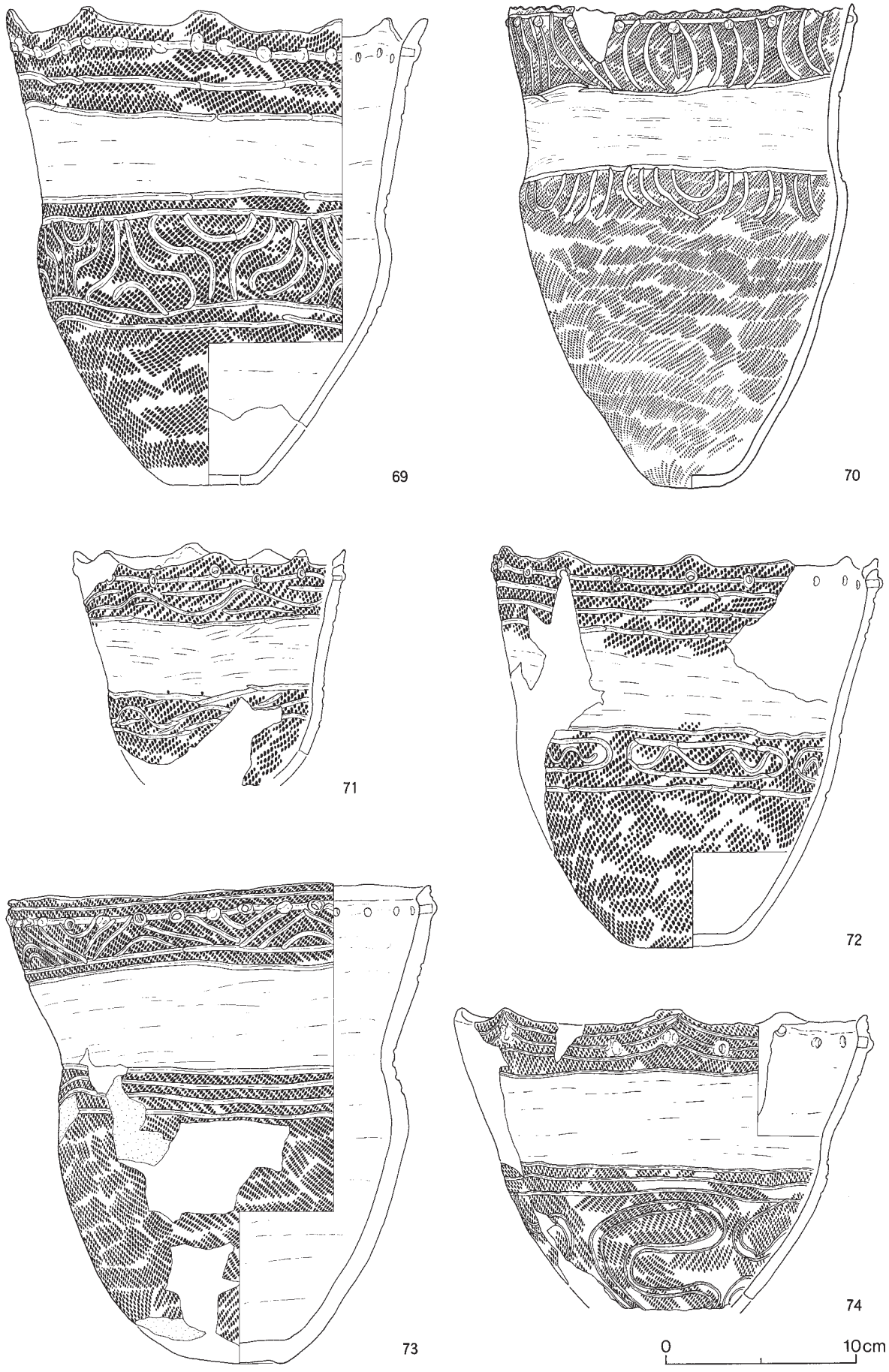
図Ⅴ－10　盛土遺構上位出土の土器（10）
帯状文②



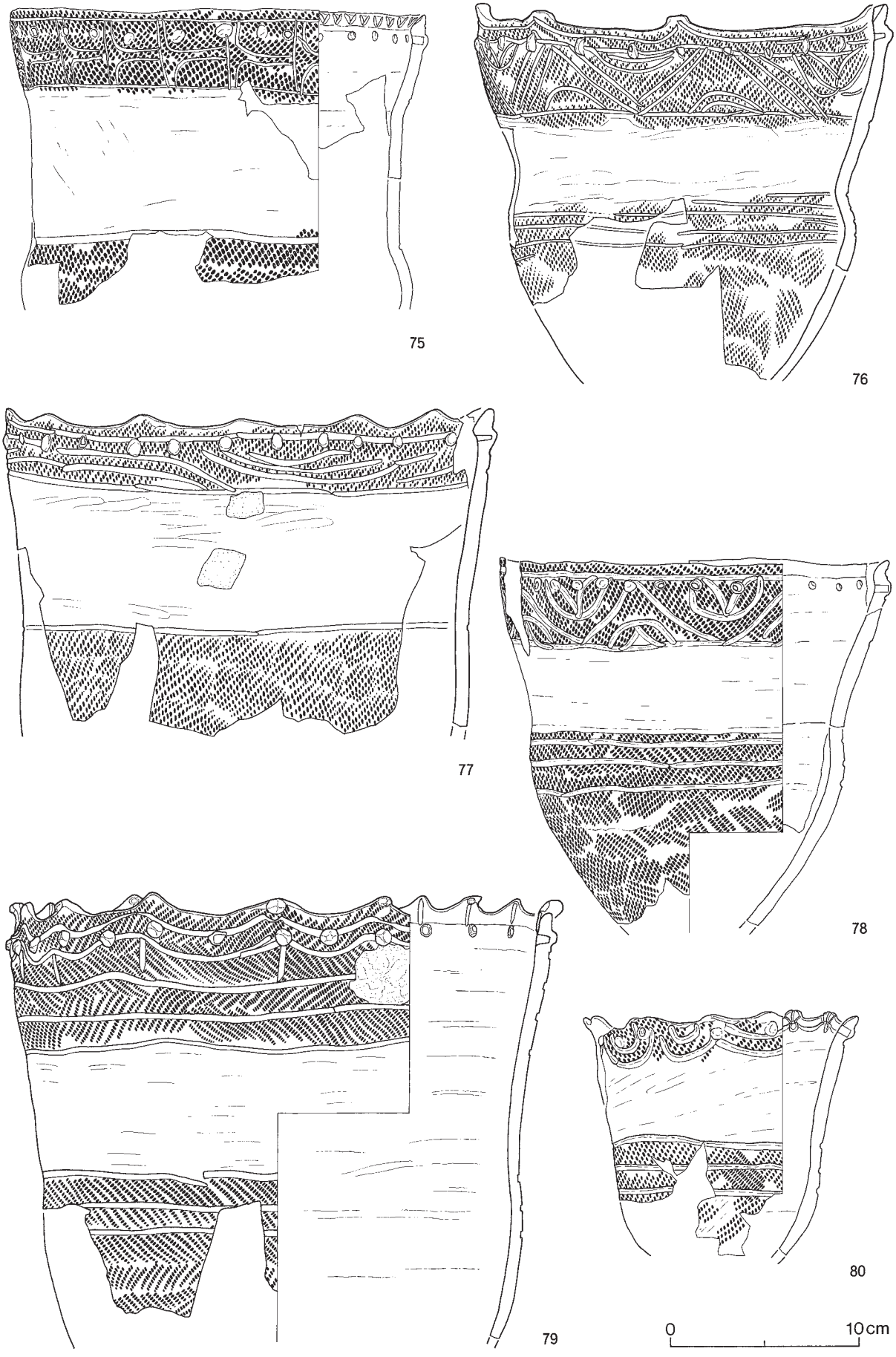
図Ⅴ－11　盛土遺構上位出土の土器（11）
帯状文③



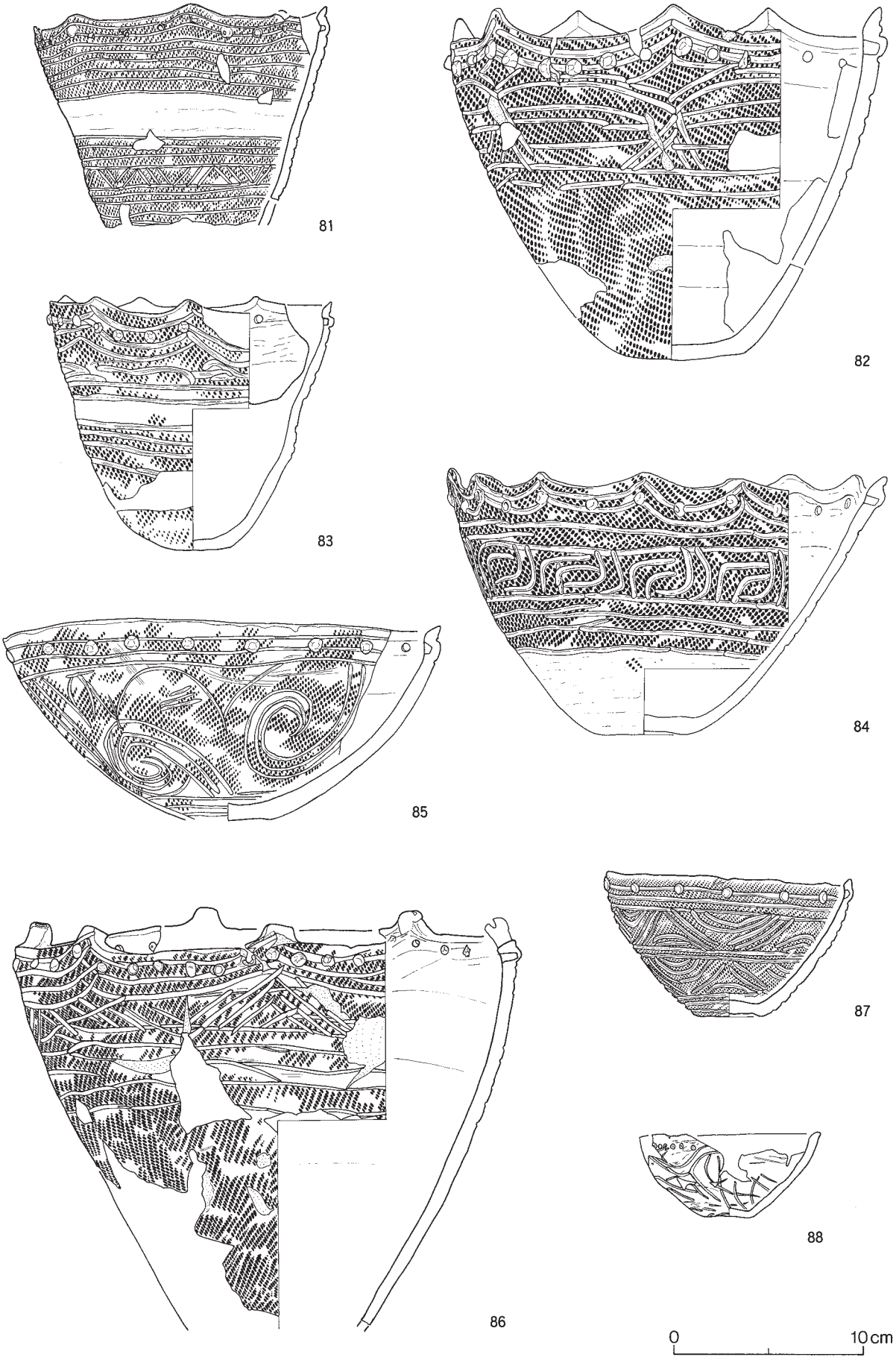
図Ⅴ－12　盛土遺構上位出土の土器（12）
突瘤・沈線①



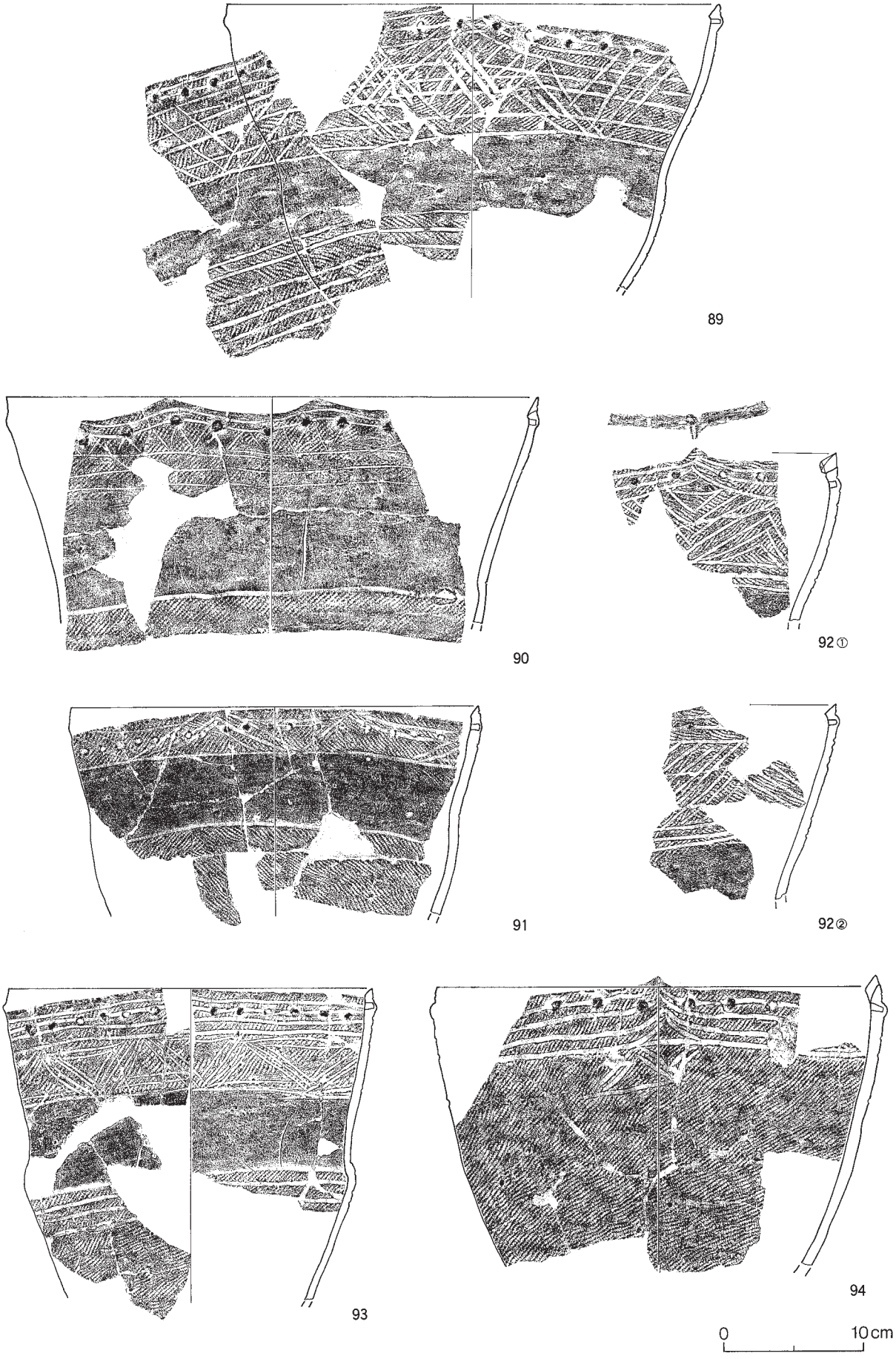
図Ⅴ－13　盛土遺構上位出土の土器（13）
突瘤・沈線②



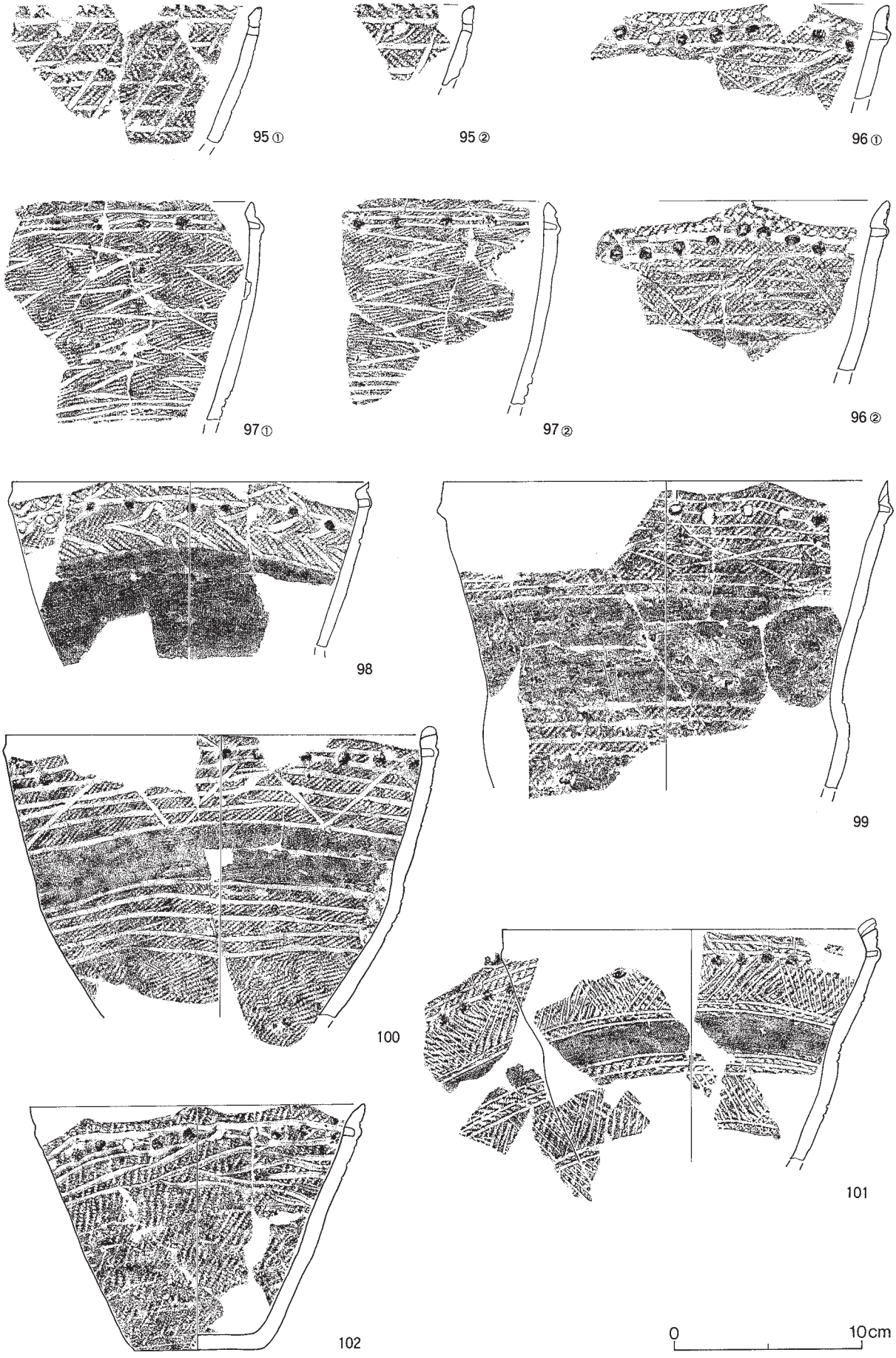
図Ⅴ－14　盛土遺構上位出土の土器（14）
突瘤・沈線③



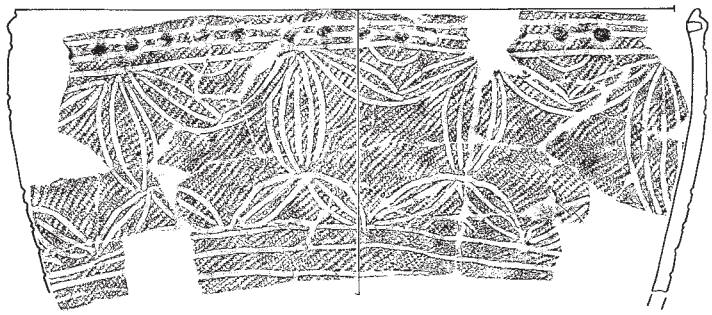
図Ⅴ－15　盛土遺構上位出土の土器（15）
突瘤・沈線④

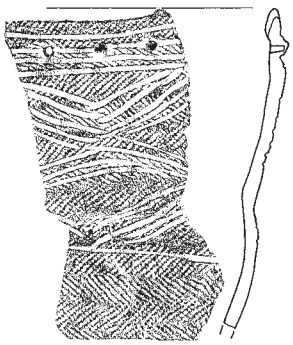


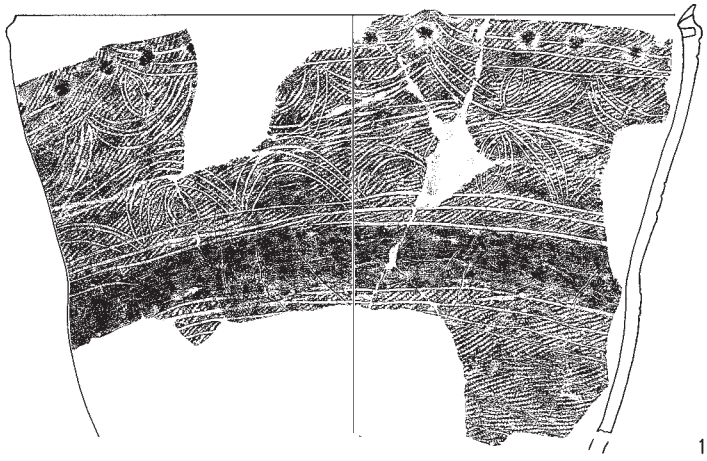
図Ⅴ－16　盛土遺構上位出土の土器（16）
突瘤・沈線⑤



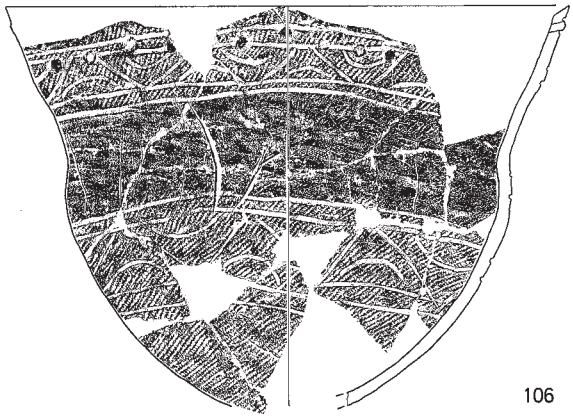
図Ⅴ－17　盛土遺構上位出土の土器（17）
突瘤・沈線⑥

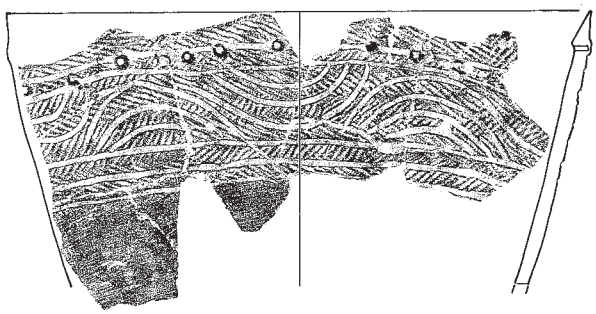

103

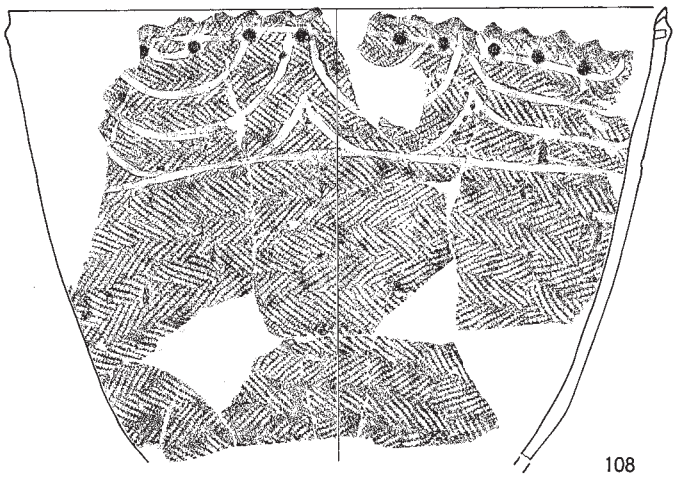

105①


104

105②

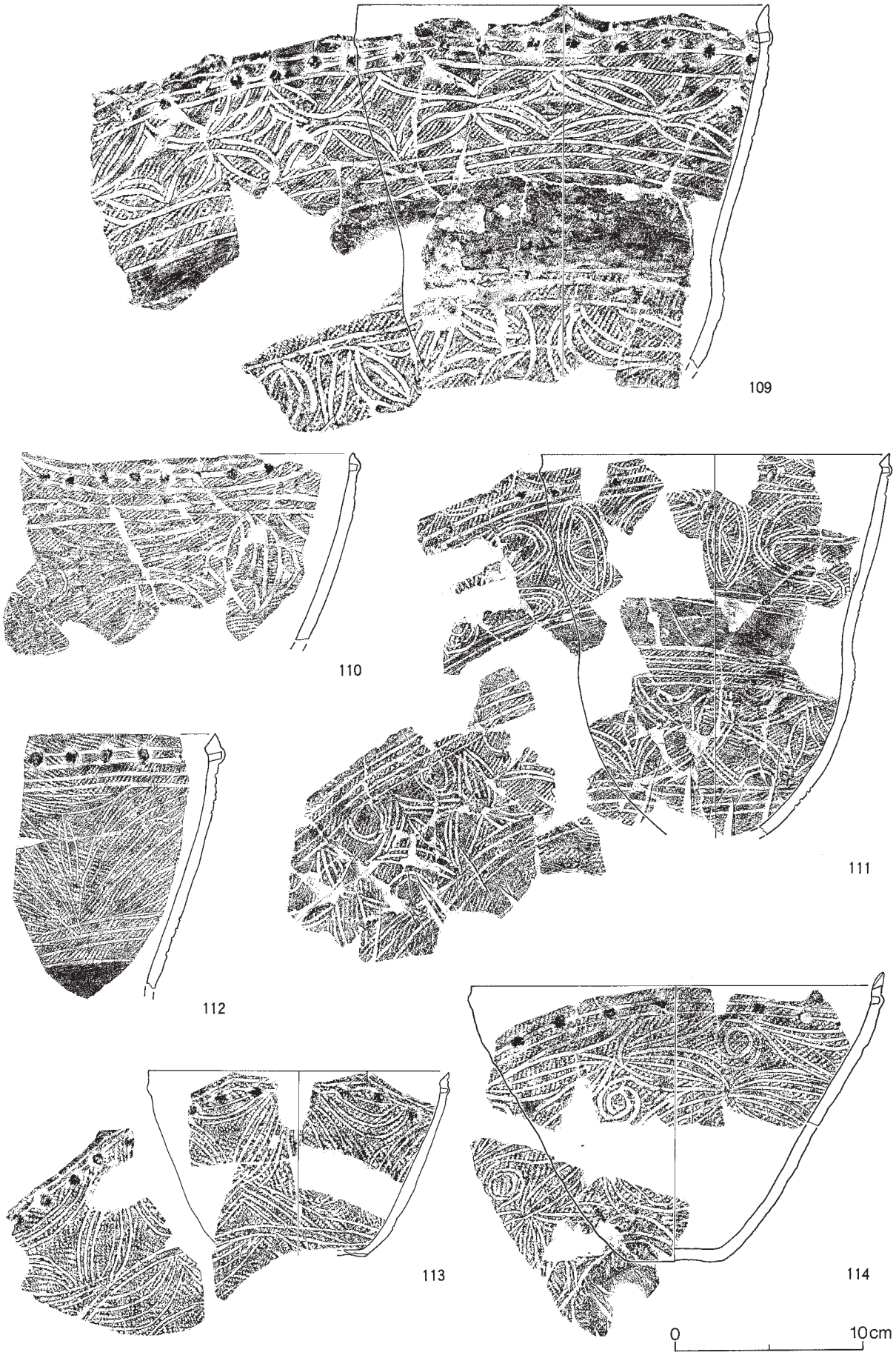

106


107

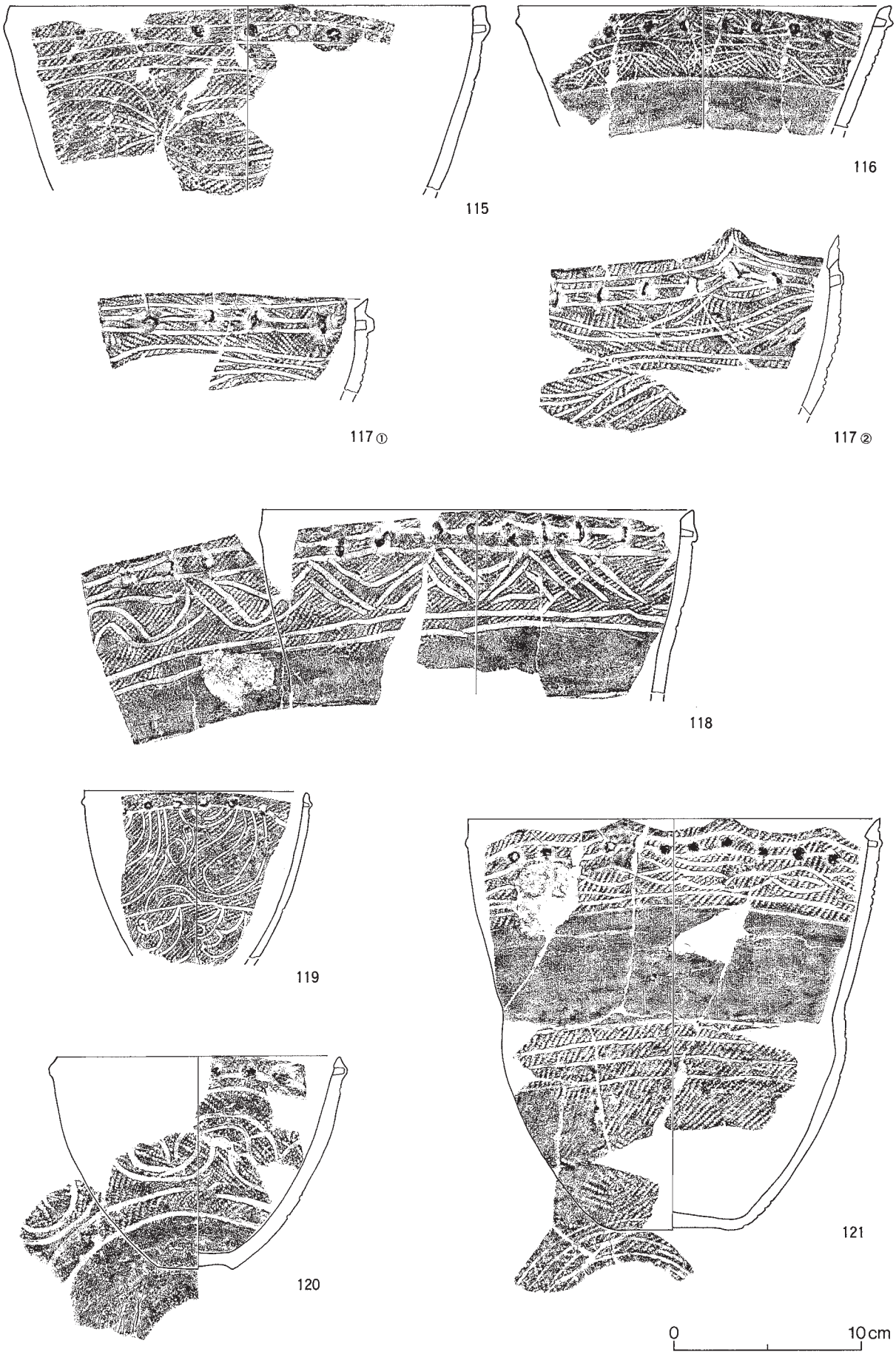

108

0　10cm

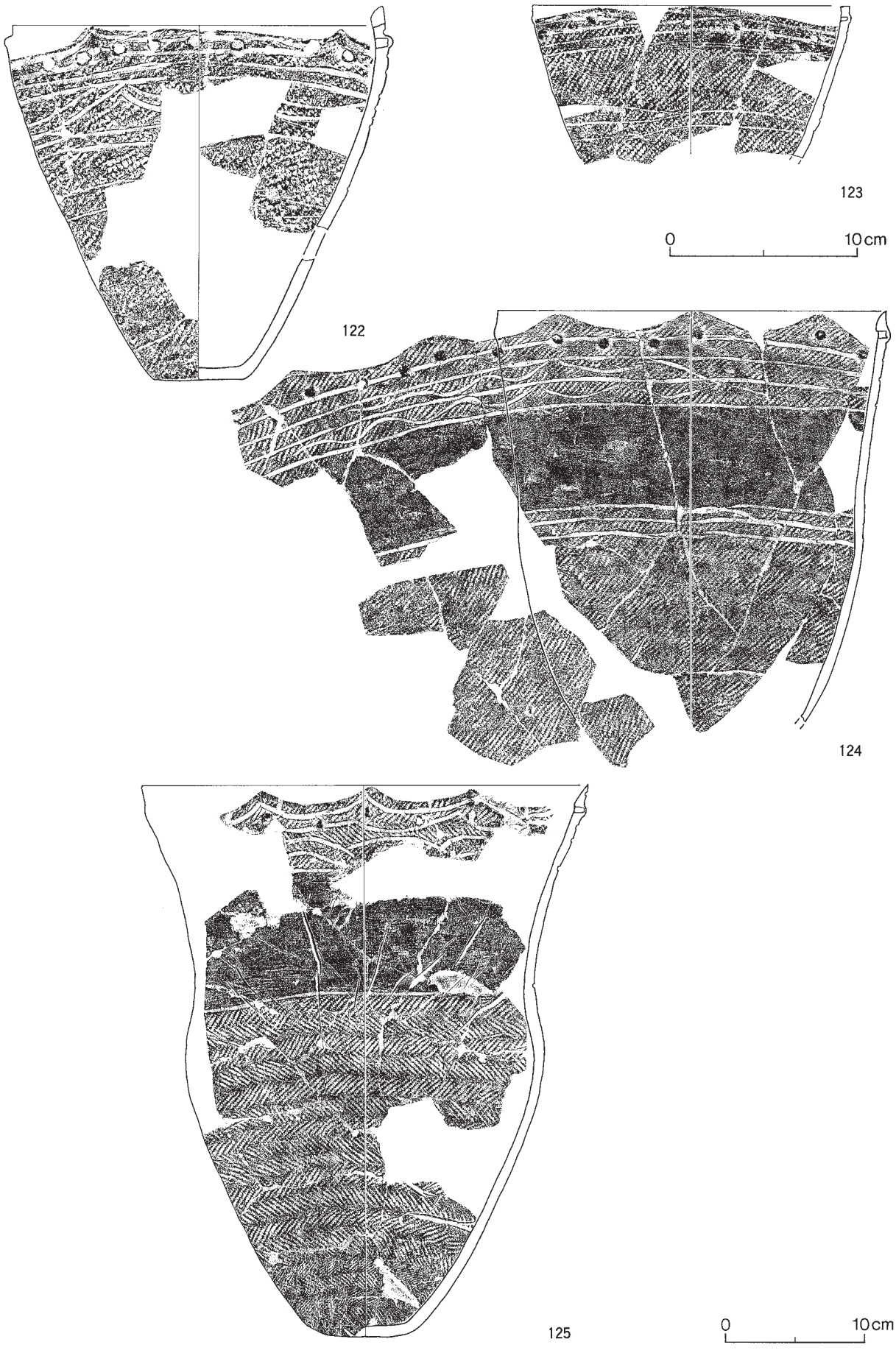
図Ⅴ－18　盛土遺構上位出土の土器（18）
突瘤・沈線⑦



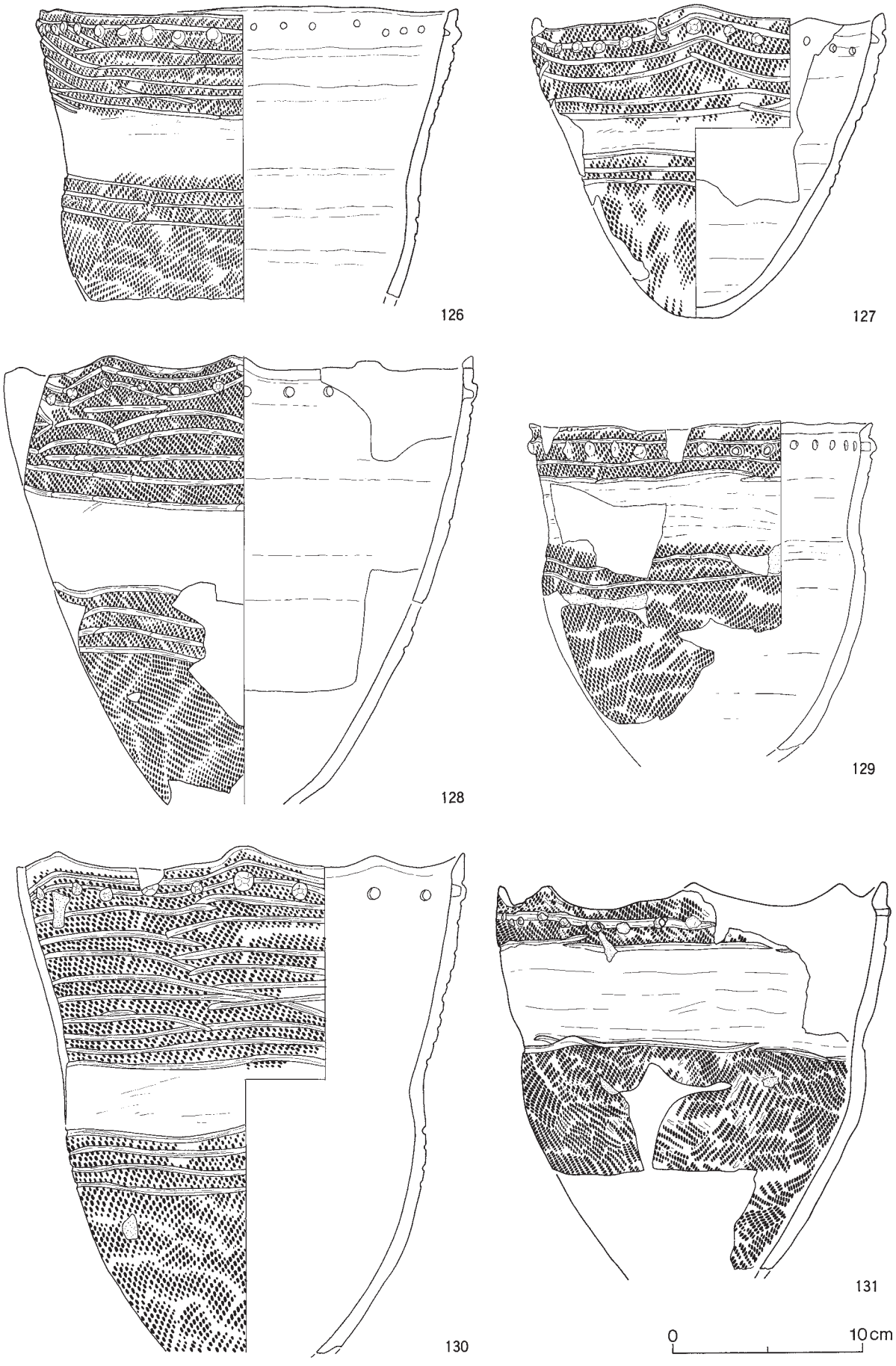
図Ⅴ－19　盛土遺構上位出土の土器（19）
突瘤・沈線⑧



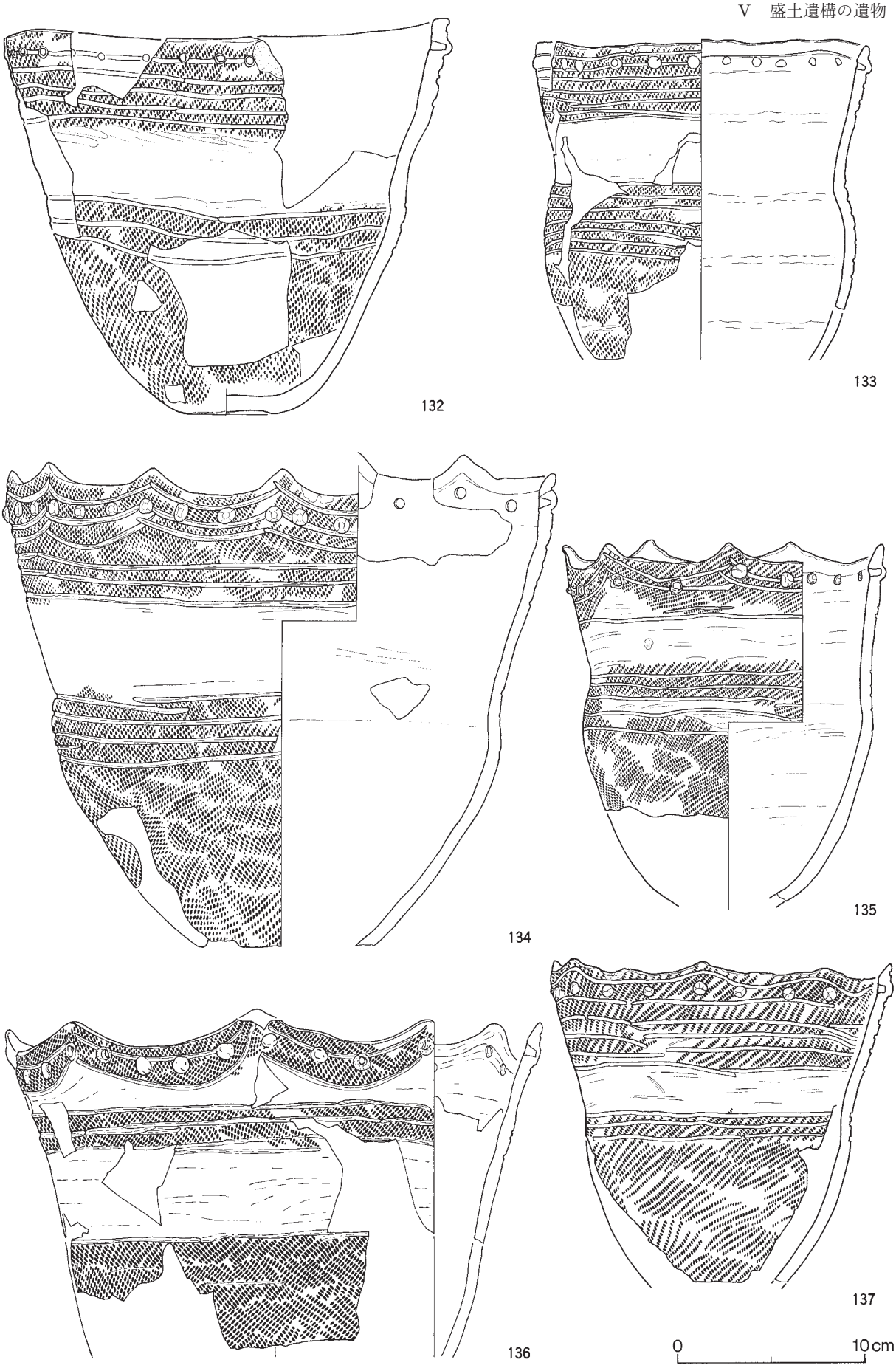
図Ⅴ－20　盛土遺構上位出土の土器（20）
突瘤・沈線⑨



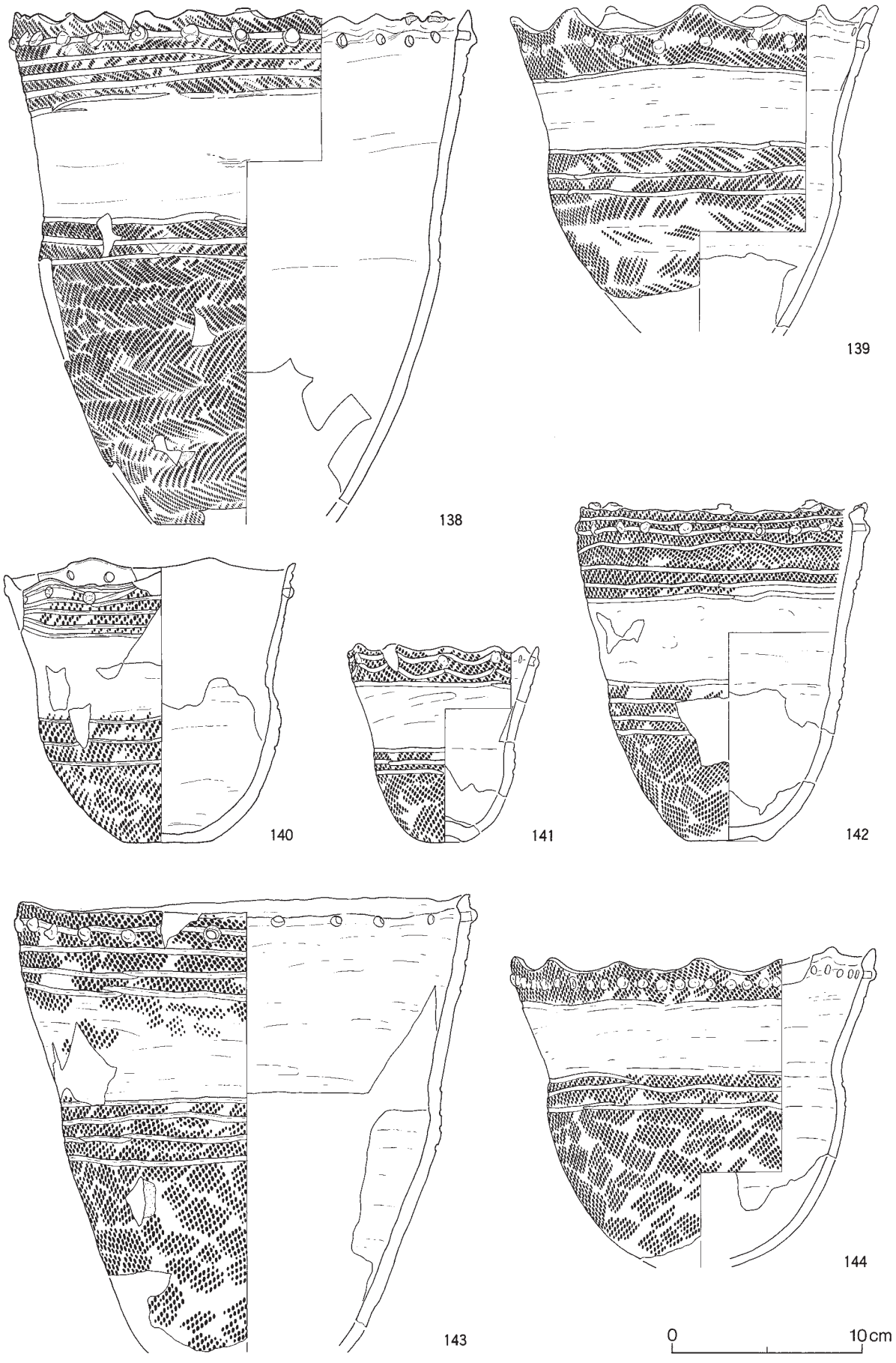
図Ⅴ－21　盛土遺構上位出土の土器（21）
突瘤・沈線⑩



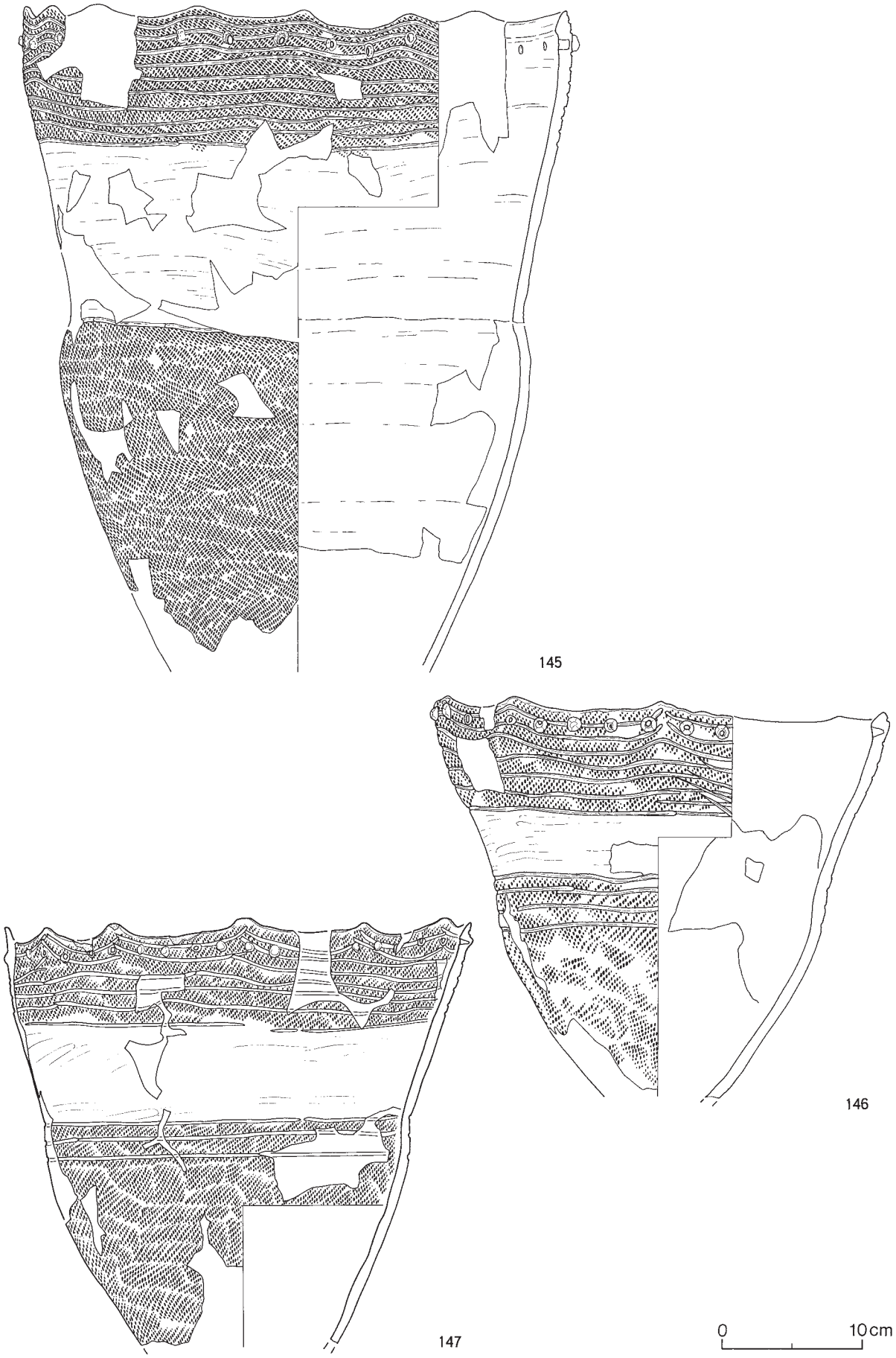
図Ⅴ－22　盛土遺構上位出土の土器（22）
突瘤・横走沈線①



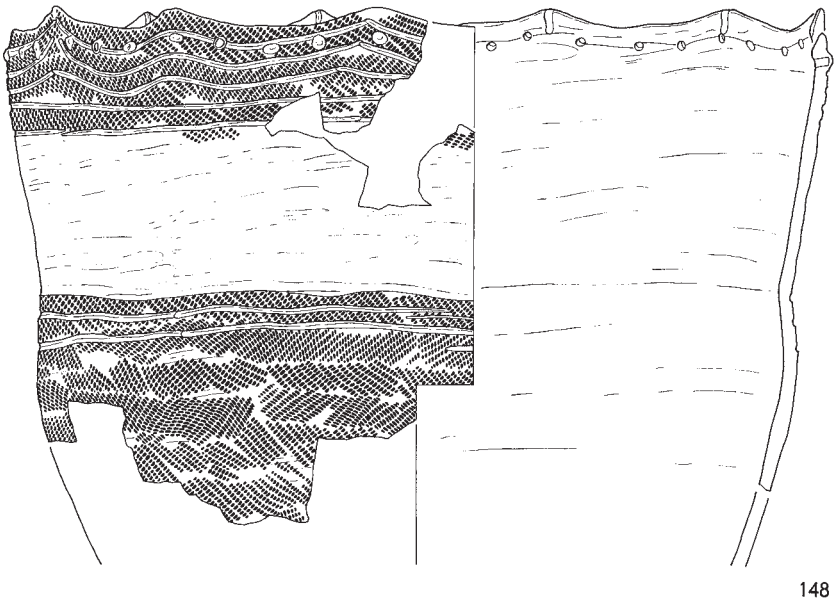
図Ⅴ－23　盛土遺構上位出土の土器（23）
突瘤・横走沈線②



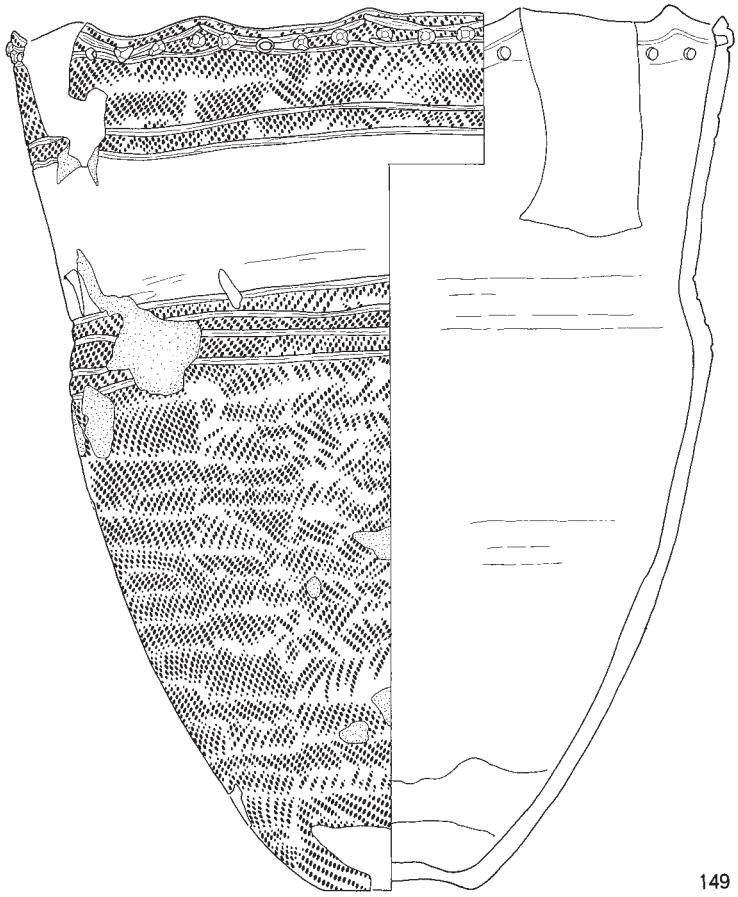
図Ⅴ－24　盛土遺構上位出土の土器（24）
突瘤・横走沈線③



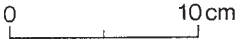
図Ⅴ－25　盛土遺構上位出土の土器（25）
突瘤・横走沈線④



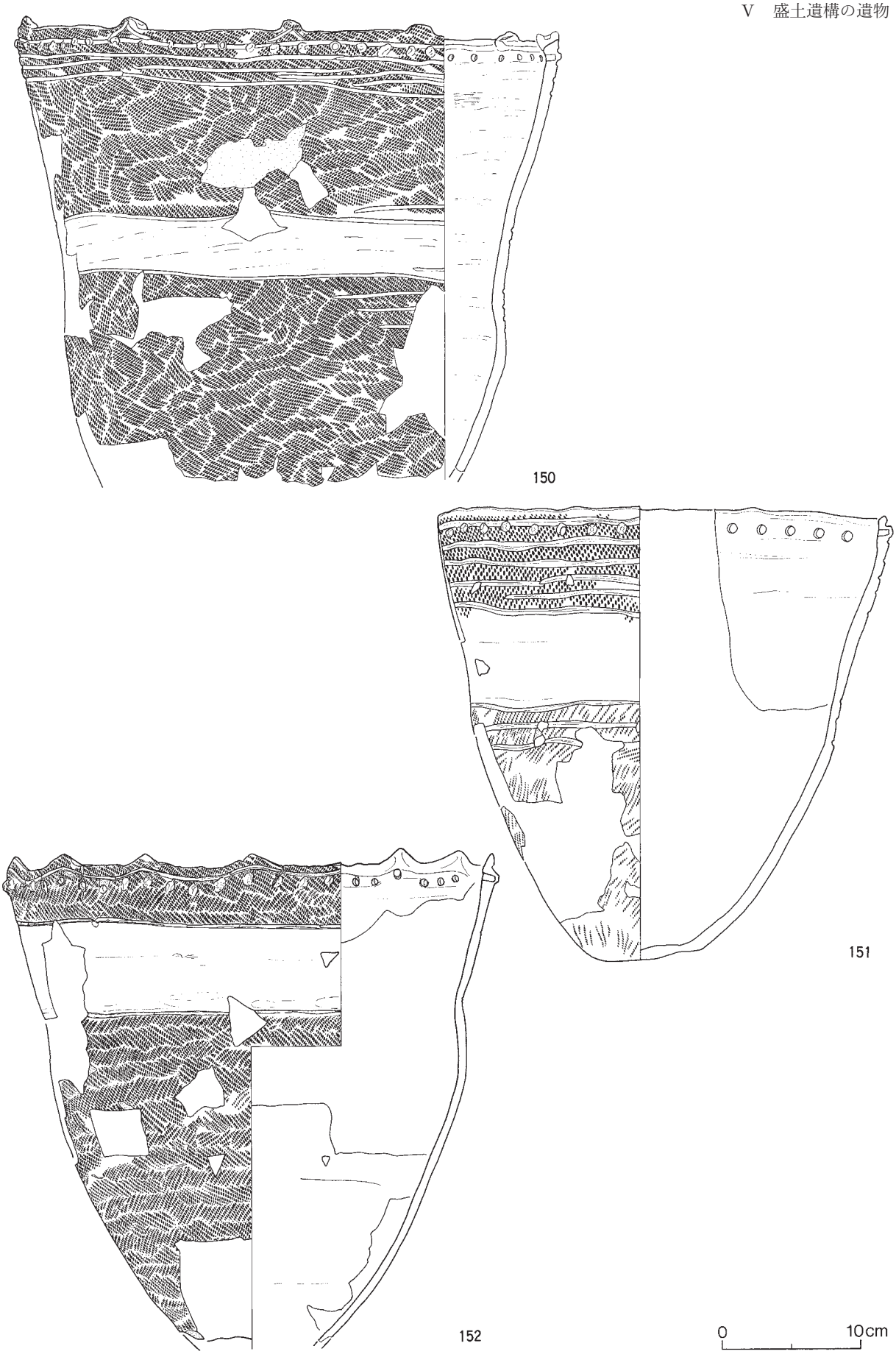
148



149



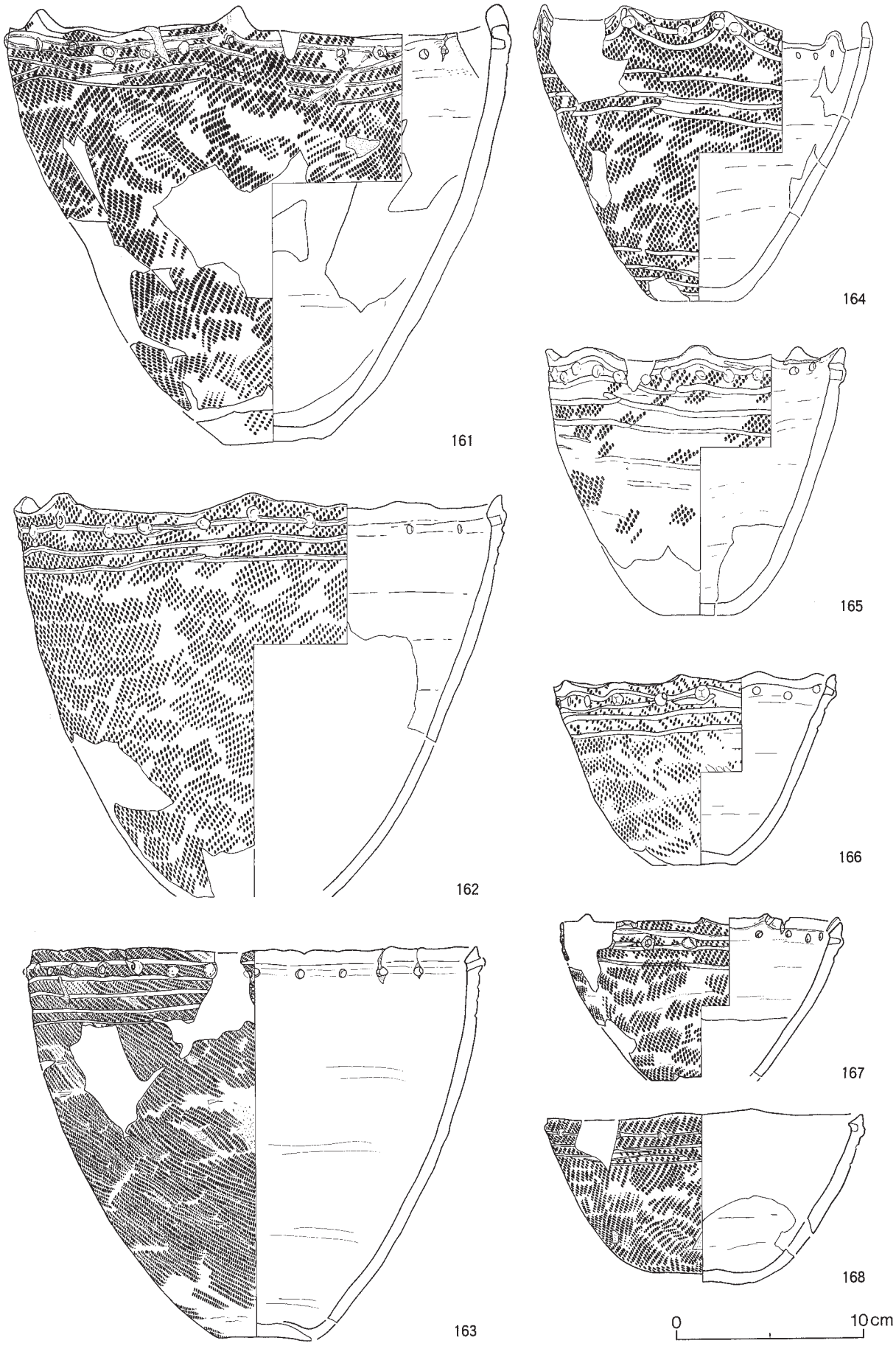
図Ⅴ－26　盛土遺構上位出土の土器（26）
突瘤・横走沈線⑤



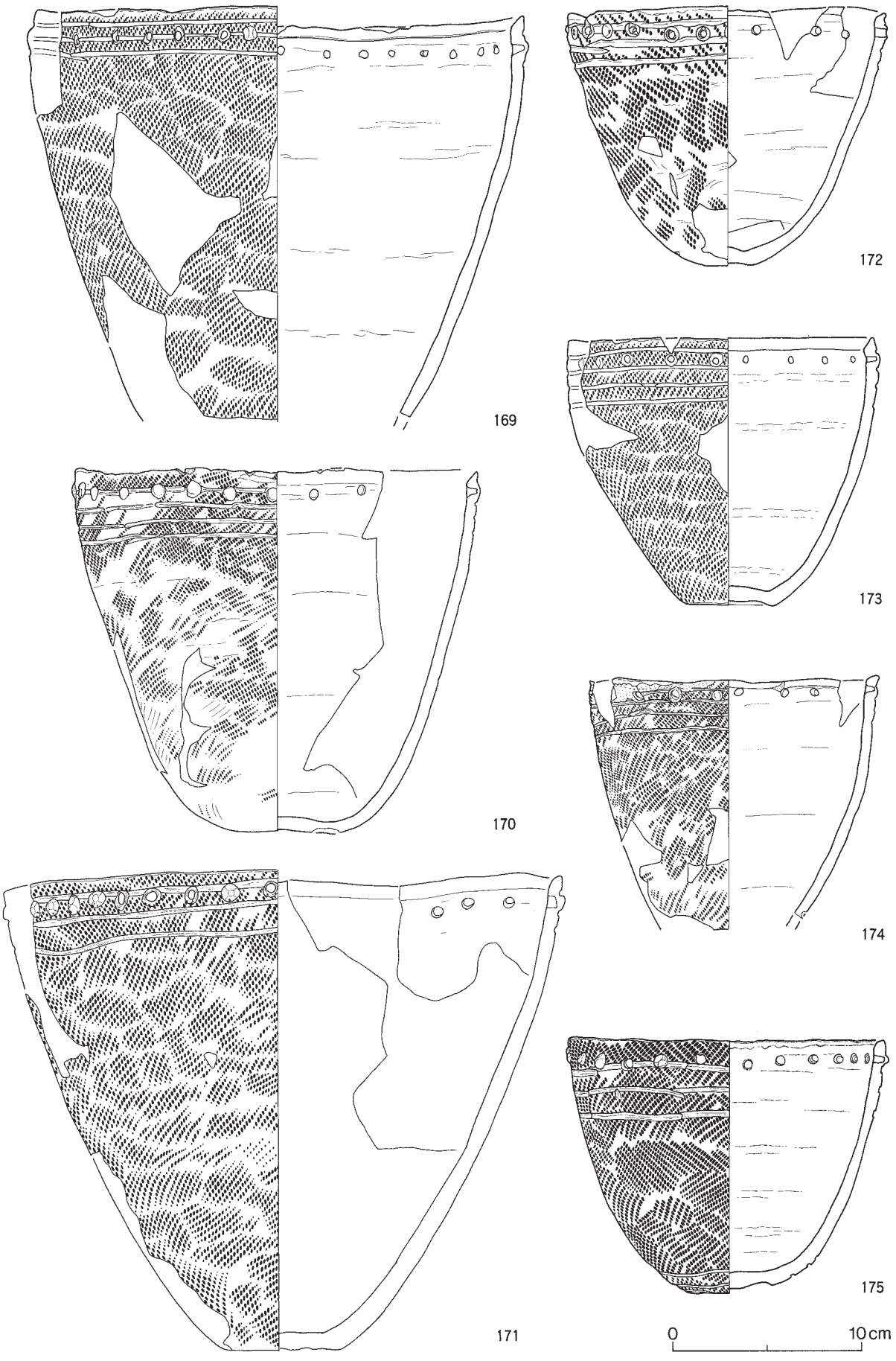
図Ⅴ－27　盛土遺構上位出土の土器（27）
突瘤・横走沈線⑥

図Ⅴ－28　盛土遺構上位出土の土器（28）
突瘤・横走沈線⑦

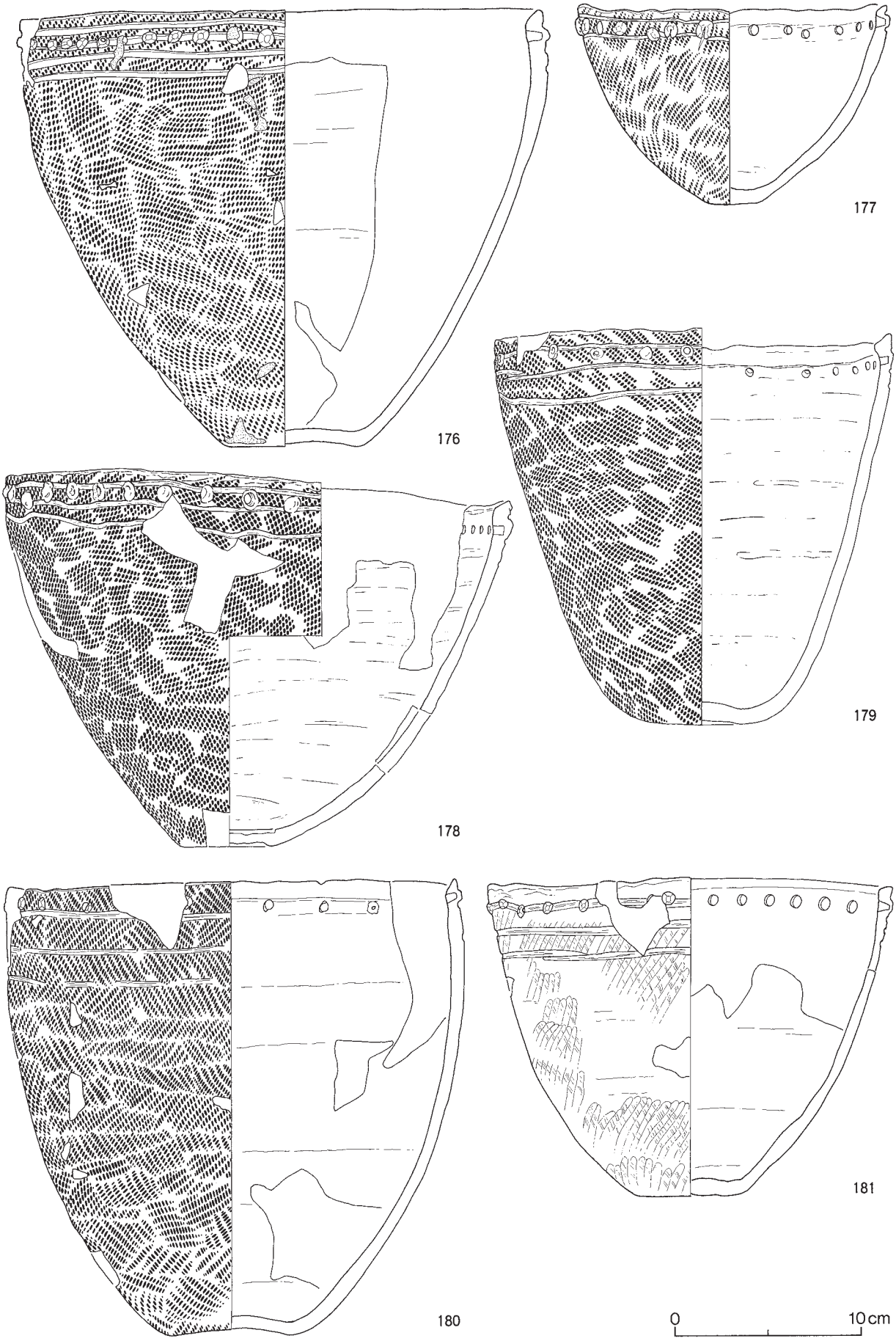
図Ⅴ－29　盛土遺構上位出土の土器（29）
突瘤・横走沈線⑧



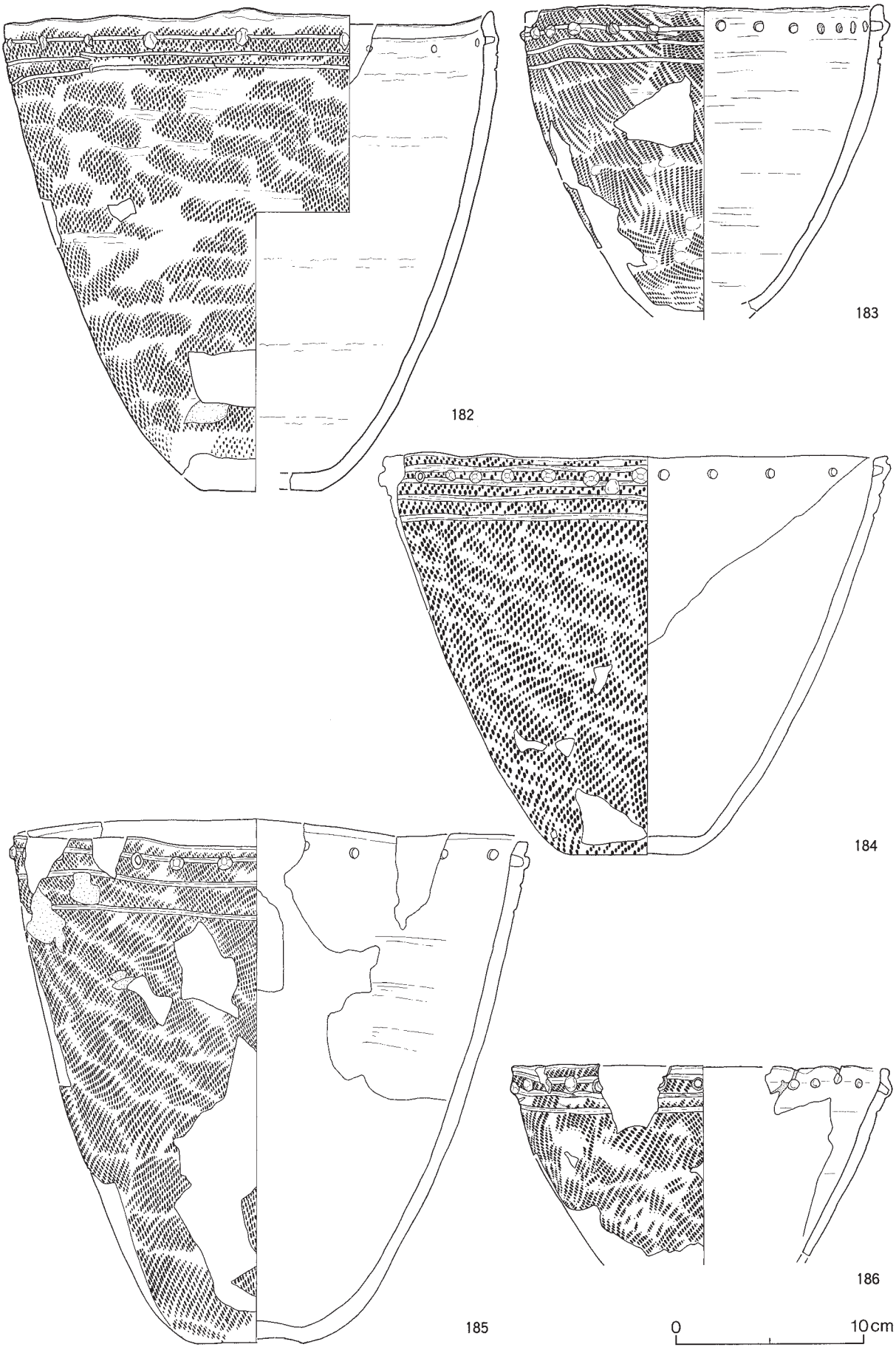
図Ⅴ－30　盛土遺構上位出土の土器（30）
突瘤・横走沈線⑨



図Ⅴ－31　盛土遺構上位出土の土器（31）
突瘤・横走沈線⑩

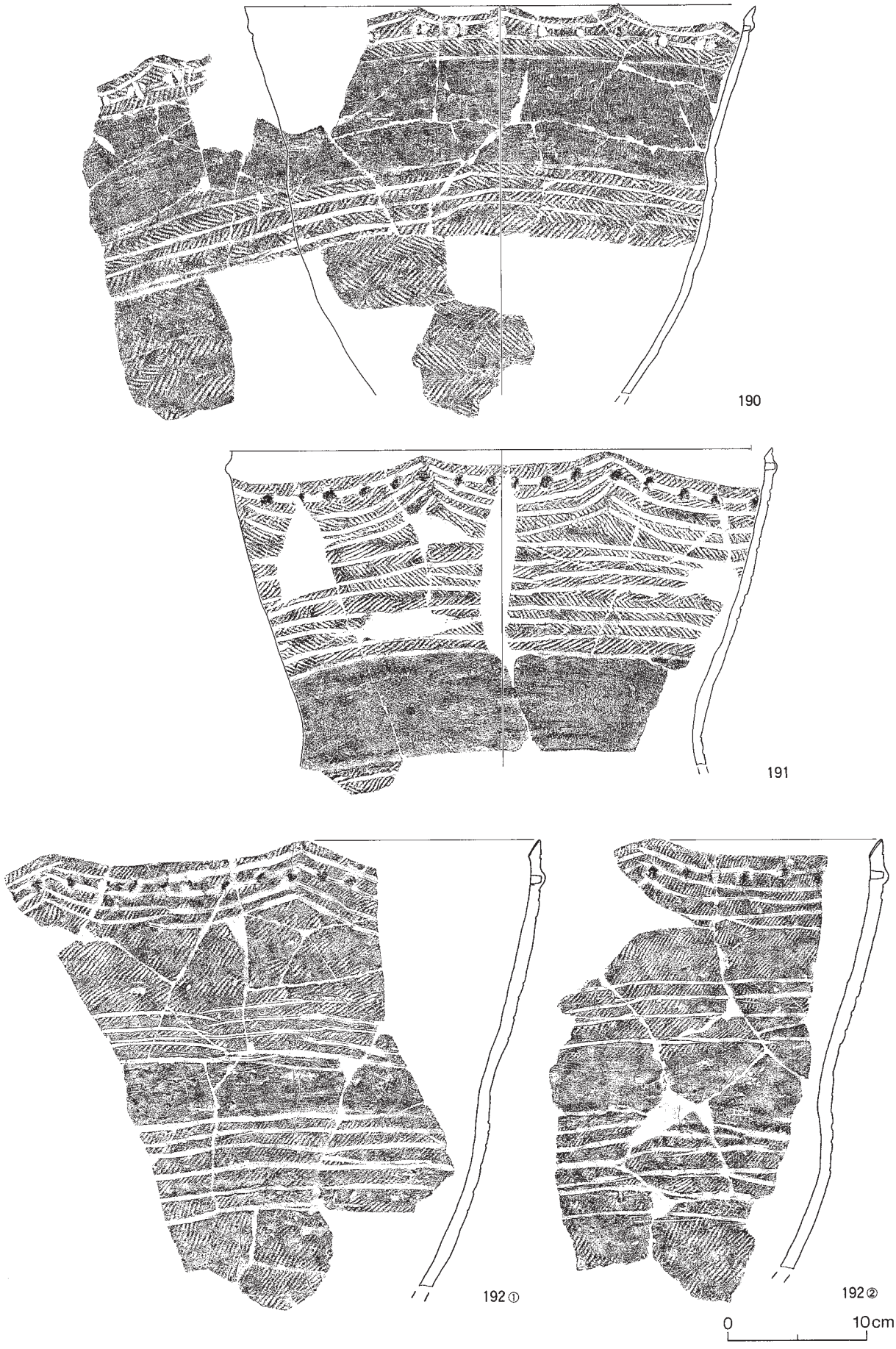


図Ⅴ－32　盛土遺構上位出土の土器（32）
突瘤・横走沈線⑪

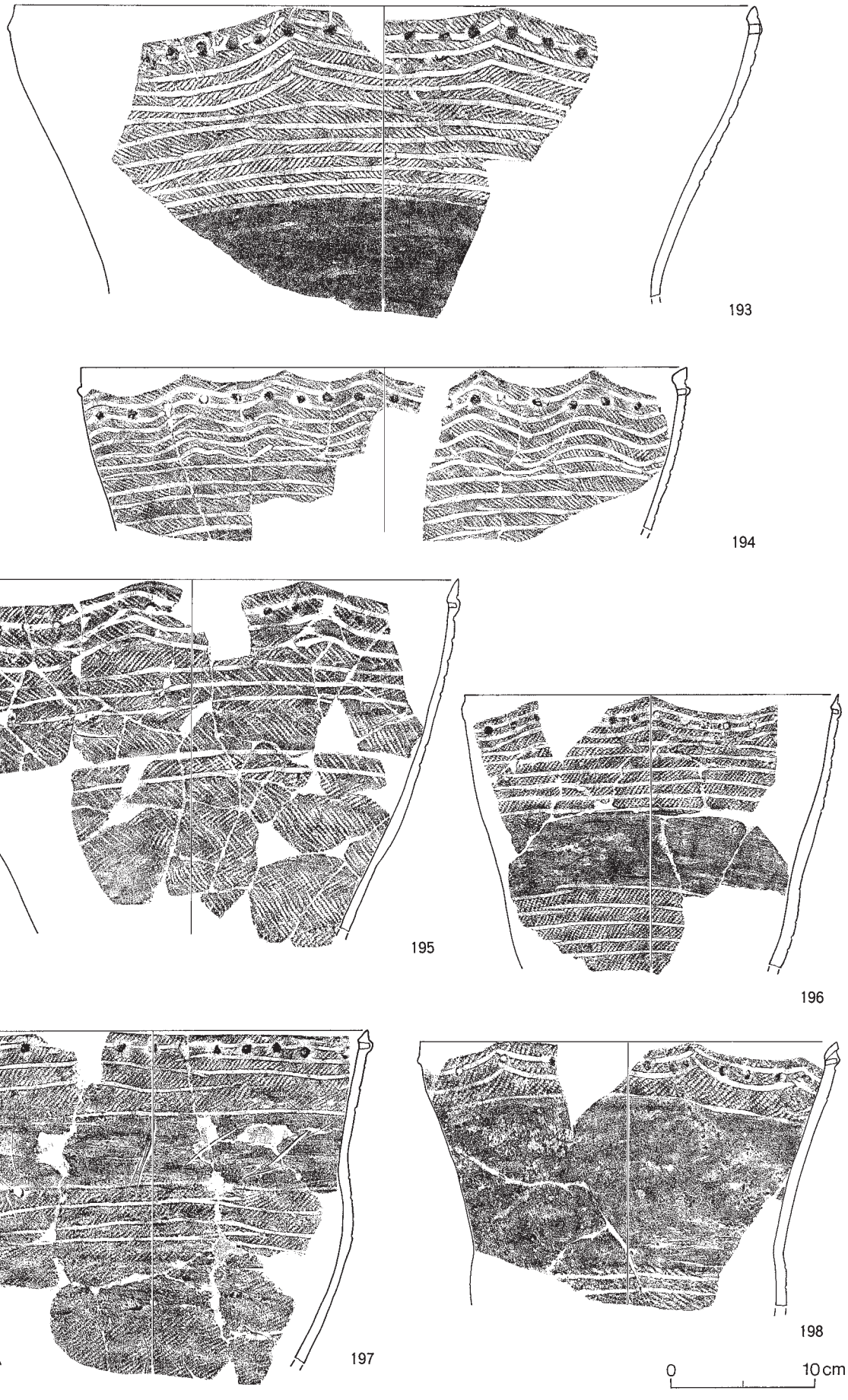


図Ⅴ－33　盛土遺構上位出土の土器（33）
突瘤・横走沈線⑫

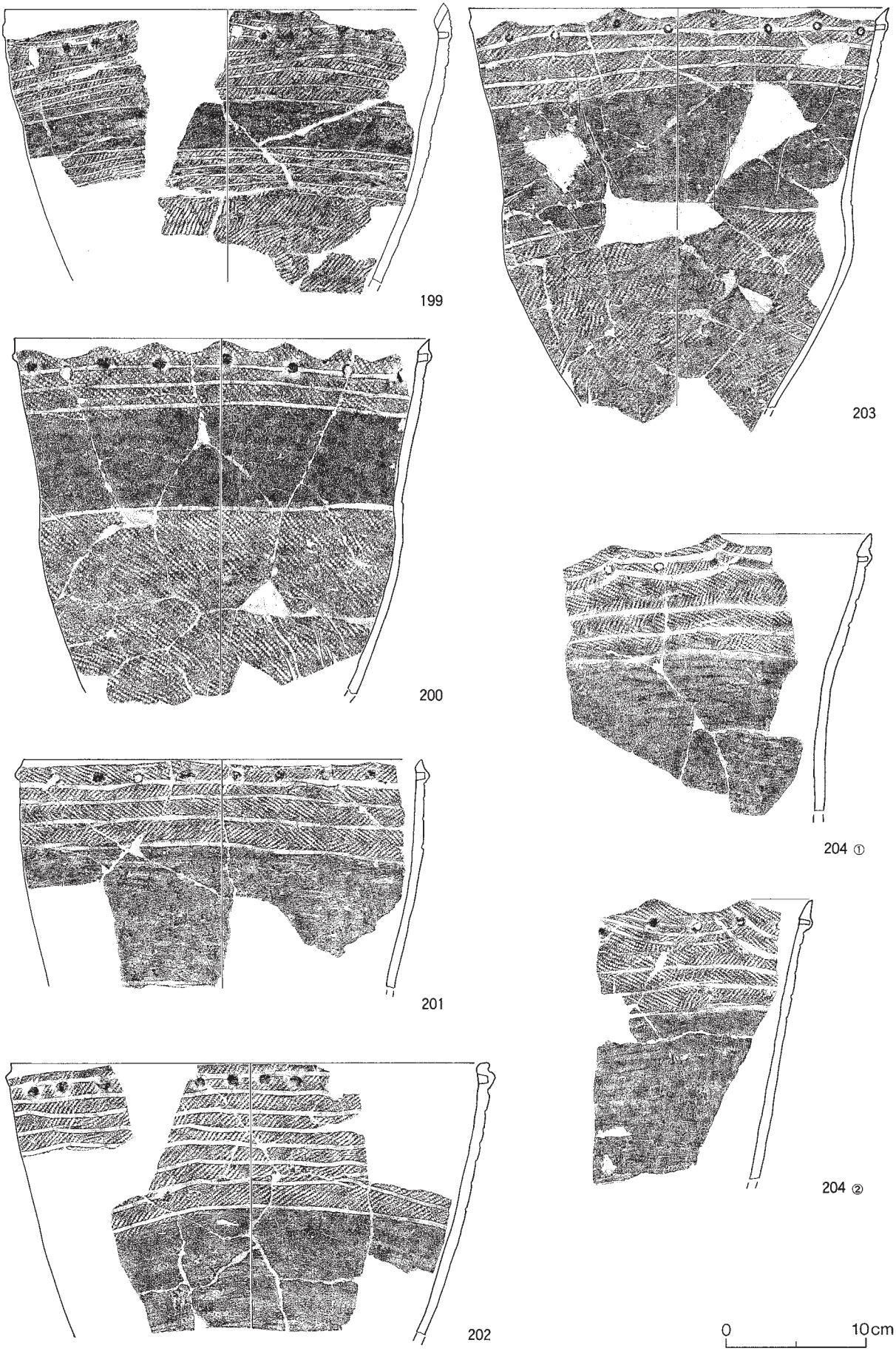
図Ⅴ－34　盛土遺構上位出土の土器（34）
突瘤・横走沈線⑬



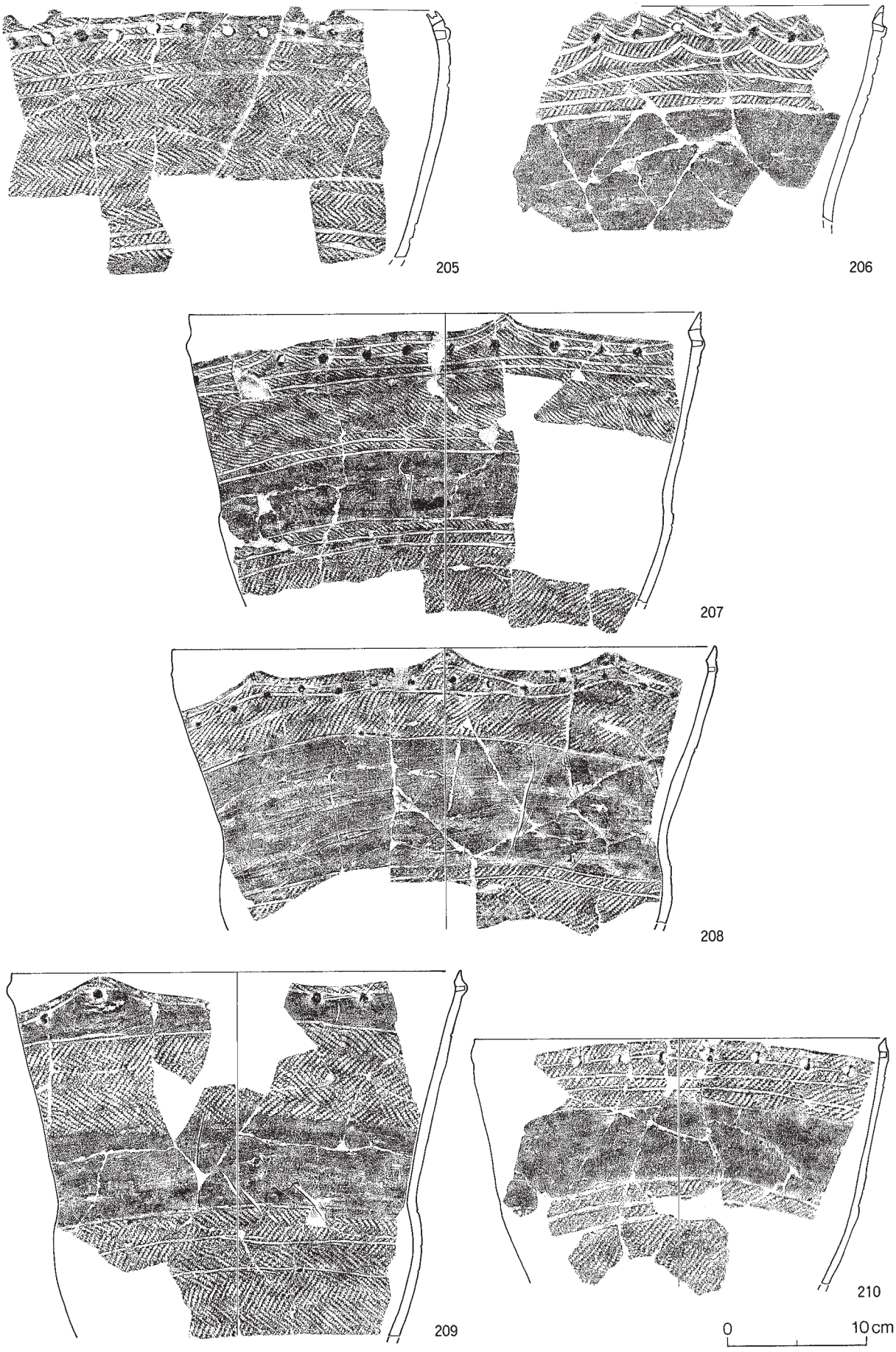
図Ⅴ－35　盛土遺構上位出土の土器（35）
突瘤・横走沈線⑭



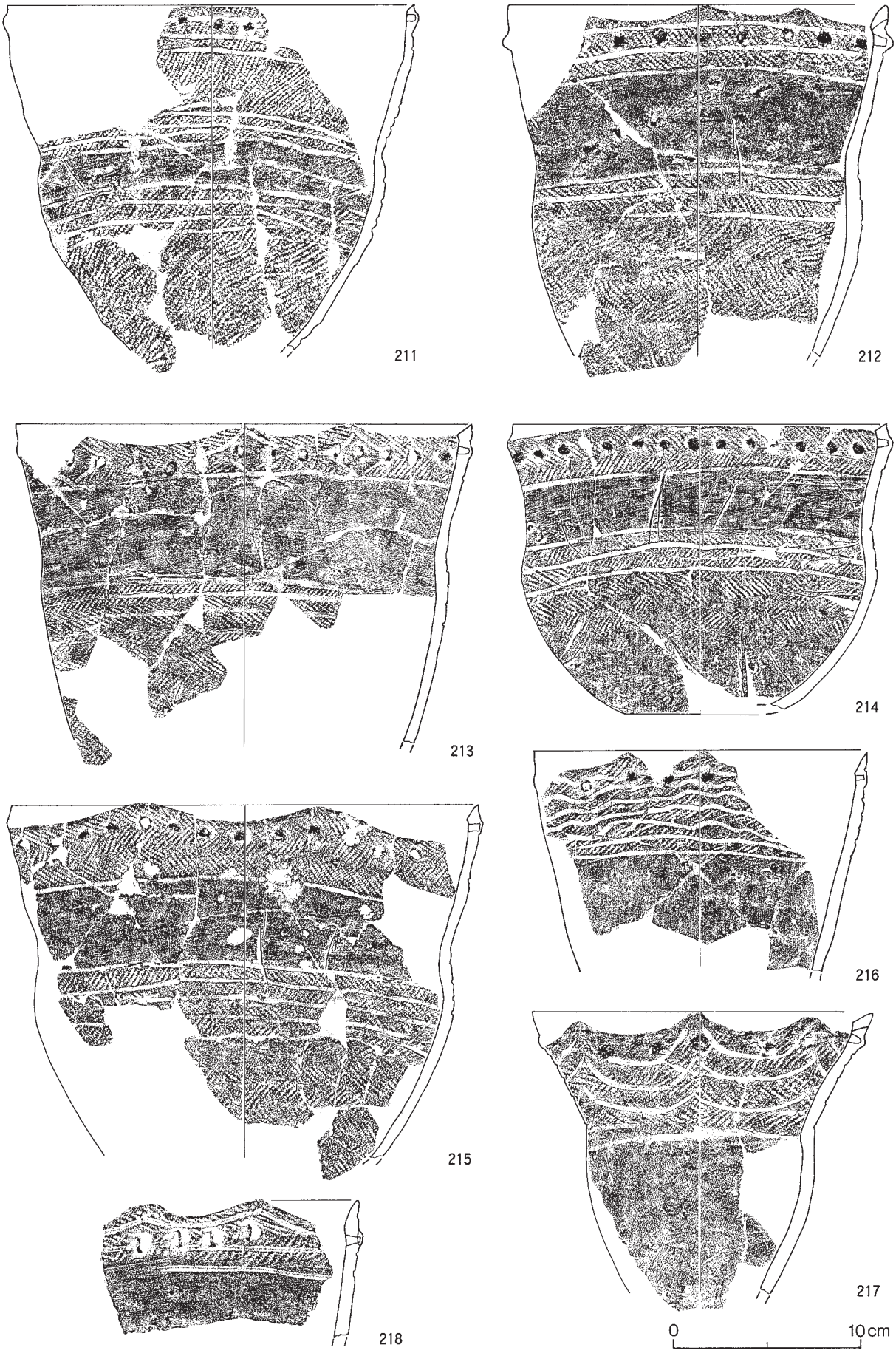
図Ⅴ－36　盛土遺構上位出土の土器（36）
突瘤・横走沈線⑮



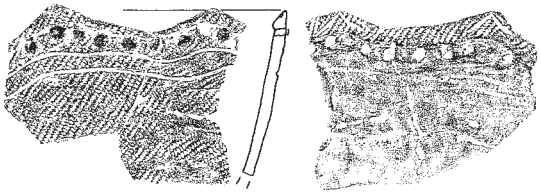
図Ⅴ－37　盛土遺構上位出土の土器（37）
突瘤・横走沈線⑯



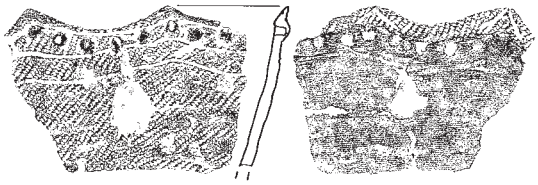
図Ⅴ－38　盛土遺構上位出土の土器（38）
突瘤・横走沈線⑰



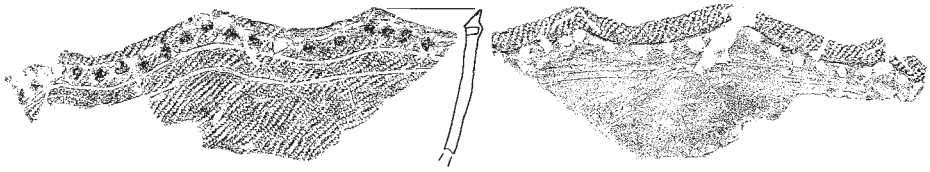
図Ⅴ－39　盛土遺構上位出土の土器（39）
突瘤・横走沈線⑱



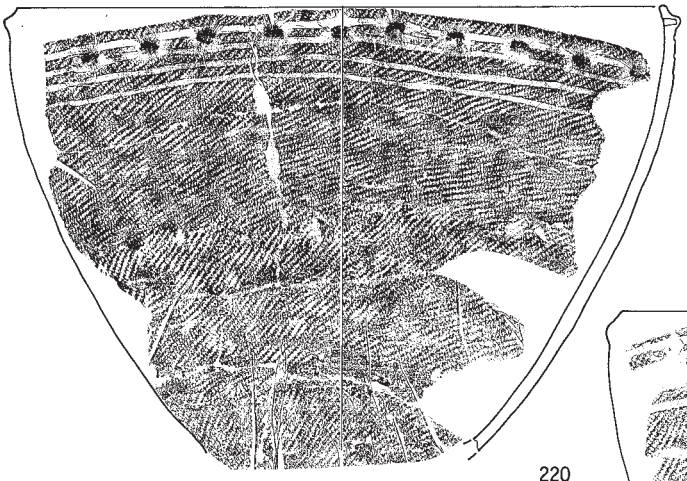
219①



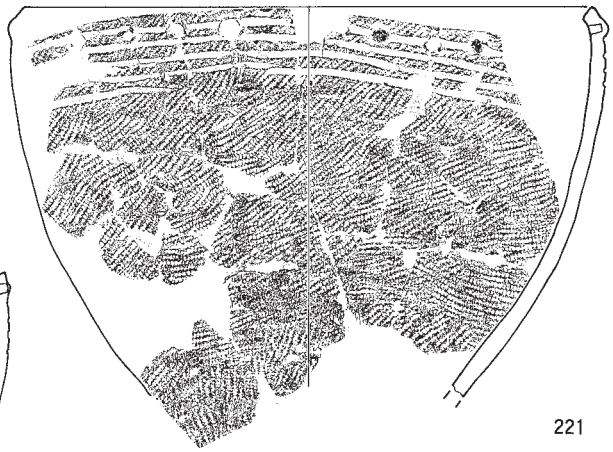
219②



219③

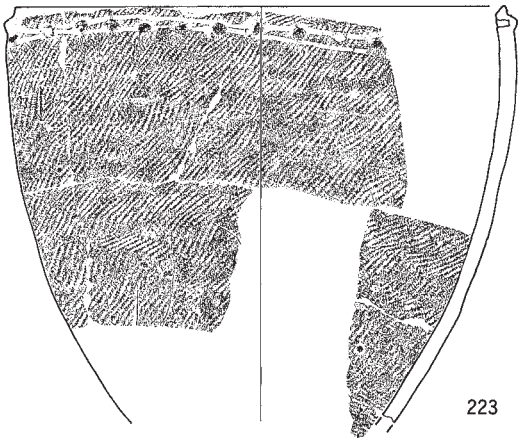


220

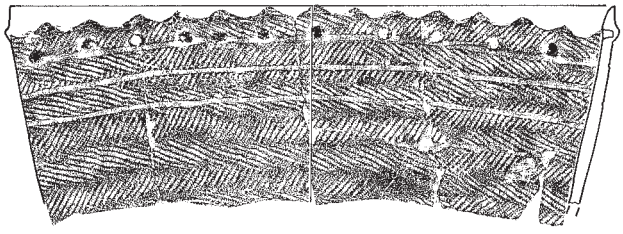


221

222



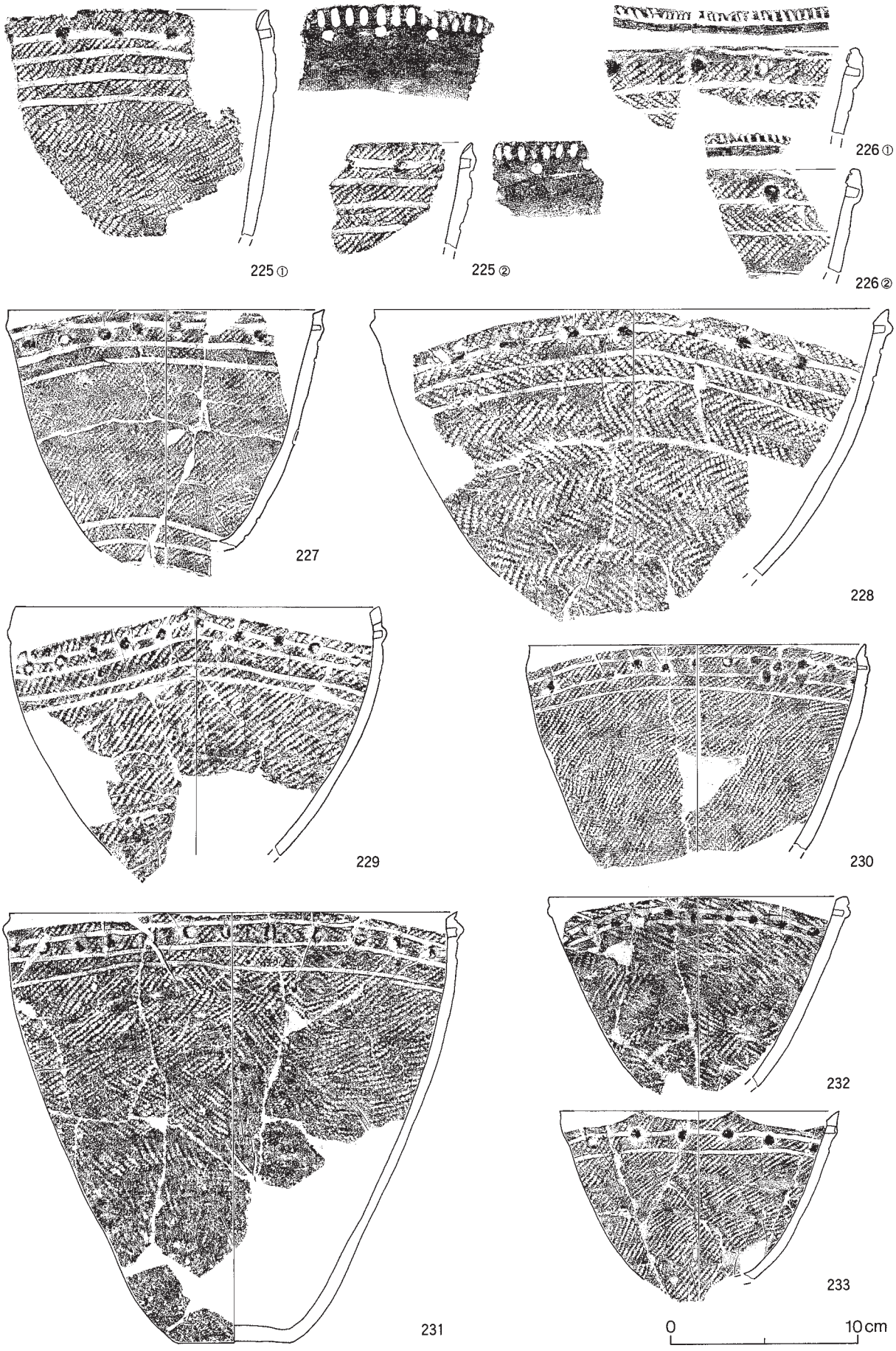
223



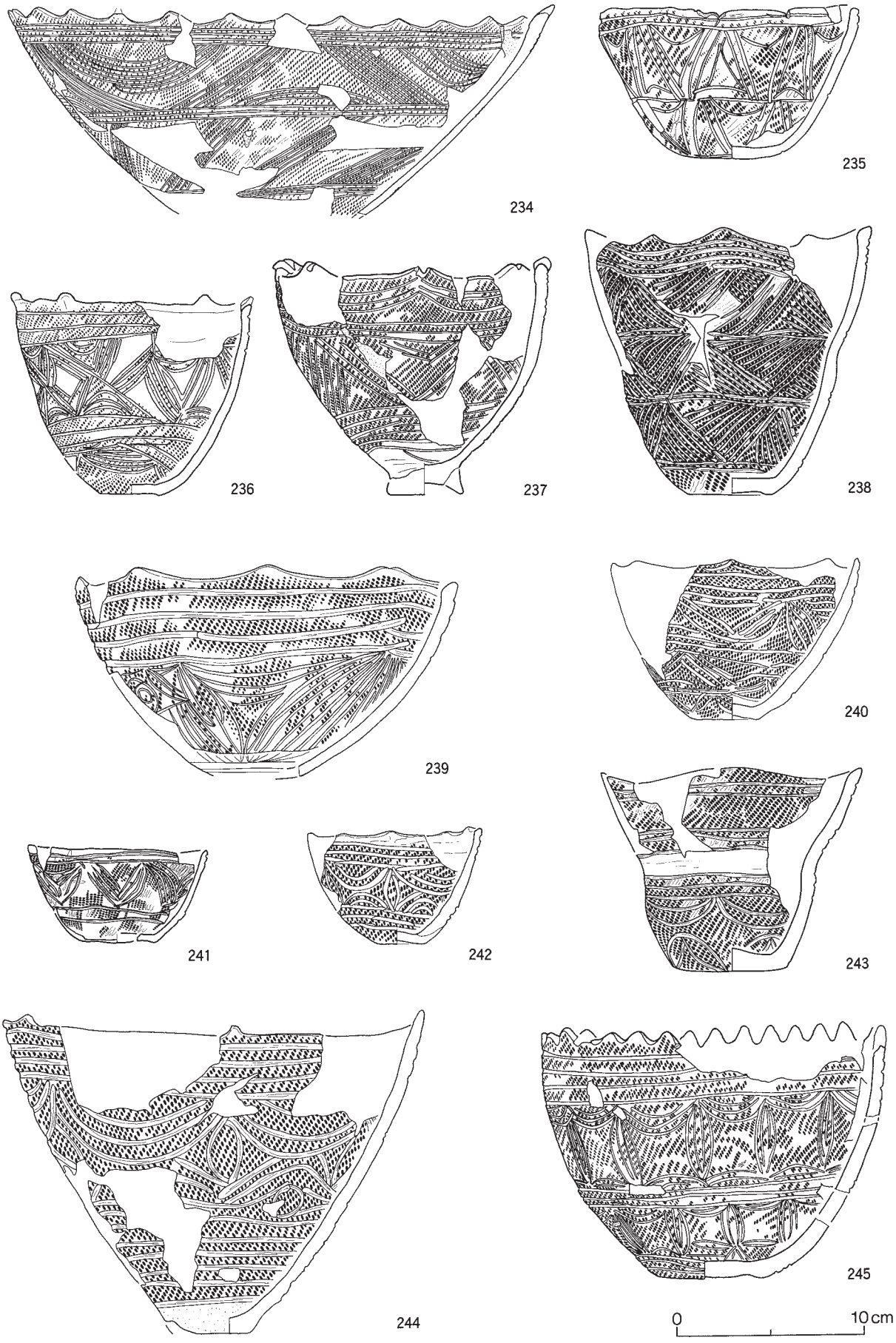
224

0　10cm

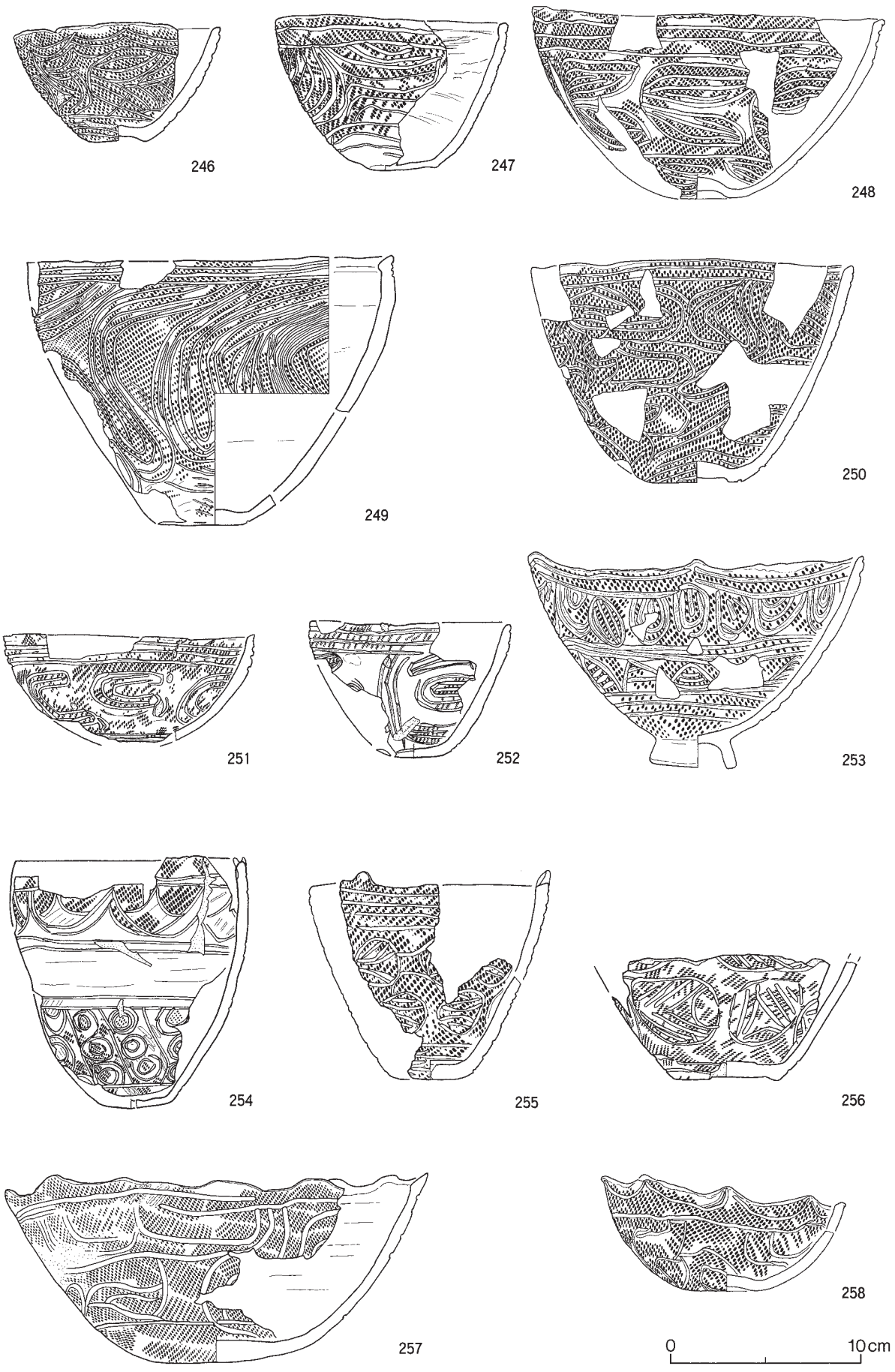
図Ⅴ－40　盛土遺構上位出土の土器（40）
突瘤・横走沈線⑲



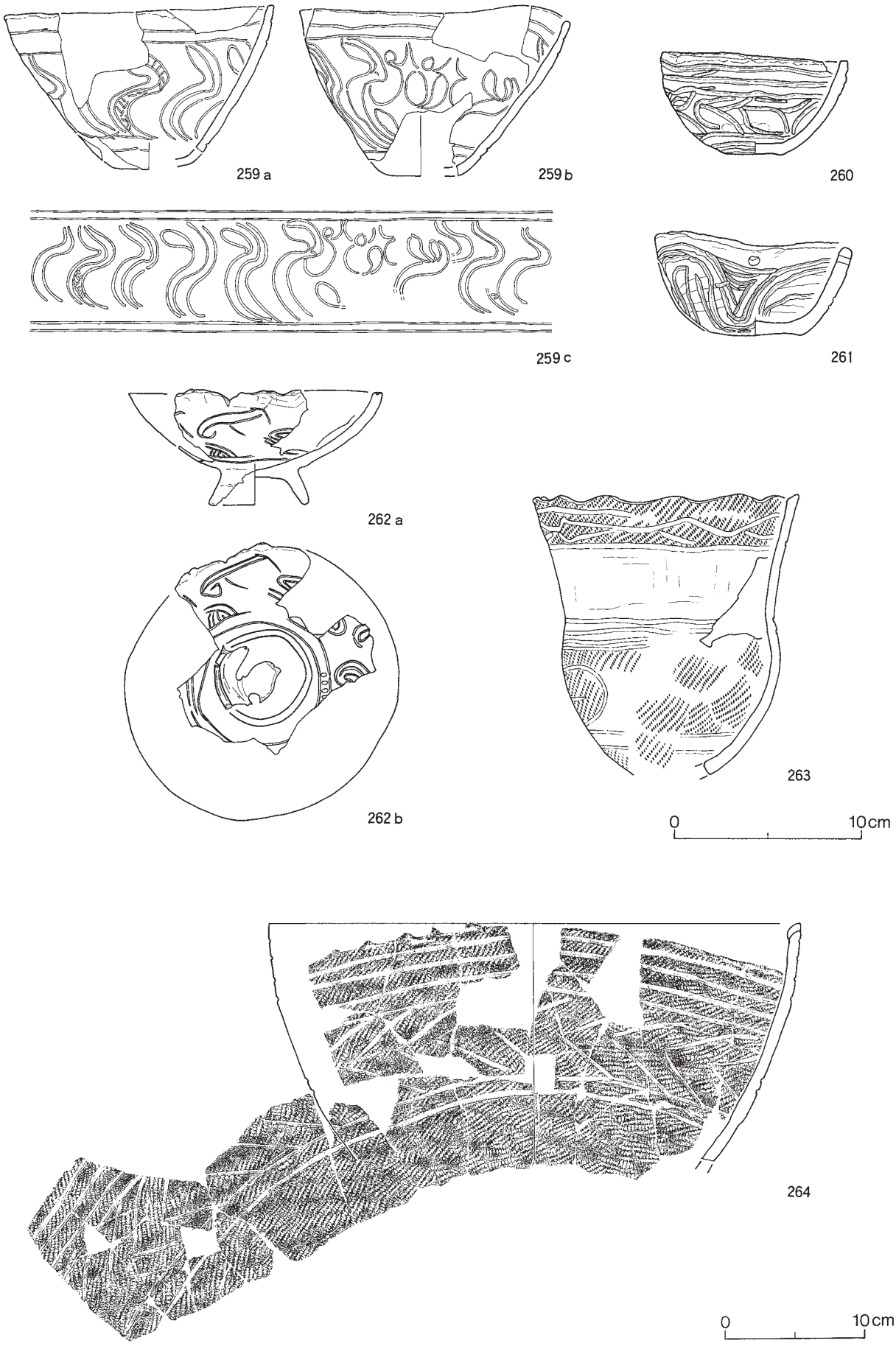
図Ⅴ－41　盛土遺構上位出土の土器（41）
突瘤・横走沈線⑳



図Ⅴ－42　盛土遺構上位出土の土器（42）
沈線①

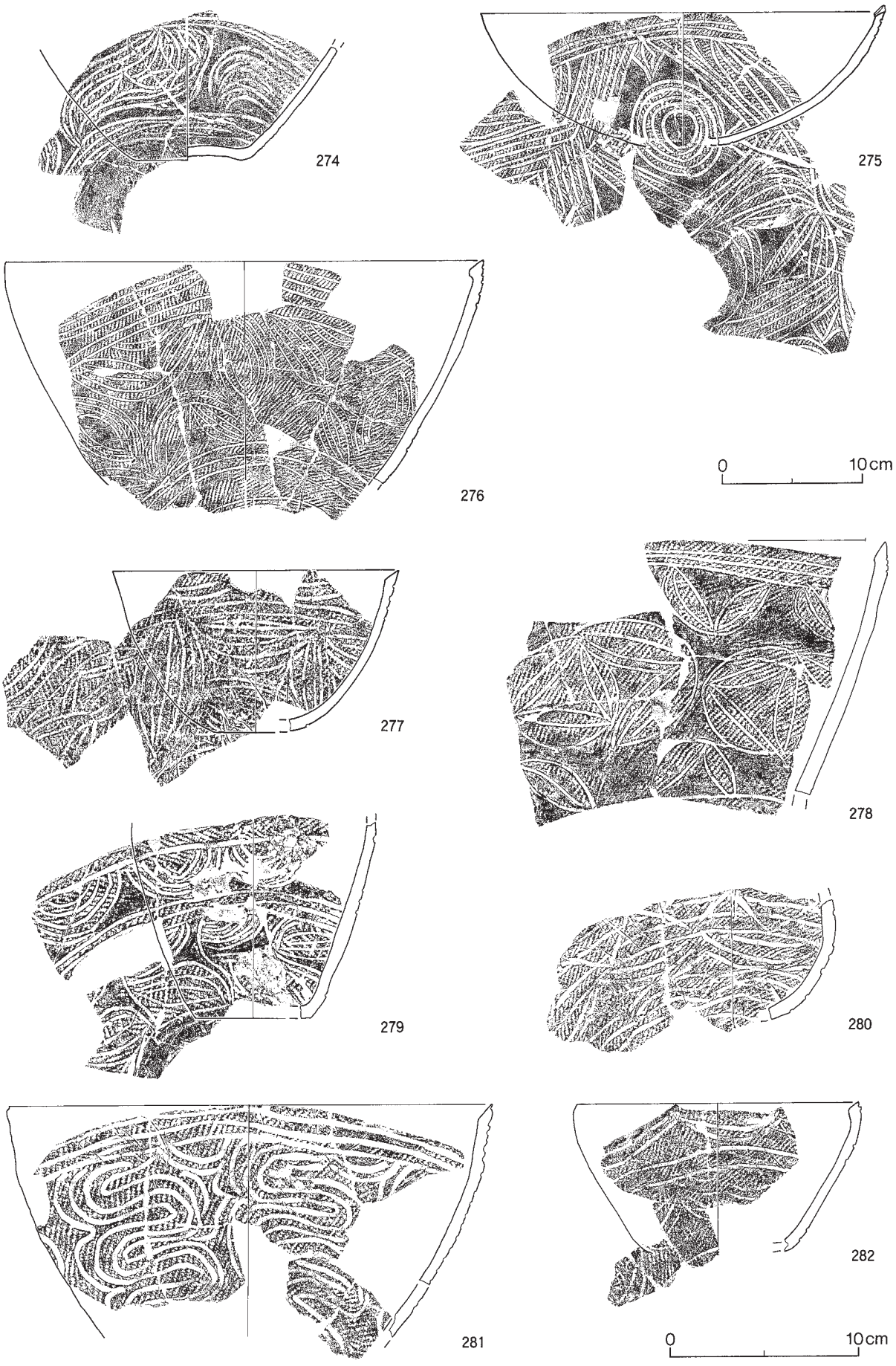


図Ⅴ－43　盛土遺構上位出土の土器（43）
沈線②

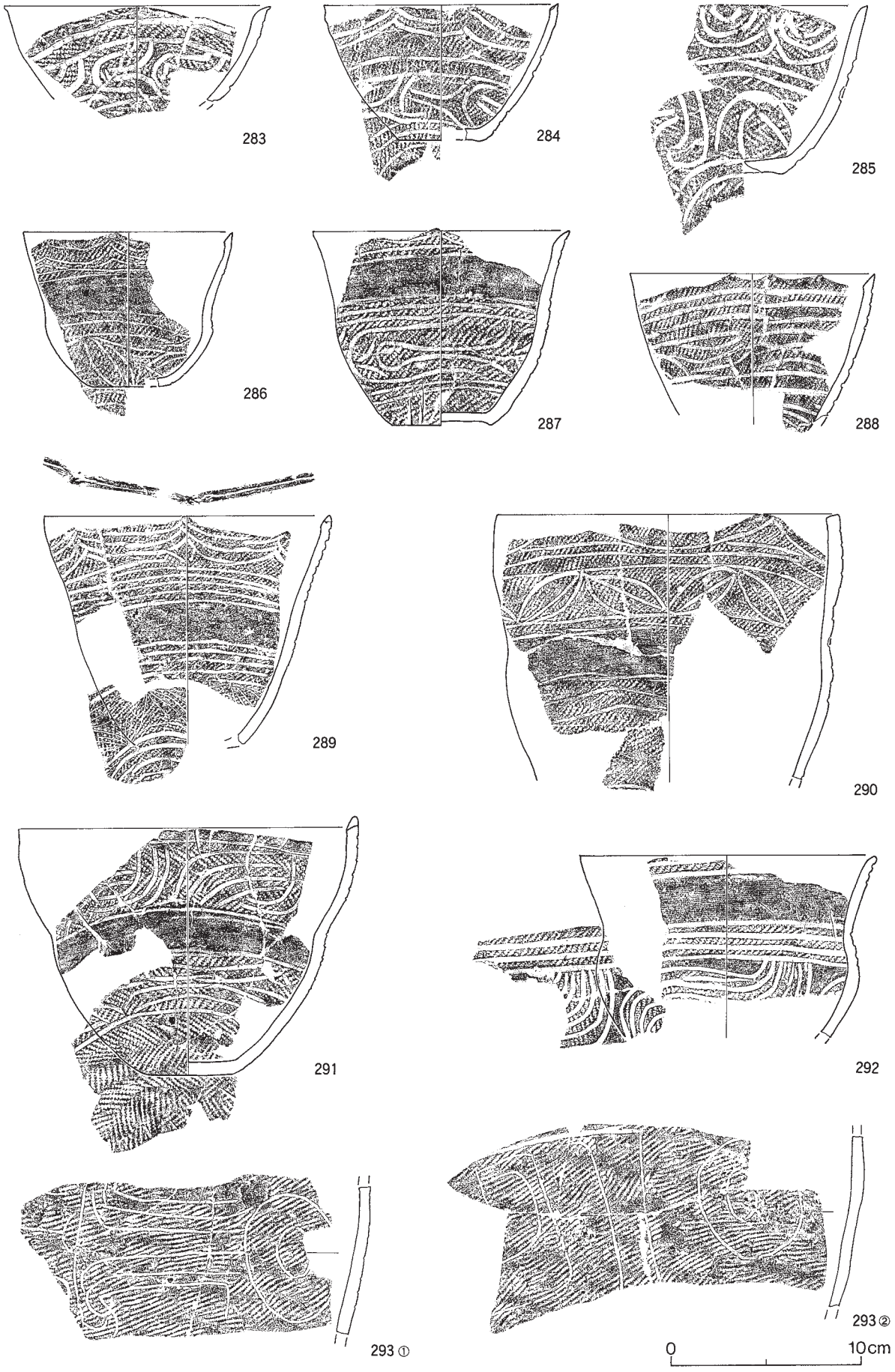


図Ⅴ－44　盛土遺構上位出土の土器（44）
沈線③

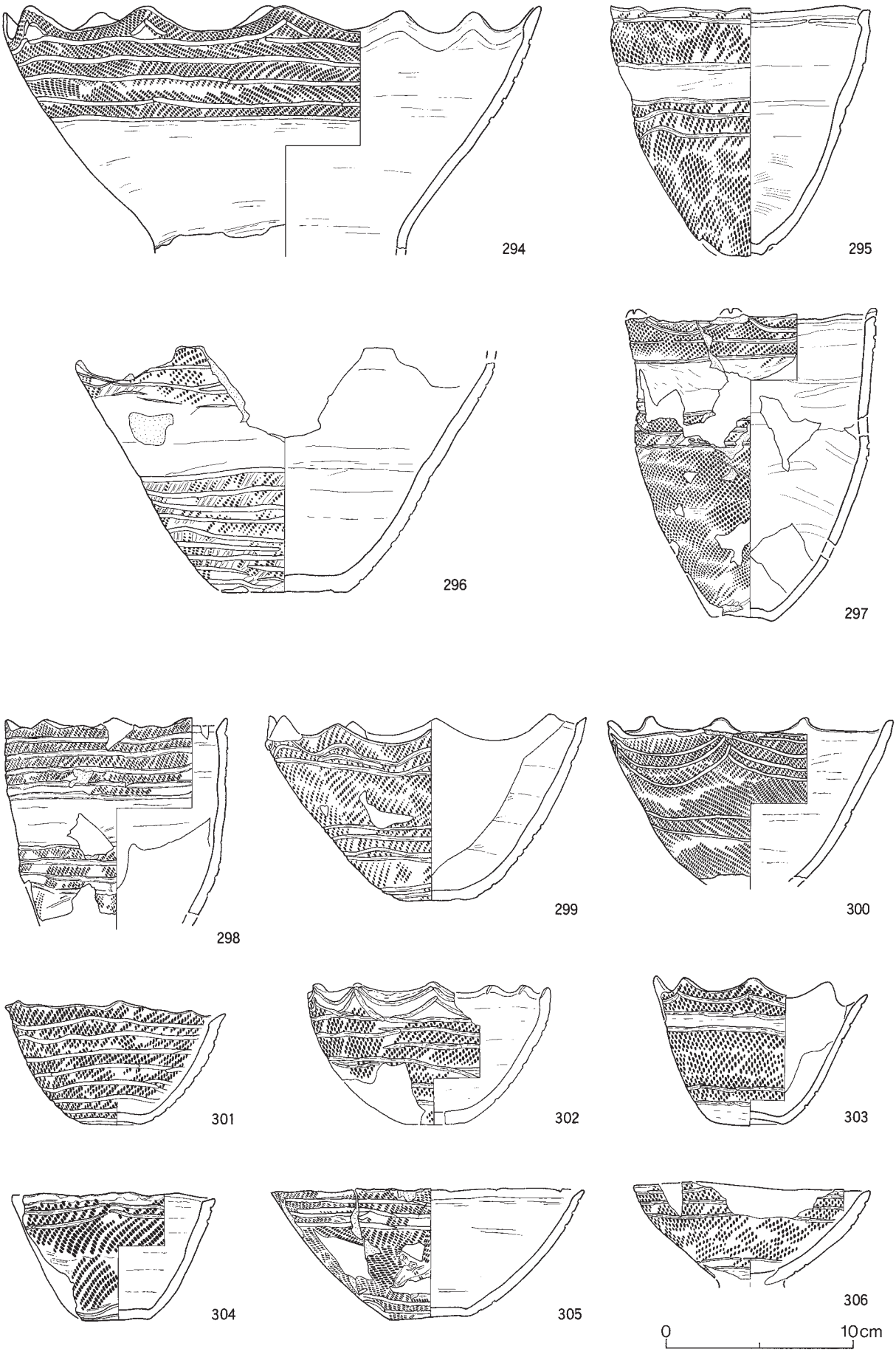
図Ⅴ－45　盛土遺構上位出土の土器（45）
沈線④



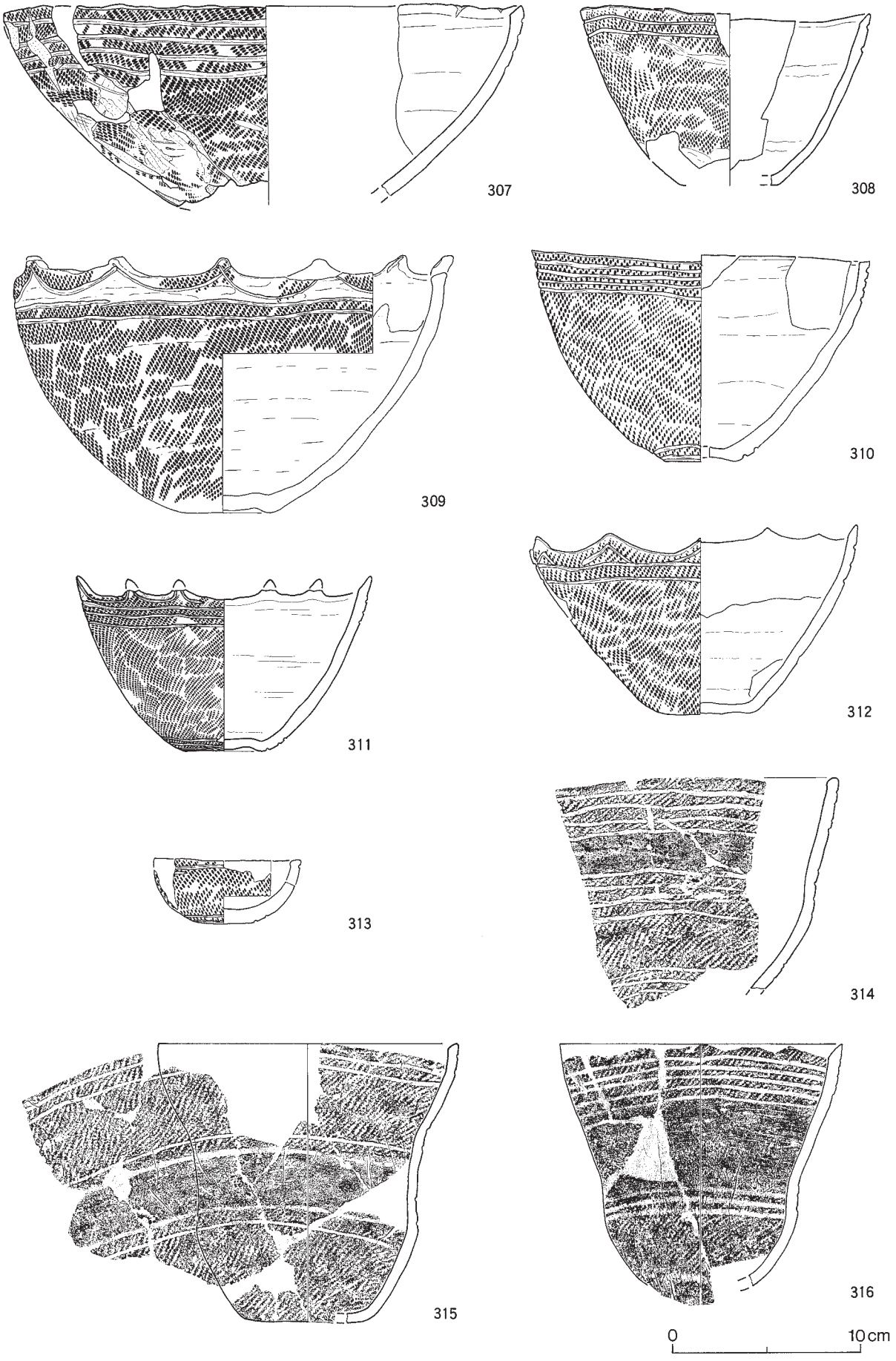
図Ⅴ－46　盛土遺構上位出土の土器（46）
沈線⑤



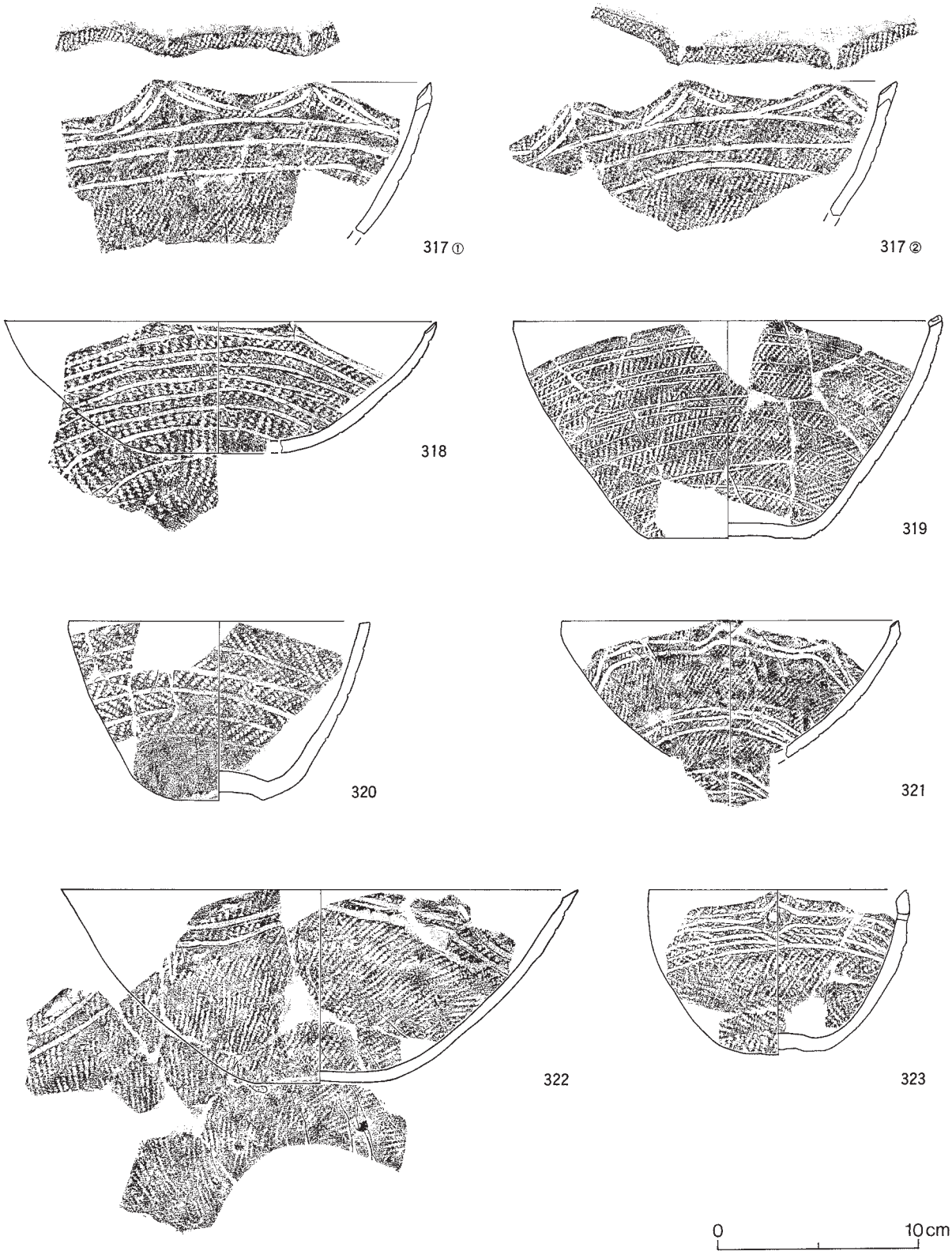
図Ⅴ－47　盛土遺構上位出土の土器（47）
沈線⑥



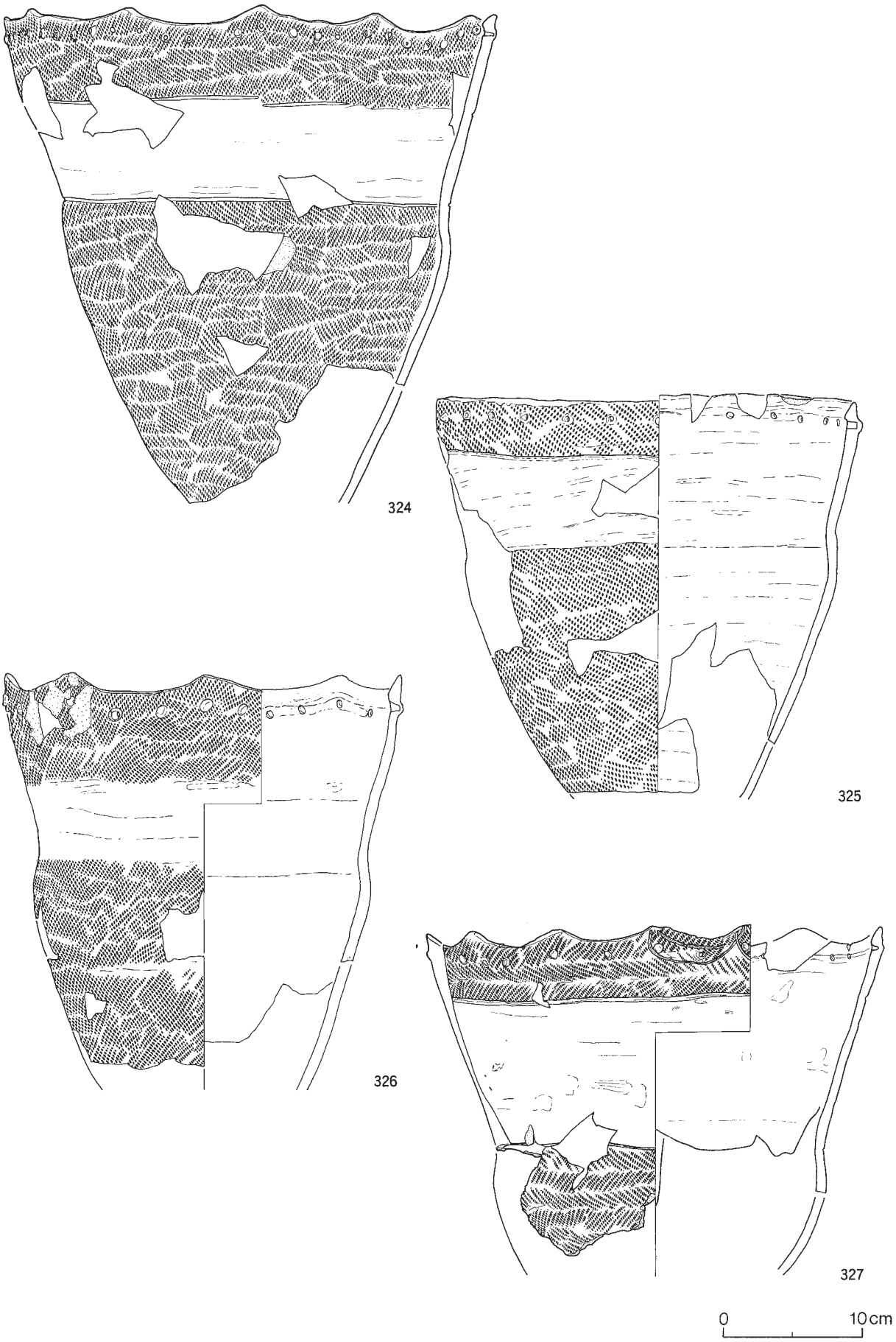
図Ⅴ－48　盛土遺構上位出土の土器（48）
横走沈線①



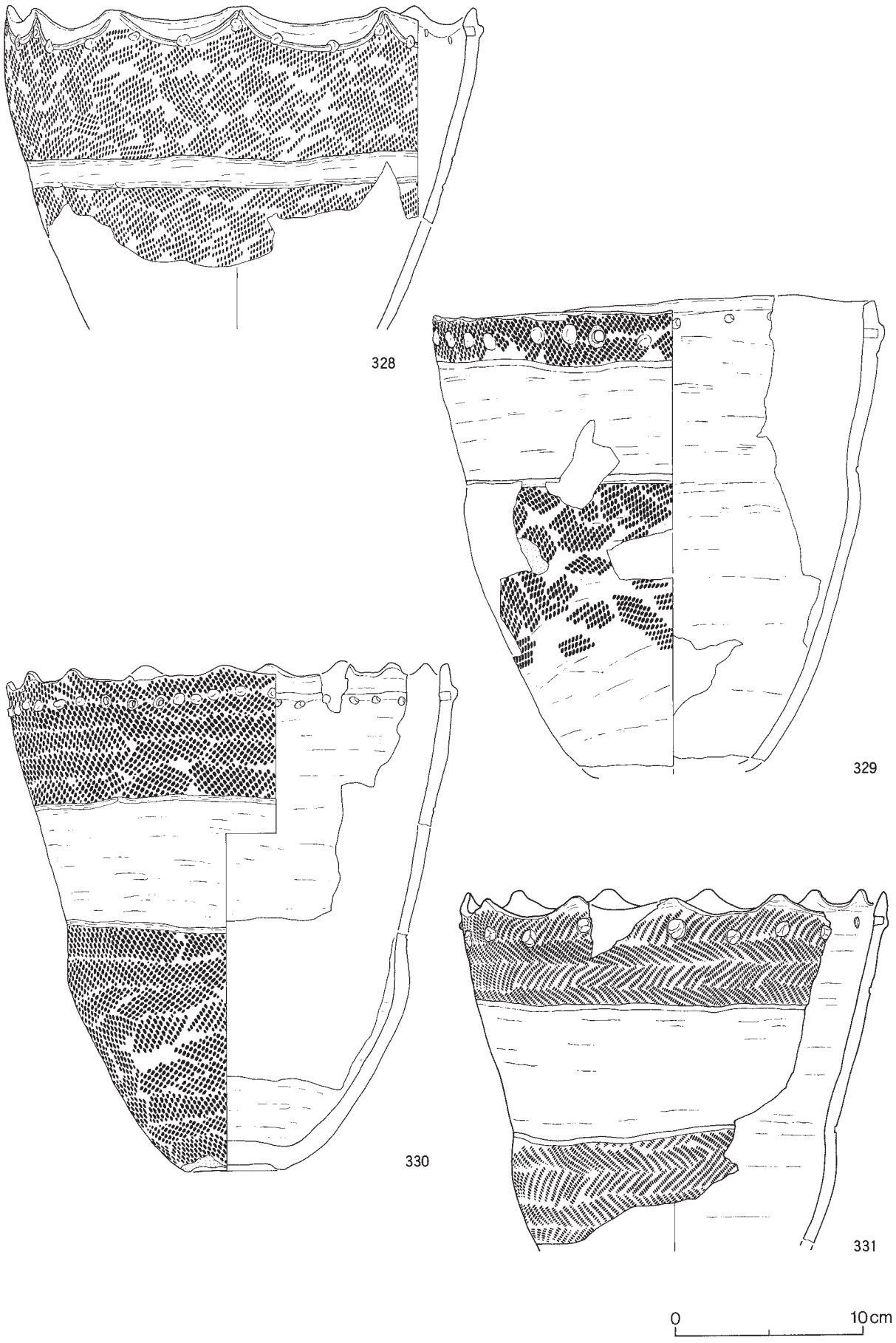
図Ⅴ－49　盛土遺構上位出土の土器（49）
横走沈線②



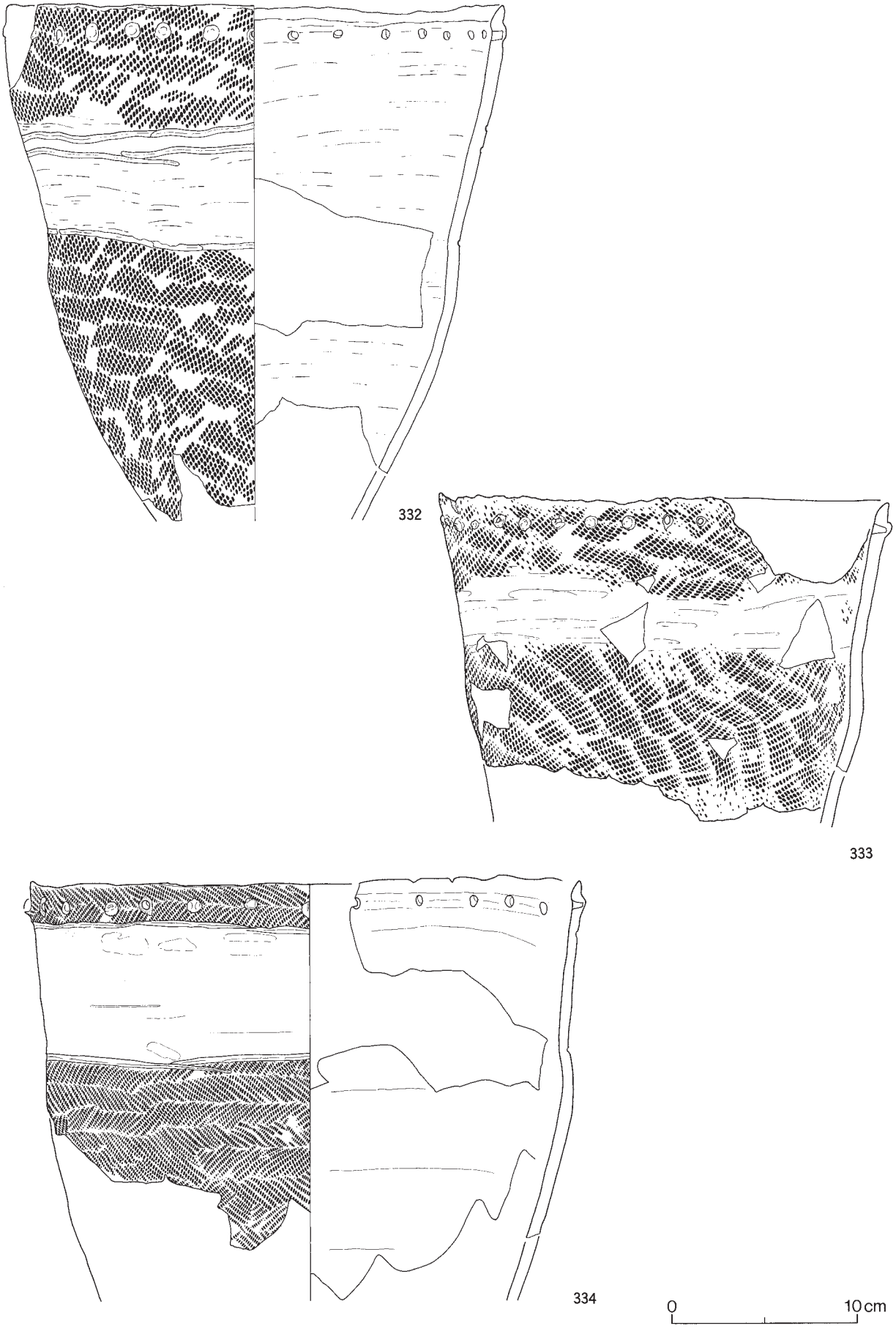
図Ⅴ－50　盛土遺構上位出土の土器（50）
横走沈線③



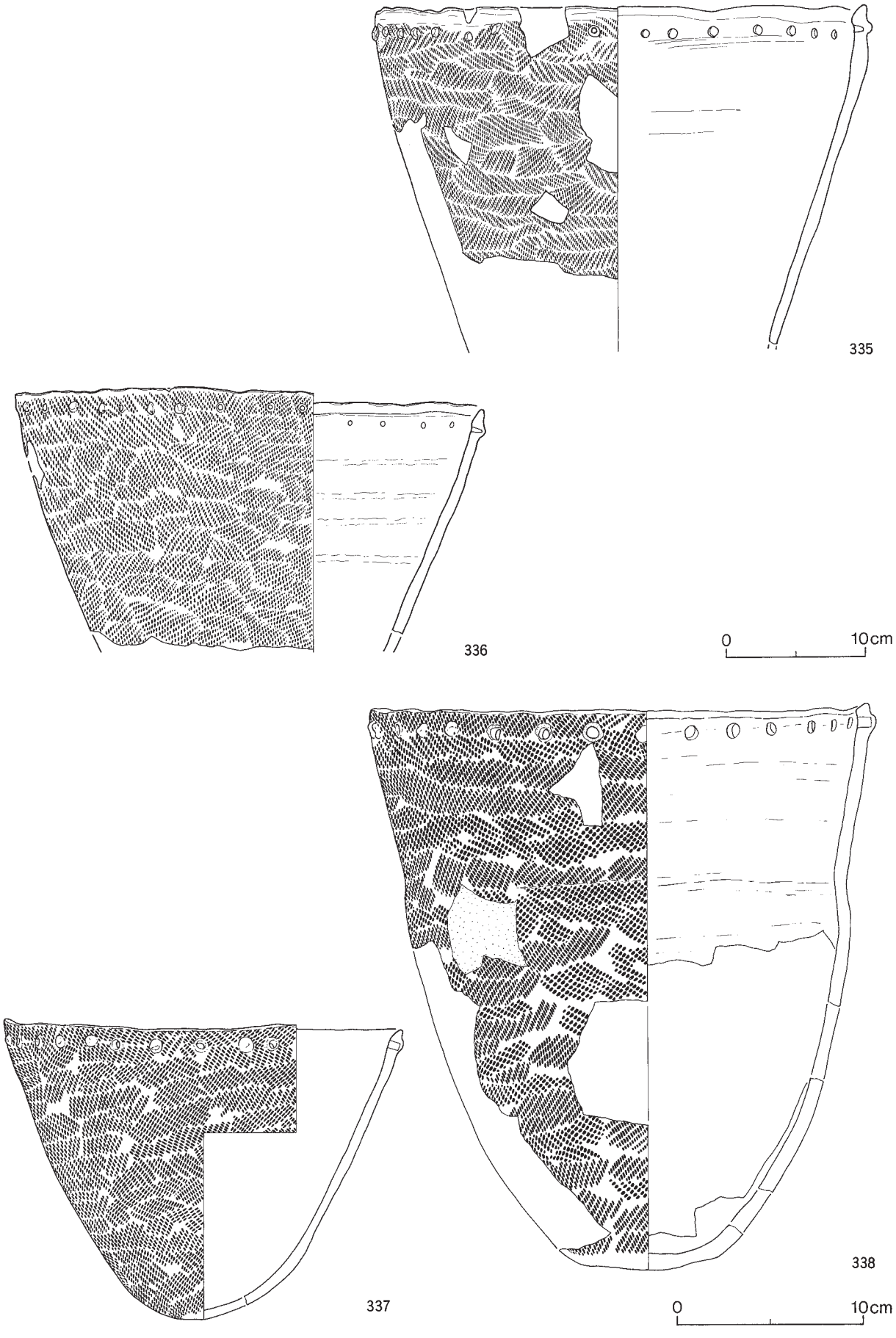
図Ⅴ－51　盛土遺構上位出土の土器（51）
突瘤・縄文のみ①



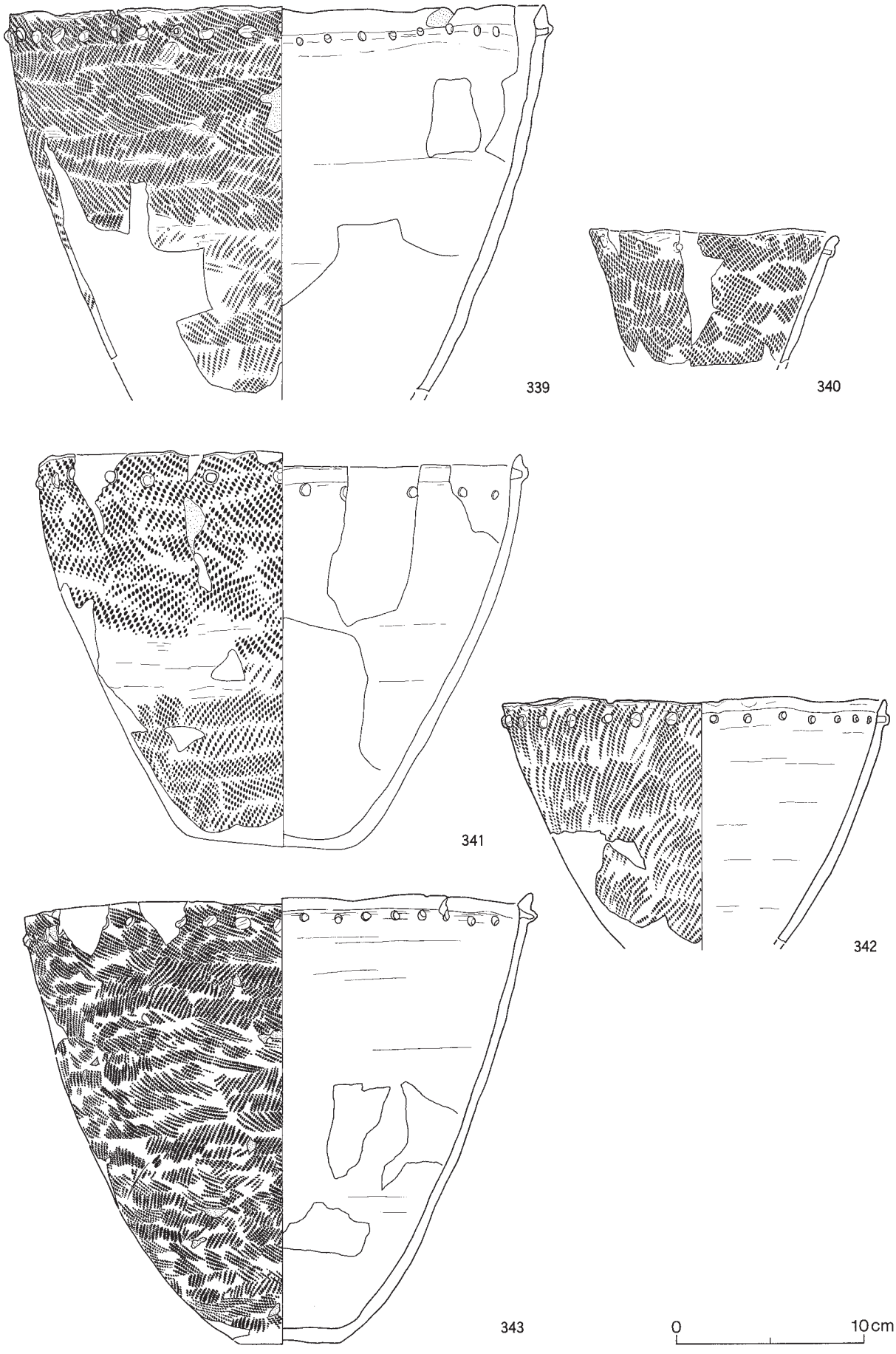
図Ⅴ－52　盛土遺構上位出土の土器（52）
突瘤・縄文のみ②



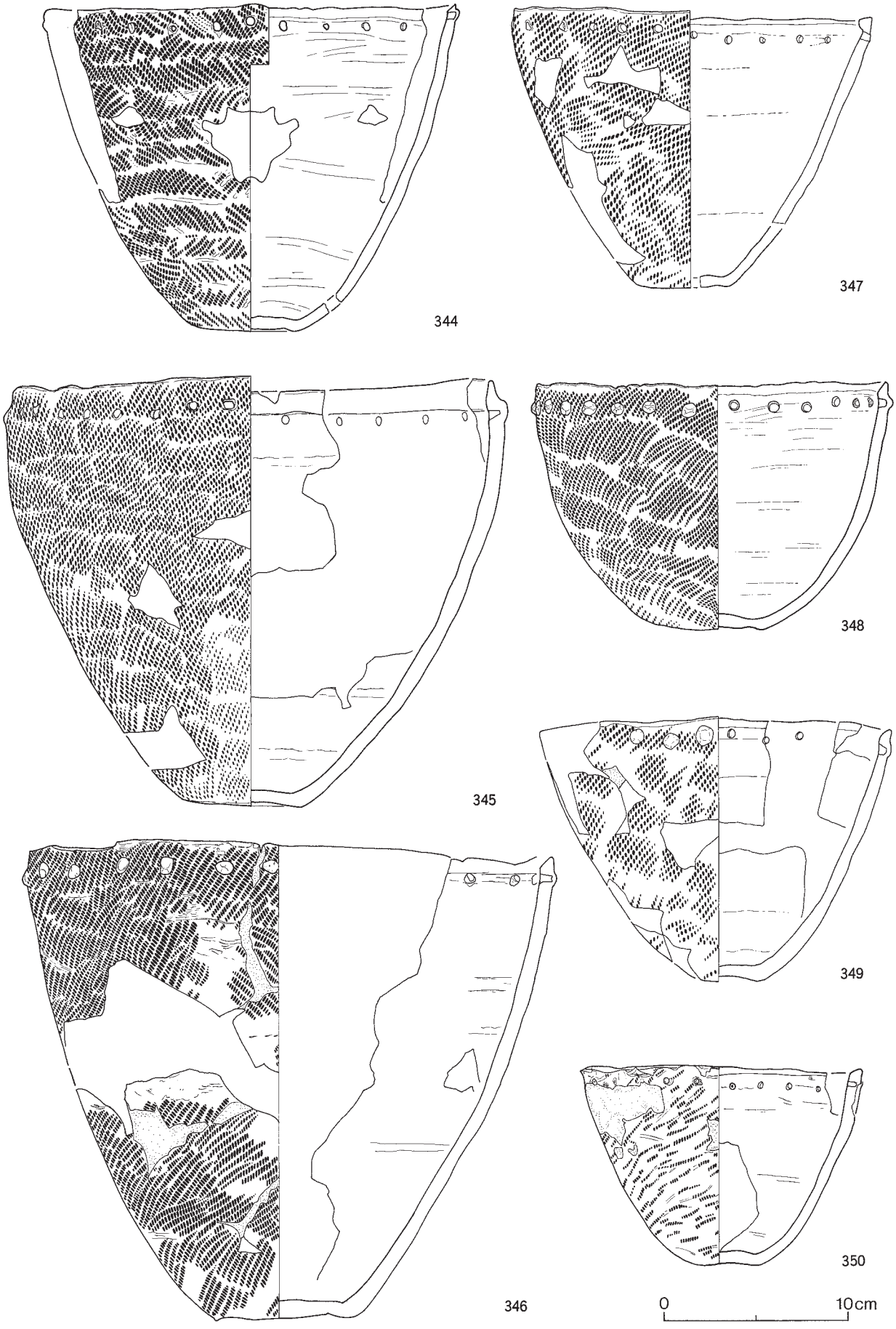
図Ⅴ－53　盛土遺構上位出土の土器（53）
突瘤・縄文のみ③



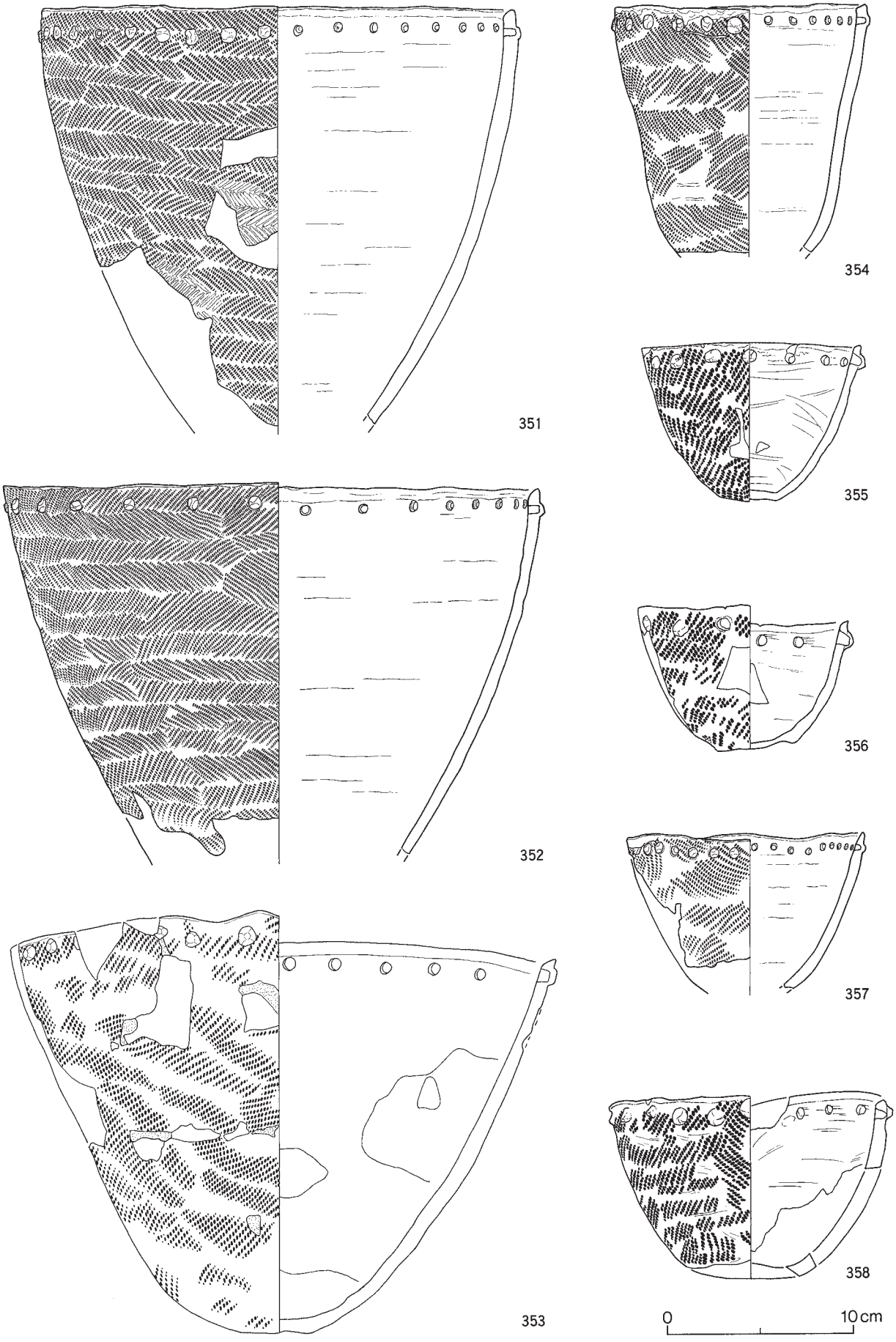
図Ⅴ－54　盛土遺構上位出土の土器（54）
突瘤・縄文のみ④



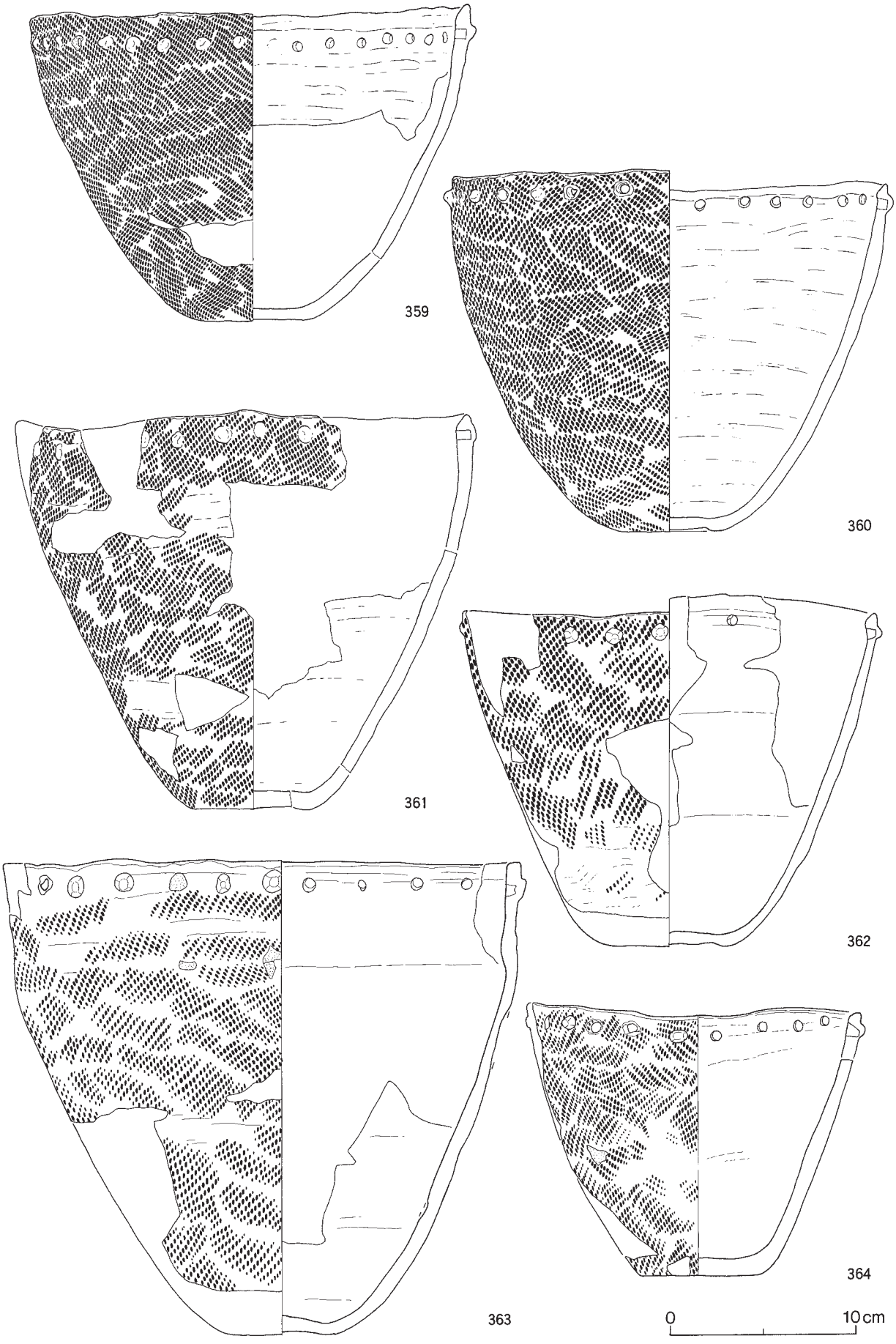
図Ⅴ－55　盛土遺構上位出土の土器（55）
突瘤・縄文のみ⑤



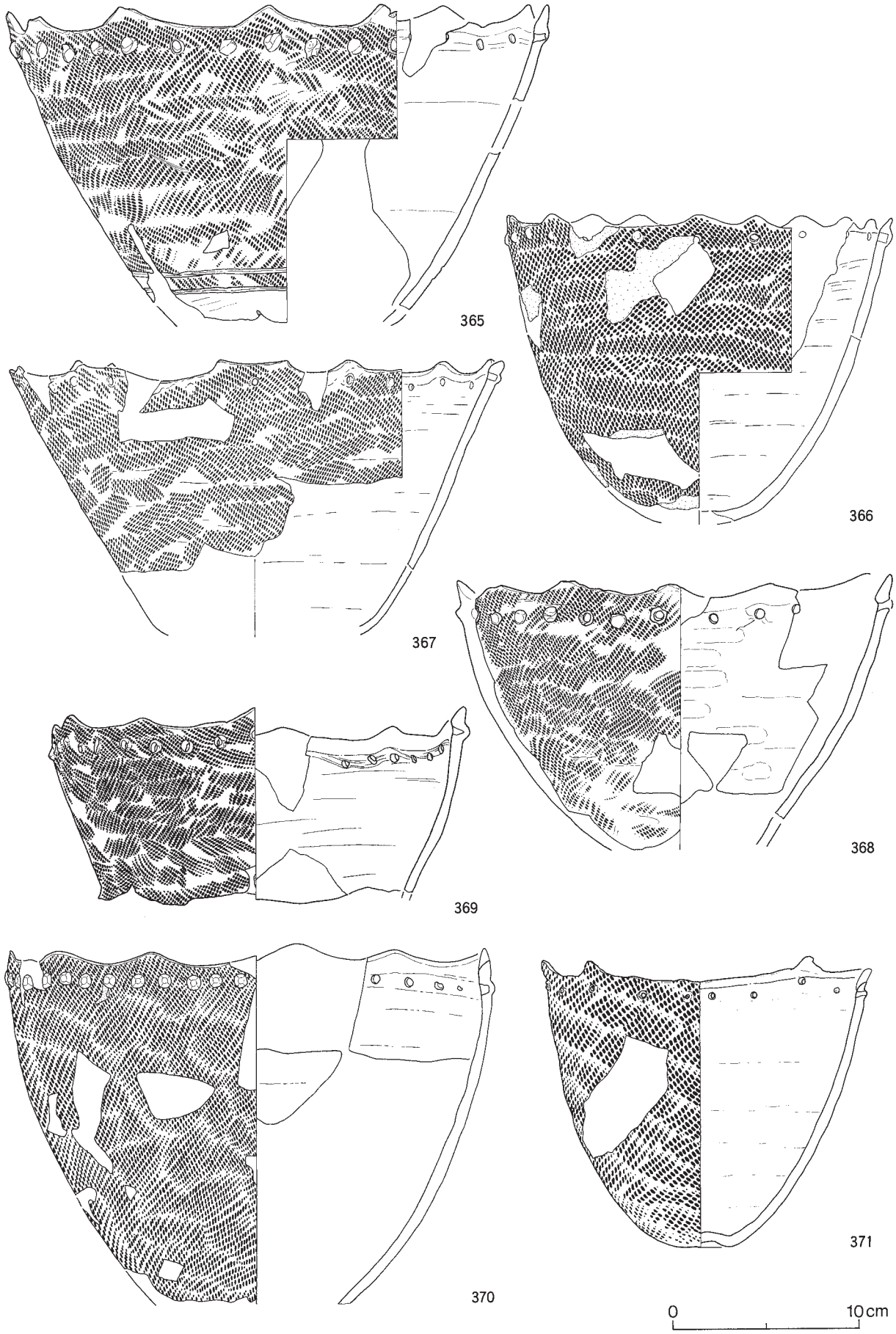
図Ⅴ－56　盛土遺構上位出土の土器（56）
突瘤・縄文のみ⑥



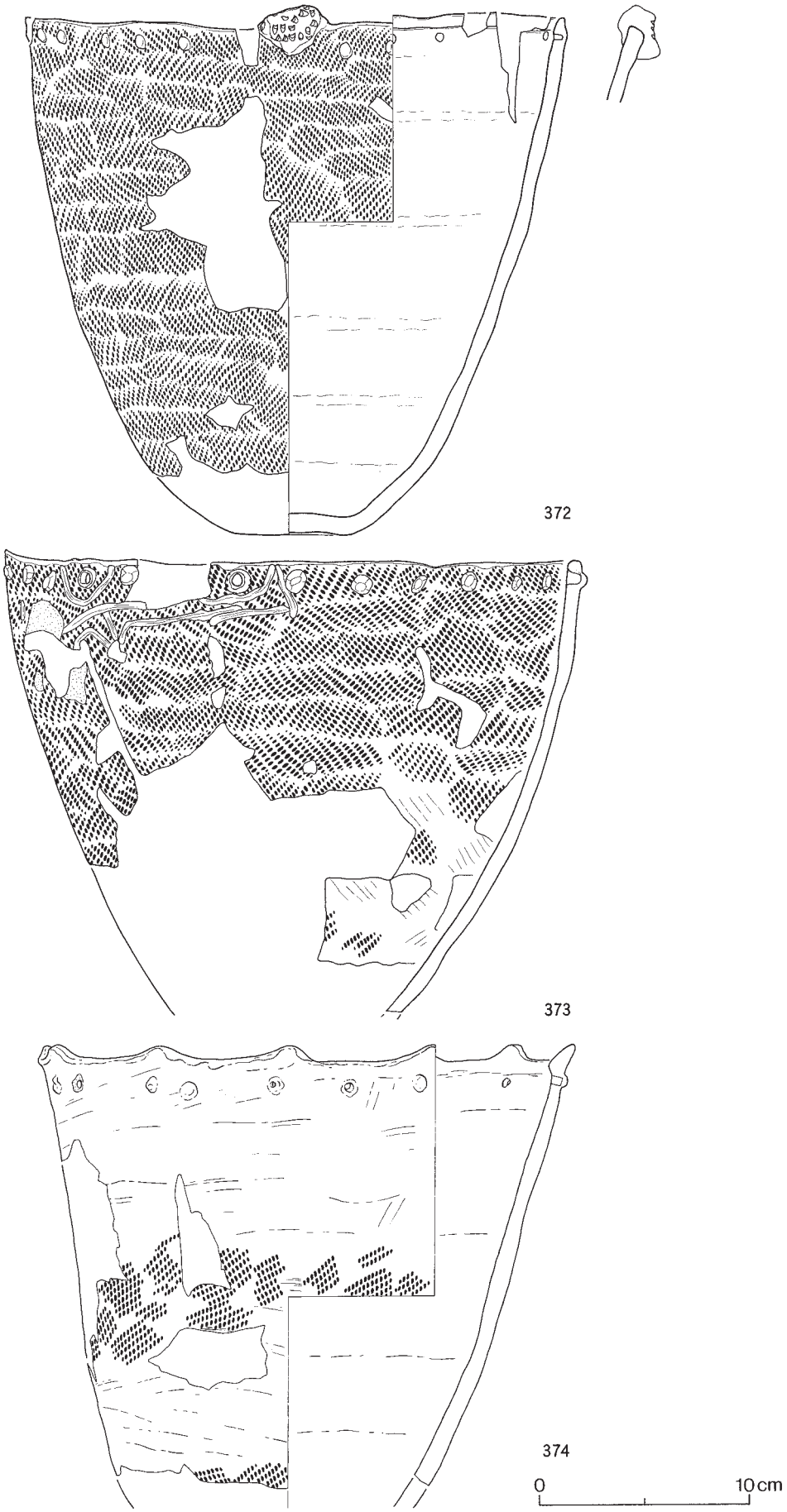
図Ⅴ－57　盛土遺構上位出土の土器（57）
突瘤・縄文のみ⑦



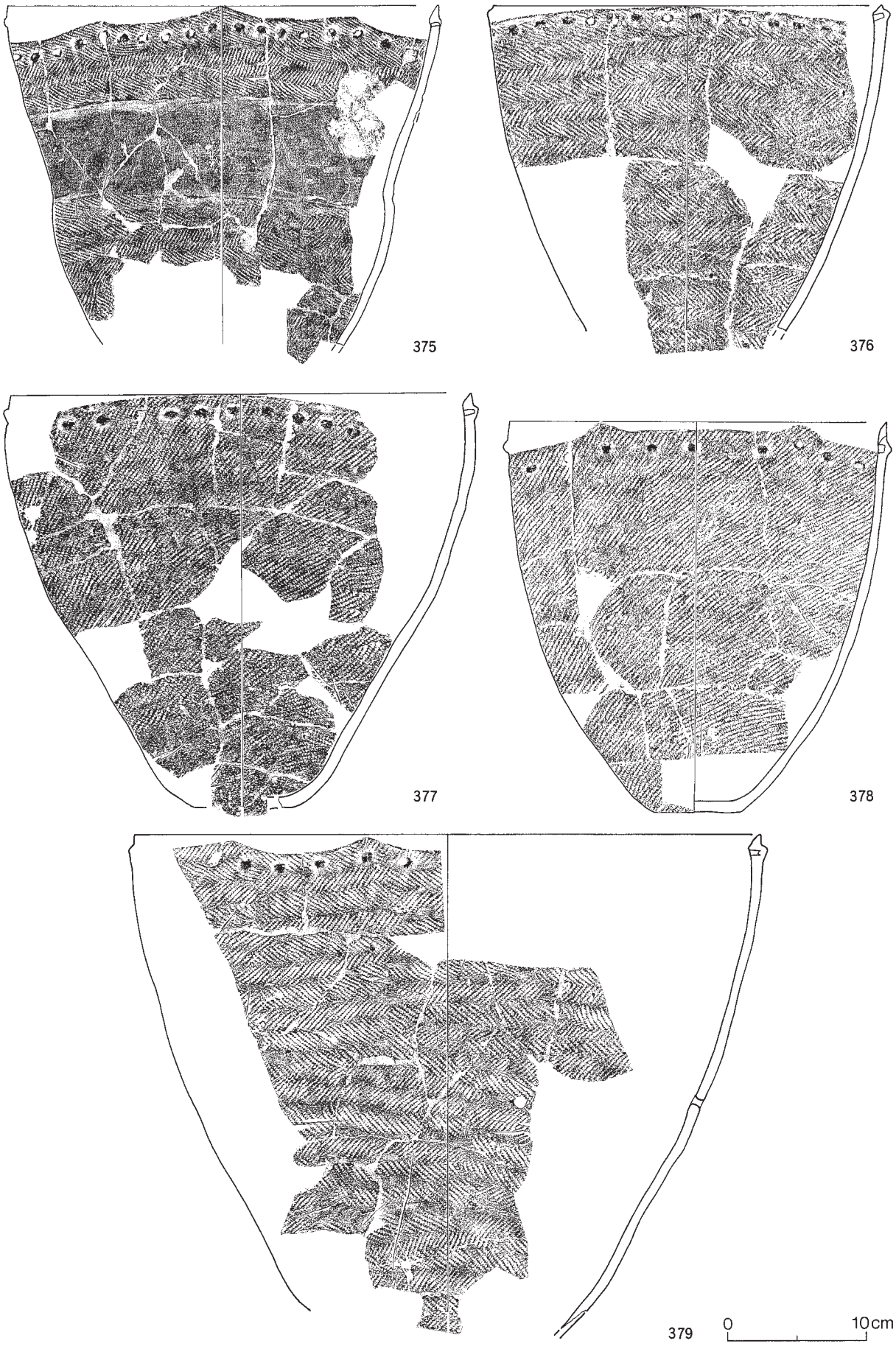
図Ⅴ－58　盛土遺構上位出土の土器（58）
突瘤・縄文のみ⑧



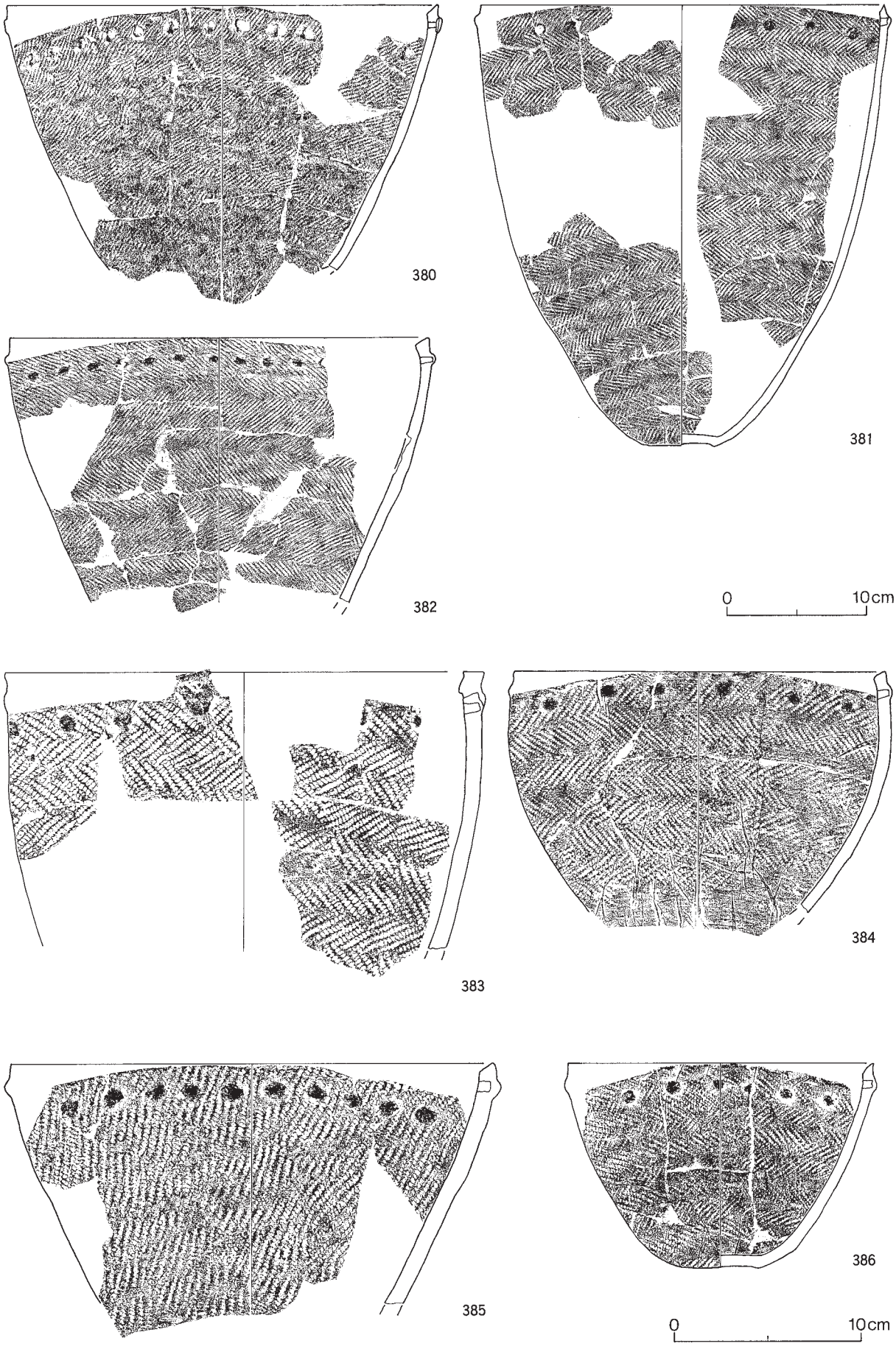
図Ⅴ－59　盛土遺構上位出土の土器（59）
突瘤・縄文のみ⑨



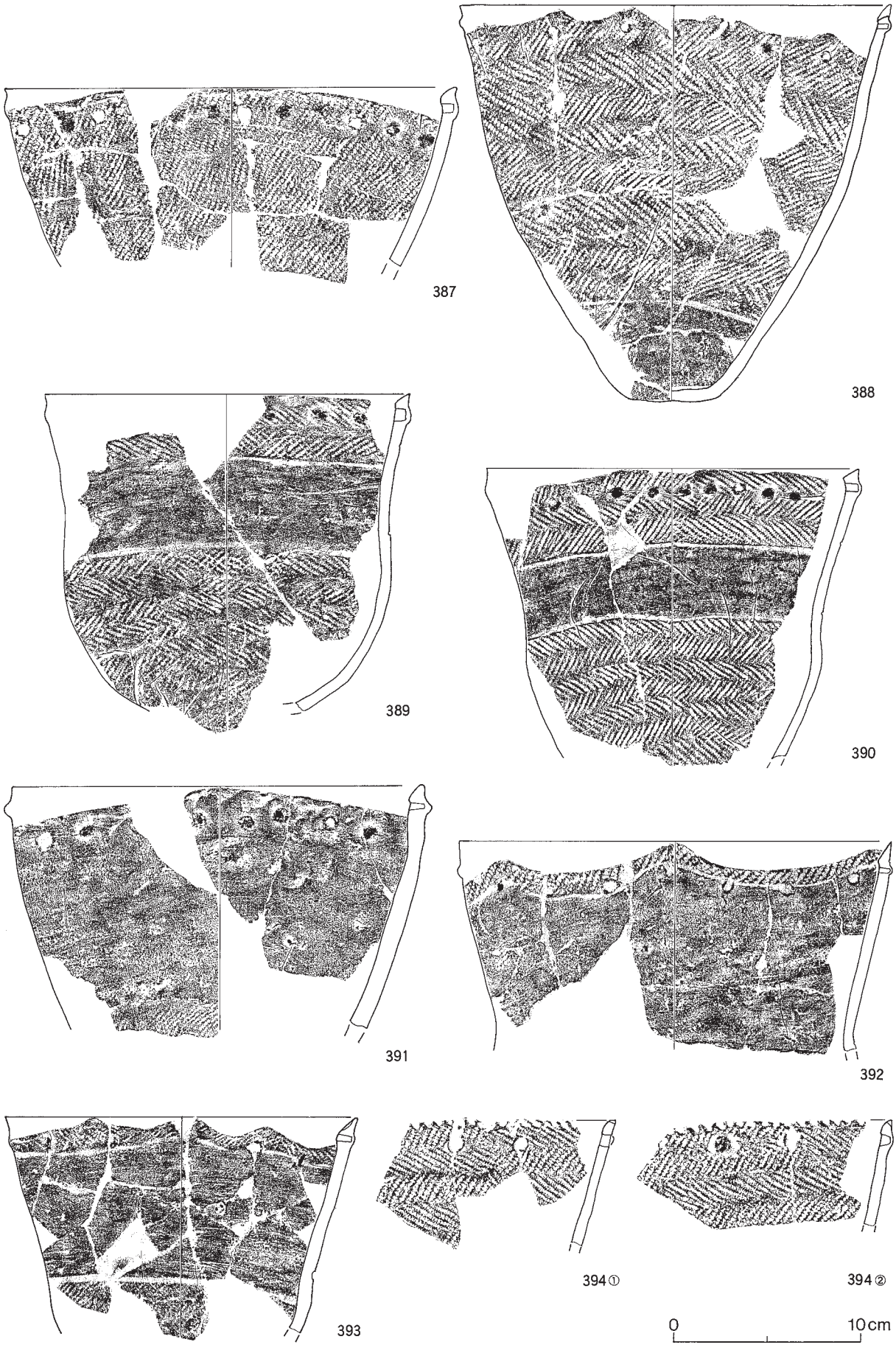
図Ⅴ－60　盛土遺構上位出土の土器（60）
突瘤・縄文のみ⑩



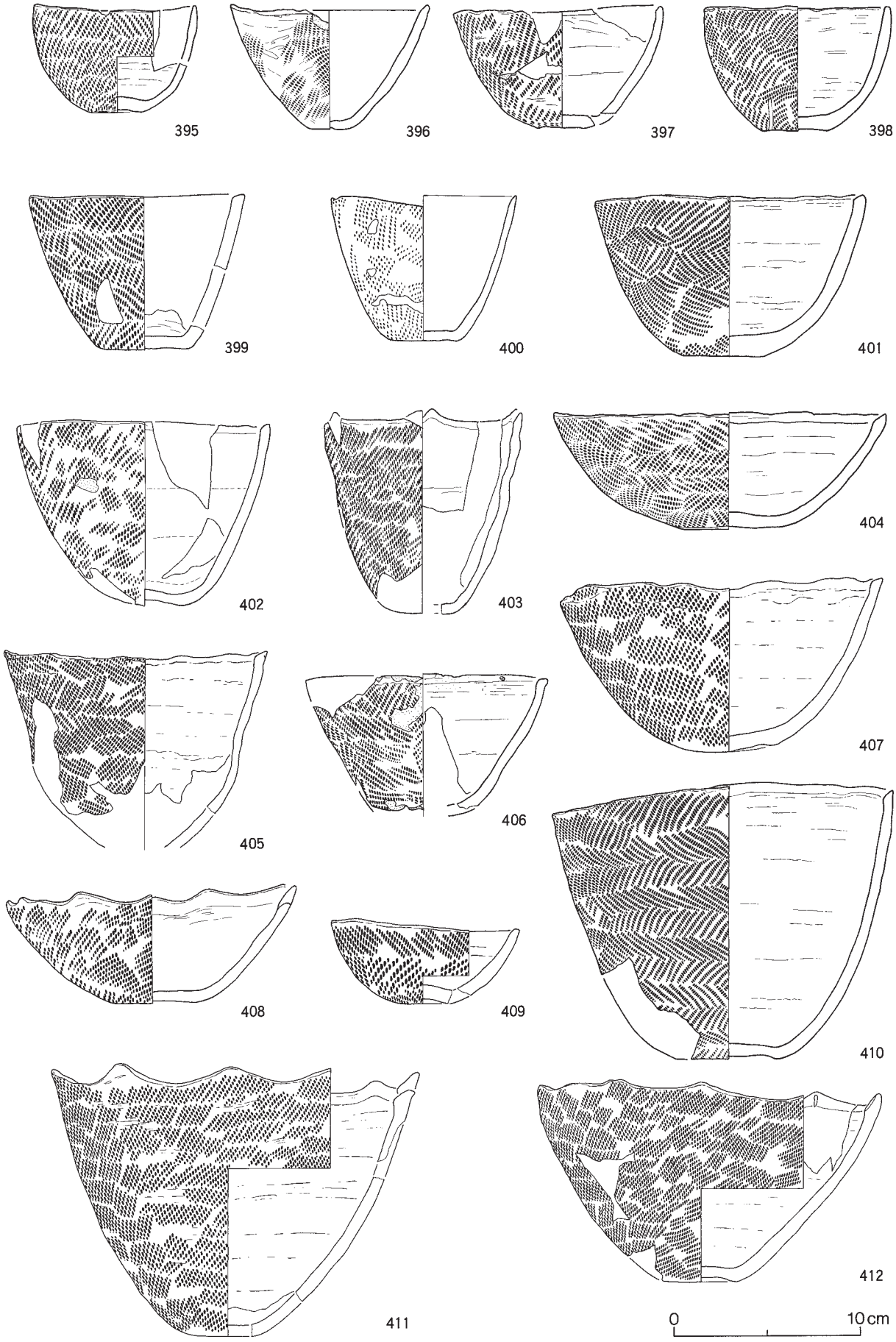
図Ⅴ－61　盛土遺構上位出土の土器（61）
突瘤・縄文のみ⑪



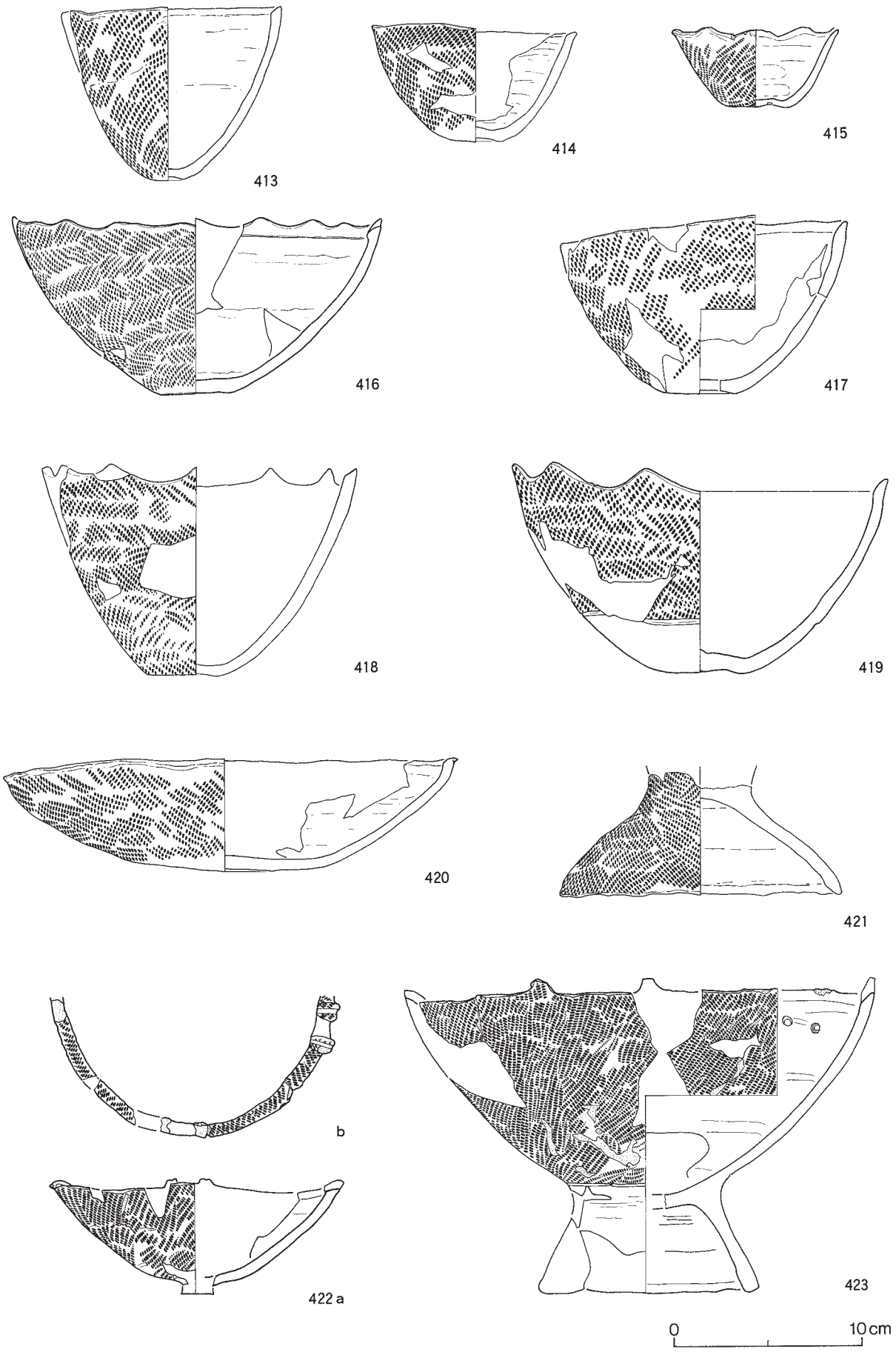
図Ⅴ－62　盛土遺構上位出土の土器（62）
突瘤・縄文のみ⑫



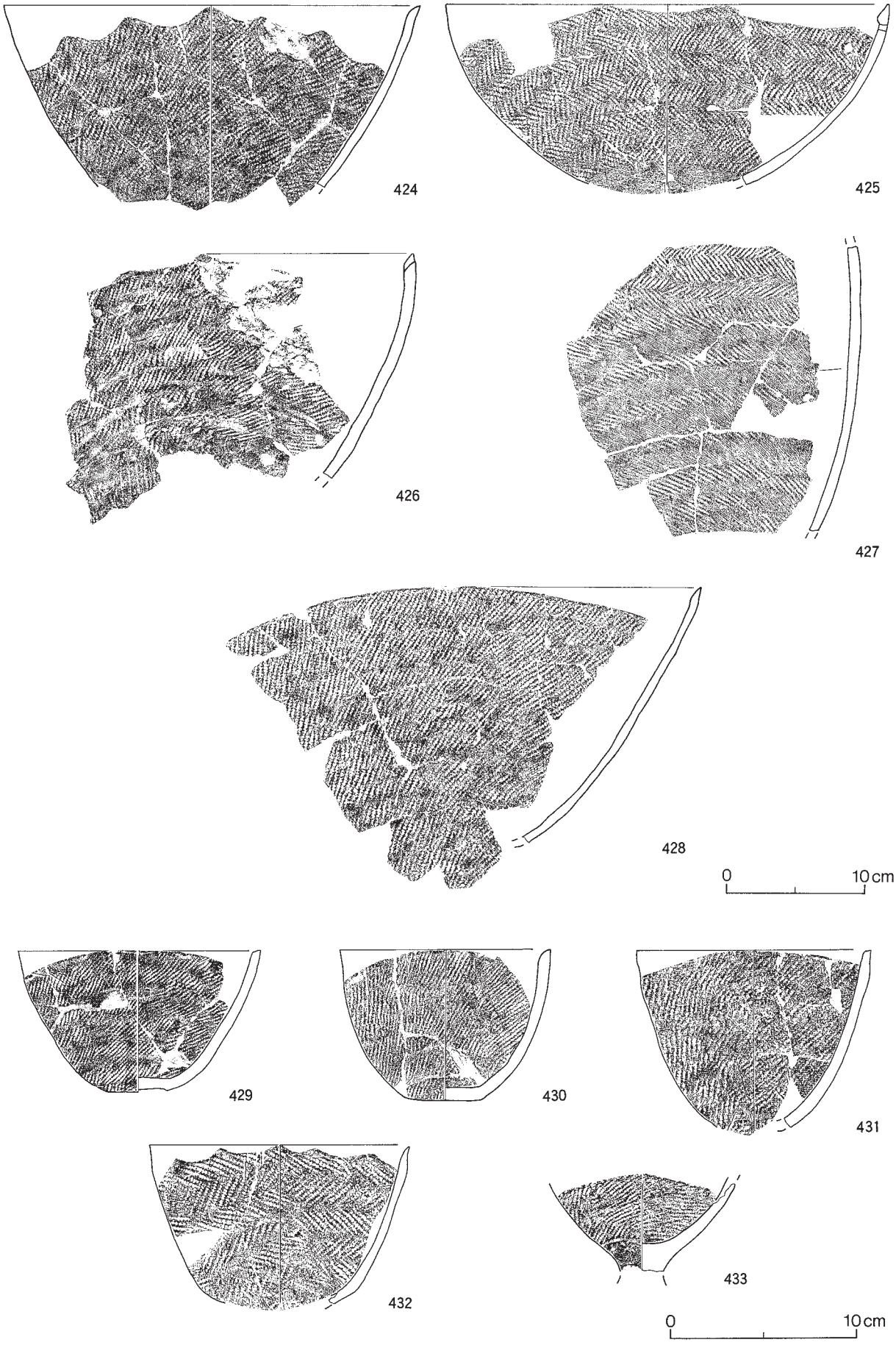
図Ⅴ－63　盛土遺構上位出土の土器（63）
突瘤・縄文のみ⑬



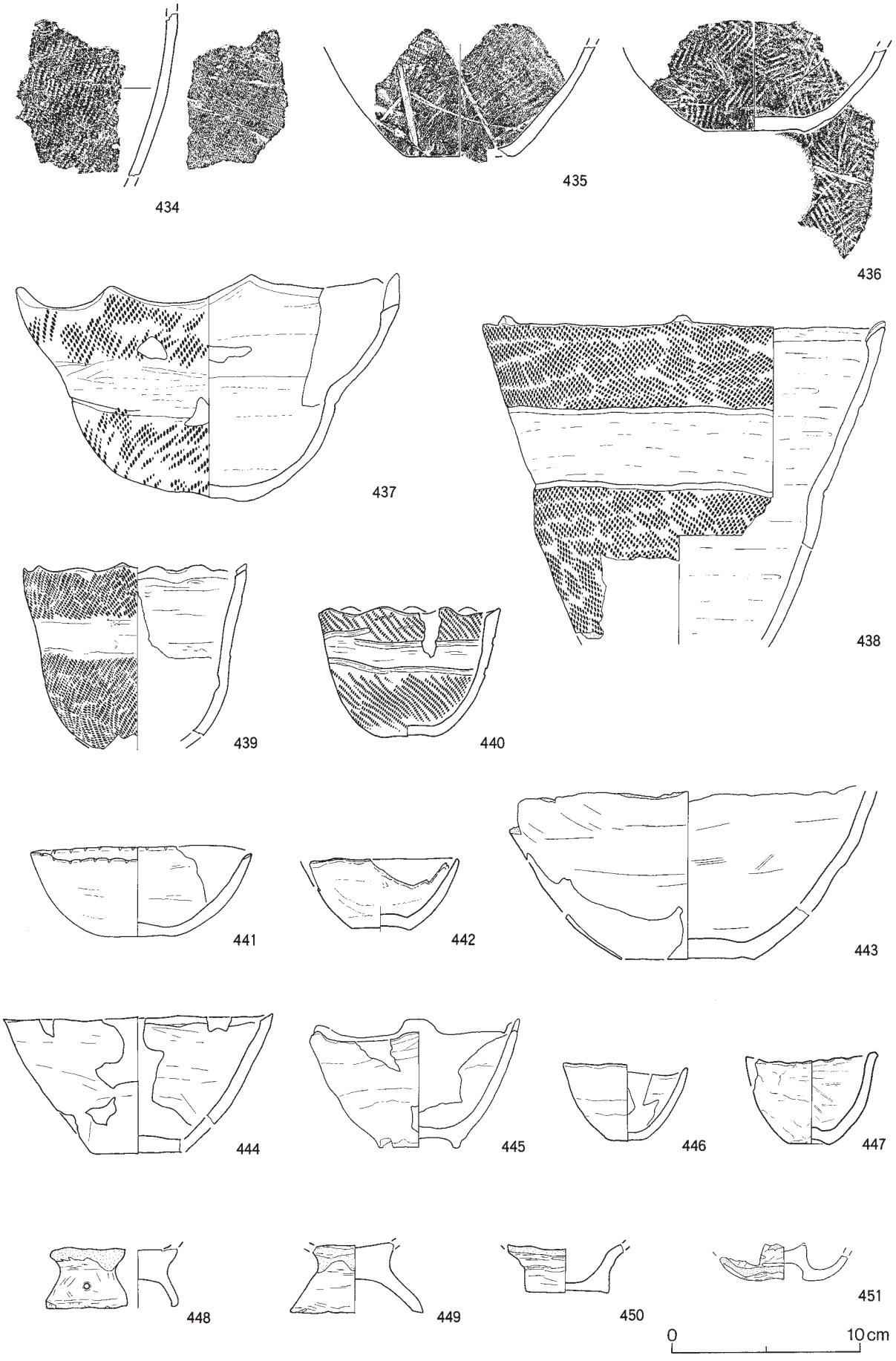
図Ⅴ－64　盛土遺構上位出土の土器（64）
縄文のみ①



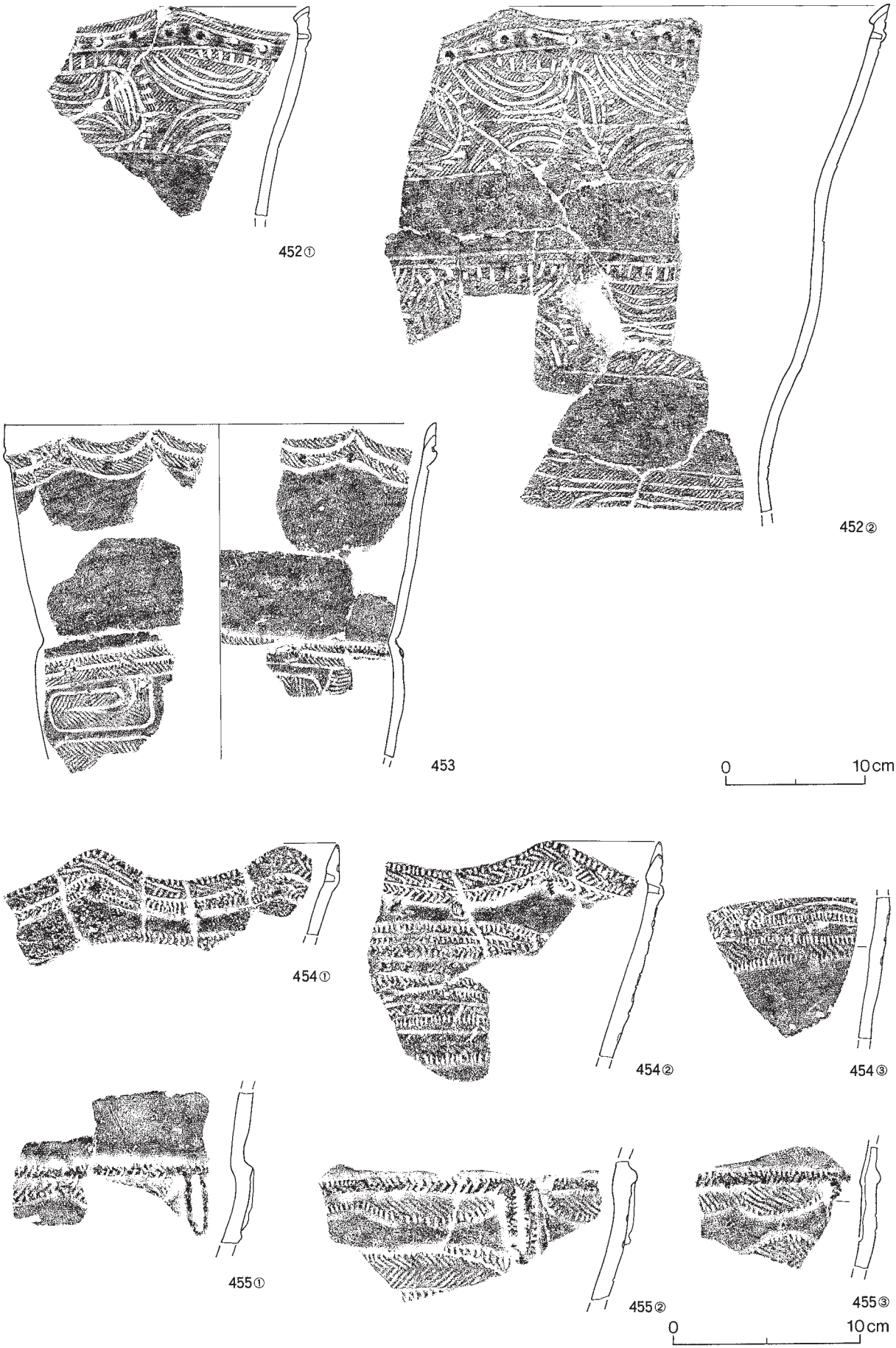
図Ⅴ－65　盛土遺構上位出土の土器（65）
縄文のみ②



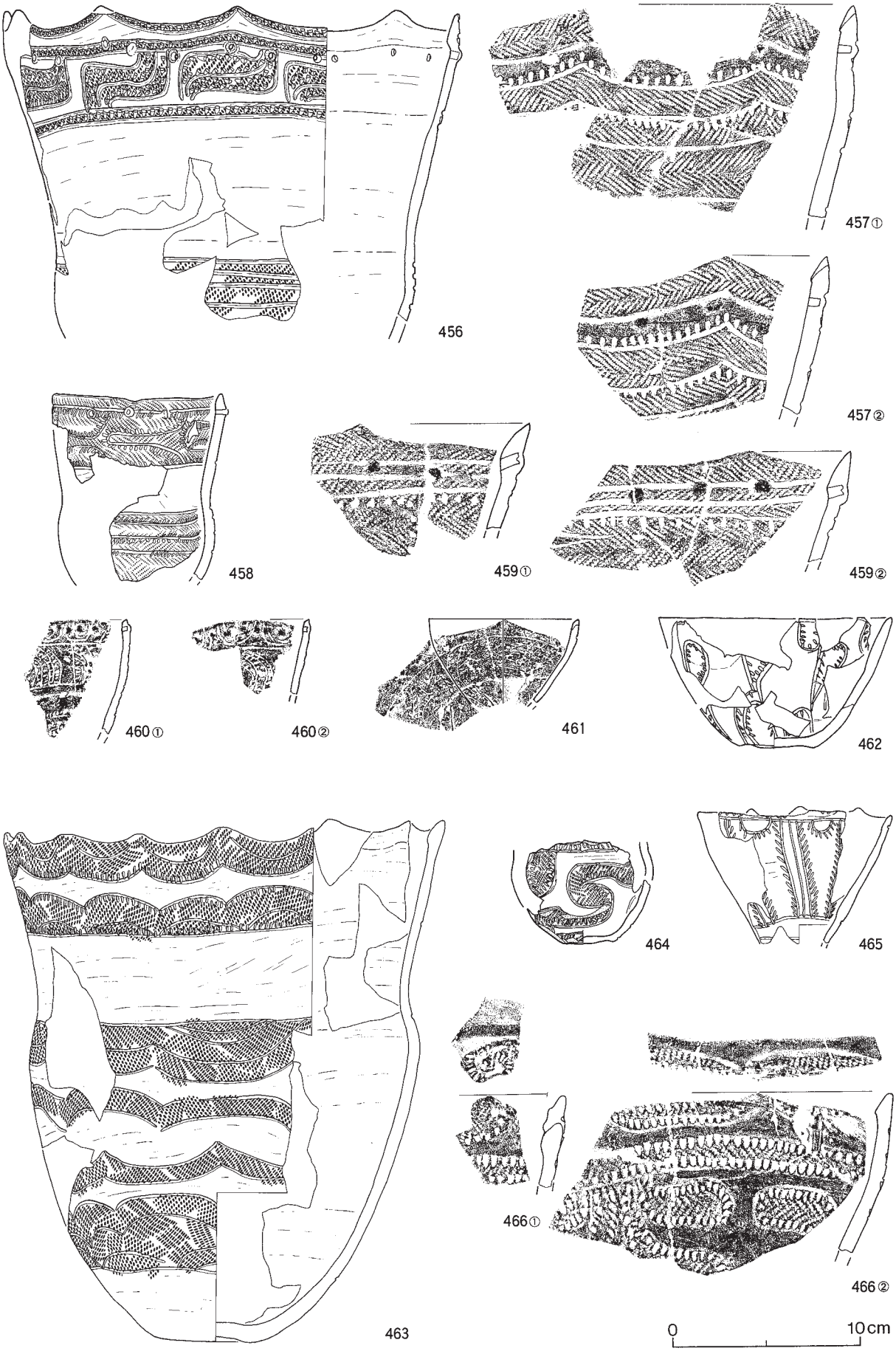
図Ⅴ－66　盛土遺構上位出土の土器（66）
縄文のみ③



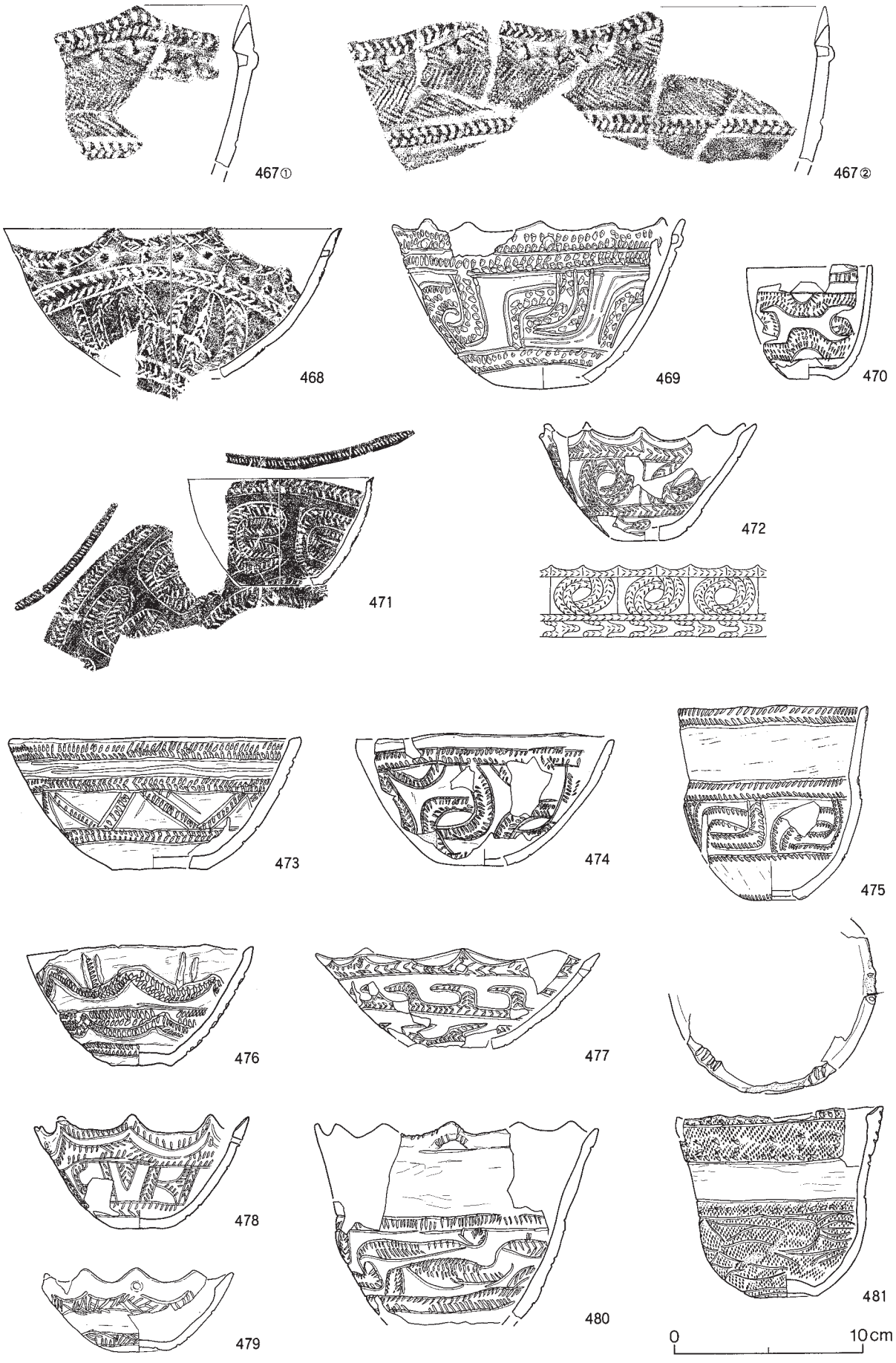
図Ⅴ－67　盛土遺構上位出土の土器（67）
縄文のみ④・無文



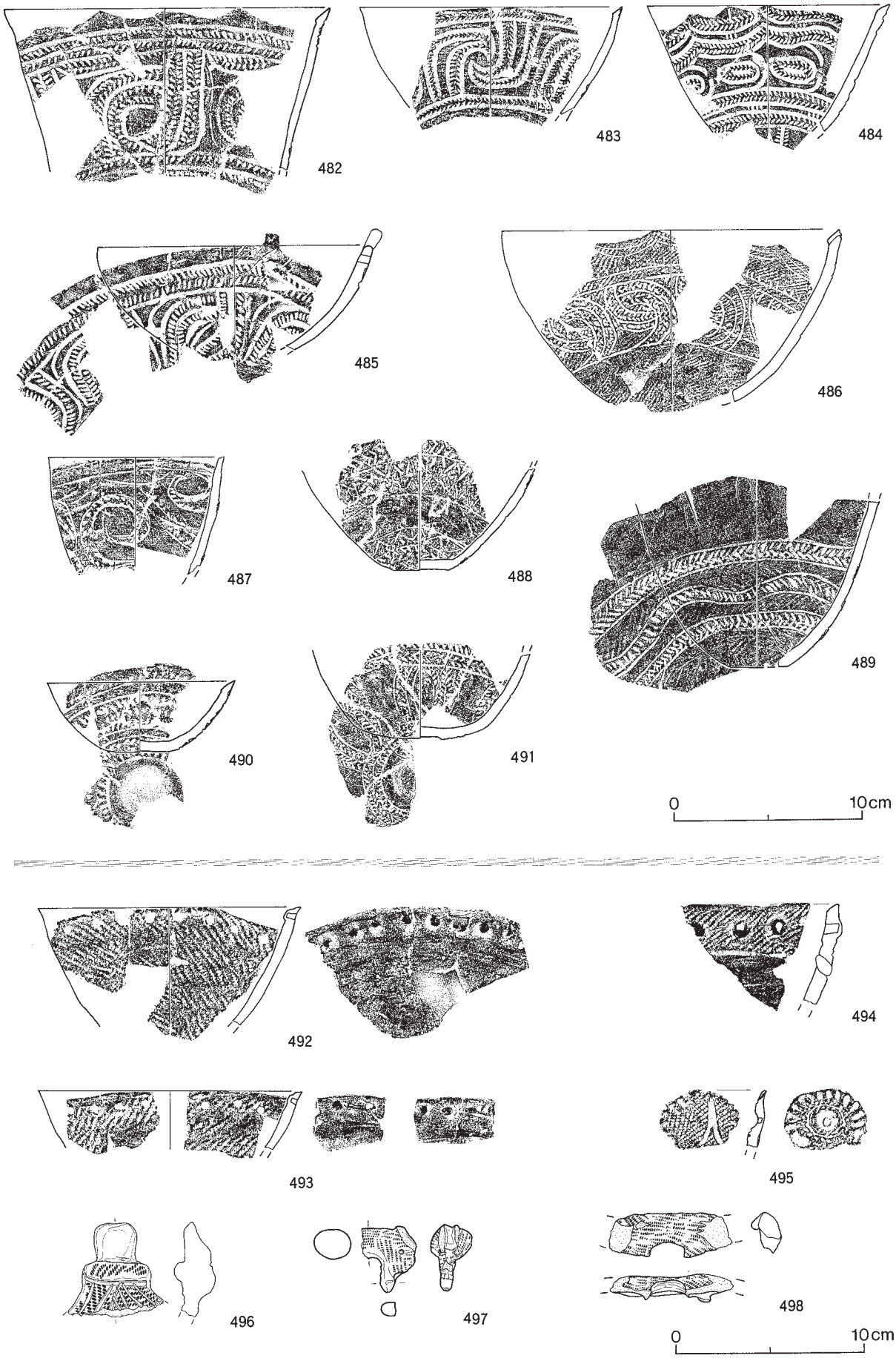
図Ⅴ－68　盛土遺構上位出土の土器（68）
突瘤・区画内列点①



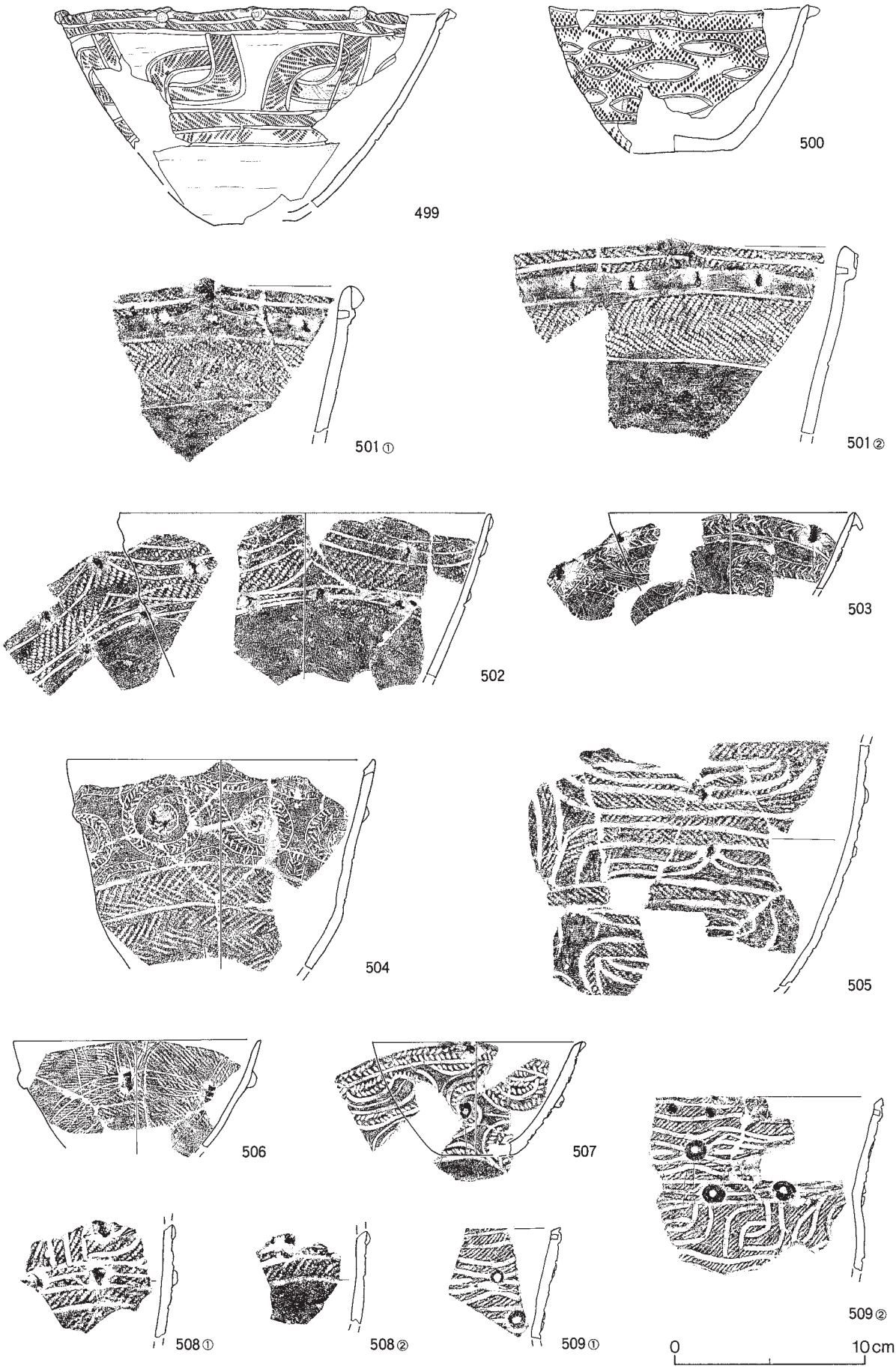
図Ⅴ－69　盛土遺構上位出土の土器（69）
区画内列点



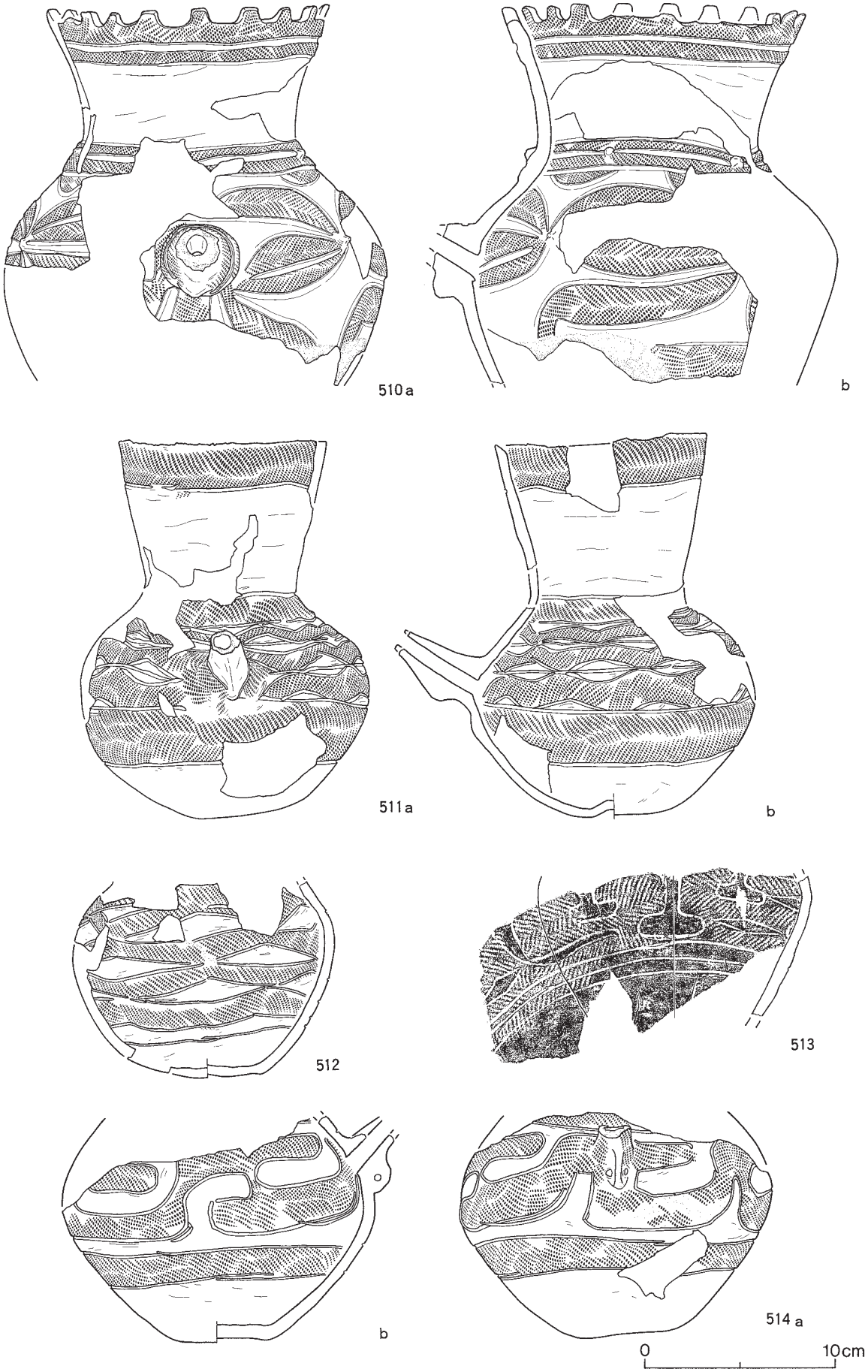
図Ⅴ－70　盛土遺構上位出土の土器（70）
ハの字状短刻線①



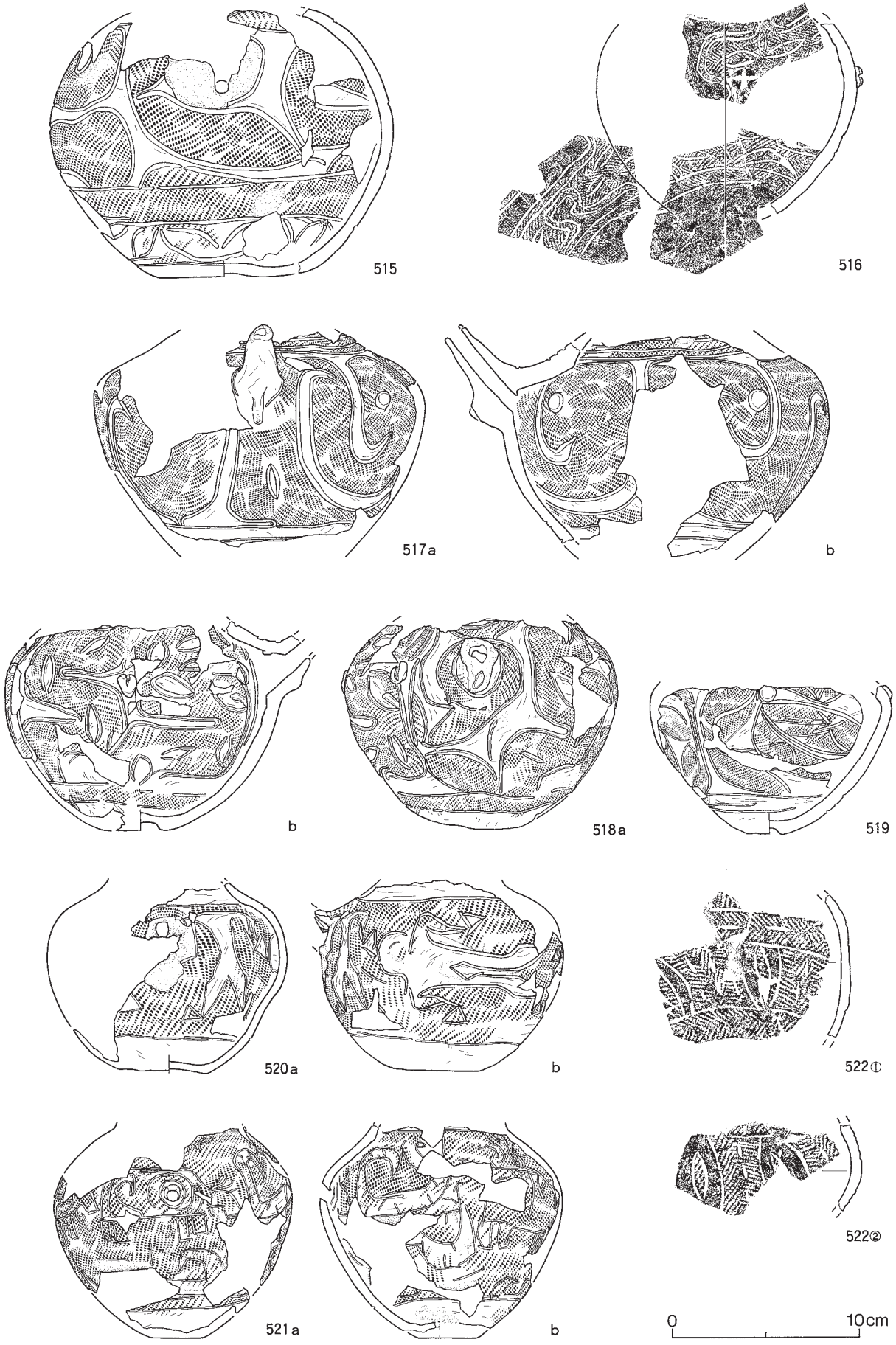
図Ⅴ－71　盛土遺構上位出土の土器（71）
ハの字状短刻線②・特殊①



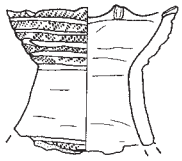
図Ⅴ－72　盛土遺構上位出土の土器（72）
貼瘤（IVc-2）



図Ⅴ－73　盛土遺構上位出土の土器（73）
注口土器・帯状文①

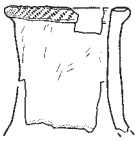


図Ⅴ－74　盛土遺構上位出土の土器（74）
注口土器・帯状文②

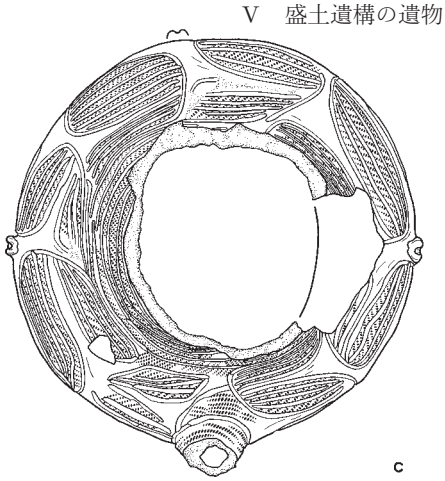


523

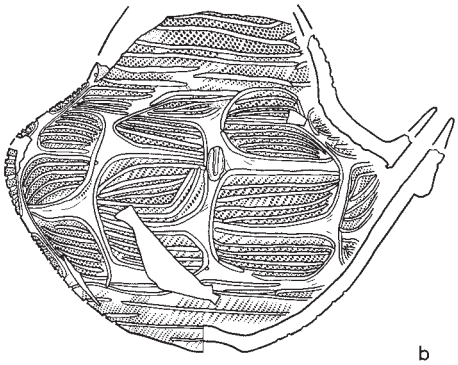
524



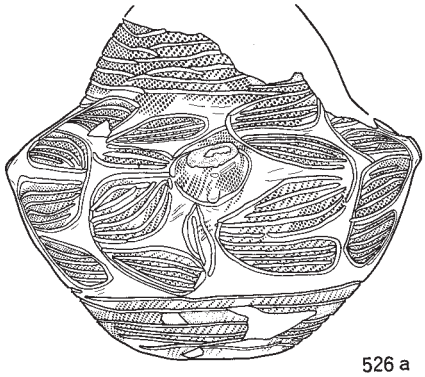
525



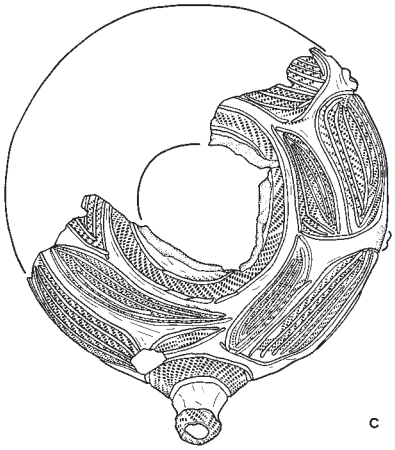
c



b

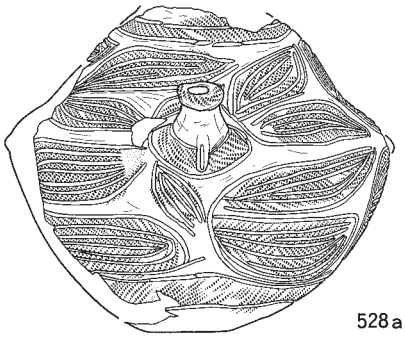


526 a

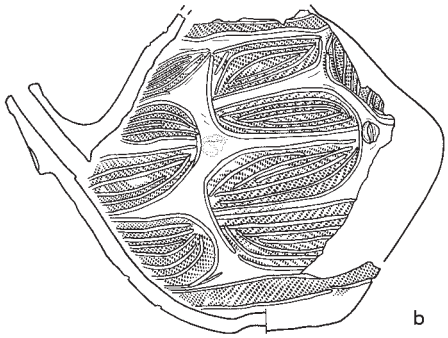


c

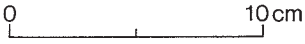
527



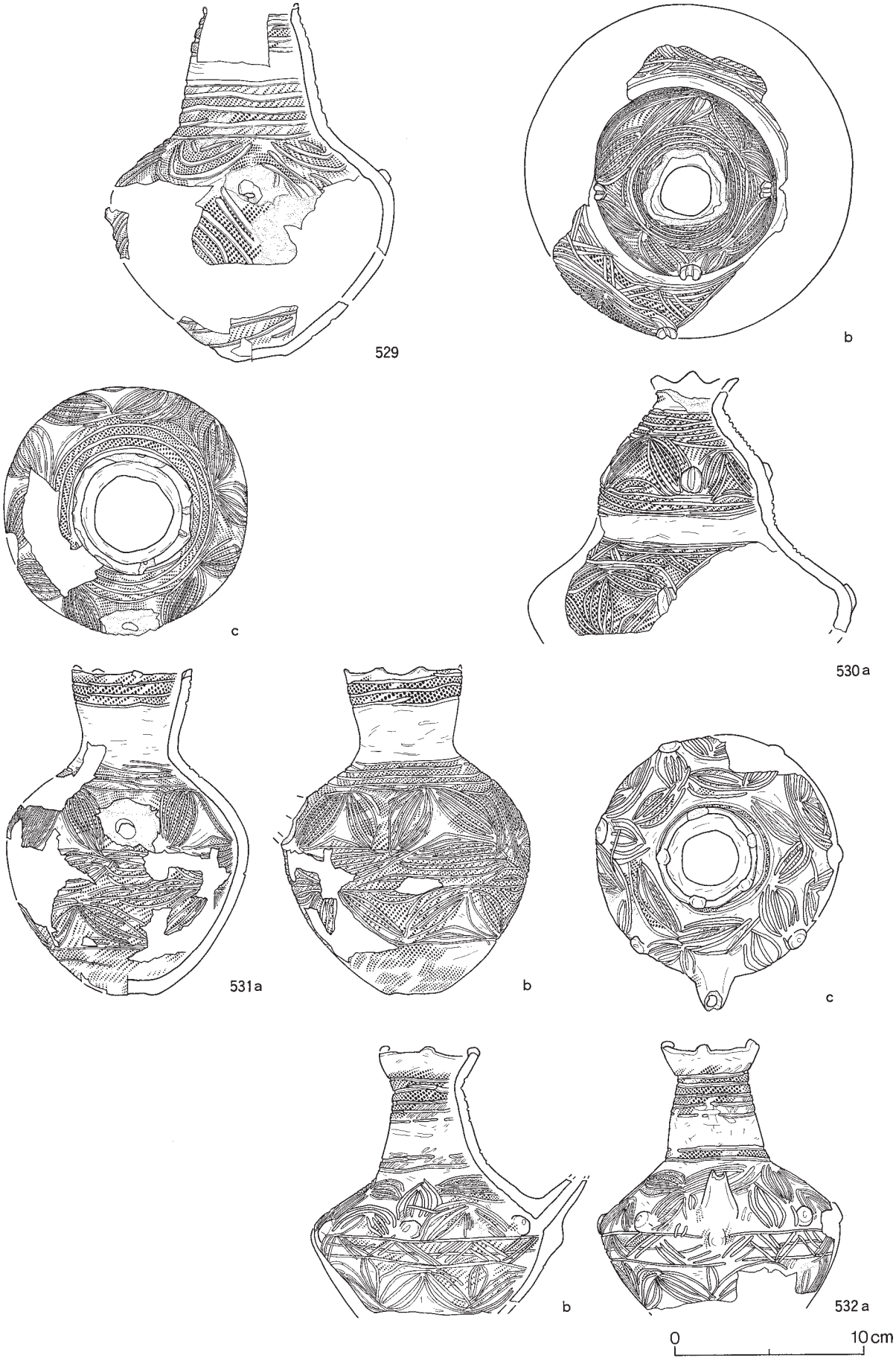
528 a



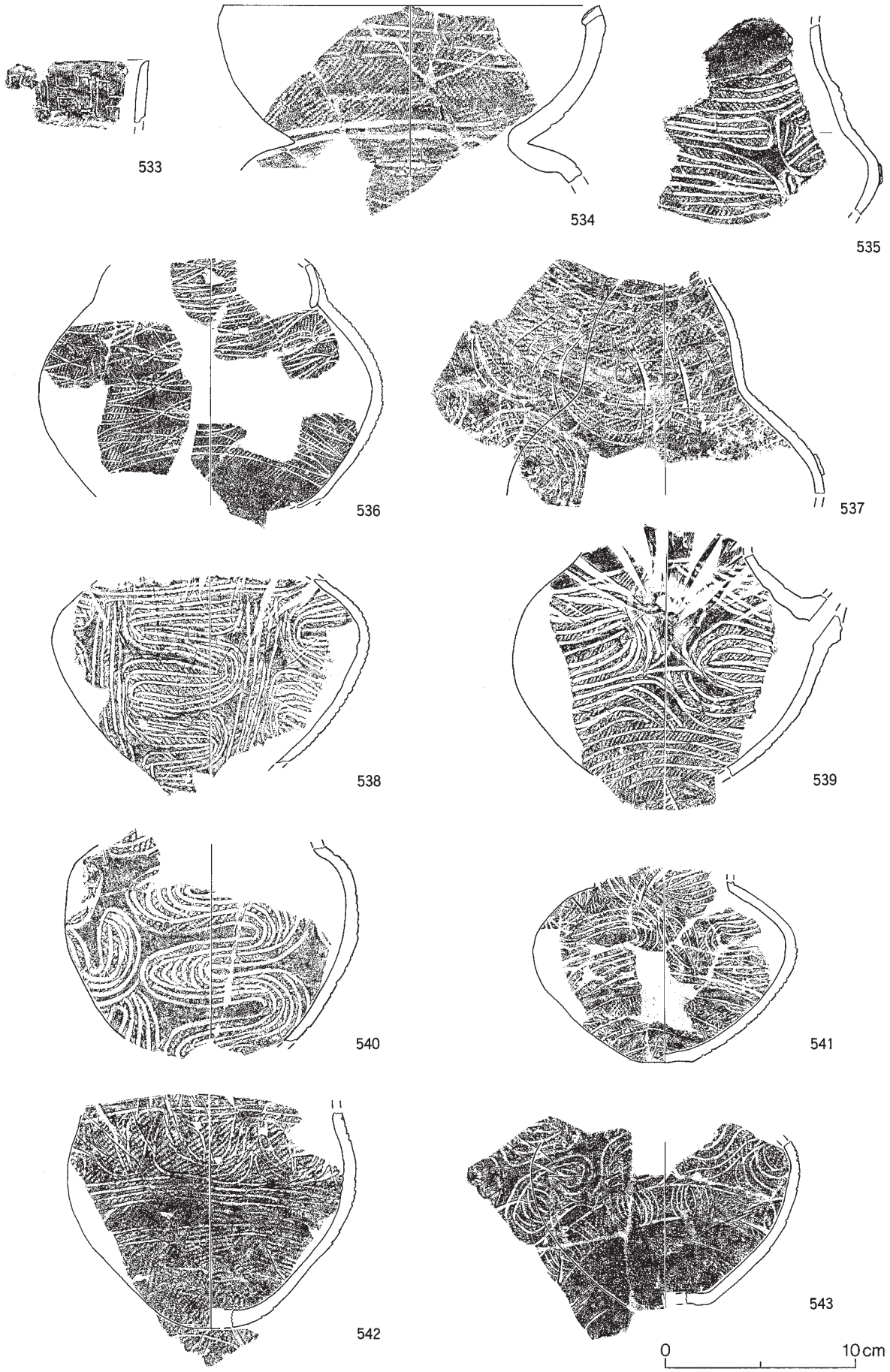
b



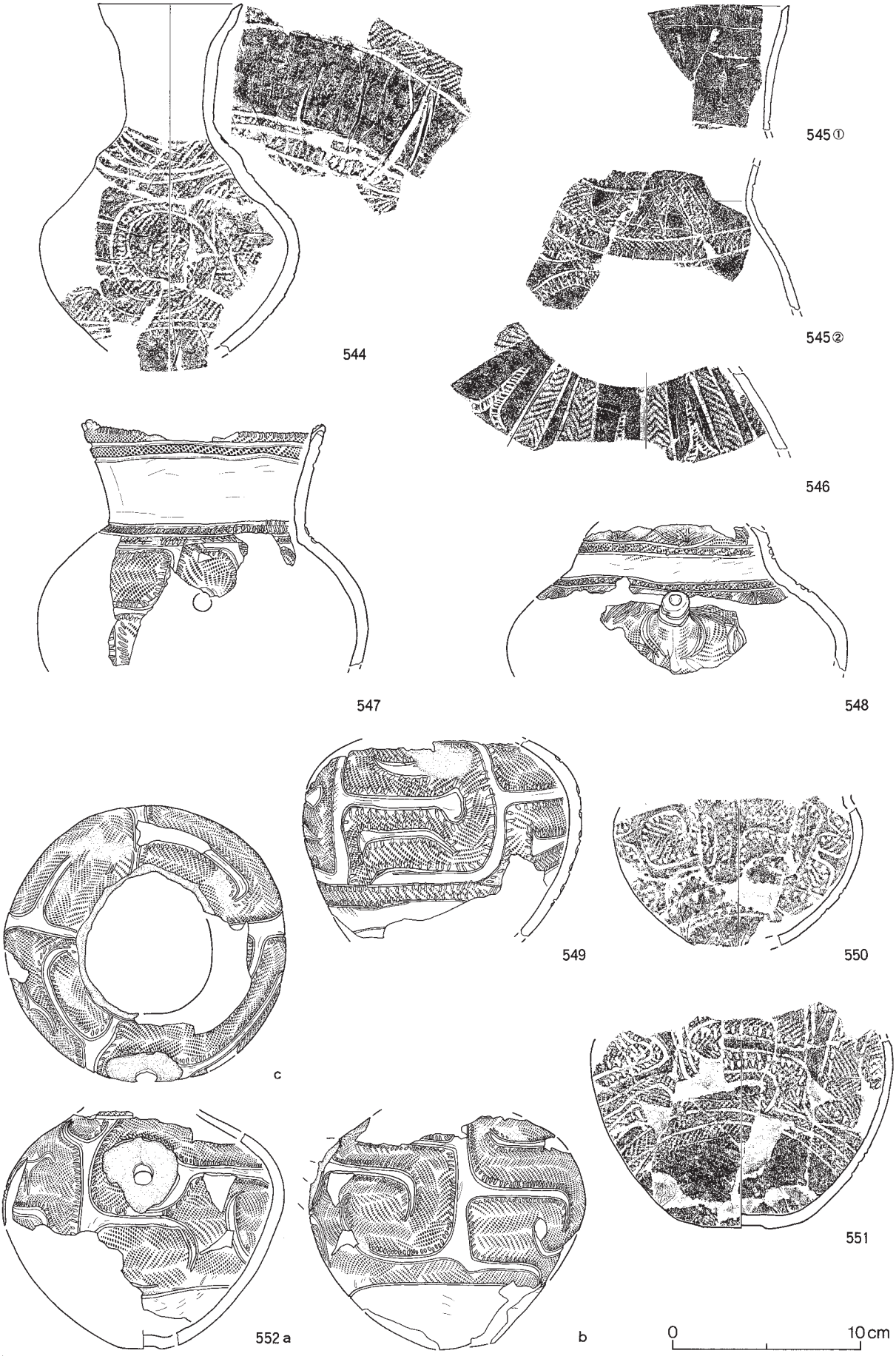
図Ⅴ－75　盛土遺構上位出土の土器（75）
注口土器・沈線①



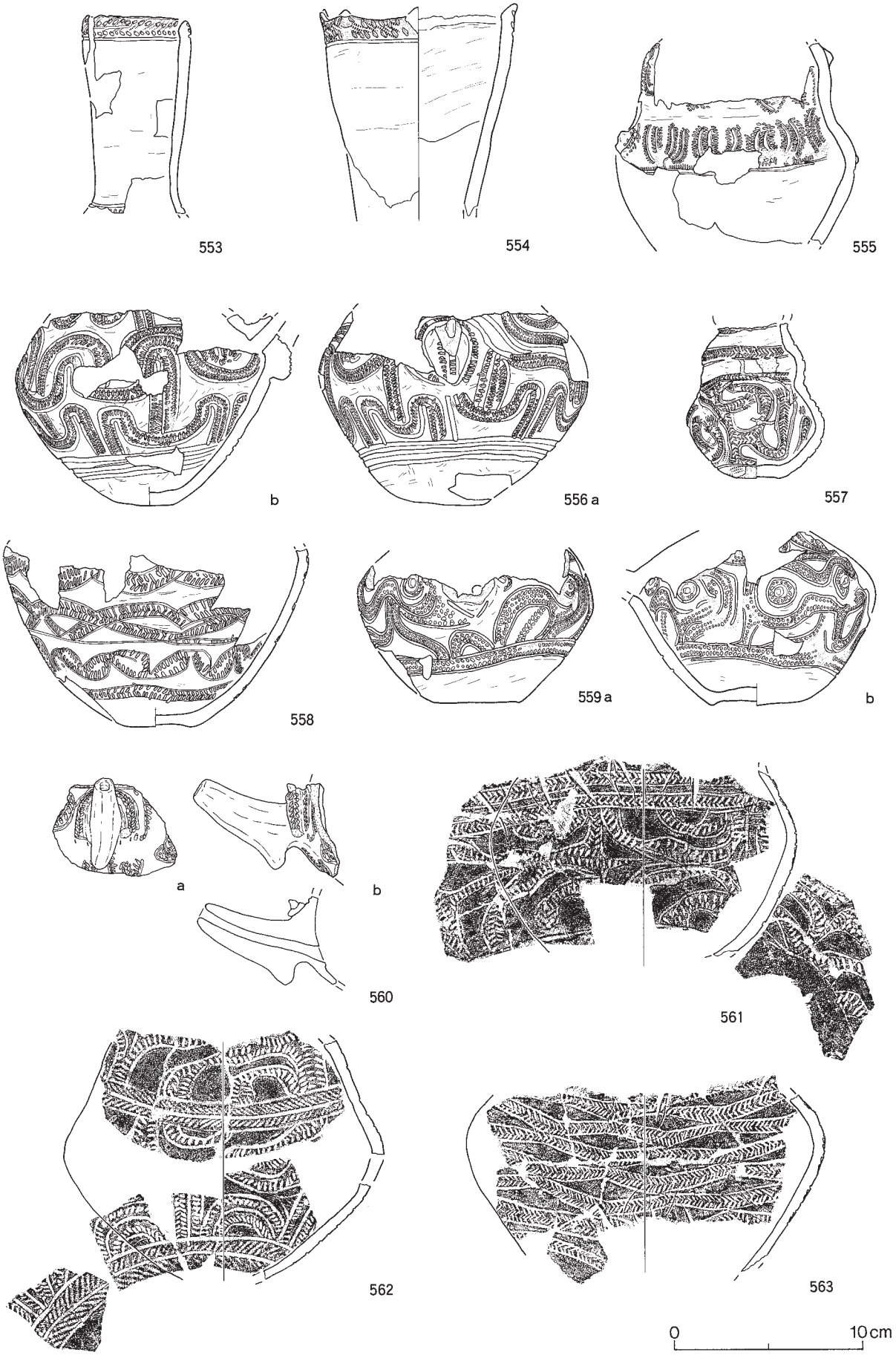
図Ⅴ－76　盛土遺構上位出土の土器（76）
注口土器・沈線②



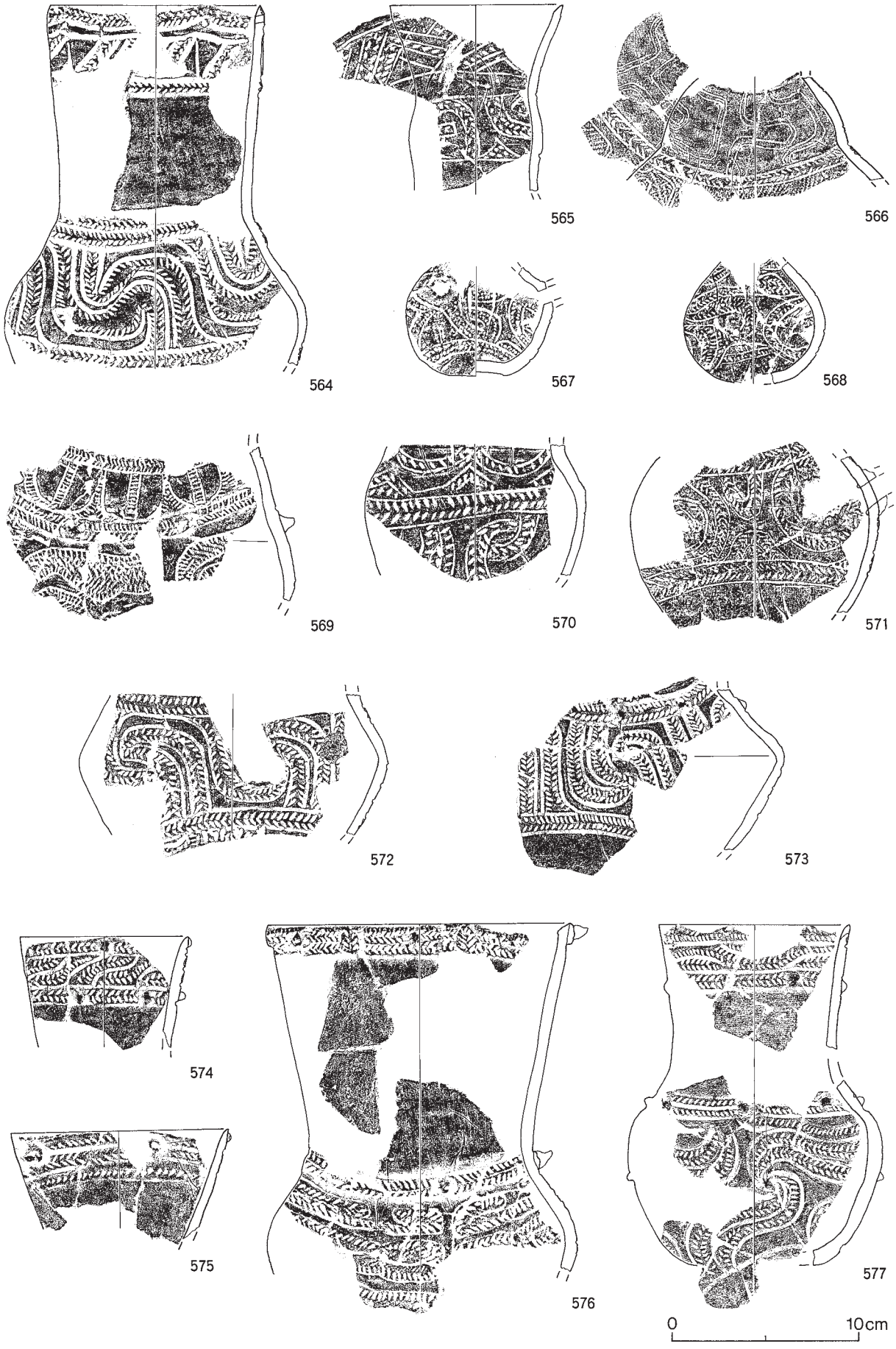
図Ⅴ－77　盛土遺構上位出土の土器（77）
注口土器・沈線③



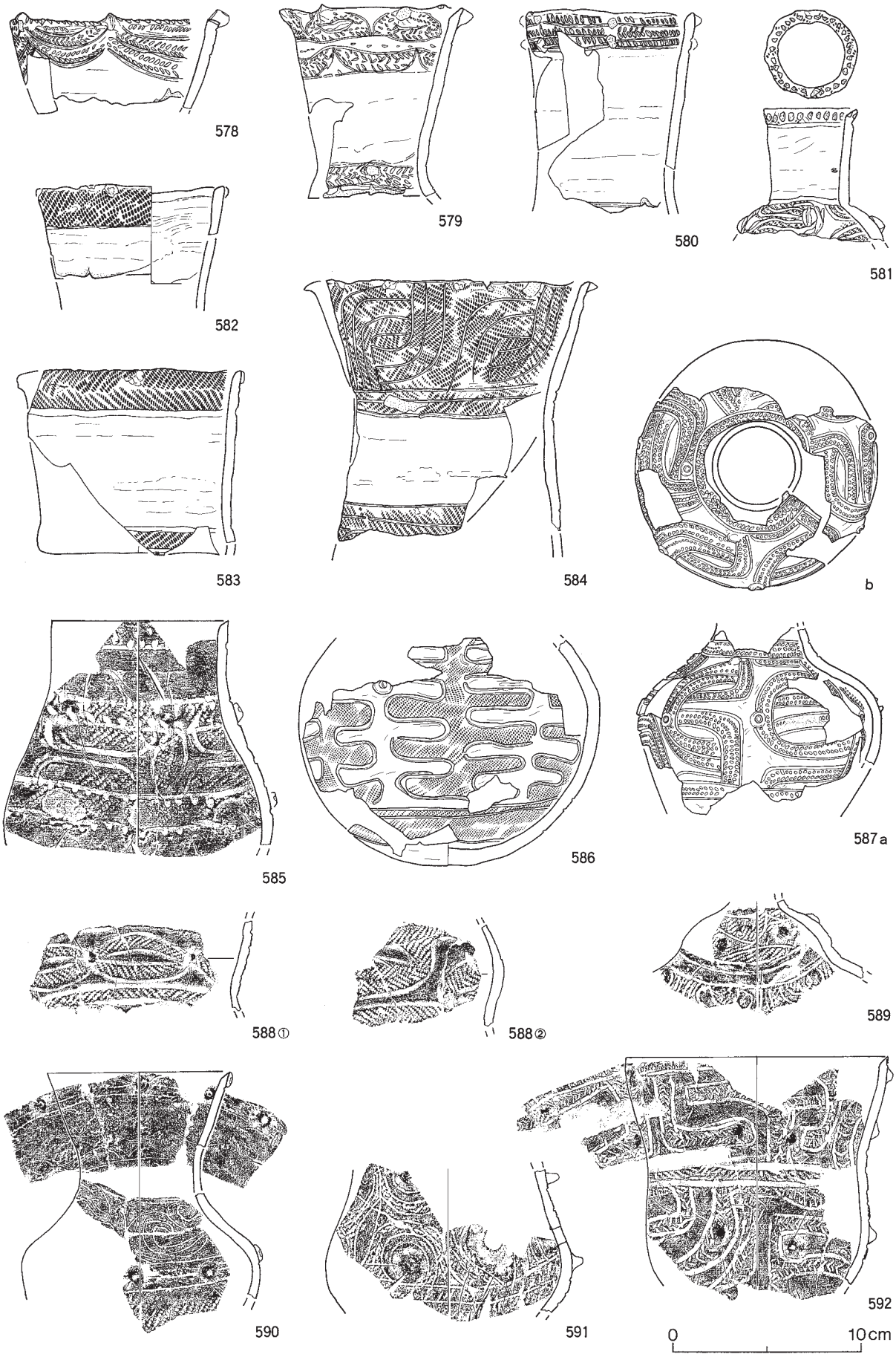
図Ⅴ－78　盛土遺構上位出土の土器（78）
注口土器・区画内列点



図Ⅴ－79　盛土遺構上位出土の土器（79）
注口土器・ハの字状短刻線①



図Ⅴ－80　盛土遺構上位出土の土器（80）
注口土器・ハの字状短刻線②・貼瘤①

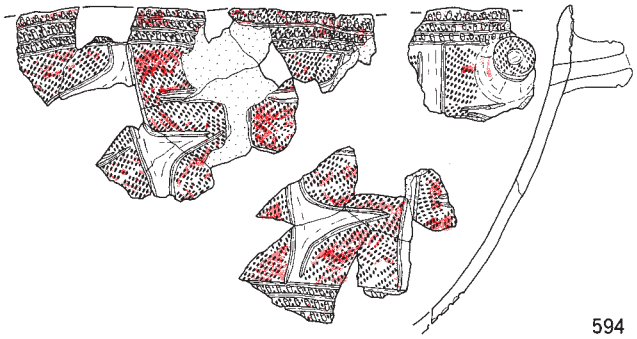


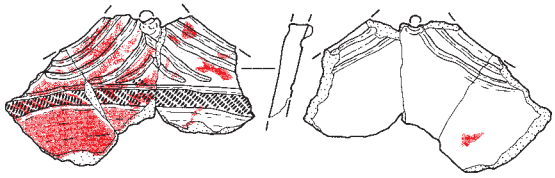
図Ⅴ－81　盛土遺構上位出土の土器（81）
注口土器・貼瘤（Ⅳc-2）②

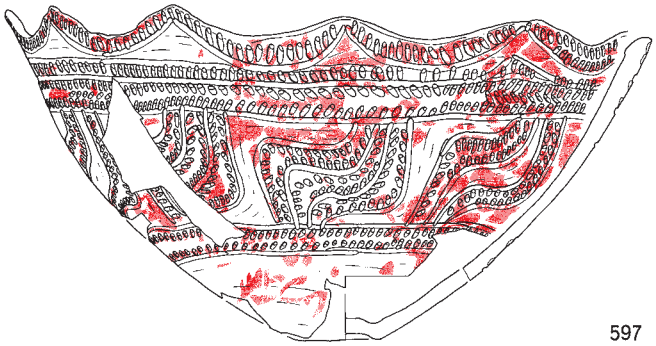
593 a

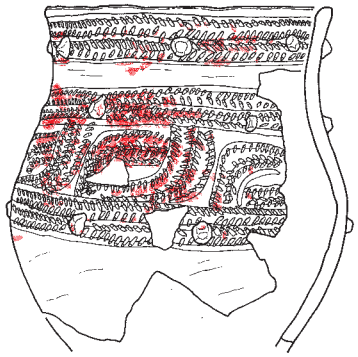
b

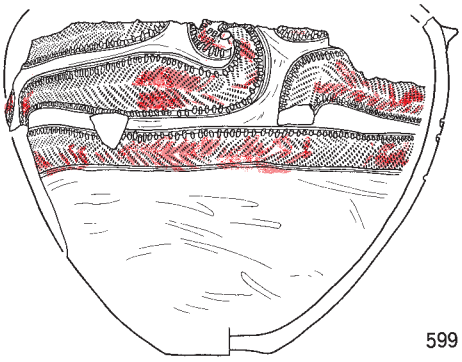
595

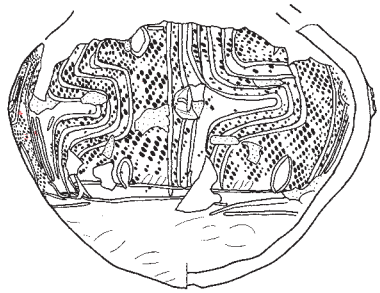

594


596


597


598

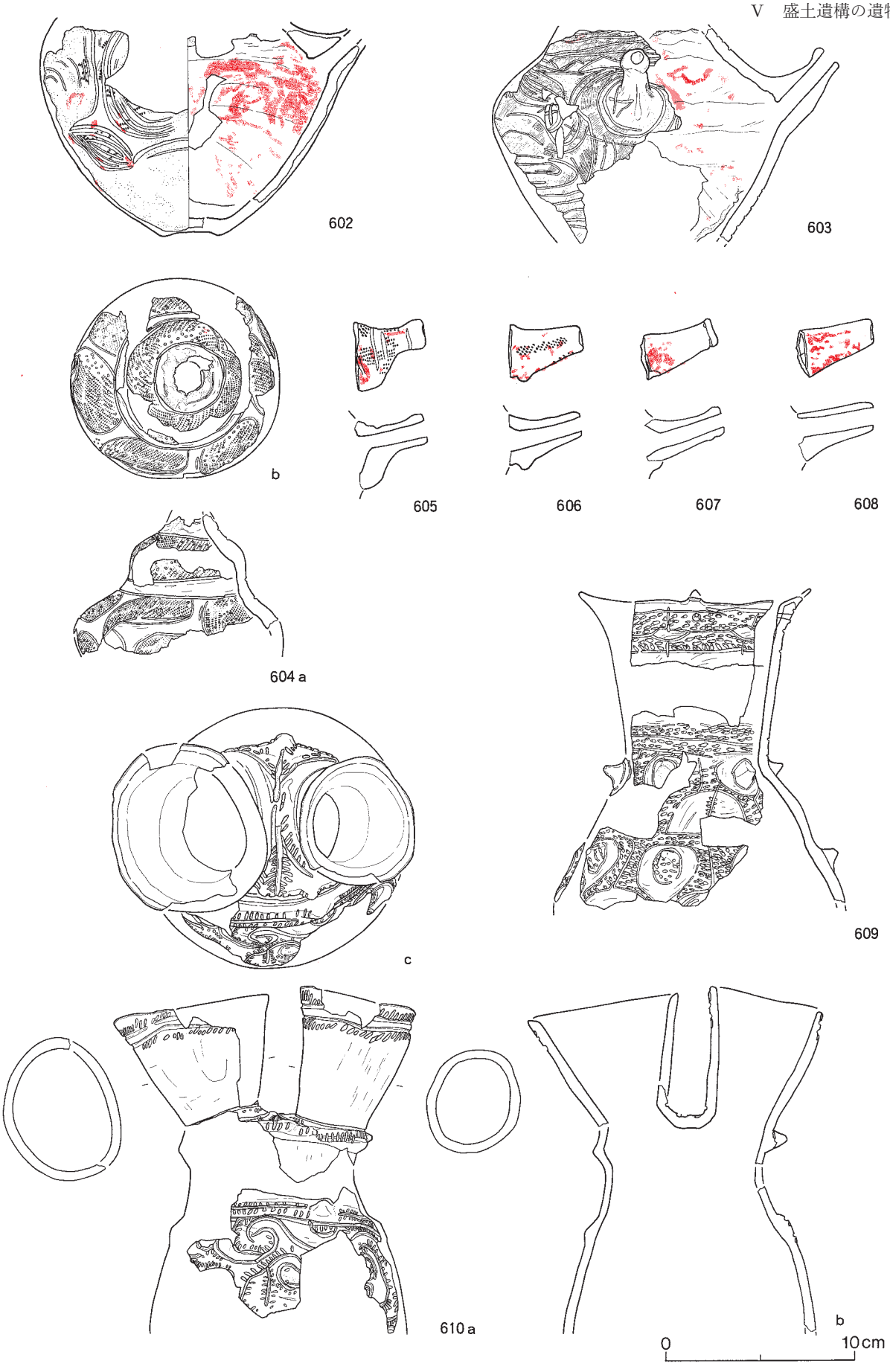

599


601

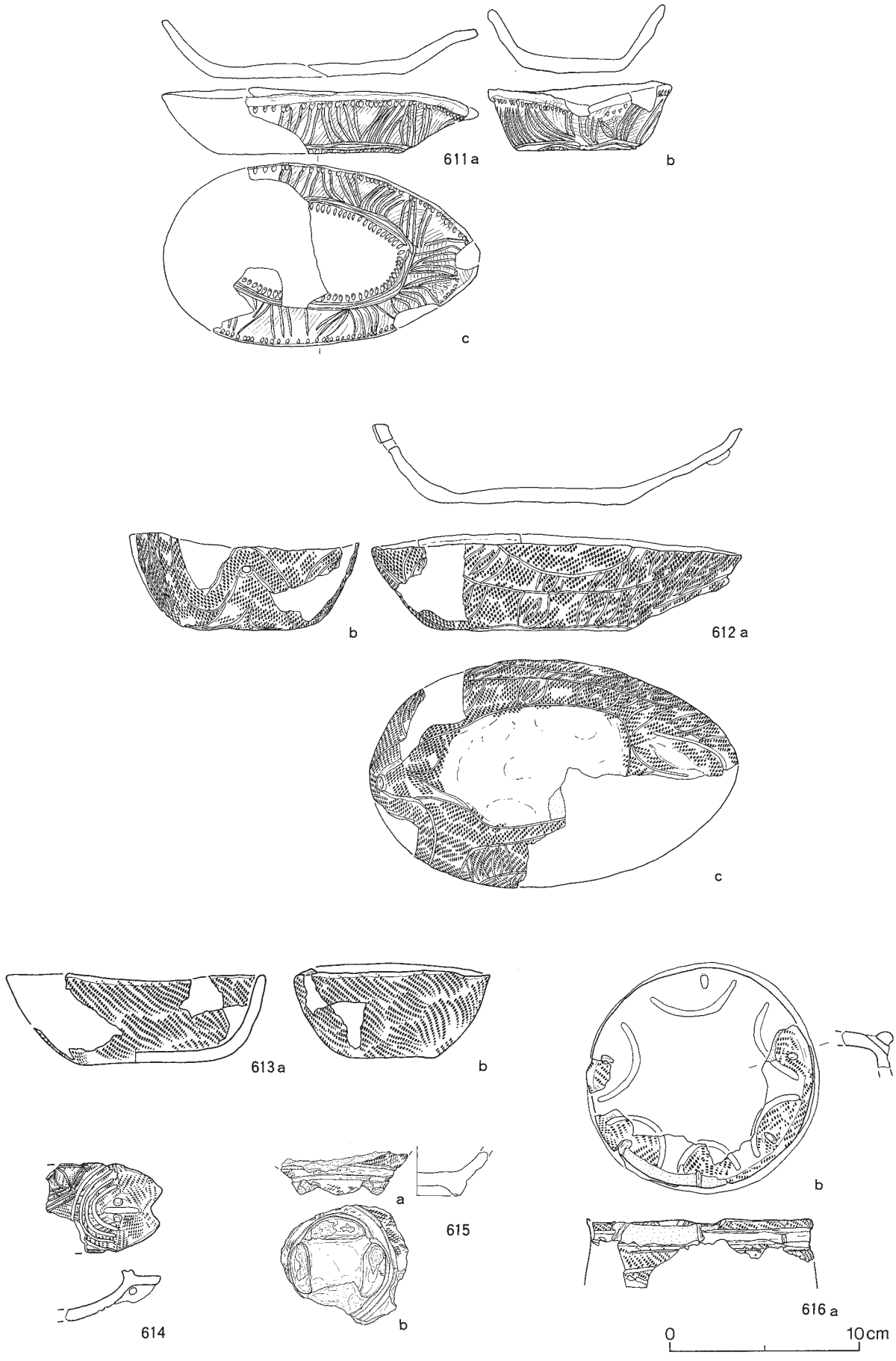
600

0　10cm

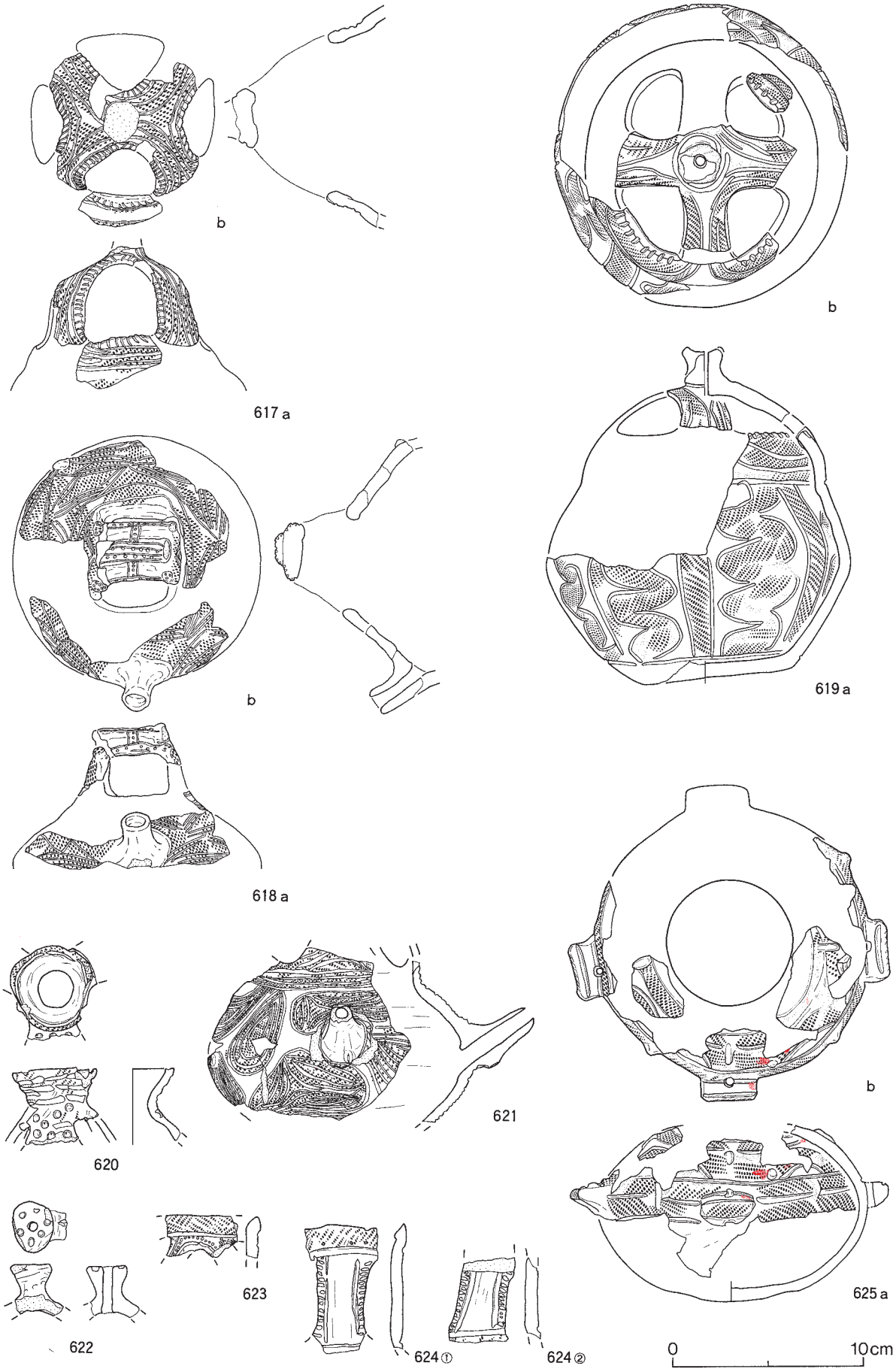
図Ⅴ－82　盛土遺構上位出土の土器（82）
赤彩①



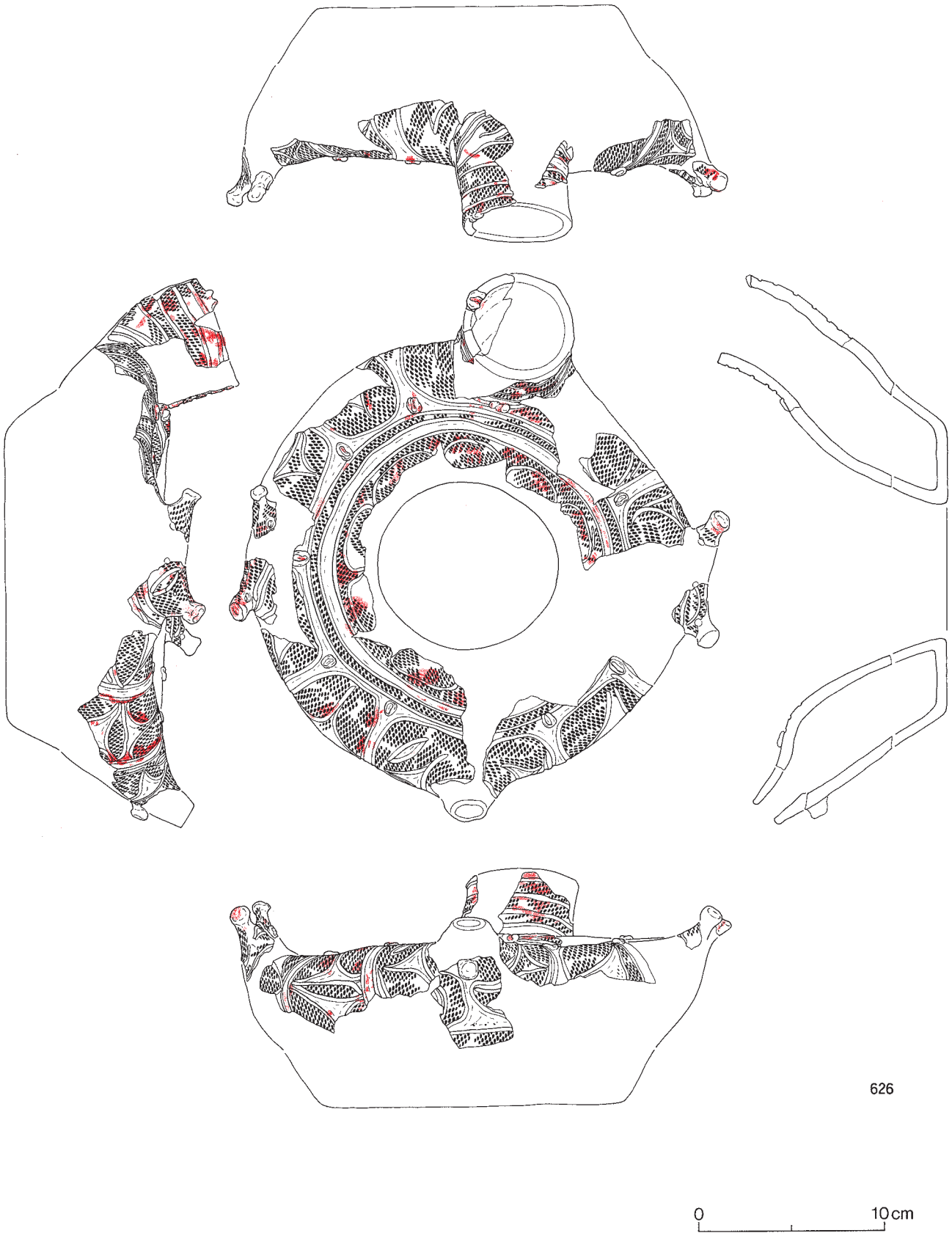
図Ⅴ－83　盛土遺構上位出土の土器（83）
赤彩②・特殊②



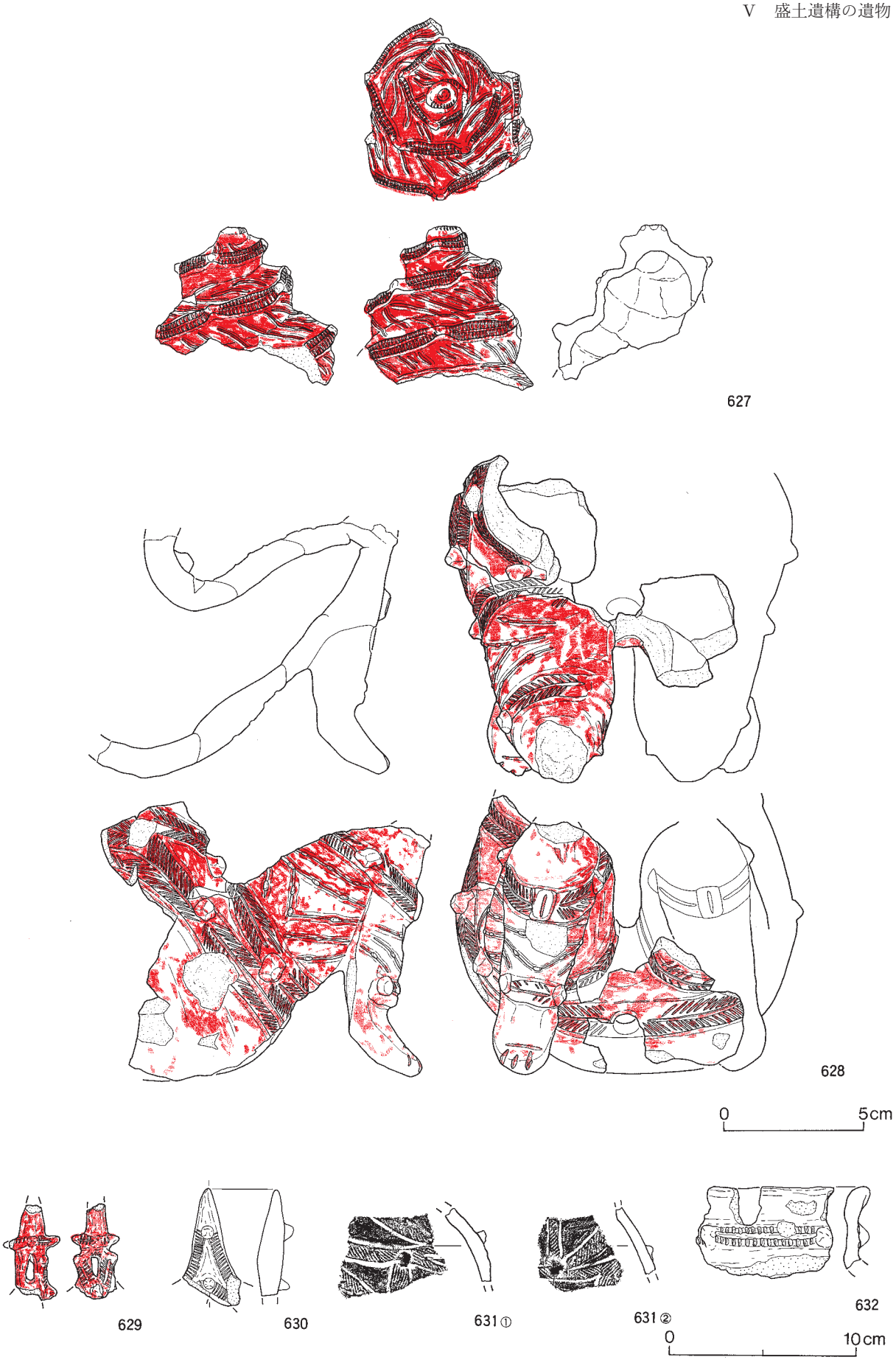
図Ⅴ－84　盛土遺構上位出土の土器（84）
特殊③舟形ほか



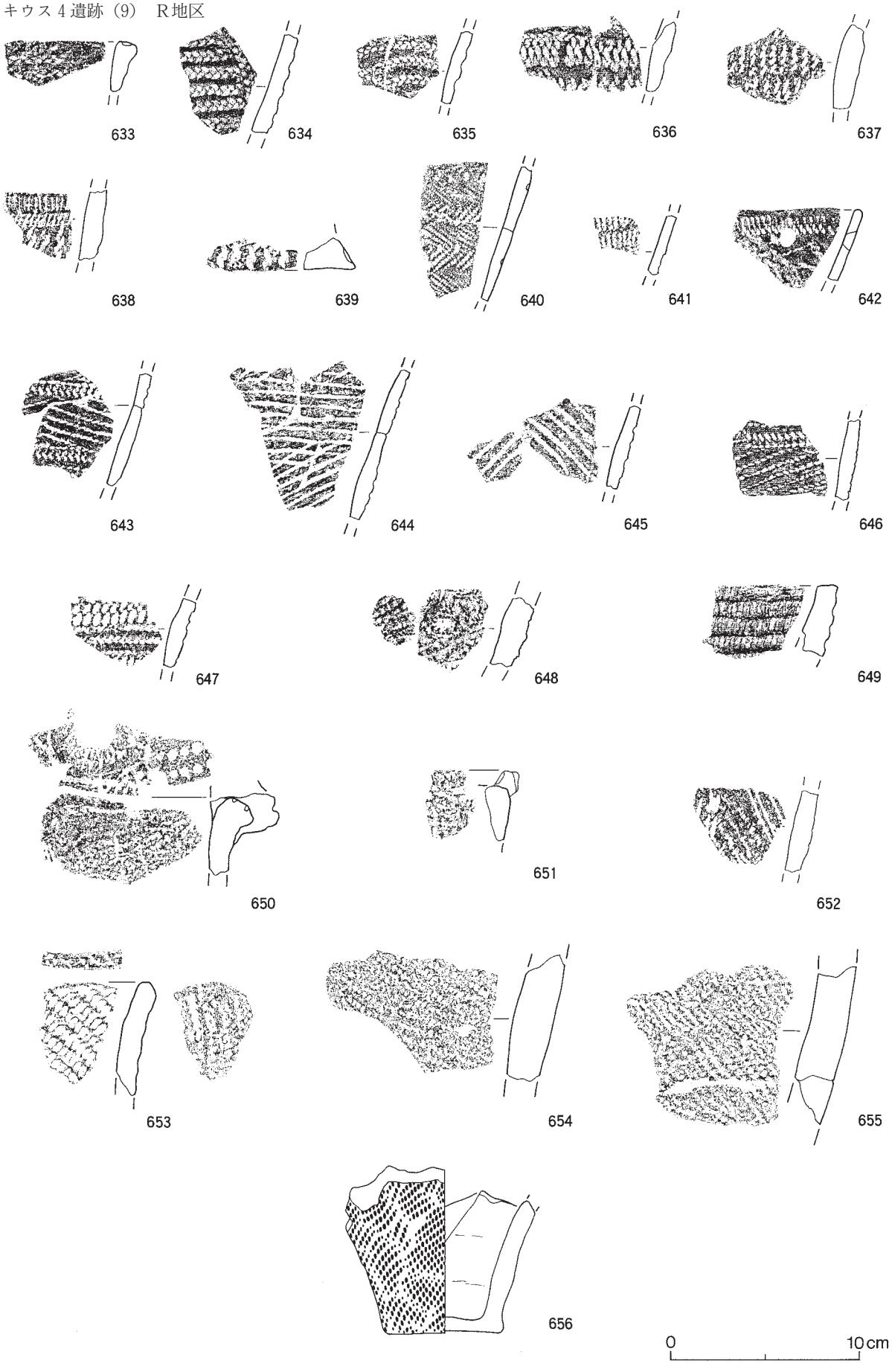
図Ⅴ－85　盛土遺構上位出土の土器（85）
特殊④香炉形



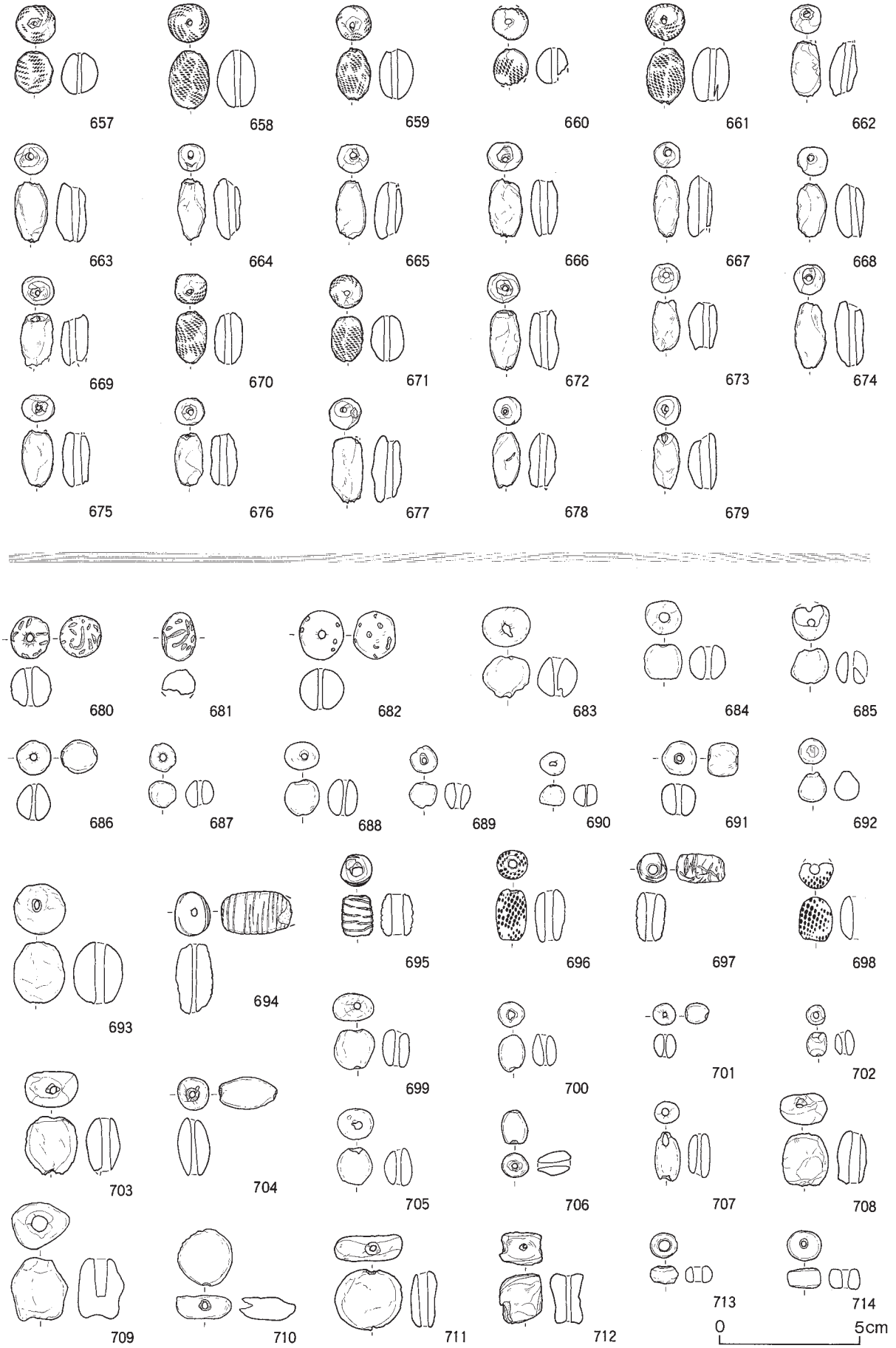
図Ⅴ－86　盛土遺構上位出土の土器（86）
特殊⑤環状赤彩



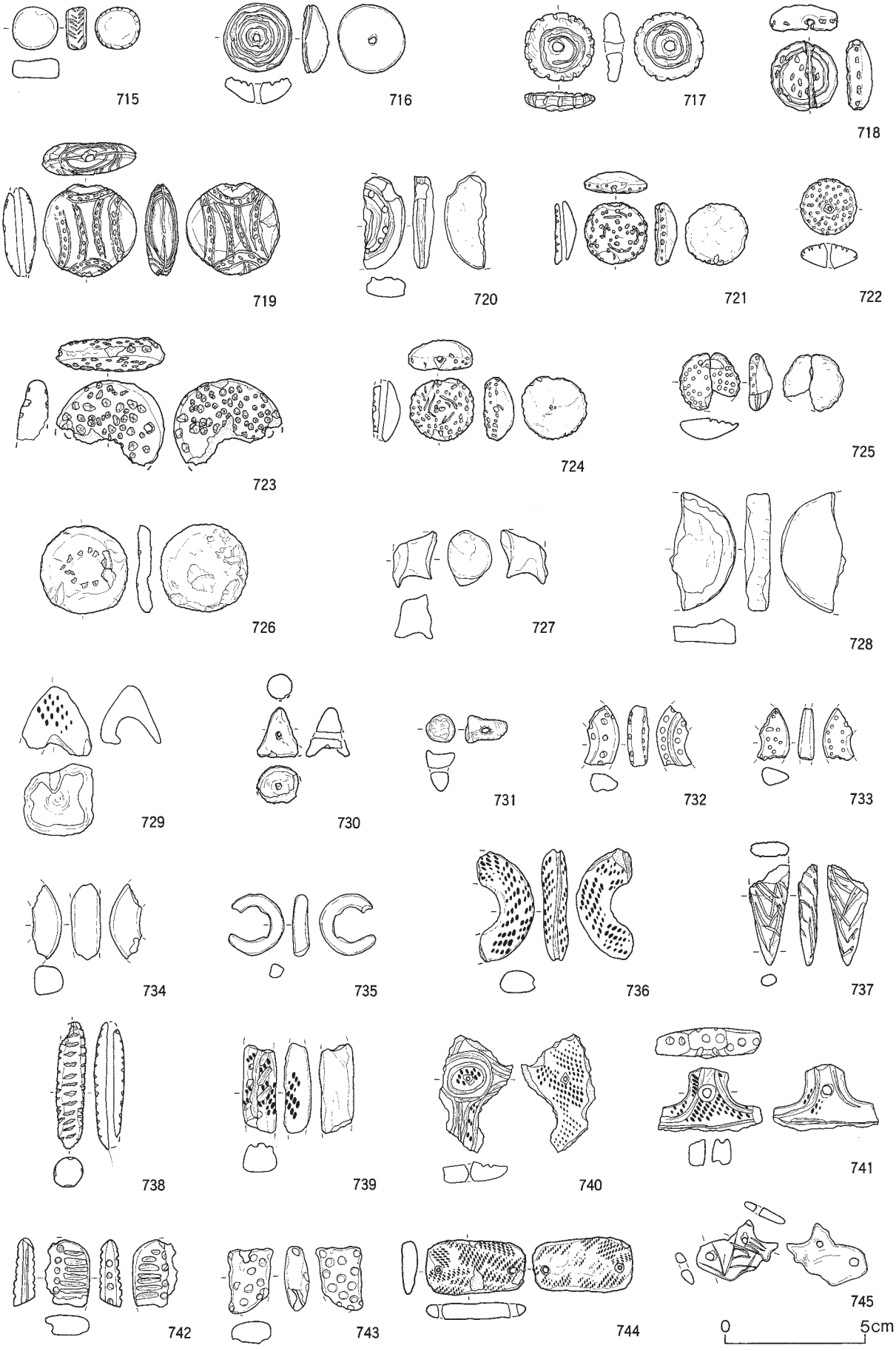
図Ⅴ－87　盛土遺構上位出土の土器（87）・土製品
微隆線（IVc-0）



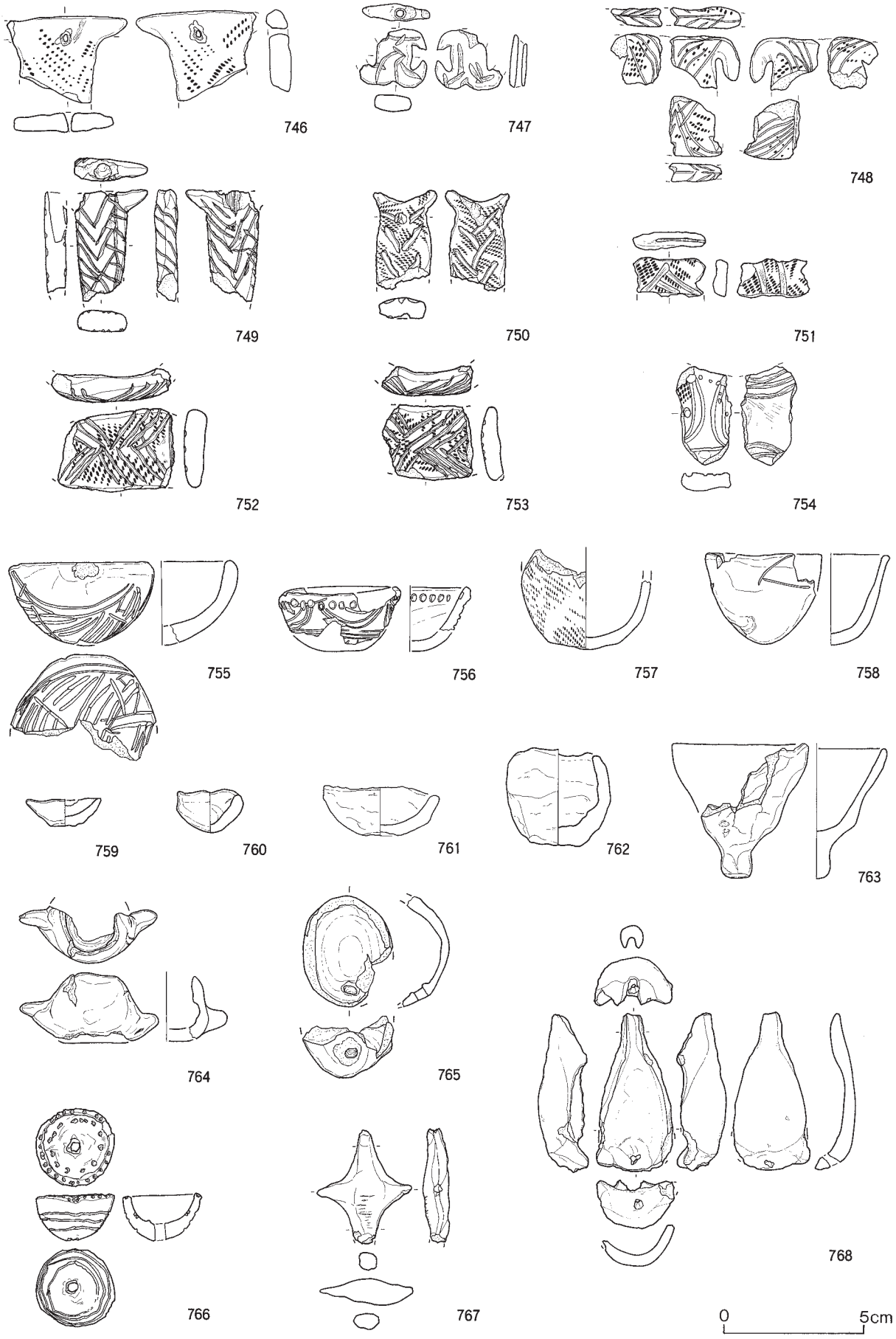
図Ⅴ－88　盛土遺構上位出土の土器（88）
Ⅳc以外



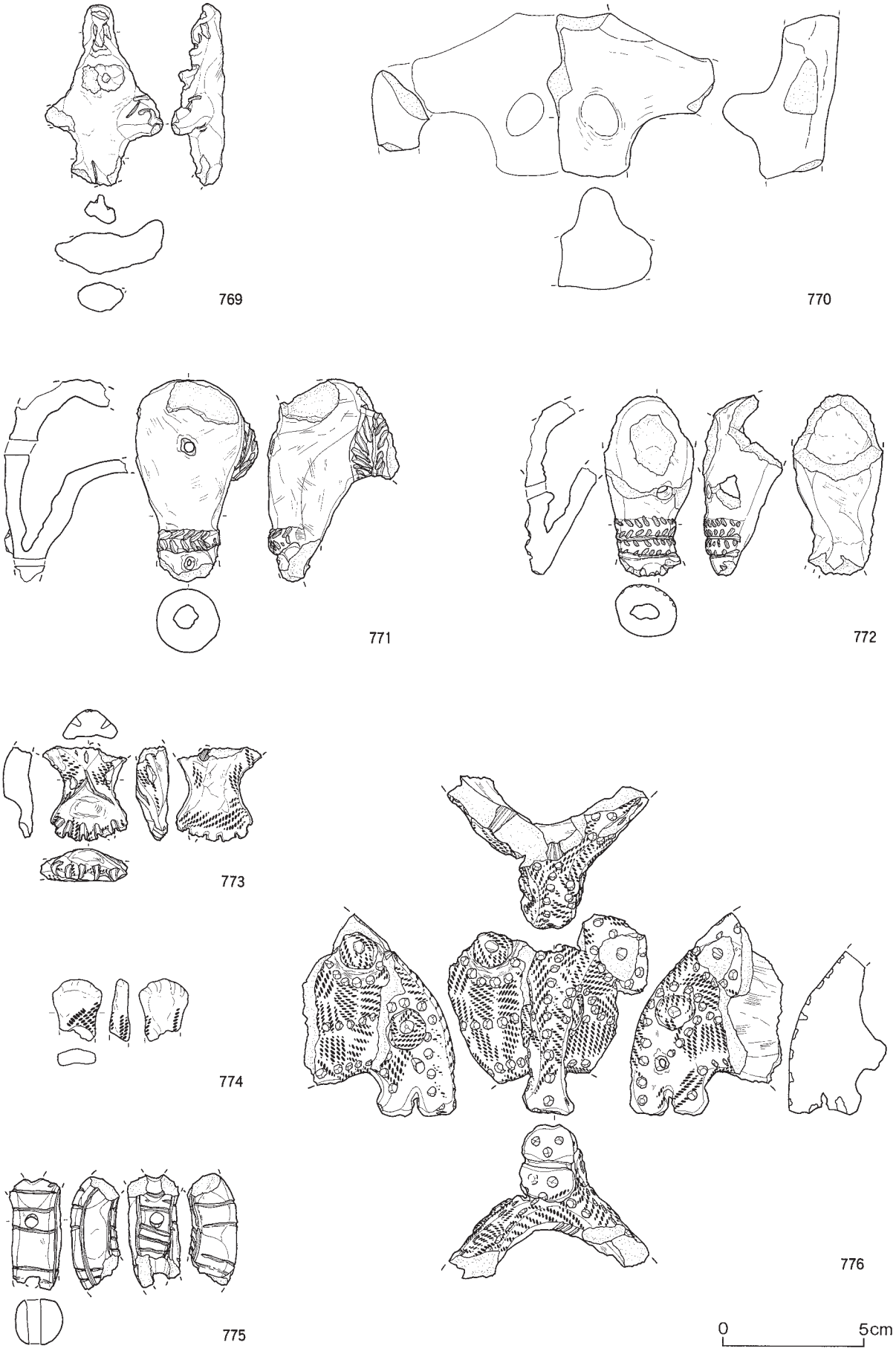
図Ⅴ－89　盛土遺構上位出土の土製品（1）
土玉（上段：土玉集中出土）



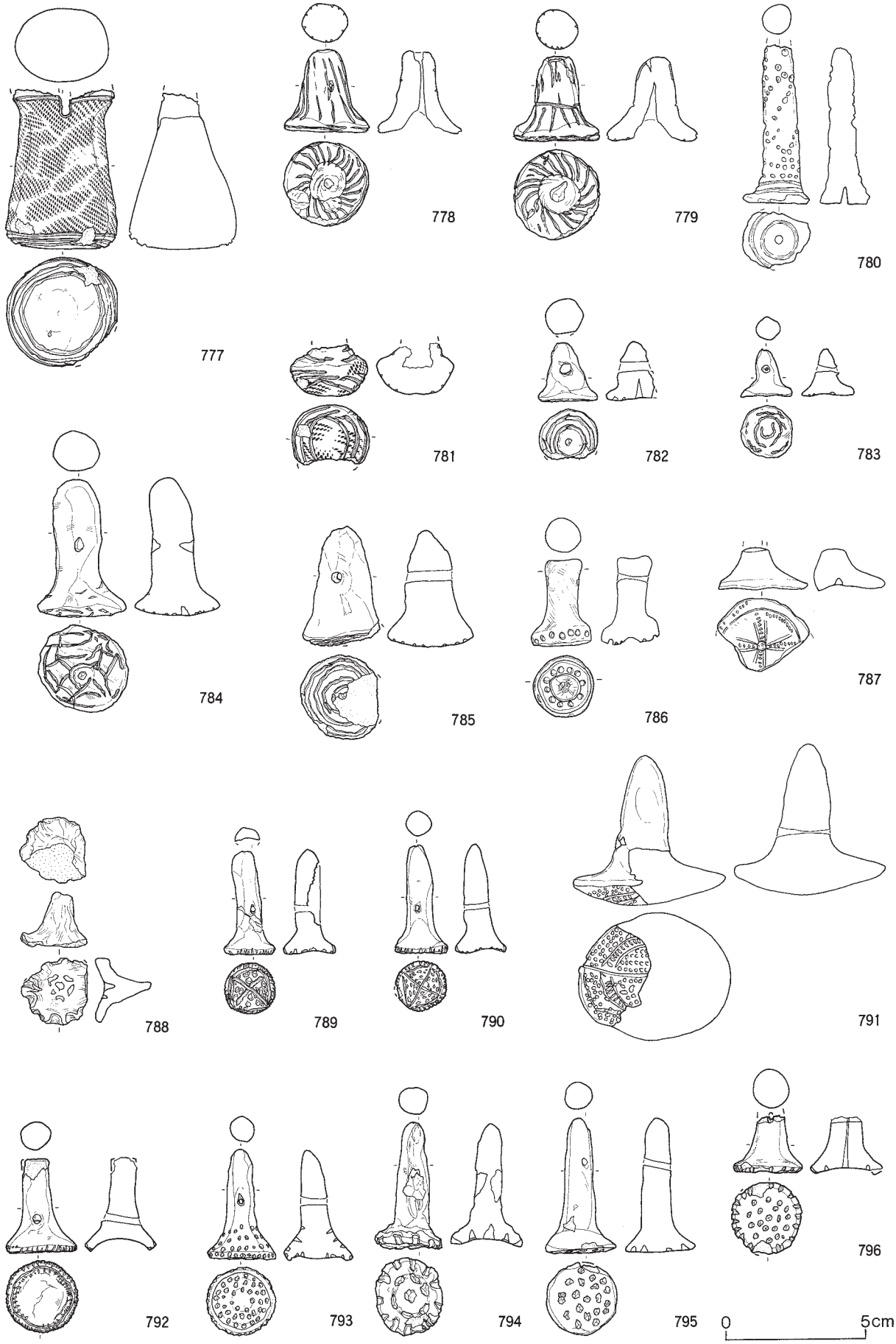
図Ｖ－90　盛土遺構上位出土の土製品（２）
垂飾ほか



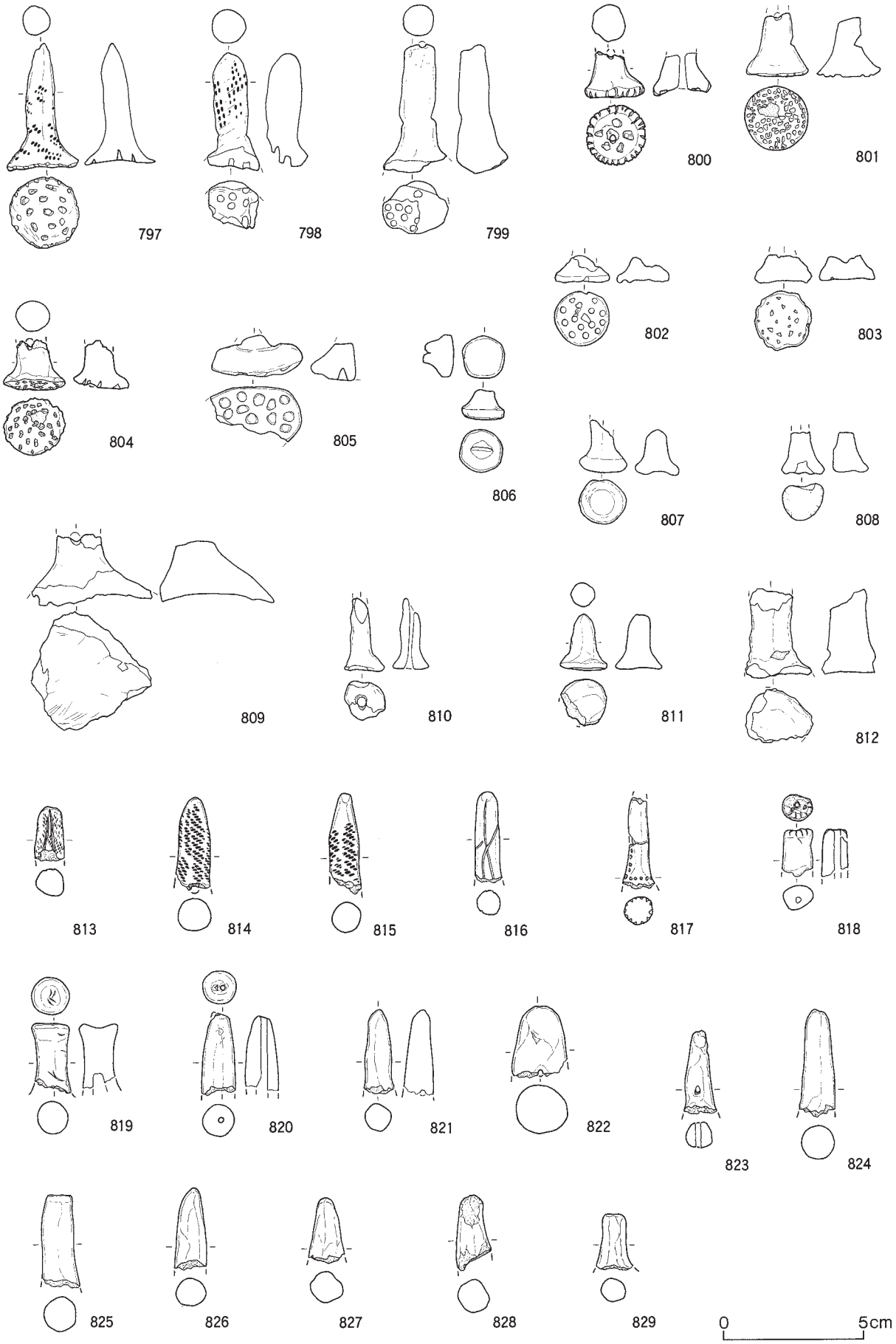
図Ⅴ－91　盛土遺構上位出土の土製品（3）
垂飾・ミニチュアほか



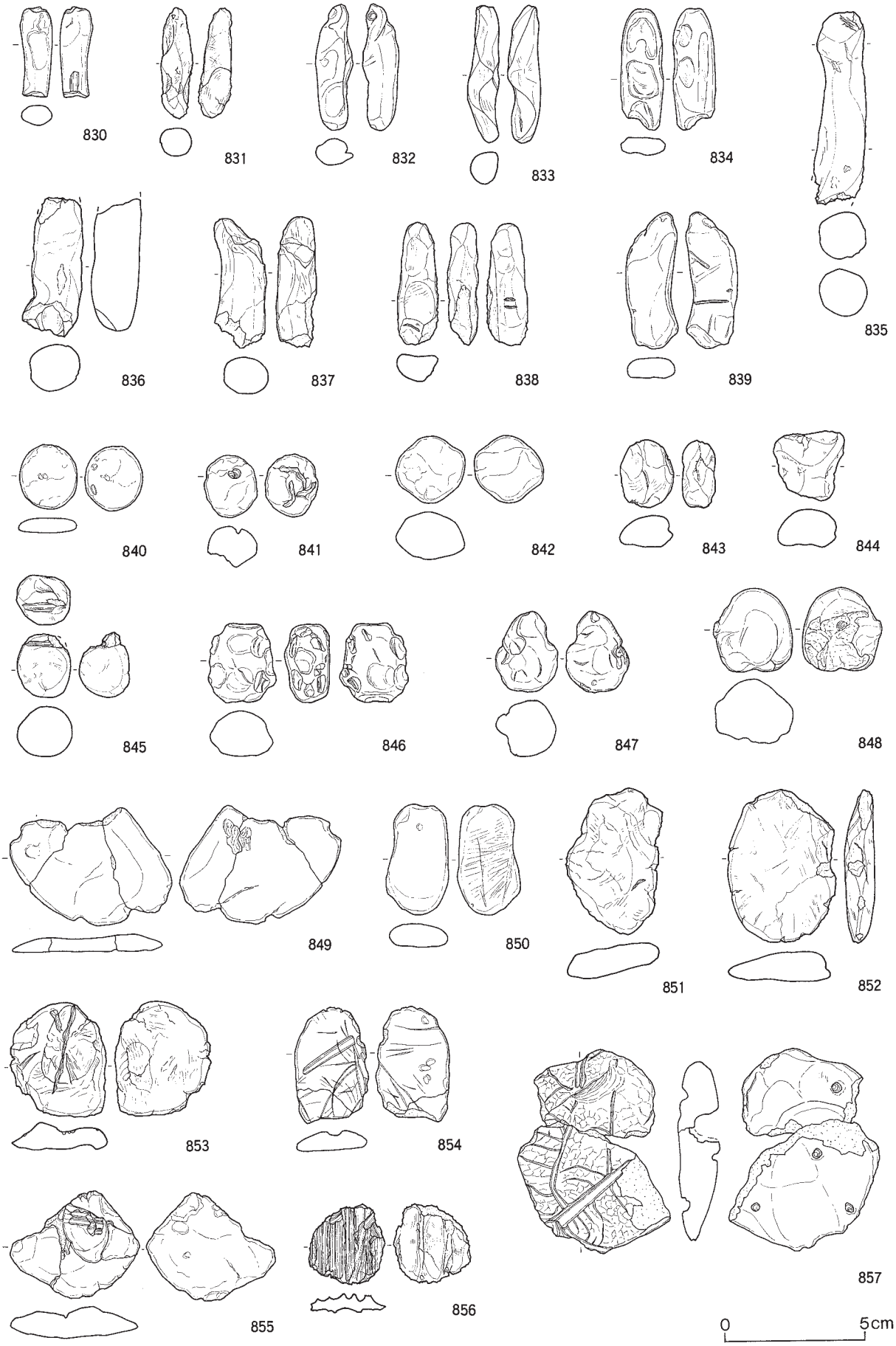
図Ⅴ－92　盛土遺構上位出土の土製品（４）
土偶・動物意匠



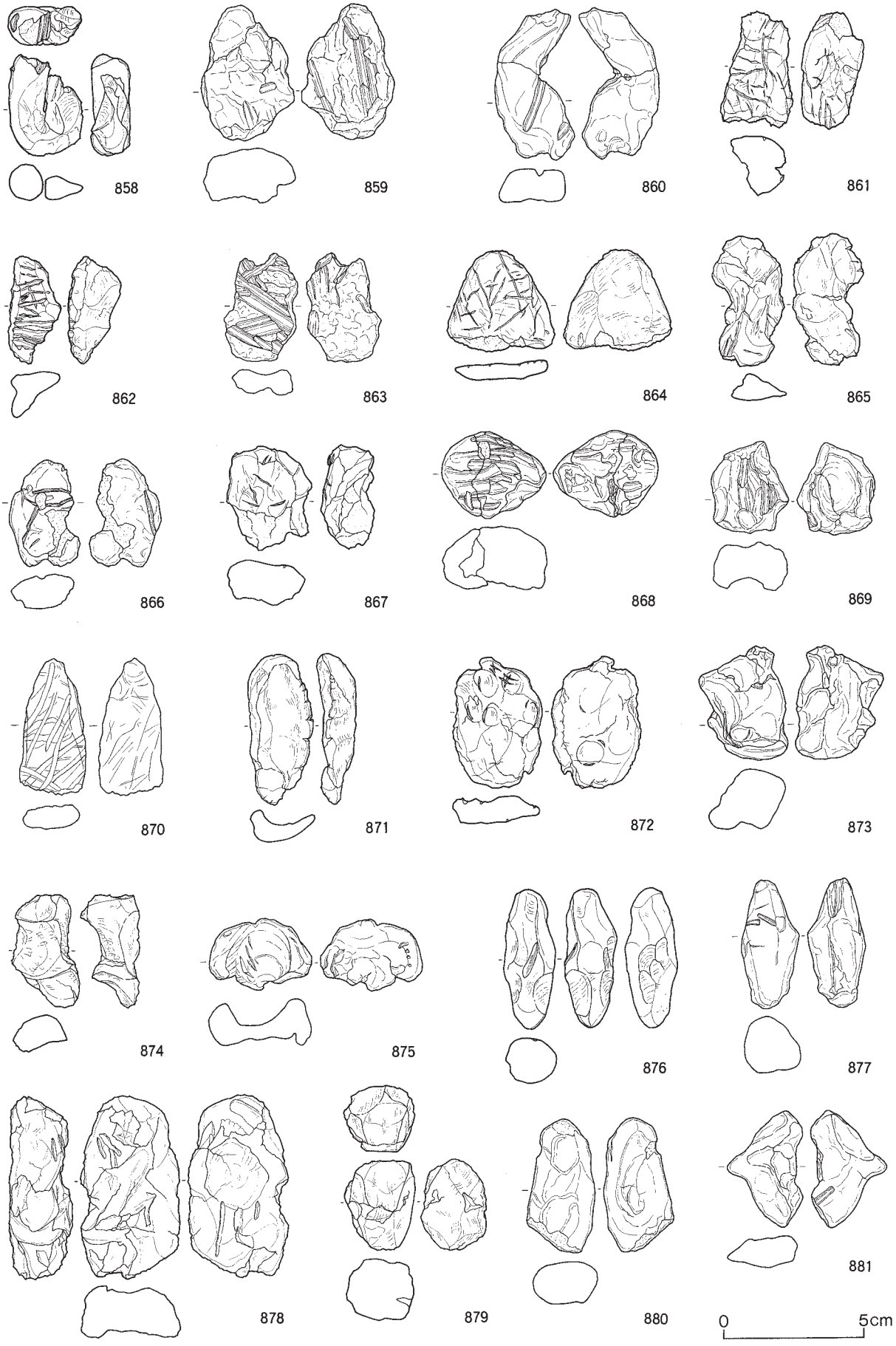
図Ⅴ－93　盛土遺構上位出土の土製品（5）
スタンプ形土製品①



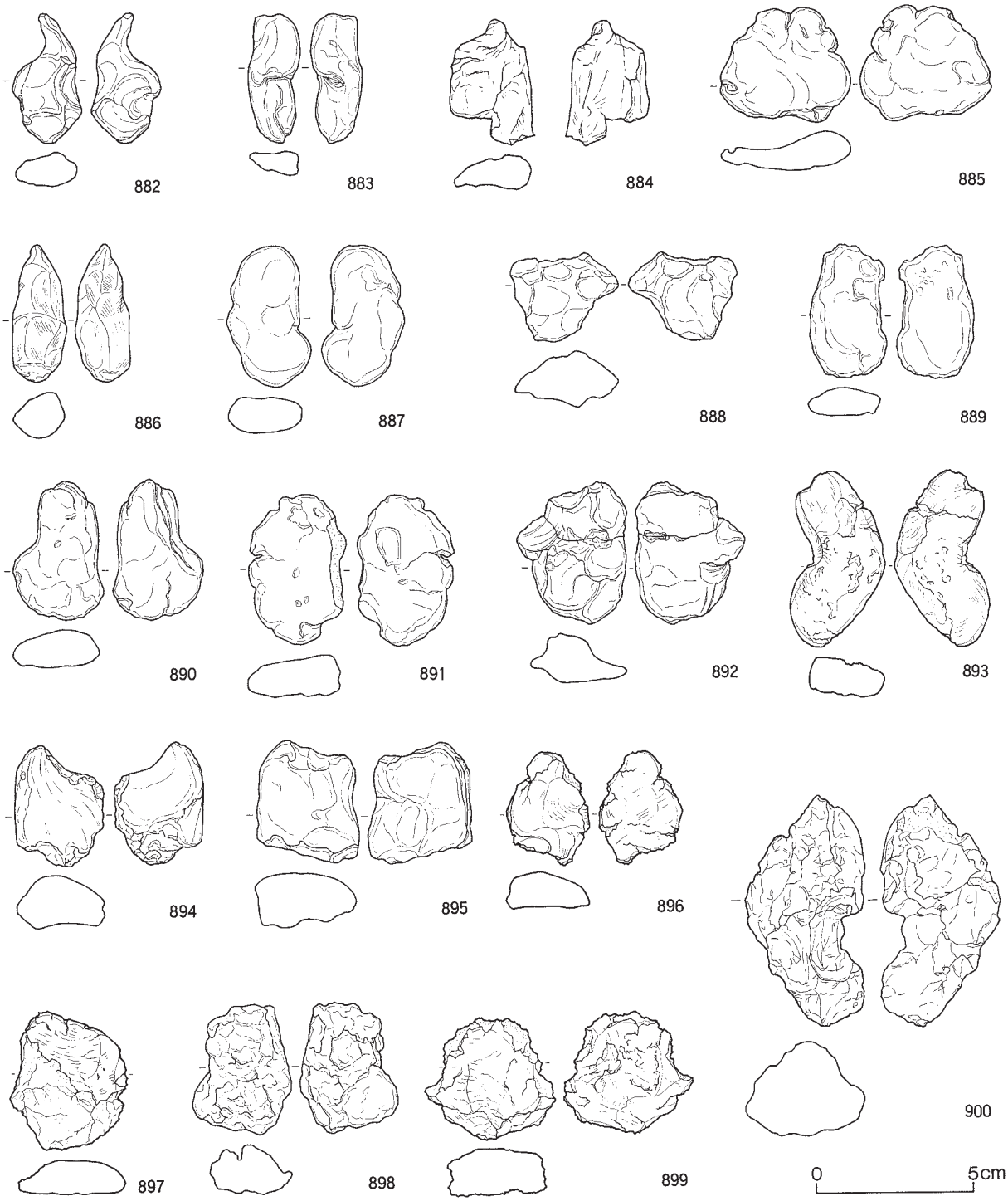
図Ⅴ－94　盛土遺構上位出土の土製品（６）
スンタプ形土製品②



図Ⅴ－95　盛土遺構上位出土の土製品（7）
焼成粘土塊①



図Ⅴ－96　盛土遺構上位出土の土製品（８）
焼成粘土塊②



図Ⅴ－97　盛土遺構上位出土の土製品（9）
焼成粘土塊③

（２）盛土遺構－下位出土の土器・土製品（図Ⅴ－98～189　表Ⅴ－36～65　図版171～259ほか）

ａ．縄文時代後期後半の土器（図Ⅴ－98～181の901～1464）

ａ－１．Ⅳ群ｂ－４類の鉢形土器（901～1031）

刻み・帯状文（901～924）

口縁部や胴部くびれに刻み列を巡らせ、磨消しを多用した帯状文が施文されているもの。盛土遺構主体時期の中でも古段階に属するものが多く含まれる。帯状文は曲線的な文様構成をとるもの、直線的なもの、両者がえがかれるものなど多様である。曲線的な文様は、襷がけの入組文（901・920）、木葉文（904・909・919）、渦文（906）、入組文（908・917・918・923）などがある。直線的な文様は、横走するもの（902・912・913）、「く」の字状のもの（鋸歯状・903・905・915・924）、クランク状のもの（907）がある。

901は胴部くびれの強い大型の深鉢形土器で、くびれ部の無文帯がやや狭く、ほぼ全面にわたって帯状文がえがかれている。緩やかな波状口縁や肥厚する口唇など鰺澗式の要素が色濃い。902は円筒状の小型深鉢。上下逆にして台として利用した可能性も考えられる。903は口頸部が短い台付深鉢で、希少な器形である。刻みは沈線のような細いものである。904～906はそれぞれ低い台がつくやや大型の浅鉢。906は渦文の区画に沿って刻みがていねいに施されている。907は焼土から出土したもので被熱している。908・917は胎土に砂粒を多く含みざらついている。表面はやや摩滅している。910は木葉文に弧線文が密に施されている。911は刻み列がハの字状になっている。912は地文がなく刻み列のみが巡っている。口唇上にも２列の刻みを施している。913は904～906のようなやや大型の浅鉢の台と考えられる。914は内面口唇下にも刻み列が施されている。918は浅めの鉢ながらくびれがある。919は胴部くびれの刻み列を境に文様が大きく異なり、上位に帯状文、下位に格子目状沈線を施している。924は刻み列のほかに突瘤が巡っている。

刻み・沈線（925～966）

口縁部や胴部くびれに刻み列を巡らせ、胴部全面に沈線を密に施文しているもの。直線的な沈線は、イナズマ状沈線（925・926・963）、格子目状沈線（927～930・932）、鋸歯状沈線（944～947・954・956・961・962）などがある。曲線的な沈線は複数の弧線文を重ねた文様が多く、中でも横走沈線を軸とした対向弧線文が多く見られる（935・937・940～943・948～951・955・957～960）。

928は緩やかな波状口縁にやや大型の突起がつく。頸部は無文帯が占めている。930は932のような大型の台がつく可能性がある。931は鰺澗式の特徴である懸垂文がやや乱れて施文されている。932の大型の台は底部との境に刻み列を巡らせ、無文帯をはさんで斜行沈線と格子目状沈線がえがかれている。936は口唇上に２列の刻みが施されている。胎土に砂粒を多く含みざらついている。937は小型の鉢だが口縁が大きく波打っている。939は刻み列が口縁部にはなく胴部の弱いくびれ部にある。942は整然とした器形･文様構成をとっているが、口縁部の一角が焼成前からくぼんでいる。943はやや摩滅している。944は「く」の字状の沈線が連続して施文された大型の深鉢形土器。945は刻み列が５列に及んでいる。944～951は文様の多段構成が顕著に表れている。948は口唇直下に刻みが１列しか施されず無文になっている。951の①は北側盛土のＳ盛土から出土したもので（『キウス４遺跡（２）』図Ⅴ－６－20－75）、接合はしなかったものの同一個体が出土した（951②）。刻み列が４～５列施され、弧線文が密に施文されている。胎土に砂粒を多く含みややざらついている。953は菱文などが不規則に配置され、その合間に刻み列がある。954は刻みが弱い。957・960は非常に細い沈線で弧線文がえがかれている。960・962は胴部くびれが２段あり、それぞれの境に刻み列が巡る。963は胎土に砂粒を多く含みざらついている。イナズマ状の沈線がえがかれるものに多い。

刻み・突瘤・沈線（967～973）

刻み列のほかに突瘤もあり、沈線が胴部全面に施されるもの。大型の深鉢が多い。文様は多様で、イナズマ状の沈線（967・969）、「く」の字状の沈線（970）、懸垂文（971）、鋸歯状文＋弧線文（972）、弧線文（973）などを掲載した。

968はクランク状の大きな無文部を設けている。970は口縁部に突瘤が巡り、胴部くびれに刻み列がある。口縁装飾が刻み列から突瘤に変わる過渡期のものと考えられる。971は胴部の強いくびれ、無文の頸部、懸垂文など鰹澗式の特徴が色濃いが、口縁に突瘤が巡っている。

刻み・突瘤（974～991）

口縁部や胴部くびれに刻み列が巡るが、突瘤も施されているもの。大型の深鉢がほとんどである。胴部くびれがあるもの（974・975・977・978・982・985・986・987・989・991）には、無文帯と刻み列を配している（982除く）。またこれらの土器は、口縁に突起がつくか波状口縁である。口縁の刻み列は2列のものが多いが、1列のものもみられる（976・982・983・990）

974・975・978は器高が50㎝前後におよび、最大級の深鉢形土器である。縄文施文や調整がていねいに行われている。979～981は内面口唇下に沈線を巡らせ、口唇がやや肥厚している。982・990の刻みは弱く、983の刻み列は間隔がやや広がっている。刻み列が消滅していく過程のものであろう。985は無文の頸部が広い。991は無文帯の上位に刻み列が間隔を空けて2列施されている。

刻み・縄文のみ（992～1031）

地文の縄文以外には口縁部や胴部くびれに刻み列が巡るだけのもの。盛土遺構－下位からは数多く出土している。器種は大型・小型の深鉢・鉢・浅鉢など各器種がある。施文される縄文は斜行縄文のほか羽状縄文も多くみられる。刻み列は2列が基本であるが、1列のものも多くみられる（997～1000・1004・1010・1013・1026・1028・1029・1031）。

992・1019は緩やかな波状口縁の波頂部下にも無文部を置いている。994～996は器高50㎝近くに及ぶ特大の土器。994は緩やかな波状口縁で、995・996は内面口唇下に沈線を巡らせ口唇をやや肥厚させている。995の口頸部は剥離しており文様不明である。998は無文の頸部と胴部の仕切りが明瞭でない。999は口頸部に対し胴部がかなりすぼまっている。1000は胴部くびれに刻み列が巡り、口縁部に刻み列がなく2本の横走沈線になっている。1001～1007は頸部が全面無文か一部無文帯の構成になっている。1009・1015・1017には低い台がつくものと思われる。1013は外側に切り出したような口唇上に弱い刻み列が施されている。1022は3列の刻みが巡っている。1028は胴部くびれの無文帯の上下に刻み列が施されている。1029～1031の刻み列は粗く弱い。

ａ－２．Ⅳ群ｃ－１類の鉢形土器（1032～1373）

帯状文（1032～1045）

深鉢・鉢に多くみられる。帯状文は曲線的なものが多く、襷がけの入組文（1032・1036・1043・1044）、木葉文（1033・1040）、渦文（1042）、蛇行する帯状文（1035）などがある。直線的な帯状文は、菱文（1034）、クランク状文（1037）、横走する帯状文（1038・1039）がある。

1032は胴部くびれが2ヵ所あり、帯状文も2段施されている。1035は3～4本の沈線で帯状文がえがかれている。1038は円筒状の深鉢で、台にはならないと考えられる。1039は小型の円筒状の台で、中程度の大きさの鉢形土器につくものと考えられる。1041は胴下部に楕円文や木葉文を並べている。1042は襷がけ状に曲沈線を組み合わせて大きな渦文にしている。1045は無文部の帯状文が不規則に施されている。

突瘤・沈線（1046～1071）

口縁部に突瘤と横走沈線を巡らせ、胴部全面に沈線を施すもの。非常に多数の沈線を施しているものが多い。深鉢形土器に多くみられる。実測図・拓本図ともに直線的な沈線と曲線的な沈線をまとめて掲載した。直線的な沈線は鋸歯状沈線が特に多く（1047・1048・1050・1061～1069）、それぞれの沈線の間隔が非常に狭く密に施されている。また格子目状沈線（1046）やイナズマ状の沈線（1059）もみられる。曲線的な沈線は弧線文（1049・1051・1058・1071）のほかはやや不規則にえがかれた曲沈線が多い（1054～1057・1060など）。

1046～1051は多段構成をとるもの。各段とも同様の文様構成で、鋸歯状沈線や弧線文を密に施している。1052～1061は文様構成がやや乱れている。1053は折り返すような曲沈線と弧線文がえがかれている。1055の小型の鉢は地文がなく、細かい突瘤とやや不規則な弧線文で装飾されている。1056は一部磨り消しを用いて枠状の文様をえがき、一方で蛇行する沈線が施されている。1060は不規則に蛇行する横走沈線が１本ある。1063～1070は鋸歯状沈線を密に重ねて多段構成をとるもの。

突瘤・横走沈線（1072～1092）

口縁部に突瘤と横走沈線が巡るもの。横走沈線は胴部に施されるものもある（1074・1083・1090・1091）。大型の深鉢形土器が多いが、やや小型の土器にも見られる（1076～1078・1083・1084など）。口縁部の横走沈線は１～４本とさまざまである。

1072は突瘤と１本の横走沈線が波状口縁に沿って巡らされているが、波頂部ではそのまま平行になる沈線も施されている。また部分的に沈線がみられる。1074は口縁に沿うもの、口縁部下そして胴下部の無文帯との境に３本単位の横走沈線が引かれている。1080・1089は突起部下にも部分的な横走沈線を施している。1083は他と異なり、突瘤よりも下に横走沈線を巡らせている。1086は無節の地文が施されている。1090・1091は胴部くびれに無文帯を設けずに３本の横走沈線を巡らせている。

沈線（1093～1171）

胴部全面に沈線が密に施されるもの。実測図・拓本図とも多段構成をとるものとそうでないもの、直線的な沈線と曲線的な沈線をおおむねまとめて掲載した。大型の深鉢から鉢•浅鉢まで器種はさまざまで、数多く出土している。直線的な沈線は鋸歯状沈線が多く（1093～1096・1101～1104・1136～1153など）、ほかにイナズマ状の沈線（1115・1116・1133～1135）、「く」の字状の沈線（1098・1099・1119）などがある。曲線的な沈線は弧線文の組み合わせが多く、特に対向弧線文（1097・1105・1108・1110・1112・1113・1155・1156・1165など）、木葉沈線文（1161）などが定形的である。また不規則に施された曲沈線も多い（1128～1131など）。

1093～1114は多段構成をとるもの。各段とも同様の文様構成で、鋸歯状沈線や弧線文を密に施している。1105は底部にも縄文が施文されている。1112は胴部の下位にくびれがある。1117はゆるやかな波状口縁や非常に強いくびれなど、鰺澗式の要素をよく残している。1123は文様の書き換えが認められる。波頂部から弧線が引かれていた痕跡がある。1126は１本の沈線で菱文をえがき多段構成をなしている。1131は楕円区画に格子目状沈線を充填し、弧線や鋸歯状の沈線を不規則に組み合わせている。1132は展開模式図を示した。Ｙの字状の曲線的な沈線が組み合わされている。1136～1143・1146～1152は鋸歯状沈線を密に重ねて多段構成をとるものである。1137は口縁直下に横走沈線をもたず鋸歯状沈線が密に施されている。1147は胎土に砂粒を多く含みざらついている。1155～1158は弧線文を密に重ねた多段構成をとる。1161は口唇上にも縄文を施し鋸歯状沈線や貼瘤まで付している。1162・1170・1171は蛇行する沈線がえがかれている。1170はその他に鋸歯状沈線もえがかれている。1169の沈線は非常に細い。

横走沈線（1172～1189）

口縁部または口縁から胴部に横走沈線のみが施されたもの。1173・1174・1180～1183・1185は胴部にも横走沈線が展開している。

1173の大型の浅鉢は胴下部の無文帯をはさんで横走沈線が底部付近にまで密に施されている。1179は無節と単節の原体で地文が施文されている。1180は胴下部に段を持つ深鉢で、底部にも段をつくり出している。1181は横走沈線が20本以上引かれている。1183の沈線は浅い。

突瘤・縄文のみ（1190～1275）

地文縄文のほかには突瘤がめぐるだけのもの。最も多く出土している。大型の深鉢形土器に多いが、小型の鉢形土器にも少数見られる。胴部にくびれのある土器はわずかで、口縁はほとんどが平縁である。施文される縄文は、ＬＲ・ＲＬの斜行縄文のほか羽状縄文も多く施文されている。

1190・1191は胴部にくびれをもつ大型の深鉢形土器。口縁に突起がついたり波状口縁になっていたりする。1192も胴部にくびれをもつが平縁である。上半部のみがそのままの形で出土したもの。1194・1196は羽状縄文がよく整っている。1199は縄文の節がやや不ぞろいの原体で施文されている。1203～1207は主体となるものと異なるもの。1203・1204は波状口縁で、1205は胴部にやや強いくびれをもつ。1206は口縁部に向かって内湾する深鉢形土器で、口縁部の一角が焼成前に押しつぶされて変形している。1207は上部が無文になっている。1208～1213は羽状縄文がていねいに施されている。1221は５単位の筒状の突起の間に小突起がつく。1250は小型の鉢ながら突瘤が密に巡る。1251の胴下部は施文が行き届いていない。1255は波状口縁の小型深鉢で突瘤が密に巡るもの。1256・1258・1259・1261・1263・1264・1266・1272・1274・1275は羽状縄文がていねいに施されている。1265は一部に不規則な沈線が見られる。1266・1267は胴部くびれがあり、1266は緩やかな波状口縁になっている。1270の突瘤は横長につまみ出されている。

縄文のみ（1276～1340）

地文の縄文のみが施文されるもの。小型の鉢形土器が多いが、1325～1330のように数は少ないが大型の深鉢土器にもみられる。胴部くびれに無文帯をはさむものもある（1321・1326・1340）。また口縁はほとんどが平縁で、わずかに突起がつくものがある（1281・1282・1306・1339など）。施文される縄文はＬＲまたはＲＬの斜行縄文が多く、羽状縄文はあまり多くない。

1283・1287は丸底気味の底部で安定しない。1292は小型の鉢ながら緩やかな波状口縁を呈している。1295の鉢には羽状縄文が整って施文されている。1298・1300の大型の浅鉢はやや肥厚する口唇になっている。1311の深鉢は内面口唇下に沈線をめぐらせ、肥厚する口唇と同様の効果を出している。1320は胴部にくびれのある深鉢だが、一方向に大きく偏っている。1321は胴部くびれの位置がやや高く口頸部が短い。無文帯をはさんで羽状縄文が施文されている。1322は上半に大きく無文部を残している。1323はミニチュアに近い長胴の土器。1324の台には大型の浅鉢がつくものと思われる。1326・1327は埋設されていた大型深鉢。器壁はやや薄い。1326は上部が内側に入り込んで出土した。1328・1330の大型深鉢は羽状縄文が整って施文されている。1329・1334は胴部くびれに無文帯をはさまない。1336は緩やかな波状口縁になっている。1340には刺突列もみられる。

突瘤・無文（1341～1346）

地文がなく、突瘤のみがめぐらされているもの。盛土遺構－上位より多く出土している。深鉢形土器が多いが、1344のような小型の鉢形土器にも見られる。全体的に調整がよく行き届いている。

1341は盛土Ａのトレンチ部分で一括出土したものである。底部付近の一部分を除いて接合できた。1343は器壁が厚い。胎土に砂粒が少ない。

無文（1347～1373）

地文も文様も施されていない土器。盛土遺構－上位より多く出土している。小型の鉢形土器•浅鉢形土器が多いが、深鉢形土器や大型の浅鉢形土器、台付土器などもある。

1347は胴部くびれが１ヵ所、1352は２ヵ所のくびれがあり、無文土器としては珍しい。1354は弱い片口が付く。1356・1361・1362は口縁部と底部が平行でなく傾きが大きい。1369は小型で長胴の希少な鉢形土器。1372は大型の台で、やや大型の浅鉢がつくものと思われる。

ａ－３．Ⅳ群ｂ－４類の注口・壺形土器（1374～1394）

注口土器－刻み・帯状文（1374～1390・1392）

口縁部または頸部と胴部の境界部に刻み列が巡り、胴部に曲線的な帯状文が施されるもの。帯状文は対向弧線文（1378・1384・1389）や入組文（1376・1377・1382・1386・1390・1392）が多く見られる。1376はほぼ完形の状態で焼土に埋設されていたもの（図Ⅳ－164）。口頸部は短く広口で、胴中央部に最大径をもつ。1377・1378もほぼ完形の状態で出土した。1378は器形・大きさが1376に類似している。1379・1380は口頸部のみであるが、径が小さくやや長頸の部類に属する。1381は長頸の注口土器。口頸部は無文でよく調整されている。1382・1386は頸部（肩部）に弱い段を設けている。1386の口縁部は短く細く直立している。東北地方の土器の影響があるかもしれない。1388の口頸部は太すぎず細すぎず、口縁部がわずかに外反する。1389は隆帯上に刻みが施されている。1390は半球状の頸部と胴部の境に刻み列と貼瘤が施されている。頸部にはくの字状の帯状文、胴部には入組文が施されている。全体的によく磨かれている。土壙の覆土を初め、広範囲に接合している。

注口土器－刻み・沈線（1394）

1394は頸部に刻み列が残り、胴部は磨り消しのない弧線文がえがかれている、Ⅳ群ｂ－４類からｃ－１類への移行期の土器と考えられる。

注口土器－刻み・縄文のみ（1391・1393）

1391・1393は頸部に刻み列があり胴部は縄文のみが施文されたもの。1391は壺形土器で、1393は注口部が欠損している。

ａ－４．Ⅳ群ｃ－１類の注口・壺形土器（1395～1431）

ここでは、胴部下半しかないためⅣ群ｂ－４類・ｃ－１類の区別がつきにくく「Ⅳ群ｃ類」としたものも含めて掲載してある。

注口土器－帯状文（1395～1415）

1395～1397・1399・1410～1412は口頸部がないが、胴上部に最大径をもつ球形に近い器形や太い帯状文が施されている点などから、頸部に刻み列が付く可能性がある。逆に1403・1405・1407・1413・1414などは帯状文が細く、頸部に刻み列が付かないかもしれない。帯状文で目立つのは入組文である（1398・1402～1404・1407・1412など）。そのほか対向弧線文・渦文・不規則な曲線帯状文がある。

1396・1397は刻みのある縦割りの貼瘤が付されている。1398は長頸の口頸部が無文になっている。また胴部に貫通孔があるが、焼成後にあけられた、もしくは拡張された跡がある。1399は磨消し部をくぼませて帯状文を浮き立たせている。また横走沈線で仕切った底部付近に密に弧線文を施している。1401は頸部に横走沈線が３本施され、1402は隆帯が巡っている。刻み列の影響を想定させる。1408はやや広口の口頸部。1409は胴部が極端に扁平である。1413・1414は帯状文に複数の沈線が入るが、無文部を残している。

注口土器－沈線（1416～1427）

基本的に全面縄文地で（一部無文部を残す）、密な沈線が施されるもの。弧線文を主体とするもの（1417～1420・1423・1426・1427）、格子目状沈線のあるもの（1416・1422）、横走沈線をえがくもの（1424・1425）などがある。

1418はやや長頸で口縁に向かってすぼまる形態をとっている。頸部と胴部の境にはボタン状の貼瘤がめぐる。胴部は弧線文が規則的に配されているが、頸部は渦文なども現れやや不規則である。1419は頸部が口縁に向かってすぼまり口縁部が外反する。頸部と胴部の文様が異なっている。1420はきれいな多段の対向弧線文がえがかれている。1422は胴部下半の横走沈線による仕切りの下に格子目状沈線が施されたもの。1424は縦に分割されて残存していたもの。

注口土器－縄文のみ（1428～1430）

1428～1430は縄文しか施文されていない珍しい土器。1428・1429は壺形土器。頸部はやや細くすぼまる。1430は胴上部に最大径をもち、口縁部がやや外反する、平底の注口土器。ほぼ完形の状態で横たわって出土した。

注口土器－無文（1431）

1431は数少ない小型の無文注口土器。外面はていねいに調整されている。

ａ－５．Ⅳ群ｃ－２類？またはⅣ群ｃ－１類新段階の注口・壺形土器（1432）

1432は頸部から胴部へのくびれが非常に弱く、縦位の沈線や格子目状沈線で装飾されボタン状の貼付文がある土器。北側盛土遺構のものと盛土Ｂの末端部のものが接合している。層厚が薄い部分なため、混入したものである可能性がある。

ａ－６．その他特殊土器（1433～1464）

赤彩（1433～1435）

外面に赤彩のある土器は多数出土しているが大型破片は少なく、ここでは内面に赤色顔料の付着する土器を掲載した。1433は深鉢形土器、1434・1435は注口土器の内面に赤色顔料が色濃く残っていた。特に1433・1435は断面の一部にも赤色顔料が付着しており、破損した（させた）後で赤色顔料が付着したことがわかる。それぞれ皿あるいは椀状の器に赤色顔料を盛った、いわばパレットのような用途であったことが考えられる。1435は赤色顔料が付着していない半分の胴部や口頸部が接合し、もとの注口土器の形態が復元できた。

特殊な形態の土器（1436～1452）

1436～1438は単孔壺形土器。底部付近に１ヵ所貫通孔がある。1436は口縁部が内湾したままの単孔壺形土器。欠損部がなく、100％完形の状態で出土した。全面イナズマ状の沈線が施されている。孔は外面下方からやや上に向かってあけられている。1437もやはり孔が外面下方からやや上に向かってあけられている。1438は小型の壺形土器。図には表れていないが底部付近に１ヵ所孔がある。胎土に砂粒を多く含み、ざらついている。1439～1441は香炉形もしくは吊手形の土器。1439・1440はその頂部のみ。1441は頂部が不明であるが、２ヵ所のすかしの手がかりが認められる。1442～1444は把手付きの鉢・浅鉢。1442・1444は縦型で1443は横型の把手が突いている。1445は底部に木葉痕があるもの。鉢形の土器であるが極小の上げ底になっている。1446は口縁部が収束しており、全体の器形が不明である。1447は鉢形土器に注口部がついたもの。1448・1449は片口土器。1449には片口の上位に内湾する橋梁部がある。1450は大型の片口付き舟形土器。丸底で全面に沈線や刺突で文様が施されている。

片口部もやや長い。1451は四脚付きの浅鉢。四隅に２ヵ所ずつの突出部があり弧線文で結んでいる。1542は小型の舟形土器。片側の舳先に沈線のある突出部があり、把手のような痕跡がみられる。

微隆線を伴う土器（1453～1464）

微隆線や細かい刻み列、浮線文に近い帯状文など、東北地方北部の文様の影響が認められるもの、または搬入品とみられるもの。

1453～1455は半球形の頸部と上部に最大径をもつ胴部が組み合わさった「だるま形」の土器。ミミズバレ状の微隆線２本一組の帯状文で弧線文などをえがいている。微隆線上の小さな貼瘤や頸部の突起などが特徴的である。1453は北側盛土遺構・水場遺構付近（Ａ地区）・盛土Ｗなどと広範囲に接合している。また1455はＩ地区の盛土遺構・水場遺構付近・盛土Ｖなどやはり広範囲に接合している。1456・1457も「だるま形」になる。しかし微隆線が線の両側を沈めてできたものになっている。1456の貼瘤は貫通孔に差し込んでおり、剥がれ落ちないような工夫がされている。1459はやや長頸の注口土器。微隆線と細かい刻みで装飾されている。赤色顔料が多量に付着している。頸部は北側盛土から出土したもので、胴部の一部はＩ地区出土のもの。1458・1460～1463は微隆線による装飾がみられる。1462は微隆線が線の両側を沈めてできたものになっている。1464は頸部のすぼまった注口土器になるものと思われる。浮線文のような帯状文とその上に小さな貼瘤がある。図Ⅴ-181の中では新しい段階に属するものとみられ、堂林式に伴うものと考えられる。

ｂ．縄文時代後期後半以外の土器（1465～1552）

盛土遺構形成時期の遺物ではないが、盛土遺構に土壌を投棄する際に排土と共に混入していた土器片と考えられる。盛土遺構－上位より多い。

縄文時代早期後半の土器（1465～1494）

全体的には、組紐圧痕・短縄文・絡状体圧痕などが施された東釧路Ⅲ式と、撚糸文・縄端圧痕が施された東釧路Ⅳ式が多い。1482～1484は隆帯が巡る。

縄文時代前期の土器（1495～1503）

1495は太い原体で羽状縄文をなしている。1496～1501は綱文を施し、節の磨り消しを行っている。1502・1503は繊維を含む。

縄文時代中期の土器（1504～1522）

1504～1508は、貼付隆帯や押引文を多用する文様から、Ⅲ群ａ類萩ヶ岡２式に相当するもの。1504は貼付隆帯上を押引文で刻んでいる。1509～1514はⅢ群ｂ－１類天神山式に相当する。1509は隆帯上に連続指頭押捺を加えている。口唇上に半截竹管状工具による連続押捺が行われている。1515～1521はⅢ群ｂ－２類柏木川式に相当する。1516～1519は隆帯に縄文あるいは工具で連続押捺が行われている。1520・1521は綾繰文が見られる。1522はⅢ群ｂ－３類に相当する。外面から大きく刺突が施されている。

縄文時代後期前半の土器（1523～1552）

1523～1539は余市式で、器壁が厚く脆い。1523は外面から刺突がある。1524～1528・1532・1535は隆帯がある。1535は隆帯上に縄文圧痕がある。1537は太い沈線が一部に見られる。1539は底部のみ。1540～1543は入江式に相当する。器壁が厚くやや脆い。太い沈線で枠状の区画や波状文などをえがいている。1544～1546はウサクマイＣ式。1546は手稲式にも見られる懸垂文がある。1547～1550は手稲式。横走沈線が密に施されている。内外面とも調整がよくいきとどいている。1551・1552は鰊澗式。横走沈線の間隔が広い。

ｃ．土製品（図Ⅴ－185～189の1553～1666）

土玉（1553～1562）

1553～1555は貫通孔のない球状の土玉である。1553は沈線が密に施され、ていねいに仕上げられている。1556～1562は貫通孔のある土玉である。1557は横走沈線と刺突が施された管玉状の土玉である。

垂飾（1563～1576・1581～1587）

1563～1570は円錐形の小型土製品。1563～1567は底面がくぼんでいるが、1568～1570は異なっている。1571・1572は魚骨の椎骨のような形態である。小型の耳栓としてある。1573・1574は三日月形の土製品としたもの。焼成粘土塊の可能性もある。1575・1576はＴの字（Ｙの字）状の装飾品の一部と考えられる。1581・1582は腕飾の一部と考えられる。

1583～1587は垂飾に分類するのは困難な土製品である。1584は両面に装飾がある。貫通孔があるものと思われる突出部が欠損している。1585は土器の口縁部のような形態で、横長の貫通孔が焼成前に開けられている。1586は土偶に近い形態をもっている。

円盤状土製品（1577～1580・1589）

1577・1579・1580は両面に、1578は片面に文様がある。1579・1580は表裏面で文様が異なる。1589は無文で、一端に破損部があり、土器の口縁部に付いて突起となるかもしれない。

ミニチュア土製品（1588・1590～1602）

鉢形土器や壺形土器をそのまま縮小したような土製品が出土している。1588は脚付きの浅鉢のように見える。1591は単孔壺形土器のミニチュア。刻み列と弧線文がていねいにえがかれている。1594～1597・1599・1600は鉢形。突瘤や沈線も施され、縄文が施文されているものもある。1598は深鉢形土器のミニチュアと思われるが、くびれ部に注口とみられる部分がある。

分銅形土製品（1603）

1603はスタンプ形土製品に類するが、主に東北地方～北海道南部に分布する「分銅形土製品」に当たるものと思われる。上部が欠損している。

スタンプ形土製品（1604～1646）

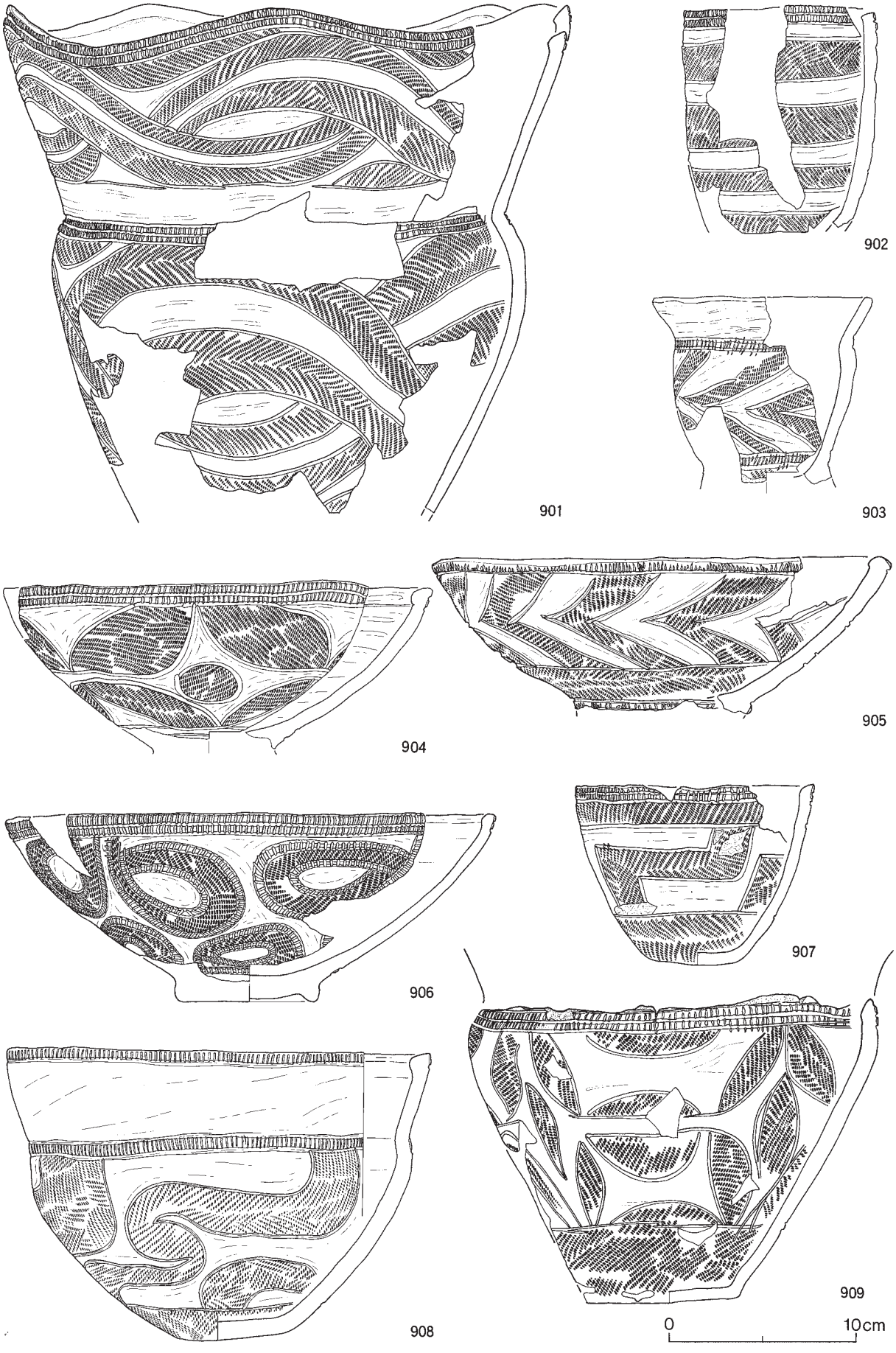
全体的に、盛土遺構上位出土のものより大型で多様性に富む。版面は平坦のものが多いが、外反するものもいくつか見られる（1605～1609など）。これらは時期差によるものと考えられ、外反するものは鍬溝式に多くみられるものである。

1605・1607は版面が立体的でていねいに仕上げられている。1606～1609は弧線を組み合わせ菱文をえがいており、中央部に刺突を施している。1611～1618・1620は沈線を密に施している。同心円・渦文・弧線文・横走沈線などさまざまな文様がある。1620・1623・1625～1628には刺突が密に施されている。無文の版面もある（1642～1646）。

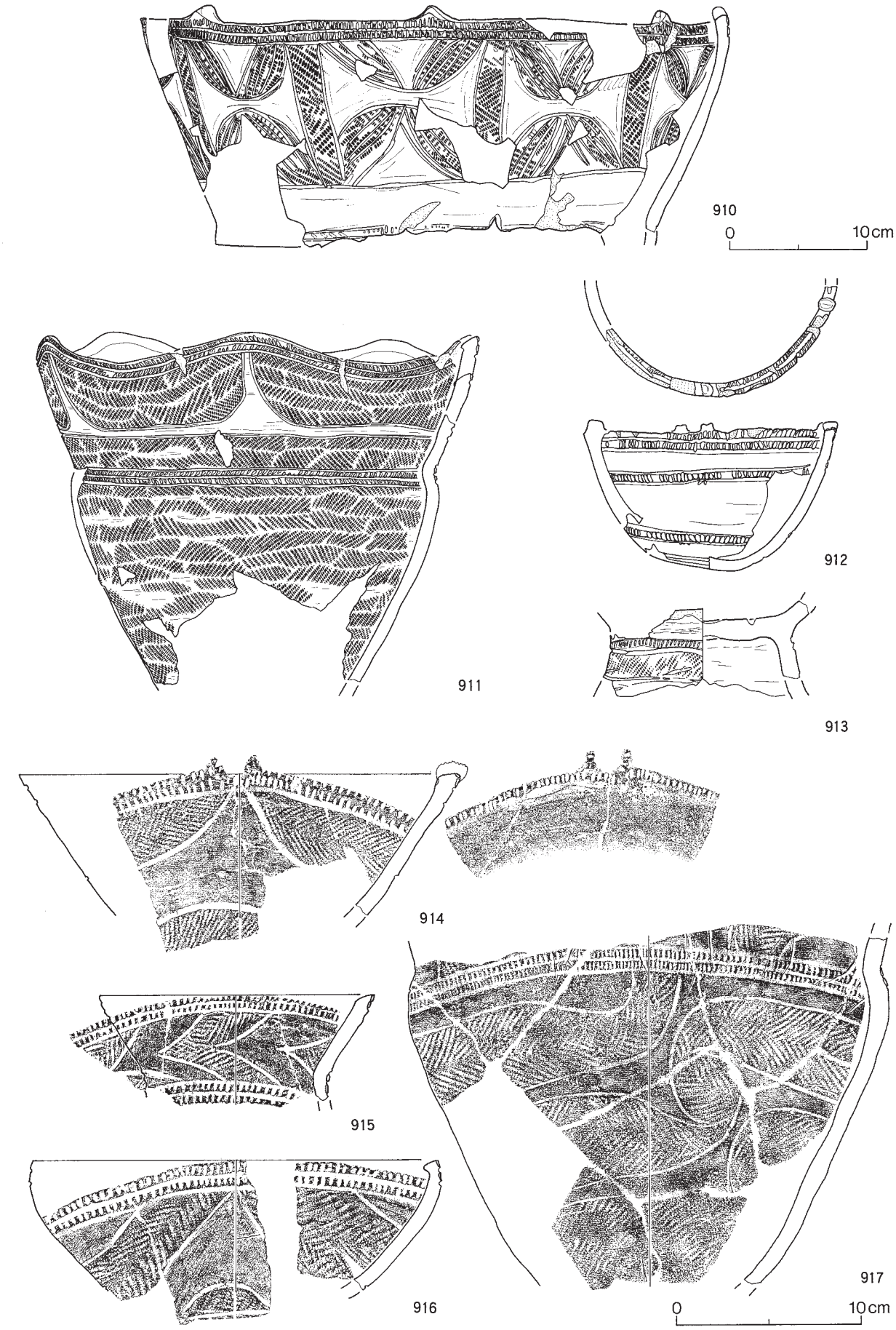
焼成粘土塊（1647～1666）

大小さまざまな形態の焼成粘土塊が出土している。粘土紐状のもの（1647～1649）、板状のもの（1651）、不定形で刻み付けたような沈線が目立つもの（1654）、不定形で指頭押捺の目立つもの（1652・1653・1656～1663・1665・1666）、その他不定形のもの（1655・1660・1664）などがある。

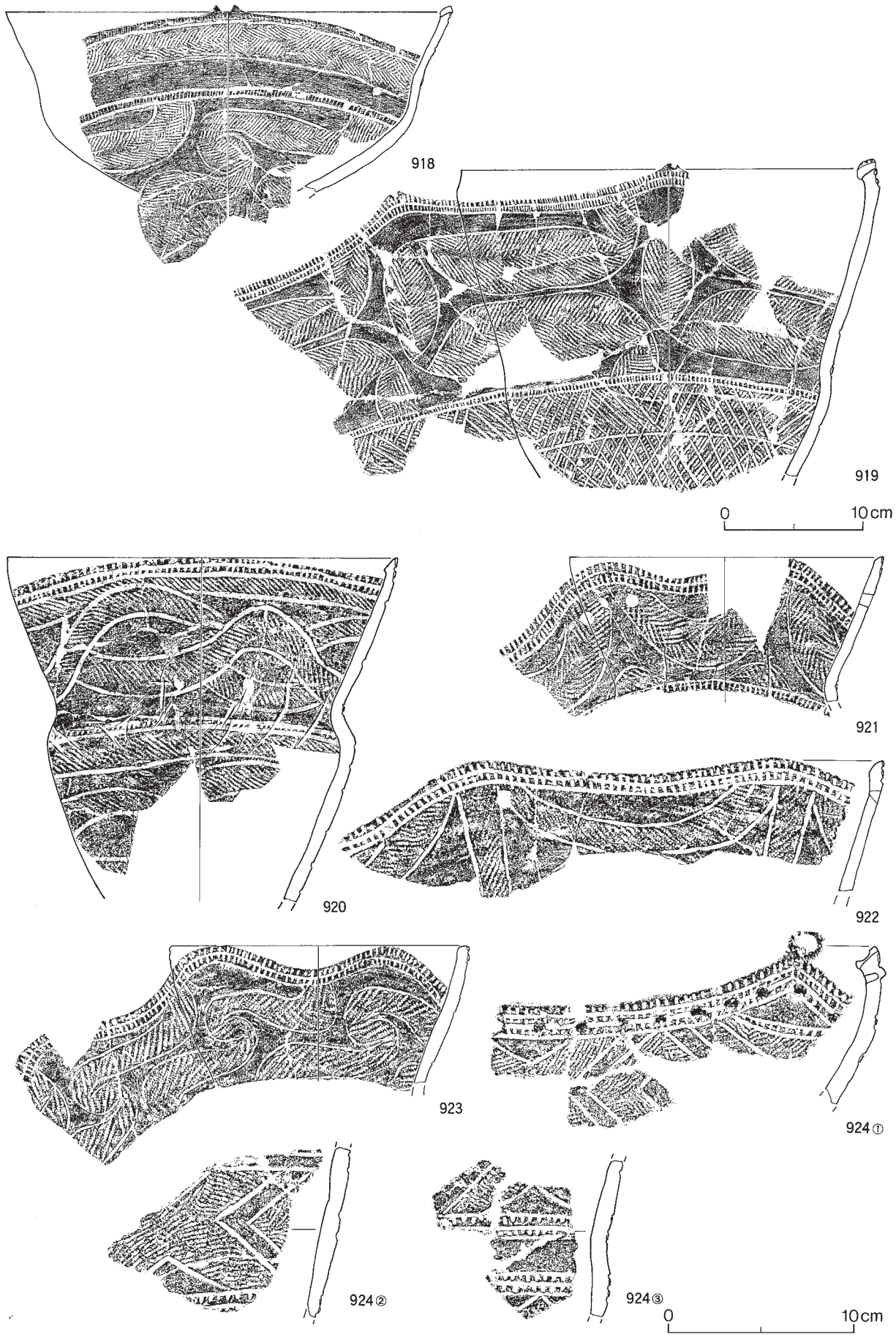
粘土紐状のものには、両端が収束しているもの（1647）や、片方の端部が丸く一方がちぎったような剥離面をもつもの（1649）がある。1652・1653は粘土をつぶしたままの状態で焼成されている。その他にも指紋や爪跡が残っている粘土塊が多数見られる。



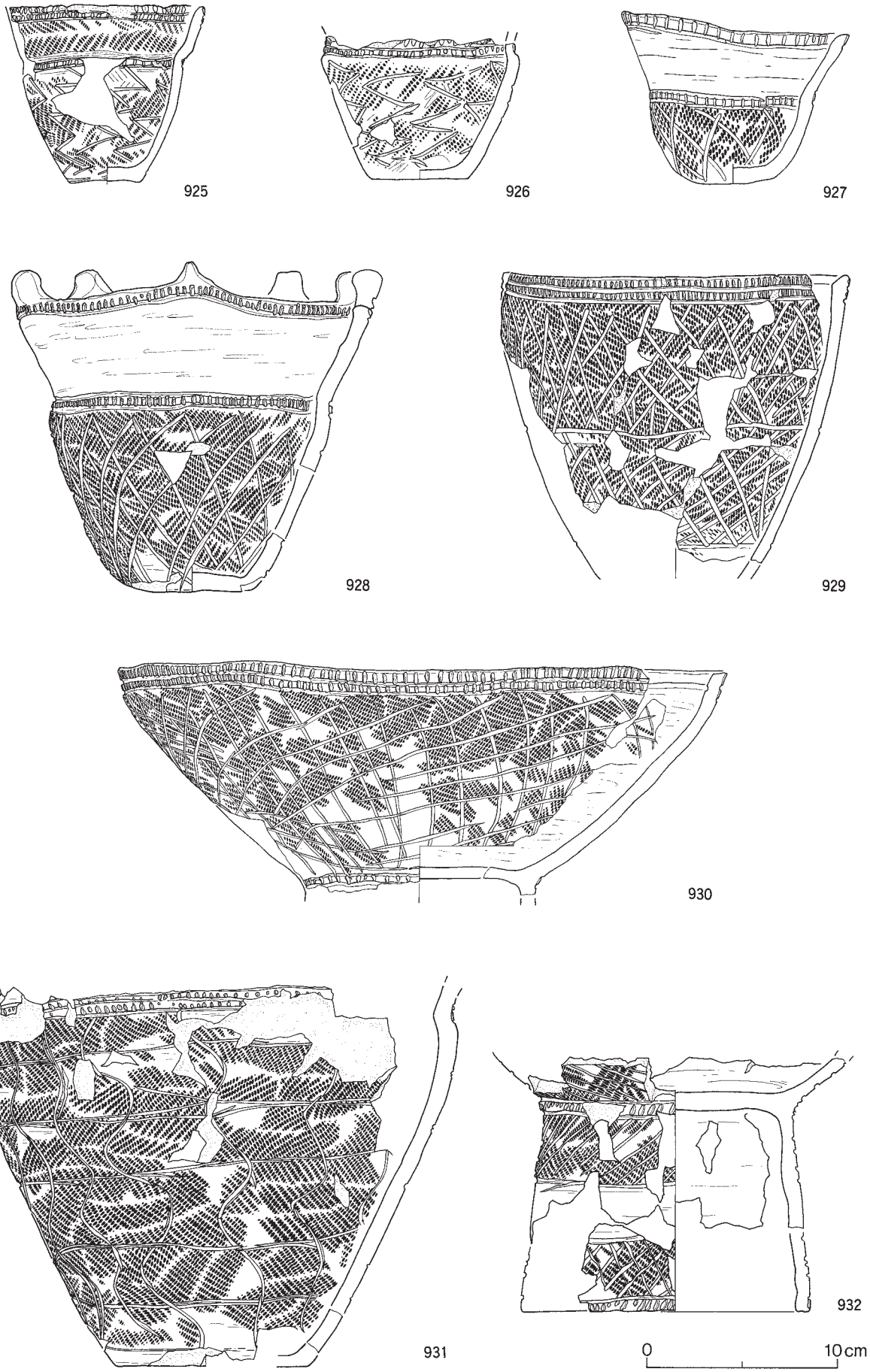
図Ⅴ－98　盛土遺構下位出土の土器（１）
刻み・帯状文①



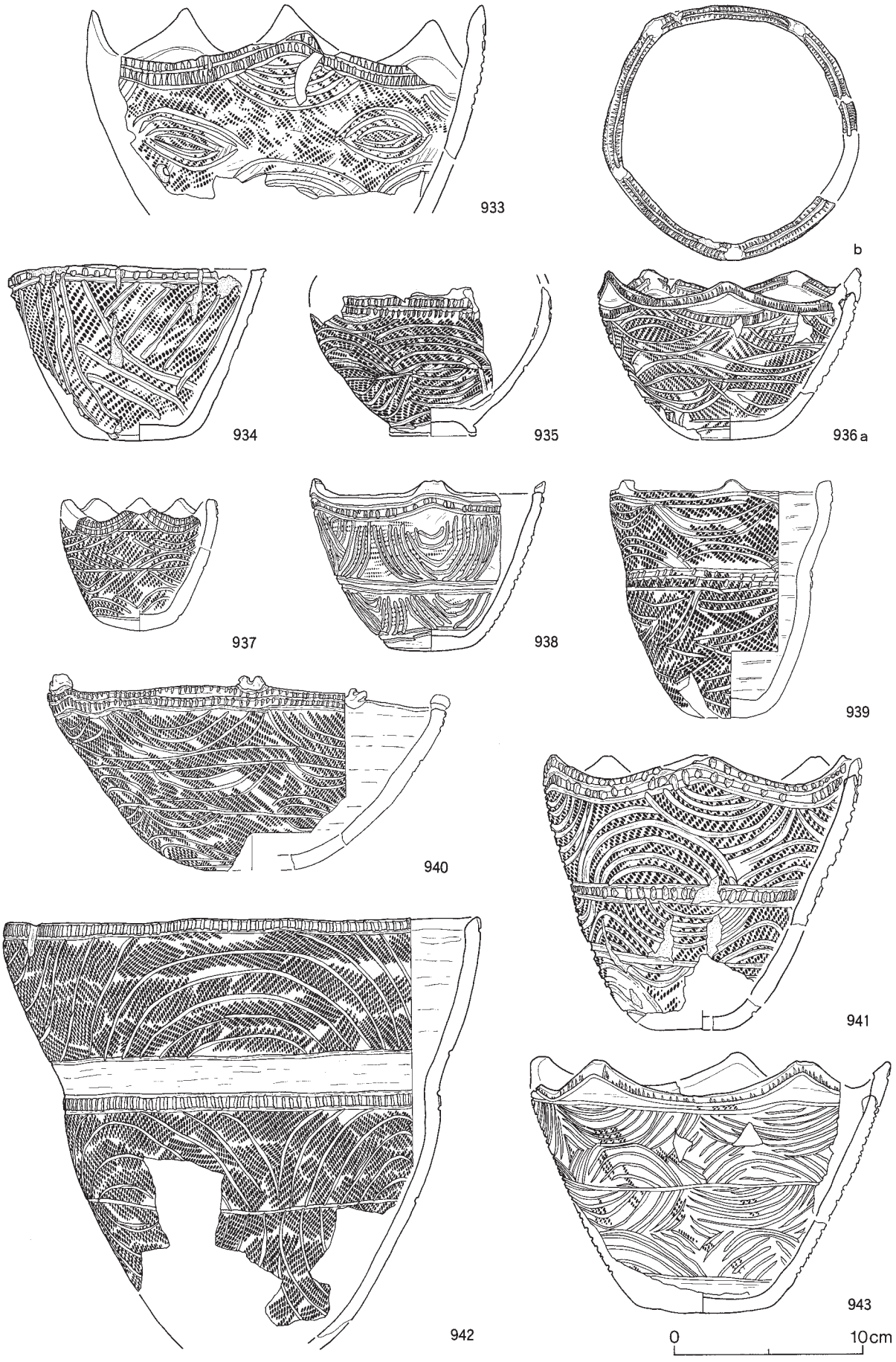
図Ⅴ－99　盛土遺構下位出土の土器（２）
刻み・帯状文②



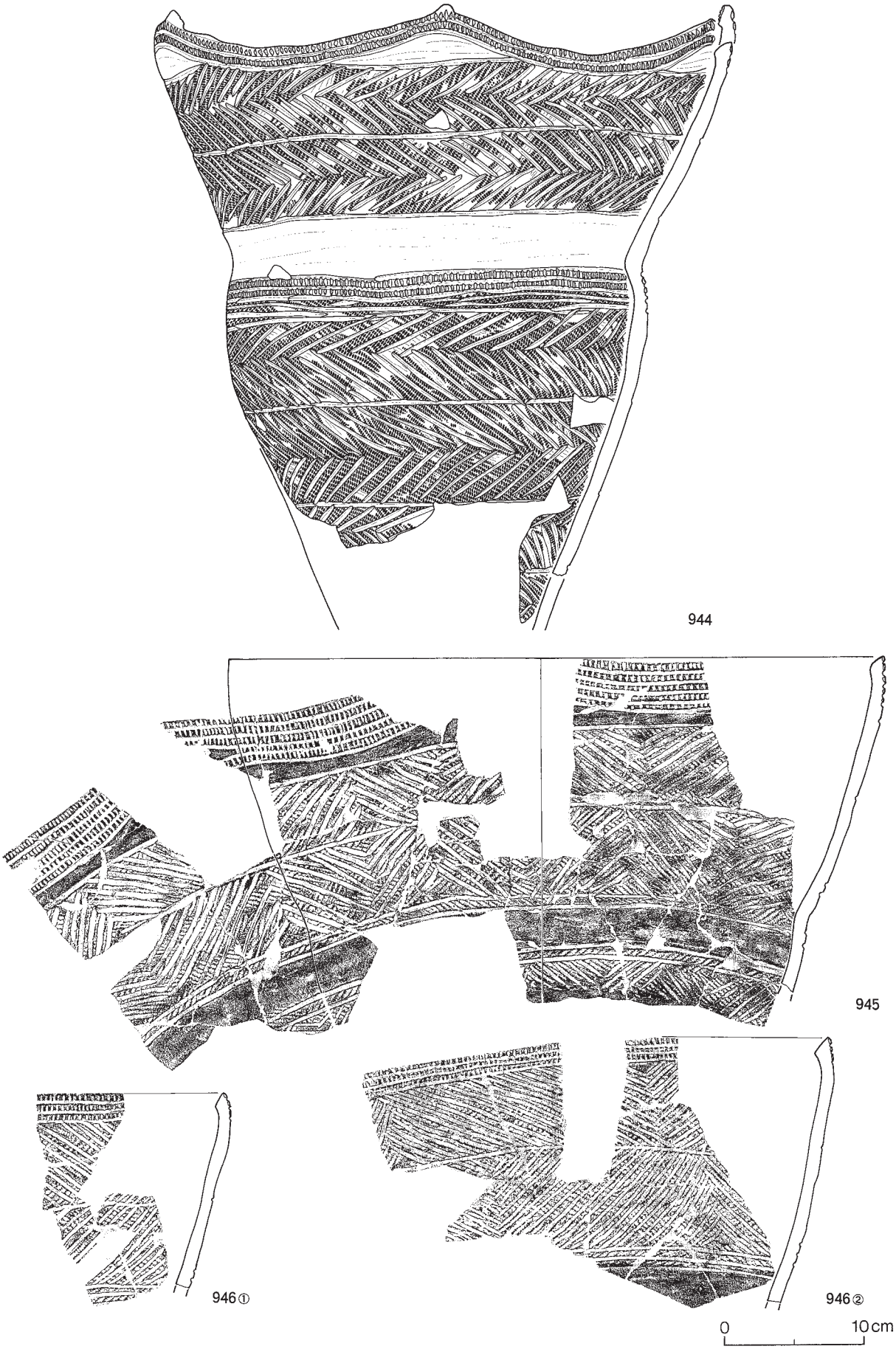
図Ⅴ－100　盛土遺構下位出土の土器（３）
刻み・帯状文③



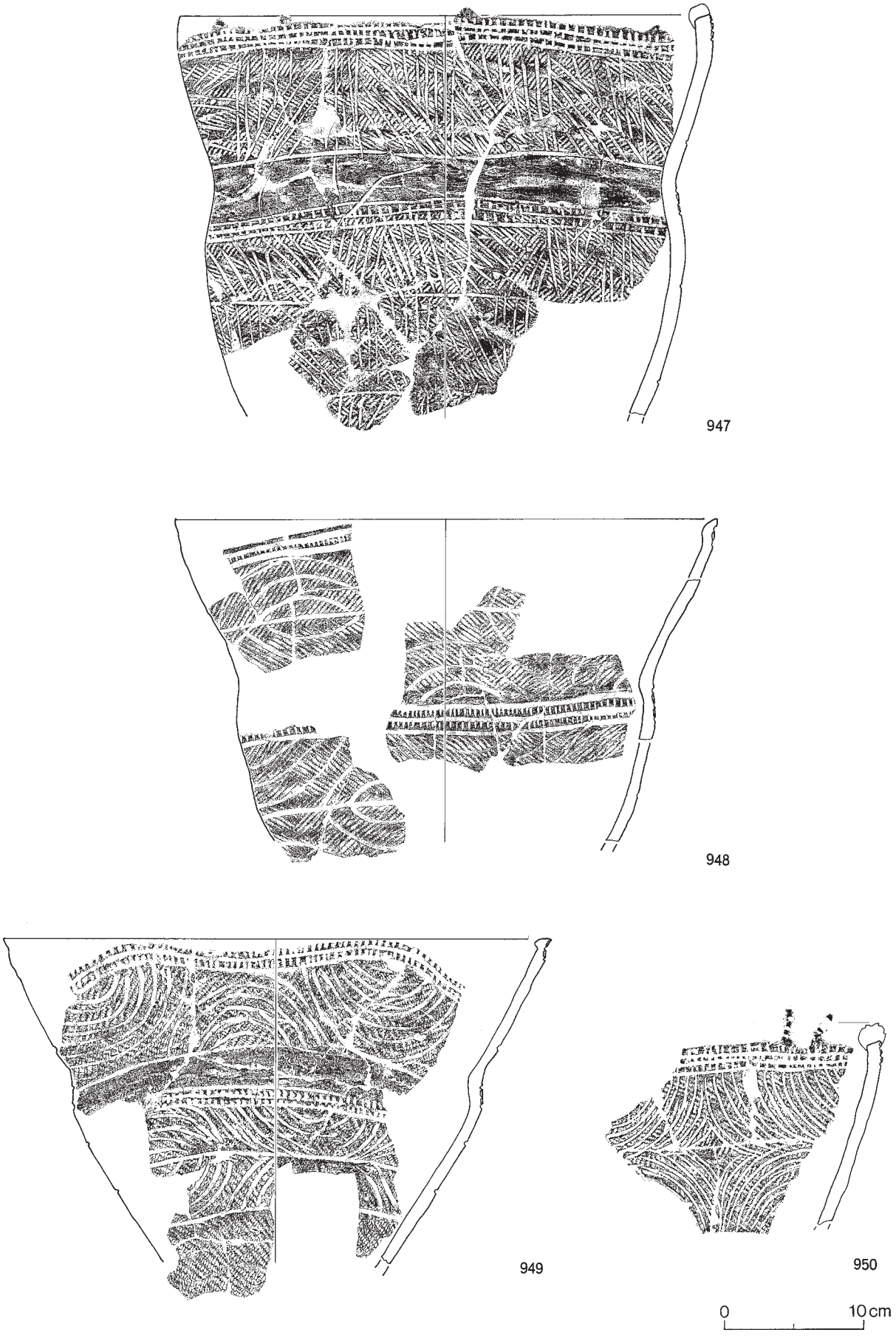
図Ⅴ－101　盛土遺構下位出土の土器（４）
刻み・沈線①



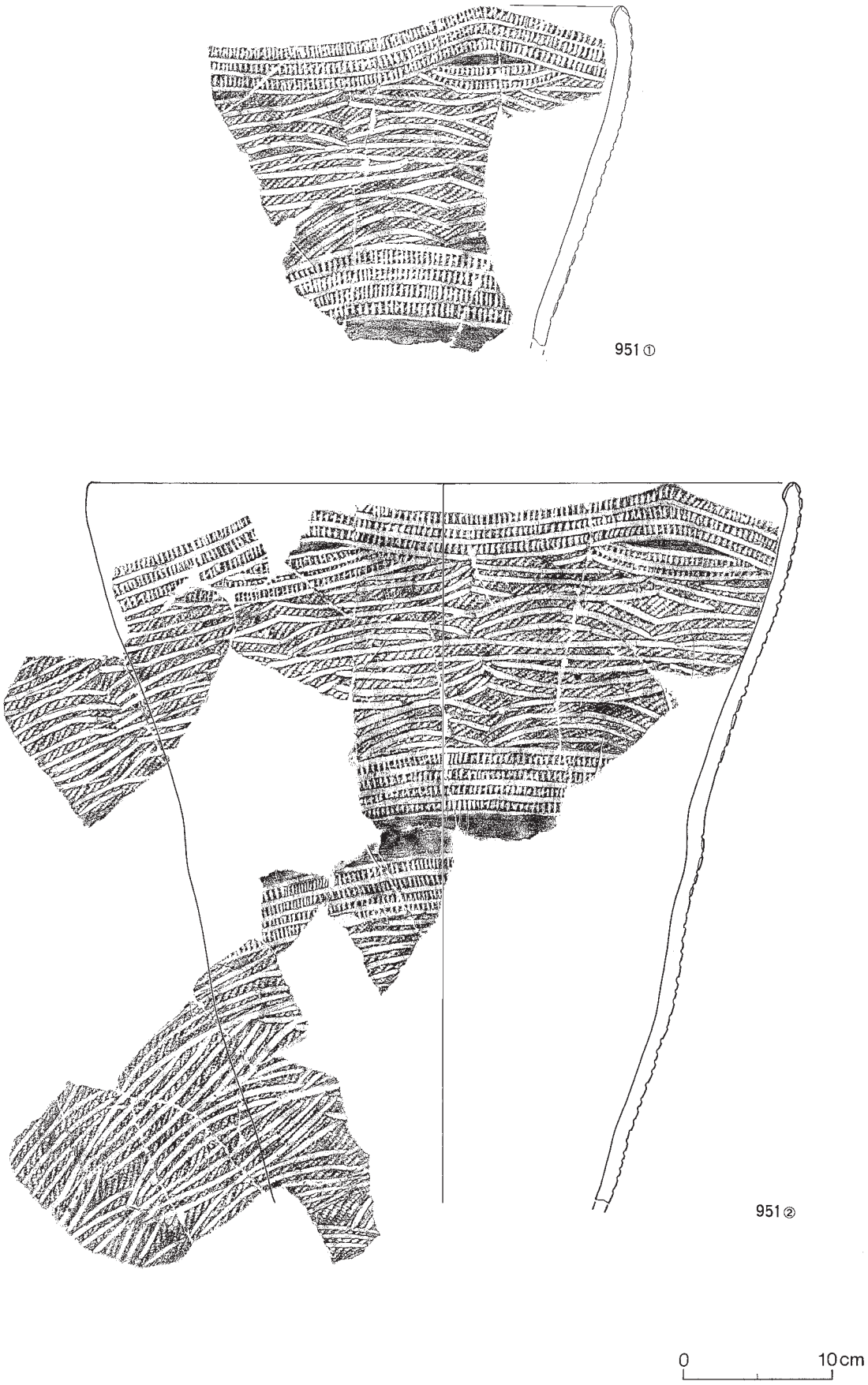
図Ⅴ－102　盛土遺構下位出土の土器（５）
刻み・沈線②



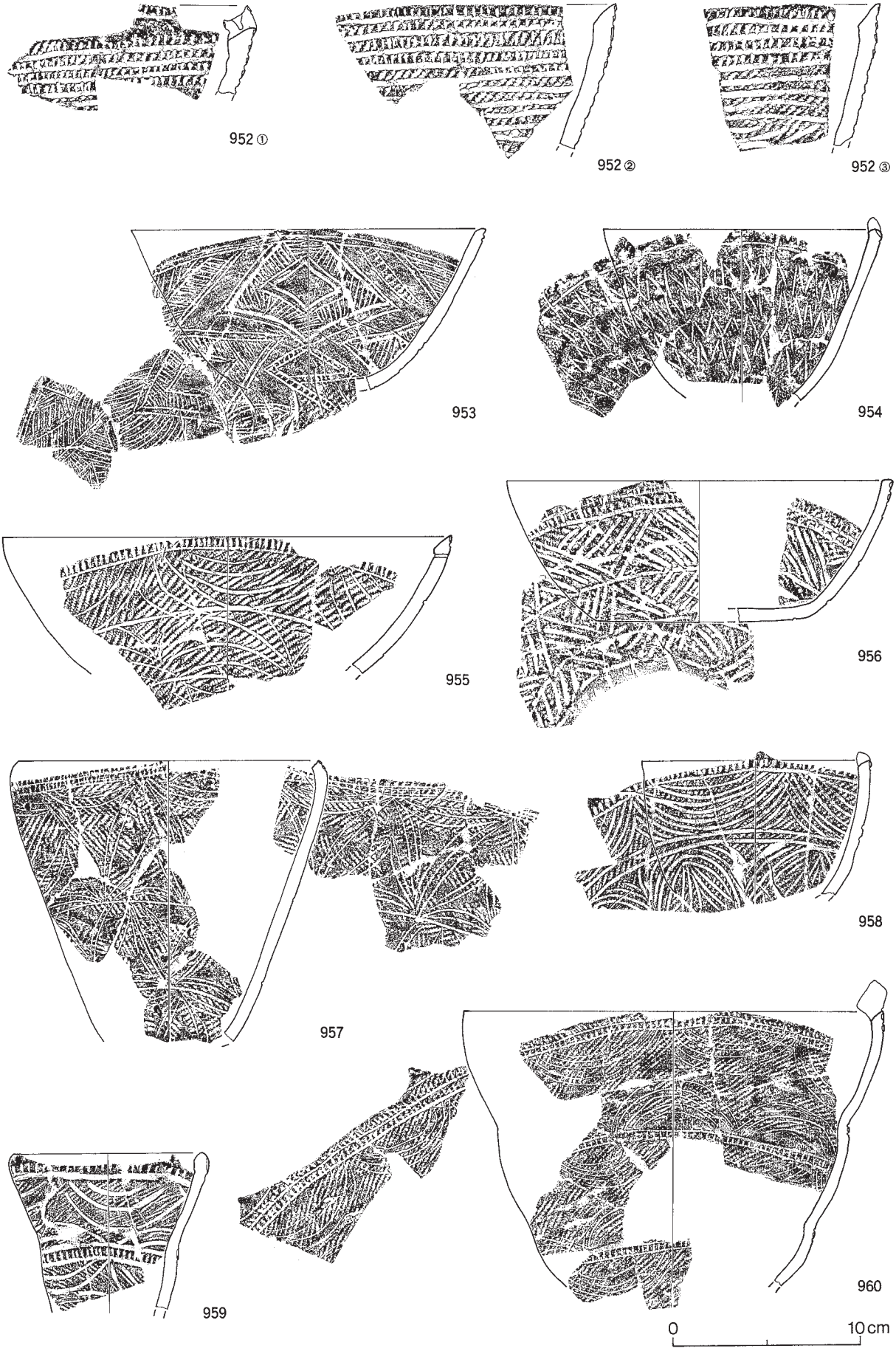
図Ⅴ－103　盛土遺構下位出土の土器（6）
刻み・沈線③



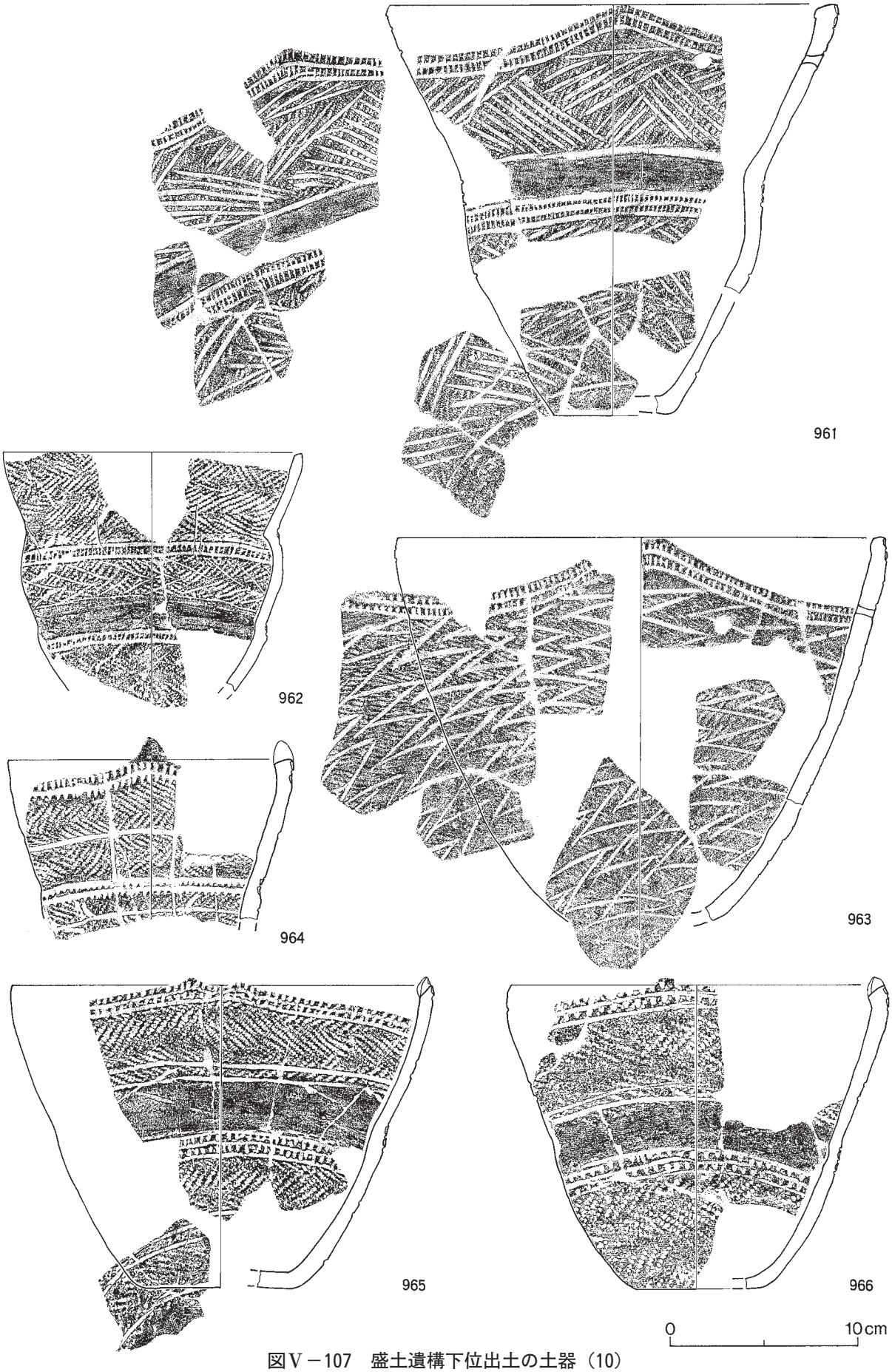
図Ⅴ－104　盛土遺構下位出土の土器（７）
刻み・沈線④



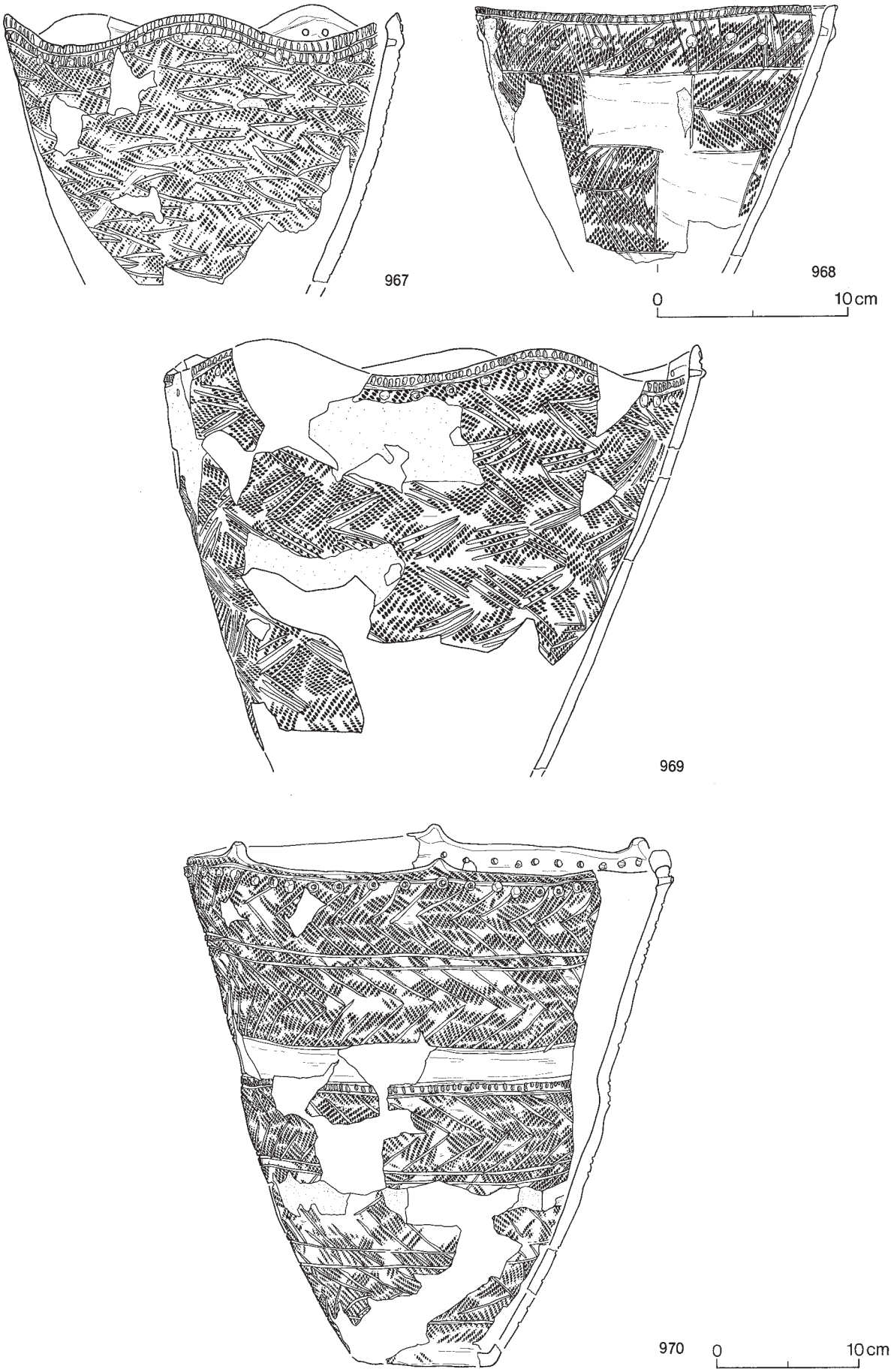
図Ⅴ－105　盛土遺構下位出土の土器（８）
刻み・沈線⑤（951①はL地区出土）



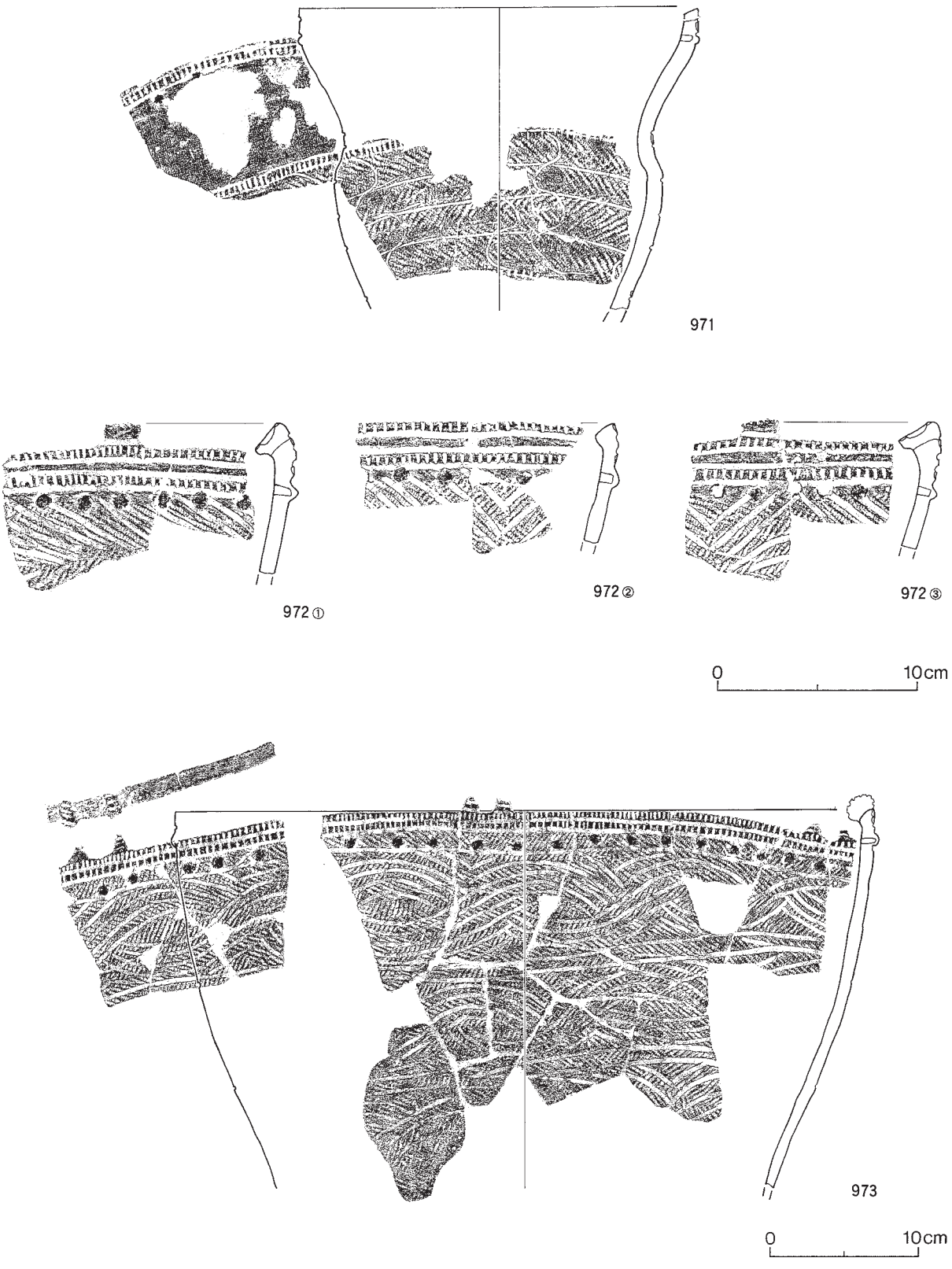
図Ⅴ－106　盛土遺構下位出土の土器（9）
刻み・沈線⑥



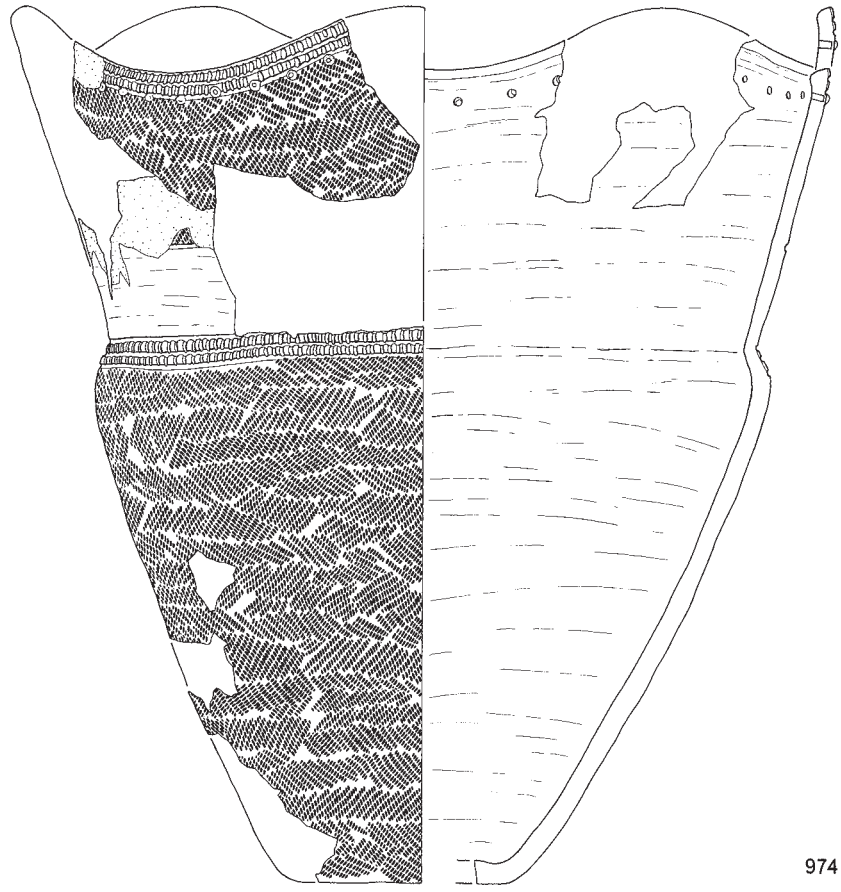
図Ⅴ－107　盛土遺構下位出土の土器（10）
刻み・沈線⑦

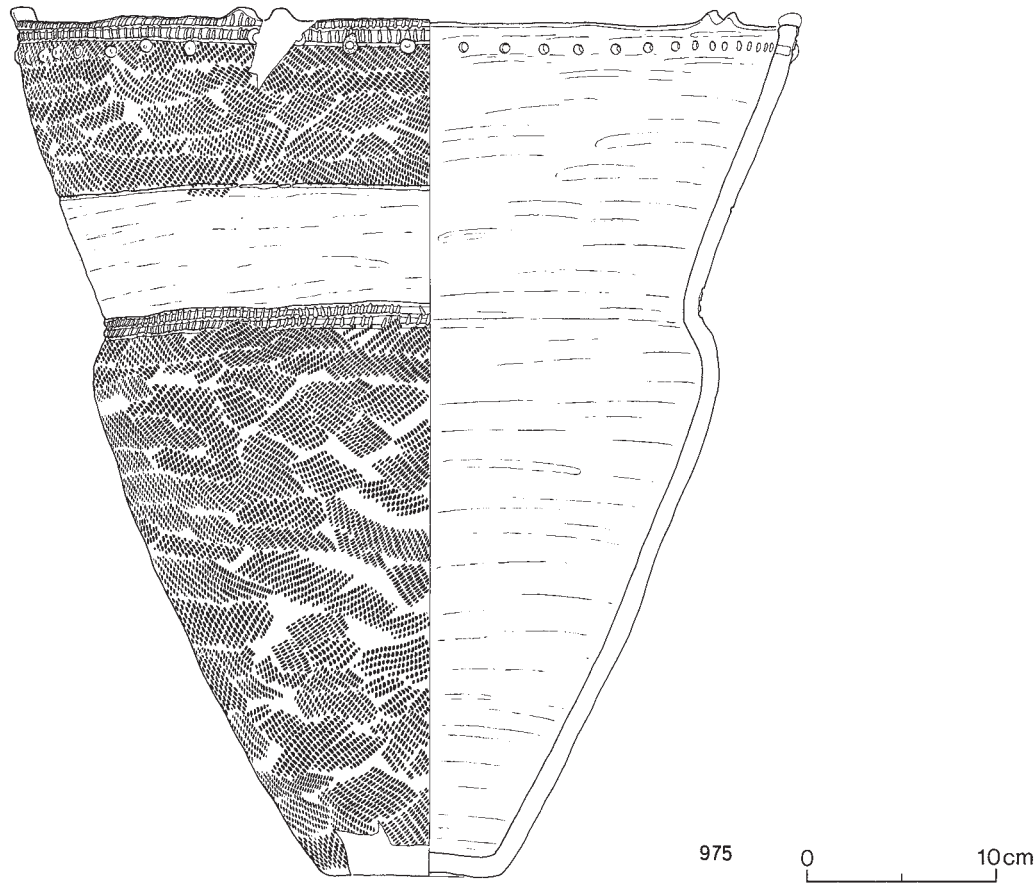


図Ⅴ－108　盛土遺構下位出土の土器（11）
刻み・突瘤・沈線①

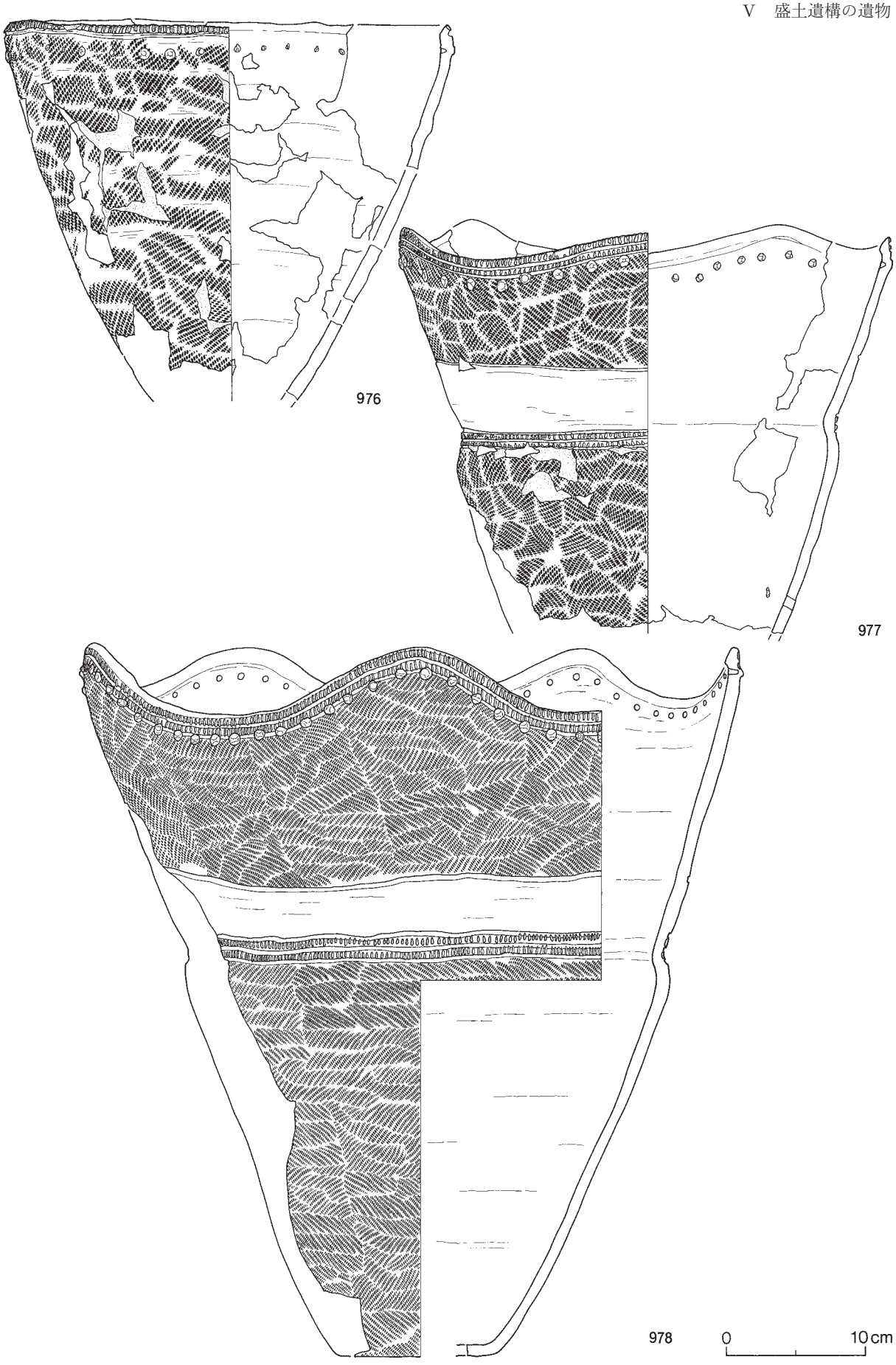


図Ⅴ－109　盛土遺構下位出土の土器（12）
刻み・突瘤・沈線②

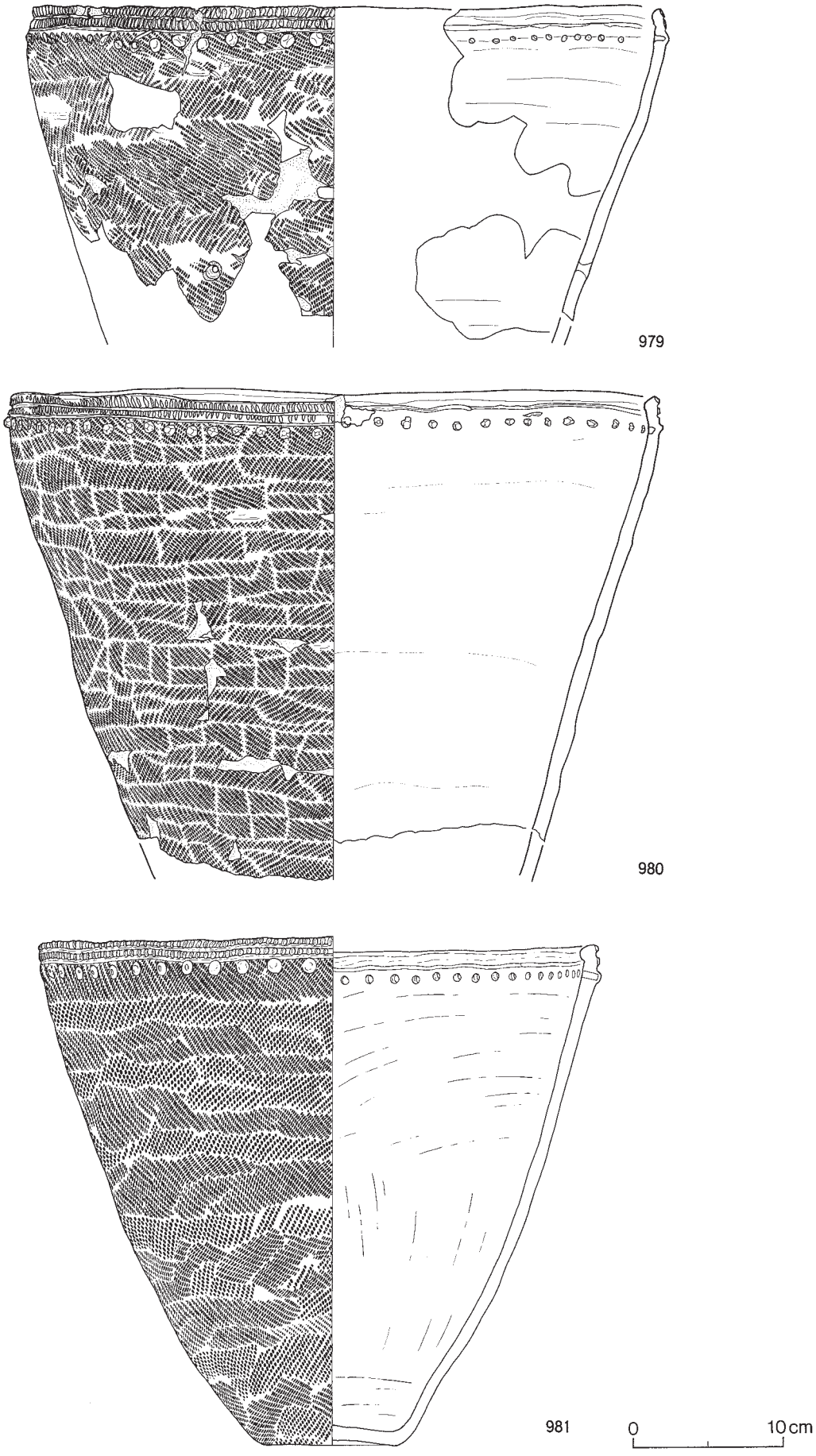




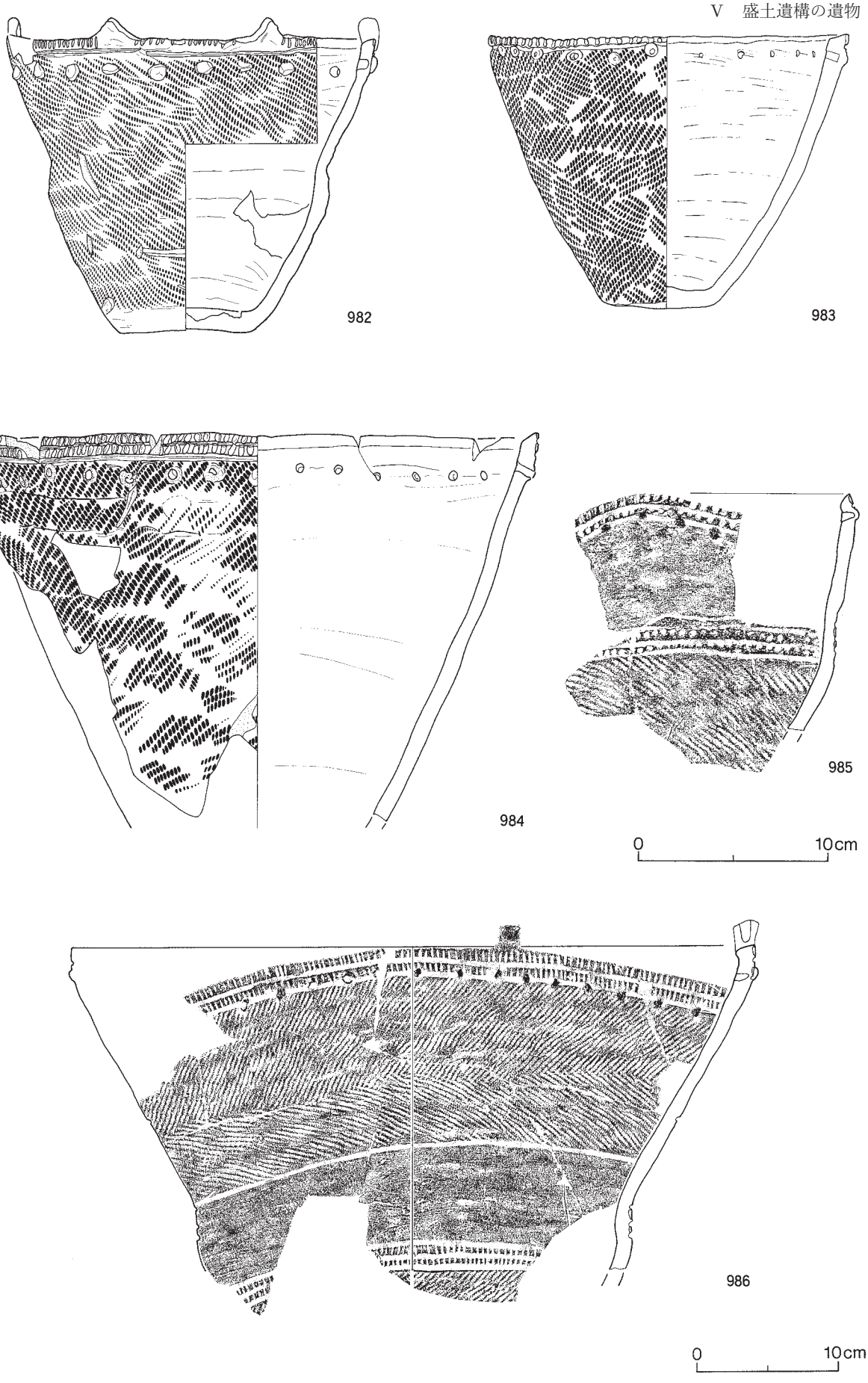
図Ⅴ－110　盛土遺構下位出土の土器（13）
刻み・突瘤①



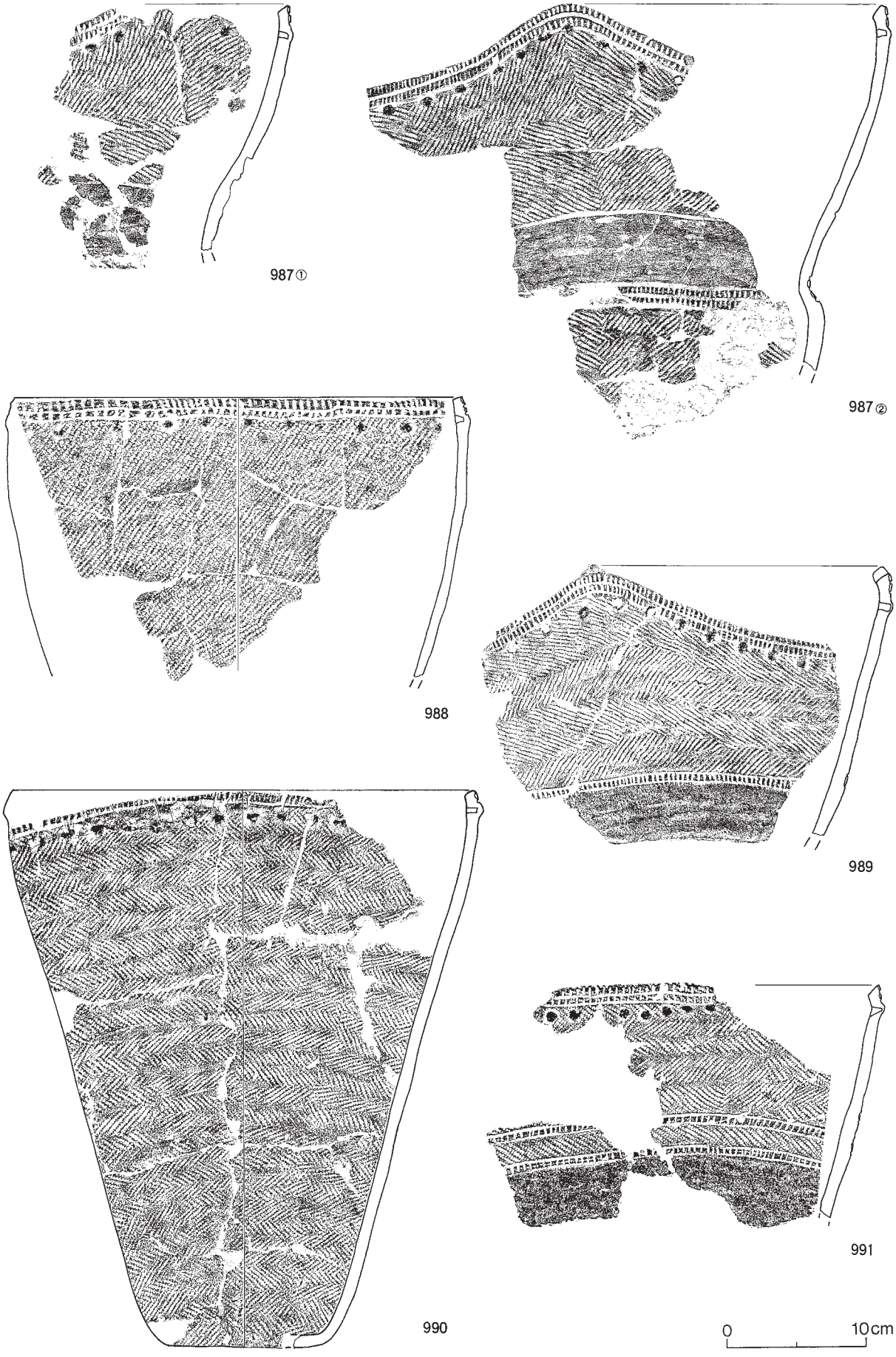
図Ⅴ－111　盛土遺構下位出土の土器（14）
刻み・突瘤②



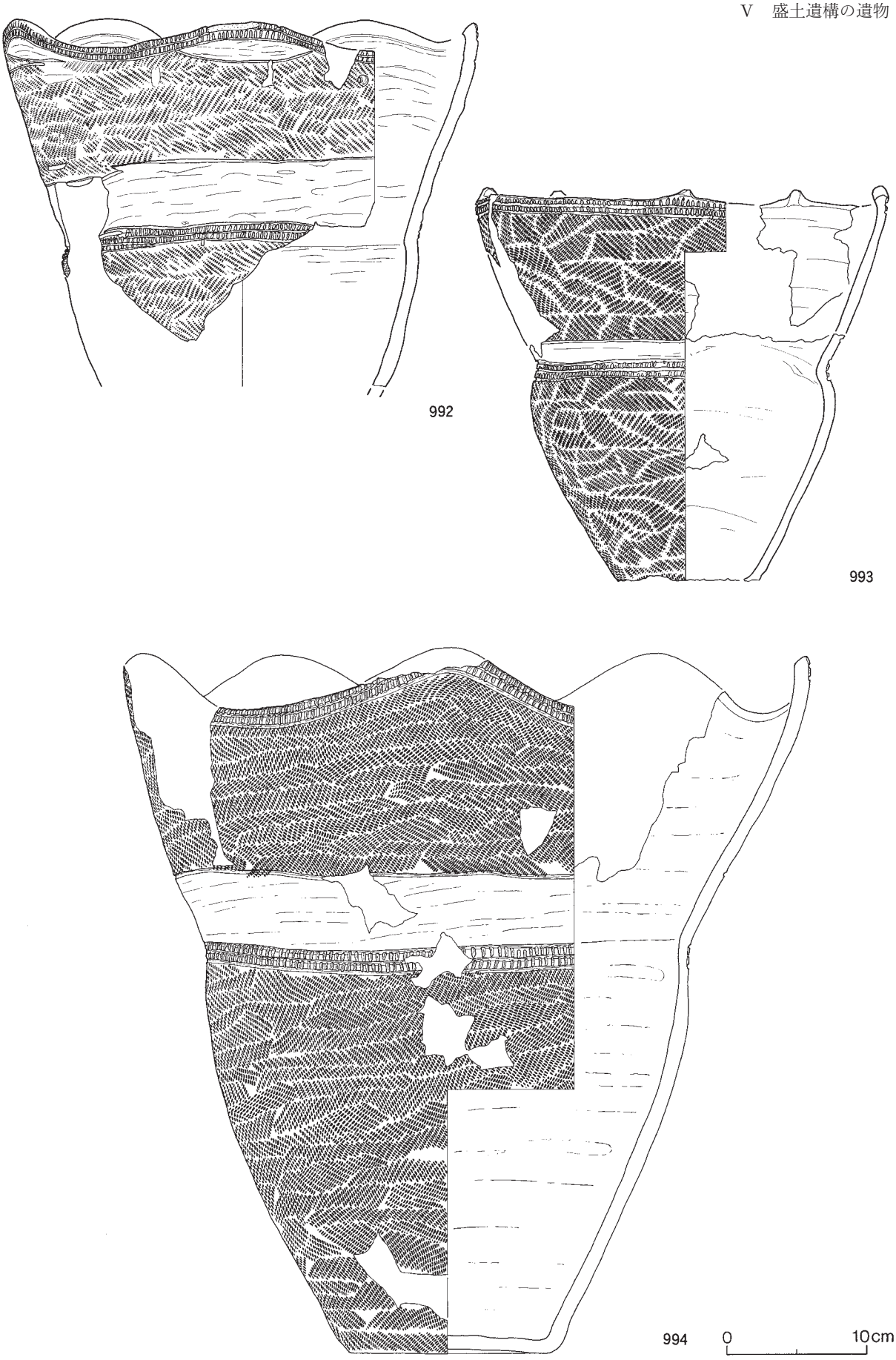
図Ⅴ－112　盛土遺構下位出土の土器（15）
刻み・突瘤③



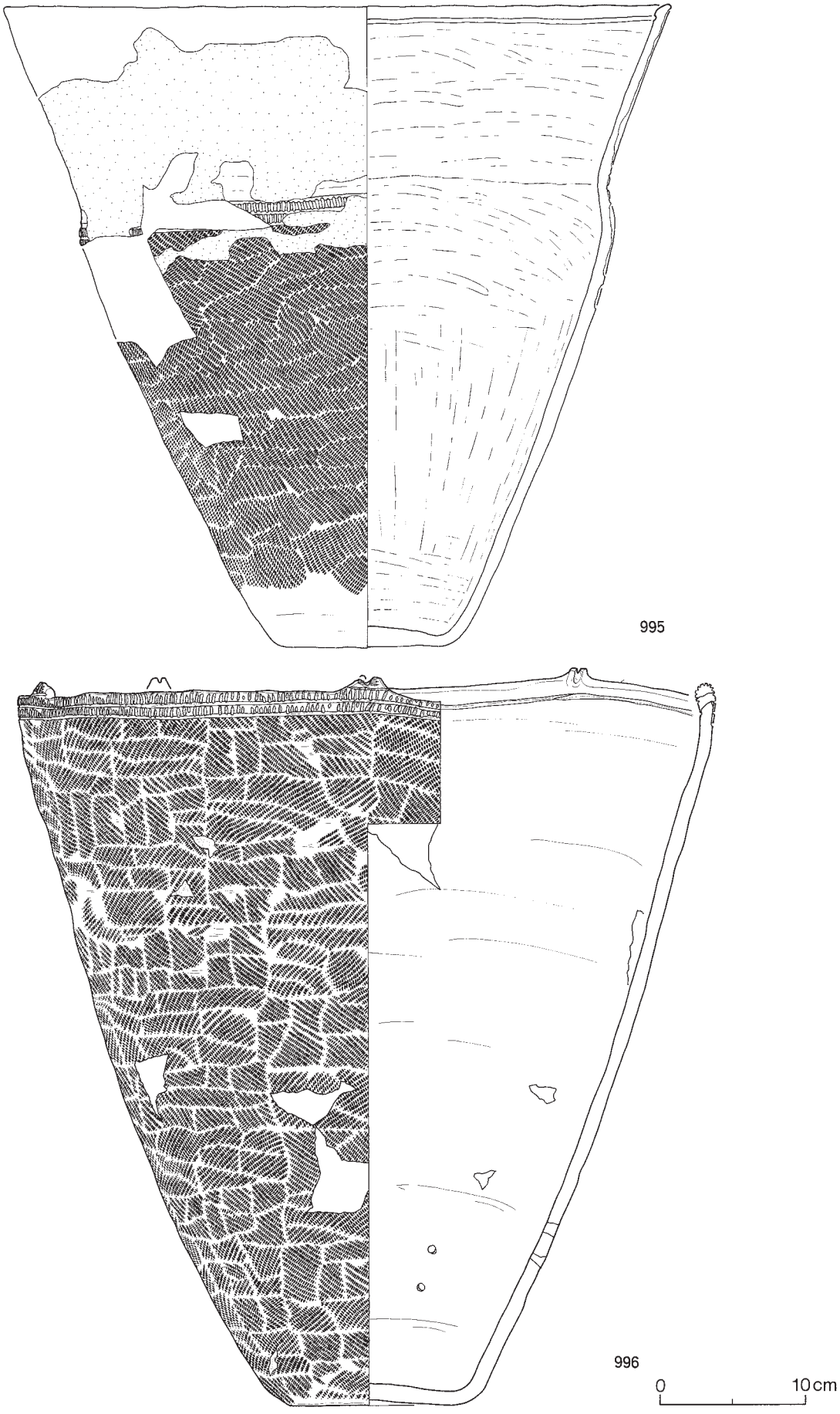
図Ⅴ－113　盛土遺構下位出土の土器（16）
刻み・突瘤④



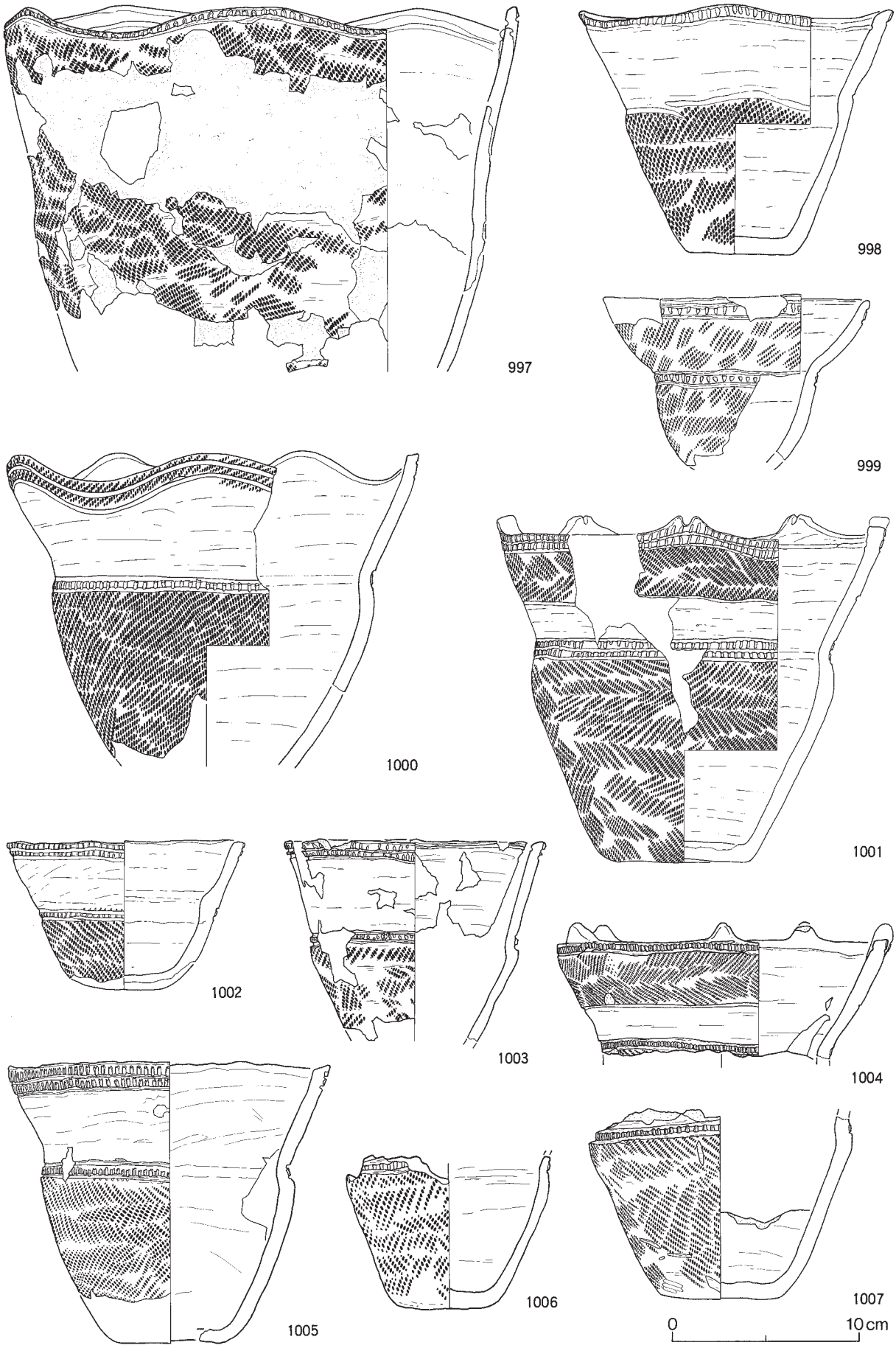
図Ⅴ－114　盛土遺構下位出土の土器（17）
刻み・突瘤⑤



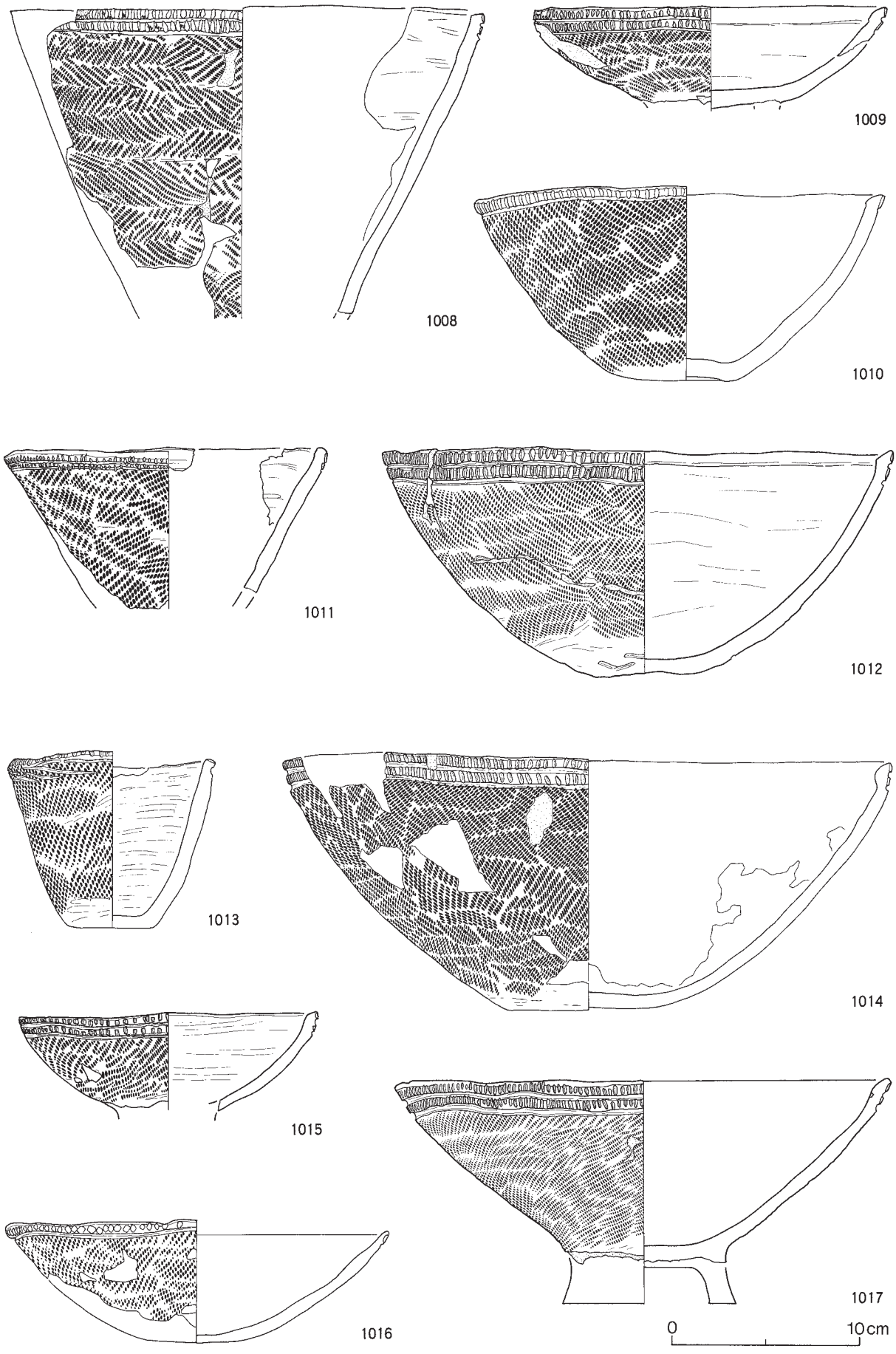
図Ⅴ－115　盛土遺構下位出土の土器（18）
刻み・縄文のみ①



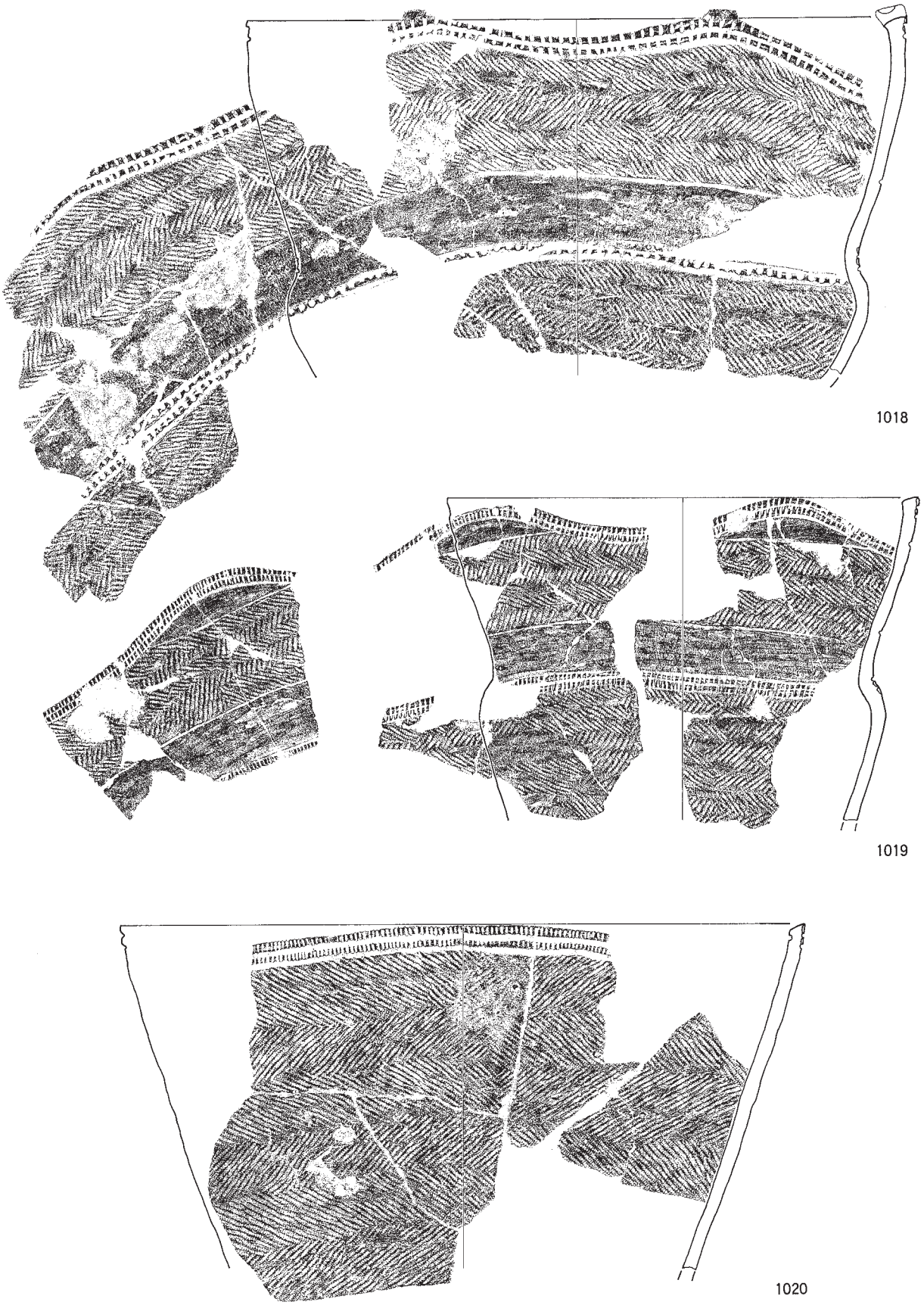
図Ⅴ－116　盛土遺構下位出土の土器（19）
刻み・縄文のみ②



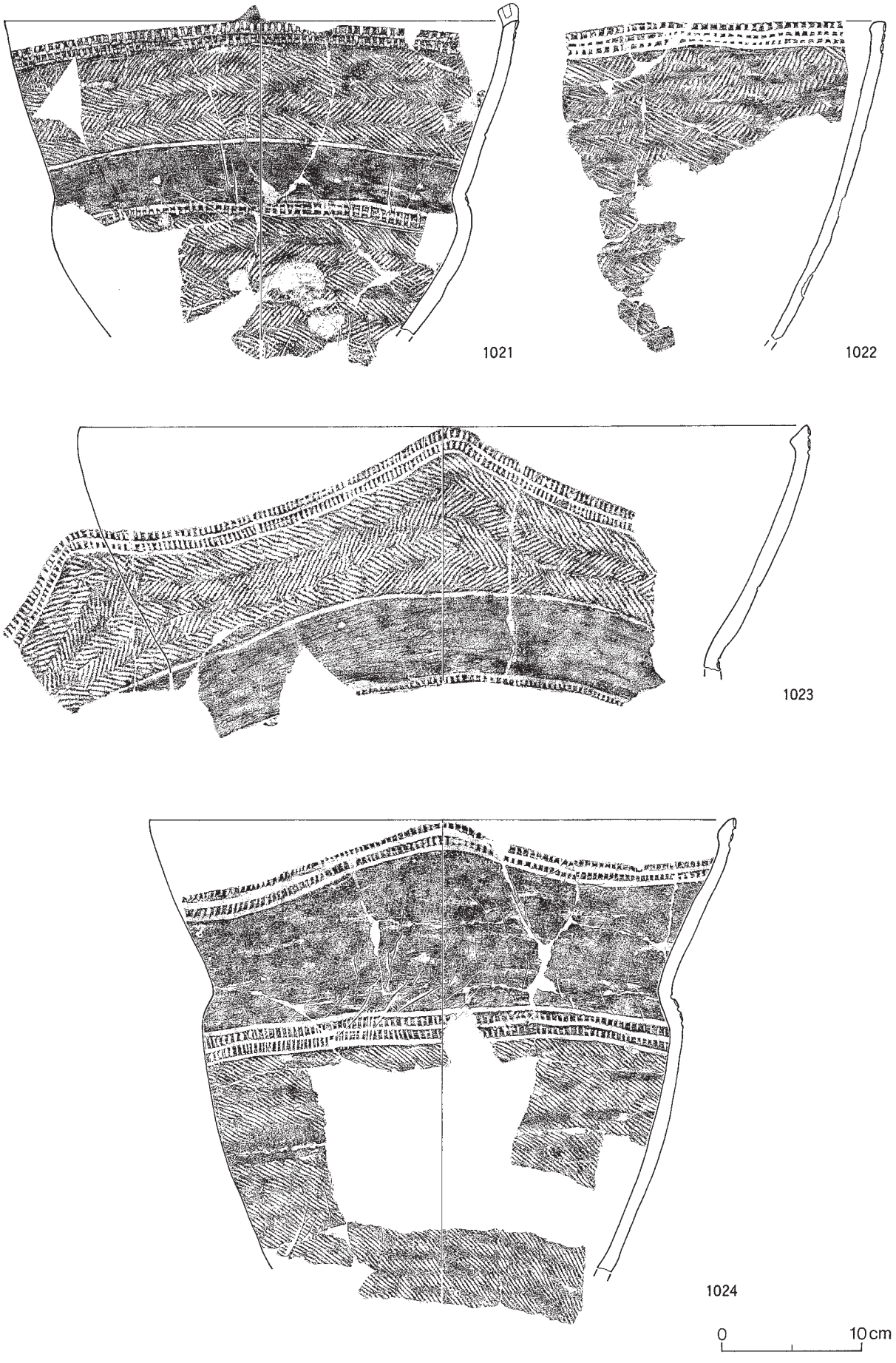
図Ⅴ－117　盛土遺構下位出土の土器（20）
刻み・縄文のみ③



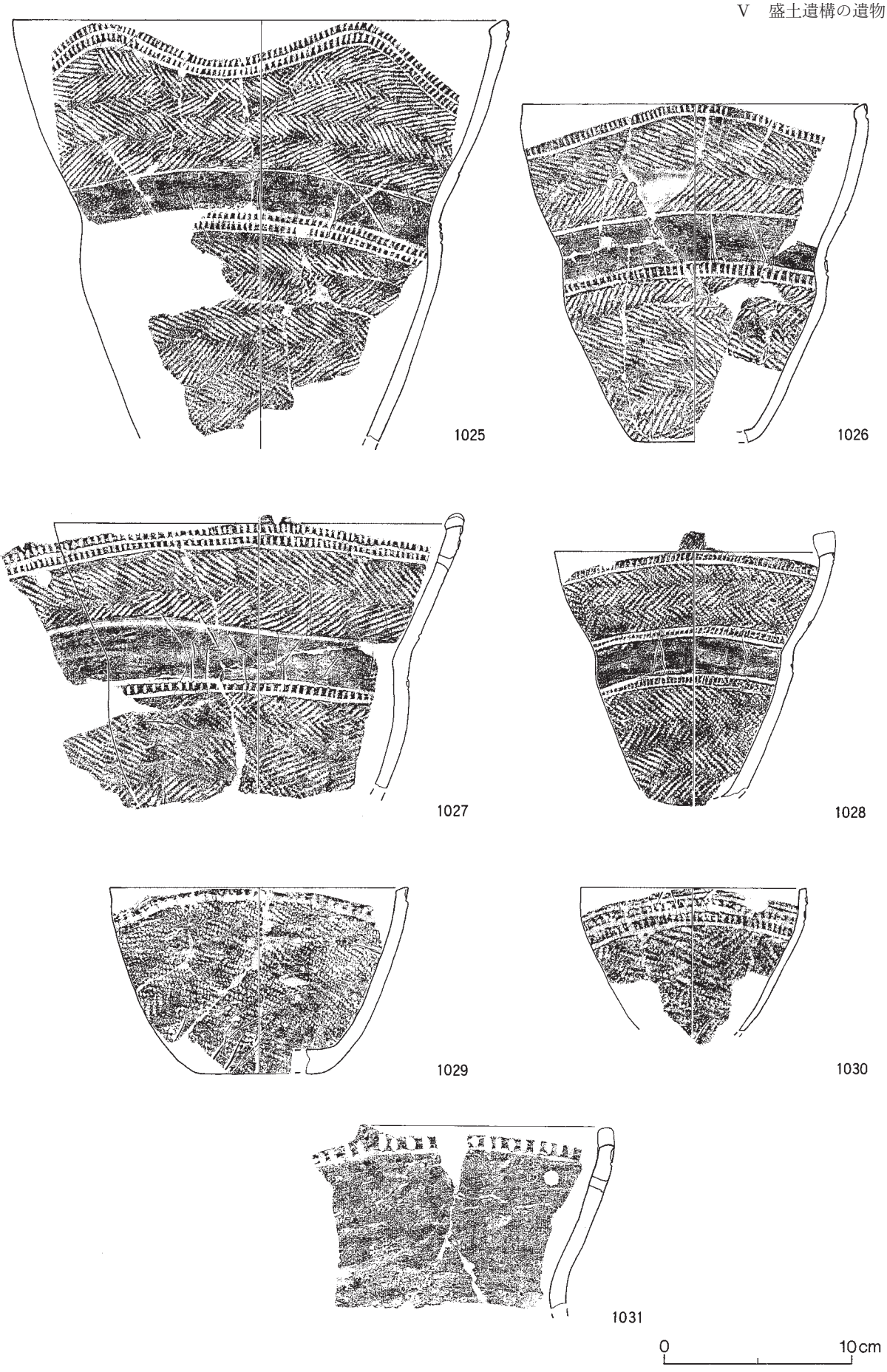
図Ⅴ－118　盛土遺構下位出土の土器（21）
刻み・縄文のみ④



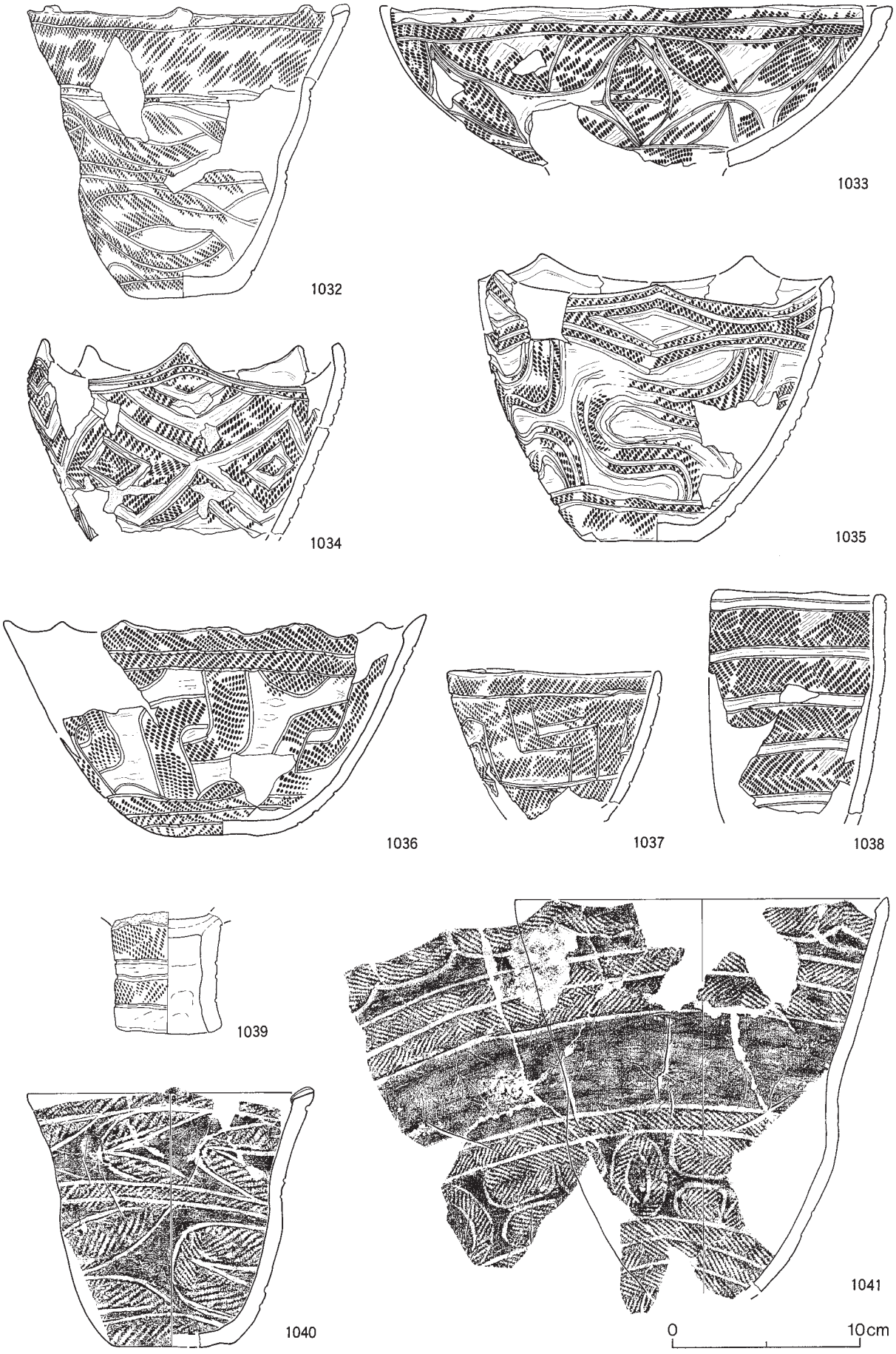
図Ⅴ－119　盛土遺構下位出土の土器（22）
刻み・縄文のみ⑤



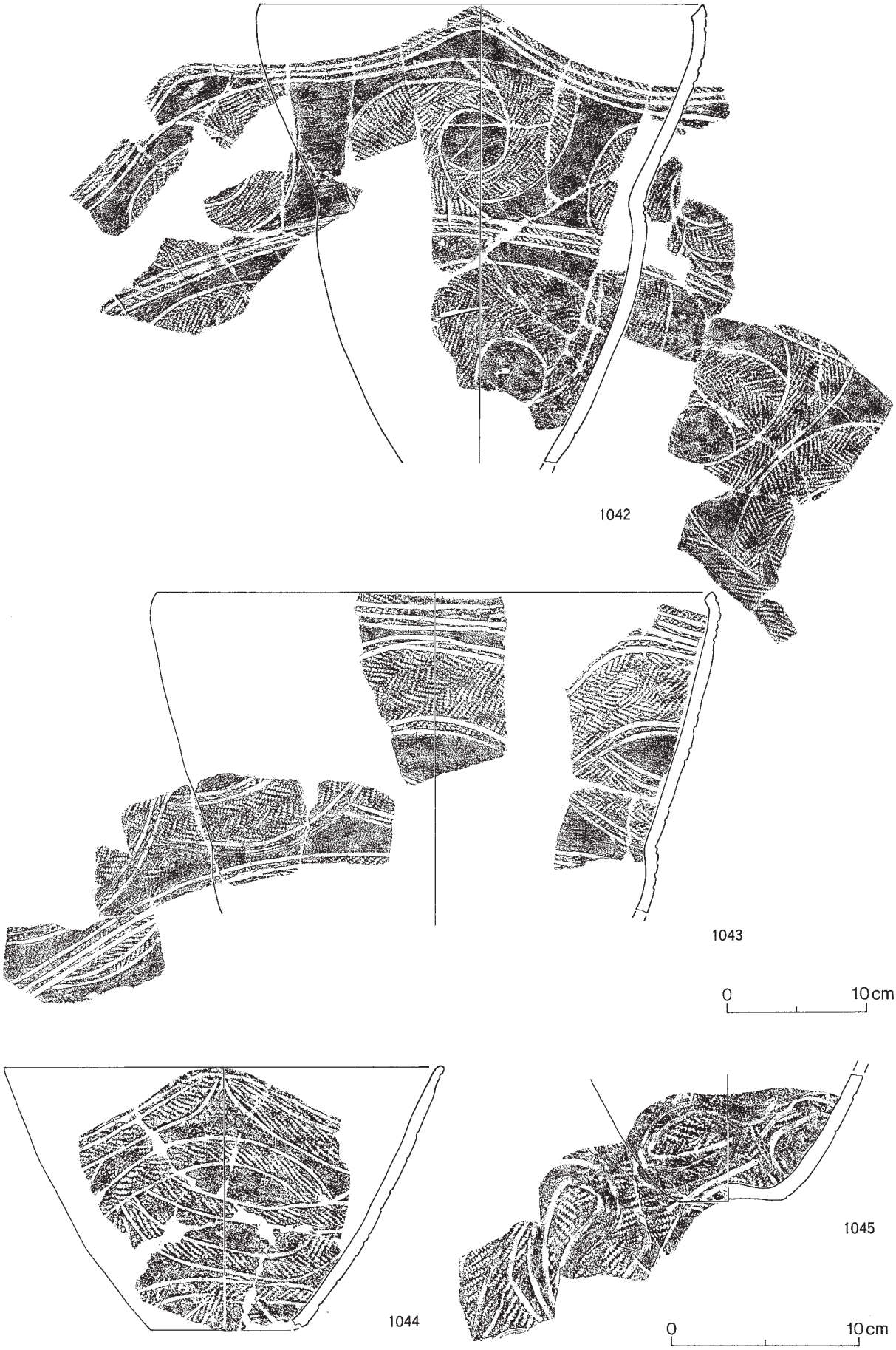
図Ⅴ－120　盛土遺構下位出土の土器（23）
刻み・縄文のみ⑥



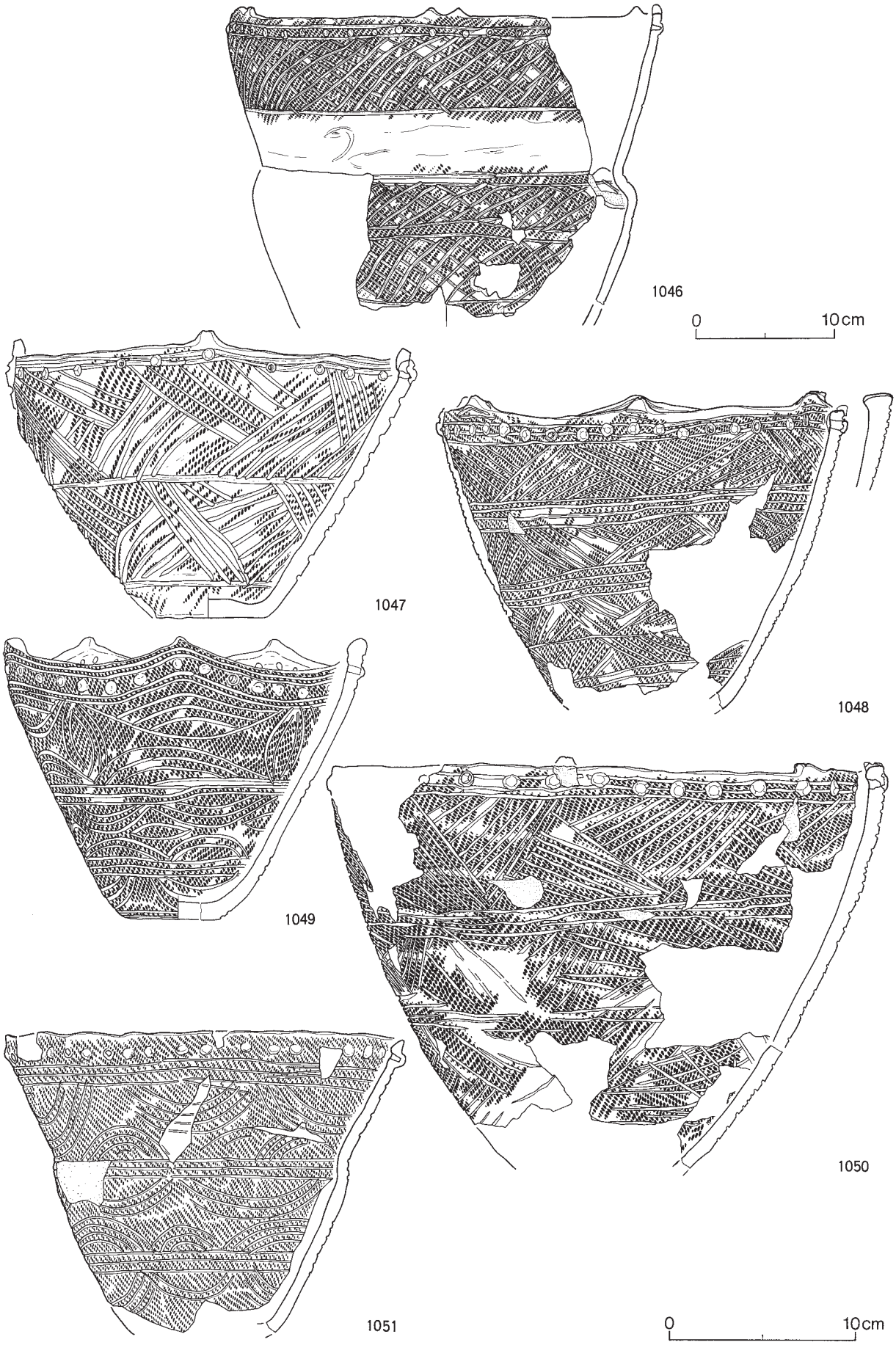
図Ⅴ－121　盛土遺構下位出土の土器（24）
刻み・縄文のみ⑦



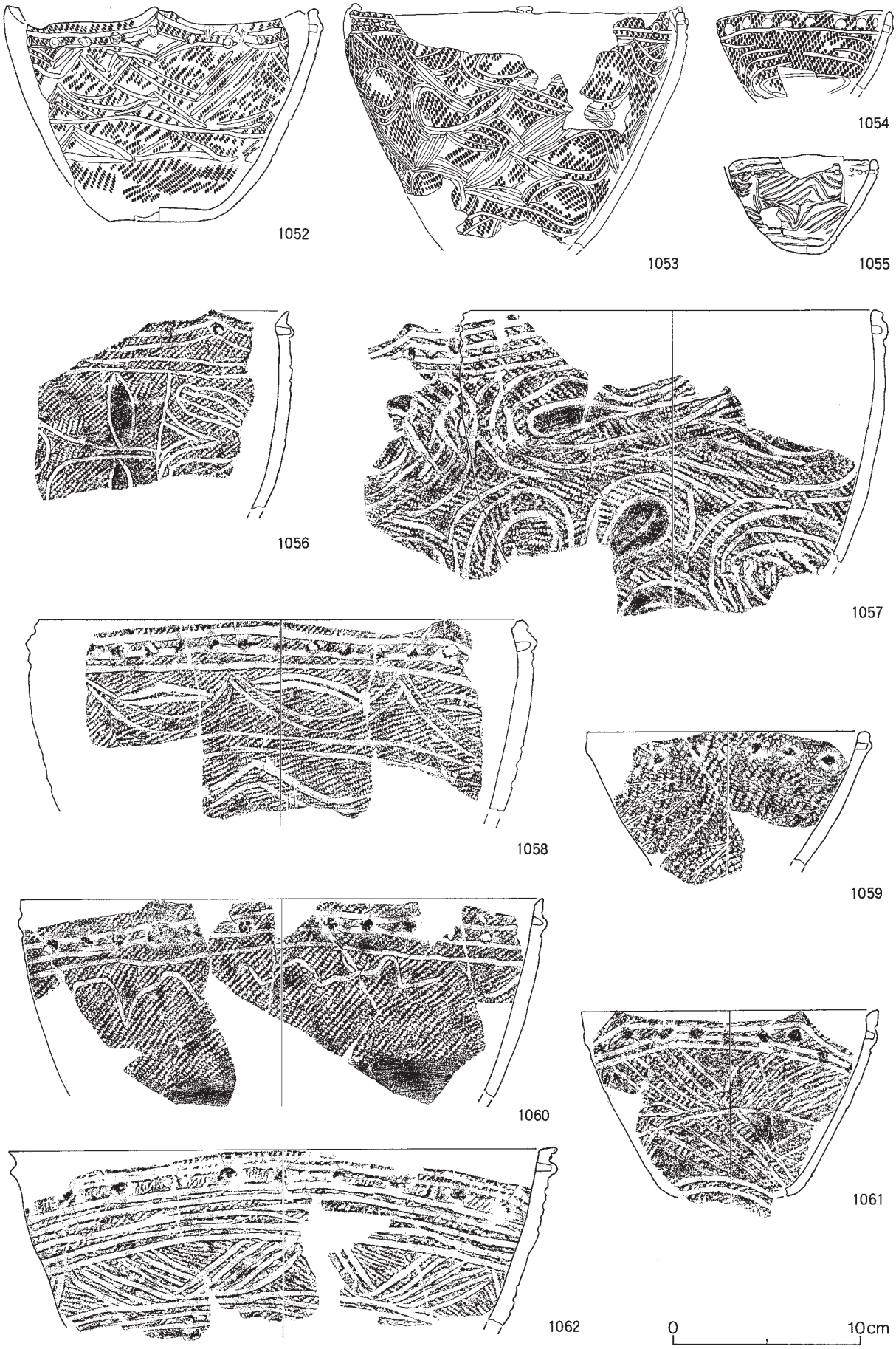
図Ⅴ－122　盛土遺構下位出土の土器（25）
帯状文①



図Ⅴ－123　盛土遺構下位出土の土器（26）
帯状文②

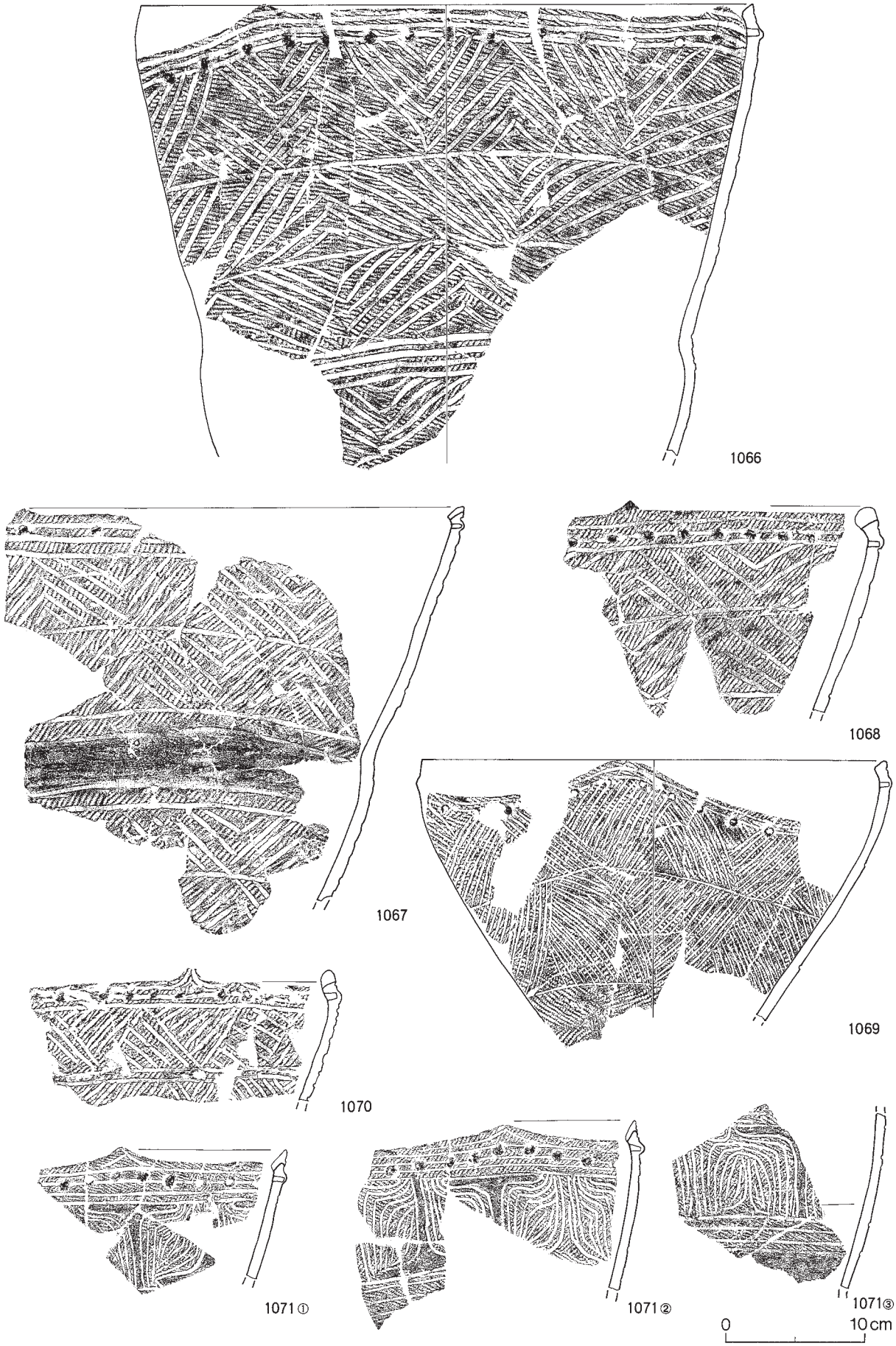


図Ⅴ－124　盛土遺構下位出土の土器（27）
突瘤・沈線①

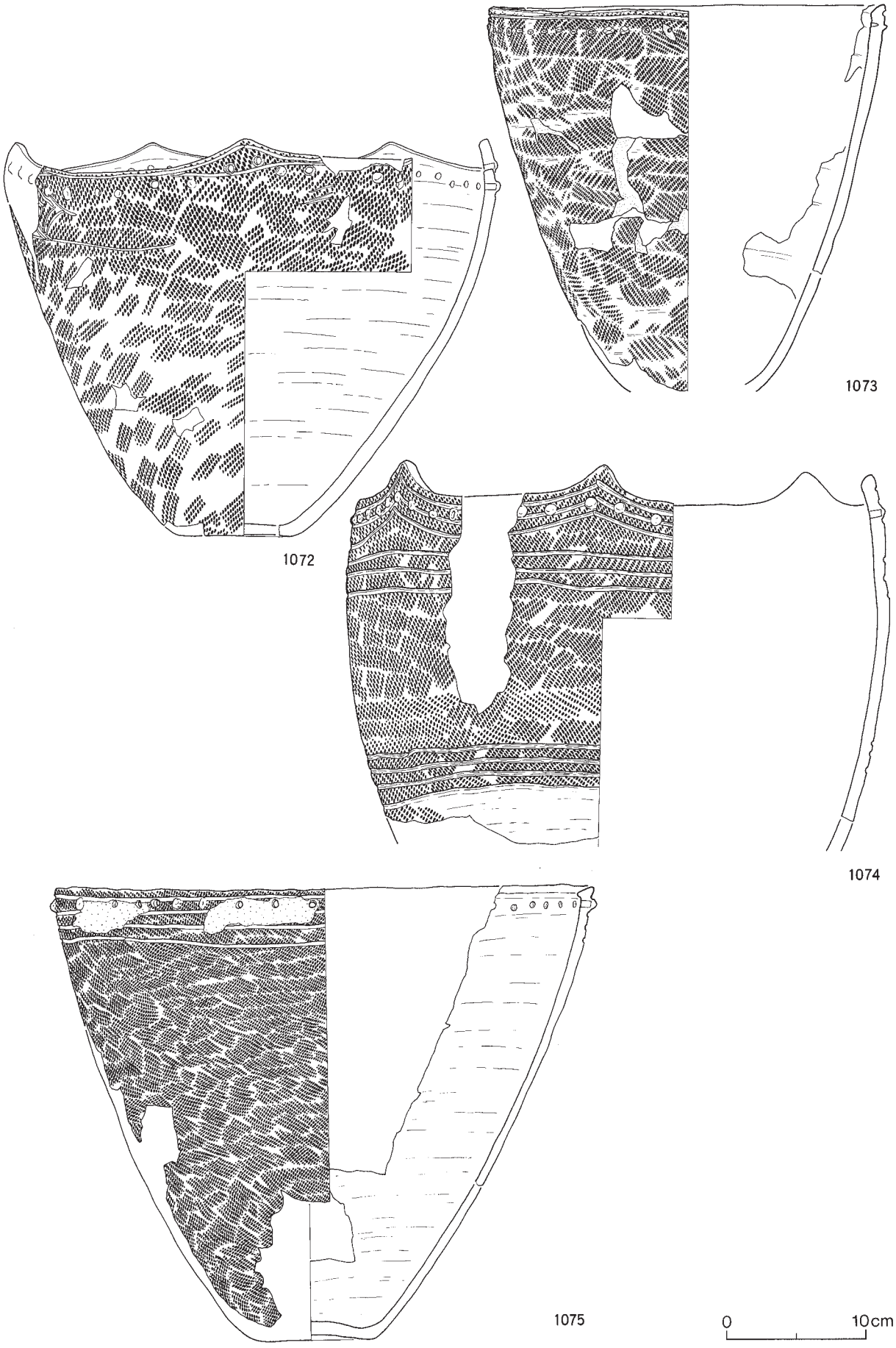


図Ⅴ－125　盛土遺構下位出土の土器（28）
突瘤・沈線②

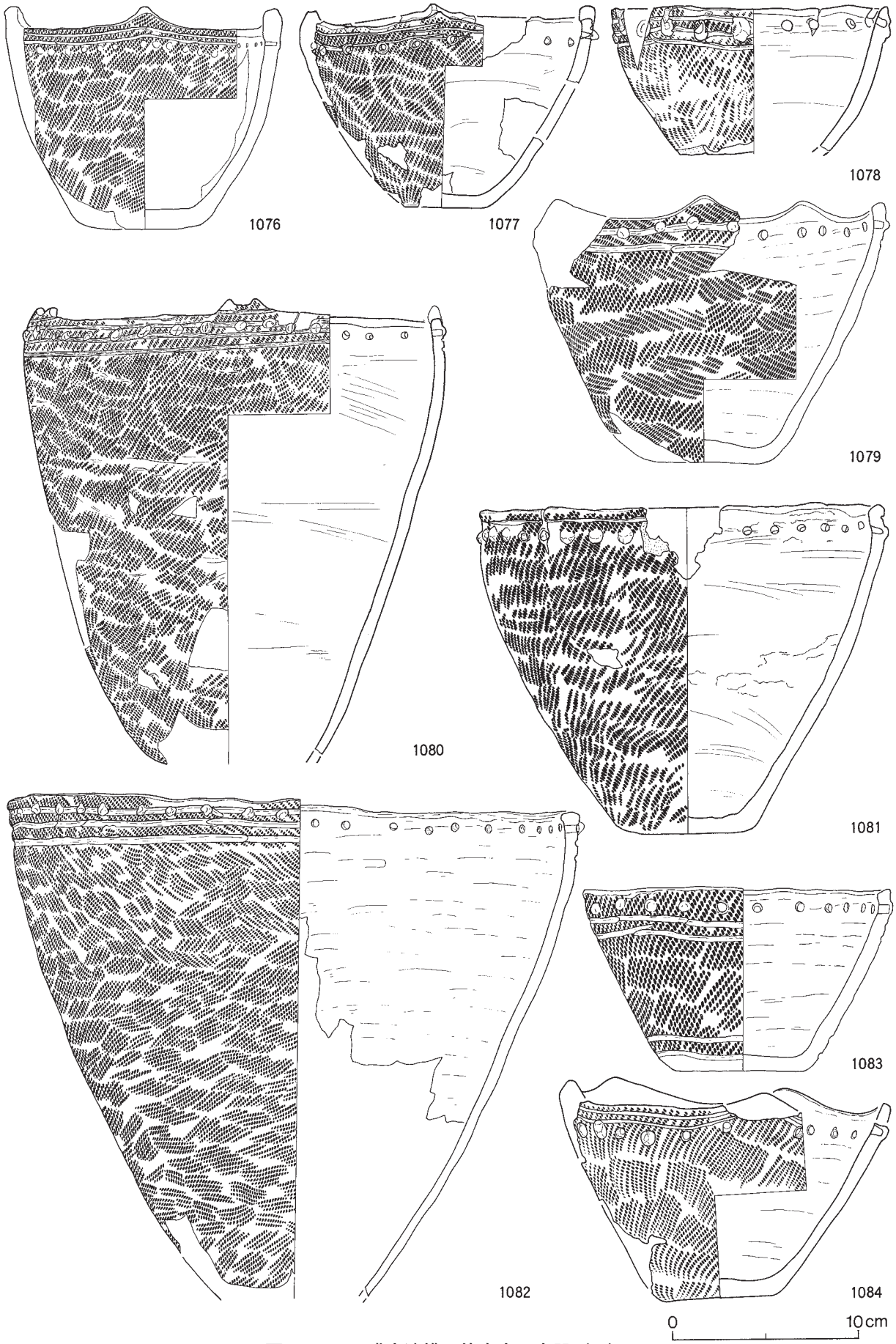
図Ⅴ－126　盛土遺構下位出土の土器（29）
突瘤・沈線③



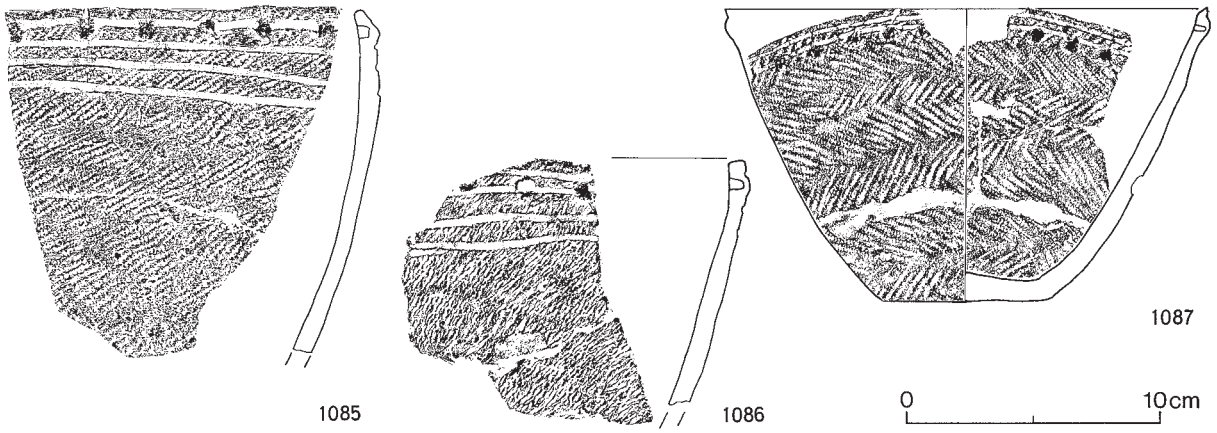
図Ⅴ－127　盛土遺構下位出土の土器（30）
突瘤・沈線④

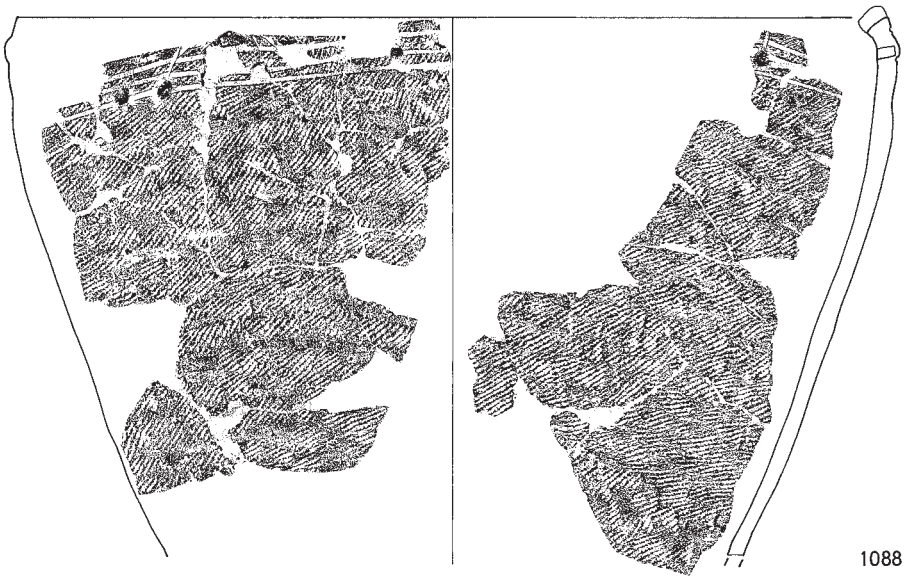


図Ⅴ－128　盛土遺構下位出土の土器（31）
突瘤・横走沈線①

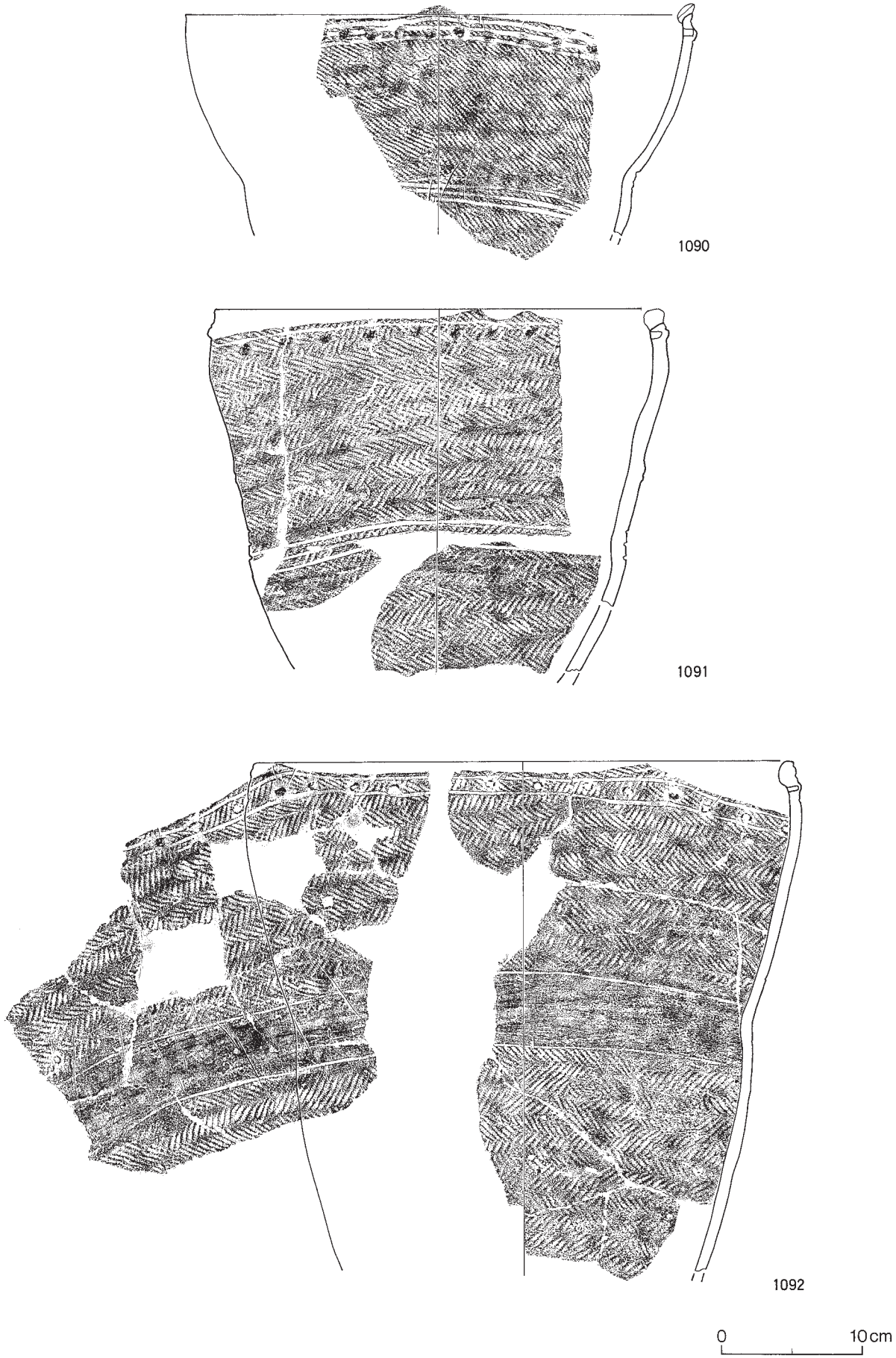


図Ⅴ－129　盛土遺構下位出土の土器（32）
突瘤・横走沈線②

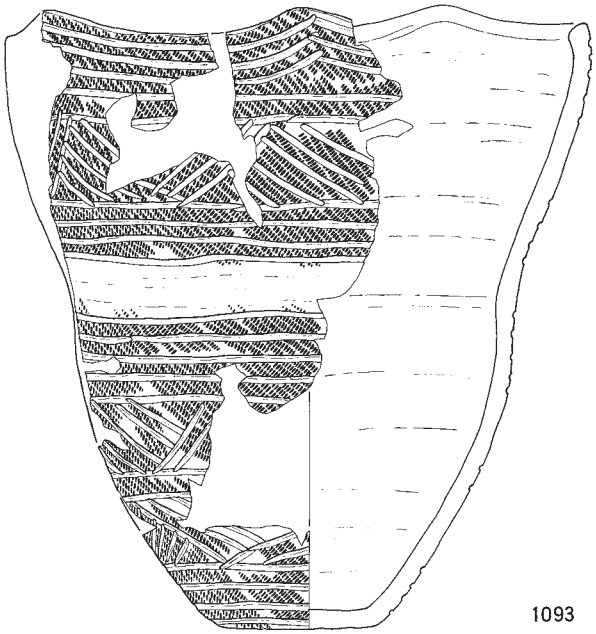




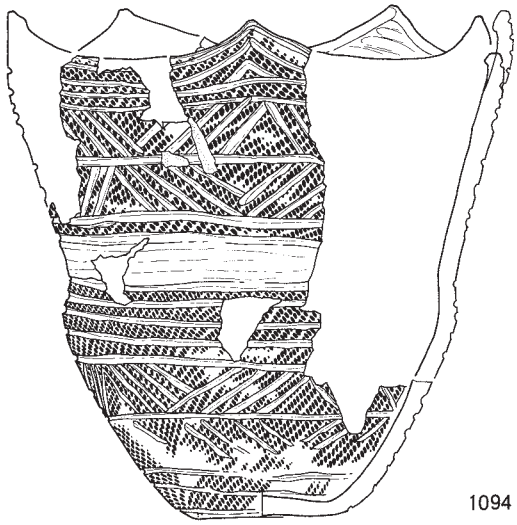
図Ⅴ－130　盛土遺構下位出土の土器（33）
突瘤・横走沈線③



図Ⅴ－131　盛土遺構下位出土の土器（34）
突瘤・横走沈線④

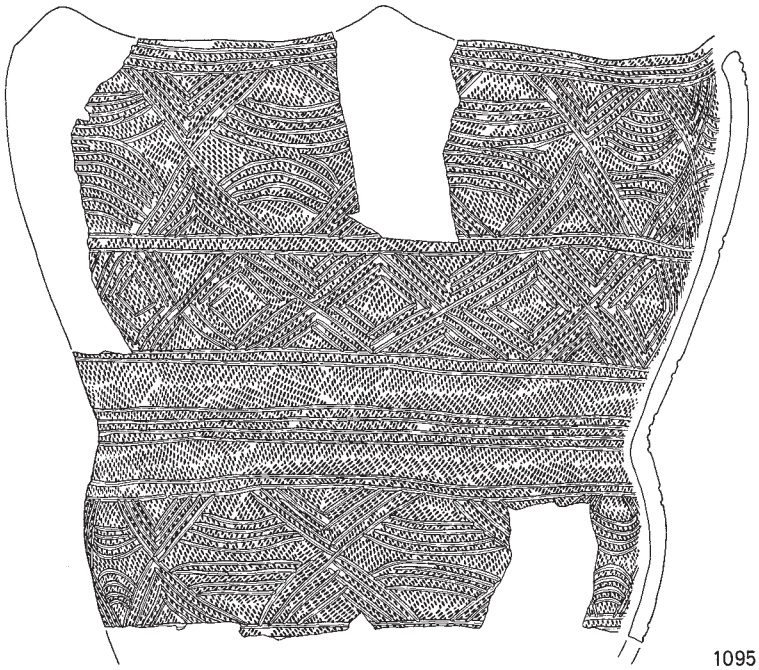


1093

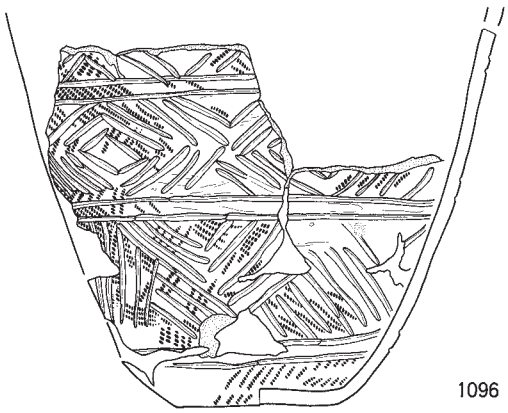


1094

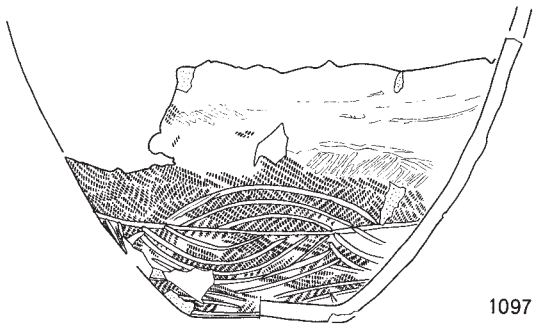
0　10cm



1095



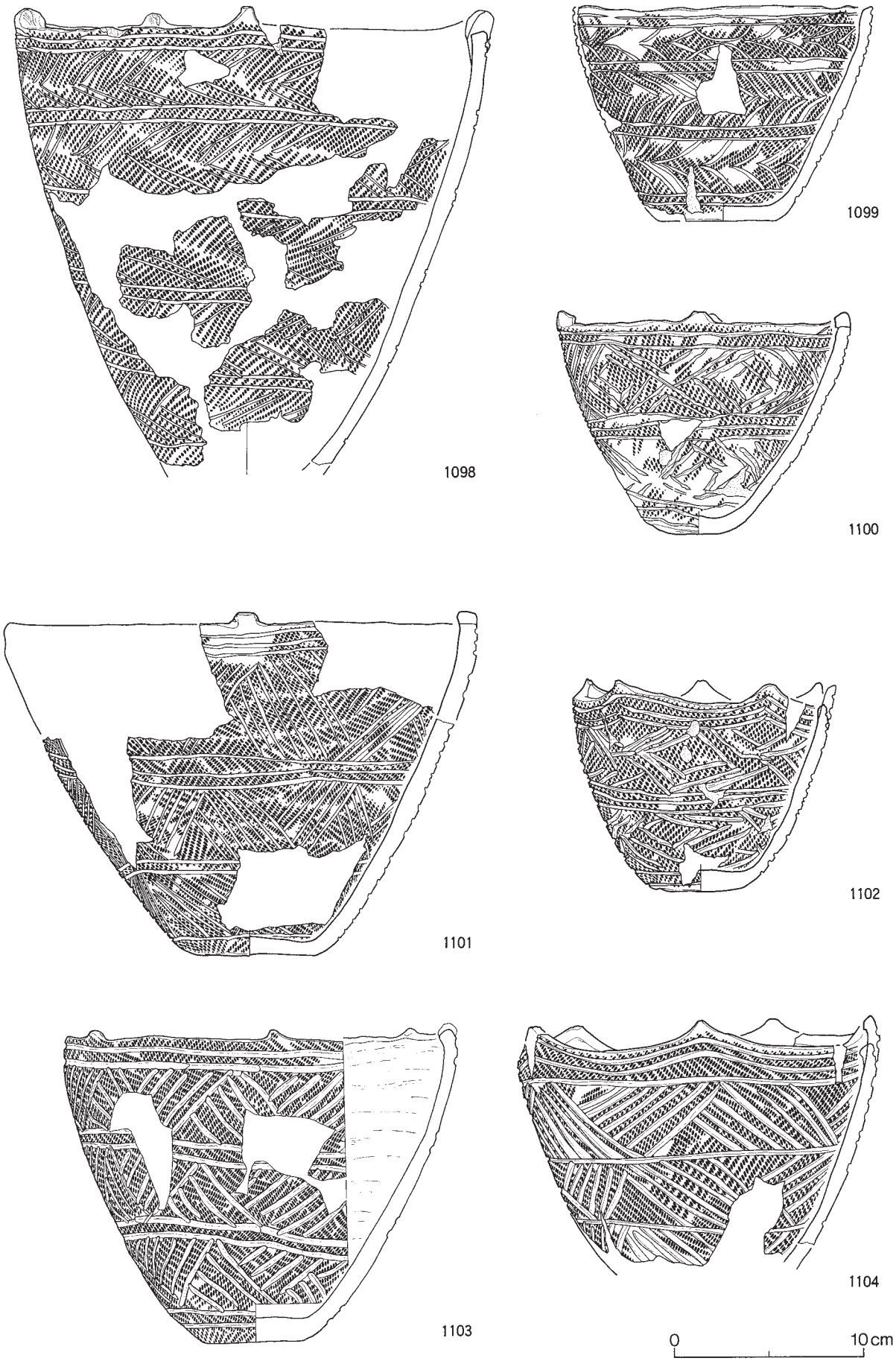
1096



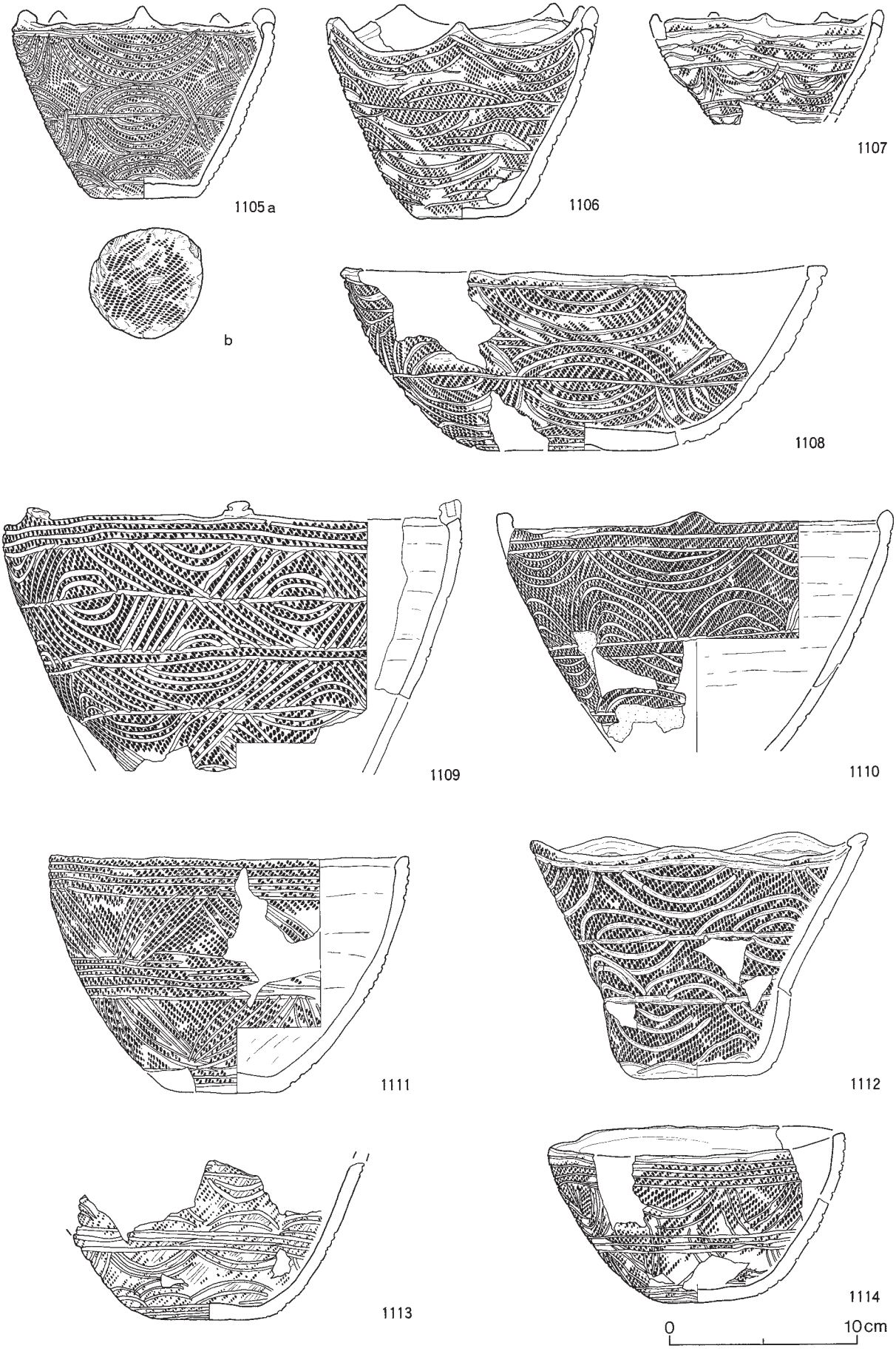
1097

0　10cm

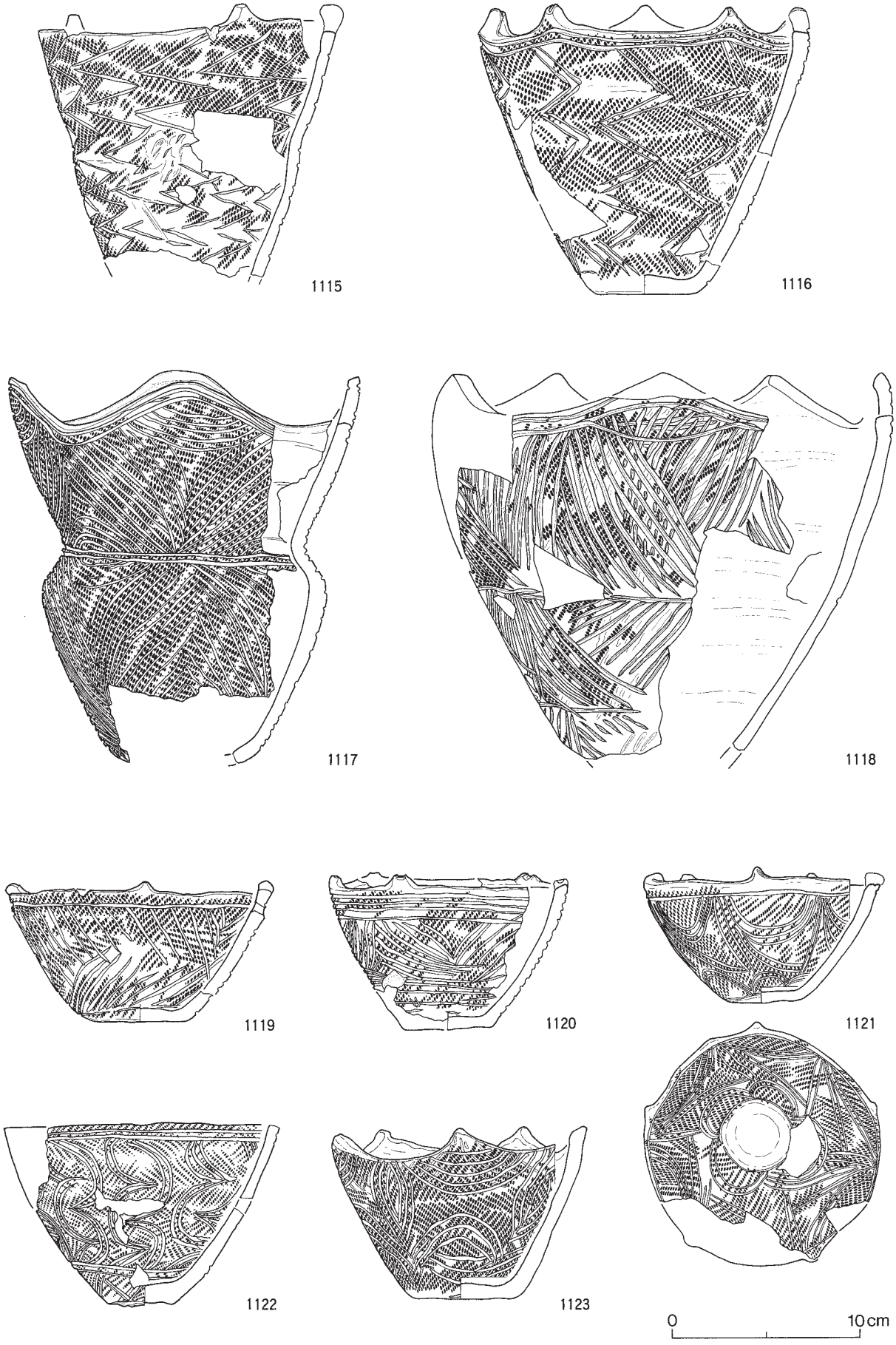
図Ⅴ－132　盛土遺構下位出土の土器（35）
沈線①



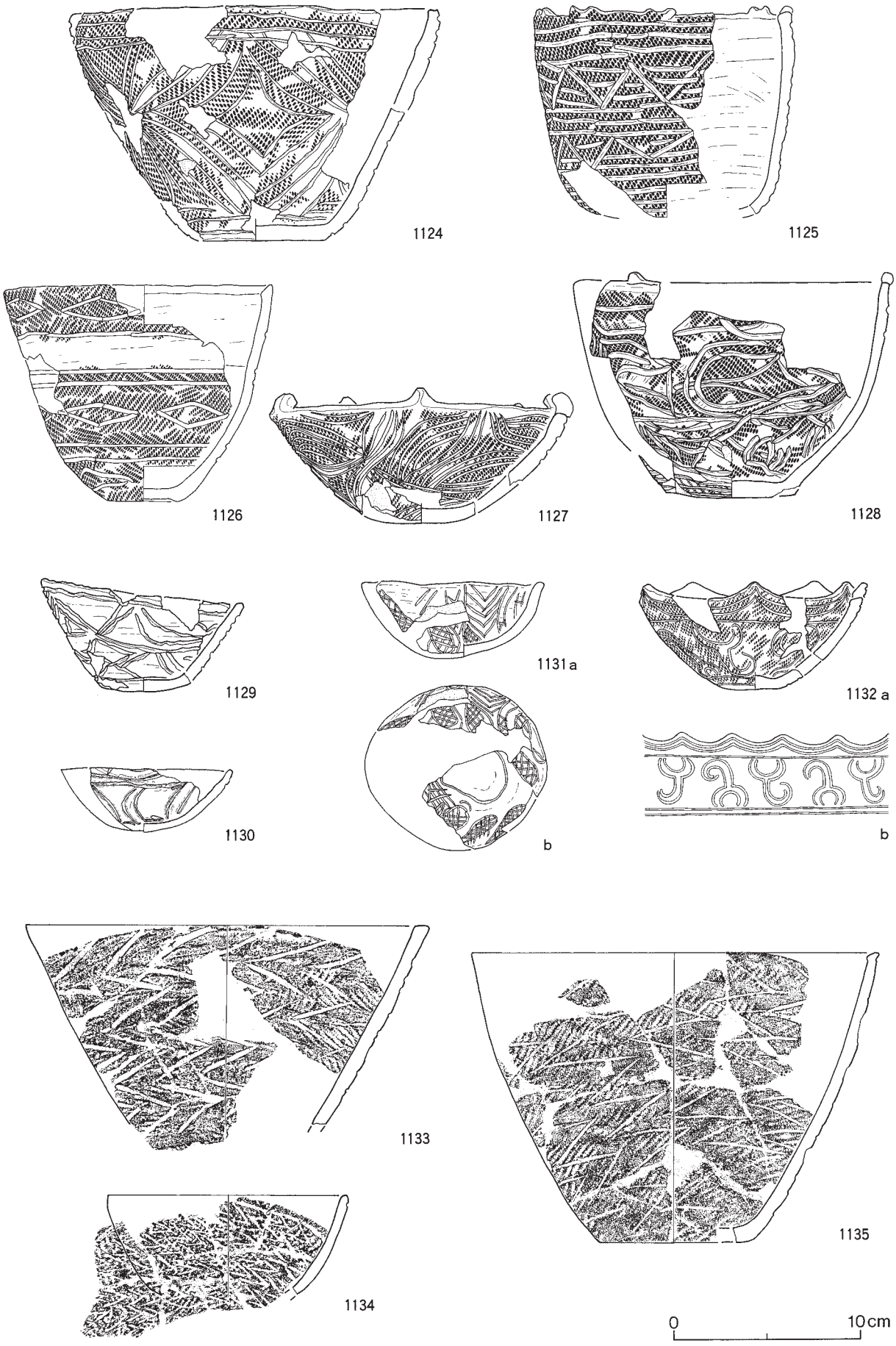
図Ⅴ－133　盛土遺構下位出土の土器（36）
沈線②



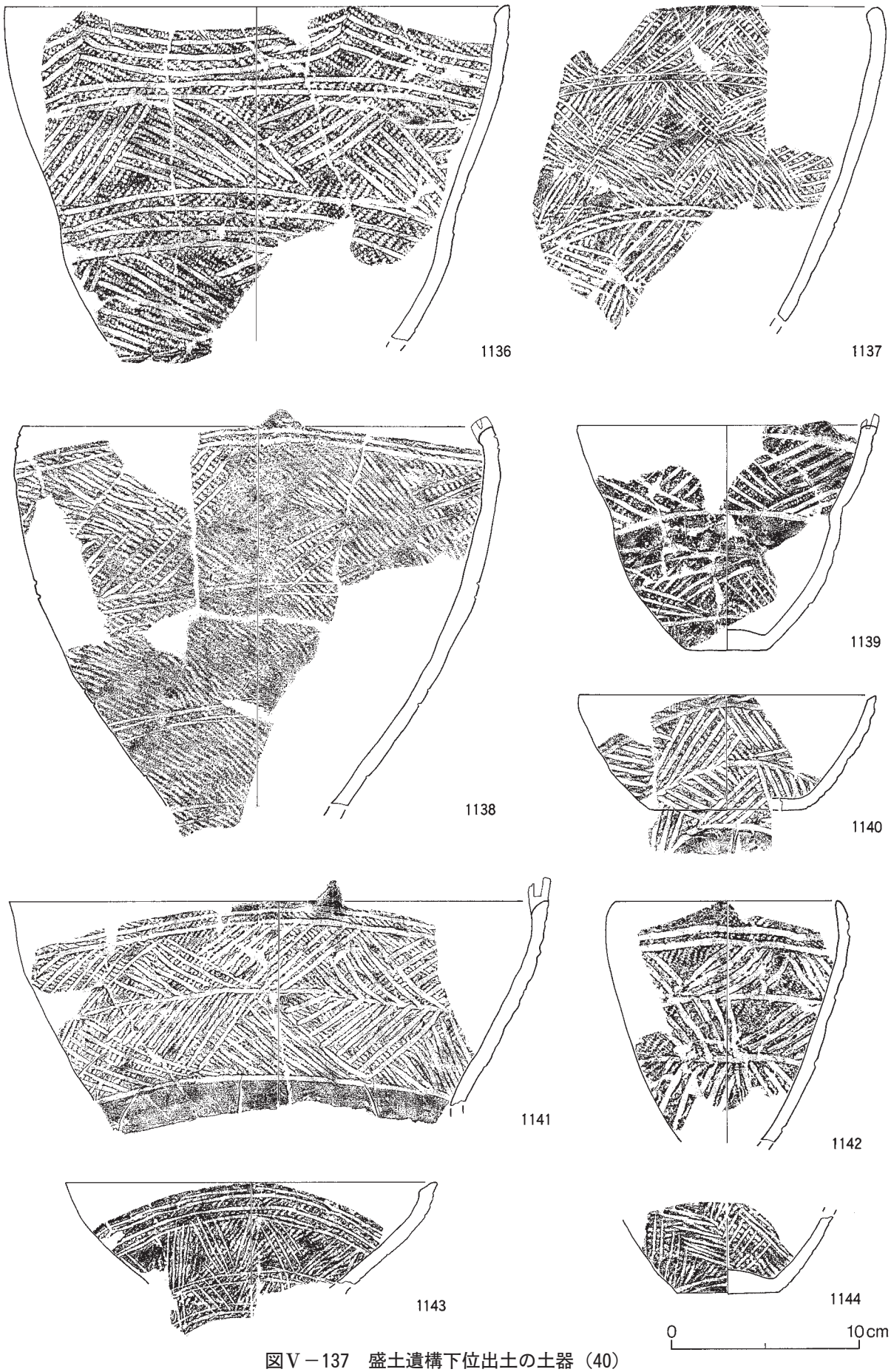
図Ⅴ－134　盛土遺構下位出土の土器（37）
沈線③



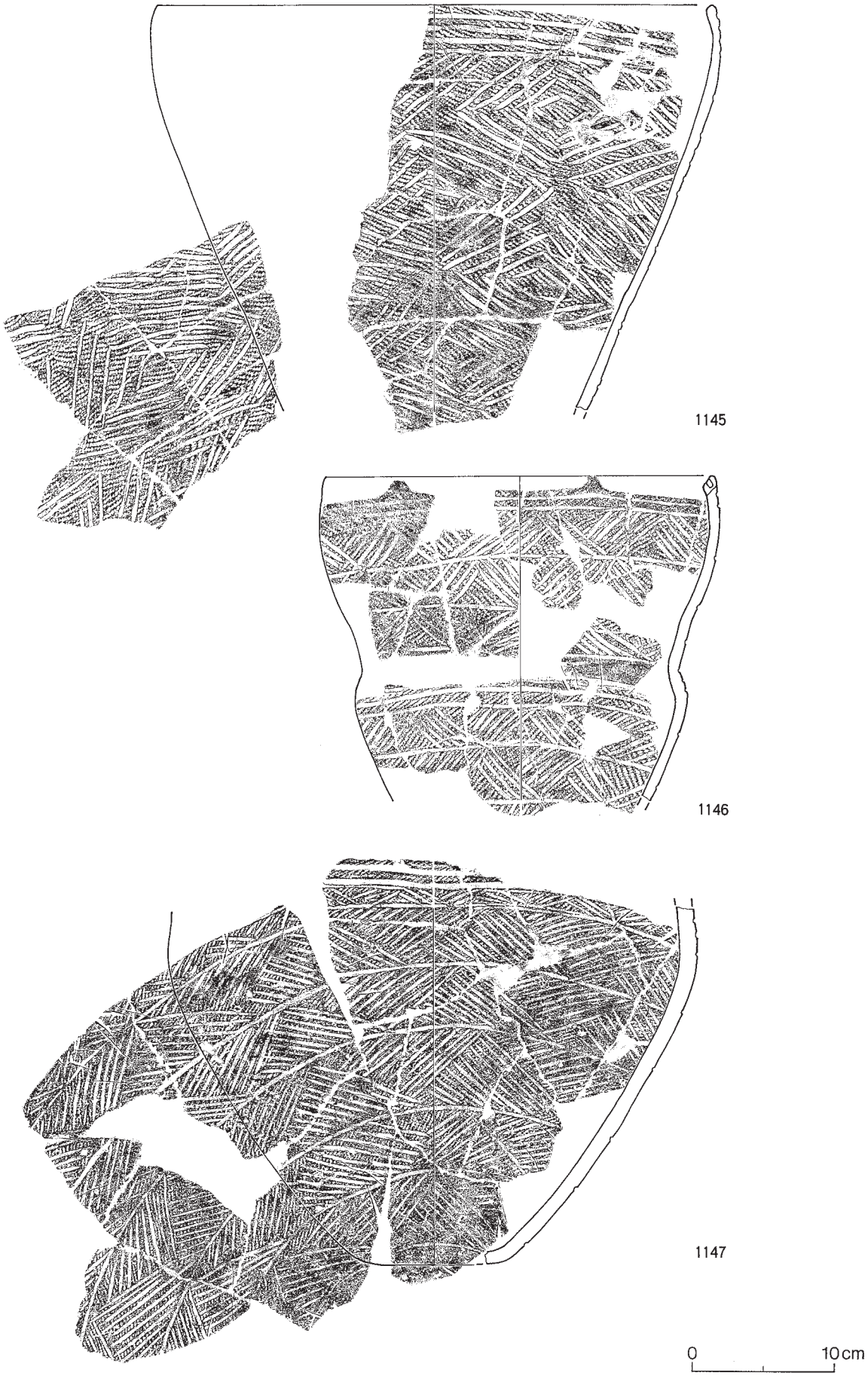
図Ⅴ－135　盛土遺構下位出土の土器（38）
沈線④



図Ⅴ－136　盛土遺構下位出土の土器（39）
沈線⑤

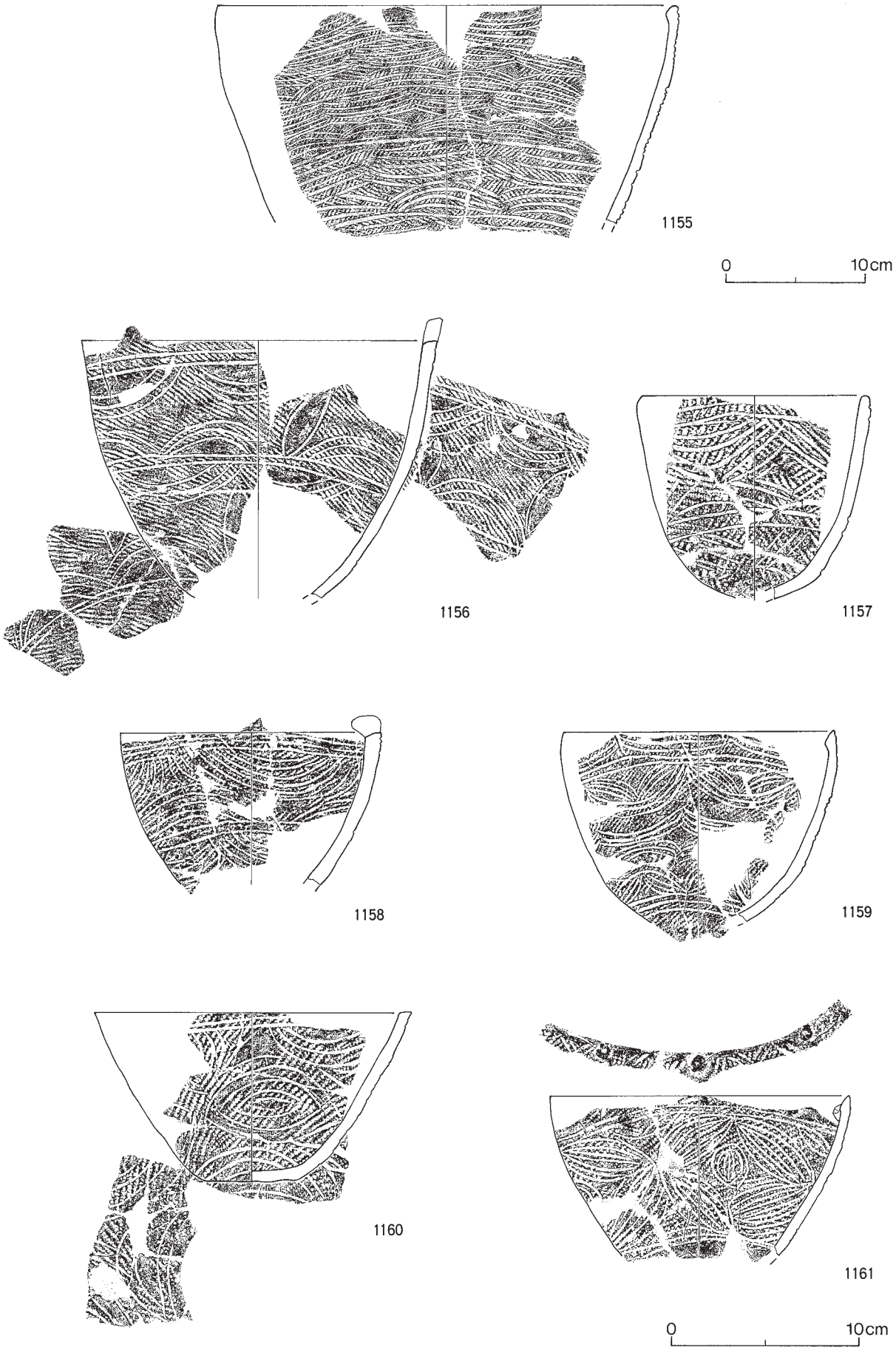


図Ⅴ－137　盛土遺構下位出土の土器（40）
沈線⑥

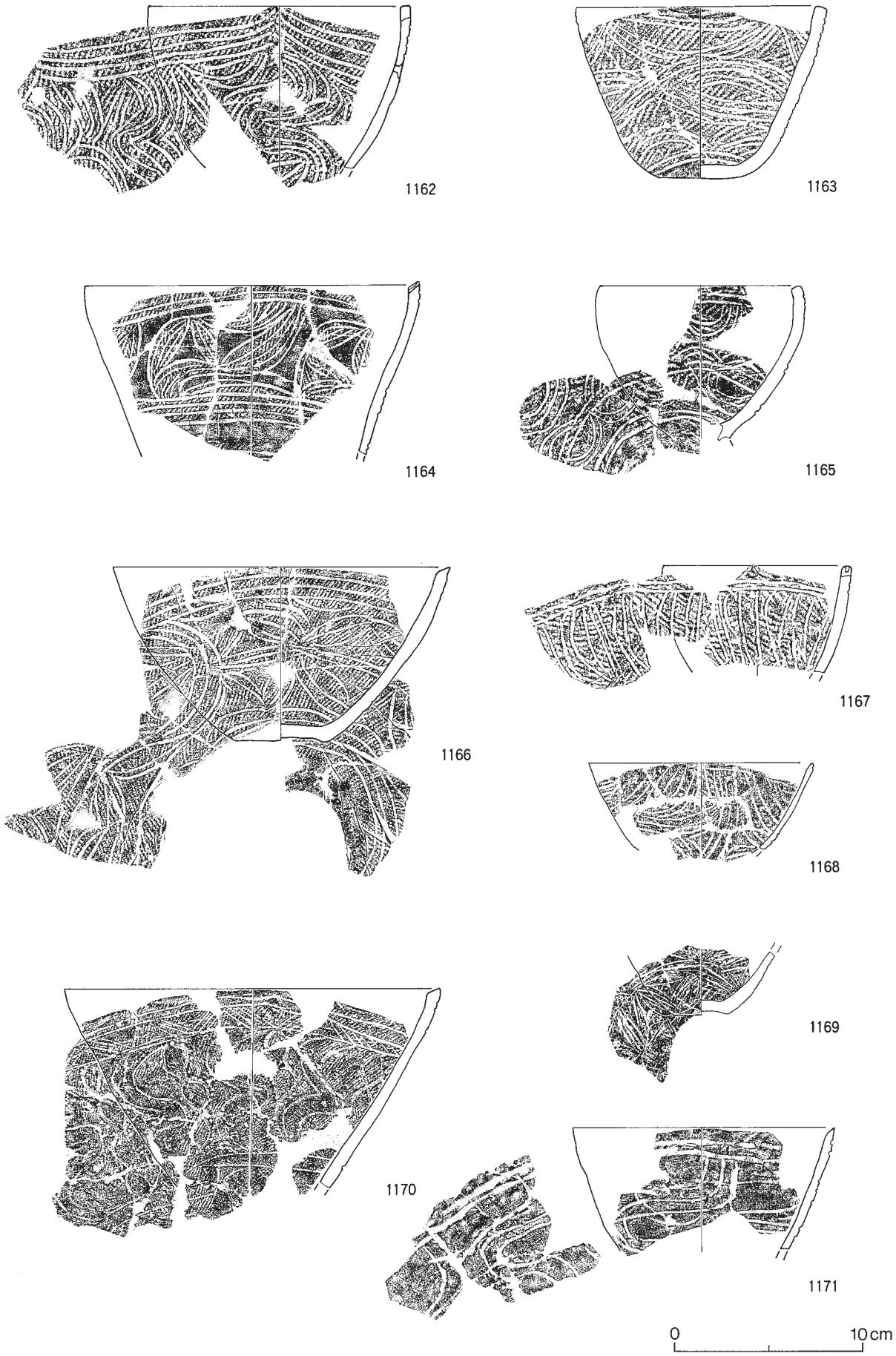


図Ⅴ－138　盛土遺構下位出土の土器（41）
沈線⑦

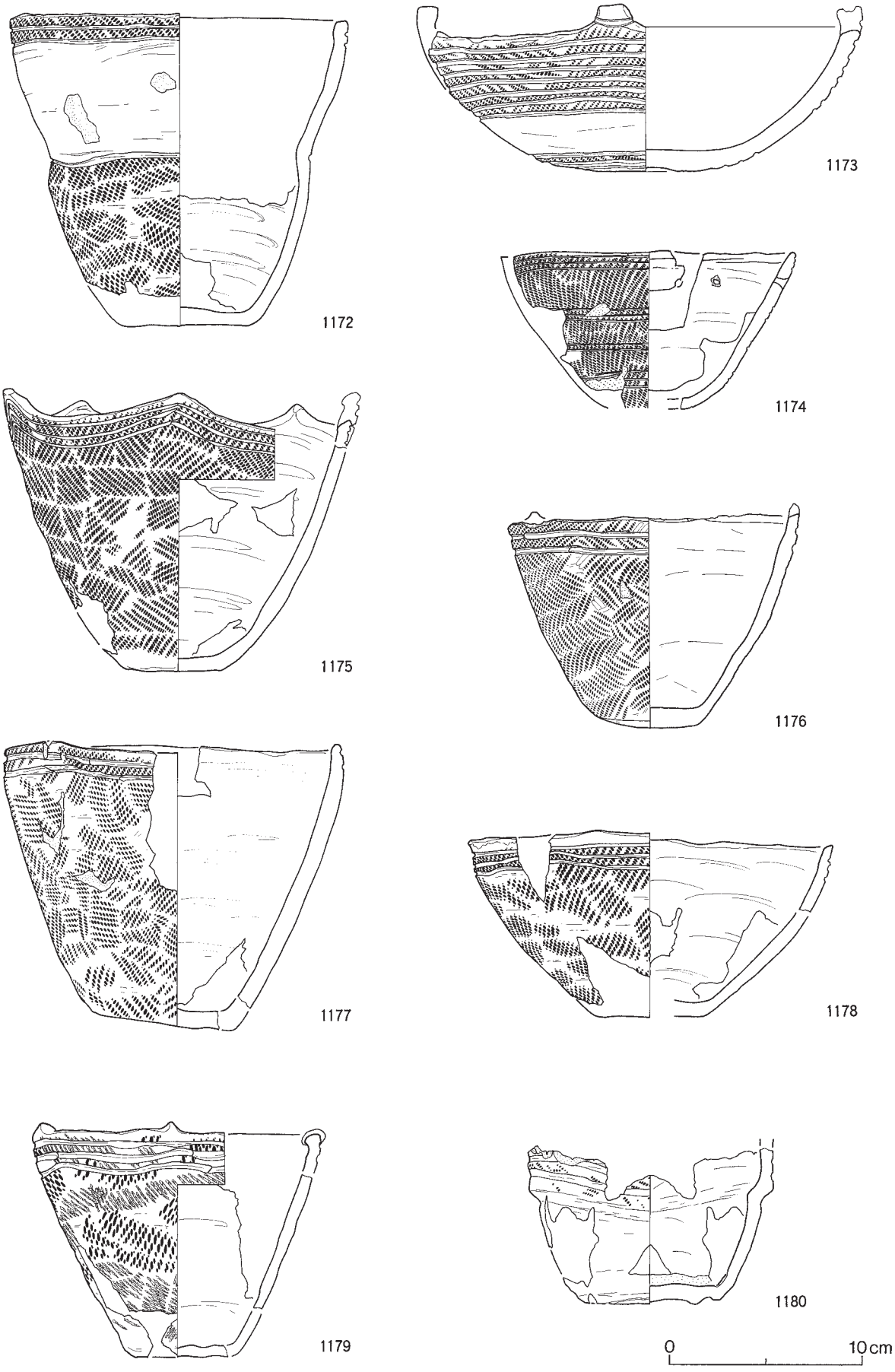
図Ⅴ－139　盛土遺構下位出土の土器（42）
沈線⑧



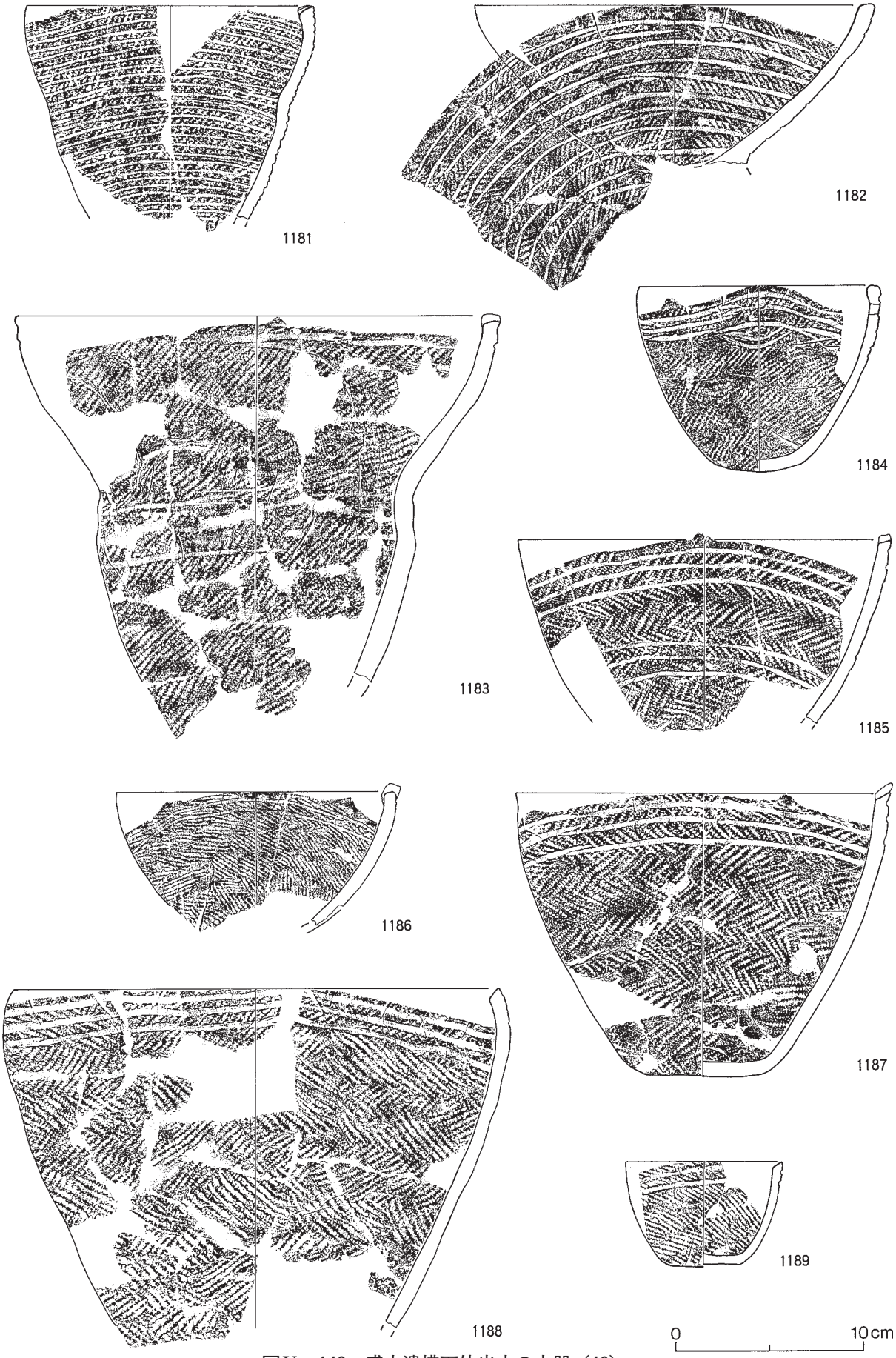
図Ⅴ－140　盛土遺構下位出土の土器（43）
沈線⑨



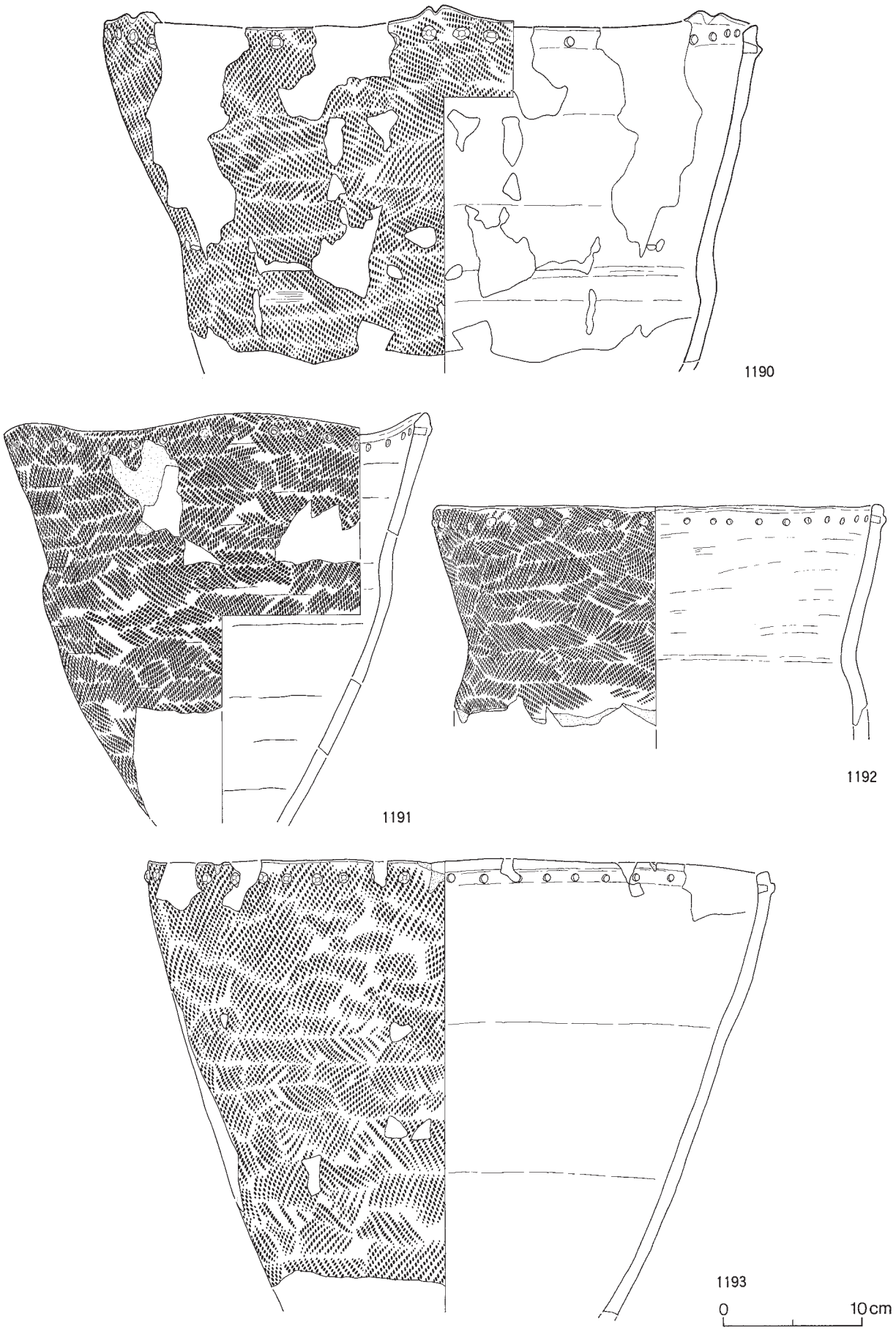
図Ⅴ－141　盛土遺構下位出土の土器（44）
沈線⑩



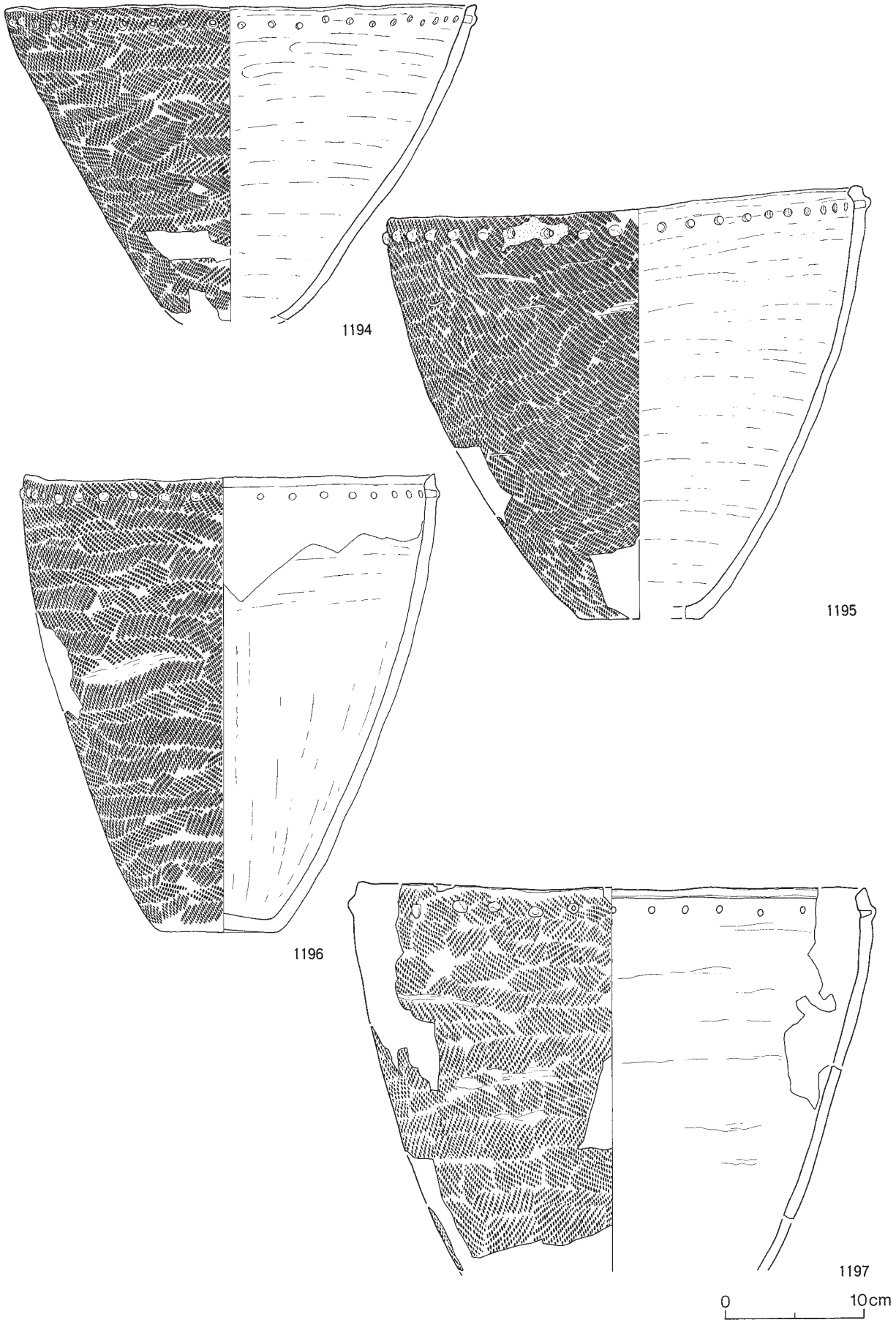
図Ⅴ－142　盛土遺構下位出土の土器（45）
横走沈線①



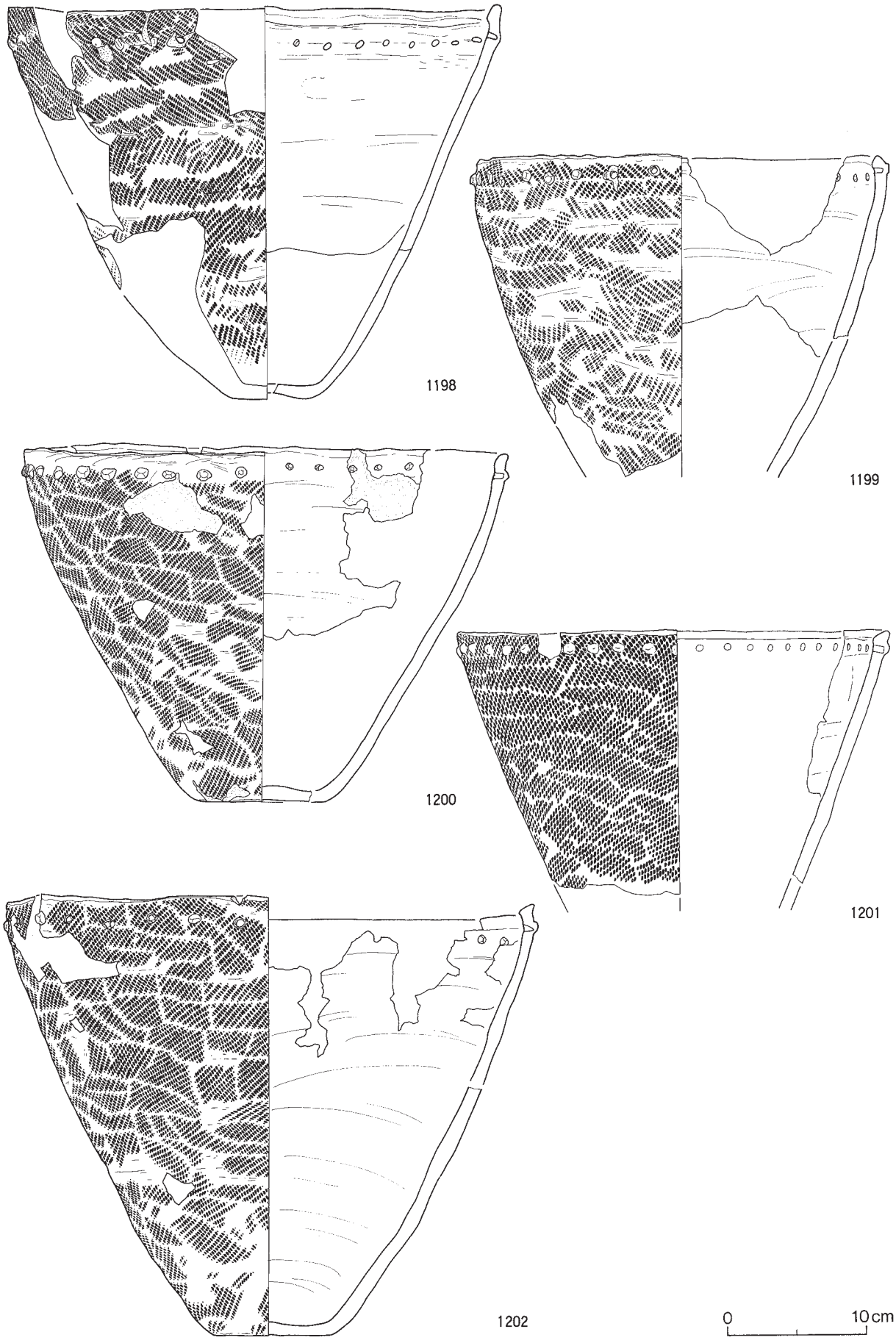
図Ⅴ－143　盛土遺構下位出土の土器（46）
横走沈線②



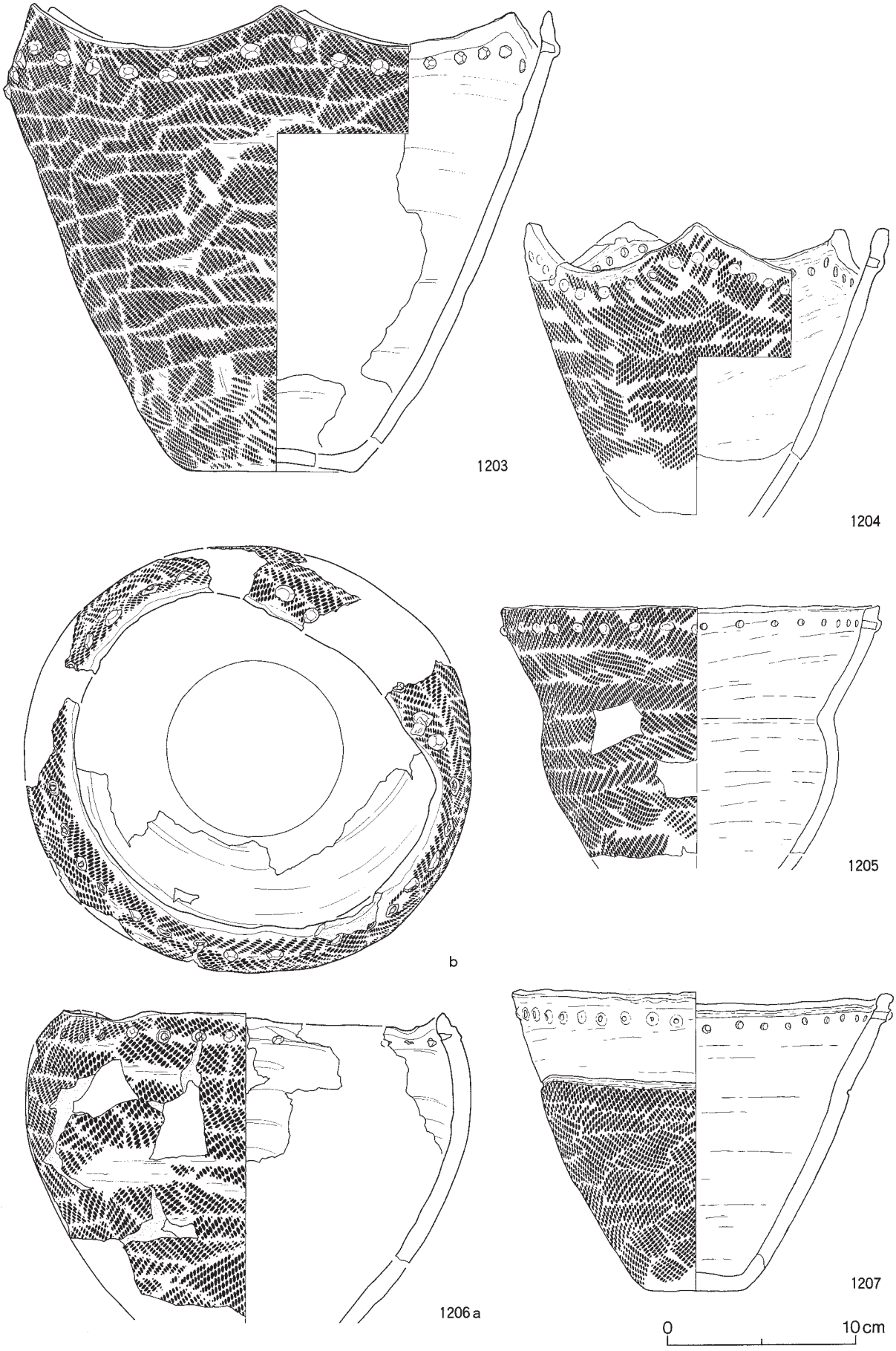
図Ⅴ－144　盛土遺構下位出土の土器（47）
突瘤・縄文のみ①



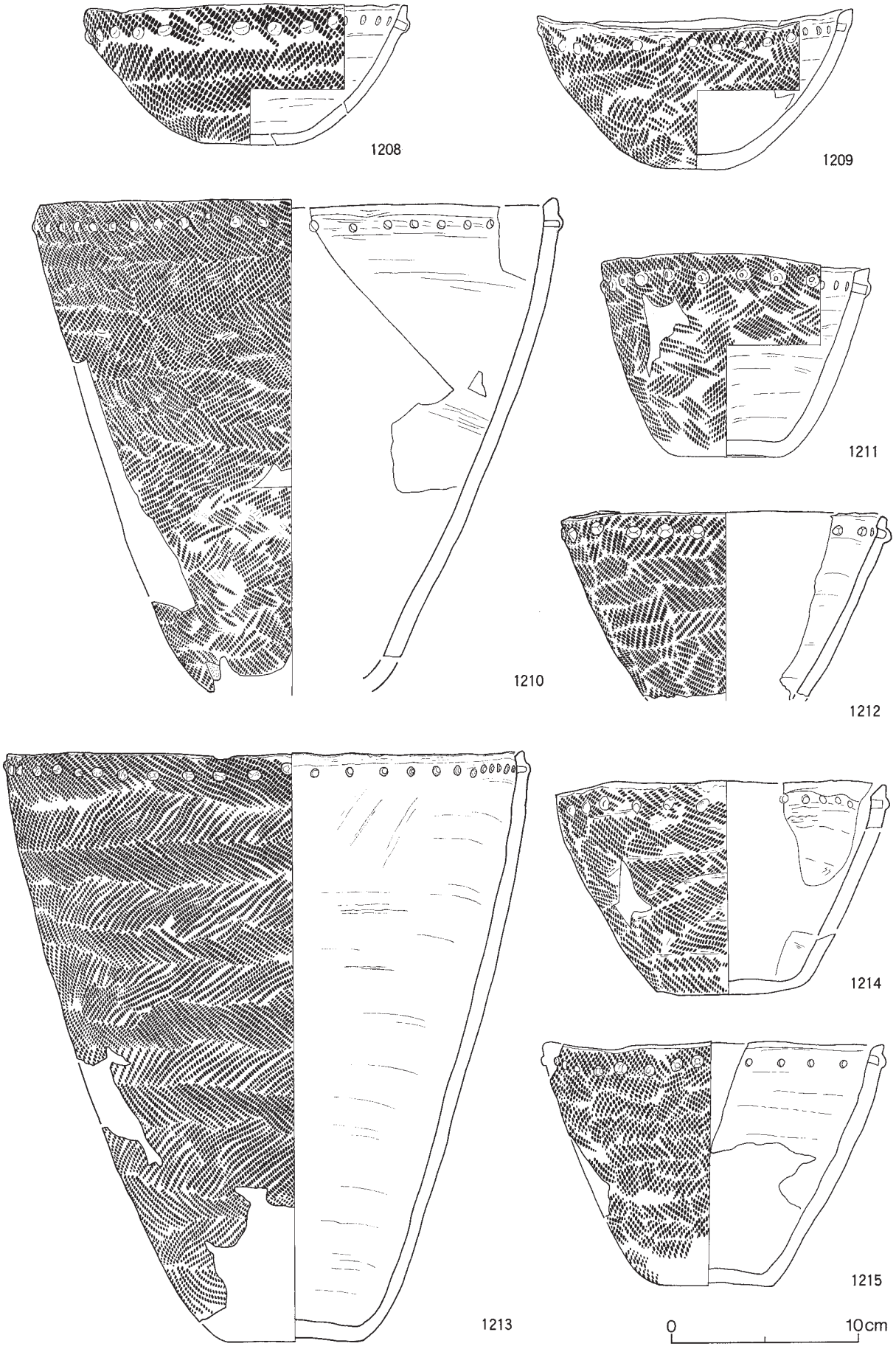
図Ⅴ－145　盛土遺構下位出土の土器（48）
突瘤・縄文のみ②



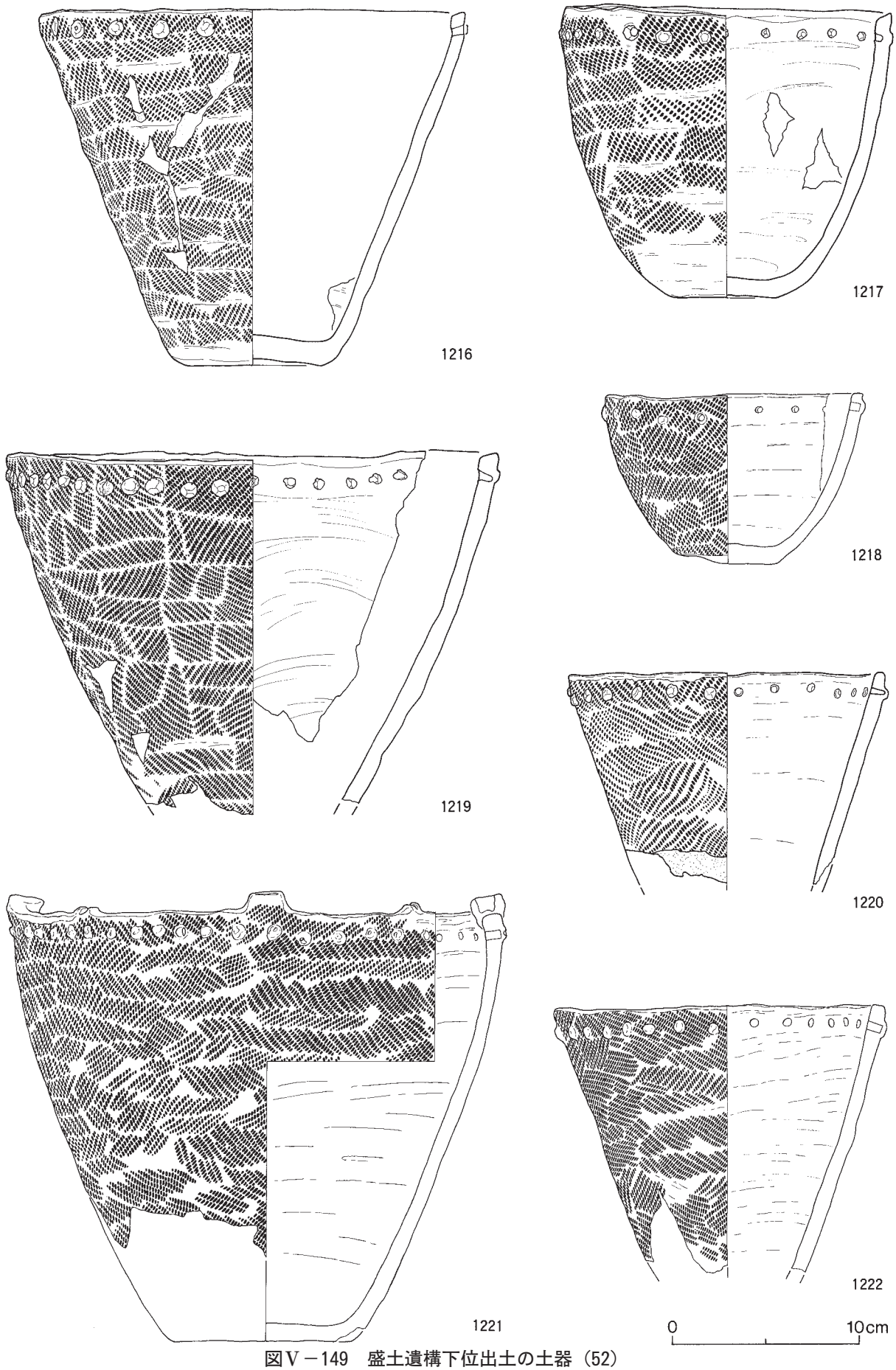
図Ⅴ－146　盛土遺構下位出土の土器（49）
突瘤・縄文のみ③



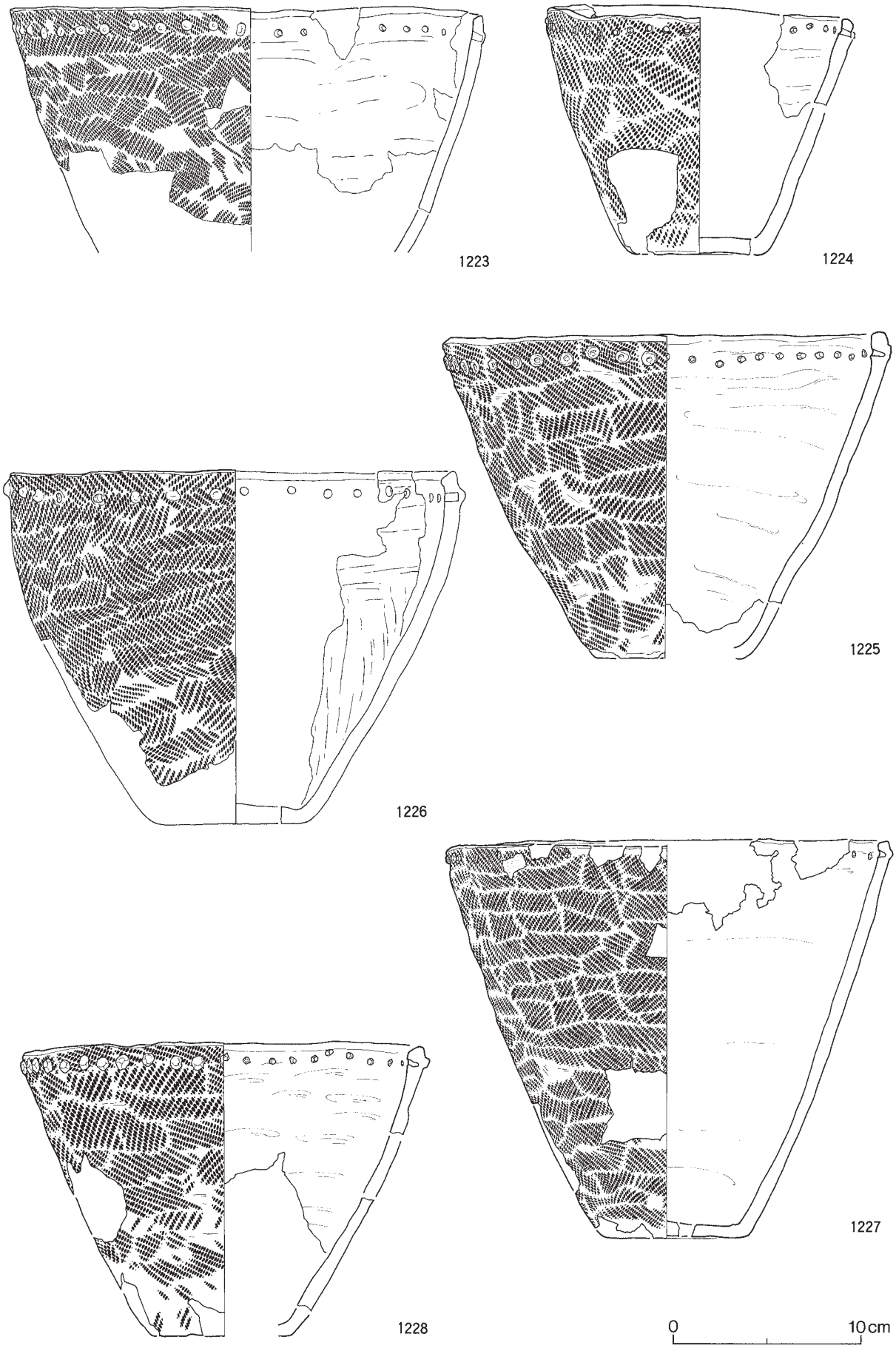
図Ⅴ－147　盛土遺構下位出土の土器（50）
突瘤・縄文のみ④



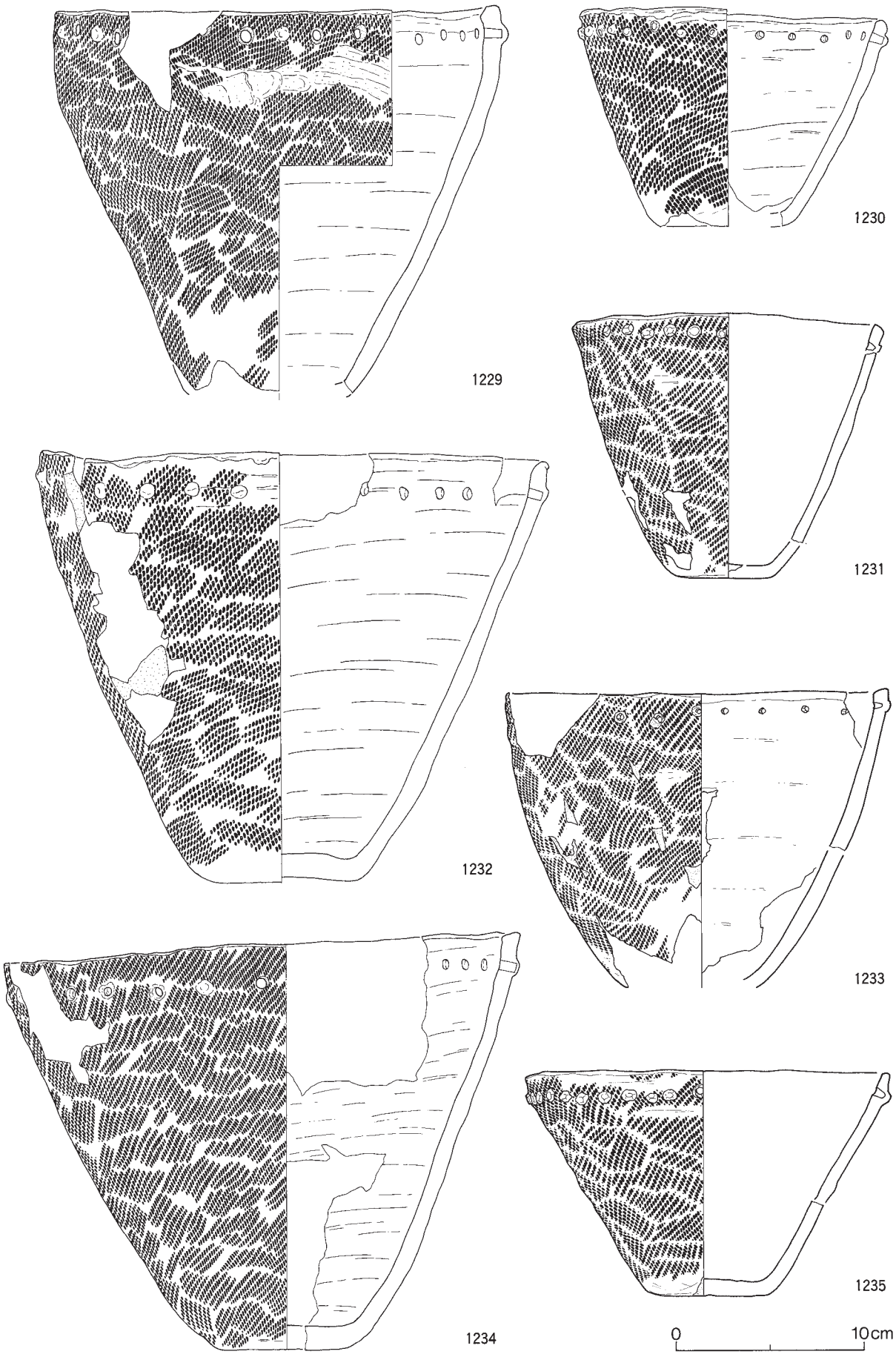
図Ⅴ－148　盛土遺構下位出土の土器（51）
突瘤・縄文のみ⑤



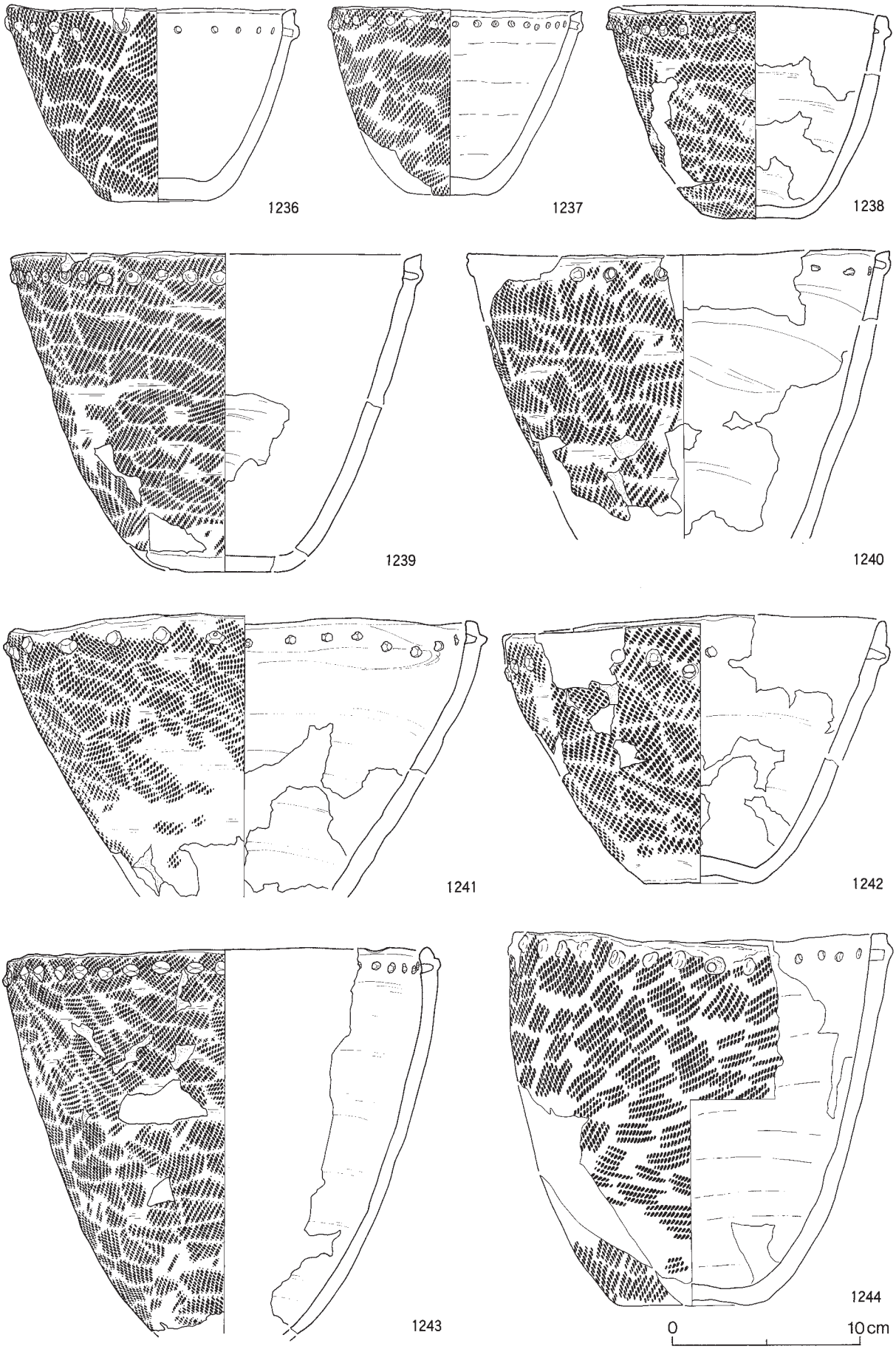
図Ⅴ－149　盛土遺構下位出土の土器（52）
突瘤・縄文のみ⑥



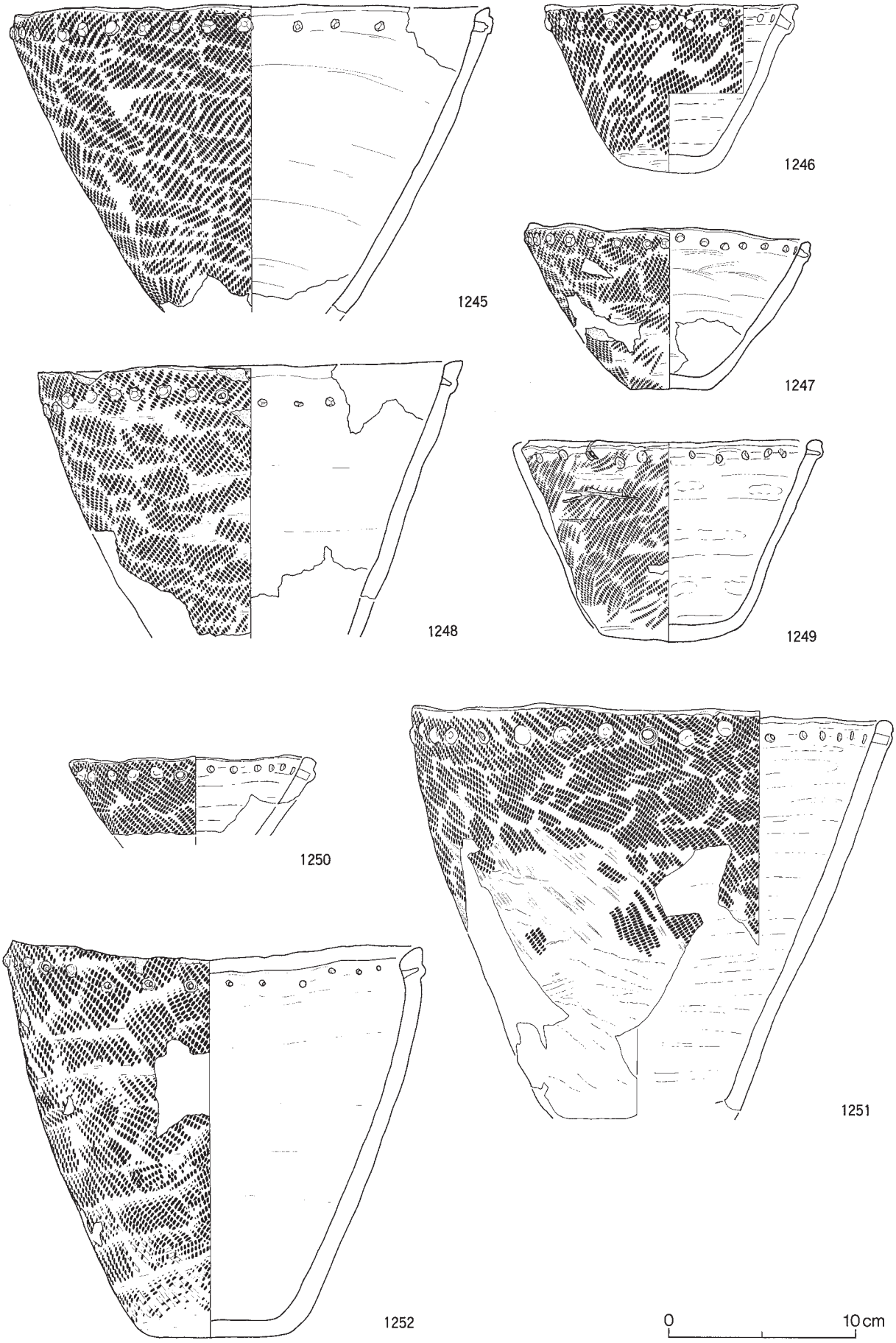
図Ⅴ－150　盛土遺構下位出土の土器（53）
突瘤・縄文のみ⑦



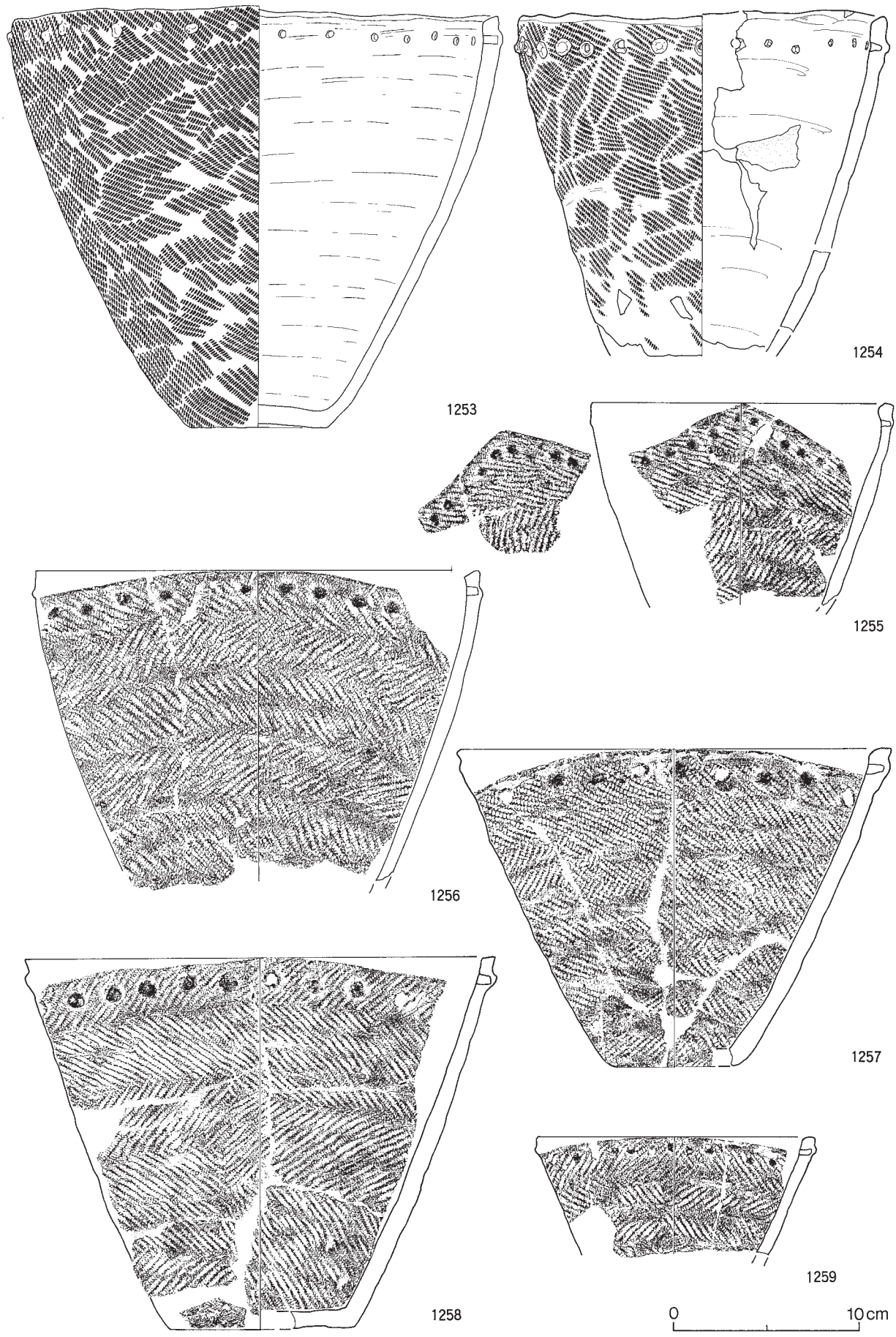
図Ⅴ－151　盛土遺構下位出土の土器（54）
突瘤・縄文のみ⑧



図Ⅴ－152　盛土遺構下位出土の土器（55）
突瘤・縄文のみ⑨

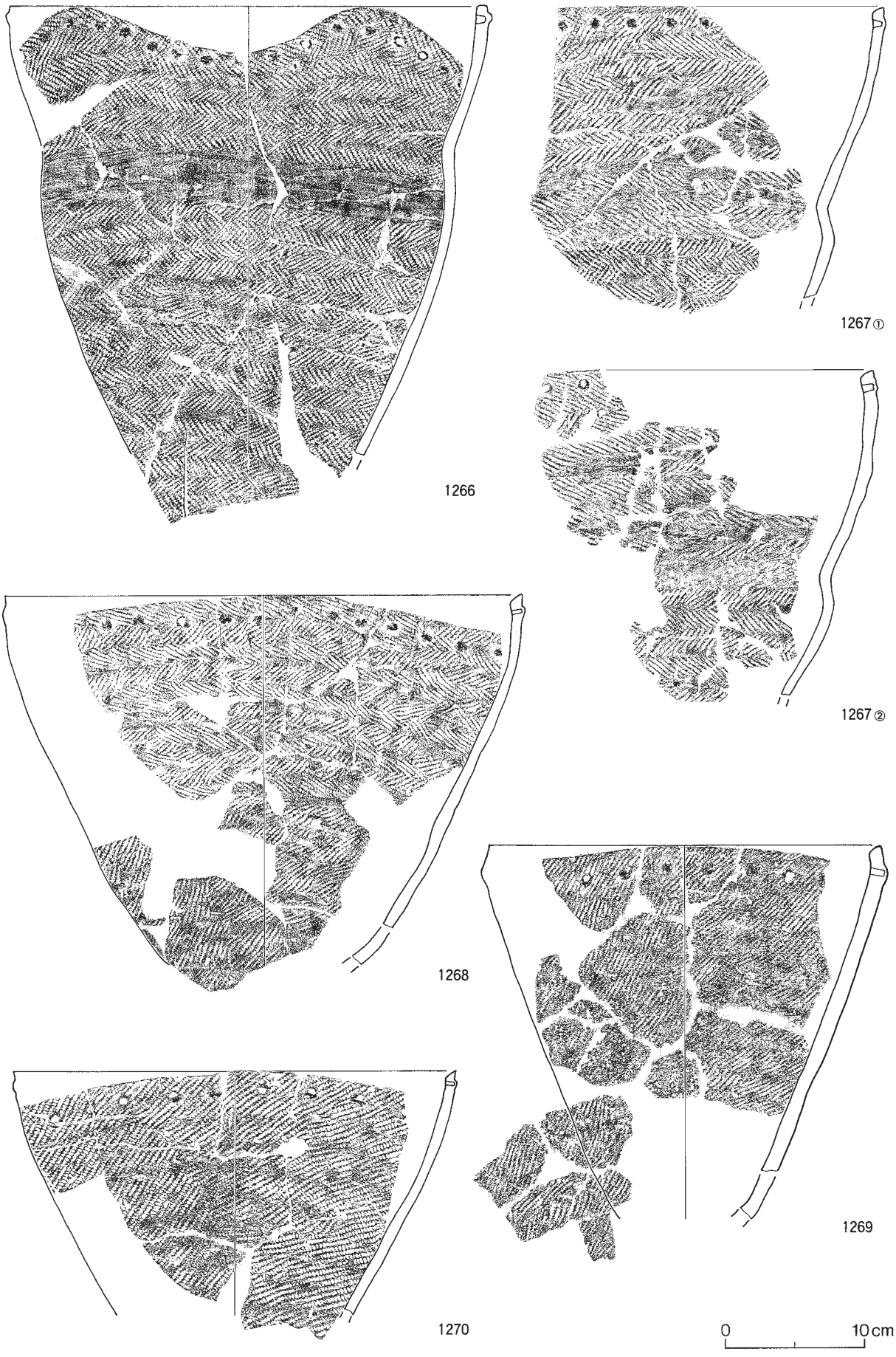


図Ⅴ－153　盛土遺構下位出土の土器（56）
突瘤・縄文のみ⑩

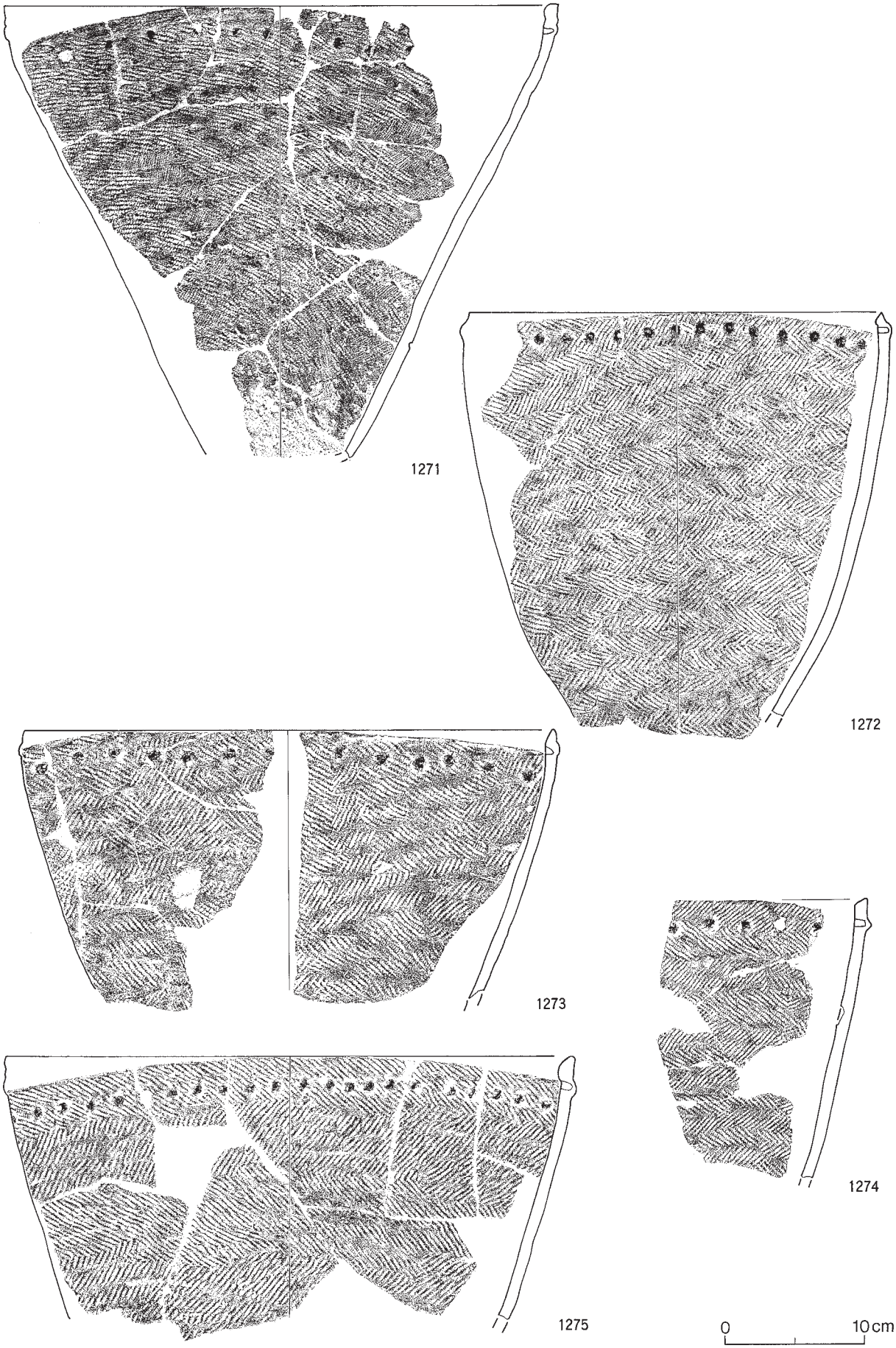


図Ⅴ－154　盛土遺構下位出土の土器（57）
突瘤・縄文のみ⑪

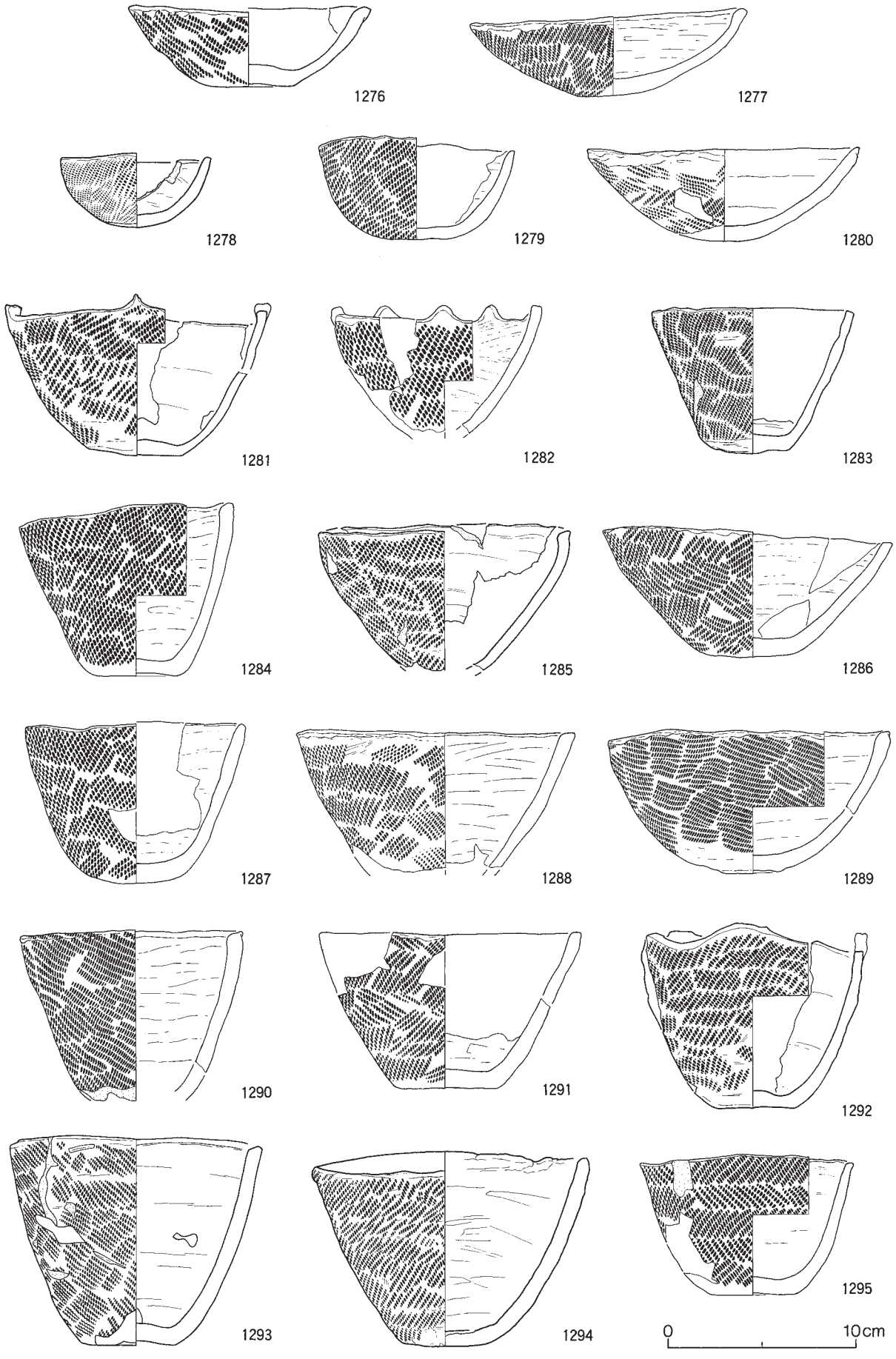
図Ⅴ－155　盛土遺構下位出土の土器（58）
突瘤・縄文のみ⑫



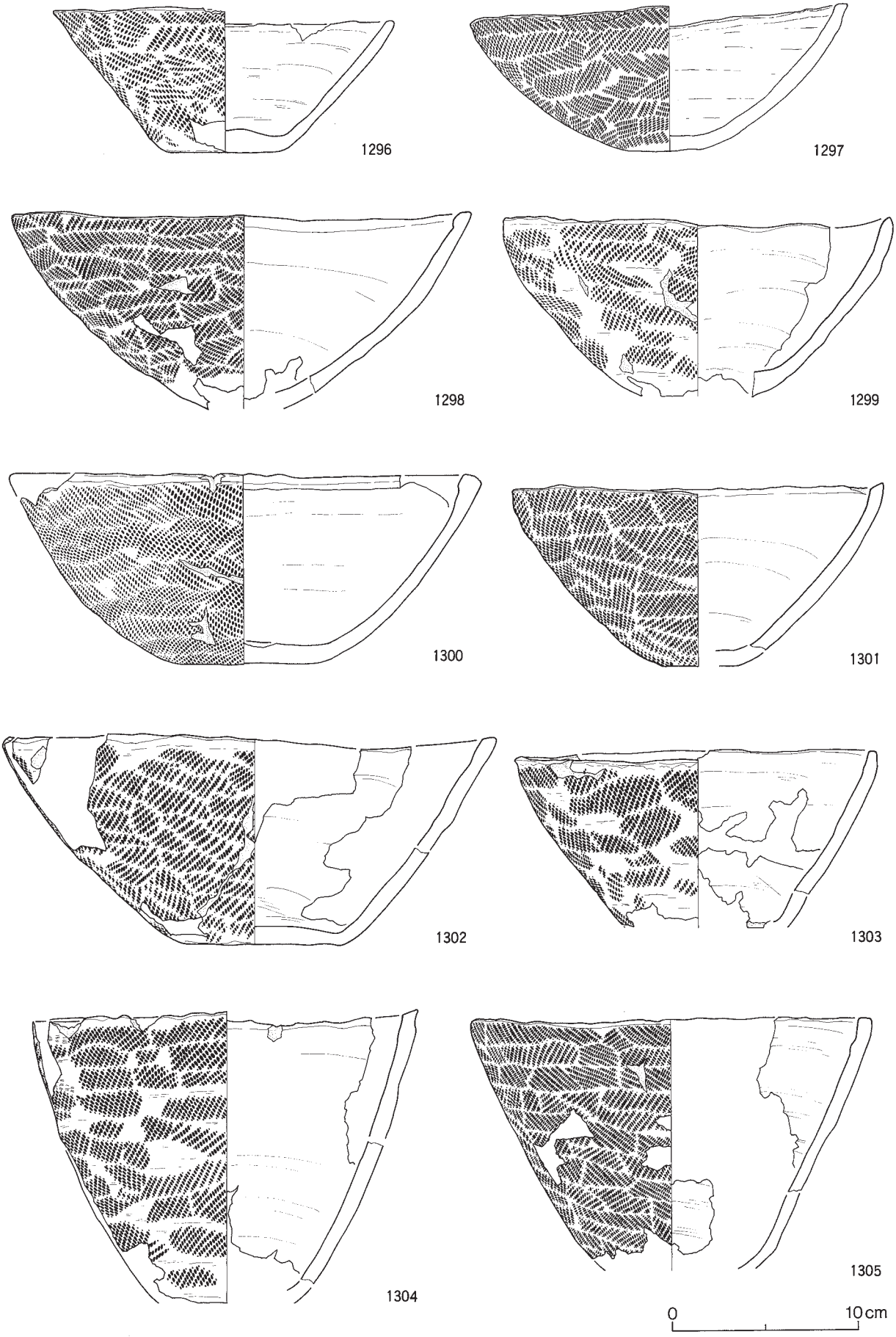
図Ⅴ－156　盛土遺構下位出土の土器（59）
突瘤・縄文のみ⑬



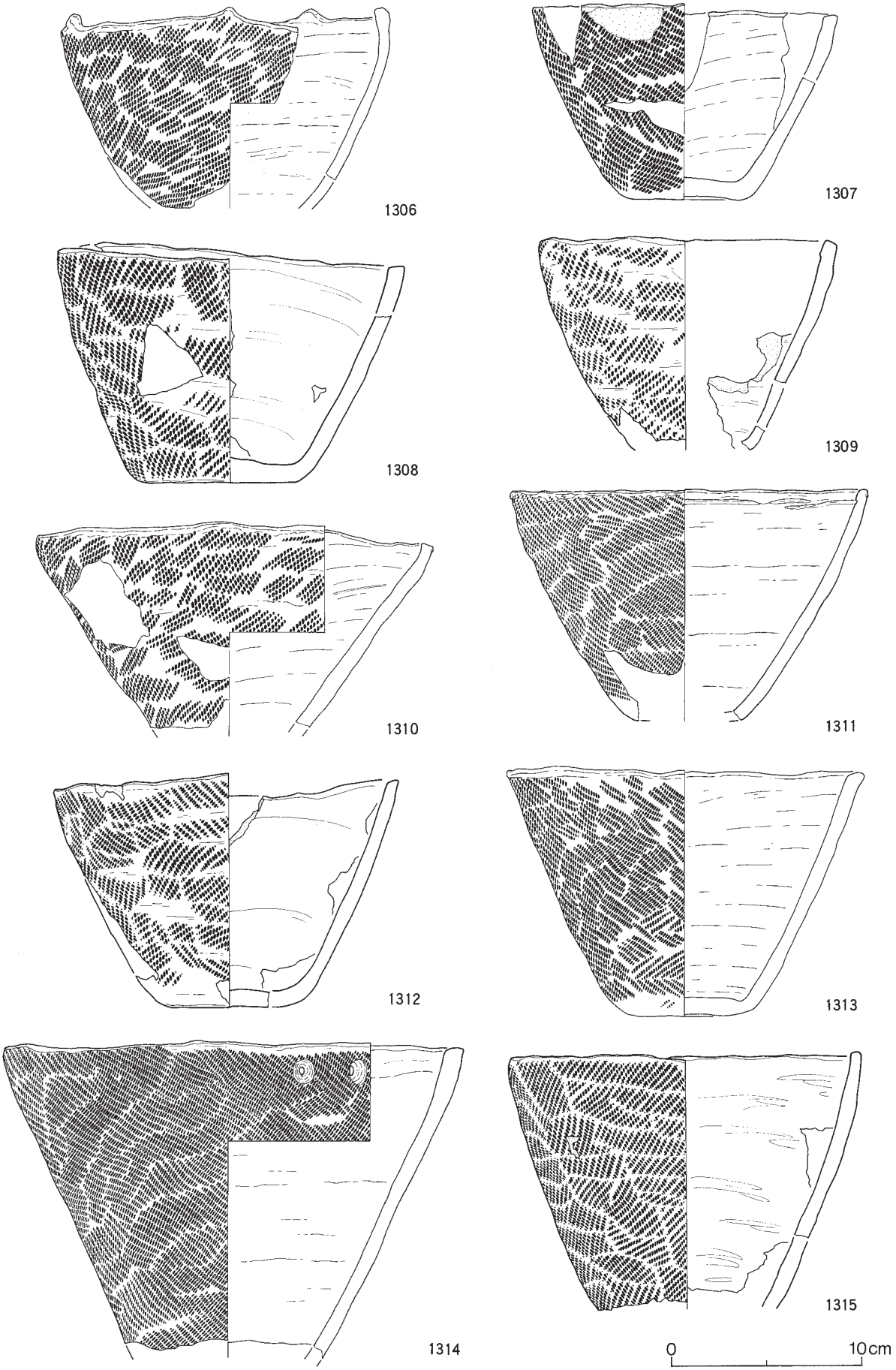
図Ⅴ－157　盛土遺構下位出土の土器（60）
突瘤・縄文のみ⑭



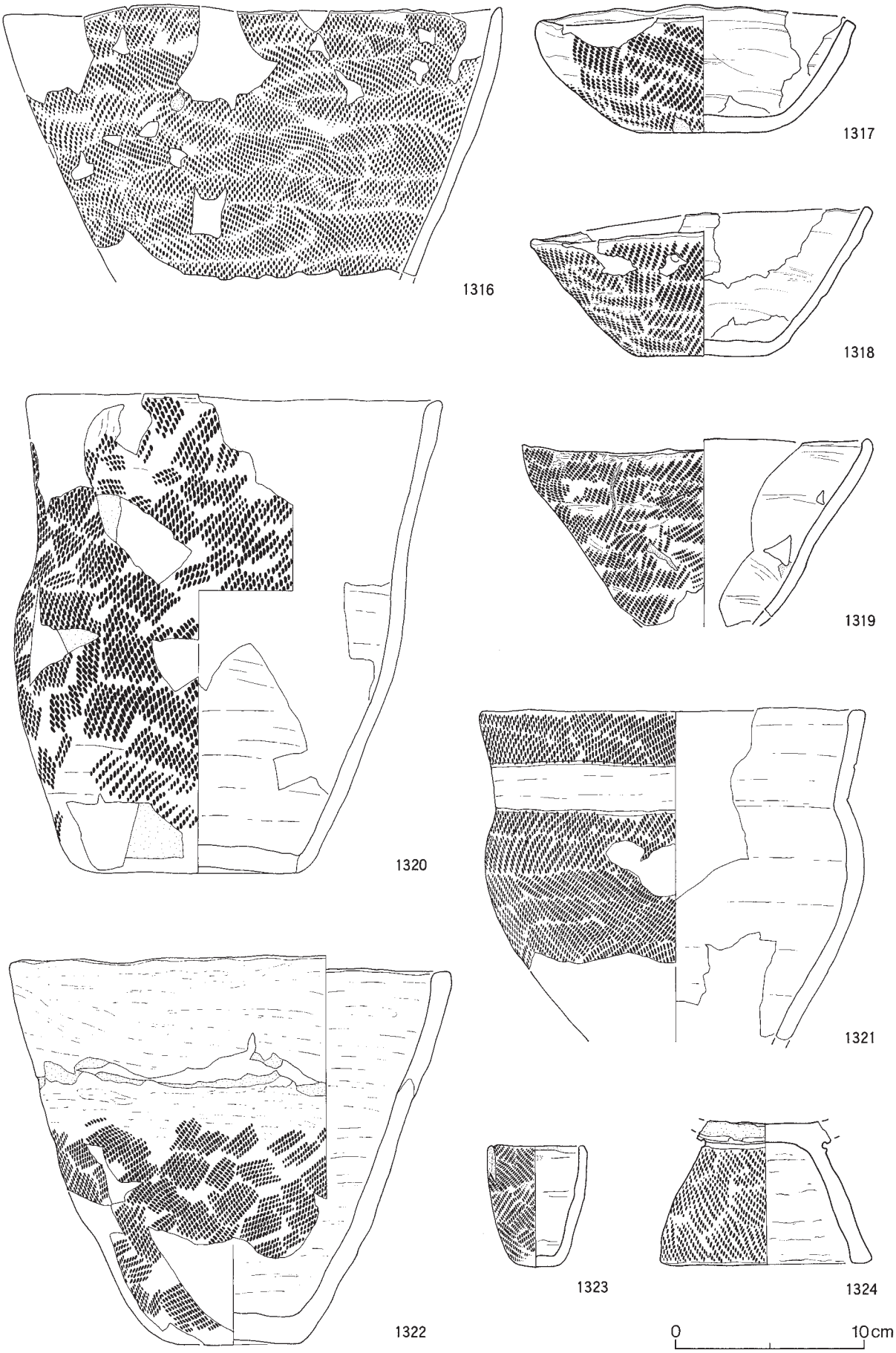
図Ⅴ－158　盛土遺構下位出土の土器（61）
縄文のみ①



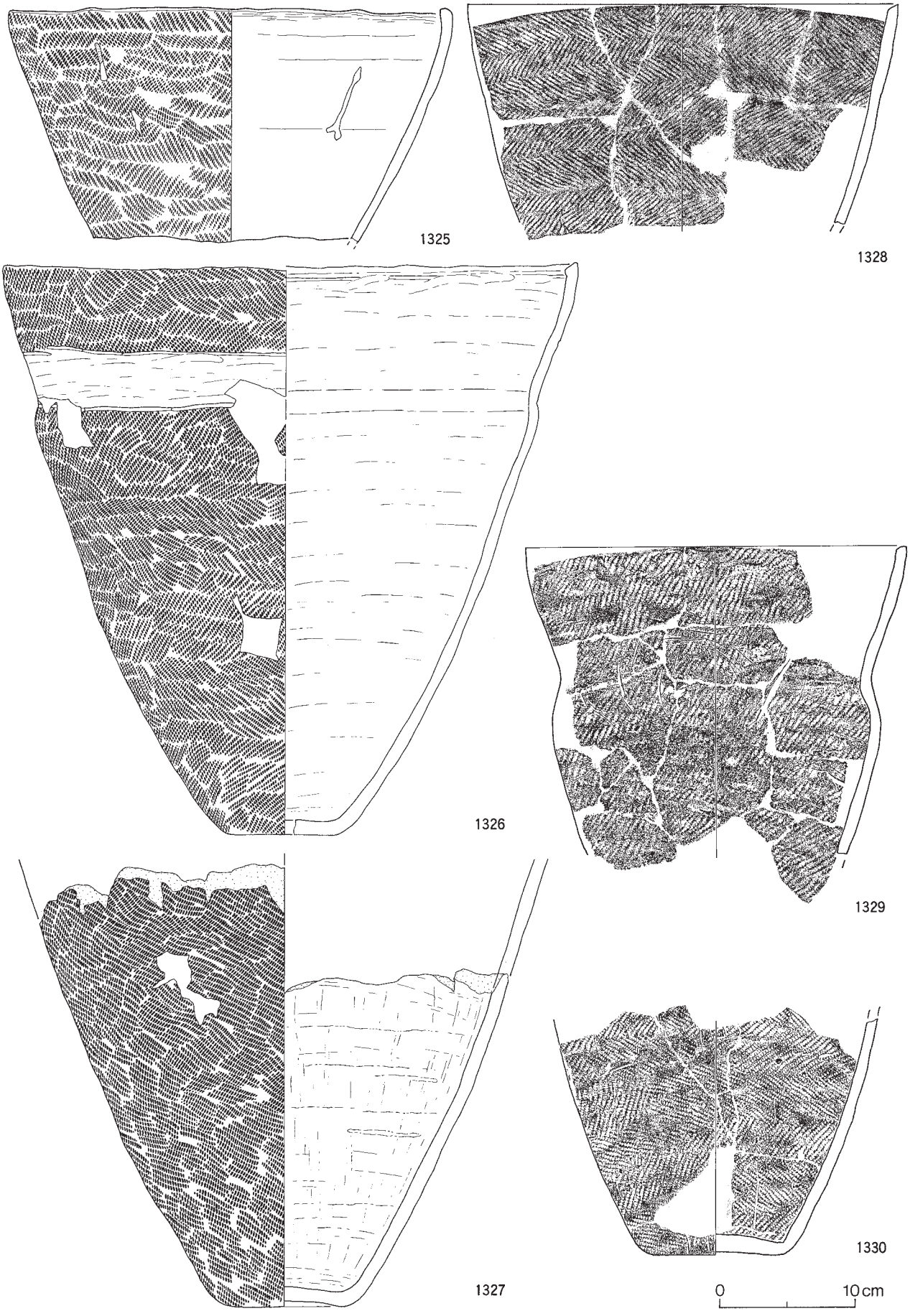
図Ⅴ－159　盛土遺構下位出土の土器（62）
縄文のみ②



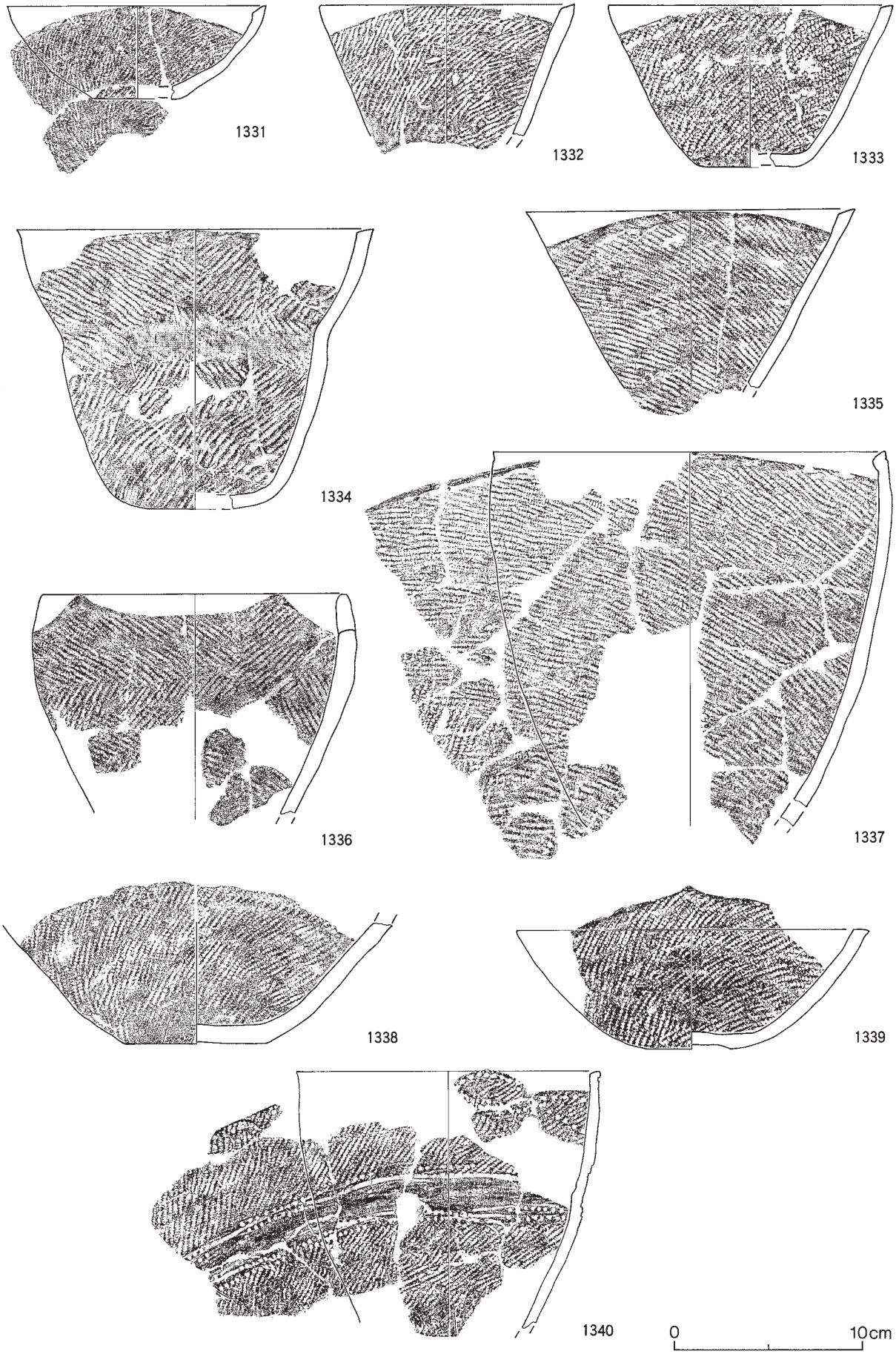
図Ⅴ－160　盛土遺構下位出土の土器（63）
縄文のみ③



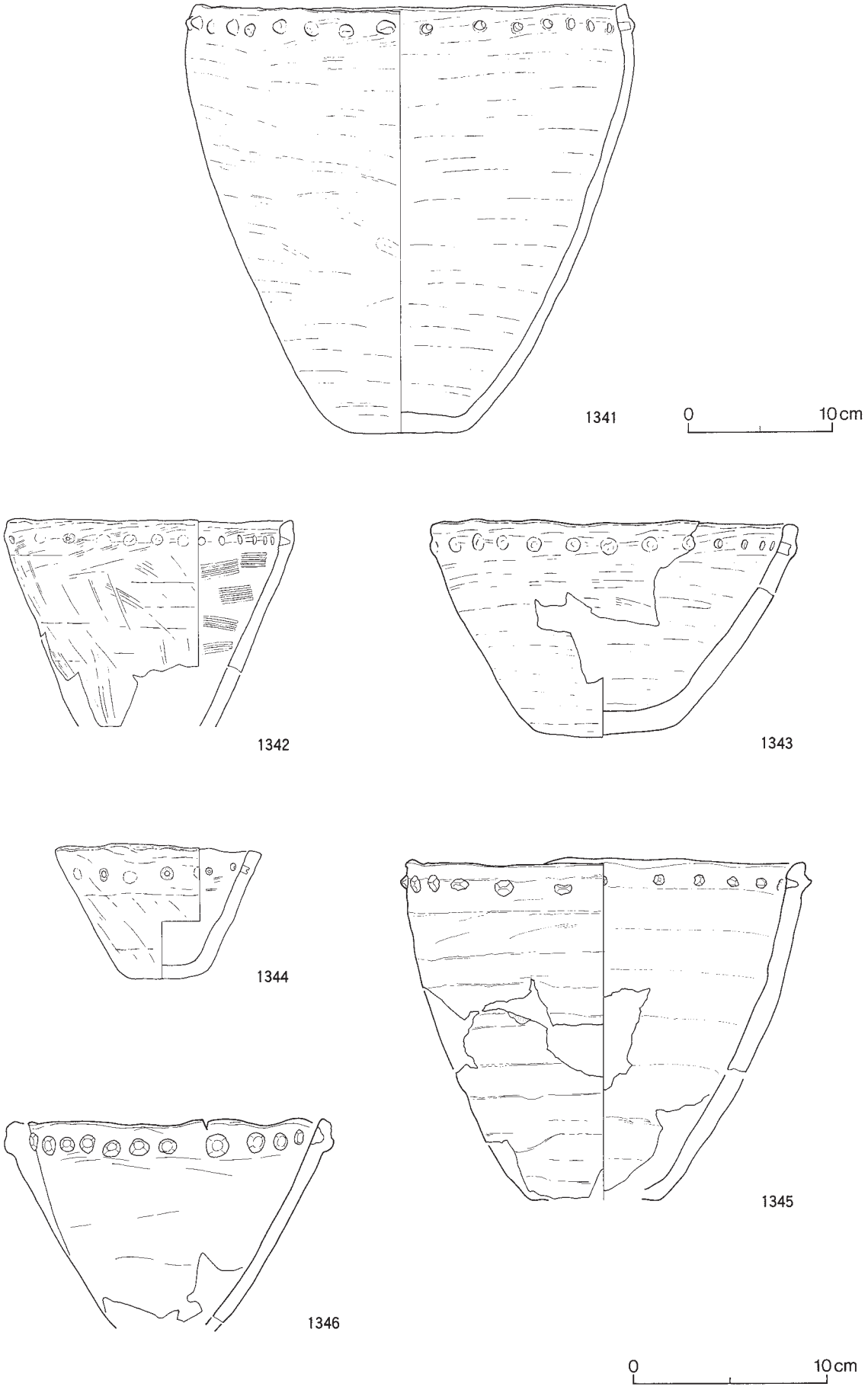
図Ⅴ－161　盛土遺構下位出土の土器（64）
縄文のみ④



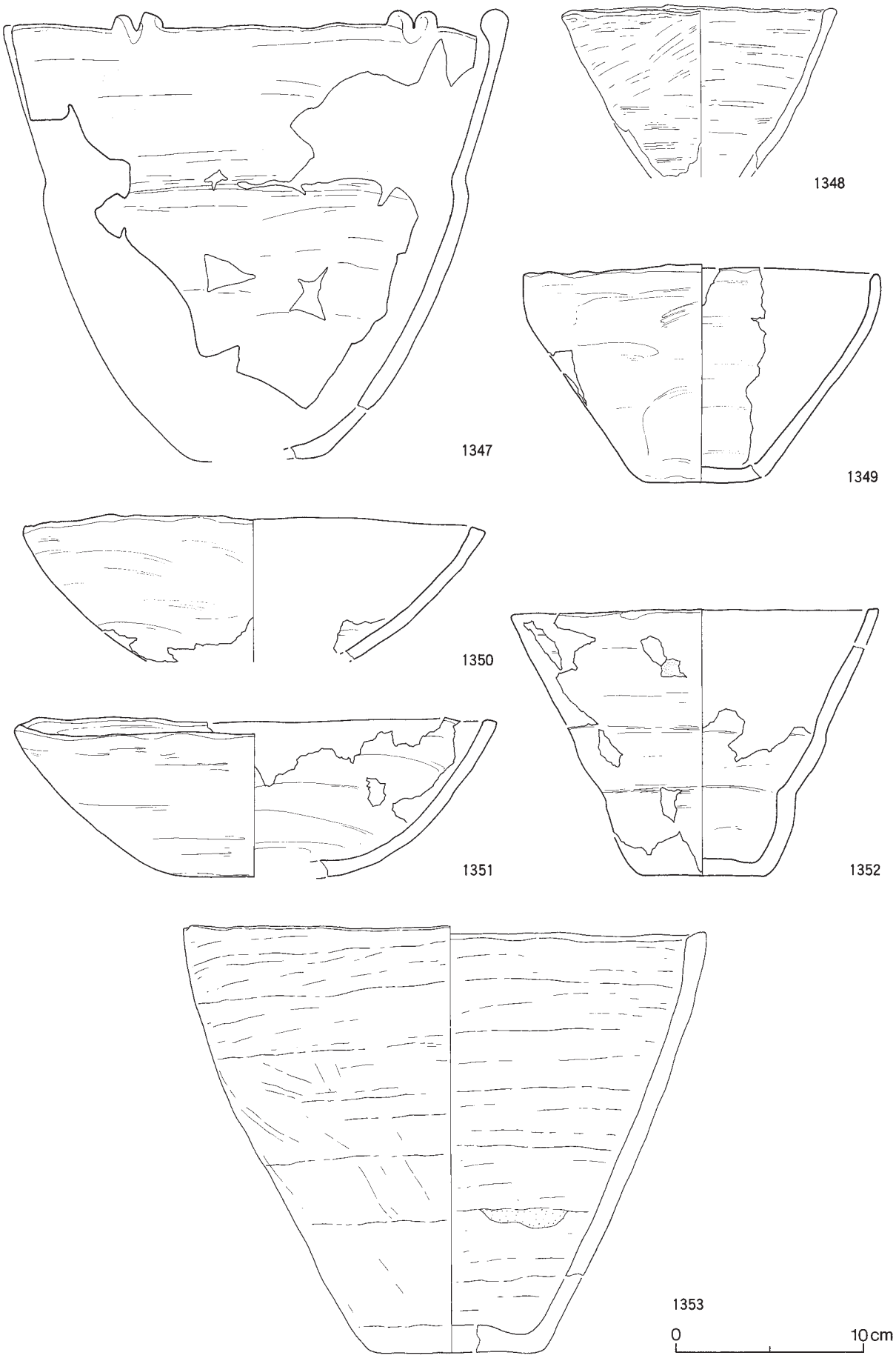
図Ⅴ－162　盛土遺構下位出土の土器（65）
縄文のみ⑤



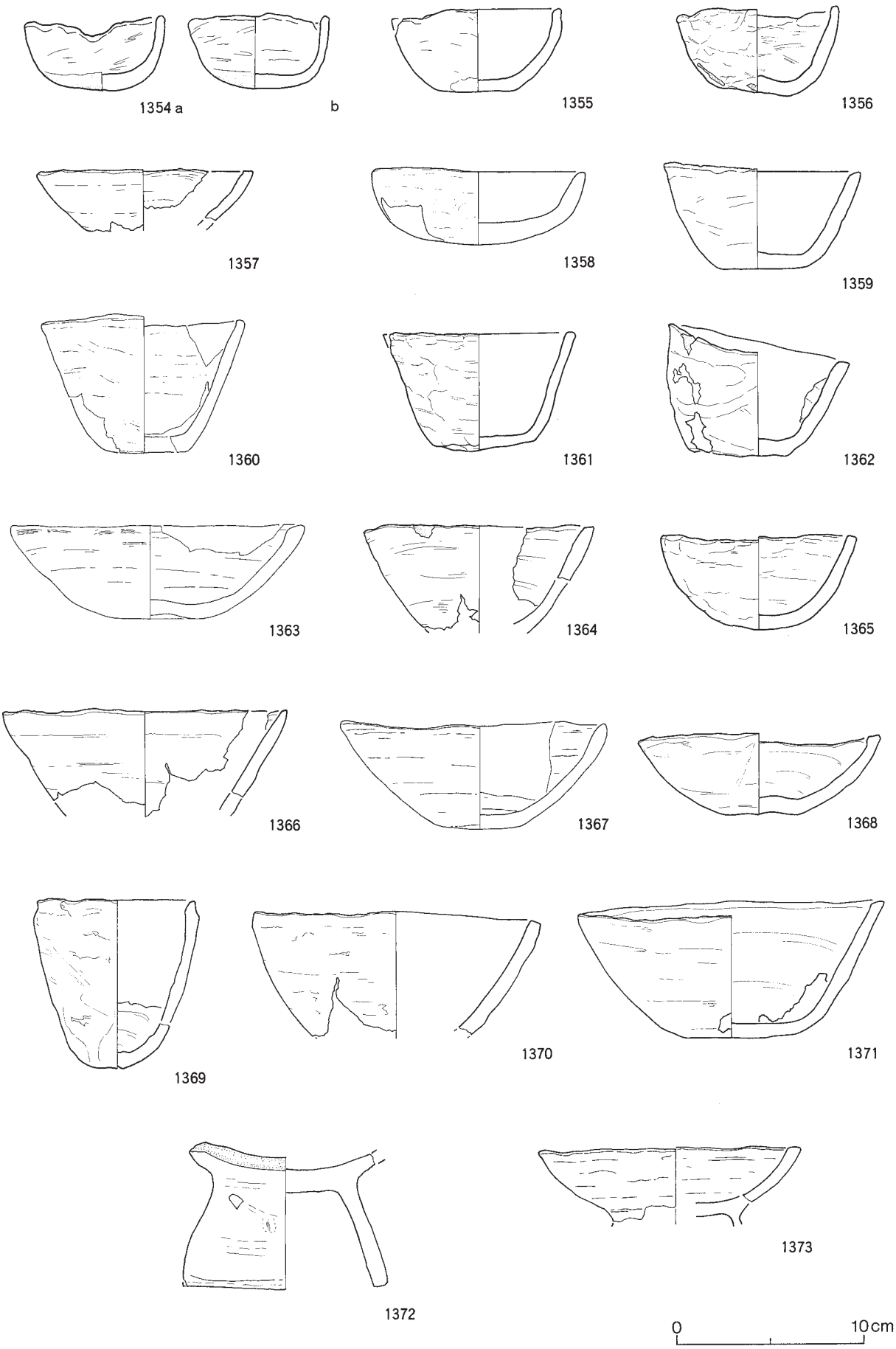
図Ⅴ－163　盛土遺構下位出土の土器（66）
縄文のみ⑥



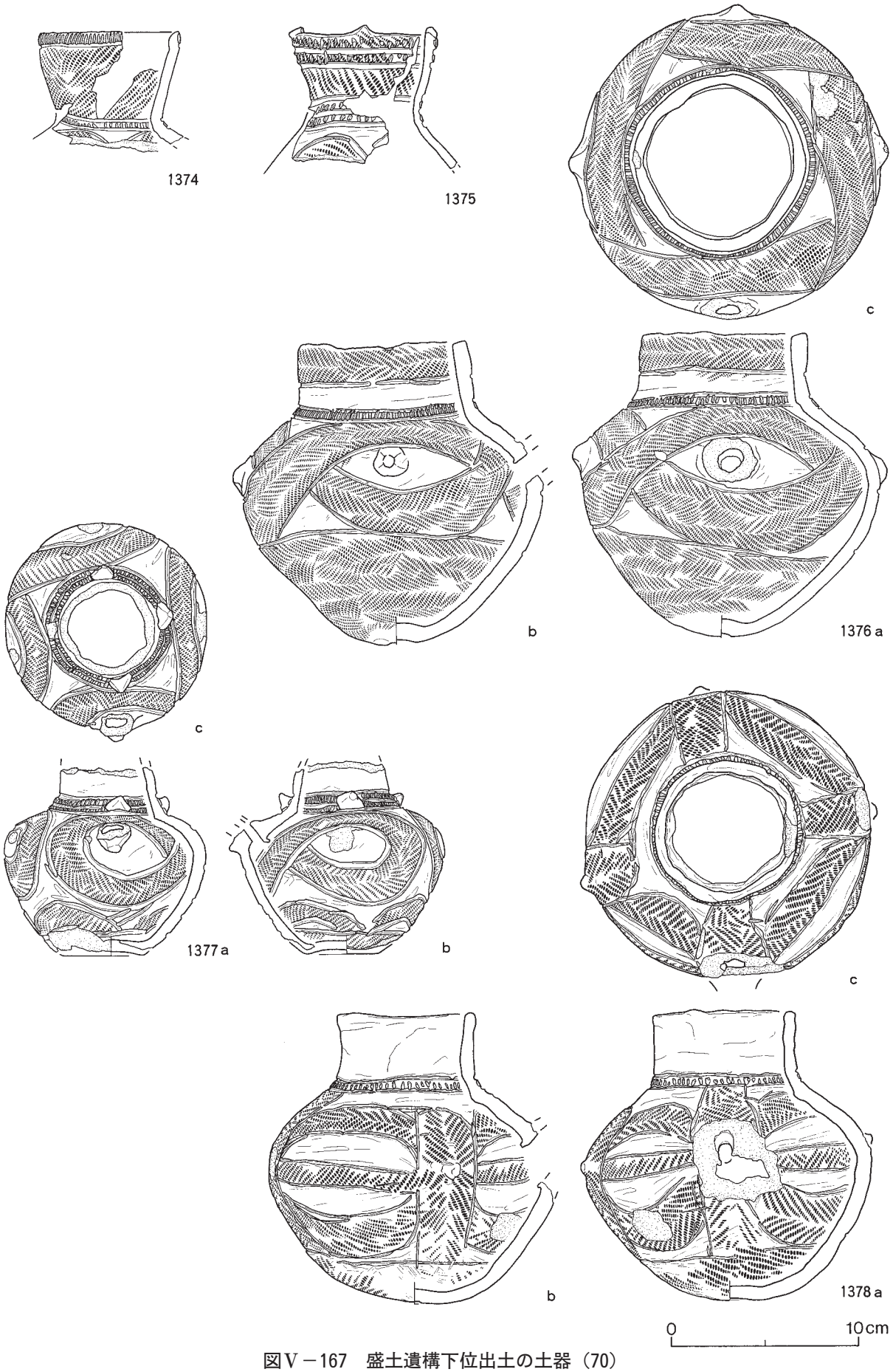
図Ⅴ－164　盛土遺構下位出土の土器（67）
突瘤・無文



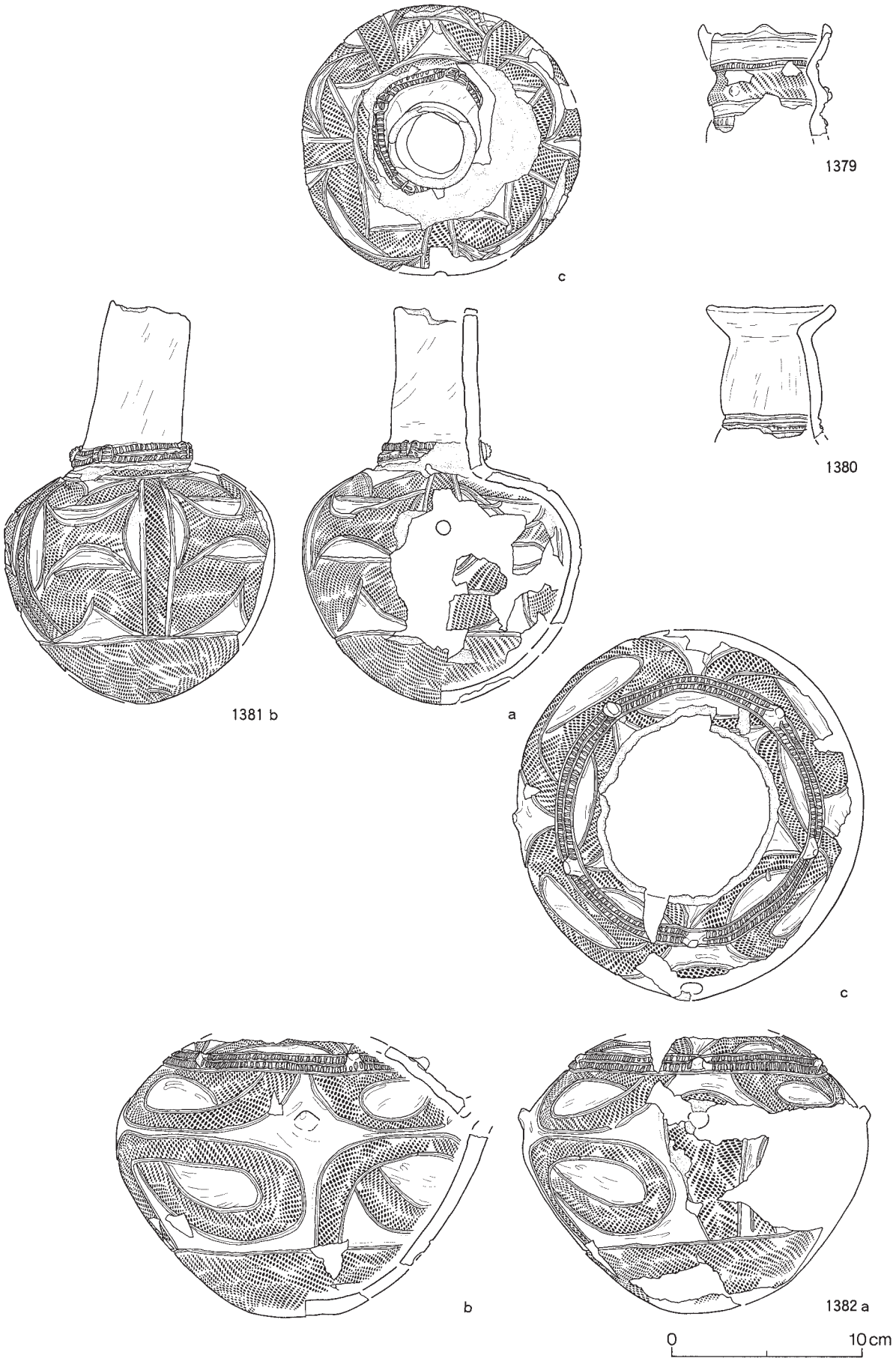
図Ⅴ－165　盛土遺構下位出土の土器（68）
無文①



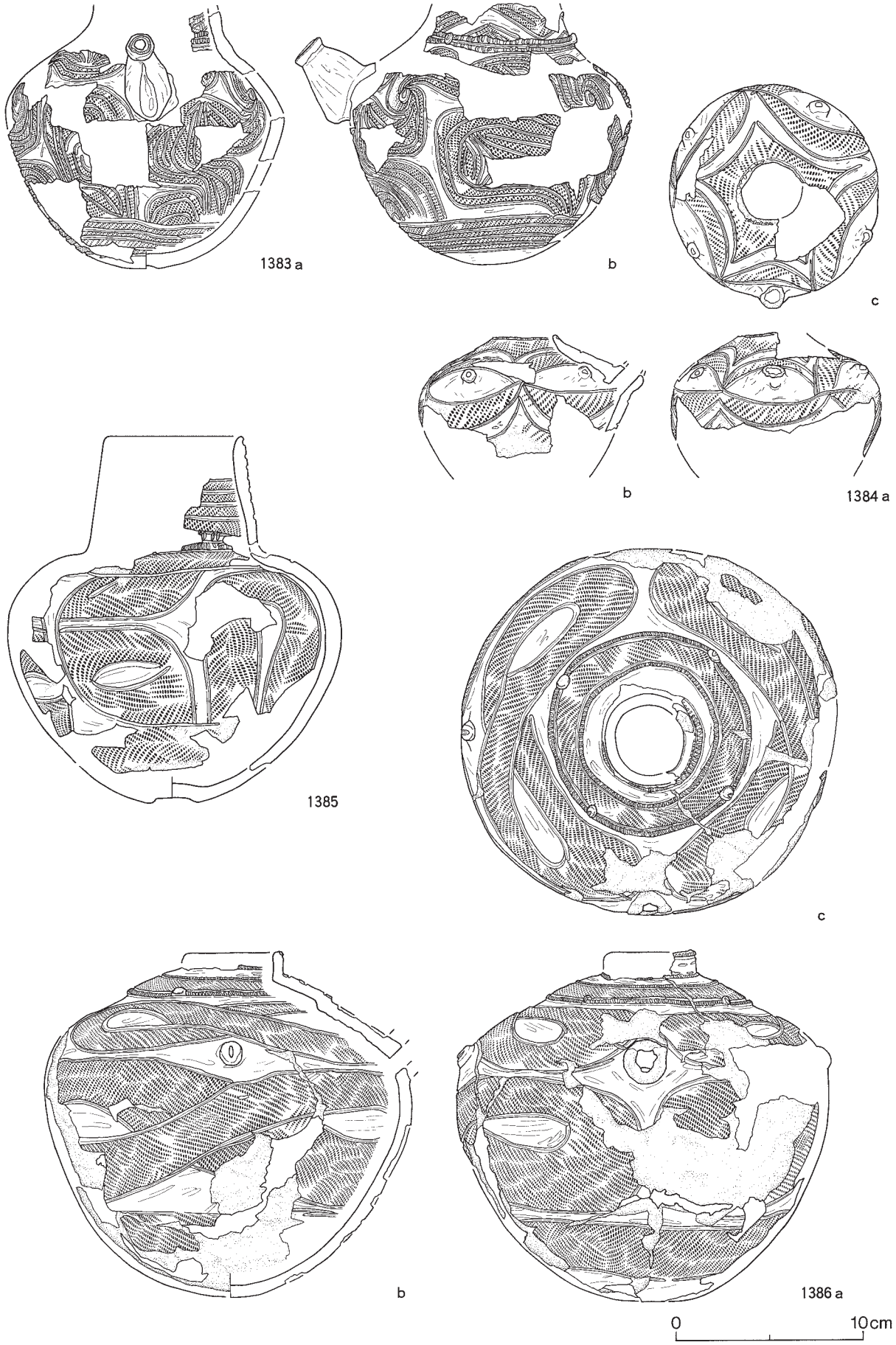
図Ⅴ－166　盛土遺構下位出土の土器（69）
無文②



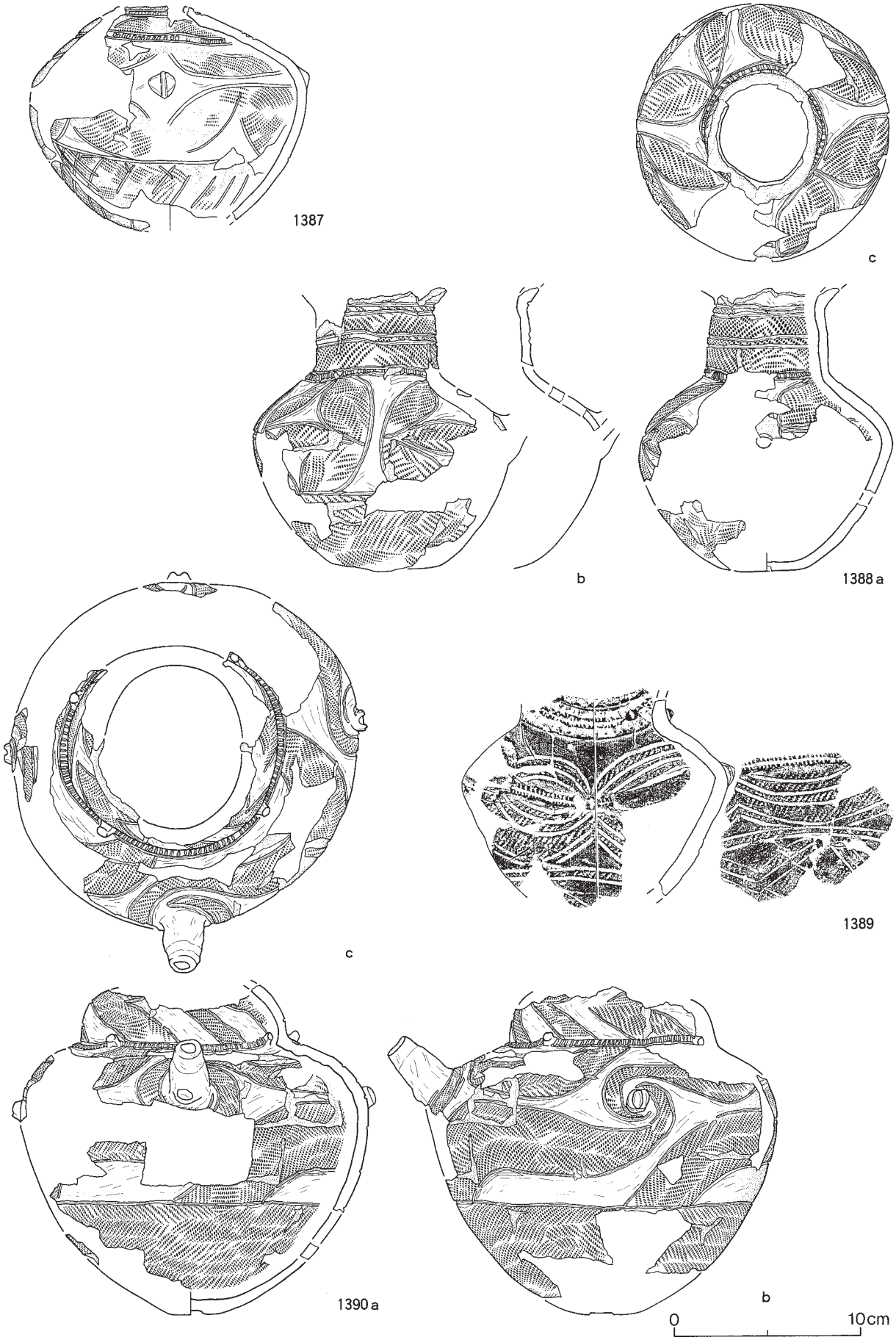
図Ⅴ－167　盛土遺構下位出土の土器（70）
注口土器・刻み・帯状文①



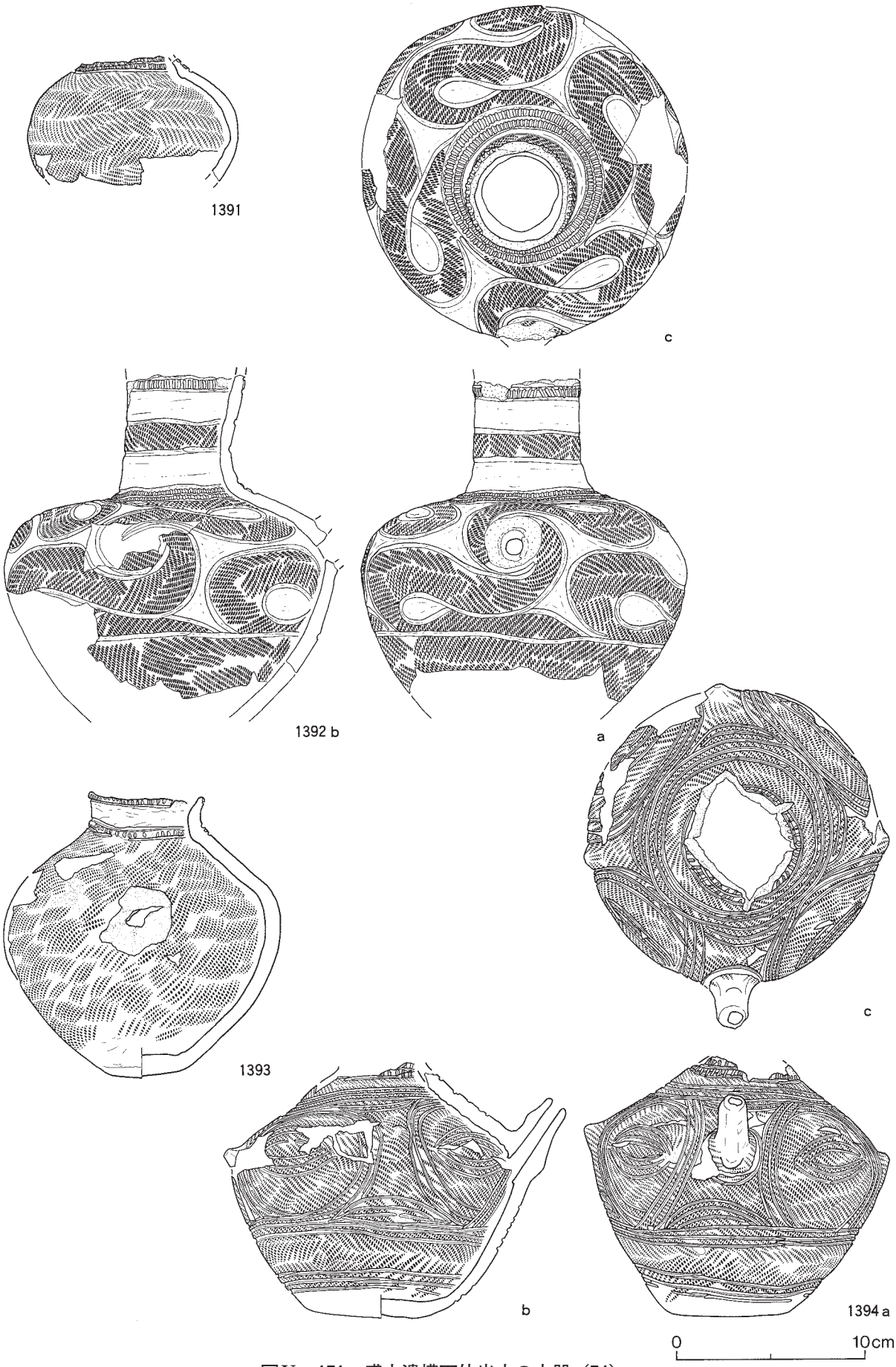
図Ⅴ－168　盛土遺構下位出土の土器（71）
注口土器・刻み・帯状文②



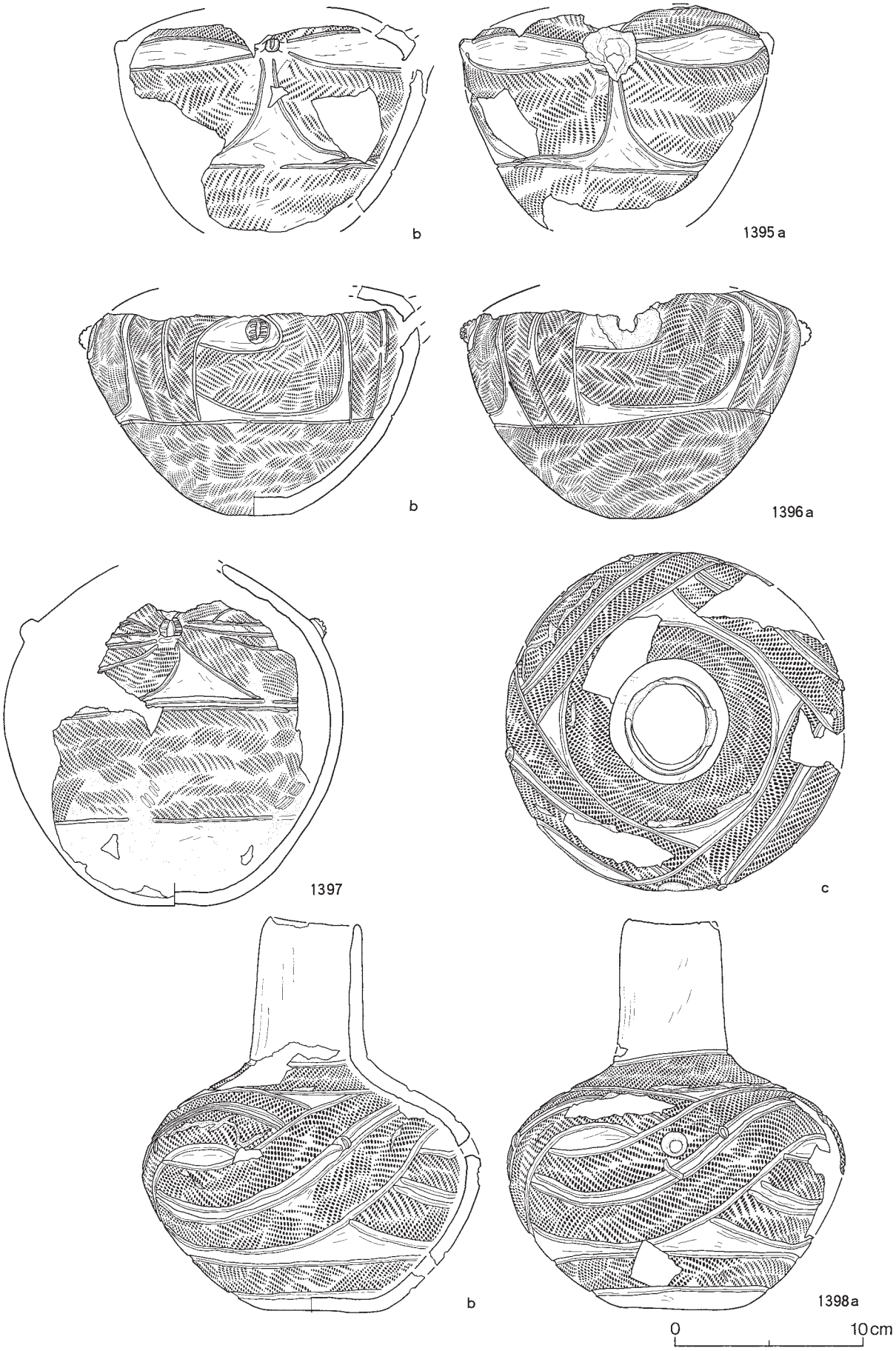
図Ⅴ－169　盛土遺構下位出土の土器（72）
注口土器・刻み・帯状文③



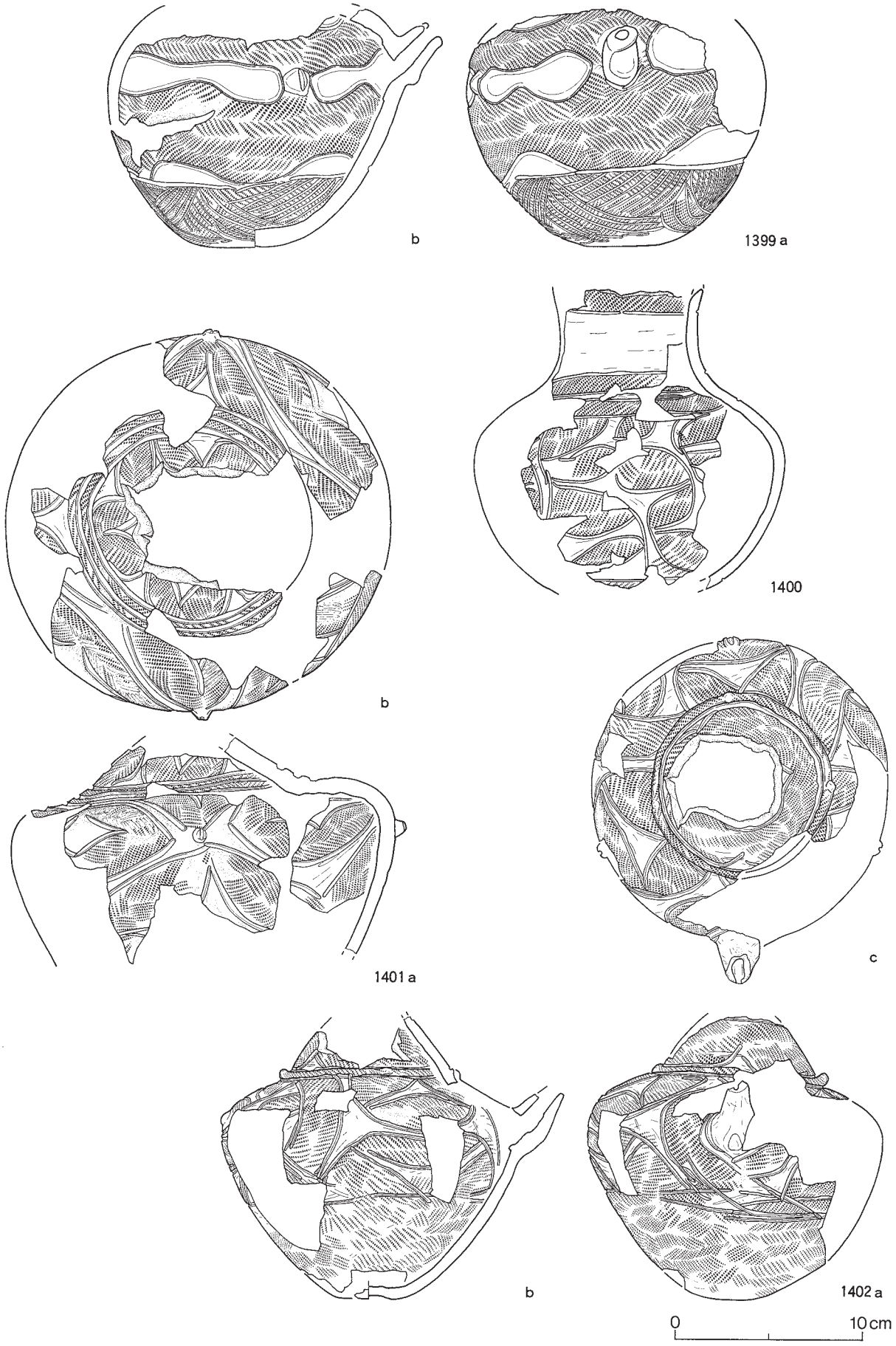
図Ⅴ－170　盛土遺構下位出土の土器（73）
注口土器・刻み・帯状文④



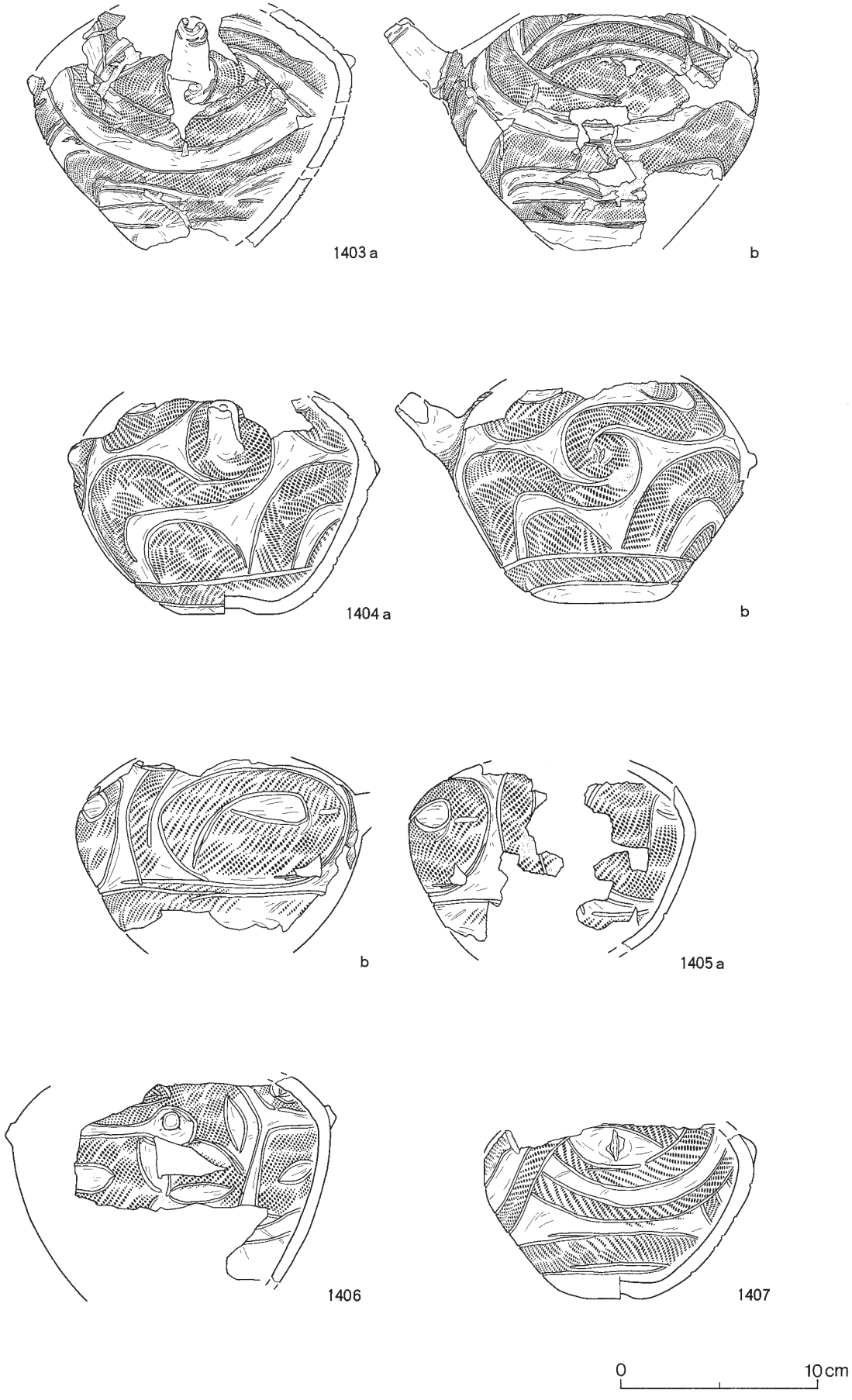
図Ⅴ－171　盛土遺構下位出土の土器（74）
注口土器・刻み



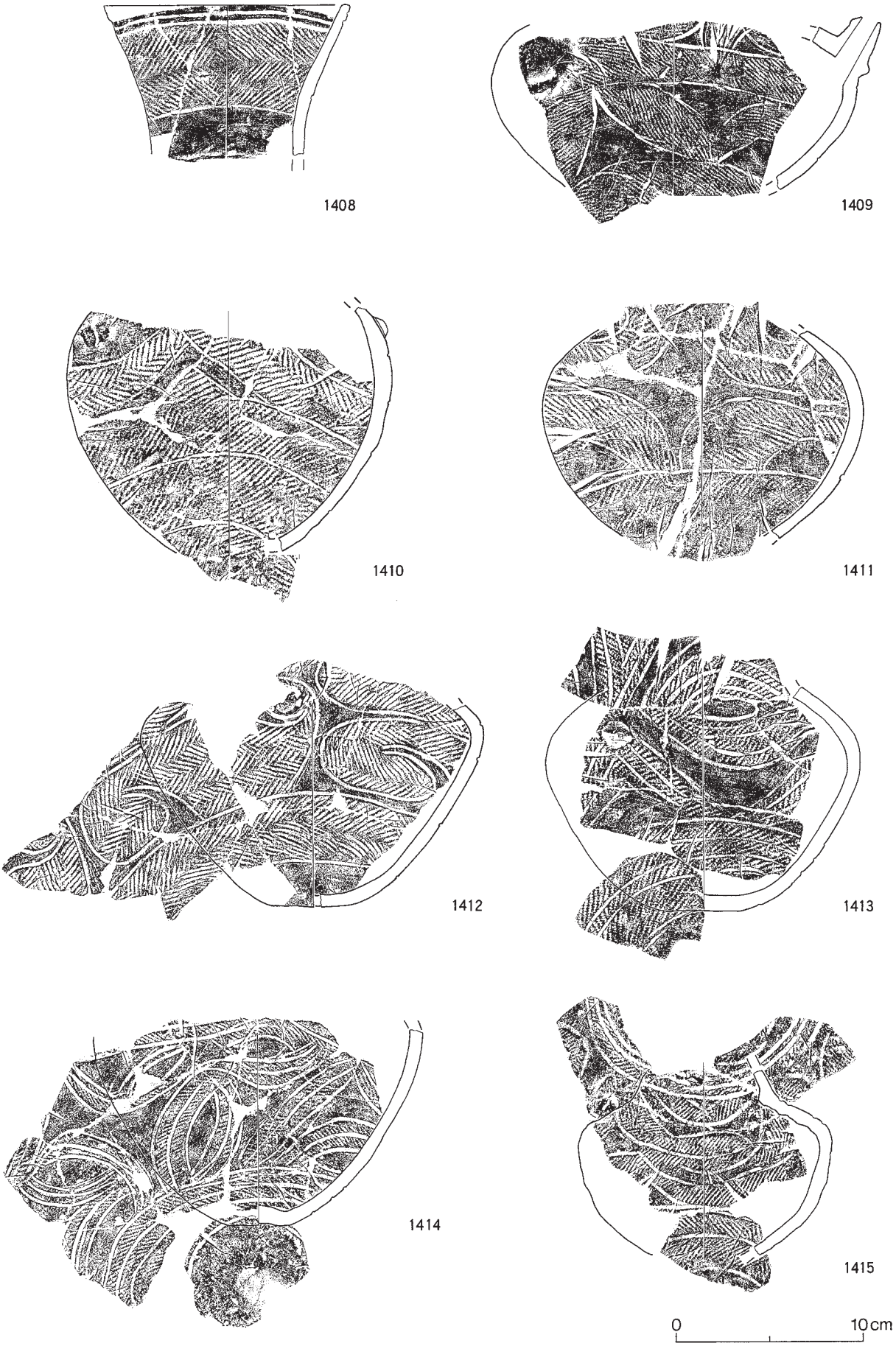
図Ⅴ－172　盛土遺構下位出土の土器（75）
注口土器・帯状文①



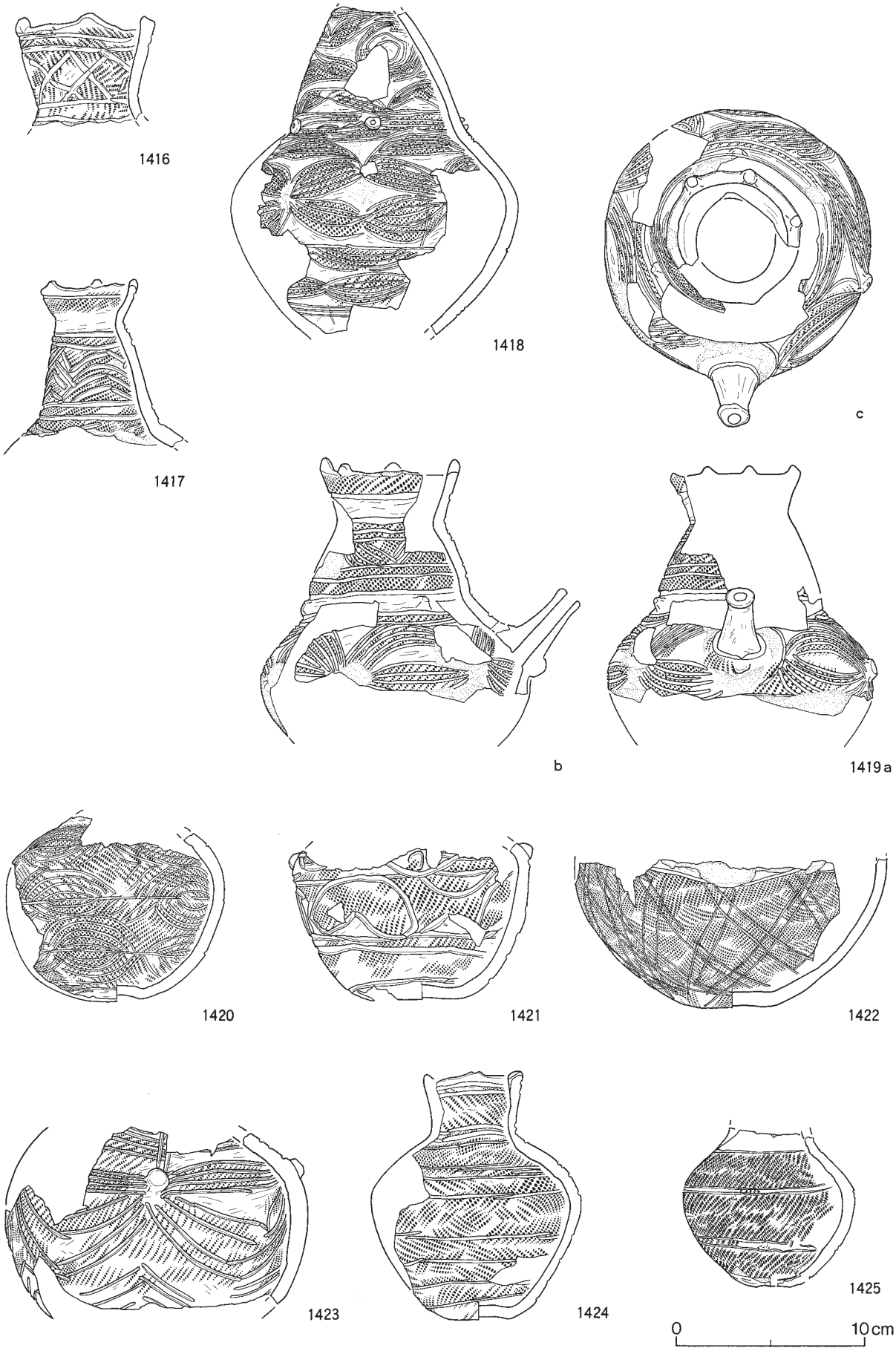
図Ⅴ－173　盛土遺構下位出土の土器（76）
注口土器・帯状文②



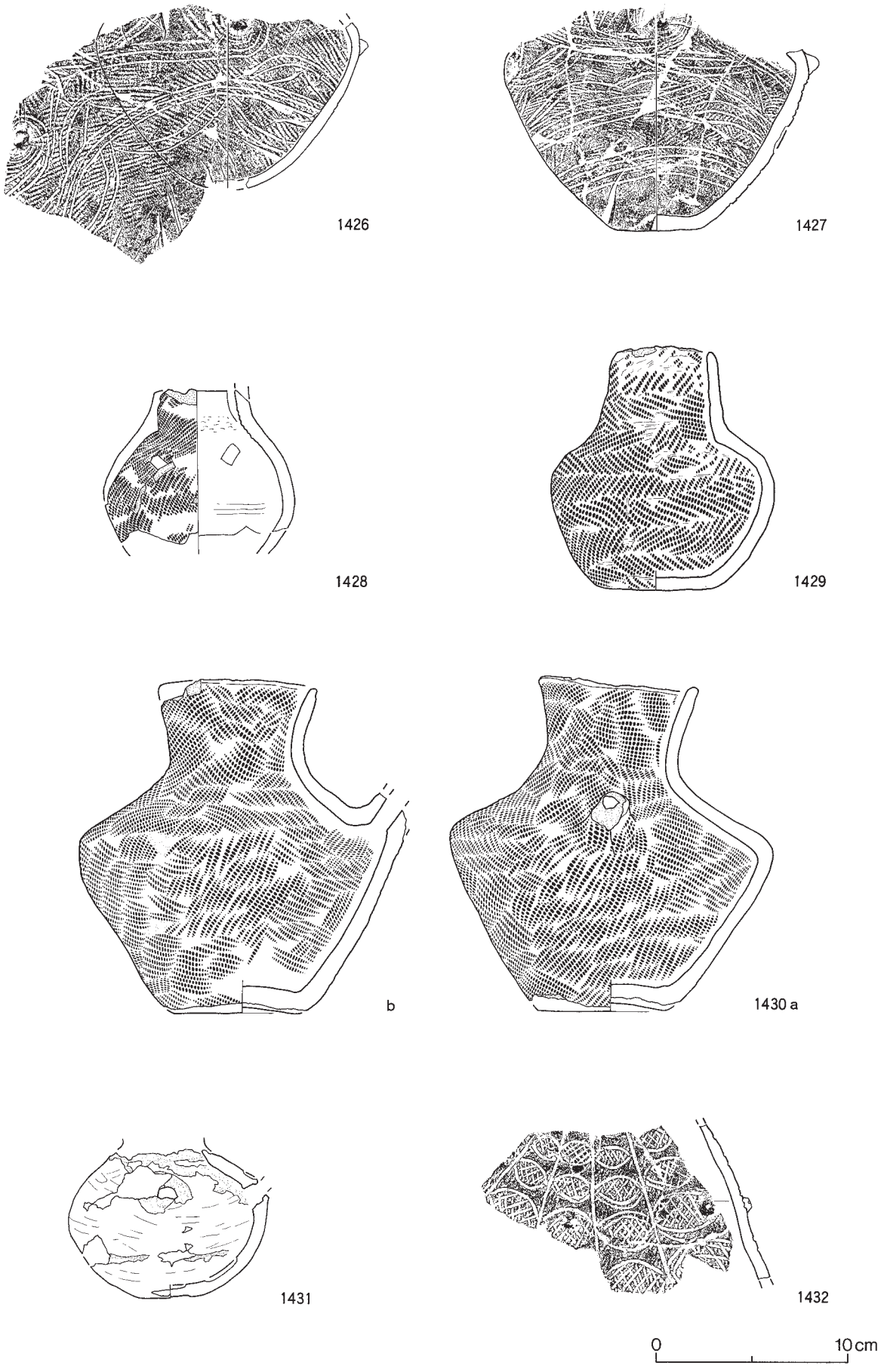
図Ⅴ－174　盛土遺構下位出土の土器（77）
注口土器・帯状文③



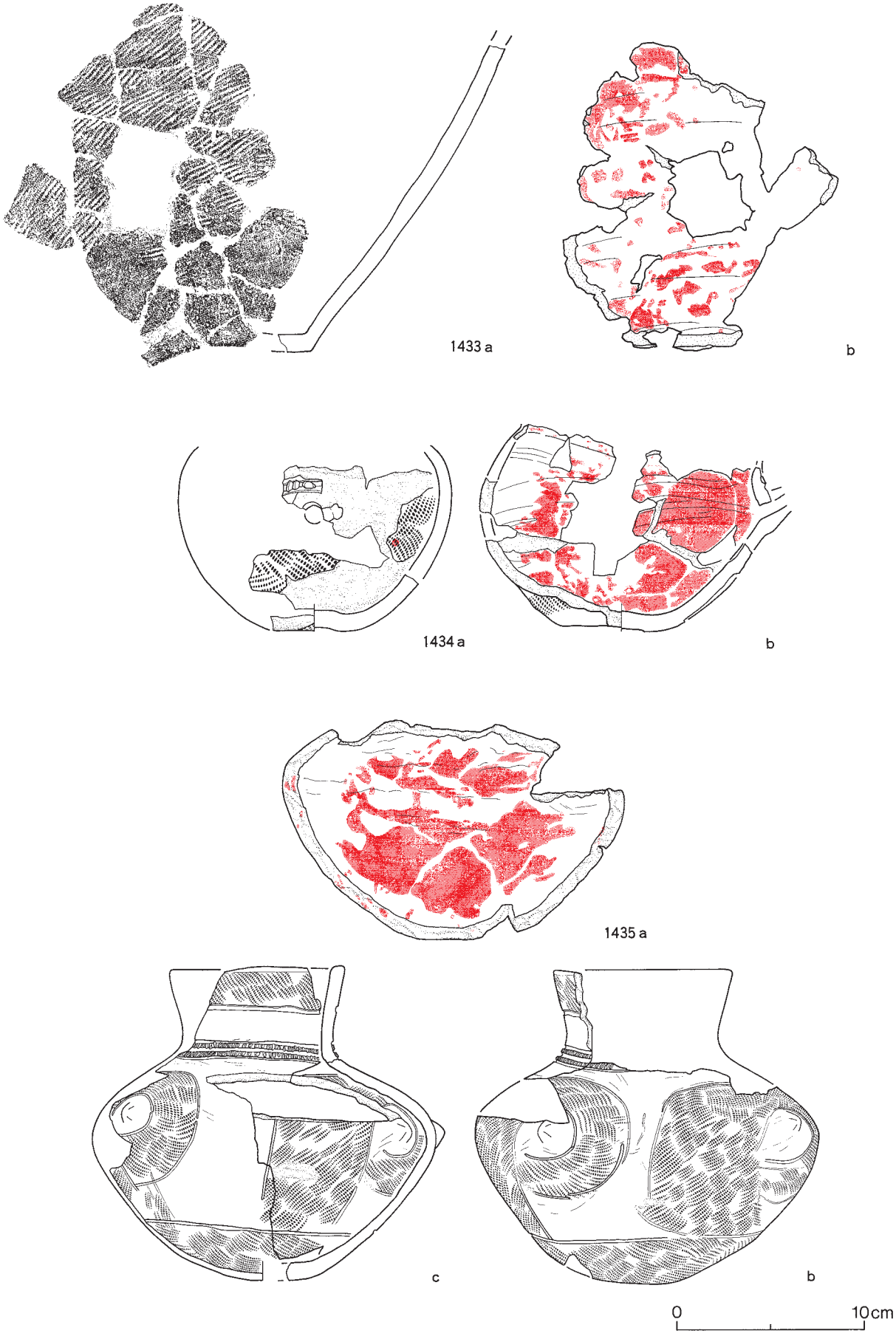
図Ⅴ－175　盛土遺構下位出土の土器（78）
注口土器・帯状文④



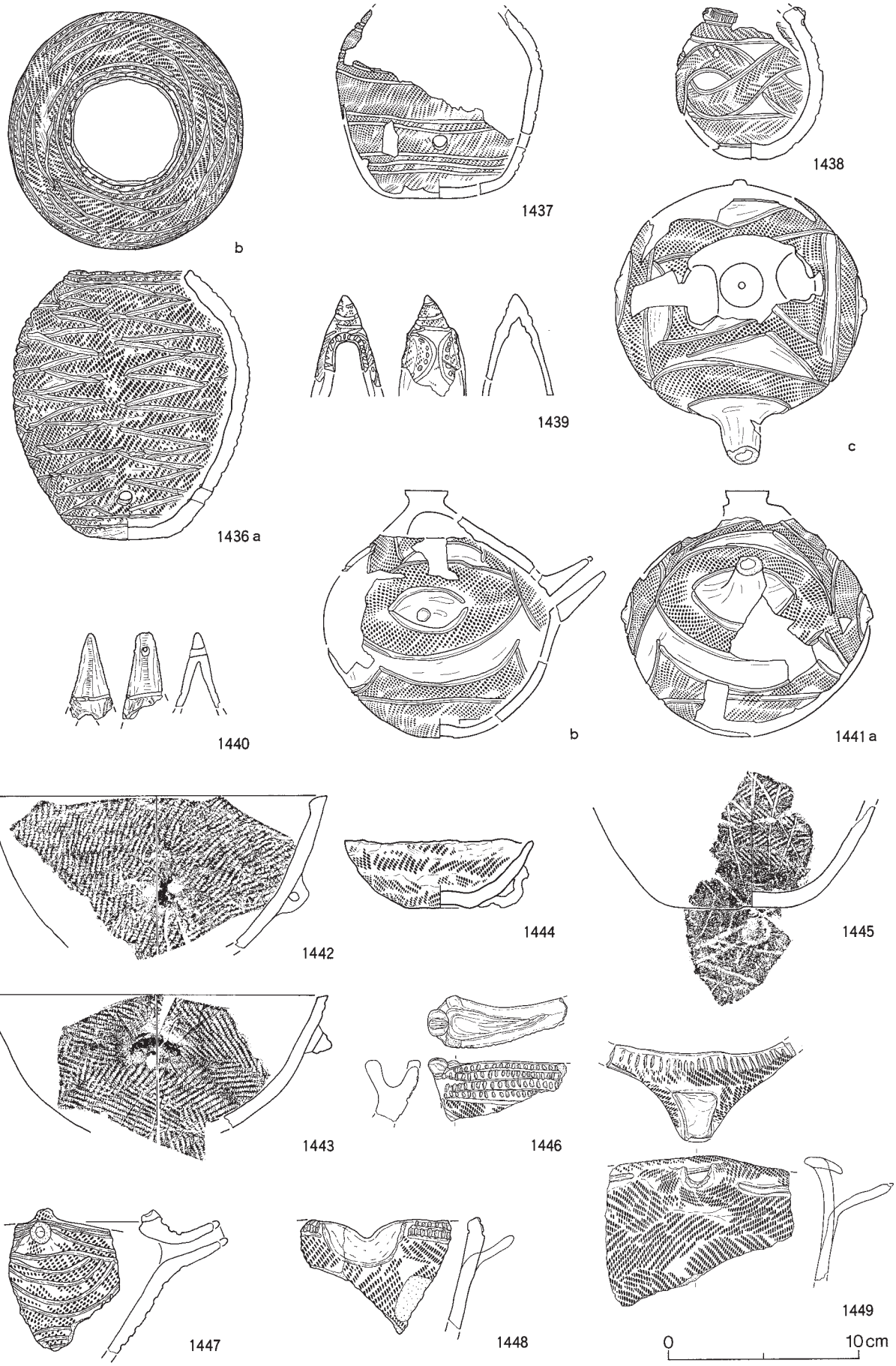
図Ⅴ－176　盛土遺構下位出土の土器（79）
注口土器・沈線①



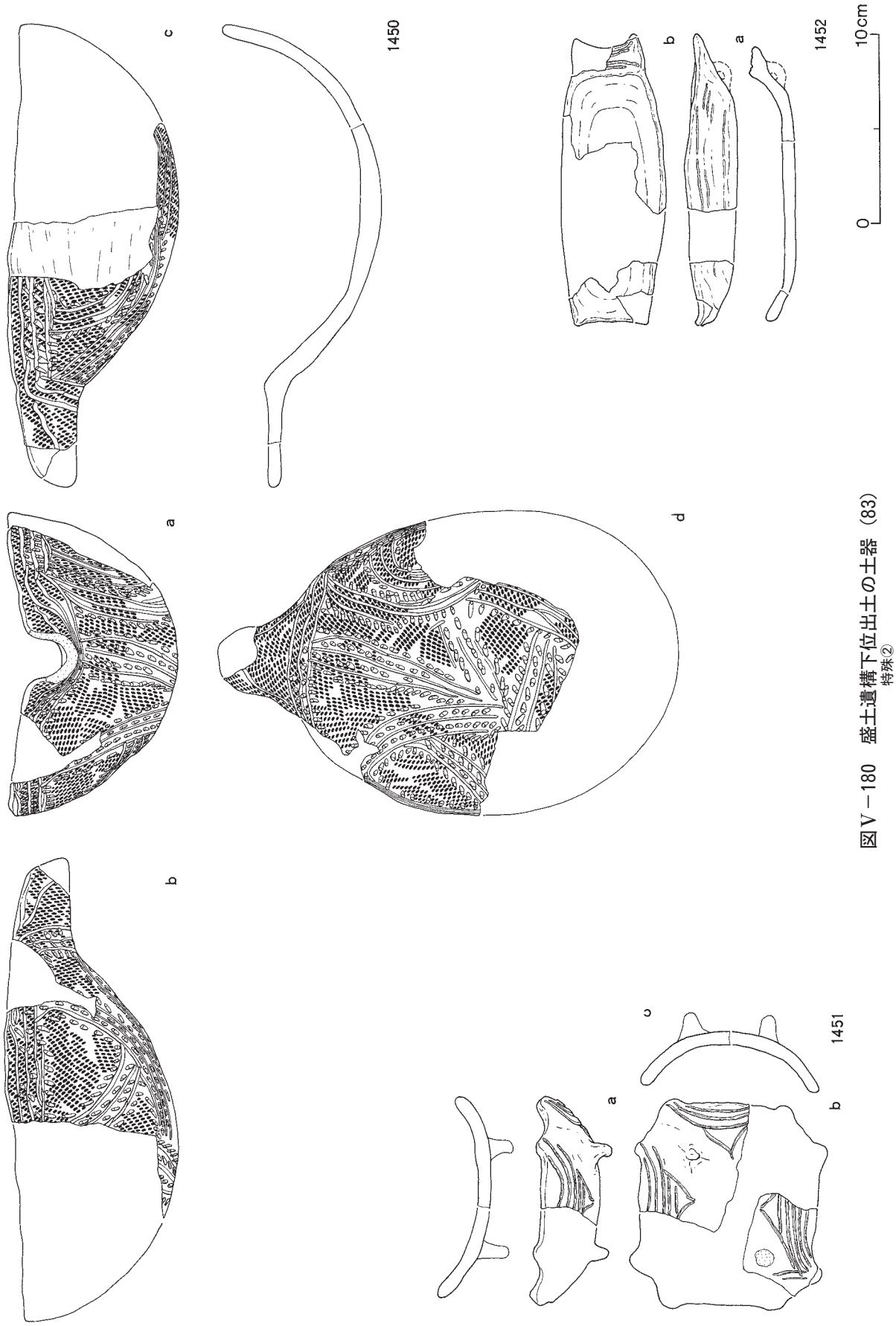
図Ⅴ－177　盛土遺構下位出土の土器（80）
注口土器・沈線・貼瘤など



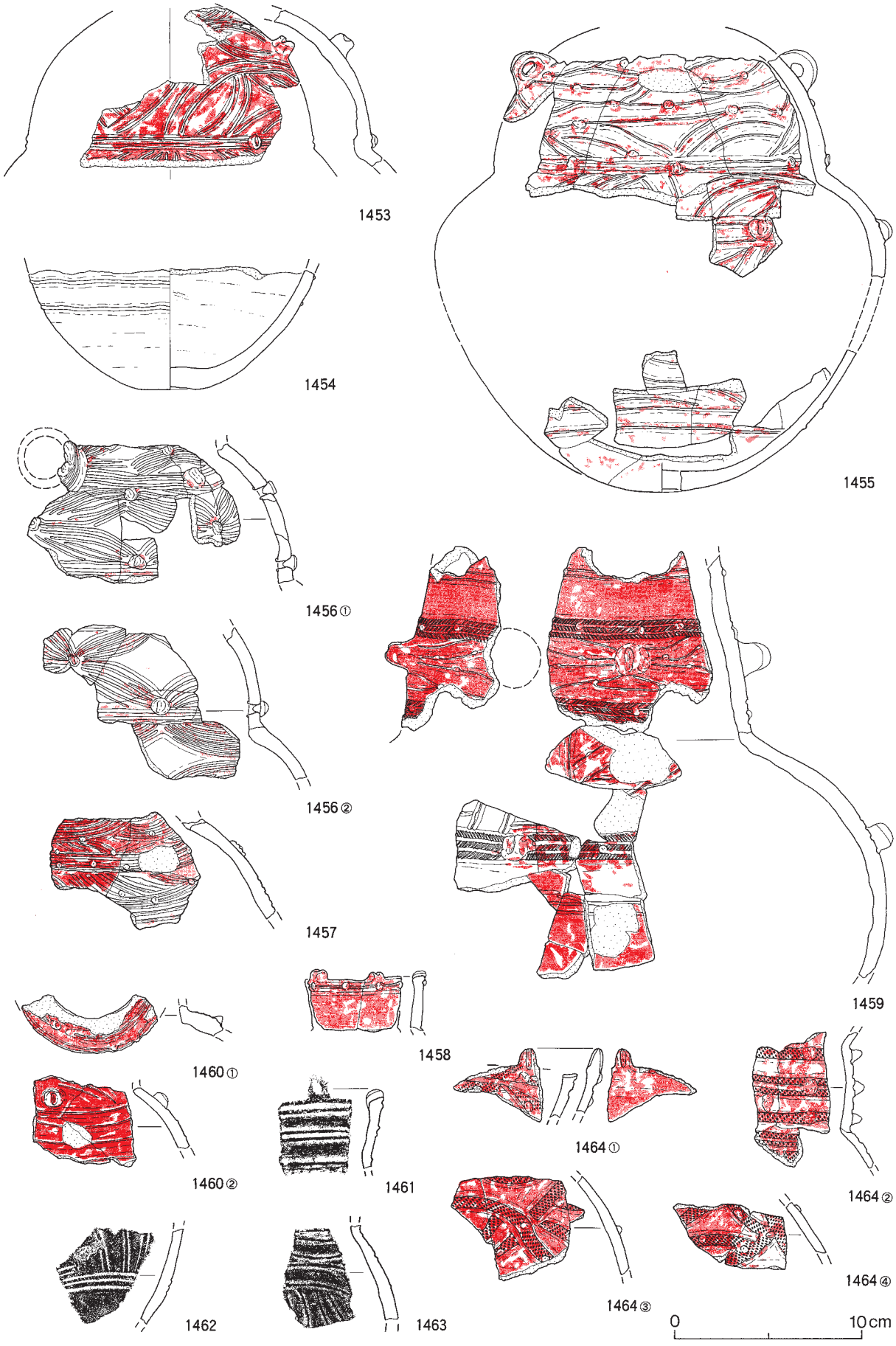
図Ⅴ－178　盛土遺構下位出土の土器（81）
赤彩



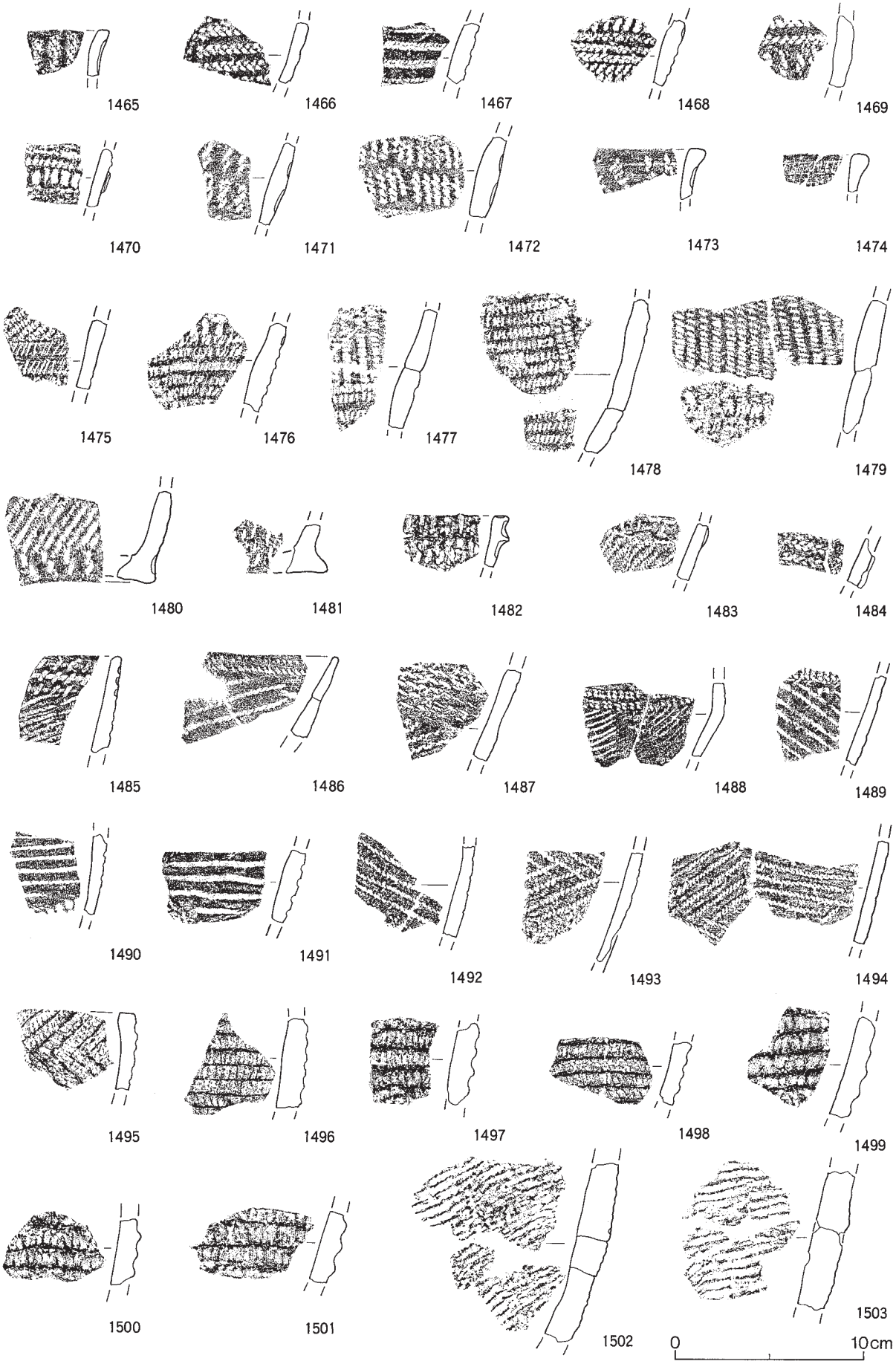
図Ⅴ－179　盛土遺構下位出土の土器（82）
特殊①



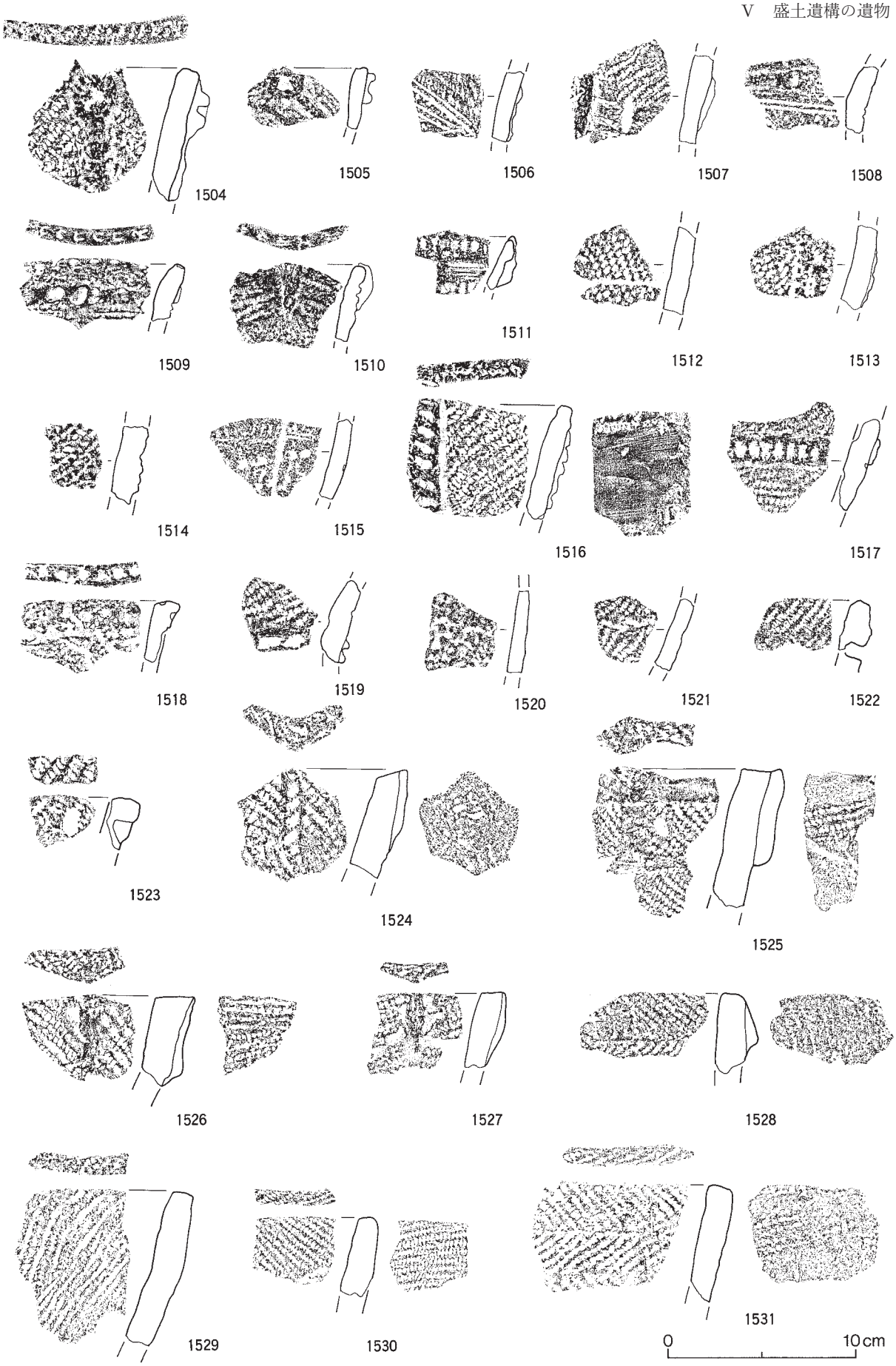
図Ⅴ－180　盛土遺構下位出土の土器（83）
特殊②



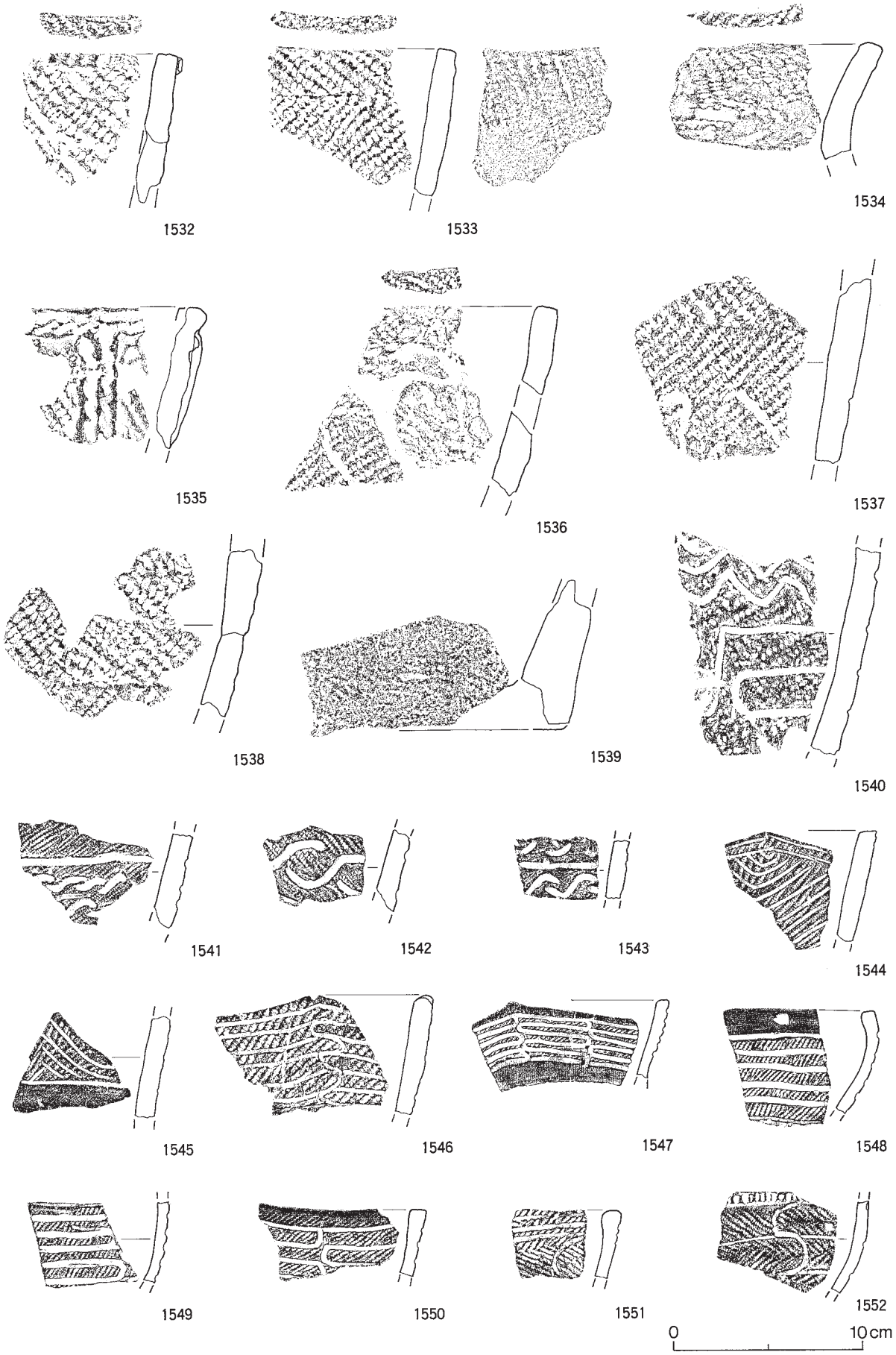
図Ⅴ－181　盛土遺構下位出土の土器（84）
微隆線（IVc-0）



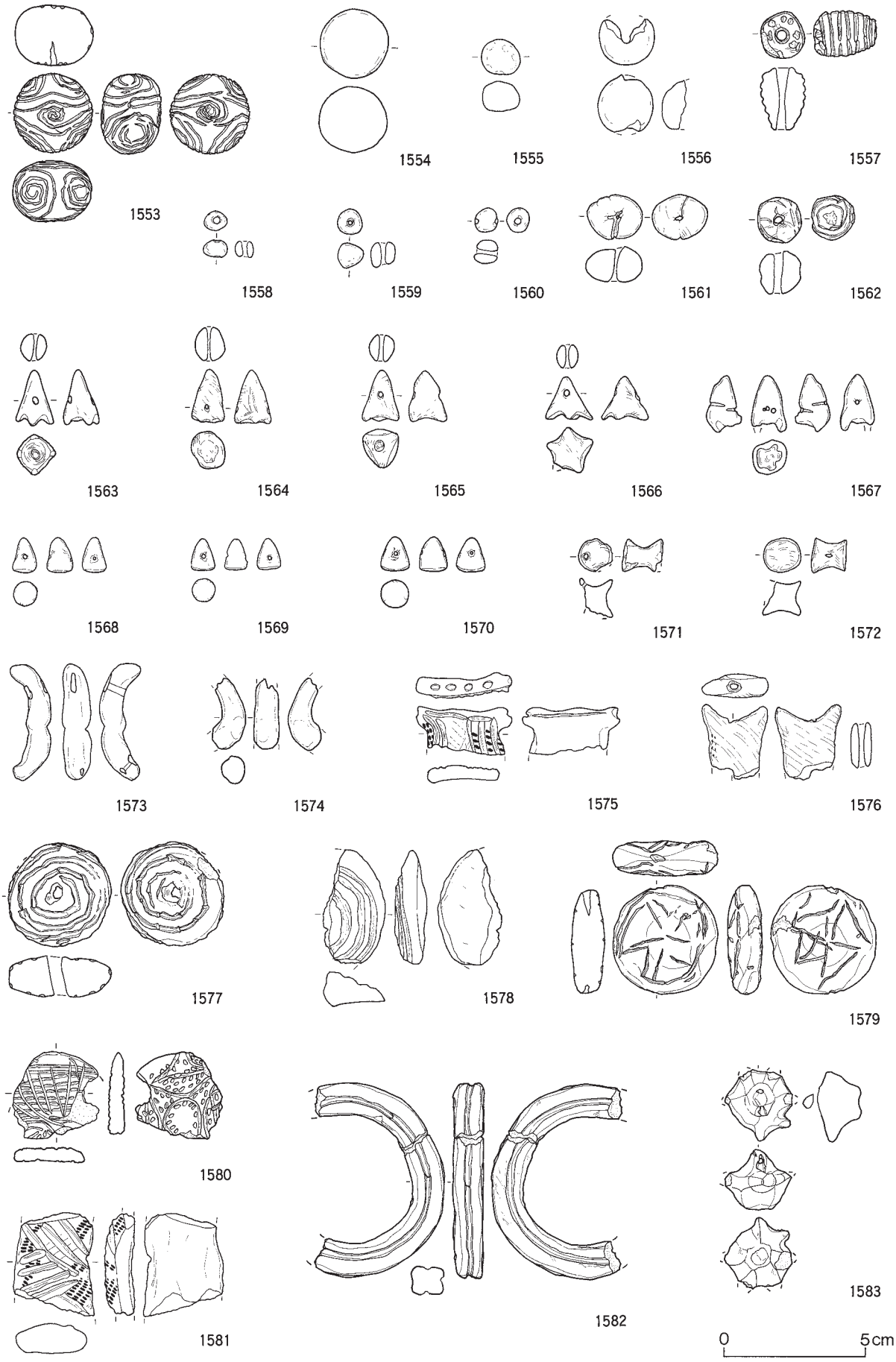
図Ⅴ－182　盛土遺構下位出土の土器（85）
IVc以外①縄文早期～前期



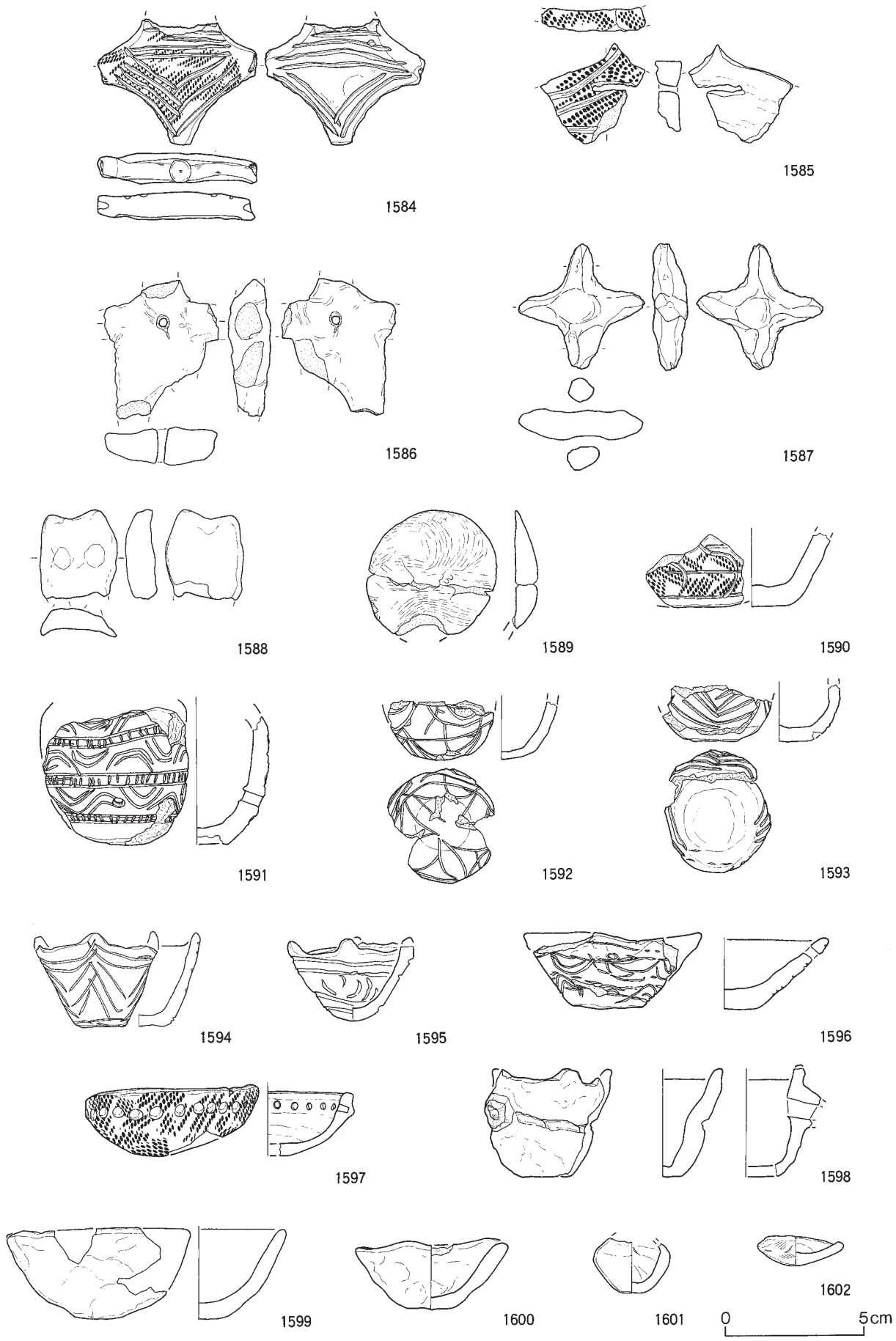
図Ⅴ－183　盛土遺構下位出土の土器（86）
Ⅳc以外②縄文中期～後期



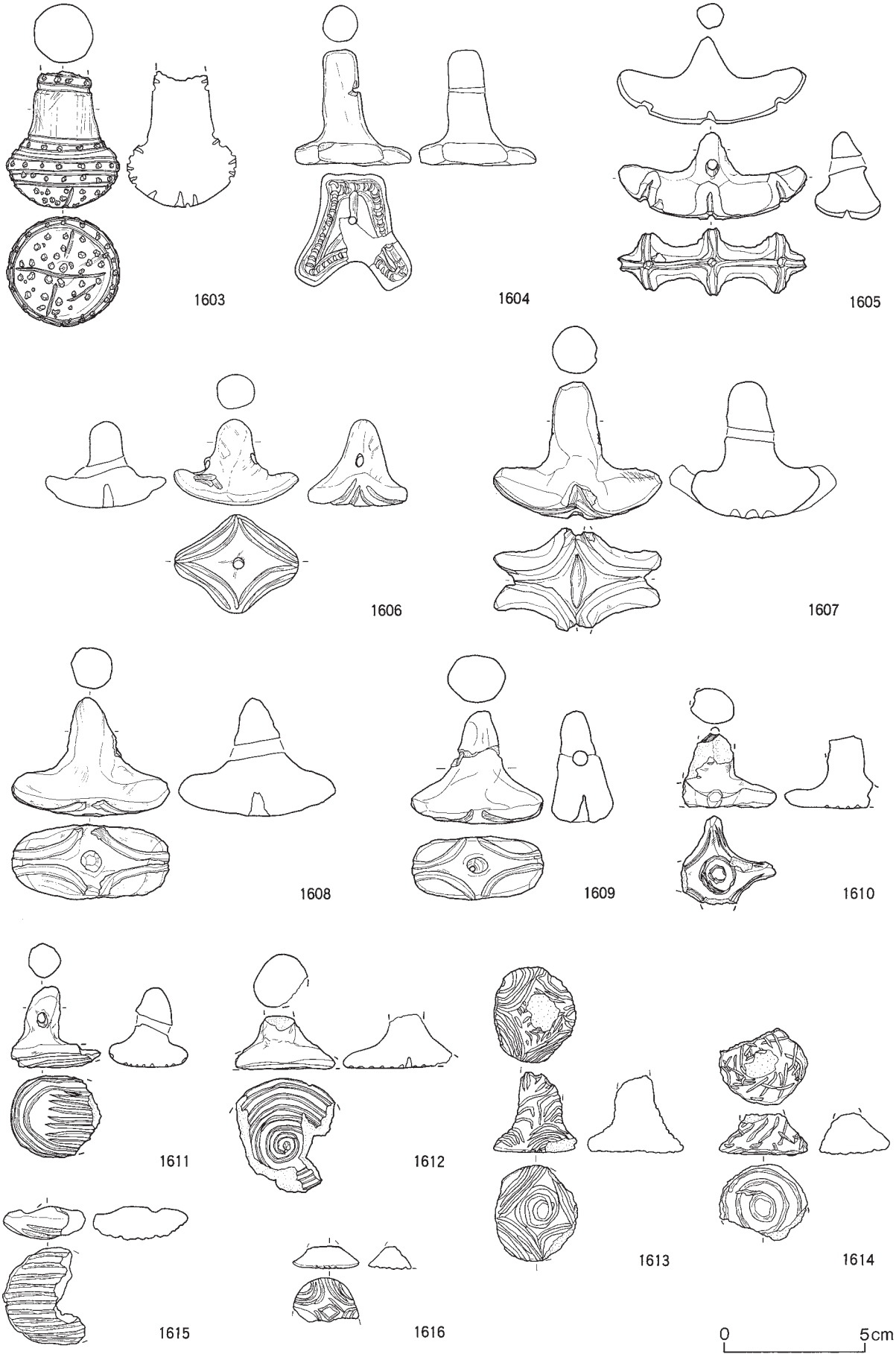
図Ⅴ－184　盛土遺構下位出土の土器（87）
IVc以外③縄文後期



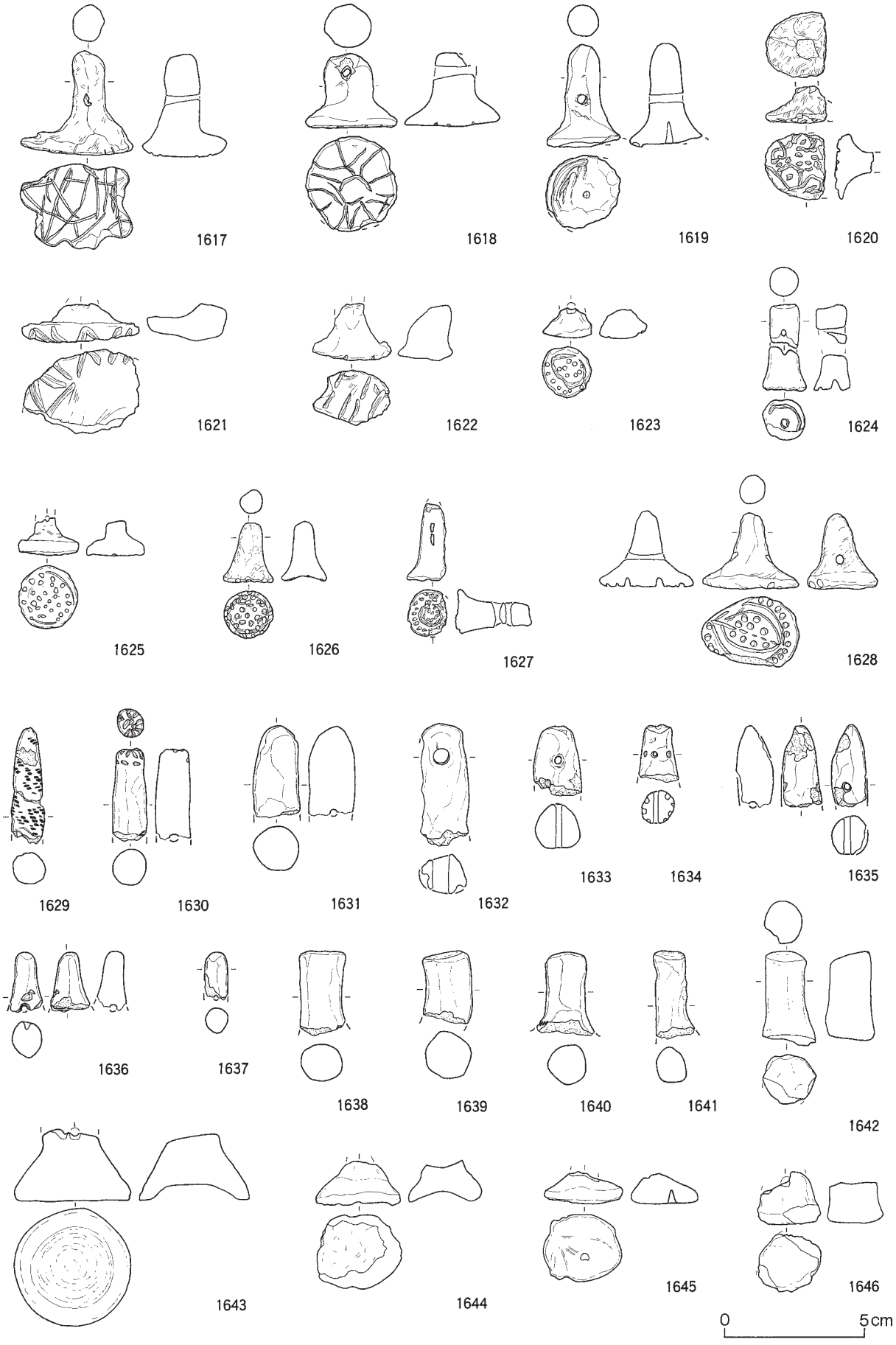
図Ⅴ－185　盛土遺構下位出土の土製品（1）
土玉・垂飾ほか



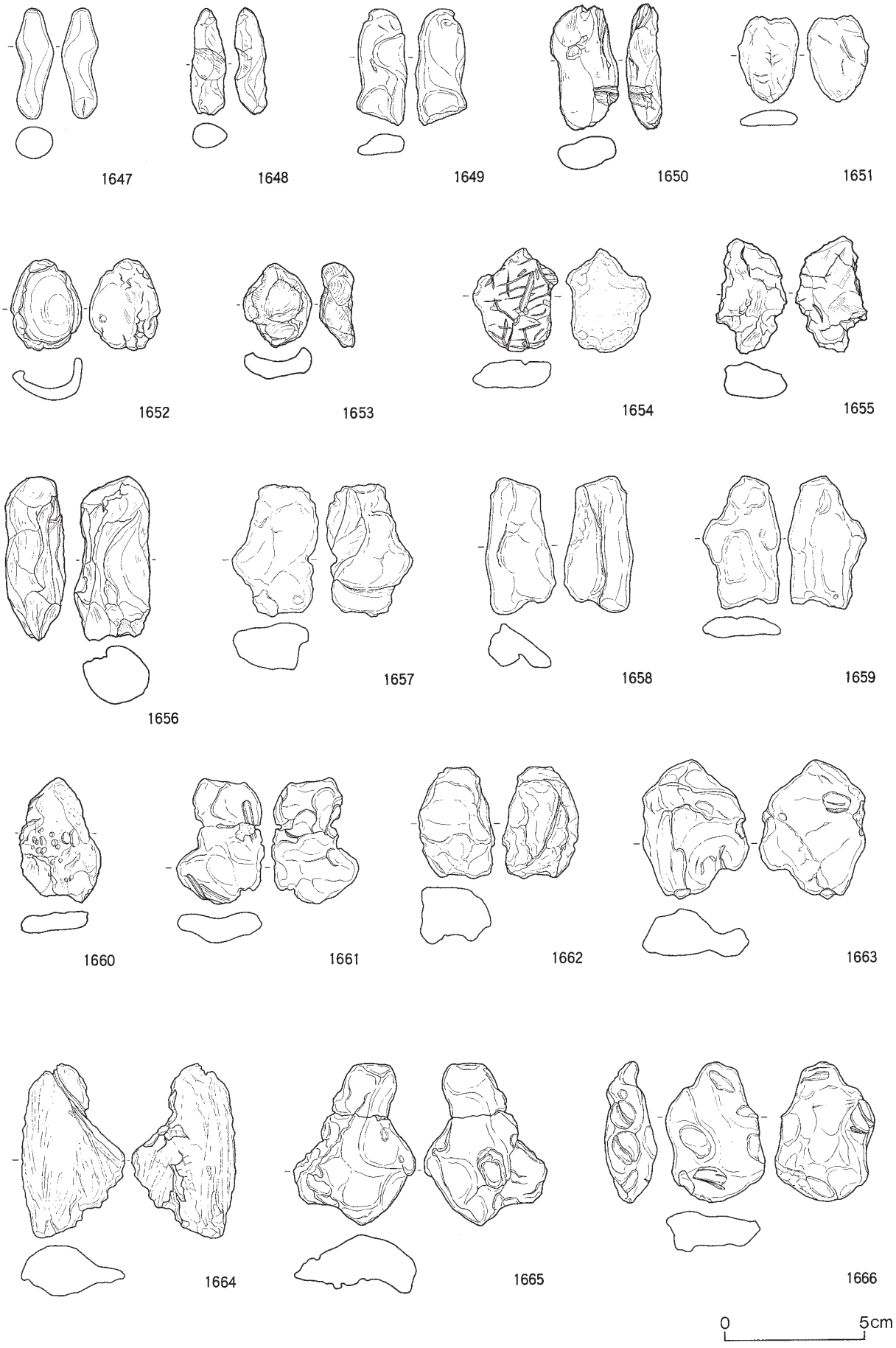
図Ⅴ－186　盛土遺構下位出土の土製品（２）
垂飾・ミニチュアほか



図Ⅴ－187　盛土遺構下位出土の土製品（３）
スタンプ形土製品①



図Ⅴ－188　盛土遺構下位出土の土製品（４）
スタンプ形土製品②



図Ⅴ－189　盛土遺構下位出土の土製品（５）
焼成粘土塊

３．石器・石製品等

（１）盛土遺構上位出土の石器・石製品（図Ⅴ－190～207　表Ⅴ－66～71　図版272～279）

盛土遺構上位からは、354,842点の石製遺物が出土している。内訳は、定形的な石器（Ⅰ～Ⅷ群）9,717点、加工痕、使用痕のみられる剥片や礫（Ⅹ群）4,880点、石核・剥片類（ⅩⅠ群）330,001点、礫9,903点、石製品341点である。定形的石器の中では、石鏃が6,060点と突出して多い。

分布図は定形的な石器と石製品の一部について、盛土遺構上位の各層をまとめて表した。接合関係図は掲載した接合石製遺物について作成した。

石鏃（１～62）

6,060点出土しており、定形的な石器の62.4％を占める。有茎と無茎に大きく分けられるが、有茎が圧倒的に多い。無茎鏃には、薄身で柳葉形のもの（１）、薄身で五角形のもの（２・３）三角形で凹基のもの（４～６）、三角形で平基のもの（７）がみられる。３の基部には抉りが入る。有茎鏃の基部形態には、凹基（８・９）、平基、凸基、円基がある。平基と凸基はともに多いが、凸基の方がやや多い。有茎平基鏃（10～25）の縁辺をみると、直線的なもの（10～13・19・20・22～25）が多いが、丸みを帯びるもの（14・16～18）や、内湾するもの（21）もある。15は小さく実用的でない。有茎凸基鏃（26～55・57・58）の縁辺にも、直線的なもの（26～36・43～47・51～54）が多いが、内湾するもの（37～41・48）や、丸みを帯びるもの（42・49・50）がある。30は基部に黒色物質（アスファルト？）が付着している。41の基部は円基である。円基と凹基は少ない。55・57・58は大きめのもので、いずれも有茎である。56は小さく扁平な原石（黒曜石）を加工したものである。59～61は対向する縁辺の一部に抉り（59・61）や内湾（60）がみられる。62は尖端部を凸基状に張り出させている。１～７・９～29・31～35・37～62は黒曜石製、８・51は頁岩製、30・36は珪質頁岩製。

石槍またはナイフ（63・64）

23点出土しており、定形的な石器の0.2％を占める。63・64は有茎のものである。63は頁岩製、64は黒曜石製。

石錐（65～84）

822点出土しており、定形的な石器の8.5％を占める。素材の一部に錐部を作出したもの（65・66）、つまみ部をもつ棒状のもの（67～76・82・83）、棒状のもの（77～81・84）がある。65は黒曜石の原石を加工したもの。66は縁辺に連続する加工がみられる。67・68・70・73のつまみ部には抉りが入る。73は錐部の先端が磨耗しており、煤けている。77・78は両端が尖る。79～81は一端のみが尖る。84は幅に比べて短く、破損後に再加工したものかもしれない。65・69・78～80・84は黒曜石製、66～68・70～72・74～77・82は頁岩製、73・81は珪質頁岩製、83はメノウ製。

つまみ付きナイフ（85～105）

187点出土しており、定形的な石器の8.5％を占める。89・90は横型で他は縦型である。片面全面加工のもの（85・87）、片面周縁加工のもの（86・88～93・95～98）、両面加工のもの（99・102・103・105）などがみられる。93・104は、つまみのくびれ部分に黒色物質（アスファルト？）が付着している。94は黒曜石の原石を加工したものである。刃部は両面から作出されている。100は両面周縁加工。101は刃部が作出されていないが、裏面の右縁辺に微細な剥離痕が連続する。103は被熱している。85・87・91・93・97・98・101は頁岩製、86・88・90・92・94・95・99・100・102・103・105は黒曜石製、89・96・104は珪質頁岩製。

スクレイパー（106～119）

928点出土しており、定形的な石器の9.6％を占める。形態は様々で、円形のもの（106）、刃部が両縁辺のもの（107～109・116）、一縁辺のもの（111～115・119）などがある。108・116・117は両縁辺の加工により尖端部ができている。刃部には内湾するもの（107・109・112）、膨らむもの（119）、直線的なもの（108・110・111）などがみられる。115は黒曜石の原石に刃部を作出したものである。118は下端部に急角度の刃部が作出されている。119は腹面の一部が被熱している。106～110・112～119は黒曜石製、111は頁岩製。

石核（120・121）

119点出土している。120・121とも黒曜石製。120は円礫、121は角礫で複数の腹面がみられる。

ピエス・エスキーユ（122）

34点出土している。122は上下の縁辺につぶれがみられる。黒曜石製。

石斧（123～146）

612点出土しており、定形的な石器の6.0％を占める。擦り切り手法で製作されたもの（123・133）、敲打痕のみられるもの（124～128・140）、打ち欠きにより成・整形されているもの（129～132・134・135・139・141）、部分的に磨かれているもの（137）、全面磨製のもの（136・138・139）がある。125は偏刃である。127は刃部の反対側にも敲打痕がみられ、破損後にクサビとして用いられたのかもしれない。129は他の石斧に比べて扁平である。133は両側縁に敲打痕が集中してみられ、装着のための調整とみられる。134・135は打ち欠き後丁寧に研磨されている。138の研磨は非常に丁寧である。140は刃部に打ち欠きがみられる。刃の再生途中のものであろうか。142～146は未成品で、いずれも製作途中に折損したとみられる。打ち欠きにより成形されているもの（142・145）、打ち欠きと敲打により成形されているもの（143・144・146）がある。123～130・132～138・140・141・143～146は泥岩製、131・139は片岩製、142は粘板岩製。

石のみ（147～151）

刃部の幅が2㎝以下のものを石のみとした。25点出土しており、定形的な石器の0.3％を占める。石斧と同じく、敲打痕のみられるもの（147）、部分的に磨かれているもの（148・150）、全面磨製のもの（151）がある。149には擦り切り痕がみられる。石斧などの製作時に生じた残片を研磨したものであろう。147～150は泥岩製、151は片岩製。

たたき石（152～156・160～172）

375点出土しており、定形的石器の3.9％を占める。棒状礫を素材としたもの（153～155・160）、扁平礫を素材としたもの（156・161～164）、円礫を素材としたもの（165～169）、くぼみ石と称されるもの（170～172）などがみられる。152は敲打面以外が研磨されており、破損した石斧を再利用したものであろう。敲打面には稜があり、すり石としても使われたことを窺わせる。扁平礫を素材としたものには、敲打痕と擦痕のみられるもの（161）もある。くぼみ石と称されるものには、凹面が2面にあるもの（170・172）、4面にあるもの（171）などがある。152・161・167は泥岩製、153・155・163・171・172は砂岩製、154・160・162・166・169・170は安山岩製、156・164は片麻岩製、165・168はカンラン岩製。

すり石（157～159・173～176）

40点出土しており、定形的な石器の0.4％を占める。扁平礫を素材としたもの（157～159・173・174）、円礫を素材としたもの（175・176）などがみられる。敲打痕がみられるものも多く、たたき石としても使われたことを窺わせる。157は使用により側縁に稜ができている。157は片麻岩製、158・159・173はカンラン岩製、174は泥岩製、175は安山岩製、176は砂岩製。

石鋸（177・178）

15点出土しており、定形的な石器の0.2%を占める。177は片面全面が滑らかで、砥石の破片を再利用したものであろう。177・178とも砂岩製。

砥石（179）

525点出土しており、定形的な石器の5.4%を占めるが、ほとんど小破片である。179は角柱状のもので、４面が擦りくぼんでいる。砂岩製。

加工痕のみられる礫（180）

180は全面に敲打痕がみられる。石斧の未成品であろうか。泥岩製。

台石もしくは石皿（181）

130点出土しており、定形的な石器の1.3%を占めるが、ほとんど小破片である。181には擦痕と剥離痕がみられ、浅くくぼんでいる。安山岩製。

玉（182～215）

81点出土しており、石製品の23.8%を占める。182～192はヒスイ製で片側からの穿孔。194・195・199・200・202・206も片側からの穿孔。196～198・203・204は両側からの穿孔とみられる。205・208～215は管玉形で両側からの穿孔。193・195・196・198～200・202～206・209～214はカンラン岩製、197・201・208は滑石製、194・207・215は不明。

垂飾（216～222）

８点出土しており、石製品の2.3%を占める。216はヒスイ製。勾玉形で片側からの穿孔。217もヒスイ製。５条の浅い溝があり、穿孔はほとんど片側からである。盛土遺構下位掲載の165番、遺物包含層掲載の53番に類似する形状である。218は滑石製。貫通孔２ヵ所と複数の線刻がみられる。219は泥岩製。線刻がみられる。220はカンラン岩製。両側から穿孔されている。紐ずれの痕がみられる。221もカンラン岩製。貫通孔が４ヵ所みられるが、２ヵ所は破損している。穿孔途中の孔も２ヵ所ある。222は側縁に複数の細かい刻みがみられる。凝灰岩製。

異形石器（223～238）

91点出土しており、石製品の26.7%を占める。形態は多様であるが、三日月形のもの（229・230）、リボン形のもの（232～236）がよくみられる。226や235は石錐のつまみ部にも似た形状である。233のように一端が磨耗したものもある。すべて黒曜石製。

黒色物質が付着した小円礫（239・240）

12点出土しており、石製品の3.5%を占める。239・240は、小豆大の小円礫にアスファルト（？）とみられる黒色物質が環状に付着している。いずれも珪岩製。

軽石製品（241～244）

241～244はいずれも貫通孔のみられる軽石製品である。242は両面に複数の刺突が加えられ、側縁には３条の線刻がめぐる。243・244は先端部に穿孔されている。

赤彩礫（245）

245はメノウの円礫全体に赤色顔料が付着している。

石棒（246～258）

89点出土しており、石製品の26.1%を占める。246は頭部に段が２列めぐり、段には刻みが加えられる。断面は扁平ぎみである。247は頭部に刻みが加えられる。248は段に沈線と刻みがみられる。249の頭部には格子目状の文様が描出されている。首の部分は刻みなどの入った段がめぐる。250は頭部に刻みなどがみられない。251は刻みのついた段や線刻がみられる。252は一方の端部である。253・

254・258は棒部分の破片。255は首の部分に線刻が２条めぐる。256は端部に両側から穿たれた孔があり、線刻がみられる。棒部分の断面は円形であるが、端部に近づくにつれ扁平となる。257は首の部分に刻みと沈線の入った段がめぐる。246・247・252・254・255・257は片岩製、248・249・251・253・256・258は泥岩製、250は砂岩製。

盛土遺構上位の焼土出土の石器・石製品

石鏃（259～270）

259～270は有茎鏃である。259・260・263・264・266・267・270は凸基、261・262・268は平基。269は凹基。265は小さく実用品とは思えない。すべて黒曜石製。

石錐（271）

271はつまみ部をもつ棒状のもの。頁岩製。

つまみ付きナイフ（272）

272は横型である。黒曜石製。

スクレイパー（273～275）

273～275は素材の一縁辺に刃部が作出されている。すべて黒曜石製。

玉（276）

276はヒスイ製の平玉で、片側からの穿孔である。

石斧（277～279）

277・278とも敲打痕がみられる。279は未成品。すべて泥岩製。

たたき石（280・281）

280は扁平な円礫の側縁に敲打痕がみられる。281はくぼみ石と称されるもの。280は泥岩製、281は砂岩製。

砥石（282）

282は板状の素材の一面に擦痕がみられる。非常に滑らかである。安山岩製。

加工痕のみられる礫（283）

283は擦り切り手法がみられる。石斧製作の途中で折損したものであろう。泥岩製。

盛土遺構上位の礫集中出土の石器等

盛土Ｄの７層から石斧などが11点まとまって出土している（ＲＭＤＳ１）。

石斧（284・285・287～293）

284・285・288・290～293は未成品。288以外は僅かな加工のままである。287は敲打痕のみられるもの。偏刃である。289は打ち欠きにより成・整形されている。すべて泥岩製。

石器素材（294）

294は大型の棒状礫で、石器の素材とみられる。石質は泥岩。

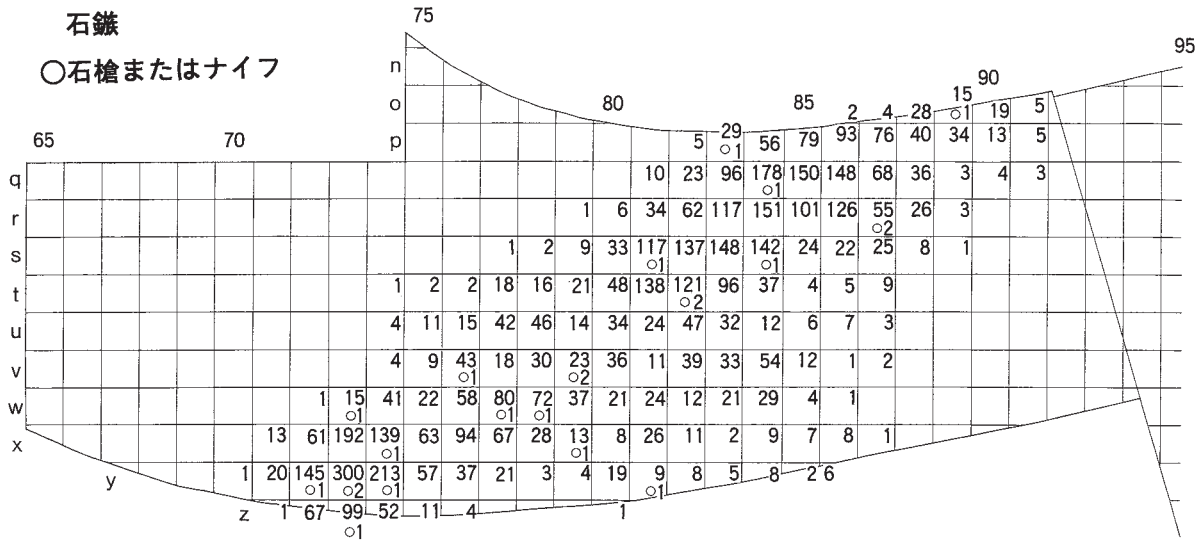
礫（286）

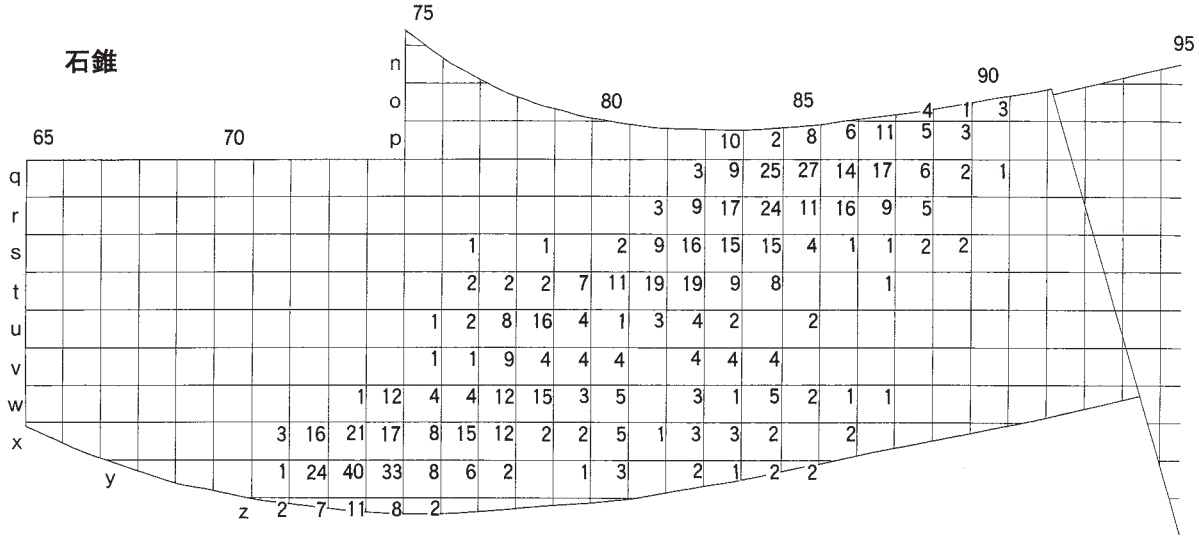
286には加工痕、使用痕などがみられない。石質はカンラン岩。

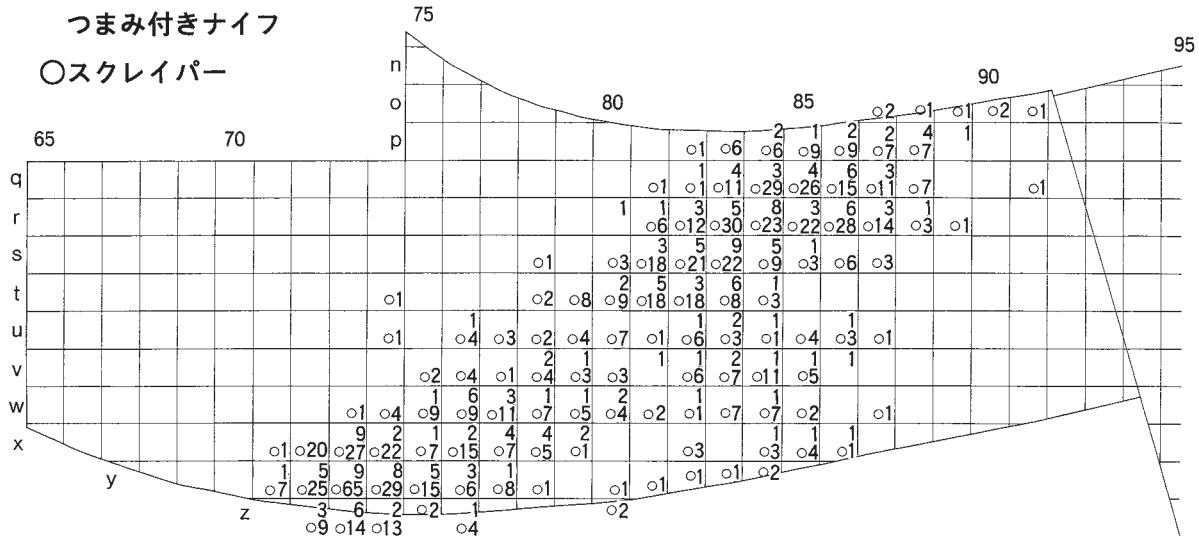
盛土遺構上位のフレイク・チップ集中出土の石器

石鏃（295・296）

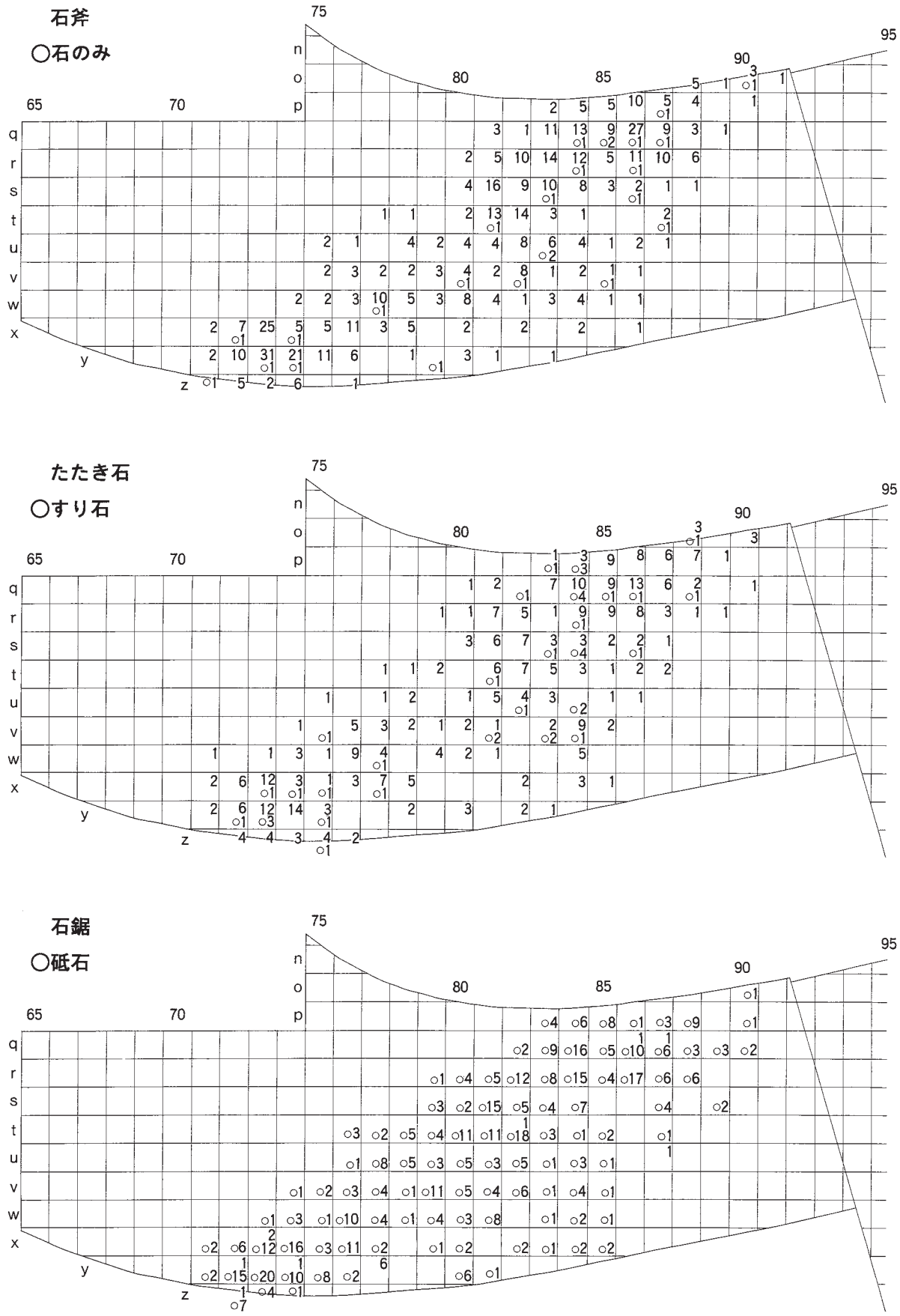
295・296とも有茎凸基。どちらも黒曜石製。



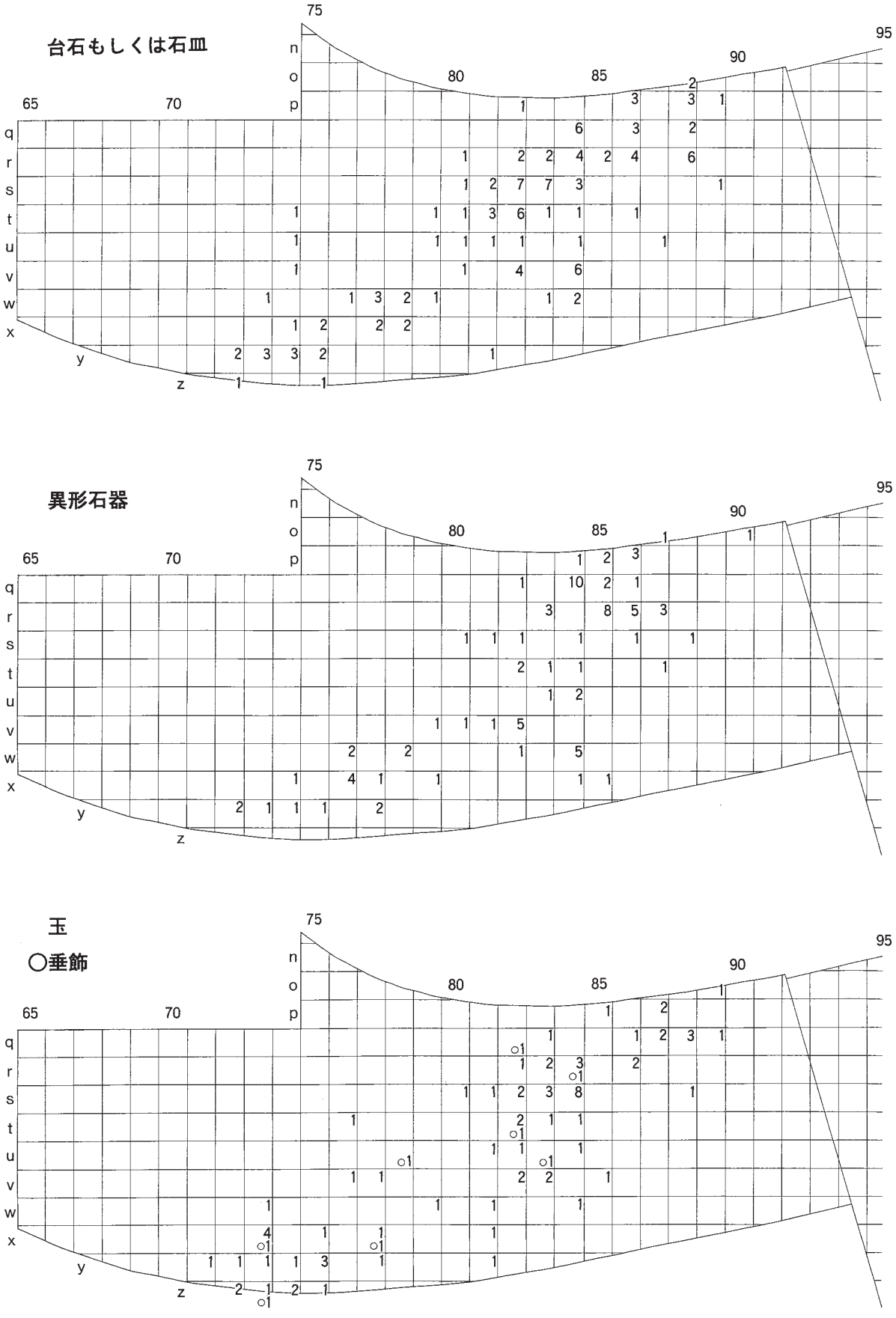




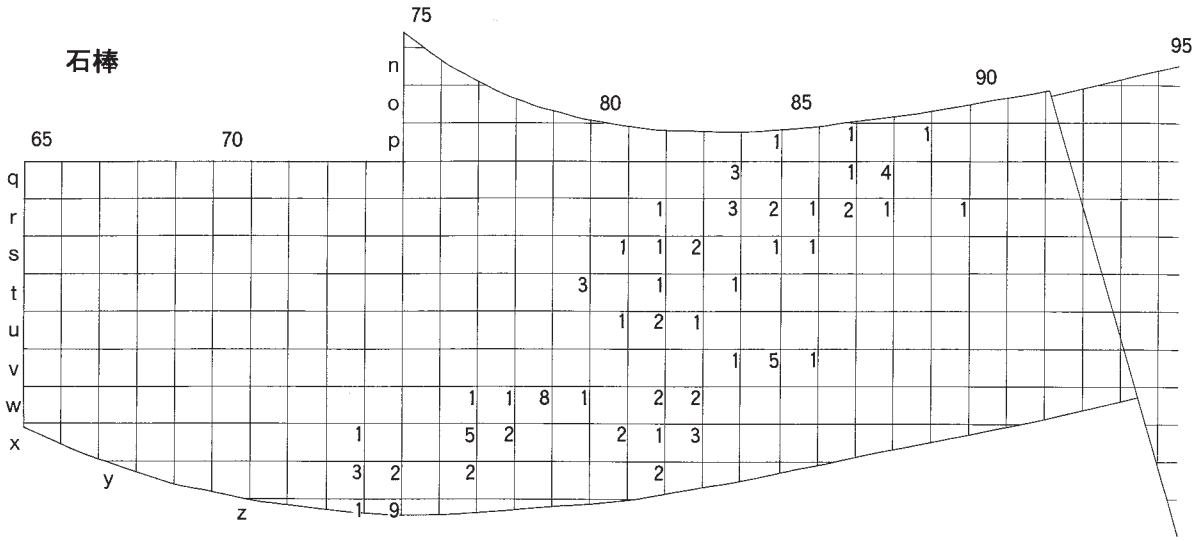
図Ⅴ－190　盛土遺構上位の発掘区別石器点数（１）

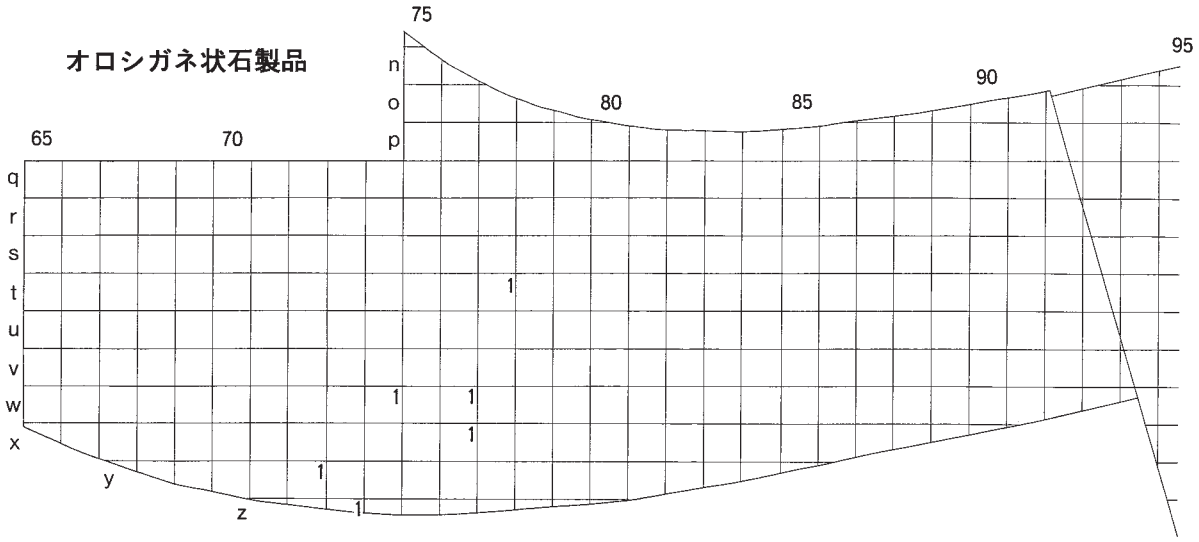


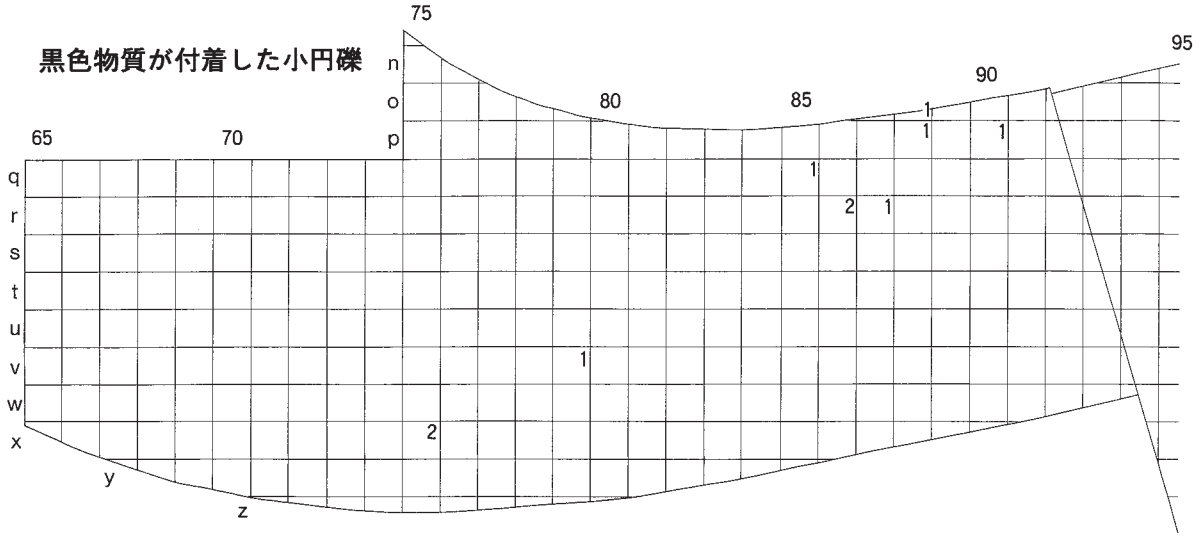
図Ⅴ－191　盛土遺構上位の発掘区別石器点数（２）



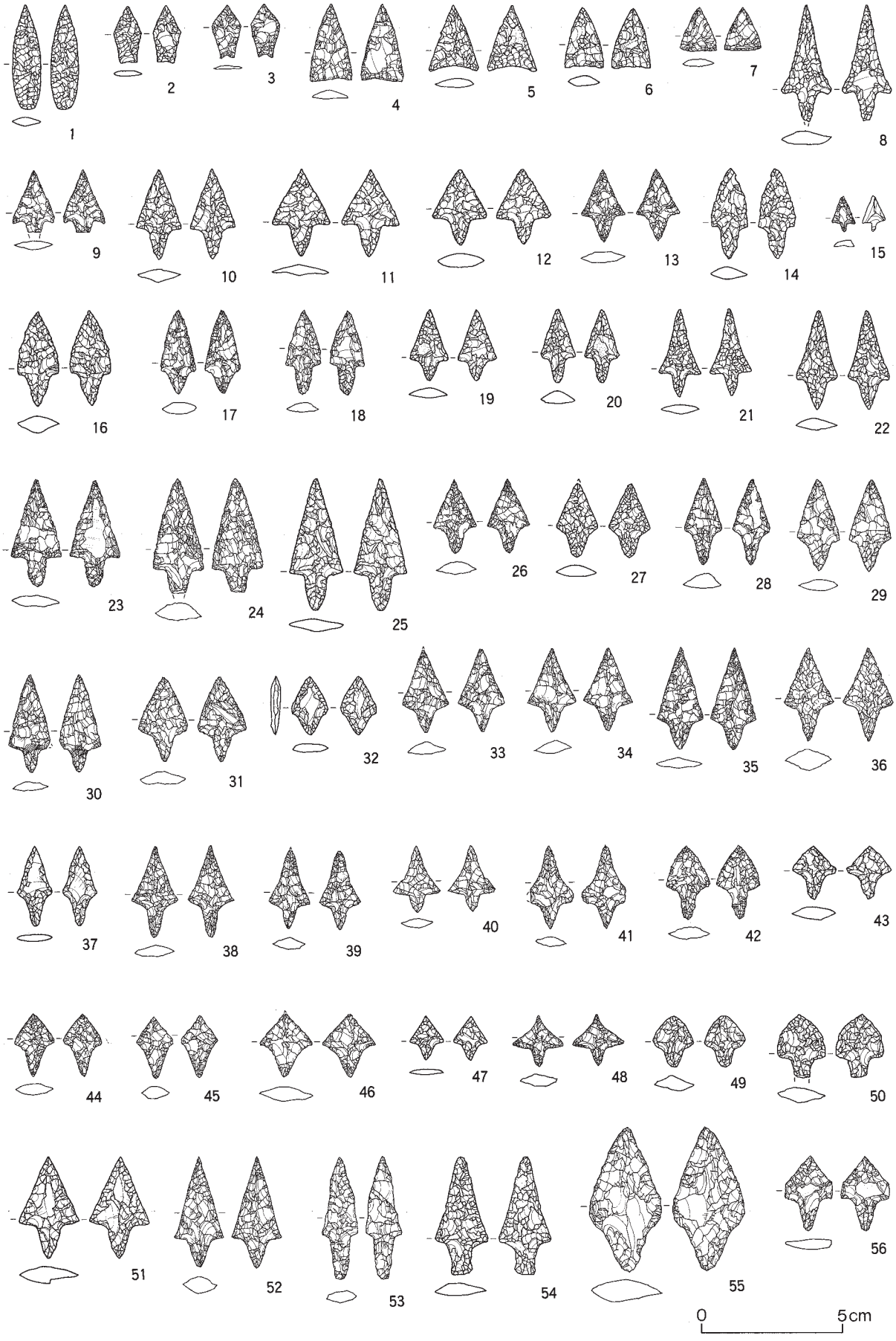
図Ⅴ－192　盛土遺構上位の発掘区別石器点数（３）



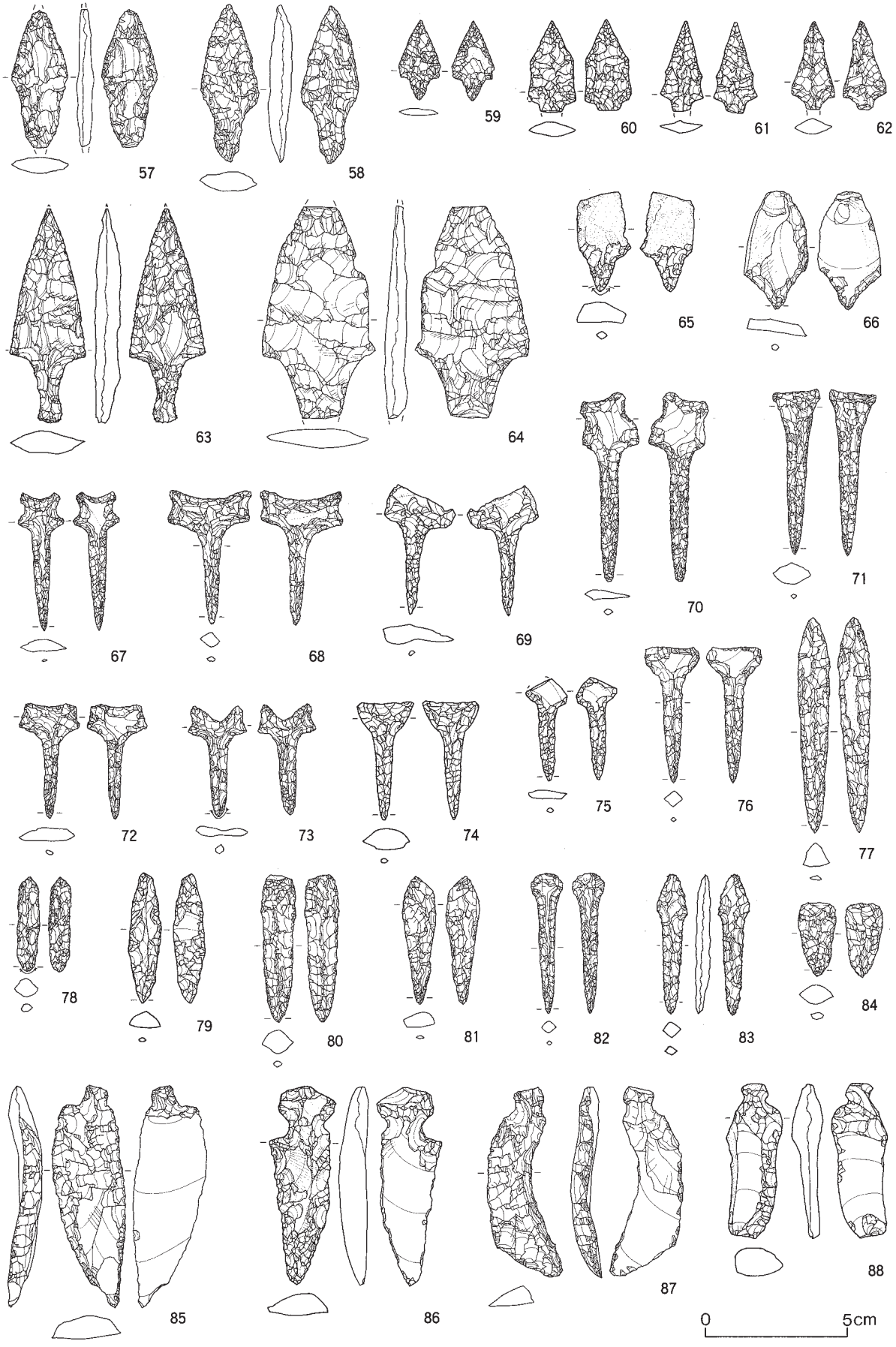




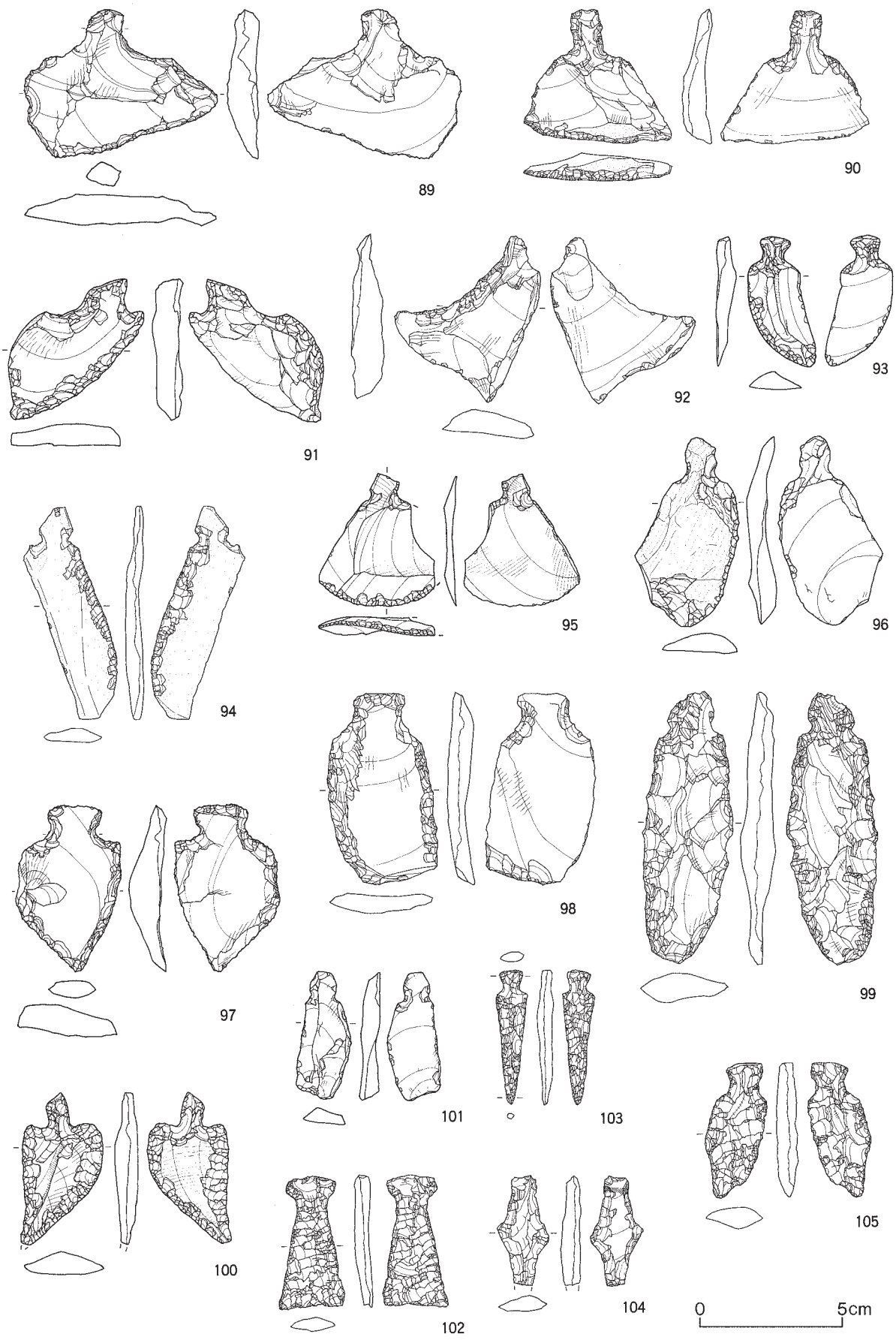
図Ⅴ－193　盛土遺構上位の発掘区別石器点数（４）



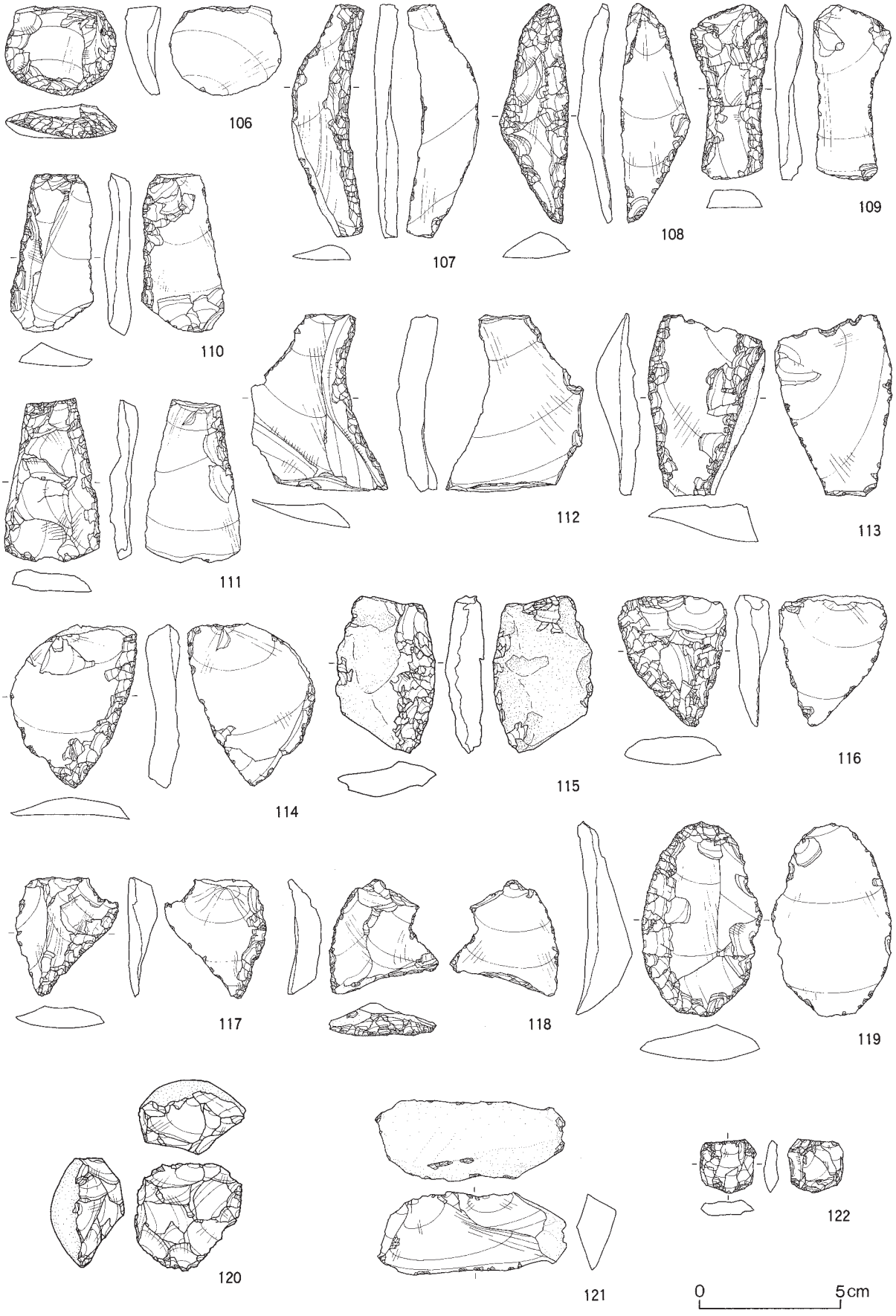
図Ⅴ－194　盛土遺構上位出土の石器（１）



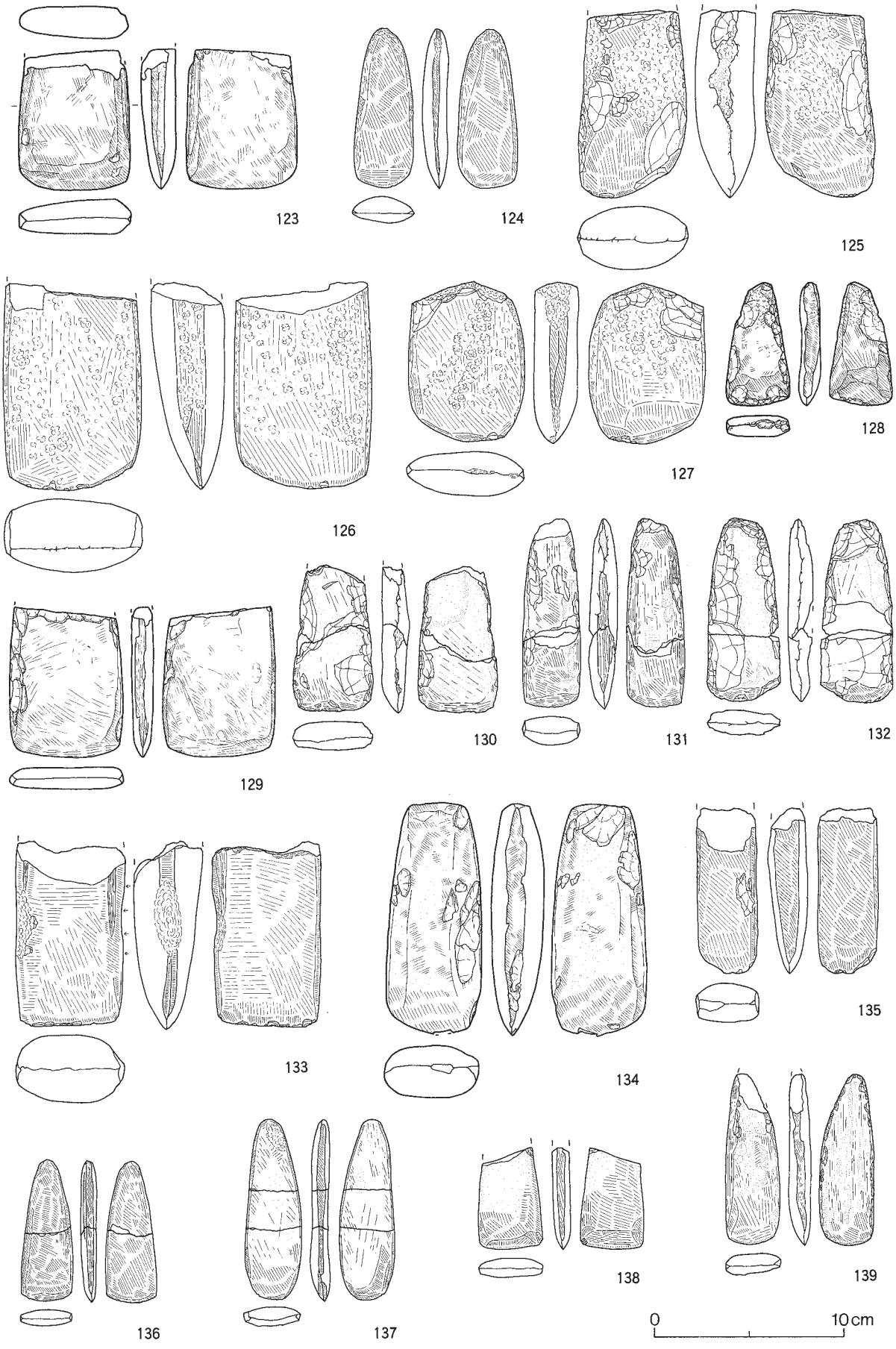
図Ⅴ－195　盛土遺構上位出土の石器（２）



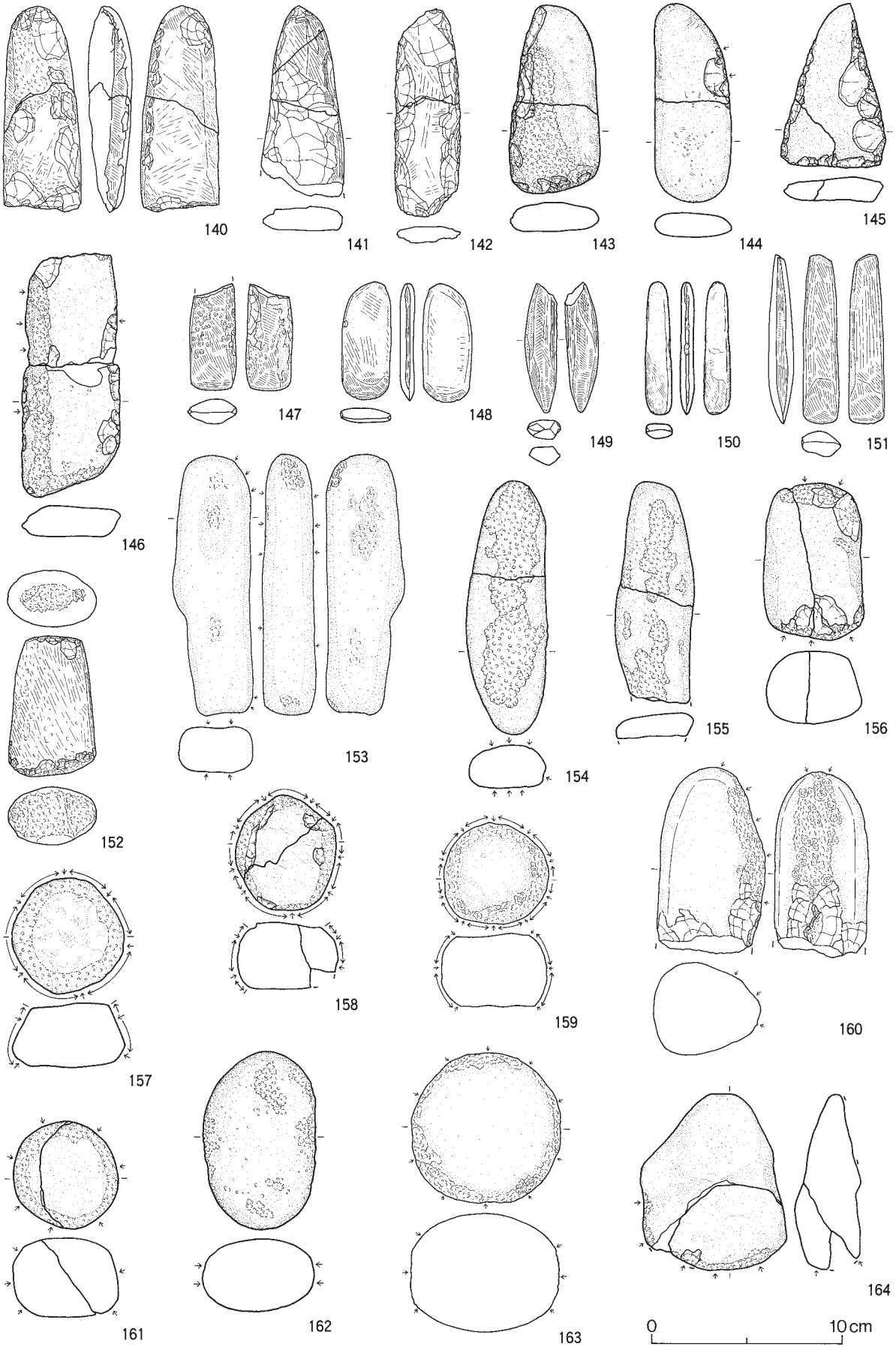
図Ⅴ－196　盛土遺構上位出土の石器（３）



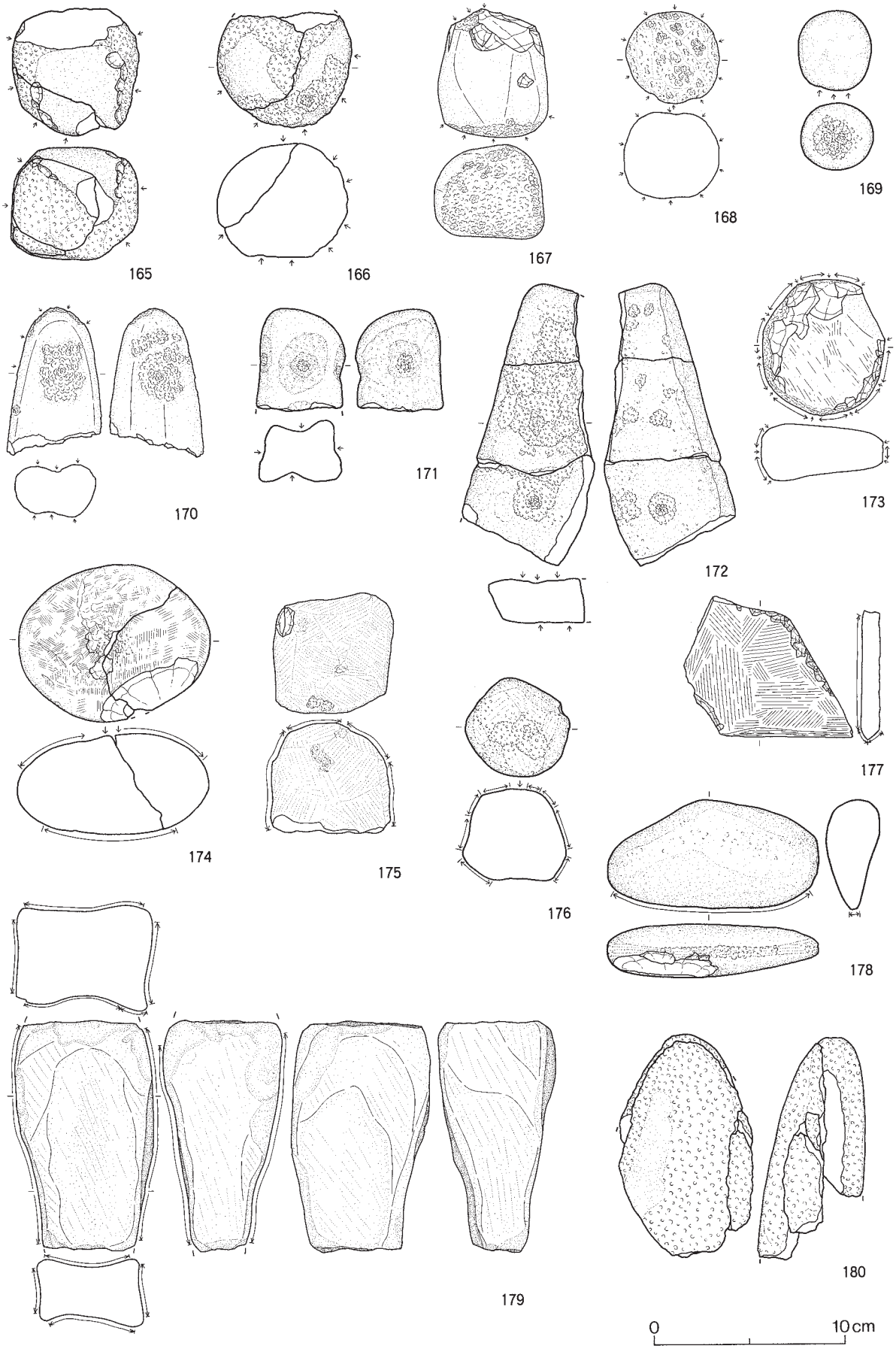
図Ⅴ－197　盛土遺構上位出土の石器（４）



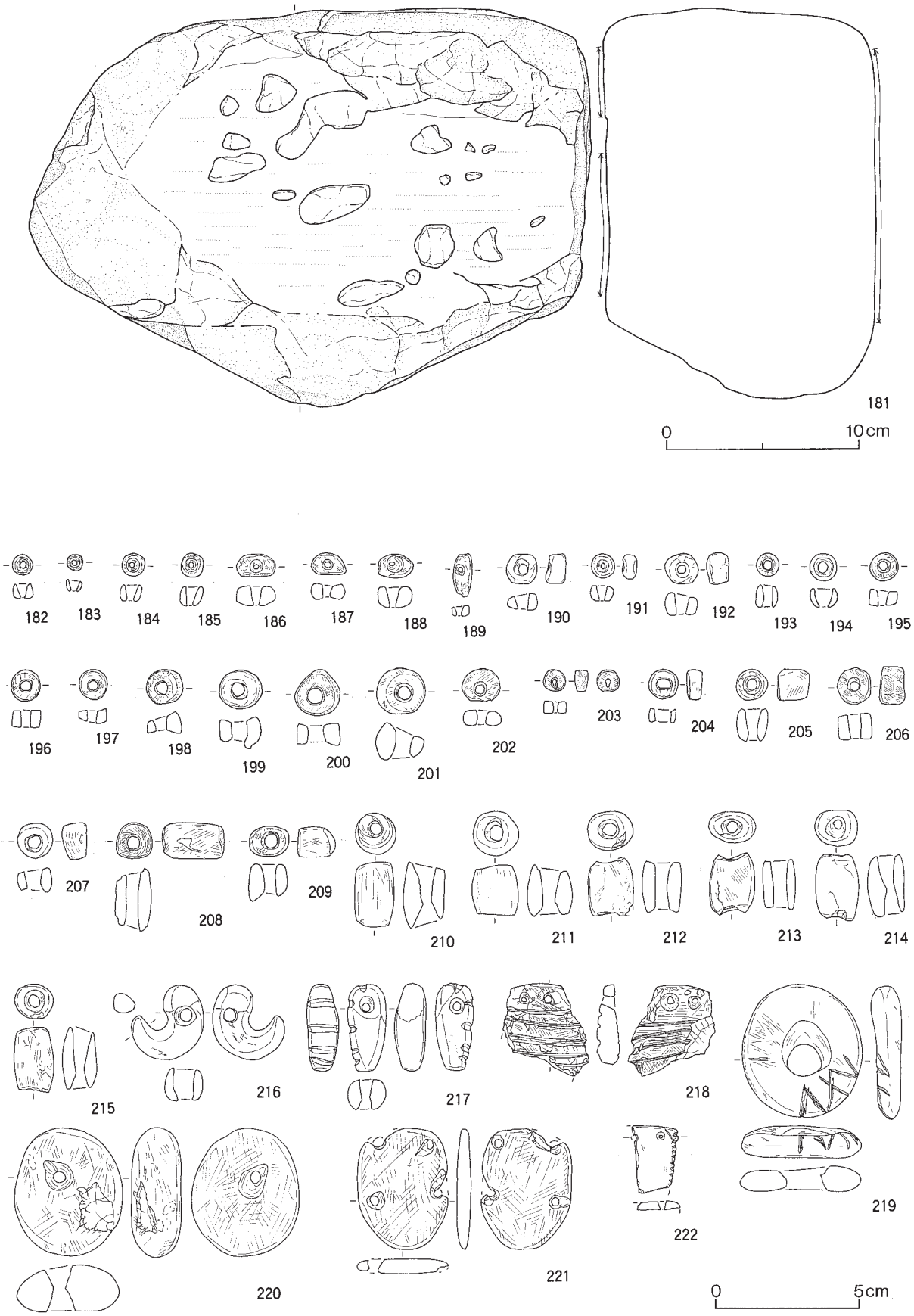
図Ⅴ－198　盛土遺構上位出土の石器（５）



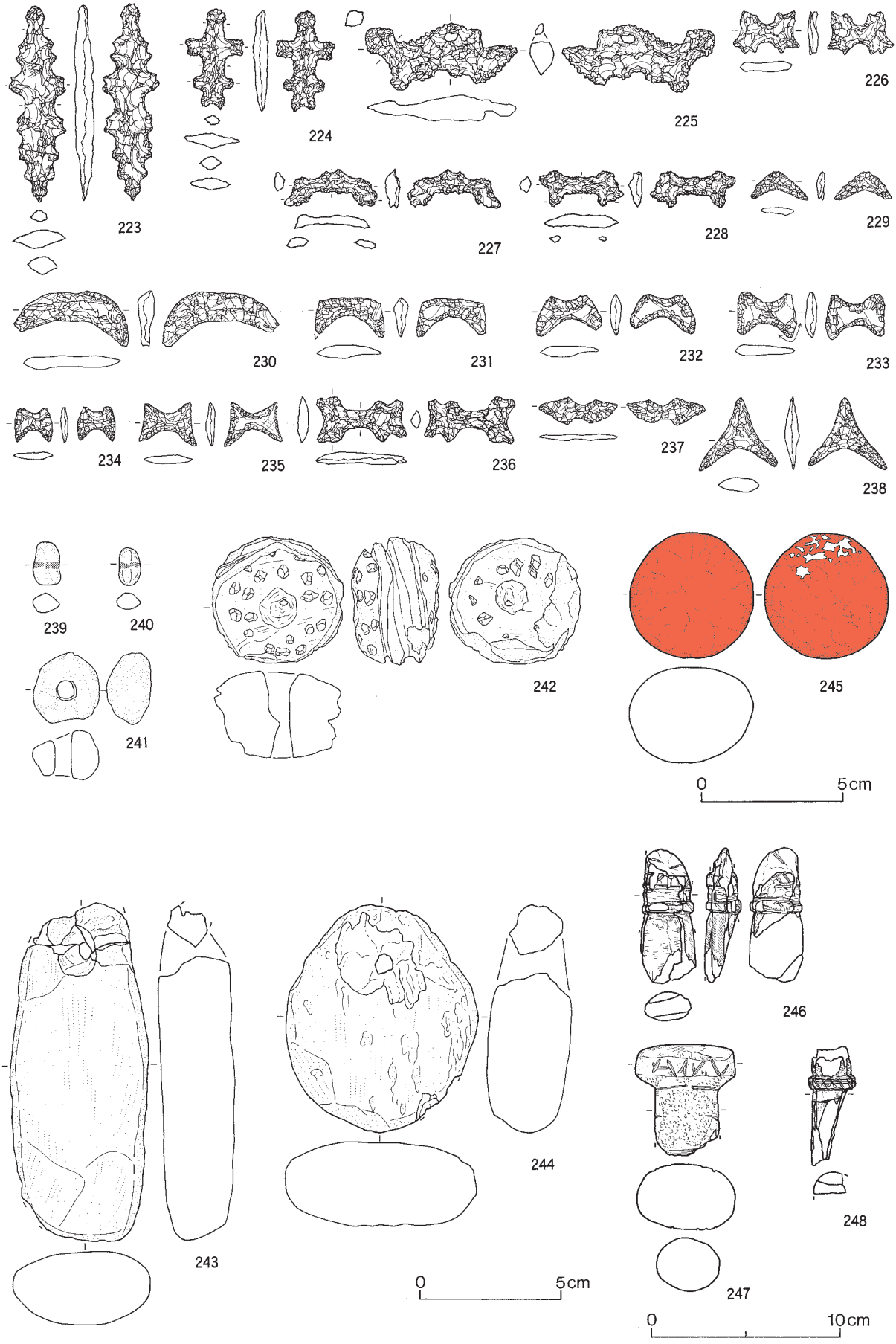
図Ⅴ－199　盛土遺構上位出土の石器（６）



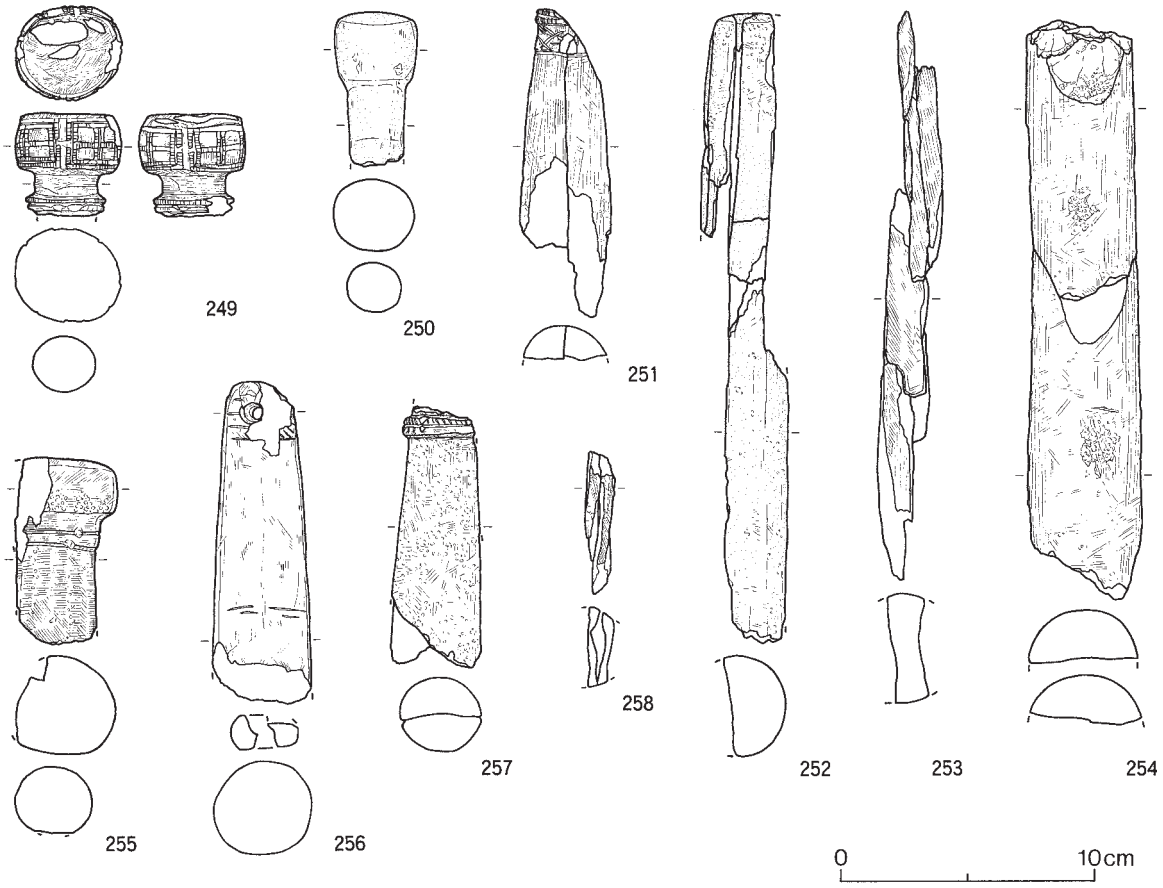
図Ⅴ－200　盛土遺構上位出土の石器（７）



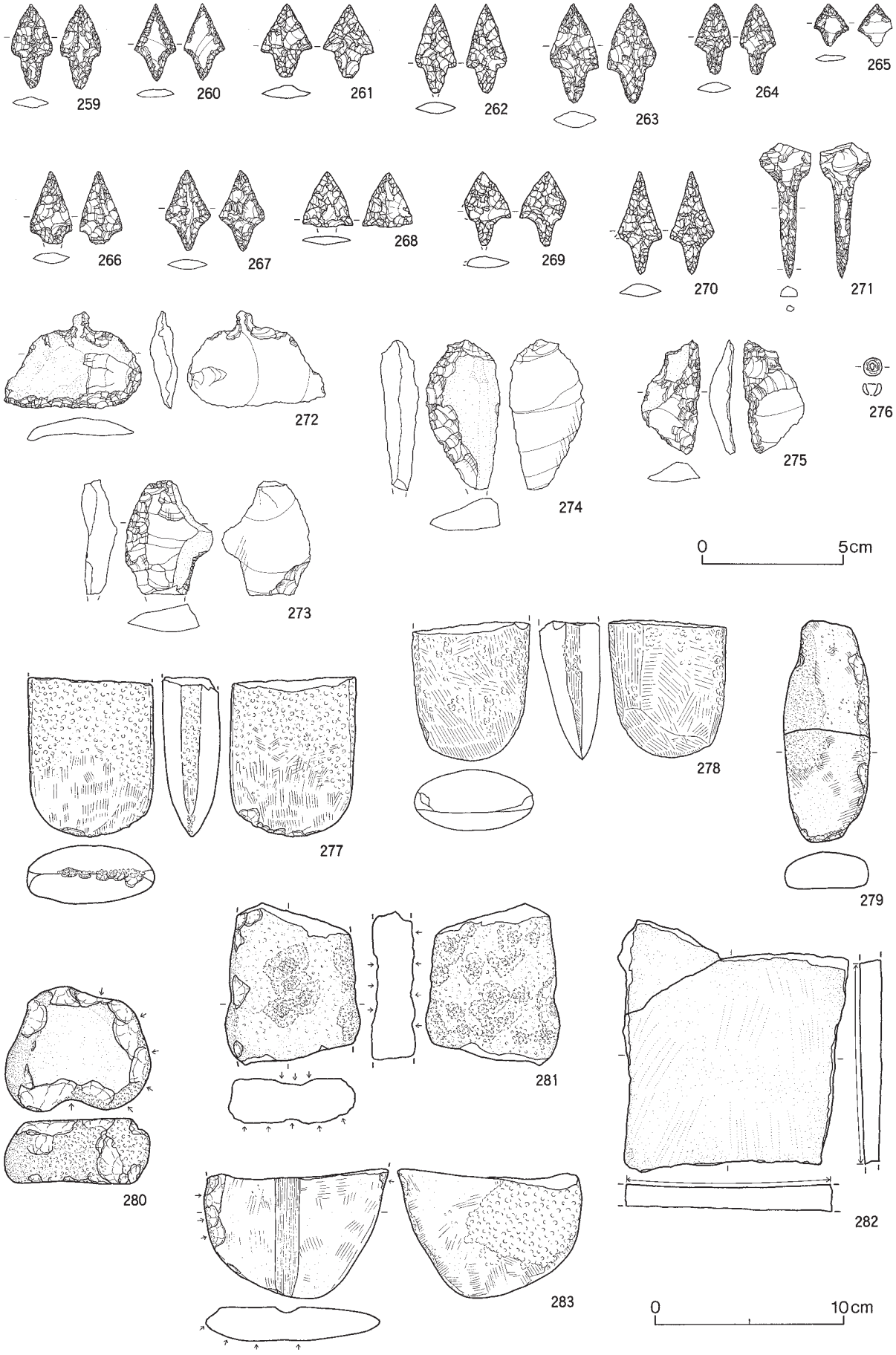
図Ⅴ－201　盛土遺構上位出土の石器（８）



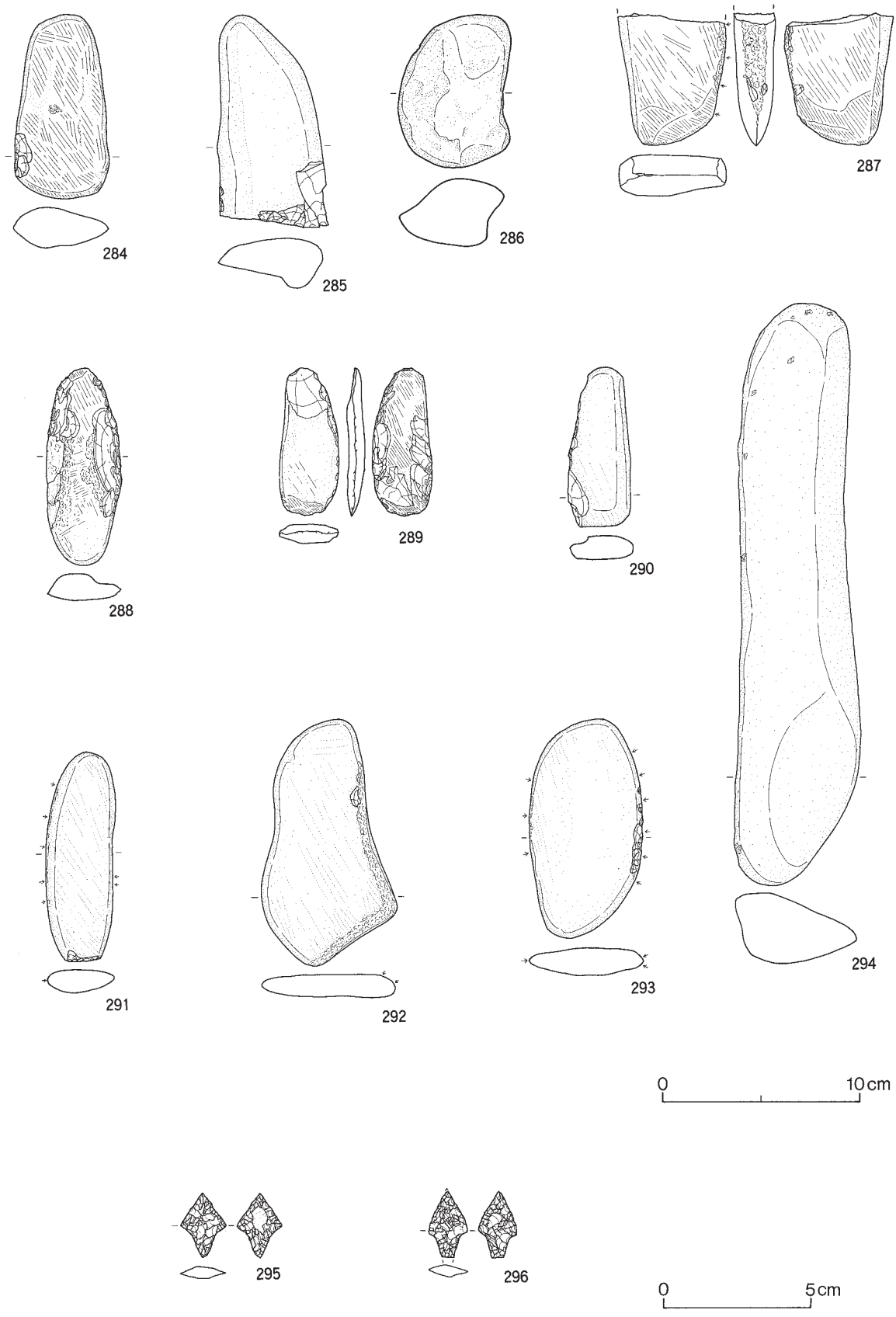
図Ⅴ－202　盛土遺構上位出土の石器（９）



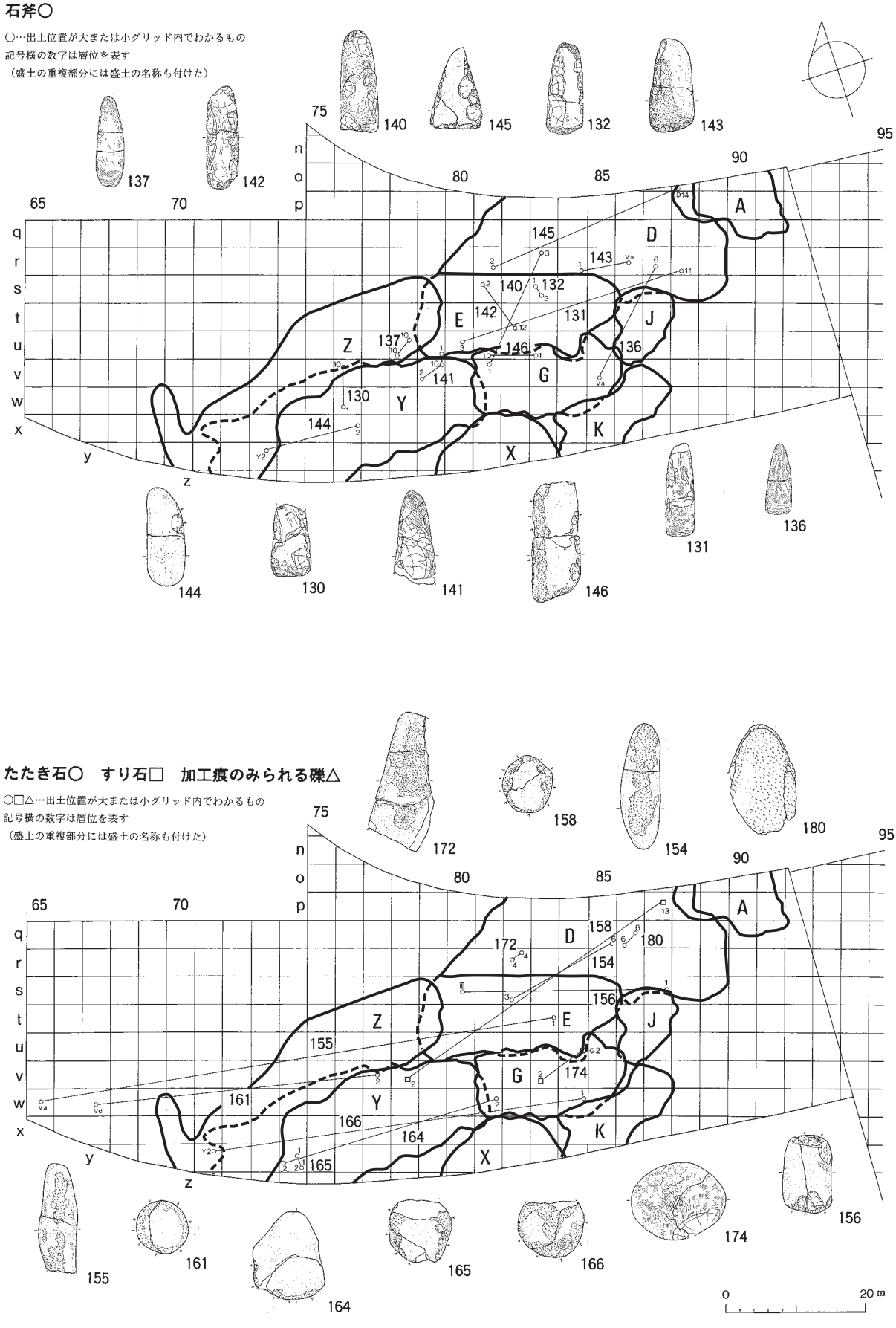
図Ⅴ－203　盛土遺構上位出土の石器（10）



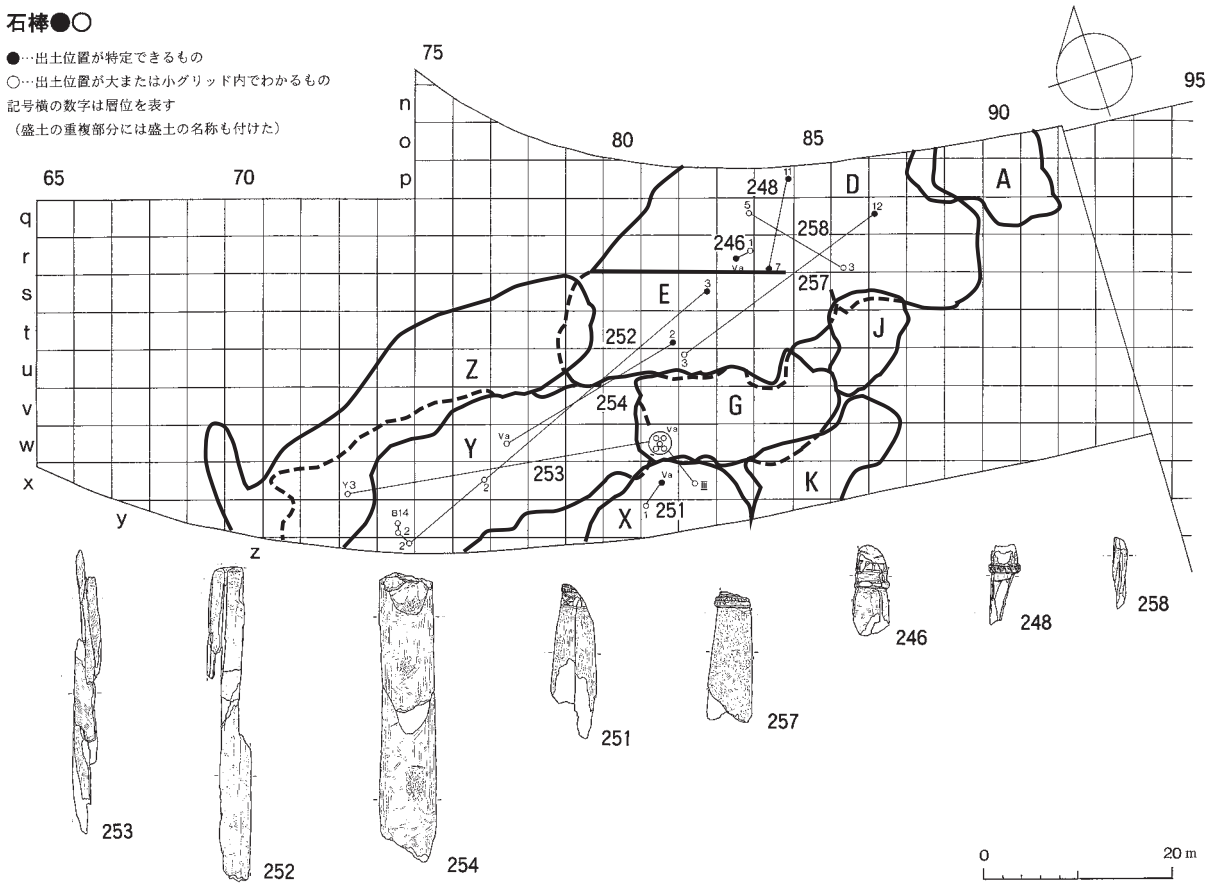
図Ⅴ－204　盛土遺構上位出土の石器（11）焼土



図Ⅴ－205　盛土遺構上位出土の石器（12）集石等



図Ⅴ－206　盛土遺構上位の石器接合図（１）



図Ⅴ－207　盛土遺構上位の石器接合図（２）

（２）盛土遺構下位出土の石器・石製品（図Ⅴ－208～225　表Ⅴ－72～75　図版279～286）

盛土遺構下位からは、191,029点の石製遺物が出土している。内訳は、定形的な石器（Ⅰ～Ⅷ群）6,651点、加工痕、使用痕のみられる剥片や礫（Ｘ群）2,090点、石核・剥片類（ＸⅠ群）172,590点、礫9,434点、石製品264点である。定形的な石器の中では、盛土遺構上位と同じく、石鏃が3,464点と突出して多い。

分布図は定形的な石器と石製品の一部について、盛土遺構下位の各層をまとめて表した。接合関係図は掲載した接合石製遺物について作成した。

石鏃（１～33）

3,464点出土しており、定形的な石器の52.1％を占める。有茎と無茎に大きく分けられるが、有茎鏃が断然多い。無茎鏃には、薄身で柳葉形のもの（１・２・33）、薄身で五角形のもの（３・４）三角形で凹基のもの（５・７）、三角形で平基のもの（６・８）などがある。菱形のもの（９）もみられる。有茎鏃の基部形態には、平基、凸基、円基がある。平基、凸基ともに多いが、凸基の方がやや多い。有茎平基鏃（10～16）の縁辺をみると、丸みを帯びるもの（10）や、内湾するもの（11～13・16）直線的なもの（14・15）がある。有茎凸基鏃（17・18・21～32）の縁辺も、直線的なもの（17・18・21・26・27～32）や内湾するもの（22～24）がみられる。19・20は円基で、縁辺は内湾する。28は小さく実用品とは思えない。１～５・７～22・24～33は黒曜石製。６・23は珪質頁岩製。

石槍またはナイフ（34・35）

50点出土しており、定形的な石器の0.8％を占める。34・35とも有茎である。35は茎部端に対向する僅かな抉りがある。遺物包含層掲載の16番と形状が類似する。どちらも黒曜石製。

石錐（36～48）

640点出土しており、定形的な石器の9.6％を占める。素材の一部に錐部を作出したもの（36・37・48－２）、つまみ部をもつ棒状のもの（38～41）、棒状のもの（42～46）、石鏃（有茎凸基）を転用したもの（47）などがある。41は棒状であるが、基部にくびれ部分がある。42は黒曜石の原石を加工したもの。43・44は両端に錐部がある。48－１は石錐とフレイクが接合したものである。36・37・41・42・44～47は黒曜石製、38～40・43・48は頁岩製。

つまみ付きナイフ（49～62）

152点出土しており、定形的な石器の2.3％を占める。59のみ横型で他は縦型である。刃部の位置などは様々で、片面全面加工で裏面の縁辺にも加工がみられるもの（49・55）、片面周縁加工のもの（52～54・57）、両面加工のもの（58・60・61）、両面周縁加工のもの（50・51・59・62）、縁辺に鋸歯状の加工がみられるもの（56）などがある。49～51・54～57・60・61は黒曜石製、52・53・58・59・62は頁岩製。

スクレイパー（63～77）

805点出土しており、定形的な石器の12.1％を占める。黒曜石の原石を加工したもの（63）、円形で急角度の刃部をもつもの（64）、縁辺に抉入がありそれを刃部とするもの（65）、急角度の刃部をもつもの（66）、縦長で縁辺に刃部をもつもの（67・68）、素材の形状を大きく変えていないもの（69～77）などがある。刃部の形状は、直線的なもの（67・69・73・75）、内湾するもの（67・68・70・71）、膨らむもの（74・76・77）などがみられ、両縁辺からの加工により、尖端となるもの（72・75・76）もある。63～75は黒曜石製、76は頁岩製、77は珪質頁岩製。

石核（78・79）

78・79とも黒曜石製である。78は角礫の原石に、79は円礫の原石に複数の腹面がみられる。

石斧（80～108）

532点出土しており、定形的な石器の8.0％を占める。擦り切り手法によって製作されたもの（80）、敲打痕がみられるもの（81～87）、打ち欠きにより整形されているもの（88～94・96・107・108）、全面磨製のもの（95・97～101）がある。96は両端に刃部が作出されている。100は破損部に敲打痕がみられ、刃部はつぶれている。クサビとして再利用されたのかもしれない。97・99・108には黒色物質が付着している。108は片面に帯状に付着しており、装着痕とみられる。102～106は未成品で、刃部を作出する前に破損したものとみられる。80～94・96～107は泥岩製、95・108は片岩製。

石のみ（109・110）

17点出土しており、定形的な石器の0.3％を占める。109は棒状礫を研磨して刃部を作出している。110は全面が研磨されており、両端に刃部がみられる。どちらも泥岩製。

たたき石（111～131）

325点出土しており、定形的な石器の4.9％を占める。棒状礫を素材としたもの（118・131）扁平礫を素材としたもの（111～112・115・119～125・128・130）、円礫を素材としたもの（113・114・116・117・126・127・129）などがある。111には赤色顔料が付着しており、ベンガラなどを潰す作業を行ったとみられる。115・116は、接合状況から破損後も使用されたと判断される。118は側縁に敲打痕、両端に敲打痕と擦痕がみられる。123にも敲打痕と擦痕がみられる。129の側縁には敲打痕が帯状にみられる。130・131は敲打痕の集中によりくぼみができている。111・113・114・117・126・128～130は安山岩製、112・119・122・は片麻岩製、115・116・118・125は泥岩製、120・123・124・127はカンラン岩製、121・131は砂岩製。

すり石（132～137）

57点出土しており、定形的な石器の0.9％を占める。断面が三角形の礫の稜をすったもの（132・133）、扁平礫を素材としたもの（134～137）などがある。132・135は砂岩製、133は安山岩製、134・137は片麻岩製、136は泥岩製。

石鋸（138・139）

12点出土しており、定形的な石器の0.2％を占める。138は一方の側縁とその周囲に、139は両側縁とその周囲に擦痕がみられる。どちらも砂岩製。

砥石（140・141）

514点出土しており定形的な石器の7.7％を占めるが、ほとんど小破片である。140～141は板状のもの。140・141の研磨面は擦りくぼんでおり、溝がみられる。どちらも砂岩製。

台石もしくは石皿（142・143）

83点出土しており定形的な石器の1.2％を占めるが、ほとんど小破片である。142の表面は滑らかで敲打痕がみられる。煤のような黒色物質が付着している。143は側縁が敲打によって整えられている。142は砂岩製、143は安山岩製。

加工痕のみられる礫（144～147）

241点出土している。144は擦り切り手法がみられるもので、石斧製作の途中で折損したものであろう。145には黒色物質の痕跡がみられる。146には打ち欠き、147には打ち欠きと敲打痕がみられる。144～146は泥岩製、147は片岩製。

接合した礫（148～150）

礫は9,434点出土しているが、このうち接合したものの一部を掲載した。148は珪岩。149・150も珪岩で同一個体とみられる。表面がやや赤っぽく、被熱しているかもしれない。

玉（151～162）

20点出土しており、石製品の7.6％を占める。151～156はヒスイ製で、すべて片側から穿孔されている。157は両側の孔の径が同じ。158～162は両側からの穿孔とみられる。157～160はカンラン岩製、161・162は滑石製。

装飾品（163）

163は三日月形の装飾品。カンラン岩製。

垂飾（164～166）

３点出土しており、石製品の1.1％を占める。164・166は全面に擦痕がみられ、両側から穿孔されている。165には細い線刻が複数みられる。穿孔は片側からである。164、166はカンラン岩製。165は蛇紋岩製。

黒色物質が付着した小円礫（167～170）

68点出土しており、石製品の25.8％を占める。167～170には、アスファルト（？）とみられる黒色物質が環状に付着している。167・168は珪岩製、170は泥岩製。169は不明。

異形石器（171～175）

42点出土しており、石製品の15.9％を占める。172のようなリボン形の形態が多い。174・175は三日月形石器と称されるものである。すべて黒曜石製。

石棒（176～181）

55点出土しており、石製品の20.8％を占める。176・177は敲打・研磨により頭部を作出している。頭部には線刻がみられる。176の頭頂部には１条の浅い溝が、177には交差する線刻がみられる。176は頭頂部から３方向にたたき割られている。実測図は接合後のものである。178～181は棒部分の破片。いずれも敲打の後、研磨されている。181は一方の端部である。176～179は泥岩製、180・181は片岩製。

オロシガネ状石製品（182～188）

18点出土しており、石製品の6.8％を占める。182は南側盛土と北側盛土のものが接合している。『キウス４遺跡（８）』の図176－225に掲載されているが、さらに１片接合（左上の破片）したため改めて掲載した。表面全体が浅くくぼんでいる。183の側縁は張り出す。184・185は縁が段状になっている。186にも張り出しがみられ、表面全体が浅くくぼむ。187の表面は平坦である。188は側縁の張り出し、貫通孔、脚がみられる。貫通孔は主に裏側から穿たれている。表面全体は浅くくぼんでいる。すべて溶結凝灰岩製。

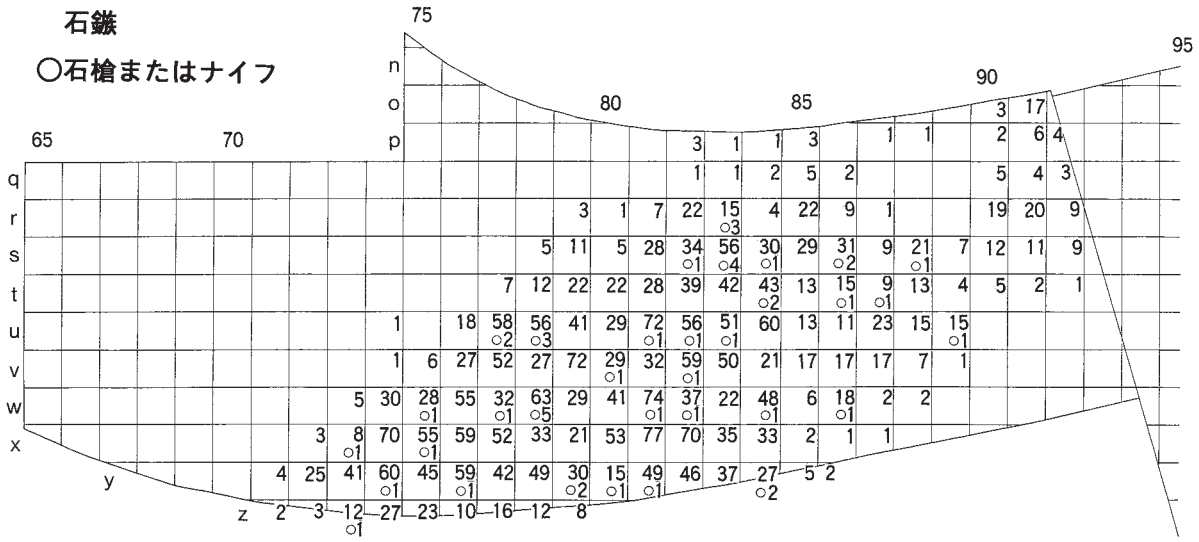
石冠（189）

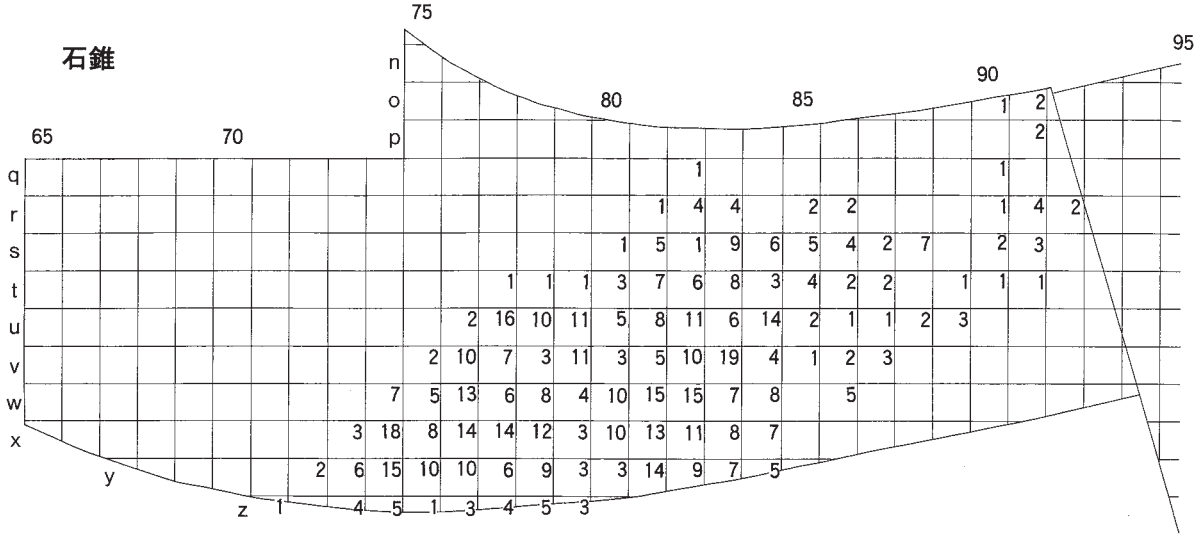
２点出土したものが接合した。189の基底部は反っており、その中央はくぼめられている。長軸両端もくぼむ。頭部は打ち欠きにより破損している。安山岩製。

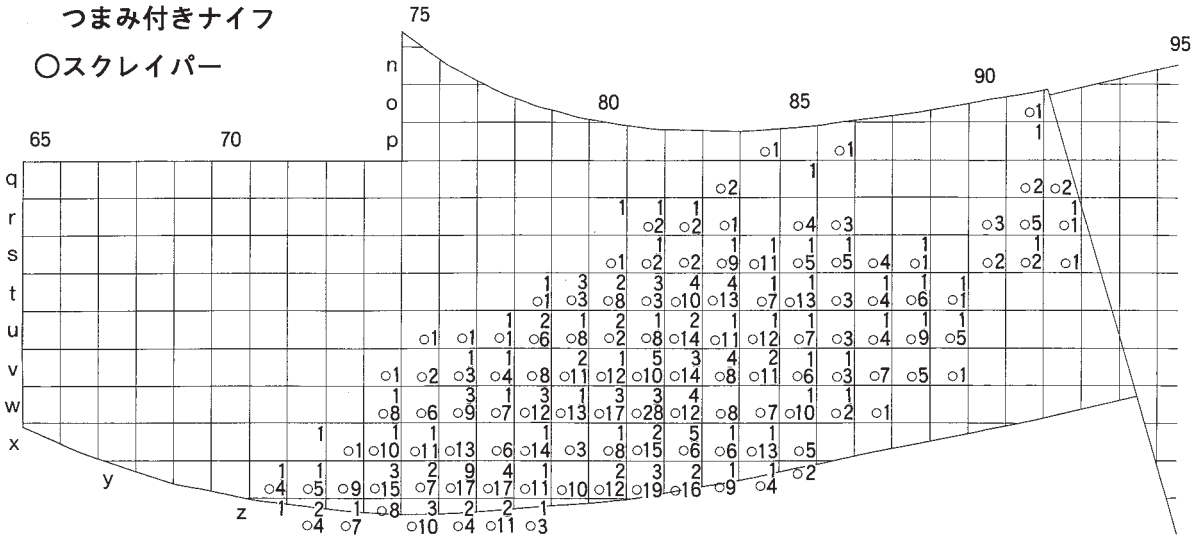
盛土遺構下位のフレイク・チップ集中出土の石器

石鏃（190）

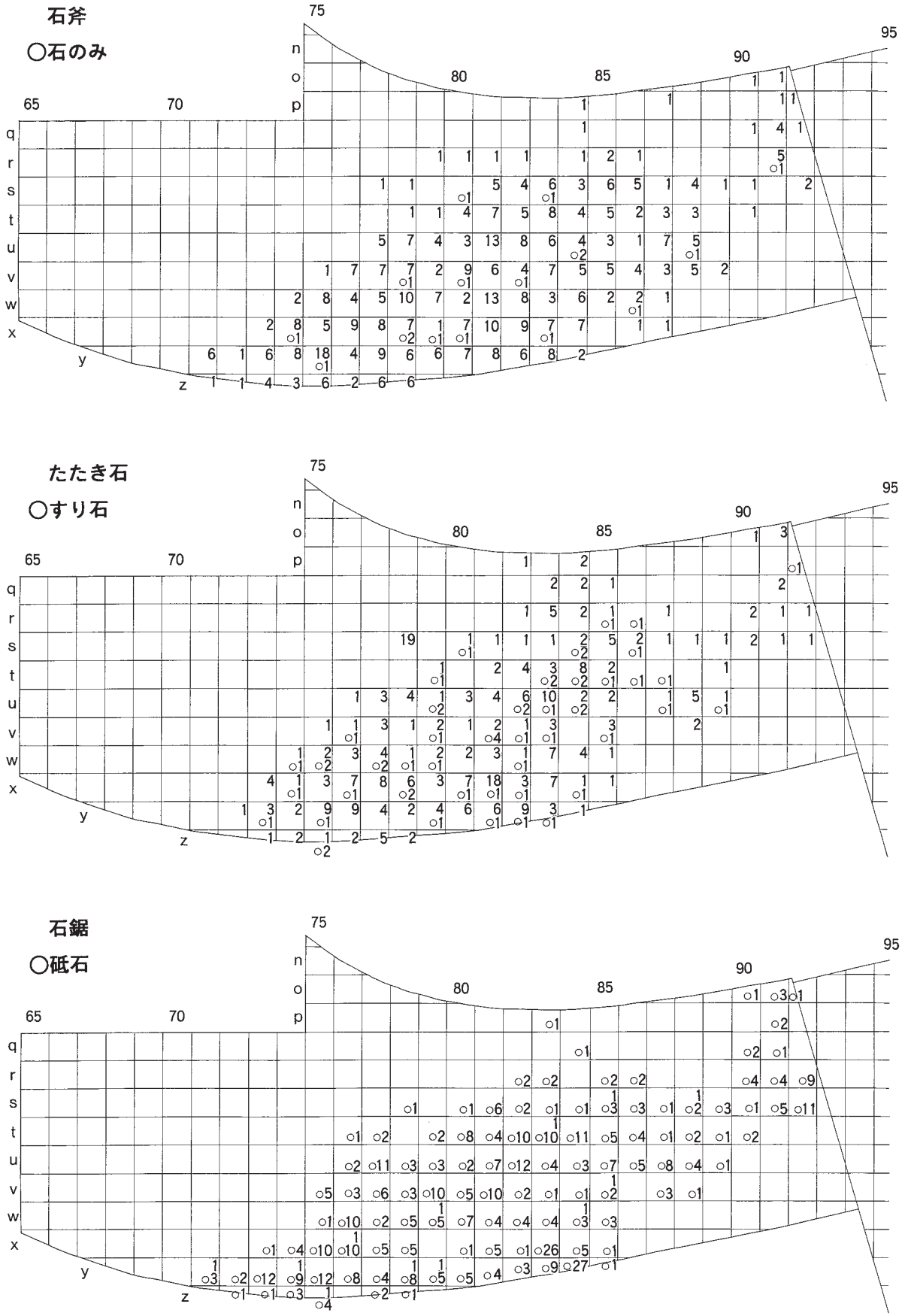
190の基部は明瞭でない。黒曜石製。



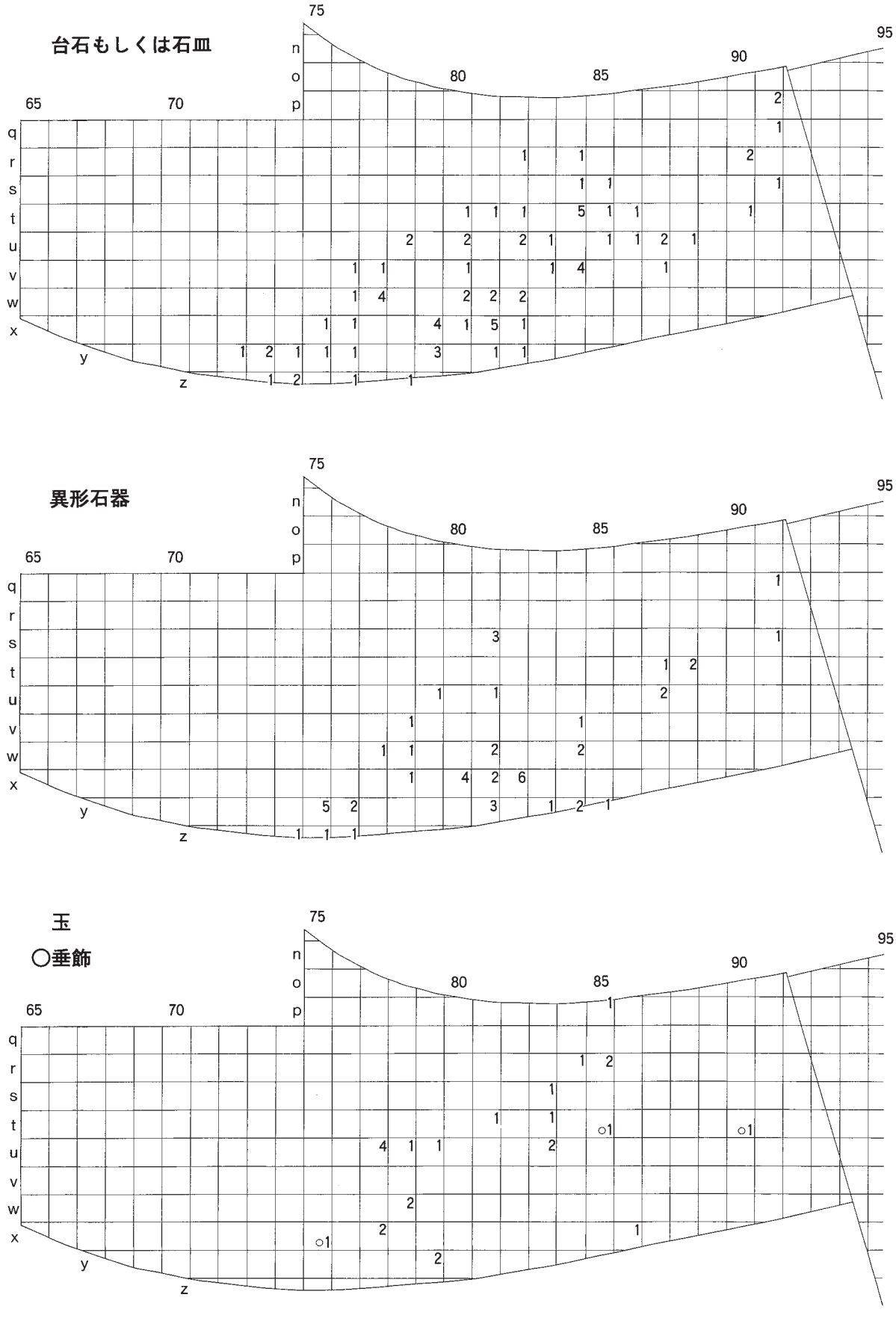




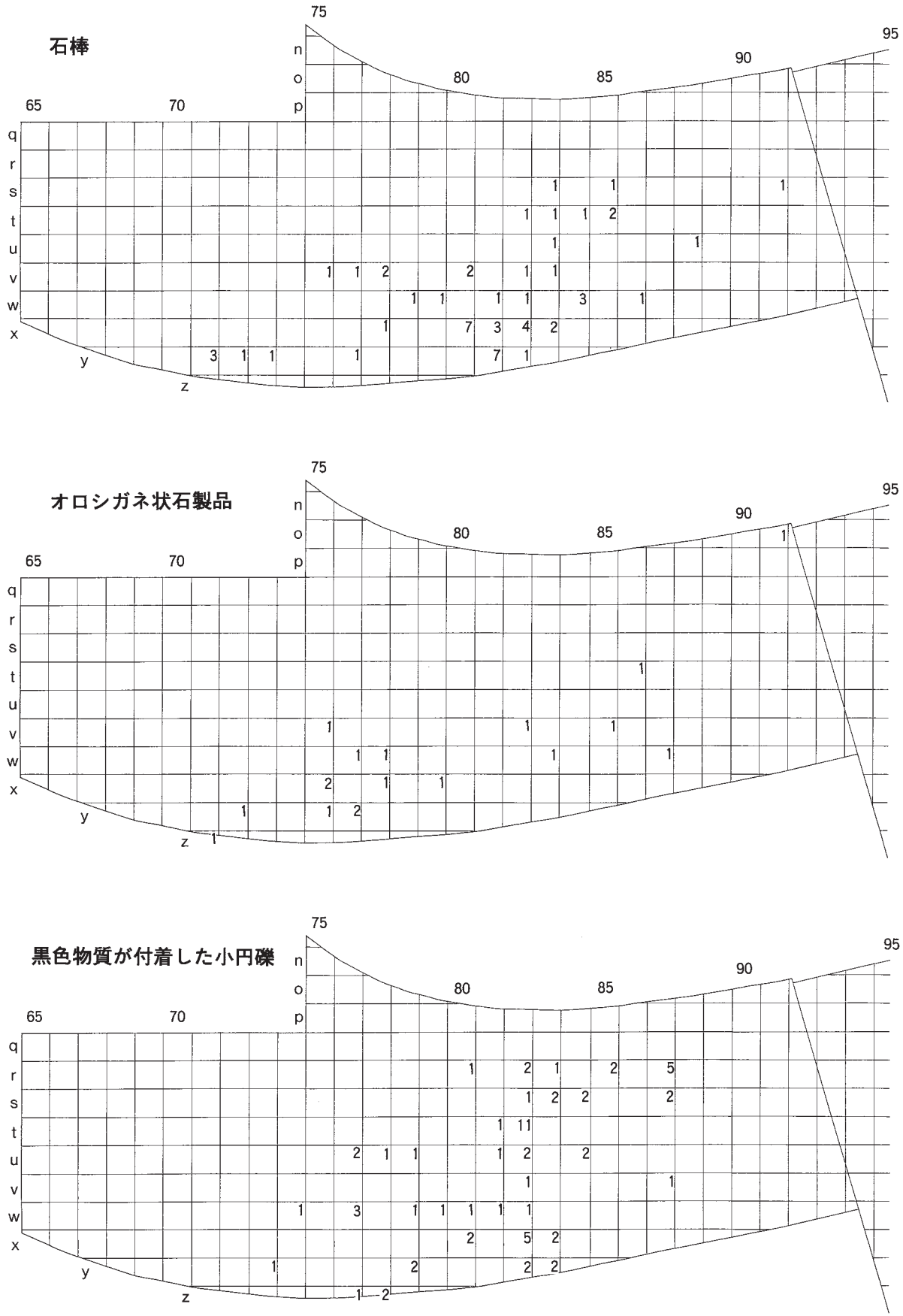
図Ⅴ－208　盛土遺構下位の発掘区別石器点数（1）



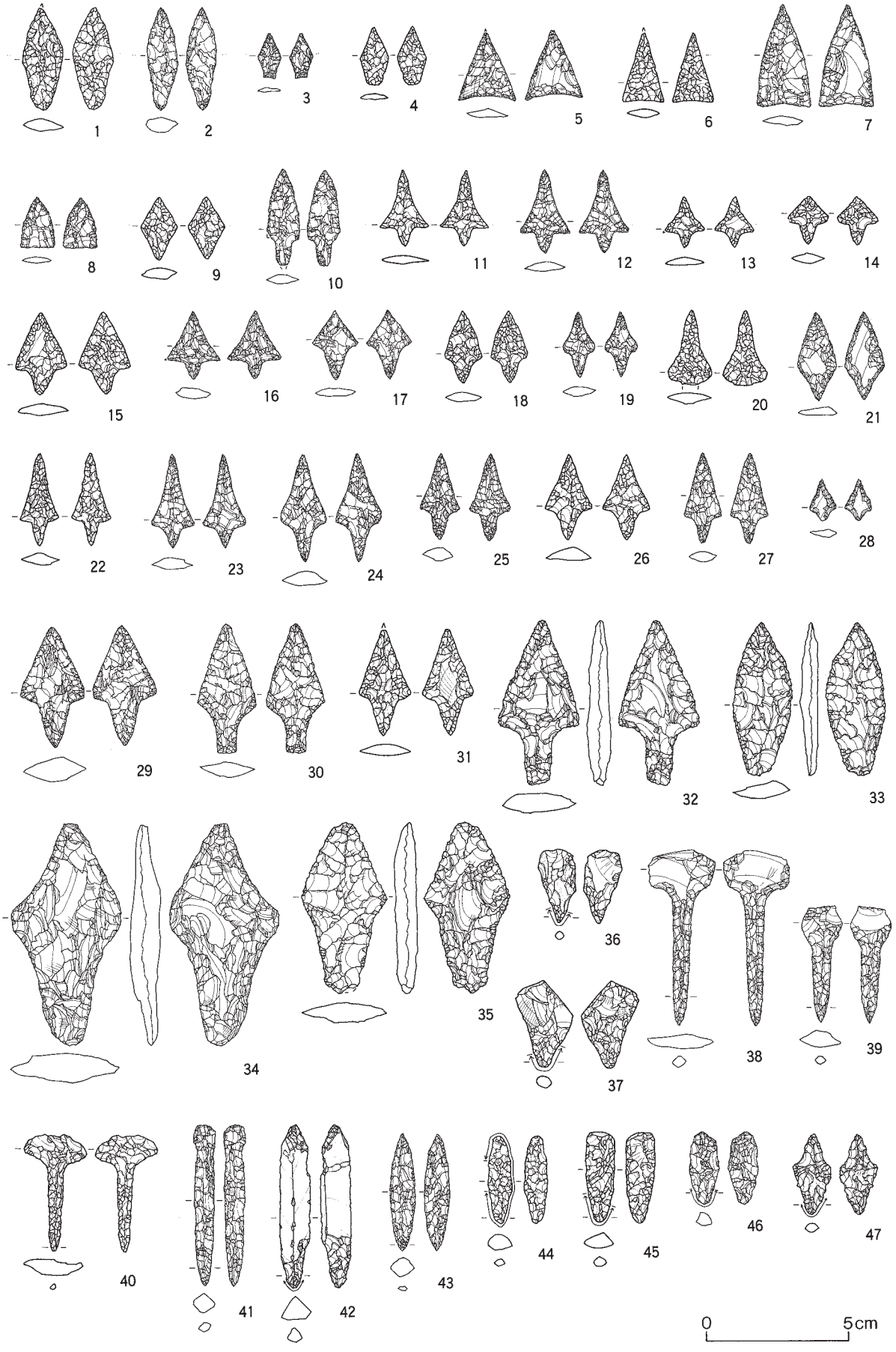
図Ⅴ－209　盛土遺構下位の発掘区別石器点数（２）



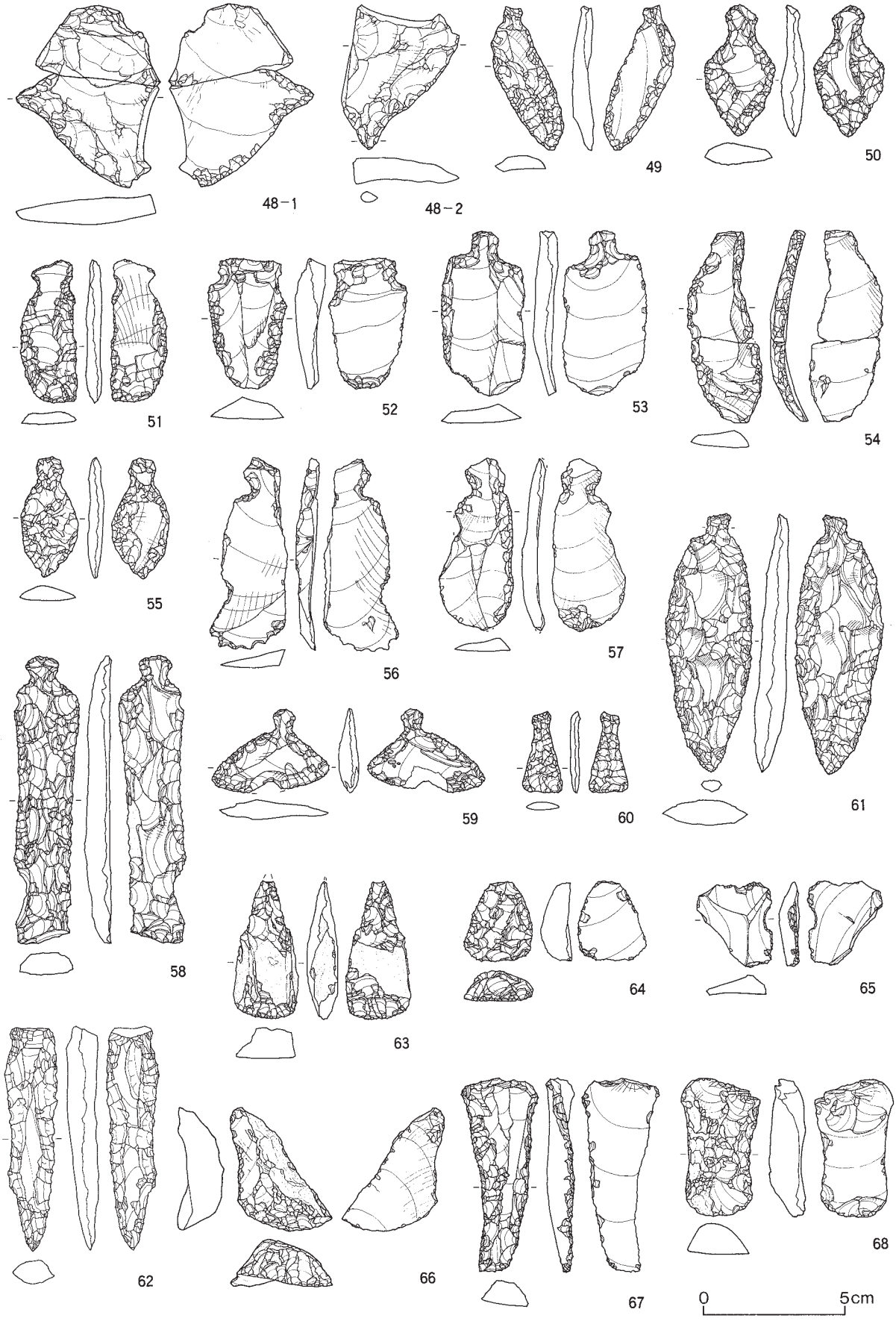
図Ⅴ－210　盛土遺構下位の発掘区別石器点数（３）



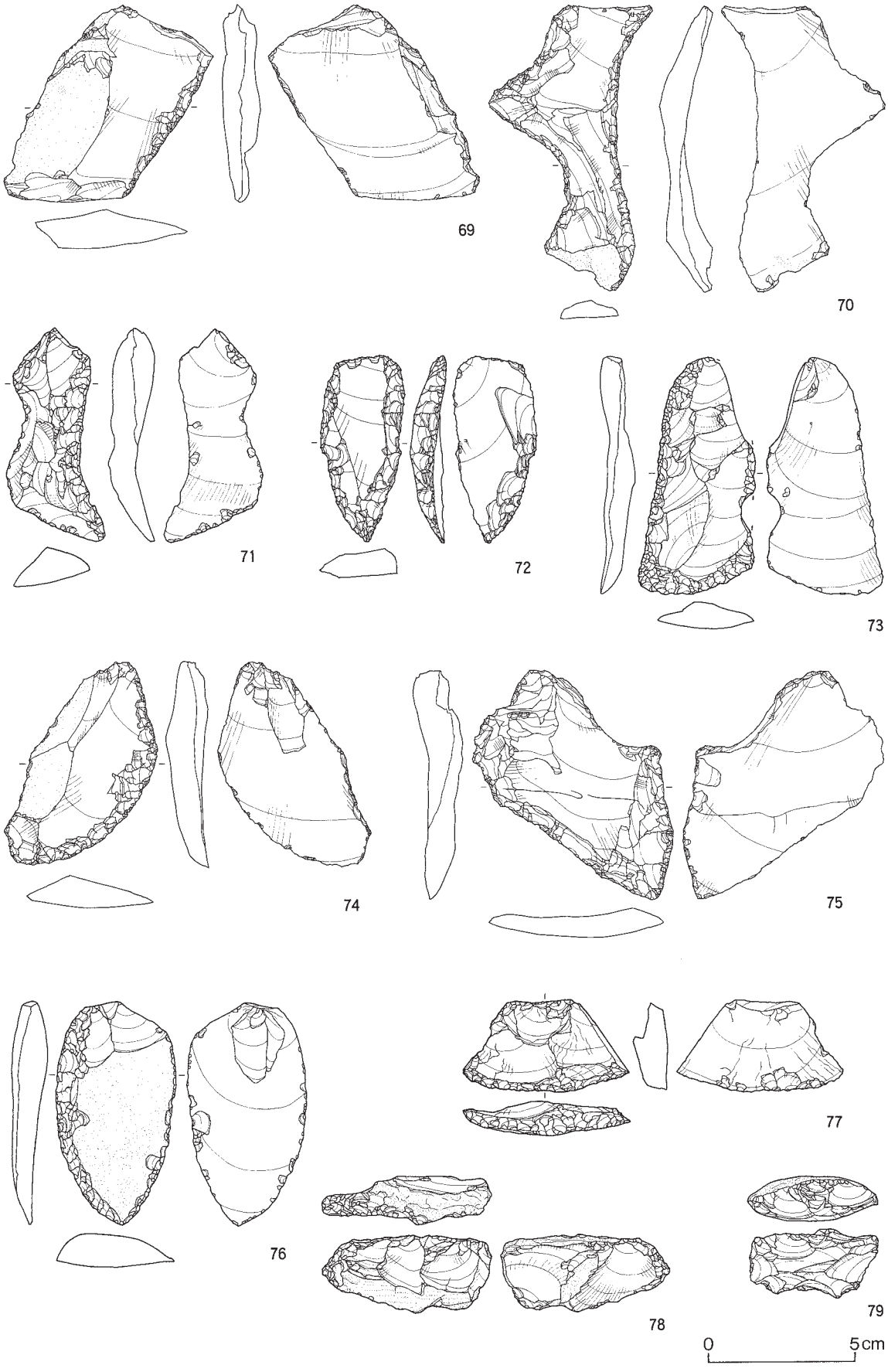
図Ⅴ－211　盛土遺構下位の発掘区別石器点数（４）



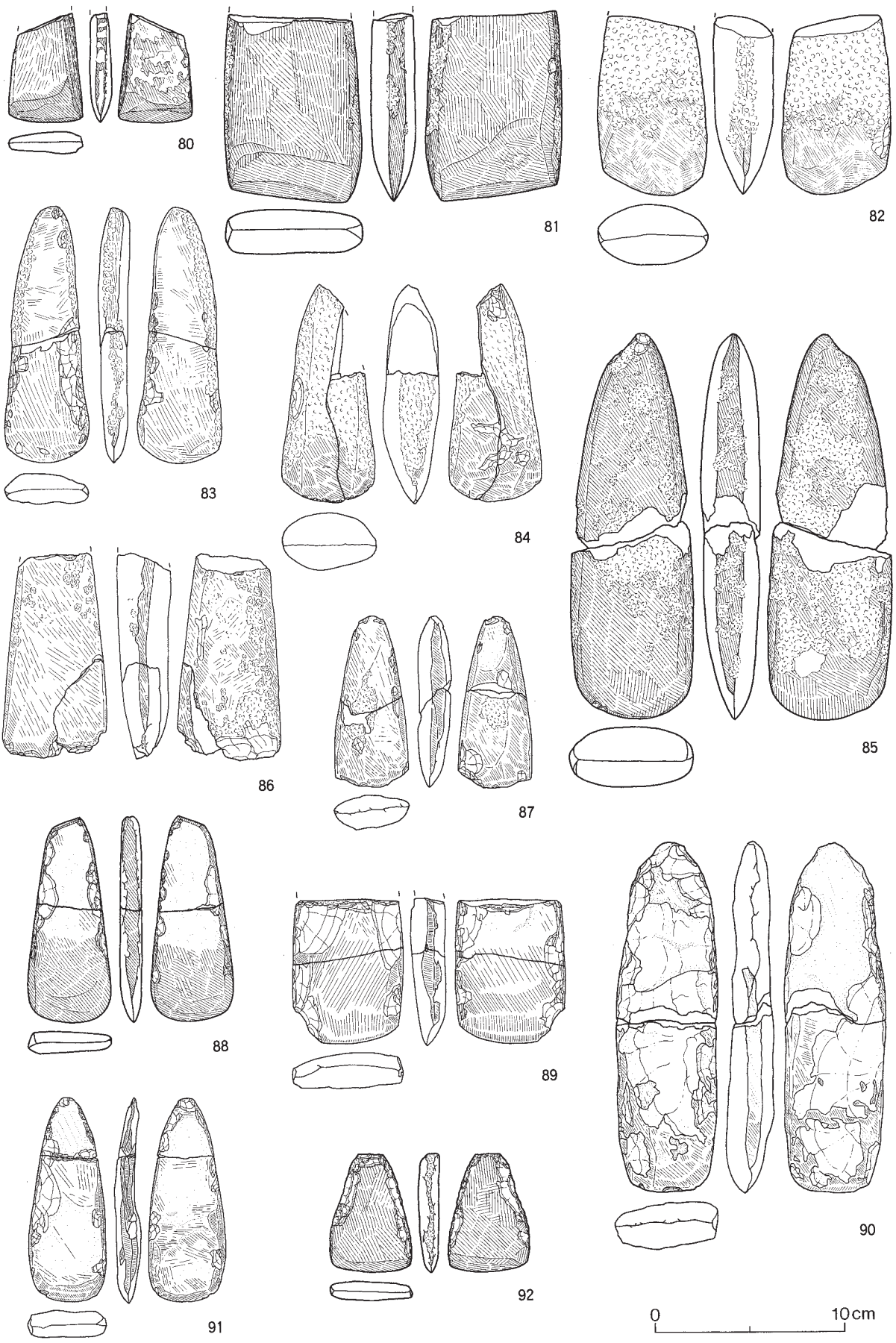
図Ⅴ－212　盛土遺構下位出土の石器（１）



図Ⅴ－213　盛土遺構下位出土の石器（２）

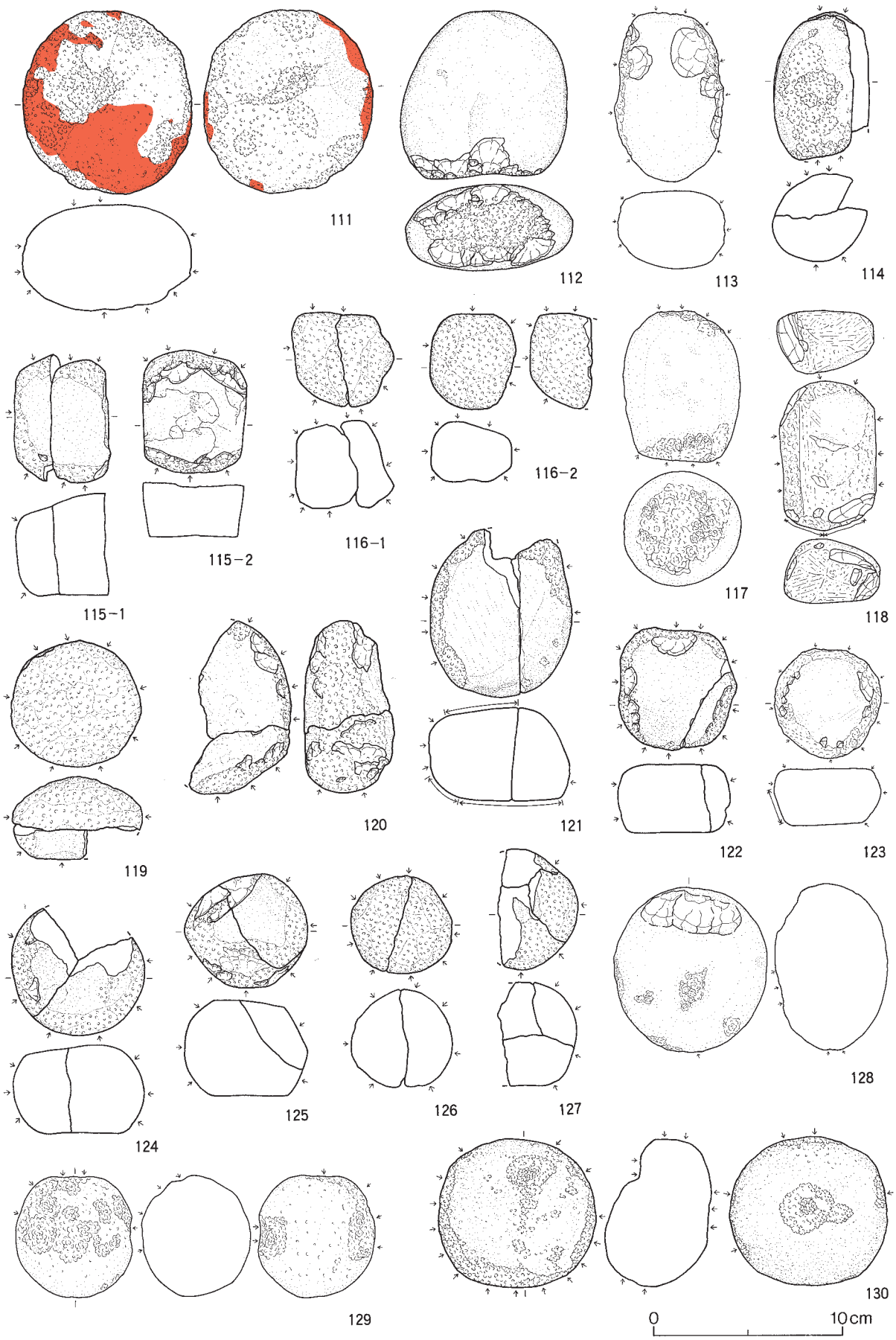


図Ⅴ－214　盛土遺構下位出土の石器（３）

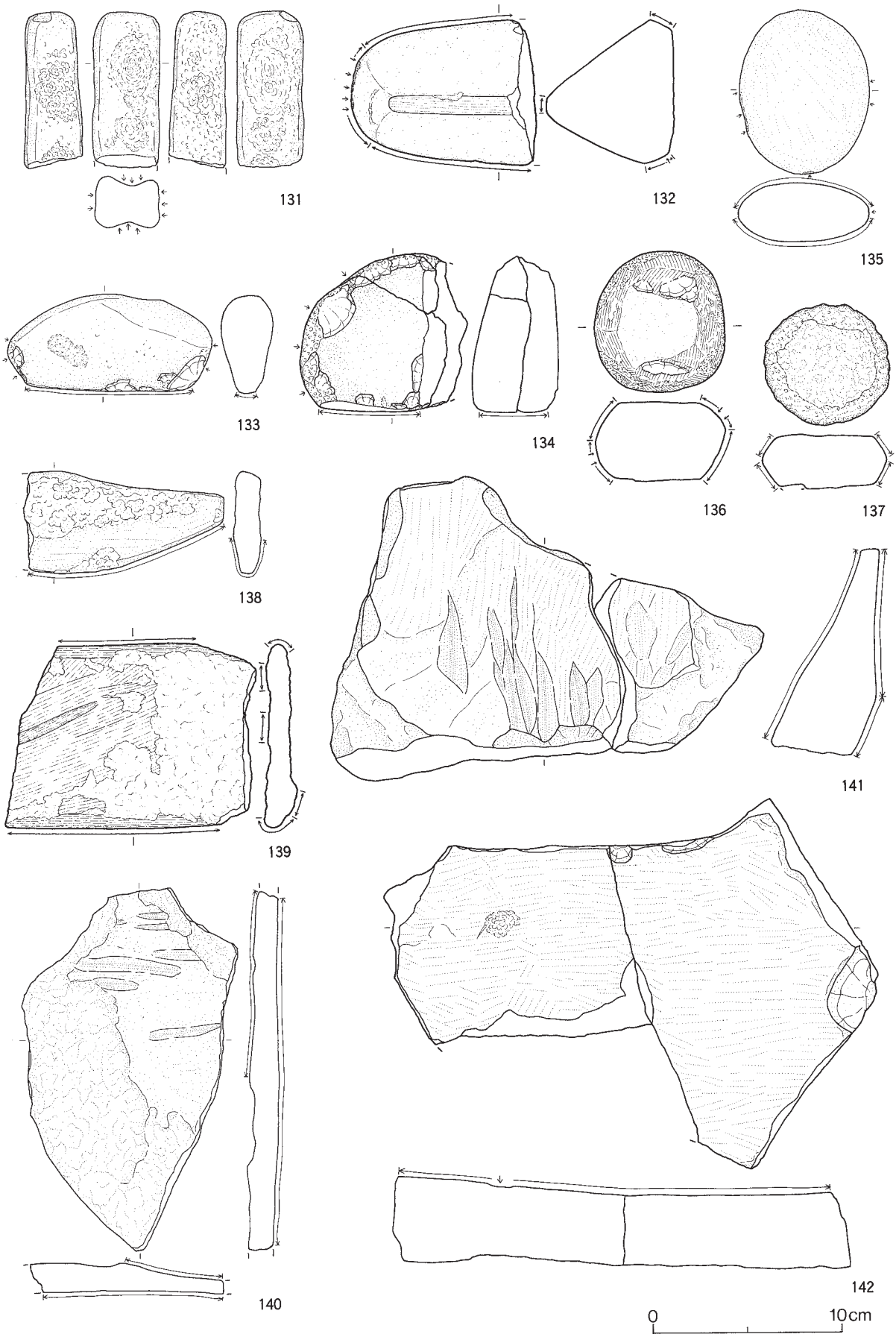


図Ⅴ－215　盛土遺構下位出土の石器（４）

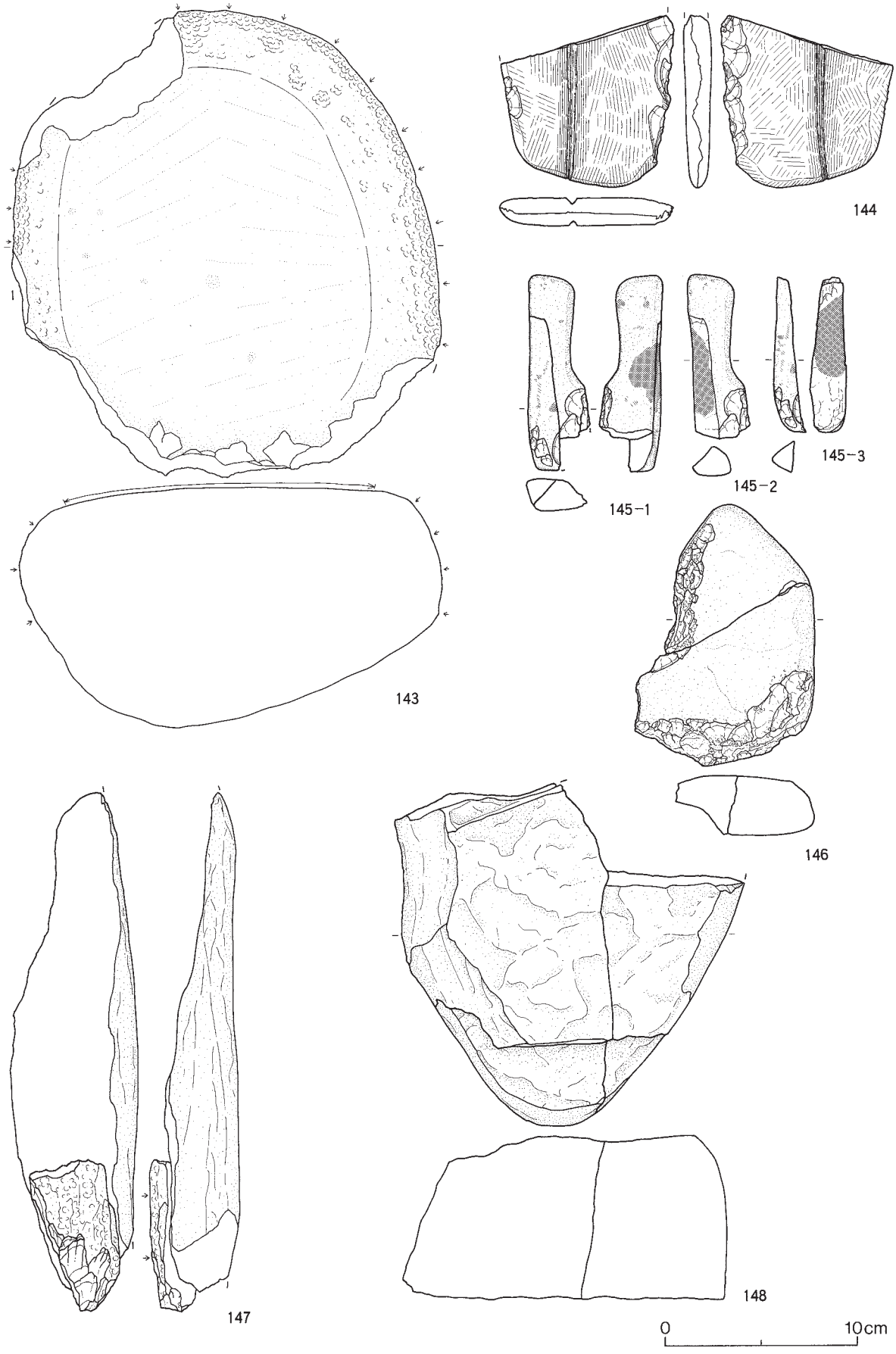
図Ⅴ－216　盛土遺構下位出土の石器（５）



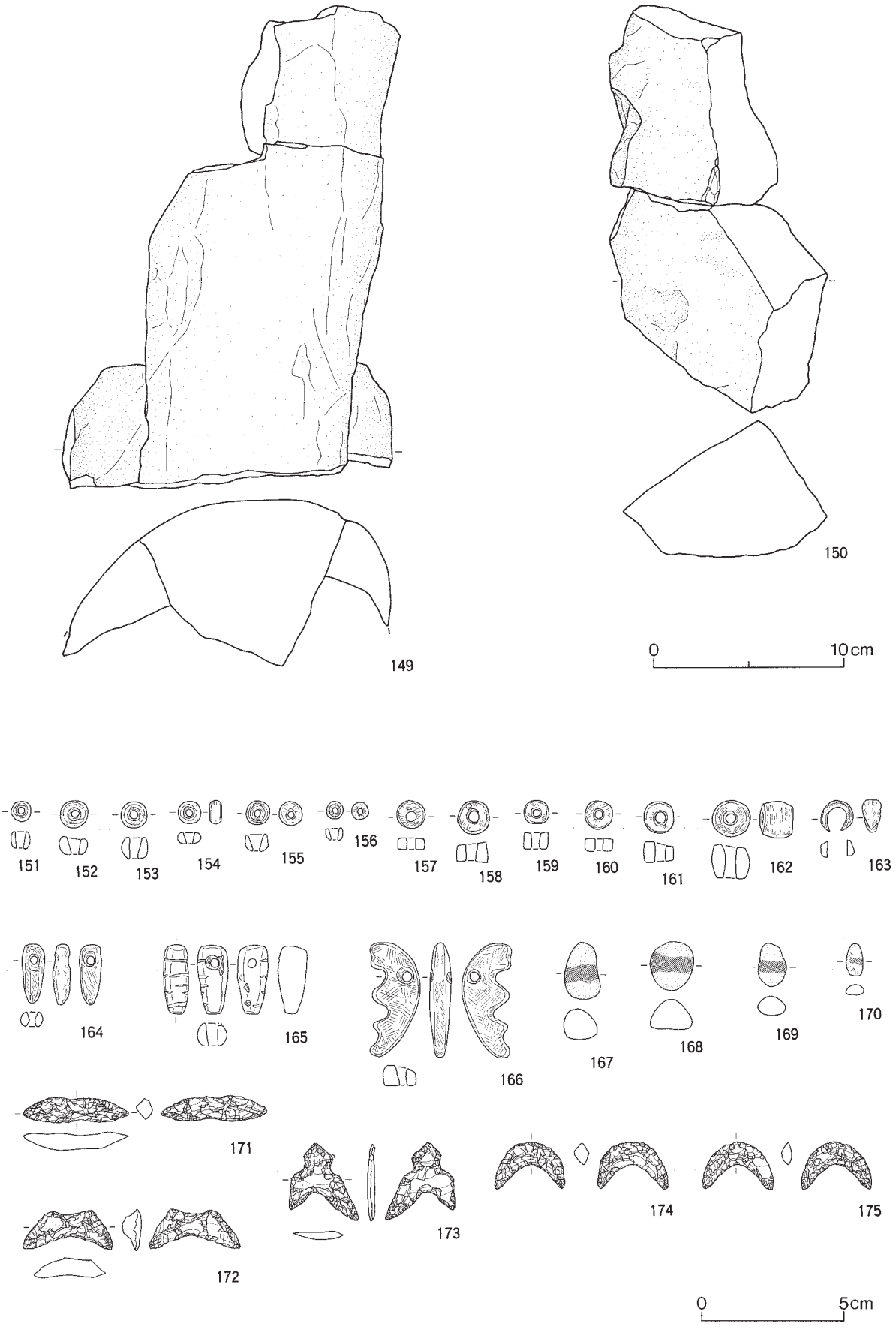
図Ⅴ－217　盛土遺構下位出土の石器（６）



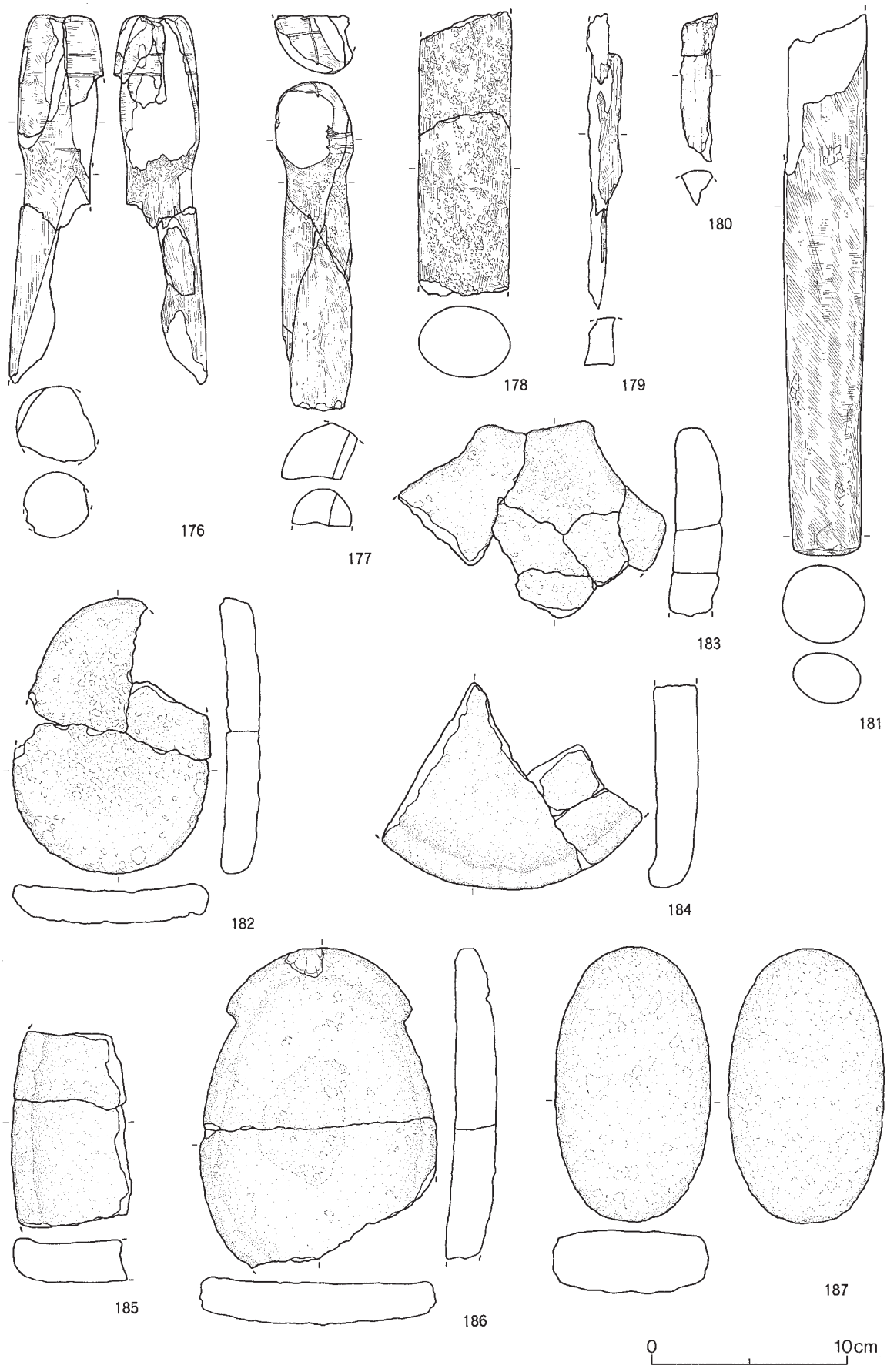
図Ⅴ－218　盛土遺構下位出土の石器（７）



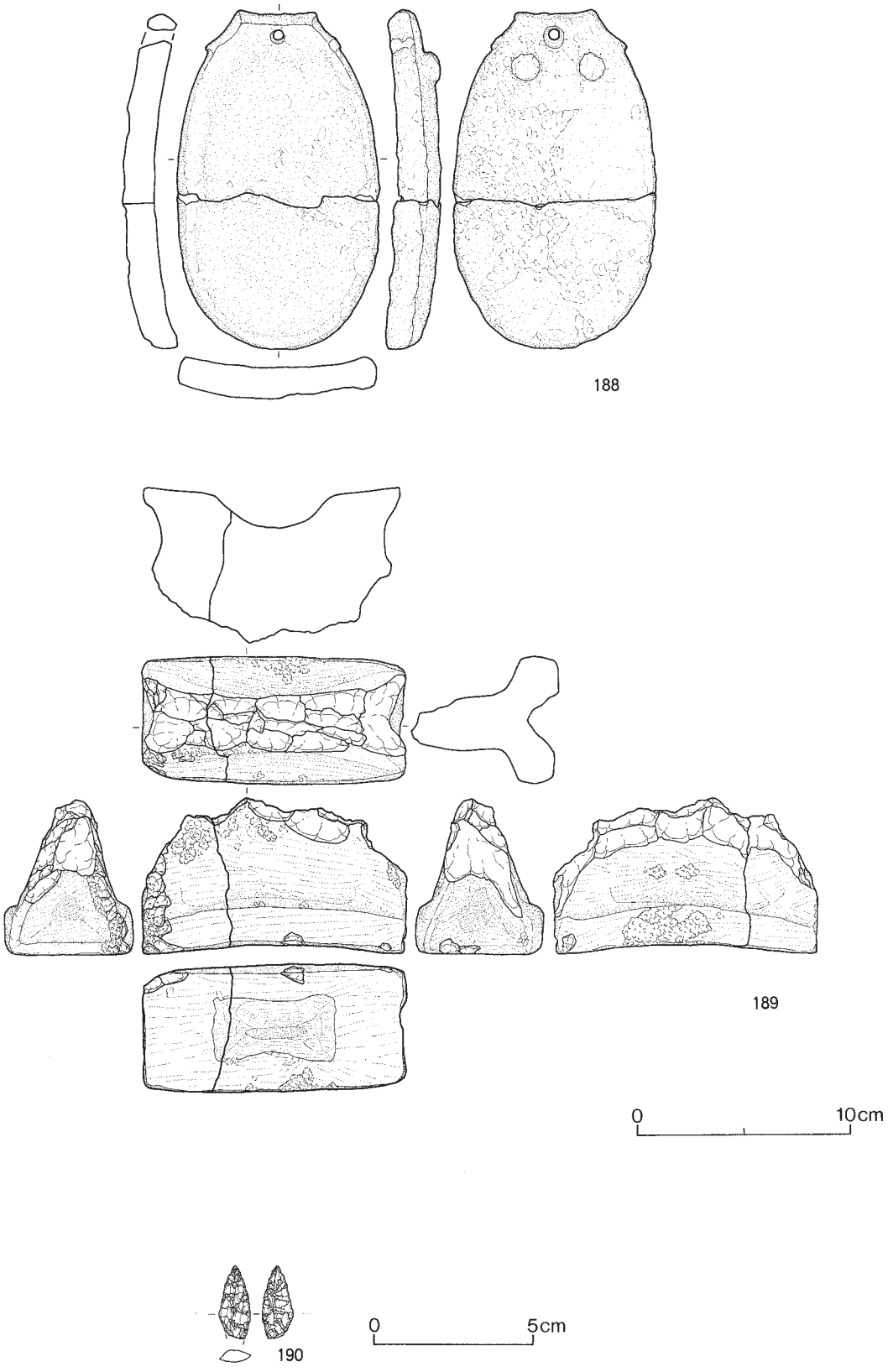
図Ⅴ－219　盛土遺構下位出土の石器（８）



図Ⅴ－220　盛土遺構下位出土の石器（９）



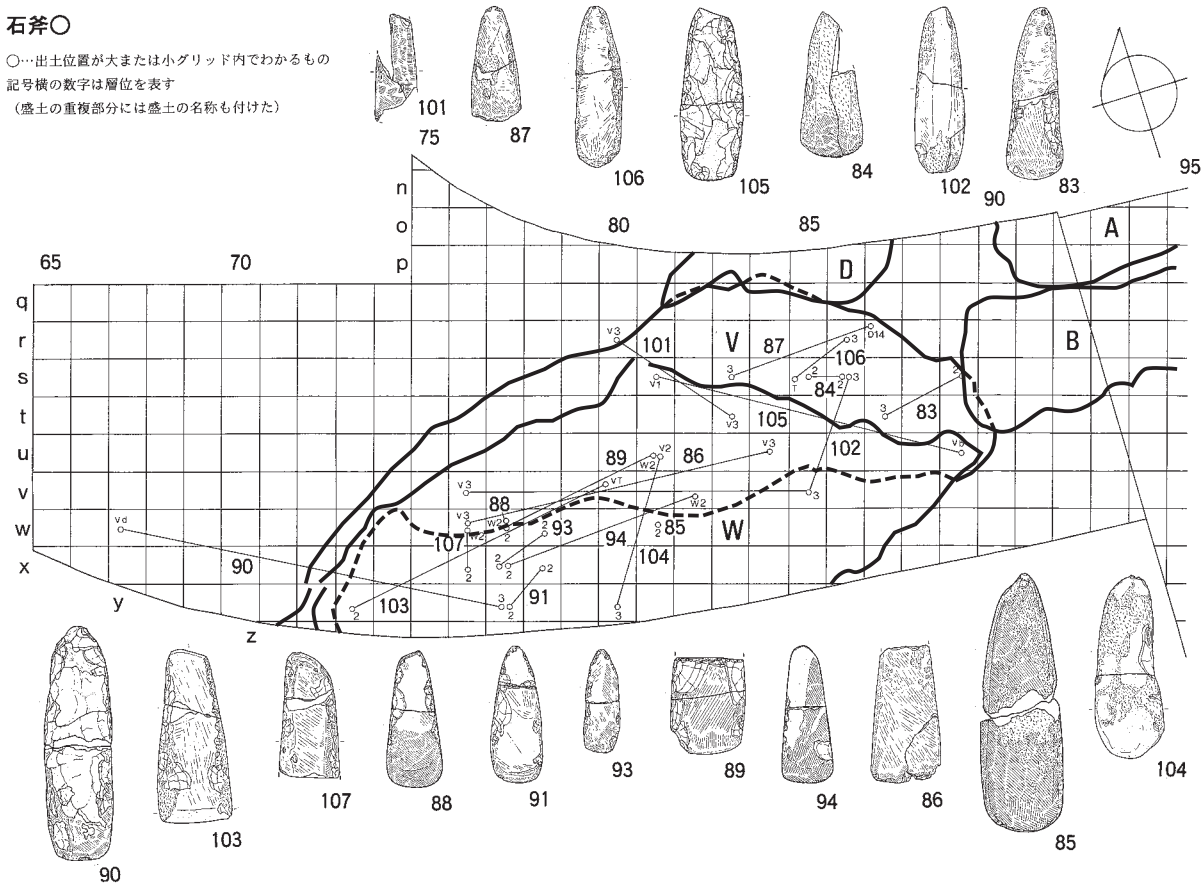
図Ⅴ－221　盛土遺構下位出土の石器（10）



図Ⅴ－222　盛土遺構下位出土の石器（11）

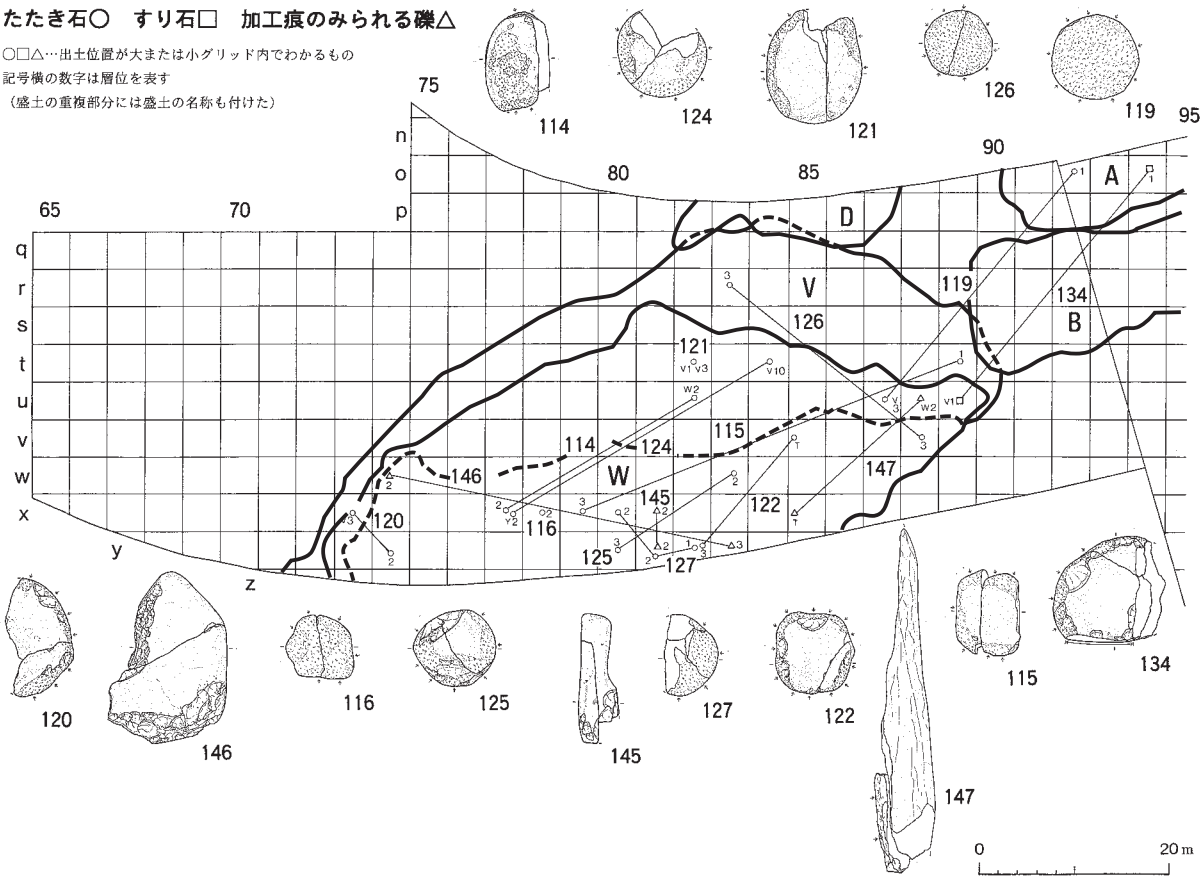
石斧○

○…出土位置が大または小グリッド内でわかるもの
記号横の数字は層位を表す
（盛土の重複部分には盛土の名称も付けた）



たたき石○　すり石□　加工痕のみられる礫△

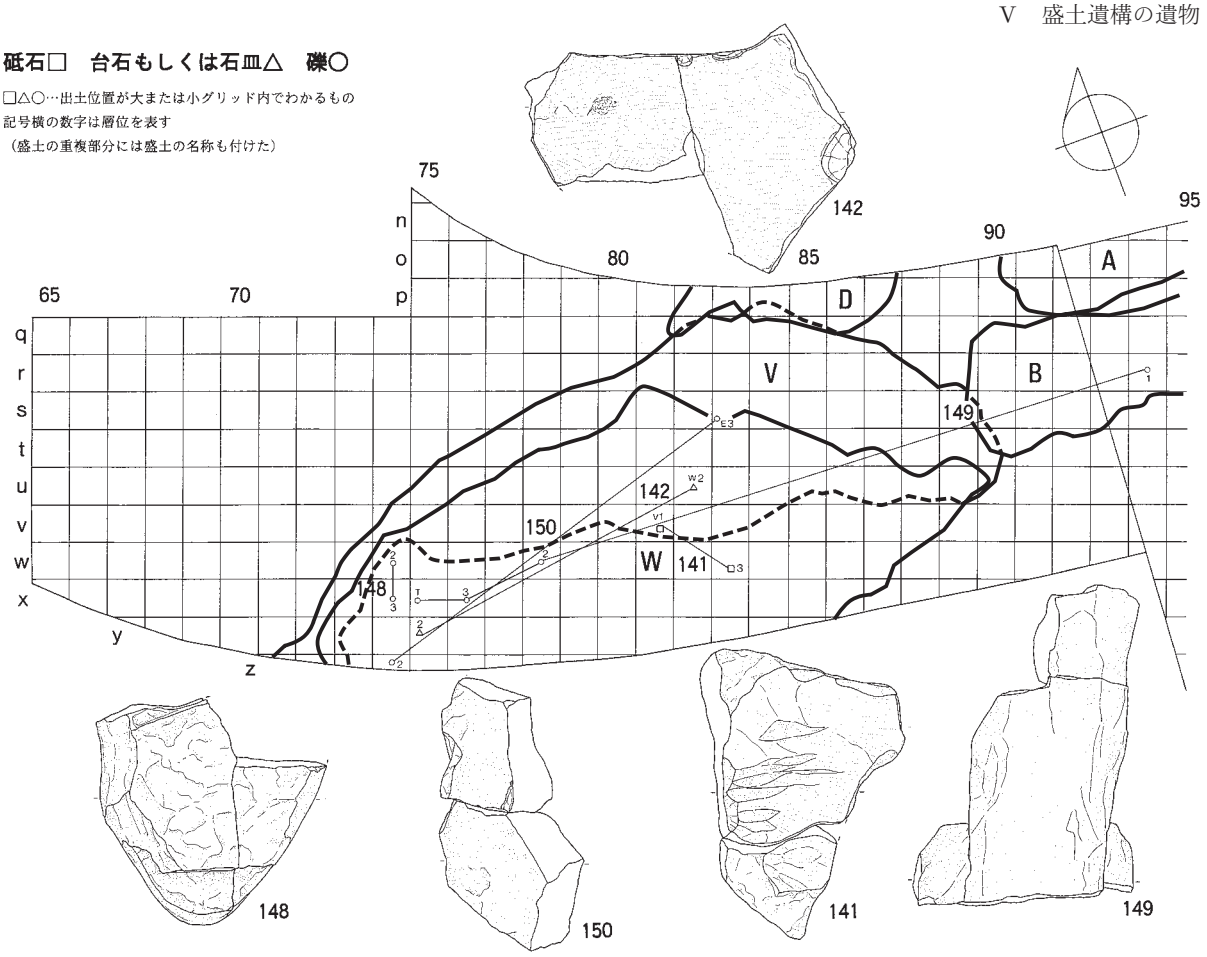
○□△…出土位置が大または小グリッド内でわかるもの
記号横の数字は層位を表す
（盛土の重複部分には盛土の名称も付けた）



図Ⅴ－223　盛土遺構下位の石器接合図（１）

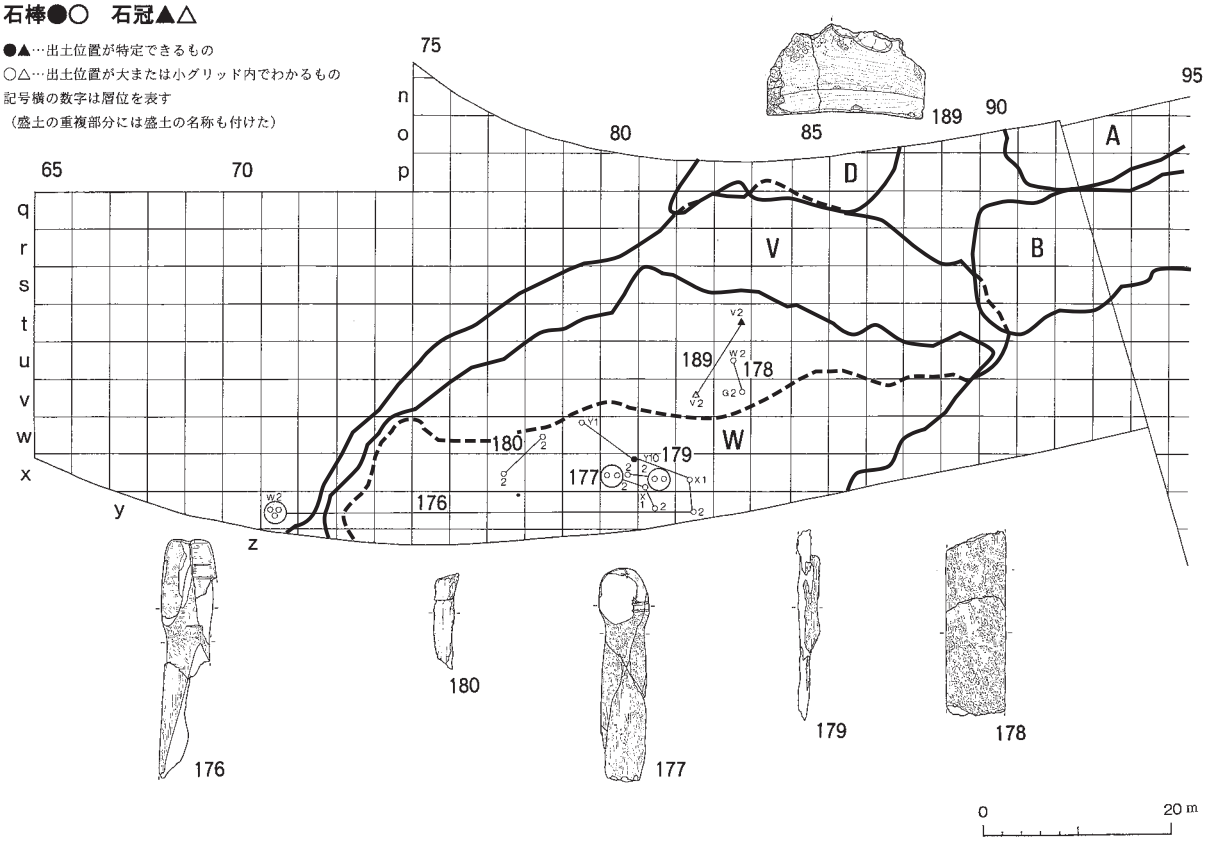
砥石□　台石もしくは石皿△　礫○

□△○…出土位置が大または小グリッド内でわかるもの
記号横の数字は層位を表す
（盛土の重複部分には盛土の名称も付けた）

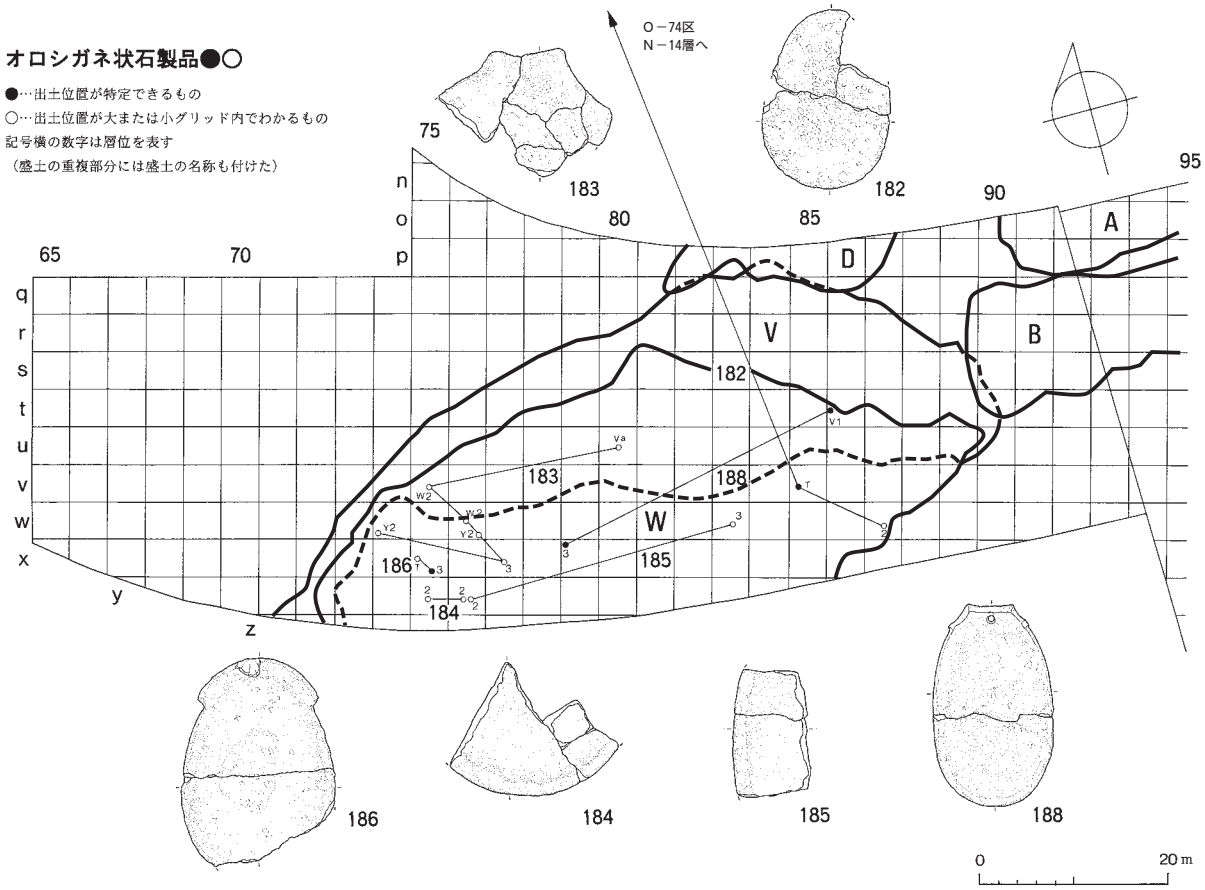


石棒●○　石冠▲△

●▲…出土位置が特定できるもの
○△…出土位置が大または小グリッド内でわかるもの
記号横の数字は層位を表す
（盛土の重複部分には盛土の名称も付けた）



図Ⅴ－224　盛土遺構下位の石器接合図（２）



図Ⅴ－225　盛土遺構下位の石器接合図（３）

４．骨角器等（図Ⅴ－226・227、表Ⅴ－76、図版334）

盛土遺構の堆積土と盛土中の焼土から出土した骨角器、サメの歯、イノシシの歯など55点を掲載する。骨角器等は掲載した以外にも出土しているが、骨針の破片や加工痕が一部に認められる程度のものなので掲載を省略した。骨角器等は次の３種類の方法で取上げられた。盛土中の焼土のものはフローテーション資料の残渣中から、盛土堆積土のものは手取りにより、サメの歯は土壌水洗により回収された。出土した骨角器は明確な名称を付けられるものが少なく、主なものにはソケット型骨角製品、尖頭状骨角器、骨針などがある。また骨角器ではないが、サメの歯やイノシシの歯についても掲載した。

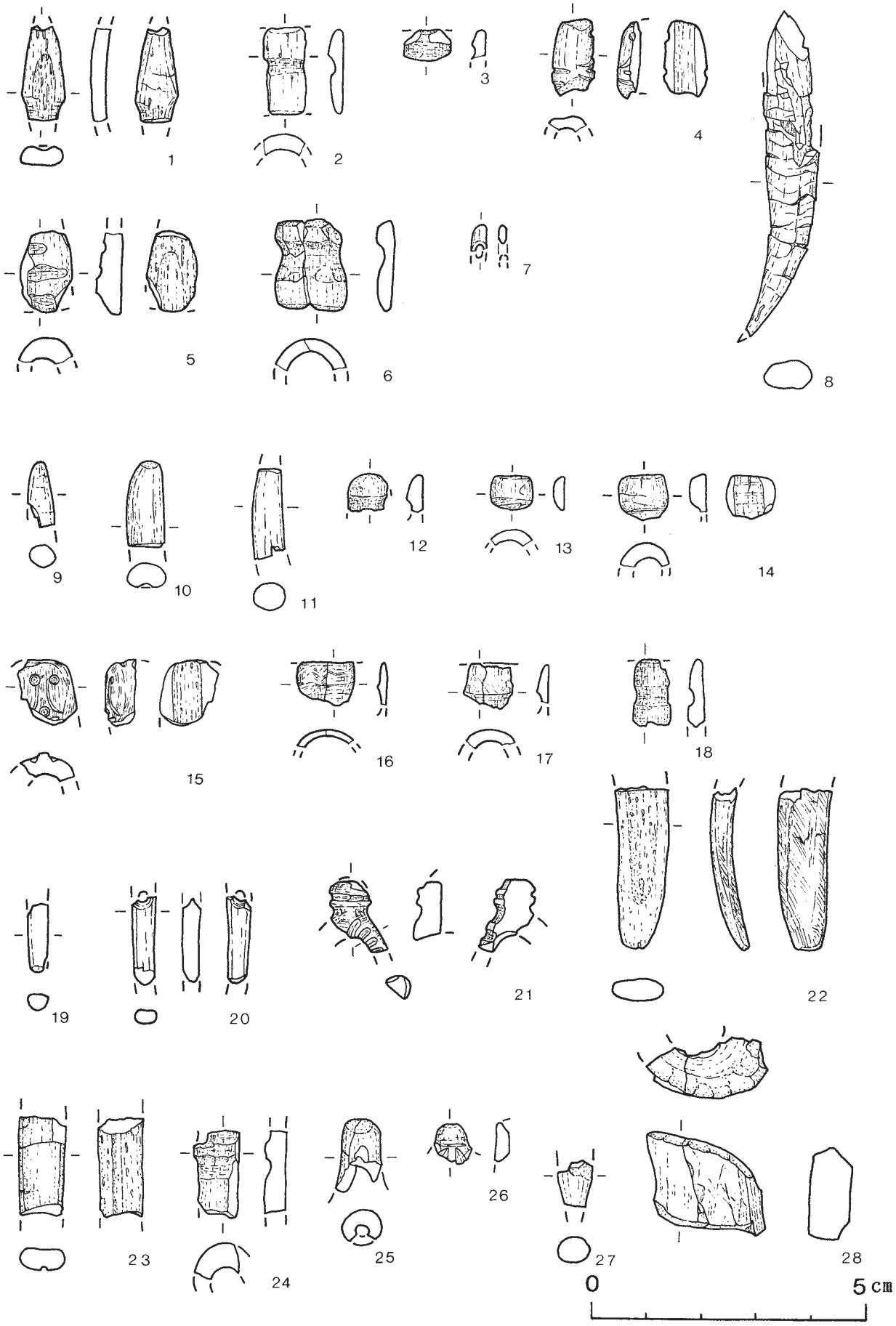
１～８は盛土焼土から出土したものである。１はノの字形離頭銛と思われる。表面はボソボソとした感じで、側面観は湾曲している。２～６はソケット型骨角製品である。４はRMDF－63から出土した。正面右上端に小さな孔が１ヵ所あり、全体の形や孔、線刻の感じが15とよく似ていることから同一個体の可能性がある。15は盛土Dから出土したが出土地点がRMDF－63の分布と重複する。５は横位に浅い溝が２段ある。６はRMWF―23から出土した接合資料である。７は骨針のメド部分である。８はイノシシの下顎切歯である。RMWF－45出土の接合資料で被熱により激しい亀裂が入っている。

９～28は上位の盛土から出土したものである。９～11は尖頭状骨角器、12～18はソケット型骨角製品である。13･14は同一の小グリッドから出土したものであるが大きさが異なり同一個体ではない。15には人面状のものが線刻と孔で表現されている。16の表面には横位、斜位に擦痕が認められる。

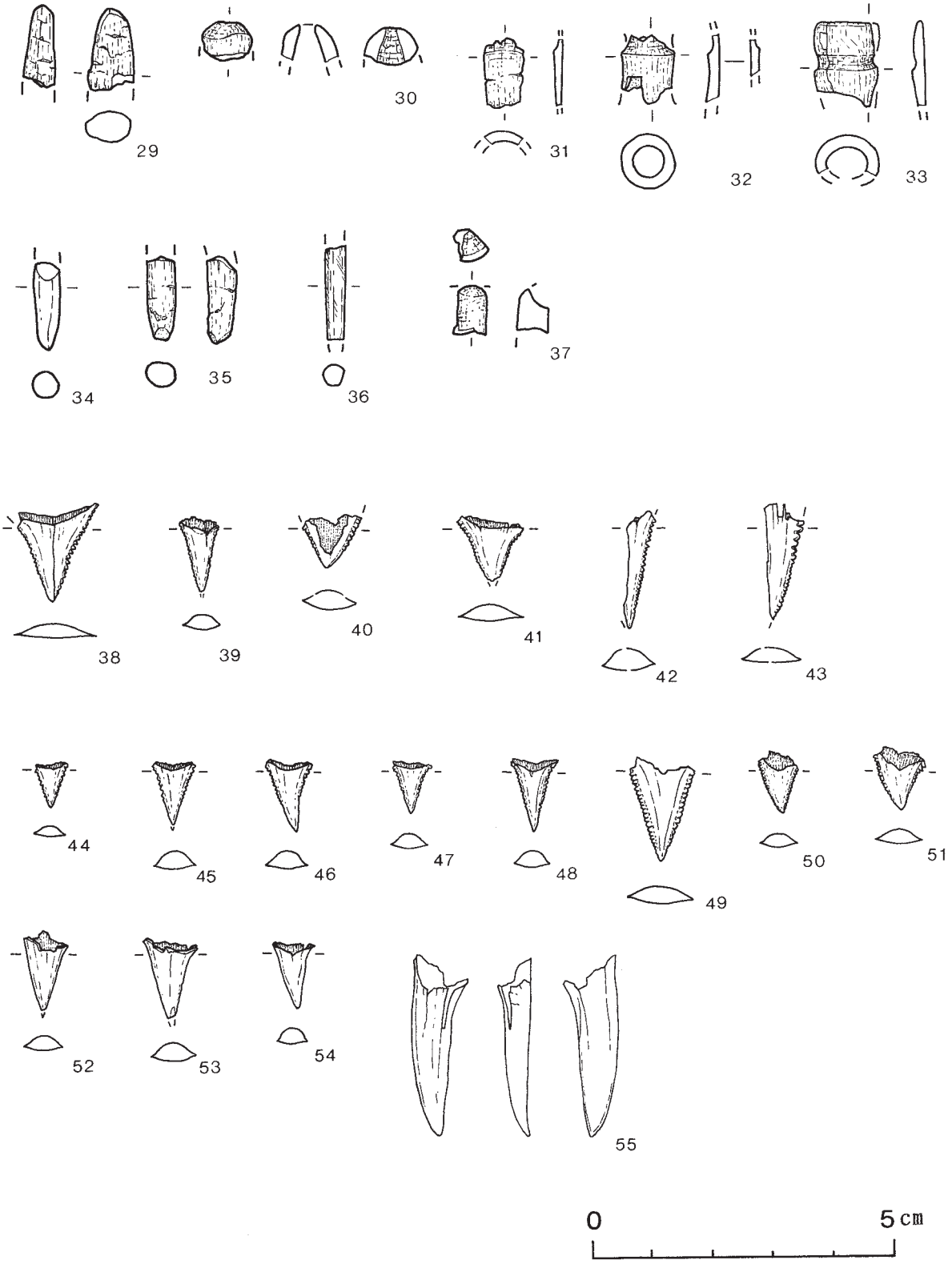
19～21は骨針と思われる。20の上部にはメド部分が、21は骨針基部と思われ笄状のものに線刻が施されている。22はヘラ状骨角器である。23～28は名称を付けがたく不明としたものである。24はソケット型の様にも見える。26には縦と斜めに刻みが施されている。28の表面と上下両端には加工痕が認められる。

29～37は下位の盛土から出土したものである。29は尖頭状骨角器、30～33はソケット型骨角製品である。31の下部はすぼまるようである。34～36は骨針と思われる。37は円筒状で上端は丸くなっており、表面は全面加工されている。名称は不明である。

38～51はホホジロサメ、52～55はアオザメの歯である。38～43は上位の盛土、44～51は下位の盛土から出土したものである。44～46、47･48、52･53はそれぞれ同一の大グリッドあるいは小グリッドから出土したものである。39・52・53は被熱のためか黒変している。



図Ⅴ－226　盛土遺構出土の骨角器等（1）



図Ⅴ－227　盛土遺構出土の骨角器等（2）

※ 掲載土器一覧表について（表Ⅴ－１～65）

挿図番号・土器番号

土器番号は盛土遺構－上位・下位、土器・土製品を通じて連番になっている。

写真図版（番号）

番号が大きく前後するのは、写真図版は土器の大きさや撮影枠の都合上必ずしも土器番号順に掲載していないためである。またカラー写真や一括出土・展開写真などは抽出して前方の図版にしてある。

遺構・層位・発掘区・点数

原則として掲載した部分のデータを掲載した。すべて接合しているわけではなく、離れた部分の破片点数も含まれている。遺構の「－」は包含層出土のものである。層位の「Ｔ」はトレンチ出土、「Ｂ」はベルト出土（盛土Ｙのみ）、「Ｆ」は焼土の層位である。発掘区・点数は大グリッド単位でまとめ、出土した小グリッドを列挙してある。

分類

Ⅲ章－３（２）参照。「Ⅳｃ－２」としたものは、Ⅳｃ－１の新段階に相当するものが含まれるが、あえて区別した。

測定値

鉢形土器は「口径」「底径」「器高」、壺形土器は「口径」「胴最大径」「器高」の数値を掲載した。「(　)」は現存値（残存値）、「－」はその部分がなく値が不明なもの。

器種

Ⅲ章－３（２）参照。ただし、特に小型の土器に関しては比率で求めた分類と実感が異なるものが多いので、主観による分類になっているものがある。

深鉢形土器は、胴部にくびれのある土器を「深鉢Ａ」、胴部にくびれのない土器を「深鉢Ｂ」とした。さらに器高30cm以上を目安に「大型」の名を付した。

文様等；地文等／器形・特徴

器面に表現されている文様要素をできる限り記載し、口縁や底部は特徴的なものを載せ、付着物や残存率を記入した。

整理番号

復元・拓本・接合台帳などに記載してある、整理作業中に付した番号。収納した遺物にも記載してある。

表Ⅴ－１　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（１）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種（部位）	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－1	1	図版77	RMY	3	z-73-2・3	10	Ⅳb－4		大型深鉢A	刻み列・曲線帯状文（木葉文）；区画内充填羽状縄文／緩やかな波状口縁・切出形口唇、補修孔有り	Y－601
図Ⅴ－1	2	図版77	RME	1	u-80-12	8	Ⅳb－4	口：18.3cm 底：－－ 高：(15.3)cm	深鉢A	刻み列；羽状縄文／平縁＋突起・切出形口唇	E－530
			RME	3	u-80-12	3					
図Ⅴ－1	3	図版77	RMD	3	q-83-1	1	Ⅳc－1	口：24.8cm 底：5.5cm 高：11.1cm	鉢	刻み列・曲線帯状文；区画内LR縄文／平縁＋突起、突起上刻み列・切出形口唇、残存率（接合率）約60%	D－107
			RMD	3	r-87-8	1					
			RMD	3	r-88-13	2					
			RMD	4	r-82-2	1					
			RMD	5	q-83-5・16	2					
			RMD	6	q-83-15・16	7					
			RMD	6	q-84-13	1					
			RMD	6	r-83-4・12	2					
			RMD	7	q-81-13	1					
			RMD	7	q-83-16	1					
			RMD	7	r-83-8	1					
			RMD	7	r-84-1・5	2					
			RMD	11	r-88-1	1					
			RMD	13	p-87-7・8	4					
			RMD	13	p-88-14	1					
			RME	2	t-81-9	1					
			RME	3	t-81-5・12	2					
			RME	3	t-82-5	1					
			－	Va	v-77	1					
図Ⅴ－1	4	図版77	RMD	2	r-81-10	1	Ⅳc－1	口：21.5cm 底：－－ 高：(18.7)cm	深鉢A	刻み列（刺突列）・突瘤・横走沈線・木葉沈線；LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率（接合率）約40%	E－023
			RME	2	t-84-1	1					
			RME	3	s-81-10・11	4					
			RME	3	s-82-9	3					
			RME	3	t-83-2・4	2					
			RME	3	t-84-6	1					
図Ⅴ－1	5	図版77	RMD	4	p-83-14・15	6	Ⅳc－1		深鉢A	刻み状の沈線・突瘤・曲沈線・内面沈線；LR縄文・RL縄文／波状口縁・切出形口唇	D－624
図Ⅴ－1	6	図版77	RMD	1	r-82-10	1	Ⅳc－1		深鉢A	刻み状の沈線・突瘤・弧線文；羽状縄文／波状口縁・切出形口唇	D－615
			RMD	2	r-83-4・10	2					
			RMD	3	r-83-4	4					
			RMD	4	q-84-13	1					
			RMD	4	r-83-4	3					
			RMD	6	q-86-1	1					
			RME	1	s-81-6	1					
			RME	2	s-82-3・8	2					
			－	Ⅲ下	r-83	1					
			－	Va	r-83	1					
図Ⅴ－1	7	図版78	RMA	15	p-88-8	2	Ⅳc－1	口：37.0cm 底：－－ 高：(25.5)cm	大型深鉢A	刻み列・突瘤・貼瘤・横走沈線；LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇・口唇上縄文、残存率（接合率）約30%	D－108
			RMD	2	r-87-2	1					
			RMD	3	q-85-2	1					
			RMD	3	r-87-2・3・6・12	14					
			RMD	4	q-82-8・10・12・16	6					
			RMD	4	r-82-12・16	2					
			RMD	5	r-87-3・6・7	4					
			RMD	7	r-85-3	1					
			RMD	11	r-87-2・4	5					
			RMD	T	q-85-13	1					
			RMV	3	q-82	27					
			－	Ⅲ下	r-87	1					
図Ⅴ－2	8	図版78	RMZ	2	x-73-9・10・13・14	24	Ⅳc－1	口：21.5cm 底：5.5cm 高：11.1cm	鉢	突瘤・曲線帯状文・弧線文；LR縄文・RL縄文／波状口縁・切出形口唇、残存率（接合率）約55%	Z－005
図Ⅴ－2	9	図版68	RMZ	2	x-73-14	4	Ⅳc－1	口：18.4cm 底：5.0cm 高：10.3cm	鉢	突瘤・曲線帯状文・横走沈線；LR縄文・RL縄文／波状口縁・切出形口唇、残存率（接合率）約90%	Z－003
			RMZ	2	y-73-1	1					
			－	Ⅲ下	x-73	3					
			－	Va	w-73	1					
			－	Va	x-73	4					
図Ⅴ－2	10	図版78	RMD	3	r-83-5	4	Ⅳc－1	口：(40.4)cm 底：－－ 高：(36.5)cm	大型深鉢A	突瘤・曲線帯状文・横走沈線；LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／小波状口縁・切出形口唇、内面段明瞭、残存率（接合率）約55%	D－110
			RMD	4	r-83-1・2・5～7・10・11・15・16	73					
			RMD	4	r-87-2	1					
			RMD	13	p-87-9	3					
			RMD	14	p-87-9	1					
図Ⅴ－2	11	図版78	RMD	1	r-83-2・3	2	Ⅳc－1	口：41.1cm 底：－－ 高：(39.8)cm	大型深鉢A	突瘤・曲線帯状文・横走沈線；羽状縄文・幅広の無文帯／小波状口縁・切出形口唇、内面段明瞭、残存率（接合率）約35%	D－080
			RMD	4	r-84-11・12・14・15	41					
			RMD	5	r-84-3	2					
			RMD	11	r-81-1	1					
			RMD	12上	r-87-2	20					
			－	Va	r-87	6					
図Ⅴ－3	12	図版68・69	RMD	3	q-84-13	2	Ⅳc－1	口：33.6cm 底：4.3cm 高：33.0cm	大型深鉢B	突瘤・入組帯状文・横走沈線；LR縄文・RL縄文／小波状口縁・肥厚する切出形口唇・上底気味の底部、内面調整が丁寧、炭化物多量付着、残存率（接合率）約90%	D－033
			RMD	3	r-83-4	8					
			RMD	4	q-83-4	1					
			RMD	4	q-84-14	4					
			RMD	4	r-83-4・8	18					

表Ⅴ－２　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（２）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMD	4	r-84-2・5	3					
			RMD	5	q-84-10・14	33					
			RMD	5	r-84-4	2					
			－	Va	q-83	1					
図Ⅴ－3	13	図版78	RMD	2	r-84-4	7	Ⅳc－1	口:38.5cm 底: — 高:(23.3)cm	深鉢A	突瘤・入組帯状文・横走沈線;羽状縄文・磨消・幅広の無文帯／小波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約90%	D－052
			RMD	3	r-84-1・2・6	89					
図Ⅴ－3	14	図版78	RMY	T	y-75	14	Ⅳc－1	口:12.5cm 底:3.5cm 高:12.5cm	深鉢A	突瘤・帯状文による対向弧線文・横走沈線;LR縄文・RL縄文／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約35%	Y－205
			RMY	T	y-75-9・10	3					
図Ⅴ－3	15	図版79	RMZ	2	x-73-9	33	Ⅳc－1	口:37.4cm 底: — 高:(24.6)cm	深鉢A	突瘤・入組帯状文・横走沈線;羽状縄文・磨消・幅広の無文帯／小波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約50%	Z－006
			－	Va	x-73	2					
図Ⅴ－3	16	図版79	RMD	3	q-85-3	1	Ⅳc－1	口:11.7cm 底:4.0cm 高:8.6cm	鉢	突瘤・乱れた帯状文・横走沈線;LR縄文／平縁＋突起、残存率(接合率)約55%	D－042
			RMD	5	q-85-6・7	3					
			RMD	6	q-85-6	1					
			RMD	14	q-85-7	1					
図Ⅴ－4	17	図版79	RMD	4	r-84-1・2	42	Ⅳc－1	口:35.3cm 底: — 高:(15.4)cm	深鉢B	突瘤・帯状文による楕円文・横走沈線;LR縄文・RL縄文・磨消／小波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約60%	D－051
図Ⅴ－4	18	図版79	RMD	5	r-87-2・7	10	Ⅳc－1	口:(32.4)cm 底: — 高:(13.4)cm	深鉢B	突瘤・曲線帯状文・横走沈線;LR縄文・RL縄文／小波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約	D－203
			RMD	6	r-87-2	1					
図Ⅴ－4	19	図版79	RME	3	s-81-11・14・15	35	Ⅳc－1	口:22.2cm 底:5.0cm 高:16.7cm	深鉢A	突瘤・乱れた帯状文・横走沈線;LR縄文・磨消・幅広の無文帯／平縁＋突起・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約85%	E－006
図Ⅴ－4	20	図版76	RMD	3	q-84-7	1	Ⅳc－1	口:24.5cm 底:5.8cm 高:13.6cm	鉢	突瘤・帯状文による対向弧線文・横走沈線;乱れた羽状縄文／小波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約95%	D－100
			RMD	4	q-84-11・12・15・16	21					
図Ⅴ－4	21	図版79	RMD	3	q-83-9	1	Ⅳc－1	口:26.0cm 底: — 高:(16.5)cm	鉢	突瘤・横位の帯状文;LR縄文・無文帯／小波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約55%	D－075
			RMD	5	p-84-16	1					
			RMD	5	q-85-1	4					
			RMD	6	q-84-12	11					
			RMD	7	q-81-12	1					
			RMD	7	q-84-3・12	3					
			RMD	7	q-85-9	1					
			RMD	T	p-85	1					
			RMD	T	q-85-1・13	7					
図Ⅴ－4	22	図版80	RME	3	t-82-10	6	Ⅳc－1	口:15.0cm 底:4.0cm 高:13.5cm	深鉢B	突瘤・山形の帯状文(三角形の無文部);LR縄文・RL縄文／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約65%	E－029
図Ⅴ－5	23	図版80	RMY	2	x-73-9・10・14	4	Ⅳc－1	口:52.4cm 底: — 高:(27.6)cm	大型深鉢A	突瘤・帯状文・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	Y－503
			RMY	3	x-73-7・14・16	9					
図Ⅴ－5	24	図版53	RMD	2	r-82-11	1	Ⅳc－1	口:40.4cm 底:9.2cm 高:38.4cm	大型深鉢B	突瘤・やや不規則な帯状文;羽状縄文・磨消／波状口縁・切出形口唇	D－527
			RMD	3	r-82-11	4					
			RMD	4	r-83-10・14	31					
図Ⅴ－6	25	図版80	RMD	4	q-84-11・14	8	Ⅳc－1		大型深鉢A	突瘤・曲線帯状文・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／小波状口縁・切出形口唇	D－603
図Ⅴ－6	26	図版80	RME	3	s-81-12・16	10	Ⅳc－1	口:34.0cm 底: — 高:(27.6)cm	大型深鉢A	突瘤・帯状文によるクランク文・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	E－532
			RME	3	s-82-12	4					
図Ⅴ－6	27	図版80	RMD	3	r-82-3・5・6・9・13	15	Ⅳc－1		大型深鉢B	突瘤・帯状文によるクランク文;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇	D－604
図Ⅴ－6	28	図版81	RME	1	u-81-4	1	Ⅳc－1		大型深鉢A	突瘤・帯状文によるクランク文・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	E－606
			RME	2	t-81-4・12・13・15	7					
図Ⅴ－6	29	図版81	RMY	1	w-77-11・12・15	18	Ⅳc－1	口:32.8cm 底: — 高:(13.6)cm	大型深鉢B	突瘤・帯状文によるクランク文・横走沈線;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇	Y－504
図Ⅴ－6	30	図版82	RME	3	s-85-3	2	Ⅳc－1		大型深鉢A	突瘤・帯状文(コンパス文の無文帯)・横走沈線;LR縄文・RL縄文／小波状口縁・切出形口唇	E－605
			RME	T	s-85	6					
			RME	T	s-85-10	2					
図Ⅴ－7	31	図版82	RMZ	2	y-73-6	2	Ⅳc－1		深鉢B	突瘤・山形の帯状文(三角形の無文部);羽状縄文／平縁・切出形	Z－601
図Ⅴ－7	32	図版81	RME	3	s-82-2	9	Ⅳc－1	口:20.7cm 底: — 高:(18.6)cm	深鉢B	突瘤・山形の帯状文(三角形の無文部);LR縄文・RL縄文／小波状口縁・切出形口唇	E－515
図Ⅴ－7	33	図版82	RMD	3	r-85-12	1	Ⅳc－1	口:17.7cm 底: — 高:(17.1)cm	深鉢A	突瘤・帯状文によるクランク文・入組帯状文・横走沈線;LR縄文／小波状口縁・切出形口唇・無文帯	D－518
			RMD	5	r-84-3	10					

表Ⅴ－3　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（3）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種（部位）	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－7	34	図版82	RMZ	2	y-72-4	10	Ⅳc－1	口:18.3cm 底:— 高:(9.3)cm	鉢	突瘤・入組帯状文・横走沈線;LR縄文・RL縄文／波状口縁・切出形口唇	Z－501
図Ⅴ－7	35	図版82	RME	2	s-82-8	7	Ⅳc－1	口:25.2cm 底:— 高:(7.2)cm	深鉢B	突瘤・曲線帯状文・横位の帯状文;LR縄文・RL縄文／波状口縁・切出形口唇	E－507
図Ⅴ－7	36	図版82	RMY	2	y-75-7・8	10	Ⅳc－1	口:18.0cm 底:4.8cm 高:(9.5)cm	鉢	突瘤・入組帯状文・横位の帯状文;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇	Y－520
図Ⅴ－7	37	図版81	RMY	1	y-73-6・7・10	18	Ⅳc－1	口:20.4cm 底:5.4cm 高:(20.1)cm	深鉢A	突瘤・曲線帯状文・横走沈線;羽状縄文／小波状口縁・切出形口唇	Y－528
			RMY	11	y-73-10	2					
			RMY	B4	y-73-10	1					
図Ⅴ－7	38	図版82	RMY	2	v-77-10	1	Ⅳc－1	口:16.1cm 底:— 高:(8.7)cm	深鉢B	突瘤・曲線帯状文・横走沈線;LR縄文／平縁・角形口唇	Y－522
図Ⅴ－8	39	図版82	RME	2	s-84-1・7・9・10・13	12	Ⅳc－1	口:20.1cm 底:— 高:(11.1)cm	深鉢B	突瘤・曲線帯状文・横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁＋突起	E－513
図Ⅴ－8	40	図版83	RMY	2	v-76-16	2	Ⅳc－1	口:17.1cm 底:— 高:(11.6)cm	深鉢A	突瘤・曲線帯状文・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	Y－515
			RMY	2	w-76-4	1					
			RMY	10	v-76-10	3					
図Ⅴ－8	41	図版81	RMD	3	r-87-8	16	Ⅳc－1	口:23.4cm 底:6.6cm 高:(21.6)cm	深鉢A	突瘤・帯状文;羽状縄文・幅広の無文帯／小波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着	D－539
			RMD	3	r-88-5	2					
図Ⅴ－8	42	図版82	RME	3	t-82-13	9	Ⅳc－1	口:18.6cm 底:— 高:(12.6)cm	鉢	突瘤・やや乱れた帯状文・横走沈線;LR縄文／小波状口縁・切出形口唇	E－508
図Ⅴ－8	43	図版83	RMY	2	x-73-13	20	Ⅳc－1		大型深鉢A	突瘤・やや乱れた帯状文・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起・切出形口唇	Y－606
図Ⅴ－9	44	図版83	RMD	6	q-85-10	1	Ⅳc－1	口:31.5cm 底:— 高:(16.4)cm	深鉢B	クランク状の帯状文;LR縄文／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約70%	D－074
			RMD	6	r-86-11	1					
			RMD	7	q-85-10・11	2					
			RMD	7	r-85-15	1					
			RMD	14	p-87-1・2・5・6	24					
図Ⅴ－9	45	図版83	RMD	5	q-84-2	1	Ⅳc－1	口:31.3 底:— 高:(11.1)cm	深鉢B	木葉文(帯状文)・横走沈線;羽状縄文・磨消／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約40%	D－072
			RMD	6	q-84-3・4・8・11・15	20					
			RMD	6	q-85-1・5・9	8					
			RMD	T	q-85-1・5・9	8					
			RMDF-6	F0	q-85-5	3					
			RMDF-63	F1	q-84-11	1					
図Ⅴ－9	46	図版83	RMD	7	q-85-8	7	Ⅳc－1	口:13.2cm 底:4.0cm 高:10.5cm	深鉢B	弧線文(帯状文)・横走沈線;LR縄文;波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約90%	D－009
			RMD	7	q-86-9	2					
			RMD	15	q-85-8	9					
図Ⅴ－9	47	図版83	RME	3	u-82-3・7・8	13	Ⅳc－1	口:12.3cm 底:4.1cm 高:6.7cm	鉢	弧線文(帯状文);羽状縄文;平縁・弱い切出形口唇、残存率(接合率)約50%	E－044
図Ⅴ－9	48	図版68・69	RME	3	t-81-5・9・12・16	6	Ⅳc－1	口:21.9cm 底:5.8cm 高:21.1cm	深鉢A	弧線文(帯状文)・クランク状帯状文・横走沈線;LR縄文／波状口縁・切出形口唇・補修孔、残存率(接合率)約95%	E－010
			RME	3	t-82	1					
			RME	3	t-82-6・9・10・13	20					
			RME	3	t-83-6・9	2					
図Ⅴ－9	49	図版84	RME	3	t-82-12	1	Ⅳc－1	口:17.8cm 底:5.0cm 高:21.2cm 胴:18.1cm	深鉢A	渦文(帯状文)・横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁・切出形口唇・頸部無文帯・胴部張り出し・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約45%	Y－040
			RMY	1	x-78-1	1					
			RMY	1	y-75-12	1					
			RMY	1	y-76-16	1					
			RMY	2	y-75-15・16	2					
			RMY	2	y-76-1・5・7～10	19					
			RMY	2	y-78-7	1					
図Ⅴ－10	50	図版84	RMY	T	y-75	1	Ⅳc－1	口:— 底:6.0cm 高:(11.5)cm	大型深鉢B	入組帯状文・横位の帯状文;羽状縄文	Y－201
			RMY	T	y-75-10	10					
図Ⅴ－10	51	図版84	RMD	4	r-84-5・9	6	Ⅳc－1	口:— 底:6.3cm 高:(10.1)cm	深鉢B	クランク状の帯状文;LR縄文・RL縄文	D－211
			RMD	5	r-84-6	8					
図Ⅴ－10	52	図版84	RMD	5	r-87-2・5・6	15	Ⅳc－1	口:18.6cm 底:3.7cm 高:10.0cm	鉢	横位の帯状文;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約50%	D－098
			RMD	6	r-87-1・3・5・6	10					
			RMD	7	r-87-5	1					
図Ⅴ－10	53	図版84	RMY	1	y-73-8	13	Ⅳc－1	口:18.6cm 底:5.0cm 高:10.5cm	鉢	横位の帯状文;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	Y－019
図Ⅴ－10	54	図版85	RMD	5	q-84-6・11	2	Ⅳc－1	口:10.5cm 底:2.7cm 高:7.5cm	鉢	入組帯状文・横位の帯状文;羽状縄文／平縁・切出形口唇	D－506
図Ⅴ－10	55	図版85	RMD	7	r-85-7・11	3	Ⅳc－1	口:13.5cm 底:5.7cm 高:7.5cm	鉢	山形の帯状文・横位の帯状文;羽状縄文／平縁・切出形口唇	D－508
図Ⅴ－10	56	図版85	RMD	4	r-83-13・14	11	Ⅳc－1	口:— 底:— 高:(12.9)cm	深鉢A	入組帯状文・横位の帯状文;羽状縄文	D－532
図Ⅴ－10	57	図版85	RMY	3	y-73-8	2	Ⅳc－1	口:21.3cm	深鉢A	弧線帯状文・横位の帯状文;羽状	Y－535

表Ⅴ－４　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（４）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMY	3	y-74-5	8		底：— 高:(14.1)cm		縄文・磨消／波状口縁・切出形口唇	
図Ⅴ－10	58	図版85	RMY	2	y-74-9	3	Ⅳc－1	口:16.8cm 底：— 高:(10.5)cm	鉢	弧線帯状文・横位の帯状文・縦位の帯状文;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇・底部付近に段	Y－538
			RMY	B20	y-73-12	2					
図Ⅴ－11	59	図版84	RMY	1	x-73-14・15	3	Ⅳc－1	口:33.6cm 底：— 高:(20.8)cm	大型深鉢B	曲線帯状文・横位の帯状文;LR縄文・RL縄文／波状口縁＋突起・切出形口唇	Y－537
			RMY	2	x-73-15・16	10					
			RMZ	2	x-73-14	3					
図Ⅴ－11	60	図版86	RMD	13	p-86-3	1	Ⅳc－1	口：— 底：— 高:(11.6)cm	大型深鉢A	入組帯状文・横位の帯状文;羽状縄文	D－502
			RMD	14	p-86-7・8	8					
			RMD	15	p-86-4	7					
図Ⅴ－11	61	図版85	RMY	2	y-74-2・5・6・8・12	12	Ⅳc－1	口:14.1cm 底:3.6cm 高:13.7cm	深鉢A	曲線帯状文;LR縄文／波状口縁・切出形口唇	Y－517
図Ⅴ－11	62	図版85	RMD	5	r-84-7	2	Ⅳc－1		深鉢B	曲線帯状文;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇	D－621
			RMD	6	r-84-7	2					
図Ⅴ－11	63	図版85	RMY	3	y-73-3・8	7	Ⅳc－1	口：— 底：— 高:(11.7)cm	深鉢B	曲線帯状文・横位の帯状文;羽状縄文	Y－554
図Ⅴ－11	64	図版85	RMY	2	y-73-8・12・13・15	7	Ⅳc－1	口:14.7cm 底：— 高:(10.7)cm	深鉢A	弧線帯状文・横位の帯状文;羽状縄文／平縁・切出形口唇	Y－571
図Ⅴ－11	65	図版85	RMD	6	q-85-11	1	Ⅳc－1	口：— 底:3.0cm 高:(4.8)cm	深鉢A	弧線帯状文・横位の帯状文;LR縄文・RL縄文／上げ底気味の底部	D－567
			RMD	7	q-85-6・11	3					
図Ⅴ－12	66	図版86	RMY	2	v-76-14	2	Ⅳc－1	口:33.6cm 底：— 高:(24.7)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文;羽状縄文・幅広の無文帯(2段)／平縁・切出形口唇・胴部2段、残存率(接合率)約40%	Y－072
			RMY	2	w-76-3・5～7・9	29					
			RMY	10	v-76-11・13	17					
			RMY	10	w-76-1～3	6					
図Ⅴ－12	67	図版86	RMD	16	p-85-3～5・7・8	33	Ⅳc－1	口:36.0cm 底：— 高:(26.7)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・縦位区画文;LR・RL縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起・切出形口唇、炭化物多量付着	D－207
			RMD	16	p-86-9	1					
図Ⅴ－12	68	図版86	RME	1	t-82-1	1	Ⅳc－1	口:47.5cm 底：— 高:(39.5)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文;RL縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約70%	E－045
			RME	3	s-81-9・16	2					
			RME	3	s-82-13・14	4					
			RME	3	t-82	1					
			RME	3	t-82-1・2・4～7・9・10・12	31					
			RMW	2	t-82	1					
			RMW	2	t-82-7	1					
図Ⅴ－13	69	図版86	RMD	3	r-84-8	33	Ⅳc－1	口:22.1cm 底：— 高:25.1cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文・曲沈線;乱れた羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約25%	D－045
図Ⅴ－13	70	図版70	RME	3	s-83-3	130	Ⅳc－1	口:24.5cm 底:5.0cm 高:34.0cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・縦位の弧線文;LR縄文・幅広の無文帯／小波状口縁・胴部張り出し・丸底気味の底部、残存率(接合率)約70%	E－011
図Ⅴ－13	71	図版86	RMD	5	q-84-5	15	Ⅳc－1	口:14.4cm 底：— 高:(12.7)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・曲沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約	D－025
図Ⅴ－13	72	図版87	RMD	3	q-84-2	24	Ⅳc－1	口:20.3cm 底:5.7cm 高:21.1cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・曲沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約65%	D－046
			RMD	4	q-84-1・2・6	9					
図Ⅴ－13	73	図版87	RMA	3	p-88-12	1	Ⅳc－1	口:22.2cm 底:4.0cm 高:25.2cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文;LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約65%	A－003
			RMA	11	p-88-11	1					
			RMA	11	p-89-13	1					
			RMA	12	p-88-11	1					
			RMA	12	p-89-7	1					
			RMA	15	p-88-2～4・7・11・12	80					
			RMA	15	p-89-2・3	3					
図Ⅴ－13	74	図版87	RMD	3	r-87-3・15	15	Ⅳc－1	口:21.8cm 底：— 高:(15.5)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・曲沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／ゆるやかな波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約55%	D－111
			RMD	5	r-87-2・3・7・8・15	22					
			RMD	11	r-87-2～4	6					
図Ⅴ－14	75	図版87	RMD	4	q-82-15	1	Ⅳc－1	口:22.1cm 底：— 高:(16.0)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・曲沈線・縦位の沈線;羽状縄文・口唇上ハの字状の刻み・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約50%	D－069
			RMD	4	r-82-3・4・7・8	54					
図Ⅴ－14	76	図版87	RMD	5	q-87-13	1	Ⅳc－1	口:22.0cm 底：— 高:(20.0)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・鋸歯状沈線・弧線文;LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約60%	D－061
			RMD	6	q-86-12・15・16	13					
			RMD	6	r-86-4	2					
			RMD	7	q-86-16	1					
			RMD	7	r-86-4・12	2					
			RMD	7	r-87-5	1					
図Ⅴ－14	77	図版87	RMD	3	r-83-5	9	Ⅳc－1	口:26.3cm 底：— 高:(17.4)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約40%	D－079
			RMD	4	r-83-1・5・6・9・10	21					
			RMD	5	r-83-5	1					
			RMD	6	r-83-6	1					

表Ⅴ－5　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(5)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－14	78	図版88	RMD	7	p-85-12・15	2	Ⅳc－1	口:20.7cm 底: — 高:(19.3)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文;乱れた羽状縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約65%	D－053
			RMD	7	q-85-11	2					
			RMD	12	p-87-15	1					
			RMD	13	p-85-11	1					
			RMD	13	p-87-7・11・15	10					
			RMD	14	p-87-6	1					
			RMD	15	p-87-6・9・10	4					
			RMDF-46	F1	p-87-10	1					
図Ⅴ－14	79	図版88	RME	1	s-83-1・7・9・12・13	9	Ⅳc－1	口:29.5cm 底: — 高:(23.6)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・縦位の沈線(外面・口唇上)・小さな貼瘤・幅広の無文帯;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約35%	E－025
			RME	2	s-82-8	1					
			RME	2	s-83-7・12	5					
			RME	3	s-83	1					
			RME	3	s-83-2	2					
			RME	13	s-83-8	4					
図Ⅴ－14	80	図版88	RME	1	s-83	1	Ⅳc－1	口:14.6cm 底: — 高:(12.8)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文;LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約75%	E－048
			RME	1	s-83-7・9・10	8					
			RME	2	s-83-6・10	2					
図Ⅴ－15	81	図版88	RMY	2	x-72-6・7	22	Ⅳc－1	口:15.7cm 底: — 高:(11.9)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・山形沈線;LR縄文・幅広の無文帯／緩やかな波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	Y－013
図Ⅴ－15	82	図版88	RMY	2	y-72-1～3・5・6	45	Ⅳc－1	口:22.9cm 底:6.4cm 高:18.7cm	深鉢B	突瘤・横走沈線・弧線文;RL縄文／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約85%	Y－032
図Ⅴ－15	83	図版88	RMY	3	y-72-8	2	Ⅳc－1	口:15.0cm 底:3.3cm 高:13.3cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・乱れた弧線文;LR縄文／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約55%	Y－033
			RMY	B26	y-73-10・11	6					
図Ⅴ－15	84	図版89	RMD	3	q-84-14・15	12	Ⅳc－1	口:23.3cm 底:5.0cm 高:14.0cm	鉢	突瘤・横走沈線・入組曲沈線;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約80%	D－036
			RMD	3	q-84-16	1					
			RMD	4	q-84-14・15	15					
図Ⅴ－15	85	図版89	RMY	1	w-76-16	1	Ⅳc－1	口:23.2cm 底:4.4cm 高:10.7cm	鉢	突瘤・横走沈線・弧線文・渦文;LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約70%	Y－036
			RMY	2	w-77-11	3					
			RMY	2	y-73-12	1					
			RMY	2	y-74-14	8					
			RMY	2	y-75-16	1					
図Ⅴ－15	86	図版89	RMG	M2	u-84-16	1	Ⅳc－1	口:26.0cm 底: — 高:(22.0)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線・鋸歯状沈線;LR縄文／平縁＋突起、残存率(接合率)約65%	G－007
			RMG	M2	u-85-16	1					
			RMG	M2	v-84-4・6	16					
			RMG	M2	v-85-5	2					
			RMG	M2	w-84-8	3					
			－	Va	u-84	2					
			－	Va	v-84	13					
図Ⅴ－15	87	図版89	RMY	2	z-74-1・5	4	Ⅳc－1	口:13.2cm 底:3.4cm 高:7.7cm	鉢	突瘤・横走沈線・弧線文;LR縄文／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約50%	Y－004
図Ⅴ－15	88	図版89	RMZ	1	y-72-16	5	Ⅳc－1	口:9.5cm 底:2.5cm 高:4.6cm	鉢	突瘤・乱れた曲沈線／平縁、残存率(接合率)約55%	Z－004
			RMZ	2	x-72-7・13	2					
			RMZ	2	x-74-11	1					
			RMZ	2	y-72-3	2					
図Ⅴ－16	89	図版89	RMY	2	x-78-3・7・10-12	14	Ⅳc－1	口:35.2cm 底: — 高:(20.0)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・鋸歯状沈線;乱れた羽状縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	Y－501
図Ⅴ－16	90	図版90	RMY	2	y-72-12	2	Ⅳc－1	口:38.0cm 底: — 高:(16.4)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・鋸歯状沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	Y－509
			RMY	B10	y-72-11	1					
			RMY	B27	y-72-11・12	5					
図Ⅴ－16	91	図版91	RMDF-3	F0	p-85	12	Ⅳc－1	口:29.2cm 底: — 高:(14.2)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・鋸歯状沈線;LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	D－548
図Ⅴ－16	92	図版91	N盛土	N1	R-66	1	Ⅳc－1		大型深鉢A	突瘤・横走沈線・鋸歯状沈線;LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／波状口縁＋突起・切出形口唇	G－601
			N盛土	N4	R-66	2					
			RMB	T	R-65	1					
			RMG	2	u-84-8・12	4					
図Ⅴ－16	93	図版90	RMD	7	r-85-4・5・7・8・12	17	Ⅳc－1	口:26.0cm 底: — 高:(22.0)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・鋸歯状沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	D－547
			RMD	7	r-86-1・5・6・9	8					
図Ⅴ－16	94	図版90	RMD	8	q-85-5	1	Ⅳc－1	口:36.0cm 底: — 高:(20.0)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線・部分的な鋸歯状沈線;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇	D－522
			RMD	11	q-89-9	1					
			RMD	12	q-88-12・15・16	7					
			RMD	12	r-88-3	1					
			RMD	13	q-88-9・15	10					
図Ⅴ－17	95	図版91	RME	1	s-82-1・2	2	Ⅳc－1			突瘤・横走沈線・斜行沈線・口唇上刻み;羽状縄文／平縁	E－601
			RME	1	s-83-2	1					
			RME	3	t-83-11	1					
図Ⅴ－17	96	図版91	RME	1	u-80-1	1	Ⅳc－1		深鉢A	突瘤・横走沈線・鋸歯状沈線・口縁付近刺突列;LR縄文／平縁・切出形口唇	E－610
			RME	2	t-84-7	1					
			RME	3	t-81-1	1					
			RME	3	t-82-5	1					
			RME	Va	s-80	1					
			RMV	3	r-82	1					

表Ⅴ－６　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（６）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種（部位）	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－17	97	図版91	RME	1	u-82-6	3	Ⅳc－1		深鉢A	突瘤・横走沈線・イナズマ状沈線；LR縄文／平縁・切出形口唇	E－609
			RME	3	t-81-3・10・13・14	5					
			RME	3	u-81-3	1					
			RME	12	u-82-5	1					
図Ⅴ－17	98	図版91	RMD	7	q-85-12	5	Ⅳc－1	口：19.2cm 底：— 高：(9.0)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・「く」の字状の沈線；羽状縄文・幅広の沈線／平縁＋突起・切出形口唇	D－549
			RMDF-30	F1	q-85-12	1					
図Ⅴ－17	99	図版91	RME	3	t-81-4	1	Ⅳc－1	口：24.0cm 底：— 高：(16.8)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・鋸歯状沈線；LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	E－510
			RME	3	t-82-1・2・6	11					
図Ⅴ－17	100	図版90	RMD	6	q-84-5・7・9	7	Ⅳc－1	口：23.1cm 底：— 高：(15.0)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・鋸歯状沈線；LR縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起	D－513
図Ⅴ－17	101	図版91	RMW	2	w-78-12	3	Ⅳc－1	口：20.1cm 底：— 高：(12.5)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・鋸歯状沈線；羽状縄文／平縁＋突起・切出形口唇	Y－545
			RMW	2	y-75	7					
			RMY	2	w-78-12	1					
図Ⅴ－17	102	図版90	RMD	6	q-85-10・15	5	Ⅳc－1	口：18.0cm 底：7.2cm 高：13.5cm	深鉢B	突瘤・乱れた横走沈線；LR縄文／波状口縁・切出形口唇	D－512
			RMD	7	q-85-15	1					
図Ⅴ－18	103	図版90	RMD	4	q-83-6	1	Ⅳc－1	口：36.8cm 底：— 高：(14.8)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線・；羽状縄文／平縁・切出形口唇	D－516
			RMD	4	r-83-10	1					
			RMD	5	q-83-3	3					
			RMD	6	q-83-4・14	4					
			RMD	6	q-87-13	1					
			RMD	6	r-87-1	2					
			RMD	7	r-83-4	1					
			RMD	7	r-84-1	4					
			RMD	7	r-86-4	1					
			RMD	7	r-87-1	4					
図Ⅴ－18	104	図版94	RMD	7	q-84-12	4	Ⅳc－1	口：36.0cm 底：— 高：(21.6)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文；LR縄文／平縁・切出形口唇	D－536
			RMD	8	q-84-8・12	4					
			RMD	9	q-84-9	1					
			RMDF-6	F0	q-85-9	1					
			RMDF-7	F1	q-85-9	1					
図Ⅴ－18	105	図版92	RMY	2	z-73-3	3	Ⅳc－1		大型深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文；LR縄文・／平縁＋突起・切出形口唇	Y－604
			RMY	3	z-73-2	10					
図Ⅴ－18	106	図版94	RMD	6	q-85-2・3・15	20	Ⅳc－1	口：30.0cm 底：— 高：(21.2)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・乱れた弧線文；羽状縄文／平縁＋突起・切出形口唇	D－529
図Ⅴ－18	107	図版92	RMY	2	x-73-11・15	12	Ⅳc－1	口：30.8cm 底：— 高：(14.2)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文；羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	Y－505
			RMY	2	y-73-4	6					
図Ⅴ－18	108	図版94	RME	1	s-83-13	2	Ⅳc－1	口：35.2cm 底：— 高：(22.8)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線・弧線文；羽状縄文／小波状口縁・切出形口唇	E－533
			RME	2	s-83-9・10・13・14	10					
			RME	13	s-83-10・14	22					
図Ⅴ－19	109	図版94	RMY	3	y-72-4・8	21	Ⅳc－1	口：22.2cm 底：— 高：(19.4)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文；LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁、炭化物多量付着・切出形口唇	Y－569
図Ⅴ－19	110	図版92	RMD	15	p-85-7	7	Ⅳc－1		深鉢B	突瘤・横走沈線・弧線文；LR縄文／波状口縁・切出形口唇	D－610
図Ⅴ－19	111	図版92	RMW	2	y-77	2	Ⅳc－1	口：18.6cm 底：— 高：(20.4)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文・曲沈線；LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	Y－525
			RMY	1	y-77-3・11	7					
			RMY	2	w-78-16	1					
			RMY	2	x-75-15	1					
			RMY	2	x-77-3・9・12・14・15	17					
			RMY	2	x-78-4・6・11・16	23					
			RMY	2	y-77-3	6					
			RMY	10	v-76-5・10・13	5					
図Ⅴ－19	112	図版92	RMDF-6	F0	q-85-9	2	Ⅳc－1		深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文；LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	D－619
図Ⅴ－19	113	図版92	RMY	2	w-75-9	2	Ⅳc－1	口：16.2cm 底：7.2cm 高：9.9cm	鉢	突瘤・横走沈線・弧線文；羽状縄文／ゆるやかな波状口縁・切出形口唇	Y－514
			RMY	3	x-74-13	3					
			RMY	T	w-75-9	1					
図Ⅴ－19	114	図版93	RMD	6	q-86-15	1	Ⅳc－1	口：22.2cm 底：15.0cm 高：5.4cm	深鉢B	突瘤・横走沈線・弧線文・渦文；LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇	D－515
			RMD	7	q-86-15.16	7					
図Ⅴ－20	115	図版93	RMY	10	w-80-15	10	Ⅳc－1	口：25.5cm 底：— 高：(9.6)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線・弧線文；LR縄文／平縁・角形口唇	Y－510
図Ⅴ－20	116	図版93	RMD	7	q-86-5・10	4	Ⅳc－1	口：20.1cm 底：— 高：6.6cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文；羽状縄文・幅広の無文帯／平縁	D－514
図Ⅴ－20	117	図版93	RMD	7	r-86-1	1	Ⅳc－1		深鉢A	突瘤（つまみ出し）・横走沈線・弧線文；LR縄文・RL縄文／平縁＋突起・切出形口唇	D－611
			RMV	2	s-82	7					
図Ⅴ－20	118	図版93	RMY	2	y-74-15・16	2	Ⅳc－1	口：23.1cm 底：— 高：(9.6)cm	深鉢A	突瘤（一部つまみ出し）・横走沈線・乱れた弧線文；LR縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	Y－518
			RMY	2	y-75-13	1					
			RMY	2	z-74-8	2					

表Ⅴ－7　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（7）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種（部位）	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－20	119	図版93	RME	3	s-84-7	1	Ⅳc－1	口:12.3cm 底:　— 高:(9.0)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線・弧線文・不規則な曲沈線;LR縄文／平縁	E－509
図Ⅴ－20	120	図版93	RME	1	s-83-13	5	Ⅳc－1	口:15.9cm 底:4.2cm 高:11.4cm	鉢	突瘤・横走沈線・コンパス文風の弧線文;LR縄文・RL縄文／平縁・切出形口唇	E－525
図Ⅴ－20	121	図版93	RMD	6	q-85-5～7	17	Ⅳc－1	口:22.2cm 底:6.6cm 高:22.2cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・乱れた弧線文;LR縄文・RL縄文／波状口縁・切出形口唇	D－526
図Ⅴ－21	122	図版93	RMG	T	v-85	3	Ⅳc－1	口:20.1cm 底:4.8cm 高:19.2cm	深鉢B	突瘤・横走沈線・弧線文;LR縄文／平縁＋突起	G－502
			RMG	T	v-85-1	2					
			－	Va	v-84	2					
図Ⅴ－21	123	図版93	RMY	2	w-76-3	1	Ⅳc－1	口:16.8cm 底:　— 高:(8.0)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線・弧線文;LR縄文／平縁・角形口唇	Y－512
			RMY	2	x-77-1	3					
			RMY	10	v-76-16	1					
図Ⅴ－21	124	図版94	RMD	3	q-84-13	2	Ⅳc－1	口:28.0cm 底:　— 高:(30.0)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－542
			RMD	4	q-84-6・10・11・13	17					
			RMD	4	r-83-10	4					
図Ⅴ－21	125	図版94	RMD	12上	q-87-10	2	Ⅳc－1	口:32.4cm 底:5.6cm 高:39.6cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－537
			RMD	12下	q-87-2・6・7	34					
			RMD	12下	r-87-6	1					
図Ⅴ－22	126	図版95	RMD	6	q-84-4	7	Ⅳc－1	口:38.5cm 底:　— 高:(23.2)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁、残存率(接合率)約60%	D－059
			RMD	6	q-85-1・5	6					
			RMD	T	q-85	2					
			RMD	T	q-85-5	1					
図Ⅴ－22	127	図版95	RMY	2	x-72-7・10～12	24	Ⅳc－1	口:18.8cm 底:2.5cm 高:18.8cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文／ゆるやかな波状口縁・極小の底部、炭化物多量付着、残存率(接合率)約	Y－048
図Ⅴ－22	128	図版95	RMY	3	y-72-4・11・12・15・16	34	Ⅳc－1	口:27.2cm 底:　— 高:(23.2)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;RL縄文／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約70%	Y－029
			RMY	B31	y-72-11	2					
図Ⅴ－22	129	図版95	RMD	6	q-86-13	1	Ⅳc－1	口:18.2cm 底:　— 高:(18.0)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約75%	D－037
			RMD	6	r-85-4	1					
			RMD	6	r-86-1・5・7	27					
図Ⅴ－22	130	図版95	RMY	2	x-72-16	4	Ⅳc－1	口:23.7cm 底:　— 高:(26.9)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約50%	Y－039
図Ⅴ－22	131	図版95	RMD	14	o-88-13	1	Ⅳc－1	口:21.0cm 底:　— 高:(20.5)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約45%	D－083
			RMD	14	p-87-2	1					
			RMD	15	p-87-1・2	12					
図Ⅴ－23	132	図版96	RMD	4	r-83-6・10	14	Ⅳc－1	口:23.8cm 底:5.0cm 高:21.1cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁・角形口唇、残存率(接合率)約70%	D－076
			RME	3	s-83	2					
			RME	3	s-83-4・7	14					
			RMV	2	r-83	5					
			RMV	2	s-83	23					
図Ⅴ－23	133	図版96	RMD	14	p-85-7・8	6	Ⅳc－1	口:17.9cm 底:　— 高:(17.2)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約65%	D－068
			RMD	15	p-85-4・8	22					
			RMD	15	p-86-5	1					
			RMD	16	p-85-4	15					
図Ⅴ－23	134	図版96	RMY	2	w-76-13・14	48	Ⅳc－1	口:29.7cm 底:　— 高:(25.6)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約85%	Y－018
			RMY	2	x-76-1	24					
図Ⅴ－23	135	図版96	RME	1	s-80-4	4	Ⅳc－1	口:17.2cm 底:　— 高:(19.1)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約60%	E－022
			RME	1	s-81-5・13	4					
図Ⅴ－23	136	図版96	RME	1	s-82-4	1	Ⅳc－1	口:28.5cm 底:　— 高:(18.1)	深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約40%	E－043
			RME	3	s-82	1					
			RME	3	s-83-4・7・8・12	31					
図Ⅴ－23	137	図版96	RME	2	s-80-8	7	Ⅳc－1	口:18.2cm 底:7.5cm 高:17.2cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約65%	E－021
			RME	2	s-81-5	1					
			RME	3	s-81-6・13	4					
図Ⅴ－24	138	図版52	RMD	3	r-83-14	78	Ⅳc－1	口:24.0cm 底:　— 高:(27.0)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／小波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	D－067
図Ⅴ－24	139	図版53	RMD	6	q-83-13	28	Ⅳc－1	口:19.1cm 底:　— 高:(15.5)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁、残存率(接合率)約80%	D－003
図Ⅴ－24	140	図版97	RMY	2	y-74-5～7・9・10	32	Ⅳc－1	口:15.4cm 底:4.5cm 高:15.0cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約75%	Y－014
図Ⅴ－24	141	図版97	RMD	5	q-84-7・11	14	Ⅳc－1	口:10.1cm 底:2.0cm 高:10.5cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／波状口縁・上げ底の底部、残存率(接合率)約	D－026
図Ⅴ－24	142	図版97	RMD	6	q-86-5	1	Ⅳc－1	口:15.1cm 底:4.6cm 高:17.5cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起・上げ底の底部、残存率(接合率)約80%	D－005
			RMD	15	p-86-1・13	10					
			RMD	15	q-85-4	4					
			RMD	15	q-86-1・4・13	17					

表Ⅴ－８　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（８）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種（部位）	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMD	16	q-86-13	1					
図Ⅴ－24	143	図版97	RMD	5	q-84-8・12	14	Ⅳc－1	口：23.8cm 底：— 高：(23.6)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線；LR縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率（接合率）約	D－071
			RMD	5	q-85-12・13・16	17					
			RMD	6	q-85-11	1					
図Ⅴ－24	144	図版97	RMD	6	r-83-12	8	Ⅳc－1	口：19.3cm 底：— 高：(16.0)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線；LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率（接合率）約75%	D－019
			RMD	6	r-84-5・9	11					
			RMD	6	r-85-11	2					
			RMD	7	r-84-9	2					
図Ⅴ－25	145	図版97	RMD	2	r-81-12	1	Ⅳc－1	口：39.7cm 底：— 高：(47.2)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線；羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率（接合率）約75%	D－117
			RMD	2	r-82-10	6					
			RMD	3	q-82-14	29					
			RMD	3	r-82	1					
			RMD	3	r-82-2・9～11・14・15	24					
			RMD	4	q-82-14	70					
			RMD	4	r-82-2～4・9・15・16	62					
			－	Va	r-82	3					
図Ⅴ－25	146	図版98	RMY	2	y-73-13	2	Ⅳc－1	口：32.5cm 底：— 高：(28.5)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線；LR縄文・幅広の無文帯／緩やかな波状口縁・切出形口唇、残存率（接合率）約80%	Y－011
			RMY	2	z-72-2	1					
			RMY	3	y-73-1・3・5・10・13・14	9					
			RMY	3	z-72-4	1					
			RMY	3	z-73-1・2・5・10	51					
			RMY	B26	y-73-10	2					
図Ⅴ－25	147	図版98	RMD	5	r-86-2・9・10・13・14	30	Ⅳc－1	口：33.2cm 底：— 高：(30.5)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線；LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率（接合率）約45%	D－078
			RMD	6	r-86-9・13・14	57					
図Ⅴ－26	148	図版98	RMA	2	o-89-3・10・11・14～16	28	Ⅳc－1	口：42.8cm 底：— 高：(29.5)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・波頂部内面沈線；羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率（接合率）約60%	A－005
			RMA	3	o-89-2・14・15	76					
			RMA	14	o-89-14	1					
			RMA	15	o-89-14・15	4					
			RMA	15	p-89-1～3・7	23					
図Ⅴ－26	149	図版98	RME	3	t-82-9・13	101	Ⅳc－1	口：40.0cm 底：8.0cm 高：47.4cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線；羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率（接合率）約90%	E－004
			RME	3	u-82-1	2					
図Ⅴ－27	150	図版98	RMA	2	o-90-8・12	3	Ⅳc－1	口：38.8cm 底：— 高：(33.9)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線；LR縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率（接合率）約50%	A－004
			RMA	3	o-90-8・11・12・15・16	94					
			RMA	3	o-91-5・9	8					
			RMA	11	p-89-12	1					
			RMA	12	p-90-11	1					
			RMA	12	p-91-3	2					
			RMA	15	o-90-2・6・11・15	4					
			RMA	15	p-90-2・3	2					
図Ⅴ－27	151	図版98	RMY	2	v-77-15	1	Ⅳc－1	口：32.5cm 底：8.5cm 高：32.7cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線；LR縄文（太・細）・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇、残存率（接合率）約45%	Y－044
			RMY	2	w-77-3・4	42					
			RMY	2	x-78-3・8・11	8					
図Ⅴ－27	152	図版99	RMD	6	q-85-3・4・7・8・15	63	Ⅳc－1	口：34.5cm 底：— 高：(25.6)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線；羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率（接合率）約65%	D－028
			RMD	14	q-86-1・3	11					
図Ⅴ－28	153	図版99	RMD	5	q-84-10	3	Ⅳc－1	口：40.5cm 底：— 高：34.0cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線；LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率（接合率）約60%	D－109
			RMD	6	q-84	5					
			RMD	6	q-84-5～7・9～11	100					
			RMD	6	r-84-3	1					
			RMD	7	q-84-6・10・11	5					
図Ⅴ－28	154	図版99	RMD	2	r-82-13	1	Ⅳc－1	口：31.2cm 底：6.0cm 高：31.6cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線；羽状縄文・口唇上縄文／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率（接合率）約45%	D－063
			RMD	3	q-83-9	1					
			RMD	3	q-84-5・9・10	10					
			RMD	4	q-84-14	9					
			RMD	5	q-85-16	1					
			RMD	12上	p-83-4	1					
			RMD	12上	p-84-1	2					
			－	Va		1					
図Ⅴ－28	155	図版99	RMY	1	y-74-2・7	6	Ⅳc－1	口：37.0cm 底：— 高：(38.5)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線；LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率（接合率）約85%	Y－057
			RMY	1	y-75-3	1					
			RMY	2	y-74-2～4・7・8・16	29					
			RMY	2	y-75-5・7	2					
			RMY	T	y-75	3					
図Ⅴ－29	156	図版99	RMD	7	q-84-1～5・10・13～16	54	Ⅳc－1	口：31.0cm 底：6.4cm 高：28.7cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線・；LR縄文／平縁＋突起、残存率（接合率）約80%	D－012
			RMDF-63	F1	q-84-10・15	3					
			RMDF-65	F1	r-84-2	3					
図Ⅴ－29	157	図版99	RMD	4	q-84-14	39	Ⅳc－1	口：38.1cm 底：— 高：(28.2)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線；羽状縄文／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率（接合率）約85%	D－034
			RMD	4	r-84-2	1					
			RMD	5	r-84-2・6	7					
図Ⅴ－29	158	図版100	RMY	1	x-74-7・14・15	12	Ⅳc－1	口：27.7cm 底：7.0cm 高：26.5cm	深鉢B	突瘤・横走沈線；RL縄文／平縁、残存率（接合率）約75%	Y－054
			RMY	1	y-74-3・4	45					
			RMY	2	y-74-2・3	2					
			RMY	11	x-74-14・15	18					
			－	Va	x-74	4					
図Ⅴ－29	159	図版100	RME	1	s-83-3・6	4	Ⅳc－1	口：16.6cm 底：—	深鉢B	突瘤・横走沈線；乱れた羽状縄文／平縁・切出形口唇、残存率（接	E－049
			RME	2	s-83-3・7	9					

表Ⅴ－9　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧（9）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種（部位）	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RME	3	s-83	1		高:(14.6)cm		合率)約40%	
図Ⅴ－29	160	図版100	RMY	1	x-73-4	1	Ⅳc－1	口:12.3cm 底:4.8cm 高:10.8cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;乱れた羽状縄文／平縁＋突起・切出形口唇、残存率(接合率)約70%	Y－046
			RMY	1	x-74-9	5					
図Ⅴ－30	161	図版100	RMA	3	o-90-9	1	Ⅳc－1	口:26.3cm 底:5.3cm 高:23.4cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁＋突起・角形口唇、胎土白色味が強い、残存率(接合率)約75%	A－008
			RMA	11	p-89-12	1					
			RMA	12	p-89-11	1					
			RMA	15	o-89-3・6・11・15	10					
			RMA	15	o-90-1・9・13	15					
			RMA	15	p-89-3	7					
			RMA	15	p-90-13	2					
			RMA	T	o-90-5・13	2					
			RMB	T	q-90	1					
			RMG	1	v-84-1・9	6					
			RMG	2	v-84-1・13	8					
			－	Ⅲ下	v-84	1					
			－	Va	u-84	4					
			－	Va	v-84	1					
図Ⅴ－30	162	図版100	RMY	2	y-74-12・15・16	29	Ⅳc－1	口:26.1cm 底:　— 高:(21.6)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇、残存率(接合率)約うえ%	Y－074
図Ⅴ－30	163	図版100	RMG	1	v-82-16	4	Ⅳc－1	口:23.8cm 底:4.5cm 高:21.2cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;RL縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約90%	G－002
			RMG	1	v-83-13	58					
			RMG	2	v-82-12・16	2					
			RMG	2	v-83-9・13	6					
			RMG	2	w-83-1	1					
図Ⅴ－30	164	図版101	RMD	3	r-83-14・15	30	Ⅳc－1	口:18.2cm 底:4.6cm 高:15.9cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／波状口縁、残存率(接合率)約80%	D－041
図Ⅴ－30	165	図版101	RMD	6	q-84-3・7・8・13	12	Ⅳc－1	口:16.1cm 底:4.5cm 高:14.4cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／緩やかな波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約75%	D－022
			RMD	6	q-87-13	2					
図Ⅴ－30	166	図版101	RME	3	s-82-10	6	Ⅳc－1	口:15.2cm 底:4.2cm 高:10.3cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;RL縄文／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約75%	E－047
図Ⅴ－30	167	図版101	RMD	15	p-86-13	1	Ⅳc－1	口:15.0cm 底:　— 高:(8.9)cm	鉢	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇、残存率(接合率)約40%	D－105
			RMD	15	q-86-1・2	10					
図Ⅴ－30	168	図版101	RMY	2	z-73-4	15	Ⅳc－1	口:17.7cm 底:5.5cm 高:9.9cm	鉢	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約55%	Y－025
図Ⅴ－31	169	図版101	RMD	6	q-87-11・15	32	Ⅳc－1	口:26.6cm 底:　— 高:(22.1)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約40%	D－084
			RMD	7	q-85-15・16	4					
図Ⅴ－31	170	図版102	RMY	1	y-74-6・10～12	12	Ⅳc－1	口:21.4cm 底:4.5cm 高:19.3cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約75%	Y－061
			RMY	11	x-74-5	2					
			RMY	11	y-74-9	3					
			RMY	B9	y-74-10	10					
図Ⅴ－31	171	図版102	RMY	2	w-77-7・8	46	Ⅳc－1	口:29.5cm 底:6.7cm 高:25.5cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約85%	Y－016
図Ⅴ－31	172	図版102	RMD	1	r-83-6	19	Ⅳc－1	口:17.1cm 底:3.1cm 高:13.2cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;RL縄文／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約80%	D－085
			RMD	2	r-83-6・7	13					
図Ⅴ－31	173	図版102	RMD	4	p-83-7	15	Ⅳc－1	口:16.5cm 底:4.8cm 高:9.2cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約75%	D－044
			RMD	12下	p-83-3・4	5					
図Ⅴ－31	174	図版102	RME	3	s-81-6・7・11・12	23	Ⅳc－1	口:15.3cm 底:　— 高:(13.4)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約55%	E－052
			－	Va	s-82	1					
図Ⅴ－31	175	図版102	RME	2	s-84-2	19	Ⅳc－1	口:16.8cm 底:4.6cm 高:13.6cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁・上げ底ぎみの底部、残存率(接合率)約55%	E－016
図Ⅴ－32	176	図版54	RME	3	t-81-16	43	Ⅳc－1	口:28.5cm 底:7.7cm 高:21.6cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約50%	E－017
図Ⅴ－32	177	図版103	RMY	2	y-74-3	1	Ⅳc－1	口:17.0cm 底:2.5cm 高:10.8cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約65%	Y－037
			RMY	3	x-73-12	2					
			RMY	3	y-73-7	1					
			RMY	3	y-74-9	1					
			RMY	?	x-74-14・15	9					
図Ⅴ－32	178	図版103	RMD	7	q-86-1・2・5・6	47	Ⅳc－1	口:27.2cm 底:5.5cm 高:20.3cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	D－010
			RMD	15	p-85-5	1					
			RMD	15	q-86-1・2・5	13					
図Ⅴ－32	179	図版103	RMD	5	q-83-5	56	Ⅳc－1	口:21.3cm 底:5.6cm 高:21.3cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;RL縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約90%	D－024

表Ⅴ－10　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(10)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－32	180	図版103	RME	3	t-82-7・8・12	48	Ⅳc－1	口:24.6cm 底:7.2cm 高:24.5cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;羽状縄文／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	E－007
図Ⅴ－32	181	図版103	RMY	2	z-72-1	39	Ⅳc－1	口:21.8cm 底:5.5cm 高:17.1cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;無節L縄文／平縁、残存率(接合率)約70%	Y－008
図Ⅴ－33	182	図版103	RMD	3	q-82-12・15・16	15	Ⅳc－1	口:26.5cm 底:6.3cm 高:25.9cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約90%	D－032
			RMD	4	q-82-15・16	44					
図Ⅴ－33	183	図版104	RME	3	u-82-4・6～8・12	13	Ⅳc－1	口:19.2cm 底:— 高:(16.3)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;RL縄文／平縁、残存率(接合率)約65%	E－028
			RME	3	u-83-1	2					
図Ⅴ－33	184	図版104	RMW	2	y-75	1	Ⅳc－1	口:27.0cm 底:7.0cm 高:21.5cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約80%	Y－024
			RMY	2	y-75-8・12	25					
			RMY	2	y-76-9	9					
図Ⅴ－33	185	図版104	RME	3	t-80-6・12・15・16	45	Ⅳc－1	口:27.5cm 底:6.2cm 高:28.0cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・角形口唇・上げ底気味の底部、炭化物多量付着、残存率(接合率)	E－018
			RME	3	t-82-1・2	3					
図Ⅴ－33	186	図版104	RMG	1	v-84-9	1	Ⅳc－1	口:20.0cm 底:— 高:(10.7)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・角形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約50%	G－009
			RMG	2	v-84-13・14	6					
			RMG	2	w-83-4	1					
			RMG	2	w-83-4	1					
			RMG	2	w-84-1	5					
図Ⅴ－34	187	図版104	RMD	6	q-84-7・10・11・14	21	Ⅳc－1	口:31.2cm 底:— 高:(30.8)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・口唇波頂部上に刺突列;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－541
			RMD	13	p-87-11・12	5					
			RMD	14	p-87-11・14	4					
			RMD	15	p-87-10	2					
			RMD	15	q-84-10・11	2					
図Ⅴ－34	188	図版104	RMD	4	q-83-3	16	Ⅳc－1	口:33.2cm 底:— 高:(18.8)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－521
			RMDF-14	F2	q-83-3	5					
図Ⅴ－34	189	図版105	RMD	14	p-86-2	57	Ⅳc－1	口:46.4cm 底:— 高:(33.6)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文／波状口縁・切出形口唇	D－519
図Ⅴ－35	190	図版105	RMD	1	q-82-3・7	9	Ⅳc－1	口:36.8cm 底:— 高:(28.0)cm	大型深鉢A	突瘤(つまみ出し)・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－509
			RMD	2	r-82-7	5					
			RMD	3	q-82-7	19					
図Ⅴ－35	191	図版105	RMD	7	q-84-7	2	Ⅳc－1	口:38.8cm 底:— 高:(22.8)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－505
			RMD	7	q-85-10・11	16					
図Ⅴ－35	192	図版105	RMD	15	p-86-2・8	4	Ⅳc－1		大型深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－602
			RMD	16	p-86-2・3・6～8・10・11	28					
図Ⅴ－36	193	図版105	RMDF-64	F1	q-84-7	2	Ⅳc－1	口:52.0cm 底:— 高:(21.2)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－550
図Ⅴ－36	194	図版106	RMD	5	q-84-1・2	5	Ⅳc－1	口:42.4cm 底:— 高:(11.6)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;RL縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－545
			RMD	6	q-84-6・11	4					
			RMD	7	q-84-6	3					
図Ⅴ－36	195	図版105	RMA	15	p-88-3・7・11	51	Ⅳc－1	口:37.2cm 底:— 高:(24.4)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇	A－501
図Ⅴ－36	196	図版106	RMY	2	x-72-11・12・15	9	Ⅳc－1	口:26.0cm 底:— 高:(18.8)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	Y－508
			RMY	3	y-72-11・15	3					
図Ⅴ－36	197	図版108	RMY	2	v-78-14	13	Ⅳc－1	口:30.0cm 底:— 高:(23.2)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	Y－507
図Ⅴ－36	198	図版108	RME	2	t-81-1	5	Ⅳc－1	口:29.2cm 底:— 高:(18.4)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	E－511
図Ⅴ－37	199	図版106	RMD	5	r-87-3	1	Ⅳc－1	口:32.0cm 底:— 高:(18.8)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／緩やかな波状口縁・切出形口唇	D－503
			RMD	6	r-87-2	2					
			RMD	7	p-87-13	3					
			RMD	7	q-87-13・14	4					
			RMD	7	r-87-2・5	2					
図Ⅴ－37	200	図版108	RMD	3	q-84-13	23	Ⅳc－1	口:30.0cm 底:— 高:(24.8)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;RL縄文・幅広の無文帯／小波状口縁・切出形口唇	D－546
図Ⅴ－37	201	図版106	RME	2	s-84-3・12	8	Ⅳc－1	口:28.8cm 底:— 高:(16.0)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	E－514
図Ⅴ－37	202	図版107	RMZ	10	t-77-16	1	Ⅳc－1	口:34.2cm 底:— 高:(19.2)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁	Z－502
			RMZ	10	u-77-4	14					
			RMZ	10	u-78-2	2					
図Ⅴ－38	203	図版108	RMD	3	p-83-16	2	Ⅳc－1	口:30.4cm 底:— 高:(28.8)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－540
			RMD	4	p-83-16	13					
			RMD	4	p-84-13・15・16	17					
			RMD	4	q-84-1	1					
図Ⅴ－38	204	図版107	RMD	3	r-85-4・7・11・12	7	Ⅳc－1		大型深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口	D－605
			RMDF-1	F3	r-85-7・11	2					

表Ⅴ－11　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(11)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－38	205	図版107	RMX	1	x-81-7	4	Ⅳc－1		深鉢B	突瘤・横走沈線;羽状縄文／平縁＋2個突起・切出形口唇	X－601
			－	Va	x-81	7					
			－	Va	x-82	1					
図Ⅴ－38	206	図版107	RME	1	s-83-1・2・6	12	Ⅳc－1		大型深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／小波状口縁・切出形	E－603
図Ⅴ－38	207	図版110	RMY	2	x-72-9	1	Ⅳc－1	口:36.8cm 底:－ 高:(20.4)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起・切出形口唇	Y－511
			RMY	3	y-73-2	25					
図Ⅴ－38	208	図版108	RMY	2	x-73-15	2	Ⅳc－1	口:39.2cm 底:－ 高:(19.6)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	Y－502
			RMY	2	y-73-3	15					
図Ⅴ－38	209	図版108	RMY	2	y-73-4・14	13	Ⅳc－1	口:32.4cm 底:－ 高:(26.0)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	Y－513
			RMY	3	x-73-16	8					
図Ⅴ－38	210	図版109	RMD	12下	p-86-5	17	Ⅳc－1	口:30.0cm 底:－ 高:(17.2)cm	大型深鉢A	突瘤(つまみ出し)・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	D－544
図Ⅴ－39	211	図版109	RMD	7	q-84-4	14	Ⅳc－1	口:21.9cm 底:－ 高:18.3cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇	D－510
図Ⅴ－39	212	図版109	RME	3	t-81-8	7	Ⅳc－1	口:20.7cm 底:－ 高:(18.9)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;乱れた羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	E－512
図Ⅴ－39	213	図版109	RMY	2	x-72-11・12・14～16	29	Ⅳc－1	口:24.6cm 底:－ 高:(17.0)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線(・弧線文);羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着	Y－523
図Ⅴ－39	214	図版109	RMD	14	p-85-8・11	14	Ⅳc－1	口:20.4cm 底:－ 高:(15.6)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／平縁	D－533
図Ⅴ－39	215	図版109	RMD	6	q-86-9-11・14・15	27	Ⅳc－1	口:25.2cm 底:－ 高:(19.2)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－538
図Ⅴ－39	216	図版110	RMY	1	y-74-6	2	Ⅳc－1	口:17.9cm 底:－ 高:(11.6)cm	深鉢A	突瘤・乱れた横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	Y－524
			RMY	11	y-74-6	5					
図Ⅴ－39	217	図版110	RMD	3	r-83-9	3	Ⅳc－1	口:18.3cm 底:－ 高:(15.0)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線(弧線文);羽状縄文・無文部／波状口縁・切出形口唇	D－517
			RMD	4	r-83-10	1					
図Ⅴ－39	218	図版110	RMDF-11	F1	q-87-8	1	Ⅳc－1		深鉢A	突瘤(つまみ出し)・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－701
図Ⅴ－40	219	図版110	RMD	5	q-84-2	5	Ⅳc－1		深鉢A	突瘤・横走沈線;LR縄文・口唇上縄文・沈線／波状口縁・切出形口	D－601
			RMD	6	q-84-2	6					
図Ⅴ－40	220	図版111	RMY	2	y-76-4	10	Ⅳc－1	口:34.4cm 底:－ 高:(23.4)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁	Y－506
図Ⅴ－40	221	図版111	RMGF-11	F0	v-84-15	32	Ⅳc－1	口:29.6cm 底:－ 高:20.4cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁・切出形口唇	G－506
図Ⅴ－40	222	図版111	RMD	6	q-84-11	1	Ⅳc－1	口:30.4cm 底:－ 高:(18.8)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇	D－553
			RMDF-63	F1	q-84-11	8					
図Ⅴ－40	223	図版111	RME	T	t-85	5	Ⅳc－1	口:26.8cm 底:－ 高:(21.2)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇	E－522
			RME	T	t-85-5	5					
図Ⅴ－40	224	図版111	RMD	3	q-84-10	1	Ⅳc－1	口:32.4cm 底:－ 高:(10.0)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線;羽状縄文／小波状口縁・切出形口唇	D－543
			RMD	4	q-84-14・15	4					
			RMD	4	r-84-2・3	5					
図Ⅴ－41	225	図版110	RMDF-63	F2	q-84-11	1	Ⅳc－1		深鉢B	突瘤・横走沈線・口唇上太い刻み列;LR縄文／平縁・切出形口唇	D－702
			RMD	7	q-84-8	1					D－703
図Ⅴ－41	226	図版110	RMD	12下	p-86-14	1	Ⅳc－1		深鉢B	突瘤・横走沈線・口唇上沈線・刻み列;羽状縄文／平縁	E－602
			RME	2	s-83-10・14	2					
図Ⅴ－41	227	図版110	RMY	B27	y-72-11	1	Ⅳc－1	口:17.1cm 底:－ 高:(12.8)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇	Y－519
			RMY	B28	y-72-11	1					
			RMY	B31	y-72-11・12	5					
図Ⅴ－41	228	図版111	RME	1	s-84-4	1	Ⅳc－1	口:28.2cm 底:－ 高:(15.0)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;羽状縄文／平縁・切出形口唇	E－531
			RME	2	s-84-3・8	5					
			RME	2	s-85-1	1					
図Ⅴ－41	229	図版112	RMY	10	v-80-15	16	Ⅳc－1	口:19.5cm 底:－ 高:(13.2)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／緩やかな波状口縁・切出形口唇	Y－563
図Ⅴ－41	230	図版112	RMY	2	v-76-15	1	Ⅳc－1	口:18.2cm 底:－ 高:(11.1)cm	深鉢B	突瘤(一部2列)・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇	Y－542
			RMY	2	v-79-7・10	2					
			RMY	2	w-76-3	1					
図Ⅴ－41	231	図版112	RMD	6	r-84-3	20	Ⅳc－1	口:24.3cm 底:6.3cm 高:22.5cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁・切出形口唇	D－530
			RMD	7	r-84-4・14	2					

表Ⅴ－12　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(12)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－41	232	図版112	RMG	2	w-83-3･6･7	9	Ⅳc－1	口:16.2cm 底: — 高:(10.2)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁	G－504
図Ⅴ－41	233	図版113	RMY	2	y-75-11	17	Ⅳc－1	口:15.0cm 底: — 高:(19.0)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／波状口縁・切出形口唇	Y－566
図Ⅴ－42	234	図版112	RMD	1	r-81-5	3	Ⅳc－1	口:38.8cm 底: — 高:(14.6)	大型鉢	横走沈線・弧線文・斜行沈線;LR縄文／小波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約45%	E－042
			RMD	2	r-81-9	2					
			RMD	2	r-82-9	3					
			RME	1	s-80-4	2					
			RME	2	s-81-1･2･5	9					
			RME	2	t-81-6	1					
			RME	3	s-81-13	1					
			RME	3	s-82-1･5～7･9	32					
図Ⅴ－42	235	図版113	RMK	1	w-87-6	16	Ⅳc－1	口:13.9cm 底:5.5cm 高:9.1cm	鉢	横走沈線・弧線文・斜行沈線;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約60%	K－001
図Ⅴ－42	236	図版113	RMY	3	x-73-13	8	Ⅳc－1	口:12.9cm 底:3.2cm 高:10.6cm	深鉢B	横走沈線・斜行沈線・弧線文;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇、残存率(接合率)約40%	Y－210
			RMY	3	y-73-8	3					
図Ⅴ－42	237	図版113	RMG	1	v-85	1	Ⅳc－1	口:14.8cm 底:4.0cm 高:12.7cm	台付鉢	横走沈線・鋸歯状沈線;LR縄文／波状口縁＋突起・上げ底の台、残存率(接合率)約70%	G－010
			RMG	1	v-85･5･8	2					
			RMG	2	v-84	1					
			RMG	2	v-85	2					
			RMG	2	v-85･5･11	3					
			RMG	3	v-85･8･12	6					
図Ⅴ－42	238	図版113	RMK	1	x-85･8･11･12	8	Ⅳc－1	口:15.4cm 底:4.6cm 高:14.2cm	深鉢A	横走沈線・鋸歯状沈線;LR縄文／波状口縁＋突起、残存率(接合率)約30%	K－201
			RMW	2	y-83	1					
図Ⅴ－42	239	図版113	RMY	2	x-72-6･7･10･11･15	17	Ⅳc－1	口:25.0cm 底:4.3cm 高:11.2cm	鉢	横走沈線・弧線文;LR縄文／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約75%	Y－041
図Ⅴ－42	240	図版114	RMD	7	q-84-10	3	Ⅳc－1	口:13.2cm 底:3.7cm 高:8.5cm	鉢	横走沈線・弧線文;LR縄文／波状口縁、残存率(接合率)約45%	D－014
			RMD	7	q-83-16	2					
図Ⅴ－42	241	図版114	RMDF-63	F1	q-84-10	2	Ⅳc－1	口:9.6cm 底:4.0cm 高:5.1cm	鉢	横走沈線・弧線文;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約50%	D－113
			RMDF-63	F1	q-85-10	1					
図Ⅴ－42	242	図版114	RMA	1	o-90-9	1	Ⅳc－1	口:9.3cm 底:2.4cm 高:6.2cm	鉢	横走沈線・弧線文;LR縄文／平縁＋突起、残存率(接合率)約70%	A－007
			RMA	3	o-90-10	1					
			RMA	15	o-89-15	4					
			RMA	15	o-90-10	9					
			RMA	15	o-90-7	1					
			RMA	T	o-90-9	2					
図Ⅴ－42	243	図版114	RMX	T	y-80	2	Ⅳc－1	口:14.0cm 底:6.0cm 高:10.9cm	深鉢A	横走沈線・弧線文;LR縄文／緩やかな波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約30%	X－201
			RMX	T	y-80-9･13	8					
図Ⅴ－42	244	図版114	RMW	2	y-78	33	Ⅳc－1	口:22.5cm 底:4.3cm 高:17.0cm	深鉢B	横走沈線・弧線文;LR縄文／平縁＋突起、残存率(接合率)約75%	Y－028
			RMY	1	y-78-7	6					
図Ⅴ－42	245	図版70･71	RME	2	t-82-13	1	Ⅳc－1	口:18.4cm 底:5.7cm 高:13.7cm	深鉢B	横走沈線・弧線文;LR縄文／小波状口縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	E－014
			RME	3	s-82-6･13･14	5					
			RME	3	t-81-12	1					
			RME	3	t-82-2･3･6･11･13･16	21					
			RMV	1	s-82	1					
			RMY	2	x-76-1	2					
図Ⅴ－43	246	図版114	RMD	16	p-86-7	3	Ⅳc－1	口:(11.0)cm 底:3.2cm 高:6.3cm	鉢	横走沈線・弧線文;LR縄文／平縁・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約30%	D－210
図Ⅴ－43	247	図版115	RMD	2	r-83-7	3	Ⅳc－1	口:11.6cm 底:7.6cm 高:3.2cm	鉢	横走沈線・弧線文・曲沈線;LR縄文・RL縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約55%	D－082
			RMD	3	r-83-10･11･15	3					
図Ⅴ－43	248	図版115	RMD	4	q-83-2	1	Ⅳc－1	口:18.6cm 底:4.3cm 高:9.9cm	鉢	横走沈線・弧線文・曲沈線;LR縄文・RL縄文／平縁・切出形口唇・上げ底の底部、残存率(接合率)約55%	D－018
			RMD	6	r-83-8･12	2					
			RMD	6	r-84-5	5					
			RMD	7	r-84-4･5	10					
			RMD	?	q-87-7	1					
			-	Vd下	w-67	1					
図Ⅴ－43	249	図版115	RMY	2	y-72-6	1	Ⅳc－1	口:19.5cm 底:4.8cm 高:14.1cm	深鉢B	横走沈線・曲沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約75%	Y－031
			RMY	3	y-72-2･6～8･16	9					
			RMY	3	y-73-1･2･4･13	8					
			RMY	B31	y-72-10～12	6					
			RMZ	2	u-76-13	1					
			RMZ	2	y-71-4	1					
			RMZ	10	u-76-13･14	2					
図Ⅴ－43	250	図版115	RMY	2	x-75-11･12	2	Ⅳc－1	口:17.0cm 底:4.8cm 高:11.2cm	深鉢B	横走沈線・曲沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約65%	Y－035
			RMY	2	x-76-5･9･13	25					
図Ⅴ－43	251	図版115	RMD	6	p-84-16	1	Ⅳc－1	口:13.2cm	鉢	横走沈線・曲沈線;LR縄文／平	D－114

表Ⅴ－13　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(13)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等：地文等／器形・特徴	整理番号
			RMD	6	q-85-3	2		底:3.0cm 高:5.8cm		縁・切出形口唇、残存率(接合率)約45%	
図Ⅴ－43	252	図版115	RMG	1	w-84-2・6	2	Ⅳc－1	口:10.6cm 底:3.3cm 高:7.1cm	鉢	横走沈線・曲沈線;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約50%	G－012
			RMG	2	u-83-16	1					
			RMG	2	w-84-2・7	6					
図Ⅴ－43	253		RMY	3	y-72-8	1	Ⅳc－1	口:17.8cm 底:4.6cm 高:11.5cm	台付鉢	横走沈線・曲沈線・楕円文・鋸歯状沈線;LR縄文／緩やかな波状口縁・切出形口唇・台、残存率(接合率)約80%	Y－007
			RMY	3	y-73-2・3・5～7・9・10	35					
図Ⅴ－43	254		RMG	T	v-85	13	Ⅳc－1	口:12.0cm 底:3.7cm 高:13.4cm	深鉢A	横走沈線・弧線文・円文;LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約60%	G－008
			－	Va	v-85	10					
図Ⅴ－43	255	図版117	RMD	6	q-83-12	2	Ⅳc－1	口:(12.7)cm 底:(4.0)cm 高:11.0cm	深鉢B	横走沈線・曲沈線・円文;LR縄文／平縁＋突起	D－202
			RMD	7	q-83-12	1					
図Ⅴ－43	256		RMD	9	q-85-10・15	4	Ⅳc－1	口:－ 底:5.4cm 高:(6.6)cm	深鉢B	横走沈線・弧線文・円文;RL縄文／上げ底気味の底部	D－212
図Ⅴ－43	257		RME	3	t-81-5・10	28	Ⅳc－1	口:22.4cm 底:7.0cm 高:9.9cm	鉢	横走沈線・曲沈線;LR縄文／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約70%	E－015
図Ⅴ－43	258		RMD	12	q-87-2	1	Ⅳc－1	口:12.8cm 底:3.0cm 高:6.0cm	鉢	横走沈線・曲沈線;RL縄文／波状口縁・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約60%	D－073
			RMD	12下	p-87-13	3					
			RMD	12下	q-87-13	1					
図Ⅴ－44	259	図版116	RMD	3	p-84-7	1	Ⅳc－1	口:14.4cm 底:4.0cm 高:9.0cm	鉢	横走沈線・曲沈線;無文／平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	D－090
			RMD	3	r-84-7・11	10					
			RMD	Ⅲ上	r-84-8・12	3					
			RMDF-1	F2	r-84-12	2					
			RMDF-1	F3	r-84-16	1					
図Ⅴ－44	260	図版116	RMD	20	p-84-7・11・12・15	12	Ⅳc－1	口:10.0cm 底:3.0cm 高:5.4cm	鉢	横走沈線・曲沈線;無文／平縁・角形口唇、残存率(接合率)約90%	D－004
図Ⅴ－44	261	図版116	RMD	13	q-87-3	1	Ⅳc－1	口:10.5cm 底:4.7cm 高:5.5cm	鉢	横走沈線・沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約45%	D－002
図Ⅴ－44	262	図版116	RMZ	2	x-73-12	5	Ⅳc－1	口:13.6cm 底:5.0cm 高:6.1cm	台付鉢	横走沈線・曲沈線・刺突;無文／平縁＋突起・台、残存率(接合率)約30%	Z－008
			－	Va	x-73	2					
図Ⅴ－44	263	図版116	RME	3	s-81-7・10・12・16	17	Ⅳc－1	口:14.3cm 底:4.2cm 高:15.0cm	深鉢A	横走沈線・曲沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約65%	E－024
			RME	3	t-82-12	2					
図Ⅴ－44	264	図版116	RMD	6	r-85-11	1	Ⅳc－1	口:38.4cm 底:－ 高:(17.2)cm	大型深鉢B	横走沈線・斜行沈線;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇	D－501
			RMD	6	r-87-7	1					
			RMD	7	q-85-15	1					
			RMD	7	r-85-15	1					
			RMD	7	r-87-11	1					
			RMD	8	q-85-10・15	3					
			RMD	8	r-83-3	1					
			RMD	8	r-85-3・7	20					
			RMD	9	r-85-3	2					
図Ⅴ－45	265	図版117	RME	3	t-82-15	1	Ⅳc－1	口:11.1cm 底:－ 高:(9.6)cm	深鉢A	横走沈線・鋸歯状沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	E－502
			RME	3	u-82-3・4	6					
図Ⅴ－45	266	図版117	RMD	1	s-88-6・9・10	5	Ⅳc－1	口:13.8cm 底:6.6cm 高:10.5cm	深鉢A	横走沈線・鋸歯状沈線;LR縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起	D－525
			RMD	11	s-88-6	3					
図Ⅴ－45	267	図版117	RMY	1	w-78-2	5	Ⅳc－1		深鉢A	横走沈線・鋸歯状沈線;LR縄文／緩やかな波状口縁・切出形口	Y－605
図Ⅴ－45	268	図版117	RMX	1	x-82-8	9	Ⅳc－1	口:16.6cm 底:5.1cm 高:(9.3)cm	鉢	横走沈線・鋸歯状沈線;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇	X－502
図Ⅴ－45	269	図版117	RME	1	u-81-5・9	3	Ⅳc－1	口:18.6cm 底:－ 高:(11.4)cm	深鉢B	横走沈線・鋸歯状沈線;羽状縄文／緩やかな波状口縁・切出形口唇	E－506
			RME	2	u-81-6	1					
図Ⅴ－45	270	図版117	RMY	3	y-73-1・2・6	11	Ⅳc－1	口:24.9cm 底:6.6cm 高:10.5cm	鉢	横走沈線・鋸歯状沈線;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇・上げ底の底部	Y－529
図Ⅴ－45	271	図版117	RMD	3	q-86-7・11	5	Ⅳc－1		鉢	横走沈線・曲沈線;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇	D－617
			RMD	5	q-85-16	1					
			RMD	5	q-86-11・14・15	6					
			RMD	6	q-86-11	2					
			RMD	11	q-86-12	2					
			RMD	12下	q-87-1	1					
図Ⅴ－45	272	図版118	RMD	4	p-83-11・14～16	7	Ⅳc－1		深鉢B	横走沈線・鋸歯状沈線・弧線文・口唇上沈線・刺突;LR縄文・RL縄文／切出形口唇	D－607
			RMD	4	q-83-2・4	3					
			RMD	5	p-83-16	2					
			RMD	6	p-83-16	1					
図Ⅴ－45	273	図版117	RME	1	t-82-10	1	Ⅳc－1	口:9.3cm	鉢	曲沈線;LR縄文／平縁	E－528

表Ⅴ－14 盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(14)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RME	2	t-82-13	2		底：— 高:(6.3)cm			
図Ⅴ－46	274	図版118	RME	3	s-81-14・15	4	Ⅳc－1	口：— 底:7.6cm 高:(8.0)cm	大型深鉢B	横走沈線・曲沈線・弧線文;LR縄文／	E－527
図Ⅴ－46	275	図版117	RMY	3	y-72-8・11・12・16	23	Ⅳc－1	口:28.8cm 底:4.8cm 高:(9.4)cm	鉢	横走沈線・円文・弧線文・斜行沈線;LR縄文・RL縄文／平縁＋突起・切出形口唇・底部楕円	Y－534
図Ⅴ－46	276	図版117	RMG	1	v-84-1・5	2	Ⅳc－1	口:34.4cm 底：— 高:(12.8)cm	大型深鉢B	横走沈線・弧線文;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇	G－501
			RMG	2	v-84-1・5	4					
			～	Va	u-84	1					
			～	Va	v-84	6					
図Ⅴ－46	277	図版118	RMY	3	y-73-1・3・4・8	4	Ⅳc－1	口:15.3cm 底:3.6cm 高:8.7cm	鉢	横走沈線・弧線文;LR縄文／平縁・切出形口唇	Y－530
図Ⅴ－46	278	図版118	RMY	3	z-72-4・8	6	Ⅳc－1		深鉢B	横走沈線・弧線文;LR縄文／平縁・切出形口唇	Y－603
図Ⅴ－46	279	図版118	RMD	7	q-84-8・12・16	11	Ⅳc－1	口：— 底:6.0cm 高:(10.5)cm	深鉢B	横走沈線・弧線文;LR縄文・RL縄文／	D－531
図Ⅴ－46	280	図版118	RMG	1	v-84-10	1	Ⅳc－1	口：— 底:3.9cm 高:(6.3)cm	小型深鉢	横走沈線・弧線文・鋸歯状沈線;LR縄文	G－508
			RMG	2	v-84-10	1					
図Ⅴ－46	281	図版118	RME	3	s-83	1	Ⅳc－1	口:26.1cm 底：— 高:(12.0)cm	鉢	横走沈線・曲沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇	D－524
			RME	3	s-83-4	1					
			RMD	4	r-83-14	1					
			RMDF-37	F1	r-83-14	2					
			RMV	1	s-83	1					
			RMV	2	r-83	8					
図Ⅴ－46	282	図版118	RMD	7	q-84-7・8	6	Ⅳc－1	口:15.3cm 底：— 高:(8.1)cm	鉢	横走沈線・弧線文;LR縄文／波状口縁・切出形口唇	D－552
			RMDF-64	F1	q-84-7	5					
図Ⅴ－47	283	図版119	RME	1	s-82-4	1	Ⅳc－1	口:14.1cm 底：— 高:(5.4)cm	鉢	横走沈線・曲沈線;LR縄文・RL縄文／平縁・切出形口唇	E－504
			RME	1	s-83-5	2					
			RME	2	s-83-1	1					
図Ⅴ－47	284	図版119	RMY	2	y-74-16	1	Ⅳc－1	口:12.3cm 底:4.2cm 高:7.2cm	鉢	横走沈線・曲沈線;LR縄文／波状口縁・切出形口唇	Y－540
			RMY	2	y-75-11	6					
			RMY	T	y-75-14	2					
図Ⅴ－47	285	図版119	RME	1	s-84-6・10	2	Ⅳc－1		鉢	横走沈線・弧線文・曲沈線;羽状縄文／平縁・切出形口唇	E－611
図Ⅴ－47	286	図版119	RMY	2	x-76-6	1	Ⅳc－1	口:11.1cm 底:3.9cm 高:8.3cm	深鉢A	横走沈線・弧線文;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	Y－531
図Ⅴ－47	287	図版119	RMY	T	x-75-14	4	Ⅳc－1	口:13.7cm 底:5.4cm 高:10.5cm	深鉢A	横走沈線・曲沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇・上げ底気味の底部	Y－533
図Ⅴ－47	288	図版119	RMD	2	r-83-15	1	Ⅳc－1	口:12.9cm 底：— 高:(8.1)cm	鉢	横走沈線・弧線文;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇	D－507
			RMD	5	r-87-9・10・13	5					
			RMD	6	r-87-9	2					
図Ⅴ－47	289	図版119	RME	3	t-83-4・8	3	Ⅳc－1	口:15.3cm 底：— 高:(12.3)cm	深鉢A	横走沈線・弧線文・口唇上沈線;LR縄文・幅広の無文帯／緩やかな波状口縁	E－505
図Ⅴ－47	290	図版119	RMG	T	v-85-13	4	Ⅳc－1	口:18.0cm 底：— 高:(14.1)cm	深鉢A	横走沈線・弧線文;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁	G－503
図Ⅴ－47	291	図版119	RMG	1	v-82-9	1	Ⅳc－1	口:18.0cm 底:4.8cm 高:13.1cm	深鉢A	横走沈線・入り組み沈線・弧線文;羽状縄文・無文帯／平縁＋突起・切出形口唇	G－505
			RMG	1	v-85-15	1					
			RMG	12	v-82-15	20					
図Ⅴ－47	292	図版119	RMY	3	z-72-3	1	Ⅳc－1	口:15.8cm 底：— 高:(9.6)cm	深鉢A	横走沈線・クランク文;LR縄文・RL縄文／平縁	Y－541
			RMY	3	z-73-1・2	2					
図Ⅴ－47	293	図版119	RME	3	s-82-10・11・14	7	Ⅳc－1		深鉢B	曲沈線・円文;LR縄文／	E－608
図Ⅴ－48	294	図版54	RME	3	s-81-15・16	39	Ⅳc－1	口:28.8cm 底：— 高:(13.0)cm	深鉢A	横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約50%	E－031
図Ⅴ－48	295	図版120	RMY	2	y-74-3	13	Ⅳc－1	口:14.0cm 底:4.3cm 高:13.3cm	深鉢A	横走沈線;LR縄文・無文帯／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、炭化物多量付着、残存率(接合率)約98%	Y－006
図Ⅴ－48	296	図版120	RMY	3	y-73-1・2・6	9	Ⅳc－1	口：— 底:6.6cm 高:(13.1)cm	深鉢A	横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／残存率(接合率)約30%	Y－206
図Ⅴ－48	297	図版120	RMY	3	y-74-5	57	Ⅳc－1	口:13.4cm 底:3.5cm 高:16.7cm	深鉢A	横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁＋突起・切出形口唇、残存率(接合率)約85%	Y－012
図Ⅴ－48	298	図版120	RMG	1	v-83-3・12	3	Ⅳc－1	口:11.8cm 底：—	深鉢A	横走沈線;LR縄文・無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量	G－004
			RMG	2	v-83	3					

表Ⅴ－15　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(15)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMG	2	v-83-7	2		高:11.3cm		付着、残存率(接合率)約70%	
			RMG	3	v-83-7	5					
			－	Va	v-83	1					
図Ⅴ－48	299	図版120	RMY	1	x-74-11・15	9	Ⅳc－1	口:17.2cm 底:3.7cm 高:10.0cm	鉢	横走沈線;LR縄文／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約80%	Y－020
			RMY	2	x-74-14・15	6					
図Ⅴ－48	300	図版120	RME	3	t-82-15・16	4	Ⅳc－1	口:15.3cm 高: — 高:(8.6)cm	鉢	横走沈線(・弧線文);LR縄文・RL縄文／平縁＋突起、炭化物多量付着、残存率(接合率)約50%	E－035
図Ⅴ－48	301	図版121	RMZ	2	x-73-10・11	15	Ⅳc－1	口:11.8cm 底:3.2cm 高:6.6cm	鉢	横走沈線;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約70%	Z－002
図Ⅴ－48	302	図版121	RMD	7	q-85-10・11・14	10	Ⅳc－1	口:13.0cm 底:7.6cm 高:2.7cm	鉢	横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約40%	D－015
図Ⅴ－48	303	図版121	RMY	1	x-74-14	1	Ⅳc－1	口:11.5cm 底:3.4cm 高:7.9cm	鉢	横走沈線;LR縄文・無文帯／波状口縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約50%	Y－062
			RMY	11	x-74-15	3					
図Ⅴ－48	304	図版121	RME	2	s-81-8	8	Ⅳc－1	口:11.0cm 底:3.7cm 高:6.8cm	鉢	横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約65%	E－009
			RME	2	t-81-16	1					
			RME	3	s-82-2	1					
			RME	3	s-83-15	1					
図Ⅴ－48	305	図版121	RMG	2	w-82-7・11	25	Ⅳc－1	口:16.7cm 底:4.2cm 高:7.1cm	鉢	横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約50%	G－006
図Ⅴ－48	306	図版121	RMY	2	y-74-4	4	Ⅳc－1	口:12.7cm 底:3.4cm 高:5.4cm	台付鉢	横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇・台、炭化物多量付着、残存率(接合率)約60%	Y－067
図Ⅴ－49	307	図版121	RMG	M1	v-84-1・5	7	Ⅳc－1	口:27.7cm 底: — 高:(10.6)cm	鉢	横走沈線;羽状縄文／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約70%	G－005
			RMG	M2	v-84-1・5	5					
			－	Va	v-84	8					
図Ⅴ－49	308	図版121	RMY	2	z-73-8	12	Ⅳc－1	口:15.5cm 底:(5.0)cm 高:9.5cm	鉢	横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約45%	Y－052
図Ⅴ－49	309	図版122	RMD	6	q-85-4・5	11	Ⅳc－1	口:23.3cm 底:5.4cm 高:13.8cm	鉢	横走沈線(・弧線文);LR縄文・無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約85%	D－017
			RMD	7	q-86-1・5	10					
図Ⅴ－49	310	図版122	RMY	2	w-76-4・7・8	17	Ⅳc－1	口:18.0cm 底:4.0cm 高:11.2cm	鉢	横走沈線;LR縄文／平縁・角形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約75%	Y－017
図Ⅴ－49	311	図版122	RMD	12下	p-87-13	2	Ⅳc－1	口:15.8cm 底:4.4cm 高:9.3cm	鉢	横走沈線;LR縄文／波状口縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約45%	D－206
			RMD	13	p-87-13	3					
図Ⅴ－49	312	図版122	RMY	2	w-77-14	31	Ⅳc－1	口:17.5cm 底:4.8cm 高:9.6cm	鉢	横走沈線;LR縄文／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	Y－022
図Ⅴ－49	313	図版122	RMY	2	y-74-4・8	3	Ⅳc－1	口:7.8cm 底:3.0cm 高:3.4cm	鉢	横走沈線;LR縄文／平縁・角形口唇、残存率(接合率)約50%	Y－066
図Ⅴ－49	314	図版123	RMY	2	z-75-4	6	Ⅳc－1		深鉢A	横走沈線;LR縄文・無文帯／平縁	Y－612
図Ⅴ－49	315	図版122	RMY	2	x-73-6・7	12	Ⅳc－1	口:16.1cm 底:5.4cm 高:15.0cm	深鉢A	横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	Y－570
図Ⅴ－49	316	図版123	RMY	2	z-74-2	5	Ⅳc－1	口:15.3cm 底: — 高:(12.9)cm	深鉢A	横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／小波状口縁・切出形口唇	Y－562
図Ⅴ－50	317	図版123	RMY	2	y-74-3	4	Ⅳc－1		鉢	横走沈線(・弧線文);LR縄文(口唇上含む)・／波状口縁・切出形口唇	Y－609
			RMYF-32	F0	y-74-7	2					
図Ⅴ－50	318	図版123	RMY	3	y-72-6	1	Ⅳc－1	口:21.6cm 底:6.3cm 高:(6.6)cm	鉢	横走沈線;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇	Y－539
			RMY	B26	y-73-10	1					
			RMY	B30	y-73-10	3					
図Ⅴ－50	319	図版123	RMY	3	y-72-3・4・8	3	Ⅳc－1	口:21.6cm 底:4.8cm 高:10.8cm	鉢	横走沈線;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇	Y－536
			RMY	3	y-73-2・3・6・7	10					
図Ⅴ－50	320	図版122	RME	3	s-84-9・10	7	Ⅳc－1	口:15.6cm 底:4.8cm 高:9.0cm	鉢	横走沈線;羽状縄文／平縁・角形口唇・上げ底	E－503
図Ⅴ－50	321	図版123	RMY	2	x-74-9・10	2	Ⅳc－1	口:17.0cm 底: — 高:(6.9)cm	鉢	横走沈線;LR縄文／緩やかな波状口縁・切出形口唇	Y－560
			RMY	3	y-74-6	4					
図Ⅴ－50	322	図版123	RMY	3	y-72-5・6・8	12	Ⅳc－1	口:25.8cm 底:6.6cm 高:9.6cm	鉢	横走沈線;LR縄文／緩やかな波状口縁・切出形口唇	Y－521
図Ⅴ－50	323	図版123	RME	3	t-83-5・6	5	Ⅳc－1	口:13.5cm 底:3.9cm 高:8.4cm	鉢	横走沈線;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇・上げ底気味の底部・貫通孔1ヵ所	E－529
図Ⅴ－51	324	図版124	RMD	6	q-85-2・4・14	30	Ⅳc－1	口:30.3cm	大型深鉢A	突瘤;乱れた羽状縄文・幅広の無	D－039

表Ⅴ－16　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(16)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMD	7	q-84-7	1		底：—		文帯／波状口縁・切出形口唇、残	
			RMD	7	q-85-14	23		高:(35.8)cm		存率(接合率)約70%	
図Ⅴ－51	325	図版124	RMD	12下	p-86-1・5・6	91	Ⅳc－1	口:30.2cm	大型深鉢A	突瘤;RL縄文・幅広の無文帯／	D－104
								底：—		平縁・切出形口唇、炭化物多量付	
								高:(28.4)cm		着、残存率(接合率)約75%	
図Ⅴ－51	326	図版124	RMY	1	w-77-12・15・16	15	Ⅳc－1	口:28.4cm	大型深鉢A	突瘤;LR縄文・幅広の無文帯／	Y－058
			RMY	2	w-77-12・16	48		底：—		波状口縁・切出形口唇、炭化物多	
								高:(29.8)cm		量付着、残存率(接合率)約80%	
図Ⅴ－51	327	図版124	RMY	B10	y-73-10	30	Ⅳc－1	口:32.5cm	大型深鉢A	突瘤(・一部弧線文);羽状縄文・	Y－059
			RMY	B16	y-73-10	4		底：—		幅広の無文帯／波状口縁・切出	
								高:(23.7)cm		形口唇、残存率(接合率)約50%	
図Ⅴ－52	328	図版124	RMY	2	z-73-4・16	17	Ⅳc－1	口:25.0cm	深鉢A	突瘤(・横走沈線);LR縄文・無文	Y－060
			RMY	2	z-74-1・7	3		底：—		帯／波状口縁・切出形口唇、残存	
								高:(17.2)cm		率(接合率)約50%	
図Ⅴ－52	329	図版124	RMD	2	r-82-14	3	Ⅳc－1	口:23.7cm	深鉢A	突瘤;LR縄文・幅広の無文帯／	D－062
			RMD	3	r-82-14・15	27		底：—		平縁・切出形口唇、炭化物多量付	
			RMD	4	r-82-14・15	13		高:(25.2)cm		着、残存率(接合率)約65%	
図Ⅴ－52	330	図版125	RMD	6	q-84-16	1	Ⅳc－1	口:23.7cm	深鉢A	突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／	D－020
			RMD	6	q-86-2	17		底:5.3cm		平縁＋突起・上げ底気味の底部、	
			RMD	13	p-87-14	2		高:26.7cm		炭化物多量付着、残存率(接合	
			RMD	14	p-87-10・13	4				率)約80%	
図Ⅴ－52	331	図版125	RME	2	t-81-10・12	2	Ⅳc－1	口:22.8cm	深鉢A	突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／	E－034
			RME	3	t-82-5・6	17		底：—		波状口縁、残存率(接合率)約	
								高:(18.7)		50%	
図Ⅴ－53	332	図版125	RMD	4	r-84-1	18	Ⅳc－1	口:26.9cm	深鉢A	突瘤(・横走沈線);LR縄文・幅広	D－043
			RMD	5	r-85-2・3・7	13		底：—		の無文帯／平縁・切出形口唇、残	
			RMD	T	r-85-2	8		高:(27.8)cm		存率(接合率)約80%	
図Ⅴ－53	333	図版125	RMD	3	q-83-3	48	Ⅳc－1	口:32.8cm	深鉢A	突瘤;LR縄文・幅広の無文帯／	D－099
								底：—		平縁・切出形口唇、炭化物多量付	
								高:(23.7)cm		着、残存率(接合率)約40%	
図Ⅴ－53	334	図版125	RMD	3	q-85-1	14	Ⅳc－1	口:29.7cm	深鉢A	突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／	D－097
			RMD	12上	p-84-5	1		底：—		平縁・切出形口唇、炭化物多量付	
			RMD	12上	p-85-6・11	2		高:(23.7)cm		着、残存率(接合率)約70%	
			RMD	12下	p-85-7・8・11	5					
			RMD	T	q-85	24					
			RMD	T	q-85-1	6					
			RMD	T	r-85	3					
図Ⅴ－54	335	図版125	RMD	5	q-85-6	1	Ⅳc－1	口:35.5cm	大型深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁・切出形口	D－208
			RMD	6	q-85-6・7・11	4		底：—		唇、炭化物多量付着、残存率(接	
			RMD	6	q-85-7	1		高:(25.8)cm		合率)約40%	
			RMD	12	p-86-15	3					
			RMD	12下	q-84-4	1					
			RMD	14	p-86-11・14～16	10					
			RMD	14	q-84-16	1					
			RMD	14	q-86-4	1					
			RMD	T	p-85	1					
			RMD	T	q-85	1					
			RMD	T	q-85-1	1					
図Ⅴ－54	336	図版126	RMD	12下	p-87-11・15	12	Ⅳc－1	口:34.0cm	大型深鉢B	突瘤;LR縄文・RL縄文／平縁・切	D－047
			RMD	12下	q-87-2・15	2		底：—		出形口唇、残存率(接合率)約	
			RMD	13	p-87-13・15・16	9		高:(18.0)cm		70%	
			RMD	13	q-87-15	1					
			RMD	14	p-87-10・14	7					
図Ⅴ－54	337	図版126	RMD	1	r-84-1・2	3	Ⅳc－1	口:21.4cm	深鉢B	突瘤;乱れた羽状縄文／平縁・切	D－094
			RMD	2	r-84-1	11		底：—(丸)		出形口唇・丸底、炭化物多量付	
			RMD	3	r-84-1	18		高:16.1cm		着、残存率(接合率)約60%	
図Ⅴ－54	338	図版126	RMD	3	r-87-8・12	2	Ⅳc－1	口:27.0cm	深鉢A	突瘤;羽状縄文／平縁・切出形口	D－038
			RMD	3	r-88-5・9・13	3		底:7.0cm		唇、炭化物多量付着、残存率(接	
			RMD	5	p-87-15・?	2		高:32.0cm		合率)約75%	
			RMD	5	r-87-3	2					
			RMD	15	p-86-13・14	20					
			RMD	16	p-86-9・13	6					
図Ⅴ－55	339	図版126	RME	3	t-81-3・4・7・8・11	32	Ⅳc－1	口:28.6cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁・切出形口	E－058
			RME	3	t-82-10	2		底：—		唇、残存率(接合率)約70%	
								高:(20.7)cm			
図Ⅴ－55	340	図版126	RME	1	s-84-2	2	Ⅳc－1	口:13.3cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁、残存率	E－057
			RME	2	s-84-16	5		底：—		(接合率)約45%	
			RME	3	s-81-10	1		高:(7.4)cm			
			RME	3	s-84-2・8	3					
図Ⅴ－55	341	図版126	RMD	2	r-82-4・10	3	Ⅳc－1	口:26.0cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁・切出形口	D－081
			RMD	3	r-82-5・6・10	38		底:9.5cm		唇、炭化物多量付着、残存率(接	
			RMD	4	r-82-10	5		高:21.5cm		合率)約65%	
図Ⅴ－55	342	図版127	RME	1	s-84-9・10	3	Ⅳc－1	口:20.6cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁・切出形口	E－027
			RME	2	s-84-9～11・13・14	43		底：—		唇、残存率(接合率)約75%	
								高:(13.1)cm			
図Ⅴ－55	343	図版127	RMD	6	q-84-7	5	Ⅳc－1	口:28.2cm	深鉢B	突瘤;乱れた羽状縄文／平縁・切	D－091
			RMD	6	q-85-2・6・7	32		底:5.3cm		出形口唇、残存率(接合率)約	
			RMD	7	q-85-6	1		高:24.0cm		50%	
図Ⅴ－56	344	図版127	RMD	2	r-81-15	3	Ⅳc－1	口:22.5cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁・切出形口	D－092

表Ⅴ－17　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(17)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMD	3	r-81-10・14～16	11		底:6.0cm 高:18.7cm		唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約65%	
			RMD	3	r-82-9・13	19					
			－	Va	r-81	1					
図Ⅴ－56	345	図版127	RMD	7	r-85-4・11	59	Ⅳc－1	口:26.2cm 底:6.6cm 高:23.4cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、炭化物多量付着、残存率(接合率)約75%	D－031
図Ⅴ－56	346	図版127	RME	1	t-81-1	28	Ⅳc－1	口:28.6cm 底:8.3cm 高:26.0cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約60%	E－019
			RME	2	t-81-1	2					
図Ⅴ－56	347	図版127	RMY	2	x-73-6～8・11	47	Ⅳc－1	口:19.7cm 底:6.8cm 高:15.3cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約80%	Y－027
			RMY	3	x-73-11・12・15	6					
図Ⅴ－56	348	図版128	RME	3	t-82-5	9	Ⅳc－1	口:19.1cm 底:3.6cm 高:13.4cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約80%	E－005
			RME	3	u-81-4	14					
図Ⅴ－56	349	図版128	RMY	3	y-74-5・6・10	42	Ⅳc－1	口:19.3cm 底:3.4cm 高:14.3cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約70%	Y－045
図Ⅴ－56	350	図版128	RME	3	t-81-4・13	4	Ⅳc－1	口:15.3cm 底:4.1cm 高:10.8cm	深鉢B	突瘤;まばらなLR縄文／平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約85%	E－003
			RME	3	t-82-1・13	2					
図Ⅴ－57	351	図版128	RME	1	s-79-12	2	Ⅳc－1	口:25.6cm 底:　— 高:(22.7)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約60%	E－039
			RME	T	s-80	2					
			RME	T	s-80-2・14	10					
			RME	T	t-80-2	6					
			－	Va	s-80	7					
			－	Va	t-80	1					
図Ⅴ－57	352	図版128	RME	2	s-81-7	21	Ⅳc－1	口:28.9cm 底:　— 高:(20.1)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約45%	E－036
			RME	3	s-82-3・7	8					
図Ⅴ－57	353	図版128	RMY	1	v-78-10	16	Ⅳc－1	口:29.5cm 底:5.0cm 高:21.8cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約55%	Y－042
			RMY	2	v-78-10・11・13	15					
			RMY	10	v-76-10	20					
			RMY	10	v-78-10	2					
図Ⅴ－57	354	図版129	RME	2	s-81-9	3	Ⅳc－1	口:13.6cm 底:　— 高:13.3cm	深鉢A	突瘤;羽状縄文／平縁、残存率(接合率)約80%	E－020
			RME	2	t-81-3・7	7					
			RME	3	s-81	1					
			RME	3	t-81-4	1					
図Ⅴ－57	355	図版129	RMD	8	r-85-7	1	Ⅳc－1	口:11.5cm 底:3.3cm 高:8.0cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約25%	E－202
			RME	2	u-80-15	1					
			RME	3	t-80-15	1					
			RME	T	u-80-2	1					
図Ⅴ－57	356	図版129	RMD	2	r-84-14	1	Ⅳc－1	口:5.7cm 底:3.9cm 高:7.4cm	鉢	突瘤;LR縄文／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約35%	E－203
			RME	1	s-84-4	1					
			RME	2	s-84-7	4					
図Ⅴ－57	357	図版129	RME	1	s-83-1・5・9	8	Ⅳc－1	口:12.9cm 底:　— 高:(8.4)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文・RL縄文／平縁、残存率(接合率)約45%	E－041
			RME	2	s-83-5	1					
			RME	3	s-83-13	1					
図Ⅴ－57	358	図版129	RMD	12	q-87-7	3	Ⅳc－1	口:12.1cm 底:　— 高:9.5cm	鉢	突瘤;LR縄文・RL縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約50%	D－093
			RMD	12下	q-87-7・11	9					
図Ⅴ－58	359	図版129	RMD	6	r-86-1・5・6	22	Ⅳc－1	口:23.8cm 底:6.2cm 高:16.5cm	深鉢B	突瘤;RL縄文／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約60%	D－030
図Ⅴ－58	360	図版130	RMD	2	r-83-14	3	Ⅳc－1	口:23.4cm 底:5.3cm 高:19.5cm	深鉢B	突瘤;LR縄文・RL縄文／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約95%	D－048
			RMD	3	r-83-14	42					
図Ⅴ－58	361	図版130	RMD	15	p-86-14～16	10	Ⅳc－1	口:24.6cm 底:6.3cm 高:21.5cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約50%	D－007
			RMD	15	p-87-6・15	30					
			RMD	16	p-86-10	1					
			RMD	16	p-87-2	1					
図Ⅴ－58	362	図版130	RMY	1	x-74-15	5	Ⅳc－1	口:27.0cm 底:6.8cm 高:18.9cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約75%	Y－047
			RMY	1	y-74-2・3・5～7	36					
			RMY	2	x-74-13	1					
図Ⅴ－58	363	図版130	RMY	2	y-74-7・16	8	Ⅳc－1	口:28.2cm 底:8.0cm 高:25.7cm	深鉢A	突瘤;LR縄文／平縁・角形口唇、残存率(接合率)約45%	Y－009
			RMY	2	y-75-9	1					
			RMY	2	z-74-3	16					
			RMY	3	y-74-7	6					
図Ⅴ－58	364	図版130	RMY	2	w-79-16	18	Ⅳc－1	口:18.2cm 底:8.7cm 高:14.7cm	深鉢B	突瘤;LR縄文・RL縄文／平縁、残存率(接合率)約55%	Y－043
図Ⅴ－59	365	図版130	RMY	1	y-74-2・4・10	27	Ⅳc－1	口:29.0cm 底:　— 高:(17.2)cm	深鉢B	突瘤(・底部付近に横走沈線);羽状縄文／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約70%	Y－070
			RMY	2	y-74-4	1					
図Ⅴ－59	366	図版131	RMD	5	r-84-6・7	32	Ⅳc－1	口:20.7cm 底:4.2cm 高:16.4cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約75%	D－027
図Ⅴ－59	367	図版131	RMD	3	q-84-10・14	3	Ⅳc－1	口:26.5cm 底:　—	深鉢B	突瘤;RL縄文／緩やかな波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)	D－095
			RMD	4	q-84-10～12・14・15	26					

表Ⅴ－18　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(18)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMD	4	r-84-3	1		高:(14.8)cm		約50%	
			RMD	5	q-84-15	4					
			RMD	5	r-83-3	1					
			RMD	5	r-84-3	1					
図Ⅴ－59	368	図版131	RME	1	s-83-1・4・5・7・9	23	Ⅳc－1	口:23.4cm 底:— 高:(14.7)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／緩やかな波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約50%	E－056
図Ⅴ－59	369	図版131	RMD	6	q-85-2～5	21	Ⅳc－1	口:21.7cm 底:— 高:(10.5)cm	深鉢A	突瘤;LR縄文・RL縄文／緩やかな波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約45%	D－101
図Ⅴ－59	370	図版131	RMY	2	y-72-2・3・6・8	24	Ⅳc－1	口:26.5cm 底:— 高:(19.4)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／緩やかな波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約50%	Y－026
			RMY	3	y-72-4・10・11・15・16	10					
			RMY	3	y-73-13	2					
			RMY	B18	y-72-12	6					
図Ⅴ－59	371	図版131	RMD	2	v-83-7	1	Ⅳc－1	口:17.8cm 底:4.0cm 高:15.5cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇・上げ底、残存率(接合率)約35%	D－201
			RMD	3	q-84-9・13	5					
			RMD	4	q-84-14	4					
図Ⅴ－60	372	図版53	RMD	3	p-84-7	2	Ⅳc－1	口:25.8cm 底:5.6cm 高:25.4cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文・突起状に刺突／平縁＋突起1ヵ所・切出形口唇・補修孔、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	D－064
			RMD	3	q-84-2	34					
			RMD	4	p-84-14	30					
図Ⅴ－60	373	図版132	RME	3	s-84-7・8	6	Ⅳc－1	口:27.6cm 底:— 高:(22.4)cm	深鉢B	突瘤(一部沈線);羽状縄文／平縁・角形口唇、残存率(接合率)約75%	E－013
			RME	3	s-85-9	9					
			RME	T	s-85	5					
			RME	T	s-85-9・13	22					
図Ⅴ－60	374	図版132	RMY	1	y-73-4・6～8・11	36	Ⅳc－1	口:25.5cm 底:— 高:(22.0)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文・無文部／平縁＋突起・切出形口唇、残存率(接合率)約40%	Y－069
図Ⅴ－61	375	図版132	RMD	6	q-85-7	28	Ⅳc－1	口:29.6cm 底:— 高:(24.0)cm	大型深鉢A	突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／緩やかな波状口縁・切出形口唇	D－504
			RMD	6	r-86-2	1					
図Ⅴ－61	376	図版132	RME	3	s-82-10	7	Ⅳc－1	口:29.2cm 底:— 高:(24.4)cm	大型深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁・切出形口唇	E－523
図Ⅴ－61	377	図版132	RMD	2	r-81-5・9・10	26	Ⅳc－1	口:33.2cm 底:(6.8)cm 高:30.0cm	大型深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁・切出形口唇	D－523
図Ⅴ－61	378	図版132	RME	2	s-82-6・7	3	Ⅳc－1	口:26.8cm 底:6.4cm 高:28.4cm	大型深鉢B	突瘤;LR縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起・切出形口唇	E－521
			RME	3	s-82-6・7・10・11	17					
図Ⅴ－61	379	図版133	RMY	2	x-73-3・7・8	37	Ⅳc－1	口:45.0cm 底:— 高:(35.2)cm	大型深鉢B	突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／緩やかな波状口縁・切出形口唇・補修孔	Y－526
図Ⅴ－62	380	図版133	RMY	2	y-74-7・8・11	13	Ⅳc－1	口:30.8cm 底:— 高:(18.8)cm	大型深鉢B	突瘤(つまみ出し);LR縄文／平縁・切出形口唇	Y－544
図Ⅴ－62	381	図版133	RMD	3	q-82-12・16	11	Ⅳc－1	口:29.2cm 底:5.2cm 高:32.0cm	大型深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部	D－551
			RMD	3	q-85-4・10	11					
			RMDF-49	F1	q-82-12	16					
図Ⅴ－62	382	図版134	RME	T	u-80-5	9	Ⅳc－1	口:30.0cm 底:— 高:(17.2)cm	大型深鉢B	突瘤;羽状縄文・／平縁・切出形口唇	E－518
図Ⅴ－62	383	図版134	RMEF-40	F0	s-83-8	5	Ⅳc－1	口:25.8cm 底:— 高:(15.3)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁＋突起	E－534
			RMEF-40	F0	s-84-5	2					
図Ⅴ－62	384	図版134	RME	2	s-83-7	5	Ⅳc－1	口:20.4cm 底:— 高:(13.5)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁・	E－519
図Ⅴ－62	385	図版134	RMD	5	r-87-1	1	Ⅳc－1	口:26.4cm 底:— 高:(13.2)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁・切出形口唇	D－520
			RMD	7	p-85-16	1					
			RMD	12下	p-84-6	1					
			RMD	15	p-86-14	2					
			RMD	T	p-85-13	2					
図Ⅴ－62	386	図版134	RMY	2	x-77-5・9	7	Ⅳc－1	口:16.5cm 底:3.9cm 高:11.0cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁・切出形口唇	Y－561
図Ⅴ－63	387	図版134	RMGF-14	F0	v-82-11・12	11	Ⅳc－1	口:24.3cm 底:— 高:(9.3)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁・切出形口唇	G－507
図Ⅴ－63	388	図版133	RME	2	t-83-2	1	Ⅳc－1	口:23.1cm 底:4.5cm 高:21.3cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇	E－520
			RME	3	t-83-2	14					
図Ⅴ－63	389	図版135	RMD	5	r-84-3	3	Ⅳc－1	口:19.8cm 底:— 高:(16.8)cm	深鉢A	突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	D－534
図Ⅴ－63	390	図版133	RMD	6	r-86-1	5	Ⅳc－1	口:20.1cm 底:— 高:(15.9)cm	深鉢A	突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇	D－535
			RMD	7	r-86-5	4					
図Ⅴ－63	391	図版135	RMEF-56	F0	s-81-16	3	Ⅳc－1	口:22.5cm	深鉢B	突瘤;LR縄文・無文部／平縁・切	E－535

表Ⅴ－19　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(19)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMEF-56	F0	s-82-13	2		底：— 高:(12.9)cm		出形口唇	
図Ⅴ－63	392	図版135	RMY	2	y-73-4	12	Ⅳc－1	口:23.3cm 底：— 高:(11.1)cm	深鉢A	突瘤;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	Y－516
図Ⅴ－63	393	図版135	RMY	2	x-76-4・7	9	Ⅳc－1	口:19.1cm 底：— 高:(11.9)cm	深鉢A	突瘤(つまみ出し);LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	Y－546
図Ⅴ－63	394	図版135	RMD	3	q-85-1・8・12・14・15	5	Ⅳc－1		深鉢B	突瘤・口唇上刻み;羽状縄文／平縁	D－618
			－	Va	u-75	1					
図Ⅴ－64	395	図版135	RMD	5	q-83-12	2	Ⅳc－1	口:17.4cm 底:5.4cm 高:11.4cm	鉢	LR縄文・RL縄文のみ／平縁・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約75%	D－023
			RMD	5	q-84-9	2					
図Ⅴ－64	396	図版135	RMY	2	w-77-5・10	2	Ⅳc－1	口:10.7cm 底:2.0cm 高:6.7cm	鉢	LR縄文のみ／平縁、残存率(接合率)約70%	Y－003
図Ⅴ－64	397	図版135	RMD	14	p-86-12	1	Ⅳc－1	口:11.1cm 底:2.7cm 高:6.6cm	鉢	LR縄文のみ／平縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約85%	D－008
			RMD	14	p-87-5・8・9	9					
図Ⅴ－64	398	図版135	RME	3	t-81-11	13	Ⅳc－1	口:10.0cm 底:3.5cm 高:6.7cm	鉢	LR縄文のみ／平縁、残存率(接合率)約65%	E－002
図Ⅴ－64	399	図版136	RMY	T	v-80	1	Ⅳc－1	口:11.6cm 底:4.8cm 高:8.3cm	鉢	羽状縄文のみ／平縁、残存率(接合率)約65%	Y－050
			RMY	T	v-80-14	6					
図Ⅴ－64	400	図版136	RMY	1	y-73-7	26	Ⅳc－1	口:10.0cm 底:2.7cm 高:8.7cm	鉢	LR縄文のみ／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約60%	Y－023
図Ⅴ－64	401	図版136	RME	2	t-81-4	4	Ⅳc－1	口:14.5cm 底:4.4cm 高:18.7cm	鉢	乱れた羽状縄文のみ／平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約60%	E－038
図Ⅴ－64	402	図版136	RMY	2	x-77-7・8・12	30	Ⅳc－1	口:13.6cm 底:4.2cm 高:10.0cm	鉢	LR縄文のみ／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約85%	Y－015
			RMY	2	x-78-6	1					
図Ⅴ－64	403	図版136	RMY	3	y-72-4	15	Ⅳc－1	口:10.6cm 底:3.6cm 高:11.0cm	深鉢A	LR縄文のみ／平縁＋突起・切出形口唇、残存率(接合率)約75%	Y－005
図Ⅴ－64	404	図版136	RMY	1	y-74-5・6	9	Ⅳc－1	口:18.0cm 底:5.6cm 高:6.2cm	鉢	乱れた羽状縄文のみ／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約85%	Y－002
図Ⅴ－64	405	図版137	RMD	6	q-85-11・15	7	Ⅳc－1	口:14.2cm 底：— 高:(10.5)cm	深鉢A	羽状縄文のみ／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約75%	D－016
			RMD	7	q-85-11・15	17					
図Ⅴ－64	406	図版137	RMG	12	v-81-12・16	5	Ⅳc－1	口:12.9cm 底:5.2cm 高:7.5cm	鉢	LR縄文・RL縄文のみ／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約60%	G－011
			RMG	12	v-82-13	1					
図Ⅴ－64	407	図版137	RMD	6	r-85-4・5	3	Ⅳc－1	口:17.2cm 底:3.0cm 高:9.4cm	鉢	LR縄文のみ／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約55%	D－029
			RMD	6	r-86-1・5	5					
図Ⅴ－64	408	図版137	RMY	2	y-73-4	11	Ⅳc－1	口:15.3cm 底:4.5cm 高:6.3cm	鉢	LR縄文のみ／緩やかな波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約95%	Y－010
図Ⅴ－64	409	図版137	RMD	4	r-84-5	4	Ⅳc－1	口:10.2cm 底:2.6cm 高:4.6cm	鉢	羽状縄文のみ／平縁・角形口唇・上げ底、残存率(接合率)約65%	D－056
図Ⅴ－64	410	図版137	RME	2	t-81-5・7・8・11・12	32	Ⅳc－1	口:18.3cm 底:5.5cm 高:14.8cm	深鉢B	羽状縄文のみ／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約80%	E－030
図Ⅴ－64	411	図版138	RMD	5	p-85-14	2	Ⅳc－1	口:19.7cm 底:3.8cm 高:14.6cm	深鉢B	LR縄文のみ／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約85%	D－049
			RMD	6	p-85-16	3					
			RMD	6	q-85-4	7					
			RMD	14	p-85-6	1					
			RMD	14	p-86-10～12・14	9					
			RMD	15	q-85-4	1					
			RMD	15	q-86-1	1					
図Ⅴ－64	412	図版138	RMD	15	p-86-8・12・16	35	Ⅳc－1	口:18.4cm 底:4.0cm 高:10.6cm	鉢	LR縄文のみ／波状口縁・切出形口唇・上げ底ぎみの底部、残存率(接合率)約90%	D－006
図Ⅴ－65	413	図版138	RMD	3	q-86-5・6	4	Ⅳc－1	口:11.7cm 底:2.2cm 高:9.1cm	深鉢B	LR縄文のみ／平縁・切出形口唇・上げ底、残存率(接合率)約25%	D－112
			RMD	5	q-86-9	3					
図Ⅴ－65	414	図版138	RMD	3	q-83-4	1	Ⅳc－1	口:10.9cm 底:2.0cm 高:6.2cm	鉢	RL縄文のみ／平縁・切出形口唇・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約70%	D－054
			RMD	3	q-84-1	4					
			RMD	4	q-83-8	4					
			RMD	4	q-84-1	4					
			RMD	4	q-86-8	1					
図Ⅴ－65	415	図版138	RME	1	s-83-1・6	2	Ⅳc－1	口:8.8cm 底:2.2cm 高:4.2cm	鉢	LR縄文のみ／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約50%	E－054
			RME	2	s-83-1	1					

表Ⅴ－20　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(20)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－65	416	図版138	RMY	2	y-74-3・4	24	Ⅳc－1	口:19.5cm 底:4.0cm 高:9.5cm	鉢	乱れた羽状縄文のみ／小波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	Y－051
図Ⅴ－65	417	図版139	RMD	7	r-85-3	20	Ⅳc－1	口:15.2cm 底:3.0cm 高:9.5cm	鉢	LR縄文のみ／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約50%	D－087
図Ⅴ－65	418	図版139	RMY	2	z-72-1	8	Ⅳc－1	口:16.8cm 底:4.4cm 高:11.0cm	鉢	羽状縄文のみ／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約55%	Y－049
図Ⅴ－65	419	図版139	RME	3	t-82-6・7	14	Ⅳc－1	口:20.0cm 底:5.0cm 高:11.2cm	鉢	LR縄文(・横走沈線)／波状口縁・切出形口唇・あげ底気味の底部、残存率(接合率)約40%	E－204
図Ⅴ－65	420	図版139	RMD	7	q-84-8	30	Ⅳc－1	口:24.2cm 底:3.8cm 高:6.0cm	皿	RL縄文のみ／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約65%	D－011
図Ⅴ－65	421	図版139	RMD	4	q-82-12	3	Ⅳc	口:15.0cm 底:5.6cm 高:(6.5)cm	台付鉢 台部	LR縄文のみ／底部切出形、残存率(接合率)約90%	D－040
			RMDF-49	F1	q-82-12	2					
図Ⅴ－65	422	図版139	RMG	1	v-84-11	5	Ⅳc－1	口:15.1cm 底:1.7cm 高:(5.7)cm	台付鉢	LR縄文のみ(口唇状含む)／平縁＋突起・切出形口唇・台、残存率(接合率)約65%	G－003
			RMG	2	v-84-12	1					
			RMG	3	v-84-12	2					
図Ⅴ－65	423	図版140	RMG	1	v-85-1・8・9・12	9	Ⅳc－1	口:25.2cm 底:11.7cm 高:16.8cm	台付鉢	LR縄文のみ／平縁＋突起・切出形口唇・補修孔・台、残存率(接合率)約85%	G－001
			RMG	1	v-85-5	1					
			RMG	2	v-83-7	1					
			RMG	2	v-85-9	3					
			RMG	2	w-84-12	1					
			RMG	T	v-85	8					
			RMG	T	v-85-1・5・9	7					
			－	Va	v-84	1					
			－	Va	v-85	1					
			－	Va	w-84	1					
図Ⅴ－66	424	図版140	RMD	2	r-84-4	1	Ⅳc－1	口:30.0cm 底:　— 高:(12.8)cm	鉢	LR縄文のみ／小波状口縁・切出形口唇	D－511
			RMD	4	q-84-11・12	10					
図Ⅴ－66	425	図版140	RMY	2	y-74-2～4・7・8・12	17	Ⅳc－1	口:31.8cm 底:　— 高:(13.0)cm	鉢	羽状縄文のみ／緩やかな波状口縁・切出形口唇・貫通孔	Y－543
			RMY	3	y-74-2	3					
			RMY	T	y-75	1					
図Ⅴ－66	426	図版141	RMD	T	p-85-5	6	Ⅳc－1		鉢	LR縄文のみ／平縁＋突起・切出形口唇	D－612
図Ⅴ－66	427	図版141	RME	2	s-82-5・6	5	Ⅳc		大型深鉢B	羽状縄文・無節R縄文／平縁・切出形口唇	E－607
			RME	3	s-82-10	5					
図Ⅴ－66	428	図版141	RMDF-14	F2	q-83-3	18	Ⅳc－1		鉢	LR縄文のみ／平縁・切出形口唇	D－609
図Ⅴ－66	429	図版141	RMD	3	q-85-6	7	Ⅳc－1	口:13.5cm 底:3.3cm 高:7.5cm	鉢	LR縄文のみ／平縁・上げ底気味の底部	D－528
図Ⅴ－66	430	図版141	RME	3	s-81-11・15	6	Ⅳc－1	口:11.4cm 底:4.2cm 高:9.6cm	鉢	LR縄文のみ／平縁	E－516
図Ⅴ－66	431	図版141	RME	3	t-80-11	5	Ⅳc－1	口:12.9cm 底:　— 高:(9.3)cm	深鉢B	LR縄文のみ／平縁・角形口唇	E－517
図Ⅴ－66	432	図版141	RME	3	s-82-10	3	Ⅳc－1	口:14.1cm 底:　— 高:(8.7)cm	鉢	羽状縄文のみ／波状口縁・切出形口唇	E－526
図Ⅴ－66	433	図版141	RMY	3	y-73-1	1	Ⅳc		台付鉢	LR縄文のみ／台	Y－701
図Ⅴ－67	434	図版141	RMD	7	r-84-2	1	Ⅳc		深鉢B	LR縄文・内面に細沈線／	特－706
図Ⅴ－67	435	図版141	RME	2	s-81-2	7	Ⅳc		深鉢B	羽状縄文・底部に木葉痕	特－503
図Ⅴ－67	436	図版141	RME	3	s-81-11	1	Ⅳc		深鉢B	羽状縄文・底部に木葉痕	特－705
図Ⅴ－67	437	図版140	RMY	2	y-74-12・15	12	Ⅳc－1	口:20.4cm 底:6.2cm 高:12.0cm	深鉢A	LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、炭化物多量付着、残存率(接合率)約95%	Y－038
			RMY	2	z-74-3	4					
			RMY	B14	y-74-11	4					
			RMY	B22	y-74-11	4					
図Ⅴ－67	438	図版140	RMD	6	q-83-8	9	Ⅳc－1	口:21.3cm 底:　— 高:(17.1)cm	深鉢A	RL縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起・切出形口唇、残存率(接合率)約40%	D－021
			RMD	6	q-84-5・12	2					
図Ⅴ－67	439	図版140	RME	3	s-83-1	1	Ⅳc－1	口:11.9cm 底:　— 高:(9.9)cm	深鉢A	LR縄文・無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約40%	E－037
			RME	3	t-82-2	4					
図Ⅴ－67	440	図版142	RMD	6	q-84-4・6	7	Ⅳc－1	口:9.6cm 底:3.0cm 高:6.9cm	深鉢A	RL縄文／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約60%	D－013
図Ⅴ－67	441	図版142	RMY	1	x-76-4	3	Ⅳc－1	口:11.7cm 底:4.0cm 高:4.8cm	鉢	無文／口唇上刻み・平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約85%	Y－021
図Ⅴ－67	442	図版142	RMD	15	p-86-12・13・16	3	Ⅳc－1	口:8.5cm 底:3.0cm 高:3.9cm	鉢	無文／平縁・上げ底気味の底部、残存率(接合率)約25%	D－215
図Ⅴ－67	443	図版142	RMD	15	p-86-9	2	Ⅳc	口:　—	深鉢B	無文／、残存率(接合率)約25%	D－213

表Ⅴ－21　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(21)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMDF-44	F1	p-86-9・13	10		底:7.1cm 高:(9.3)cm			
			RMDF-44	F2	p-86-9・10	2					
図Ⅴ－67	444	図版142	RME	3	s-81-10～12・14・15	12	Ⅳc－1	口:14.4cm 底:4.7cm 高:7.3cm	鉢	無文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約65%	E－055
図Ⅴ－67	445	図版142	RME	2	s-84-10	9	Ⅳc－1	口:11.0cm 底:4.4cm 高:6.5cm	台付鉢	無文／平縁＋突起・台、残存率(接合率)約80%	E－012
図Ⅴ－67	446	図版143	RMY	2	x-77-1～3	7	Ⅳc－1	口:6.7cm 底:2.0cm 高:4.1cm	鉢	無文／平縁、残存率(接合率)約90%	Y－053
図Ⅴ－67	447	図版143	RMD	5	r-87-9	2	Ⅳc－1	口:7.0cm 底:2.2cm 高:5.0cm	鉢	無文／平縁・上げ底、残存率(接合率)約90%	D－001
図Ⅴ－67	448	図版143	RMD	3	q-86-5	1	Ⅳc	底:4.4cm 高:(3.1cm)	台付鉢 台部	無文／貫通孔・台	D－401
図Ⅴ－67	449	図版143	RMD	14	p-87-7	1	Ⅳc	底:7.2cm 高:(3.6cm)	台付鉢 台部	無文／台	D－402
図Ⅴ－67	450	図版143	RME	2	s82-1	1	Ⅳc	底:4.5cm 高:(2.5cm)	台付鉢 台部	無文(横走沈線)／台	E－402
図Ⅴ－67	451	図版143	RME	3	t-82-9	1	Ⅳc	底:4.0cm 高:(1.9cm)	(底部)	無文／上げ底	E－403
図Ⅴ－68	452	図版144	RMY	2	x-72-3・14・15	12	Ⅳc－1		大型深鉢A	突瘤・横走沈線・弧線文・区画内列点(刻み列)；RL縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	Y－607
			RMY	2	y-74-14	1					
			RMY	2	z-74-1・2	2					
図Ⅴ－68	453	図版145	RME	2	s-80-16	8	Ⅳc－1	口:31.2cm 底:　— 高:(24.0)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線・帯状文・区画内列点(刻み列)；羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	E－501
			RME	2	t-80-4	6					
			RME	3	t-80-4	2					
図Ⅴ－68	454	図版145	RMD	1	r-86-11	1	Ⅳc－1		深鉢A	突瘤・横走沈線・帯状文・区画に沿う列点(刻み列)；羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－606
			RMD	3	r-86-12	1					
			RMD	5	q-84-16	1					
			RMD	6	q-84-15・16	2					
			RMD	6	r-85-11	1					
			RMD	12	q-88-9	1					
			RMDF-4	F0	q-85-5	1					
			RME	3	t-81-4	1					
図Ⅴ－68	455	図版145	RMD	4	p-84-5	1	Ⅳc－1		深鉢A	帯状文(木葉文)・区画に沿う列点(刻み列)・隆帯；羽状縄文・幅広の無文帯／	D－613
			RMD	5	r-81-7	1					
			RMD	5	s-87-2	1					
			RMD	6	q-85-8	3					
			RMD	6	q-86-5	1					
			RMD	6	r-85-3	1					
図Ⅴ－69	456	図版144	RMY	2	y-74-6・7・11	64	Ⅳc－1	口:24.5cm 底:　— 高:(17.6)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・帯状文・区画内列点(刺突列)；LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約40%	Y－063
図Ⅴ－69	457	図版145	RMD	14	p-85-12	1	Ⅳc－1		深鉢A	突瘤・帯状文・区画内列点(刺突列)；羽状縄文・無文帯／波状口縁・切出形口唇	E－604
			RMD	14	p-86-2	1					
			RME	1	u-82-5	1					
			RME	2	u-82-1	1					
			RME	3	t-81-3・8	2					
			RME	3	t-82-14	1					
			RME	3	u-82-1	1					
			RME	12	u-82-5	1					
図Ⅴ－69	458	図版144	RME	3	r-81-15	1	Ⅳc－1	口:9.0cm 底:　— 高:(10.2)cm	深鉢A	突瘤・横走沈線・曲沈線・区画内列点(刻み列)；羽状縄文・幅広の無文帯／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約40%	E－059
			RME	3	s-81-8	1					
			RME	3	s-81-8・9・12	4					
			RME	3	s-83-8	1					
			RME	3	t-82-2・4	3					
			RMV	2	s-81-4	1					
			RMV	2	s-83	1					
			RMV	2	s-83-8	2					
図Ⅴ－69	459	図版145	RMD	6	q-86-5・13	3	Ⅳc－1		深鉢A	突瘤・横走沈線・帯状文・区画内列点(刺突列)；羽状縄文／ゆるやかな波状口縁・切出形口唇	D－616
			RMD	6	r-86-1	1					
			RMD	T	r-85	1					
図Ⅴ－69	460	図版145	RMD	3	q-84-6・9	2	Ⅳc－1		鉢	突瘤・横走沈線・弧線文・曲沈線・区画内列点(沈線)；LR縄文・無文帯／平縁	D－627
			RMD	4	q-84-16	1					
			RMD	5	q-84	1					
図Ⅴ－69	461	図版145	RMY	B7	y-72-12	3	Ⅳc－1	口:8.0cm 底:　— 高:(4.5)cm	鉢	横走沈線・曲沈線・区画内列点(沈線)；／平縁＋突起・切出形口唇	Y－553
図Ⅴ－69	462	図版144	RME	2	s-83-8・12	2	Ⅳc－1	口:12.5cm 底:4.0cm 高:7.0cm	鉢	曲沈線・区画内列点(刻み列)；／平縁、残存率(接合率)約25%	E－206
			RME	2	s-84-7・9・14	6					
図Ⅴ－69	463	図版144	RMD	3	r-86-16	1	Ⅳc－1	口:23.6cm 底:4.5cm 高:28.0cm	深鉢A	横走沈線・弧線帯状文・区画内列点(刻み列)；LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇、上げ底気味の底部、炭化物多量付着、残存率(接合率)約70%	D－070
			RMD	6	q-85-7	1					
			RMD	6	q-86-10	1					
			RMD	13	p-87-13	1					
			RMD	14	p-86-11・12・15・16・18	25					
			RMD	14	p-87-13	2					

表Ⅴ－22　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(22)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMD	15	p-86-8・11・12	17					
図Ⅴ－69	464	図版144	RMY	2	w-77-11	2	Ⅳc－1	口：— 底:2.4cm 高:(5.5)cm	小型深鉢A	横走沈線・帯状文・区画内列点(刻み列);LR縄文・RL縄文・無文帯／、残存率(接合率)約40%	Y－207
図Ⅴ－69	465	図版146	RME	2	s-84-2・3	8	Ⅳc－1	口:10.5cm 底：— 高:(17.0)cm	鉢	横走沈線・弧線文・縦位の沈線・区画内列点(刻み列);／平縁＋突起、残存率(接合率)約50%	E－051
			RME	3	s-84-3	4					
			RME	3	t-84-1	1					
図Ⅴ－69	466	図版145	RMY	2	x-73-11	2	Ⅳc－1		深鉢B	帯状文・区画内列点(刻み列);羽状縄文口唇上縄文・沈線／波状口縁＋突起・切出形口唇	Y－602
			RMY	2	y-74-14	1					
			RMY	3	x-73-11・15	5					
図Ⅴ－70	467	図版148	RMA	15	o-89-11・14	2	Ⅳc－1		深鉢A	突瘤・ハの字状短刻線(刻み列);羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁・切出形口唇	D－614
			RMD	3	q-83-9	1					
			RMD	6	q-80-7	1					
			RMD	6	r-85-8	1					
			RMD	14	p-85-7	1					
			RMD	14	q-86-3	1					
			RME	1	t-80-8	1					
			RME	3	s-81-15	1					
			－	Ⅲ下	q-79	1					
			－	SE1	r-80	1					
図Ⅴ－70	468	図版148	RMD	3	q-84-3・7	4	Ⅳc－1	口:18.0cm 底：— 高:(8.1)cm	鉢	突瘤・帯状文(横走・弧線)・ハの字状短刻線;／波状口縁・切出形口唇	D－573
			RMD	T	q-85-1	1					
			RMD	T	r-85	2					
図Ⅴ－70	469	図版146	RMD	4	q-84-12	9	Ⅳc－1	口:15.6cm 底：— 高:9.2cm	鉢	突瘤・帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線;／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約60%	D－121
			RMD	4	q-85-16	4					
			RMD	5	q-84-12・16	3					
			RMD	5	r-84-4	1					
図Ⅴ－70	470	図版146	RME	2	s-81-5	2	Ⅳc－1	口:6.7cm 底:2.0cm 高:6.1cm	小型鉢	帯状文・ハの字状短刻線;／平縁・角形口唇、上げ底、残存率(接合率)約50%	E－046
			RME	2	s-84-1	3					
			RME	3	q-82-14	1					
			RME	3	s-81	2					
			RME	3	s-81-4・14・15	4					
図Ⅴ－70	471	図版148	RMD	2	r-83-9・16	4	Ⅳc－1	口:10.2cm 底:4.5cm 高:6.0cm	鉢	帯状文・ハの字状短刻線・口唇上刻み列;／平縁・切出形口唇	D－554
			RMD	3	r-83-9～11	3					
図Ⅴ－70	472	図版146	RMD	3	r-86	1	Ⅳc－1	口:11.6cm 底:2.4cm 高:6.3cm	鉢	帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線;／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約70%	D－096
			RMD	4	q-84-15・16	11					
			RMD	5	r-84-3・4・7・8	10					
			RMD	5	r-85-1	1					
			RMD	9	q-84	1					
図Ⅴ－70	473	図版146	RME	1	s-83-2・3	9	Ⅳc－1	口:15.6cm 底:5.1cm 高:7.0cm	鉢	帯状文(横走・鋸歯状)・ハの字状短刻線;／平縁・角形口唇、残存率(接合率)約75%	E－026
			RME	2	s-83-2	1					
			RME	11	s-82-16	1					
			－	Ⅲ下	s-83	1					
			－	Va	y-73	1					
図Ⅴ－70	474	図版146	RMY	1	y-71-1	1	Ⅳc－1	口:13.7cm 底：— 高:6.7cm	鉢	帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線;／平縁、残存率(接合率)約60%	Y－071
			RMY	1	y-75-4	1					
			RMY	1	y-76-1	2					
			RMY	2	y-76-1・3	5					
			RMY	T	z-75-2	1					
			－	Ⅲ下	y-76	1					
			－	Va	y-76	5					
			－	Va	z-75	1					
図Ⅴ－70	475	図版147	RMD	3	s-83-2	4	Ⅳc－1	口:10.0cm 底:2.8cm 高:10.3cm	深鉢A	帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線(区画に沿う刻み列);／平縁、残存率(接合率)約55%	D－057
			RMD	4	r-83-10・14	6					
			RMZ	10	u-78	1					
			RMZ	10	u-78-9	1					
図Ⅴ－70	476	図版147	RME	1	s-83-13	3	Ⅳc－1	口:12.0cm 底:3.2cm 高:6.4cm	鉢	帯状文(弧線)・ハの字状短刻線;／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約95%	E－001
			RME	2	s-83-13	1					
			RME	12	s-83-13	2					
図Ⅴ－70	477	図版147	RMY	1	y-74-15・16	6	Ⅳc－1	口:15.1cm 底：— 高:(5.3)cm	鉢	帯状文・ハの字状短刻線・貫通孔1ヶ所;／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約85%	Y－034
			RMY	2	y-74-14・15	16					
			－	Va	y-74	1					
図Ⅴ－70	478	図版147	RMY	1	y-74-5	12	Ⅳc－1	口:11.3cm 底:3.5cm 高:6.1cm	鉢	突瘤・帯状文・ハの字状短刻線・貫通孔;／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約80%	Y－064
			RMY	1	y-75-5・8	4					
			RMY	11	y-74-5	2					
			－	Va	y-74	1					
図Ⅴ－70	479	図版147	RMD	3	p-83-14	1	Ⅳc－1	口:10.2cm 底:2.7cm 高:4.5cm	鉢	帯状文・ハの字状短刻線・貫通孔1ヶ所;／波状口縁・切出形口唇、上げ底気味の底部、残存率(接合率)約70%	D－088
			RMD	3	q-83-4	3					
			RMD	4	r-82-11	1					
			RMD	4	r-83-7・12・16	4					
			RMD	4	r-84-7	1					
図Ⅴ－70	480	図版147	RME	2	s-81-2	1	Ⅳc－1	口:15.1cm 底：— 高:(10.8)cm	深鉢A	帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線;／波状口縁・切出形口唇、残存率(接合率)約45%	E－032
			RME	3	s-81-6・11・12	11					
図Ⅴ－70	481	図版147	RMD	4	r-83-7	1	Ⅳc－1	口:15.0cm 底:3.2cm 高:10.0cm	深鉢A	横走沈線・曲沈線・ハの字状短刻線(刺突列)・口唇上刻み;LR縄文・無文帯／平縁・切出形口唇、上げ底気味の底部、残存率(接合率)約80%	D－035
			RMD	5	q-84-3・11・14・15	7					

表Ⅴ－23　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(23)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－71	482	図版148	RMY	2	z-72-3	8	Ⅳc－1	口:17.4cm 底: — 高:(8.7)cm	鉢	帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線;／波状口縁・切出形口唇	Y－555
			RMY	11	z-72-6	1					
			RMY	T	z-75	2					
図Ⅴ－71	483	図版148	RMY	2	y-75-4	3	Ⅳc－1	口:14.1cm 底: — 高:(5.4)cm	鉢	帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線;／平縁・切出形口唇	Y－557
図Ⅴ－71	484	図版148	RMY	1	z-72-4	1	Ⅳc－1	口:12.9cm 底: — 高:(6.9)cm	鉢	帯状文(横走・曲)・ハの字状短刻線;／波状口縁・切出形口唇	Y－558
			RMY	2	x-76-15	3					
			RMY	2	z-72-2・3	2					
			RMZ	2	u-74-15	1					
			－	Va	y-78	1					
図Ⅴ－71	485	図版148	RME	2	s-83-4	1	Ⅳc－1	口:10.0cm 底: — 高:(3.8)cm	鉢	帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線;／平縁＋突起	E－544
			RME	2	s-84-5	1					
			RME	3	s-83-4	1					
			RME	3	s-84-5	1					
			RME	13	s-83-7・8	6					
			－	Va	s-83	1					
図Ⅴ－71	486	図版148	RME	3	s-83-13	2	Ⅳc－1	口:18.0cm 底: — 高:(9.3)cm	鉢	帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線;LR縄文／波状口縁・切出形口唇	E－536
			RME	3	t-83-1	3					
図Ⅴ－71	487	図版148	RMD	2	r-84-6	1	Ⅳc－1	口:9.3cm 底: — 高:(6.3)cm	小型鉢	乱れた帯状文・ハの字状短刻線;／平縁・切出形口唇	D－571
			RMD	6	r-84-6	1					
			RMD	12	q-88-3	1					
			RMD	13	p-88-14	1					
			RMD	12下	p-87-16	2					
			RMD	12上	q-87-3	1					
図Ⅴ－71	488	図版148	RMD	3	r-82-8・12	5	Ⅳc－1	口: — 底:3.3cm 高:(5.7)cm	鉢	帯状文・ハの字状短刻線・乱れた沈線;無文帯	D－572
図Ⅴ－71	489	図版148	RMD	4	q-84-10・14	2	Ⅳc－1	口: — 底: — 高:(10.5)cm	深鉢B	帯状文・ハの字状短刻線;LR縄文・無文帯	D－555
			RMD	7	r-84-2	1					
図Ⅴ－71	490	図版148	RMD	14	p-85-7・11	8	Ⅳc－1	口:10.2cm 底:3.0cm 高:3.9cm	小型鉢	帯状文・ハの字状短刻線;／平縁・切出形口唇	D－574
			RMD	15	p-85-4・8	2					
図Ⅴ－71	491	図版148	RMY	1	x-74-12	1	Ⅳc－1	口: — 底:2.1cm 高:(4.5)cm	深鉢	帯状文(横走・弧線)・ハの字状短刻線;／上げ底気味の底部	Y－565
			RMY	2	x-74-12	2					
			RMY	10	z-74-8	1					
			－	Ⅲ下	x-74	1					
			－	Ⅲ下	x-75	1					
図Ⅴ－71	492	図版149	RMD	2	r-82-2・3	3	Ⅳc－1		鉢	突瘤(外→内);RL縄文／平縁・切出形口唇	特－501
				Va	q-82	1					
図Ⅴ－71	493	図版149	RMD	2	q-82-11・12	4	Ⅳc－1		鉢	突瘤(外→内);LR縄文／平縁	特－502
図Ⅴ－71	494	図版149	RME	3	s-82	1	Ⅳc－1		深鉢	突瘤;LR縄文・無文帯／胎土に比熱した小礫	特－707
図Ⅴ－71	495	図版149	RMY	2	y-72-4	1	Ⅳc－1		深鉢(突起)	弧線文・突起状円文・刻み列;LR縄文	Y－702
図Ⅴ－71	496	図版149	RMG	1	w-81-11	1	Ⅳc－1		深鉢(突起)	弧線文;LR縄文	G－401
図Ⅴ－71	497	図版149	RMD	5	r-84-15	1	Ⅳc		不明	LR縄文	特－407
図Ⅴ－71	498	図版149	RME	3	t-81-6	3	Ⅳc		不明	LR縄文	特－404
図Ⅴ－72	499	図版150	RMY	1	y-73-6・7・10・12	12	Ⅳc－2	口:21.1cm 底:3.5cm 高:11.4cm	鉢	貼瘤・横走沈線・帯状文;LR縄文・RL縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約65%	Y－068
			RMY	2	y-73-7	1					
図Ⅴ－72	500	図版150	RMZ	2	x-73-1・2・6・7	8	Ⅳc－2	口:13.7cm 底:5.5cm 高:11.1cm	鉢	貼瘤・横走沈線・弧線文;乱れた羽状縄文／平縁・切出形口唇、残存率(接合率)約40%	Z－007
			－	Va	x-73	1					
図Ⅴ－72	501	図版149	RMY	2	w-78-5・6・10	4	Ⅳc－2		深鉢B	貼瘤・突瘤・帯状文;羽状縄文・幅広の無文帯／平縁	Y－608
図Ⅴ－72	502	図版149	RMY	T	w-75	7	Ⅳc－2	口:19.7cm 底: — 高:(8.7)cm	深鉢B	貼瘤・突瘤・弧線文;LR縄文・幅広の無文帯／波状口縁	Y－532
図Ⅴ－72	503	図版149	RMD	1	r-83-6・7・9・16	8	Ⅳc－2	口:12.9cm 底: — 高:(4.5)cm	鉢	貼瘤・曲線帯状文・ハの字状短刻線;／平縁・切出形口唇	D－558
			RMD	2	r-83-3・7・9	3					
				Va	r-85	1					
図Ⅴ－72	504	図版149	RME	1	s-81-7・10・11	6	Ⅳc－2	口:16.8cm 底: — 高:(10.5)cm	深鉢A	貼瘤・曲線帯状文・ハの字状短刻線・横走沈線;羽状縄文／波状口縁・切出形口唇	E－537
			RME	2	s-81-7	1					
			RME	Va	s-81	3					
図Ⅴ－72	505	図版149	RMD	3	r-83-7・8	9	Ⅳc－2		深鉢B	貼瘤・曲線帯状文;羽状縄文	D－608
図Ⅴ－72	506	図版149	RME	1	s-83-13	6	Ⅳc－2	口:13.2cm 底: — 高:(5.1)cm	鉢	貼瘤・弧線文;RL縄文／平縁	E－538
			－	Va	s-82	1					
図Ⅴ－72	507	図版149	RMD	2	r-83-6	3	Ⅳc－2	口:11.4cm 底:3.9cm 高:6.0cm	鉢	貼瘤・曲線帯状文・ハの字状短刻線;／平縁・切出形口唇	D－560
			RMD	14	r-83-12	1					
			RME	2	s-82-8	1					
図Ⅴ－72	508	図版149	RMZ	2	y-71-16	1	Ⅳc－2		深鉢B	貼瘤・帯状文(横走・入組み);LR縄文・無文帯／	Z－602
			RMZ	T	y-72	1					
図Ⅴ－72	509	図版149	RMY	1	x-76-13	2	Ⅳc－2		深鉢A	貼瘤・突瘤・帯状文(横走・入組	Y－610

表Ⅴ－24　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(24)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMY	T	x-75	2				み)・横走沈線;LR縄文／平縁・切出形口唇	
			RMY	T	y-75-2・5	2					
図Ⅴ－73	510	図版150	RMD	4	r-83-6	9	Ⅳc－1	口:14.9cm 胴:20.1cm 高:(20.0)cm	注口	帯状文(横走・木葉文)・貼瘤;羽状縄文・無文帯／平縁＋突起、残存率(接合率)約35%	D－115
			RMD	5	r-83-5	1					
			RMD	6	r-83-2・6	4					
			RMD	7	r-83-4	1					
			RMV	3	r-83	4					
図Ⅴ－73	511		RMD	5	q-84-11	1	Ⅳc－1	口:11.0cm 胴:15.2cm 高:20.0cm	注口	帯状文(横走・鋸歯状);羽状縄文・無文帯／平縁・切出形口唇・極小の上げ底、残存率(接合率)約85%	D－116
			RMD	6	q-84-5・6・9～11・13	15					
			RMD	6	r-85-4	3					
			RMD	7	q-84-10・14	7					
			RMD	7	q-85-16	3					
			RMD	7	r-85-4	3					
			RMD	7	r-86-1	1					
			RMD	9	r-83-2	1					
図Ⅴ－73	512	図版150	RMD	6	q-86-1・3	2	Ⅳc－1	口:　— 胴:13.8cm 高:(10.2)cm	注口	帯状文(横走・鋸歯状);RL縄文／残存率(接合率)約60%	D－102
			RMD	7	q-86-1	1					
			RMD	11	q-88-16	5					
			RMD	11	r-88-4	2					
			－	Va	r-88	4					
図Ⅴ－73	513	図版154	RME	3	s-81-12	1	Ⅳc－1	口:　— 胴:14.1cm 高:(9.6)cm	注口	帯状文;羽状縄文	E－540
			RMEF-56	F0	s-81-11・16	2					
図Ⅴ－73	514	図版150	RMD	4	p-84-14	20	Ⅳc－1	口:　— 胴:16.4cm 高:(11.9)cm	注口	帯状文(横走・曲線)・貼瘤;LR縄文・RL縄文／注口下部に貫通孔、残存率(接合率)約60%	D－060
図Ⅴ－74	515	図版150	RMD	6	p-84-16	4	Ⅳc－1	口:　— 胴:18.2cm 高:(14.2)cm	注口	帯状文(横走・木葉文);LR縄文／残存率(接合率)約70%	D－103
			RMD	6	r-86-7・8・10・11	18					
			RMD	7	q-87-13	1					
			RMD	7	r-86-5・6・8	10					
図Ⅴ－74	516	図版154	RMD	14	p-85-8	1	Ⅳc－1	口:　— 胴:14.4cm 高:(10.2)cm	注口	帯状文(横走・弧線・曲線)・貼瘤;羽状縄文	E－539
			RMD	14	r-86-6	1					
			RMD	15	p-85-14	1					
			RMD	15	r-85-14	1					
			RME	3	s-81-6	1					
			RME	3	t-82-9	2					
			RMEF-54	F0	t-82-9	1					
図Ⅴ－74	517	図版151	RMD	5	q-87-13・14	2	Ⅳc－1	口:　— 胴:17.7cm 高:(12.0)cm	注口	帯状文(横走・曲線)・貼瘤;LR縄文・RL縄文／、残存率(接合率)約65%	D－106
			RMD	6	q-85-15	3					
			RMD	6	q-86-12・15・16	10					
			RMD	6	r-86-4	1					
			RMD	7	q-85-14・15	3					
			RME	3	s-81	1					
			RME	T	u-80-1	2					
			RMY	T	v-80-10	5					
			－	Va	t-79	1					
図Ⅴ－74	518	図版151	RMA	2	p-91-2	1	Ⅳc－1	口:　— 胴:14.8cm 高:(11.2)cm	注口	乱れた帯状文(横走・曲線)・貼瘤;LR縄文／極小の上げ底、残存率(接合率)約65%	A－009
			RMA	3	o-90-14・15	4					
			RMA	3	p-90-2	5					
			RMA	11	p-90-5・11	2					
			RMA	15	o-90-14・11	2					
			RMA	15	p-89-6	9					
			RMA	15	p-90-1・2	9					
			RMA	T	o-90-13	1					
			RMA	T	p-90	3					
			RMB	1	q-91	1					
			－	Va	p-90	3					
			－	Va	q-90	2					
			－	Va	q-91	1					
図Ⅴ－74	519	図版151	RMG	2	v-84-3・14	12	Ⅳc－1	口:　— 胴:12.9cm 高:(7.9)cm	注口	帯状文(横走・木葉文)・貼瘤;LR縄文／極小の上げ底、残存率(接合率)約30%	G－201
			RMG	2	w-84	1					
			RMG	2	w-84-4	1					
図Ⅴ－74	520	図版151	RMD	4	q-84-1	20	Ⅳc－1	口:　— 胴:12.8cm 高:(10.2)cm	注口	乱れた帯状文;LR縄文・頸部無文帯／残存率(接合率)約60%	D－089
図Ⅴ－74	521	図版151	RMD	3	p-83-10・11・14～16	23	Ⅳc－1	口:　— 胴:8.7cm 高:(11.1)cm	注口	乱れた帯状文・沈線;LR縄文／単孔(注口部なし)、残存率(接合率)約65%	D－119
			RMD	3	p-85-14	1					
			RMD	4	p-83-15	1					
			RMD	4	r-83-1・2	4					
			RMD	5	q-83-3	1					
			RMD	11	p-83-4	1					
図Ⅴ－74	522	図版154	RMD	2	r-81-1	1	Ⅳc－1		注口	帯状文(横走・木葉文)・沈線;羽状縄文	D－625
			RMD	6	r-86-6・7	3					
			RMV	3	r-80	1					
			－	Va	r-80	2					
図Ⅴ－75	523	図版151	RMY	B28	y-73-9	1	Ⅳc－1		注口(口頸部のみ)	横走沈線;LR縄文・無文帯／平縁＋突起・切出形口唇	Y－403
図Ⅴ－75	524	図版152	RMY	2	x-873-7	1	Ⅳc－1		注口(口頸部のみ)	横走沈線・帯状文;LR縄文／平縁＋突起・切出形口唇	Y－401
図Ⅴ－75	525	図版152	RMD	15	p-86-12・14・16	3	Ⅳc－1	口:4.9cm	注口	口唇上刻み;LR縄文／平縁	D－209

表Ⅴ－25　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(25)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMD	15	q-86-2	1		底：— 高:(5.0)cm			
			RMD	16	p-86-6	1					
図Ⅴ－75	526	図版152	RMY	2	y-73-8	6	Ⅳc－1	口：— 胴:16.4cm 高:13.5cm	注口	横走沈線・弧線文・帯状文・貼瘤；LR縄文／極小の上げ底、残存率(接合率)約80%	Y－056
			RMY	3	y-73-8	29					
図Ⅴ－75	527	図版152	RMDF-44	F1	p-86-3・7	38	Ⅳc－1	口：— 胴:15.4cm 高:(12.3)cm	注口	弧線文、貼瘤；LR縄文・RL縄文／極小の上げ底、被熱、残存率(接合率)約60%	D－118
図Ⅴ－75	528	図版152	RMD	6	q-87-2	1	Ⅳc－1	口：— 底:15.1cm 高:(12.9)cm	注口	横走沈線・弧線文・帯状文・貼瘤；LR縄文／極小の上げ底、炭化物多量付着、残存率(接合率)約	D－086
			RMD	7	q-84-5～7	17					
図Ⅴ－76	529	図版152	RMY	10	v-78-8	1	Ⅳc－1	口:(5.1)cm 胴:15.4cm 高:(18.8)cm	注口	横走沈線・弧線文・貼瘤；LR縄文・無文帯、残存率(接合率)約40%	Y－065
			RMY	10	w-78-8	1					
			RMY	10	w-80-8・11・15	26					
			RMY	10	x-80-3・4	4					
図Ⅴ－76	530	図版153	RMD	7	q-84-9	7	Ⅳc－1	口：— 胴:17.3cm 高:(14.3)cm	注口	横走沈線・密な弧線文・貼瘤；LR縄文・無文帯	D－120
図Ⅴ－76	531	図版153	RMZ	10	v-75-2	1	Ⅳc－1	口:6.4cm 胴:12.9cm 底:17.3cm	注口	横走沈線・密な弧線文；LR縄文・無文帯／平縁＋突起、残存率(接合率)約85%	Z－001
			RMZ	10	v-76-2・3・5・14	46					
図Ⅴ－76	532	図版72	RMY	T	w-80-2	11	Ⅳc－1	口:5.2cm 胴:12.8cm 高:(14.4)cm	注口	横走沈線・弧線文・鋸歯状沈線・貼瘤；LR縄文・無文帯／平縁＋突起、残存率(接合率)約75%	Y－030
図Ⅴ－77	533	図版154	RMD	12上	q-85-4	1	Ⅳc－1		注口(口頸部のみ)	沈線；平縁・切出形口唇	D－628
			RMD	12上	q-86-1	1					
図Ⅴ－77	534	図版154	RME	3	u-81-7・8	8	Ⅳc－1	口:20.1cm 胴:18.0cm 高:(9.9)cm	注口	横走沈線；LR縄文・RL縄文・無文帯／平縁＋突起	E－524
図Ⅴ－77	535	図版154	RMD	6	q-85-2	2	Ⅳc		注口	横走沈線・弧線文・貼瘤；LR縄文・RL縄文・無文帯	D－704
図Ⅴ－77	536	図版154	RMD	4	q-82-12	1	Ⅳc－1	口：— 胴:18.3cm 高:(12.9)cm	注口	横走沈線・弧線文；RL縄文	D－563
			RMD	5	q-84-4	1					
			RMD	5	q-85-1・5・10	3					
			RMD	6	q-84-8	1					
			RMD	6	q-85-5	1					
			RMD	6	q-86-7	1					
			RMD	6	r-85-4	2					
			RMD	7	r-85-4	1					
			RMD	T	q-85	2					
図Ⅴ－77	537	図版154	RMG	1	v-84-2・6	8	Ⅳc－1	口：— 胴:16.8cm 高:(11.1)cm	注口	横走沈線・弧線文・貼瘤；LR縄文	G－509
			RMG	2	v-84-6・10	2					
			－	Va	v-84	2					
図Ⅴ－77	538	図版154	RMD	6	p-85-14	1	Ⅳc－1	口：— 胴:16.8cm 高:(10.5)cm	注口	横走沈線・弧線文・縦位の沈線；LR縄文	D－566
			RMD	6	q-85-10	1					
図Ⅴ－77	539	図版154	RMY	1	x-74-7	2	Ⅳc－1	口：— 胴:16.8cm 高:(11.7)cm	注口	横走沈線・弧線文・貼瘤；LR縄文	Y－568
図Ⅴ－77	540	図版154	RMY	2	y-73-13	2	Ⅳc－1	口：— 底：— 高:(10.2)cm	注口	曲沈線・貼瘤；LR縄文	Y－547
			RMY	3	z-73-2	1					
図Ⅴ－77	541	図版154	RMD	13	p-87-16	2	Ⅳc－1	口：— 胴:14.1cm 高:(10.2)cm	注口	横走沈線・曲沈線・貼瘤；LR縄文	D－568
			RMD	13	p-88-9・10・13	12					
図Ⅴ－77	542	図版154	RMD	6	q-86-7	5	Ⅳc－1	口：— 胴:15.6cm 高:(10.5)cm	注口	横走沈線・弧線文・刺突；LR縄文・無文帯	D－562
図Ⅴ－77	543	図版155	RMD	3	r-85	2	Ⅳc－1	口：— 胴:14.4cm 高:(8.7)cm	注口	横走沈線・弧線文・曲沈線・貼瘤；LR縄文／極小の上げ底	D－565
			RMD	3	r-85-9	1					
			RMD	T	r-85-9	1					
図Ⅴ－78	544	図版155	RME	1	t-80-12	1	Ⅳc－1	口:7.5cm 胴:14.1cm 高:(18.6)cm	注口	帯状文・横走沈線・曲沈線・刻み・貼瘤；RL縄文・無文帯／平縁・切出形口唇	E－541
			RME	2	t-81-2・9・10・12・16	11					
			RME	2	u-81-4	1					
図Ⅴ－78	545	図版155	RMD	3	q-85-11	8	Ⅳc－1		注口	帯状文・区画に沿う刻み列・細沈線；RL縄文／平縁・切出形口唇	D－622
			RMD	5	q-85-14	2					
図Ⅴ－78	546	図版155	RMD	3	q-84-2	1	Ⅳc－1	口：— 底:15.0cm 高:(3.9)cm	注口	縦位の帯状文・刻み；羽状縄文	D－557
			RMD	14	p-85-3・4	5					
図Ⅴ－78	547	図版153	RMY	1	x-78-13	1	Ⅳc－1	口:13.1cm 胴:(17.6)cm 高:(13.7)cm	注口	帯状文・区画に沿う刻み列・口唇上刻み；LR縄文・RL縄文・無文帯／平縁＋突起	Y－211
			RMY	2	w-75-11・15	2					
			RMY	2	w-76-15	1					
			RMY	2	w-77-4	2					
			RMY	2	x-77-11・12	2					
			RMY	2	x-77-12・15・16	5					
			RMY	2	y-77-12	2					
			RMY	2	z-74-2・5	4					
			－	Va	y-78	1					
図Ⅴ－78	548	図版153	RMD	3	q-87-14	1	Ⅳc－1	口：— 底：—	注口	横走沈線・弧線文・区画に沿う刺突列；LR縄文・無文帯	D－214
			RMD	5	r-86-4	1					

表Ⅴ－26　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(26)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMD	5	r-87-2	3		高:(8.0)cm			
			RMD	6	q-86-10～12	3					
			RMD	6	r-86-3	1					
			RMD	7	s-86-8	1					
			－	Va	w-81	1					
図Ⅴ－78	549	図版153	RMY	1	y-74-3	1	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文(横走・曲線)・区画に沿う列点;RL縄文	Y－209
			RMY	1	z-74-4	1		胴:14.8cm			
			RMY	2	x-73-4	1		高:(10.4)cm			
			RMY	2	y-73-4・8・13	8					
			RMY	2	y-73-7	1					
			RMZ	1	x-73-5	1					
図Ⅴ－78	550	図版155	RMD	5	r-85-9	1	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文(横走・曲線)・区画に沿う刺突列;羽状縄文	D－569
			RMD	7	r-85-10	5		胴:13.5cm			
			RMD	9	r-85-7・11	4		高:(7.5)cm			
			RMV	T	r-85	4					
図Ⅴ－78	551	図版155	RME	T	y-80	1	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文(横走・曲線)・区画に沿う列点;羽状縄文／極小の上げ底	Y－549
			RMY	2	y-74-3・4・7・8・12	20		胴:16.1cm			
			RMY	2	y-75-7	1		高:(9.9)cm			
			RMY	T	y-75	2					
図Ⅴ－78	552	図版153	RMD	7	r-84-13・14	33	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文・区画に沿う列点;羽状縄文／極小の上げ底、炭化物多量付着、残存率(接合率)約60%	D－077
			RMD	8	r-84-14	1		胴:15.0cm			
								高:(12.5)cm			
図Ⅴ－79	553	図版156	RMD	6	p-85-4	1	Ⅳc－1	口:5.3cm	注口	帯状文・ハの字状短刻線;LR縄文・無文帯／平縁・切出形口唇	D－217
			RMD	6	r-85-4・8	14		底：—			
								高:(10.5)cm			
図Ⅴ－79	554	図版156	RMD	3	q-82-4・8	6	Ⅳc－1	口:10.5cm	注口	帯状文・ハの字状短刻線;RL縄文・無文帯／平縁＋突起・切出形口唇	D－219
			RMD	3	q-83-1・5	4		底：—			
			RMD	3	q-84-8	1		高:(11.4)cm			
図Ⅴ－79	555	図版156	RMD	2	r-84-9	1	Ⅳc－1	口：—	注口	横走沈線・弧線文・ハの字状短刻線・貼瘤	E－205
			RME	2	s-84	1		胴:12.7cm			
			RME	2	s-84-3・10・11	10		高:(10.8)cm			
			－	Ⅲ下	r-84	1					
			－	Va	r-84	1					
図Ⅴ－79	556	図版156	RME	2	s-83-11	2	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文・ハの字状短刻線・横走沈線・貼瘤、残存率(接合率)約65%	E－033
			RME	3	s-83-12・16	4		胴:14.3cm			
			RME	13	s-83-7・8	20		高:(10.3)cm			
			RMEF-40	F0	s-83-12	1					
図Ⅴ－79	557	図版156	RMY	2	x-73-15	10	Ⅳc－1	口：—	小型壺	帯状文・ハの字状短刻線;(LR縄文)／上げ底気味の底部、残存率(接合率)約85%	Y－001
								胴:7.3cm			
								高:(8.3)cm			
図Ⅴ－79	558	図版156	RMD	3	p-84-5	1	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文(横走・弧線)・ハの字状短刻線／上げ底気味の底部	D－216
			RMD	3	q-84-3・4・14	5		胴:(16.2)cm			
			RMD	3	q-85-6	1		高:(9.5)cm			
			RMD	3	q-86-5・10	4					
			RMD	4	p-84-5・9	2					
			RMD	12	r-87-3	1					
			RME	1	s-82-9	1					
図Ⅴ－79	559	図版157	RME	2	t-83-8	s	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文(横走・曲線)・ハの字状短刻線・貼瘤／上げ底気味の底部、残存率(接合率)約60%	E－053
			RME	3	t-83-8	15		胴:(12.6)cm			
			RME	3	t-84-6	1		高:8.1cm			
図Ⅴ－79	560	図版155	RMD	4	r-83-4	1	Ⅳc－1		注口部	隆帯・ハの字状短刻線・貼瘤	D－403
図Ⅴ－79	561	図版155	RMD	4	r-82-1	1	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文(横走・曲線)・ハの字状短刻線	D－556
			RMD	4	r-83-15・16	8		底:16.5cm			
			RME	2	s-80-12	2		高:(10.5)cm			
			RME	3	s-81-13	1					
図Ⅴ－79	562	図版155	RMD	2	r-81-16	1	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文(横走・曲線)・ハの字状短刻線;羽状縄文	D－564
			RMD	3	q-82-11～13	3		底:17.4cm			
			RMD	3	q-83-2・3	2		高:(12.0)cm			
			RMD	4	q-82-11	1					
			RMDF-39	F1	－	1					
			RME	1	s-82-3	1					
			RME	2	s-82-3	1					
図Ⅴ－79	563	図版155	RMD	5	q-86-14～16	10	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文(横走・鋸歯状)・ハの字状短刻線	D－575
								胴:19.5cm			
								高:(9.0)cm			
図Ⅴ－80	564	図版155	RMD	3	r-84	1	Ⅳc－1	口:11.7cm	注口	帯状文(横走・斜行・曲線)・ハの字状短刻線・貫通孔／波状口縁・切出形口唇	D－570
			RMD	3	r-84-2・6・7	4		胴:16.2cm			
			RMD	4	r-84-6・7	4		高:(19.5)cm			
			－	Ⅲ上	r-84-2	1					
図Ⅴ－80	565	図版158	RMY	11	z-72-4	1	Ⅳc－1	口:9.3cm	注口	帯状文(鋸歯状・曲線)・ハの字状短刻線;無文帯／平縁・切出形口唇	Y－564
			RMY	11	z-73-5	4		底：—			
								高:(10.1)cm			
図Ⅴ－80	566	図版158	RME	2	s-83-10	1	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文・ハの字状短刻線・曲沈線;LR縄文	Y－556
			RMY	1	z-74-1	2		胴:13.5cm			
			RMY	2	y-73-16	1		高:(5.7)cm			
			RMY	2	z-73-4	1					
			RMY	2	z-74-3	1					
図Ⅴ－80	567	図版158	RMD	1	r-83-16	1	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線／上げ底気味の底部	E－543
			RME	2	s-83-4	2		胴:7.8cm			
								高:(5.7)cm			

表Ⅴ－27　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(27)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－80	568	図版158	RME	1	s-83-5	5	Ⅳc－1	口：—	注口	帯状文(曲線)・ハの字状短刻線	E－542
			－	Va	s-82	1		胴:7.5cm 高:(6.3)cm			
図Ⅴ－80	569	図版158	RMY	2	x-73-15・16	7	Ⅳc－2		注口	帯状文・ハの字状短刻線・貼瘤;RL縄文	Y－611
			RMY	3	x-73-16	1					
			－	Ⅲ	y-72	1					
図Ⅴ－80	570	図版158	RME	2	t-82-7	1	Ⅳc－1		注口	帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線	E－701
図Ⅴ－80	571	図版158	RMY	1	y-76-9・12	4	Ⅳc－1	口：— 胴:13.4cm 高:(8.7)cm	注口	帯状文(横走・曲線)・ハの字状短刻線・貼瘤	Y－552
図Ⅴ－80	572	図版158	RMD	2	r-84-5	1	Ⅳc－1	口：— 胴:16.8cm 高:(7.5)cm	注口	帯状文(横走・曲線)・ハの字状短刻線・貼瘤	D－559
			RMD	12	p-87-8・12	2					
			RMD	12上	p-87-12	1					
			－	Va	r-84	1					
			－	Va上	r-84	1					
図Ⅴ－80	573	図版158	RMD	1	r-86-2・9	2	Ⅳc－2		注口	帯状文(横走・曲線)・ハの字状短刻線・貼瘤	D－623
			RMD	2	r-84-2	3					
図Ⅴ－80	574	図版158	RMD	4	q-84-9	1	Ⅳc－2	口:9.0cm 底：— 高:(6.0)cm	注口	帯状文(横走・曲線)・ハの字状短刻線・貼瘤／平縁・切出形口唇	D－561
			RME	2	s-83-1	1					
			－	Ⅲ下	q-84	1					
図Ⅴ－80	575	図版158	RMD	2	r-84-14	2	Ⅳc－2	口:11.7cm 胴：— 高:(5.4)cm	注口	帯状文・ハの字状短刻線・貼瘤／平縁・切出形口唇	D－576
			RMD	3	s-84-14	1					
			RMD	3	t-84-2	1					
図Ⅴ－80	576	図版158	RMD	3	r-86-13	1	Ⅳc－2	口:17.4cm 胴:16.8cm 高:(20.7)cm	注口	帯状文(横走・曲線)・ハの字状短刻線・区画に沿う刻み列・貼瘤;RL縄文・無文帯／平縁・切出形口唇、赤彩	D－577
			RMD	5	r-84-7・11	2					
			RMD	6	r-86-1・2・6	12					
			RMD	7	r-86-5	1					
			RMD	14	p-86-12	2					
図Ⅴ－80	577	図版158	RMZ	2	x-73-10	1	Ⅳc－2	口:10.4cm 底:6.3cm 高:18.3cm	注口	帯状文(横走・曲線)・ハの字状短刻線・貼瘤;無文帯／波状口縁・切出形口唇	Z－503
			RMZ	2	y-73-6・7・9～12	6					
			－	Ⅲ下	y-73	2					
			－	Va	y-73	5					
図Ⅴ－81	578	図版157	RMD	1	r-81-16	1	Ⅳc－2	口:11.0cm 底：— 高:(5.5)cm	注口	帯状文・ハの字状短刻線・貼瘤・口唇上刻み／平縁＋突起	E－207
			RME	1	s-83-7・8・14	3					
			RME	2	s-83-7・8	4					
			－	Va	r-81	1					
			－	Va	r-83	1					
図Ⅴ－81	579	図版157	RMD	1	q-82-13	1	Ⅳc－2	口:10.3cm 底：— 高:(10.3)cm	注口	帯状文・ハの字状短刻線・貼瘤・刺突列;無文帯／平縁＋突起・切出形口唇	E－208
			RMDF-49	1	q-82-12	1					
			RME	3	s-83-9・10	6					
			－	Va	q-82	1					
図Ⅴ－81	580	図版157	RMY	1	x-74-13	9	Ⅳc－2	口:9.3cm 底：— 高:(10.9)cm	注口	横走沈線・刻み列・貼瘤;無文帯／平縁・切出形口唇	Y－204
			RMY	1	y-73-4	1					
			RMY	1	y-74-1・2	11					
			RMY	2	x-74	1					
図Ⅴ－81	581	図版157	RMY	3	y-73-3	1	Ⅳc－2		注口	曲沈線・刺突列(口唇上含む)・貼瘤;LR縄文・無文帯／平縁	Y－402
図Ⅴ－81	582	図版157	RMD	3	r-82-2～4	8	Ⅳc－2	口:10.2cm 底：— 高:5.2cm	注口	貼瘤;LR縄文・無文帯／平縁・切出形口唇	D－218
図Ⅴ－81	583	図版159	RMD	3	r-82-7・8	7	Ⅳc－2	口:11.6cm 底：— 高:(9.9)cm	注口	横走沈線・貼瘤;羽状縄文・無文帯／平縁・切出形口唇	D－205
図Ⅴ－81	584	図版158	RMD	5	r-84-15	3	Ⅳc－2	口:15.6cm 底：— 高:(14.0)cm	注口	横走沈線・入組み沈線・貼瘤;LR縄文・RL縄文・無文帯／平縁・切出形口唇	D－204
			RMD	6	r-84-15	1					
図Ⅴ－81	585	図版158	RMY	2	w-77-15	4	Ⅳc－2	口:9.3cm 胴:14.3cm 高:(12.0)cm	注口	帯状文・区画に沿う刺突列・貼瘤;LR縄文・無文帯／平縁・切出形口唇	Y－550
図Ⅴ－81	586	図版159	RMD	7	q-84-12	1	Ⅳc－2	口：— 胴:16.0cm 高:12.1cm	注口	帯状文(横走・舌状)・貼瘤;LR縄文	J－001
			RMJ	1	u-86-5	11					
			RMJ	2	u-86-4	12					
			－	Va	u-86	8					
図Ⅴ－81	587	図版159	RME	1	s-83-5・7	8	Ⅳc－2	口：— 胴:13.1cm 高:(10.0)cm	注口	帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線・貼瘤／	E－050
			RME	1	s-85-6	2					
			RME	12	r-82-1	1					
			－	Ⅲ下	s-83	1					
			－	Va	s-83	16					
図Ⅴ－81	588	図版159	RMD	4	p-83-10・11	2	Ⅳc－2		注口	帯状文(横走・弧線)・貼瘤;羽状縄文	D－626
			RMD	7	q-84-14	1					
			RMD	11	r-88-10	1					
			RME	3	t-81-4・12	2					
図Ⅴ－81	589	図版159	RMY	2	w-76-10・11	5	Ⅳc－2	口：— 胴:11.1cm 高:(3.9)cm	注口	帯状文(弧線・曲線)・貼瘤;RL縄文・無文帯	Y－559
図Ⅴ－81	590	図版159	RMY	2	w-75-7	1	Ⅳc－2	口:9.8cm 底:12.8cm 高:(12.2)cm	注口	細沈線(横走・弧線・曲線)・貼瘤;LR縄文・無文帯／平縁・切出形口唇	Y－527
			RMY	T	w-75	1					
			－	Va	w-75	5					

表Ⅴ－28 盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(28)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－81	591	図版159	RMZ	T	y-72	6	Ⅳc－2	口：— 胴:13.7cm 高:(7.5)cm	注口	横走沈線・曲沈線・貼瘤;LR縄文	Y－551
図Ⅴ－81	592	図版159	RMY	1	x-74-13	1	Ⅳc－2	口:14.0cm 底：— 高:(12.2)cm	小型深鉢A	横走沈線・曲沈線・ハの字状短刻線・刻み・貼瘤／平縁・切出形口唇	Y－548
			RMY	1	y-73-4・7	2					
			RMY	1	y-74-1・2	2					
			RMY	2	x-76-11	1					
			－	Va	w-76	2					
			－	Va	y-74	1					
図Ⅴ－82	593	図版63	RMW	T	y-75	1	Ⅳb－4	口：— 底:4.4cm 高:(2.6)cm	鉢 (底部)	隆帯・刻み／赤彩	Y－202
			RMY	2	x-75-3	1					
			RMY	2	y-75-15	1					
			RMY	2	z-75-3	1					
			RMY	T	y-75	1					
			RMY	T	y-75-13	1					
			RMY	T	z-75	2					
			RMY	T	z-75-6	1					
図Ⅴ－82	594	図版63	RMW	T	y-75	2	Ⅳb－4	口:(22.4)cm 底：— 高:(12.4)cm	注口付鉢	刻み列・帯状文・;LR縄文／平縁・切出形口唇、赤彩	Y－208
			RMW	T	y-75-13	1					
			RMY	1	x-75-4	1					
			RMY	2	x-75-7	1					
			RMY	2	y-75-14・15	2					
			RMY	2	z-75-3・7	9					
			RMY	11	z-75-7	1					
			RMY	T	y-75	3					
			RMY	T	y-75-6	7					
			RMY	T	z-75	8					
			RMY	T	z-75-2	1					
			－	Va	z-75	2					
図Ⅴ－82	595	図版63	RMY	3	x-74-15	3	Ⅳc－1		(突起)	刻み・貼瘤・貫通孔;LR縄文／赤彩	特－405
図Ⅴ－82	596	図版63	RMA	2	p-89-1	1	Ⅳc－1		深鉢	突瘤・帯状文・弧線文(内面含む);縄文／赤彩	A－201
			RMA	3	p-89-1	1					
			RMD	12	q-86-3	1					
			RMD	16	p-86-3	1					
			RME	1	t-84-1	1					
図Ⅴ－82	597	図版62	RMD	3	q-84-5・6・9・11	28	Ⅳc－1	口:25.6cm 底:3.4cm 高:13.0cm	鉢	帯状文(横走・クランク状)・ハの字状短刻線／波状口縁・切出形口唇・上げ底、赤彩、残存率(接合率)約75%	D－055
			RMD	4	q-84-10・13～15	10					
			RMD	4	r-84-1・9	4					
			RMD	5	q-84-15	2					
			RMD	6	q-84-10	1					
			RMZ	2	y-73-5	1					
			－	Va	r-85	1					
			－	Va	y-73	1					
図Ⅴ－82	598	図版62	RMD	T	r-85	1	Ⅳc－2	口:11.3cm 底：— 高:(13.3)cm	広口壺	帯状文(横走・入組み)・ハの字状短刻線・貼瘤／平縁、赤彩、残存率(接合率)約65%	E－040
			RMD	T	r-85-6	6					
			RME	1	s-83-6・10	2					
			RME	2	s-83-5・9・10	7					
			RME	T	s-83-5	1					
			－	Ⅳ	r-85	1					
			－	Va	r-85	1					
図Ⅴ－82	599	図版62	RMD	5	q-85-9	1	Ⅳc－1	口：— 胴:17.8cm 高:(13.2)cm	注口	帯状文・区画に沿う列点・貼瘤;羽状縄文／赤彩、黒色物質付着、残存率(接合率)約50%	D－058
			RMD	6	q-85-6	5					
			RMD	6	r-86-1～3	7					
			RMD	6	r-87-5	1					
			RMD	T	q-85	4					
			RMD	T	q-85-9	1					
			RMD	T	r-85	1					
図Ⅴ－82	600	図版62	RMD	5	q-85-16	1	Ⅳc－1	口:5.8cm 胴:14.4cm 高:(20.7)cm	注口	帯状文・刻み;RL縄文・無文帯／赤彩、平縁・上げ底、片部欠損、残存率(接合率)約65%	D－065
			RMD	6	q-85-16	1					
図Ⅴ－82	601	図版62	RMD	6	r-84-9	4	Ⅳc－1	口：— 胴:14.3cm 高:(11.7)cm	注口	縦位の沈線・曲沈線・貼瘤;LR縄文／赤彩、極小の上げ底、残存率(接合率)約50%	D－124
			RMD	7	r-84-9	10					
図Ⅴ－83	602	図版63	RMA	11	o-88-14	2	Ⅳc－1	口：— 胴:15.7cm 高:(10.9)cm	注口	弧線文／赤彩(内面)、上げ底気味の底部、残存率(接合率)約50%	A－010
			RMA	14	o-88-6・14・15	18					
			RMA	15	o-88-13	2					
			RMA	15	p-88-2	2					
			RMD	3	r-87-8	1					
			RMD	3	r-88-4・9	2					
			RMD	3	s-89	1					
			RMD	12	o-88-5	1					
			RMD	13	p-88-1・5	5					
			RMD	13	q-87-14	1					
			－	Va	q-89	1					
			－	Va	r-89	2					
図Ⅴ－83	603	図版63	RMY	2	x-77-12・16	9	Ⅳc－1	口：— 胴:(15.4)cm 高:11.3cm	注口	横走沈線・曲沈線;無説R／赤彩(内面)	Y－203
図Ⅴ－83	604	図版62	RMD	3	r-87-8	1	Ⅳc－1	口:2.7cm	壺	帯状文・刺突;羽状縄文／LR縄	D－122

表Ⅴ－29　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(29)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMD	4	q-83-4	2		胴:11.6cm 高:(7.5)cm		文・無文帯／赤彩	
			RMD	5	q-84-1・5	2					
			RMD	6	q-84-5	1					
			RMD	7	q-84-15	1					
			RMD	7	q-85-12	1					
			RMD	7	q-86-7・12	2					
			RMD	7	r-86-9	1					
			RMV	2	s-85	1					
			RMW	2	t-82	1					
			RMY	1	x-77-15・16	4					
			RMY	2	x-76-8	1					
			RMY	2	x-77-11	1					
			－	Va	x-77	1					
図Ⅴ－83	605	図版63	RMD	6	p-85-15	1	Ⅳc		注口部	沈線;LR縄文／赤彩	D－404
図Ⅴ－83	606	図版63	RMD	15	p-86-13	1	Ⅳc		注口部	LR縄文／赤彩	D－406
図Ⅴ－83	607	図版63	RMD	5	r-86-9	1	Ⅳc		注口部	赤彩	D－405
図Ⅴ－83	608	図版63	RMD	4	q-84-11	1	Ⅳc		注口部	赤彩	D－407
図Ⅴ－83	609	図版160	RMY	1	w-77-14	2	Ⅳc－2	口:(11.4)cm 胴:(15.4)cm 高:(16.3)cm	注口	貼瘤・横走沈線・曲沈線・刺突・貫通孔;無文帯／平縁＋突起・切出形口唇	Y－073
			RMY	1	x-76-3・7	4					
			RMY	2	x-76-8・10・11・14	4					
			RMY	2	y-76-2	2					
			－	Ⅲ下	q-82	1					
			－	Va	w-76	1					
			－	Va	x-75	1					
			－	Va	x-76	1					
図Ⅴ－83	610	図版160	RMA	3	p-88-2	6	Ⅳc－1	口:(16.0)cm 底:　— 高:(18.4)cm	双口壺	貼瘤・横走沈線・曲沈線・刻み・隆帯;無文帯	D－123
			RMD	3	q-84-6・14	3					
			RMD	3	r-84-3	1					
			RMD	12	p-88-1・2	9					
図Ⅴ－84	611	図版160	RMY	2	w-76	2	Ⅳc－1	口:17.8cm 底:9.8cm 高:3.5cm	舟形鉢	横走沈線・弧線文・刺突列;無節R／片口・平縁、残存率(接合率)約65%	Y－055
			RMY	2	w-77-6	1					
			RMY	2	x-76-2	2					
図Ⅴ－84	612	図版160	RMD	3	q-82-11・13・14	7	Ⅳc－1	口:19.6cm 底:9.5cm 高:5.6cm	舟形鉢	横走沈線・弧線文・隆帯・貫通孔;LR縄文／片口・平縁、残存率(接合率)約70%	D－050
			RMD	4	q-82-11	1					
			RME	3	s-81-10	1					
図Ⅴ－84	613	図版160	RME	3	t-82-7	11	Ⅳc－1	口:(13.7)cm 底:7.5cm 高:4.8cm	舟形鉢	RL縄文／平縁、残存率(接合率)約70%	E－008
図Ⅴ－84	614	図版162	RMG	1	w-81-2	1	Ⅳc－1		舟形鉢	弧線文横走沈線・把手・貫通孔;LR縄文／平縁	特－402
図Ⅴ－84	615	図版162	RME	1	u-81-7	1	Ⅳc		台付鉢 (四脚付)	横走沈線;LR縄文	E－401
図Ⅴ－84	616	図版160	RMY	3	y-73-15	2	Ⅳc		台	横走沈線・弧線文・貫通孔6ヵ所;LR縄文・無文帯／	特－207
			RMY	3	y-74-1・2	1					
			RMY	B25	y-73-11	1					
			RMW	2	y-74	1					
図Ⅴ－85	617	図版161	RMD	2	r-81-5	1	Ⅳc－1		香炉形	横走沈線・弧線文・刻み;LR縄文／すかし4ヵ所、頂部剥離	特－201
			RMD	7	r-86-4	1					
			RME	3	s-84-12	1					
			RME	3	t-82-13	2					
			RME	3	t-84-2	2					
			RMG	1	v-83-1	1					
			RMW	2	t-83	3					
			RMV	2	u-81	1					
			RMV	10	s-84	1					
図Ⅴ－85	618	図版161	RME	3	t-81-1～4・7	13	Ⅳc		香炉形 注口	横走沈線・弧線文・刺突列・貼瘤;LR縄文／すかし2ヵ所	特－205
図Ⅴ－85	619	図版161	RMY	2	x-72-10・13・14	21	Ⅳc－1	口:　— 胴:16.0cm 高:17.7cm	香炉形	帯状文(懸垂文)・横走沈線・刻み・貫通孔／すかし4ヵ所、残存率(接合率)約60%	Y－075
			RMY	2	x-74-15	1					
			－	Va	y-77	3					
図Ⅴ－85	620	図版161	RMD	6	q-83-11	1	Ⅳc－1		香炉形 (頂部)	横走沈線・刺突;LR縄文／平縁・すかし3ヵ所	特－203
				Va	u-83	1					
図Ⅴ－85	621	図版162	RMY	3	y-72-4	1	Ⅳc－1	口:　— 胴:14.9cm 高:(9.0)cm	香炉形 注口	横走沈線・弧線文;LR縄文	特－209
			RMY	3	y-73-1	3					
図Ⅴ－85	622	図版162	RMG	1	w-81-2	1	Ⅳc		香炉形 (頂部)	刺突・貫通孔	特－401
図Ⅴ－85	623	図版162	RMY	3	y-72-9	1	Ⅳc－1		香炉形?	横走沈線・刺突列;LR縄文／赤彩・平縁・切出形口唇	特－406
図Ⅴ－85	624	図版162	RME	1	s-86-7	1	Ⅳc		香炉形	沈線・刻み;LR縄文／平縁・切出形口唇	特－204
			RME	3	s-81-9・10	5					
			RME	3	t-84-5	2					
図Ⅴ－85	625	図版64	RME	3	s-81-12・16	17	Ⅳc－1	口:　— 胴:16.7cm 高:(9.2)cm	香炉形	帯状文・横走沈線・貼瘤・貫通孔;LR縄文・RL縄文／赤彩、残存率(接合率)約30%	E－060
			RME	3	t-82-1	3					
図Ⅴ－86	626	図版64	RMD	4	q-82-2	1	Ⅳc－1	口:　— 胴:29.5cm 高:(9.6)cm	異形環状	帯状文・横走沈線・弧線文・貼瘤・貫通孔;LR縄文／赤彩、残存率(接合率)約30%	D－066
			RMD	4	q-83-2・6・7	5					
			RMD	5	q-83-6・7・11・15	4					
			RMD	5	q-84-5	1					
			RMD	6	q-83-11・16	3					

表Ｖ－30　盛土遺構－上位出土掲載土器一覧(30)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部位)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMD	6	q-84-9・11・13	3					
			RMD	6	r-83-4	2					
			RMD	7	q-84-13・14	4					
			RMD	7	r-84-2・5	2					
			RMD	13	p-87-8・11	2					
			RMD	13	p-88-9	3					
			RMD	15	p-86-11・13	2					
			RMD	15	p-87-7	1					
			RMD	15	q-85-4	2					
			RMD	16	p-86-13	1					
			RMDF-63	F1	q-84-11	1					
			RMV	3	r-79	1					
			－	Va	u-82	1					
			－	Va	u-83	1					
図Ｖ－87	627	図版64	RMD	2	q-82-13	1	Ⅳc－0	幅:(6.6cm) 高:(6.0cm)	巻貝形土器	微隆線・隆帯・刻み・貼瘤／赤彩・胎土緻密	微－001
			RMD	3	q-82-14	1					
			RMD	4	p-83-12	1					
			N盛土	N5	N-78	1					
				V	Q-83	1					
図Ｖ－87	628	図版64	RMD	7	q-85-12・15	4	Ⅳc－0	幅:(10.5cm) 高:(10.1cm)	土偶（脚部）	微隆線・隆帯・刻み・貼瘤(大・小)・貫通孔／赤彩・胎土緻密	微－002
			RMD	4	r-82-9	1					
			RMY	1	w-77-13	1					
			RMY	2	v-78-7	1					
			RMY	2	w-76-7・16	2					
			RMY	2	w-77-13・14	2					
			RMY	2	y-75-5	1					
			RMY	3	y-72-15	1					
				Va	t-79	1					
			N盛土	N5	N-77	2					
			N盛土	N5	N-78	1					
				V	a-48	1					
図Ｖ－87	629	図版64	RMA	15	o-90-7	1	Ⅳc－0		（突起）	隆帯・刻み・貼瘤	微－401
図Ｖ－87	630	図版162	RMD	14	p-86-12	1	Ⅳc－0		（突起）	隆帯・刻み・貼瘤／胎土緻密で白色味を帯びる	微－402
図Ｖ－87	631	図版162	RMD	5	r-84-2	1	Ⅳc－0		注口	帯状文・貼瘤;LR縄文	微－702・微－703
図Ｖ－87	632	図版162	RMY	1	y-74-5	1	Ⅳc－0		異形注口	隆帯・刻み・貼瘤／平縁	微－019
			RMY	B11	y-74-9	1					
図Ｖ－88	633	図版162	RMG	1	w-81-9	1	Ⅰb-1		深鉢	組紐圧痕	早－004
図Ｖ－88	634	図版162	RMD	12	q-88-11	1	Ⅰb-1		深鉢	組紐圧痕	早－009
図Ｖ－88	635	図版162	RMY	10	v-78-9	2	Ⅰb-1		深鉢	組紐圧痕	早－007
図Ｖ－88	636	図版162	RMD	4	q-82-12	1	Ⅰb-1		深鉢	組紐圧痕・短縄文	早－014
				Vb	q-83	1					
図Ｖ－88	637	図版162	RMY	T	x-75	1	Ⅰb-1		深鉢	短縄文	早－016
図Ｖ－88	638	図版162	RMY	3	y-74-2	1	Ⅰb-1		深鉢	絡状体圧痕・短縄文	早－018
図Ｖ－88	639	図版162	RMZ	2	w-73-6	1	Ⅰb-1		深鉢	短縄文	早－025
図Ｖ－88	640	図版162	RMD	3	r-87-1	2	Ⅰb-3?		深鉢	刺突列;羽状縄文	早－029
図Ｖ－88	641	図版162	RMD	1	s-86-12	1	Ⅰb-3?		深鉢	細い貼付帯;短縄文	早－030
図Ｖ－88	642	図版162	RMD	T	p-85	1	Ⅰb-4		深鉢	縄端圧痕・撚糸文／補修孔	早－032
図Ｖ－88	643	図版162	RMD	4	q-82-7	1	Ⅰb-4		深鉢	縄端圧痕・撚糸文	早－036
				SE1	q-82	1					
図Ｖ－88	644	図版162	RMD	16	p-86-10	1	Ⅰb-4		深鉢	撚糸文	早－043
			RMD	20	p-86-10	1					
				Vb	p-87	1					
図Ｖ－88	645	図版162	RMD	15	p-85-7	1	Ⅰb-4		深鉢	撚糸文	早－045
				Vb	r-83	1					
図Ｖ－88	646	図版162	RMD	11	q-89-1	1	Ⅰb-4		深鉢	縄端圧痕・撚糸文	早－101
図Ｖ－88	647	図版162	RMV	1	s-82	1	Ⅰb		深鉢	組紐圧痕・短縄文	早－010
図Ｖ－88	648	図版162	RMZ	2	s-78-15	1	Ⅱ		深鉢	LR縄文	前－013
				Va	s-78	1					
図Ｖ－88	649	図版162	RMG	1	u-81-14	1	Ⅱa		深鉢	綱文・節の磨り消し	前－003
図Ｖ－88	650	図版162	RMY	1	z-75-4	1	Ⅲa		（突起）	口唇上刺突列;LR縄文	中－001
				Va	z-67	1					
図Ｖ－88	651	図版162	RMY	T	z-75	1	Ⅲa		（突起）	縄文	中－004
図Ｖ－88	652	図版162	RMY	T	w-75	1	Ⅲa		深鉢	押引沈線;RL縄文	中－007
図Ｖ－88	653	図版162	RMY	2	y-72-11	1	Ⅳa		深鉢	RL縄文	後－008
図Ｖ－88	654	図版162	RMY	T	x-75	1	Ⅳa		深鉢	RL縄文	後－020
図Ｖ－88	655	図版162	RME	2	s-80-16	1	Ⅳa		深鉢	RL縄文	後－021
			RME	3	s-82-3	1					
図Ｖ－88	656	図版161	RMY	2	x-74-5・11	3	Ⅳb-2		深鉢	LR縄文	外－201

表Ⅴ－31　盛土遺構－上位出土掲載土製品一覧（1）

図番号	土器No.	写真図版	分類	遺構	層位	発掘区	点数	長さcm	幅 cm	厚さcm	重さ g	備考	整理番号
図Ⅴ-89	657	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	1.5	1.9	1.4	2.6	土玉集中	土玉－011
図Ⅴ-89	658	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	2.1	1.5	1.4	4.1	土玉集中	土玉－012
図Ⅴ-89	659	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	1.8	1.3	1.2	2.6	土玉集中	土玉－013
図Ⅴ-89	660	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	1.3	1.3	1.2	1.6	土玉集中	土玉－014
図Ⅴ-89	661	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	2.0	1.4	1.3	3.4	土玉集中	土玉－015
図Ⅴ-89	662	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	2.0	1.1	1.0	2.0	土玉集中	土玉－016
図Ⅴ-89	663	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	2.1	1.2	1.1	2.7	土玉集中	土玉－017
図Ⅴ-89	664	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	2.2	1.0	1.0	1.9	土玉集中	土玉－018
図Ⅴ-89	665	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	2.1	1.1	1.0	(2.0)	土玉集中	土玉－019
図Ⅴ-89	666	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	2.1	1.2	1.0	2.4	土玉集中	土玉－020
図Ⅴ-89	667	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	2.2	0.9	0.9	1.7	土玉集中	土玉－021
図Ⅴ-89	668	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	1.9	1.1	1.0	2.0	土玉集中	土玉－022
図Ⅴ-89	669	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	1.9	1.2	1.0	(2.2)	土玉集中	土玉－023
図Ⅴ-89	670	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	1.9	1.2	1.1	2.2	土玉集中	土玉－024
図Ⅴ-89	671	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	1.6	1.2	1.2	2.1	土玉集中	土玉－025
図Ⅴ-89	672	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	2.2	1.1	1.1	2.3	土玉集中	土玉－026
図Ⅴ-89	673	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	1.8	1.0	1.0	1.8	土玉集中	土玉－027
図Ⅴ-89	674	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	2.4	1.1	1.1	2.6	土玉集中	土玉－028
図Ⅴ-89	675	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	(2.1)	1.2	1.0	(2.1)	土玉集中	土玉－029
図Ⅴ-89	676	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	1.9	1.1	1.0	1.9	土玉集中	土玉－030
図Ⅴ-89	677	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	(2.4)	1.1	1.1	(2.8)	土玉集中	土玉－031
図Ⅴ-89	678	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	(2.0)	1.0	1.0	(1.8)	土玉集中	土玉－032
図Ⅴ-89	679	図版163	土玉	RMY	2	w-75-8	1	2.0	1.0	1.1	1.8	土玉集中	土玉－033
図Ⅴ-89	680	図版163	土玉	RME	1	s-83	1	1.5	1.5	1.5	2.8		土玉－038
図Ⅴ-89	681	図版163	土玉	RMD	1	r-83-15	1	1.7	1.2	0.9	1.8		土玉－034
図Ⅴ-89	682	図版163	土玉	RMD	6	r-83-3	1	1.7	1.6	1.5	3.3		土玉－035
図Ⅴ-89	683	図版163	土玉	RMY	2	z-73-1	1	1.5	1.8	1.4	3.0		土玉－062
図Ⅴ-89	684	図版163	土玉	RME	3	t-82-10	1	1.2	1.3	1.2	2.0		土玉－057
図Ⅴ-89	685	図版163	土玉	RMD	1	r-83-15	1	(1.3)	(1.4)	(1.3)	(1.5)		土玉－054
図Ⅴ-89	686	図版163	土玉	RMY	2	x-76-4	1	1.2	1.2	1.3	1.4		土玉－043
図Ⅴ-89	687	図版163	土玉	RMY	2	x-73-13	1	1.0	1.0	0.9	0.8		土玉－067
図Ⅴ-89	688	図版163	土玉	RMD	1	r-83-16	1	1.3	1.3	1.1	1.6		土玉－052
図Ⅴ-89	689	図版163	土玉	RMY	3	y-74-15	1	0.9	1.0	1.0	0.7		土玉－065
図Ⅴ-89	690	図版163	土玉	RME	2	s-81-6	1	0.8	0.9	0.9	0.5		土玉－059
図Ⅴ-89	691	図版163	土玉	RMY	2	z-73-3	1	1.2	1.2	1.1	1.3		土玉－042
図Ⅴ-89	692	図版163	土玉	RMY	2	y-73-16	1	1.1	1.0	0.9	0.7		土玉－069
図Ⅴ-89	693	図版163	土玉	RME	3	s-82-15	1	2.2	1.9	1.8	7.2		土玉－002
図Ⅴ-89	694	図版163	土玉	RMG	12	v-82-8	1	(1.6)	2.6	1.3	(5.7)		土玉－040
図Ⅴ-89	695	図版163	土玉	RMD	6	q-84-2	1	(1.5)	(1.1)	(1.2)	(1.8)		土玉－006
図Ⅴ-89	696	図版163	土玉	RMY	2	x-72-7	1	1.9	1.1	1.2	2.2		土玉－060
図Ⅴ-89	697	図版163	土玉	RME	3	u-83-4	1	1.1	1.0	1.7	1.7		土玉－037
図Ⅴ-89	698	図版163	土玉	RMY	2	y-72-10	1	1.6	1.3	0.9	1.4		土玉－068
図Ⅴ-89	699	図版163	土玉	RMD	1	r-83-11	1	1.5	1.4	1.0	2.0		土玉－053
図Ⅴ-89	700	図版163	土玉	RMY	1	y-74-7	1	1.3	0.9	0.9	1.0		土玉－066
図Ⅴ-89	701	図版163	土玉	RMD	12下	q-86-4	1	0.8	0.8	0.8	0.5		土玉－063
図Ⅴ-89	702	図版163	土玉	RMD	12下	p-87-12	1	0.8	0.7	0.7	0.3		土玉－056
図Ⅴ-89	703	図版163	土玉	RMA	2	o-89-13	1	(2.1)	(1.9)	(1.3)	(4.6)		土玉－005
図Ⅴ-89	704	図版163	土玉	RMY	B12	y-74-9	1	1.2	1.2	2.1	2.2		土玉－044
図Ⅴ-89	705	図版163	土玉	RME	3	t-84-4	1	1.3	1.3	1.1	1.7		土玉－058
図Ⅴ-89	706	図版163	土玉	RME	T	s-80-14	1	1.0	1.2	0.9	0.9		土玉－036
図Ⅴ-89	707	図版163	土玉	RMD	3	p-83-7	1	1.7	0.9	0.8	1.0		土玉－055
図Ⅴ-89	708	図版163	土玉	RMA	2	o-89-13	1	1.9	1.7	1.1	3.5		土玉－004
図Ⅴ-89	709	図版163	土玉	RMD	4	r-82-12	1	2.2	2.0	1.6	5.9		土玉－051
図Ⅴ-89	710	図版163	土玉	RME	3	t-84-3	1	2.0	2.0	0.9	3.3		土玉－039
図Ⅴ-89	711	図版163	土玉	RMZ	2	y-73-13	1	2.2	2.4	0.9	4.6		土玉－008
図Ⅴ-89	712	図版163	土玉	RMD	1	r-79-16	1	1.7	1.5	1.3	3.0		土玉－009
図Ⅴ-89	713	図版163	土玉	RMY	B7	y-72-11	1	0.6	1.0	0.9	0.3		土玉－061
図Ⅴ-89	714	図版163	土玉	RMY	2	z-73-4	1	0.7	1.2	1.1	0.8		土玉－064
図Ⅴ-90	715	図版164	円盤状土製品	RMY	2	y-72-8	1	1.5	1.7	0.8	2.2		円-015
図Ⅴ-90	716	図版164	円盤状土製品	RMD	6	q-86-13	1	2.4	2.4	1.0	4.1		円-014
図Ⅴ-90	717	図版164	円盤状土製品	RMD	7	q-86-11	1	2.4	2.5	0.7	4.1		円-013

表Ⅴ－32 盛土遺構－上位出土掲載土製品一覧（２）

図番号	土器No.	写真図版	分類	遺構	層位	発掘区	点数	長さcm	幅 cm	厚さcm	重さ g	備考	整理番号
図Ⅴ-90	718	図版164	円盤状土製品	RMY	3	y-73-7	1	(2.5)	(2.4)	(1.0)	(4.0)		円-009
図Ⅴ-90	719	図版164	円盤状土製品	RME	2	t-84-1	1	3.4	3.4	1.2	10.7		円-004
図Ⅴ-90	720	図版164	円盤状土製品	RMG	11	v-82-10	1	3.3	(1.5)	0.7	(3.3)		円-020
				RMD	7	r-81-4	1						
図Ⅴ-90	721	図版164	円盤状土製品	RMY	2	y-73-14	1	2.3	2.2	0.8	3.3	赤彩	円-006
図Ⅴ-90	722	図版164	円盤状土製品	RMY	3	z-73-5	1	2.0	2.1	0.9	2.8		円-007
図Ⅴ-90	723	図版164	円盤状土製品	RMD	6	q-84-12	2	3.8	(3.0)	1.2	(9.2)		円-016
図Ⅴ-90	724	図版164	円盤状土製品	RMY	3	y-73-6	1	2.2	2.3	1.1	4.4	赤彩	円-008
図Ⅴ-90	725	図版164	円盤状土製品	RMY	10	v-76-10	2	2.2	2.1	6.8	(2.3)		円-017
図Ⅴ-90	726	図版164	円盤状土製品	RMY	3	y-73-8	1	3.2	3.2	5.5	5.6		円-005
図Ⅴ-90	727	図版164	円盤状土製品	RMD	2	r-84-14	1	2.0	1.6	1.5	(2.5)		円-023
図Ⅴ-90	728	図版164	円盤状土製品	RME	1	s-81-5	1	4.2	(2.3)	0.9	(8.1)		円-018
図Ⅴ-90	729	図版164	垂飾	RMY	1	y-78-1	1	2.6	2.5	2.4	(7.7)	円錐形	垂-001
図Ⅴ-90	730	図版164	垂飾	RMZ	2	u-76-1	1	1.7	1.4	1.3	1.8	円錐形	垂-002
図Ⅴ-90	731	図版164	垂飾	RMX	1	x-83-5	1	0.9	1.0	1.5	1.0	円錐形	垂-011
図Ⅴ-90	732	図版164	三日月形土製品	RMY	2	z-73-3	1	(2.2)	1.2	0.8	(1.7)		垂-015
図Ⅴ-90	733	図版164	三日月形土製品	RMD	13	q-88-13	1	(1.8)	1.2	5.8	(0.9)		垂-016
図Ⅴ-90	734	図版164	三日月形土製品	RMZ	2	y-73-6	1	2.6	1.2	1.0	(2.6)		垂-018
図Ⅴ-90	735	図版164	三日月形土製品	RME	3	t-82-14	2	2.2	1.9	0.6	1.3		垂-012
図Ⅴ-90	736	図版164	三日月形土製品	RMZ	2	u-76-15	1	3.9	2.0	0.8	(5.4)		垂-013
図Ⅴ-90	737	図版164	垂飾	RMD	12下	p-85-12	1	(3.6)	1.4	0.7	(2.6)		垂-035
図Ⅴ-90	738	図版164	垂飾	RME	2	u-82-1	1	4.6	1.1	1.1	4.3		垂-021
図Ⅴ-90	739	図版164	垂飾	RMY	2	w-78-14	1	(3.1)	1.2	9.6	(4.0)		垂-020
図Ⅴ-90	740	図版164	垂飾	RMD	16	p-84-16	1	(4.2)	(2.6)	7.9	(5.2)		垂-034
図Ⅴ-90	741	図版164	垂飾	RMG	1	v-82-6	1	(2.3)	3.8	1.1	(5.9)		垂-037
図Ⅴ-90	742	図版164	垂飾	RMD	13	p-87-15	1	(2.4)	(1.6)	0.8	(2.8)		垂-032
図Ⅴ-90	743	図版164	垂飾	RMD	13	p-88-11	1	(2.3)	1.7	0.8	(2.8)		垂-033
図Ⅴ-90	744	図版164	垂飾	RMG	2	u-83-13	1	3.5	2.0	0.5	4.6		垂-030
図Ⅴ-90	745	図版164	垂飾	RMY	3	x-73-12	1	(1.2)	(2.9)	0.4	(1.3)		垂-036
図Ⅴ-91	746	図版164	垂飾	RMD		q-85-6	1	(3.2)	4.3	0.8	(8.3)		垂-027
図Ⅴ-91	747	図版164	垂飾	RMD	13	p-87-4	2	2.1	2.4	0.6	(2.4)		垂-024
図Ⅴ-91	748	図版164	垂飾	RMD	14	p-85-12	1	(4.2)	4.5	0.8	(7.4)		垂-023
				RMD	13	p-87-7	1						
				RMD	3	s-84-8	1						
図Ⅴ-91	749	図版164	垂飾	RMD	12下	p-85-12	1	(4.0)	2.7	0.9	(5.7)		垂-025
図Ⅴ-91	750	図版164	垂飾	RME	2	t-81-12	1	(3.5)	2.3	7.5	(7.9)		垂-022
				RME	2	t-81-12	1						
図Ⅴ-91	751	図版164	垂飾	RMDF-63	F1	q-84	1	(1.4)	2.6	0.6	(2.1)		垂-029
図Ⅴ-91	752	図版164	垂飾	RMG	1	w-81-1	1	(4.1)	2.8	0.9	(12.1)		土製-023
図Ⅴ-91	753	図版164	垂飾	RMD	11	q-89-10	1	(3.2)	2.6	0.8	(7.6)		土製-024
図Ⅴ-91	754	図版164	垂飾	RME	T	t-85	1	3.6	(2.0)	0.7	(4.3)		土製-028
図Ⅴ-91	755	図版165	ミニチュア土製品	RMY	2	w-80-16	2	5.2	3.0		(16.4)		ミニ-022
図Ⅴ-91	756	図版165	ミニチュア土製品	盛土上位		不明	2	4.4	2.3		(12.1)		ミニ-008
図Ⅴ-91	757	図版165	ミニチュア土製品	RMZ	2	y-72-3	1	4.6	(3.6)		(15.7)		ミニ-015
				RMZ	2	y-72-7	1						
図Ⅴ-91	758	図版165	ミニチュア土製品	RME	3	t-82-11	1	4.2	3.2		(10.7)		ミニ-017
図Ⅴ-91	759	図版165	ミニチュア土製品	RMY	2	v-79-15	1	2.6	0.9		4.0		ミニ-024
図Ⅴ-91	760	図版165	ミニチュア土製品	RMG	2	w-84-12	1	2.4	1.4		5.4		ミニ-020
図Ⅴ-91	761	図版165	ミニチュア土製品	RMY	3	y-73-14	1	4.2	1.9		13.8		ミニ-002
図Ⅴ-91	762	図版165	ミニチュア土製品	RMG	3	u-85-15	1	3.6	3.8		2.4		ミニ-001
図Ⅴ-91	763	図版165	ミニチュア土製品	RME	2	t-81-16	1	(4.9)	4.9		(16.5)		ミニ-009
図Ⅴ-91	764	図版165	ミニチュア土製品	RMD	2	r-82-1	2	4.9	2.3		(3.2)		ミニ-013
図Ⅴ-91	765	図版165	ミニチュア土製品	RME	1	t-79-13	1	3.9	1.7		(8.8)		ミニ-014
				RME	1	u-79	1						
図Ⅴ-91	766	図版165	土製品	RMY	2	z-73-7	1	1.8	2.8	2.8	6.2		土製-018
図Ⅴ-91	767	図版165	土製品	RME	12	t-83-7	1	(4.1)	3.5	9.5	(5.7)		土製-015
図Ⅴ-91	768	図版165	土製品	RMY	2	w-77-15	1	5.7	2.8	1.8	9.2	スプーン形	土製-020
図Ⅴ-92	769	図版165	土製品	RMD	11	q-89-3	1	6.5	4.2	1.9	20.2	土偶	土製-005
図Ⅴ-92	770	図版165	土製品	RME	1	s-84-11	1	5.8	6.0	3.7	77.0	土偶？	土製-006
図Ⅴ-92	771	図版165	土製品	RMD	2	r-83-7	1	6.4	(4.6)	3.8	(53.2)		土製-003
図Ⅴ-92	772	図版165	土製品	RMD	12上	p-84-6	4	6.3	(3.0)	3.2	(26.4)		土製-004

表Ⅴ－33　盛土遺構－上位出土掲載土製品一覧（3）

図番号	土器No.	写真図版	分類	遺構	層位	発掘区	点数	長さcm	幅 cm	厚さcm	重さ g	備考	整理番号
図Ⅴ-92	773	図版165	土製品	RME	2	t-82-1	1	(3.3)	2.8	1.0	(7.0)		土製-011
図Ⅴ-92	774	図版165	土製品	RMD	5	q-86-7	1	(2.2)	1.8	0.8	(2.1)		土製-013
図Ⅴ-92	775	図版165	土製品	RMD	1	v-83-6	1	(4.0)	1.8	1.6	(11.1)		土製-012
図Ⅴ-92	776	図版165	土製品	RMD	11	q-86-12	4	(7.1)	(7.1)	(5.4)	(74.5)	赤彩	土製-010
図Ⅴ-93	777	図版166	スタンプ形土製品	RM	T	y-80-5	1	5.7	4.1	3.9	74.6		スタンプ－002
図Ⅴ-93	778	図版166	スタンプ形土製品	RME	1	s-83-9	1	3.0	3.1	3.1	13.2		スタンプ－007
図Ⅴ-93	779	図版166	スタンプ形土製品	RMD	3	r-82-16	1	3.1	3.1	3.3	14.1		スタンプ－008
図Ⅴ-93	780	図版166	スタンプ形土製品	RMD	7	r-84-14	1	(5.7)	2.4	2.1	(12.1)		スタンプ－060
				RMD	7	q-85-14	1						
				RMD	5	q-84-10	1						
図Ⅴ-93	781	図版166	スタンプ形土製品	RMY	2	z-71-4	1	(1.9)	2.8	(2.1)	(8.3)		スタンプ－032
図Ⅴ-93	782	図版166	スタンプ形土製品	RMY	10	w-79-15	1	(2.1)	2.2	(2.1)	(4.3)		スタンプ－017
図Ⅴ-93	783	図版166	スタンプ形土製品	RM	T	y-75-5	1	1.8	1.9	2.0	2.4		スタンプ－013
図Ⅴ-93	784	図版166	スタンプ形土製品	RMZ	2	y-71-12	1	5.0	3.3	3.1	2.1		スタンプ－010
図Ⅴ-93	785	図版166	スタンプ形土製品	RMY	2	y-73-8	1	(4.3)	2.8	(2.6)	(22.1)		スタンプ－009
図Ⅴ-93	786	図版166	スタンプ形土製品	RMY	2	y-73-16	1	3.1	2.2	2.2	8.0		スタンプ－050
図Ⅴ-93	787	図版166	スタンプ形土製品	RMD	1	r-88-6	1	(1.5)	(3.3)	2.6	(5.3)		スタンプ－034
図Ⅴ-93	788	図版166	スタンプ形土製品	RME	3	t-81-16	1	2.4	2.4	1.9	3.1		スタンプ－044
図Ⅴ-93	789	図版166	スタンプ形土製品	RMY	2	v-76-6	1	3.7	(1.9)	1.9	(4.0)		スタンプ－020
図Ⅴ-93	790	図版166	スタンプ形土製品	RMY	2	v-76-10	1	3.9	1.9	1.8	5.1		スタンプ－021
図Ⅴ-93	791	図版166	スタンプ形土製品	RMY	2	w-79-15	10	(5.4)	(5.5)	(3.6)	(10.2)		スタンプ－051
				RMZ	2	t-78-5	1						
図Ⅴ-93	792	図版166	スタンプ形土製品	RMY	2	w-77-12	1	3.3	2.5	2.5	7.2		スタンプ－011
図Ⅴ-93	793	図版166	スタンプ形土製品	RMY	B31	y-72-12	1	4.0	2.5	2.5	9.0		スタンプ－023
図Ⅴ-93	794	図版166	スタンプ形土製品	RM	T	v-85-9	1	4.6	2.4	2.6	7.8		スタンプ－012
図Ⅴ-93	795	図版166	スタンプ形土製品	RMY	2	y-76	1	4.9	2.6	2.6	11.0		スタンプ－019
図Ⅴ-93	796	図版166	スタンプ形土製品	RMD	7	r-84-4	1	2.0	2.7	2.5	6.3		スタンプ－030
図Ⅴ-94	797	図版167	スタンプ形土製品	RMY	2	w-76-6	1	4.3	2.5	2.5	9.0		スタンプ－041
図Ⅴ-94	798	図版167	スタンプ形土製品	RMD	15	p-87-1	2	4.2	(2.8)	(1.7)	(7.5)		スタンプ－063
図Ⅴ-94	799	図版167	スタンプ形土製品	RME	3	t-81-9	1	4.6	2.4	1.9	8.8		スタンプ－064
				RMV	2	t-81	1						
図Ⅴ-94	800	図版167	スタンプ形土製品	RMG	1	v-82-2	1	(1.7)	2.2	2.1	(4.7)		スタンプ－016
図Ⅴ-94	801	図版167	スタンプ形土製品	RMZ	2	t-77-3	1	(2.3)	2.3	2.3	5.2		スタンプ－055
図Ⅴ-94	802	図版167	スタンプ形土製品	RMY	2	z-72-1	1	(1.0)	2.0	2.0	(2.2)		スタンプ－058
図Ⅴ-94	803	図版167	スタンプ形土製品	RMY	2	y-71-16	1	1.0	2.0	2.1	2.8		スタンプ－070
図Ⅴ-94	804	図版167	スタンプ形土製品	RMY	2	y-75-16	1	(1.8)	2.2	2.0	(4.0)		スタンプ－018
図Ⅴ-94	805	図版167	スタンプ形土製品	RMY	3	z-73-4	1	(0.8)	(1.9)	(1.2)	(2.0)		スタンプ－036
				RMW	2	y-73	1						
図Ⅴ-94	806	図版167	スタンプ形土製品	RMY	T	w-80-6	1	1.5	1.6	1.1	1.7		スタンプ－061
図Ⅴ-94	807	図版167	スタンプ形土製品	RMG	2	v-84-4	1	(1.8)	1.7	1.6	(2.7)		スタンプ－057
図Ⅴ-94	808	図版167	スタンプ形土製品	RMD	12	r-87-15	1	(1.5)	1.5	1.3	1.7		スタンプ－065
図Ⅴ-94	809	図版167	スタンプ形土製品	RMY	2	x-74-15	1	4.2	4.3	4.2	18.0		スタンプ－067
図Ⅴ-94	810	図版167	スタンプ形土製品	RME	T	s-80-14	1	(2.7)	1.5	1.4	(1.7)		スタンプ－062
図Ⅴ-94	811	図版167	スタンプ形土製品	RMY	3	x-74	1	(2.0)	1.7	(1.7)	(2.7)		スタンプ－022
図Ⅴ-94	812	図版167	スタンプ形土製品	RMY	10	x-79-10	1	3.2	2.4	1.9	10.0		スタンプ－072
図Ⅴ-94	813	図版167	スタンプ形土製品	RMD	14	p-85-7	1	2.0	1.1	1.0	2.0		スタンプ－082
図Ⅴ-94	814	図版167	スタンプ形土製品	RME	3	s-84-1	1	3.8	1.2	1.1	5.0		スタンプ－089
図Ⅴ-94	815	図版167	スタンプ形土製品	RMY	1	w-76-8	1	3.6	1.0	1.1	4.0		スタンプ－093
図Ⅴ-94	816	図版167	スタンプ形土製品	RME	2	s-84-3	1	3.3	1.0	0.9	3.0		スタンプ－086
図Ⅴ-94	817	図版167	スタンプ形土製品	RME	3	t-82-5	1	(3.3)	1.2	1.0	(3.0)		スタンプ－101
				RME	3	t-80	1						
図Ⅴ-94	818	図版167	スタンプ形土製品	RMD	4	q-82-3	1	1.7	1.1	1.0	2.0		スタンプ－084
図Ⅴ-94	819	図版167	スタンプ形土製品	RMA	12	p-88-1	1	2.5	1.4	1.2	5.0		スタンプ－081
図Ⅴ-94	820	図版167	スタンプ形土製品	RME	2	s-84-2	1	(3.0)	1.2	1.2	(4.0)		スタンプ－085
図Ⅴ-94	821	図版167	スタンプ形土製品	RME	1	s-83-14	1	(3.0)	1.1	1.0	(2.0)		スタンプ－087
図Ⅴ-94	822	図版167	スタンプ形土製品	RMY	2	v-79-15	1	(2.5)	2.0	1.7	(8.0)		スタンプ－091
図Ⅴ-94	823	図版167	スタンプ形土製品	RMY	1	y-71-16	1	(3.0)	1.2	0.9	(4.0)		スタンプ－094
図Ⅴ-94	824	図版167	スタンプ形土製品	RMY	2	u-76-6	1	(3.9)	1.3	1.2	(5.0)		スタンプ－092
図Ⅴ-94	825	図版167	スタンプ形土製品	RME	2	t-81-12	1	(3.3)	1.3	1.2	(6.0)		スタンプ－088
図Ⅴ-94	826	図版167	スタンプ形土製品	RMZ	10	u-77-2	1	(2.9)	1.2	1.0	(3.0)		スタンプ－096
図Ⅴ-94	827	図版167	スタンプ形土製品	RMD	12下	p-87-3	1	(2.4)	1.3	1.1	(3.0)		スタンプ－083

表Ⅴ－34 盛土遺構－上位出土掲載土製品一覧（４）

図番号	土器No.	写真図版	分類	遺構	層位	発掘区	点数	長さcm	幅 cm	厚さcm	重さ g	備考	整理番号
図Ⅴ-94	828	図版167	スタンプ形土製品	RMJ	2	u-86-4	1	(2.7)	1.3	1.2	(3.0)		スタンプ－090
図Ⅴ-94	829	図版167	スタンプ形土製品	RMY	1	y-73-14	1	(2.0)	1.4	0.8	(2.0)		スタンプ－095
図Ⅴ-95	830	図版168	焼成粘土塊	RMD	3	p-84-15	1	3.3	1.2	0.7	3.0		粘土-049
図Ⅴ-95	831	図版168	焼成粘土塊	RMY	2	y-73-14	1	4.0	1.2	1.2	3.9		粘土-013
図Ⅴ-95	832	図版168	焼成粘土塊	RMD	5	q-86-14	1	4.5	1.3	1.0	6.0		粘土-090
図Ⅴ-95	833	図版168	焼成粘土塊	RMD	3	q-86-5	1	5.0	1.1	1.2	5.4		粘土-024
図Ⅴ-95	834	図版168	焼成粘土塊	RMY	1	x-77-9	1	4.3	1.5	0.6	6.0		粘土-056
図Ⅴ-95	835	図版168	焼成粘土塊	RMY	2	y-73-2	1	7.0	1.9	1.8	17.0		粘土-003
図Ⅴ-95	836	図版168	焼成粘土塊	RMD	12	q-88	1	5.0	2.2	1.7	23.5		粘土-004
図Ⅴ-95	837	図版168	焼成粘土塊	RMY	1	x-74-10	1	4.7	1.6	2.0	9.8		粘土-031
図Ⅴ-95	838	図版168	焼成粘土塊	RMD	7	q-85-14	1	4.4	1.5	0.9	6.5		粘土-023
図Ⅴ-95	839	図版168	焼成粘土塊	RMY	B17	y-73-9	1	49.0	1.7	0.7	7.0		粘土-077
図Ⅴ-95	840	図版168	焼成粘土塊	RMD	8	r-85-7	1	2.3	2.1	0.5	1.0		粘土-048
図Ⅴ-95	841	図版168	焼成粘土塊	RMY	1	w-78-11	1	22.0	1.9	1.5	6.0		粘土-074
図Ⅴ-95	842	図版168	焼成粘土塊	RMG	2	w-84-6	1	2.4	2.5	1.7	8.0		粘土-099
図Ⅴ-95	843	図版168	焼成粘土塊	RME	3	t-84-14	1	2.0	1.9	1.2	5.7		粘土-026
図Ⅴ-95	844	図版168	焼成粘土塊	RMA	15	p-89-6	1	2.6	2.6	1.3	7.2		粘土-019
図Ⅴ-95	845	図版168	焼成粘土塊	RMD	6	q-84-8	1	2.3	1.9	1.8	7.8		粘土-009
図Ⅴ-95	846	図版168	焼成粘土塊	RMY	2	x-75-16	1	2.8	2.5	1.6	11.0		粘土-057
図Ⅴ-95	847	図版168	焼成粘土塊	RME	1	s-82-14	1	2.9	2.2	2.0	12.0		粘土-086
図Ⅴ-95	848	図版168	焼成粘土塊	RME	1	s-81-9	1	3.0	2.9	2.3	15.0		粘土-084
図Ⅴ-95	849	図版168	焼成粘土塊	RMY		w-79-5	1	4.3	5.4	0.6	15.0		粘土-076
図Ⅴ-95	850	図版168	焼成粘土塊	RMY	2	y-72-5	1	4.0	2.3	0.8	9.0		粘土-060
図Ⅴ-95	851	図版168	焼成粘土塊	RMZ	2	y-71-11	1	5.3	3.4	1.3	19.5		粘土-035
図Ⅴ-95	852	図版168	焼成粘土塊	RMY	2	y-73-8	1	5.5	3.8	1.1	22.0		粘土-033
図Ⅴ-95	853	図版168	焼成粘土塊	RMX	1	x-82-7	1	4.1	3.5	1.0	11.4		粘土-029
図Ⅴ-95	854	図版168	焼成粘土塊	RMY	2	z-72-2	1	4.1	2.6	0.7	7.0		粘土-078
図Ⅴ-95	855	図版168	焼成粘土塊	RME	1	s-84-11	1	3.9	4.6	1.2	13.0		粘土-082
図Ⅴ-95	856	図版168	焼成粘土塊	RMY	2	w-76-15	1	2.9	2.8	0.7	3.8		粘土-032
図Ⅴ-95	857	図版168	焼成粘土塊	RME	2	x-84-15	1	6.1	7.0	1.5	40.0		粘土-050
				RME	2	x-84-15	1						
図Ⅴ-96	858	図版169	焼成粘土塊	RME	3	s-82-6	1	3.7	2.7	1.3	10.9		粘土-027
図Ⅴ-96	859	図版169	焼成粘土塊	RMY	2	y-74-6	1	4.9	3.3	2.0	21.0		粘土-054
図Ⅴ-96	860	図版169	焼成粘土塊	RMY	2	w-78-2	1	5.4	2.5	1.2	14.0		粘土-100
図Ⅴ-96	861	図版169	焼成粘土塊	RMY	3	z-73-2	1	4.2	2.5	2.1	16.9		粘土-034
図Ⅴ-96	862	図版169	焼成粘土塊	RMZ	2	y-71-9	1	3.9	1.8	1.6	6.8		粘土-036
図Ⅴ-96	863	図版169	焼成粘土塊	RMEF-40	F0	s-83-16	1	3.9	2.6	0.9	8.0		粘土-051
図Ⅴ-96	864	図版169	焼成粘土塊	RMG	2	w-82-7	1	3.6	3.9	0.6	8.5		粘土-028
図Ⅴ-96	865	図版169	焼成粘土塊	RMEF-56	F0	s-81-12	1	4.7	2.5	1.0	8.1		粘土-017
図Ⅴ-96	866	図版169	焼成粘土塊	RMDF-16	F1	q-83-15	1	3.8	2.3	1.2	10.0		粘土-093
図Ⅴ-96	867	図版169	焼成粘土塊	RMD	6	q-87-13	1	3.5	3.0	1.7	14.6		粘土-021
図Ⅴ-96	868	図版169	焼成粘土塊	RMY	2	y-74-6	1	3.1	3.7	2.3	18.0		粘土-055
図Ⅴ-96	869	図版169	焼成粘土塊	RMEF-56	F0	s-81-16	1	3.3	2.6	1.7	13.0		粘土-052
図Ⅴ-96	870	図版169	焼成粘土塊	RMD	3	r-83-8	1	4.8	2.3	0.8	10.0		粘土-101
図Ⅴ-96	871	図版169	焼成粘土塊	RMD	5	q-86-9	1	5.4	2.3	1.4	9.4		粘土-008
図Ⅴ-96	872	図版169	焼成粘土塊	RMD	14	p-89-14	1	4.7	3.2	1.0	12.7		粘土-022
図Ⅴ-96	873	図版169	焼成粘土塊	RMG	2	w-84-16	1	4.1	2.9	2.1	17.0		粘土-080
図Ⅴ-96	874	図版169	焼成粘土塊	RME	2	t-81-14	1	4.1	2.5	2.2	11.3		粘土-011
図Ⅴ-96	875	図版169	焼成粘土塊	RME	3	t-83-16	1	2.6	3.7	1.7	10.0		粘土-087
図Ⅴ-96	876	図版169	焼成粘土塊	RMD	3	s-88-8	1	5.0	1.9	1.7	13.4		粘土-025
図Ⅴ-96	877	図版169	焼成粘土塊	RMY	2	y-74-1	1	4.6	2.0	2.0	15.0		粘土-073
図Ⅴ-96	878	図版169	焼成粘土塊	RMD	1	s-87-7	1	6.6	3.6	2.3	46.8		粘土-001
図Ⅴ-96	879	図版169	焼成粘土塊	RME	2	t-81-2	1	3.3	2.3	2.4	15.3		粘土-010
図Ⅴ-96	880	図版169	焼成粘土塊	RME	3	s-82-13	1	4.8	2.4	1.5	16.0		粘土-085
図Ⅴ-96	881	図版169	焼成粘土塊	RMD	2	s-85-3	1	4.2	2.5	1.1	10.0		粘土-091
図Ⅴ-97	882	図版170	焼成粘土塊	RME	T	s-80-14	1	42.0	2.1	1.1	6.0		粘土-083
図Ⅴ-97	883	図版170	焼成粘土塊	RMY	2	y-74-1	1	4.1	1.6	0.7	6.0		粘土-058
図Ⅴ-97	884	図版170	焼成粘土塊	RMD	3	q-82	1	4.0	2.6	1.0	8.2		粘土-102
図Ⅴ-97	885	図版170	焼成粘土塊	RME	1	s-80-16	1	3.7	4.2	1.2	14.0		粘土-098
図Ⅴ-97	886	図版170	焼成粘土塊	RMD	12下	q-87-12	1	4.4	1.7	1.5	8.0		粘土-089
図Ⅴ-97	887	図版170	焼成粘土塊	RMY	T	y-75	1	4.5	2.3	1.2	14.0		粘土-075

表Ⅴ－35　盛土遺構－上位出土掲載土製品一覧（5）

図番号	土器No.	写真図版	分類	遺構	層位	発掘区	点数	長さcm	幅 cm	厚さcm	重さ g	備考	整理番号
図Ⅴ-97	888	図版170	焼成粘土塊	RMEF-56	F0	s-81-16	1	2.8	3.3	1.8	10.0		粘土-081
図Ⅴ-97	889	図版170	焼成粘土塊	RMY	2	y-71-8	1	4.3	2.4	0.9	9.0		粘土-059
図Ⅴ-97	890	図版170	焼成粘土塊	RMD	7	r-85-7	1	4.5	2.8	1.2	10.0		粘土-047
図Ⅴ-97	891	図版170	焼成粘土塊	RMD	12下	r-87-13	1	4.8	3.0	1.3	17.0		粘土-088
図Ⅴ-97	892	図版170	焼成粘土塊	RMX	1	y-80-11	1	4.6	3.5	1.6	16.0		粘土-079
図Ⅴ-97	893	図版170	焼成粘土塊	RMY	2	y-73-9	1	5.6	3.0	1.3	16.2		粘土-007
図Ⅴ-97	894	図版170	焼成粘土塊	RMEF-56	F0	s-81-11	1	3.7	2.8	1.7	13.0		粘土-053
図Ⅴ-97	895	図版170	焼成粘土塊	RMD	6	q-86-2	1	3.5	3.3	1.8	21.0		粘土-092
図Ⅴ-97	896	図版170	焼成粘土塊	RMDF-6	F0	q-85-5	1	3.6	2.6	1.2	9.4		粘土-016
図Ⅴ-97	897	図版170	焼成粘土塊	RMX	1	y-80-7	1	4.4	3.8	1.1	13.7		粘土-030
図Ⅴ-97	898	図版170	焼成粘土塊	RMD	6	q-87-13	1	4.2	3.0	1.6	15.0		粘土-045
	898	図版170	焼成粘土塊	RMD	4	r-83-3	1	5.0	3.7	3.9	46.0		粘土-046
図Ⅴ-97	899	図版170	焼成粘土塊	RME	3	s-84-5	1	3.9	4.2	1.3	20.1		粘土-002
図Ⅴ-97	900	図版170	焼成粘土塊	RMD	6	q-87-13	1	3.7	2.8	1.9	15.0		粘土-044

表Ｖ－36　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（１）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ｖ－98	901	図版171	RMV	2	s-82	1	Ⅳb－4	口:40.5cm 底: — 高:(36.5)cm	深鉢A	刻み列・入り組み帯状文;羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約60%	Ｖ－103
			RMV	2	v-76	1					
			RMV	2	v-77	2					
			RMV	3	u-78	1					
			RMV	3	v-76	8					
			RMV	3	v-77	74					
			RMV	3	v-86	1					
			RMV	3	w-76	1					
			RMV	3	w-77	1					
図Ｖ－98	902	図版171	RMD	7	r-85-10	1	Ⅳb－4	口:10.3cm 底:7.1cm 高:(12.3)cm	小型深鉢B	刻み列・多段の横走帯状文;LR縄文・RL縄文・無文帯／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約35%	Ｖ－110
			RMV	1	v-82	1					
			RMV	3	t-82	1					
			RMV	3	u-80	1					
			RMV	3	v-82	1					
			RMV	T	u-80-5	1					
			RMW	1	s-81	1					
			RMW	2	v-78	1					
			RMW	2	w-77	1					
			RMW	3	y-78	1					
			RMW	T	w-80-9	1					
			RMY	T	w-75-13	1					
			RMZ	10	u-78-10	1					
図Ｖ－98	903	図版171	RMV	1	s-82	1	Ⅳb－4	口:11.7cm 底: — 高:(10.3)cm	小型深鉢A	刻み列(沈線)・「く」の字状の帯状文;羽状縄文・口頸部無文／角形口唇・平縁、台、残存率(接合率)約40%	Ｖ－108
			RMV	1	t-84	1					
			RMV	2	s-84	3					
			RMV	3	t-87	1					
			RMVF-42	F1	s-84-8	1					
図Ｖ－98	904	図版171	RMV	2	v-78	1	Ⅳb－4	口:23.1cm 底:6.6cm 高:(9.0)cm	台付鉢	刻み列・帯状文(木葉文・円文);LR縄文・RL縄文／肥厚する切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	Ｗ－052
			RMV	3	v-77	1					
			RMV	3	v-78	1					
			RMW	2	u-77	1					
			RMW	2	v-77	9					
図Ｖ－98	905	図版171	RMV	3	u-77	5	Ⅳb－4	口:24.7cm 底: — 高:(8.4)cm	台付鉢	刻み列・「く」の字状の帯状文;羽状縄文／肥厚する口唇・平縁、残存率(接合率)約70%	Ｖ－028
			RMV	3	v-77	10					
			RMV	3	v-78	1					
図Ｖ－98	906	図版72・73	RMV	1	t-84	1	Ⅳb－4	口:26.3cm 底:7.7cm 高:10.0cm	台付鉢	刻み列・渦状の帯状文と区画に沿う刻み列;LR縄文・丁寧な磨消／肥厚し丸みを帯びた口唇・平縁、低い台、残存率(接合率)約60%	Ｗ－130
			RMV	1	u-84	1					
			RMW	2	w-76	2					
			RMW	2	y-74	7					
			RMW	2	y-75	1					
			RMW	3	y-74	2					
			RMW	3	y-76	1					
			RMW	3	y-77	1					
			RMW	3	z-74	3					
			RMY	2	w-75-7	2					
			RMY	T	w-75	1					
図Ｖ－98	907	図版171	RMV	3	w-76	1	Ⅳb－4	口:12.8cm 底:4.5cm 高:9.6cm	深鉢B	刻み列・クランク状帯状文;羽状縄文・／切出形口唇・平縁、一部被熱、残存率(接合率)約60%	Ｖ－105
			RMVF-2	F10	s-85	3					
図Ｖ－98	908	図版72・73	RMV	1	u-82	4	Ⅳb－4	口:22.7cm 底:5.2cm 高:15.7cm	深鉢A	刻み列・入り組み帯状文;羽状縄文・頸部無文帯／肥厚する口唇・平縁、胎土に砂粒多く含む、残存率(接合率)約80%	Ｖ－055
			RMV	2	u-86	1					
			RMV	3	t-87	1					
			RMV	3	v-78	1					
			RMW	2	u-82	3					
			RMW	2	v-79	2					
			RMW	2	v-80	1					
			RMW	2	w-81	1					
			RMW	3	y-84	1					
図Ｖ－98	909	図版171	RMV	3	v-76	18	Ⅳb－4	口: — 底:8.3cm 高:(16.6)cm	深鉢A	刻み列・木葉文;乱れた羽状縄文・幅広の無文帯／残存率(接合率)約30%	Ｖ－114
			RMV	3	v-78	1					
図Ｖ－99	910	図版171	RMV	1	t-86	1	Ⅳb－4	口:42.5cm 底: — 高:(17.5)cm	大型深鉢A	刻み列・木葉文と弧線文・縦位の帯状文;羽状縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起、補修孔、残存率(接合率)約30%	Ｖ－128
			RMV	1	t-87	1					
			RMV	1	u-83	2					
			RMV	1	u-85	2					
			RMV	2	t-85	5					
			RMV	2	t-86	1					
			RMV	2	u-84	7					
			RMV	2	u-85	1					
			RMV	2	u-86	1					
			RMV	3	u-84	1					
			RMV	T	t-85-10	1					
			RMV	T	u-85-6	2					
			RMW	3	u-84	1					
			RMW	T	t-85	3					
図Ｖ－99	911	図版55	RMW	2	y-73	35	Ⅳb－4	口:31.6cm 底: — 高:(26.3)cm	深鉢A	刻み列(ハの字状)・帯状文;羽状縄文／切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約65%	Ｗ－062
			RMY	3	y-73-15	7					
図Ｖ－99	912	図版172	RME	3	t-82-14	1	Ⅳb－4	口:13.8cm 底:4.8cm	鉢	刻み列(口唇上・胴部含む);無文／平縁＋2個単位の突起、炭化物	Ｖ－118
			RMV	1	t-83	2					

表Ⅴ－37　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（2）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMV	1	t-86	1		高:8.1cm		多量付着、残存率(接合率)約45%	
			RMV	1	u-80	1					
			RMV	2	s-88	1					
			RMV	2	t-83	1					
			RMV	2	u-87	1					
			RMV	3	t-85	1					
			RMW	2	t-82	1					
			RMW	2	t-83	2					
			RMW	3	u-86	1					
			RMY	1	u-77-15	1					
図Ⅴ－99	913	図版172	RMW	3	x-74	10	Ⅳb－4	口：— 底:(10.8)cm 高:(5.2)cm	台付鉢(台)	刻み列・帯状文;LR縄文・無文帯／	W－206
図Ⅴ－99	914	図版172	RMV	3	u-77	2	Ⅳb－4	口:24.0cm 底：— 高:(8.3)cm	鉢	刻み列(口唇上・突起含む)・弧線帯状文;羽状縄文・無文帯／切出形口唇・平縁＋2個単位の突起	Ⅴ－511
			RMV	3	v-77	1					
			RMV	3	w-76	2					
図Ⅴ－99	915	図版172	RMV	2	s-85	3	Ⅳb－4	口:15.0cm 底：— 高:(5.7)cm	深鉢A	刻み列・くの字状の帯状文;羽状縄文／切出形口唇・平縁	Ⅴ－507
図Ⅴ－99	916	図版172	RMV	1	t-84	1	Ⅳb－4	口:21.9cm 底：— 高:(7.1)cm	鉢	刻み列・帯状文;羽状縄文・磨り消し／平縁	Ⅴ－512
			RMV	3	u-78	1					
			RMV	3	w-76	4					
			RMW	2	y-73	1					
図Ⅴ－99	917	図版172	RMV	2	s-86	2	Ⅳb－4	口：— 底：— 高:(18.9)cm	深鉢A	刻み列・入り組み帯状文;羽状縄文／胎土に砂粒多く含む	Ⅴ－502
			RMV	3	s-84	1					
			RMV	3	s-86	6					
図Ⅴ－100	918	図版173	RMV	3	u-80	11	Ⅳb－4	口:32.4cm 底：— 高:(13.4)cm	大型鉢	刻み列・入り組み帯状文;羽状縄文・無文帯／切出形口唇・平縁＋2個単位の突起	Ⅴ－550
			RMV	T	u-80-6	2					
図Ⅴ－100	919	図版174	RMW	2	v-75	1	Ⅳb－4	口:30.0cm 底：— 高:(23.0)cm	大型深鉢A	刻み列・入り組み帯状文(木葉文)・鋸歯状沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・5単位の緩やかな波状口縁＋突起	W－519
			RMW	2	v-81	1					
			RMW	2	y-74	18					
			RMW	2	y-75	11					
			RMW	3	x-75	1					
			RMW	3	x-76	4					
図Ⅴ－100	920	図版173	RMW	2	y-74	13	Ⅳb－4	口:21.0cm 底：— 高:(18.6)cm	深鉢A	刻み列・入り組み帯状文;RL縄文／切出形口唇・平縁	W－520
			RMW	3	y-74	3					
図Ⅴ－100	921	図版173	RMW	2	v-75	1	Ⅳb－4	口:17.1cm 底：— 高:(7.8)cm	深鉢A	刻み列・弧線帯状文;羽状縄文／切出形口唇・波状口縁、補修孔	W－501
			RMW	2	x-76	2					
			RMW	3	y-77	1					
			RMW	3	z-77	1					
図Ⅴ－100	922	図版173	RME	1	u-79-6	4	Ⅳb－4		深鉢A	刻み列・弧線帯状文・縦位の帯状文;RL縄文／切出形口唇・波状口縁、補修孔	W－606
			RMW	2	u-79	3					
図Ⅴ－100	923	図版173	RMW	2	x-74	2	Ⅳb－4	口:16.1cm 底：— 高:(7.5)cm	深鉢A	刻み列・入り組み帯状文;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁	W－594
			RMW	3	y-75	1					
			RMW	3	y-76	1					
図Ⅴ－100	924	図版173	RMG	1	v-81-16	1	Ⅳb－4		深鉢A	刻み列・突瘤・帯状文;LR縄文・無文帯／切出形口唇・5単位の波状口縁＋突起	W－605
			RMG	2	v-81-16	1					
			RMG	12	v-81-16	2					
			RMG	T	u-85	2					
			RMG	T	v-85	1					
			RMW	2	v-82	4					
図Ⅴ－101	925	図版174	RMV	1	u-86	2	Ⅳb－4	口:10.4cm 底:4.0cm 高:9.3cm	深鉢A	刻み列・イナズマ状沈線;羽状縄文／弱い切出形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約55%	Ⅴ－132
			－	攪乱	u-86	6					
図Ⅴ－101	926	図版174	RMW	2	y-74	9	Ⅳb－4	口：— 底:5.0cm 高:(7.5)cm	深鉢A	刻み列・イナズマ状沈線;LR縄文／炭化物多量付着	W－209
			RMW	2	y-76	1					
図Ⅴ－101	927	図版174	RMV	3	u-77	7	Ⅳb－4	口:12.0cm 底:3.8cm 高:9.1cm	深鉢A	刻み列・格子目状沈線;LR縄文・無文帯／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	Ⅴ－018
			RMV	3	u-78	2					
図Ⅴ－101	928	図版174	RMV	1	u-80	11	Ⅳb－4	口:19.0cm 底:17.9cm 高:5.5cm	深鉢A	刻み列・格子目状沈線;LR縄文・RL縄文・無文帯／平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約90%	Ⅴ－076
			RMW	2	u-78	4					
			RMW	2	u-80	1					
			RMZ	10	u-78-11・14	4					
図Ⅴ－101	929	図版174	RMV	3	u-83	1	Ⅳb－4	口:18.0cm 底：— 高:(15.1)cm	深鉢B	刻み列・格子目状沈線;乱れた羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約25%	Ⅴ－203
			RMV	3	u-84	14					
			RMW	2	v-83	1					
図Ⅴ－101	930	図版175	RMV	2	s-82	14	Ⅳb－4	口:32.0cm 底:12.0cm 高:(12.2)cm	台付鉢	刻み列・格子目状沈線・内面沈線;RL縄文／・平縁、残存率(接合率)約40%	Ⅴ－047
			RMV	3	s-82	6					
			RMV	3	t-81	4					
			RMV	3	u-76	1					
			RMW	3	x-76	1					
図Ⅴ－101	931	図版175	RMV	1	u-80	1	Ⅳb－4	口：— 底:10.1cm 高:(20.8)cm	深鉢A	刻み列・横走沈線・懸垂文(曲沈線);LR縄文・RL縄文／残存率(接合率)約35%	Ⅴ－048
			RMV	3	u-80	32					
			RMV	3	w-75	1					
図Ⅴ－101	932	図版175	RMV	3	t-79	1	Ⅳb－4	口：—	台付鉢	刻み列・格子目状沈線・斜行沈線;	Ⅴ－049

表Ⅴ－38 盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（３）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部(台)	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMV	3	v-76	1		底:13.2cm 高:(13.4)cm		乱れた羽状縄文・無文帯／円筒状の高台、残存率(接合率)約40%	
			RMV	3	v-77	18					
			RMV	3	w-75	1					
			RMV	3	w-76	1					
図Ⅴ－102	933	図版175	RMW	2	t-83	6	Ⅳb－4	口:20.7cm 底: — 高:(11.1)cm	深鉢B	刻み列・弧線文;乱れた羽状縄文／切出形口唇・5単位の波状口縁＋突起、残存率(接合率)約30%	W－166
			RMW	3	t-83-5・10	2					
図Ⅴ－102	934	図版175	RMV	3	r-86	11	Ⅳb－4	口:13.7cm 底:5.6cm 高:9.4cm	鉢	刻み列・斜行沈線;LR縄文／平縁、角型口唇、残存率(接合率)約90%	V－009
図Ⅴ－102	935	図版175	RMV	3	u-83	9	Ⅳb－4	口: — 底:4.7cm 高:(8.0)cm	台付深鉢A	刻み列・弧線文;羽状縄文／残存率(接合率)約30%	V－206
図Ⅴ－102	936	図版176	RMW	2	w-80	1	Ⅳb－4	口:13.6cm 底:4.0cm 高:9.0cm	鉢	刻み列(口唇上含む)・弧線文;LR縄文・RL縄文／切出形口唇・波状口縁＋突起、胎土に砂粒多く含む、残存率(接合率)約75%	W－070
			RMW	3	w-80	2					
			RMW	T	v-80-13	2					
			RMW	T	w-80	3					
			RMW	T	w-80-1	6					
			RMY	2	v-79-16	2					
			RMY	T	v-80-3	1					
図Ⅴ－102	937	図版176	RME	2	t-84	1	Ⅳb－4	口:8.1cm 底:4.1cm 高:7.0cm	小型鉢	刻み列・弧線文・横走沈線;LR縄文／角形口唇・波状口縁、丸底、残存率(接合率)約90%	W－080
			RMW	2	t-84	4					
図Ⅴ－102	938	図版176	RMW	2	y-77	11	Ⅳb－4	口:12.5cm 底:8.1cm 高:9.2cm	鉢	刻み列・弧線文・横走沈線;LR縄文／平縁＋突起、丸底気味、残存率(接合率)約80%	W－004
図Ⅴ－102	939	図版176	RMW	3	y-77	20	Ⅳb－4	口:11.8cm 底:2.8cm 高:12.6cm	深鉢A	刻み列・弧線文;LR縄文・RL縄文／平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約50%	W－120
図Ⅴ－102	940	図版176	RMW	3	v-79	11	Ⅳb－4	口:22.3cm 底:5.2cm 高:10.2cm	鉢	刻み列・弧線文・横走沈線;RL縄文／平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約40%	W－125
図Ⅴ－102	941	図版176	RMW	2	x-81	2	Ⅳb－4	口:17.0cm 底:3.8cm 高:14.6cm	深鉢B	刻み列・弧線文・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・波状口縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約85%	W－025
			RMW	3	x-81	15					
図Ⅴ－102	942	図版177	RMW	3	v-74	1	Ⅳb－4	口:25.0cm 底: — 高:22.3cm	深鉢A	刻み列・弧線文・横走沈線;羽状縄文・無文帯／切出形口唇・平縁、焼成前に一部変形、残存率(接合率)約75%	W－129
			RMW	3	w-80	1					
			RMW	3	x-75	7					
			RMW	3	x-76	7					
			RMW	3	y-77	1					
			RMW	3	y-78	1					
			RMW	T	x-75	8					
			RMW	T	x-75-10	3					
			RMY	T	x-75	3					
図Ⅴ－102	943	図版177	RME	3	t-80-15	1	Ⅳb－4	口:18.2cm 底:7.0cm 高:13.4cm	深鉢B	刻み列・弧線文・横走沈線;RL縄文／切出形口唇・波状口縁、胎土に砂粒多く摩滅部多い、残存率(接合率)約65%	W－050
			RME	T	u-80-6	1					
			RMW	2	t-79	1					
			RMW	2	t-80	20					
			RMW	2	u-77	1					
			RMW	2	u-80	1					
図Ⅴ－103	944	図版177	RMW	3	y-75	4	Ⅳb－4	口:41.8cm 底: — 高:(44.7)cm	大型深鉢A	刻み列・鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・RL縄文・無文帯／切出形口唇・5単位の波状口縁＋突起、炭化物多量付着、残存率(接合率)約50%	W－170
			RMW	3	z-75	58					
			RMW	3	z-76	8					
図Ⅴ－103	945	図版177	RMW	T	y-75	7	Ⅳb－4	口:47.0cm 底: — 高:(24.0)cm	大型深鉢A	5列の刻み・鋸歯状沈線・横走沈線;RL縄文・無文帯／切出形口唇・波状口縁	W－513
			RMW	T	y-75-13・14	29					
			RMW	T	z-75	1					
図Ⅴ－103	946	図版178	IMA	1	p-93	1	Ⅳb－4		大型深鉢A	3列の刻み・鋸歯状沈線・横走沈線;RL縄文・無文帯／切出形口唇・平縁	A－601(南北盛土接合)
			IMA	1	p-94	1					
			RMA	4	o-91-4・7	2					
			RMA	5	o-91-5・6	2					
			RMA	T	p-92	1					
			N盛土	N13	N-79	2					
			N盛土	N26	K-77	3					
			N盛土	N26	L-77	2					
			N盛土	N26	O-82	1					
			N盛土	T	O-81	1					
図Ⅴ－104	947	図版179	RMW	2	t-81	32	Ⅳb－4	口:38.0cm 底: — 高:(29.6)cm	大型深鉢A	刻み列・鋸歯状沈線・横走沈線;羽状縄文・無文帯／平縁＋5単位の突起	W－521
図Ⅴ－104	948	図版178	RMV	3	s-82	1	Ⅳb－4	口:39.2cm 底: — 高:(23.2)cm	大型深鉢A	刻み列・弧線文・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁	V－510
			RMV	3	v-77	3					
			RMV	3	v-78	9					
			RMW	2	v-77	1					
			RMW	2	v-78	1					
図Ⅴ－104	949	図版178	RMV	3	t-79	17	Ⅳb－4	口:39.4cm 底: — 高:(23.2)cm	大型深鉢A	刻み列・弧線文・横走沈線;羽状縄文・無文帯／切出形口唇・波状口縁	V－505

表Ⅴ－39　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（4）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種（部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－104	950	図版178	RMW	2	x-74	5	Ⅳb－4		大型深鉢A	刻み列・弧線文；羽状縄文／平縁＋突起	W－604
図Ⅴ－105	951	図版179	F3	1	u-59	3	Ⅳb－4	口：47.2cm	大型深鉢A	3・4列の多段の刻み列・弧線文・横走沈線；RL縄文・無文帯／切出形口唇・5単位の波状口縁	W－515
			F3	Vb	v-56	1		底：—			
			F3	盛土	v-56	1		高：(48.4)cm			
			F4	盛土	?	1					
			RMW	2	y-83	9					
			RMW	3	y-83	6					
			RMWF-32	F1	y-83-5・6・9	12					
図Ⅴ－106	952	図版180	RMV	1	s-82	1	Ⅳb－4		深鉢	4列の刻み・弧線文・横走沈線；RL縄文／切出形口唇・平縁＋突起	W－602
			RMV	2	r-85	1					
			RMV	2	r-87	1					
			RMW	2	v-82	1					
			RMW	T	v-85-6	1					
図Ⅴ－106	953	図版180	RME	2	s-79-4	1	Ⅳb－4	口：19.1cm	鉢	刻み列・菱文・斜行沈線・弧線文；LR縄文／切出形口唇・平縁	W－543
			RME	2	t-84	1		底：—			
			RMW	2	v-79	1		高：(8.7)cm			
			RMW	2	v-83	3					
図Ⅴ－106	954	図版180	RMW	2	x-74	3	Ⅳb－4	口：15.0cm	鉢	刻み列・鋸歯状沈線・横走沈線；／平縁＋突起	W－508
			RMW	2	x-74-12	2		底：—			
			RMW	T	u-80	1		高：(9.9)cm			
			RMW	T	x-75	1					
図Ⅴ－106	955	図版180	RMW	2	w-74	1	Ⅳb－4	口：24.0cm	鉢	刻み列・弧線文・横走沈線；LR縄文／貫通孔、切出形口唇・平縁	W－511
			RMW	2	y-74	2		底：—			
			RMY	2	x-74-8	1		高：(7.4)cm			
図Ⅴ－106	956	図版180	RMW	2	w-81	14	Ⅳb－4	口：20.7cm	鉢	刻み列・鋸歯状沈線・横走沈線；RL縄文／平縁	W－510
								底：10.5cm			
								高：7.5cm			
図Ⅴ－106	957	図版180	RMV	1	v-82	1	Ⅳb－4	口：15.9cm	深鉢B	刻み列・弧線文・横走沈線；羽状縄文／切出形口唇・平縁	W－502
			RMV	2	w-78	3		底：—			
			RMV	2	x-74	1		高：(15.0)cm			
			RMV	2	x-76	1					
			RMV	2	y-75	2					
			RMV	3	w-78	2					
			RMV	3	w-79	1					
図Ⅴ－106	958	図版10	RMW	2	x-78	7	Ⅳb－4	口：12.3cm	深鉢B	刻み列・弧線文・横走沈線；RL縄文／切出形口唇・平縁＋突起	W－505
								底：—			
								高：(7.7)cm			
図Ⅴ－106	959	図版180	RMW	3	y-73	6	Ⅳb－4	口：10.2cm	深鉢A	刻み列・弧線文；LR縄文・RL縄文／平縁＋突起	W－504
								底：—			
								高：(8.4)cm			
図Ⅴ－106	960	図版180	RMW	2	x-74	1	Ⅳb－4	口：22.5cm	深鉢A	刻み列・弧線文；LR縄文／切出形口唇・平縁＋5単位の突起、胴部くびれ2ヵ所	W－509
			RMW	2	y-74	1		底：—			
			RMW	2	z-75	1		高：(16.5)cm			
			RMW	3	w-79	1					
			RMW	T	y-75-14	1					
			RMY	1	w-74-14・15	2					
			RMY	2	w-74-10	6					
図Ⅴ－107	961	図版181	RMV	1	t-86	6	Ⅳb－4	口：24.3cm	深鉢A	刻み列・斜行沈線・横走沈線；LR縄文・無文帯／肥厚する口唇・波状口縁、補修孔	V－514
			RMV	2	t-86	6		底：6.0cm			
			RMV	2	u-84	5		高：21.9cm			
			RMV	2	u-86	1					
			RMW	T	t-85-10	1					
図Ⅴ－107	962	図版181	RMV	1	u-80	1	Ⅳb－4	口：15.9cm	深鉢A	刻み列・鋸歯状沈線；羽状縄文・無文帯／平縁、胴部くびれ2ヵ所	W－570
			RMW	2	v-78	3		底：—			
			RMW	2	v-79	1		高：(12.9)cm			
図Ⅴ－107	963	図版181	RMV	1	v-81	2	Ⅳb－4	口：26.1cm	深鉢B	刻み列・イナズマ状沈線；RL縄文／波状口縁、補修孔、胎土に砂粒多く含む	V－513
			RMV	2	r-82	2		底：—			
			RMV	2	t-80	1		高：(20.7)cm			
			RMV	2	t-83	3					
			RMV	2	t-84	1					
			RMV	2	u-82	1					
図Ⅴ－107	964	図版181	RME	3	s-82-14	1	Ⅳb－4	口：15.3cm	深鉢A	刻み列・横走沈線・懸垂文；羽状縄文／平縁＋突起	V－509
			RMV	2	s-82	2		底：—			
			RMV	2	s-83	1		高：(9.8)cm			
図Ⅴ－107	965	図版181	RMW	2	w-78	8	Ⅳb－4	口：22.5cm	深鉢A	刻み列・横走沈線；羽状縄文・無文帯／切出形口唇・平縁＋突起	W－506
			RMW	2	w-79	12		底：8.1cm			
								高：17.1cm			
図Ⅴ－107	966	図版181	RMV	2	t-87	1	Ⅳb－4	口：20.1cm	深鉢A	刻み列・横走沈線；羽状縄文・無文帯／切出形口唇・平縁＋突起	V－508
			RMV	2	u-84	5		底：6.3cm			
			RMW	2	v-83	2		高：16.8cm			
図Ⅴ－108	967	図版182	RMV	2	u-83	1	Ⅳb－4	口：20.7cm	深鉢B	刻み列・突瘤・イナズマ状沈線；羽状縄文／切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率（接合率）約55%	W－169
			RMV	3	u-83	1		底：—			
			RMV	3	v-82	1		高：(14.7)cm			
			RMW	2	t-80	1					
			RMW	2	t-81	1					
			RMW	2	u-82	12					
			RMW	2	v-82	1					
			RMW	2	w-79	1					

表Ⅴ－40　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（５）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMW	2	x-80	1					
			RMW	T	w-80	3					
図Ⅴ－108	968	図版182	RME	T	u-80-6	1	Ⅳb－4	口:19.0cm 底: — 高:(13.6)cm	深鉢B	刻み列・突瘤・クランク状の区画文・斜行沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約25%	Ⅴ－201
			RMV	1	t-82	2					
			RMV	1	v-82	1					
			RMV	2	t-82	1					
			RMV	3	t-79	1					
			RMV	3	t-82	1					
			RMW	2	t-82	1					
			RMW	3	w-78	1					
			RMW	3	x-77	2					
			RMW	3	x-78	1					
			RMW	3	x-83	1					
図Ⅴ－108	969	図版182	RMV	1	t-85	1	Ⅳb－4	口:38.3cm 底: — 高:(29.9)cm	大型深鉢B	刻み列・突瘤・イナズマ状沈線;羽状縄文／切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約35%	Ⅴ－129
			RMV	1	u-84	1					
			RMV	2	u-84	4					
			RMV	2	u-85	2					
			RMV	3	u-84	3					
			RMV	10	t-85	2					
			RMW	2	t-85	2					
			RMW	2	u-84	1					
			RMW	3	t-84	1					
			RMW	T	t-85	6					
			RMW	T	t-85-9・10・13	5					
			RMW	T	u-85	1					
図Ⅴ－108	970	図版182	RMV	1	t-83	7	Ⅳb－4	口:35.6cm 底:9.5cm 高:38.3cm	大型深鉢A	刻み列・突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線;乱れた羽状縄文・無文帯／平縁＋突起、炭化物多量付着、残存率(接合率)約60%	Ⅴ－064
			RMV	2	s-83	4					
			RMV	2	t-83	5					
			RMV	3	s-81	2					
			RMV	3	t-83	46					
			RMV	3	t-84	13					
			RMV	3	u-78	2					
			RMV	3	u-83	3					
			RMV	3	u-84	5					
図Ⅴ－109	971	図版183	RMV	3	z-72	4	Ⅳb－4	口:20.1cm 底: — 高:(15.3)cm	深鉢A	刻み列・突瘤・横走沈線・懸垂文;羽状縄文・無文帯／平縁	Ⅴ－506
			RMVF-39	F0	z-72-8	1					
図Ⅴ－109	972	図版183	IMA	1	n-96	1	Ⅳb－4		深鉢	刻み列・突瘤・鋸歯状沈線;羽状縄文・無文帯／切出形口唇・平縁＋突起	W－601 (南北盛土接合)
			IMA	1	o-92	1					
			IMA	1	o-96	1					
			RMW	2	v-84	1					
			RMW	3	w-83	1					
			RMW	3	x-84	1					
			N盛土	N26	N-81	1					
図Ⅴ－109	973	図版183	RMV	1	s-87	1	Ⅳb－4	口:47.2cm 底: — 高:(26.6)cm	大型深鉢A	刻み列・突瘤・横走沈線・弧線文(入り組み文);羽状縄文／切出形口唇・平縁＋2個単位の突起	Ⅴ－501
			RMV	1	t-87	5					
			RMV	1	u-87	13					
			RMV	2	s-87	1					
			RMV	2	u-87	4					
図Ⅴ－110	974	図版184	RMW	3	z-75	101	Ⅳb－4	口:43.2cm 底:11.4cm 高:46.5cm	大型深鉢A	刻み列・突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／弱い切出形口唇・5単位の波状口縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約50%	W－014
			RMW	T	z-75	2					
図Ⅴ－110	975	図版184	RMV	3	s-84	4	Ⅳb－4	口:41.8cm 底:9.2cm 高:46.0cm	大型深鉢A	刻み列・突瘤;羽状縄文(下半乱れる)・幅広の無文帯／平縁＋2個単位の突起、残存率(接合率)約95%	Ⅴ－011
			RMV	3	s-85	7					
			RMV	3	t-84	51					
			RMV	3	t-85	7					
			RMV	MT	s-85	2					
			RMV	MT	s-85-13	1					
図Ⅴ－111	976	図版59	RMV	3	u-79	84	Ⅳb－4	口:36.2cm 底: — 高:(27.6)cm	大型深鉢B	刻み列・突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	Ⅴ－043
図Ⅴ－111	977	図版60	RMV	3	s-87	93	Ⅳb－4	口:35.4cm 底: — 高:(29.2)cm	大型深鉢A	刻み列・突瘤;やや乱れた羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・5単位の波状口縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約65%	Ⅴ－041
図Ⅴ－111	978	図版184	RMV	2	s-85	4	Ⅳb－4	口:47.2cm 底:11.8cm 高:51.0cm	大型深鉢A	刻み列・突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約40%	Ⅴ－120
			RMV	2	t-83	7					
			RMV	2	t-85	11					
			RMV	3	s-86	1					
			RMV	3	t-84	4					
図Ⅴ－112	979	図版184	RMV	3	y-72	106	Ⅳb－4	口:42.0cm 底: — 高:(22.5)cm	大型深鉢B	刻み列・突瘤・内面沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約50%	Ⅴ－122
			RMW	3	y-72	1					
図Ⅴ－112	980	図版59	RMV	3	t-83	51	Ⅳb－4	口:43.8cm 底: — 高:(32.8)cm	大型深鉢B	刻み列・突瘤・内面沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	Ⅴ－050
図Ⅴ－112	981	図版59	RMV	3	t-79	68	Ⅳb－4	口:37.3cm 底:9.1cm 高:33.8cm	大型深鉢B	刻み列・突瘤・内面沈線;羽状縄文／肥厚する口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)95%以	Ⅴ－012

表Ⅴ－41　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（6）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－113	982	図版184	RMV	3	u-82	41	Ⅳb－4	口:19.5cm 底:7.0cm 高:16.7cm	深鉢A	刻み列・突瘤;RL縄文／切出形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約85%	Ⅴ－021
			RMV	3	v-82	1					
図Ⅴ－113	983	図版185	RMB	1	q-90-7・12	2	Ⅳb－4	口:19.0cm 底:5.8cm 高:14.5cm	深鉢B	刻み列・突瘤;羽状縄文／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約65%	B－001
			RMB	1	r-92-1	1					
			RMB	2	q-90-12	17					
			RMB	2	q-91-6・9～11・13	14					
図Ⅴ－113	984	図版185	RMV	3	t-80	1	Ⅳb－4	口:30.5cm 底:— 高:(20.8)cm	深鉢B	刻み列・突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約45%	Ⅴ－124
			RMV	3	u-78	4					
			RMV	3	u-79	50					
図Ⅴ－113	985	図版186	RMV	3	s-85	1	Ⅳb－4		深鉢A	刻み列・突瘤;RL縄文・無文帯／切出形口唇・波状口縁	Ⅴ－607
			RMV	3	s-86	1					
			RMV	T	s-85	1					
図Ⅴ－113	986	図版185	RMV	2	t-84	1	Ⅳb－4	口:48.8cm 底:— 高:(24.6)cm	大型深鉢A	刻み列・突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／平縁＋突起	Ⅴ－503
			RMV	3	t-86	18					
図Ⅴ－114	987	図版185	RMV	2	t-83	1	Ⅳb－4		大型深鉢A	刻み列・突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・波状口縁	Ⅴ－602
			RMV	2	t-86	14					
			RMV	3	s-84	9					
			RMV	3	t-83	3					
図Ⅴ－114	988	図版186	RMV	T	v-75-14	4	Ⅳb－4	口:32.4cm 底:— 高:(20.0)cm	大型深鉢B	刻み列・突瘤;LR縄文／平縁	Ⅴ－504
			RMV	T	w-75-2	7					
図Ⅴ－114	989	図版186	RMV	3	t-84	7	Ⅳb－4		大型深鉢A	刻み列・突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・波状口縁＋突起	Ⅴ－604
図Ⅴ－114	990	図版185	RMV	T	v-80	2	Ⅳb－4	口:33.2cm 底:9.6cm 高:40.0cm	大型深鉢B	刻み列・突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁	W－516
			RMW	2	v-79	2					
			RMW	3	v-79	13					
			RMW	T	v-80-9	1					
図Ⅴ－114	991	図版186	RMW	2	y-76	1	Ⅳb－4		大型深鉢A	刻み列・突瘤;羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・平縁	W－603
			RMW	3	y-76	10					
図Ⅴ－115	992	図版185	RMV	3	t-88	2	Ⅳb－4	口:33.8cm 底:— 高:(26.3)cm	大型深鉢A	刻み列;羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・平5単位の波状口縁、補修孔、残存率(接合率)約60%	Ⅴ－125
			RMV	3	t-88-6	101					
			RMW	3	x-75	9					
			RMW	3	z-74	2					
図Ⅴ－115	993	図版60	RMV	1	u-83	1	Ⅳb－4	口:31.4cm 底:— 高:28.2cm	大型深鉢A	刻み列;羽状縄文・無文帯／切出形口唇・平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約75%	Ⅴ－059
			RMV	2	u-85	18					
			RMV	3	u-84	3					
			RMW	2	u-84	1					
			RMW	2	v-81	1					
			RMW	3	u-84	1					
			RMW	3	y-84	1					
図Ⅴ－115	994	図版187	RMV	3	v-82	167	Ⅳb－4	口:49.0cm 底:14.3cm 高:50.2cm	大型深鉢A	刻み列;羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・波状口縁、残存率(接合率)約65%	Ⅴ－035
図Ⅴ－116	995	図版56	RMW	2	v-86	150	Ⅳb－4	口:45.0cm 底:11.2cm 高:44.0cm	大型深鉢A	刻み列・内面沈線;RL縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約70%	W－041
図Ⅴ－116	996	図版60	RMV	2	u-81	55	Ⅳb－4	口:47.6cm 底:12.0cm 高:50.6cm	深鉢B	刻み列・内面沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁＋5単位の突起、補修孔、炭化物多量付着、残存率(接合率)約95%	Ⅴ－040
			RMV	3	v-82	101					
図Ⅴ－117	997	図版187	RMV	1	u-85	87	Ⅳb－4	口:37.0cm 底:— 高:(26.9)cm	深鉢A	刻み列・内面沈線;LR縄文／弱い切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約55%	Ⅴ－058
			RMV	T	u-85	3					
図Ⅴ－117	998	図版61	RMV	3	t-81	10	Ⅳb－4	口:16.8cm 底:5.5cm 高:13.3cm	深鉢A	刻み列・内面沈線;LR縄文／切出形口唇・緩やかな波状口縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約90%	Ⅴ－019
			RMV	3	v-78	11					
図Ⅴ－117	999	図版187	RME	3	s-80-15	1	Ⅳb－4	口:14.3cm 底:— 高:(9.0)cm	深鉢A	刻み列;LR縄文／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約65%	Ⅴ－025
			RMV	3	u-77	1					
			RMV	3	u-79	9					
			RMV	3	w-77	1					
			RMW	2	v-77	1					
図Ⅴ－117	1000	図版187	RMW	2	v-76	20	Ⅳb－4	口:22.0cm 底:— 高:(16.3)cm	深鉢A	刻み列;LR縄文・幅広の無文帯／5単位の波状口縁、残存率(接合率)約55%	W－140
図Ⅴ－117	1001	図版187	RMW	1	v-78	3	Ⅳb－4	口:20.9cm 底:7.7cm 高:18.5cm	深鉢A	刻み列・内面沈線;羽状縄文・無文帯／平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約45%	W－124
			RMW	2	v-78	16					
図Ⅴ－117	1002	図版187	RMV	3	t-81	13	Ⅳb－4	口:12.6cm 底:5.6cm 高:7.9cm	深鉢A	刻み列;RL縄文・幅広の無文帯／平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約85%	Ⅴ－017
図Ⅴ－117	1003	図版188	RMV	2	v-85	5	Ⅳb－4	口:138cm 底:— 高:(11.2)cm	深鉢A	刻み列・内面沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約45%	Ⅴ－069
			RMV	3	s-85	15					
図Ⅴ－117	1004	図版188	RMV	T	u-80-2・5・6	6	Ⅳb－4	口:17.7cm 底:— 高:(7.4)cm	深鉢A	刻み列;羽状縄文・無文帯／平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約30%	Ⅴ－205
			RMW	T	t-80-10	1					

表Ⅴ－42　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（７）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－117	1005	図版188	RMV	3	t-79	9	Ⅳb－4	口:17.4cm 底:5.8cm 高:15.3cm	深鉢A	刻み列;羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	Ⅴ－016
			RMV	3	t-81	1					
			RMV	3	u-78	3					
			RMV	3	u-79	1					
			RMV	3	u-81	1					
			RMW	2	v-80	1					
図Ⅴ－117	1006	図版188	RMV	3	t-81	1	Ⅳb－4	口：— 底:6.5cm 高:(8.3)cm	深鉢A	刻み列;羽状縄文／残存率(接合率)約25%	Ⅴ－207
図Ⅴ－117	1007	図版188	RMV	3	t-79	4	Ⅳb－4	口：— 底:6.5cm 高:(10.3)cm	深鉢A	刻み列;RL縄文／残存率(接合率)約30%	Ⅴ－208
図Ⅴ－118	1008	図版188	RMV	1	t-82	12	Ⅳb－4	口:25.2cm 底：— 高:(16.7)cm	深鉢B	刻み列;羽状縄文／平縁、残存率(接合率)約45%	Ⅴ－115
図Ⅴ－118	1009	図版189	RMV	1	t-80	3	Ⅳb－4	口:19.1cm 底:(7.3)cm 高:(5.4)cm	浅鉢	刻み列;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約55%	Ⅴ－046
			RMV	3	u-80	9					
図Ⅴ－118	1010	図版189	RMV	3	t-79	14	Ⅳb－4	口:21.8cm 底:4.0cm 高:10.4cm	鉢	刻み列;RL縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約65%	Ⅴ－031
図Ⅴ－118	1011	図版189	RMW	2	y-75	2	Ⅳb－4	口:17.3cm 底：— 高:(8.7)cm	鉢	刻み列;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約50%	W－072
			RMW	3	y-75	9					
図Ⅴ－118	1012	図版189	RMV	3	u-77	2	Ⅳb－4	口:27.2cm 底:5.7cm 高:12.4cm	鉢	刻み列;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約55%	Ⅴ－032
			RMV	3	u-78	18					
図Ⅴ－118	1013	図版189	RMV	3	t-86	10	Ⅳb－4	口:11.1cm 底:4.5cm 高:9.4cm	小型深鉢B	刻み列;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約95%	Ⅴ－010
			RMV	3	t-87	1					
図Ⅴ－118	1014	図版189	RMV	3	u-81	23	Ⅳb－4	口:32.6cm 底:7.9cm 高:13.8cm	鉢	刻み列;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	Ⅴ－057
図Ⅴ－118	1015	図版189	RMW	2	x-74	16	Ⅳb－4	口:16.0cm 底：— 高:(5.3)cm	台付鉢	刻み列;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約70%	W－152
図Ⅴ－118	1016	図版189	RMV	3	r-87	8	Ⅳb－4	口:20.5cm 底:4.8cm 高:5.5cm	浅鉢	刻み列;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約40%	Ⅴ－204
			RMV	3	s-86	4					
図Ⅴ－118	1017	図版190	RMV	3	u-79	9	Ⅳb－4	口:26.6cm 底:8.5cm 高:(9.8)cm	台付鉢	刻み列・内面沈線;LR縄文／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約85%	Ⅴ－008
図Ⅴ－119	1018	図版190	RMV	3	v-77	20	Ⅳb－4	口:46.4cm 底：— 高:(25.6)cm	大型深鉢A	刻み列;羽状縄文・幅広の無文帯／弱い切出形口唇・波状口縁＋突起	Ⅴ－515
			RMVF-21	F1	v-77	1					
			RMVF-21	F1	v-77-10	2					
			RMW	2	v-77	1					
図Ⅴ－119	1019	図版190	RMV	3	z-72	10	Ⅳb－4	口:32.8cm 底：— 高:(22.8)cm	大型深鉢A	刻み列;羽状縄文・幅広の無文帯／波状口縁	Ⅴ－518
			RMW	2	y-72	8					
			RMW	2	y-73	1					
			RMW	2	z-74	1					
図Ⅴ－119	1020	図版190	RMV	3	u-80	2	Ⅳb－4	口:50.0cm 底：— 高:(24.0)cm	大型深鉢B	刻み列・内面沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁	Ⅴ－516
			RMV	T	u-80-5	3					
図Ⅴ－120	1021	図版190	RMW	2	x-74	1	Ⅳb－4	口:36.8cm 底：— 高:(23.6)cm	大型深鉢A	刻み列;羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・平縁＋突起	W－512
			RMW	2	x-75	15					
			RMY	T	x-75	8					
図Ⅴ－120	1022	図版191	RMV	3	u-78	12	Ⅳb－4		深鉢B	3列の刻み;羽状縄文／平縁	Ⅴ－606
図Ⅴ－120	1023	図版190	RMW	2	x-76	1	Ⅳb－4	口:52.0cm 底：— 高:(17.6)cm	大型深鉢A	刻み列;羽状縄文／切出形口唇・平波状口縁	W－517
			RMW	3	x-76	4					
			RMW	3	y-74	1					
図Ⅴ－120	1024	図版192	RMW	2	y-73	18	Ⅳb－4	口:42.0cm 底：— 高:(32.4)cm	大型深鉢A	刻み列;RL縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・波状口縁	W－518
			RMW	2	y-74	2					
			RMW	3	y-74	1					
図Ⅴ－121	1025	図版191	RMW	2	w-76	10	Ⅳb－4	口:26.7cm 底：— 高:(22.5)cm	深鉢A	刻み列;羽状縄文・無文帯／切出形口唇・波状口縁	W－522
図Ⅴ－121	1026	図版191	RMW	2	u-81	18	Ⅳb－4	口:18.6cm 底:6.0cm 高:18.0cm	深鉢A	刻み列;羽状縄文・無文帯／弱い切出形口唇・緩やかな波状口縁	W－507
図Ⅴ－121	1027	図版191	RMW	2	y-73	5	Ⅳb－4	口:21.9cm 底：— 高:(14.7)cm	深鉢A	刻み列;羽状縄文・無文帯／切出形口唇・平縁＋突起、補修孔	W－514
図Ⅴ－121	1028	図版191	RMW	T	y-75-2	1	Ⅳb－4	口:15.0cm 底：— 高:(14.7)cm	深鉢A	刻み列;羽状縄文・無文帯／弱い切出形口唇・平縁＋突起	W－503
図Ⅴ－121	1029	図版192	RMV	1	v-81	3	Ⅳb－4	口:15.9cm 底:6.3cm 高:9.9cm	鉢	刻み列;LR縄文・RL縄文／平縁	W－572
			RMW	2	v-81	9					
図Ⅴ－121	1030	図版191	RMW	2	y-81	6	Ⅳb－4	口:12.0cm	鉢	刻み列;羽状縄文／平縁	W－571

表Ⅴ－43　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（8）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種（部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMW	3	y-81	1		底：— 高：(7.7)cm			
図Ⅴ－121	1031	図版191	RMWF-35	F0	y-74-1・5	2	Ⅳb－4		深鉢A	刻み列；幅広の無文帯／平縁＋突起、補修孔	W－612
			RMWF-35	F0	y-75-5	1					
図Ⅴ－122	1032	図版192	RMV	1	u-81	1	Ⅳc－1	口：17.2cm 底：5.8cm 高：15.7cm	深鉢A	入り組み帯状文・横走沈線；LR縄文・RL縄文／切出形口唇・平縁＋突起、胴部くびれ2ヵ所、残存率（接合率）約60%	V－097
			RMV	1	v-81	1					
			RMV	2	u-81	1					
			RMW	2	v-81	11					
図Ⅴ－122	1033	図版192	RMV	1	v-81	1	Ⅳc－1	口：27.5cm 底：— 高：(8.6)cm	鉢	帯状文（木葉文）・横走沈線；LR縄文／角形口唇・平縁、残存率（接合率）約40%	V－215
			RMV	3	u-81	6					
			RMV	3	v-82	4					
			RMV	3	w-81	2					
			RMW	3	w-80	1					
			RMW	T	v-80-1・6	2					
図Ⅴ－122	1034	図版192	RMV	2	t-85	1	Ⅳc－1	口：17.0cm 底：— 高：(10.8)cm	深鉢B	帯状文（菱文）；LR縄文／角形口唇・5単位の波状口縁、残存率（接合率）約50%	V－077
			RMV	2	u-84	2					
			RMV	3	u-84	8					
			RMW	2	t-84	8					
			RMW	2	t-85	1					
			RMW	3	u-84	1					
			RMW	T	t-85	3					
図Ⅴ－122	1035	図版192	RMW	3	x-80	6	Ⅳc－1	口：19.0cm 底：5.8cm 高：15.3cm	深鉢B	帯状文（弧線・曲線）；LR縄文／切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率（接合率）約85%	W－034
			RMW	3	x-81	24					
			RMW	3	x-83	1					
図Ⅴ－122	1036	図版193	RMD	7	r-84-13・14	6	Ⅳc－1	口：22.6cm 底：5.3cm 高：11.6cm	鉢	入り組み帯状文・弧線文；羽状縄文／切出形口唇・小波状口縁、残存率（接合率）約60%	V－116
			RMD	7	s-84-1	1					
			RMD	7	s-85	1					
			RMV	2	s-84	10					
			RMV	2	s-85	1					
図Ⅴ－122	1037	図版193	RMW	3	v-75	1	Ⅳc－1	口：11.5cm 底：— 高：8.1cm	鉢	クランク状の帯状文；羽状縄文／平縁、残存率（接合率）約75%	W－035
			RMW	3	x-75	1					
			RMW	3	y-75	7					
図Ⅴ－122	1038	図版193	RMW	2	x-74	3	Ⅳc－1	口：9.4cm 底：— 高：(11.9)cm	小型深鉢B	帯状文；羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率（接合率）約60%	W－162
			RMW	2	なし	1					
			RMY	2	x-73-4	1					
			RMY	2	x-74-3	2					
			RMY	3	x-73-8	1					
			RMY	3	x-74-3	2					
図Ⅴ－121	1039	図版193	RMW	3	x-75	1	Ⅳc	高：6.5cm	（台）	帯状文；羽状縄文	W－404
図Ⅴ－122	1040	図版194	RMW	2	v-78	8	Ⅳc－1	口：15.3cm 底：6.0cm 高：14.0cm	深鉢A	帯状文（木葉文）；羽状縄文／切出形口唇・平縁＋突起	W－524
図Ⅴ－122	1041	図版194	RMV	2	s-83	1	Ⅳc－1	口：20.1cm 底：— 高：(21.0)cm	深鉢A	帯状文（弧線・木葉文・横走）；羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・波状口縁	W－545
			RMW	2	t-82	2					
			RMW	2	t-83	11					
図Ⅴ－123	1042	図版193	RMW	2	x-78	3	Ⅳc－1	口：31.6cm 底：— 高：(32.8)cm	大型深鉢A	入り組み帯状文；羽状縄文／切出形口唇・波状口縁	W－578
			RMW	2	x-79	22					
			RMY	2	x-78-4・8	6					
			RMY	2	x-79-1・2	2					
図Ⅴ－123	1043	図版194	RMV	2	t-86	1	Ⅳc－1	口：39.6cm 底：— 高：(23.0)cm	大型深鉢A	入り組み帯状文；羽状縄文／弱い切出形口唇・平縁	W－536
			RMV	2	t-88	4					
			RMW	3	u-84	2					
			RMW	3	u-85	1					
			RMW	T	t-85	2					
図Ⅴ－123	1044	図版194	RMW	T	y-75	1	Ⅳc－1	口：23.7cm 底：7.5cm 高：14.1cm	鉢	入り組み帯状文；羽状縄文／波状口縁	W－528
			RMW	T	y-75-14	1					
			RMW	T	z-75	4					
			RMW	T	z-75-2	1					
図Ⅴ－123	1045	図版194	RMW	2	x-82	1	Ⅳc	口：— 底：5.1cm 高：(6.8)cm	深鉢B	曲線帯状文；羽状縄文	W－599
			RMW	2	x-83	3					
図Ⅴ－124	1046	図版195	RMW	3	x-80	5	Ⅳc－1	口：30.8cm 底：— 高：(23.2)cm	大型深鉢A	突瘤・格子目状沈線；LR縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・平縁＋突起、残存率（接合率）約35%	W－167
			RMW	3	x-84	6					
			RMW	3	y-80	13					
			RMW	3	y-82	6					
図Ⅴ－124	1047	図版195	RMW	2	v-81	9	Ⅳc－1	口：22.1cm 底：6.2cm 高：15.4cm	深鉢B	突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線；LR縄文／平縁＋5単位の突起、炭化物多量付着、残存率（接合率）約95%	W－046
			RMW	2	w-82	4					
図Ⅴ－124	1048	図版195	RMV	1	u-87	9	Ⅳc－1	口：22.1cm 底：— 高：17.1cm	深鉢B	突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線；LR縄文・RL縄文／平縁＋突起、残存率（接合率）約70%	W－064
			RMW	2	u-86	1					
			RMW	2	u-87	16					
			RMW	3	v-87	4					
図Ⅴ－124	1049	図版195	RMW	2	z-76	25	Ⅳc－1	口：19.3cm 底：4.8cm 高：15.1cm	深鉢B	突瘤・弧線文・横走沈線；LR縄文／切出形口唇・5単位の波状口縁＋突起、残存率（接合率）約85%	W－074
			RMW	3	z-76	1					
			RMW	3	z-77	1					
図Ⅴ－124	1050	図版195	RMW	2	v-87	11	Ⅳc－1	口：29.4cm 底：— 高：(21.8)cm	深鉢B	突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線；LR縄文・RL縄文／角形口唇・平縁＋突起、残存率（接合率）約55%	W－094
			RMW	3	v-87	25					

表Ⅴ－44 盛土遺構－下位出土掲載土器一覧（9）

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－124	1051	図版195	RMV	1	t-81	1	Ⅳc－1	口:21.4cm 底: — 高:(16.2)cm	深鉢A	突瘤・弧線文・横走沈線;RL縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約35%	V－213
			RMV	1	t-82	3					
			RMV	3	t-82	6					
			RMV	3	t-83-7	2					
			RMV	3	t-84	1					
図Ⅴ－125	1052	図版196	RMW	2	x-80	8	Ⅳc－1	口:16.6cm 底:5.8cm 高:11.7cm	鉢	突瘤・乱れた鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文／平縁＋突起、残存率(接合率)約50%	W－153
図Ⅴ－125	1053	図版196	RMW	3	v-87	33	Ⅳc－1	口:17.8cm 底: — 高:(12.8)cm	深鉢B	突瘤・曲沈線・横走沈線;LR縄文／平縁＋突起、残存率(接合率)約60%	W－119
			RMW	3	v-88	4					
図Ⅴ－125	1054	図版196	RMW	2	v-83	8	Ⅳc－1	口:9.2cm 底: — 高:(4.6)cm	鉢	突瘤・曲沈線・横走沈線;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約50%	W－118
図Ⅴ－125	1055	図版196	RMB	1	q-90-15	2	Ⅳc－1	口:8.1cm 底:2.0cm 高:5.3cm	鉢	突瘤・弧線文・横走沈線／平縁、丸底気味の底部、残存率(接合率)約70%	B－007
			RMB	1	r-90-3・4	4					
			RMB	2	r-90-3・4	9					
図Ⅴ－125	1056	図版197	RMW	2	y-75	1	Ⅳc－1		深鉢	突瘤・曲沈線・横走沈線;RL縄文／切出形口唇・緩やかな波状口縁	W－701
図Ⅴ－125	1057	図版197	RMW	3	x-85	6	Ⅳc－1	口:22.2cm 底: — 高:(13.5)cm	深鉢B	突瘤・曲沈線・横走沈線;乱れた羽状縄文／角形口唇・ゆるやかな波状口縁	W－584
図Ⅴ－125	1058	図版197	RMW	2	x-82	2	Ⅳc－1	口:25.8cm 底: — 高:(10.2)cm	深鉢B	突瘤・弧線文・横走沈線;LR縄文／平縁＋突起	W－588
			RMW	2	x-84	1					
図Ⅴ－125	1059	図版197	RMW	2	v-83	2	Ⅳc－1	口:15.2cm 底: — 高:(7.2)cm	鉢	突瘤・イナズマ状沈線;LR縄文／平縁	W－559
			RMW	3	v-83	2					
図Ⅴ－125	1060	図版197	RMW	T	y-75	1	Ⅳc－1	口:28.2cm 底: — 高:(10.7)cm	深鉢B	突瘤・曲沈線・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁＋突起	W－587
			RMW	T	y-75-13	6					
図Ⅴ－125	1061	図版197	RMW	2	w-81	1	Ⅳc－1	口:15.9cm 底:5.4cm 高:10.1cm	鉢	突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁＋突起	W－586
			RMW	3	w-81	2					
図Ⅴ－125	1062	図版197	RMW	2	x-78	3	Ⅳc－1	口:29.4cm 底: — 高:(9.5)cm	深鉢B	突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁	W－556
			RMW	2	x-79	2					
			RMW	2	y-78	1					
			RMW	2	y-79	1					
			RMW	3	x-78	1					
図Ⅴ－126	1063	図版196	RMW	2	y-76	32	Ⅳc－1	口:24.0cm 底: — 高:(21.0)cm	深鉢B	突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁	W－580
図Ⅴ－126	1064	図版196	RMW	2	w-81	12	Ⅳc－1	口:26.7cm 底: — 高:(24.9)cm	深鉢A	突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・幅広の無文帯／角形口唇・平縁＋突起	W－583
			RMW	2	x-82	1					
			RMW	3	w-82	3					
			RMW	3	x-82	2					
図Ⅴ－126	1065	図版197	RMW	2	u-78	1	Ⅳc－1	口:17.4cm 底: — 高:(11.4)cm	深鉢A	突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・RL縄文／角形口唇・平縁	W－585
			RMW	3	w-80	2					
			RMW	3	y-82	1					
			RMW	T	w-80-6	1					
			RMY	2	w-78-13	1					
			RMZ	2	t-78-3	1					
			－	Va	w-79	1					
図Ⅴ－127	1066	図版199	RMW	2	u-82	15	Ⅳc－1	口:44.0cm 底: — 高:(32.4)cm	大型深鉢A	突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・RL縄文／切出形口唇・平縁＋突起	W－582
			RMW	3	u-84	18					
			RMW	3	u-85	2					
図Ⅴ－127	1067	図版198	RMW	3	x-84	22	Ⅳc－1		大型深鉢A	突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・無文帯／切出形口唇・平縁＋突起	W－610
図Ⅴ－127	1068	図版198	RMA	4	o-91-15	1	Ⅳc－1		深鉢B	突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁＋突起	A－602（南北盛土接合）
			RMA	4	p-91-2・3	2					
			N盛土	N33	N-77	3					
			N盛土	N4	L-73	1					
			－	Va	L-80	1					
図Ⅴ－127	1069	図版199	RMW	T	v-80-1・6	4	Ⅳc－1	口:33.4cm 底: — 高:(18.8)cm	深鉢B	突瘤・鋸歯状沈線・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・波状口縁	W－581
			RMW	T	w-80-1・5	5					
図Ⅴ－127	1070	図版198	RMV	2	u-87	3	Ⅳc－1		深鉢B	突瘤・鋸歯状沈線;RL縄文／切出形口唇・平縁＋突起	V－608
図Ⅴ－127	1071	図版198	RMD	8	r-85-7	1	Ⅳc－1		大型深鉢A	突瘤・曲沈線・横走沈線;羽状縄文・幅広の無文帯／切出形口唇・平縁＋突起	V－601
			RMD	T	r-85-2	2					
			RMV	T	r-85	8					
			RMV	T	r-85-2	1					
図Ⅴ－128	1072	図版199	RMV	1	t-89	13	Ⅳc－1	口:37.4cm 底:8.2cm 高:28.5cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線・一部弧線文;LR縄文／角形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約50%	V－073
			RMV	1	t-90	8					
			RMV	3	t-90	59					
			RMV	T	t-90	3					
図Ⅴ－128	1073	図版199	RMV	3	t-82	12	Ⅳc－1	口:28.6cm 底: — 高:(27.9)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約40%	V－075
			RMV	3	t-83	21					

表Ⅴ－45　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(10)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－128	1074	図版199	RMW	2	w-81	6	Ⅳc－1	口:37.8cm 底: — 高:(27.5)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線;一部羽状縄文・幅広の無文帯／緩やかな波状口縁、残存率(接合率)約30%	W－214
			RMW	2	x-80	9					
			RMW	2	x-81	2					
図Ⅴ－128	1075	図版199	RMW	2	w-81	77	Ⅳc－1	口:36.7cm 底:8.4cm 高:32.8cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線;RL縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約40%	W－095
図Ⅴ－129	1076	図版200	RMV	3	t-82	2	Ⅳc－1	口:14.7cm 底:6.0cm 高:12.0cm	鉢	突瘤・横走沈線;LR縄文／角形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約55%	W－128
			RMW	2	v-81	3					
			RMW	3	w-81	16					
			RMW	3	w-83	1					
図Ⅴ－129	1077	図版200	RMW	2	w-83	2	Ⅳc－1	口:15.9cm 底:4.3cm 高:11.0cm	鉢	突瘤・横走沈線;LR縄文／角形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約75%	W－058
			RMW	2	w-84	3					
			RMW	2	w-85	7					
			RMW	3	w-84	2					
			RMW	T	v-85	1					
図Ⅴ－129	1078	図版200	RMD	7	r-85-8	3	Ⅳc－1	口:14.9cm 底: — 高:(8.0)cm	鉢	突瘤・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約50%	V－127
			RMD	7	r-86-5	1					
			RMV	2	r-85	4					
図Ⅴ－129	1079	図版200	RMW	3	y-84	27	Ⅳc－1	口:18.8cm 底:6.0cm 高:14.3cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;羽状縄文／核型口唇・緩やかな5単位の波状口縁、残存率(接合率)約50%	W－135
図Ⅴ－129	1080	図版200	RMW	2	x-80	48	Ⅳc－1	口:29.6cm 底: — 高:(33.7)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁＋2個単位の突起、残存率(接合率)約55%	W－160
			RMW	3	x-80	1					
図Ⅴ－129	1081	図版200	RMV	3	u-81	18	Ⅳc－1	口:20.9cm 底:7.0cm 高:16.7cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約40%	V－211
図Ⅴ－129	1082	図版201	RMW	2	w-81	106	Ⅳc－1	口:41.2cm 底: — 高:(36.1)cm	深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文・RL縄文／角形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約85%	W－063
図Ⅴ－129	1083	図版201	RMW	2	x-82	21	Ⅳc－1	口:16.5cm 底:7.1cm 高:9.8cm	鉢	突瘤・横走沈線;LR縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	W－061
図Ⅴ－129	1084	図版201	RMW	3	x-79	10	Ⅳc－1	口:17.8cm 底:6.2cm 高:12.2cm	鉢	突瘤・横走沈線;LR縄文／角形口唇・波状口縁、残存率(接合率)約45%	W－112
			RMY	10	x-79-11	1					
図Ⅴ－130	1085	図版202	RMWF-12	F1	w-84-4	1	Ⅳc－1		深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／平縁	W－613
図Ⅴ－130	1086	図版202	RMW	2	y-79	1	Ⅳc－1		深鉢B	突瘤・横走沈線;無節R縄文／角形口唇・平縁	W－609
			－	Va	x-79	1					
図Ⅴ－130	1087	図版202	RMV	2	t-84	4	Ⅳc－1	口:19.2cm 底:11.7cm 高:6.0cm	鉢	突瘤・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁	V－521
図Ⅴ－130	1088	図版201	RMB	1	r-90-16	1	Ⅳc－1	口:46.4cm 底: — 高:(28.4)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁＋突起	B－502
			RMB	1	r-91-2	1					
			RMB	1	r-92-5	32					
			RMB	1	t-92-5	2					
図Ⅴ－130	1089	図版201	RMV	1	u-88	16	Ⅳc－1	口:35.0cm 底: — 高:(29.2)cm	大型深鉢B	突瘤・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁＋突起	V－519
図Ⅴ－131	1090	図版202	RMW	2	u-81	1	Ⅳc－1	口:36.0cm 底: — 高:(16.4)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;RL縄文／切出形口唇・平縁＋突起	W－557
図Ⅴ－131	1091	図版202	RMV	1	t-81	1	Ⅳc－1	口:32.0cm 底: — 高:(25.8)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁＋突起	V－520
			RMV	2	s-83	1					
			RMV	T	v-80-6	2					
図Ⅴ－131	1092	図版202	RMW	2	w-81	22	Ⅳc－1	口:37.6cm 底: — 高:(36.0)cm	大型深鉢A	突瘤・横走沈線;羽状縄文・無文帯／平縁＋突起	W－589
			RMW	2	x-84	1					
図Ⅴ－132	1093	図版203	RMW	2	x-84	96	Ⅳc－1	口:23.1cm 底:5.8cm 高:24.5cm	深鉢A	鋸歯状沈線・横走沈線;RL縄文・無文帯／切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約40%	W－115
図Ⅴ－132	1094	図版203	RMW	2	y-81	4	Ⅳc－1	口:19.7cm 底:5.2cm 高:20.1cm	深鉢A	鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・無文帯／切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約50%	W－081
			RMW	3	y-81	37					
図Ⅴ－132	1095	図版203	RMW	2	x-78	7	Ⅳc－1	口:39.3cm 底: — 高:(33.3)cm	大型深鉢A	鋸歯状沈線・弧線文・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・緩やかな5単位の波状口縁、残存率(接合率)約25%	W－215
			RMW	3	x-78	8					
図Ⅴ－132	1096	図版203	RMB	1	s-91-14・15	7	Ⅳc	口: — 底:9.3cm 高:(19.0)cm	深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;羽状縄文	B－201
			RMB	2	s-91-10・13・14	13					
			RMB	2	t-90-12	1					
			－	Va	s-91	6					
図Ⅴ－132	1097	図版203	RMW	2	y-78	1	Ⅳc	口: — 底:8.8cm 高:(15.2)cm	深鉢B	弧線文・横走沈線;羽状縄文	W－210
			RMW	3	y-78	28					
			RMW	3	z-78	1					
図Ⅴ－133	1098	図版203	RMW	2	v-81	2	Ⅳc－1	口:25.6cm 底: —	深鉢B	鋸歯状(くの字状)沈線・横走沈線;LR縄文／弱い切出形口唇・平	W－158
			RMW	2	w-79	26					

表Ⅴ－46　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(11)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMW	2	なし	10		高:(24.3)cm		縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約50%	
図Ⅴ－133	1099	図版204	RMW	2	t-81	4	Ⅳc－1	口:16.0cm 底:6.1cm 高:11.4cm	深鉢B	鋸歯状(くの字状)沈線・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約65%	W－083
			RMW	2	t-82	4					
			RMW	2	u-82	2					
			RMW	2	u-83	1					
図Ⅴ－133	1100	図版204	RMW	2	w-81	1	Ⅳc－1	口:15.6cm 底:3.7cm 高:11.9cm	深鉢B	鋸歯状沈線(菱文)・横走沈線;LR縄文／角形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約80%	W－091
			RMW	2	w-85	1					
			RMW	2	y-84	14					
図Ⅴ－133	1101	図版204	RMW	2	w-81	20	Ⅳc－1	口:24.9cm 底:6.0cm 高:18.2cm	深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;羽状縄文／角形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約70%	W－084
図Ⅴ－133	1102	図版204	RMW	T	y-80-1	22	Ⅳc－1	口:13.4cm 底:4.7cm 高:11.2cm	深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇5単位の波状口縁＋突起、残存率(接合率)約80%	W－022
図Ⅴ－133	1103	図版204	RMB	1	s-92-1	2	Ⅳc－1	口:20.5cm 底:5.4cm 高:16.7cm	深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約45%	B－004
			RMB	2	r-91-3・9・10・13・14	19					
			RMB	2	r-92-13	1					
			RMB	2	s-91-1	1					
			RMB	2	s-92-1・2	5					
図Ⅴ－133	1104	図版204	RMW	3	y-81	11	Ⅳc－1	口:19.6cm 底:— 高:(13.3)cm	深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約60%	W－027
			RMW	3	y-82	6					
図Ⅴ－134	1105	図版205	RMW	2	x-76	2	Ⅳc－1	口:14.0cm 底:5.7cm 高:10.3cm	深鉢B	弧線文・横走沈線;羽状縄文・底面RL縄文／切出形口唇・平縁＋5単位の突起、炭化物多量付着、残存率(接合率)約95%	W－003
			RMW	2	x-77	3					
図Ⅴ－134	1106	図版205	RMV	1	v-81	3	Ⅳc－1	口:14.1cm 底:4.8cm 高:11.4cm	深鉢B	弧線文・横走沈線;羽状縄文／5単位の波状口縁、残存率(接合率)約90%	W－044
			RMW	2	v-81	9					
図Ⅴ－134	1107	図版205	RMW	2	x-81	2	Ⅳc－1	口:12.0cm 底:— 高:(5.9)cm	鉢	弧線文・横走沈線;RL縄文／平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約40%	W－093
			RMW	3	x-81	2					
図Ⅴ－134	1108	図版205	RME	1	t-79-12	1	Ⅳc－1	口:26.0cm 底:9.1cm 高:9.8cm	鉢	弧線文・横走沈線・内面沈線;羽状縄文／平縁、残存率(接合率)約50%	V－084
			RME	1	u-80-1	2					
			RMV	1	v-81	3					
			RMV	T	v-80	2					
			RMV	T	v-80-6	4					
			RMW	2	u-80	1					
図Ⅴ－134	1109	図版205	RMW	2	w-79	1	Ⅳc－1	口:24.5cm 底:— 高:(14.4)cm	深鉢B	鋸歯状沈線・弧線文・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約50%	W－145
			RMW	3	z-79	1					
			RMW	T	w-80-9	3					
			RMY	2	x-77-3	1					
			RMY	2	x-79	1					
			RMY	2	x-79-3・4	6					
			RMY	3	x-79	1					
図Ⅴ－134	1110	図版205	RMV	1	v-82	2	Ⅳc－1	口:21.2cm 底:— 高:(12.8)cm	深鉢B	弧線文・横走沈線;LR縄文／平縁＋5単位の突起、炭化物多量付着、残存率(接合率)約40%	W－138
			RMW	1	x-79	4					
			RMW	1	y-77	3					
			RMW	3	w-79	2					
図Ⅴ－134	1111	図版206	RMV	1	u-89	21	Ⅳc－1	口:19.1cm 底:5.0cm 高:12.7cm	深鉢B	鋸歯状沈線・弧線文・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約35%	V－063
図Ⅴ－134	1112	図版206	RMV	3	s-84	1	Ⅳc－1	口:18.0cm 底:6.8cm 高:12.8cm	深鉢A	弧線文・横走沈線・内面沈線;LR縄文／切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約70%	V－020
			RMV	3	s-85	3					
			RMV	3	s-86	11					
図Ⅴ－134	1113	図版206	RMW	2	y-76	12	Ⅳc	口:— 底:6.0cm 高:(8.5)cm	深鉢B	弧線文・横走沈線;LR縄文	W－208
図Ⅴ－134	1114	図版206	RMW	2	w-85	3	Ⅳc－1	口:16.0cm 底:4.8cm 高:9.5cm	鉢	弧線文・横走沈線;LR縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	W－056
			RMW	2	x-85	1					
			RMW	3	w-85	12					
図Ⅴ－135	1115	図版206	RMV	1	v-80	8	Ⅳc－1	口:16.0cm 底:— 高:(15.6)cm	深鉢A	イナズマ状沈線・横走沈線;LR縄文／角形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約50%	V－060
			RMV	3	v-80	2					
			RMV	T	v-80-6	3					
図Ⅴ－135	1116	図版206	RMW	2	t-83	4	Ⅳc－1	口:17.6cm 底:5.0cm 高:15.5cm	深鉢B	イナズマ状沈線・横走沈線;羽状縄文／角形口唇・平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約80%	W－060
			RMW	2	x-77	6					
			RMW	T	w-80-1	1					
図Ⅴ－135	1117	図版207	RMV	1	u-80	5	Ⅳc－1	口:18.8cm 底:— 高:20.9cm	深鉢A	鋸歯状沈線・弧線文・横走沈線;RL縄文／角形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約75%	V－083
			RMV	T	u-80-6	1					
			RMW	2	u-80	8					
			RMW	2	w-80	1					
			RMY	2	v-79-11	1					
			RMZ	2	t-78-1	1					
			-	SE	q-75	1					
図Ⅴ－135	1118	図版207	RMW	2	v-79	2	Ⅳc－1	口:24.0cm 底:— 高:(20.6)cm	深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文／角形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約50%	W－163
			RMW	2	w-77	1					
			RMW	2	x-77	1					
			RMW	3	x-77	3					
			RMY	2	w-77-14	4					

表Ⅴ－47　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(12)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMY	10	w-77-1	1					
			RMY	10	w-79-1	1					
			RMZ	10	u-78	1					
			RMZ	10	u-78-1～3	5					
			〃	Va	w-79	1					
図Ⅴ－135	1119	図版207	RMW	2	y-77	7	Ⅳc－1	口:14.4cm 底:5.8cm 高:7.5cm	鉢	鋸歯状沈線・横走沈線;羽状縄文／角形口唇・平縁＋突起、貫通孔、、炭化物多量付着残存率(接合率)約65%	W－067
図Ⅴ－135	1120	図版207	RMW	3	x-81	1	Ⅳc－1	口:12.8cm 底:4.6cm 高:13.4cm	鉢	弧線文・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約80%	W－038
			RMW	3	y-81	1					
			RMW	3	y-84	6					
図Ⅴ－135	1121	図版207	RMW	2	w-79	1	Ⅳc－1	口:12.6cm 底:3.7cm 高:7.3cm	鉢	弧線文・横走沈線;LR縄文／角形口唇・平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約80%	W－054
			RMW	3	w-79	3					
図Ⅴ－135	1122	図版207	RMW	2	z-74	1	Ⅳc－1	口:(14.6)cm 底:3.5cm 高:9.7cm	鉢	弧線文・横走沈線;羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約40%	W－205
			RMW	3	y-74	8					
図Ⅴ－135	1123	図版74・75	RMW	2	y-75	4	Ⅳc－1	口:13.5cm 底:5.2cm 高:9.2cm	鉢	弧線文(文様書き換え有り)・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)ほぼ100%	W－055
			RMW	3	y-75	3					
図Ⅴ－136	1124	図版208	RMW	2	x-79	34	Ⅳc－1	口:20.0cm 底:6.9cm 高:13.7cm	小型深鉢B	弧線文・横走沈線;羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	W－090
			RMW	3	x-79	3					
図Ⅴ－136	1125	図版208	RMW	2	u-81	16	Ⅳc－1	口:13.9cm 底:7.7cm 高:11.5cm	小型深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文／角形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約40%	W－141
図Ⅴ－136	1126	図版208	RMW	2	y-74	1	Ⅳc－1	口:14.4cm 底:3.8cm 高:11.6cm	小型深鉢A	菱文(沈線)・横走沈線;羽状縄文・無文帯／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	W－105
			RMW	2	z-74	43					
図Ⅴ－136	1127	図版208	RMW	3	w-81	11	Ⅳc－1	口:16.2cm 底:3.2cm 高:7.3cm	浅鉢	弧線文;LR縄文／平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約75%	W－082
図Ⅴ－136	1128	図版208	RMV	3	q-82	12	Ⅳc－1	口:17.2cm 底:7.0cm 高:12.1cm	深鉢B	曲沈線・弧線文・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約25%	V－214
図Ⅴ－136	1129	図版208	RMW	2	v-83	9	Ⅳc－1	口:11.0cm 底:5.0cm 高:7.1cm	鉢	弧線文・横走沈線／切出形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約60%	W－092
			RMW	2	v-84	2					
			RMW	2	v-85	1					
			RMW	3	v-84	1					
図Ⅴ－136	1130	図版208	RMV	2	t-84	2	Ⅳc－1	口:(9.2)cm 底:3.0cm 高:3.5cm	浅鉢	弧線文・横走沈線／平縁、残存率(接合率)約35%	V－112
			RMV	3	t-84	1					
図Ⅴ－136	1131	図版210	RMV	2	r-87	1	Ⅳc－1	口:(9.8)cm 底:3.6cm 高:4.0cm	浅鉢	曲沈線・格子目文・鋸歯状沈線／切出形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約60%	V－099
			RMV	2	s-87	6					
			RMV	2	s-88	1					
			RMV	3	s-87	1					
図Ⅴ－136	1132	図版210	RMD	7	r-84-15	1	Ⅳc－1	口:12.2cm 底:2.8cm 高:5.7cm	浅鉢	曲沈線・横走沈線;LR縄文／5単位の波状口縁、残存率(接合率)約80%	V－101
			RMV	2	r-84	3					
			RMV	2	s-84	5					
			RMV	3	r-84	1					
図Ⅴ－136	1133	図版209	RMV	3	v-78	1	Ⅳc－1	口:21.9cm 底:　— 高:(10.8)cm	深鉢B	イナズマ状沈線;LR縄文・RL縄文／角形口唇・平縁	W－558
			RMW	2	u-78	7					
			RMW	T	u-80-5	1					
図Ⅴ－136	1134	図版209	RMW	2	u-80	6	Ⅳc－1	口:12.9cm 底:　— 高:(5.4)cm	鉢	イナズマ状沈線・横走沈線;LR縄文／平縁	W－551
			RMW	2	u-83	3					
図Ⅴ－136	1135	図版209	RMV	1	u-82	6	Ⅳc－1	口:21.9cm 底:7.2cm 高:15.6cm	深鉢B	イナズマ状沈線;LR縄文／角切出形口唇・平縁	V－523
			RMV	3	u-82	8					
			RMV	3	v-82	2					
図Ⅴ－137	1136	図版209	RMW	1	x-82	22	Ⅳc－1	口:27.0cm 底:　— 高:(18.0)cm	深鉢A	鋸歯状沈線・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・波状口縁	W－530
			RMW	T	x-82	1					
図Ⅴ－137	1137	図版209	RMW	2	v-81	4	Ⅳc－1		深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁	W－608
			RMW	2	w-79	5					
図Ⅴ－137	1138	図版209	RMV	1	t-84	1	Ⅳc－1	口:25.2cm 底:　— 高:(21.0)cm	深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;RL縄文／切出形口唇・平縁＋突起	V－517
			RMV	2	t-84	1					
			RMV	2	u-84	5					
図Ⅴ－137	1139	図版29	RMW	2	w-84	8	Ⅳc－1	口:15.9cm 底:4.2cm 高:12.0cm	深鉢A	鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・無文帯／角形口唇・平縁＋突起	W－544
			RMW	3	u-84	3					
			RMW	3	x-84	2					
図Ⅴ－137	1140	図版209	RMW	2	w-78	2	Ⅳc－1	口:15.9cm 底:8.1cm 高:6.2cm	鉢	鋸歯状沈線・横走沈線;RL縄文／切出形口唇・平縁	W－552
			RMW	2	x-78	1					
図Ⅴ－137	1141	図版211	RMW	3	y-78	10	Ⅳc－1	口:29.1cm 底:　— 高:(12.3)cm	深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・RL縄文・無文帯／切出形口唇・平縁＋突起	W－535

表Ⅴ－48　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(13)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－137	1142	図版211	RMW	2	v-82	6	Ⅳc－1	口:12.0cm 底: — 高:(12.9)cm	深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文／平縁＋突起	W－523
図Ⅴ－137	1143	図版211	RMW	2	y-76	2	Ⅳc－1	口:19.9cm 底: — 高:(5.4)cm	鉢	鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁、炭化物多量付着	W－547
			RMW	3	y-76	2					
図Ⅴ－137	1144	図版211	RMW	2	t-83	1	Ⅳc		深鉢B	鋸歯状沈線;RL縄文	W－702
図Ⅴ－138	1145	図版210	RMW	2	v-87	31	Ⅳc－1	口:39.0cm 底: — 高:(28.4)cm	大型深鉢B	鋸歯状沈線(菱文)・横走沈線;RL縄文／平縁	W－529
図Ⅴ－138	1146	図版210	RMA	4	o-91-14・15	21	Ⅳc－1	口:27.6cm 底: — 高:(22.8)cm	大型深鉢A	鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文RL縄文・無文帯／切出形口唇・平縁＋突起	A－502
			RMA	4	p-91-2	2					
			RMA	5	o-91-14・15	2					
			RMA	11	p-91-10	1					
			RMA	12	p-91-2・3・7	8					
			RMA	T	o-91-16	1					
			RMB	2	q-90-5	1					
図Ⅴ－138	1147	図版210	RMW	2	v-82	4	Ⅳc－1	口: — 底:8.0cm 高:(24.8)cm	大型深鉢A	鋸歯状沈線・横走沈線;RL縄文／胎土に砂粒多く含む	W－579
			RMW	2	w-81	11					
			RMW	3	v-84	5					
図Ⅴ－139	1148	図版210	RMW	2	v-82	11	Ⅳc－1	口:34.0cm 底:9.2cm 高:37.8cm	大型深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;RL縄文／切出形口唇・平縁＋突起、補修孔	W－531
			RMW	3	y-78	10					
			RMW	3	y-79	1					
図Ⅴ－139	1149	図版211	RMW	3	w-82	1	Ⅳc－1		大型深鉢A	鋸歯状沈線・横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・波状口縁	W－607
			RMW	3	w-86	2					
図Ⅴ－139	1150	図版211	RMW	2	x-76	7	Ⅳc－1	口:15.9cm 底: — 高:(9.0)cm	深鉢A	鋸歯状沈線・横走沈線;RL縄文／平縁＋突起	W－573
			RMW	2	y-76	2					
図Ⅴ－139	1151	図版211	RMW	2	v-82	9	Ⅳc－1	口:17.4cm 底:5.0cm 高:9.3cm	鉢	鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・RL縄文／肥厚する口唇・緩やかな波状口縁	W－539
図Ⅴ－139	1152	図版211	RMW	2	u-84	7	Ⅳc－1	口:18.3cm 底: — 高:(9.2)cm	鉢	鋸歯状沈線・横走沈線;羽状縄文／平縁＋突起	W－554
図Ⅴ－139	1153	図版211	RMW	3	y-80	7	Ⅳc	口: — 底:3.9cm 高:(6.6)cm	深鉢B	鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文・RL縄文	W－598
図Ⅴ－139	1154	図版211	RMV	T	w-75	1	Ⅳc－1	口:20.7cm 底: — 高:(12.2)cm	深鉢A	楕円状沈線・横走沈線;RL縄文(口唇上含む)／角形口唇・平縁＋突起	V－522
			RMW	2	y-73	2					
			RMW	3	y-73	1					
			RMW	T	w-75	1					
図Ⅴ－140	1155	図版212	RMW	2	y-83	4	Ⅳc－1	口:32.8cm 底: — 高:(15.6)cm	深鉢B	弧線文・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・波状口縁	W－553
			RMW	2	y-84	1					
図Ⅴ－140	1156	図版212	RMW	2	u-81	2	Ⅳc－1	口:18.9cm 底: — 高:(15.0)cm	深鉢B	弧線文・横走沈線;RL縄文／角形口唇・平縁＋突起	W－534
			RMW	2	v-81	7					
			RMW	2	v-82	3					
			RMW	2	w-81	1					
図Ⅴ－140	1157	図版212	RMW	2	z-76	5	Ⅳc－1	口:12.0cm 底: — 高:(10.8)cm	深鉢B	弧線文・鋸歯状沈線・横走沈線;羽状縄文／平縁、丸底気味の底部	W－550
図Ⅴ－140	1158	図版212	RMW	2	x-76	5	Ⅳc－1	口:14.0cm 底: — 高:(9.2)cm	深鉢B	弧線文・横走沈線;LR縄文／平縁＋突起	W－537
			RMW	2	x-77	1					
図Ⅴ－140	1159	図版212	RMW	2	u-87	12	Ⅳc－1	口:14.4cm 底: — 高:(10.2)cm	深鉢B	弧線文・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・波状口縁	W－542
図Ⅴ－140	1160	図版212	RMW	-	w-83	13	Ⅳc－1	口:17.0cm 底:4.8cm 高:9.0cm	鉢	弧線文・横走沈線;LR縄文／角形口唇・平縁	W－555
図Ⅴ－140	1161	図版212	RMW	2	v-82	4	Ⅳc－1	口:16.2cm 底: — 高:(8.6)cm	鉢	弧線文・横走沈線・口唇上鋸歯状沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁＋突起	W－533
			RMW	2	v-83	1					
			RMW	3	v-82	1					
図Ⅴ－141	1162	図版212	RMW	2	z-77	8	Ⅳc－1	口:14.1cm 底: — 高:(8.7)cm	深鉢B	曲沈線・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・緩やかな波状口縁	W－574
図Ⅴ－141	1163	図版212	RMW	2	y-77	8	Ⅳc－1	口:12.9cm 底:3.9cm 高:9.2cm	深鉢B	弧線文・横走沈線;RL縄文／角形口唇・緩やかな波状口縁	W－593
図Ⅴ－141	1164	図版212	RMW	2	t-80	9	Ⅳc－1	口:18.0cm 底: — 高:(9.0)cm	深鉢B	弧線文・横走沈線;RL縄文・無文帯／切出形口唇・平縁＋突起	W－548
図Ⅴ－141	1165	図版212	RMW	2	x-80	5	Ⅳc－1	口:10.8cm 底: — 高:(8.4)cm	台付鉢	弧線文・横走沈線;LR縄文／角形口唇・平縁	W－576
図Ⅴ－141	1166	図版213	RMW	2	y-77	11	Ⅳc－1	口:18.0cm 底:4.8cm 高:9.0cm	鉢	弧線文・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁	W－569
			RMY	1	y-77-10	9					

表Ⅴ－49　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(14)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－141	1167	図版213	RMW	2	u-83	2	Ⅳc－1	口:9.9cm 底: — 高:(5.7)cm	鉢	弧線文・横走沈線;RL縄文／角形口唇・平縁＋突起	W－538
			RMW	2	v-83	1					
図Ⅴ－141	1168	図版213	RMV	2	t-82	1	Ⅳc－1	口:12.0cm 底: — 高:(4.7)cm	鉢	弧線文・横走沈線;RL縄文／平縁	V－552
			RMV	3	t-82	10					
図Ⅴ－141	1169	図版213	RMW	2	w-81	3	Ⅳc		鉢	弧線文;LR縄文	W－600
図Ⅴ－141	1170	図版213	RME	3	s-83-7	1	Ⅳc－1	口:20.1cm 底: — 高:(10.7)cm	深鉢B	曲沈線・鋸歯状沈線・横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁	V－551
			RMV	2	s-83	17					
図Ⅴ－141	1171	図版213	RMV	2	r-83	11	Ⅳc－1	口:14.0cm 底: — 高:(6.5)cm	鉢	曲沈線・横走沈線／切出形口唇・平縁	V－525
			RMV	2	s-83	1					
図Ⅴ－142	1172	図版213	RMW	3	z-76	8	Ⅳc－1	口:17.6cm 底:6.5cm 高:16.3cm	深鉢A	横走沈線;LR縄文・RL縄文・幅広の無文帯／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約85%	W－013
			RMW	T	y-75	1					
図Ⅴ－142	1173	図版215	RMW	3	x-85	1	Ⅳc－1	口:23.1cm 底:5.1cm 高:8.7cm	鉢	横走沈線;LR縄文・RL縄文・無文帯／切出形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約30%	W－202
図Ⅴ－142	1174	図版213	RMD	15	p-86-1	1	Ⅳc－1	口:15.3cm 底:3.3cm 高:8.2cm	鉢	横走沈線;LR縄文／弱い切出形口唇・平縁、補修孔、残存率(接合率)約50%	V－121
			RME	不明	s-82-16	1					
			RMV	1	s-82	2					
			RMV	1	s-83	2					
			RMV	1	t-83	1					
			RMV	2	s-82	7					
			RMV	2	s-83	2					
			RMW	3	y-77	1					
図Ⅴ－142	1175	図版214	RMW	2	x-82	8	Ⅳc－1	口:18.0cm 底:5.0cm 高:14.7cm	深鉢B	横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約80%	W－065
			RMW	3	w-82	1					
			RMW	3	x-82	7					
図Ⅴ－142	1176	図版214	RMV	3	u-82	2	Ⅳc－1	口:15.1cm 底:5.8cm 高:11.6cm	深鉢B	横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)95%以上	V－005
図Ⅴ－142	1177	図版214	RMW	3	x-80	1	Ⅳc－1	口:17.7cm 底:7.2cm 高:15.0cm	深鉢B	横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁、残存率(接合率)約85%	W－032
			RMW	3	y-79	15					
			RMW	3	y-81	3					
図Ⅴ－142	1178	図版214	RMW	3	y-81	1	Ⅳc－1	口:19.0cm 底:5.4cm 高:9.7cm	鉢	横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	W－089
			RMW	3	y-81	3					
			RMW	3	y-82	1					
			RMW	3	y-82	3					
図Ⅴ－142	1179	図版214	RMW	3	x-83	8	Ⅳc－1	口:15.0cm 底:5.1cm 高:12.2cm	深鉢B	横走沈線;LR縄文・無節L縄文／角形口唇・平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約80%	W－029
			RMW	3	y-83	13					
図Ⅴ－142	1180	図版214	RMW	2	x-84	14	Ⅳc	口: — 底:6.6cm 高:(8.2)cm	深鉢A	横走沈線;RL縄文／胴部及び底面に段	W－207
図Ⅴ－143	1181	図版215	RMW	2	y-83	3	Ⅳc－1	口:15.3cm 底: — 高:(11.4)cm	深鉢A	横走沈線;LR縄文／切出形口唇・平縁＋突起、炭化物多量付着	W－549
図Ⅴ－143	1182	図版215	RMW	2	u-82	1	Ⅳc－1	口:21.3cm 底: — 高:(8.4)cm	台付鉢	横走沈線;羽状縄文／角形口唇・平縁	W－577
			RMW	3	u-82	2					
図Ⅴ－143	1183	図版215	RMV	1	t-82	1	Ⅳc－1	口:26.0cm 底: — 高:(19.7)cm	深鉢A	横走沈線;LR縄文／弱い切出形口唇・平縁＋突起	V－524
			RMV	1	t-83	8					
			RMV	2	t-82	1					
			RMV	2	t-83	10					
			RMV	3	t-83	2					
図Ⅴ－143	1184	図版215	RMW	T	x-85-9	2	Ⅳc－1	口:12.9cm 底:1.2cm 高:9.9cm	小型深鉢B	横走沈線;LR縄文／角形口唇・波状口縁＋波頂間に突起、丸底、貫通孔	W－575
図Ⅴ－143	1185	図版215	RMW	2	y-83	1	Ⅳc－1	口:20.0cm 底: — 高:(10.2)cm	深鉢B	横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁＋突起	W－526
			RMW	3	y-83	3					
図Ⅴ－143	1186	図版215	RMW	2	w-80	1	Ⅳc－1	口:15.0cm 底: — 高:(7.5)cm	鉢	横走沈線;RL縄文／角形口唇・平縁＋突起	W－546
			RMW	3	y-74-1	1					
			RMW	3	y-76	1					
図Ⅴ－143	1187	図版215	RMW	2	y-83	10	Ⅳc－1	口:20.0cm 底:6.0cm 高:15.9cm	深鉢B	横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁＋突起	W－527
図Ⅴ－143	1188	図版216	RMW	2	y-83	34	Ⅳc－1	口:26.1cm 底: — 高:(18.2)cm	深鉢B	横走沈線;羽状縄文／切出形口唇・平縁	W－532
図Ⅴ－143	1189	図版215	RMW	3	x-81	6	Ⅳc－1	口:8.4cm 底:3.6cm 高:5.7cm	鉢	横走沈線;RL縄文／切出形口唇・平縁	W－525
図Ⅴ－144	1190	図版216	RMV	1	s-85	10	Ⅳc－1	口:47.2cm 底: — 高:(26.2)cm	大型深鉢A	突瘤;LR縄文・RL縄文／切出形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約30%	V－216
			RMV	2	s-85	14					
			RMV	3	t-85	9					
			RMV	T	s-85	1					

表Ⅴ－50　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(15)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMV	T	t-85	2					
図Ⅴ－144	1191	図版216	RMV	1	u-80	1	Ⅳc－1	口:30.6cm 底:　— 高:(29.6)cm	大型深鉢A	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・緩やかな波状口縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約50%	Ⅴ－092
			RMV	3	u-80	3					
			RMV	3	u-80	12					
			RMV	3	u-81	11					
			RMV	T	u-80	1					
			RMV	T	u-80-2・5・6・10	11					
図Ⅴ－144	1192	図版216	RMV	1	u-80	17	Ⅳc－1	口:32.5cm 底:　— 高:(13.8)cm	大型深鉢A	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約30%	Ⅴ－068
図Ⅴ－144	1193	図版216	RMW	3	y-81	1	Ⅳc－1	口:45.0cm 底:　— 高:(32.6)cm	大型深鉢B	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約40%	W－201
			RMW	3	y-82	42					
図Ⅴ－145	1194	図版216	RMW	3	x-81	44	Ⅳc－1	口:34.2cm 底:　— 高:(22.8)cm	大型深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁、残存率(接合率)約85%	W－033
図Ⅴ－145	1195	図版217	RMW	2	v-87	23	Ⅳc－1	口:34.0cm 底:4.7cm 高:31.3cm	大型深鉢B	突瘤;RL縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約45%	W－139
			RMW	3	v-87	28					
図Ⅴ－145	1196	図版217	RMV	2	s-83	61	Ⅳc－1	口:30.2cm 底:8.5cm 高:33.0cm	大型深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	Ⅴ－044
図Ⅴ－145	1197	図版217	RMV	3	s-85	28	Ⅳc－1	口:36.9cm 底:　— 高:(27.8)cm	大型深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約30%	Ⅴ－219
			RMV	3	s-86	6					
			RMV	T	s-85	1					
			RMV	T	s-85-2	2					
図Ⅴ－146	1198	図版217	RMV	1	u-81	1	Ⅳc－1	口:35.6cm 底:7.0cm 高:28.3cm	大型深鉢B	突瘤;LR縄文・RL縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約55%	Ⅴ－126
			RMV	1	v-81	4					
			RMV	3	u-81	13					
			RMV	3	u-82	22					
図Ⅴ－146	1199	図版217	RMW	3	y-75	11	Ⅳc－1	口:30.2cm 底:　— 高:(24.4)cm	大型深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約50%	W－028
			RMW	T	y-75	2					
			RMW	T	y-76	2					
図Ⅴ－146	1200	図版217	RMW	3	z-78	11	Ⅳc－1	口:36.0cm 底:9.1cm 高:25.7cm	大型深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約40%	W－031
			RMW	3	z-79	41					
図Ⅴ－146	1201	図版218	RMV	3	s-79	1	Ⅳc－1	口:31.1cm 底:　— 高:(20.2)cm	大型深鉢B	突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約50%	Ⅴ－037
			RMV	3	t-79	21					
図Ⅴ－146	1202	図版218	RMW	3	y-81	9	Ⅳc－1	口:38.3cm 底:8.4cm 高:31.8cm	大型深鉢B	突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約85%	W－024
			RMW	3	y-82	72					
図Ⅴ－147	1203	図版218	RMW	2	y-78	3	Ⅳc－1	口:29.0cm 底:8.7cm 高:24.9cm	深鉢B	突瘤;RL縄文／切出形口唇・波状口縁、残存率(接合率)約65%	W－023
			RMW	3	y-82	15					
図Ⅴ－147	1204	図版218	RMW	2	v-80	8	Ⅳc－1	口:19.0cm 底:　— 高:(15.6)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／弱い切出形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約80%	W－048
			RMW	3	w-80	1					
			RMW	T	v-80-14	1					
図Ⅴ－147	1205	図版218	RMW	2	v-78	11	Ⅳc－1	口:20.1cm 底:　— 高:(13.7)cm	深鉢A	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	W－103
			RMW	3	w-78	13					
図Ⅴ－147	1206	図版218	RMV	3	v-78	16	Ⅳc－1	口:23.6cm 底:　— 高:(16.5)cm	深鉢	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁、口縁内湾・変形、残存率(接合率)約40%	Ⅴ－061
			RMW	2	v-78	1					
図Ⅴ－147	1207	図版219	RMV	3	u-81	36	Ⅳc－1	口:20.2cm 底:5.3cm 高:15.8cm	深鉢A	突瘤・内面沈線;羽状縄文・無文帯／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約90%	Ⅴ－030
図Ⅴ－148	1208	図版219	RMV	1	t-80	2	Ⅳc－1	口:17.4cm 底:4.8cm 高:7.6cm	鉢	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約65%	Ⅴ－091
			RMV	1	t-81	9					
			RMV	2	t-81	1					
			RMV	2	t-83	1					
			RMW	2	t-79	1					
			RMW	2	t-80	1					
			RMW	2	v-76	1					
			RMW	3	x-76	1					
図Ⅴ－148	1209	図版219	RMV	1	t-83	1	Ⅳc－1	口:16.8cm 底:3.2cm 高:8.5cm	鉢	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	Ⅴ－089
			RMV	2	u-82	1					
			RMV	2	u-83	1					
			RMV	3	t-83	1					
			RMV	3	u-83	3					
図Ⅴ－148	1210	図版219	RMV	1	s-82	1	Ⅳc－1	口:27.8cm 底:8.7cm 高:26.5cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約45%	Ⅴ－107
			RMV	1	t-82	2					
			RMV	1	t-83	12					
			RMV	1	t-84	1					
			RMV	2	t-82	2					
			RMV	3	t-83	4					
図Ⅴ－148	1211	図版219	RMV	3	v-79	8	Ⅳc－1	口:14.4cm 底:5.8cm 高:10.8cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約70%	Ⅴ－088
			RMV	T	v-80-1	2					
			RMW	2	v-77	4					

表Ⅴ－51　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(16)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－148	1212	図版219	RMW	2	v-80	9	Ⅳc－1	口:17.8cm 底: — 高:(10.1)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	W－107
図Ⅴ－148	1213	図版220	RMW	2	v-81	69	Ⅳc－1	口:37.1cm 底:10.0cm 高:42.3cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約45%	W－157
図Ⅴ－148	1214	図版220	RME	1	u-79-12	1	Ⅳc－1	口:17.7cm 底:7.8cm 高:11.5cm	深鉢B	突瘤;RL縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約50%	W－159
			RME	T	u-80-5・9	2					
			RMW	2	u-79	4					
図Ⅴ－148	1215	図版220	RME	3	s-81-12・16	2	Ⅳc－1	口:18.4cm 底:8.6cm 高:13.1cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁、残存率(接合率)約65%	V－109
			RME	3	s-82-14	1					
			RMV	1	s-82	2					
			RMV	1	t-81	1					
			RMV	2	s-82	3					
			RMV	2	t-81	5					
図Ⅴ－149	1216	図版220	RMW	2	v-78	18	Ⅳc－1	口:23.0cm 底:7.3cm 高:19.1cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約55%	W－116
			RMW	2	w-74	1					
			RMW	3	v-78	1					
図Ⅴ－149	1217	図版220	RMW	3	y-80	1	Ⅳc－1	口:17.7cm 底:15.7cm 高:15.8cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約95%以上	W－021
			RMW	T	y-80	3					
			RMW	T	y-80-1・13	21					
図Ⅴ－149	1218	図版220	RMW	2	y-77	8	Ⅳc－1	口:13.7cm 底:5.0cm 高:9.1cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約80%	W－066
図Ⅴ－149	1219	図版221	RMV	3	t-82	3	Ⅳc－1	口:26.4cm 底: — 高:(19.4)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約50%	V－070
			RMV	3	t-83	2					
			RMV	3	t-84	7					
図Ⅴ－149	1220	図版221	RMW	T	w-80-1	6	Ⅳc－1	口:16.9cm 底: — 高:(11.3)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約50%	W－154
図Ⅴ－149	1221	図版221	RMV	1	u-81	18	Ⅳc－1	口:26.4cm 底:9.5cm 底:23.8cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約80%	V－090
			RMW	2	u-81	23					
			RMW	2	v-81	1					
図Ⅴ－149	1222	図版221	RMW	2	x-76	3	Ⅳc－1	口:17.9cm 底: — 高:(14.5)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約50%	W－106
			RMW	3	y-73	1					
			RMW	T	x-75	2					
図Ⅴ－150	1223	図版221	RMV	1	s-80	1	Ⅳc－1	口:34.1cm 底:(17.6)cm 高: —	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約40%	V－045
			RMV	2	s-85	3					
			RMV	2	s-86	1					
			RMV	3	s-85	24					
			RMV	3	s-86	5					
図Ⅴ－150	1224	図版221	RMW	2	v-81	13	Ⅳc－1	口:16.4cm 底:7.0cm 高:14.3cm	深鉢B	突瘤;一部羽状縄文／平縁、残存率(接合率)約60%	W－045
			RMW	3	w-82	1					
図Ⅴ－150	1225	図版222	RMW	3	x-74	20	Ⅳc－1	口:24.0cm 底:7.8cm 高:17.4cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約90%	W－030
図Ⅴ－150	1226	図版222	RMV	1	u-82	52	Ⅳc－1	口:23.7cm 底:7.8cm 高:18.8cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約45%	V－093
			RMV	3	u-82	2					
図Ⅴ－150	1227	図版222	RMV	T	v-75	1	Ⅳc－1	口:31.8cm 底:10.4cm 高:28.4cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約80%	V－056
			RMV	T	v-75-14	19					
			RMV	T	w-75	2					
			RMV	T	w-75-2	54					
図Ⅴ－150	1228	図版222	RMV	1	t-82	13	Ⅳc－1	口:21.9cm 底: — 高:15.7cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	V－072
			RMW	2	t-81	5					
			RMW	2	t-82	4					
図Ⅴ－151	1229	図版222	RMV	1	v-80	3	Ⅳc－1	口:23.7cm 底: — 高:(20.3)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	V－062
			RMV	T	v-80-5・6・10・14	26					
図Ⅴ－151	1230	図版222	RMV	3	u-81	4	Ⅳc－1	口:16.0cm 底:6.8cm 高:11.6cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約70%	V－024
			RMV	3	u-82	3					
			RMV	3	v-82	1					
図Ⅴ－151	1231	図版223	RMW	2	x-78	8	Ⅳc－1	口:16.6cm 底:4.8cm 高:14.1cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／角形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約70%	W－108
			RMW	3	z-75	6					
図Ⅴ－151	1232	図版223	RMV	2	s-84	72	Ⅳc－1	口:27.0cm 底:8.0cm 高:23.0cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	V－051
図Ⅴ－151	1233	図版223	RMW	2	x-81	2	Ⅳc－1	口:20.5cm 底: — 高:(15.8)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	W－078
			RMW	3	x-81	14					
			RMW	3	y-79	8					
			RMW	3	y-81	2					
図Ⅴ－151	1234	図版223	RMW	2	y-73	42	Ⅳc－1	口:27.4cm 底:7.8cm 高:22.2cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／角形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約80%	W－127
			RMY	3	y-73-11・14	13					
図Ⅴ－151	1235	図版223	RMW	2	v-79	1	Ⅳc－1	口:19.5cm 底:6.5cm 高:12.1cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約55%	W－071
			RMW	T	v-80-13	6					

表Ⅴ－52　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(17)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－152	1236	図版223	RMW	2	x-81	22	Ⅳc－1	口:15.4cm 底:5.2cm 高:10.5cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約50%	W－151
図Ⅴ－152	1237	図版224	RMV	1	u-82	11	Ⅳc－1	口:13.2cm 底:4.2cm 高:10.0cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	V－094
			RMV	3	u-82	14					
図Ⅴ－152	1238	図版224	RMW	3	y-76	27	Ⅳc－1	口:15.2cm 底:5.8cm 高:11.4cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	W－019
図Ⅴ－152	1239	図版224	RMV	3	v-80	4	Ⅳc－1	口:22.7cm 底:6.5cm 高:17.1cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約55%	V－066
			RMV	T	t-80-14	6					
			RMV	T	u-80-2	7					
			RMV	T	v-80-2	3					
図Ⅴ－152	1240	図版224	RMV	1	t-80	2	Ⅳc－1	口:22.8cm 底:　— 高:(15.4)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	V－071
			RMV	2	s-83	2					
			RMV	2	t-80	1					
			RMV	2	t-81	11					
			RMV	2	t-82	3					
			RMV	2	t-83	1					
			RMV	3	t-80	1					
			RMV	3	t-81	3					
			RMV	3	t-82	8					
図Ⅴ－152	1241	図版55	RMW	3	w-82	38	Ⅳc－1	口:25.9cm 底:　— 高:(15.2)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／角形口唇、平縁・残存率(接合率)約80%	W－040
図Ⅴ－152	1242	図版56	RMW	T	z-75	1	Ⅳc－1	口:20.6cm 底:6.0cm 高:14.4cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁、上げ底気味の底部、残存率(接合率)約75%	W－016
			RMW	T	z-75-6	40					
図Ⅴ－152	1243	図版224	RMW	2	w-80	60	Ⅳc－1	口:31.0cm 底:　— 高:27.7cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約55%	W－110
図Ⅴ－152	1244	図版224	RMW	2	x-84	4	Ⅳc－1	口:20.0cm 底:7.4cm 高:20.0cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	W－117
			RMW	3	x-83	12					
			RMW	3	x-84	22					
図Ⅴ－153	1245	図版61	RMV	1	u-82	17	Ⅳc－1	口:26.0cm 底:　— 高:(16.5)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約90%	V－054
図Ⅴ－153	1246	図版225	RMV	1	u-82	4	Ⅳc－1	口:13.5cm 底:4.7cm 高:9.0cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	W－104
			RMW	2	u-81	8					
			RMW	2	u-82	2					
図Ⅴ－153	1247	図版225	RMW	3	y-80	21	Ⅳc－1	口:15.4cm 底:4.2cm 高:8.9cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約80%	W－026
図Ⅴ－153	1248	図版225	RMW	3	z-73	18	Ⅳc－1	口:22.9cm 底:　— 高:14.9cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約70%	W－015
図Ⅴ－153	1249	図版225	RMB	2	r-92	2	Ⅳc－1	口:16.5cm 底:7.6cm 高:10.7cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／平縁、残存率(接合率)約40%	B－008
			RMB	2	r-92-5・6・10	12					
図Ⅴ－153	1250	図版225	RMW	3	x-79	13	Ⅳc－1	口:13.2cm 底:　— 高:(4.2)cm	鉢	突瘤;RL縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約40%	W－136
図Ⅴ－153	1251	図版225	RMB	2	r-91-13	1	Ⅳc－1	口:25.8cm 底:9.8cm 高:22.3cm	深鉢B	突瘤;RL縄文・無文部／角形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約75%	B－003
			RMB	2	r-92-3・9・13	42					
図Ⅴ－153	1252	図版225	RMV	3	u-77	29	Ⅳc－1	口:22.7cm 底:7.9cm 高:21.3cm	深鉢B	突瘤;RL縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約40%	V－209
図Ⅴ－154	1253	図版225	RMW	2	w-78	2	Ⅳc－1	口:26.5cm 底:7.5cm 高:22.7cm	深鉢B	突瘤;RL縄文／切出形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約60%	W－109
			RMW	2	x-78	22					
			RMW	3	x-78	1					
図Ⅴ－154	1254	図版225	RMV	1	s-81	2	Ⅳc－1	口:20.0cm 底:　— 高:(18.7)cm	深鉢B	突瘤;RL縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	V－067
			RMV	1	s-82	31					
図Ⅴ－154	1255	図版227	RMW	T	y-75-9・14	6	Ⅳc－1	口:15.9cm 底:　— 高:(10.8)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／角形口唇・波状口縁	W－590
図Ⅴ－154	1256	図版227	RMVF-18	F1	v-77-15	5	Ⅳc－1	口:24.0cm 底:　— 高:(16.8)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁	V－553
図Ⅴ－154	1257	図版227	RMV	2	t-83	1	Ⅳc－1	口:23.4cm 底:6.3cm 高:17.4cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／平縁	V－528
			RMV	3	t-83	12					
図Ⅴ－154	1258	図版227	RMV	2	s-83	8	Ⅳc－1	口:25.5cm 底:9.9cm 高:20.1cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁	V－533
図Ⅴ－154	1259	図版227	RMV	1	s-83	1	Ⅳc－1	口:15.3cm 底:　— 高:(6.3)cm	鉢	突瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁	V－527
			RMV	2	s-83	1					
			RMV	2	s-84	1					

表Ⅴ－53　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(18)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－155	1260	図版228	RMB	1	r-92-14	27	Ⅳc－1	口:29.1cm 底:— 高:(21.0)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／角形口唇・平縁	B－501
図Ⅴ－155	1261	図版227	RMWF-15	F0	x-75	3	Ⅳc－1		深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁	W－614
図Ⅴ－155	1262	図版227	RMV	2	t-87	6	Ⅳc－1	口:16.5cm 底:— 高:(8.4)cm	鉢	突瘤;RL縄文／角形口唇・平縁	V－534
図Ⅴ－155	1263	図版228	RMB	1	q-92	16	Ⅳc－1	口:25.8cm 底:(9.0)cm 高:(22.5)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁	B－503
図Ⅴ－155	1264	図版228	RMV	1	t-82	6	Ⅳc－1	口:20.1cm 底:— 高:(10.8)cm	鉢	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁	V－529
図Ⅴ－155	1265	図版228	RMW	2	w-79	2	Ⅳc－1	口:28.8cm 底:— 高:(21.0)cm	深鉢B	突瘤・曲沈線;羽状縄文／弱い切出形口唇・平縁	W－592
			RMW	2	x-80	1					
			RMW	3	x-80	8					
			RMW	T	w-80-13	2					
図Ⅴ－156	1266	図版226	RMV	3	u-82	24	Ⅳc－1	口:34.0cm 底:— 高:(32.0)cm	大型深鉢A	突瘤;羽状縄文・無文部／角形口唇・波状口縁	W－591
			RMW	3	y-83	1					
			RMY	3	v-82	2					
図Ⅴ－156	1267	図版226	RMV	3	u-81	42	Ⅳc－1		深鉢A	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁	V－610
図Ⅴ－156	1268	図版226	RMV	3	v-76	1	Ⅳc－1	口:37.2cm 底:— 高:(26.6)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁	V－532
			RMV	3	v-77	4					
			RMV	3	v-78	12					
図Ⅴ－156	1269	図版229	RMV	2	r-85	3	Ⅳc－1	口:28.2cm 底:— 高:(26.8)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁	V－536
			RMV	2	r-86	4					
			RMV	3	r-86	1					
			RMV	3	s-87	1					
			RMV	3	s-88	6					
図Ⅴ－156	1270	図版229	RMV	3	u-77	2	Ⅳc－1	口:32.0cm 底:— 高:(17.2)cm	深鉢B	突瘤;LR縄文／切出形口唇・平縁	V－537
			RMV	3	u-78	7					
			RMV	3	u-80	2					
図Ⅴ－157	1271	図版229	RMV	2	t-88	6	Ⅳc－1	口:40.0cm 底:— 高:(32.4)cm	深鉢B	突瘤;RL縄文／角形口唇・平縁	V－526
			RMV	3	s-88	15					
			RMV	3	t-88	3					
図Ⅴ－157	1272	図版229	RMV	2	t-81	2	Ⅳc－1	口:29.6cm 底:— 高:(29.2)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁	V－535
図Ⅴ－157	1273	図版229	RMV	1	u-84	7	Ⅳc－1	口:38.4cm 底:— 高:(19.4)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁	V－530
図Ⅴ－157	1274	図版229	RMVF-40	F0	z-72-4	2	Ⅳc－1		深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁	V－603
			RMVF-40	F0	z-73-1	2					
図Ⅴ－157	1275	図版230	RMV	3	t-88	9	Ⅳc－1	口:41.2cm 底:— 高:(19.0)cm	深鉢B	突瘤;羽状縄文／切出形口唇・平縁	V－531
図Ⅴ－158	1276	図版230	RMW	2	v-84	1	Ⅳc－1	口:12.8cm 底:4.4cm 高:4.3cm	浅鉢	RL縄文のみ／平縁、残存率(接合率)約65%	W－149
			RMW	2	y-84	6					
図Ⅴ－158	1277	図版230	RMW	2	w-76	1	Ⅳc－1	口:14.7cm 底:2.2cm 高:4.7cm	浅鉢	LR縄文のみ／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	W－148
			RMW	2	x-76	9					
図Ⅴ－158	1278	図版230	RMV	T	v-80	1	Ⅳc－1	口:8.1cm 底:3.4cm 高:4.0cm	鉢	LR縄文のみ／角形口唇・平縁、丸底、残存率(接合率)約75%	V－006
図Ⅴ－158	1279	図版230	RME	3	u-80-8	1	Ⅳc－1	口:10.4cm 底:3.4cm 高:5.4cm	鉢	LR縄文のみ／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約90%	W－143
			RMG	1	v-81-3	1					
			RMW	2	t-80	4					
			RMW	2	u-81	1					
図Ⅴ－158	1280	図版230	RMV	3	u-81	19	Ⅳc－1	口:14.5cm 底:2.4cm 高:4.9cm	浅鉢	乱れた羽状縄文／切出形口唇・平縁、丸底気味の底部、残存率(接合率)約45%	V－096
図Ⅴ－158	1281	図版230	RMV	1	u-84	10	Ⅳc－1	口:14.0cm 底:5.0cm 高:8.6cm	鉢	LR縄文のみ／角形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約70%	V－086
			RMW	2	u-84	2					
図Ⅴ－158	1282	図版230	RMW	2	y-81	4	Ⅳc－1	口:11.2cm 底:— 高:7.0cm	鉢	LR縄文のみ／角形口唇・平縁＋突起、残存率(接合率)約75%	W－121
			RMW	3	y-81	12					
図Ⅴ－158	1283	図版231	RMW	2	z-73	4	Ⅳc－1	口:10.8cm 底:4.6cm 高:7.8cm	鉢	LR縄文のみ／角形口唇・平縁、丸底気味の底部、残存率(接合率)約55%	W－079
図Ⅴ－158	1284	図版231	RMV	2	u-86	1	Ⅳc－1	口:11.5cm 底:4.5cm 高:9.2cm	鉢	LR縄文のみ／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約85%	W－113
			RMV	3	v-82	1					
			RMW	2	u-82	1					
			RMW	2	v-79	1					
			RMW	2	v-81	1					
			RMW	2	w-79	1					
			RMW	3	w-79	5					

表Ⅴ－54　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(19)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－158	1285	図版231	RMV	3	u-82	1	Ⅳc－1	口:13.4cm 底: — 高:7.8cm	鉢	LR縄文・RL縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	W－096
			RMW	2	u-81	7					
図Ⅴ－158	1286	図版231	RMW	2	w-74	2	Ⅳc－1	口:15.5cm 底:4.6cm 高:7.0cm	鉢	やや乱れた羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	W－097
			RMW	3	w-76	4					
			RMW	3	x-76	1					
図Ⅴ－158	1287	図版231	RMW	2	v-82	8	Ⅳc－1	口:11.6cm 底:5.0cm 高:8.5cm	鉢	LR縄文のみ／平縁、丸底、残存率(接合率)約80%	W－073
図Ⅴ－158	1288	図版231	RMV	3	t-83	11	Ⅳc－1	口:14.8cm 底: — 高:(7.7)cm	鉢	LR縄文・RL縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	V－022
図Ⅴ－158	1289	図版231	RMW	3	x-77	14	Ⅳc－1	口:15.0cm 底:3.1cm 高:7.6cm	鉢	RL縄文のみ／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約55%	W－102
図Ⅴ－158	1290	図版231	RMW	2	w-76	35	Ⅳc－1	口:11.9cm 底: — 高:(19.0)cm	鉢	RL縄文のみ／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約70%	W－126
図Ⅴ－158	1291	図版232	RMV	T	t-85	5	Ⅳc－1	口:14.0cm 底:5.4cm 高:8.3cm	鉢	羽状縄文のみ／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約45%	V－098
図Ⅴ－158	1292	図版232	RMW	3	y-79	5	Ⅳc－1	口:11.8cm 底:4.0cm 高:9.9cm	鉢	LR縄文のみ／角形口唇・5単位の波状口縁、残存率(接合率)約60%	W－037
図Ⅴ－158	1293	図版232	RMV	2	r-87	4	Ⅳc－1	口:13.4cm 底:5.2cm 高:11.2cm	鉢	RL縄文のみ／平縁、残存率(接合率)約40%	V－218
			RMV	3	r-85	1					
			RMV	3	r-86	1					
			RMV	3	r-87	2					
			RMV	3	s-83	1					
			RMV	3	s-87	5					
図Ⅴ－158	1294	図版232	RMW	3	w-78	1	Ⅳc－1	口:14.8cm 底:4.5cm 高:10.4cm	鉢	LR縄文のみ／平縁、残存率(接合率)約85%	W－005
図Ⅴ－158	1295	図版232	RMW	2	u-81	3	Ⅳc－1	口:11.3cm 底:4.5cm 高:7.5cm	鉢	羽状縄文のみ／平縁、残存率(接合率)約80%	W－042
			RMW	2	u-82	6					
			RMW	2	v-82	1					
図Ⅴ－159	1296	図版232	RMW	T	y-75	5	Ⅳc－1	口:18.5cm 底:6.0cm 高:7.9cm	鉢	LR縄文・RL縄文／平縁、残存率(接合率)約85%	W－018
			RMW	T	z-75	3					
図Ⅴ－159	1297	図版232	RMV	3	u-78	6	Ⅳc－1	口:20.3cm 底:4.1cm 高:5.7cm	鉢	羽状縄文のみ／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約90%	W－049
			RMW	2	u-78	11					
図Ⅴ－159	1298	図版232	RMV	1	u-80	29	Ⅳc－1	口:24.8cm 底: — 高:(10.6)cm	鉢	羽状縄文のみ／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約80%	V－053
			RMW	T	u-80	1					
図Ⅴ－159	1299	図版233	RMW	2	u-81	14	Ⅳc－1	口:21.0cm 底:6.0cm 高:9.7cm	鉢	LR縄文・RL縄文／平縁、残存率(接合率)約60%	W－047
			RMW	2	v-81	3					
図Ⅴ－159	1300	図版233	RMV	3	u-78	13	Ⅳc－1	口:25.4cm 底:7.0cm 高:10.4cm	鉢	羽状縄文のみ／やや肥厚する角形口唇・平縁、残存率(接合率)約55%	V－033
			RMV	3	v-76	4					
図Ⅴ－159	1301	図版233	RMW	2	w-82	4	Ⅳc－1	口:20.0cm 底:4.0cm 高:9.8cm	鉢	RL縄文のみ／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約90%	W－039
			RMW	3	w-81	11					
			RMW	3	w-83	4					
図Ⅴ－159	1302	図版233	RMV	2	r-84	6	Ⅳc－1	口:26.6cm 底:8.5cm 高:11.4cm	鉢	LR縄文のみ／平縁、残存率(接合率)約75%	V－074
			RMV	3	r-84	12					
			RMV	3	r-85	1					
			RMV	T	s-85	1					
図Ⅴ－159	1303	図版233	RMW	2	z-75	3	Ⅳc－1	口:19.6cm 底: — 高:(9.6)cm	鉢	乱れた羽状縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	W－076
			RMW	3	z-75	8					
			RMW	T	z-75	8					
図Ⅴ－159	1304	図版233	RMW	3	x-76	19	Ⅳc－1	口:20.8cm 底: — 高:(15.7)cm	深鉢B	LR縄文のみ／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	W－036
図Ⅴ－159	1305	図版233	RMV	3	u-78	23	Ⅳc－1	口:21.6cm 底: — 高:(13.6)cm	深鉢B	羽状縄文のみ／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約55%	V－087
			RMV	3	w-75	6					
			RMV	3	w-76	3					
図Ⅴ－160	1306	図版233	RMW	2	w-85	3	Ⅳc－1	口:17.3cm 底: — 高:(9.5)cm	深鉢B	LR縄文のみ／平縁＋5単位の突起、残存率(接合率)約45%	W－146
			RMW	3	v-83	3					
			RMW	3	v-87	10					
			RMW	3	v-88	2					
			RMW	3	w-85	1					
			RMW	T	w-85-6	1					
図Ⅴ－160	1307	図版234	RMW	2	x-77	2	Ⅳc－1	口:16.0cm 底:5.8cm 高:10.3cm	深鉢B	RL縄文のみ／弱い切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	W－101
			RMW	2	y-77	4					
			RMW	3	y-77	2					
図Ⅴ－160	1308	図版234	RMW	2	w-74	1	Ⅳc－1	口:17.3cm 底:8.0cm 高:10.7cm	深鉢B	LR縄文のみ／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約85%	W－053
			RMW	2	w-75	12					
			RMW	T	w-75	2					
			RMW	T	w-75-14	2					

表Ⅴ－55　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(20)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－160	1309	図版234	RMW	2	x-75	11	Ⅳc－1	口:15.7cm 底: — 高:(11.3)cm	深鉢B	LR縄文のみ／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	W－098
図Ⅴ－160	1310	図版234	RMW	2	x-78	10	Ⅳc－1	口:20.8cm 底: — 高:(10.7)cm	深鉢B	LR縄文のみ／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	W－069
			RMW	3	x-79	5					
図Ⅴ－160	1311	図版234	RMV	3	u-79	18	Ⅳc－1	口:18.8cm 底:5.8cm 高:(12.0)cm	深鉢B	RL縄文(・内面沈線)／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約70%	V－039
			RMV	3	v-79	2					
図Ⅴ－160	1312	図版234	RMV	1	t-82	12	Ⅳc－1	口:18.2cm 底:6.0cm 高:12.3cm	深鉢B	乱れた羽状縄文／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	V－065
図Ⅴ－160	1313	図版235	RMW	2	t-79	30	Ⅳc－1	口:18.8cm 底:6.0cm 高:13.0cm	深鉢B	RL縄文・LR縄文／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	W－122
図Ⅴ－160	1314	図版235	RMV	3	t-79	28	Ⅳc－1	口:24.0cm 底: — 高:(16.6)cm	深鉢B	RL縄文のみ／角形口唇・平縁、補修孔、残存率(接合率)約80%	V－014
図Ⅴ－160	1315	図版235	RMW	2	w-76	23	Ⅳc－1	口:18.6cm 底: — 高:(14.4)cm	深鉢B	LR縄文のみ／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約80%	W－068
図Ⅴ－161	1316	図版235	RMV	3	u-79	53	Ⅳc－1	口:25.5cm 底: — 高:(14.6)cm	深鉢B	羽状縄文のみ／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約50%	V－220
図Ⅴ－161	1317	図版235	RMW	2	x-78	10	Ⅳc－1	口:17.1cm 底:6.3cm 高:7.8cm	鉢	羽状縄文／切出形口唇、平縁、残存率(接合率)約60%	W－059
			RMW	3	x-78	2					
図Ⅴ－161	1318	図版235	RMV	1	t-83	14	Ⅳc－1	口:18.2cm 底:6.8cm 高:7.9cm	鉢	LR縄文のみ／角形口唇・平縁、貫通孔、残存率(接合率)約80%	V－085
			RMV	2	t-83	1					
			RMW	2	t-83	5					
			RMW	2	t-84	4					
図Ⅴ－161	1319	図版236	RMW	3	x-83	12	Ⅳc－1	口:18.5cm 底: — 高:10.0cm	鉢	LR縄文のみ／平縁、残存率(接合率)約45%	W－161
			RMW	3	y-83	1					
図Ⅴ－161	1320	図版236	RMV	3	u-83	70	Ⅳc－1	口:22.1cm 底:11.0cm 高:25.4cm	深鉢A	LR縄文のみ／平縁、胴部ゆがみ大、残存率(接合率)約75%	V－034
図Ⅴ－161	1321	図版236	RMV	2	r-86	1	Ⅳc－1	口:20.7cm 底: — 高:17.3cm	深鉢A	羽状縄文・無文帯／やや肥厚する角形口唇・平縁、残存率(接合率)約65%	V－026
			RMV	3	r-86	6					
			RMV	3	s-84	1					
			RMV	3	s-86	12					
図Ⅴ－161	1322	図版236	RMB	2	r-92-5・10・14	36	Ⅳc－1	口:23.4cm 底:6.7cm 高:20.7cm	深鉢B	LR縄文・無文部／角形口唇、平縁、残存率(接合率)約60%	B－002
			RMB	2	s-92-3	1					
			RMB	T	r-92-11・15	2					
図Ⅴ－161	1323	図版236	RMV	3	t-83	3	Ⅳc－1	口:5.2cm 底:6.5cm 高:2.5cm	小型鉢	羽状縄文のみ／平縁、残存率(接合率)約60%	V－117
図Ⅴ－161	1324	図版236	RMV	3	s-84	1	Ⅳc	口: — 底:11.3cm 高:(7.7)cm	(台)	RL縄文(・沈線)	V－227
図Ⅴ－162	1325	図版237	RMV	3	t-83	11	Ⅳc－1	口:32.4cm 底: — 高:(17.2)cm	大型深鉢B	羽状縄文のみ／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約30%	V－221
			RMV	3	u-82	5					
			RMV	3	u-83	4					
図Ⅴ－162	1326	図版55	RMW	2	v-77	99	Ⅳc－1	口:42.4cm 底:8.0cm 高:42.0cm	大型深鉢A	羽状縄文・無文帯／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約80%	W－051
			RMW	3	v-77	5					
図Ⅴ－162	1327	図版237	RMW	3	w-78	56	Ⅳc－1	口:(37.3)cm 底:8.6cm 高:(32.7)cm	大型深鉢A	RL縄文のみ／残存率(接合率)約60%	W－133
図Ⅴ－162	1328	図版237	RMV	1	u-88	1	Ⅳc－1	口:32.0cm 底: — 高:(16.2)cm	大型深鉢B	羽状縄文のみ／切出形口唇・平縁	V－544
			RMV	1	u-89	6					
			RMV	3	v-89	2					
図Ⅴ－162	1329	図版237	RMW	1	v-78	4	Ⅳc－1	口:28.0cm 底: — 高:(22.6)cm	大型深鉢A	LR縄文のみ／弱い切出形口唇、平縁	W－560
			RMW	2	v-78	12					
図Ⅴ－162	1330	図版237	RMV	1	t-81	12	Ⅳc	口: — 底:9.2cm 高:(17.6)cm	大型深鉢B	羽状縄文のみ	V－548
図Ⅴ－163	1331	図版238	RMV	T	r-85	2	Ⅳc－1	口:13.8cm 底:4.2cm 高:5.0cm	浅鉢	LR縄文のみ／切出形口唇・平縁	V－543
			RMV	T	r-85-6	2					
図Ⅴ－163	1332	図版238	RMV	3	u-78	3	Ⅳc－1	口:13.8cm 底: — 高:(7.1)cm	鉢	LR縄文のみ／切出形口唇・平縁	V－538
図Ⅴ－163	1333	図版238	RMV	3	s-85	3	Ⅳc－1	口:15.3cm 底:5.0cm 高:8.7cm	鉢	LR縄文のみ／弱い切出形口唇・平縁	V－539
図Ⅴ－163	1334	図版238	RMV	3	z-73	22	Ⅳc－1	口:19.1cm 底:4.8cm 高:15.0cm	深鉢A	LR縄文・RL縄文／弱い切出形口唇・平縁	V－540

表Ｖ－56　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(21)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ｖ－163	1335	図版238	RMV	3	s-86	4	Ⅳc－1	口:17.7cm 底: — 高:(9.6)cm	深鉢B	RL縄文のみ／切出形口唇・平縁	Ｖ－541
図Ｖ－163	1336	図版238	RMV	2	t-82	8	Ⅳc－1	口:16.2cm 底: — 高:(11.7)cm	深鉢B	羽状縄文のみ／角形口唇・波状口縁	Ｖ－542
図Ｖ－163	1337	図版237	RMV	3	z-73	23	Ⅳc－1	口:21.0cm 底: — 高:(20.0)cm	深鉢B	RL縄文・LR縄文／切出形口唇・平縁	Ｖ－545
			RMW	3	y-74	2					
図Ｖ－163	1338	図版238	RMV	T	s-85	1	Ⅳc	口: — 底:7.5cm 高:(6.3)cm	深鉢B	LR縄文のみ	Ｖ－549
図Ｖ－163	1339	図版238	RMW	2	z-76	1	Ⅳc－1		鉢	LR縄文のみ／平縁＋突起、上底気味の底部	Ｗ－703
図Ｖ－163	1340	図版238	RMV	T	w-75-6	1	Ⅳc－1	口:16.2cm 底: — 高:(13.8)cm	深鉢A	刺突列;LR縄文・無文帯／角形口唇・波状口縁	Ｗ－541
			RMW	2	x-73	2					
			RMW	2	x-74	1					
			RMW	2	x-74-1	1					
			RMW	2	y-73	5					
			RMW	3	y-75	1					
			RMY	2	w-74-15	1					
図Ｖ－164	1341	図版239	RMA	5	p-91-4	91	Ⅳc－1	口:29.9cm 底:7.7cm 高:29.8cm	大型深鉢B	突瘤;(無文)／弱い切出形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約85%	Ａ－001
図Ｖ－164	1342	図版239	RMV	3	t-82	5	Ⅳc－1	口:15.0cm 底: — 高:(10.7)cm	深鉢B	突瘤;(無文)／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約45%	Ｖ－023
			RMV	3	u-82	1					
図Ｖ－164	1343	図版239	RMW	2	v-83	1	Ⅳc－1	口:18.8cm 底:7.0cm 高:11.3cm	鉢	突瘤;(無文)／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	Ｗ－147
			RMW	2	v-84	1					
			RMW	3	v-84	8					
			RMW	3	w-83	1					
			RMW	3	w-84	1					
図Ｖ－164	1344	図版239	RMV	3	u-77	1	Ⅳc－1	口:10.6cm 底:3.9cm 高:7.0cm	鉢	突瘤;(無文)／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約80%	Ｖ－027
			RMV	3	v-77	7					
図Ｖ－164	1345	図版239	RMW	3	z-74	1	Ⅳc－1	口:21.3cm 底:6.6cm 高:17.7cm	深鉢B	突瘤;(無文)／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約75%	Ｗ－017
			RMW	3	不明	11					
			RMW	T	y-75	4					
図Ｖ－164	1346	図版239	RMV	3	t-84	4	Ⅳc－1	口:17.0cm 底: — 高:(10.8)cm	深鉢B	突瘤;(無文)／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約25%	Ｖ－210
図Ｖ－165	1347	図版240	RMV	1	t-80	6	Ⅳc－1	口:27.0cm 底:6.2cm 高:24.0cm	深鉢A	(無文)／やや肥厚する角形口唇・平縁＋2個単位の突起、残存率(接合率)約25%	Ｖ－212
			RMV	2	t-80	1					
			RMV	3	t-80	4					
			RMV	3	u-79	10					
			RMV	3	u-80	2					
図Ｖ－165	1348	図版240	RMV	2	t-86	21	Ⅳc－1	口:14.7cm 底: — 高:9.0cm	深鉢B	(無文)／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約70%	Ｖ－052
図Ｖ－165	1349	図版240	RMW	2	y-75	1	Ⅳc－1	口:19.2cm 底:6.3cm 高:11.2cm	鉢	(無文)／平縁、残存率(接合率)約60%	Ｗ－087
			RMW	3	y-75	2					
			RMW	3	y-76	2					
			RMW	T	y-75	1					
			RMW	T	y-75-10・14	3					
図Ｖ－165	1350	図版240	RMW	2	x-76	7	Ⅳc－1	口:24.8cm 底: — 高:(7.9)cm	鉢	(無文)／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約45%	Ｗ－086
			RMW	3	x-76	3					
図Ｖ－165	1351	図版240	RMV	3	v-78	1	Ⅳc－1	口:25.8cm 底:8.0cm 高:8.6cm	鉢	(無文)／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約90%	Ｗ－085
			RMW	2	v-78	19					
			RMW	2	v-79	9					
図Ｖ－165	1352	図版240	RMW	2	w-86	23	Ⅳc－1	口:19.7cm 底:14.2cm 高:6.5cm	深鉢A	(無文)／角形口唇・平縁、胴部くびれ2ヵ所、残存率(接合率)約50%	Ｗ－057
図Ｖ－165	1353	図版61	RMV	3	s-82	50	Ⅳc－1	口:27.9cm 底:9.0cm 高:22.8cm	深鉢B	(無文)／弱い切出形口唇・平縁、炭化物多量付着、残存率(接合率)約90%	Ｖ－013
図Ｖ－166	1354	図版241	RMV	3	t-79	1	Ⅳc－1	口:7.5cm 底:3.2cm 高:3.9cm	小型片口付き鉢	(無文)／平縁・片口付き、丸底気味の底部、残存率(接合率)約90%	Ｖ－007
図Ｖ－166	1355	図版241	RMW	3	x-84	1	Ⅳc－1	口:9.1cm 底:3.8cm 高:4.5cm	小型鉢	(無文)／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約70%	Ｗ－012
図Ｖ－166	1356	図版241	RMW	3	w-78	1	Ⅳc－1	口:8.7cm 底:3.7cm 高:4.8cm	小型鉢	(無文)／角形口唇・平縁、残存率100%	Ｗ－008
図Ｖ－166	1357	図版241	RMV	1	t-81	2	Ⅳc－1	口:11.5cm 底: — 高:(3.3)cm	浅鉢	(無文)／角形口唇・平縁、胎土に砂粒多い、残存率(接合率)約60%	Ｖ－080
			RMV	2	t-81	6					
			RMV	3	t-81	1					
図Ｖ－166	1358	図版241	RMV	2	t-88	1	Ⅳc－1	口:10.1cm	浅鉢	(無文)／平縁、残存率(接合率)	Ｖ－119

表Ⅴ－57　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(22)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMV	3	t-87	3		底：— 高:4.2cm		約30%	
図Ⅴ－166	1359	図版241	RMW	3	v-79	1	Ⅳc－1	口:10.5cm 底:5.8cm 高:4.5cm	小型鉢	(無文)／平縁、残存率(接合率)約55%	W－011
図Ⅴ－166	1360	図版241	RMW	1	u-80	1	Ⅳc－1	口:10.8cm 底:4.4cm 高:7.4cm	小型鉢	(無文)／平縁、残存率(接合率)約70%	W－114
			RMV	1	u-81	1					
			RMW	2	u-81	7					
図Ⅴ－166	1361	図版241	RMW	3	x-75	1	Ⅳc－1	口:10.2cm 底:5.4cm 高:6.3cm	小型鉢	(無文)／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約80%	W－010
図Ⅴ－166	1362	図版242	RMW	2	w-76	9	Ⅳc－1	口:9.6cm 底:5.0cm 高:7.1cm	小型鉢	(無文)／平縁、器形ゆがみ大きい、残存率(接合率)約60%	W－088
図Ⅴ－166	1363	図版242	RMV	3	v-78	3	Ⅳc－1	口:15.8cm 底:5.0cm 高:5.0cm	浅鉢	(無文)／やや肥厚する切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約95%	V－029
			RMW	2	v-77	2					
図Ⅴ－166	1364	図版242	RMV	3	t-79	1	Ⅳc－1	口:12.3cm 底：— 高:(5.8)cm	小型鉢	(無文)／切出形口唇・平縁、残存率(接合率)約60%	V－079
			RMV	3	u-79	6					
			RMW	2	w-76	1					
図Ⅴ－166	1365	図版242	RMW	T	w-80	1	Ⅳc－1	口:10.4 底：—(丸) 高:5.1cm	小型鉢	(無文)／角形口唇・平縁、丸底、残存率(接合率)約95%	W－007
図Ⅴ－166	1366	図版242	RMV	2	t-84	3	Ⅳc－1	口:15.2cm 底：— 高:(5.9)cm	鉢	(無文)／平縁、残存率(接合率)約60%	V－081
			RMV	3	t-80	1					
			RMV	3	t-81	5					
図Ⅴ－166	1367	図版242	RMV	3	s-84	1	Ⅳc－1	口:14.3cm 底:4.2cm 高:5.8cm	鉢	(無文)／平縁、残存率(接合率)約80%	V－015
			RMV	T	s-85	4					
図Ⅴ－166	1368	図版242	RMW	2	w-75	1	Ⅳc－1	口:12.9cm 底:3.6cm 高:4.4cm	浅鉢	(無文)／角形口唇・平縁、上げ底気味の底部、残存率(接合率)約80%	W－075
			RMW	2	x-74	3					
			RMW	2	x-75	1					
図Ⅴ－166	1369	図版242	RMV	1	v-80	2	Ⅳc－1	口:8.9cm 底:1.6cm 高:9.1cm	小型鉢	(無文)／平縁、極小の上げ底、残存率(接合率)約40%	V－078
図Ⅴ－166	1370	図版243	RMV	3	v-77	7	Ⅳc－1	口:15.5cm 底：— 高:(6.8)cm	鉢	(無文)／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約40%	V－082
図Ⅴ－166	1371	図版243	RMV	1	u-80	1	Ⅳc－1	口:15.5cm 底:5.9cm 高:7.4cm	鉢	(無文)／切出形口唇・平縁、黒色物質付着、残存率(接合率)約90%	W－043
			RMV	2	u-81	2					
			RMW	2	u-80	9					
			RMW	T	u-80	2					
図Ⅴ－166	1372	図版243	RMV	3	v-77	27	Ⅳc	口：— 底:11.0cm 高:(7.9)cm	(台)	(無文)／残存率(接合率)約40%	V－104
図Ⅴ－166	1373	図版243	RMW	2	w-74	1	Ⅳc－1	口:14.0cm 底:6.9cm 高:(4.0)cm	台付浅鉢	(無文)／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約65%	W－131
			RMW	2	w-75	3					
			RMY	T	x-75	2					
図Ⅴ－167	1374	図版243	RMV	3	t-82	7	Ⅳb－4	口:7.2cm 底：— 高:(6.5)cm	注口 (口頸部)	刻み列・帯状文;LR縄文・RL縄文／切出形口唇・平縁	V－223
図Ⅴ－167	1375	図版243	RMW	3	x-82	2	Ⅳb－4	口:7.7cm 底：— 高:(7.6)cm	注口 (口頸部)	刻み列・帯状文;LR縄文・RL縄文／平縁＋突起	W－216
			RMW	3	y-81	7					
図Ⅴ－167	1376	図版244	RMVF	F1	w-77	1	Ⅳb－4	口:8.7cm 胴:16.2cm 高:16.3cm	注口	刻み列・入り組み帯状文(櫛がけ)・貼瘤;羽状縄文／角形口唇・平縁、極小の上げ底、黒色物質付着、残存率(接合率)約95%	V－002
図Ⅴ－167	1377	図版244	RMV	3	u-79	1	Ⅳb－4	口:10.8cm 胴:11.6cm 高:(9.9)cm	注口	刻み列・入り組み帯状文(渦状)・貼瘤;羽状縄文／残存率(接合率)約85%	V－004
図Ⅴ－167	1378	図版58	RMV	3	t-82	2	Ⅳb－4	口:7.6cm 胴:15.3cm 高:15.5cm	注口	刻み列・帯状文(弧線・横走)・貼瘤;羽状縄文・無文部／角形口唇・平縁、残存率(接合率)約95%	V－003
図Ⅴ－168	1379	図版244	RMV	1	u-87	8	Ⅳb－4	口:6.4cm 底：— 高:(5.9)cm	注口 (口頸部)	刻み列・帯状文・貼瘤;羽状縄文・無文帯／平縁＋突起、頸部	V－224
			RMV	2	u-87	4					
図Ⅴ－168	1380	図版244	RMW	3	t-82	5	Ⅳb－4	口:6.8cm 底：— 高:(7.2)cm	注口 (口頸部)	刻み列;(口頸部無文)／角形口唇・平縁、口縁部外反	V－222
図Ⅴ－168	1381	図版56	RMW	2	w-77	21	Ⅳb－4	口:4.2cm 胴:14.2cm 高:21.3cm	注口	刻み列・帯状文(弧線・縦走)・貼瘤;LR縄文・RL縄文／平縁、丸底、残存率(接合率)約85%	W－099
図Ⅴ－168	1382	図版244	RMW	1	v-78	1	Ⅳb－4	口：— 胴:18.7cm 高:(14.5)cm	注口	刻み列・入り組み帯状文(渦状)・貼瘤;羽状縄文／残存率(接合率)約65%	W－077
			RMW	2	v-78	8					
			RMW	3	v-78	5					
			RMW	3	w-78	1					
			RMW	3	w-79	4					
図Ⅴ－169	1383	図版244	RMA	3	o-90-16	1	Ⅳb－4	口：— 底:14.8cm	注口	刻み列・入り組み帯状文・横走沈線・貼瘤;羽状縄文／極小の上げ	A－002
			RMA	3	o-91-9・13	3					

表Ⅴ－58　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(23)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMA	4	o-91-9・13	16		高:(13.9)cm		底、注口部無文・完形、アスファルトわずかに付着、残存率(接合率)約60%	
			RMA	4	p-91-2・16	2					
			RMA	5	o-91-5・13・14・16	8					
			RMA	5	p-91-2	1					
			RMA	11	p-90-12	1					
			RMA	11	p-91-10	1					
			RMA	12	o-91-12・14	3					
			RMA	12	p-90-4	1					
			RMA	12	p-91-1・2	5					
			RMA	T	o-90-5	1					
			RMB	2	q-90-5	1					
図Ⅴ－169	1384	図版245	RMW	3	x-79	10	Ⅳb－4	口：— 胴:11.2cm 高:(7.8)cm	注口	刻み列・弧線帯状文・貼瘤;LR縄文／残存率(接合率)約50%	W－137
図Ⅴ－169	1385	図版245	RMV	3	u-83	25	Ⅳb－4	口：— 胴:17.9cm 高:(18.6)cm	注口	刻み列・入り組み帯状文・貼瘤;羽状縄文／平縁、極小の上げ底、残存率(接合率)約25%	V－228
図Ⅴ－169	1386	図版58	RMV	T	s-85	59	Ⅳb－4	口:4.5cm 胴:20.0cm 高:18.8cm	注口	刻み列・入り組み帯状文(襷がけ)・貼瘤;RL縄文／角形口唇・平縁、頸部段、丸底、残存率(接合率)約80%	V－036
図Ⅴ－170	1387	図版245	RMW	2	x-74	1	Ⅳb－4	口：— 胴:15.0cm 高:12.1cm	注口	刻み列・弧線帯状文・格子目状沈線・貼瘤;LR縄文・RL縄文／残存率(接合率)約60%	W－165
			RMW	3	x-73	1					
			RMW	3	x-74	20					
図Ⅴ－170	1388	図版245	RMW	3	z-74	17	Ⅳb－4	口：— 胴:13.6cm 高:(15.2)cm	注口	刻み列・帯状文(木葉文)・横走沈線;羽状縄文／極小の上げ底、残存率(接合率)約60%	W－020
図Ⅴ－170	1389	図版245	RMW	2	v-87	5	Ⅳb－4	口：— 胴:14.7cm 高:(10.5)cm	注口	刻み列・帯状文(弧線)・貼瘤;LR縄文	W－568
			RMW	3	v-87	6					
図Ⅴ－170	1390	図版245	RLP-34	覆土1	q-79	2	Ⅳb－4	口：— 胴:19.0cm 高:(17.7)cm	注口	刻み列・入り組み帯状文(襷がけ)・くの字状の帯状文・貼瘤;羽状縄文・磨り消し明瞭／注口部無文・完形、極小の上げ底、黒色物質付着、残存率(接合率)約60%	V－100
			RME	1	t-79-14	1					
			RME	1	u-79-2	1					
			RMV	1	s-82	1					
			RMV	1	t-81	1					
			RMV	1	t-83	1					
			RMV	1	t-88	1					
			RMV	1	u-80	1					
			RMV	2	s-83	1					
			RMV	2	s-84	1					
			RMV	3	t-79	1					
			RMV	3	v-79	1					
			RMV	3	v-82	1					
			RMV	T	u-80-14	1					
			RMW	2	t-80	3					
			RMW	2	u-80	4					
			RMW	2	v-79	1					
			RMW	2	w-78	1					
			RMW	2	w-84	1					
			RMW	T	u-80-6・9・14	6					
			RMX	1	y-81-1	1					
			RMX	T	y-80-5	1					
			RMY	1	v-81	1					
			RMY	10	v-78-4	2					
			RMY	T	v-80-2	1					
			RMZ	10	u-78-3・4	2					
図Ⅴ－171	1391	図版246	RMV	2	t-80	1	Ⅳb－4	口：— 胴:11.2cm 高:(6.9)cm	壺	刻み列;羽状縄文／残存率(接合率)約50%	V－106
			RMV	3	t-80	1					
			RMV	3	u-78	5					
			RMV	3	u-80	2					
			RMV	T	t-80	1					
			RMV	T	t-80-10・14	5					
図Ⅴ－171	1392	図版246	RMV	3	t-85	2	Ⅳb－4	口：— 胴:17.3cm 底:(23.0)cm	注口	刻み列・入り組み帯状文・無文帯;羽状縄文／アスファルト付着、残存率(接合率)約60%	V－042
			RMV	T	t-85-2	43					
図Ⅴ－171	1393	図版246	RMW	T	t-80-9	23	Ⅳb－4	口:6.1cm 胴:14.7cm 高:15.2cm	注口	刻み列;LR縄文・無文帯／平縁、残存率(接合率)約70%	W－132
図Ⅴ－171	1394	図版246	RMA	4	p-91-7	1	Ⅳb－4	口：— 底:16.3cm 高:(13.8)cm	注口	刻み列・弧線文・横走沈線・貼瘤;LR縄文・RL縄文／残存率(接合率)約80%	A－006
			RMA	5	o-91-15	1					
			RMA	5	p-91-3	23					
図Ⅴ－172	1395	図版246	RMW	2	x-76	1	Ⅳc	口：— 胴:16.7cm 高:(11.8)cm	注口	弧線帯状文・貼瘤;羽状縄文／アスファルト付着、残存率(接合率)約40%	W－156
			RMW	2	y-74	7					
図Ⅴ－172	1396	図版246	RMW	3	x-75	1	Ⅳc	口：— 胴:18.2cm 高:(12.3)cm	注口	入り組み帯状文(渦状)・貼瘤(刻み有り);羽状縄文／残存率(接合率)約60%	W－006
図Ⅴ－172	1397	図版247	RMV	3	u-81	6	Ⅳc－1	口：— 胴:18.1cm 高:(18.1)cm	注口	帯状文(弧線・横走)・貼瘤(刻み有り);羽状縄文／残存率(接合率)約40%	V－113
			RMV	3	v-81	1					
			RMV	3	v-82	16					

表Ⅴ－59　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(24)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－172	1398	図版74・75	RMW	3	x-80	24	Ⅳc－1	口:5.2cm 胴:18.0cm 高:20.9cm	注口(壺)	入り組み帯状文(櫛がけ)・貼瘤;羽状縄文・口頸部無文／平縁、注口部は焼成後の貫通孔のみ、残存率(接合率)約90%	W－100
図Ⅴ－173	1399	図版247	RMV	2	t-81	1	Ⅳc	口:－－ 胴:16.0cm 高:(12.7)cm	注口	曲線帯状文・弧線文・貼瘤;羽状縄文／注口部無文・完形、残存率(接合率)約50%	V－131
図Ⅴ－173	1400	図版247	RMV	3	r-82	15	Ⅳc－1	口:8.0cm 胴:16.6cm 高:(16.0)cm	注口	帯状文(木葉文・横走)・貼瘤;LR縄文／残存率(接合率)約40%	V－225
図Ⅴ－173	1401	図版247	RMW	2	y-84	1	Ⅳc－1	口:－ 胴:21.2cm 高:(11.8)cm	注口	帯状文(木葉文)・横走沈線・貼瘤;羽状縄文／胎土に砂粒多く含む、残存率(接合率)約25%	W－168
			RMW	3	x-81	2					
			RMW	3	x-84	21					
			RMW	3	y-81	3					
			RMW	3	y-82	2					
図Ⅴ－173	1402	図版247	RMB	1	q-90-12	2	Ⅳc－1	口:－ 胴:15.8cm 高:(15.1)cm	注口	入り組み帯状文・隆帯・貼瘤;LR縄文・RL縄文／残存率(接合率)約70%	B－006
			RMB	1	q-91-5・9・13	3					
			RMB	1	r-90-16	1					
			RMB	1	r-91-1・2・6・10	22					
			RMB	2	r-91-6	1					
			－	Ⅲ下	r-91	1					
			－	Va	q-90	1					
			－	Va	q-91	1					
			－	Va	r-91	2					
図Ⅴ－174	1403	図版247	RMV	1	t-82	2	Ⅳc	口:－ 胴:16.4cm 高:(12.2)cm	注口	帯状文(櫛がけ・横走)・貼瘤;LR縄文／残存率(接合率)約70%	V－095
			RMV	1	u-84	1					
			RMV	2	t-82	2					
			RMV	3	t-84	1					
			RMV	3	u-82	15					
			RMV	3	v-82	4					
			RMW	2	v-83	1					
図Ⅴ－174	1404	図版57	RMW	3	y-78	15	Ⅳc	口:－ 胴:15.9cm 高:(11.1)cm	注口	入り組み帯状文・貼瘤;羽状縄文／上げ底ぎみの底部、残存率(接合率)約70%	W－134
図Ⅴ－174	1405	図版248	RMV	3	t-85	60	Ⅳc	口:－ 胴:14.6cm 高:10.0cm	注口	入り組み帯状文(渦状)・貼瘤;LR縄文／残存率(接合率)約50%	V－130
図Ⅴ－174	1406	図版248	RME	3	s-82-1・5・9	6	Ⅳc	口:－ 胴:－ 高:(10.3)cm	注口	曲線帯状文・貼瘤;LR縄文	V－226
			RMV	2	s-82	3					
図Ⅴ－174	1407	図版248	RMW	2	v-82	4	Ⅳc	口:－ 胴:13.7cm 底:(9.0)cm	注口	入り組み帯状文(櫛がけ)・貼瘤;LR縄文・RL縄文／極小の上げ底、残存率(接合率)約50%	W－164
図Ⅴ－175	1408	図版249	RMV	2	u-81	2	Ⅳc－1	口:13.2cm 底:－ 高:(8.1)cm	注口	帯状文;羽状縄文／角型口唇・平縁	W－595
			RMW	2	u-80	3					
図Ⅴ－175	1409	図版249	RMV	3	z-73	2	Ⅳc		注口	帯状文(木葉文・横走)・貼瘤;RL縄文／注口部無文・完形	V－701
図Ⅴ－175	1410	図版249	RMW	3	z-75	7	Ⅳc	口:－ 胴:17.4cm 高:(13.1)cm	注口	入り組み帯状文(櫛がけ・横走)・貼瘤;羽状縄文	W－561
図Ⅴ－175	1411	図版249	RMW	3	x-74	10	Ⅳc	口:－ 胴:17.4cm 高:(10.8)cm	注口	入り組み帯状文(渦状)・貼瘤;LR縄文・RL縄文	W－562
図Ⅴ－175	1412	図版249	RMW	3	y-74	14	Ⅳc	口:－ 胴:18.3cm 高:(10.5)cm	注口	入り組み帯状文・横走する帯状文・貼瘤;羽状縄文	W－563
図Ⅴ－175	1413	図版249	RMW	3	v-88	6	Ⅳc	口:－ 胴:16.8cm 高:(12.0)cm	注口	帯状文(弧線・横走)・貼瘤;RL縄文	W－566
			RMW	3	v-89	5					
			RMW	T	w-85	2					
図Ⅴ－175	1414	図版249	RMW	3	x-81	18	Ⅳc	口:－－ 胴:17.7cm 高:(10.5)cm	注口	帯状文(弧線・横走);LR縄文・RL縄文／	W－565
			RMW	3	y-82	1					
図Ⅴ－175	1415	図版249	RMW	3	x-81	2	Ⅳc－1	口:－ 胴:13.5cm 高:(9.9)cm	注口	帯状文(弧線・横走)・横走沈線・貼瘤;羽状縄文	W－596
			RMW	3	x-83	3					
図Ⅴ－175	1416	図版249	RMW	T	W-85-9	1	Ⅳc－1		注口	格子目状沈線・横走沈線;LR縄文・RL縄文／平縁＋突起	W－406
図Ⅴ－176	1417	図版249	RMW	2	w-84	7	Ⅳc－1	口:5.0cm 底:－ 高:(9.0)cm	注口	弧線文・横走沈線;LR縄文／平縁＋突起	W－212
図Ⅴ－176	1418	図版248	RMK	1	w-84-16	4	Ⅳc－1	口:(3.8)cm 胴:15.3cm 高:(13.7)cm	注口	弧線文・横走沈線・貼瘤;LR縄文／残存率(接合率)約30%	W－155
			RMW	2	t-80	19					
			RMW	2	w-84	1					
図Ⅴ－176	1419	図版250	RME	3	s-82-16	1	Ⅳc－1	口:6.9cm 胴:14.2cm 高:(14.5)cm	注口	弧線文・横走沈線・貼瘤;LR縄文／注口部無文・完形、アスファルト付着、残存率(接合率)約50%	V－123
			RME	3	t-82-4	5					
			RME	3	t-83-3	1					
			RMV	1	t-82-4	2					
			RMV	1	t-83	4					
			RMV	1	t-84-3	2					

表Ⅴ－60 盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(25)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMV	2	s-82	2					
			RMV	2	s-83	1					
			RMV	2	t-82	1					
図Ⅴ－176	1420	図版250	RMV	3	t-82	4	Ⅳc	口：—	壺	弧線文・横走沈線；羽状縄文／上げ底気味の底部、残存率(接合率)約60%	Ⅴ－102
			RMV	3	t-83	7		胴:11.6cm			
			RMV	3	v-82	4		高:(9.9)cm			
図Ⅴ－176	1421	図版20	RMW	2	w-81	38	Ⅳc	口：—	注口	曲沈線・横走沈線・貼瘤；LR縄文／残存率(接合率)約45%	Ｗ－142
								胴:13.1cm			
								高:(8.2)cm			
図Ⅴ－176	1422	図版250	RMW	2	v-79	2	Ⅳc	口：—	注口	格子目状沈線・横走沈線；羽状縄文	Ｗ－211
			RMW	2	w-81	3		胴:16.5cm			
			RMY	2	v-78-6	5		高:(8.0)cm			
図Ⅴ－176	1423	図版250	RMW	3	x-81	2	Ⅳc	口：—	注口	弧線文・貼瘤；LR縄文／残存率(接合率)約30%	Ｗ－203
			RMW	3	y-81	14		胴:16.1cm			
			RMW	3	y-82	1		高:(10.2)cm			
図Ⅴ－176	1424	図版250	RMW	2	z-76	8	Ⅳc－1	口:5.3cm	壺	横走沈線；羽状縄文／平縁＋突起、上げ底気味の底部、残存率(接合率)約40%	Ｗ－213
								胴:11.1cm			
								高:13.2cm			
図Ⅴ－176	1425	図版251	RMW	3	x-79	12	Ⅳc	口：—	壺	横走沈線；LR縄文・無文帯／上げ底気味の底部、残存率(接合率)約75%	Ｗ－123
								胴:9.1cm			
								高:(8.4)cm			
図Ⅴ－177	1426	図版249	RMW	3	x-83	4	Ⅳc－1	口：—	注口	弧線文・横走沈線・貼瘤；LR縄文・RL縄文	Ｗ－567
								胴:14.3cm			
								高:(8.7)cm			
図Ⅴ－177	1427	図版249	RMW	3	x-81	12	Ⅳc	口：—	注口	弧線文・渦文・横走沈線・貼瘤；羽状縄文	Ｗ－564
								胴:16.5cm			
								高:(9.3)cm			
図Ⅴ－177	1428	図版251	RMW	2	w-81	12	Ⅳc	口：—	壺	LR縄文／残存率(接合率)約40%	Ｗ－144
			RMW	2	w-81-15	1		胴:9.9cm			
			RMW	3	w-81	1		高:(8.6)cm			
図Ⅴ－177	1429	図版57	RMW	3	u-84	1	Ⅳc－1	口:4.9cm	壺	羽状縄文／平縁、残存率(接合率)約95%	Ｗ－002
								胴:11.7cm			
								高:12.8cm			
図Ⅴ－177	1430	図版57	RMW	－	w-86	1	Ⅳc－1	口:8.4cm	注口	LR縄文・RL縄文／上げ底気味の底部、残存率(接合率)約95%	Ｗ－001
								胴:16.8cm			
								高:17.5cm			
図Ⅴ－177	1431	図版251	RMV	3	t-85	26	Ⅳc	口：—	注口	(無文)／極小の上げ底、残存率(接合率)約70%	Ⅴ－038
								胴:10.5cm			
								高:(7.7)cm			
図Ⅴ－177	1432	図版249	RMB	2	s-91-9	1	Ⅳc－2		注口	弧線文・格子目状沈線・縦位の沈線・多段の貼瘤；RL縄文	Ｂ－601(南北盛土接合)
			N盛土	N12	O-75	1					
			N盛土	N13	N-76	4					
			N盛土	N4	O-77	1					
図Ⅴ－178	1433	図版65	RMV	3	v-74	2	Ⅳc		深鉢B	LR縄文／内面広範囲に赤色顔料付着	Ⅴ－605
			RMV	3	v-76	1					
			RMV	3	v-77	6					
			RMV	3	v-78	1					
			RMV	3	v-79	1					
			RMW	2	v-75	2					
			RMW	2	v-76	2					
			RMW	2	v-77	2					
			RMW	2	y-73	2					
			RMW	2	y-76	1					
			RMW	2	z-73	1					
			－	V d13	x-65	1					
図Ⅴ－178	1434	図版65	RMW	2	y-73	12	Ⅳb－4	口：—	注口	刻み列；羽状縄文／上げ底気味の底部、内面広範囲に赤色顔料付着、残存率(接合率)約30%	Ｗ－199
								胴:15.3cm			
								高:(11.0)cm			
図Ⅴ－178	1435	図版65	RMV	3	v-76	2	Ⅳb－4	口:(9.5)cm	注口	刻み列・入り組み帯状文・横走沈線貼瘤；羽状縄文・無文帯／角形口唇・平縁、内面広範囲に赤色顔料付着、残存率(接合率)約70%	Ｗ－200
			RMV	3	v-77	1		胴:18.4cm			
			RMW	3	w-75	3		高:16.8cm			
			RMW	3	y-73	5					
			RMW	T	w-75	6					
図Ⅴ－179	1436	図版58	RMV	3	u-81	1	Ⅳc－1	口:6.1cm	単孔壺	イナズマ状沈線・横走沈線；LR縄文／口縁部内傾、切出形口唇・平縁、貫通孔、残存率100%	Ⅴ－001
								胴:12.4cm			
								高:14.2cm			
図Ⅴ－179	1437	図版251	RMW	2	v-76	11	Ⅳc	口：—	単孔壺	横走沈線；LR縄文	Ｗ－217
			RMW	3	v-76	1		胴:10.9cm			
								高:(9.7)cm			
図Ⅴ－179	1438	図版251	RMJ	1	t-87-7・13	3	Ⅳb－4	口：—	単孔壺	刻み列・入り組み帯状文(櫛がけ)・横位の帯状文・貼瘤；羽状縄文／極小の上げ底、貫通孔、胎土に砂粒多い、残存率(接合率)約50%	Ⅴ－111
			RMV	1	t-88	1		胴:7.8cm			
			RMV	1	u-84	1		高:(8.0)cm			
			RMV	3	t-85	3					
図Ⅴ－179	1439	図版251	RMW	2	w-81	2	Ⅳc		香炉形(頂部)	帯状文(弧線・横走)・刺突列・刻み；LR縄文／すかし2ヵ所	特－202
図Ⅴ－179	1440	図版252	RMW	3	x-74	1	Ⅳc		香炉形(突起？)	沈線・刻み；LR縄文／貫通孔・すかし	特－403
図Ⅴ－179	1441	図版252	RMB	1	q-91-11・12・15	12	Ⅳc－1	口:(6.7)cm	香炉形注口	弧線帯状文・横走沈線・貼瘤；LR縄文／頂部突起・すかし2ヵ所、極小の上げ底、残存率(接合率)約	Ｂ－005
			RMB	1	r-90-4	1		胴:13.2cm			
			RMB	2	q-91-11・15	5		高:(13.0)cm			

表Ⅴ－61　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(26)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			－	Ⅲ下	q-91	3				70%	
			－	Va	q-90	1					
			－	Va	q-91	9					
図Ⅴ－179	1442	図版252	RMW	3	x-76	1	Ⅳc－1		把手付鉢	RL縄文／切出形口唇・平縁＋突起・把手	特－702
図Ⅴ－179	1443	図版252	RMV	T	v-80	T	Ⅳc－1		把手付鉢	羽状縄文／切出形口唇・平縁・把手	特－703
図Ⅴ－179	1444	図版252	RMW	2	w-85	1	Ⅳc－1	口:9.9cm 底:3.4cm 高:6.3cm	把手付浅鉢	羽状縄文／平縁、把手、上げ底気味の底部	W－009
図Ⅴ－179	1445	図版252	RMV	3	v-76	3	Ⅳc		深鉢	格子目状沈線;羽状縄文／極小の上げ底・底面木葉圧痕	特－504
図Ⅴ－179	1446	図版252	RMW	3	w-79	1	Ⅳb－4		不明	刻み列・貼瘤;RL縄文	W－401
図Ⅴ－179	1447	図版252	RMW	3	w-82	1	Ⅳc－1		注口付鉢	弧線文・横走沈線・貼瘤;RL縄文	W－403
図Ⅴ－179	1448	図版252	RMW	T	t-80-5	2	Ⅳb－4		片口付鉢	刻み列・内面沈線;LR縄文・RL縄文／平縁＋片口	W－402
図Ⅴ－179	1449	図版252	RMV	3	t-78	1	Ⅳb－4		片口付鉢	刻み列・横走沈線;羽状縄文／口縁部内湾・平縁＋片口	V－401
図Ⅴ－180	1450	図版253	RMW	3	y-80	3	Ⅳc－1	口:24.4cm 底: — 高:9.1cm	片口付鉢	弧線文・横走沈線・区画に沿う刺突列;LR縄文／平縁＋片口、丸底、残存率(接合率)約55%	W－150
			RMW	T	y-80-5	1					
図Ⅴ－180	1451	図版253	RMV	1	t-86	1	Ⅳc－1	長:(11.8cm) 幅:(9.1cm) 高:(4.0cm)	四脚付浅鉢	弧線文／平縁＋突起、脚、残存率(接合率)約50%	特－208
			RMV	3	u-84	1					
図Ⅴ－180	1452	図版253	RMW	2	x-81	1	Ⅳc－1	長:(15.4cm) 幅:(5.5cm) 高:(2.8cm)	舟形浅鉢	沈線／平縁・突起・把手	特－206
			RMW	2	x-82	8					
図Ⅴ－181	1453	図版65	RMW	2	t-83	1	Ⅳc－0		注口(頸部)	微隆線(入り組み帯状文・横走する帯状文)・大小の貼瘤／全面赤彩、胎土緻密、残存率(接合率)約20%	微－003(南北盛土接合)
				V－ロ	b-48	1					
				V－ロ	b-49	1					
			S盛土	1	T-61	1					
			S盛土	4	V-60	2					
			S盛土	不明	V-59	1					
			C盛土	1	U-63	1					
			N盛土	4	S-65	1					
				Va	U-63	1					
				Ⅳ	S-62	1					
図Ⅴ－181	1454	図版255	RMWF-53	F0	x-74	1	Ⅳc－0		注口(底部)	微隆線(横走する帯状文)／上げ底気味の底部、胎土緻密	微－012
図Ⅴ－181	1455	図版66	RMV	1	s-86	1	Ⅳc－0		注口	微隆線(弧線帯状文・横走する帯状文)・大小の貼瘤／把手、丸底、赤彩、胎土緻密、残存率(接合率)約20%	微－005(南北盛土接合)
			RMV	2	t-81	1					
			RMV	2	s-85	1					
			RMV	3	s-87	1					
			RMVF-6	F1	t-87	1					
			RMK	1	x-85-3	1					
			IMA	1	o-95	1					
			IMB	1		5					
			IMBF-10	F		1					
				Vb	q-93	1					
					Q-87	1					
			N盛土	N30	Q-87	1					
			AKD-2		y-47	1					
				V	e-48	6					
				V	e-49	1					
				Ⅳ	f-50	2					
図Ⅴ－181	1456	図版66	RMV	2	u-86	1	Ⅳc－0		注口(頸部)	微隆線(弧線・横走)・大小の貼瘤／頸部に開口部、赤彩、残存率(接合率)約20%	微－006(南北盛土接合)
			IMA	1	o-94	1					
			IMB	1	r-96	1					
				V	l-101	1					
				V	l-102	9					
				V	m-98	1					
				V	m-101	2					
				V	m-102	3					
				V	n-102	2					
			N盛土	N26	O-84	1					
				Va	u-91	1					
図Ⅴ－181	1457	図版66	RMW	2	w-74	1	Ⅳc－0		注口(頸部)	微隆線(弧線・横走)・大小の貼瘤／赤彩	微－014
			RMW	2	w-84	1					
			RMW	2	x-74	1					
			RLR-3	1	v-65	1					
図Ⅴ－181	1458	図版66	RMV	2	t-88	1	Ⅳc－0		注口(口頸部)	微隆線・小型の貼瘤／角型口唇・平縁＋突起、赤彩、胎土緻密	微－015
			RMV	3	t-88	1					
			RMV	3	u-88	3					
図Ⅴ－181	1459	図版66	RMB	1	r-90-11・15	2	Ⅳc－0		注口	微隆線(弧線帯状文・横走する帯状文)・隆帯上に斜方向の刻み列・大小の貼瘤・横走沈線／頸部に開口部、赤彩	微－004(南北盛土接合)
			RMB	1	r-91-13	1					
			RMB	1	s-91-13	2					
			RMB	2	s-91-13	1					
			RMD	12	r-88-5	1					

表Ⅴ－62　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(27)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
			RMK	1	w-85-15	1					
			RMK	1	y-84-4	1					
			RMV	3	r-88	1					
			RMW	2	y-81	1					
			RMX	1	y-81-1･5	2					
			IMA	1	o-94	3					
			IMA	1	q-93	1					
			IMB	1	r-93	2					
			IMB	2	r-94	1					
				Ⅰ	o-92	1					
				Ⅰ	q-94	1					
				Ⅰ	r-93	1					
				Va	r-94	1					
				Va	r-90	1					
				Va	y-81	1					
				Ⅲ下	s-92	1					
			N盛土	N4	L-72	1					
			N盛土	N25	N-83	1					
図Ⅴ－181	1460	図版66	RMW	2	w-76	8	Ⅳc－0		注口（頸部）	微隆線（入り組み帯状文･横走する帯状文）･小型の貼瘤／赤彩、胎土緻密	微－013
			RMW	2	x-74	1					
			RMW	2	y-73	3					
			RMW	T	y-75	1					
			RMY	2	w-76-14	1					
			RMY	2	w-78-7	1					
			RMZ	10	u-77-11	1					
				Ⅴ	Z-47	3					
			AKD-2		Z-49	1					
図Ⅴ－181	1461	図版66	RMW	3	z-74	1	Ⅳc－0		注口	微隆線（横走する帯状文･弧線帯状文）／平縁＋突起	微－011
			RMV	3	t-81-6	1					
図Ⅴ－181	1462	図版66	RMW	2	u-78	1	Ⅳc－0		注口	微隆線（弧線帯状文）･刻み／胎土緻密	微－705
図Ⅴ－181	1463	図版66	RMV	T	t-85	1	Ⅳc－0		注口	微隆線（弧線帯状文）	微－704
図Ⅴ－181	1464	図版66	RMV	1	s-84	1	Ⅳc－0		注口	帯状文（入り組み･横走）･小型の貼瘤;LR縄文／平縁＋突起、赤彩、胎土緻密	微－007（南北盛土接合）
			RMV	3	r-82	1					
			RME	3	s-83-11	2					
			RME	3	u-83-2	2					
			N盛土	上	Q-62	1					
				Ⅳ	U-59	1					
図Ⅴ－182	1465	図版253	RMV	1	s-85-5	1	Ⅰb-1		深鉢	縄端圧痕	早－002
図Ⅴ－182	1466	図版253	RMV	3	t-84-10	1	Ⅰb-1		深鉢	組紐圧痕	早－008
図Ⅴ－182	1467	図版253	RMW	3	w-79	1	Ⅰb-1		深鉢	組紐圧痕	早－006
図Ⅴ－182	1468	図版253	RMW	2	v-78	1	Ⅰb-1		深鉢	組紐圧痕･短縄文	早－017
図Ⅴ－182	1469	図版253	RMD	20	p-84-8	1	Ⅰb-1		深鉢	短縄文･組紐圧痕	早－012
図Ⅴ－182	1470	図版253	RMW	2	u-81	1	Ⅰb-1		深鉢	貼付帯;組紐圧痕	早－011
図Ⅴ－182	1471	図版253	RMB	2	r-91-2	1	Ⅰb-1		深鉢	短縄文	早－013
図Ⅴ－182	1472	図版253	RMW	2	u-83	1	Ⅰb-1		深鉢	組紐圧痕･短縄文	早－015
図Ⅴ－182	1473	図版253	RMA	4	o-91	1	Ⅰb-1		深鉢	絡状体圧痕	早－003
図Ⅴ－182	1474	図版253	RMD	20	p-84-7	1	Ⅰb-1		深鉢	絡状体圧痕	早－005
			RMD	SE1	r-81	1					
図Ⅴ－182	1475	図版253	RMV	3	u-84	1	Ⅰb-1		深鉢	絡状体圧痕･LR縄文	早－019
図Ⅴ－182	1476	図版253	RMV	2	u-86	1	Ⅰb-1		深鉢	絡状体圧痕･短縄文	早－001
図Ⅴ－182	1477	図版253	RMD	2	r-81-3	1	Ⅰb-1		深鉢	絡状体圧痕	早－020
			RMV	3	r-81	1					
図Ⅴ－182	1478	図版253	RMW	2	u-78	1	Ⅰb-1		深鉢	絡状体圧痕	早－022
			RMW	T	t-85	1					
図Ⅴ－182	1479	図版253	RMV	2	r-82	1	Ⅰb-1		深鉢	絡状体圧痕	早－021
				Vb	r-81	1					
				Vb	q-82	1					
図Ⅴ－182	1480	図版253	RMV	1	t-87	1	Ⅰb-1		深鉢	短縄文･LR縄文	早－024
図Ⅴ－182	1481	図版253	RMV	T	s-85	1	Ⅰb-1		深鉢	短縄文	早－023
図Ⅴ－182	1482	図版253	RMV	1	u-86	1	Ⅰb-2		深鉢	貼付帯;短縄文	早－026
図Ⅴ－182	1483	図版253	RMD	20	p-84-7	1	Ⅰb-2		深鉢	貼付帯;LR縄文	早－027
図Ⅴ－182	1484	図版253	RMV	T	u-85	1	Ⅰb-2		深鉢	貼付帯;組紐圧痕	早－028
図Ⅴ－182	1485	図版253	RMW	2	x-73	1	Ⅰb-4		深鉢	絡状体圧痕･撚糸文	早－035
図Ⅴ－182	1486	図版253	RMV	3	q-84	1	Ⅰb-4		深鉢	撚糸文･縄端圧痕	早－031
				Vb	q-84	1					
図Ⅴ－182	1487	図版253	RMW	3	x-77	1	Ⅰb-4		深鉢	撚糸文	早－033
図Ⅴ－182	1488	図版253	RMD	20	p-87-6	1	Ⅰb-4		深鉢	撚糸文･縄端圧痕	早－034
			RMD	20	p-87-13	1					
図Ⅴ－182	1489	図版253	RMB	1	q-91-14	1	Ⅰb-4		深鉢	撚糸文･縄端圧痕	早－037
図Ⅴ－182	1490	図版253	RMV	2	t-86	1	Ⅰb-4		深鉢	撚糸文	早－044
図Ⅴ－182	1491	図版254	RMD	20	p-86-1	1	Ⅰb-4		深鉢	撚糸文	早－042
図Ⅴ－182	1492	図版254	RMW	2	w-84	1	Ⅰb-4		深鉢	撚糸文	早－040
			RMW	3	w-84	1					
図Ⅴ－182	1493	図版254	RMV	3	u-80	1	Ⅰb-4		深鉢	撚糸文	早－039
図Ⅴ－182	1494	図版254	RMW	2	u-81	1	Ⅰb-4		深鉢	撚糸文	早－046
			RMW	2	u-81	1					
図Ⅴ－182	1495	図版254	RLR－7	1	x-66	1	Ⅱa		深鉢	LR縄文(･節の磨り消し)	前－001
図Ⅴ－182	1496	図版254	RMV	3	t-82	1	Ⅱa		深鉢	綱文(･節の磨り消し)	前－002
図Ⅴ－182	1497	図版254	RMV	3	u-82	1	Ⅱa		深鉢	綱文(･節の磨り消し)	前－004

表Ⅴ－63　盛土遺構－下位出土掲載土器一覧(28)

挿図番号	土器No.	写真図版	遺構	層位	発掘区	点数	分類	測定値	器種(部	文様等；地文等／器形・特徴	整理番号
図Ⅴ－182	1498	図版254	RMV	2	t-86	2	Ⅱa		深鉢	綱文(・節の磨り消し)	前－005
図Ⅴ－182	1499	図版254	RMW	2	y-73	1	Ⅱa		深鉢	綱文(・節の磨り消し)	前－008
図Ⅴ－182	1500	図版254	RMB	1	s-91-6	1	Ⅱa		深鉢	綱文(・節の磨り消し)	前－006
図Ⅴ－182	1501	図版254	RMZ	10	u-78-11	1	Ⅱa		深鉢	綱文(・節の磨り消し)	前－010
図Ⅴ－182	1502	図版254	RMV	3	s-78	2	Ⅱb		深鉢	LR縄文	前－011
				SE1	s-78	1					
図Ⅴ－182	1503	図版254	RME	3	t-81-6	1	Ⅱb		深鉢	LR縄文	前－012
			RMV	10	t-84	1					
			RMV	3	u-81	1					
図Ⅴ－183	1504	図版254	RMW	3	y-73	1	Ⅲa		深鉢	貼付帯・刺突;LR縄文	中－002
図Ⅴ－183	1505	図版254	RMW	2	y-79	1	Ⅲa		深鉢	貼付帯	中－003
図Ⅴ－183	1506	図版254	RMW	3	y-75	1	Ⅲa		深鉢	貼付帯・押引文;RL縄文	中－005
図Ⅴ－183	1507	図版254	RMV	3	x-72	1	Ⅲa		深鉢	貼付帯;LR縄文	中－006
図Ⅴ－183	1508	図版254	RMV	2	w-74	1	Ⅲa		深鉢	貼付帯・指頭押捺・押引沈線	中－008
図Ⅴ－183	1509	図版254	RMW	2	w-77	1	Ⅲb-1		深鉢	貼付帯・指頭押捺・押引文(刺突)	中－012
図Ⅴ－183	1510	図版254	RMW	2	y-71	1	Ⅲb-1		深鉢	貼付帯・押引文(刺突)・LR縄文	中－011
図Ⅴ－183	1511	図版254	RMV	2	s-81	1	Ⅲb-1		深鉢	貼付帯・押引文(刺突)	中－010
図Ⅴ－183	1512	図版254	RMW		不明	1	Ⅲb-1		深鉢	RLR縄文	中－009
図Ⅴ－183	1513	図版254	RMW	2	y-73	1	Ⅲb-1		深鉢	押引文;RL縄文	中－013
図Ⅴ－183	1514	図版254	RMW	2	w-77	1	Ⅲb-1		深鉢	押引文;LR縄文	中－014
図Ⅴ－183	1515	図版254	RMW	T	x-75	2	Ⅲb-2		深鉢	押引文(刺突列);LR縄文	中－015
図Ⅴ－183	1516	図版254	RMW	2	y-73	1	Ⅲb-2		深鉢	貼付帯・縄文圧痕;LR縄文	中－016
図Ⅴ－183	1517	図版254	RMW	T	v-85	2	Ⅲb-2		深鉢	貼付帯;LR縄文	中－017
図Ⅴ－183	1518	図版254	RMW	2	w-78	1	Ⅲb		深鉢	刺突列;LR縄文	中－022
			RMW	3	w-84	1					
図Ⅴ－183	1519	図版254	RMV	1	t-80	1	Ⅲb-2		深鉢	貼付帯・刺突;LR縄文	中－018
図Ⅴ－183	1520	図版254	RMV	3	s-80	1	Ⅲb-2		深鉢	綾繰文	中－019
図Ⅴ－183	1521	図版254	RMW	2	s-84	1	Ⅲb-2		深鉢	綾繰文・LR縄文	中－020
図Ⅴ－183	1522	図版254	RMW	2	w-81	1	Ⅲb-3		深鉢	刺突;LR縄文	中－021
図Ⅴ－183	1523	図版254	RMW	1	v-78	1	Ⅳa		深鉢	貼付帯・刺突;LR縄文(外・上)	後－006
図Ⅴ－183	1524	図版254	RMV	3	s-84	1	Ⅳa		深鉢	貼付帯;RL縄文(外・内・上)	後－001
図Ⅴ－183	1525	図版254	RMV	2	u-85	1	Ⅳa		深鉢	貼付帯;RL縄文(外・内・上)	後－002
図Ⅴ－183	1526	図版254	RMW	10	u-88	1	Ⅳa		深鉢	貼付帯;RL縄文(外・内・上)	後－003
図Ⅴ－183	1527	図版254	RMW	3	x-77	1	Ⅳa		深鉢	貼付帯;LR縄文(外・上)	後－004
図Ⅴ－183	1528	図版254	RMW	T	v-77-13	1	Ⅳa		深鉢	貼付帯;羽状縄文(外・内)	後－005
図Ⅴ－183	1529	図版254	RMW	2	u-83	1	Ⅳa		深鉢	LR縄文(外・上)	後－010
図Ⅴ－183	1530	図版254	RMW	2	x-76	1	Ⅳa		深鉢	RL縄文・LR縄文(外・内・上)	後－009
図Ⅴ－183	1531	図版254	RMW	2	x-82	1	Ⅳa		深鉢	羽状縄文(外・内・上)	後－011
図Ⅴ－184	1532	図版255	RMW	2	u-76	1	Ⅳa		深鉢	貼付帯;RL縄文(外・内・上)	後－016
			RMW	2	w-76	1					
			RMW	2	x-77	1					
図Ⅴ－184	1533	図版255	RMW	2	y-76	1	Ⅳa		深鉢	羽状縄文(外・内・上)	後－012
図Ⅴ－184	1534	図版255	RMV	3	t-79	1	Ⅳa		深鉢	縄文圧痕・LR縄文(外・上)	後－015
			RMV	3	t-75	1					
図Ⅴ－184	1535	図版255	RMV	3	t-79	2	Ⅳa		深鉢	貼付帯・縄文圧痕;RL縄文	後－013
図Ⅴ－184	1536	図版255	RMV	3	v-82	1	Ⅳa		深鉢	貼付帯;LR縄文(外・上)	後－014
図Ⅴ－184	1537	図版255	RMV	3	v-78	1	Ⅳa		深鉢	縄文圧痕・羽状縄文	後－019
図Ⅴ－184	1538	図版255	RMW	3	y-77	2	Ⅳa		深鉢	羽状縄文	後－017
			RMW	3	w-78	1					
図Ⅴ－184	1539	図版255	RMW	10	u-89	2	Ⅳa		深鉢	RL縄文	後－022
図Ⅴ－184	1540	図版255	RMW	2	u-80	2	Ⅳa-2		深鉢	波状沈線・区画文;LR縄文	後－023
図Ⅴ－184	1541	図版255	RMV	3	s-83	1	Ⅳa-2		深鉢	鍵手状の沈線・横走沈線;LR縄文	後－024
図Ⅴ－184	1542	図版255	RMW	2	t-83	1	Ⅳa-2		深鉢	鍵手状の沈線;RL縄文	後－025
図Ⅴ－184	1543	図版255	RMW	2	x-75	1	Ⅳa-2		深鉢	鍵手状の沈線・横走沈線;RL縄文	後－026
図Ⅴ－184	1544	図版255	RMV	3	v-77	1	Ⅳb-1		深鉢	横走沈線・弧線文;LR縄文	後－027
図Ⅴ－184	1545	図版255	RMV	3	v-76	1	Ⅳb-1		深鉢	横走沈線・弧線文;LR縄文・無文	後－028
図Ⅴ－184	1546	図版255	RMW	2	x-74	1	Ⅳb-1		深鉢	横走沈線・懸垂文;LR縄文	後－029
			RMW	2	x-75	1					
図Ⅴ－184	1547	図版255	RMV	3	z-72	1	Ⅳb-2		深鉢	横走沈線(蛇行);RL縄文	後－030
			RMV	3	w-75	1					
図Ⅴ－184	1548	図版255	RMW	3	y-73	1	Ⅳb-2		深鉢	横走沈線(蛇行);RL縄文	後－031
図Ⅴ－184	1549	図版255	RMW	3	w-79	1	Ⅳb-2		深鉢	横走沈線(蛇行);RL縄文	後－032
図Ⅴ－184	1550	図版255	RMW	2	v-81	1	Ⅳb-2		深鉢	横走沈線(蛇行);LR縄文	後－033
図Ⅴ－184	1551	図版255	RMV	3	t-83	1	Ⅳb-3		深鉢	横走沈線・懸垂文;羽状縄文	後－034
図Ⅴ－184	1552	図版255	RMW	2	y-72	1	Ⅳb-3		深鉢	刻み・横走沈線・懸垂文;羽状縄文	後－035

表Ⅴ－64 盛土遺構下位出土掲載土製品一覧（1）

挿図番号	土器No.	写真図版	分類	遺構	層位	発掘区	点数	長さcm	幅 cm	厚さcm	重さ g	備考	整理番号
図Ⅴ-185	1553	図版256	土玉	RMV	3	v-78	1	2.8	2.8	2.2	17.7		土玉－001
図Ⅴ-185	1554	図版256	土玉	RMW	2	u-86	1	2.4	2.4	2.4	12.3		土玉－010
図Ⅴ-185	1555	図版256	土玉	RMW	2	v-77	1	1.2	1.4	1.0	1.7		土玉－047
図Ⅴ-185	1556	図版256	土玉	RMW	2	t-81	1	2.0	1.9	1.5	3.8		土玉－070
図Ⅴ-185	1557	図版256	土玉	RMW	2	z-74	1	1.6	1.6	2.2	4.8		土玉－050
図Ⅴ-185	1558	図版256	土玉	RMW	3	y-78	1	0.6	0.8	0.7	0.3		土玉－049
図Ⅴ-185	1559	図版256	土玉	RMW	2	u-84	1	0.8	0.9	0.9	0.6		土玉－048
図Ⅴ-185	1560	図版256	土玉	RMW	3	t-84	1	0.7	0.9	0.8	0.4		土玉－046
図Ⅴ-185	1561	図版256	土玉	RMV	3	w-77	1	1.6	1.9	1.3	3.4		土玉－041
図Ⅴ-185	1562	図版256	土玉	RMW	2	v-82	1	1.6	1.5	1.5	3.0		土玉－045
図Ⅴ-185	1563	図版256	垂飾	RMW	3	x-80	1	2.0	1.3	1.4	1.6	円錐形	垂-010
図Ⅴ-185	1564	図版256	垂飾	RMW	2	t-84	1	1.9	1.2	1.3	1.9	円錐形	垂-005
図Ⅴ-185	1565	図版256	垂飾	RMW	2	x-78	1	1.8	1.3	1.4	1.8	円錐形	垂-009
図Ⅴ-185	1566	図版256	垂飾	RMV	1	t-82	1	1.5	1.6	1.6	1.8	円錐形	垂-003
図Ⅴ-185	1567	図版256	垂飾	RMW	2	t-84	1	2.1	1.2	1.2	1.6	円錐形	垂-004
図Ⅴ-185	1568	図版256	垂飾	RMW	2	v-78	1	1.2	0.9	0.8	0.9	円錐形	垂-006
図Ⅴ-185	1569	図版256	垂飾	RMW	2	v-78	1	1.1	0.8	0.9	0.6	円錐形	垂-008
図Ⅴ-185	1570	図版256	垂飾	RMW	2	v-78	1	1.2	1.0	1.0	1.1	円錐形	垂-007
図Ⅴ-185	1571	図版256	耳栓	RMV	T	t-80-10	1	1.1	1.2	1.4	1.2		円-022
				RMW	T		1						
図Ⅴ-185	1572	図版256	耳栓	RMW	2	y-74	1	1.3	1.4	1.2	1.3		円-021
図Ⅴ-185	1573	図版256	三日月形土製品	RMW	2	x-74	1	4.1	0.9	1.5	4.1		垂-017
				RMW	2	x-75	1						
図Ⅴ-185	1574	図版256	三日月形土製品	RMW	2	u-78	1	2.5	11.1	9.6	2.1		垂-019
図Ⅴ-185	1575	図版256	垂飾	RMV	3	t-84	2	(1.7)	3.4	0.7	(3.6)		垂-026
図Ⅴ-185	1576	図版256	垂飾	RMV	3	r-87	1	2.6	2.3	0.9	4.3		垂-028
図Ⅴ-185	1577	図版256	円盤状土製品	RMW	2	x-78	1	3.7	3.7	1.5	17.5		円-002
図Ⅴ-185	1578	図版256	円盤状土製品	RMW	2	w-83	1	4.0	2.2	1.2	7.2		円-019
図Ⅴ-185	1579	図版256	円盤状土製品	RMW	2	u-78	1	3.9	3.8	1.3	18.7		円-003
図Ⅴ-185	1580	図版256	円盤状土製品	RMW	2	w-77	1	(3.1)	(3.1)	(0.5)	(3.8)		円-012
				RMW	3	w-79	1						
図Ⅴ-185	1581	図版256	土製品	RMB	2	q-90-9	1	3.7	2.9	1.1	1.1		土製-025
図Ⅴ-185	1582	図版256	土製品	RMW	3	z-73	1	6.9	(4.8)	1.0	(17.6)		土製-021
					Vb下	x-73	1						
図Ⅴ-185	1583	図版256	土製品	RMV	3	z-72	1	(2.6)	(2.5)	2.1	(7.0)		土製-017
図Ⅴ-186	1584	図版256	土製品	RMW	2	u-83	1	(4.6)	(5.8)	(1.1)	(20.0)		土製-016
図Ⅴ-186	1585	図版256	土製品	RMW	2	Z-77	1	3.6	3.8	0.8	7.1		土製-027
図Ⅴ-186	1586	図版256	土製品	RMV	1	t-87	1	5.0	4.1	1.4	21.7		土製-007
図Ⅴ-186	1587	図版256	土製品	RMV	3	t-79	1	4.6	4.6	1.3	11.8		土製-014
図Ⅴ-186	1588	図版256	土製品	RMW	3	y-76	1	3.2	2.8	1.1	6.7		土製-019
図Ⅴ-186	1589	図版256	円盤状土製品	RMV	2	t-84	1	(4.7)	4.7	0.9	(15.0)		円-011
				RMW	2	u-83	1						
図Ⅴ-186	1590	図版257	ミニチュア土製品	RMV	3	t-78	1	(4.8)	(2.5)		(14.2)		ミニ-023
図Ⅴ-186	1591	図版257	ミニチュア土製品	RMW	2	w-74	1	(5.2)	(4.9)		56.6		ミニ-010
				RMW	2	y-73	1						
図Ⅴ-186	1592	図版257	ミニチュア土製品	RMV	1	s-88	8	4.2	(2.3)		(10.8)		ミニ-016
図Ⅴ-186	1593	図版257	ミニチュア土製品	RMB	1	r-90-7	1	4.4	(1.9)		(14.4)		ミニ-018
					Va	r-91	1						
図Ⅴ-186	1594	図版257	ミニチュア土製品	RMW	2	w-81	3	(4.4)	(3.5)		15.4		ミニ-003
図Ⅴ-186	1595	図版257	ミニチュア土製品	RMW	2	x-79	1	(4.6)	(3.0)		15.7		ミニ-004
図Ⅴ-186	1596	図版257	ミニチュア土製品	RMW	2	x-78	3	6.9	2.8		25.9		ミニ-006
図Ⅴ-186	1597	図版257	ミニチュア土製品	RMW	2	x-77	2	6.4	2.4				ミニ-012
				RMW	2	y-74	4						
図Ⅴ-186	1598	図版257	ミニチュア土製品	RMW	T	w-80-2	1	4.6	3.9		14.7		ミニ-007
図Ⅴ-186	1599	図版257	ミニチュア土製品	RMW	T	v-80-2	3	6.8	3.2				ミニ-011
図Ⅴ-186	1600	図版257	ミニチュア土製品	RMW	3	w-80	1	5.4	2.4		25.3		ミニ-005
図Ⅴ-186	1601	図版257	ミニチュア土製品	RMV	1	u-87	1	2.8	(1.8)		6.2		ミニ-019
図Ⅴ-186	1602	図版257	ミニチュア土製品	RMW	2	v-86	1	3.1	1.0		4.4		ミニ-021
図Ⅴ-187	1603	図版258	分銅形土製品	RMW	2	x-81	1	(4.6)	4.0	4.0	50.2		スタンプ－001
図Ⅴ-187	1604	図版258	スタンプ形土製品	RMZ	2	t-78-5	1	4.1	4.1	4.2	(20.8)		スタンプ－052
				RMW	2	w-77	1						
				RMV	1	t-81	1						
				RMV	3	t-85	2						
図Ⅴ-187	1605	図版258	スタンプ形土製品	RMW	2	v-77	1	3.1	6.7	2.4	17.9		スタンプ－006
図Ⅴ-187	1606	図版258	スタンプ形土製品	RMA	4	p-91-10	1	3.0	4.4	3.5	16.0		スタンプ－042

表Ⅴ－65　盛土遺構下位出土掲載土製品一覧（2）

挿図番号	土器No.	写真図版	分類	遺構	層位	発掘区	点数	長さcm	幅 cm	厚さcm	重さ g	備考	整理番号
図Ⅴ-187	1607	図版258	スタンプ形土製品	RM	T	x-75	1	4.9	6.0	(3.7)	36.3		スタンプ－003
図Ⅴ-187	1608	図版258	スタンプ形土製品	RM	T	u-80	1	4.2	5.5	2.7	33.2		スタンプ－004
図Ⅴ-187	1609	図版258	スタンプ形土製品	RMW	2	x-76	1	(2.8)	4.7	2.2	21.0		スタンプ－005
図Ⅴ-187	1610	図版258	スタンプ形土製品	RMW	2	w-74	1	(2.6)	(3.4)	(3.1)	(10.1)		スタンプ－027
図Ⅴ-187	1611	図版258	スタンプ形土製品	RMV	3	u-77	1	(2.9)	(3.2)	(2.8)	(10.8)		スタンプ－025
図Ⅴ-187	1612	図版258	スタンプ形土製品	RMV	3	t-78	3	1.9	4.0	4.0	12.3		スタンプ－031
図Ⅴ-187	1613	図版258	スタンプ形土製品	RMV	1	v-80	1	2.9	3.4	2.8	13.5		スタンプ－046
図Ⅴ-187	1614	図版258	スタンプ形土製品	RMW	2	w-75-8	1	3.1	2.7	1.4	10.8		スタンプ－047
				RMW	2	w-86	1						
図Ⅴ-187	1615	図版258	スタンプ形土製品	RMW	3	x-78	2	3.4	3.0	1.1	6.6		スタンプ－069
図Ⅴ-187	1616	図版258	スタンプ形土製品	RMV	2	t-84	1	(0.8)	(1.9)	(1.6)	(2.0)		スタンプ－035
図Ⅴ-188	1617	図版258	スタンプ形土製品	RMV	3	u-79	1	3.7	4.0	3.1	16.0		スタンプ－040
図Ⅴ-188	1618	図版258	スタンプ形土製品	RMV	3	u-76	1	(2.7)	(3.8)	(3.4)	(14.5)		スタンプ－024
図Ⅴ-188	1619	図版258	スタンプ形土製品	RMW	2	v-77	1	(3.7)	(2.7)	(2.7)	(10.6)		スタンプ－026
図Ⅴ-188	1620	図版258	スタンプ形土製品	RMV	1	s-82	1	2.2	2.3	1.3	4.1		スタンプ－045
図Ⅴ-188	1621	図版258	スタンプ形土製品	RMV	1	s-82	1	1.4	4.2	3.1	7.5		スタンプ－074
図Ⅴ-188	1622	図版258	スタンプ形土製品	RMW	3	u-78	1	(2.0)	2.8	2.0	6.1		スタンプ－054
図Ⅴ-188	1623	図版258	スタンプ形土製品	RMV	1	s-87	1	(1.1)	(2.1)	(1.8)	(2.2)		スタンプ－039
図Ⅴ-188	1624	図版258	スタンプ形土製品	RMW	3		1	3.1	1.6	1.5	4.2		スタンプ－056
				RMW	2		1						
図Ⅴ-188	1625	図版258	スタンプ形土製品	RMW	2	u-78	1	(1.4)	2.2	2.3	(3.3)		スタンプ－053
図Ⅴ-188	1626	図版258	スタンプ形土製品	RMB	1	r-92-5	1	2.1	1.3	1.2	4.0		スタンプ－043
図Ⅴ-188	1627	図版258	スタンプ形土製品	RMW	2	t-81	1	1.4	1.7	2.8	3.5		スタンプ－049
図Ⅴ-188	1628	図版258	スタンプ形土製品	RMW	2	u-78	1	2.7	3.5	2.5	10.0		スタンプ－048
図Ⅴ-188	1629	図版258	スタンプ形土製品	RMV	3	r-82	1	4.2	1.2	1.1	2.0		スタンプ－100
				RMG	12	v-82-14	1						
図Ⅴ-188	1630	図版258	スタンプ形土製品	RMW	2	u－82	1	3.4	1.2	1.3	6.0		スタンプ－103
図Ⅴ-188	1631	図版258	スタンプ形土製品	RMW	2	v-78	1	3.3	1.7	1.7	10.0		スタンプ－104
図Ⅴ-188	1632	図版258	スタンプ形土製品	RMV	1	t-82-2	1	4.4	(1.8)	(1.4)	10.0		スタンプ－099
図Ⅴ-188	1633	図版259	スタンプ形土製品	RMV	2	s-82	1	2.5	1.7	1.6	6.0		スタンプ－097
図Ⅴ-188	1634	図版259	スタンプ形土製品	RMV	1	t-81	1	2.1	1.4	1.2	4.0		スタンプ－098
図Ⅴ-188	1635	図版259	スタンプ形土製品	RMW	3	w-78	1	3.0	1.3	1.4	4.0		スタンプ－105
図Ⅴ-188	1636	図版259	スタンプ形土製品	RMW	3	y-81	1	2.2	1.2	1.3	2.0		スタンプ－109
図Ⅴ-188	1637	図版259	スタンプ形土製品	RMW	2	z-74	1	1.7	0.8	0.9	1.0		スタンプ－110
図Ⅴ-188	1638	図版259	スタンプ形土製品	RMW	T	w-85	1	3.1	1.6	1.3	10.0		スタンプ－106
図Ⅴ-188	1639	図版259	スタンプ形土製品	RMW	3	v-83	1	2.7	1.7	1.7	9.0		スタンプ－102
図Ⅴ-188	1640	図版259	スタンプ形土製品	RMW	2	x-79	1	3.0	2.0	1.4	8.0		スタンプ－107
図Ⅴ-188	1641	図版259	スタンプ形土製品	RMW	T	y-75	1	3.2	1.4	1.3	6.0		スタンプ－108
図Ⅴ-188	1642	図版259	スタンプ形土製品	RMY	3	x-79	1	3.4	1.9	1.8	9.4		スタンプ－073
図Ⅴ-188	1643	図版259	スタンプ形土製品	RMW	2	t-84	1	(2.6)	4.2	4.2	(26.9)		スタンプ－033
図Ⅴ-188	1644	図版259	スタンプ形土製品	RMW	2	y-73	1	1.6	3.1	2.2	8.0		スタンプ－075
図Ⅴ-188	1645	図版259	スタンプ形土製品	RMW	2	y-73	1	(1.2)	2.8	2.4	(5.9)		スタンプ－068
図Ⅴ-188	1646	図版259	スタンプ形土製品	RMW	2	t-78	1	1.9	2.3	2.1	7.0		スタンプ－071
図Ⅴ-189	1647	図版259	焼成粘土塊	RMY	3	x-84	1	4.0	1.3	1.2	5.0		粘土-061
図Ⅴ-189	1648	図版259	焼成粘土塊	RMW	2	w-80	1	3.9	1.4	0.9	4.9		粘土-040
図Ⅴ-189	1649	図版259	焼成粘土塊	RMW	3	x-82	1	4.2	1.7	0.7	4.6		粘土-097
図Ⅴ-189	1650	図版259	焼成粘土塊	RMV	3	q-82	2	4.5	2.9	0.9	11.8		粘土-037
図Ⅴ-189	1651	図版259	焼成粘土塊	RMW	2	w-78	3	3.1	2.2	0.5	4.0		粘土-065①
図Ⅴ-189	1652	図版259	焼成粘土塊	RMW	2	y-82	1	3.3	2.5	1.5	5.0		粘土-063
図Ⅴ-189	1653	図版259	焼成粘土塊	RMV	3	r-82	1	3.0	2.4	1.0	5.7		粘土-038
図Ⅴ-189	1654	図版259	焼成粘土塊	RMV	1	s-81	1	3.7	2.8	1.0	9.0		粘土-072
図Ⅴ-189	1655	図版259	焼成粘土塊	RMB	1	s-91-1	1	4.2	2.5	1.3	8.8		粘土-020
図Ⅴ-189	1656	図版259	焼成粘土塊	RMW	2	u-85	1	5.8	2.2	2.0	31.3		粘土-039
図Ⅴ-189	1657	図版259	焼成粘土塊	RMW	2	z-76	1	4.7	2.7	1.7	20.0		粘土-068
図Ⅴ-189	1658	図版259	焼成粘土塊	RMW	2	u-83	1	4.9	2.4	1.6	12.0		粘土-064
図Ⅴ-189	1659	図版259	焼成粘土塊	RMW	2	w-81	1	4.8	2.8	0.8	10.0		粘土-062
図Ⅴ-189	1660	図版259	焼成粘土塊	RMV	3	q-82	1	4.6	2.9	0.5	8.2		粘土-103
図Ⅴ-189	1661	図版259	焼成粘土塊	RMW	3	x-83	1	4.5	3.0	1.1	10.0		粘土-070
図Ⅴ-189	1662	図版259	焼成粘土塊	RMW	3	w-77	1	4.0	2.7	2.0	24.0		粘土-069
図Ⅴ-189	1663	図版259	焼成粘土塊	RMW	3	x-81	1	3.8	4.9	1.7	24.0		粘土-071
図Ⅴ-189	1664	図版259	焼成粘土塊	RMW	2	w-81	1	6.2	3.7	1.8	23.0		粘土-066
図Ⅴ-189	1665	図版259	焼成粘土塊	RMW	2	w-78	3	5.8	4.4	2.1	28.0		粘土-065②
図Ⅴ-189	1666	図版259	焼成粘土塊	RMW	2	x-75	1	5.1	3.3	1.9	24.0		粘土-067

表Ｖ－66　盛土遺構上位の掲載石器・石製品一覧（１）

※盛土中の遺構も含む

挿図番号		図版番号	遺構	発掘区	層位	整理番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図Ｖ－194	1	図版272	ＲＭＹ	ｙ－７５－３	Ｍ２	7501	石鏃	ＩＡ３ａ	3.7	1.0	0.3	1.1	黒曜石	
図Ｖ－194	2	図版272	ＲＭＡ	ｐ－９０－12	Ｍ11	349	石鏃	ＩＡ３ｂ	2.0	1.0	0.2	0.3	黒曜石	
図Ｖ－194	3	図版272	ＲＭＤ	ｒ－８３－４	Ｍ２	[14738]	石鏃	ＩＡ３ｂ	1.9	1.0	0.1	0.2	黒曜石	
図Ｖ－194	4	図版272	ＲＭＤ	ｒ－８５－３	Ｍ８	7971	石鏃	ＩＡ４ａ	2.8	1.5	0.3	0.9	黒曜石	
図Ｖ－194	5	図版272	ＲＭＹ	ｘ－７３－14	Ｍ２	1343	石鏃	ＩＡ４ａ	2.3	1.8	0.3	0.7	黒曜石	
図Ｖ－194	6	図版272	ＲＭＹ	ｙ－７５－４	Ｍ２	4414	石鏃	ＩＡ４ａ	2.1	1.4	0.4	0.9	黒曜石	
図Ｖ－194	7	図版272	ＲＭＤ	ｒ－８５－16	Ｍ２	[14772]	石鏃	ＩＡ４ｂ	1.5	1.3	0.3	0.4	黒曜石	
図Ｖ－194	8	図版272	ＲＭＹ	ｙ－７３－15	Ｍ２	11935	石鏃	ＩＡ７ａ	(4.1)	1.8	0.5	(2.3)	頁岩	
図Ｖ－194	9	図版272	ＲＭＤ	ｐ－８５－８	Ｍ11	9001	石鏃	ＩＡ７ａ	(2.2)	1.5	0.3	(0.8)	黒曜石	
図Ｖ－194	10	図版272	ＲＭＹ	ｘ－７３－13	Ｍ２	2939	石鏃	ＩＡ７ｂ	3.3	1.6	0.5	1.3	黒曜石	
図Ｖ－194	11	図版272	ＲＭＹ	ｙ－７４－７	Ｍ１	12889	石鏃	ＩＡ７ｂ	3.1	2.1	0.4	1.2	黒曜石	
図Ｖ－194	12	図版272	ＲＭＡ	ｏ－９０－11	Ｍ15	[24772]	石鏃	ＩＡ７ｂ	2.7	1.9	0.5	1.4	黒曜石	
図Ｖ－194	13	図版272	ＲＭＺ	ｘ－７３－１	Ｍ２	2559	石鏃	ＩＡ７ｂ	2.5	1.6	0.4	0.9	黒曜石	
図Ｖ－194	14	図版272	ＲＭＡ	ｐ－８９－10	Ｍ12	374	石鏃	ＩＡ７ｂ	3.2	1.3	0.4	(1.2)	黒曜石	
図Ｖ－194	15	図版272	ＲＭＹ	ｙ－７４－４	Ｍ２	[24773]	石鏃	ＩＡ７ｂ	1.2	0.8	0.2	0.1	黒曜石	ミニチュア
図Ｖ－194	16	図版272	ＲＭＤ	ｒ－８４－２	Ｍ３	(17434)	石鏃	ＩＡ７ｂ	3.4	1.4	0.7	2.0	黒曜石	
図Ｖ－194	17	図版272	ＲＭＥ	ｔ－８２－４	Ｍ１	1501	石鏃	ＩＡ７ｂ	3.0	1.2	0.4	1.2	黒曜石	
図Ｖ－194	18	図版272	ＲＭＺ	ｙ－７２－11	Ｍ２	[5726]	石鏃	ＩＡ７ｂ	3.0	1.3	0.3	0.9	黒曜石	
図Ｖ－194	19	図版272	ＲＭＤ	ｐ－８４－９	Ｍ４	(19719)	石鏃	ＩＡ７ｂ	2.5	1.4	0.4	0.8	黒曜石	
図Ｖ－194	20	図版272	ＲＭＡ	ｏ－８８－15	Ｍ14	412	石鏃	ＩＡ７ｂ	2.6	1.2	0.5	0.9	黒曜石	
図Ｖ－194	21	図版272	ＲＭＹ	ｚ－７３－７	Ｍ３	3953	石鏃	ＩＡ７ｂ	3.2	1.6	0.3	0.8	黒曜石	
図Ｖ－194	22	図版272	ＲＭＡ	ｏ－８８－15	Ｍ３	164	石鏃	ＩＡ７ｂ	3.5	1.5	0.4	1.3	黒曜石	
図Ｖ－194	23	図版272	ＲＭＥ	ｔ－８３－15	Ｍ３	1289	石鏃	ＩＡ７ｂ	3.8	1.8	0.4	1.8	黒曜石	
図Ｖ－194	24	図版272	ＲＭＺ	ｘ－７３－７	Ｍ２	2831	石鏃	ＩＡ７ｂ	(4.1)	1.8	0.6	(3.3)	黒曜石	
図Ｖ－194	25	図版272	ＲＭＤ	ｑ－８４－９	Ｍ３	(13307)	石鏃	ＩＡ７ｂ	4.7	1.9	0.5	2.5	黒曜石	
図Ｖ－194	26	図版272	ＲＭＥ	ｓ－８２－14	Ｍ３	4884	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.6	1.6	0.4	1.1	黒曜石	
図Ｖ－194	27	図版272	ＲＭＫ	ｘ－８５－８	Ｍ１	290	石鏃	ＩＡ７ｃ	(2.6)	1.5	0.4	(1.1)	黒曜石	
図Ｖ－194	28	図版272	ＲＭＥ	ｔ－８２－６	Ｍ３	1146	石鏃	ＩＡ７ｃ	3.1	1.4	0.5	1.2	黒曜石	
図Ｖ－194	29	図版272	ＲＭＧ	ｖ－８４－14	Ｍ１	(260)	石鏃	ＩＡ７ｃ	3.3	1.5	0.5	1.4	黒曜石	
図Ｖ－194	30	図版272	ＲＭＤ	ｑ－８５－15	Ｍ８	(28850)	石鏃	ＩＡ７ｃ	4.5	1.5	0.4	1.5	珪質頁岩	黒色物質付着
図Ｖ－194	31	図版272	ＲＭＧ	ｗ－８４－１	Ｍ１	(1140)	石鏃	ＩＡ７ｃ	3.0	1.8	0.6	1.6	黒曜石	
図Ｖ－194	32	図版272	ＲＭＸ	ｘ－８１－３	Ｍ１	384	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.1	(1.3)	0.3	(0.7)	黒曜石	
図Ｖ－194	33	図版272	ＲＭＥ	ｔ－８１－14	Ｍ３	5868	石鏃	ＩＡ７ｃ	(2.9)	1.7	0.5	(1.0)	黒曜石	
図Ｖ－194	34	図版272	ＲＭＤ	ｑ－８４－15	Ｍ７	(33686)	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.9	1.7	0.5	1.1	黒曜石	
図Ｖ－194	35	図版272	ＲＭＥ	ｔ－８２－５	Ｍ２	5906	石鏃	ＩＡ７ｃ	3.6	1.6	0.4	1.3	黒曜石	
図Ｖ－194	36	図版272	ＲＭＺ	ｘ－７２－６	Ｍ１	2494	石鏃	ＩＡ７ｃ	3.3	1.8	0.7	2.1	珪質頁岩	
図Ｖ－194	37	図版272	ＲＭＹ	ｙ－７５	ＭＴ	84	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.8	1.2	0.3	0.7	黒曜石	
図Ｖ－194	38	図版272	ＲＭＹ	ｙ－７４－５	Ｍ３	[15743]	石鏃	ＩＡ７ｃ	3.2	1.6	0.4	0.9	黒曜石	
図Ｖ－194	39	図版272	ＲＭＥ	ｔ－７９－15	Ｍ１	5878	石鏃	ＩＡ７ｃ	(2.8)	(2.5)	(0.4)	(0.9)	黒曜石	
図Ｖ－194	40	図版272	ＲＭＺ	ｕ－７８－14	Ｍ10	2798	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.4	2.7	3.5	0.6	黒曜石	
図Ｖ－194	41	図版272	ＲＭＧ	ｖ－８５	ＭＴ	1590	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.9	(1.5)	0.4	(0.8)	黒曜石	
図Ｖ－194	42	図版272	ＲＭＺ	ｙ－７２－８	Ｍ２	2610	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.6	1.5	0.4	1.1	黒曜石	
図Ｖ－194	43	図版272	ＲＭＤ	ｑ－８４－６	Ｍ５	(25838)	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.0	1.6	0.5	0.8	黒曜石	
図Ｖ－194	44	図版272	ＲＭＥ	ｔ－８０－８	Ｍ３	3364	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.2	1.4	0.4	0.8	黒曜石	
図Ｖ－194	45	図版272	ＲＭＧ	ｖ－８４－５	Ｍ２	[24774]	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.2	1.3	0.5	0.8	黒曜石	
図Ｖ－194	46	図版272	ＲＭＹ	ｙ－７４－13	Ｍ１	12894	石鏃	ＩＡ７ｃ	(2.3)	1.9	0.5	(1.1)	黒曜石	
図Ｖ－194	47	図版272	ＲＭＹ	ｙ－７４－１	Ｍ２	4638	石鏃	ＩＡ７ｃ	1.6	1.2	0.2	0.2	黒曜石	
図Ｖ－194	48	図版272	ＲＭＥ	ｔ－８３－12	Ｍ３	[24775]	石鏃	ＩＡ７ｃ	1.8	1.8	0.4	0.5	黒曜石	
図Ｖ－194	49	図版272	ＲＭＫ	ｘ－８５－３	Ｍ１	291	石鏃	ＩＡ７ｃ	1.8	1.5	0.5	0.8	黒曜石	
図Ｖ－194	50	図版272	ＲＭＹ	ｘ－７３－16	Ｍ２	1381	石鏃	ＩＡ７ｃ	(2.3)	1.7	0.5	(1.6	黒曜石	
図Ｖ－194	51	図版272	ＲＭＤ	ｒ－８４－６	Ｍ５	(27539)	石鏃	ＩＡ７ｃ	3.6	2.1	0.7	2.6	頁岩	
図Ｖ－194	52	図版272	ＲＭＹ	ｙ－７４－13	Ｍ１	12895	石鏃	ＩＡ７ｃ	3.9	1.8	0.7	2.2	黒曜石	
図Ｖ－194	53	図版272	ＲＭＤ	ｐ－８８－９	Ｍ12	[24776]	石鏃	ＩＡ７ｃ	4.3	1.3	0.4	1.5	黒曜石	
図Ｖ－194	54	図版272	ＲＭＤ	ｐ－８４－14	Ｍ６	(30882)	石鏃	ＩＡ７ｃ	4.2	1.9	0.5	2.6	黒曜石	
図Ｖ－194	55	図版272	ＲＭＤ	ｐ－８７－３	Ｍ13	10162	石鏃	ＩＡ７ｃ	5.1	2.5	0.8	7.9	黒曜石	
図Ｖ－194	56	図版272	ＲＭＹ	ｙ－７４－９	Ｍ２	[24777]	石鏃	ＩＡ７	2.7	1.7	0.4	1.1	黒曜石	
図Ｖ－194	57	図版272	ＲＭＺ	ｘ－７２－４	Ｍ２	2795	石鏃	ＩＡ７ｃ	(4.9)	2.0	0.6	(5.1)	黒曜石	
図Ｖ－194	58	図版272	ＲＭＸ	ｘ－８１－８	Ｍ１	430	石鏃	ＩＡ７ｃ	5.6	2.1	0.9	7.1	黒曜石	
図Ｖ－194	59	図版272	ＲＭＤ	ｒ－８３－８	Ｍ４	9596	石鏃	ＩＡ７	2.8	1.5	0.2	1.0	黒曜石	
図Ｖ－194	60	図版272	ＲＭＹ	ｙ－７３－７	Ｍ１	6189	石鏃	ＩＡ７	(3.2)	(1.7)	0.5	(2.3)	黒曜石	
図Ｖ－194	61	図版272	ＲＭＤ	ｒ－８４－６	Ｍ３	(7325)	石鏃	ＩＡ７	(3.2)	1.5	0.6	(1.3)	黒曜石	
図Ｖ－194	62	図版272	ＲＭＤ	ｒ－８５－12	Ｍ６	[13228]	石鏃	ＩＡ７	3.1	1.6	0.5	1.7	黒曜石	
図Ｖ－194	63	図版272	ＲＭＥ	ｓ－８１－16	Ｍ１	(3001)	石槍またはナイフ	ＩＢ１	(7.6)	2.7	1.0	(14.1)	頁岩	
図Ｖ－194	64	図版272	ＲＭＹ	ｚ－７３－２	Ｍ２	5085	石槍またはナイフ	ＩＢ１	(7.5)	4.0	(0.8)	(17.4)	黒曜石	
図Ｖ－194	65	図版272	ＲＭＫ	ｘ－８４－５	Ｍ１	(370)	石錐	ⅡＡ１	3.1	1.9	9.0	4.6	黒曜石	

表Ⅴ－67　盛土遺構上位の掲載石器・石製品一覧（２）

※盛土中の遺構も含む

挿図番号		図版番号	遺構	発掘区	層位	整理番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図Ⅴ－194	66	図版272	RMG	u－81－16	M1	1515	石錐	ⅡA1	4.2	2.2	0.6	6.2	頁岩	
図Ⅴ－195	67	図版272	RME	t－82－10	M2	5889	石錐	ⅡA2	4.9	1.7	0.5	1.8	頁岩	
図Ⅴ－195	68	図版272	RMD	r－87－10	M5	(6488)	石錐	ⅡA2	4.7	3.0	0.7	3.7	頁岩	
図Ⅴ－195	69	図版272	RMA	p－88－16	M11	927	石錐	ⅡA2	4.6	2.5	0.8	3.0	黒曜石	
図Ⅴ－195	70	図版272	RMY	y－73－8	M1	(4700)	石錐	ⅡA2	6.6	2.1	0.4	3.6	頁岩	
図Ⅴ－195	71	図版272	RMD	q－84－8	M6	[24784]	石錐	ⅡA2	5.8	1.7	0.8	3.9	頁岩	
図Ⅴ－195	72	図版272	RME	t－81－15	M2	5892	石錐	ⅡA2	4.1	2.1	0.5	2.4	頁岩	
図Ⅴ－195	73	図版272	RME	t－83－8	M3	[9026]	石錐	ⅡA2	3.9	2.1	0.4	1.8	珪質頁岩	
図Ⅴ－195	74	図版272	RMD	q－83－5	M3	11287	石錐	ⅡA2	4.2	2.0	1.8	2.5	頁岩	
図Ⅴ－195	75	図版272	RMX	x－82－4	M1	431	石錐	ⅡA2	(3.1)	1.4	0.4	(1.2)	頁岩	
図Ⅴ－195	76	図版272	RMG	v－83－1	M1	1595	石錐	ⅡA2	4.8	1.9	0.5	2.3	頁岩	
図Ⅴ－195	77	図版272	RMD	q－84－5	M3	(10945)	石錐	ⅡA3	7.6	1.1	1.0	6.8	頁岩	
図Ⅴ－195	78	図版272	RME	s－84－9	M3	(12271)	石錐	ⅡA3	3.3	0.8	0.6	1.6	黒曜石	
図Ⅴ－195	79	図版272	RMD	q－89－7	M11	11290	石錐	ⅡA3	4.6	1.2	0.6	3.1	黒曜石	
図Ⅴ－195	80	図版272	RMY	x－73－14	M2	11841	石錐	ⅡA3	5.2	1.2	0.8	4.8	黒曜石	
図Ⅴ－195	81	図版272	RME	s－83－13	M1	4120	石錐	ⅡA3	4.5	1.2	0.5	3.1	珪質頁岩	
図Ⅴ－195	82	図版272	RMY	x－73－13	M2	(1577)	石錐	ⅡA2	5.0	11.6	4.1	1.5	頁岩	
図Ⅴ－195	83	図版272	RMY	y－77－16	M1	(305)	石錐	ⅡA2	4.9	1.1	0.5	2.1	メノウ	
図Ⅴ－195	84	図版272	RMG	v－82－6	M11	1596	石錐	ⅡA3	2.6	1.4	0.7	2.1	黒曜石	
図Ⅴ－195	85	図版273	RME	s－81－10	M3	3250	つまみ付きナイフ	ⅢA2	7.8	2.6	1.2	17.5	頁岩	
図Ⅴ－195	86	図版273	RMD	r－83－7	M2	11303	つまみ付きナイフ	ⅢA3	7.0	2.3	1.0	12.9	黒曜石	
図Ⅴ－195	87	図版273	RMY	x－73－11	M3	703	つまみ付きナイフ	ⅢA2	6.7	2.6	1.1	10.2	頁岩	
図Ⅴ－195	88	図版273	RMZ	z－72－1	M2	2786	つまみ付きナイフ	ⅢA3	5.5	2.0	1.1	7.6	黒曜石	
図Ⅴ－196	89	図版273	RMD	r－83－12	M3	(11800)	つまみ付きナイフ	ⅢA3	5.3	6.8	1.2	30.1	珪質頁岩	
図Ⅴ－196	90	図版273	RMD	p－87－11	M12下	882	つまみ付きナイフ	ⅢA3	4.7	5.2	1.0	11.1	黒曜石	
図Ⅴ－196	91	図版273	RME	s－83－11	M2	3918	つまみ付きナイフ	ⅢA3	5.0	4.8	0.9	17.7	頁岩	
図Ⅴ－196	92	図版273	RMG	v－83－10	M2	850	つまみ付きナイフ	ⅢA3	5.8	5.2	1.3	17.3	黒曜石	
図Ⅴ－196	93	図版273	RMJ	v－86－3	M2	328	つまみ付きナイフ	ⅢA3	4.6	2.4	0.6	4.1	頁岩	黒色物質付着
図Ⅴ－196	94	図版273	RMY	y－73－9	M3	8460	つまみ付きナイフ	ⅢA	7.5	3.3	0.6	8.3	黒曜石	
図Ⅴ－196	95	図版273	RMK	x－85	MT	287	つまみ付きナイフ	ⅢA3	4.6	(4.1)	0.5	(6.9)	黒曜石	
図Ⅴ－196	96	図版273	RMD	r－86－6	M2	11306	つまみ付きナイフ	ⅢA3	6.6	(3.6)	1.0	(14.8)	珪質頁岩	
図Ⅴ－196	97	図版273	RMD	r－84－2	M1	(1558)	つまみ付きナイフ	ⅢA3	5.9	3.7	1.3	21.5	頁岩	
図Ⅴ－196	98	図版273	RME	s－84－9	M2	(7940)	つまみ付きナイフ	ⅢA3	7.7	3.9	9.5	24.4	頁岩	
図Ⅴ－196	99	図版273	RMY	x－76－6	M2	(2075)	つまみ付きナイフ	ⅢA4	9.6	3.2	1.3	29.2	黒曜石	
図Ⅴ－196	100	図版273	RME	t－83－12	M12	5894	つまみ付きナイフ	ⅢA	(5.4)	2.9	0.8	(8.7)	黒曜石	
図Ⅴ－196	101	図版273	RMA	p－88－11	M12	366	つまみ付きナイフ	ⅢA	4.5	1.9	0.5	3.8	頁岩	
図Ⅴ－196	102	図版273	RMY	x－78－3	M2	5471	つまみ付きナイフ	ⅢA4	4.7	2.3	0.7	5.0	黒曜石	
図Ⅴ－196	103	図版273	RMY	x－77－6	M3	[13238]	つまみ付きナイフ	ⅢA4	4.7	1.1	0.6	2.1	黒曜石	被熱
図Ⅴ－196	104	図版273	RMD	s－85－8	M1	11233	つまみ付きナイフ	ⅢA	(3.9)	1.9	0.7	(4.3)	珪質頁岩	黒色物質付着
図Ⅴ－196	105	図版273	RMY	y－73－6	M2	11948	つまみ付きナイフ	ⅢA4	4.8	2.2	0.8	6.8	黒曜石	
図Ⅴ－197	106	図版273	RMD	p－85－16	M15	9242	スクレイパー	ⅢB2	3.2	4.0	1.2	14.6	黒曜石	
図Ⅴ－197	107	図版273	RMY	y－73－7	M3	(7055)	スクレイパー	ⅢB5	8.3	2.6	0.9	11.1	黒曜石	
図Ⅴ－197	108	図版273	RMY	w－76－6	M2	2010	スクレイパー	ⅢB5	7.8	2.5	1.2	11.9	黒曜石	
図Ⅴ－197	109	図版273	RMY	w－78－11	M2	4059	スクレイパー	ⅢB5	6.3	2.7	1.0	13.7	黒曜石	
図Ⅴ－197	110	図版273	RMD	r－86－10	M7	469	スクレイパー	ⅢB5	5.7	3.0	1.0	13.2	黒曜石	
図Ⅴ－197	111	図版273	RMZ	x－73－10	M2	2575	スクレイパー	ⅢB5	5.8	3.4	1.0	17.4	頁岩	
図Ⅴ－197	112	図版273	RME	u－79－5	M1	5902	スクレイパー	ⅢB5	6.3	5.0	1.5	22.5	黒曜石	
図Ⅴ－197	113	図版273	RME	t－81－13	M3	4592	スクレイパー	ⅢB6	6.5	4.2	1.6	25.8	黒曜石	
図Ⅴ－197	114	図版273	RME	s－82－9	M3	102	スクレイパー	ⅢB6	5.8	4.5	1.2	20.8	黒曜石	
図Ⅴ－197	115	図版273	RMX	z－80－1	M1	422	スクレイパー	ⅢB6	5.6	3.5	1.3	24.0	黒曜石	
図Ⅴ－197	116	図版273	RMY	w－79－5	M2	2901	スクレイパー	ⅢB6	4.7	3.9	1.2	17.2	黒曜石	
図Ⅴ－197	117	図版273	RMG	v－82－9	M12	1266	スクレイパー	ⅢB6	4.2	3.6	0.8	11.0	黒曜石	
図Ⅴ－197	118	図版273	RMD	r－86－2	M7	961	スクレイパー	ⅢB6	4.1	3.9	1.2	11.6	黒曜石	
図Ⅴ－197	119	図版273	RMD	q－84－14	M3	(13356)	スクレイパー	ⅢB6	6.9	4.3	2.0	35.0	黒曜石	被熱
図Ⅴ－197	120	図版273	RMY	w－79－1	M2	4115	石核	XIA1	3.8	3.9	2.7	33.8	黒曜石	
図Ⅴ－197	121	図版273	RMY	x－76－11	M2	10595	石核	XIA1	6.8	3.0	1.4	23.8	黒曜石	
図Ⅴ－197	122	図版273	RME	s－83－3	M3	4914	ピエス・エスキーユ	XA1a	1.9	2.0	0.5	2.5	黒曜石	
図Ⅴ－198	123	図版274	RME	t－82－14	M3	1332	石斧	ⅣA1	(7.4)	5.9	1.8	(147.0)	泥岩	
図Ⅴ－198	124	図版274	RMY	w－78－10	M2	7282	石斧	ⅣA2	8.4	3.2	1.4	58.1	泥岩	
図Ⅴ－198	125	図版274	RMD	p－87－10	M14	9970	石斧	ⅣA2	8.6	4.5	1.3	23.5	黒曜石	
図Ⅴ－198	126	図版274	RME	s－84－14	M1	(2353)	石斧	ⅣA2	(11.0)	(7.3)	(3.9)	(526.2)	泥岩	
図Ⅴ－198	127	図版274	RMG	u－84－2	M2	(2307)	石斧	ⅣA2	(8.5)	(6.1)	(2.4)	(203.3)	泥岩	クサビ？に転用
図Ⅴ－198	128	図版274	RME	t－82－5	M3	1122	石斧	ⅣA2	6.5	3.3	1.1	34.7	泥岩	
図Ⅴ－198	129	図版274	RMG	w－81－12	M1	1466	石斧	ⅣA3	(7.9)	5.5	1.2	(105.8)	泥岩	
図Ⅴ－198	130	図版274	RMY	w－76－10	M1	12467	石斧	ⅣA3	(7.7)	4.2	1.5	(67.0)	泥岩	接合

表Ⅴ－68　盛土遺構上位の掲載石器・石製品一覧（３）

※盛土中の遺構も含む

挿図番号		図版番号	遺構	発掘区	層位	整理番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
			RMZ	v－76－2	M10	2733								
図Ⅴ－198	131	図版274	RMD	r－88－14	M11	1758	石斧	ⅣA3	10.0	3.1	1.5	78.0	片岩	接合
			RME	u－80－7	M3	3764								
図Ⅴ－198	132	図版274	RME	s－83－13	M2	1635	石斧	ⅣA3	9.7	3.8	1.3	61.8	泥岩	接合
			RME	s－83－5	M1	1452								
図Ⅴ－198	133	図版274	RMY	w－75－12	M2	8616	石斧	ⅣA1	(9.9)	5.7	(3.6)	(334.7)	泥岩	装着痕？あり
図Ⅴ－198	134	図版274	RMD	r－87－11	M3	(5385)	石斧	ⅣA3	12.3	5.1	2.8	(312.6)	泥岩	
図Ⅴ－198	135	図版274	RME	u－84－9	M1	(3737)	石斧	ⅣA3	(8.8)	3.2	2.1	(110.3)	泥岩	
図Ⅴ－198	136	図版274	RMD	r－87－10	M6	4558	石斧	ⅣA5	7.5	2.7	0.8	27.6	泥岩	接合
				v－85	Va	6059								
図Ⅴ－198	137	図版274	RMZ	u－78－7	M10	2722	石斧	ⅣA4	9.5	3	1	45.5	泥岩	接合、黒色物質付着
			RMZ	u－78－14	M10	2730								
図Ⅴ－198	138	図版274	RMD	p－84－7	M12下	(26496)	石斧	ⅣA5	(5.4)	3.4	1.0	(32.8)	泥岩	
図Ⅴ－198	139	図版274	RMD	r－83－3	M2	1693	石斧	ⅣA3	(9.0)	2.9	1.2	(52.3)	片岩	
図Ⅴ－199	140	図版274	RMD	r－83－2	M3	6879	石斧	ⅣA2	10.8	4.1	2.3	154.6	泥岩	接合
			RMG	v－81－3	M1	1523								
図Ⅴ－199	141	図版274	RMY	v－79－9	M2	8783	石斧	ⅣA3	(10.0)	(4.4)	(1.3)	(96.6)	泥岩	接合
			RMY	v－79－4	M10	4851								
			RME	u－79－16	M1	1523								
図Ⅴ－199	142	図版274	RME	t－82－14	M12	2642	石斧	ⅣA8	10.9	3.5	0.9	50.8	粘板岩	接合
			RME	s－81－6	M2	1580								
図Ⅴ－199	143	図版274	RMD	r－84－16	M1	5940	石斧	ⅣA8	9.9	4.8	1.5	127.5	泥岩	接合
				r－86	Va	4879								
図Ⅴ－199	144	図版274	RMY	y－73－3	M2	4550	石斧	ⅣA8	10.5	4.0	1.3	102.8	泥岩	接合
			RMY	x－76－8	M2	4157								
図Ⅴ－199	145	図版274	RMD	o－88－13	M14	10152	石斧	ⅣA8	8.6	5.5	1.2	89.7	泥岩	接合
			RMD	r－81－11	M2	6813								
図Ⅴ－199	146	図版274	RMG	u－83－13	M1	21	石斧	ⅣA8	12.8	5.2	1.7	187.4	泥岩	接合
			RMG	u－81－15	M1	1514								
図Ⅴ－199	147	図版274	RMD	q－84－11	M5	(40635)	石のみ	ⅣB	(5.6)	2.5	1.3	(27.3)	泥岩	
図Ⅴ－199	148	図版274	RMD	q－85－8	M6	4394	石のみ	ⅣB	6.2	2.6	0.8	20.2	泥岩	
図Ⅴ－199	149	図版274	RMY	v－80－9	MT	12732	石のみ	ⅣB	6.8	1.7	1.0	15.8	泥岩	
図Ⅴ－199	150	図版274	RMG	v－82－10	M2	4200	石のみ	ⅣB	7.0	1.4	0.7	11.8	泥岩	
図Ⅴ－199	151	図版274	RMY	w－77－13	M1	3150	石のみ	ⅣB	8.9	2.0	1.3	40.5	片岩	
図Ⅴ－199	152	図版275	RMD	r－86－11	M7	481	たたき石	ⅤA	7.5	4.6	3.0	175.2	泥岩	
図Ⅴ－199	153	図版275	RMD	q－87－14	M7	8724	たたき石	ⅤA1	13.7	4.2	2.9	258.7	砂岩	
図Ⅴ－199	154	図版275	RME	s－82－14	M3	170	たたき石	ⅤA1	13.4	4.3	2.3	214.7	安山岩	接合
			RMD	q－85－16	M6	9827								
図Ⅴ－199	155	図版275		w－65	Va上面	6185	たたき石	ⅤA1	(11.7)	4.2	(1.2)	(97.8)	砂岩	接合
			RME	t－83－8	M1	1512								
図Ⅴ－199	156	図版275	RMD	s－87－8	M1	3134	たたき石	ⅤA2	8.3	5.2	3.8	320.2	片麻岩	接合
				s－80	Ⅲ下	1867								
図Ⅴ－199	157	図版275	RMJ	u－86－4	M2	357	すり石	ⅥA2	6.1	5.9	3.4	199.5	片麻岩	
図Ⅴ－199	158	図版275	RMY	v－78－11	M2	9388	すり石	ⅥA2	6.1	5.3	3.5	(198.4)	カンラン岩	接合
			RMD	p－87－3	M13	10164								
図Ⅴ－199	159	図版275	RMY	w－76－8	M2	2045	すり石	ⅥA2	5.4	5.5	3.9	216.5	カンラン岩	
図Ⅴ－199	160	図版275	RMZ	x－73－10	M2	2748	たたき石	ⅤA1	(9.8)	(5.6)	(5.0)	(430.0)	安山岩	
図Ⅴ－199	161	図版275	RMY	v－77－10	M2	1680	たたき石	ⅤA2	5.7	5.5	4.2	189.6	泥岩	接合
				w－67	Vd下	586								
図Ⅴ－199	162	図版275	RMG	w－84－12	M2	297	たたき石	ⅤA2	9.4	5.9	3.8	320.1	安山岩	
図Ⅴ－199	163	図版275	RMD	r－85－12	M6	8541	たたき石	ⅤA2	8.0	7.9	6.3	576.1	砂岩	
図Ⅴ－199	164	図版275	RMY	y－74－9	M2	282	たたき石	ⅤA2	(9.3)	7.7	3.3	(351.3)	片麻岩	接合
			RMG	w－81－4	M1	1554								
図Ⅴ－200	165	図版275	RMY	y－74－7	M1	5137	たたき石	ⅤA3	6.7	6.7	5.9	419.0	カンラン岩	接合
			RMY	y－74－16	M2	1797								
			RMY	y－74－16	M1	2714								
図Ⅴ－200	166	図版275	RMG	w－84－8	M2	282	たたき石	ⅤA3	(6.1)	7.0	6.0	(338.3)	安山岩	接合
			RMY	y－71－3	M2	4926								
図Ⅴ－200	167	図版275	RMZ	x－73－14	M2	2754	たたき石	ⅤA2	6.7	5.8	4.9	350.0	泥岩	
図Ⅴ－200	168	図版275	RMY	z－74－8	M2	1651	たたき石	ⅤA3	4.8	5.0	4.5	202.0	カンラン岩	
図Ⅴ－200	169	図版275	RME	w－82－7	トレンチ	2250	たたき石	ⅤA3	4.2	3.9	3.5	82.6	安山岩	
図Ⅴ－200	170	図版275	RMY	w－77－7	M2	2146	たたき石	ⅤA4	7.8	5.0	2.8	126.6	安山岩	
図Ⅴ－200	171	図版275	RME	t－82－11	M1	1505	たたき石	ⅤA4	(5.4)	4.6	3.2	(113.8)	砂岩	
図Ⅴ－200	172	図版275	RMD	r－82－6	M4	10969	たたき石	ⅤA4	(14.8)	(6.9)	2.3	(278.3)	砂岩	接合
			RMD	r－82－3	M4	10950								

表Ⅴ－69　盛土遺構上位の掲載石器・石製品一覧（4）

※盛土中の遺構も含む

挿図番号		図版番号	遺構	発掘区	層位	整理番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図Ⅴ－200	173	図版275	RMZ	y－73－1	M2	2763	すり石	ⅦA2	7.2	6.4	3.0	257.0	カンラン岩	
図Ⅴ－200	174	図版275	RMG	u－84－12	M2	210	すり石	ⅦA2	8.3	10.0	5.3	(585.4)	泥岩	接合
			RMG	v－83－10	M2	247								
図Ⅴ－200	175	図版275	RMD	p－84－10	M4	(20199)	すり石	ⅦA4	54.0	58.0	58.1	382.2	安山岩	
図Ⅴ－200	176	図版275	RMG	v－84－16	M3	345	すり石	ⅦA4	5.2	5.5	4.7	180.0	砂岩	
図Ⅴ－200	177	図版275	RMZ	x－73－15	M2	2755	石鋸	ⅦA1	7.4	8.9	1.0	90.0	砂岩	
図Ⅴ－200	178	図版275	RMJ	u－87－1	M2	279	石鋸	ⅦA1	5.8	11.1	2.8	205.5	砂岩	
図Ⅴ－200	179	図版275	RMY	w－76－4	M2	503	砥石	ⅦB3	(12.1)	(7.2)	(6.2)	(594.2)	砂岩	
図Ⅴ－200	180	図版275	RMD	q－86－7	M6	9431	加工痕のみられる礫	XB2	(11.8)	(7.0)	(5.1)	(428.4)	泥岩	接合
			RMD	q－86－14	M6	9489								
図Ⅴ－201	181	図版276	RMD	p－83－7	M4	(20000)	台石もしくは石皿	ⅦA1	29.4	20.7	14.2	15,250	安山岩	
図Ⅴ－201	182	図版277	RMY	x－75－9	M2	[24778]	玉		0.7	0.7	0.5	0.3	ヒスイ	
図Ⅴ－201	183	図版277	RMD	q－86－10	M6	[11773]	玉		0.6	0.6	0.4	0.2	ヒスイ	
図Ⅴ－201	184	図版277	RMD	p－87－6	M14	[11764]	玉		0.8	0.8	0.6	0.6	ヒスイ	
図Ⅴ－201	185	図版277	RMD	q－83－8	M3	[11766]	玉		0.9	0.8	0.7	0.6	ヒスイ	
図Ⅴ－201	186	図版277	RMG	w－81－5	M1	[11763]	玉		0.8	1.4	0.8	1.5	ヒスイ	
図Ⅴ－201	187	図版277	RME	u－81－3	M3	[11780]	玉		0.8	1.2	0.5	0.8	ヒスイ	
図Ⅴ－201	188	図版277	RMY	w－80－1	MT	[11782]	玉		0.8	1.2	0.7	1.1	ヒスイ	
図Ⅴ－201	189	図版277	RMD	p－87－3	M12	[11786]	玉		1.5	0.7	0.4	0.7	ヒスイ	
図Ⅴ－201	190	図版277	RMY	x－79－3	M2	(2755)	玉		1.1	1.1	0.7	1.0	ヒスイ	
図Ⅴ－201	191	図版277	RMD	q－89－9	M13	[11770]	玉		0.8	0.8	0.8	0.6	ヒスイ	
図Ⅴ－201	192	図版277	RMA	o－89－11	M3	[11774]	玉		0.9	1.0	0.7	0.4	ヒスイ	
図Ⅴ－201	193	図版277	RME	s－84－13	M2	[11777]	玉		1.0	1.0	0.6	0.8	カンラン岩	
図Ⅴ－201	194	図版277	RMD	p－85－12	M16	[11768]	玉		1.1	1.0	0.6	1.2	不明	
図Ⅴ－201	195	図版277	RMZ	z－72－2	M2	[24779]	玉		1.0	1.0	0.5	0.6	カンラン岩	
図Ⅴ－201	196	図版277	RMY	y－75－3	M1	[22016]	玉		1.2	1.3	0.7	1.4	カンラン岩	
図Ⅴ－201	197	図版277	RME	s－84－11	M3	[11757]	玉		1.5	1.3	1.1	2.6	滑石	
図Ⅴ－201	198	図版277	RMA	o－91－2	M2	[22015]	玉		1.6	1.5	0.8	2.6	カンラン岩	
図Ⅴ－201	199	図版277	RME	t－84－3	M3	[11752]	玉		1.6	1.7	1.3	4.3	カンラン岩	
図Ⅴ－201	200	図版277	RMY	y－74－16	M1	[11775]	玉		1.2	1.3	0.5	1.1	カンラン岩	
図Ⅴ－201	201	図版277	RMY	x－73－11	M2	[24780]	玉		0.8	0.8	0.5	0.4	滑石	
図Ⅴ－201	202	図版277	RMD	r－83－7	M3	(11500)	玉		0.9	0.8	0.5	0.6	カンラン岩	
図Ⅴ－201	203	図版277	RMD	q－87－10	M7	(6850)	玉		1.1	1.2	0.8	1.4	カンラン岩	
図Ⅴ－201	204	図版277	RME	s－83－9	M1	(11100)	玉		1.1	1.1	0.6	1.0	カンラン岩	
図Ⅴ－201	205	図版277	RMG	v－83－14	M1	[24781]	玉		1.1	1.1	1.1	1.8	カンラン岩	
図Ⅴ－201	206	図版277	RMY	x－76－15	M2	(1415)	玉		1.3	1.2	0.9	2.3	カンラン岩	
図Ⅴ－201	207	図版277	RMZ	y－71	M1	(70)	玉		1.3	1.3	0.9	2.0	不明	
図Ⅴ－201	208	図版277	RME	s－84－11	M3	[11756]	玉		1.2	1.3	2.1	4.2	滑石	
図Ⅴ－201	209	図版277	RME	s－84－1	M2	[11751]	玉		1.0	1.5	1.3	2.4	カンラン岩	
図Ⅴ－201	210	図版277	RMD	r－84－10	M2	(4316)	玉		2.3	1.4	1.5	6.1	カンラン岩	
図Ⅴ－201	211	図版277	RMY	z－74－4	M10	(8644)	玉		1.8	1.6	1.6	6.0	カンラン岩	
図Ⅴ－201	212	図版277	RMY	z－75－1	MT	(141)	玉		2.0	1.6	1.4	6.2	カンラン岩	
図Ⅴ－201	213	図版277	RMY	z－74－4	M10	(8643)	玉		2.2	1.6	1.1	5.0	カンラン岩	
図Ⅴ－201	214	図版277	RMY	y－75－3	M1	(201)	玉		2.3	1.5	1.3	6.4	カンラン岩	
図Ⅴ－201	215	図版277	RMY	y－77－14	MT	(3000)	玉		2.3	1.4	1.2	5.0	不明	
図Ⅴ－201	216	図版277	RMY	x－73－13	M3	(7400)	垂飾		2.6	2.5	1.1	9.9	ヒスイ	
図Ⅴ－201	217	図版277	RMY	z－73－6	M3	(7124)	垂飾		3.1	1.4	1.1	8.8	ヒスイ	
図Ⅴ－201	218	図版277	RMY	z－74－6	M3	[11753]	垂飾		(3.2)	(3.0)	(0.8)	(9.3)	滑石	
図Ⅴ－201	219	図版277	RME	u－83－16	M1	(2901)	垂飾		4.7	4.2	1.1	26.1	泥岩	
図Ⅴ－201	220	図版277	RMD	q－82－13	M2	(3040)	垂飾		4.6	3.8	1.8	42.7	カンラン岩	
図Ⅴ－201	221	図版277	RMD	r－84－6	M7	(36465)	垂飾		4.3	3.7	0.5	10.0	カンラン岩	
図Ⅴ－201	222	図版277	RME	t－82－14	M2	[5856]	垂飾		(2.4)	(1.7)	(3.0)	(1.3)	凝灰岩	
図Ⅴ－202	223	図版277	RMY	x－76－7	M2	1615	異形石器		7.0	2.0	0.7	2.0	黒曜石	
図Ⅴ－202	224	図版277	RMD	q－85－16	M3	25647	異形石器		3.6	2.1	0.6	2.0	黒曜石	
図Ⅴ－202	225	図版277	RMD	q－84－7	M4	14660	異形石器		2.4	5.5	0.6	7.0	黒曜石	
図Ⅴ－202	226	図版277	RMD	r－83－8	M4	[22022]	異形石器		1.5	2.4	0.4	1.0	黒曜石	
図Ⅴ－202	227	図版277	RMD	q－84－6	M3	10976	異形石器		1.4	3.3	0.5	1.0	黒曜石	
図Ⅴ－202	228	図版277	RMD	q－84－6	M3	10976	異形石器		1.3	3.0	0.5	1.0	黒曜石	
図Ⅴ－202	229	図版277	RME	s－82－3	M3	[24782]	異形石器		9.7	2.0	0.3	0.3	黒曜石	
図Ⅴ－202	230	図版277	RMY	y－72－3	M3	[24783]	異形石器		1.9	4.1	0.6	3.0	黒曜石	
図Ⅴ－202	231	図版277	RMD	r－87－10	M5	(15007)	異形石器		(1.4)	2.5	0.5	(1.0)	黒曜石	
図Ⅴ－202	232	図版277	RMD	r－86－13	M5	(15003)	異形石器		1.5	2.3	0.4	0.9	黒曜石	
図Ⅴ－202	233	図版277	RMD	r－86－13	M5	(15002)	異形石器		1.6	2.2	0.4	1.2	黒曜石	
図Ⅴ－202	234	図版277	RME	t－84－2	M3	[13248]	異形石器		1.2	1.4	0.3	0.4	黒曜石	
図Ⅴ－202	235	図版277	RMY	x－74－16	M1	[4831]	異形石器		1.6	2.1	0.3	0.8	黒曜石	

表Ⅴ－70　盛土遺構上位の掲載石器・石製品一覧（５）

※盛土中の遺構も含む

挿図番号		図版番号	遺構	発掘区	層位	整理番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図Ⅴ－202	236	図版277	ＲＭＤ	ｐ－８６－12	M12上	24500	異形石器		1.6	3.1	0.5	1.9	黒曜石	
図Ⅴ－202	237	図版277	ＲＭＥ	ｓ－８１－６	Ｍ３	[13234]	異形石器		1.0	2.8	0.3	0.4	黒曜石	
図Ⅴ－202	238	図版277	ＲＭＹ	ｗ－７８－12	Ｍ２	[22024]	異形石器		3.0	2.8	0.5	1.2	黒曜石	
図Ⅴ－202	239	図版277	ＲＭＥ	ｔ－８５－４	Ｍ１	[3077]	石製品		1.5	1.0	0.7	1.5	珪岩	黒色物質付着小円礫
図Ⅴ－202	240	図版277	ＲＭＹ	ｖ－７８－４	M10	[9678]	石製品		1.3	0.8	0.6	0.9	珪岩	黒色物質付着小円礫
図Ⅴ－202	241	図版278	ＲＭＹ	ｖ－７９－16	Ｍ２	[14806]	石製品		2.5	2.4	1.7	2.6	軽石	軽石製品
図Ⅴ－202	242	図版278	ＲＭＹ	ｘ－７３－14	M11	(3800)	石製品		4.5	4.7	3.1	21.0	軽石	軽石製品
図Ⅴ－202	243	図版278	ＲＭＥ	ｔ－８２－８	Ｍ２	(5644)	石製品		(12.1)	(5.0)	2.7	52.0	軽石	軽石製品
図Ⅴ－202	244	図版278	ＲＭＹ	ｘ－７７－13	Ｍ１	(1416)	石製品		8.1	7.0	3.0	45.0	軽石	軽石製品
図Ⅴ－202	245	図版278	ＲＭＥ	ｔ－８２－６	Ｍ３	(9000)	石製品		4.4	4.4	3.4	95.0	メノウ	赤彩礫
図Ⅴ－202	246	図版276	ＲＭＤ	ｒ－８３－８	Ｍ１	3115	石棒		(7.2)	(2.9)	(1.8)	(39.8)	片岩	接合
				ｒ－８３	Ｖａ	(15500)								
図Ⅴ－202	247	図版276	ＲＭＹ	ｗ－７８－５	Ｍ２	(8055)	石棒		(5.9)	(5.3)	(3.2)	(111.3)	片岩	
図Ⅴ－202	248	図版276	ＲＭＤ	ｒ－８４－14	Ｍ７	37915	石棒		(6.3)	(2.5)	(1.1)	(17.8)	泥岩	接合
			ＲＭＤ	ｐ－８４－８	M11	38178								
図Ⅴ－203	249	図版276	ＲＭＤ	ｒ－８３－６	Ｍ２	(3100)	石棒		(4.0)	(4.2)	(3.7)	(83.0)	泥岩	
図Ⅴ－203	250	図版276	ＲＭＥ	ｓ－８４－４	Ｍ１	(14056)	石棒		(6.2)	(3.8)	(2.9)	(43.5)	砂岩	
図Ⅴ－203	251	図版276	ＲＭＸ	ｙ－８１－１	Ｍ１	415	石棒		(12.2)	(3.6)	(1.3)	(57.6)	泥岩	接合
				ｘ－８１	Ｖａ	7300								
図Ⅴ－203	252	図版276	ＲＭＥ	ｓ－８２－８	Ｍ３	10430	石棒		(24.9)	(3.6)	(4.0)	(284.4)	片岩	接合
			ＲＭＹ	ｘ－７６－８	Ｍ２	4152								
			ＲＭＹ	ｙ－７４－15	Ｍ２	12303								
			ＲＭＹ	ｚ－７４－４	Ｍ２	1812								
			ＲＭＹ	ｙ－７４－11	MB14	7754								
図Ⅴ－203	253	図版276	ＲＭＹ	ｘ－７３－14	Ｍ３	712	石棒		(22.5)	(2.6)	(4.4)	(230.1)	泥岩	接合
				ｗ－８１	Ｖａ	3574								
				ｘ－８２	Ⅲ下	1996								
図Ⅴ－203	254	図版276		ｗ－７７	Ｖａ	3364	石棒		(22.9)	(4.5)	(1.8)	(292.5)	片岩	接合
			ＲＭＥ	ｔ－８１－16	Ｍ２	1200								
図Ⅴ－203	255	図版276	ＲＭＤ	ｑ－８３－４	Ｍ３	(8800)	石棒		(7.4)	(3.6)	(3.9)	(101.7)	片岩	
図Ⅴ－203	256	図版276	ＲＭＤ	ｑ－８３－15	Ｍ６	(30000)	石棒		(12.7)	(4.9)	(3.8)	(229.6)	泥岩	
図Ⅴ－203	257	図版276	ＲＭＥ	ｕ－８２－１	Ｍ３	3798	石棒		(10.2)	(3.6)	2.9	(147.7)	片岩	接合
			ＲＭＤ	ｑ－８７－５	M12下	15151								
図Ⅴ－203	258	図版276	ＲＭＤ	ｒ－８６－14	Ｍ３	2216	石棒		(5.6)	(1.2)	(3.2)	(18.0)	泥岩	接合
			ＲＭＤ	ｑ－８３－８	Ｍ５	5725								
図Ⅴ－204	259	図版278	ＲＭＤＦ１	ｒ－８５－７	Ｆ３	(417)	石鏃	ＩＡ７ｃ	3.0	1.5	0.4	1.1	黒曜石	
図Ⅴ－204	260	図版278	ＲＭＤＦ６	ｑ－８５－９	Ｆ０	(43)	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.8	1.5	0.4	0.8	黒曜石	
図Ⅴ－204	261	図版278	ＲＭＤＦ16	ｑ－８３－15	Ｆ０	1	石鏃	ＩＡ７ｂ	(2.6)	1.8	0.5	(1.3)	黒曜石	
図Ⅴ－204	262	図版278	ＲＭＤＦ16	ｑ－８３－15	Ｆ０	2	石鏃	ＩＡ７ｂ	(3.2)	(1.5)	0.5	(1.3)	黒曜石	
図Ⅴ－204	263	図版278	ＲＭＤＦ20	ｒ－８４－14	Ｆ２	(33)	石鏃	ＩＡ７ｃ	3.6	1.7	0.6	2.2	黒曜石	
図Ⅴ－204	264	図版278	ＲＭＤＦ31	ｒ－８５－７	Ｆ１	(35)	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.5	1.3	0.4	1.0	黒曜石	
図Ⅴ－204	265	図版278	ＲＭＤＦ44	ｐ－８６－９	Ｆ２	(138)	石鏃	ＩＡ７	1.5	1.3	0.3	0.3	黒曜石	ミニチュア
図Ⅴ－204	266	図版278	ＲＭＤＦ46	ｐ－８７－５	Ｆ１	(2)	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.6	1.5	0.4	1.2	黒曜石	
図Ⅴ－204	267	図版278	ＲＭＤＦ59	ｑ－８６－９	Ｆ１	(2)	石鏃	ＩＡ７ｃ	2.9	1.6	0.4	0.9	黒曜石	
図Ⅴ－204	268	図版278	ＲＭＥＦ32	ｓ－８２－７	Ｆ	5	石鏃	ＩＡ７ｂ	(1.9)	1.8	0.3	(0.8)	黒曜石	
図Ⅴ－204	269	図版278	ＲＭＥＦ32	ｓ－８２－12	Ｆ	12	石鏃	ＩＡ７ａ	(2.6)	(1.7)	0.4	(1.1)	黒曜石	
図Ⅴ－204	270	図版278	ＲＭＧＦ14	ｖ－８２－11	Ｆ０	(29)	石鏃	ＩＡ７ｃ	3.7	(1.6)	0.5	(1.4)	黒曜石	
図Ⅴ－204	271	図版278	ＲＭＤＦ14	ｑ－８３－３	Ｆ２	(118)	石錐	ⅡＡ２	4.8	1.8	0.6	2.1	頁岩	
図Ⅴ－204	272	図版278	ＲＭＹＦ33	ｙ－７４－６	Ｆ０	(21)	つまみ付きナイフ	ⅢＡ３	3.5	4.9	1.0	9.5	黒曜石	
図Ⅴ－204	273	図版278	ＲＭＥＦ40	ｓ－８４－１	Ｆ０	(128)	スクレイパー	ⅢＢ６	(4.1)	3.2	1.3	(9.3)	黒曜石	
図Ⅴ－204	274	図版278	ＲＭＹＦ25	ｖ－７８－３	Ｆ０	(2)	スクレイパー	ⅢＢ６	(5.4)	2.7	1.4	(15.1)	黒曜石	
図Ⅴ－204	275	図版278	ＲＭＤＦ１	ｒ－８５－16	Ｆ２	(526)	スクレイパー	ⅢＢ６	4.1	2.1	0.9	4.4	黒曜石	
図Ⅴ－204	276	図版278	ＲＭＤＦ34		Ｆ１		玉		0.6	0.6	0.4	0.2	ヒスイ	
図Ⅴ－204	277	図版278	ＲＭＤＦ７	ｒ－８５－２	Ｆ０	(1)	石斧	ⅣＡ２	(8.5)	6.7	3.0	(302.5)	泥岩	
図Ⅴ－204	278	図版278	ＲＭＤＦ63	ｑ－８４－11	Ｆ１	(83)	石斧	ⅣＡ２	(7.4)	(6.3)	(3.2)	(228.6)	泥岩	
図Ⅴ－204	279	図版278	ＲＭＧＦ12	ｗ－８４－３	Ｆ０	(18)	石斧	ⅣＡ８	11.8	4.6	1.9	194.7	泥岩	接合
			ＲＭＧＦ12	ｗ－８４－４	Ｆ０	(22)								
図Ⅴ－204	280	図版278	ＲＭＤＦ62	ｒ－８４－４	Ｆ１	(10)	たたき石	ＶＡ２	6.7	7.8	3.5	260.2	泥岩	
図Ⅴ－204	281	図版278	ＲＭＤＦ１	ｒ－８２－16	Ｆ２	(579)	たたき石	ＶＡ４	(8.6)	7.2	2.4	(188.5)	砂岩	
図Ⅴ－204	282	図版278	ＲＭＤＦ６	ｑ－８５－５	Ｆ１	(401)	砥石	ⅦＢ２	(13.4)	(12.2)	2.5	388.1	安山岩	接合
			ＲＭＤＦ６	ｑ－８５－９	Ｆ１	(416)								
図Ⅴ－204	283	図版278	ＲＭＹＦ47	ｙ－７３－１	Ｆ０	(1)	加工痕のみられる礫	ＸＢ１	(6.9)	9.8	1.8	(187.8)	泥岩	
図Ⅴ－205	284	図版279	ＲＭＤＳ１	ｑ－８４－９	Ｍ７	(1)	石斧	ⅣＡ８	9.4	4.8	2.0	134.0	泥岩	
図Ⅴ－205	285	図版279	ＲＭＤＳ１	ｑ－８４－９	Ｍ７	(2)	石斧	ⅣＡ８	10.9	5.5	2.5	218.3	泥岩	
図Ⅴ－205	286	図版279	ＲＭＤＳ１	ｑ－８４－９	Ｍ７	(3)	礫		7.8	5.8	3.5	221.6	カンラン岩	

表Ⅴ－71　盛土遺構上位の掲載石器・石製品一覧（6）　※盛土中の遺構も含む

挿図番号		図版番号	遺構	発掘区	層位	整理番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図Ⅴ－205	287	図版279	RMDS1	q－84－9	M7	(4)	石斧	ⅣA2	6.7	5.5	2.1	119.1	泥岩	
図Ⅴ－205	288	図版279	RMDS1	q－84－9	M7	(5)	石斧	ⅣA8	10.0	3.8	1.4	76.4	泥岩	
図Ⅴ－205	289	図版279	RMDS1	q－84－9	M7	(6)	石斧	ⅣA3	7.5	3.0	1.0	28.1	泥岩	
図Ⅴ－205	290	図版279	RMDS1	q－84－9	M7	(7)	石斧	ⅣA8	8.1	3.2	1.3	69.6	泥岩	
図Ⅴ－205	291	図版279	RMDS1	q－84－9	M7	(8)	石斧	ⅣA8	10.6	3.6	1.2	78.1	泥岩	
図Ⅴ－205	292	図版279	RMDS1	q－84－9	M7	(9)	石斧	ⅣA8	12.5	6.9	1.2	164.7	泥岩	
図Ⅴ－205	293	図版279	RMDS1	q－84－9	M7	(10)	石斧	ⅣA8	11.2	5.8	1.5	168.6	泥岩	
図Ⅴ－205	294	図版279	RMDS1	q－84－9	M7	(11)	石器素材	XIA2	29.6	6.4	3.6	1230.0	泥岩	
図Ⅴ－205	295	図版279	RMDFC1	p－83－7	M4	1	石鏃	IA7c	2.2	1.5	0.4	0.7	黒曜石	
図Ⅴ－205	296	図版279	RMDFC1	p－83－7	M4	2	石鏃	IA7c	(2.2)	1.3	0.4	(0.9)	黒曜石	

＊遺物番号の（　）は点上げ、〈　〉なしはグリッド上げ、［　］は土壌あげ

表Ⅴ－72　盛土遺構下位の掲載石器・石製品一覧（１）

※盛土中の遺構も含む

挿図番号		図版番号	遺構	発掘区	層位	遺物番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図Ⅴ－212	1	図版279	RMB	r－92	M2	838	石鏃	IA3a	(3.6)	1.4	0.5	(1.6)	黒曜石	
図Ⅴ－212	2	図版279	RMW	z－77	M3	2691	石鏃	IA3a	3.6	1.1	0.5	1.7	黒曜石	
図Ⅴ－212	3	図版279	RMW	v－83	M2	[1493]	石鏃	IA3b	1.6	0.8	0.2	0.2	黒曜石	
図Ⅴ－212	4	図版279	RMV	u－84	M2	(6743)	石鏃	IA3b	2.1	1.0	0.3	0.4	黒曜石	
図Ⅴ－212	5	図版279	RMW	y－75	MT	12186	石鏃	IA4a	(2.5)	2.1	0.3	(0.8)	黒曜石	
図Ⅴ－212	6	図版279	RMV	t－83	M1	1103	石鏃	IA4b	(2.4)	1.5	0.3	(0.7)	珪質頁岩	
図Ⅴ－212	7	図版279	RMW	w－81	M2	[2074]	石鏃	IA4a	3.6	1.9	0.4	1.7	黒曜石	
図Ⅴ－212	8	図版279	RMW	z－77	M2	[3547]	石鏃	IA4b	1.8	1.2	0.2	0.6	黒曜石	
図Ⅴ－212	9	図版279	RMV	u－89	M1	120	石鏃	IA6	2.2	1.3	0.4	0.7	黒曜石	
図Ⅴ－212	10	図版279	RMW	y－77	M2	8088	石鏃	IA7b	(3.4)	(1.2)	0.3	(1.1)	黒曜石	
図Ⅴ－212	11	図版279	RMV	u－77	M3	2192	石鏃	IA7b	2.7	1.7	0.4	0.6	黒曜石	
図Ⅴ－212	12	図版279	RMW	y－74	M3	1936	石鏃	IA7b	2.9	1.8	0.3	0.8	黒曜石	
図Ⅴ－212	13	図版279	RMV	s－86	M2	1530	石鏃	IA7b	1.8	(1.4)	0.3	(0.7)	黒曜石	
図Ⅴ－212	14	図版279	RMA	p－91－10	M4	170	石鏃	IA7b	1.8	1.5	0.4	0.5	黒曜石	
図Ⅴ－212	15	図版279	RMV	r－82	M2	1168	石鏃	IA7b	2.9	1.8	0.5	1.4	黒曜石	
図Ⅴ－212	16	図版279	RMW	w－75	MT	12215	石鏃	IA7b	2.4	(1.9)	0.4	0.9	黒曜石	
図Ⅴ－212	17	図版279	RMW	v－76	M2	6950	石鏃	IA7c	2.4	1.6	0.3	0.6	黒曜石	
図Ⅴ－212	18	図版279	RMB	r－90－14	M2	229	石鏃	IA7c	2.5	1.3	0.3	0.8	黒曜石	
図Ⅴ－212	19	図版279	RMW	z－73	M2	3048	石鏃	IA7	2.3	1.2	0.3	0.5	黒曜石	
図Ⅴ－212	20	図版279	RMV	s－86	M2	1531	石鏃	IA7	(2.6)	1.6	0.4	(0.9)	黒曜石	
図Ⅴ－212	21	図版279	RMW	w－78	M2	3124	石鏃	IA7c	3.1	1.4	0.3	1.0	黒曜石	
図Ⅴ－212	22	図版279	RMV	t－85	M2	649	石鏃	IA7c	3.3	1.4	0.4	0.8	黒曜石	
図Ⅴ－212	23	図版279	RMW	x－80	M3	580	石鏃	IA7c	3.3	1.5	0.4	1.2	珪質頁岩	
図Ⅴ－212	24	図版279	RMW	w－80	M2	5274	石鏃	IA7c	3.8	1.6	0.5	1.9	黒曜石	
図Ⅴ－212	25	図版279	RMW	x－77	M2	12185	石鏃	IA7c	3.0	1.4	0.5	0.9	黒曜石	
図Ⅴ－212	26	図版279	RMV	q－83	M3	673	石鏃	IA7c	3.0	1.7	0.5	1.3	黒曜石	
図Ⅴ－212	27	図版279	RMW	u－84	M2	(15341)	石鏃	IA7c	3.2	1.4	0.4	1.0	黒曜石	
図Ⅴ－212	28	図版279	RMW	z－75	MT	2847	石鏃	IA7c	1.4	0.9	0.3	0.2	黒曜石	
図Ⅴ－212	29	図版279	RMW	w－79	M3	2316	石鏃	IA7c	4.2	2.3	0.8	4.4	黒曜石	
図Ⅴ－212	30	図版279	RMW	z－75	M2	12187	石鏃	IA7c	4.6	2.1	0.6	3.1	黒曜石	
図Ⅴ－212	31	図版279	RMV	s－82	M2	1323	石鏃	IA7c	(3.7)	1.8	0.4	(2.0)	黒曜石	
図Ⅴ－212	32	図版280	RMW	u－89	M10	2708	石鏃	IA7c	5.8	2.9	0.9	9.5	黒曜石	
図Ⅴ－212	33	図版280	RMW	y－79	M2	8384	石鏃	IA3a	5.4	2.1	0.7	6.4	黒曜石	
図Ⅴ－212	34	図版280	RMW	y－76	M2	(11750)	石槍またはナイフ	IB1	7.8	3.9	1.1	21.5	黒曜石	
図Ⅴ－212	35	図版280	RMW	y－79	M2	8383	石槍またはナイフ	IB1	6.1	3.1	0.8	(12.0)	黒曜石	
図Ⅴ－212	36	図版280	RMB	r－92－14	M2	298	石錐	IIA1	2.6	1.3	0.6	1.8	黒曜石	
図Ⅴ－212	37	図版280	RMA	o－91－13	M5	22	石錐	IIA1	3.1	2.0	0.9	3.9	黒曜石	
図Ⅴ－212	38	図版280	RMW	x－82	M2	8686	石錐	IIA2	6.2	2.4	0.6	4.3	頁岩	
図Ⅴ－212	39	図版280	RMW	x－82	M2	8685	石錐	IIA2	4.1	1.5	0.6	2.2	頁岩	
図Ⅴ－212	40	図版280	RMV	s－87	M2	1586	石錐	IIA2	4.1	2.2	0.7	2.2	頁岩	
図Ⅴ－212	41	図版280	RMW	y－80	M3	722	石錐	IIA2	5.7	0.8	0.7	2.8	黒曜石	
図Ⅴ－212	42	図版280	RMW	u－82	M2	4023	石錐	IIA3	5.8	1.1	0.8	5.2	黒曜石	
図Ⅴ－212	43	図版280	RMW	v－79	M2	[1211]	石錐	IIA3	4.1	0.9	0.7	2.1	頁岩	
図Ⅴ－212	44	図版280	RMB	s－90－5	MT	988	石錐	IIA3	3.1	0.9	0.6	1.7	黒曜石	
図Ⅴ－212	45	図版280	RMV	t－78	M3	1838	石錐	IIA3	3.2	1.0	0.7	2.2	黒曜石	
図Ⅴ－212	46	図版280	RMW	y－78	M2	8929	石錐	IIA3	2.6	1.1	0.6	1.9	黒曜石	
図Ⅴ－212	47	図版280	RMW	x－81	M3	2502	石錐	IIA	2.9	1.4	0.6	1.6	黒曜石	石鏃を転用
図Ⅴ－213	48	図版280	RMV	v－81	M3	893	石錐	IIA1	5.1	4.2	0.9	18.2	頁岩	接合
			RMV	v－81	M1	434	フレイク	XIB	6.5	5.1	1.0	31.2		石錐と接合した状態
図Ⅴ－213	49	図版280	RMV	v－76	M3	1645	つまみ付きナイフ	IIIA1	5.1	2.6	0.7	4.9	黒曜石	
図Ⅴ－213	50	図版280	RMW	x－82	M1	9893	つまみ付きナイフ	IIIA	4.7	2.5	0.9	6.9	黒曜石	
図Ⅴ－213	51	図版280	RMW	w－82	M2	2901	つまみ付きナイフ	IIIA	5.1	2.0	0.6	5.7	黒曜石	
図Ⅴ－213	52	図版280	RMW	x－83	M2	8687	つまみ付きナイフ	IIIA3	4.7	2.8	1.1	11.7	頁岩	
図Ⅴ－213	53	図版280	RMW	t－81	M2	7408	つまみ付きナイフ	IIIA3	5.9	3	0.9	12.9	頁岩	
図Ⅴ－213	54	図版280	RMV	t－79	M3	1857	つまみ付きナイフ	IIIA3	6.8	2.6	0.6	11.5	黒曜石	接合
			RMV	u－79	M3	2716								
図Ⅴ－213	55	図版280	RMV	r－81	M3	693	つまみ付きナイフ	IIIA1	4.3	2.1	0.5	4.2	黒曜石	
図Ⅴ－213	56	図版280	RMW	z－77	M3	2695	つまみ付きナイフ	IIIA3	6.8	2.7	0.8	9.4	黒曜石	
図Ⅴ－213	57	図版280	RMV	v－80－9	MT	4158	つまみ付きナイフ	IIIA3	6.1	2.6	0.6	(8.3)	黒曜石	
図Ⅴ－213	58	図版280	RMW	w－78	M2	3132	つまみ付きナイフ	IIIA4	10.0	2.4	1.0	25.3	頁岩	
図Ⅴ－213	59	図版280	RMW	v－81	M2	4623	つまみ付きナイフ	IIIA	3.0	4.2	0.7	6.3	頁岩	
図Ⅴ－213	60	図版280	RMV	v－82	M2	667	つまみ付きナイフ	IIIA4	2.9	1.4	0.3	1.0	黒曜石	
図Ⅴ－213	61	図版280	RMV	s－88	M2	(690)	つまみ付きナイフ	IIIA4	9.2	3.1	1.2	28.2	黒曜石	
図Ⅴ－213	62	図版280	RMB	r－92－13	M1	985	つまみ付きナイフ	IIIA	8.0	1.9	1.1	17.2	頁岩	
図Ⅴ－213	63	図版280	RMW	y－83	M3	7349	スクレイパー	IIIB	(4.9)	2.3	1.1	11.9	黒曜石	
図Ⅴ－213	64	図版280	RMW	u－86	M3	1470	スクレイパー	IIIB2	2.8	2.5	1.1	7.2	黒曜石	

表Ⅴ－73　盛土遺構下位の掲載石器・石製品一覧（２）

※盛土中の遺構も含む

挿図番号		図版番号	遺構	発掘区	層位	遺物番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図Ⅴ－213	65	図版280	RMW	x－74	M2	7826	スクレイパー	ⅢB4	2.5	3.4	0.8	4.2	黒曜石	
図Ⅴ－213	66	図版280	RMV	u－77	M3	2195	スクレイパー	ⅢB3	4.4	3.6	1.5	14.2	黒曜石	
図Ⅴ－213	67	図版280	RMW	v－83	M2	4504	スクレイパー	ⅢB5	6.9	2.7	0.9	13.3	黒曜石	
図Ⅴ－213	68	図版280	RMV	u－78	M1	20	スクレイパー	ⅢB5	4.9	2.8	1.2	16.4	黒曜石	
図Ⅴ－214	69	図版280	RMW	w－74	M2	5627	スクレイパー	ⅢB6	6.7	7.2	1.3	42.0	黒曜石	
図Ⅴ－214	70	図版280	RMW	t－85	M2	9462	スクレイパー	ⅢB6	9.8	5.6	1.8	26.8	黒曜石	
図Ⅴ－214	71	図版280	RMV	t－87	M2	405	スクレイパー	ⅢB6	7.3	3.9	1.4	18.6	黒曜石	
図Ⅴ－214	72	図版280	RMW	y－83	M3	7350	スクレイパー	ⅢB6	6.4	2.9	1.2	18.7	黒曜石	
図Ⅴ－214	73	図版280	RMV	t－86	M2	115	スクレイパー	ⅢB6	8.1	4.0	1.0	(23.3)	黒曜石	
図Ⅴ－214	74	図版280	RMW	y－74	M2	9142	スクレイパー	ⅢB6	7.0	5.2	1.5	30.0	黒曜石	
図Ⅴ－214	75	図版280	RMW	w－85	M2	4875	スクレイパー	ⅢB6	7.8	6.9	1.7	40.3	黒曜石	
図Ⅴ－214	76	図版280	RMV	t－84	M1	755	スクレイパー	ⅢB6	7.6	4.1	1.2	31.4	頁岩	
図Ⅴ－214	77	図版280	RMB	q－92	MT	986	スクレイパー	ⅢB6	3.2	5.7	1.2	18.9	珪質頁岩	
図Ⅴ－214	78	図版280	RMV	t－81	M2	3646	石核	XIA1	5.8	2.7	1.7	20.9	黒曜石	
図Ⅴ－214	79	図版280	RMV	v－77	M3	1712	石核	XIA1	4.5	1.5	2.2	15.3	黒曜石	
図Ⅴ－215	80	図版281	RMW	u－87	M2	9699	石斧	ⅣA1	(5.8)	3.9	1.2	(41.6)	泥岩	
図Ⅴ－215	81	図版281	RMW	y－81	M3	2664	石斧	ⅣA2	(10.0)	7.2	2.4	(343.9)	泥岩	
図Ⅴ－215	82	図版281	RMB	q－92	M1	837	石斧	ⅣA2	(9.5)	5.8	3.2	(287.4)	泥岩	
図Ⅴ－215	83	図版281	RMV	s－89	M2	1615	石斧	ⅣA2	13.6	4.4	1.6	137.7	泥岩	接合
			RMV	t－87	M3	1116								
図Ⅴ－215	84	図版281	RMV	s－85	M2	1500	石斧	ⅣA2	15.5	4.9	(3.0)	(207.9)	泥岩	接合
			RMV	s－86	M2	1561								
図Ⅴ－215	85	図版281	RMW	w－81	M2	4533	石斧	ⅣA2	20.4	6.6	3.2	(656.9)	泥岩	接合
			RMW	w－81	M2	4534								
図Ⅴ－215	86	図版281	RMV	u－84	M3	2264	石斧	ⅣA2	(10.8)	(5.5)	(2.9)	(284.4)	泥岩	接合
			RMV	w－76	M3	3739								
図Ⅴ－215	87	図版281	RMD	r－87－1	M14	80	石斧	ⅣA2	9.0	3.9	1.8	75.0	泥岩	接合
			RMV	s－83	M2	1388								
図Ⅴ－215	88	図版281	RMW	w－78	M2	3141	石斧	ⅣA3	10.9	4.4	1.2	95.6	泥岩	接合
図Ⅴ－215	89	図版281	RMW	u－81	M2	9470	石斧	ⅣA3	(7.7)	5.9	1.9	(149.5)	泥岩	接合
			RMW	w－77	M2	5502								
図Ⅴ－215	90	図版281	RMW	y－77	M3	989	石斧	ⅣA3	18.5	5.4	2.5	371.9	泥岩	接合
				w－67	Vd下	461								
図Ⅴ－215	91	図版281	RMW	y－77	M2	8116	石斧	ⅣA3	10.8	4.1	1.4	77.1	泥岩	接合
			RMW	x－78	M2	9586								
図Ⅴ－215	92	図版281	RMW	w－81	M2	4535	石斧	ⅣA3	6.3	4.3	1.1	45.5	泥岩	
図Ⅴ－216	93	図版281	RMW	w－78	M2	3139	石斧	ⅣA3	8.2	2.8	1.4	44.8	泥岩	接合
			RMW	x－77	M2	4561								
図Ⅴ－216	94	図版281	RMW	x－77	M2	4562	石斧	ⅣA3	10.9	4.1	1.2	72.5	泥岩	接合
			RMW	v－82	M2	4688								
図Ⅴ－216	95	図版281	RMV	u－79	M3	2723	石斧	ⅣA5	(9.6)	(4.7)	(3.3)	(235.9)	片岩	
図Ⅴ－216	96	図版281	RMV	u－77	M3	2155	石斧	ⅣA3	8.7	(3.0)	1.3	(47.1)	泥岩	
図Ⅴ－216	97	図版281	RMV	u－81	M2	654	石斧	ⅣA5	7.3	3.8	1.2	48.8	泥岩	黒色物質付着
図Ⅴ－216	98	図版281	RMV	v－75	M3	1636	石斧	ⅣA5	(7.6)	5.2	1.7	(120.7)	泥岩	
図Ⅴ－216	99	図版281	RMW	y－76	M3	391	石斧	ⅣA5	11.4	4.4	1.9	176.5	泥岩	黒色物質付着
図Ⅴ－216	100	図版281	RMW	z－77	M2	4596	石斧	ⅣA5	(8.9)	4.7	2.9	(203.0)	泥岩	クサビに転用？
図Ⅴ－216	101	図版281	RMV	r－80	M3	690	石斧	ⅣA5	(8.4)	(3.3)	(1.4)	(36.1)	泥岩	接合
			RMV	t－83	M3	1951								
図Ⅴ－216	102	図版281	RMV	v－76	M3	1670	石斧	ⅣA8	13.1	3.9	1.8	163.8	泥岩	接合
			RMV	s－86	M3	3004								
			RMW	v－85	M3	2241								
図Ⅴ－216	103	図版281	RMV	v－80－5	MT	3456	石斧	ⅣA8	13.8	5.9	1.9	313.7	泥岩	接合
			RMW	y－73	M2	8198								
図Ⅴ－216	104	図版281	RMV	u－81	M2	655	石斧	ⅣA8	14.4	5.4	3.0	333.0	泥岩	接合
			RMW	y－80	M3	723								
図Ⅴ－216	105	図版281		u－89	Vb	133	石斧	ⅣA8	13.6	5.0	2.2	220.0	泥岩	接合
			RMV	s－81	M1	925								
図Ⅴ－216	106	図版281	RMV	r－83	M3	3306	石斧	ⅣA8	12.7	3.8	2.1	170.8	泥岩	接合
			RMV	s－85	MT	3436								
図Ⅴ－216	107	図版281	RMW	w－76	M2	5709	石斧	ⅣA3	(9.9)	(4.8)	(2.0)	(185.5)	泥岩	接合
			RMW	x－76	M2	7530								
図Ⅴ－216	108	図版281	RMW	w－78	M2	3140	石斧	ⅣA3	7.7	3.0	0.8	30.4	片岩	装着痕？あり
図Ⅴ－216	109	図版281	RMV	s－83	M2	1401	石のみ	ⅣB	7.2	1.9	0.9	20.9	泥岩	
図Ⅴ－216	110	図版281	RMW	v－80	M2	6386	石のみ	ⅣB	5.0	2.1	0.8	16.0	泥岩	両端に刃部
図Ⅴ－217	111	図版282	RMW	w－75	MT	11980	たたき石	VA2	9.8	9.0	5.6	674.4	安山岩	赤色顔料付着

表Ⅴ－74　盛土遺構下位の掲載石器・石製品一覧（３）

※盛土中の遺構も含む

挿図番号		図版番号	遺構	発掘区	層位	遺物番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図Ⅴ－217	112	図版282	RMV	v－77	M3	1719	たたき石	VA2	8.8	8.9	4.6	592	片麻岩	
図Ⅴ－217	113	図版282	RMW	y－81	M3	2666	たたき石	VA3	9.0	5.8	4.2	328.4	安山岩	
図Ⅴ－217	114	図版282	RMW	x－77	M2	10990	たたき石	VA3	(7.9)	(5.1)	4.7	(218.7)	安山岩	接合
			RMW	u－82	M2	8470								
図Ⅴ－217	115	図版282	RMV	t－89	M1	614	たたき石	VA2	6.9	5.1	4.7	352.1	泥岩	接合
			RMW	x－79	M3	558								
図Ⅴ－217	116	図版282	RMW	x－78	M2	7891	たたき石	VA3	5.0	5.4	4.6	194.2	泥岩	接合
			RMW	x－78	M2	11020								
図Ⅴ－217	117	図版282	RMW	x－83	M3	1083	たたき石	VA3	8.0	6.2	5.8	471.2	安山岩	
図Ⅴ－217	118	図版282	RMV	v－81	M1	898	たたき石	VA1	7.9	5.1	3.3	254.0	泥岩	
図Ⅴ－217	119	図版282	RMV	u－87	M2	581	たたき石	VA2	7.0	6.7	4.3	(231.8)	片麻岩	接合
			IMA	o－92	M1	605								Ⅰ地区H9年度調査
図Ⅴ－217	120	図版282	RMV	x－73	M3	3383	たたき石	VA2	(9.2)	(5.4)	4.3	(292.9)	カンラン岩	接合
			RMW	y－74	M2	6666								
図Ⅴ－217	121	図版282	RMV	t－82	M1	1081	たたき石	VA2	(8.9)	7.5	4.9	(448.7)	砂岩	接合
			RMV	t－82	M3	2800								
図Ⅴ－217	122	図版282	RMW	y－82	M3	7309	たたき石	VA2	6.5	6.3	3.6	299.6	片麻岩	接合
			RMW	v－85	MT	2750								
図Ⅴ－217	123	図版282	RMW	x－81	M2	4589	たたき石	VA2	5.8	5.7	3.1	195.9	カンラン岩	
図Ⅴ－217	124	図版282	RMV	t－84－10	M10	648	たたき石	VA2	(6.8)	7.1	4.7	(334.1)	カンラン岩	接合
			RMY	x－77－7	M2	4294								
図Ⅴ－217	125	図版282	RMW	y－80	M3	1020	たたき石	VA2	6.0	6.5	5.1	309.9	泥岩	接合
			RMW	w－83	M2	9215								
図Ⅴ－217	126	図版282	RMW	v－88	M3	1256	たたき石	VA3	5.2	5.3	5.2	202.4	安山岩	接合
			RMV	r－83	M3	684								
図Ⅴ－217	127	図版282	RMW	y－82	M1	9985	たたき石	VA3	6.4	(4.2)	5.5	(233.3)	カンラン岩	接合
			RMW	y－81	M2	177								
			RMW	x－80	M2	7090								
図Ⅴ－217	128	図版282	RMW	x－83	M3	1084	たたき石	VA2	8.1	8.8	6.0	602.7	安山岩	
図Ⅴ－217	129	図版282	RMV	u－82	M3	2237	たたき石	VA3	6.4	6.2	6.0	334.4	安山岩	
図Ⅴ－217	130	図版282	RMV	u－85	MT	3455	たたき石	VA4	8.4	7.9	5.4	489.2	安山岩	
図Ⅴ－218	131	図版282	RMV	v－83	M2	671	たたき石	VA4	(8.3)	3.6	3.0	(146.3)	砂岩	
図Ⅴ－218	132	図版282	RMW	w－75	MT	2765	すり石	ⅥA1	7.7	(9.8)	6.8	(618.9)	砂岩	
図Ⅴ－218	133	図版282	RMV	t－79	M3	1880	すり石	ⅥA1	5.1	10.8	2.7	220.0	安山岩	
図Ⅴ－218	134	図版282	RMV	u－89	M1	611	すり石	ⅥA2	8.4	(8.9)	4.6	(503.2)	片麻岩	接合
			IMA	o－94	M1									Ⅰ地区H9年度調査
			IMA	o－94	M1	467								Ⅰ地区H9年度調査
図Ⅴ－218	135	図版282	RMW	x－82	M3	1362	すり石	ⅥA2	8.7	6.9	3.1	315.2	砂岩	
図Ⅴ－218	136	図版282	RMW	u－82	M2	3986	すり石	ⅥA2	7.5	6.9	4.2	379.6	泥岩	
図Ⅴ－218	137	図版282	RMV	q－83	M3	687	すり石	ⅥA2	6.4	6.6	2.8	(220.0)	片麻岩	
図Ⅴ－218	138	図版283	RMV	s－85	M3	2953	石鋸	ⅦA1	(10.6)	5.4	1.5	(103.4)	砂岩	
図Ⅴ－218	139	図版283	RMW	y－74	M3	338	石鋸	ⅦA1	9.8	(13.3)	1.7	(267.8)	砂岩	
図Ⅴ－218	140	図版283	RMV	v－79	M3	1794	砥石	ⅦB2	(19.2)	(11.5)	1.6	(360.0)	砂岩	
図Ⅴ－218	141	図版283	RMV	v－81	M1	900	砥石	ⅦB2	23.0	16.5	6.1	(575.3)	砂岩	接合
			RMW	w－83	M3	1185								
図Ⅴ－218	142	図版283	RMW	y－75	M2	5873	台石もしくは石皿	ⅦA1	19.6	26.2	4.5	(2332.5)	砂岩	接合
			RMW	u－82	M2	3989								
図Ⅴ－219	143	図版284	RMV	v－77	M3	1536	台石もしくは石皿	ⅦA1	(22.4)	(24.5)	12.6	(9150)	安山岩	
図Ⅴ－219	144	図版283	RMW	v－78	M2	6293	加工痕のみられる礫	XB1	(9.0)	9.0	1.5	(185.4)	泥岩	
図Ⅴ－219	145	図版283	RMW	x－81	M2	10627	加工痕のみられる礫	XB2	10.3	(3.2)	1.7	(76.8)	泥岩	接合、黒色物質付着
			RMW	y－81	M2	8993								黒色物質付着
図Ⅴ－219	146	図版283	RMW	y－83	M3	7357	加工痕のみられる礫	XB2	13.6	9.4	3.1	(586.5)	泥岩	接合
			RMW	w－74	M2	5547								
図Ⅴ－219	147	図版283	RMW	x－85	MT	10553	加工痕のみられる礫	XB2	(27.0)	(6.7)	(4.7)	(721.4)	片岩	接合
			RMW	u－88	M2	9733								
図Ⅴ－219	148	図版284	RMW	x－74	M3	1802	礫	礫	(17.8)	(18.1)	8.5	(3086.1)	珪岩	接合
			RMW	w－74	M2	4321								
図Ⅴ－220	149	図版284	RMW	w－78	M2	3176	礫	礫	(25.5)	(17.4)	(8.8)	(2905.8)	珪岩	接合
			RMW	x－76	M3	12144								
			RMW	x－75	MT	10796								
			IMB	r－94	M1									Ⅰ地区H9年度調査
図Ⅴ－220	150	図版284	RMW	z－74	M2	6850	礫	礫	(21.4)	(11.4)	(7.2)	(1466.3)	珪岩	接合
			RME	s－83－13	M3									149と同一個体
図Ⅴ－220	151	図版286	RMV	s－85	M3	[11761]	玉		0.7	0.7	0.6	0.5	ヒスイ	
図Ⅴ－220	152	図版286	RMV	u－79	M3	[11762]	玉		1.0	1.0	0.6	1.0	ヒスイ	

表Ⅴ－75　盛土遺構下位の掲載石器・石製品一覧（4）

※盛土中の遺構も含む

挿図番号		図版番号	遺構	発掘区	層位	遺物番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図Ⅴ－220	153	図版286	RMV	u－78	M3	[11776]	玉		0.9	0.9	0.7	0.8	ヒスイ	
図Ⅴ－220	154	図版286	RMW	x－76	M3	(14706)	玉		0.9	0.8	0.4	0.4	ヒスイ	
図Ⅴ－220	155	図版286	RMW	y－82	M2	[11779]	玉		0.8	0.8	0.6	0.6	ヒスイ	
図Ⅴ－220	156	図版286	RMW	u－84	M2	[11785]	玉		0.6	0.6	0.4	0.2	ヒスイ	
図Ⅴ－220	157	図版286	RMW	y－73	M2	[11771]	玉		1.0	1.0	0.5	0.7	カンラン岩	
図Ⅴ－220	158	図版286	RMW	y－73	M2	[11772]	玉		1.2	1.2	0.8	1.6	カンラン岩	
図Ⅴ－220	159	図版286	RMV	r－85	M3	[11765]	玉		0.8	0.9	0.6	0.7	カンラン岩	
図Ⅴ－220	160	図版286	RMD	p－85－12	M20	[11769]	玉		1.0	1.0	0.5	0.8	カンラン岩	
図Ⅴ－220	161	図版286	RMW	x－77	M3	[24785]	玉		1.1	1.1	0.7	1.4	滑石	
図Ⅴ－220	162	図版286	RMW	t－81	M2	(20878)	玉		1.3	1.4	1.2	3.0	滑石	
図Ⅴ－220	163	図版286	RMW	y－81	M3	[11759]	石製品		1.1	1.2	0.6	0.7	カンラン岩	
図Ⅴ－220	164	図版286	RMW	x－75	MT	12232	垂飾		2.2	0.8	0.6	1.3	カンラン岩	
図Ⅴ－220	165	図版286	RMB	t－90－12	M2	(393)	垂飾		2.4	1.1	0.9	0.4	蛇紋岩	
図Ⅴ－220	166	図版286	RMW	w－75	M3	[22014]	垂飾		4.0	1.7	0.8	6.2	カンラン岩	
図Ⅴ－220	167	図版286	RMW	w－76	M3	[24786]	石製品		2.0	1.3	1.1	3.6	珪岩	黒色物質付着
図Ⅴ－220	168	図版286	RMW	w－76	M3	[24787]	石製品		1.8	1.5	1.1	3.7	珪岩	黒色物質付着
図Ⅴ－220	169	図版286	RMA	o－91－6	M4	[4837]	石製品		1.5	1.0	0.7	1.2	不明	黒色物質付着
図Ⅴ－220	170	図版286	RMV	u－82	M3	[24782]	石製品		1.1	0.6	0.4	0.4	泥岩	黒色物質付着
図Ⅴ－220	171	図版286	RMW	v－83	M2	[1484]	異形石器		0.9	3.7	0.6	1.7	黒曜石	
図Ⅴ－220	172	図版286	RMW	z－75	M3	[11475]	異形石器		1.4	3.2	0.6	1.9	黒曜石	
図Ⅴ－220	173	図版286	RMW	w－84	M2	[2193]	異形石器		2.7	2.5	0.3	1.1	黒曜石	
図Ⅴ－220	174	図版286	RMW	y－76	M3	[4892]	異形石器		1.7	2.5	0.5	1.3	黒曜石	
図Ⅴ－220	175	図版286	RMV	v－84	M2	[4835]	異形石器		2.5	1.7	0.4	1.2	黒曜石	
図Ⅴ－221	176	図版285	RMW	y－71	M2	147	石棒		(18.9)	(4.8)	(3.7)	(345.5)	泥岩	接合
			RMW	y－71	M2	148								
			RMW	y－71	M2	149								
			RMW	y－82	M2	248								
			RMX	x－[illegible]－10	M1	147								
			RMY	w－79－3	M1	11023								
			RMY	x－80－4	M10	4829								
図Ⅴ－221	177	図版285	RMX	x－81－13	M1	387	石棒		(16.9)	(4.0)	(2.9)	(177.5)	泥岩	接合
			RMW	y－81	M2	183								
			RMW	x－80	M2	7095								
			不明	不明	不明									
図Ⅴ－221	178	図版285	RMW	u－83	M2	4486	石棒		(14.6)	4.8	3.6	(480.6)	泥岩	接合
			RMG	v－83－7	M2	1069								
図Ⅴ－221	179	図版285	RMW	x－81	M2	8579	石棒		(15.1)	(1.8)	(2.4)	(61.7)	泥岩	接合
			RMW	x－81	M2	8580								
			RMW	x－80	M2	7097								
図Ⅴ－221	180	図版285	RMW	w－78	M2	3163	石棒		(7.6)	(1.9)	(1.3)	(23.9)	片岩	接合
			RMW	x－77	M2	10984								
図Ⅴ－221	181	図版285	RMW	y－83	M3	(4001)	石棒		(27.8)	(4.3)	(4.1)	(722.5)	片岩	
図Ⅴ－221	182	図版285	RMW	w－87	M2	2922	オロシガネ状石製品		14.1	10.1	1.7	(232.2)	溶結凝灰岩	
			RMW	v－85	MT	(4950)								
			北側盛土	O－74	N14									G地区H10年度調査
図Ⅴ－221	183	図版285	RMW	v－75	M2	6080	オロシガネ状石製品		(13.7)	(10.1)	2.4	261.7	溶結凝灰岩	接合
			RMW	w－76	M2	10907								
			RMW	x－77	M3	1825								
			RMY	w－74－13	M2	2522								
			RMY	w－76－16	M2	9456								
				u－80	Va	812								
図Ⅴ－221	184	図版285	RMW	y－75	M2	5896	オロシガネ状石製品		(10.6)	(13.3)	2.2	(223.3)	溶結凝灰岩	接合
			RMW	y－76	M2	8001								
			RMW	y－76	M2	11751								
図Ⅴ－221	185	図版285	RMW	w－[illegible]	M3	1054	オロシガネ状石製品		(10.1)	(6.2)	2.1	(155.1)	溶結凝灰岩	接合
			RMW	y－76	M2	8000								
図Ⅴ－221	186	図版285	RMW	x－75	M3	16260	オロシガネ状石製品		(16.5)	12.2	2.2	473.7	溶結凝灰岩	接合
			RMW	x－75	MT	10076								
図Ⅴ－221	187	図版285	RMA	o－91	M4	82	オロシガネ状石製品		14.1	8.0	3.2	481.4	溶結凝灰岩	
図Ⅴ－222	188	図版285	RMV	t－86	M1	(100)	オロシガネ状石製品		16.0	9.6	2.6	236.9	溶結凝灰岩	接合
			RMW	x－79	M3	(14416)								
図Ⅴ－222	189	図版285	RMV	t－83	M2	6371	石冠		6.9	12.4	(6.0)	515.7	安山岩	接合
			RMV	v－82	M2	2526								
図Ⅴ－222	190	図版286	RMWFC3	v－79		(1)	石鏃	IA8	(2.3)	1.0	(0.4)	(0.8)	黒曜石	

＊遺物番号の（ ）は点上げ、〔 〕なしはグリッド上げ、［ ］は土嚢あげ

表Ⅴ－76 盛土遺構出土の掲載骨角器等一覧

※盛土中の遺構も含む

挿図番号	写真図版番号	サンプル番号	枝番号	分類	遺構	層位	発掘区	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考
226－1	図版334	2310		ノの字形離頭銛？	RMYF-47		y-72-8	1.72	0.78	0.33	0.53	残渣
2	図版334	370		ソケット型骨角製品	RMDF-1	3	r-85-8	1.59	0.72	0.26	0.17	残渣
3	図版334	1013		ソケット型骨角製品	RMDF-63	2	q-84	0.57	0.83	0.37	0.12	残渣
4	図版334	2466		ソケット型骨角製品	RMDF-63		q-84	1.41	0.76	0.24	0.30	残渣
5	図版334	1493		ソケット型骨角製品	RMGF-11		v-84-16	1.45	0.87	0.53	0.54	残渣
6	図版334	2088		ソケット型骨角製品	RMWF-23		y-82	1.62	1.29	0.31	0.48	残渣、2091と接合。
7	図版334	1192		骨針メド部分？	RMEF-32		s-82-8	0.41	0.29	0.11	0.02	残渣
8	図版334	2151		イノシシ下顎切歯	RMWF-45		x-77	5.89	0.94	0.69	2.44	残渣
9	図版334	3922		尖頭器状骨角器	RMY	2	z-73-5	1.17	0.46	0.48	0.25	ハンド
10	図版334	7088		尖頭器状骨角器	RMY	1	w-76-10	1.57	0.66	0.42	0.43	ハンド
11	図版334	4514		尖頭器状骨角器	RMZ	1	u-78	1.62	0.59	0.52	0.65	ハンド
12	図版334	6443		ソケット型骨角製品	RMD	6	q-85-14	0.70	0.67	0.31	0.09	ハンド
13	図版334	959	2	ソケット型骨角製品	RMD	6	q-85-3	0.57	0.74	0.21	0.09	ハンド
14	図版334	959	1	ソケット型骨角製品	RMD	6	q-85-3	0.76	0.88	0.32	0.20	ハンド
15	図版334	8357		ソケット型骨角製品	RMD	7	q-84-14	1.17	1.01	0.51	0.46	点33679
16	図版334	1618		ソケット型骨角製品	RMD	15	p-86-16	0.77	1.28	0.16	0.17	ハンド
17	図版334	1938		ソケット型骨角製品	RME	2	s-84-15	0.76	0.86	0.20	0.08	ハンド
18	図版334	5305		ソケット型骨角製品	RMY	3	y-74-3	1.21	0.68	0.35	0.16	ハンド
19	図版334	1023		骨針	RMD	6	r-86-6				0.12	ハンド
20	図版334	5396		骨針メド部分？	RMY	MT1	w-80-13	1.55	0.38	0.27	0.27	ハンド
21	図版334	7570		笄状（？）	RMY	2	z-72-4	1.34	1.01	0.46	0.28	ハンド
22	図版334	7724		ヘラ状骨角器	RMY	11	y-73-16	2.91	0.94	0.41	1.55	ハンド
23	図版334	6353		不明	RMD	4	r-83-14	1.78	0.83	0.41	0.95	ハンド
24	図版334	6609		不明（ソケット型骨角製品？）	RMD	12	r-87-4	1.57	0.76	0.52	0.43	ハンド
25	図版334	6685		不明	RMD	13	p-87-13	1.33	0.75	0.52	0.30	ハンド、破片２点
26	図版334	3557		不明	RMY	1	z-72-8	0.69	0.63	0.32	0.13	ハンド
27	図版334	3844		不明	RMY	2	y-73-13	0.79	0.61	0.50	0.17	ハンド
28	図版334	3832		不明	RMY	2	y-73-1	1.70	2.13	1.12	2.97	ハンド
227－29	図版334	2769		尖頭器状骨角器	RMV	3	t-86	1.37	0.73	0.50	0.49	ハンド
30	図版334	2849	1	ソケット型骨角製品	RMW	2	u-81	0.63	0.79	0.22	0.14	ハンド
31	図版334	3034		ソケット型骨角製品	RMW	3	x-84	1.13	0.65	0.23	0.17	ハンド
32	図版334	3022		ソケット型骨角製品	RMW	3	x-76	1.10	0.86	0.86	0.36	ハンド
33	図版334	3062		ソケット型骨角製品	RMW	3	z-78	1.36	1.02	0.20	0.63	ハンド
34	図版334	2849	2	骨針	RMW	2	u-81	1.37	0.48	0.44	0.30	ハンド
35	図版334	2849	3	骨針	RMW	2	u-81	1.42	0.44	0.46	0.19	ハンド
36	図版334	2938		骨針	RMW	2	x-81	1.55	0.31	0.36	0.18	ハンド
37	図版334	7035		不明	RMW	T	y-75	0.74	0.45	0.54	0.11	ハンド
38	図版334	8319		ホホジロサメ	RMD	3U	r-84-14	1.65	1.40	0.25	0.08	点6666
39	図版334	8270		ホホジロサメ	RMY	1	w-79-8	1.19	0.64	0.27	0.06	土壌水洗
40	図版334	3499		ホホジロサメ	RMY	1	y-74-15	0.93	0.98	0.18	0.50	土壌水洗
41	図版334	8274		ホホジロサメ	RMY	2	y-74-4	1.08	1.10	0.28	0.06	土壌水洗
42	図版334	8269		ホホジロサメ	RMY	1	v-77-13	1.91	0.51	0.35	0.06	土壌水洗
43	図版334	4162		ホホジロサメ	RMY	B31	y-72-11	1.90	0.63	0.22	0.07	ハンド
44	図版334	8256	3	ホホジロサメ	RMW	2	v-79	0.78	0.55	0.17	0.02	土壌水洗
45	図版334	8256	2	ホホジロサメ	RMW	2	v-79	1.02	0.70	0.27	0.05	土壌水洗
46	図版334	8256	1	ホホジロサメ	RMW	2	v-79	1.19	0.76	0.29	0.05	土壌水洗
47	図版334	8259	2	ホホジロサメ	RMW	2	v-78	0.81	0.63	0.22	0.02	土壌水洗
48	図版334	8259	1	ホホジロサメ	RMW	2	v-78	1.16	0.77	0.30	0.04	土壌水洗
49	図版334	8257		ホホジロサメ	RMW	2	x-78	1.70	1.06	0.31	0.13	土壌水洗
50	図版334	8261		ホホジロサメ	RMW	3	y-78	1.03	0.65	0.24	0.04	土壌水洗
51	図版334	8260		ホホジロサメ	RMW	3	v-88	1.04	0.88	0.25	0.05	土壌水洗
52	図版334	8254	1	アオザメ	RMG	2	w-84-8	1.26	0.70	0.28	0.09	土壌水洗
53	図版334	8254	2	アオザメ	RMG	2	w-84-8	1.23	0.87	0.33	0.10	土壌水洗
54	図版334	8258		アオザメ	RMW	2	x-81	1.07	0.63	0.32	0.03	土壌水洗
55	図版334	8238		アオザメ	RMD	3	p-83-16	2.96	0.98	0.59	0.29	土壌水洗

㈶北海道埋蔵文化財センター調査報告書　第180集

千歳市　キウス４遺跡(9)

―北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書―

〔第一分冊〕

発　行　平成15年２月14日
編　集　財団法人　北海道埋蔵文化財センター
〒069-0832 江別市西野幌685番地１
TEL 011-386-3231
印　刷　株式会社　須田製版
〒063-8603　札幌市西区二十四軒２条６丁目１-８
TEL 011-621-0275